別紙２－１

西明石地域交流センター icotto 建設工事

2025年2月

明石市政策局 プロジェクト推進室

安井建築設計事務所

GEN　総合

01	図面表	05	求積図・求積表(3)	09	建築工事特記仕様書(3)	13	建築工事特記仕様書(7)	17	機械設備特記仕様書						
02	設計概要(共通)	06	工事区分表(共通)	10	建築工事特記仕様書(4)	14	建築工事特記仕様書(8)	18	メーカーリスト(機械設備)						
03	求積図・求積表(1)	07	建築工事特記仕様書(1)	11	建築工事特記仕様書(5)	15	建築工事特記仕様書(9)	19	電気設備工事特記仕様書						
04	求積図・求積表(2)	08	建築工事特記仕様書(2)	12	建築工事特記仕様書(6)	16	建築工事特記仕様書(10)	20	メーカーリスト(電気設備)						

A	建築工事（意匠）					B	建築工事（構造）	C	給排水衛生設備工事	D	空気調和設備工事	E	電気設備工事		
01	配置図兼1階平面図	43	外構潅水設備詳細図	201	家具特記仕様書(1)	01	構造関係共通事項	01	機器表	01	機器表(1)	01	配置図	46	弱電(2)姿図(1)
02	2階平面図	44	雨水排水計画図	202	家具特記仕様書(2)	02	配筋標準図(1)	02	衛生器具表	02	機器表(2)	02	受変電設備単線結線図	47	非常・業務放送設備 システム図・姿図
03	3階平面図	45	防水計画図(1)	203	家具特記仕様書(3)	03	配筋標準図(2)	03	系統図	03	機器表(3)	03	非常用発電機設備仕様	48	ITV放送設備 システム図・姿図
04	4階平面図	46	防水計画図(2)			04	配筋標準図(3)	04	配置図兼1階平面図	04	機器表(4)	04	太陽光発電設備仕様	49	入退室管理設備 システム図・姿図
05	屋上平面図	47	断熱範囲図(1)	211	家具リスト	05	配筋標準図(4)	05	2階平面図	05	系統図(配管)	05	太陽光発電設備平面図	50	駐輪場管制設備 姿図・平面図
06	屋根伏図	48	断熱範囲図(2)	212	家具プロット図(1) 1階・2階・4階	06	鉄骨規準図(1)	06	3階平面図	06	1階平面図(配管)	06	幹線・接地線系統図	51	弱電(2) 1階平面図
07	ピット平面図	49	耐火リスト	213	家具プロット図(2) 3階	07	鉄骨規準図(2)	07	4階平面図	07	2階平面図(配管)	07	ゾーニング区分（防火・防煙区画）	52	弱電(2) 2階平面図
08	立面図	50	サインリスト	214	家具詳細図(1)	08	鉄骨規準図(3)	08	屋上平面図	08	3階平面図(配管)	08	分電盤エリア図	53	弱電(2) 3階平面図
09	断面図	51	1階サイン配置図	215	家具詳細図(2)	09	調査位置図・地質断面図	09	平面詳細図(1)	09	4階平面図(配管)	09	動力盤リスト(1)	54	弱電(2) 4階平面図
10-1	1階天井伏図	52	2階・3階サイン配置図	216	家具詳細図(3)	10	土質柱状図	10	平面詳細図(2)	10	屋上平面図(配管)	10	動力盤リスト(2)	55	弱電(2) R階平面図
10-2	2階天井伏図	53	4階・屋上サイン配置図	217	家具詳細図(4)	11	伏図(1)	11		11	系統図(ダクト)	11	制御線リスト、総合盤姿図	56	弱電設備（構内情報通信）系統図、姿図
10-3	3階天井伏図	54	サイン詳細図 (1)	218	家具詳細図(5)	12	伏図(2)	12		12	1階平面図(ダクト)	12	幹線・動力設備1階平面図	57	構内情報通信網設備 1階平面図
10-4	4階天井伏図	55	サイン詳細図 (2)	219-1	家具詳細図(6)-1	13	軸組図(1)	13		13	2階平面図(ダクト)	13	幹線・動力設備2階平面図	58	構内情報通信網設備 2階平面図
11	仕上表(共通事項)兼外部仕上表	56	仮設計画図	219-2	家具詳細図(6)-2	14	軸組図(2)	14		14	3階平面図(ダクト)	14	幹線・動力設備3階平面図	59	構内情報通信網設備 3階平面図
12	内部仕上表			220	家具詳細図(7)	15	軸組図(3)	15		15	4階平面図(ダクト)	15	幹線・動力設備4階平面図	60	構内情報通信網設備 4階平面図
13	1階建具配置図兼防火防煙区画図	101	昇降機仕様書	221	家具詳細図(8)	16	基礎リスト	16		16	屋上平面図(ダクト)	16	幹線・動力設備R階平面図	61	構内情報通信網設備 R階平面図
14	2階建具配置図兼防火防煙区画図	102	昇降機詳細図(1)	222	家具詳細図(9)	17	基礎梁・基礎小梁リスト	17		17	リモコン配線計装図	17	分電盤リスト(1)	62	映像音響設備 システム図・姿図(1)
15	3階建具配置図兼防火防煙区画図	103	昇降機詳細図(2)	223	家具詳細図(10)	18	柱芯線図	18		18	リモコン配線　1階平面図	18	分電盤リスト(2)	63	映像音響設備 システム図・姿図(2)
16	4階建具配置図兼防火防煙区画図	104	金属屋根詳細図	224	家具詳細図(11)	19	柱リスト	19		19	リモコン配線　2階平面図	19	コンセント設備1階平面図	64	映像音響設備 システム図・姿図(3)
17	屋上建具配置図兼防火防煙区画図	105	屋上ルーバー詳細図	225	家具詳細図(12)	20	大梁リスト(1)	20		20	リモコン配線　3階平面図	20	コンセント設備2階平面図	65	映像音響設備 システム図・姿図(4)
18	建具表（共通事項）	106	体育器具詳細図	226	家具詳細図(13)	21	大梁リスト(2)	21		21	リモコン配線　4階平面図	21	コンセント設備3階平面図	66	自動火災報知設備 凡例・系統図
19	建具表(1)	107	パーティション詳細図	227	家具詳細図(14)	22	鉄骨部材リスト	22		22	リモコン配線　屋上平面図	22	コンセント設備4階平面図	67	自動火災報知設備 1階平面図
20	建具表(2)	108	移動間仕切詳細図	228	家具詳細図(15)	23	RC部材リスト・各部配筋図	23		23		23	コンセント設備R階平面図	68	自動火災報知設備 2階平面図
21	建具表(3)	109	トイレブース詳細図	229	家具詳細図(16)	24	架構配筋詳細図	24		24		24	照明器具姿図	69	自動火災報知設備 3階平面図
22	矩計図(1)	110	カーテン図	230	家具詳細図(17)	25	各部詳細図(1)	25		25		25	電灯設備1階平面図	70	自動火災報知設備 4階平面図
23	矩計図(2)			231	家具詳細図(18)	26	各部詳細図(2)	26		26		26	電灯設備2階平面図	71	自動火災報知設備 R階平面図
24	矩計図(3)	301	シャッター・防火扉詳細図(1)	232	家具詳細図(19)	27	各部詳細図(3)	27		27		27	電灯設備3階平面図	72	雷保護設備 立面図
25	屋外避難階段詳細図	302	シャッター・防火扉詳細図(2)	233	家具詳細図(20)	28	梁貫通図(1)	28		28		28	電灯設備4階平面図	73	雷保護設備 1階平面図
26	屋内避難階段詳細図	303	シャッター・防火扉詳細図(3)	234	家具詳細図(21)	29	梁貫通図(2)	29		29		29	電灯設備R階平面図	74	雷保護設備 4階平面図
27	地域活動スペース廻り詳細図兼展開図	304	シャッター・防火扉詳細図(4)	235	家具詳細図(22)	30		30		30		30	非常用照明・誘導灯設備1階平面図	75	雷保護設備 R階・屋根伏図
28	便所詳細図兼展開図(1)	305	シャッター・防火扉詳細図(5)			31		31		31		31	非常用照明・誘導灯設備2階平面図	76	
29	便所詳細図兼展開図(2)	306	シャッター・防火扉詳細図(6)			32		32		32		32	非常用照明・誘導灯設備3階平面図	77	
30	多目的ホール平面詳細図	307	可動式防煙垂壁詳細図			33		33		33		33	非常用照明・誘導灯設備4階平面図	78	
31	多目的ホール展開図(1)	308	スチールドア詳細図			34		34		34		34	非常用照明・誘導灯設備R階平面図	79	
32	多目的ホール展開図(2)	309	アルミサッシ詳細図(1)			35		35		35		35	弱電(1)系統図(1)	80	
33	部分詳細図(1)	310	アルミサッシ詳細図(2)			36		36		36		36	弱電(1)系統図(2)	81	
34	部分詳細図(2)	311	アルミサッシ詳細図(3)			37		37		37		37	弱電(1)姿図(1)	82	
35	部分詳細図(3)	312	アルミサッシ詳細図(4)			38		38		38		38	弱電(1)姿図(2)	83	
36	部分詳細図(4)	313	アルミサッシ詳細図(5)			39		39		39		39	弱電(1) 1階平面図	84	
37	部分詳細図(5)	314	アルミサッシ詳細図(6)			40		40		40		40	弱電(1) 2階平面図	85	
38	部分詳細図(6)	315	アルミサッシ詳細図(7)			41		41		41		41	弱電(1) 3階平面図	86	
39	屋上広場計画図・詳細図	316	アルミサッシ詳細図(8)			42		42		42		42	弱電(1) 4階平面図	87	
40	外構計画図兼雨水排水計画	317	アルミサッシ詳細図(9)			43		43		43		43	弱電(1) R階平面図	88	
41	外構詳細図(1)	318	アルミサッシ詳細図(10)			44		44		44		44	弱電(2)系統図(1)	89	
42	外構詳細図(2)	319	ステンレスサッシ詳細図			45		45		45		45	弱電(2)系統図(2)	90	

明石市政策局 プロジェクト推進室

西明石地域交流センター icotto 建設工事

〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号
森　雅章

GEN	総合	最終版	2025. 02. 28
01	図面表　1:NS	見積版	2024. 12. 16
	安井建築設計事務所	最終契約版	

20230220

設計概要（共通）

1．一般事項

工事名称		西明石地域交流センター icotto 建設工事	発注者		明石市長　丸谷 聡子
敷地	敷地位置	兵庫県明石市西明石南町3丁目607-44 北緯（　34°66'　）、　東経（　134°95'　）	工事概要	工事種別	⊙新築　・増築　・別棟増築　・増改築　・改築　・移転 ・用途変更　・大規模の修繕　・大規模の模様替え
	用途地域	・第一種低層住専　・第二種低層住専　・第一種中高層住専 ・第二種中高層住専　・第一種住居　・第二種住居　・準住居 ⊙近隣商業　・商業　・準工業　・工業　・工業専用　・指定なし		主要用途	集会場
				駐車場等	申請部分　3　台 申請以外の部分　　台
	防火地域	・防火　⊙準防火　・法22条の地域　・指定なし ・2 つの地域にわたる場合（防火　　㎡　準防火　　㎡）		建築物	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造
				工作物	
	法定建ぺい率	80 %　（角地 ＋10%，準防火地域に耐火建築物 ＋10%　）		外構	1）外構　一式 2）屋外排水設備　一式
	法定容積率	300 %　（　）		造園	1）樹木　一式
	その他の指定（都市計画）	・美観地区　・風致地区（国立公園）・駐車場整備地区 ・土地区画整理事業地区　・宅地造成工事規制区域・砂防区域 ・地区計画区域　・特定街区　・総合設計　・その他		解体	
道路	東側道路巾員	前面　16.00　m　法42条（1）項　（4）号道路		工期予定	着工　2025 年　8月　竣工　2027年　5 月中
	北側道路巾員	前面　7.05　m　法42条（1）項　（1）号道路	形態規制	高度地区	
面積	敷地面積	1,644.06　㎡（　497.34　坪） 2 つの地域にわたる場合（　㎡　㎡）		高度利用地区	
		申請部分 / 申請以外の部分 / 合計		斜線制限	道路斜線、隣地境界斜線
	建築面積	1,404.27 ㎡ / ㎡ / 1,404.27 ㎡	⇨	建ぺい率	1,404.27 / 1,644.06　×100　=　85.41 %　≦許容　100 %
	延べ面積 イ．建物全体	3,909.31 ㎡ / ㎡ / 3,909.31 ㎡	⇨	容積率	3,587.88 / 1,644.06　×100　=　218.23 %　≦許容　300 %
	延べ面積 ロ．地階の住宅部分	0.00 ㎡ / ㎡ / 0.00 ㎡			
	延べ面積 ハ．自動車車庫等の部分	237.39 ㎡ / ㎡ / 237.39 ㎡		諸制度の活用による緩和	・あり　・総合設計制度　・（　） 緩和の概要　（　）
	延べ面積 ニ．EVの部分	84.04 ㎡ / ㎡ / 84.04 ㎡			

2．建築物概要（棟別）

棟　名	西明石地域交流センター icotto
建物 用途	集会場
工事種別	新築
構造・規模	鉄筋コンクリート造　一部鉄骨造
基礎・杭	フーチング基礎・既製杭
耐火建築物	⊙耐火建築物　・準耐火建築物（イ-1）・準耐火建築物（イ-2） ・準耐火建築物（ロ-1）・準耐火建築物（ロ-2）・その他
防火対象物	消防法施行令別表第1の区分　(16)項イ（（1）ロと（8））
屋　根	コンクリートのうえウレタンゴム複合塗膜防水一部断熱二重折板屋根
外　壁	コンクリート打放補修のうえDP塗料塗布仕上または複層仕上塗材塗布仕上
軒　裏	アルミスパンドレルまたは化粧ケイ酸カルシウム板のうえアクリルリシン吹付
建築面積	1,404.27 ㎡
延べ面積	3,909.31 ㎡

各階床面積	㎡	（　坪）	階高　㎜	階別用途
４階	1,015.81	(307.29)	4,200	集会場
３階	1,148.89	(347.54)	4,200	集会場
２階	836.23	(252.96)	3,900	集会場
１階	908.38	(274.79)	3,900	集会場
合　計	3,909.31 ㎡	(1182.59 坪)		

高さ	
最高の高さ	22.65 m
最高の軒の高さ	21.05 m
前面道路の中心高さと基準GLとの関係	

建築設備の種類					
	⊙給水	⊙排水	⊙電気	⊙ガス	⊙換気
	⊙空調	⊙避雷導体	⊙昇降機	⊙非常用照明	・非常用エレベーター
	・機械排煙	・浄化槽	・		

消防設備の種類					
	⊙火災報知設備	⊙非常警報	⊙誘導灯	・漏電警報	⊙屋内消火栓
	・スプリンクラー	・連結送水管	・消防用水利	・屋外消火栓	⊙非常コンセント
	・化学消火	・	・		

3．その他（増・改築経歴等）

4．附近見取図・案内図（A1:1/1250,A3:1/2500）



5．現況平面図（A1:1/200, A3:1/400）

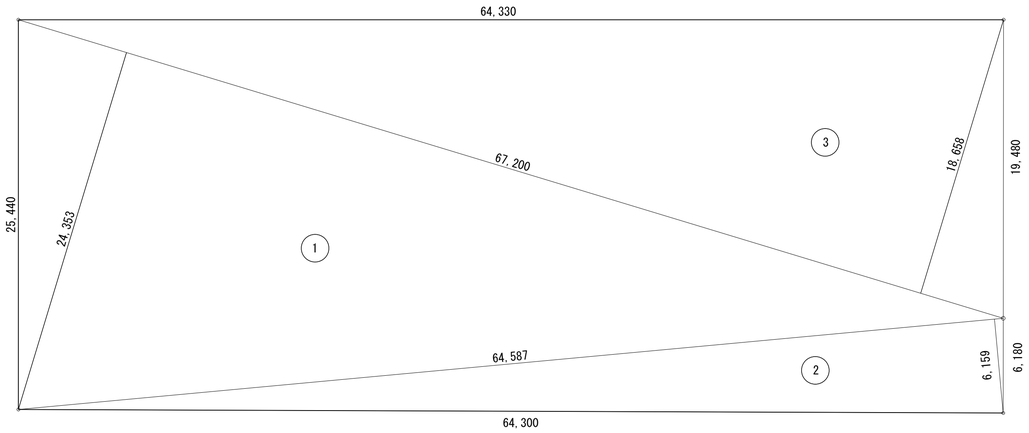
18.54 ：計画地盤レベル　TPからのレベルを示す

明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	GEN	総合	最終版　2025. 02. 28
	02	設計概要(共通)	見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

20230220

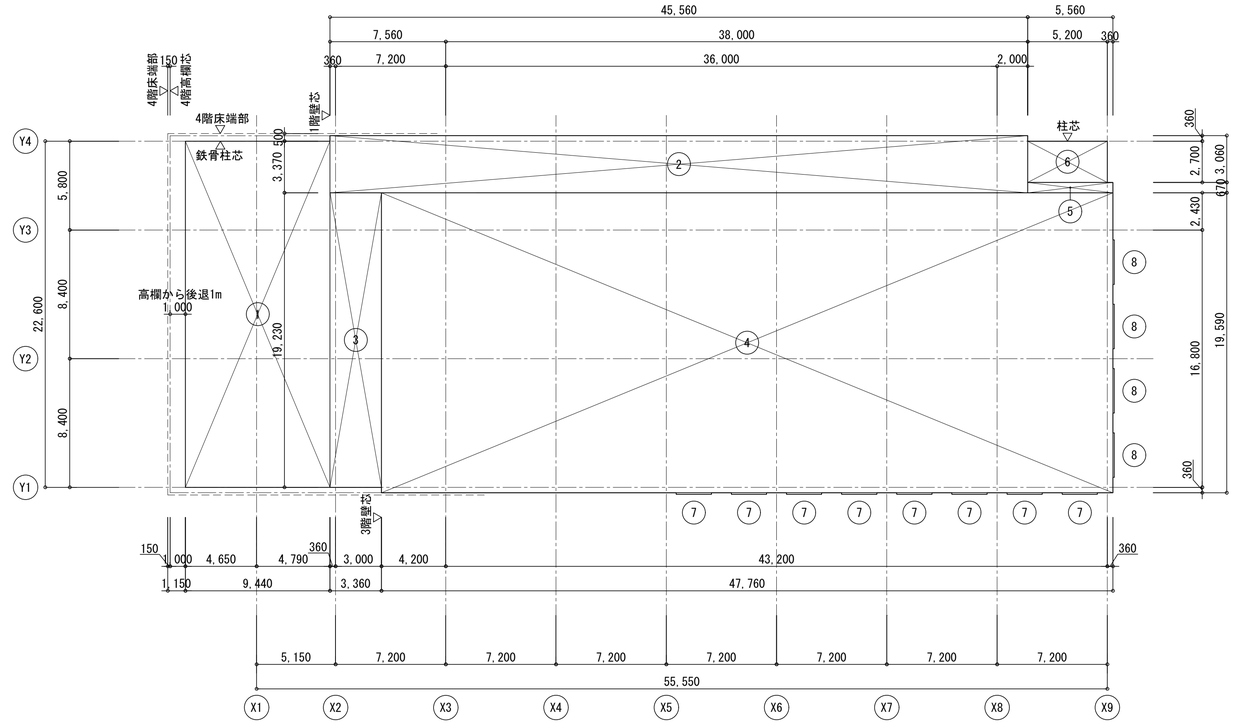
01 敷地求積図



02 敷地求積表

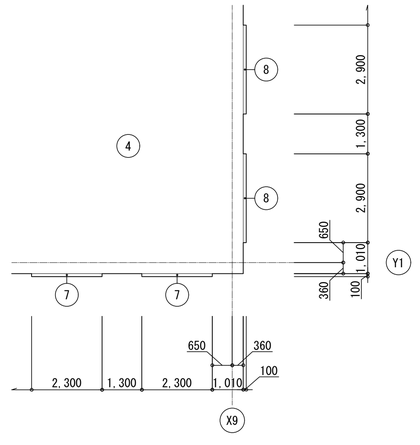
記号	計算式	面積
1	67.200×24.353／ 2	818.260
2	64.587×6.159／ 2	198.895
3	67.200×18.658／ 2	626.908
	計（㎡）	1,644.063
	敷地面積計（㎡）	1,644.06

03 建築面積求積図



04 建築面積求積表

記号	計算式	面積
1	9.440 × 22.600	213.344
2	45.560 × 3.730	169.938
3	3.360 × 19.230	64.612
4	47.760 × 19.590	935.618
5	5.560 × 0.670	3.725
6	5.200 × 2.700	14.040
7×8ヶ所	(2.300 × 0.100 = 0.230) × 8ヶ所	1.840
8×4ヶ所	(2.900 × 0.100 = 0.290) × 4ヶ所	1.160
	計（㎡）	1,404.277
	建築面積（㎡）	1,404.27



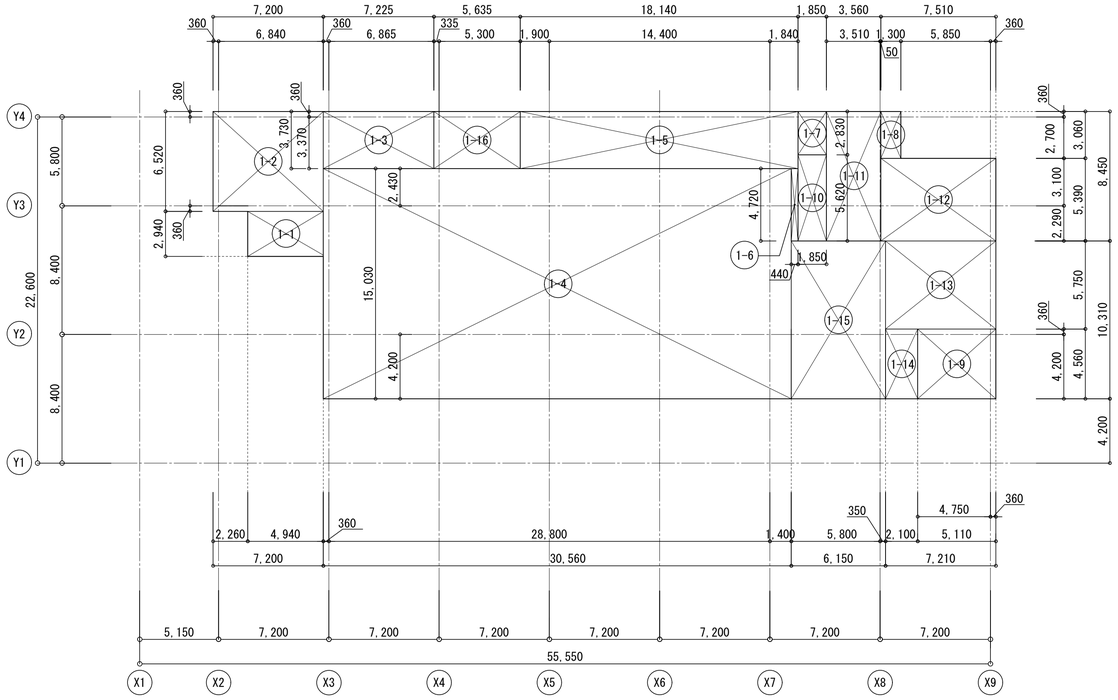
部分拡大図　1:100(A1)，1/200(A3)

明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	GEN	総合	最終版 2025.02.28
	03	求積図・求積表(1) A1 1:200 A3 1:400	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

(2023年版)

20230220

05 延べ面積求積図



1階求積図

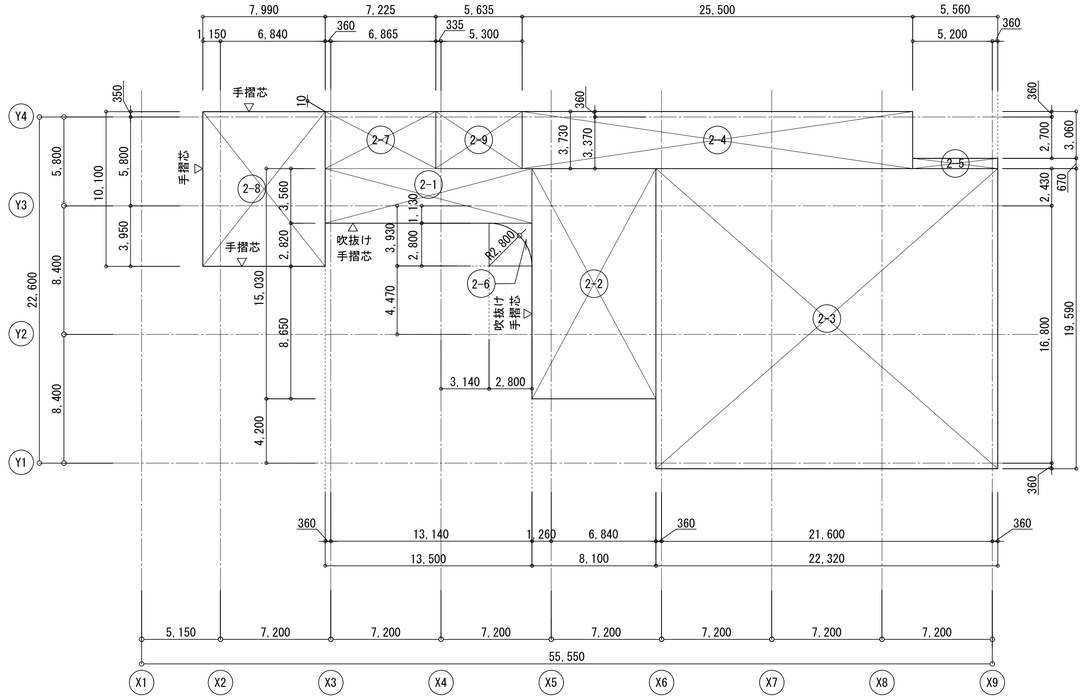
06 延べ面積求積表

記号	計算式			面積	記号	計算式			面積	記号	計算式			面積
1-1	4.940	×	2.940	14.523	駐車場・駐輪場（ピロティ）					EV				
1-2	7.200	×	6.520	46.944	1-10	1.850	×	5.620	10.397	1-16	5.635	×	3.730	21.018
1-3	7.225	×	3.730	26.949	1-11	3.560	×	8.450	30.082					
1-4	30.560	×	15.030	459.316	1-12	7.510	×	5.390	40.478					
1-5	18.140	×	3.730	67.662	1-13	7.210	×	5.750	41.457					
1-6	0.440	×	4.720	2.076	1-14	2.100	×	4.560	9.576					
1-7	1.850	×	2.830	5.235	1-15	6.150	×	10.310	63.406					
1-8	1.300	×	3.060	3.978	2段式駐輪場	1.2㎡	×	35台	42.000					
1-9	5.110	×	4.560	23.301										
			計（㎡）	649.984				計（㎡）	237.396				計（㎡）	21.018
	(1a) 容積対象床面積（㎡）			649.98		(b) 駐車場・駐輪場 床面積（㎡）			237.39		(c) EV 床面積（㎡）			21.01

(1A) 1階延べ面積（㎡）		(1a)＋(b)＋(c)	908.38

1階求積表

07 延べ面積求積図



2階求積図

08 延べ面積求積表

記号	計算式			面積	記号	計算式			面積
2-1	13.500	×	3.560	48.060	EV				
2-2	8.100	×	15.030	121.743	2-9	5.635	×	3.730	21.018
2-3	22.320	×	19.590	437.248					
2-4	25.500	×	3.730	95.115					
2-5	5.560	×	0.670	3.725					
2-6	□ 2.800×2.800		= 7.840	1.686					
	◺ 2.800×2.800×3.14×1/4= 6.154								
	◹ 7.840 − 6.154 = 1.686								
2-7	7.225	×	3.730	26.949					
2-8	7.990	×	10.100	80.699					
			計（㎡）	815.225				計（㎡）	21.01
	(2a) 容積対象床面積（㎡）			815.22		(b) EV床面積（㎡）			21.01

(2A) 2階延べ面積（㎡）		(2a)＋(b)	836.23

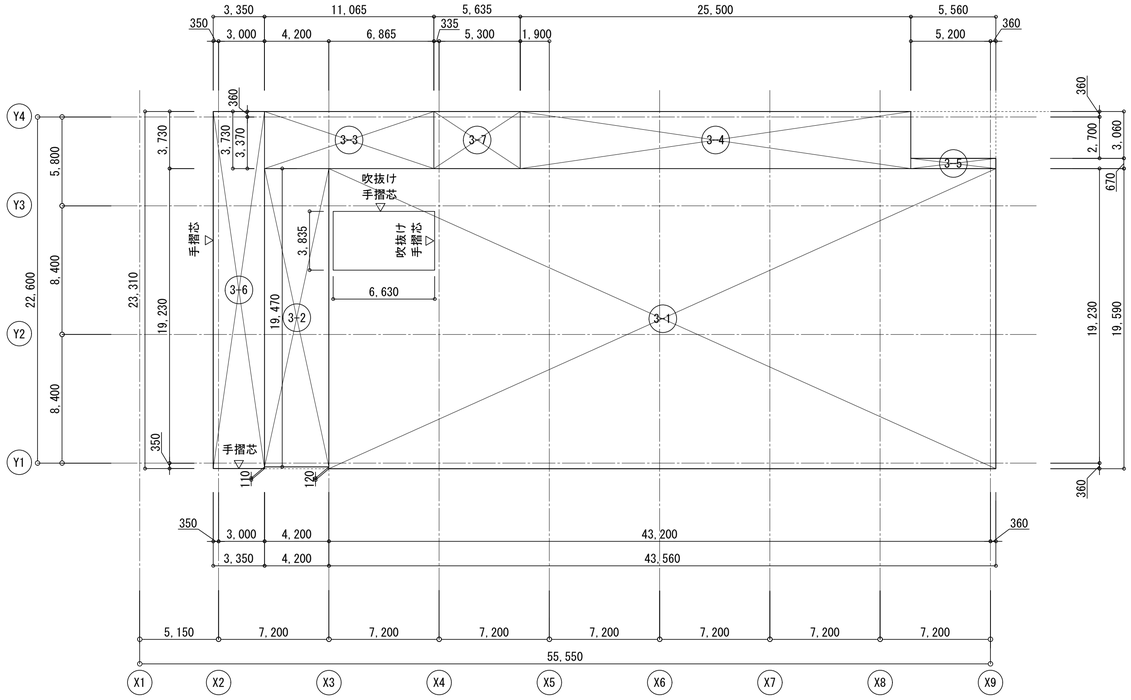
2階求積表

明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	GEN	総合	最終版 2025.02.28
	04	求積図・求積表(2) A1 1:200 A3 1:400	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

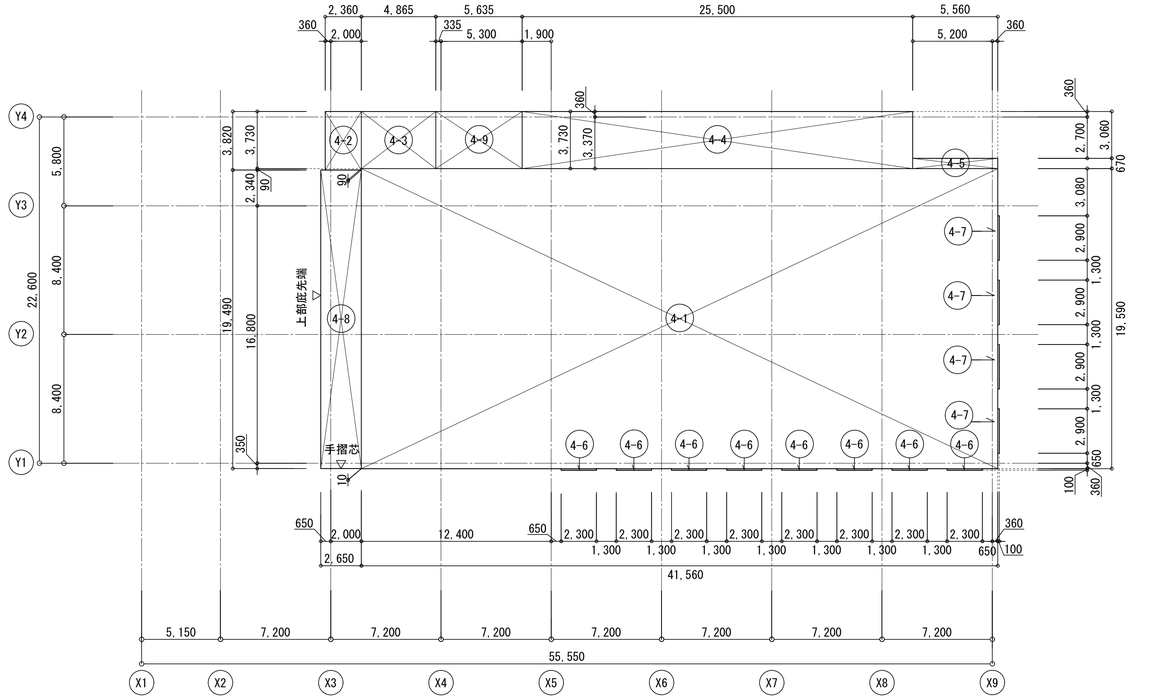
20230220

09 延べ面積求積図



3階求積図

11 延べ面積求積図



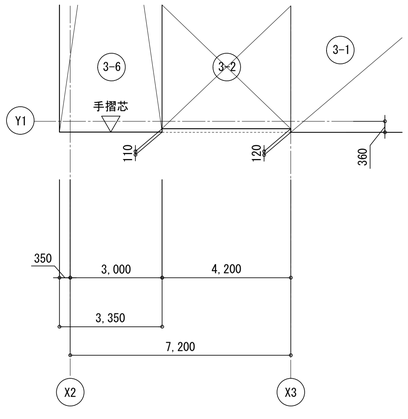
4階求積図

10 延べ面積求積表

記号	計算式	面積	記号	計算式	面積
3-1	43.560 × 19.590 = 853.340 6.630 × 3.835 = 25.426 853.340 − 25.426 = 827.914	827.914	EV		
			3-7	5.635 × 3.730	21.018
3-2	4.200 × 19.470	81.774			
3-3	11.065 × 3.730	41.272			
3-4	25.500 × 3.730	95.115			
3-5	5.560 × 0.670	3.725			
3-6	3.350 × 23.310	78.088			
	計（㎡）	1,127.888		計（㎡）	21.01
	(3a) 容積対象床面積（㎡）	1,127.88		(b) EV床面積（㎡）	21.01

(3A) 3階延べ面積（㎡）	(3a)＋(b)	1,148.89

3階求積表



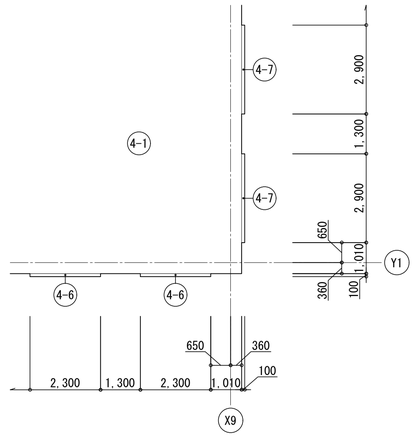
部分拡大図 1:100(A1), 1/200(A3)

12 延べ面積求積表

記号	計算式	面積	記号	計算式	面積
4-1	41.560 × 19.590	814.160	EV		
4-2	2.360 × 3.820	9.015	4-9	5.635 × 3.730	21.018
4-3	4.865 × 3.730	18.146			
4-4	25.500 × 3.730	95.115			
4-5	5.560 × 0.670	3.725			
4-6×8ヶ所	(2.300 × 0.100 = 0.230) × 8ヶ所	1.840			
4-7×4ヶ所	(2.900 × 0.100 = 0.290) × 4ヶ所	1.160			
4-8	2.650 × 19.490	51.648			
	計（㎡）	994.809		計（㎡）	21.01
	(4a) 容積対象床面積（㎡）	994.80		(b) EV床面積（㎡）	21.01

(4A) 4階延べ面積（㎡）	(4a)＋(b)	1,015.81

4階求積表



部分拡大図 1:100(A1), 1/200(A3)

容積対象床面積（㎡）	合計面積
(1a)＋(2a)＋(3a)＋(4a)	3,587.88

延べ面積（㎡）	合計面積
(1A)＋(2A)＋(3A)＋(4A)	3,909.31

明石市政策局 プロジェクト推進室

西明石地域交流センター icotto 建設工事

〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号
森 雅章

GEN 総合 最終版 2025.02.28

05 求積図・求積表(3) A1 1:200 A3 1:400 見積版 2024.12.16

安井建築設計事務所 最終契約版

(2023年版)

20230220

工事区分表（共通）

工事区分表

1） 項目は番号に○印がついたものを適用する。
2） 区分表は⊙印のつかない場合は※印のついたものを適用する。
3） ⊙と※印がついた場合は、共に適用する。
4） 特記事項は ⊙印がついたものを適用する。

項目	細目	建築	衛生	空調	電気	昇降機	別途
①仮　設	電力引込み工事（負担金を含む）	※	·	·	·	·	·
	給水引込み工事（負担金を含む）	※	·	·	·	·	·
	下水接続工事（負担金を含む）	※	·	·	·	·	·
	ガス引込み工事（負担金を含む）	※	·	·	·	·	·
	引込み以降の電力、給水、ガス工事	※	·	·	·	·	·
	着工より引渡までの電力使用料金（基本料金を含む）	※	·	·	·	·	·
	着工より引渡までの給水使用料金（基本料金を含む）	※	·	·	·	·	·
	着工より引渡までの下水使用料金（基本料金を含む）	※	·	·	·	·	·
	着工より引渡までのガス使用料金（基本料金を含む）	※	·	·	·	·	·
	電話引込み工事、使用料金（基本料金を含む）	※	·	·	·	·	·
	工事上各種申請届出費用	※	·	·	·	·	·
	仮囲い	※	·	·	·	·	·
	進入道路整備	※	·	·	·	·	·
	ガードマン詰所、仮設便所	※	·	·	·	·	·
	ガードマン	※	·	·	·	·	·
	近隣に対する窓口（電波障害含む）	※	·	·	·	·	·
②本設・引込み及び接続	電力工事	·	·	·	※	·	·
※注１）	給水引込み工事	·	※	·	·	·	·
	排水本管接続工事	·	※	·	·	·	·
	ガス引込み工事	·	※	·	·	·	·
	電話引込み工事（配管）	·	·	·	※	·	·
	本受電以降の工事中の基本料金	※	·	·	·	·	·
	試運転調整用使用料金（電力、給水、排水、ガス等）	※	·	·	·	·	·
	各種引込負担金	⊙	·	·	·	·	·
③電気室・機械室等	配管・配線ピット及び蓋取付	※	·	·	·	·	·
	コンクリート基礎及び仕上（床上）	※	·	·	·	·	·
	同上基礎の補強	※	·	·	·	·	·
	同上のアンカーボルト施工	·	※	※	※	※	·
	~~機器搬出入用据付フック（補強共）~~	※	·	·	·	·	·
	~~搬出入用マシンハッチ~~	※	·	·	·	·	·
	機械室排水側溝及び蓋	※	·	·	·	·	·
	~~室内金属屋根~~	※	·	·	·	·	·
4 発電機室他	配管・配線ピット及び蓋取付	※	·	·	·	·	·
	コンクリート基礎及び仕上（床上）	※	·	·	·	·	·
	同上基礎の補強	※	·	·	·	·	·
	同上のアンカーボルト施工	·	·	·	※	·	·
	機器搬出入用据付フック（補強共）	※	·	·	·	·	·
	搬出入用マシンハッチ	※	·	·	·	·	·
	発電機煙道、排気管	·	·	·	※	·	·
	発電機煙突	※	·	·	·	·	·
	発電機用オイルタンク	·	·	·	※	·	·
	地中オイルタンク用外郭・乾燥砂又は基礎防油堤（漏油防止塗装共）	※	·	·	·	·	·
	同上マンホール類	·	·	·	※	·	·
	オイル供給配管、通気管、検知管	·	·	·	※	·	·
	通常換気設備	·	·	※	·	·	·
	発電機運転用換気設備	·	·	※	·	·	·
	発電装置排気設備	·	·	※	·	·	·
5 コンクリート製汚水槽・雑排水槽	槽本体防水仕上（配筋共）	※	·	·	·	·	·
	防水防臭型マンホール、タラップ	※	·	·	·	·	·
	釜場、隔壁用通気管、連通管、人通孔	※	·	·	·	·	·
	満水警報	·	·	·	※	·	·
	排水ポンプの制御（ユニット盤を除く）	·	·	·	※	·	·
	ポンプピット用通気管、ベントキャップ	·	※	·	·	·	·
	排水ポンプユニット盤	·	※	·	·	·	·
	排水ポンプユニット盤ー次側電源供給	·	·	·	※	·	·
	排水ポンプユニット盤二次側電源供給及びレベルスイッチ配管配線	·	※	·	·	·	·
6 湧水槽	ポンプピット、隔壁用連通管、通気管、人通孔、釜場	※	·	·	·	·	·
	マンホール、タラップ	※	·	·	·	·	·
	ポンプピット用通気管、ベントキャップ	·	※	·	·	·	·
	満水警報	·	·	·	※	·	·

項目	細目	建築	衛生	空調	電気	昇降機	別途
	排水ポンプの制御（ユニット盤を除く）	·	·	·	※	·	·
	排水ポンプユニット盤	·	※	·	·	·	·
	排水ポンプユニット盤ー次側電源供給	·	·	·	※	·	·
	排水ポンプユニット盤二次側電源供給及びレベルスイッチ配管配線	·	※	·	·	·	·
⑦コンクリート製消火ポンプ水源消防用水（防火水槽）	槽本体防水仕上	※	·	·	·		
	~~釜場、隔壁用連通管、通気管、人通孔~~	※	·	·	·	·	·
	防水防臭型マンホール、タラップ	※	·	·	·	·	·
	ポンプピット用通気管、ベントキャップ	·	※	·	·	·	·
	満減水警報（消火ポンプ水源）	·	·	·	※	·	·
	~~満減水警報（消防用水）~~	·	·	·	※	·	·
	補給水供給（消火ポンプ水源）	·	※	·	·	·	·
⑧排水経路及び外構工事	雨水排水経路	※	·	·	·	·	·
	~~雨水調整池（仕上共）~~	※	·	·	·	·	·
	~~雨水調整桝より雨水貯留槽への配管~~	※	·	·	·	·	·
	~~雨水貯留槽よりのポンプアップ配管~~	·	※	·	·	·	·
	汚水、雑排水経路（マンホール、化粧マンホール共）	·	※	·	·	·	·
	~~同土化粧マンホールの仕上材貼り~~	※	·	·	·	·	·
	~~沈下防止用排水桝~~	※	·	·	·	·	·
	~~同土マンホール、点検蓋~~	※	·	·	·	·	·
	~~同土インバート施工（防水モルタル仕上共）~~	·	※	·	·	·	·
	~~沈下対策用コンクリート桝（仕上共、給水、消火用）~~	·	※	·	·	·	·
	~~同土用マンホール、点検蓋~~	·	※	·	·	·	·
	下水道本管への接続（雨水）	※	·	·	·	·	·
	下水道本管への接続（汚水）	·	※	·	·	·	·
	集水桝への接続	※	·	·	·	·	·
	~~電力・電話引込み柱又はボックス（マンホール、化粧マンホール共）~~	·	·	·	※	·	·
	~~同土用化粧マンホールの仕上材貼り~~	※	·	·	·	·	·
	~~地下二重壁内の排水配管~~	※	·	·	·	·	·
	~~コンクリート製給排気シャフトの排水配管~~	※	·	·	·	·	·
	~~玄関マットの排水管~~	※	·	·	·	·	·
	~~屋内排水のマンホール（コンクリート製以外）~~	·	※	·	·	·	·
	~~屋内排水のマンホール（コンクリート製）~~	※	·	·	·	·	·
9 厨　房	グリーストラップ	·	※	·	·	·	·
	排水側溝及び蓋	※	·	·	·	·	·
	厨房機器、給排水器具類及び設置、取付	·	※	·	·	·	·
	厨房機器、給排水器具への接続配管	·	※	·	·	·	·
	厨房機器、給排水器具接続ー次側電源供給	·	·	·	※	·	·
	厨房機器の二次側電気配管配線	·	※	·	·	·	·
	フード及び幕板	·	·	※	·	·	·
	フード消火設備、及び二次側配管配線	·	※	·	·	·	·
	室内床防水押えコンクリート	※	·	·	·	·	·
	冷蔵庫、冷凍庫用幕板	※	·	·	·	·	·
	フード消火設備の一次側電源供給	·	·	·	※	·	·
	フード消火設備の作動警報	·	·	·	※	·	·
	フード消火設備とガス遮断弁との連動	·	※	·	·	·	·
⑩壁、床スリーブ箱入れ	RC造（開口及び開口補強）	※	·	·	·	·	·
	ALC板、ブロック等（開口及び開口補強）	※	·	·	·	·	·
	工場製作間仕切壁（開口及び開口補強）	※	·	·	·	·	·
	軽量鉄骨、木造等（開口及び開口補強）	※	·	·	·	·	·
⑪梁貫通スリーブ	RC造梁貫通スリーブ	※	※	※	※	·	·
	同上補強	※	·	·	·	·	·
	S造、SRC造梁貫通スリーブ及び補強	※	·	·	·	·	·
	スリーブ穴埋め（必要部）	※	※	※	※	·	·
	PC造梁貫通スリーブ及び補強	※	·	·	·	·	·
	RC造スリーブ、箱入れ部穴埋め	※	※	※	※	·	·
⑫天　井	機器、器具の取付用開口	※	·	·	·	·	·
	同上補強	※	·	·	·	·	·
⑬点検口	床、壁、天井の点検口	※	·	·	·	·	·
⑭ガラリ	外部給排気ガラリ（防鳥網、ダクト接続金物共）	※	·	·	·	·	·
	同上接続ボックス	⊙	·	※	·	·	·
	同上用防火ダンパ（FD）	·	·	※	·	·	·
	ドアガラリ	※	·	·	·	·	·

項目	細目	建築	衛生	空調	電気	昇降機	別途
	内部リターンガラリ（図示範囲のみ建築工事）	※	·	·	·	·	·
	同上化粧グリル	※	·	·	·	·	·
⑮カーテンブラインド	カーテン、ブラインド、暗幕	※	·	·	·	·	·
	電動カーテンボックス、ブラインドボックス（レール共）	※	·	·	·	·	·
	電動カーテン類の操作盤、コントロールパネル	※	·	·	·	·	·
	コントロールパネル以降の二次側配管配線	※	·	·	·	·	·
	電動カーテン類の一次側電源供給	·	·	·	※	·	·
⑯化学物質の測定	内装施工後の室内空気質測定	※	·	·	·	·	·
⑰防火戸	煙感連動用レリーズ取付	·	·	·	※	·	·
	レリーズ取付下地補強	※	·	·	·	·	·
	連動制御盤及び配管配線	·	·	·	※	·	·
⑱防火シャッター	煙感連動用シャッター、レリーズ取付	※	·	·	·	·	·
	一次側電源供給	·	·	·	※	·	·
	スイッチ及び配管配線	※	·	·	·	·	·
	連動制御盤及び配管配線	·	·	·	※	·	·
⑲可動防煙垂壁	煙感用可動防煙垂壁、レリーズ取付	※	·	·	·	·	·
	一次側電源供給	·	·	·	※	·	·
	連動制御盤及び配管配線	·	·	·	※	·	·
⑳自動扉	電動装置、検知装置その他二次側配管配線	※	·	·	·	·	·
	一次側電源供給	·	·	·	※	·	·
	誘導、作動チャイム	※	·	·	·	·	·
㉑電気錠	電気錠、建具内配管、通電蝶番	※	·	·	·	·	·
	制御盤	※	·	·	·	·	·
	一次側電源供給	·	·	·	※	·	·
	二次側配管配線	※	·	·	·	·	·
㉒便所、湯沸室その他水廻り	洗面器カウンター及び切込み	※	·	·	·	·	·
	同上鏡（大鏡・子鏡）	※	·	·	·	·	·
	鏡（壁掛け洗面台の場合）	⊙	※	·	·	·	·
	洗面器パック	※	·	·	·	·	·
	感知フラッシュバルブ、自動水栓の電源供給	·	·	·	※	·	·
	流し類（トラップ共）	※	·	·	·	·	·
	~~同上水栓（住宅用）~~	※	·	·	·	·	·
	同上水栓（その他）	·	※	·	·	·	·
	同上水切台（側面ふさぎ共）	※	·	·	·	·	·
	~~バスユニット、シャワーユニット~~	※	·	·	·	·	·
	洗面化粧台	※	·	·	·	·	·
	~~洗濯機パン~~	※	·	·	·	·	·
	電気湯沸器、電気温水器、電磁ヒータ	⊙	※	·	·	·	·
	同上用電源供給	·	·	·	※	·	·
	集中方式自動フラッシュバルブ制御盤以降の二次側配管配線	·	※	·	·	·	·
	同上制御盤への一次側電源供給	·	·	·	※	·	·
	身体障害者用手摺類	※	·	·	·	·	·
	ベビーベッド	※	·	·	·	·	·
	ベビーチェア　（ベビーホルダー）	※	·	·	·	·	·
	フィッティングボード	※	·	·	·	·	·
	フック	※	·	·	·	·	·
	棚板	※	·	·	·	·	·
	壁付ペーパーホルダー（紙巻き器は衛生設備工事）	⊙	※	·	·	·	·
	手摺類	※	·	·	·	·	·
㉓空調・換気	ファンコイルユニット等ペリカウンター	※	·	·	·	·	·
	同上用吹出口（スイッチボックスを含むリターンスリット共）	※	·	·	·	·	·
	同上用吹出口のダクト接続	·	·	※	·	·	·
	ファンコイルのスイッチ及び配管配線工事	·	·	※	·	·	·
	同上用一次側電源供給	·	·	·	※	·	·
	パッケージエアコンのスイッチ及び配管配線	·	·	※	·	·	·
	パッケージ室内外機間の配管配線工事	·	·	※	·	·	·
	同上室内機、室外機への一次側電源供給	·	·	·	※	·	·
	全熱交換器ユニットのスイッチ、配管配線	·	·	※	·	·	·
	同上電源供給	·	·	·	※	·	·
	換気扇用穴明補強、枠取付	※	·	·	·	·	·
	換気扇及び取付	·	·	※	·	·	·
	換気扇スイッチ及び配管配線	·	·	·	※	·	·
	換気扇用サーモスタット（単相機器）	·	·	·	※	·	·
㉔中央監視室（防災センター）	~~OAフロア~~	※	·	·	·	·	·
	総合盤（各種制御盤組込用）	·	·	※	※	·	·

項目	細目	建築	衛生	空調	電気	昇降機	別途
	同上幕板	※	·	·	·	·	·
	~~OAフロア内チャンネルベース~~	·	·	※	※	·	·
	総合盤内制御盤取付調整	※	※	※	※	※	·
	中央監視設備	·	·	※	※	·	·
㉕制御関係	動力制御盤（電気設備工事外）の取付、及び二次側配管配線	※	※	※	·	·	·
	制御盤への一次側電源供給	·	·	·	※	·	·
	空調自動制御盤用電源配管配線	·	·	※	·	·	·
	空調自動制御盤以降二次側配管配線	·	·	※	·	·	·
	中央監視盤よりRS盤までの配管配線	·	·	·	※	·	·
	RS盤より空調自動制御盤・動力制御盤までの配管配線	·	·	※	※	·	·
㉖消火関係	各種消火栓格納箱の壁開口及び補強	※	·	·	·	·	·
	消火栓	·	※	·	·	·	·
	消火栓組込の総合盤取付用箱加工	·	※	·	·	·	·
	総合盤の取付	·	※	·	※	·	·
	~~石貼消火栓格納箱の石貼り~~	※	·	·	·	·	·
	~~採水口、送水口用自立型取付壁~~	※	※	·	·	·	·
	~~送水口用バルブボックス~~	·	※	·	·	·	·
	消火ポンプ起動制御盤	·	※	·	·	·	·
	起動制御盤以降二次側配管配線	·	※	·	·	·	·
	起動制御盤への電源送り	·	·	·	※	·	·
	起動制御盤よりの移報用配管配線・警報表示	·	·	·	※	·	·
	アラーム弁・ポンプ起動制御盤間の配管配線	·	※	·	※	·	·
	屋内消火ポンプ起動押釦の取付及び配管配線	·	·	·	※	·	·
	屋内消火ポンプ位置表示灯、始動表示灯及び配管配線	·	·	·	※	·	·
	消火器ボックス	※	·	·	·	·	·
	消火器（床置消火器設置台含む）	·	⊙	·	·	·	·
	~~ガス緊急遮断弁及び制御盤、遠隔操作盤工業用ガス検知器~~	·	※	·	·	·	·
	~~同上制御盤ー次側電源供給及び移報表示~~	·	·	·	※	·	·
	~~同上制御盤以降二次側の配管配線~~	·	※	·	·	·	·
	~~消防法準拠のガス漏れ警報設備~~	·	·	·	※	·	·
	~~ガス連動遮断弁の操作、制御用配管配線~~	·	※	·	·	·	·
	~~ガス連動遮断弁及び制御盤、ガス漏れ警報器~~	·	※	·	·	·	·
	~~同上二次側配管配線~~	·	※	·	·	·	·
	~~同上移報表示~~	·	·	·	※	·	·
㉗昇降機	機械室床開口及び補強	※	·	·	·	·	·
	機械室床かさ上コンクリート打及び仕上	※	·	·	·	·	·
	機械室天井フック	※	·	·	·	·	·
	中間ビーム、ブラケット、ビーム受鉄骨柱	※	·	·	·	·	·
	昇降路内ピット防水及び排水桝	※	·	·	·	·	·
	昇降路内支持材	※	·	·	·	※	·
	昇降路出入口扉、三方枠、幕板	·	·	·	·	※	·
	入口扉、ホール釦、インジケーター等の開口	※	·	·	·	·	·
	機械室制御盤までの一次側電源及び接地線供給と接続まで	·	·	·	※	·	·
	制御盤以降の二次側電気工事	·	·	·	·	※	·
	昇降路内の各種機器・配管配線	·	·	·	·	※	·
	昇降機用インターホン取付、調整	·	·	·	·	※	·
	昇降路外の各種配管配線	·	·	·	※	·	·
	機械室内部の換気設備	·	·	※	·	·	·
	換気用サーモスタット取付	·	·	※	·	·	·
	昇降路点検タラップ	·	·	·	·	⊙	·
	エレベーター、エスカレーター監視盤	·	·	·	·	※	·
	監視盤～制御盤間の監視・制御用の配管配線	·	·	·	※	·	·
	~~エスカレーター三角安全板~~	·	·	·	·	※	·

特記事項
※注１）自家用電気工作物の主任技術者選任については、あらかじめ建築主と調整し、原則として施設管理を担当予定の主任技術者によるものとし、電気工事の着手以前に届出を行えるよう調整のこと

明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto 建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	GEN	総合	最終版　2025. 02. 28
	06	工事区分表（共通）	見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

西明石地域交流センター icotto 建設工事設計図

令和　7年　2月

特記仕様書

Ⅰ　工事概要

1. 工事場所　兵庫県明石市西明石南町3丁目607－44

2. 敷地面積　1,644.06 ㎡

3. 工事種目　(1)（ 西明石地域交流センター icotto ）　新築1棟
鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
地上4階、塔屋0階　建築面積：1,404.27 ㎡　延床面積：3,909.31 ㎡
(2)（工作物）
(3)（樹木）
(4)（明石市道藤江12号線の一部）
道路側溝蓋掛け・道路復旧

4. 工事範囲
※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。
○工事区分は工事区分表による。
○ただし以下の項目は別途工事とする。
・一般家具、什器備品
・家具の移動、各種負担金
・電波障害等近隣対策費
・電柱移設関連工事
・什器家具類

Ⅱ　建築工事仕様

1. 標準仕様
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は，国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下「標準仕様書」という。）による。

2. 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は，電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。

3. 特記仕様書の表記
(1) 章・項目は，番号に ◯ 印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は，○ 印の付いたものを適用する。
○ 印の付かない場合は，※印の付いたものを適用する。
○ 印と ◎ 印の付いた場合は，共に適用する。
(3) 特記事項に記載の（　，　，　）内表示番号は，標準仕様書の当該項目，当該図又は当該表を示す。
(4) 使用材料は、再生材、F☆☆☆☆、低VOC材料を選択する（各項共通事項）。
(5) 構造特記仕様書が別にある場合は、特記なき限り、構造特記仕様書を優先する（各項共通事項）。

※図面中に記載している品番は全て同等品とする。

章	項目	特記事項
① 一般共通事項	① 適用基準等	図面，本特記仕様書，標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ○建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部 ○営繕工事写真撮影要領（平成28年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部 ○建築工事標準詳細図（令和4年版）（以下「標準詳細図」という） 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課 その他 ○日本建築学会建築工事標準仕様書（JASS） ・
	② 工事実績情報システム（CORINS）への登録	(1.1.4) ◎請負代金額が500万円以上の場合、適用する。
	③ 法令等の適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ○風圧力 風速（Vo= 34 m/s） 地表面粗度区分（ ・Ⅰ　・Ⅱ　○Ⅲ　・Ⅳ ） ・積雪荷重 平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域　別表（32） 30 cm
	④ 工事の記録等	(1.2.4) 報告に用いる書式等 ○現場説明書による　・ ○標準仕様書1.2.4（4）により整備する工事写真については次による。 『営繕工事写真撮影要領（平成28年版）による工事写真撮影ガイドブック　建築工事編及び解体工事編　平成30年版』国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
	⑤ 電気保安技術者	(1.3.3) ◎適用する
	⑥ 施工条件	(1.3.5) ※ 標準仕様書1.3.5（1）以外の施工条件については，現場説明書による。 ◎ 工事用車両の駐車場及び資材置き場 （◎ 場内　○ 場外（資料は工事費に含む。）） その他、工事仕様書及び監督職員との協議による。
	⑦ 発生材の処理等	(1.3.11) ・発注者に引渡しを要するもの ・現場説明書による　○無し ・特別管理産業廃棄物の種類及び処理方法 ・現場説明書による　○無し ・工事現場において再利用を図るもの及び再資源化を図るもの ・現場説明書による　○無し ※ PCB含有物については監督員と協議の上、発注者に引き渡すこと。 ※ 金属類は有価物処理を行うこと。
	⑧ 材料の品質等	(1.4.2) （1）本工事に使用する材料は，設計図書に定める品質及び性能の他，通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 （2）備考欄に商品名が記載された材料は，当該商品又は同等品を使用するものとし，同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 （3）標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については，材料製造所の指定する工法とする。 （4）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料評価名簿（最新版）」から材料を選定した場合は、評価書の写しを監督職員に提出し、その確認を得ること。
	⑨ 技能士	(1.5.2)

適用工事種類	職　種	技能検定の作業の種別
仮設工事	とび	○とび作業
鉄筋工事	鉄筋施工	○鉄筋組立て作業
コンクリート工事	型枠施工	○型枠工事作業
	コンクリート圧送施工	○コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事	鉄工	○構造物鉄工作業
コンクリートブロック・ALCパネル及び押出成形セメント板工事	ブロック建築	・コンクリートブロック工事作業
	エーエルシーパネル施工	○エーエルシーパネル工事作業
防水工事	防水施工	・アスファルト防水工事作業 ○ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ○セメント系防水工事作業 ○シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業
石工事	石材施工	・石張り作業
タイル工事	タイル張り	○タイル張り作業
木工事	建築大工	○大工工事作業
屋根及びとい工事	建築板金	○内外装板金作業
金属工事	内装仕上げ施工	○鋼製下地工事作業
	建築板金	○内外装板金作業
左官工事	左官	○左官作業
建具工事	サッシ施工	○ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	○ガラス工事作業
	自動ドア施工	○自動ドア施工作業
カーテンウォール工事	カーテンウォール施工	○金属製カーテンウォール工事作業
	サッシ施工	○ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	○ガラス工事作業
塗装工事	塗装	○建築塗装作業
内装工事	内装仕上げ施工	○プラスチック系床仕上げ工事作業 ○カーペット系床仕上げ作業 ○ボード仕上げ工事作業
	表装	○壁装作業
排水工事	配管	○建築配管作業
舗装工事	路面標示施工	○溶融ペイントハンドマーカー工事作業 ○加熱ペイントマシンマーカー工事作業
植栽工事	造園	○造園工事作業

章	項目	特記事項
	⑩ 化学物質の濃度測定	(1.5.9) 測定時期　・工事着手前　※ 工事完成時　・工事着手前及び完成時 測定対象化学物質 ※ ホルムアルデヒド　※ トルエン　※ キシレン　・パラジクロロベンゼン ※ エチルベンゼン　※ スチレン 測定方法　※ パッシブ採取機器（サンプラー）を使用し、分析機関にて分析 測定対象室（　全居室　）　測定箇所数（ 20 ）箇所 室内空気中化学物質の室内空気濃度基準値 ホルムアルデヒド　100μg/m3（0.08ppm）　トルエン　260μg/m3（0.07ppm） キシレン　870μg/m3（0.20ppm）　パラジクロロベンゼン　240μg/m3（0.04ppm） エチルベンゼン　3,800μg/m3（0.88ppm）　スチレン　220μg/m3（0.05ppm） ※ 化学物質濃度が基準値を超えている場合は、工事部分を引渡すことは不可のため、基準値以下になるまで再測定を行うこと。
	⑪ 技術検査	(1.6.2) 品確法に基づく工事施工途中における技術検査（中間技術検査）　○ 行う 実施回数、実施する段階は施工計画により監督員の承認を得ること
	⑫ 完成時の提出図書	(1.7.1～1.7.3)（表1.7.1） ※ 完成図 完成図の作成は、CADデータ修正による。 完成図の種類及び記入内容は設計図同等とし、各図面の右下に「完成図」と明記する。 完成図の様式 ○ 二つ折り製本２部（表紙及び背表紙に黒文字印刷で「工事完成年度、工事名称、設計者名、受注者名」を記入の上、「完成図」と明記のこと） ◎ JWW形式CADデータ　○DWG形式CADデータ ◎ PDF形式データ（印刷物をスキャンしたものは不可） ◎ 保全に関する資料　・（　）部　◎ ２部
	⑬ 施工図等の取扱い	※ 施工図等の著作権に関する当該建築物に係る使用権は、発注者に委譲する。 施工図の様式 ○ 二つ折り製本１部（表紙及び背表紙に黒文字印刷で「工事完成年度、工事名称、受注者名」を記入の上、「施工図」と明記のこと）
	⑭ 工事写真	(1.2.4) 工事写真の撮影対象　・（　）　※ 監督員と協議 デジタルカメラ撮影も可（解像度ほか、監督員と協議） 記録紙　※ マット紙　・その他（　） ※ 出来形確認用の完成写真は、工事写真として撮影すること。下記の完成写真と混同しないこと。
	⑮ 完成写真	下記のものを監督職員に提出する。 分類・規格：○ カラー　・ パつ切り版　・ キャビネ版 撮影箇所数：※ 外観　10 カット　※ 内観各室２面 提出部数：※ 1　○ 2 原板の大きさ(mm)：※ 24×36 撮影業者　○ 建築完成写真撮影の実績のある業者 ・ 建築完成写真撮影の実績は問わない 装丁　○ 写真用装飾アルバム（白表紙、金文字） ・ 市販アルバム ※ デジタル画像、フォトブックレイアウトデータ
	⑯ 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
	⑰ 交通誘導員	※ 要　人数○ 1320人（準備工～竣工までの合計人数） 資格要件 ・ 交通誘導員A（１、２級交通誘導警備検定合格者）（国道沿い） ※ 交通誘導員B（警備業者の警備員で、上記以外の交通誘導に従事するもの）（敷地内）
	⑱ 再生資源利用(促進)関係	※ 計画書及び実施書を作成（エクセルデータ可） ※ 建設リサイクル関係法令に基づく通知・届出等の必要がない工事は、データのみ提出
	⑲ 工事前説明	※ 工事に先立ち周辺住民に対して工事説明を行う。（発注者同席予定）
② 仮設工事	① 監督職員事務所	(2.3.1) 監督職員事務所　○ 設置する（ 20 ㎡程度） 監督職員事務所の仕上げの程度、備品、設備等 ※ 仕上げは通常のもので、備品は打合せテーブル、椅子、棚、エアコン等通常の工事監理に必要なものとし、監督職員と協議の上、設置すること。 ○ その他以下の備品、設備 ・事務机（1200×700）及び椅子4セット　・キャビネット（400×700）2つ　・図面棚（980×740）1つ ・書類棚（880×400）2つ　・見本棚（880×400）2つ　・図面架（880×400）2つ ・打合せ机（1500×750）及び椅子1セット　・更衣ロッカー3人用1つ　・下駄箱、靴ベラ　・パソコン ・プリンター　・カメラ　・月間予定表、行動予定表　・電話　・コピー機（共用可）　・掛け時計 ・カレンダー　・ゴミ箱　・冷蔵庫、食器棚　・長靴、安全靴　・ヘルメット掛け　・雨合羽 ・検査用具（テストハンマー、懐中電灯、水準器、メジャー、鏡、マグネット、タイルテスター等） ・事務用品（付箋、ボールペン、スコッチテープ、カッター、A4ファイル、修正系、穴あけ器、文房具類等）
	② 表示板	(2.3.1) ※ 設置する（明石市指定様式（900×600）） （ただし、請負代金1000万円以上かつ契約工期90日以上の工事に限る）
	③ 工事用水	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（ ※有償　・無償 ）
	④ 工事用電力	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（ ※有償　・無償 ）
③ 土工事	① 埋戻し及び盛土	(3.2.3)（表3.2.1） 埋戻し及び盛土の材料及び工法 ※標準仕様書 表3.2.1による　・ ・Ａ種　施工箇所（　） ○Ｂ種　施工箇所（ 地下ピット　）（ その他埋戻し範囲 ） ・Ｃ種　施工箇所（　）土質（　）　受渡場所（　） ・Ｄ種　施工箇所（　）
	② 建設発生土の処理	(3.2.5) ※構外搬出適切処理 ・構内指定場所に堆積　・構内指定場所に敷均し

章	項目	特記事項
④ 地業工事	① 試験及び報告書	(4.2.1)(4.2.2)(4.3.4)(4.3.5)(4.5.5)(4.5.6) ○杭基礎 支持地盤の位置及び土質（基礎ぐいの先端位置含む） ○図示による　・ 試験杭の位置 ○図示による　・ ・直接基礎　(4.2.1) 支持地盤の位置及び土質（基礎底部の位置含む） ・図示による　・ 試験掘り（根切り底の状態の確認等）　(3.2.1) ・行わない ・行う 位置等　・図示による　・ ・杭の載荷試験　(4.2.3) 載荷試験の方法 ・鉛直載荷試験 ・地盤工学会基準JGS（　）による　・ ・水平載荷試験 ・地盤工学会基準JGS 1831 による　・ ・ 試験の位置，本数，載荷荷重 ・図示による　・ 報告書の記載事項 ・ ・地盤の載荷試験　(4.2.4) 載荷試験の方法 平板載荷試験　・地盤工学会基準JGS 1521 による　・ 試験の位置，載荷荷重 ・図示による　・ 報告書の記載事項 ・
	② 既製コンクリート杭	種類　(4.3.3) ○遠心力高強度プレストレストコンクリート杭（PHC杭） ○プレストレスト鉄筋コンクリート杭（PRC杭） ○外殻鋼管付きコンクリート杭（SC杭） SC杭の鋼管材料　・SKK400　○SKK490 ・ 杭の種類，性能及び曲げ強度区分（種別），寸法，継手の箇所数等　(4.2.2)(4.3.3) ○構造図による

	種類	コンクリート強度 (N/mm2)	杭径 (mm)	厚さ (mm)	杭長 (mm)	継手数	セット数	長期設計支持力 (kN/本)	備考
試験杭	上杭								
	中杭								
	下杭								
本　杭	上杭								
	中杭								
	下杭								

杭先端部形状　(4.3.3)
○開放形　・半開放形　・閉そく形　・

・セメントミルク工法　(4.3.1)(4.3.4)
掘削深さ
・図示による　・
杭の支持層への根入れ深さ
・図示による　・
杭の水平方向の位置ずれ精度
・杭径の1/4かつ100mm以下　・
根固め液及び杭周固定液の管理試験
※標準仕様書4.3.4(6)(3)による　・
○特定埋込杭工法　(4.3.1)(4.3.5)
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式でα=250を採用できる工法
○H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式のうちα，β，γが以下の値を採用できる工法
α=（　），β=（　），γ=（　）
工法
○プレボーリング拡大根固め工法
・中掘り拡大根固め工法
・

杭継手工法　(4.3.3)(4.3.6)(7.2.5)
・アーク溶接継手
溶接材料
・標準仕様書7.2.5(1)(2)による
・
○機械式継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの）
○技術審査を受けた工法

杭頭の処理　(4.3.8)
・処理しない
○処理する
処理方法（切断に伴う補強方法含む）
・図示による　・

明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	GEN	総合	最終版　2025.02.28
	07	建築工事特記仕様書(1)	見積版　2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

(2023年版)

241203

④ 地業工事〈続き〉

3 鋼杭地業

杭の種類（材料），寸法，継手等 (4.2.2)(4.4.3)(4.4.5)

		種類	杭径(mm)	厚さ(mm)	杭長(mm)	継手数	セット数	長期設計支持力(kN/本)	備考
試験杭	上杭								
	中杭								
	下杭								
本杭	上杭								
	中杭								
	下杭								

・特定埋込杭工法 (4.3.5)(4.4.4)
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式でα=250を採用できる工法
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式のうちα，β，γが以下の値を採用できる工法
α=（　　），β=（　　），γ=（　　）
工法
・中掘り拡大根固め工法
・

杭の継手の工法 (4.4.3)(4.4.5)(7.2.5)
・アーク溶接継手
溶接材料
・標準仕様書 7.2.5(1)(2)による
・
・機械式継手

杭頭の処理 (4.4.6)
・処理しない
・処理する
処理方法（切断を伴う補強方法含む）
・図示による　・

4 場所打ち コンクリート杭地業

工法 (4.5.1)(4.5.4～4.5.6)
・アースドリル工法
・リバース工法
・オールケーシング工法
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法
鋼管の種類　・SKK400　・SKK490　・
・拡底杭工法

寸法等 (4.2.2)(4.5.4)

	鋼管厚(mm)	鋼管径(mm)	軸径(mm)	拡底径(mm)	杭長(mm)	ｾｯﾄ数	長期設計支持力(kN/本)	備考
試験杭								
本杭								

・孔壁の確認（超音波測定器による） (4.5.5)
測定箇所
・試験杭（　）箇所，本杭（　）箇所　・

杭の支持層への根入れ深さ
・図示による　・
杭の水平方向の位置ずれ精度
・杭径の1/4かつ100mm以下　・

鉄筋の種類 (4.5.4)(5.2.1)

種類の記号	呼び径（mm）	備考
・SD295		
・SD345		
・		

帯筋の加工及び組立 (4.5.4)
・図示による　・

鉄筋の最小かぶり厚さ (4.5.4)
・100mm　・

鉄筋かごの補強 (4.5.4)
・図示による　・

組み立てた鉄筋の節ごとの継手 (4.5.4)(5.3.4)
※重ね継手　重ね継手の長さ　※標準仕様書 表5.3.2による　・
・

主筋の基礎底盤への定着長さ (4.5.4)(5.3.4)
・図示による　・

セメントの種類 (4.5.4)
※高炉セメントB種　・

コンクリートの設計基準強度 (4.5.4)
・図示による　・

コンクリートの種別 (4.5.4)(表4.5.1)
・A種　・B種
・評定等の内容による

スランプ (4.5.4)
・18cm　・21cm　・（　　）cm

構造体強度補正値（S） (4.5.4)
※3N/mm^2
・図示による（　　）
・評定等の内容による

⑤ 砂利地業

材料 (4.6.2)
⊙再生クラッシャラン　・切込砂利　・切込砕石
砂利の厚さ (4.6.3)
※60mm　・
範囲
⊙基礎下，基礎梁下，土に接するスラブ下，土間コンクリート下（地盤改良範囲は除く）
・図示による　・

6 砂地業

材料 (4.6.2)
・シルト　・山砂　・川砂　・砕砂
砂の厚さ (4.6.3)
※60mm　・
範囲
・図示による　・

⑦ 捨コンクリート地業

捨コンクリートの厚さ (4.6.4)
※50mm　・
範囲 (4.6.4)
⊙基礎下，基礎梁下，土に接するスラブ下
・図示による　・
コンクリートの種類 (4.6.4)(6.14.1)
※普通コンクリート　⊙高炉セメントB
設計基準強度 (4.6.4)(6.14.1)
※18N/mm^2　・
スランプ (4.6.4)(6.14.1)
※15cm又は18cm　・

意匠確認

⑧ 床下防湿層

材料 (4.6.2)
※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上　・
範囲 (4.6.5)
・建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く）
・図示による　・

⑤ 鉄筋工事

① 鉄筋

鉄筋の種類 (5.2.1)

種類の記号	呼び径(mm)	備　考
⊙ SD295	・D16以下	・床版、底版、あばら筋、帯筋
⊙ SD345	・D19以上D25以下	・柱主筋、梁主筋
⊙ SD390	・D29以上	・柱主筋、梁主筋

加工 (5.3.2)
・ 鉄筋の折曲げ角度が90°未満の折曲げ内法直径(D)（　　）以上

② 溶接金網

鉄線の形状等 (5.2.2)

種　類	種類の記号	網目の形状，寸法，鉄線の径(mm)	使用部位
⊙溶接金網	・WFP	・6Φ100目シングル	・壁の開口補強
・鉄筋格子			

③ 鉄筋の継手及び定着

鉄筋の継手の方法等 (5.3.4)

部　位	継手の方法		呼び径(mm)
柱及び梁主筋	⊙ガス圧接	・機械式継手	⊙図示による.
	・溶接継手	・重ね継手	
耐力壁の鉄筋	・重ね継手	・	・
基礎，耐圧スラブ，土圧壁	⊙重ね継手	・ガス圧接	⊙図示による.
上記以外（　　）	・重ね継手	・	・

継手位置 (5.3.4)
⊙図示による　・
柱及び梁主筋の重ね継手の長さ (5.3.4)
※標準仕様書 表5.3.2による
・図示による　・
耐力壁の重ね継手の長さ (5.3.4)
※標準仕様書 5.3.4(3)(ｱ)による
・図示による　・
・先組み工法等で、柱及び梁の主筋のうち、隣り合う継手を同箇所に設ける場合
・図示による　・
鉄筋の定着長さ (5.3.4)
※標準仕様書表5.3.4による
・図示による　・
標準仕様書5.3.4(5)(ｲ)の場合の折り曲げ定着の方法
※標準仕様書 図5.3.3により5.3.4(5)(ｲ)を全て満足する
・
機械式定着工法 (5.3.4)
・適用する
適用箇所　・図示による　・
種類　・図示による　・
⊙ガス圧接は（公社）日本鉄筋継手協会認定による「優良圧接会社」が行うものとする。
⊙日本鉄筋継手協会が認定した「A級継手圧接施工会社」が実施する場合は、A級継手を採用してものよい。
継手位置は日本鉄筋継手協会が定める位置を原則とする。 (5.3.5)

④ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網含む）

最小かぶり厚さ（目地底から算出を行う）
※標準仕様書 表5.3.6による
柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無
⊙あり　使用箇所（１～４階柱、基礎梁、２～５階梁　）
主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する
軽量コンクリートの適用の有無
・あり　適用箇所（　　）
・最小かぶり厚さに加える厚さ　（　　）mm
耐久性上不利な個所の有無（塩害等を受けるおそれのある部分等）
・あり　適用箇所（　　）
・最小かぶり厚さに加える厚さ　（　　）mm
・図示による

⑤ 各部配筋

各部配筋 (5.3.7)
⊙図示による　・

⑥ ガス圧接完了後の試験

抜取試験 (5.4.10)(5.4.11)
※超音波探傷試験　標準仕様書5.4.10(ｲ)(a)による
・引張試験
試験方法等　※標準仕様書5.4.10(ｲ)(b)による

7 機械式継手

適用箇所 (5.5.3)
・図示による　・

平成12建告第1463号に適合する性能 (5.5.3)
・A級　・

機械式継手の種類 (5.5.3)
・図示による　・

鉄筋相互のあき (5.5.3)
・評定等の内容による　・図示による

施工完了後の継手部の試験 (5.5.5)
・外観試験（全ての圧接部）
試験項目，試験方法
・図示による　・
・超音波測定試験
試験対象
・図示による　・

不合格となった継手部への措置 (5.5.5)
・図示による　・

8 溶接継手

適用箇所 (5.6.3)
・図示による　・

平成12年建設省告示第1463号に適合する性能 (5.6.3)
・A級　・

溶接継手の工法 (5.6.3)
・図示による　・

鉄筋相互のあき (5.6.3)
・図示による　・

施工完了後の継手部の試験 (5.6.5)
・外観試験（全ての圧接部）
試験項目，試験方法
・図示による　・
・超音波測定試験
試験対象
・図示による　・

不合格となった場合の措置 (5.6.5)
・図示による　・

⑥ コンクリート工事

① コンクリートの類別等

コンクリートの種別 (6.2.1)(表6.2.1)
※Ⅰ類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート）
・Ⅱ類（JIS A 5308に適合したコンクリート）

・普通コンクリート (6.2.1～6.2.4)(表6.2.2)

設計基準強度(N/mm^2)	スランプ(cm)	適用箇所
⊙33	※15又は18　・	1FL以下の躯体（立上りも含む）
⊙30	※18　・	1FL～3FLの躯体
⊙27	※18　・	3FL～5FLの躯体
⊙24	※18　・	5FL以上の躯体
・	・	

・ 軽量コンクリート (6.2.1)(6.2.10)
（特記事項は，「9. 軽量コンクリート」に示す）

・ 建築基準法第37 条第二号の規定に基づき認定を受けたコンクリート (6.2.1)

構造体強度補正値 (6.3.2)
※標準仕様書表6.3.2による
・

② セメント

種類 (6.3.1)
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種，シリカセメントA種又は
フライアッシュセメントA種
適用箇所（※下記以外全て　・　）
⊙高炉セメントB種
適用箇所（⊙ 1FL以下の躯体　）
・フライアッシュセメントB種
適用箇所（・　）
・普通エコセメント
適用箇所（・　）
・再生骨材Hを使用する 適用箇所（　） (6.3.1)
湿潤養生の期間（　）日以上 (6.7.2)
型枠の最小存置期間（　） (6.8.4)

③ 骨材

フェロニッケルスラグ骨材、銅スラグ細骨材及び電気炉酸化スラグ骨材 (6.3.1)
・使用する　適用箇所（・　）
アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1)
※A　・B

④ 混和材料

⊙混和剤 (6.3.1)
混和剤の種類
※標準仕様書 6.3.1(4)(a)による　・

・混和材 (6.3.1)
混和材の種類
※標準仕様書 6.3.1(4)(b)による　・

標準仕様書6.3.2(ｲ)(f)の①～③以外の混和材料 (6.3.2)
・混和剤（　）　・混和材（　）
使用方法　・
使用量　・

⑤ 打継ぎの位置，ひび割れ誘発目地，打継目地

打継ぎの位置 (6.6.4)
梁及びスラブ
※スパンの中央又は端から1/4の付近
・図示による　・
柱及び壁
※スラブ，壁梁又は基礎の上端
・図示による　・

目地の寸法（ひび割れ誘発目地を含む） (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)
※標準仕様書 9.7.3(1)(ｱ)による
・図示による　・
ひび割れ誘発目地の位置，形状 (6.8.1)
⊙図示による　・

意匠確認

⑥ コンクリートの仕上り

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(表6.2.4)

種　別	適　用　箇　所
⊙A種	⊙外部塗装仕上面
・B種	・図示
・C種	・図示

コンクリートの仕上げの平たんさ (6.2.5)(表6.2.5)

種　別	適　用　箇　所
⊙a種	⊙ビニル系床材部分
⊙b種	⊙カーペット部分
⊙c種	⊙内部二重床部分

⑦ 打増し厚さ（打放し仕上げ部）

打増し厚さ
⊙打放し仕上げの打増し厚さ（外部に面する部分に限る） (6.8.1)
⊙20mm　・
⊙打放し仕上げの打増し厚さ（内部に面する部分に限る）
⊙10mm　・20mm　・

打増し範囲
⊙図示による　・

⑧ 型枠

せき板の材料 (6.8.2)
※標準仕様書6.8.2(1)(ｱ)，(ｲ)による
・合板（ 厚さ ※12mm　・　）
・
意匠確認
・断熱材を兼用した型枠 (6.8.2)
使用箇所
・図示による　・

・MCR工法用シート (6.8.2)
適用箇所
・図示による　・

スリーブの材種・規格等 (6.8.2)
・図示による　・

9 軽量コンクリート

適用箇所 (6.10.1)
・図示による　・
種類 (6.10.1)(表6.10.1)
・1種　・2種
気乾単位容積重量
・（　）t/m^3
スランプ
※21cm　・

10 寒中コンクリート

適用期間 (6.11.1)
・図示による　・
構造体強度補正値(S) (6.11.2)
・標準仕様書6.11.2(3)(ｱ)による
・積算温度を基に定める　（　）

⑪ 暑中コンクリート

構造体強度補正値(S) (6.12.2)
※6N/mm^2　・

12 マスコンクリート

適用箇所 (6.13.1)
・図示による　・

セメントの種類 (6.13.2)
・普通ポルトランドセメント
・中庸熱ポルトランドセメント
・低熱ポルトランドセメント
・高炉セメントB種
・フライアッシュセメントB種
・シリカセメント

混和材料
・混和剤 (6.13.2)
混和剤の種類
※標準仕様書6.13.2(2)(ｱ)による　・
混和剤の種類
※標準仕様書6.13.2(2)(ｲ)による　・
スランプ (6.13.2)
※15cm　・

構造体強度補正値（s） (6.13.2)
※標準仕様書 表6.13.1による　・

⑥ コンクリート工事〈続き〉

⑬ 無筋コンクリート

コンクリートの種類 (6.14.1)
※普通コンクリート ・

設計基準強度 (6.14.1)
※18(N/mm²) ・

スランプ (6.14.1)
※15cm又は18cm ・

適用箇所 (6.14.1)
・標準仕様書 6.14.1(4)による
・図示による ・

・標準仕様書 表6.2.1以外のコンクリートを用いる場合 (6.14.1)
( )

14 流動化コンクリート

適用箇所 (6.15.1)
・図示による ・

15 コンクリートの単位水量測定

(6.5.1)
・行う ・行わない
実施要領
(1)単位水量の測定は，150m³に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。
(2)単位水量の上限値は，標準仕様書6.3.2(4)(c)による。
(3)単位水量の管理目標値は次の通りとして，施工する。
1)測定した単位水量が，計画調合書の設計値(以下，「設計値」という。)±15kg/m³の範囲にある場合はそのまま施工する。
2)測定した単位水量が，設計値±15を超え±20kg/m³の範囲にある場合は，水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し，その運搬車の生コンは打設する。その後設計値±15kg/m³以内で安定するまで，運搬車の3台毎に1回，単位水量の測定を行う。
3)設計値±20kg/m³を超える場合は，生コンを打込まずに持ち帰らせ，水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m³以内であることを確認する。さらに，設計値±15kg/m³以内で安定するまで，運搬車の3台毎に1回，単位水量の測定を行う。
4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。
(4)単位水量管理についての記録を書面(計画調合書，製造管理記録，打込み時の外気温，コンクリート温度等)と写真により提出する。
(5)単位水量の測定方法は，高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)，エアメータ法又は静電容量測定法による。また，試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。

⑦ 鉄骨工事

① 鉄骨製作工場

鉄骨製作工場の加工能力 (7.1.3)
⊙国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場
(M) グレード以上
⊙監督職員の承諾する工場 (鉄骨階段、目隠し受け鉄骨)

② 施工管理技術者

※適用する (7.1.3)(7.1.4)

③ 鋼材

材質等 (7.2.1)

種類の記号	適用箇所（主要な部分）	規格
SS400	SN400Aに規格のない2次部材(山形鋼,溝形鋼等)	⊙JIS規格による ・
SN400A	2次部材	⊙JIS規格による ・
SN400B, SN490B	大梁，剛接部材	⊙JIS規格による ・
SN490C	ダイヤフラム	⊙JIS規格による ・
STK400	柱	⊙JIS規格による ・
STKN490B	柱	⊙JIS規格による ・
SSC400	胴縁等	⊙JIS規格による ・

・t=40mmを超える部材は，TMCP鋼（大臣認定品）とする。

形状及び寸法 (7.2.1)
⊙図示による ・
板厚方向に引張力を受ける鋼材の試験 (7.2.10)
・行う（適用箇所： ） ⊙行わない

④ 高力ボルト

高力ボルトの種類 (7.2.2)
⊙トルシア形高力ボルト
⊙JIS形高力ボルト
⊙溶融亜鉛めっき高力ボルト
・建築基準法に基づき認定を受けた高力ボルト
⊙原則、トルシア形高力ボルトとする.

ボルトの寸法 (7.2.2)
ねじの呼び ⊙図示による ・
ボルトの縁端距離，ボルト間隔，ゲージ等 (7.3.2)
⊙図示による ・

摩擦面の性能及び処理
・すべり試験 (7.4.2)
試験の方法等
・図示による ・
⊙溶融亜鉛めっき面の摩擦面の処理方法 (7.12.5)
※標準仕様書7.12.5(1)(ｱ)，(ｲ) による
・

JIS 形高力ボルトの締付け（本締め） (7.4.7)
ナット回転法の場合で、ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超える場合の回転量
・図示による ・

⑤ 普通ボルト

ボルト及びナットの材料 (7.2.3)
※標準仕様書 表7.2.3による ・
ボルトの形状及び寸法 (7.2.3)
ねじの呼び ⊙図示による ・

ボルトの縁端距離，ボルト間隔，ゲージ等 (7.3.2)
⊙図示による ・

母屋又は胴縁の取付けに使用するボルトの孔径 (7.3.8)
※ねじの呼び径＋1.0mm ・

⑥ アンカーボルト

種類 (7.2.4)
⊙構造用アンカーボルト
⊙ABR400 ・ABR490 ⊙SNR400B
⊙建方用アンカーボルト
⊙SS400 ・ ・
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
※標準仕様書7.2.3による ・

ボルトの縁端距離，ボルト間隔，ゲージ等 (7.3.2)
⊙図示による ・

⑦ 溶接材料

溶接材料 (7.2.5)
⊙標準仕様書 7.2.5(1)(2)による
・図示による ・

⑧ ターンバックル

種類 (7.2.6)
建築用ターンバックルボルト
※羽子板ボルト ・
建築用ターンバックル胴
※割枠式 ・
ねじの呼び等 (7.2.6)
・図示による ・

⑨ 床構造用デッキプレート

材質，形状及び寸法 (7.2.7)

	適用箇所	材質・形状・寸法	備 考
・デッキプレート単独の構法			
・デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法			
⊙床型枠用鋼製デッキプレート	3～4F、X3通りよりX2通り側の床	SGCC-Z12 (t=0.8～1.6)	

鉄骨部材への溶接方法 (7.7.8)
⊙図示による ・

⑩ スタッド

種類等 (7.2.8)

呼び名	呼び長さ (mm)	適 用 箇 所
⊙16	100, 120	梁
⊙19	100, 120	梁
・22		

⑪ 柱底均しモルタル

⊙無収縮モルタル (7.2.9)(表7.2.5)
無収縮モルタルの材料，調合等
※標準仕様書7.2.9(2)による ・
・標準仕様書7.2.9(1)によるモルタル

12 鉄骨の仮組

※行う (7.3.10)
仮組を行う範囲
・図示による ・

⑬ 溶接技能者の技量付加試験

試験の要領 (7.6.3)
・図示による ⊙ 溶接技能者は「AW検定」の有資格者とし、「AW検定」の有資格者でない者が溶接作業に従事する場合は「AW検定」に準じた技量付加試験を実施する。

⑭ 溶接接合

開先の形状 (7.6.4)
⊙図示による ・

鋼製エンドタブを切断する箇所及び切断範囲 (7.6.7)
・図示による ⊙ 全ての箇所
切断面の仕上げ
※標準仕様書7.6.7(1)(ｶ)(b)②による ・
スカラップの形状
・図示による ⊙ノンスカラップ工法
・改良型スカラップ工法
低応力高サイクル疲労を受ける部位 (7.6.7)
・図示による ・

⑮ 溶接部の試験

溶接部の外観試験 (7.6.12)
平成12年建設省告示第1464号第二号に関する試験
試験の方法
⊙「 突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル（鉄骨製作管理技術者登録機構）」3.5.2 受入検査による。
・抜き取り検査① ※抜き取り検査②
・
JASS6付則6の付表3「溶接」に関する試験
試験の方法
⊙JASS 6 10.4［受入検査］e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし，完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は，超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。
・

・完全溶込み部の超音波探傷試験 (7.6.12)
⊙工場溶接の場合
AOQL(%) ※4.0 ・2.5

節	⊙全て		
検査水準	※第6水準		

⑯ 錆止め塗装

塗料の範囲 (7.8.2)
耐火被覆材の接着する面の塗装範囲
・図示による ・
耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲
⊙標準仕様書7.8.2(1)による
・図示による
下記以外の塗料の種別は，18 章による
・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止めの塗料の種別 (表18.3.1)
※A種 ・B種
・耐火被覆が接着する面の塗料の種別
・

⑰ 耐火被覆

種類，材料，工法等 (7.9.2～7.9.8)

種 類	材料・工法	耐火性能（時間）	適用箇所（部位・部分）
⊙耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール		
	⊙半乾式吹付けロックウール	1時間	仕上内の梁・小梁
	・湿式ロックウール		
	・		
	・		
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板		
	・		
・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール		
	・		
・ラス張りモルタル塗り	—		
・耐火シート			

⑱ アンカーボルトの設置等

構造用アンカーボルトの形状及び寸法 (7.10.3)
⊙図示による ・

構造用アンカーフレームの形状及び寸法 (7.10.3)
・図示による ・

建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (7.10.3)(表7.10.1)
種別 ⊙A種 ・B種

柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別 (7.10.3)(表7.10.2)
厚さ ⊙ 30 mm
種別 ※A種 ・

19 軽量形鋼構造

ボルト接合方法 (7.11.2)
・普通ボルト接合 ・

① 設備等の構造関係規定に関する法適合確認チェック

⊙建築設備（昇降機を除く。）、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとすること。
・屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に緊結すること。
・煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支枠を設けたものを除き、90cm以下とすること。
・煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。
⊙建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、
⊙風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
⊙建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
⊙管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可とう継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
⊙管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他震動及び衝撃の緩和のために措置を講ずること。
⊙法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものにあっては、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとすること。
⊙構造耐力上主要な部分となる部材に設ける開口部の大きさ及び形状、ならびに手すり等は、風圧、土圧及び水圧ならびに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
⊙給湯設備は風圧、土圧および水圧並びに地震その他の振動および衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。満水時の質量が15Kgを超える給湯設備については、地震に対して安全上支障のない構造とし、平成12年建設省告示第1388号第5に規定する構造方法によること。

2 エスカレータの脱落防止に関する事項

・ H25国交省告示1046号に基づき、エスカレータの非固定部には適切な脱落防止措置を講ずるものとする。
・ エスカレータ支持材の建築物に対する隙間およびかかり代長さは、（設置階階高×1/100+20mm）以上とする。

⑧ コンクリートブロック・ALCパネル及び押出成形セメント板工事

1 補強コンクリートブロック造

材料 (8.2.2)

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)	モデュール呼び寸法 (mm) 長さ	モデュール呼び寸法 (mm) 高さ	化粧の有無	適用箇所	備考
※空洞ブロックC(16)				・無 ・有		
・				・無 ・有		
・				・無 ・有		

モルタルの調合（容積比） (8.2.3)
ブロックの区分が A(08)，B(12)，C(16)の場合で、目地巾が10mm程度の場合
※標準仕様書 表8.2.1による
上記以外の場合 ・

各部の配筋 ・図示による ・ (8.2.5)

目地仕上げ ・押し目地仕上げ ・化粧目地仕上げ (8.2.7)

まぐさを受ける開口部両側のブロックにおいて，モルタル又はコンクリートで充填するブロックの範囲 (8.2.8)
・図示による ・

2 コンクリートブロック帳壁及び塀

材料 (8.3.2)(表8.3.1)

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)	モデュール呼び寸法 (mm) 長さ	モデュール呼び寸法 (mm) 高さ	化粧の有無	適用箇所	備考
※空洞ブロックC(16)				・無 ・有	※8.3.1	
・	・120 ・150			・無 ・有	※帳	
・				・無 ・有		

モルタルの調合（容積比） (8.3.3)
ブロックの区分がA(08)，B(12)，C(16)の場合で，目地巾が10mm程度の場合
※標準仕様書 表8.2.1による
上記以外 ・

鉄筋の継手，定着及び末端部の折り曲げ形状 (8.3.4)
・図示による ・

各部の配筋 ・図示による ・ (8.3.4)

③ ALCパネル

材料，構法 (8.4.2～8.4.5)(表8.4.2～表8.4.4)

パネルの区分 用途	形状	表面加工	単位荷重 (N/m²)	厚さ (mm)	幅及び長さ (mm)	耐火性能 (時間)	構法の種別
⊙外壁用	⊙一般 ・コーナー	⊙平 ・意匠	1960	⊙100 ・150	⊙W600×Hl,300 ・図示	⊙有 (1)	⊙A種 ・B種
・間仕切壁用	・一般 ・コーナー	・平 ・意匠		・100 ・120	・図示	・有 (1) ・無	・C種 ・D種 ・E種
・屋根版用	—	—		・100 ・	・図示	・有 (0.5)	・F種
・床版用	—	—		・100 ・120	・図示	・有 (2) ・無	

パネル相互の接合部に挿入する耐火目地材 (8.4.2)
⊙図示による ・
⊙外壁パネル構法、屋根及び床パネル構法 (8.4.5)(8.4.5)
外壁ﾊﾟﾈﾙ構法における建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ⊙ 適用する

・間仕切壁パネル構法 (8.4.4)

パネル幅の最小限度 (mm) (8.4.3)(8.4.4)(8.4.5)
・300 未満（・図示 ・ ）
パネルの短辺小口相互の接合部、出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部の伸縮目地の目地幅 (mm) (8.4.3)(8.4.4)
※0～20mm ・図示による
伸縮目地への耐火目地材の充填 ⊙適用する ・適用しない (8.4.3)(8.4.4)
特記なき限り、ALC板取付金物及び建具開口補強は、ALC工事に含む。

4 押出成形セメント板(ECP)

材料，工法 (8.5.2～8.5.4)(表8.5.1)(表8.5.2)

パネルの種類	形状	厚さ (mm)	幅 (mm)	工法の種別	備考
・外壁パネル	・F（フラットパネル）	・50 ・60 ・	・600	・A種	
	・D（デザインパネル）	・50 ・60	・800	・B種	
	・T（タイルベースパネル）	60	・900		
・間仕切壁パネル	・F（フラットパネル）	・50 ・60 ・	600	・B種	
	・D（デザインパネル）	・50 ・60		・C種	
	・T（タイルベースパネル）	60			
・ルーバーパネル	・F（フラットパネル）	・50 ・60	・600	・縦張り ・差込クリップ工法	

・外壁パネル工法 (8.5.3)
建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ・ 適用する

・間仕切壁パネル工法 (8.5.4)

耐火構造以外の目地及び隙間の処理 (8.5.3)(8.5.4)
※パネルの製造所の仕様による ・
パネル幅の最小限度 (mm) (8.5.3)(8.5.4)
・300未満（・図示 ・ ）
パネルの相互の目地幅 (mm) (8.5.3)(8.5.4)
長辺の目地幅 ・8以上 ・図示による
短辺の目地幅 ・15以上 ・図示による
出隅及び入隅のパネル接合部の伸縮目地の目地幅 (mm) (8.5.3)(8.5.4)
※15 程度（シーリング材を充填） ・図示による
溝堀及び開口部の措置 (8.5.5)
やむを得ず設備開口等を設ける場合のパネルの開口寸法等の限度
・図示による ・無し ・パネル幅の半分以下

⑨ 防水工事

1 アスファルト防水

(9.2.2)(9.2.3)(表9.2.3～表9.2.6)

・屋根保護防水
防水層の種別

種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート
・A-1			※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上又は フラットヤーンクロス70g/㎡程度 ・
・A-2			
・A-3			
・B-1			
・B-2			
・AI-1		（厚さ） ・50 mm	※フラットヤーンクロス 70g/㎡程度 ・
・AI-2			
・AI-3			
・BI-1			
・BI-2			

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9.2.2)
※標準仕様書 表9.2.3及び表9.2.4による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ・R種 ・N種
厚さ ・ mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9.2.2)
※標準仕様書 表9.2.5及び表9.2.6による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ・R種 ・N種
厚さ ・ mm以上
押え金物の材質及び形状寸法 (9.2.2)
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
・
立上り部への断熱材及び絶縁用シートの設置 (表9.2.4)(表9.2.6)
・適用する ・適用しない

屋根露出防水 (9.2.2)(9.2.3)(表9.2.7)(表9.2.8)
防水層の種別

種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	
			種類	使用量
・D-1			・	※製造所の仕様による ・
・D-2				
・D-3				
・D-4		（種類） ・ （厚さ） ・25mm		
・DI-1				
・DI-2				

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9.2.2)
※標準仕様書 表9.2.8による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ・R種 ・N種
厚さ ・ mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9.2.2)
※標準仕様書 表9.2.7及び表9.2.8による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ・R種 ・N種
厚さ ・ mm以上
押え金物の材質及び形状寸法 (9.2.2)
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
・
絶縁工法及び断熱絶縁工法の脱気装置の種類及び装置数量 (9.2.3)
種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・
設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・ 個

屋内防水 (9.2.2)(9.2.3)(表9.2.9)
防水層の種別

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・E-1		・E-2	

保護層 ・設ける（ ※図示 ・ ） (9.2.3)
・設けない
E-1の工程3を行う場合の部位 (表9.2.9)
※貯水槽、浴槽等の常時水に接する部位
・

(9.2.4)
防水層の下地のモルタル塗り (9.2.4)
・適用する（施工範囲 ・図示 ・ ）
・適用しない
防水層の下地、立上りコンクリート打放し仕上げ (9.2.4)
※標準仕様書 表6.2.4のB種 ・
絶縁断熱工法のルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 (9.2.4)
・図示による ・

・保護層等の施工 (9.2.5)
平場の保護コンクリートの厚さ (9.2.5)
こて仕上げ ※水下 80mm以上 ・
床タイル張り ※水下 60mm以上 ・
立上り部の保護工法 (9.2.5)
・乾式保護材
乾式保護材の材料 ・乾式保護材 (9.2.2)
・コンクリート押え
・モルタル押え（屋内等）
・れんが押え（・図示 ・ ）
れんがの材料
・JIS R 1250（普通れんが及び化粧れんが） (9.2.2)
・
屋上排水溝の設置 (9.2.5)
・図示による ・

2 改質アスファルトシート防水

防水層の種別 (9.3.2)(9.3.3)(表9.3.1)(表9.3.3)

種別	施工箇所	断熱材	防湿層	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量
・AS－T1				・	※製造所の仕様による ・
・AS－T2					
・AS－T3					
・AS－T4					
・AS－J1					
・ASI－T1		（種類） ・ （厚さ） ・ mm	・設ける ・設けない		
・ASI－J1					

改質アスファルトシートの種類及び厚さ (9.3.2)
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による ・
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ (9.3.2)
※標準仕様書表9.3.2及び表9.3.3による ・
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ (9.3.2)
※標準仕様書表9.3.2及び表9.3.3による ・
押え金物の材質及び形状寸法 (9.3.2)
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 ・

屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 (9.3.3)
種類 ※改質アスファルトシートの製造所の指定
・
設置数量 ※改質アスファルトシートの製造所の指定
・ 個

3 合成高分子系ルーフィングシート防水

防水層の種別 (9.4.2～9.4.4)(表9.4.1～表9.4.2)

種別	施工箇所	可塑剤移行防止シートの材質	断熱材	歩行の仕様	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量
・S-F1				※非歩行用 ・軽歩行用	・	※製造所の仕様による ・
・S-F2						
・S-M1					・	※製造所の仕様による ・
・S-M2						
・SI-F1			（種類） ・ （厚さ） ・ mm		・	※製造所の仕様による ・
・SI-F2						
・SI-M1			（種類） ・ （厚さ） ・ mm		・	※製造所の仕様による ・
・SI-M2		※発泡ポリエチレンシート ・				

屋内防水層の種別 (9.4.2～9.4.4)(表9.4.1～表9.4.2)

種別	施工箇所	保護層 平場のモルタル塗り 塗厚（mm）	保護層 平場のモルタル塗り 工法	保護層 立上り部の保護モルタル塗り厚さ
・S-CI	・	・	・床塗り ・下地モルタル塗り	※7mm以下 ・

ルーフィングシートの種類及び厚さ (9.4.2)
※標準仕様書表9.4.1から表9.4.3による ・
固定金具の材質及び形状 (9.4.2)
材質 ※防錆処理した鋼板，ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの
・
厚さ(mm) ※0.4以上
・
接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 (9.4.3)
種類 ※ルーフィングシートの製造所の仕様
・
設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様
・ 個
断熱工法（SI-M1，SI-M2の場合）の防湿用フィルム (表9.4.2)
・設置する ・設置しない

接着工法の場合のＰＣコンクリート部材防水下地の目地処理 (9.4.4)
・行う（・図示 ・ ） ・行わない
ＰＣコンクリート下地の入隅部の増張り (9.4.4)
(S-F1，SI-F1の場合)
・行う（・図示 ・ ） ・行わない
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け (9.4.4)
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・図示による ・

④ 塗膜防水

防水層の種別 (9.5.3)(表9.5.1)(表9.5.2)

種別	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	保護層
・X-1		・	※製造所の仕様による ・	
◎X-2	・バルコニー ◎パラペット天端 ◎設備取出口天端 ・屋内防水箇所	◎一般（カラー）	※製造所の仕様による ・	
・Y-1	・地下外壁防水 ・			
・Y-2	・屋内防水 ・			・ ・

ウレタンゴム系塗膜防水 X-1（絶縁工法）の脱気装置の種類及び設置数量 (9.5.3)
種類 ※主材料の製造所の仕様 ・
設置数量 ※主材料の製造所の仕様 ・ 個
◎ウレタン複合防水 メーカーリスト同等とする
◎ポリマーセメント塗膜防水 メーカーリスト同等とする

⑤ケイ酸質系塗布膜防水
ケイ酸質系塗布防水材の適用部位 ◎EVピット、消火水槽 ※ 表9.6.1による (9.6.1)(表9.6.1)
防水層の種別 ◎ C-UI ・ C-UP (9.6.3)(表9.6.2)
壁及び天井部の防水層下地の仕上げ ※ ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上げ（B種） ・ 図示 (9.6.4)
ｺﾝｸﾘｰﾄの打継ぎ箇所の処理 ※ V形にはつり、水洗い清掃後、指定材料を充填 ・ 図示 **(9.6.4)**
標仕の規定以外の下地処理 ※ 図示 (9.6.4)

⑥シーリング
材料 (9.7.2)
種類及び施工箇所
※下表以外は，標準仕様書 表9.7.1による
ただし，外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは11章に，カーテンウォールの場合のシーリングは17章による。

施工箇所	シーリング材の種類（記号）

２成分形ポリウレタン系シーリング材はノンブリードタイプとする。
目地寸法 ・図示
※SR-2 w15×D10， MS-2 w18×D10， PS-2・PU-2 w20×D12
材料
◎防火戸などの耐火・防火認定仕様に用いるシーリング材は当該認定条件に基づく材質とする。外壁貫通部（とい・配管など）は、つば付きスリーブ打込みとし、外部側開口部は2重シーリングとする。
◎遮音間仕切壁のシーリング材はアクリル系とする。
シーリング材の目地寸法 (9.7.3)
※標準仕様書9.7.3(1)による ・
接着性試験 (9.7.5)
※簡易接着性試験 ◎引張接着性試験（外部金属パネル目地部） ・

10 石工事

1 施工

石材の割付け ◎図示による ・ (10.1.3)
※現場にて見本張りを行い、監督員の承認を得ること。

2 石材等

天然石 (10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2)

施工箇所	岩石の種類	形状及び寸法	表面仕上げの種類	バフ仕上げの有無	備考

テラゾブロック (10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2)

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状による区分	仕上げ面による区分	寸法(mm)	表面仕上げの種類	備考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5～12 ・	・平もの ・役もの	・片面 ・両面			

テラゾタイル

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分（mm）	表面仕上げの種類	備考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5～12 ・	・300×300 ・400×400		

取り付用モルタル，既調合の目地用モルタル，浸透性吸水防止剤，石裏面処理材，裏打ち処理材，金物の固定に使用する充填材料
※専門工事業者の指定する製品 ・ (10.2.3)

3 外壁湿式工法

受金物 材質 ※ステンレス（SUS304）製 ・ (10.2.2)
形状及び寸法
※ L-75×75×6（mm）
（・長さ＝100mm ・長さ＝150mm）
・
アンカーの材質及び寸法 (10.2.2)
材質：※SS400 ・ 寸法：
あと施工アンカーの種類，材質及び寸法
種類： 材質： 寸法：
上記以外の金物の材質，形状及び寸法
・図示による ・

ドレンパイプの材質 (10.2.3)
・樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25～35φ
・

石材の厚さ（mm） ・ (10.3.2)
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
下地ごしらえ ※あと施工アンカー・横筋流し工法 (10.3.3)
・流し筋工法
・あと施工アンカー工法
目地 一般目地 目地幅（mm） ※6以上 ・ (10.3.3)
シーリング材 ・適用する ・適用しない
伸縮調整目地
位置 ※標準仕様書 表11.1.1による
・図示による
シーリング材の目地寸法
※幅・深さとも10mm以上
・図示による

4 内壁空積工法

受金物 材質 ※ステンレス（SUS304）製 ・ (10.2.2)
形状及び寸法
※ L-75×75×6（mm）
（・長さ＝100mm ・長さ＝150mm）
・
アンカーの材質及び寸法 (10.2.2)
材質：※SS400 ・ 寸法：
あと施工アンカーの種類，材質及び寸法
種類： 材質： 寸法：
上記以外の金物の材質，形状及び寸法
・図示による ・

石材の厚さ（mm） ・ (10.4.2)
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
下地ごしらえ ※あと施工アンカー・横筋流し工法 (10.4.3)
・あと施工アンカー工法
目地 一般目地 目地幅（mm） ※6以上 ・ (10.4.3)
シーリング材 ・適用する ・適用しない
伸縮調整目地
位置 ※6m程度ごと
・図示による
シーリング材の目地寸法
※幅・深さとも10mm以上
・図示による

5 外壁乾式工法

外壁乾式工法の方式による金物の種類，形状，寸法等 (10.2.2)
※標準仕様書 表10.2.4による
方式 ・スライド方式 ・ロッキング方式
・図示による

アンカーの材質及び寸法 (10.2.2)
材質：※ステンレス(SUS304) 製 ・ 寸法：
あと施工アンカーの種類，材質及び寸法
種類： 材質： 寸法：
上記以外の金物の材質，形状及び寸法
・図示による ・

石材の厚さ（mm） ・ (10.5.2)
だぼ用の穴の位置
※標準仕様書10.5.2(2)(ｱ)による ・図示による
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 (10.5.3)
・図示による ・
目地 目地幅（mm） ※8以上 ・ (10.5.3)
シーリング材 ・適用する
（※標準仕様書9.7による ・図示 ）
・適用しない

6 床及び階段の石張り

石材の厚さ（mm） 床（ ），階段（ ） (10.6.2)(10.6.3)
床石張り (10.6.2)
浸透性吸水防止剤 ・適用する ・適用しない
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
階段張り (10.6.3)
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
目地 一般目地 目地幅（mm） (10.6.2)(10.6.3)
・図示による ・
シーリング材 ・適用する ・適用しない
伸縮調整目地
位置 ※床面積30㎡程度ごと，細長い通路の場合6m程度ごと及び他部材との取り合い部
・図示による
シーリング材の目地寸法
※幅・深さとも10mm以上
・図示による

7 笠木，甲板等の石張り

取付け工法 (10.7.2)(10.2.2)
・湿式工法 ・乾式工法
湿式工法の取付け金物 ・標準仕様書10.2.2(1)による
・図示による
乾式工法の取付け金物 ・標準仕様書10.2.2(2)による
・図示による
方式・スライド方式 ・ロッキング方式
特殊部位用金物 ・標準仕様書10.2.2(3)による
・図示による
ファスナー ・図示による
アンカーの材質及び寸法 (10.2.2)
湿式工法の材質：※ステンレス（SUS304）製 ・
寸法：
乾式工法の材質：※SS400 ・
寸法：
あと施工アンカーの種類，材質及び寸法
種類： 材質： 寸法：
上記以外の金物の材質，形状及び寸法
・図示による ・

石材の厚さ（mm） ・ (10.7.2)
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
乾式工法の場合の取付け代 ※標準仕様書10.5.3(2)による
・
石裏の補強用モルタル ・適用する ・適用しない
目地 (10.7.2)
湿式工法の場合
一般目地 目地幅（mm） ※6以上 ・ (10.3.3)
シーリング材 ・適用する ・適用しない
伸縮調整目地
位置 ※標準仕様書 表11.1.1による
・図示による
シーリング材の目地寸法
※幅・深さとも10mm以上
・図示による
乾式工法の場合
目地幅（mm） ※8以上 ・ (10.5.3)
シーリング材 ・適用する（※標準仕様書9.7による ・図示）
・適用しない

8 隔て板

石材の厚さ（mm） ※40 ・ (10.7.3)

明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	GEN	総合	最終版 2025.02.28
	10	建築工事特記仕様書(4)	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

⑪ タイル工事

① 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
位置　※標準仕様書 表11.1.1による　(11.1.3)
・図示による

② 見本焼、試験施工
見本焼き　・行う　・行わない　(11.1.4)
試験張り　・行う　・行わない

③ セメントモルタルによるタイル張り

タイルの形状，寸法等　(11.2.2)(11.2.3)(11.2.6)

施工箇所	種類	形状寸法(mm)	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
外部テラス	床	600x600x10	⊙	・	・	⊙	・	・	⊙	⊙	・	⊙	・	⊙	
風除室	床	600x600x10	⊙	・	・	⊙	・	・	⊙	⊙	・	⊙	・	⊙	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

※ 標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形品とする。
既調合モルタル　(11.2.3)
⊙既調合モルタルの製造所の仕様による
下地モルタル塗りのコンクリート素地面の下地処理方法　(11.2.6)
⊙目荒し工法（標準仕様書15.3.4(4)による）
・MCR工法（標準仕様書6.8による）
壁タイル張りの工法　(表11.2.3)
内装タイル　・密着張り　・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル　・マスク張り　・モザイクタイル張り

④ 有機系接着剤によるタイル張り

タイルの形状，寸法等　(11.3.2～11.3.4)(11.3.7)

施工箇所	種類	形状寸法(mm)	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考

※ 標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形品とする。
接着剤のホルムアルデヒド放散量　(11.3.3)
※ Ｆ☆☆☆☆　⊙規制対象外
外装タイルにおける目地詰め　(11.3.3)(11.3.5)
・行う　・行わない
目地のシーリング材　(11.3.4)
打継ぎ目地　※ポリウレタン系シーリング材　・
ひび割れ誘発目地　※ポリウレタン系シーリング材　・
伸縮調整目地　※変成シリコーン系シーリング材　・
その他の目地　※変成シリコーン系シーリング材　・
下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の下地処理方法　(11.3.5)
・目荒し工法（標準仕様書15.3.4(4)による）
・MCR工法（標準仕様書6.8による）

⑫ 木工事

① 施工一般
ホルムアルデヒド放散量　(12.2.1)
※標準仕様書12.12.1(ｶ)のいずれかによる　・

② 製材

・「製材の日本農林規格」による下地用製材　(12.2.1)(表12.2.1)

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理
2階高欄笠木	170 x 50	※2級 ・	※A種　・B種 ・	
		※2級 ・	※A種　・B種 ・	

・「製材の日本農林規格」による造作用製材　(12.2.1)(表12.2.1)

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理
見え掛り面		※上小節 ・	※A種　・B種 ・	
見え掛り面以外		※小節以上 ・	※A種　・B種 ・	
			※A種	

・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材　(12.2.1)(表12.2.1)

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理
		※1等 ・	※10%以下 ・A種　・B種	
		※1等	※10%以下	

・「製材の日本農林規格」以外の製材　(12.2.1)(表12.2.1)(表12.2.2)(12.2.3)

施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	含水率	防虫処理
		(　　) 造作材の場合 (※A種　・B種)	※A種　・B種 ・	・行う ・行わない

③ 造作用集成材
・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材　(12.2.1)

施工箇所	品名	樹種名	寸法（mm）	見付け材面	見付け材面の品質
					※1等　・2等

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材　(12.2.1)

施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ（mm）	見付け材面	見付け材面の品質
		化粧薄板： 芯材：				※1等　・2等

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材　(12.2.1)

施工箇所	樹種	寸法（mm）	見付け材面の品質	含水率（%）
				※15以下 ・
				※15以下 ・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材　(12.2.1)

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ（mm）	見付け材面の品質	含水率
	化粧薄板： 芯材：				※15以下 ・
	化粧薄板： 芯材：				※15以下 ・

④ 造作用単板積層材
・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材　(12.2.1)(12.3.1)

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質（表面の化粧加工）	防虫処理
			・有り（加工：・天然木化粧加工 ・塗装加工） ・無し（等級：・1等　・2等　・3等）	・行う ・行わない

・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材　(12.2.1)(12.3.2)

施工箇所	寸法(mm)	表面の品質（表面の化粧加工）	含水率	防虫処理
		・有り（加工：・天然木化粧加工 ・塗装加工） ・無し　（　　）	※14%以下 ・	・行う ・行わない

・ＣＬＴ（直交集成板）　(12.2.1)

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能（使用環境）	樹種名	寸法(mm)

⑤ 合板等
・「合板の日本農林規格」による普通合板　(12.2.1)(12.3.2)

施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理
		※5.5 ・		※1類 ・2類	広葉樹　・1等　※2等以上 針葉樹　※C-D以上　・	・行う ・行わない
		・			・	

⊙「合板の日本農林規格」による構造用合板　(12.2.1)(12.3.2)

施工箇所	品名	厚さ(mm)	等級	単板の樹種名	板面の品質	保存処理	防虫処理	強度等級
ホール壁	有孔合板	※12 ⊙6	・1級 ※2級以上	・杉	・ ※C-D以上		⊙行う ・行わない	
		※12 ・	・1級 ※2級以上	・杉	・ ※C-D以上		・行う ・行わない	

接着の程度　常温湿潤状態となる場所での使用
※特類　・
その他の場合
※1類以上　・

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板　(12.2.1)(12.3.2)

施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
				・1類 ・特類	・行う ・行わない

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板　(12.2.1)(12.3.2)

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ（mm）	接着の程度	防虫処理
			・1類　・2類	・行う ・行わない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板　(12.2.1)(12.3.2)

施工箇所	品目	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理
			・1類 ・2類		・オーバーレイ ・プリント ・塗装	・行う ・行わない

・パーティクルボード　(12.2.1)

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)
		※13タイプ ・	※MR1(M)又はMR2(P)タイプ ・		※15 ・

・構造用パネル　(12.2.1)

施工箇所	品　名	寸法(mm)

・ＭＤＦ　(12.2.1)

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

⑥ 接合具等
造作材の化粧面の釘打ち　(12.2.2)
・適用する（※隠し釘打ち　・　　）　・適用しない
諸金物の形状，寸法及び材質　(12.2.2)(表12.2.3～表12.2.5)
※標準仕様書12.2.2(2)(ｱ)による　・
接着剤（木れんが用接着を含む）のホルムアルデヒド放散量　(12.2.2)(12.2.3)
※Ｆ☆☆☆☆　・規制対象外

⑦ 防腐・防蟻処理
・薬剤による防腐・防蟻処理を省略できる樹種による製材　(12.3.1)
適用部材：（　　）

・工場における薬剤の加圧注入処理による防腐・防蟻処理　(12.3.1)

適用部材	保存処理性能区分
	・Ｋ２　・Ｋ３　・Ｋ４
	・Ｋ２　・Ｋ３　・Ｋ４

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理　(12.3.1)

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	※薬剤の製造所の仕様による ・	・
	・	・

・薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理　(12.3.1)
適用部材：（　　）

・合板等の加圧注入処理等による防腐・防蟻処理　(12.3.1)
適用部材：（　　）

⑧ 間仕切軸組に用いる木材　※（製材を用いる場合）杉又は松　・　(12.4.1)

⑨ 床組に用いる木材　※（製材を用いる場合）杉又は松　・　(12.4.1)

⑩ 窓，出入口，その他に用いる木材　※（製材を用いる場合）吊元枠、水掛りの下枠及び敷居は、ひのき、その他は、松又は杉　・　(12.5.1)

⑪ 絶甲板及び上がまちに用いる木材　※（製材を用いる場合）ひのき　・　(12.6.1)

⑫ 壁及び天井に用いる木材　※（製材を用いる場合）杉又は松　・　(12.7.1)

⑬ 屋根及びとい工事

① 長尺金属板葺
材料　(13.2.2)(13.2.3)(表13.2.1)

施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性の種類、めっき付着量等	厚さ(mm)	屋根葺形式	葺板の寸法・厚さ	下地	留め付け方法
	※JIS G 3322の屋根用ｺｲﾙ ・			・立て平葺 ・心木なし瓦棒葺 ・横葺 ・			

下葺材料　・アスファルトルーフィング940
・改質アスファルトルーフィング下葺材
・一般タイプ
・複層基材タイプ
・粘着層付タイプ

工法　(13.2.3)
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・図示による　・
横葺の場合のけらば納め
・つかみ込み納め　・けらば包み納め
雪止め　・設置する（・図示　・　　）

② 折板葺
材料　(13.3.2)(表13.2.1)

施工箇所	形式	山高，山ﾋﾟｯﾁによる区分 山高	山ﾋﾟｯﾁ	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板
多目的ホール屋根 断熱二重折板葺き	かん合形(下弦)	160	500	ガルバリウム鋼板	0.6	⊙有り ・無し
	はぜ締め(上弦)	160	500	ガルバリウム鋼板	0.8	・有り ⊙無し

材質の種類（　　）
塗膜の耐久性の種類、めっき付着量等（　　）
断熱材　⊙有り（種別：グラスウール　厚さ(mm)：100　　防火性能：　　）
・無し
工法　(13.3.3)
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
⊙図示による　・
耐雪性能に応じた工法
○・適用する（・図示　・　　）　⊙適用しない
折板のけらば納め　※けらば包みによる方法　⊙　けらば水切押え

③ 粘土瓦葺
材料　(13.4.2)

施工箇所	種類 製法による区分	形状による区分	寸法による区分	大きさ	産地	役物瓦の種類	雪止め瓦

JIS A 5208 に基づく凍害試験　・行う　・行わない
瓦桟木　材質　※杉　・
寸法　※幅21×高さ15(mm)以上　・
棟補強用心材　材質　※杉　・
寸法　※幅40×高さ30(mm)以上　・
瓦緊結用釘又はねじ　種類　・
径　・
長さ　・
棟補強等に使用する金物等
材質　・ステンレス製
・溶融亜鉛めっき処理を行った鋼製
形状　・
寸法　・
留め付け方法　・
工法　(13.4.3)
建築基準法に基づき定まる風圧力又は地震力に対応した瓦の緊結方法などの工法
風圧力　・図示による　・
地震力　・図示による　・
・適用しない
瓦緊結用釘又はねじの有効長さの最小値（　　）mm
瓦桟木の留付け工法　・図示による　・
棟の工法　・7寸丸伏せ棟又はF型用冠瓦伏せ棟
・のし積み棟　・
面戸，雀口，葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合
・モルタルによる　・瓦葺き用しっくいによる

④ とい
材料　(13.5.2)(表13.5.1)
といの材種他
・ 配管用鋼管　・ 排水管継手　⊙ 硬質ﾎﾞﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管　⊙ 硬質ﾎﾞﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管継手
⊙ ﾙｰﾌﾌﾞﾚﾝ　・ 硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ雨どい　・ 表面処理鋼板　・ ｽﾃﾝﾚｽ鋼板
・ とい緊結用鋼線

とい受金物
とい受金物の材種，形状，取付け間隔
※標準仕様書 表13.5.2による　・材質：ステンレス
足金物の材種，形状，取付け間隔
※標準仕様書 表13.5.2による　・
・多雪地域の場合の軒どいの取付け間隔0.5m以下
・図示による
防露材のホルムアルデヒド放散量
※Ｆ☆☆☆☆　・

工法　(13.5.3)
・鋼管製といの場合の防露巻きの工法
※標準仕様書 表13.5.4による

⑤ ルーフドレイン
JCW 301によるルーフドレインの種類及び呼び　(13.5.2)

種　類	呼　び	施工箇所
・ろく屋根用たて形Ⅰ型	ねじ込み式	・図示 ・図示
⊙ろく屋根用横形Ⅰ型	ねじ込み式	100A 屋上
・バルコニー中継用	・ねじ込み式 ・差し込み式	・図示 ・図示
⊙バルコニー用	⊙ねじ込み式 ・差し込み式	100A テラス、屋上広場
・		・

※特記無き限りステンレス製とする。
※ルーフドレインは原則防塵カゴをかぶせる。
SUS304金網張り12.0メッシュ　線径0.7平織程度（ W　×D　×H　）

⑥ その他の材料

品名	種類	材質仕上	形状・寸法	下地	備考（耐火性能等）
・無石綿スレート					
・アスファルトシングル					
・ステンレスシート防水					

⑦ 散水・通水試験　⊙散水・通水試験（範囲　屋根、テラス　）
⑧ その他
・耐火性能（　　）
・断熱材料（　　）
・結露防止
ロックウール保温筒及びグラスウール保温筒のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・第三種

明石市政策局 プロジェクト推進室
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号
森 雅章

西明石地域交流センター icotto 建設工事

GEN	総合	最終版	2025.02.28
11	建築工事特記仕様書(5)	見積版	2024.12.16
	安井建築設計事務所	最終契約版	

⑭ 金属工事

① アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

表面処理 (14.2.1)(表14.2.1)

種　別	施工箇所（成型板、笠木、建具以外）	色合い等
・AB-1種		
・AB-2種		
・AC-1種		
・AC-2種		
・BA-1種		
・BA-2種		
・BB-1種		
・BB-2種		
・BC-1種		
・BC-2種		
⊙C種	外壁パネル	グレー系

・常温乾燥形の塗装の場合（　　）

陽極酸化皮膜の着色方法 (14.2.1)
※二次電解着色　・三次電解着色
色合（・アンバー　・ブロンズ　⊙ブラック系　・ステンカラー　）

（注意事項）
軒天井等外部で雨がかりでない個所に使用する場合無色樹脂塗料12μm以上行う。
コンクリート接触部
コンクリート・モルタル・プラスター等アルカリ性材料と接する部分には厚さ12μm以上の塗装を行う。

② 鉄鋼の亜鉛めっき

鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.2)(表14.2.2)

表面処理方法	種　別	施工箇所
溶融亜鉛めっき	⊙A種	屋外露出鉄部
	・B種	
	・C種	
電気亜鉛めっき	・D種	
	・E種	
	・F種	

③ 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類 (14.4.2)(表14.4.1)
屋外　※25型　・19型
屋内　※19型　・25型
・屋外の場合の形式及び寸法
野縁受、つりボルト、インサートの間隔及び周辺部端からの距離
・図示による　⊙必要な耐風圧性能を確保すること
野縁の間隔
・図示による　⊙300㎜以内
工法
・つりボルトの間隔が900㎜を超える場合
補強方法　・図示による　・
・天井のふところが3.0mを超える場合
補強方法　・図示による　・
・天井下地材における耐震性を考慮した補強
補強箇所，補強方法　・図示による　・
・屋外の軒，ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強
補強箇所，補強方法　・図示による　⊙3600Paを考慮した補強

④ 軽量鉄骨壁下地

スタッド，ランナーの種類 (14.5.3)
※標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
・図示による
スタッドの高さが5.0mを超える場合
・図示による　・
出入口及びこれに準ずる開口部の補強 (14.5.4)
※標準仕様書14.5.4(5)による　・図示による

⑤ 金属成形板張り

種別　⊙図示による　・ (14.6.2)
表面処理　⊙図示による　・

取付け用下地 (14.6.3)
※標準仕様書14.4による　・図示による
伸縮調整継手　・設ける（施工箇所　・図示　・　　） (14.6.3)
⊙設けない
裏打仕様
⊙グライト（厚さ　⊙3mm　・5mm）
・グラスウール（厚さ　・10mm　・　mm）（密度　・32kg/m　・　kg/m　）
・発砲ポリスチレンシート（厚さ　・5mm　・　mm）
防振仕様　・有　・無

⑥ アルミニウム製笠木

部材の種類 (14.7.2)(表14.7.1)
種類　・250形　・300形　・350形　⊙図示
表面処理　種別 ⊙フッ素焼付塗装 (14.7.2)(表14.2.1)
色合等　⊙標準色（　　）
・特注色
笠木の固定金具の工法等
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
⊙図示による　・
笠木、パネルなどの天端接合部は2重シールとし、排水機能を備えたものとする。

⑦ ステンレスの表面仕上げ

表面仕上げの種類　内部：HL（SUS 304）外部：2B（SUS 316）　・図示 (14.2.1)

⑧ 製作金物

⊙図示による。
⊙防露処理材　施工範囲は図示による。
製品検査　※要（部位　　）⊙不要

9 金網類

種別	施工箇所	線形	網目	適用
・ひし型金網		2.6（12　¥	40	使用線材は全てJISG3532（鉄線）による亜鉛めっき鉄線の3種を標準とする
・クリンプ金網		2.6（12　¥	25	
・きっ甲金網		0.9（20　¥	16	
・溶接金網（正方形）		3.2	50×50	錆止め塗料は（18.3.2）（表18.3.1）による
・溶接金網（長方形）		3.2	50×100	
・				

10 アルミハニカムパネル

・既製品（アルミ庇）
※特注品（図示）

⑪ 接触腐食の防止

接触腐食防止処理は下表による。

接触材料		それぞれの側の接触腐食防止処理	
アルミニウム	鋼鉄	アルミニウム側	⊙陽極酸化被膜　(9μm以上)+クリヤー塗装（7μm以上） ・塗装（20μm以上） ・緩衝材による絶縁　（合成樹脂パッキンなどの押入）
		鋼鉄側	⊙亜鉛めっき処理（亜鉛の付着量：　　） F種 C種 表面処理亜鉛めっき鋼板片面90ｇ／m^2 以上 ・錆止め塗料2回塗り（30μm以上）
アルミニウム	アルカリ性材料	アルミニウム側	⊙B-1種 ・塗装（耐アルカリ性塗料20μm以上）
アルミニウム	ステンレス（SUS304）（SUS316）	アルミニウム側	⊙B-1種 ・塗装（耐アルカリ性塗料20μm以上）
		ステンレス側	無処理
ステンレス（SUS304）（SUS316）	銅	ステンレス側	無処理
		銅　側	無処理
銅	鋼鉄	銅　側	クリヤー塗装（20μm以上）
		鋼鉄側	⊙表面処理亜鉛めっき鋼板片面90ｇ／m^{2}以上 +錆止め塗料1回塗り（15μm以上） ・亜鉛めっき処理（亜鉛の付着量：　　） ・F種 ・C種

⑫ その他

外部鉄部は溶融亜鉛めっきの上塗装を行う。　※図示　⊙行わない
外部のボルト、ナット　※溶融亜鉛メッキ　・ステンレス製
外部のボルト、ナットにはキャップをかぶせる。
海岸近接敷地の場合、SUSには保護用ワックス塗とする。　⊙行わない
取付のためのあと施工アンカーの引抜き耐力の確認試験　※行う　・行わない
(14.1.3)

⑮ 左官工事

1 ラス系下地

下地の種類 (15.2.4)
・通気工法　（・二層下地　　・単層下地 ）
・直張り工法（・ラスモルタル下地　・ラスシートモルタル下地 ）
・図示による（外張断熱工法で断熱材の外側に野縁を施工する形式の通気工法を行う場合）
材料 (15.2.4)
ラス材及ぶ補強用平ラス
材料記号（※K　・　　）
種類及び単位面積当たりの質量
・二層下地通気構法
・波形ラス（W700）　・こぶラス（K800）　・力骨付きラス（BP700）
・単層下地通気構法
・リブラスC（RC800）にターボン紙などの裏打ち材と一体化したラス
・
ラスシートの山高、山ピッチ、質量及び溶接ピッチによる区分
※LS4（耐力壁の場合）　・
ステープルの形状及び寸法
リブラス
※L925TS以上（リブラスC（RC800）の場合）　・
波形ラス
※L1019JS以上（波形ラス（W700）の場合）　・
施工 (15.2.4)
二層下地通気構法
換気口部の措置　※講ずる　・
直張り工法（ラスシートモルタル下地の場合）
建築基準法に基づく耐力壁として使用する場合のラスシートの施工
・図示による　・

2 せっこうボード，その他のボード下地

材料 (15.2.5)
せっこうボード，せっこうラスボード及び木質系セメント板の種類及び厚さ
せっこうボード　種類（　　）　厚さ（　　mm）
せっこうラスボード　種類（　　）　厚さ（　　mm）
木質系セメント板　種類（　　）　厚さ（　　mm）

3 こまい下地

建築基準法に基づく耐力壁の指定　・なし　・あり (15.2.6)

4 木ずり下地

材料 (15.2.7)
木ずり用小幅板の材種　※杉（心去り材）　・

⑤ モルタル塗り

モルタル　⊙現場調合材料　・既調合材料 (15.3.2)
既製目地材　・設ける　施工箇所（　　）　形状（・図示　・　　） (15.3.2)
⊙設けない
床の目地 (15.3.5)
⊙設ける　目地割　※2㎡程度（最大目地間隔3m程度）　・
種類　※押し目地　・
・設けない
外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験
・行う　・行わない

6 床コンクリートの直均し仕上げ

下表以外は共仕表6.2.5及び共仕15.4.2による。 (表6.2.5)(15.4.2～4)

施工箇所	平たんさ（mm）	備　考
・フリーアクセスフロア（パネル構法）範囲	1mにつき10以下	塗料塗りの場合も含む
・フリーアクセスフロア（溝構法）範囲	3mにつき7以下	塗料塗りの場合も含む

⑦ 仕上塗材仕上げ

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 (15.6.2)
※F☆☆☆☆　・規制対象外
材料 (15.6.2)
・薄付け仕上塗材 (表15.6.1)(その1)

呼び名	仕上げの形状	工　法	吸放湿性	防火材料
・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・ローラー塗り		・適用する ・適用しない
・可とう形外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・ローラー塗り		・適用する ・適用しない

呼び名	仕上げの形状	工　法	吸放湿性	防火材料
・外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・さざ波状 ・着色骨材砂壁状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り		・適用する ・適用しない
・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・さざ波状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り		・適用する ・適用しない
・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状	・吹付け ・ローラー塗り		・適用する ・適用しない
・外装薄塗材S	・砂壁状	・吹付け		・適用する ・適用しない
・内装薄塗材C ・内装薄塗材L	・凹凸状 ・平たん状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない
・内装薄塗材Si ・内装薄塗材E	・砂壁状じゅらく ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・さざ波状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない
・内装薄塗材W	・京壁状じゅらく ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状	・吹付け ・こて塗り	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない

呼び名	仕上げの形状	工　法	吸放湿性	防火材料
・外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け ・こて塗り		・適用する ・適用しない
・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り		・適用する ・適用しない
・内装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け ・こて塗り	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない
・内装厚塗材L	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない
・内装厚塗材G	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない
・内装厚塗材Si ・内装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない

外装厚塗材C における上塗材がセメントスタッコ以外の場合（　　）
外装厚塗材Si，外装厚塗材E における上塗材の適用
・適用する　・適用しない

⊙複層仕上塗材 (表15.6.1)(その3)
・軽量骨材仕上塗材

呼び名	仕上げの形状	工　法	耐候性	防火材料
・複層塗材CE ・複層塗材RE ・複層塗材Si ・複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状 ・ゆず肌状	・吹付け ・ローラー塗り	・耐候形3種 ・	・適用する ・適用しない
・可とう形複層塗材CE	・凸部処理 ・凹凸状 ・ゆず肌状	・吹付け ・ローラー塗り	・耐候形3種 ・	・適用する ・適用しない
・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材RE ⊙防水形複層塗材E	⊙凸部処理 ・凹凸状 ・ゆず肌状	⊙吹付け ・ローラー塗り	・耐候形3種 ・	・適用する ⊙適用しない
・吹付用軽量塗材	・砂壁状	・吹付け		・適用する ・適用しない
・こて塗用軽量塗材	・平たん状	・こて塗り		・適用する ・適用しない

複合仕上げ塗材の上塗材 (15.6.2)(表15.6.2)
樹脂　・アクリル系　・シリカ系　・ポリウレタン系　⊙アクリルシリコン系　・ふっ素系
外観　⊙つやあり　・つやなし　・メタリック
溶媒　・溶剤系　・弱溶剤系　⊙水系
※目隠しパネル等片面のみ仕上げを行う場合、通気性に留意すること。

8 マスチック塗材塗り

種別　・A種　・B種 (15.7.2)(表15.7.1)

9 しっくい塗り

下地の種類　・石膏ボード (15.10.1)
・標準仕様書15.10.1による場合以外の下地への適用　（　　）
材料 (15.10.2)
・標準仕様書15.10.2(1)（ア），(イ)による色しっくい　・適用する　・適用しない
・メーカーリスト同等品とする（仕様はメーカー仕様に倣う）
調合及び塗厚 (15.10.3)(表15.10.1～表15.10.4)
既調合しっくい　※標準仕様書15.10.3(1)による　・
現場調合しっくい　※標準仕様書15.10.3(2)による　・
既調合しっくいの上塗り仕上げ工法 (15.10.4)(表15.10.5)
・なで切り仕上げ　・パターン仕上げ

10 こまい壁塗り

材料 (15.11.2)
土壁用ののりの種類　※つのまた　・ふのり　・ぎんなんそう　・粉末海藻
砂壁用ののりの種類　※ふのり　・つのまた　・こんにゃくのり　・にかわ
・合成高分子系混和剤
色土の種類　・土物仕上げ（　　）
・大津仕上げ（　　）
色砂の種類　・天然砂と岩石の砕砂
・人工的に着色・製造したもの
調合　下塗りの調合　※標準仕様書　表15.11.2による　・ (15.11.3)
塗厚　※標準仕様書表15.11.8による　・ (15.11.4)
・建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合
・図示による　・
工程　こまい壁　※A種　・B種 (15.11.5)(表15.11.9)
土物仕上げの工法 (15.11.7)
・土物仕上げ工法
・水こね土物1工法　・水ごね土物2工法　・のりさし土物工法　・のりごね土物工法
・砂壁仕上げ工法
・切返し仕上げ工法
大津仕上げの工法 (15.11.8)
・普通大津仕上げ工法　・大津みがき工法
ちりじゃくり　・図示による　・ (15.11.7)(15.11.8)

⑪ ロックウール吹付け

ロックウールのホルムアルデヒド放散量 (15.12.2)
※F☆☆☆☆　・規制対象外
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・規制対象外
吹付け厚さ（mm）　・図示による　⊙25 (15.12.3)
吹付厚さの確認試験　※行う　・行わない
検査完成後、不燃材料認定マーク（施工者の自主運営）を一面2箇所以上に張付け
※要　・不要
かさ比重の確認　※行う　・行わない

⑯ 建具工事

① 防火戸

⊙屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 (16.1.3)
⊙防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸について、連動させる装置等
⊙建具表による　・

2 見本の製作等

建具見本の製作　・行う（建具符号：　　） (16.1.4)
・行わない
特殊な建具の仮組　・行う（建具符号：　　） (16.1.4)
・行わない

3 防犯建物部品

・適用する（ 適用箇所　・建具表による　・　　） (16.1.6)
・適用しない

④ アルミニウム製建具

外部に面する建具 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
⊙ A種	S-4	A-3	W-4	㊟ 70	※ 図示
・ B種	S-5			⊙ 100	※ 図示
⊙ C種	S-6	A-4	W-5	※ 100	※ 図示

防音ドア、防音サッシの遮音性の等級　・T-1　⊙ T-2　・ T-3　・ T-4
断熱ドア、断熱サッシの断熱性の等級　・ H-1　・ H-2　・H-3　・ H-4　・ H-5
耐震ドアの面内変形追随性の等級　・ D-1　・ D-2　・ D-3 (16.2.3)
ｱﾙﾐﾆｳﾑの表面処理の種別　・ AB-1種　・ AB-2種　・ AC-1種　・AC-2種　・ BA-1種　⊙ BA-2種
・ BB-1種　・ BB-2種　・ BC-1種　・ BC-2種　・ C種 (16.2.4)
アルミニウムの表面処理の色の別　※ 標準色　・ 特注色 (16.2.4)
結露水の処理方法　※ 図示 (16.2.4)
水切り板、ぜん板等　※ 図示 (16.2.5)
木下地における外部に面する内付け建具回りの止水処理　※ 建具の製作所の仕様による

⑤ 網戸等

防虫網の材料 (16.2.3)

種　類	材　種	線　径	網　目
⊙防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25㎜以上 ・	※16～18メッシュ ・

⊙外部可動式　⊙内部固定式

6 樹脂製建具

性能値等（建具符号，枠の見込み寸法は建具表による） (16.3.2)
耐風圧性等級，気密性等級，水密性等級
・建具表による　・
外部に面する建具の種別
※標準仕様書　表16.3.1，表16.3.2による
・A種　・B種　・C種　・D種　・E種
・
・防音ドア，防音サッシとする場合の遮音性の等級
・T-1種　・T-2種
・断熱ドア，断熱サッシとする場合の断熱性の等級
※外部に面する建具は標準仕様書　表16.3.3による
（等級・　　）
・
外部に面する建具の日射熱取得性の等級　・
ガラス　※複層ガラス　・　・ (16.3.3)
ステンレス製くつづりの仕上げ (16.3.4)(16.4.4)
※ＨＬ　・
表面色　・標準色　・特注色 (16.3.4)
水切り板，ぜん板　・図示による　・ (16.3.5)(16.2.5)
木下地の内付け建具　・適用する（建具の製造所の仕様）　・適用しない (16.3.5)(16.2.5)

⑦ 鋼製建具

性能値等（建具符号は建具表による） (16.4.2)
簡易気密型ドアセットの気密性等級，水密性等級
⊙標準仕様書　表16.4.1による　・建具表による
外部に面する建具の耐風圧性（表16.2.1による）
・S-4　・S-5　・S-6　⊙アルミニウム製建具による
・耐震ドアとする場合　面内変形追随性の等級（　　）
・防音ドア，防音サッシとする場合
遮音性の等級（　　）
・断熱ドア，断熱サッシとする場合
断熱性の等級（　　）
ステンレス鋼板の種類 (16.4.3)(16.6.3)
※SUS304，SUS430JILまたはSUS443J1　・
点検口の類のくつづりの材料　⊙建具表による (16.4.3)
鋼板類の厚さ（mm） (16.4.4)
※標準仕様書　表16.4.2による　・
ステンレス製くつづりの仕上げ　※ＨＬ　・ (16.4.4)
標準型鋼製建具の有効内法寸法（表16.4.5による） (16.4.6)
・適用する（建具符号、形式及び寸法は建具表による）

明石市政策局　プロジェクト推進室
西明石地域交流センター　icotto 建設工事
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号
森　雅章

GEN	総合	最終版	2025.02.28
12	建築工事特記仕様書(6)	見積版	2024.12.16
	安井建築設計事務所	最終契約版	

⑯ 建具工事〈続き〉

⑧ 鋼製軽量建具

性能値等（建具符号は建具表による）（16.5.2）
簡易気密型ドアセットの気密性等級
・A-3 ⊙建具表による
・耐震ドアとする場合　面内変形追随性の等級（　　）
・防音ドア、防音サッシとする場合　遮音性の等級（　　）
・断熱ドア、断熱サッシとする場合　断熱性の等級（　　）
鋼板の種類（16.5.3）
⊙亜鉛めっき鋼板　・ビニル被覆鋼板　・カラー鋼板　・ステンレス鋼板
召合せ，縦小口包み板の材質　※鋼板　・（16.5.3）
鋼板の厚さ（mm）　※標準仕様書 表16.5.1による　・図示による（16.5.4）
ステンレス製くつずりの仕上げ　※ＨＬ　・（16.5.4）(16.4.4)
標準型鋼製軽量建具の有効内法寸法（表16.4.5による）（16.5.6）
・適用する（建具符号，形式及び寸法は建具表による）

⑨ ステンレス製建具

性能値等（建具符号は建具表による）（16.6.2）
耐風圧性等級，気密性等級，水密性等級
⊙建具表による　・
外部に面する建具の耐風圧性（表16.2.1による）
・S-4　・S-5　・S-6　・アルミニウム製建具による
・耐震ドアとする場合　　面内変形追随性の等級（　　）
・防音ドア、防音サッシとする場合　遮音性の等級（　　）
・断熱ドア、断熱サッシとする場合　断熱性の等級（　　）

ステンレス鋼板の種類　※SUS304，SUS430J1L又はSUS443J1　・（16.6.3）
表面仕上げ　※ＨＬ　・鏡面仕上げ　・建具表による（16.6.4）
ステンレス鋼板のくつずりの仕上げ　※ＨＬ　・（16.6.4）(16.4.4)
ステンレス鋼板の曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ（補強あり）（16.6.5）

10 木製建具

建具材の加工，組立時の含水率　※Ａ種　・Ｂ種（16.7.2）(表16.7.1)
接着材のホルムアルデヒド放散量　※Ｆ☆☆☆☆　・（16.7.2）
枠，くつずりの材料　・建具表による　・（16.7.2）

・フラッシュ戸（16.7.2）(表16.7.2)
表面材の合板の種類

合板の種類	表面材の品質等	備　考
・普通合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類，その他2類以上 ・ 板面の品質　※広葉樹1等　・ ・（　　）	
・天然木化粧合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類，その他2類以上 ・ ・（　　）	
・特殊加工化粧合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類，その他2類以上 ・ ・（　　）	
・ミディアムデンシティファイバーボード（ＭＤＦ）	表裏面の状態による区分（　　） 曲げ強さによる区分（　　） 接着剤による区分（　　） 難燃性による区分（　　） ・（　　）	

表面材の材料のホルムアルデヒド放散量
※標準仕様書16.7.2(f)(a)による　・
表面板の厚さ　※表16.7.6による　・（16.7.3）
引戸の定規縁　・召し合せかまちをいんろう付きとする（16.7.4）

・かまち戸（16.7.2）(16.7.3)（表16.7.7）
かまち樹種（　　）　鏡板樹種（　　）
見込み寸法　※36mm　・建具表による　・

・ふすま（16.7.2）(表16.7.3)（16.7.3）(表16.7.7)（16.7.4）(表16.7.10)
種別、工法　・Ⅰ型　・Ⅱ型
上張り　・鳥の子　・新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上　・塗り縁　・生地縁（素地）　・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
見込み寸法　※19.5mm　・建具表による　・

・戸ぶすま（16.7.2）(16.7.3)（表16.7.7）(16.7.4)
表面材の種類、品質等（　　）
見込み寸法　※30mm　・建具表による　・

・紙張り障子（16.7.3）(表16.7.7)
見込み寸法　※30mm　・建具表による　・

⑪ 建具用金物

金物の種類・見え掛り部の材質等（16.8.2）
※標準仕様書表16.8.1及び適用（備考欄の特記事項も含め）は建具表による
・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書表16.8.2による　・
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書表16.8.3による　・
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書表16.8.4による　・
木製建具に使用する戸車及びレール
※標準仕様書表16.8.5による　・
握り玉，レバーハンドル，押板類，クレセントの取付位置（16.8.3）
・建具表による　・

排煙窓開閉装置

駆動方式	・手動式（　　）　・空気式　⊙その他（　電動式　）
形式	・露出型　※隠ぺい型
	操作ボックス　・標準色　⊙指定色　・SUSHL

⑫ 鍵

マスターキー　⊙製作する　・製作しない（16.8.4）
鍵の製作本数　※各室3本1組　・監督員と協議

⑬ 自動ドア開閉装置

戸の開閉方式　⊙図示による　・（16.9.2）
自動ドア開閉装置の性能値（16.9.2）
駆動装置の性能
※引き戸用駆動装置の場合，標準仕様書 表16.9.1による
防錆の適用　⊙適用する　・適用しない
車椅子使用者用便房出入口の引き戸用駆動装置の性能
※標準仕様書 表16.9.2による
防錆の適用　・適用する　・適用しない
・
検出装置の性能
※引き戸用検出装置の性能は標準仕様書 表16.9.3による
防錆の適用　⊙適用する　・適用しない
・
引き戸用検出装置の種類は標準仕様書 表16.9.4による（16.9.2）
種類　⊙光線（反射）センサー　・熱線センサー　・音波センサー
・光電センサー　・電波センサー
・タッチスイッチ
（・無線式タッチスイッチ　・光電式タッチスイッチ）
・押しボタンスイッチ
・車椅子使用者便房スイッチ
（・大形（開・閉）押しボタンスイッチ　・非接触スイッチ）
凍結防止措置（16.9.2）
⊙適用する　・適用しない

⑭ 自閉式上吊り引戸装置

性能（16.10.3）
※標準仕様書表16.10.1による　・図示による
・ステンレス鋼板（ＳＵＳ３０４）

⑮ 重量シャッター

シャッターの種類　・管理用シャッター（16.11.2）
・外壁用防火シャッター
⊙屋内用防火シャッター
・防煙シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッター　耐風圧強度（1800）N/㎡
開閉方式の種類（標準仕様書 表16.11.1）（16.11.2）
※電動式（手動併用）　・手動式
安全装置の設置箇所（16.11.2）
急降下制御装置又は急降下停止装置の設置個所
・図示による　⊙シャッターに設置
障害物感知装置の設置個所　・図示による　・
危害防止機構の設置個所　・図示による　・
管理用シャッターのシャッターケース（16.11.2）
・設ける　・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板（16.11.3）
鋼板の種類　・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
⊙JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量　※Z12又はF12　・
ステンレス鋼板の種類（16.11.3）(16.6.3)
※SUS304，SUS430J1L又はSUS443J1　・

16 軽量シャッター

開閉形式　※手動式　・電動式（手動併用）（16.12.2）(表16.12.1)
耐風圧強度（　　）pa
電動式の場合の安全装置
障害物感知装置の設置個所　・図示による　・
スラットの材質の種類（16.12.3）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量　※Z06又はF06　・
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量　※AZ90　・
スラットの形状　・インターロッキング形　・オーバーラッピング形（16.12.4）

17 オーバーヘッドドア

区分，材料（16.13.2）(16.13.3)

セクション材料による区分	耐風圧区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125 ・100 ・75 ・50	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

電動式の場合の障害物感知装置の設置箇所　・図示（　　）

⑱ ガラス

適用は以下によるほか，ガラスの種類，厚さの組合せは建具表及び図示による。（16.14.2）
⊙フロート板ガラスの品質及び厚さの呼びによる種類
⊙図示（　※　建具表　・　　）による　・
⊙型板ガラスの厚さによる種類
⊙図示（　※　建具表　・　　）による　・
・網入板ガラス及び線入板ガラス
網又は線の形状、板の表面の状態、厚さの呼びによる種類
・図示（　※　建具表　・　　）による　・
⊙合わせガラス
材料板ガラスの種類，厚さの組合せ，合わせガラスの合計厚さ，特性による種類
⊙図示（　※　建具表　・　　）による　・
⊙強化ガラス
形状による種類，材料板ガラスの種類による名称（呼び厚を含む），特性による種類
⊙図示（　※　建具表　・　　）による　・
・熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類，厚さによる種類，性能による種類
・図示（　※　建具表　・　　）による　・
⊙複層ガラス
材料板ガラスの種類，厚さの組合せ，複層ガラスの厚さ，断熱性による区分，日射取得性及び日射遮蔽性による区分，乾燥気体の種類
⊙図示（　※　建具表　・　　）による　・
・熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類，厚さによる種類，日射熱遮へい性及び耐久性による区分
・図示（　※　建具表　・　　）による　・
・倍強度ガラス
材料板ガラスの種類，厚さによる種類
・図示（　※　建具表　・　　）による　・

ガラスの留め材及び溝の大きさ（16.14.2）(16.14.3)（図16.14.1）

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	⊙シーリング材 ・建築用ガスケット ※グレイジングチャンネル ・	※建具の製造所の仕様による ・
樹脂製	・建築用ガスケット ・グレイジングビード	※建具の製造所の仕様による ・
鋼製及び鋼製軽量	⊙シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・
ステンレス製	⊙シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・

⑰ カーテンウォール工事

① 取付方法，性能等

設計図書による規定の他、特記無き事項は（一社）日本建築学会JASS14による。
性能の確認方法及び判定方法
※性能の確認及び判定方法が確認できる適切な資料

② メタルカーテンウォール

耐風圧性能（17.1.3）
性能値　※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。
・正圧3600N/㎡ 以上及び負圧3600N/㎡ 以上に対して安全であること。
主要部材のたわみ

支点間距離（h）	たわみ量	状　態
※4m以下	※± （1/150） ×h かつ絶対量20mm以下	※各部の破損、残留変形有害な変形が起こらないこと。
⊙4mを超える	・ 30mm	

耐震性能（17.1.3）
設計用震度　水平方向（Ｋｈ）　※1.0　・
垂直方向（Ｋｖ）　※0.5　・

建物の構造種別	層間変位量（h=支点間距離）	状　態
鉄骨造	※± （1/100） ×h以上 ・	※部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらない。 シーリングは補修程度
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	※± （1/200） ×h以上 ・	

水密性　・Ｗ－4　⊙Ｗ－5　・
気密性　・Ａ－3　・Ａ－4　⊙ 1000Pa
耐火性能　※適用しない　・適用する（　　時間、施工箇所：図示）
耐温度差性　・60℃　・70℃　・80℃
遮音性　・T-3　・T-4　・T-5
断熱性　・H-2　・H-3　・H-4　・H-5
映像調整　※行わない　・行う（建具表による。）
（映像調整を行う場合はガラス厚10mm以上とする。）
製造所、性能の確認方法及び判定方法が確認できる適切な資料を提出し監理者の承認を受ける。（17.1.3）
カーテンウォールに使用する金属材料の種類（17.2.2）

種　類	規格等
※アルミニウム製 ・	※共仕16.2.3のアルミニウム製建具の材料による。 ・

カーテンウォール方式
⊙方立方式
・バックマリオン方式　（・単純2辺支持構法　・SSG構法）
・スパンドレル方式
・パネル方式
・小型パネル組み合わせ方式　（・ノックダウン方式　・ユニット方式）
シーリング材及びガラス取付け材料（9.7.2）（17.2.2）（表9.7.1）
下記以外は共仕表9.7.1による。

被着体の組合せ		シーリング材の種別		
		記　号	主成分による区分	耐久性による区分
金属	ガラス			
	石、タイル			
ガラス	ガラス			

構造用ガスケット　※適用しない　・適用する（17.2.2）
断熱材 G　※適用しない（17.2.2）
・適用する（種類：　　厚さ（mm）：　　）
（形状：　　寸法：　　施工箇所：※図示・　　）
製品の寸法許容差　※共仕表17.2.1による。（17.2.3）（表17.2.1）
・製造所標準製作規定寸法許容差による。
アルミニウムの表面処理（17.2.3）（表14.2.1）

種　別	色彩等
・AB－1種　・BB－1種	無着色
・AB－2種　⊙BB－2種	※ブラウン系　⊙ブラック　・ステンカラー　・
・着色塗膜	塗装材料（　フッ素　）焼付け方法（　　）コート（　　）ベーク

製品検査　・要　⊙不要
部位（　　）
設計図書による規定の他、特記無き事項は（一社）日本建築学会JASS 14による。
耐風圧性能（17.1.3）
性能値　※建築基準法施行令第82条の4及び平成12年建設省告示第1458号に定められた風圧力に対して安全であること。
・正圧　N/㎡以上及び負圧　N/㎡以上に対して安全であること。（17.1.3）
耐震性能
設計用震度　水平方向（Ｋｈ）　※1.0　・
垂直方向（Ｋｖ）　※0.5　・

建物の構造種別	層間変位量（h=支点間距離）	状　態
鉄骨造	※± （1/100） ×h以上 ・	※部材が損傷せず、破損脱落もしない。 ガラス等の破損もない。 シーリングは補修程度。
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	※± （1/200） ×h以上 ・	

3 PCカーテンウォール

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能を有するものとする。
板ガラスをはめ込む溝の大きさ（16.14.3）
共住16.14.3 以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は
（一社）日本建築学会　JASS 17ガラス工事「3.1納まりせん断標準」による
ほか、性能値が確認できる資料を監理者に提出する。

19 ガラスブロック積み

材料等（16.14.5）

表面形状	呼び寸法（mm）	厚さ（mm）	色　調 クリア	色　調 乳白	目地幅(mm) 平積み	目地幅(mm) 曲面積み	伸縮調整目地位置(mm)
・正方形	・160×160	95	・	・	※8～15	外側 ※15以下 内側 ※6以上	※6m以下ごとに10～25
	・200×200	95	・	・	・15～25		・図示
	・		・	・			・
・長方形	・		・	・			
	・		・	・			

壁用金属枠及び補強材　・設ける（形状　※図示　・　　）
・設けない
力骨　材質　※ステンレス鋼(SUS 304)　・
寸法　※径5.5mm　・
形状　※はしご形状複筋及び単筋　・
化粧目地モルタルの色（　　）
シーリング材の種類　（　　）
金属製化粧カバー　材質　・ステンレス製　・アルミニウム製
寸法　・図示による　・
形状　・図示による　・
工法（16.14.5）
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・図示による　・
木下地の場合の壁用金属枠の取付け間隔（　　）
目地部の横力骨の納まり
※ガラスブロック製造所の仕様による　・図示による

⑱ 塗装工事

① 材料

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量（18.1.3）
※ Ｆ☆☆☆☆　・規制対象外
・防火材料　※屋内の壁，天井仕上げは防火材料とする
・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：　　）

② 素地ごしらえ

種別（18.2.2～18.2.7）(表18.2.1～表18.2.7)

下地面等		種　別
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種　・B種
	透明塗りの場合	※B種　・A種
鉄鋼面	耐候性塗料塗り（DP）の場合	※B種　・A種　・C種
	上記以外の場合	※C種　・A種　・B種
亜鉛めっき鋼面		・A種　・B種
モルタル面及びせっこうプラスター面		※B種　・A種
コンクリート面（DP以外）及びＡＬＣパネル面		※B種　・A種
コンクリート面（DP）の場合		※A種　・B種
押出成形セメント板面		※B種　・A種
せっこうボード面及び	目地：継目処理工法	※A種　・B種
その他ボード面	目地：継目処理工法以外	※B種　・A種

③ 錆止め塗料塗り

（18.3.2～3）　（表18.3.1～6）

下地面	塗装の種別	錆止め塗料の種別	錆止め塗料塗りの工程
鉄鋼面	SOP	A種	見え掛り：A種　見え隠れ：B種
	DP	C種及びD種	表18.3.4
	EP-G	・A種　※B種	見え掛り：A種　見え隠れ：B種
亜鉛めっき鋼面	SOP	※A種　・B種	鋼製建具等：A種　左記以外：B種
	DP	B種	表18.3.6
	EP-G	C種	鋼製建具等：A種　左記以外：B種

④ 塗装

（18.4.1～18.12.2）

塗料の種類		種別	塗料の種類
合成樹脂調合ペイント塗り（SOP）	木部屋外	※A種　・B種	※1種　・2種
	木部屋内	・A種　※B種	※1種　・2種
	鉄鋼面	・A種　※B種	※1種　・2種
	亜鉛めっき鋼面	—	※1種　・2種
クリヤーラッカー塗り（CL）		・A種　※B種	—
アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（NAD）		・A種　※B種	—
耐候性塗料塗り（DP）	鉄鋼面	—	上塗り等級（1）級
	亜鉛めっき鋼面	—	上塗り等級（1）級
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	⊙A種　・B種 ・C種	—
つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（EP-G）		・A種　※B種	—
合成樹脂エマルションペイント塗り（EP）		・A種　※B種	—
ウレタン樹脂ワニス塗り（UC）		・A種　※B種	—
ステイン塗り		・ピグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り（OS）	—
木材保護塗料塗り（WP）		・A種　※B種	—

クリアラッカー塗り4種の工程２の適用　・適用しない　⊙適用する（着色剤：・溶剤系⊙油性塗料）
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程１の着色の適用　・適用する　・適用しない
オイルステイン塗りの工程等　※製造所の仕様による
標準仕様書にない仕様は（一社）日本建築学会　JASS18による。

先付けゴンドラ用ガイドレールは図示による。（17.3.2）
構造ガスケットを用いる場合のアンカー溝（17.3.3）
・寸法（　　）　・許容差（±　　）
コンクリートの種類及び品質（17.3.2）
※共仕17.3.2による　・ＰＣ仕様書による
・下表による。ただし、下表以外は共仕17.3.2による。

コンクリートの種類	設計基準強度（Fc）	所要スランプ（cm）

鉄筋　※SD295A　・
取付け用金物の表面処理（鉄の亜鉛めっき）及び材質（14.2.2）（表14.2.2）

金物種類及び部位	内　部	外　部
PC版打込み金物	※E種　・	※A種　・
PC版打込み取付けボルト	※E種　・	※ステンレスボルト
2次ファスナー	※E種　・	※A種　・
取付けボルト	※E種　・	※A種　・
レベル調整ボルト	※E種　・	※A種　・
	・	・

上記以外はカーテンウォール製造所の仕様による。
シーリング材料（9.7.2）（17.3.2）（表9.7.1）
下記以外は共仕表9.7.1による。

施工箇所	シーリング材の種別		
	記　号	主成分による区分	耐久性による区分

耐火目地材　・適用する　※図示
断熱材 G　※適用しない
・適用する（種類：　　厚さ（mm）：施工箇所　※図示）
製品の寸法許容差　※共仕表17.3.1による。（17.3.3）（表17.3.1）
・製造所標準製作規定寸法許容差による。
PCカーテンウォールの仕上げ　（タイル打ち込み（絶縁工法））
耐火材料

施工部位	種　別	規格等
・ファスナー部	耐火被覆	1時間耐火・2時間耐火
・取付けブラケット	耐火被覆	1時間耐火・2時間耐火
・パネル目地部		
・層間ふさぎ		

製品検査　※要　・不要
部位（　PC本体　）

明石市政策局　プロジェクト推進室		西明石地域交流センター　icotto 建設工事	
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章		GEN	総合
		13	建築工事特記仕様書(7)
			安井建築設計事務所

最終版	2025.02.28
見積版	2024.12.16
最終契約版	

⑲ 内装工事

① 接着剤

接着剤のホルムアルデヒド放散量 (19.2.2)(19.3.2)(19.5.4)(19.5.5)(19.7.2)(19.9.3)
※F☆☆☆☆ ⊙規制対象外

施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合のゴム床タイル用接着剤の主成分による区分 (19.2.2)(表19.2.2)
・図示による ・

下地の施工 (19.2.3)
標準仕様書19.2.3(1)(ア)から(ケ)以外の下地の工法
・図示による ・

② ビニル床シート

材料 (19.2.2)

種類の記号	色柄	厚さ（mm）	備考
※FS（複層ビニル床シート） ・	⊙柄あり ・	※2.0	

接合部の処理 ※熱溶接工法 ・ (19.2.3)

③ ビニル床タイル

材料 (19.2.2)

種類の記号	色柄	寸法（mm）	厚さ（mm）	備考
※KT（コンポジションビニル床タイル） ・TT（単層ビニル床タイル） ⊙FT（複層ビニル床タイル） ・FOA（置敷きビニル床タイル） ・FOB（薄型置敷きビニル床タイル）	・無地 ⊙柄あり	・300×300 ・450×450 ⊙500×500	⊙2.0（FT） ・2.0（KT）	

4 特殊機能床

材料 (19.2.2)

シート・タイル種別	種類	性能	厚さ，寸法，形状（mm）
・帯電防止床シート			厚さ：
・帯電防止床タイル	KT	帯電防止	寸法：500×500厚さ：2.0
・視覚障害者用床タイル		―	形状：
・耐動荷重性床シート		―	厚さ：
・防滑性床シート		―	厚さ：
・防滑性床タイル		―	寸法： 厚さ：

⑤ ビニル幅木

材質 ⊙軟質 ・硬質 (19.2.2)
高さ（mm） ※60 ・70 ・100
厚さ（mm） ※1.5以上 ・

6 ゴム床タイル

種類 ・単層品 ・複層品 (19.2.2)
色柄 （ ）
厚さ（mm） ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0
寸法（mm） （ ）

⑦ カーペット敷き

・織じゅうたん (19.3.2)(表19.3.1)

織り方	パイル形状	帯電性	備考
・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット	・カットパイル ・ループパイル ・カット・ループ併用	・適用する ・適用しない	

色柄，パイル糸の種類等
※色柄は模様のない無地のもの 種別 ・A種 ・B種 ・C種 (表19.3.1)
・
下敷き材 ※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種1号 呼び厚さ8mm ・
見切り，押え金物
・適用する（材質，形状等 ・図示 ・ ）
・適用しない
織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 ・ (19.3.3)

・タフテッドカーペット (19.3.2)(19.3.3)(表19.3.2)

パイル形状	パイル長（mm）	工法	帯電性	備考
・カットパイル ・ループパイル ・カット，ループ併用 ・	・ ・ ・ ・	・グリッパー工法 ・全面接着工法	・適用する ・適用しない	

下敷き材(グリッパー工法の場合)
※JIS L 3204（反毛フェルト）の第2種1号 呼び厚さ8mm ・
見切り，押え金物
・適用する（材質，形状等 ・図示 ・ ）
・適用しない

⊙タイルカーペット (19.3.2)(19.3.3)

種類	パイル形状	寸法（mm）	総厚さ（mm）	施工箇所	備考
※第一種 ・第二種	※ループパイル	※500×500 ・	※6.0 ・9.0	⊙仕上表による	
・第一種 ・第二種	※ループパイル	※500×500 ・	※6.5 ・	・サーバー室，MDF室	帯電防止
・第一種 ・第二種	・カット，ループ併用	※500×500 ・	※6.5 ・		

耐電性 ⊙人体帯電圧（※0.5kV以下 ・ ）
取付け用付属品 見切り，押え金物 材質・ 種類・
形状（ ）
見切り，押え金物 ・適用する（材質，形状等 ・図示 ・ ）
・適用しない
タイルカーペットの敷き方 ※市松敷き ・模様流し ・

下敷き材 ※反毛フェルト（JISL3204）の第2種2号 呼び厚さ8mm ・
タイルカーペットの点字鋲はSUS製の誘導ブロックとすること。

⑧ 合成樹脂塗床

合成樹脂塗床材のホルムアルデヒド放散量 (19.4.2)
※F☆☆☆☆ ・規制対象外

種類 (19.4.2)(19.4.3)(表19.4.1～8)

種類	工法	仕上げの種類	施工箇所
・厚膜型塗床材（弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床材）		※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ	
⊙厚膜型塗床材（エポキシ樹脂塗床材）	・薄膜流しのべ工法 ⊙厚膜流しのべ工法 ・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	⊙平滑仕上げ ・防滑仕上げ	ポンプ室 ゴミ庫
・薄膜型塗床材（エポキシ樹脂塗床材）		※平滑仕上げ	
・			

床コンクリートが十分乾燥していない状況でエポキシ樹脂塗床を施工する場合は、剥離若齢コンクリート用塗下地工法を採用する。

9 フローリング張り

フローリングのホルムアルデヒド放散量 (19.5.2)
※標準仕様書19.5.2(2)による ・

・単層フローリング (19.5.2～5) (表19.5.1～6)

種別	工法	樹種	厚さ（mm）	大きさ	仕上塗装	間伐材等の適用	備考
・フローリングボード	・釘留め工法（根太張り）	※なら ・	※15・18	板幅 ・75・90 ・100・110 板長さ （ ）	・塗装品 ・無塗装品	・あり	
	・釘留め工法（直張り）	※なら ・	※12・14 ・15・18			・あり	
	・接着工法	※なら ・	※12・14 ・15・18			・あり	
・フローリングブロック	・接着工法	※なら ・	※10・12 ・15・18	※303×303	・塗装品 ・無塗装品	・あり	
・モザイクパーケット	・接着工法	・	・6・8・9		・塗装品 ・無塗装品	・あり	

天然木化粧複合フローリング

種別	工法	樹種	厚さ（mm）	大きさ	種別	防湿処理	仕上塗装	間伐材等の適用	備考
・複合フローリング	・釘留め工法（根太張り） ・釘留め工法（直張り） ・接着工法	※なら ・	(12.0)	(125 × (乱尺)	・A種 ・B種 ・C種	・あり ・なし	・塗装品 強化ｳﾚﾀﾝ塗装 ・無塗装品	・あり ・あり ・あり	

接着工法の裏面緩衝剤 ※合成樹脂発泡シート ・
ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種 (19.5.2)

10 畳敷き

種別 (19.6.2)(表19.6.1)
・A種 ・B種 ・C種 ・D種（畳床：・KT-Ⅰ ・KT-Ⅱ ・KT-Ⅲ ・KT-K ・KT-N）
・衝撃緩和型畳
畳表（JIS A 5902） ・C1 ・C2

11 ポリスチレンフォーム床下地材

※A種ノンフロンのもの
畳下地 厚さ（mm） ※40 ・65 ・80 （不燃）
フローリング類 厚さ（mm） ※70 ・95 （不燃）

⑫ せっこうボード，その他ボード及び合板張り

(19.7.2) (表19.7.1)

種類	JISの記号	厚さ（mm）、規格等
・硬質木毛セメント板	HW	・15 ・20 ・25 ・
・普通木毛セメント板	NW	・15 ・20 ・25 ・
・硬質木片セメント板	HF	・12 ・15 ・18 ・21 ・
・普通木片セメント板	NF	・30 ・50 ・80 ・
⊙けい酸カルシウム板	0.8FK	タイプ2（無石綿） (⊙6 ・8 ・25)
・化粧けい酸カルシウム板	0.8FK	タイプ2（無石綿） (・6 ・8 ・) 表面の加工 ・アクリル樹脂系焼付け ・
⊙ロックウール化粧吸音板	DR	※フラットタイプ（※9（不燃）⊙12 ・ ） ・凹凸タイプ（※12（不燃） ・15 ・19・ ）
⊙せっこうボード	GB-R	・15.0（不燃）※2.5（不燃） ⊙9.5（準不燃）
⊙不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5（不燃） 化粧無（下地張り用） 化粧有（トラバーチン模様）
⊙シージングせっこうボード	GB-S	・9.5（準不燃） ・12.5（準不燃） ⊙12.5（不燃）
⊙強化せっこうボード	GB-F	⊙9.5（不燃）⊙12.5（不燃）⊙21.0（不燃）
・せっこうラスボード	GB-L	9.5
・化粧せっこうボード（木目）	GB-D	12.5（不燃）幅440mm程度 模様（※柾目 ・板目） 専用下地材付き
・普通合板（難燃処理）		・生地、透明塗料塗り（ラワン合板程度） ・不透明塗料塗り（しな合板程度） ・難燃処理 ・防虫処理 ・防炎処理
⊙メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903による 厚さ3.0
・ミディアムデンシティファイバーボード	MDF	・素地ＭＤＦ（ＲＳ） ・化粧ＭＤＦ（・ＤＶ ・ＤＯ ・ＰＣ） ・3 ・7 ・9 ・12 ・
・単板張りパーティクルボード		・無研磨板VN ・研磨板VS ・10 ・12 ・15 ・18 ・
・ハードボード（素地）	HB	・未研磨板 RN（・スタンダード・テンパード） ・研磨板 RS（・スタンダード ・テンパード） ・2.5 ・3.5 ・5 ・7
・インシュレーションボード G	IB	A級（・T級 ・S級 ） （・天井仕上 ・内装仕上 ・ ） ・9 ・12 ・15 ・18 ・
・天然木化粧合板		化粧板の樹種名（ ） ・難燃処理 ・防虫処理 ・防炎処理 厚さ・
・特殊加工化粧合板		・オーバーレイ ・プリント ・塗装 ・ ・難燃処理 ・防虫処理 ・防炎処理 表面性能・ 厚さ・
・ポリエステル化粧合板		
・壁木練付化粧合板		・化粧単板0.3mm以上 UC塗装
・火山性ガラス質積層板（VSボード）		

合板類、繊維板、及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量 (19.7.2)
※規制対象外 ・第三種
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 (19.7.2)
※適用する ・適用しない
合板類の貼付け ・A種 ※B種 (19.7.3)
せっこうボードの目地工法 ⊙継目処理工法 ・突付け工法 ・目透し工法
施工箇所（クロス下地 ） (表19.7.5)

⑬ 壁紙張り

材料 (19.7.2)

種類	規格	防虫処理
・普通合板	表板の樹種名（ ） 板面の品質（ ） 厚さ（mm）（ ）	・行う ・行わない
・天然木化粧合板	化粧板の樹種名（ ） 厚さ（mm）（ ）	・行う ・行わない
・特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 ・オーバーレイ ・プリント ・塗装 ・ 表面性能（ ） 厚さ（mm）（ ）	・行う ・行わない

合板のホルムアルデヒド放散量
※標準仕様書19.7.2(2)(イ)のいずれかによる
・
合板の張付け ・A種 ・B種 (19.7.3)(表19.7.3)
ホルムアルデヒド放散量 (19.8.2)
※F☆☆☆☆ ・

種類 ⊙仕上表による

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維	プラスチック	無機質	塩化ビニル	その他	防火性能	備考
ビニルクロス	・	・	・	・	⊙	・	⊙不燃 ・準不燃 ・難燃	
布クロス	・	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃	

施工 (19.8.3)
モルタル面及びプラスター面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ ※B種 ・A種 (表18.2.4)
コンクリート面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ ※B種 ・A種 (表18.2.5)
せっこうボード面の素地ごしらえ及び
けい酸カルシウム板面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ ※B種 ・A種 (表18.2.7)

⑭ 断熱材

(19.9.2～3)

種類		施工箇所	厚さ（mm）	品質等
⊙押出法ポリスチレンフォーム保温板	・2種bA・3種bA ⊙3種bC・3種bD	※一般部 ⊙スラブ裏 ・屋根（外断熱）	※25 ・30 ⊙50 ⊙60	ノンフロンのもの
	※3種b（スキン層付）	・接地部分	※25	
⊙現場発泡断熱材	※A種1 ⊙A種1H	※断熱材補修部分	——	ノンフロンのもの
		※一般部（壁） ⊙デッキ裏 ・	※25 ・30 ⊙50 ⊙60	※不燃（見えがかり部） 難燃性・3級 ・2級
・断熱材兼用型枠	・木質系 ・コンクリート系 ・プラスチック系	※壁（図示の範囲） ・	※40以下 ・	断熱抵抗 ＝厚さ/熱伝導率 ＝0.676以上(㎡・k/w)
		製造所 建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの		

ロックウール、グラスウール、フェノールフォームを使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種
ウレタンフォーム類を室内または排煙チャンバーとしている天井内に露出して使用する場合は防火コートを施す。
サッシ周りは、モルタル充填を完全に行った上断熱材を枠または額縁まで施し、断熱材の欠損を防ぐ。
ロックウール保温板及びグラスウール保温板で片面にアルミクラフト紙などの防湿層付きを用いる場合は、防湿層は高温・高湿側とし、切れ目なく完全に防湿層を形成する。蓄熱水槽の断熱は、床仕上の結露防止のため連通管にも行う。
屋根と壁、壁と床・地盤面など、外断熱と内断熱の重なる部分は、結露防止のため熱橋計算を行い監理者に報告すること。この時、内外断熱の重ね巾は最小とする。

⑳ ユニット及びその他の工事

1 フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	構法	高さ（mm）	適用地震時 水平力	所定荷重（N）	表面仕上げ材	備考
執務室	・パネル構法 ・清構法	・100 ・350	・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイルカーペット ・タイルカーペット	
電話交換室 サーバー室 MDP室	・パネル構法 ・清構法	・200	・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイルカーペット ・タイルカーペット	ウィスカ対策あり
電気室	・パネル構法 ・清構法	・200	・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイルカーペット ・置き敷きタイル	ウィスカ対策あり

表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事による。
構成材の材質 ・アルミニウム製 ・鋼製 ・図示
スロープ及びボーダー ※製造所の標準仕様 ・図示
コンセント等の取付け対応 ※製造所の標準仕様 （コンセント本体は別途設備工事）
コンセントの箇所数は図示

配線用取り出しパネル
配線取り出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1ヶ所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※20～30% ・
帯電防止性能 ⊙U値（クラス1） ・U値（クラス2）
漏えい抵抗 ⊙R≧1×10⁸ Ω ・
試験方法 (20.2.2)
・耐荷重性能（mm） ※ 変形5.0以下、残留変形3.0以下 ・図示
・耐衝撃性能 ※ 残留変形3.0mm以下及び損傷がないこと ・図示
・ローリングロード性能（mm） ※ 残留変形3.0以下 ・図示
・耐燃焼性能
・ 建築基準法に基づく不燃材料の指定又は認定を受けたもの
・ 燃焼終了後の残炎時間が0秒であること
寸法精度
※標準仕様書20.2.2(2)(オ)による ・

2 可動間仕切

材料等 (20.2.3)

構造形式による種類	構成基材の種類 スタッド	パネル	パネル表面仕上げ	遮音性能（dB/500Hz）
・スタッド式（内蔵） ・スタッド式（露出） ・スタッドパネル式 ・パネル式	・図示	・図示	・メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付け ・壁紙張り ・図示	・0 ・12 ・20 ・28 ・30以上

パネル内に取付ける建具 ・あり（寸法及び形状 ・図示 ・ ）
・なし
パネルの材料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・

3 移動間仕切

材料等 (20.2.4)

操作方法による種類	圧縮装置の操作方法	パネル表面材 材質	パネル表面材 仕上げ	遮音性（dB/500Hz）
⊙手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ⊙ハンドル式 ・	⊙鋼板 ・	⊙焼付塗装 ・壁紙張り ・	⊙30以上

4 トイレブース

材料等 (20.2.5)

パネル表面材の材質	脚部の種類	ドアエッジの材質
⊙メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 ・	※幅木タイプ ・	※製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材

パネル材料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・

⑤ 手すり

(20.2.6)

種別	仕上げ	サイズ（mm）	施工箇所
・集成材	・CL ・	・45φ・60φ	
・ビニル製		・34φ・40φ ※幅40・幅50	
・鋼製パイプ	・EP-G・SOP	・42.7φ・34φ	
・ステンレス製パイプ	・HL ・	・42.7φ・45φ	
⊙図示			

⑥ 階段滑り止め

材料等 (20.2.7)

材種	形状	寸法（mm）	取付け工法
⊙ステンレス製（SUS 304） ・黄銅製押出型材 ・アルミニウム製押出型材	・ひも型 ⊙タイヤ型	⊙約35 ・	※接着工法 ・埋込み工法

・端部フラットエンドを取りつけること

7 黒板及びホワイトボード

・黒板 (20.2.9)
区分 ※焼付け ・
種類 ・鋼製黒板 ・ほうろう黒板
・ホワイトボード （ ） (20.2.9)

⑧ 鏡

取付箇所 （図示による） (20.2.10)

⑨ 表示

寸法（mm） ⊙図示による ・
厚さ（mm） ※5 ⊙図示
・衝突防止表示（別途工事） (20.2.11)
形状，寸法（ ・30φ ・ ）
材質 （ ・ステンレス製 ・ ）
⊙非常用進入口等の表示等
※消防法に適合する市販品 ・

⑩ タラップ

室名札，ピクトグラフ，案内板等の形状寸法材質色，書体，印刷等の種別，取付け形式 (20.2.11)
・図示による

(20.2.12)

※ステンレス（室外） ※SUS304 ・SUS316） （・ ）	スリップ止め加工 ※あり ・なし
⊙鋼製（室内）	表面処理：溶融亜鉛めっき （※標準仕様書14.2.2による種別（※C種 ・ ））

11 煙突ライニング

煙突用成形ライニング材 (20.2.13)
適用安全使用温度 ・ ℃
工法 （ ）

⑫ ブラインド

(20.2.14)

形式	種類	スラットの材質	スラットの幅（mm）
※横型	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 ・	※25 ・
⊙縦型	・1本操作コード ※2本操作コード	・アルミスラット ⊙クロススラット	⊙80 ・100

布地およびシート材は防汚加工とし消防法に定める防炎性能を有すること。

⑬ ロールスクリーン

(20.2.15)

材種	操作方法 電動	スプリング	チェーン	遮光等級	寸法（mm）	施工箇所
※ポリエステル ・綿 ・	・	・	⊙	⊙1級・2級・3級	⊙図示・	⊙図示
※ポリエステル ⊙麻	・	・	⊙	・1級⊙2級・3級	⊙図示・	⊙図示

布地およびシート材は防汚加工とし消防法に定める防炎性能を有すること。
スクリーンの色見本を監理者に提出すること。

⑭ カーテン

(20.2.16)

形式 シングル	ダブル	片引	引分	開閉操作方法 電動	ひも引	手引	ひだの種類	きれ地の種類 品質，特殊加工等	施工箇所
⊙	・	・	⊙	・	・	⊙	プレーン	ポリエステル	更衣室
・	・	・	・	・	・	・			

布地は防汚加工品とし消防法に定める防炎性能を有すること。
きれ地の色見本を監理者に提出すること。

⑮ カーテンレール

材料等 (20.2.16)
レール及びブランケットの強さによる区分 ※10-90 ・
レールの材料による区分 ※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材
・ステンレス製
レールの仕上げ ※アルマイト ⊙ＨＬ
レールの形状 ※角形 ・
カーテン付属物 フック（ひるかん） ※鋼製 ・樹脂製

16 プレキャストコンクリート

補強鉄線の径及び網目寸法 ・図示による ・ (20.3.2)

製作 (20.3.3)
コンクリートの設計基準強度
※水セメント比55%以下，単位セメント量の最小値300kg/㎥を満足する調合強度
・図示による
配筋
・図示による
取付け方法 (20.3.4)
・図示による ・

明石市政策局 プロジェクト推進室
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章

西明石地域交流センター icotto 建設工事

GEN	総合	最終版	2025.02.28
14	建築工事特記仕様書(8)	見積版	2024.12.16
	安井建築設計事務所	最終契約版	

17 間知石及びコンクリート間知ブロック積み積み

材料等 (20.4.2)

材料	材種	種類	質量区分	備考
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	—	—	
・コンクリート間知ブロック	—		・A ・B	

工法 (20.4.3)
積み方 ※谷積み ・布積み
目塗り ・図示による ・
伸縮調整目地 材種 ・図示による ・
厚さ ・図示による ・

⑱ ブラインドボックス及びカーテンボックス

溝幅×深さ（mm）
・90×150 ・120×80 ⊙120×150 ・150×80 ・図示による
材質 ・集成材（仕上げ： ）
・アルミニウム製 押出し型材（市販品）
種別（標準仕様書表14.2.1） ・BC-1種 ・BC-2種
色合い ・標準色（ ） ・特注色（ ）
⊙鋼製（仕上げ：SOP ）

⑲ 天井点検口

材種	寸法	形式		外枠	内枠
⊙アルミニウム製 ・	⊙450×450 ⊙600×600 ・	⊙一般形 ・	・屋内外用 ⊙屋内用	・額縁タイプ ⊙目地タイプ ・	・額縁タイプ ⊙目地タイプ ・

⑳ 床点検口

材種	寸法	形式		
※アルミニウム製 ⊙ステンレス製 ・鋼製 ・鋳鉄製	・450×450 ・600×600 ⊙図示	・一般形 ⊙密閉形 ・結露防止形	⊙屋内外用 ・屋内用	・張物用 ⊙充填用 ・張物、充填兼用

㉑ 耐震スリット

方向	タイプ	耐火性能	防水性能	備考
⊙垂直方法 ⊙水平方向	⊙完全（全貫通型） ・	・耐火型 ⊙非耐火型	⊙有り ・無し	

目地

目地	内壁	外壁
目地材	・シーリング材（見え掛り部のみ） ・	・シーリング材（見え掛かり部のみ） ⊙シーリング材（内外とも）
目地寸法（mm）	・幅20×深さ10 ・	⊙幅20×深さ10 ・

目地材の材質は標準仕様書表9.7.2による

22 止水板

形式 ・差込式 ・据置式 ・壁張り式
施工箇所 ・図示による ・

23 エキスパンションジョイント金物

材種	クリアランス	耐火性能	備考
・アルミニウム製 ・ステンレス製	・50 ・100 ・150 ・	・有り（ ） ・無し	

外部は防水型とする

24 くつふきマット

材種	受け枠	備考
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼（SUS 304）製 ・	・ステンレス鋼（SUS 304） ・硬質アルミニウム合金 ・	・繊維ブラシ入り

㉕ 流し台ユニット

材種	寸法（mm） W	D	H	備考
⊙流し台	⊙ 900 ⊙1,200 ⊙2,900	・550 ⊙600 ・650	・800 ⊙850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
・つり戸棚	・1,200 ・流し台幅	・450 ・350	・500 ・700	市販品
・水切り	・1,200 ・900 ・流し台幅	—	—	市販品 ステンレス製 ・1段式 ・

品質・性能 JIS A 4420による
形状 ※図示による ・

26 旗竿

材質	形式	高さ（m）	操作方法	固定方法	備考
・アルミニウム合金製 ・	・テーパー型 ・同一断面型	・図示	・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込み式 ・ベース式 ・バンド式	

27 旗竿受金物

材種 ・ステンレス製（SUS 304） ・

28 車止め支柱

形式		材種	柱径・肉厚（mm）	高さ（mm）
・上下式鎖内蔵型	・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製 ・	・	・ ・
⊙ 図示				

㉙ フェンス

フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス
⊙樹脂塗装メッシュフェンス
・鋼管フェンス
・アルミフェンス
高さ ⊙図示による ・

30 鋼製書架及び物品棚

種類	規格等	耐荷重による種類
・鋼製書架	JIS S 1039による	・1種 ・2種 ・3種
・鋼製物品棚		・4種 ・5種 ・6種 ・

31 屋内掲示板

枠の材質 ※アルミニウム製
表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り ・

㉜ 洗面カウンター

材種 ・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材） ・人工大理石 ⊙図示
奥行き（mm） ・約450 ・約600 ⊙図示

㉝ 防煙垂れ壁

・固定式

材質	厚さ（mm）	高さ（mm）	備考
※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス ・不燃シート	※6.8 ⊙図示	※500 ⊙600 ⊙850	アルミ製枠付き

⊙可動式

種類	材質	高さ（mm）	備考
・垂直降下式（巻取り型）	※不燃布（不燃認定品）	・500 ・600 ・850	ガイドレール ※固定式（壁埋込み型）・可動式
⊙回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800	表面仕上げ ※天井材張り

降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置（埋込み型）

34 収納家具

材質形状・寸法 ※図示による ・
合板，集成材，MDF，パーティクルボード等のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・

35 屋外掲示板

照明器具 ※有り ・無し ⊙図示
施錠 ※有り ・無し ⊙図示

36 敷地境界石標

種類 ※コンクリートブロック製（市販品）15箇所 ・図示
・花こう石類（文字記号等入り）

㊲ 視覚障害者用床タイル（誘導用及び注意喚起用床材）

ブロックパターンはJIS T 9251による。 (19.2.2)
色彩は黄色を原則とする。ただし、屋内は福祉のまちづくり条例に基づいて監督員と協議し色を決定すること。
屋内 ※塩化ビニル製（厚さ7mm・ ）・磁器質タイル（※300角・ ）
・レジンコンクリート製（厚さ mm）⊙ステンレス製誘導マーカー
屋外 ※レジンコンクリート製（厚さ mm）・磁器質タイル（※300角・ ）
⊙ステンレス製誘導マーカー ・図示
寸法 ※300×300 ・

㊳ かぎ箱

市販品 形式 ・30組用 ⊙60組用 ・120組用 ・200組用

㊴ その他の材料

種類	仕様	備考
・定礎	黒御影石 t 40 J&P W600×H400	
・定礎箱	内箱：鋼板t1.0（260×340×90） 外箱：ステンレス t 2.0HL	
・新聞受箱	造作	
・ピクチャーレール	既製品	
・浴槽、ユニットバス		
・シャワーユニット	0808タイプ	
⊙コーナーガード	St t1.6 30x30xH1,200	
⊙避難器具	救助袋	国家検査品または消防庁長官基準適合品とする
⊙消火器収納箱	既製品	
・システム天井		
・光天井ルーバー		
・木製ユニット床組 W		
⊙鋼製ユニット床組 S	図示	三洋工業 スリーベース同等
・グリーストラップ	既製品	
・ガソリントラップ		
・換気口 ・床下		
・天井裏		
・駐輪場ラック	W450 ラック式	
・落下防止ネット	ポリエステル製高耐久ネット 小目合 φ2.5×40	
・		

① 屋外雨水排水

排水管用材料 (21.2.1)(表21.2.1)

材種	種類・記号	形状	呼び径	備考
・遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管（1種） ・	・B形管 ・	・図示 ・	
⊙硬質ポリ塩化ビニル管	⊙VP ⊙VU ・RS-VU		⊙図示 ・ ⊙図示 ・ ・図示 ・	

基床の厚さ及び種類 ・図示による ・ (21.2.2)
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※接着剤 ・ゴム輪 (21.2.2)
側塊の形状及び寸法 ・図示による ・ (21.2.1)
排水桝の種類 ・図示による ・ (21.2.1)
砂地業に用いる材料 (21.2.1)
・シルト ⊙山砂 ・川砂 ・砕砂
砂利地業に用いる材料 (21.2.1)
⊙再生クラッシャラン ・切込砂利 ・切込砕石
・現場打ちの場合のコンクリート材料 (21.2.1)
※普通コンクリート ・
設計基準強度 ※18N/mm² ・
スランプ ※15cm又は18cm ・図示
・現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※SD295 ・ (21.2.1)
凍上抑制層に用いる材料 ・ (21.2.1)
砂を用いる場合の粒度試験 ・行う ・行わない

・標準仕様書21.2.2(6)(オ)の排水桝を現場打ちとする場合の足掛け金物 (21.2.2)
・幅400mm，径22mmのステンレス製
・径22mmの防錆処理を行った鋼製
・径19mmの成樹脂被覆加工を行ったもの

2 鋳鉄製ふた

種類 (21.2.1)

名称	種類	適用荷重	鍵	備考
鋳鉄製マンホールふた	・水封形 ・簡易密閉形（パッキン式） ・密閉形（テーパ・パッキン式） ・中ふた付き密閉形（テーパ・パッキン式） ・	・T−2用 ・T−6用 ・T−20用 ・T−25用	・有り ・無し	左記以外の品質等は（公社）空気調和衛生工学会SHASE-S209による

③ グレーチング

材料等 (21.2.1)

材質	形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	亜鉛めっき（付着量）	上面形状
⊙鋼製	⊙受枠付き，ボルト固定 ・	・溝ふた（横断用） ⊙溝ふた（側溝用） ⊙桝ふた用 ・U字溝用	⊙歩行用 ・T−2用 ・T−6用 ・T−14用 ・T−20用 ・T−25用	⊙細目 ※普通目 ・細目	・（ ） ・（2種45）	・凹凸形 ・平形 ・
・ステンレス製	・受枠付き，ボルト固定 ・	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・桝ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T−2用 ・T−6用 ・T−14用 ・T−20用	・	—	・凹凸形 ・平形 ・

④ スリット付化粧ふた

材料等 (21.2.1)

材質	形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	亜鉛めっき（付着量）	上面形状
⊙鋼製	⊙受枠付き，ボルト固定	⊙溝ふた用	⊙歩行用	⊙細目	⊙（2種45）	⊙凹凸形

5 街きょ，縁石，側溝

材料 (21.3.1)(表21.3.1)

種類	形状，寸法
・縁石	・図示 ・
・L形側溝	・図示 ・
・U形側溝	・図示 ・
・U形側溝ふた	・図示 ・
・	・図示 ・

砂地業の材料 (21.3.1)
・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂
砂利地業に用いる材料 (21.3.1)
・再生クラッシャラン ・切込砂利 ・切込砕石
砂利地業の厚さ ※100（mm） ・図示による (21.3.2)
・現場打ちの場合のコンクリート材料 (21.3.1)
※普通コンクリート ・
設計基準強度 ※18N/mm² ・
スランプ ※ 15cm又は18cm ・図示
・現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※SD295 ・ (21.3.1)
凍上抑制層に用いる材料 ・ (21.3.1)
砂を用いる場合の粒度試験 ・行う ・行わない

⑥ 埋戻し土

※B種（標準仕様書表3.2.1） ・ (21.2.1)

① 路床

路床の材料 (22.1.3)(22.2.2)(22.2.3)

種別	材料	厚さ（mm）
⊙盛土	標準仕様書 表3.2.1により ・A種 ⊙B種 ・C種 ・D種	・図示 ・
・凍上抑制層	※再生クラッシャラン ・クラッシャラン ・切込み砂利 ・砂	・図示 ・

透水性舗装に用いるフィルター層の厚さ ・図示による ・

路床安定処理 ⊙適用する ・適用しない (22.2.2)(22.2.3)
安定処理の方法 ・置き換え工法 ⊙安定処理工法
添加材料 (表22.2.1)
種類 ⊙普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種
・フライアッシュセメントB種
・生石灰（・特号 ・1号） ・消石灰（・特号 ・1号）
添加量を定めるために用いるCBR（ 5以上 ） (22.2.4)

試験 (22.2.5)
路床土の支持力比（CBR）試験 ⊙行う ・行わない
路床締固め度の試験（現場密度） ⊙行う ・行わない
現場CBR 試験 ⊙行う ・行わない

② 路盤

路盤の厚さ ⊙図示による ・ (22.3.2)
路盤材料 ※再生クラッシャラン ・クラッシャラン ・粒度調整砕石 (表22.3.1)
※再生粒度調整砕石 ・クラッシャラン鉄鋼スラグ
・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ

③ アスファルト舗装

アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示による ・ (22.4.2)
材料
アスファルト ⊙再生アスファルト（・60〜80 ・80〜100 ⊙図示）
・ストレートアスファルト

加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)(表22.4.4)

区分	地域	種類
表層	⊙一般地域	⊙密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)
	・寒冷地域	・密粒度アスファルト混合物(13F)

試験
アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ⊙行わない
舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・

④ コンクリート舗装

コンクリート舗装の厚さ (22.5.2)

舗装の種類	部位	構成	厚さ（mm）
コンクリート舗装	歩行者用通路	⊙図示 ・	※70 ⊙図示
	車路及び駐車場	⊙図示 ・	⊙図示 ・

材料 (22.5.3
コンクリート ※標準仕様書表22.5.1による ⊙図示による
早強ポルトランドセメント ・使用する ⊙使用しない
注入目地材料 ※※低弾性タイプ ・高弾性タイプ
施工：目地 (22.5.4)
種類，間隔，構造 ※※標準仕様書表22.5.3及び図22.5.1による ・図示による
舗装の平たん性 (22.5.2)
舗装の平たん性 ※※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・

5 カラー舗装

・加熱系カラー舗装 (22.6.2)(22.6.3)(22.6.4)(表22.6.1)
構成・厚さ ・図示による ・製品仕様による
表層に用いる加熱系混合物の結合材
・アスファルト混合物
・石油樹脂系混合物 顔料の添加量（ %）
加熱系混合物に添加する材料
・着色骨材（ ブルー系 ） ・自然石（ ）
アスファルト混合物の抽出試験 ・行う ・行わない (22.6.6)

・常温系カラー舗装 (22.6.2)(22.6.3)(22.6.4)(表22.6.1)
工法 ・ニート工法 ・塗布工法
着色部の下部 ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装
ニート工法及び塗布工法の配合等 ・

舗装の平たん性 (22.6.6)
※※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・

6 透水性アスファルト舗装

舗装の構成 ※図示による ・ (22.7.2)
材料 (22.1.3)(22.7.3)
アスファルト ※再生アスファルト（・60〜80 ・80〜100）
・ストレートアスファルト
試験 (22.7.6)
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない
舗装の平たん性 ※著しい不陸がないもの ・ (22.7.2)

⑦ ブロック系舗装

・コンクリート平板舗装 (22.8.2)(22.8.3)

種類	寸法（mm）	厚さ（mm）	目地材
※普通平板（N） ・透水性平板（P） ・保水性平板（M）	・300角 ⊙図示	※60 ・	⊙砂 ・モルタル

クッション材 ⊙砂 ・空練モルタル (22.8.2)
仕上がり面の平たん性 ※※コンクリート平板間の段差3mm以内 ・ (22.8.2)

⊙インターロッキングブロック舗装 (22.8.2)(22.8.3)

種類	部位	形状，寸法	厚さ（mm）	曲げ強度（N/mm²）	色彩，表面加工等
※※普通ブロック（N）	車路	⊙図示	※80 ・	※5.0 ・	⊙標準品
⊙透水性ブロック（P）	歩行者用通路	⊙図示	※60 ・	※3.0 ・	・
・保水性ブロック（M）					

インターロッキングブロックの割付け ⊙図示による ・ (22.8.4)
仕上がり面の平たん性 ※コンクリート平板間の段差3mm以内 ・ (22.8.2)

・舗石舗装 (22.8.2)(22.8.3)

種類	形状，寸法	厚さ（mm）	割付け	基層(mm)
・小舗石（花崗岩） ・	・図示 ・	・80 ・	・図示 ・	・コンクリート舗装（※70 ・ ） ・アスファルト混合物（※50 ・ ）

クッション材 ・砂 ・空練モルタル (22.8.2)
舗石の割付け ・図示による ・ (22.8.4)
仕上がり面の平たん性 ※コンクリート平板間の段差3mm以内 ・ (22.8.2)

⑧ 砂利敷き

種別 (22.9.2)(表22.9.1)
通路 ※A種 ・図示による
建築物周囲その他 ※B種 ・図示による（ 地下ピット ） ・

明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	GEN	総合	最終版 2025.02.28
	15	建築工事特記仕様書(9)	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

241203

① 植栽地の確認等

土壌の水素イオン濃度指数（pH）試験　・行う　⊙行わない　(23.1.3)
電気伝導度（EC）の試験　・行う　⊙行わない

② 植栽基盤の整備

整備内容　(23.2.2)(表23.2.1)(表23.2.2)

植　栽	工　法	有効土層の厚さ（cm）	整備範囲（面積）	土壌改良材
⊙樹木	※A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高12m以上 （※100　・120　・150） 樹高7m以上～12m未満 （※80　・100） 樹高3m以上～7m未満 （※60　・80） 樹高3m未満 （※50　・60）	⊙集張り部分 ・植栽部分 ・図示 ・	⊙適用する ・適用しない
⊙芝，地被類	※B種 ・	※20 ・	⊙植栽部分 ・図示 ・	⊙適用する ・適用しない

植栽基盤の排水設備（暗きょ，開きょ，排水層縦穴排水等）　(23.2.2)
⊙設ける（※図示　・　　）　・設けない

③ 植込み用土

・現場発生土の良質土　⊙客土　(23.2.3)

④ 土壌改良材

種類，指定量　(23.2.3)(23.2.4)
⊙パーク堆肥
施工箇所　⊙植栽範囲　・図示による
指定量　植栽基盤面積1㎡あたり（・　L　⊙以下数値を満たす量　）

有機物の含有量（乾物）	：70%以上
炭素窒素比（C/N比）	：35以下
陽イオン交換容量（乾物）	：70meq/100g以上
pH	：5.5～7.5
水分	：55～65%
幼植物試験の結果	：生育阻害その他の異常を認めない
窒素全量（現物）	：0.5%以上
りん酸全量（現物）	：0.2%以下
加里全量（現物）	：0.1%以上

・汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト）
施工箇所　・植栽範囲　・図示による
指定量　植栽基盤面積1㎡あたり（・　L　・　）

⑤ 樹木

樹種，寸法，株立数　・図示による　・　(23.3.2)
刈込みものの適用　・適用する（数量：　）　・適用しない

⑥ 支柱

支柱材の種類　※丸太（間伐材）　・真竹　⊙図示　(23.3.2)
防腐処理方法　※加圧式防腐処理丸太材　⊙図示

形式　(23.3.3)
・添え柱形　・鳥居形　・八ツ掛け形
・布掛け形　・ワイヤ掛け形　⊙地下埋設形

7 幹巻き用材料

材料　※幹巻き用テープ　・わら　・こも　(23.3.2)

8 芝

種類　※コウライシバ　・ノシバ　(23.4.2)
芝張りの工法　(23.4.3)
平地　※目地張り　・べた張り
法面　・目地張り　※べた張り

9 吹付けは種

種類等　(23.4.2)

種子の種類	種子の量（g/㎡）	備　考
※洋芝類	・25g/㎡	
・		

⑩ 地被類

種類等　(23.4.2)

植物の種類	芽立数	径	単位面積当たりの株数
⊙図示	⊙図示	⊙図示	⊙図示
・	・	・	

⑪ 新植，移植樹木，芝等の枯保証

新植樹木の枯補償の期間（芝張り，吹付けは種及び地被類を含む）　(23.3.4)(23.4.7)
※引渡しの日から1年　・　・無し
移植樹木の枯損処置を行う期間　(23.3.6)
・引渡しの日から1年　・　・無し

⑫ 屋上緑化

植栽基盤及び材料　(23.5.2)(23.5.3)
・屋上緑化システム
土壌層の厚さ　・図示による　・
排水層　・軽量骨材（層の厚さ：　）　・板状成形品
植込み用土　※改良土　・人口軽量土
⊙屋上緑化軽量システム　(23.5.3)
樹木，芝及び地被類
樹種，寸法，株立数　⊙図示による　・
刈込みものの適用　・適用する（数量：　）　⊙適用しない　(23.5.3)
見切り材，舗装材，水抜き管，マルチング材等
⊙図示による　・　(23.5.4)
工法
平成12年建設省告示第1458号に基づく風圧力に対応した工法
・図示による　・
支柱　・設置する（形式　・図示　・　）　(23.5.4)
かん水装置　⊙設置する（種類　⊙図示　・　）　(23.5.4)

メーカー品番リスト

※原則下記と同等の品を採用すること。

品　名	会　社　名	商　品　名　・　品　番	備　考
壁点検口	ナカエ工業（株）	ウォールハッチSHA	450×450
耐火塗料１	エスケー化研（株）	SK耐火コートHS　PP060ON-0778	1時間耐火
耐火塗料２	エスケー化研（株）	SK耐火コートHS　PP060ON-0906	1時間耐火
棚板	TOTO	UTR422S	SK内
水平手摺	TOTO	T112型L400	親子ブース内
WC補助手摺　洗面用	TOTO	T112CPSS	
WC補助手摺　小便器用	TOTO	T112CU22	
WC補助手摺　大便器用L型	TOTO	T112CL9	
WC補助手摺　大便器用T型跳上	TOTO	T112HP7	
ベビーチェア	TOTO	YKA1SS（平型）、YKA1GS（コーナー）	
フィッティングボード	TOTO	YKA41R	
フック	TOTO	YKH20R	
流し台	TOTO	システムキッチン	
調乳用温水器（シンクー体型）	TOTO	システムキッチン	
高強度ウレタンゴムアス複合塗膜防水	（株）エフワンエヌ	M-BP153	
塗壁仕上げ	アイカ	ジョリパット（ゆず肌仕上）	全面下地処理エフマックスFK（薬量機能付き）含む
リシン吹付	SK	ツーキコートリシン	
防塵塗装	ABC商会	DAクリアコート	
複層ビニル床タイル（A）	川島織物	エグザフロアエステーテラ	
複層ビニル床タイル（B）	田島ルーフィング	Pタイル	
タイルカーペット（A）	スミノエ	ECOS LX-1800	
タイルカーペット（B）	川島織物	シチリアレザー	
発泡複層ビニル床シート（A）	東リ	アリーナフィット	
発泡複層ビニル床シート（B）	クリヤマジャパン	タラフレックス　Evolution	
クロス差し込み目地	フクビ	クロス目地3-12	
カーテンレール	TOSO	ニューリブ	
点字鋲	カネソウ	ステンレス製樹脂充填タイプ	
消火器ボックス	UNION	UFB-3F-3026	
トイレブース	小松ウォール	サンティTB-TP	
天井点検口A	ナカエ工業	ハイハッチMMⅡf	
EV鋼製点検扉	ニッタン工業	感知器点検ボックス（壁用）	
防水防臭型マンホール	カネソウ	MKCY-2	ポンプ室・屋外床下点検口
ステンレス排水桝蓋	カネソウ	バケット付き集水桝蓋	
避難器具（垂直式救助袋）	オリロー	垂直式救助袋	
ケイ酸質系塗布防水	大日化成	GA-1工法	
ポリマーセメント系塗膜防水	大日化成	GR工法	
ライニング防水エポキシ樹脂系	大日化成	BIGSUN防食防水工法	
飛散防止フィルム（透明）	3M	スコッチティントウィンドウフィルム	
ステンレス防水	三晃金属	ステンレス防水R-T工法	
緩穏粒シート	三井金属	オンシャット	
カーテンレール	TOSO	CIERO MINI	
人工芝	清水樹脂	PT2055RS+Uクール	
コーナーガードB	木本ゴム工業	コーナー君25 長さ2m	
車止めブロック	三洋コンクリート工業	NSP-120B	
直付けアルミルーバー	ABC商会	インターライン直付け嵌合IL-S3010K　木目オレフィン	
屋内鋼製床組	染野製作所	900-1-50形	
アルミスパンドレル	森村金属	AL100Y-G7	
軒天ケイカル板t6	ニチアス	エコラックスエンボス	
屋上広場、テラスニ重床システム	田島緑化	FDパネル	
テラス磁器質タイル	川島織物	Danang 200×800	
汚垂タイル	TOTO	ハイドロセラ・フロアPU(薄型)	
インターロッキングブロック	日本工業株式会社	SAZARE 細石　エコロアクア	
コンクリート平板	ユニソン	VIVALAS ai60	
駐車場白線	ABC商会	ラインコート	
玉砂利敷き樹脂固め	東亜道路工業株式会社	アートストーン	
日除けカーテン	川島織物セルコン	FT6424 1.5倍ヒダ	
バーチカルブラインド	東京ブラインド	スパングラススクリーン	
暗幕カーテン	川島織物セルコン	GD1123(遮光1級)1.5倍ヒダ	
ロールスクリーン	タチカワ	ミント	
ネットカーテン	川島織物セルコン	ネオバイオレット　V250 GD1292	
間仕切りカーテン	川島織物セルコン	エヌビーメドレー　GD1225-1233	
塗り床材1(防滑性ウレタン樹脂系防水仕上材)	ABC商会	カラートップSR B工法	
塗り床材2(厚膜型エポキシ樹脂系塗り床材)	ABC商会	ケミクリートE	
縞受け石	岩瀬生コン	縞受け大	

建築工事メーカーリスト

※建築工事の使用材料及び施工については、本メーカーリストの中より選択することを原則とし、記載がないものについては、監督員の承諾を得るものとする。
（参考：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修・社団法人「公共建築協会」発行　建築材料等評価名簿）

工種	名称・品名		会　社　名
防水工事	塗膜防水（塗布）	ウレタンゴム系	・保土谷建材㈱　・ニッタ化工品㈱　・三ツ星ベルト㈱　・AGCポリマー建材㈱
		ゴムアスファルト系	・成瀬化学工業　・日新工業㈱　・田島ルーフィング㈱　・東亜工業㈱ ・㈱ウォータイト
		ケイ酸質系 及び ポリマーセメント系・EVA系	・大関化学工業㈱　・昭和電工建材㈱　・大日化成㈱　・ユニオン建材工業㈱
	ウレタン複合防水		・シーカジャパン㈱　・田島ルーフィング㈱　・エフワンエヌ
	シーリング		・コニシ㈱　・セメダイン㈱　・サンスター技研㈱　・日本シーカ㈱ ・横浜ゴム㈱
タイル工事	タイル		・㈱ＬＩＸＩＬ　・㈱ダントー　・ＫＹタイル㈱　・ＴＯＴＯ㈱ ・ニッタイ工業㈱
屋根・樋工事	二重折版		・ＪＦＥ鋼板㈱　・㈱淀川製鋼所　・日鉄住金鋼板㈱ ・元旦ビューティー工業㈱　・三晃金属工業㈱
	塩化ビニル製樋		・ケイミュー㈱　・三菱ケミカルインフラテック㈱　・タキロンシーアイ㈱ ・積水化学工業㈱
金属工事	アルミ笠木		・㈱エービーシー商会　・理研軽金属工業㈱　・三協立山㈱
	天井・床点検口 グレーチング ステンレス金物 排水金物等		・ナカエ工業㈱　・理研軽金属工業㈱　・㈱ダイケン ・カネソウ㈱　・㈱ニムラ　・福西鋳物㈱　・㈱中部コーポレーション
	建築金物（手摺・ノンスティック）（見切金物等）		・ナカエ工業㈱　・ワイエム工業㈱　・ケージーバルテック㈱　・㈱シンドウ工業 ・杉田エース㈱　・㈱ナスタ　・㈱ダイケン ・神栄ホームクリエイト㈱(旧新協和)　・㈱アシスト
建具工事	シャッター		・文化シャッター㈱　・三和シャッター工業㈱　・東洋シャッター㈱
	自動ドア開閉駆動装置		・ナブテスコ㈱　・扶桑電気工業㈱
	鍵		・㈱ゴール　・美和ロック㈱
	ハンガードア		・文化シャッター㈱　・三和シャッター工業㈱　・㈱くろがね工作所 ・小松ウォール工業㈱　・コマニー㈱

工種	名称・品名	会　社　名
建具工事	スライディングウォール	・㈱ニチベイ　・立川ブラインド工業㈱　・コマニー㈱　・小松ウォール工業㈱
	トイレブース	・コマニー㈱　・小松ウォール工業㈱　・信越ファインテック㈱ ・三和シャッター工業㈱　・文化シャッター㈱
	ガラス	・ＡＧＣ㈱　・セントラル硝子㈱　・日本板硝子㈱
	鋼製軽量建具	・コマニー㈱　・文化シャッター㈱　・三和シャッター工業㈱ ・小松ウォール工業㈱
	防煙垂壁	・ＡＧＣ㈱　・セントラル硝子㈱　・日本板硝子㈱　・㈱ミヨシ ・三和シャッター工業㈱　・文化シャッター㈱
塗装工事	一般塗装	・関西ペイント㈱　・日本ペイント㈱　・大日本塗料㈱　・ロックペイント㈱ ・㈱トウペ　・大同塗料㈱　・神東塗料㈱　・大谷塗料㈱
	吹付塗装	・菊水化学工業㈱　・エスケー化研㈱　・ＡＧＣコーテック㈱　・関西ペイント㈱ ・日本ペイント㈱　・神東塗料㈱　・大日本塗料㈱　・㈱ハマキャスト(天然石調)
内外装工事	フローリング	・大建工業㈱　・朝日ウッドテック㈱　・㈱ウッドワン　・天龍木材㈱ ・永大産業㈱　※県産木材の指定があれば木工事の項による。
	ビニル床タイル	・東リ㈱　・田島ルーフィング㈱　・ロンシール工業㈱　・㈱エービーシー商会 ・㈱サンゲツ
	ビニル床シート	・東リ㈱　・田島ルーフィング㈱　・ロンシール工業㈱　・㈱エービーシー商会 ・タキロンシーアイ㈱　・㈱サンゲツ
	カーペット	・東リ㈱　・田島ルーフィング㈱　・ロンシール工業㈱　・㈱サンゲツ ・㈱スミノエ　・アスワン㈱
	クロス	・リリカラ㈱　・㈱サンゲツ　・㈱シンコール　・東リ㈱　・㈱スミノエ
	メラミン不燃化粧板(抗菌)	・アイカ工業㈱　・イビケン㈱　・日本デコラックス㈱
	岩綿吸音板	・大建工業㈱　・東洋テックス㈱　・吉野石膏㈱
ユニット及びその他の工事	カーテン	・㈱スミノエ　・アスワン㈱　・㈱川島織物セルコン　・㈱シンコール ・東リ㈱　・㈱サンゲツ
	流し台	・ナスラック㈱　・㈱ＬＩＸＩＬ　・タカラスタンダード㈱ ・㈱トーヨーキッチンスタイル
	ブラインド	・立川ブラインド工業㈱　・㈱ニチベイ　・トーソー㈱　・東京ブラインド
屋外附帯工事	フェンス	・ＪＦＥ建材㈱　・朝日スチール工業㈱　・日鉄建材㈱　・四国化成

明石市政策局　プロジェクト推進室		西明石地域交流センター　icotto　建設工事	
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	GEN	総合	最終版　2025.02.28
	16	建築工事特記仕様書(10)	見積版　2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

西明石地域交流センター icotto 建設工事

令和　7年　2月

仕様書

1．工　事　概　要

1. 工事場所　兵庫県明石市西明石南町３丁目607-44

2. 建物概要

建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積（㎡）	消防法施行令別表第一の区分	施設の分類	備考
本体	RC造(一部S造)	地上4階	3,909.31	(16) 項イ	特定施設	

3. 工事種目（●印を付けたものを適用する）

建物別及び屋外 ＼ 工事種目	工事種別				
	本体				
● 空気調和設備	新設一式				
● 換気設備	新設一式				
○ 排煙設備					
● 自動制御設備	新設一式				
● 衛生器具設備	新設一式				
● 給水設備	新設一式				
● 排水設備	新設一式				
● 給湯設備	新設一式				
● 消火設備	新設一式				
○ 厨房設備					
● ガス設備	新設一式				
○ 雨水利用設備					
○ 排水処理設備					
○ 撤去工事					

4. 指定部分　●無　○有　対象部分（　　）
　指定部分工期：令和　年　月 ～ 令和　年　月

5. 設備概要（●印のついたものを適用する）※改修工事の場合は既存概要を示す。

方式及び種別	設備概要
空調方式 主要熱源機器	○ 空気調和　○単一ダクト方式　○全空気方式 ○ファンコイルユニット・ダクト併用方式　●個別空調方式 ○
自動制御方式	○ 電気式　○電子式　●デジタル式
給水方式	○ 高置タンク方式　○ポンプ直送方式　○水道直結方式　●水道直結増圧方式
排水方式	建物内の汚水と雑排水（● 合流式　○分流式） ポンプ排水 ○あり（○汚物　○雑排水　○湧水）　●なし 建物外放流先 （1）汚　水　● 直放流下水管 （2）雑排水　● 直放流下水管 （3）排水槽　○ あり（計画容量：汚水槽　　㎥、雑排水槽　　㎥）　●なし
消火設備の種類	● 屋内消火栓設備　○スプリンクラー設備 ○ 泡消火設備　○連結散水方式　○連結送水管 ○ 不活性ガス消火設備（○　　）　●消火器
ガスの種類	● 都市ガス（種別 13A、高位発熱量45.0MJ/㎥(N)、　低位発熱量40.6MJ/㎥(N) 供給圧力　　Pa、供給事業者名　　）

6. 改修内容：改修工事の場合に記載する。

2．工　事　仕　様

1. 共通仕様
（1）図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記標準仕様書等のうち、
●印の付いたものを適用する。
●公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）(令和4年版)（以下「標準仕様書」という。）
●公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）(令和4年版)（以下「改修標準仕様書」という。）
●公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）(令和4年版)（以下「標準図」という。）
（2）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの特記仕様書を適用する。
なお、電気設備工事の工事仕様は、（ GEN-19 ）図、建築工事の工事仕様は（ GEN-07～16 ）図による。

2. 特記仕様
章、項目、特記事項共に●印の付いたものを適用し、○印のものは適用しない。

章	項目	特記事項
● 一般共通事項	● 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ●風圧力 風速（Vo= 34 m/s） 地表面粗度区分（ Ⅲ ） ●積雪荷重 建設省告示第1455号における区域　別表（ 32 ）30cm
	● 環境への配慮	（1）本工事において、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月閣議決定）」による特定調達品目の判断基準等を満たす環境物品等を選択するよう努める。ただし、公共工事分野の特定調達品目の機材を使用する場合は、判断の基準を満たすものとする。 （2）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ②接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③接着剤は、可塑性（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
	● 材料・機材の品質等	（1）本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 （2）メーカーリストに機材等名が記載された製造業者等は次の１）から６）すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 １）品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 ２）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 ３）安定的な供給が可能であること。 ４）法令等で定められる場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ５）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ６）販売、保守等の営業体制が整えられていること。なお、システムとして機能するものにあっては、システムの構築能力があり、現場での施工体制が整えられていること。

○ 工事用仮設物		構内につくることが　○できる　○できない
○ 足場その他		○別契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。 （○建築工事　○電気設備工事　で設置する。） ○本工事で設置する。 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における２の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 ○内部足場等（○　種　○　種） ○外部足場等（○　種　○　種）
● 建設発生土の処理		○埋戻し後の建設発生土は、監督職員と協議し、構内の決定した場所に敷きならしとする。
● 埋め戻し土・盛土		●場外搬出適切処理　○現場説明書による　○構外指定場所に堆積
○ 運転操作説明板		●掘り土の中の良質土（ただしコンクリート管以外の管の周囲は山砂の類とする） 系統図、機器等の取扱い方及び重要な定期点検項目を記載したアクリル樹脂製の板を機械室に設ける。説明板の大きさは約　　㎡とする。
● 機材の承諾図		機械設備工事機材承諾図様式集（令和4年版）によるほか、監督職員との協議による。
● 総合試運転調整		●本工事　○別途 調整項目（測定箇所等は監督職員の指示による。） ●風量調整　●水量調整　●室内外空気の温湿度の測定　○室内気流及びじんあいの測定 ●騒音の測定　●飲料水の水質の測定　○雑用水の水質の測定
● 電動機		換気扇、圧力扇及び標準仕様書に記載なく特記のないものの電動機の保護規格は、製造者規格による標準品としてよい。
● 電源周波数		○50Hz　●60Hz
● 容量等の表示		（1）機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。 （2）電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された数値以下とする。
● 耐震施工		設備機器の固定は施設の分類に応じて次による。 （1）設計用水平地震力 設計用水平地震力は、機器の質量[ｋN]（水槽類は満水時の液体重量を含む設備機器総重量）に、地域係数1.0及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。

設計用標準水平震度

	機器種別	● 特定の施設		○ 一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階・屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

・上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。
・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。
・水槽類にはオイルタンクを含む。
・重要機器は次のものを示す。
（名称：消火用充水タンク、記号：TF-1　）（名称：給水ポンプユニット（上式）、記号：PU-1　）
（名称：消火ポンプユニット、記号：PFU-1　）（名称：空気式バウンダリ用定期弁機、記号：－　）
（名称：　　、記号：　　）（名称：　　、記号：　　）

（2）設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とする。

● 配管		（1）ステンレス鋼管の接合は、下記による。 ●呼び径６０Ｓｕ以下（ＳＡＳ３２２を満足した継手　　） （2）溶接部の非破壊検査　●不要　○要 （抜取率　○標準仕様書（機械設備工事編）による　○　%）
● 試験		（1）各種配管の試験は、新設配管に適用する。 （2）新設配管は、既設配管との接続前に試験を行う。
○ 絶縁継手		図示の位置に取り付ける。
● 地中埋設標等		（1）地中埋設標　●要（図示の箇所）　○不要 （2）埋設表示用テープ　●要（排水管を除く）　○不要
● 保温		●屋外露出部の（○機器類　●配管類）には（○凍結防止ヒーター　●防凍保温）を行う。 なお、配管類には外観を含むものとする。 （対象機器類：　○　○　○　） （対象配管類：　●給水配管　●消火配管　○膨張管　○ドレン管　○　） 凍結防止ヒーター　：自己サーモ式とし、防凍保温を施す。 防凍保温　　：標準仕様書第2編3.1.4及び3.1.5による。
		●共同溝、トレンチ、免震層内の保温は（標準仕様書第2編の施工箇所：暗渠内　）を適用する。 ●多湿箇所は下記による。（天井内共多湿箇所とする。） （対象室名：　●キッチン　○　○　） ○屋内露出部の（○実験室　○　　）の保温外装は（○アルミガラスクロス　）とする。 ●給湯配管の各種装置廻りの配管、弁、フランジ、各種継手、フレキ等は保温を行うこと。
● 塗装、仕上げ		露出機材の塗装及び仕上げは下記による。 ●屋外：○ドレン管　（○指定色塗装　○　） ○冷却水管　（○指定色塗装　○　） ●金属電線管　（●溶融亜鉛メッキ仕上げ（付着量300g/㎡）） （○指定色塗装　） ●屋内：●ダクト　（●指定色塗装　○　） ○排水管・通気管（○指定色塗装　○　）
● 電線類		電線及びＥＭケーブル等は標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による。
○ 天井仕上区分		（　）書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。
● 吊り及び支持金物		（○槽内　○免震層内　）の吊り金物・支持金物類はステンレス鋼製（SUS 304）とする。
○ 施工調査		事前調査　○本工事　○別途 調査内容 調査項目　○既存資料調査 調査範囲　○図示　○ 調査方法　○図示　○
		○はつり及び穿孔作業を行う場合、事前に走査式埋設物調査を行い報告すること。 ○石綿含有分析調査　（○本工事　○別途工事）
○ 既存躯体への穿孔		穿孔機械を使用し、既存躯体に穿孔する場合は、金属探知により電源供給が停止できる附属装置等を用いて施工する。
● 他工事との工事区分		図面に特記なき場合は、工事区分表による。

● 空気調和設備	● 設計温湿度	

		外気		屋内（調整目標）					
				一般系統					
		温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)
夏期	9時	31.2 ℃	69 %						
	12時	33.3 ℃	60 %	26.0 ℃	50 %	℃	%	℃	%
	14時	34.5 ℃	56 %						
	16時	34.4 ℃	56 %						
冬期		1.7 ℃	57 %	22.0 ℃	40 %	℃	%	℃	%

	○ 鋼板製煙道	伸縮継手、排除口及びばいじん量測定口の位置は図示による。 鋼板厚（○3.2mm　○4.5mm）
	● ダクト	●低圧ダクト（●コーナーボルト工法：共板フランジ工法（長辺の長さが1,500mm以下の部分） ○アングルフランジ工法）とする。 ●スパイラルダクト（●低圧　○　） ○高圧1ダクト（適用範囲は図示による。）とする。 ○ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの適用範囲及び仕様は図示による。 図示した位置に取り付ける。
	● 風量測定口	
	● チャンバー	（1）内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 （2）空気調和機に取り付けるサプライチャンバー、レタンチャンバー及びダクト系で消音内貼りしたチャンバーには点検口を設ける。なお、大きさは図示による。 （3）外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。
	○ ダンパー	（1）防煙ダンパー　復帰方式（○遠隔復帰式　○　） （2）ピストンダンパー 復帰方式（○遠隔復帰式　○　）
	● 配管材料	（1）蒸気管　給気管　○配管用炭素鋼鋼管（黒） ○圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）（Sch40） ○ 還管　○圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）（Sch80） ○一般配管用ステンレス鋼鋼管 （2）油管　○配管用炭素鋼鋼管（黒）　○ （3）冷温水管　○配管用炭素鋼鋼管（白）　○ （4）冷却水管　○配管用炭素鋼鋼管（白）　○ （5）高温水管　○一般配管用ステンレス鋼鋼管　○ （6）膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ○配管用炭素鋼鋼管（白）　○ （7）冷媒管　●断熱材被覆銅管　○ （8）ドレン管　●硬質ポリ塩化ビニル管（VP)(横引き)　○耐火二層管（内管VP）（竪管） （9）加湿用給水管　○配管用ライニング鋼管（SGP-VA） ※65A以上のドレン管は、耐火二層管（内管VP）とする。
	● 弁類	JIS又はJV　（○5K　●10K（図示部分）） ○65A以上の冷温水・冷却水用弁装置の仕切弁はバタフライ弁とする。 ○鋼管用伸縮継手の種類は図示による。 ○ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。
	● 温度計・圧力計	図示の位置に取り付ける。
	○ 瞬間流量計	図示の位置に取り付ける。なお、瞬間流量計（○固定形　○着脱形）とする。
	○ 油面制御装置	制御盤には（○遠隔警報　○　　）の端子を設ける。なおフロートスイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする。
	● 保温及び消音内貼	標準仕様書第2編3.1.4によるほか、次による。 ○遠リダクト（RAダクト）の保温範囲は（○図示による　○　） ●外気ダクト（OAダクト）の保温範囲は（○図示による　●全て　） ○蒸気還り管の保温不要（風下露出は除く。） ○膨張管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項による。 ○建物内のエア抜き管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項による。（エア抜き弁以降の配管は除く） ●暗渠内（ピット・免震層内を含む）の空調用ドレン管は保温（○有　●無）とする。 ●冷媒管の保温外装は次による。 ○図示による。 ●屋内露出箇所（●保温化粧ケース（材質：樹脂製　）） ●屋外露出箇所（●ステンレス鋼板　○　）
● 換気設備	● ダクト	●低圧ダクト（●コーナーボルト工法：共板フランジ工法（長辺の長さが1,500mm以下の部分） ○アングルフランジ工法）とする。 ○高圧1ダクト（適用範囲は図示による。）とする。 ○ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの適用範囲及び仕様は図示による。 ○厨房系統の長方形排気ダクトの板厚は、明石市火災予防条例の運用基準による。 図示した位置に取り付ける。 空気調和設備の当該項目による。 ○浴室（シャワー室、脱衣室を含む。）系統　○厨房系統　●キッチン排気 空気調和設備の当該項目による。 次のダクトは保温を行う。 ●全熱交換ユニットの給気ダクトの保温要（保温範囲：全て） ●全熱交換ユニットの外気ダクトの保温要（保温範囲：全て） ●全熱交換ユニットの排気ダクトの保温要（保温範囲：外壁から2m以内） ●キッチン　○湯沸室　の隠ぺいダクト（仕様はh・(ｲ)・IX）とし、範囲は図示による。 ●外壁から2m以内の排気ダクトは保温を行うこと。
	○ 風量測定口	
	○ ダンパー	
	● 排気ダクトのシール	
	● チャンバー	
	● 保温	
○ 排煙設備	○ ダクト	○亜鉛鉄板　○普通鋼板（○厚1.6mm　○　）
	○ 排煙口の形式	○図示による。
	○ 排煙口手動開放装置（開放及び復帰方式）	○電気式（遠隔操作　○要　○不要）　○ワイヤー式
	○ 排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書（2016年版）（(一財)日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準じる。
● 自動制御設備	○ 中央監視制御装置	○有り（○新設　○既設　）　●無し（　　）
	● システム構成・機能	別図による。
	● 電気計装用配線	電線及びEMケーブルは、標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11 による。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記がなければ金属管配線とする。 天井内隠ぺいの配線は、図面に特記がなければケーブル配線とする。
● 衛生器具設備	● 自動洗浄装置及びその組み込み小便器	●個別感知フラッシュ方式　（○ＡＣ電源　●自己発電　）
	○ 標記板	○要（材質：　　）　（○大便器　○小便器　○　　）
	● 自動水栓の電源供給方式	●ＡＣ電源　●自己発電　○乾電池
	● 衛生器具ユニット	●図示による。
	● 衛生器具付属水栓	水抜栓を使用する場合は、水栓は固定こま式とする。
	● 大便器洗浄弁	●電気開閉式　○手動式

● 給水設備	● 配管材料	（1）一般配管　●塩ビライニング鋼管（VA）（機械室内）　○塩ビライニング鋼管（VB） ●ポリエチレン管（上水）　●一般配管用ステンレス鋼鋼管（屋外露出、4階倉庫内） （2）地中埋設配管　○塩ビライニング鋼管（VD）　●ポリエチレン管 ○ステンレス鋼鋼管（SUS 316） （3）水道直結配管　●引き込みは水道事業者の指定により、量水器以降の地中埋設配管は（●ポリエチレン管　　）とし、他の部分は(1)による。 （4）水槽内　○配管用ライニング鋼管（SGP-VD）
	● 量水器	●親メーター（貸与品）　●現地表示式（直読式）　○遠隔表示式（○電文式　○　　） ●子メーター（買取品）　●現地表示式（直読式）　○遠隔表示式（○電文式　○　　）
	● 量水器桝	●水道事業者指定品（○貸与品　●買い取り（材質：鋳鉄製　））　○標準図MC形
	● 弁類	JIS又はJV　●水道直結部分（●10K　○　　） ●その他の部分（● 5K　●（図示による）　）
		●逆止弁の衝撃吸収式はライニング不要とする。 ●ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。
	● 水栓	●台所流し用の水栓は泡沫式とする。 ●水抜栓を使用する場合、水栓は固定こまとする。 （○ただし、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする）
	● 管の地中埋設深さ	管の上端より原則として、一般敷地は（ 30 cm）構内道路は（ 60 cm）以上とする。
	○ 水栓柱	○合成樹脂製　○アルミニウム合金製　○人造石とぎ出し製　○ステンレス鋼製
	● 建物導入部配管	●標準図（建築物導入部の変位吸収配管要領）の ○（a）　○（b）　●（c）による。 ○ポリエチレン配管の施工要領は図示による。
	● 引込納付金等	●要（○別途工事　●本工事）　○不要
● 排水設備	● 配管材料	（1）屋　内　汚水管　●硬質ポリ塩化ビニル管(VP)（横引き）　●耐火二層管（内管VP)（竪管） 雑排水管　●硬質ポリ塩化ビニル管(VP)（横引き）　●耐火二層管（内管VP)（竪管） ○配管用炭素鋼鋼管（白）（キッチン高温排水系統） 通気管　●硬質ポリ塩化ビニル管(VP)（横引き）　●耐火二層管（内管VP)（竪管） ポンプアップ排水管　○耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管　○ （2）屋　外　第一桝まで　○排水用塩ビライニング鋼管　○ ●リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管（RS-VU） 桝間　●硬質ポリ塩化ビニル管(VP) 65A以上の汚水・雑排水・通気管は、耐火二層管（内管VP）とする。
	● 洗面器等の排水管	洗面器に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップとする。 台所流し等の床上部分の配管は、ビニル管（RF－VP）でもよい。 大便器、小便器、洗面器及び掃除用流しとの接続管は、ビニル管（RF-VP)とする。
	● 満水試験継手	図示の位置に取り付ける。
	● 放流納付金等	●要（○別途工事　○本工事）●不要
● 給湯設備	● 配管材料	●ステンレス鋼鋼管（SUS 304）　○
	● 弁類	JIS又はJV　（○5K　●10K　（図示部分）） ●ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。
	● 保温	湯沸器の給排気筒（二重管）の隠ぺい箇所は保温を行う。なお、保温の種別は標準仕様書第２編3.1.5 表2.3.5のｈ・（ｲ）・Ⅸとする。
● 消火設備	● 配管材料	（1）屋内消火栓　○ステンレス鋼鋼管（SUS 304）　●配管用炭素鋼鋼管(白)(SGP（白）) （2）ｽﾌﾟﾘﾝｸﾗｰ　○配管用炭素鋼鋼管(白)(SGP(白))(一般)○消火用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ外面被覆鋼管(SGP-VS)(地中) （3）連結送水管　一般　○圧力配管用炭素鋼鋼管（白）（Sch40） 地中　○消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（STPG370-VS） ※水槽内の配管は消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（SGP-VS）とする。
	● 屋内消火栓種別	●広範囲型２号消火栓　○易操作性１号消火栓　○１号消火栓　○２号消火栓
	● 屋内消火栓開閉弁	●１０Ｋ
	● 保温	●屋外露出部分（50A以下）　●あり　（(ｲ)：e2・(ﾊ)・Ⅶ　②：c・(ﾛ)・Ⅶ　）　○なし 屋外露出部の保温は①とし、屋内隠ぺい部（　　）の保温は②とする。
	○ 不活性ガス消火設備	別図による。
	○ 泡消火設備	別図による。
○ 厨房設備	○ システム	○ドライシステム　○
	○ 機器の機能等	図示による。
● ガス設備	● 配管材料	●都市ガス　ガス事業者の供給規定による。 ○液化石油ガス　（1）一般配管　○ （2）地中配管　○
	○ 充てん容器	別途（○50kg　○　　○　　）×　本
	○ 集合装置	標準図（液化石油ガス容器廻り配管要領）による　本組。
	○ 転倒防止等	標準図（液化石油ガス容器転倒防止施工要領）の（○（a）　○（b））による。
	● メーター	●親メーター（貸与品）　●実測式　○パルス式（パルス発信機は　○買い取り） ○子メーター（買取り）　○実測式　○パルス式
	○ ガス漏れ警報器	○本工事（図示による）　○別途工事 外部警報端子（○無　○有）
	○ 漏洩検知装置	○要　○不要
	○ 電気防食	○要　○不要
	● 引込負担金等	○要（○別途工事　○本工事）　●不要
○ 雨水利用設備	○ システム構成その他	別図による。
	○ 配管材質	（1）一般配管　○配管用ライニング鋼管（SGP-VA） （2）水槽内　○配管用ライニング鋼管（SGP-VD）
	○ 弁類	JIS又はJV（○5K　○　　）
○ 排水処理設備	○ 仕様等	別図による。
	○ 設備方式	○排水再利用　○浄化槽　○厨房除害
○ 撤去工事	○ 撤去内容	○図示による
	○ 発生材の処理	○現場説明書による。 ・竣工後の運用状態を確認するため、竣工後1・2年調査時に下記データを収集し、監督員に報告すること。
● 完成後の調査		●月別エネルギー使用量（電力デマンド、電力・水道・ガス使用量） 様式は、設計者・監理者の指示する様式による。 ○地中熱利用設備については運転データを分析し、省エネルギー性能を報告すること。
● その他		・水の逆流防止のための措置（吐水口空間の確保、逆止弁・バキュームブレーカの設置）を行うこと。 ・ウォーターハンマー防止のための措置（管内流速の低減、水撃防止器の設置、ポンプ出口に水撃防止型逆止弁を設置）を行うこと。 ・排水管算定方法は、排水負荷単位法による。 ・耐火二層管国土交通大臣認定番号（参考） RC床：PS060FL-0391　中空壁：PS060WL-0312　片壁：PS060WL-0928

明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森　雅章		GEN	総合	最終版 2025.02.28
〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築士 国土交通大臣登録 第 2339号 小林　陽一		17	機械設備特記仕様書 A1：－ A3：－	見積版 2024.12.16
			安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

20230220

ＪＩＳ規格等認定、認証品目

	種別	規格
配管材料	・冷温水及び冷却水管	標準仕様書　表2.2.1による
	・同上用継手	標準仕様書　表2.2.2による
	・蒸気，高温水，油管及び継手	標準仕様書　表2.2.3による
	・ブライン管及び継手	標準仕様書　表2.2.4による
	・冷媒管及び継手	標準仕様書　表2.2.5による
	・給水・給湯及び消火管	標準仕様書　表2.2.6による
	・同上用継手	標準仕様書　表2.2.7による
	・排水及び通気管	標準仕様書　表2.2.8による
	・同上用継手	標準仕様書　表2.2.9による
配管付属品	・一般用弁及び栓	標準仕様書　表2.2.10による
衛生器具	・衛生陶器	ＪＩＳ Ａ ５２０７
	・大便器洗浄弁	ＪＩＳ Ｂ ２０６１
	・給水栓	ＪＩＳ Ｂ ２０６１
備考	・規格は、公共建築協会発行「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）」による	

製造業者指定

分類	機材名	製造業者名
管類	上記以外の管及び継手	※ＪＩＳ・ＳＨＡＳＥ－Ｓ・ＪＷＷＡ規格品
弁類	上記以外の弁及び栓	※ＪＩＳ・ＳＨＡＳＥ－Ｓ・ＪＷＷＡ規格品
●継手	ベローズ式伸縮継手	大阪ラセン管工業㈱　㈱ベン
		日本ベローズ工業㈱　㈱本山製作所
		三吉バルブ㈱　㈱ヨシタケ
		トーフレ㈱
空調機器	チリングユニット	荏原冷熱システム㈱　ダイキン工業㈱
		東芝キヤリア㈱　日本熱源システム㈱
		日立ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾗｲﾌｿﾘｭｰｼｮﾝｽﾞ㈱
		三菱重工冷熱㈱　三菱電機㈱
	吸収冷温水機	荏原冷熱システム㈱　川重冷熱工業㈱
	●冷却塔一体型吸収冷温水機（パック型）	ﾊﾞﾅｿﾆｯｸ産機ｼｽﾃﾑｽﾞ㈱
		日立ｼﾞｮﾝｿﾝｺﾝﾄﾛｰﾙｽﾞ空調㈱
		矢崎エナジーシステム㈱
	冷却塔	㈱荏原冷熱システム　空研工業㈱
		東芝キヤリア㈱
		日立ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾗｲﾌｿﾘｭｰｼｮﾝｽﾞ㈱
		三菱ケミカルインフラテック㈱
		矢崎エナジーシステム㈱

製造業者指定

分類	機材名	製造業者名
空調機器	空調機（ユニット形）	木村工機㈱　クボタ空調㈱
		昭和鉄工㈱　新晃工業㈱
		ダイキン工業㈱　暖冷工業㈱
		東芝キヤリア㈱　三菱重工冷熱㈱
	ファンコイル	木村工機㈱　昭和鉄工㈱
		新晃工業㈱　ダイキン工業㈱
		暖冷工業㈱　東芝キヤリア㈱
		三菱重工冷熱㈱
		三菱電機冷熱応用システム㈱
	ヒートポンプエアコン（汎用）	ダイキン工業㈱　東芝キヤリア㈱
		パナソニック㈱
	パッケージ形空調機	日立ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾗｲﾌｿﾘｭｰｼｮﾝｽﾞ㈱
	マルチパッケージ形空調機	三菱重工冷熱㈱　三菱電機㈱
		ｾﾞﾈﾗﾙﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ工業㈱
	ガスエンジンヒートポンプエアコン	㈱アイシン　ダイキン工業㈱
		ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ産機ｼｽﾃﾑｽﾞ㈱　三菱重工冷熱㈱
		ヤンマーエネルギーシステム㈱
	吹出口・吸込口	㈱有馬工業所　協同工業㈱
		協立エアテック㈱　空研工業㈱
		ニッケイ㈱　檜工業㈱
		㈱フカガワ　丸光産業㈱
	●防振材	昭和電線ホールディングス㈱
		三井化学産資㈱　特許機器㈱
	自動制御機器	アーチバック㈱　アズビル㈱
		ジョンソンコントロールズ㈱
		パナソニックＥＷエンジニアリング㈱
		三菱電機㈱
	●ダンパー類（防火ダンパー含む）	協立エアテック㈱　空研工業㈱
		クリフ㈱　西邦工業㈱
		㈱メルコエアテック　三菱電機㈱
		パナソニックエコシステムズ㈱
		㈱ユニックス
送風機	送風機	㈱荏原製作所　㈱タニヤマ
		テラル㈱　㈱鎌倉製作所
		パナソニックエコシステムズ㈱
		三菱電機㈱　ミツヤ送風機㈱
●排煙口	排煙口	協立エアテック㈱　空研工業㈱
		檜工業㈱　クリフ㈱
●換気扇	標準換気扇	テラル㈱　ダイキン工業㈱
	天井換気扇	東芝キヤリア㈱　三菱電機㈱
	空調換気扇	パナソニックエコシステムズ㈱

製造業者指定

分類	機材名	製造業者名
ポンプ	渦巻・多段ポンプ	㈱荏原製作所　㈱川本製作所
		㈱相互ポンプ製作所　テラル㈱
		㈱日立産機システム　㈱鶴見製作所
	水中汚水ポンプ	㈱荏原製作所　エレポン㈱
		㈱川本製作所　新明和工業㈱
		㈱相互ポンプ製作所　㈱鶴見製作所
		テラル㈱　㈱日立産機システム
水槽	水槽類（ステンレス製 溶接組立形）	㈱小笠原工業所　㈱ベルテクノ
		森松工業㈱
	水槽類（ステンレス製 ボルト組立形）	積水アクアシステム㈱
		三菱ケミカルインフラテック㈱
	●水槽類（ステンレス製 一体型）	㈱ベルテクノ　森松工業㈱
		ホーコス㈱
	膨張タンク（密閉形隔膜式）	日立金属㈱　ホーコス㈱
		㈱ベルテクノ　森松工業㈱
	ＦＲＰ製水槽	積水アクアシステム㈱　ＨＩＴＡＮＫ㈱
		三菱ケミカルインフラテック㈱
●消火器具	屋内消火栓	ホーチキ㈱　㈱北浦製作所
	屋外消火栓	ニッタン㈱　㈱初田製作所
	ホース・ノズル等	日本ドライケミカル㈱　㈱立売堀製作所
	連結送水管（送水口・放水口）	ヤマトプロテック㈱　㈱横井製作所
消火装置	スプリンクラー消火システム	ニッタン㈱　能美防災㈱
		ヤマトプロテック㈱　ホーチキ㈱
		モリタ宮田工業㈱　㈱初田製作所
衛生器具	衛生陶器及び付属器具等	ＴＯＴＯ㈱　㈱ＬＩＸＩＬ
●排水金具	排水金具	カネソウ㈱　㈱小島製作所
		ダイドレ㈱　㈱長谷川鋳工所
		福西鋳物㈱
鋳鉄製ふた	マンホールふた	カネソウ㈱　㈱小島製作所
	弁桝ふた	ダイドレ㈱　㈱長谷川鋳工所
		福西鋳物㈱
●阻集器	グリーストラップ	カネソウ㈱　ダイドレ㈱
		福西鋳物㈱　ホーコス㈱
		下田エコテック㈱　プレパイ工業㈱
		コンドーFRP工業㈱

製造業者指定

分類	機材名	製造業者名
●湯沸器等	ガス湯沸器	大阪ガス㈱　㈱ノーリツ
		㈱パロマ　リンナイ㈱
		㈱長府製作所　パーパス㈱
	貯湯式電気温水器 ヒートポンプ給湯器	東芝キヤリア㈱　㈱長府製作所
		ダイキン工業㈱　㈱前川製作所
		パナソニック㈱　三菱電機㈱
		三菱重工業㈱　昭和鉄工㈱
		日立ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾗｲﾌｿﾘｭｰｼｮﾝｽﾞ㈱
		㈱日本サーモエナー
		タカラスタンダード㈱
		ＴＯＴＯ㈱　㈱ＬＩＸＩＬ
		㈱日本イトミック
●昇降機	エレベーター 小荷物専用昇降機	東芝エレベータ㈱　フジテック㈱
		㈱日立ビルシステム　三菱電機㈱
		日本エレベーター製造㈱　クマリフト㈱
●濾過装置	プール用濾過機 浴室用濾過機	オルガノ㈱　栗田工業㈱
		㈱アクアプロダクト　ローレル㈱
		ミウラ化学装置㈱　理水化学㈱
		東西化学産業㈱　㈱ノーリツ
		ゼオライト㈱
その他	フィルターユニット（パネル形、折込み形）	日本バイリーン㈱　ニッタ㈱
		㈱忍足研究所　日本エアフィルター㈱
	●免震装置	㈱TOZEN　ゼンシン㈱
		倉敷化工㈱　㈱テクノフレックス
	●ベントキャップ	ユニックス㈱　西邦工業㈱
		三菱電機住環境システムズ㈱
	●フード	ホーコス㈱　下田エコテック㈱
		㈱クラゴ　サンベック㈱
	●消音装置	日本ノイズコントロール㈱
		㈱日本消音研究所　アライ実業㈱
	●地中熱利用設備工事	ミサワ環境技術㈱　東邦地水㈱
		㈱森川鑿泉工業所
	●冷媒配管ラック	因幡電機産業㈱　ネグロス電工㈱
		オーケー器材㈱
	●配管、免振装置架台	㈱ベルテクノ　森松工業㈱
		ホーコス㈱

●印は設備機材等評価名簿に記載のない機材等を示す。

※明石市メーカーリストの中より選択し、メーカーを決定することを原則とする。
メーカーリストに記載がない品名については、一般社団法人「公共建築協会」発行の設備機材等評価名簿より選択する。
双方の場合とも、監督員の承諾を得るものとする。

2023年4月改定

明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	GEN	総合	最終版	2025. 02. 28
〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築士 国土交通大臣登録 第 2339号 小林 陽一	18	メーカーリスト（機械設備）	見積版	2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版	

（2023年版）

20230220

西明石地域交流センター　icotto　建設工事設計図

令和　7年　2月

特記仕様書

Ⅰ．工事概要

1．工事場所　兵庫県明石市西明石南町３丁目２の一部

2．建物概要

建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積(㎡)	消防法施行令別表第一の区分	施設の分類	備考
本体	鉄造 一部造	地上4階	3,909.31	(16) 項イ	特定施設	

（（注）延べ面積は建築基準法による表記 ）

3．工事種目（●印の付いたものが対象工事種目）

建物別及び屋外 ＼ 工事種別	工事					
工事種目 ＼	本体	屋外	備考			
● 電灯設備	新設 一式					
● 動力設備	新設 一式					
○ 電気自動車用充電設備						
○ 電熱設備						
● 雷保護設備	新設 一式					
● 受変電設備	新設 一式					
○電力貯蔵設備						
● 発電設備	新設 一式					
● 構内情報通信網設備	新設 一式					
● 構内交換設備	新設 一式					
● 情報表示設備	新設 一式					
● 映像・音響設備	新設 一式					
● 拡声設備	新設 一式					
● 誘導支援設備	新設 一式					
● テレビ共同受信設備	新設 一式					
● 監視カメラ設備	新設 一式					
● 駐輪場管制設備	新設 一式					
● 防犯・入退室管理設備	新設 一式					
● 火災報知設備	新設 一式					
○ 中央監視制御設備						
● 構内配電線路	新設 一式		外灯含む			
● 構内通信線路	新設 一式					
○ テレビ電波障害防除設備						
○						
○						
○ 撤去工事						

4．指定部分　● 無　○ 有（対象部分　　）

指定部分仮使用期間　　年　　月　～　　年　　月

5．改修内容

Ⅱ．工事仕様

1．共通仕様

１）図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房営庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、●印の付いたものを適用する。

●「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和4年版）」（以下「標準仕様書」という。）

●「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和4年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）（改修標準仕様書の中でいう標準仕様書は、令和4年度版（電気設備工事編）とする。）

●「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和4年版）」（以下「標準図」という。）

２）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。なお、機械設備工事の特記仕様書は（　／　）図、建築工事の特記仕様書は（GEN1～10）図による。

2．特記仕様

項目及び特記事項は、●印の付いたものを適用する。

項目	特記事項
● 適用区分	（１）建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ● 風圧力 風速（Vo= 34 m/s） 地表面粗度区分（○Ⅰ　○Ⅱ　●Ⅲ　○Ⅳ） ○ 積雪荷重 建設省告示第1455号における区域　別表（　32　）30cm （２）塩害地域 ○ 一般地域　○ 重耐塩地域　● 耐塩地域
● 環境への配慮	（１）本工事において、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月閣議決定）」に定める特定調達品目「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。 （２）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く。）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

（2023年版）

項目	特記事項
● 機材の品質等	（３）設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ① 建築基準法施行令第20条の７第１項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ② 建築基準法施行令第20条の７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③ 建築基準法施行令第20条の７第１項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④ 建築基準法施行令第20条の７第３項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 （１）本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 （２）下表に機材名が記載された製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、次の①から⑥すべての事項を評価されたことを示す外部機関が発行する書面を提出し、監督職員の承諾を受けた場合は、証明となる資料等の提出を省略することができる。 ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。

機材等
○LED照明器具（一般屋内用に限る）
○照明制御装置
○可変速運転用インバーター装置
●分電盤
●制御盤
●キュービクル式配電盤
○高圧スイッチギヤ（CW形）
○高圧スイッチギヤ（PW形）
●高圧交流遮断器
●高圧進相コンデンサ
●高圧限流ヒューズ
●高圧負荷開閉器
○高圧変圧器（特定機器）
○交流無停電電源装置
●太陽光発電装置（パワーコンディショナ及び系統連系保護装置）
●監視カメラ装置
○中央監視制御（監視制御装置）
○
○
○
○
○

● 電源周波数	○ 50Hz　● 60Hz
● 電気工事士	最大電力が500［kW］以上の場合においても、第一種電気工事士により施工を行うものとする。
● 工事用仮設物	すべて受注者の負担とする。 構内につくることが　●できる　○できない
● 足場その他	● 別契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。 ○ 本工事で設置する。 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 ○ 内部足場（○　種　○　種）　○ 外部足場（○　種　○　種）
● 建設発生土の処理	○ 埋め戻し後の建設発生土は、監督職員が指示する構内の敷きならしとする。 ● 場外搬出処分とする。
● 耐震施工	（１）設備機器の固定は、施設の分類並びに機器の種別、重要度及び設置階に応じて、次の設計用水平地震力及び設計用鉛直地震力に対し、移動、転倒、破損等が生じないようにする。 ①設計用水平地震力 機器の重量［kN］に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合は、設計用標準水平震度は、次による。 設計用標準水平震度

機器種別		● 特定の施設		○ 一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・１階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

・上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。
・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの
・水槽類には燃料小出タンクを含む。
・重要機器は次のものを示す。
●配電盤　●発電装置（防災電源用）　○直流電源装置
○交流無停電電源装置　●交換装置　●自動火災報知受信機
○中央監視装置　●通信総合盤　○

②設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

（２）横引き配管等の耐震支持は、施設の分類に応じたものとする。

● 配管本数、管路等	分電盤、制御盤及び端子盤等の2次側以降の配管配線経路、配線太さ、配線本数及び管径等は、図面と相違しても差し支えない。ただし、相違する場合は監督職員の承諾を受ける。

項目	特記事項
● 金属製電線管の仕上げ	露出配管の仕上げは次による。 屋外 ● 厚鋼電線管は、溶融亜鉛めっき仕上げ付着量300g/㎡以上のものとする。 ○ 塗装あり（場所：　　） 屋内 ● 塗装なし ○ 塗装あり（場所：　　）
● 非常用照明装置の照度測定箇所数	測定数　150箇所以上　測定し監督職員に報告する。
● 電流値等の計測	下記の電流値等を計測し、報告書を監督職員に提出する。 計測箇所（○ 図示による。　　） 計測項目（●電流値（記録間隔1分毎　● 照度　　） 計測日数（通常使用状態の電流値） 照度測定箇所数（改修前及び改修後の照度測定　600箇所以上　　） 備　考 （１）計測機器及び計測装置等の詳細は監督職員との協議による。 （２）報告書には、測定装置（もしくはソフトウェア）の換算機能により算出された電力（瞬時値）及び電力量（積算値30分単位）も記録すること。 （３）照度測定は作業面照度（床上0.8m）とし、測定方法はJIS Ｃ 7612による。
● 盤類等の色彩計画	事務室等に設けるＯＡ盤、分電盤、端子盤の鋼板製キャビネット等及び意匠上配慮する必要のある機器の色彩計画を監督職員に提出するものとする。
● プレートの材質	フラッシュプレート ○ 金属製（ステンレス、新金属を含む）　● 樹脂製
● 天井仕上区分	（ ）書きの室名は直天井の室を示し、それ以外は二重天井の室を示す。
● インバータ装置の規約効率	三相可変速運転用インバータ装置の規約効率は、次の数値以上とする。

電動機出力［kW］		0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	15	18.5	22	30
規約効率［%］	定格電圧 200［V］	86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5	94.5	95.0	95.5	95.5	95.5
	定格電圧 400［V］	87.0	90.5	93.5	94.0	94.5	94.5	95.0	95.0	95.0	96.0	96.5	96.5

電動機出力［kW］		37	45	55	75
規約効率［%］	定格電圧 200［V］	95.5	95.5	95.5	95.5
	定格電圧 400［V］	96.5	96.5	96.5	96.5

【備考】(1)規約効率は、JEM-TR 245 「汎用インバータの規約効率」により算出した値とする。
(2)0.4kWの規約効率は、JIS Ｃ 4212 「高効率低圧三相かご形誘導電動機」のIP4X、6極、50Hzの電動機を駆動したときの値とする。
(3)0.75kWの規約効率は、JIS Ｃ 4213 「低圧三相かご形誘導電動機－低圧トップランナーモータ」のIP4X、6極、50Hzの電動機を駆動したときの値とする。

● 機器取付高さ	壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面に記載がない場合は、表－１「機器標準取付高さ」による。
● 接地極	図面に記載がない場合は、表－２「接地極一覧表」による。
● 他工事又は他工種との取り合い	図面に記載がない場合は、工事区分表による。ただし、これにより難い場合は監督職員と協議する。
○ 施工調査	事前調査（ ○ 本工事　○ 別途　　） 調査項目（ ○ 既存資料調査　●現地調査　　） 調査範囲（ ○ 図示　○　　） 調査方法（ ○ 図示　○　　） ○はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告を行うこと。
○ 既存躯体への穿孔	穿孔機械を使用し既存躯体に穿孔する場合は、金属探知により電源供給が停止できる附属装置等を用いて施工する。
● ケーブルの種類	ＥＭ－高圧架橋ポリエチレンケーブルは、JCS 4395 「6600V 架橋ポリエチレンケーブル（3層押出型）」によるものとする。

呼称（図示記号）	種類
6kV EM-CE	6600V 架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽｶｰﾌﾞﾙ（6600V CE/F(EE)）
6kV EM-CET	6600V ﾄﾘﾌﾟﾚｯｸｽ形架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽｶｰﾌﾞﾙ（6600V CET/F(EE)）

表－１　機器標準取付高さ

	名称	測点	取付高［mm］
電力共通	積算計器	地上～窓中心	1,800～2,000
	引込開閉器（低圧）	地上～中心	1,800～2,200
	分電盤	床上～中心	1,500
電灯	スイッチ	床上～中心	1,300
	〃　（多機能トイレ）	〃	1,100
	コンセント（一般）	〃	300
	〃　（和室）	〃	150
	〃　（台上）	台上～中心	150～200
	〃　（車椅子用）	床上～中心	900
	ブラケット（一般）	〃	2,100～2,300
	〃　（踊場）	〃	2,000～2,500
	〃　（鏡上）	鏡上端～中心	150
動力	壁掛形制御盤	床上～中心	1,500
	開閉器箱	〃	1,500（上端1,900以下）
	制御用スイッチ	〃	1,300
構内交換	端子盤（室内）	床上～下端	300
	集合保安器箱	天井下～上端	200
	壁付電話機（一般）	床上～中心	1,300

	名称	測点	取付高［mm］
時計	壁掛形親時計	床上～中心	1,500
	子時計	〃	（天井高）×0.9
	壁掛形スピーカ	〃	（天井高）×0.9
拡声	壁付アッテネータ	〃	1,300
出退・マルチサイン	情報表示盤	床上～中心	（天井高）×0.9
	壁付発信機	〃	1,300
	ベル、ブザー、チャイム	〃	2,300
	壁付押しボタン（一般）	〃	1,300
誘導支援	外部受付用インターホン(子機)	「標準図」による。	
	壁付インターホン(上記以外)	床上～中心	1,300
	壁付呼出ボタン(多機能トイレ)	〃	900（400）
テレビ共同受信	機器収容箱（室内）	天井下～上端	200
	テレビ端子(一般)	床上～中心	300
	〃　（和室）	〃	150
自動火災報知	受信機・副受信機	床上～操作部	800～1,500
	機器収容箱	〃	800～1,500
	発信機	床上～中心	800～1,500
	警報ベル	〃	（天井高）×0.9
	表示灯	〃	（天井高）×0.8
	液化石油ガス検知器	床上～上端	300

（備考）（天井高）×0.9及び（天井高）×0.8は天井高が2,500～3,000mmの場合に適用する。
注）　天井高3,000mm以上の場合及び上記取付高さでは機器の使用に支障がある場合は、監督職員と協議する。
呼出ボタン（多機能トイレ）の取付け高さ（400）は床に転倒した時を考慮した高さを示す。

表－２　接地極一覧表

接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極の規格・数量
● 共用接地	$E_{A\cdot D}$	10Ω以下	EB(D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200)×3連ー　組
○ 共用接地	$E_{A\cdot C\cdot D}$	10Ω以下	EB(D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200)×3連ー　1組
● A種	E_A	10Ω以下	EB(D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200)×3連ー　1組
● B種	E_B	Ω以下	EB(D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200)×3連ー　1組
● C種	E_C	10Ω以下	EB(D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200)×3連ー　1組
● D種	E_D	100Ω以下	EB(D=10, L=1,000 又は W=30, L=900)×1
○ D種	E_D	Ω以下	EB(D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200)×3連ー　組
● 高圧避雷器用	E_{LH}	10Ω以下	EB(D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200)×3連ー　1組
● 交換装置用	E_t	10Ω以下	EB(D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200)×3連ー　1組
○ 通信用（10Ω）	E_{At}	10Ω以下	EB(D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200)×3連ー　組
● 通信用（100Ω）	E_{Dt}	100Ω以下	EB(D=10, L=1,000 又は W=30, L=900)×1
● 電話引込口の保安器	E_{Lt}	100Ω以下	EB(D=10, L=1,000 又は W=30, L=900)×1
● 測定用	E_O		EB(D=10, L=1,000 又は W=30, L=900)×2

明石市政策局　プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	GEN	電気設備工事	最終版　2025.02.28
〈設備設計者〉 一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	19	電気設備工事特記仕様書　A1　N.S	見積版　2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

20230220

類　　別	会　　社　　名
照明器具・ＬＥＤ器具	パナソニック(株)　(株)因幡電機製作所　東芝ライテック(株)　三菱電機照明(株)　山田照明(株)　岩崎電気(株)
●照明器具・特殊製作照明器具 （例：舞台照明・ 特殊シャンデリヤ等）	岩崎電気(株)　大光電機(株)　三菱電機照明(株)　東芝ライテック(株)　パナソニック(株) コイズミ照明(株)　(株)因幡電機製作所　山田照明(株)　(株)ＹＡＭＡＧＩＷＡ　(株)松村電機製作所　丸茂電機(株) 日立グローバルライフソリューションズ(株)
●避雷設備	(株)四興　大阪避雷針工業(株)
盤　類　・住宅用分電盤	河村電器産業(株)　内外電機(株)　テンパール工業(株)　パナソニック(株)　日東工業(株)　一光電機(株)
盤　類　・端子盤 分電盤 制御盤	パナソニック(株)　河村電器産業(株)　奥井電機(株)　(株)新愛知電機製作所　(株)大日製作所 (株)戸上電機製作所　寺崎電気産業(株)　(株)下平電機製作所　日東工業(株)　テンパール工業(株) (株)因幡電機製作所　ハピネスデンキ(株)　内外電機(株)　一光電機(株)
盤　類　・キュービクル式配電盤	(株)新愛知電機製作所　(株)戸上電機製作所　(株)因幡電機製作所　一光電機(株)　(株)大日製作所　(株)ダイヘン 内外電機(株)　日新電機(株)　日東工業(株)　日本電機(株)　愛知電機(株)　ハピネスデンキ(株) (株)日立産機システム　富士電機(株)　(株)下平電機製作所　奥井電機(株)
●器具類　・配電用遮断器 漏電遮断器	テンパール工業(株)　河村電器産業(株)　富士電機機器制御(株)　寺崎電気産業(株)　三菱電機(株) 東芝インフラシステムズ(株)　(株)日立産機システム　日東工業(株)　パナソニック(株)
●高圧機器・断路器	(株)日立産機システム　富士電機機器制御(株)　三菱電機(株)　日新電機(株)　東芝インフラシステムズ(株)
高圧機器・限流ヒューズ	(株)日立産機システム　富士電機機器制御(株)　三菱電機(株)　東芝インフラシステムズ(株)
高圧機器・高圧負荷開閉器 ●引外し型高圧交流負荷 開閉器	大垣電機(株)　(株)日立産機システム　富士電機機器制御(株)　三菱電機(株)　東芝インフラシステムズ(株) 日本高圧電気(株)　(株)新愛知電機製作所　エナジーサポート(株)　(株)戸上電機製作所
●高圧機器・高圧電磁接触器	(株)日立製作所　東芝インフラシステムズ(株)　三菱電機(株)　(株)新愛知電機製作所　日新電機(株)　富士電機機器制御(株)
高圧機器・交流遮断器	三菱電機(株)　東芝インフラシステムズ(株)　日新電機(株)　富士電機(株)　(株)日立産機システム　(株)明電舎 富士電機機器制御(株)
高圧機器・変圧器	(株)日立産機システム　(株)ダイヘン　三菱電機(株)　富士電機(株)　日新電機(株)　東芝インフラシステムズ(株) 愛知電機(株)　(株)明電舎　(株)東光高岳
高圧機器・モールド変圧器	(株)日立産機システム　(株)ダイヘン　三菱電機(株)　富士電機(株)　日新電機(株)　東芝インフラシステムズ(株) 愛知電機(株)　(株)明電舎　(株)東光高岳
高圧機器・進相コンデンサー	(株)指月電機製作所　東芝インフラシステムズ(株)　ニチコン(株)　日新電機(株)　三菱電機(株)
●高圧機器・直列リアクトル	(株)指月電機製作所　東芝インフラシステムズ(株)　ニチコン(株)　日新電機(株)　三菱電機(株)
高圧機器・避雷器	音羽電機工業(株)　日本高圧電気(株)
●ディーゼル発電機	ダイハツディーゼル(株)　ヤンマーエネルギーシステム(株)　三菱重工業(株)　富士電機(株) 三菱電機(株)　(株)日立製作所　西芝電機(株)
太陽光発電設備	京セラ(株)　パナソニック(株)　(株)GSユアサ　東芝エネルギーシステムズ
静止型電源装置・交流無停電電源 装置（ＵＰＳ）	(株)日立製作所　富士電機(株)　古河電池(株)　日立化成(株)　三菱電機(株)　(株)明電舎 (株)ＧＳユアサ　東芝インフラシステムズ(株)

類　　別	会　　社　　名
●静止型電源装置・直流電源装置	(株)日立製作所　富士電機(株)　古河電池(株)　日立化成(株)　三菱電機(株)　(株)明電舎 (株)ＧＳユアサ　(株)東芝
中央監視装置・監視制御装置 （ＣＰＵ処理）	三菱電機(株)　富士電機(株)　日新電機(株)　(株)日立製作所　富士通(株)　アズビル(株) 東芝インフラシステムズ(株)　ハピネスデンキ(株)　(株)明電舎　日本電気(株)　ジョンソンコントロールズ(株) パナソニック(株)
●通信情報機器・電気時計装置	シチズン・テイ・アイ・シイ(株)　パナソニック(株)　セイコータイムシステム(株)
●通信情報機器・拡声装置 （舞台、非常放送は除く）	(株)ＪＶＣケンウッド・公共産業システム　ＴＯＡ(株)　日本無線(株)　ユニペックス(株)　パナソニックコネクト(株)
●通信情報機器・インターホン装置	アイホン(株)　ＴＯＡ(株)　岩崎通信機(株)　(株)ケアコム
●通信情報機器・構内交換装置	沖電気工業(株)　日本電気(株)　富士通(株)　(株)日立製作所　ＮＥＣプラットフォームズ(株) 岩崎通信機(株)　日本電信電話(株)　パナソニックコネクト(株)
通信情報機器・監視カメラ装置	パナソニックコネクト(株)　ＴＯＡ(株)　(株)日立国際電気　三菱電機(株)　(株)ＪＶＣケンウッド・公共産業システム
●通信情報機器・テレビ共同 受信装置	ＤＸアンテナ(株)　ホーチキ(株)　マスプロ電工(株)　(株)日立国際八木ソリューションズ　日本アンテナ(株)
●通信情報機器・火災報知器	ニッタン(株)　能美防災(株)　ホーチキ(株)　パナソニック(株)
●通信情報機器・自動閉鎖装置	ニッタン(株)　能美防災(株)　ホーチキ(株)　パナソニック(株)
●通信情報機器・入退出管理	三菱電機(株)　パナソニック(株)　ゴール（株）
●通信情報機器：駐輪場管制設備	ビシクレット(株)　アマノ(株)

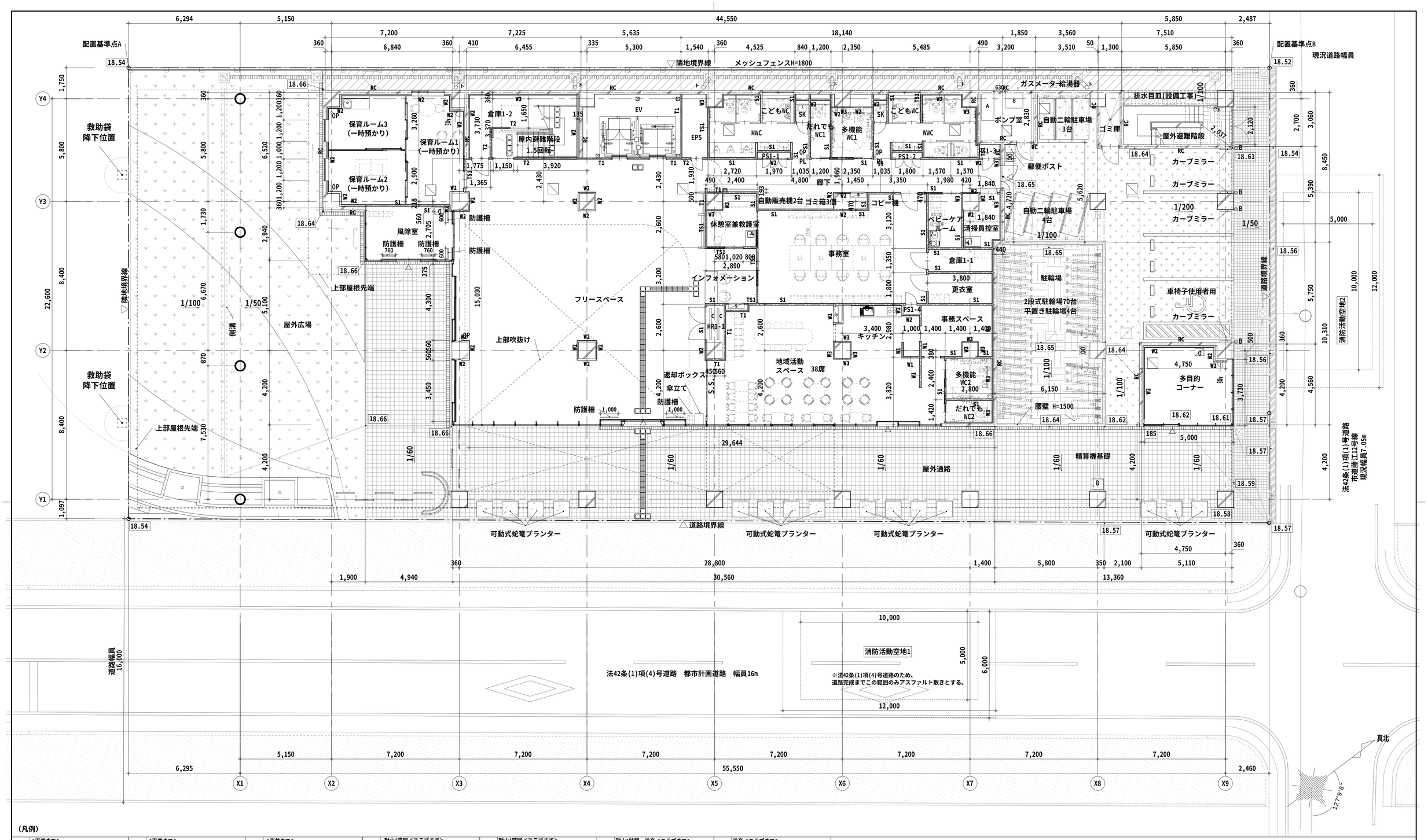
●印は評価名簿に記載のない記載等を示す。

1．順不同。
2．電線及びケーブル類・がいし類・電線管類等は設計図書に指定するＪＩＳ等の規格並びに公共建築協会発行の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)」及び「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)」による。
3．本工事は、当課作成のメーカーリストの中より選択しメーカーを決定することを原則とし、メーカーリストに記載がない類別については、一般社団法人「公共建築協会」発行の、設備機材等評価名簿より選択する。
双方の場合とも、監督員の承諾を得るものとする。

2023年4月改定

明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto　建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	GEN	電気設備工事	最終版　2025. 02. 28
〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	20	メーカーリスト（電気設備）　A1　N.S	見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

20230220



（凡例）

18.66	TPレベル	▲	代替進入口		床下点検口	◎B	コーナーガードB部（屋外）		側溝（グレーチング）	TR	タラップ
±0	フロアレベル	S	消火器併設型屋内消火栓（壁埋込式）	◎ ▨	点字鋲（SUS製）300角	点	壁点検口		浸透桝		人工芝
	RC壁	K	消火器ボックス（壁埋込型）	○OP	排煙オペレーター（電動）FL＋1,050の位置とする	YRD	横引ルーフドレイン（特記なき限り鋳鉄製とする）	VU	VU管φ		植栽
	LGS壁	0	消火器ボックス（置型）	○PL	パイロットランプ	RD	中継ドレイン（特記なき限りVP管125φとする）		水勾配（特記なき限り1/100）		
△	外部出入口	00	屋外用消火器ボックス（置型）	◎A	コーナーガードA部		竪樋（特記なき限りVP管125φとする）	□	機械基礎		

W1 <天井まで> LGS下地 GB-R t12.5+GB-R t9.5（両面）

W2 <天井まで> LGS下地 GB-R t9.5+GB-R t12.5（片面）

W3 <天井まで> GL工法 GB-R t12.5+GB-R t9.5
<外壁面> 断熱 t25 30.0 9.5 12.5
<内部> 30.0 9.5 12.5

T1 耐火1時間<スラブまで> LGS下地 GB-F t21+GB-F t21（片面） 65 21.0 21.0

T2 耐火1時間<スラブまで> LGS下地 GB-F t12.5+GB-F t9.5（両面） 9.5 65 12.5

TS1 耐火1時間・遮音<スラブまで> LGS下地 GB-F t12.5 +GB-F t9.5（両面）
<硬質> グラスウール（t50 24kg/m3）充填
千鳥配置間柱 9.5 65 12.5

S1 遮音<スラブまで> LGS下地 GB-R t12.5 +GB-R t9.5（両面）
<硬質> グラスウール（t50 24kg/m3）充填
千鳥配置間柱 9.5 65 12.5

（特記事項）
- 壁種の切り替え部及び建具両端上部に見切り材を見込むこと（塩ビ製）
- 設備基礎の仕上げは床仕上げに倣う。
- WWC，MWC，多機能WC，だれでもWC，ベビーケアルーム，SKは GB-R t9.5をGB-S 9.5に読み替えること。
- 内部仕上表にて不燃（下地仕上共）の室はGB-R t9.5をGB-NC t9.5に読み替えること。

基礎リスト

記号	W	D	H	場所	個数	備考
A	700	1500	200	ポンプ室	1	コンクリート
B	1000	800	200	ポンプ室	1	コンクリート
C	100	600	100	MR1-1	2	H形鋼
D	650	600	100	精算機	1	コンクリート（塗り床材2）

明石市政策局 プロジェクト推進室

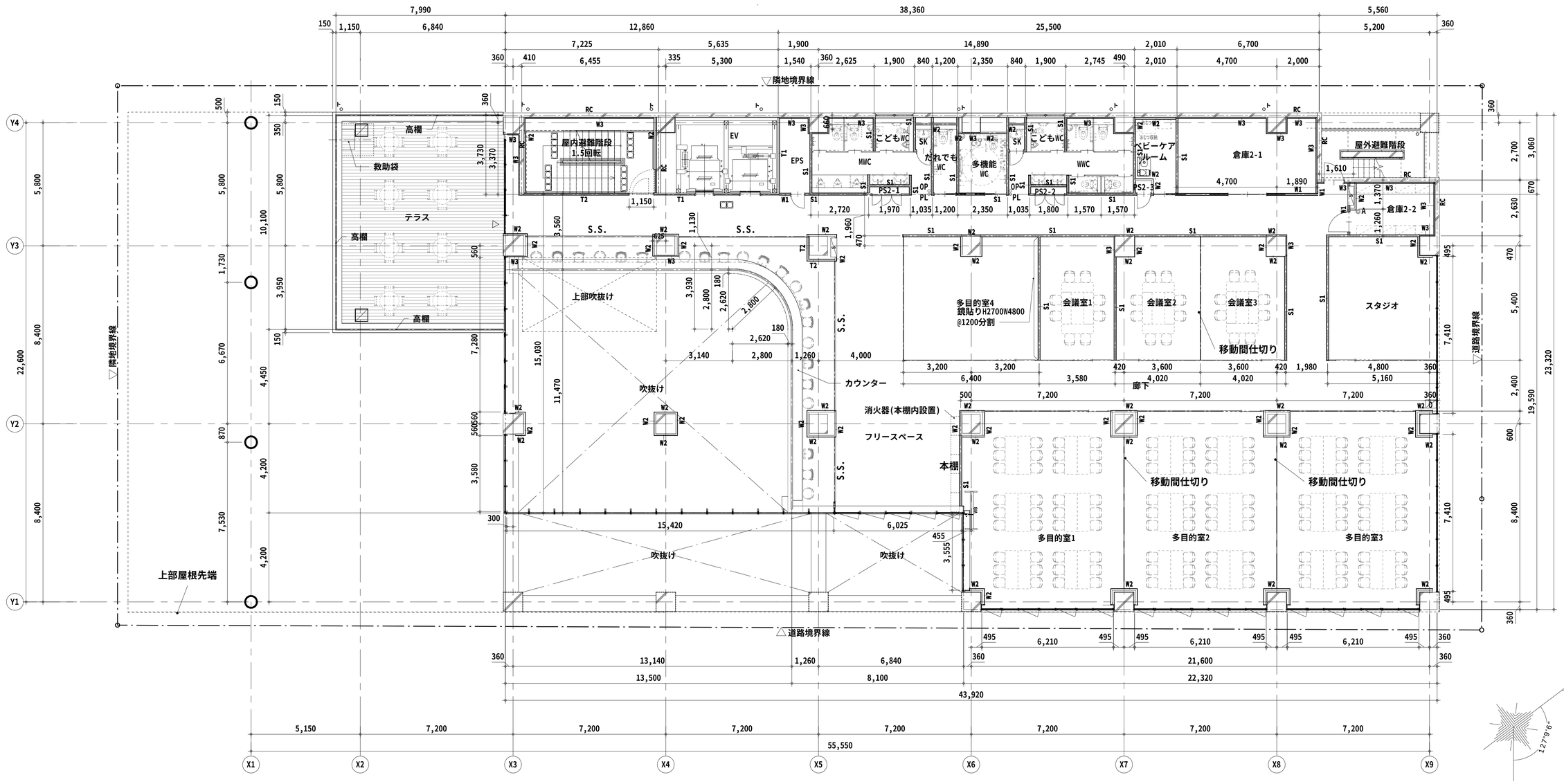
<代表設計者> 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号
森 雅章

西明石地域交流センター icotto 建設工事

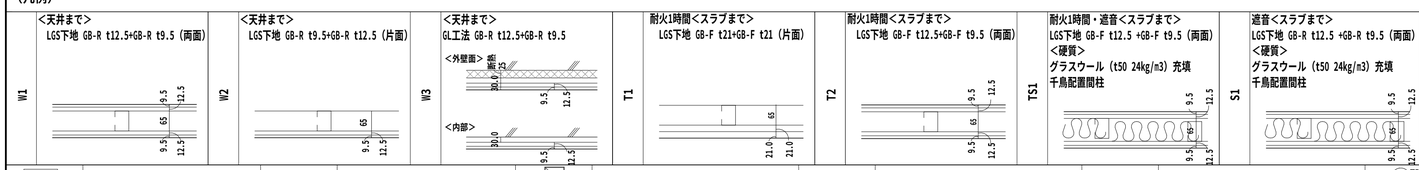
A	建築工事	最終版	2025.02.28
01	配置図兼1階平面図 1/100(A1) 1/200(A3)	見積版	2024.12.16
	安井建築設計事務所	最終契約版	

(2023年版)

20230220



(凡例)



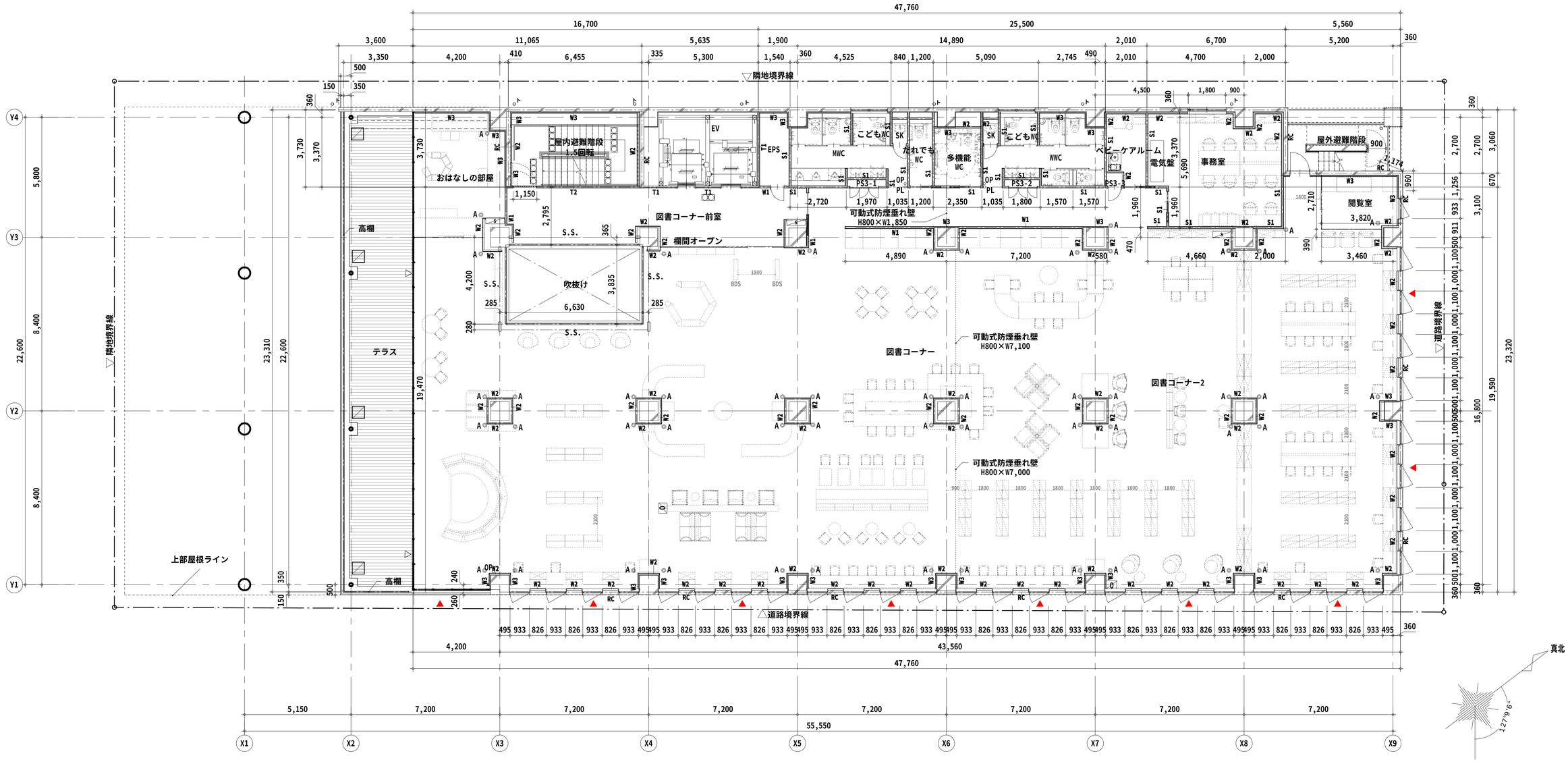
(特記事項)
- 壁種の切り替え部及び建具両端上部に見切り材を見込むこと (塩ビ製)
- 設備基礎の仕上げは床仕上げに倣う。
- WWC, MWC, 多機能WC, だれでもWC, ベビーケアルーム, SKは GB-R t9.5をGB-S 9.5に読み替えること。
- 内部仕上表にて不燃 (下地仕上共) の室はGB-R t9.5をGB-NC t9.5に読み替えること。

18.66	TPレベル	▲	代替進入口		床下点検口	B	コーナーガードFB部 (屋外)		側溝 (グレーチング)	TR	タラップ
±0	フロアレベル	S	消火器併設型屋内消火栓 (壁埋込式)		点字鋲 (SUS製) 300角	点	壁点検口		浸透桝		人工芝
	RC壁	K	消火器ボックス (壁埋込型)	OP	排煙オペレーター (電動)FL+1,050の位置とする	YRD	横引ルーフドレイン (特記なき限り鋳鉄製とする)	VU	VU管φ		植栽
	LGS壁	0	消火器ボックス (置型)	PL	パイロットランプ	RD	中継ドレイン (特記なき限り鋳鉄製とする)		水勾配 (特記なき限り1/100)		
△	外部出入口	00	屋外用消火器ボックス (置型)	A	コーナーガードA部		竪樋 (特記なき限りVP管125φとする)		機械基礎		

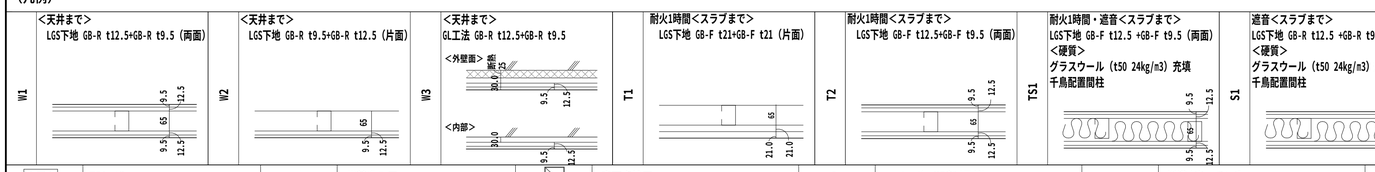
明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
<代表設計者> 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	建築工事	最終版 2025.02.28
	02	2階平面図 1/100(A1) 1/200(A3)	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

(2023年版)

20230220



(凡例)



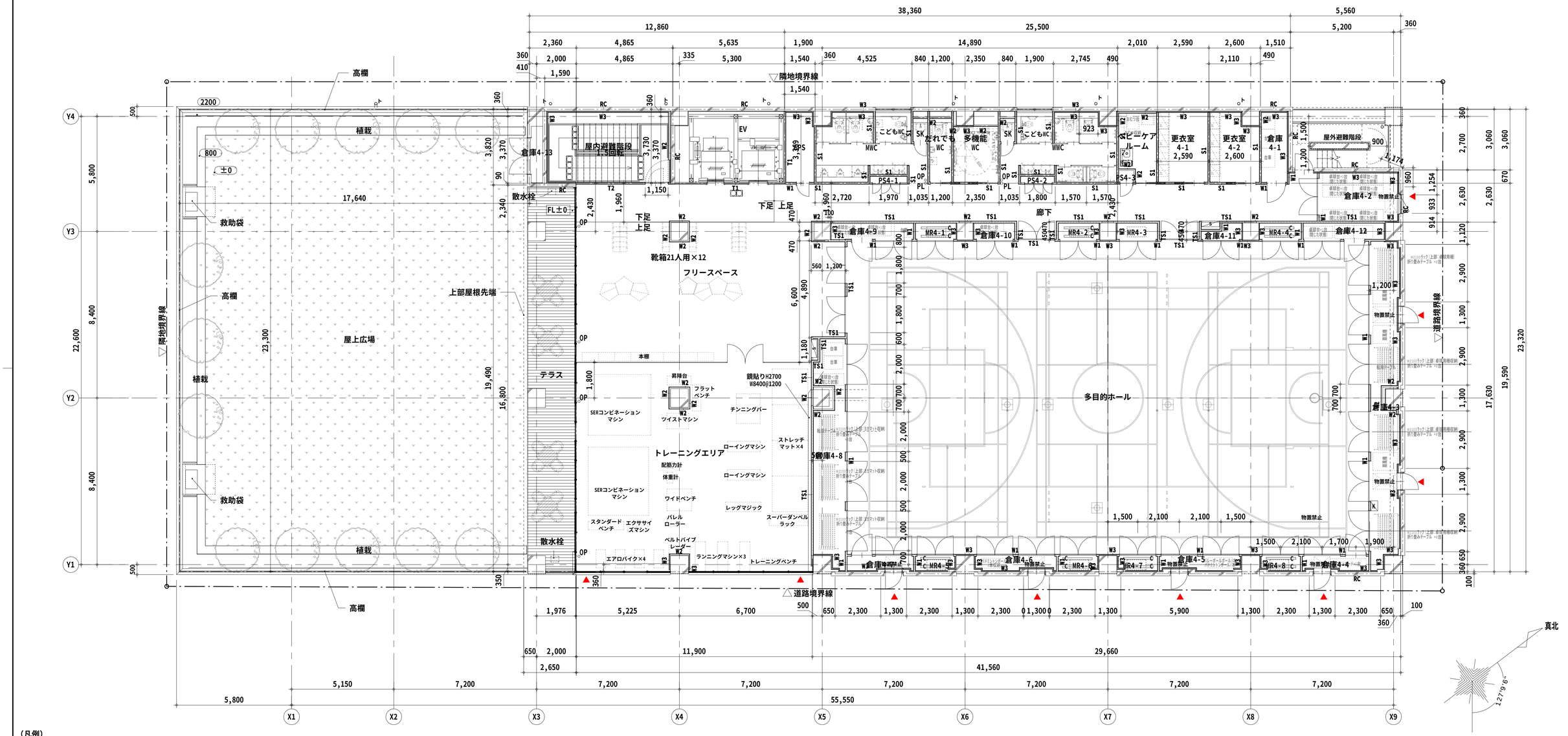
(特記事項)
- 壁種の切り替え部及び建具両端上部に見切り材を見込むこと (塩ビ製)
- 設備基礎の仕上げは床仕上げに倣う。
- WWC, MWC, 多機能WC, だれでもWC, ベビーケアルーム, SKは GB-R t9.5をGB-S 9.5に読み替えること。
- 内部仕上表にて不燃 (下地仕上共) の室はGB-R t9.5をGB-NC t9.5に読み替えること。

18.66	TPレベル	▲	代替進入口		床下点検口	◎B	コーナーガードB部 (屋外)		側溝 (グレーチング)	TR	タラップ
±0	フロアレベル	S	消火器併設型屋内消火栓 (壁埋込式)		点字鋲 (SUS製) 300角	点	壁点検口		浸透桝		人工芝
	RC壁	K	消火器ボックス (壁埋込型)	○OP	排煙オペレーター (電動)FL+1,050の位置とする	YRD	横引ルーフドレイン (特記なき限り鋳鉄製とする)	VU	VU管Φ		植栽
	LGS壁	0	消火器ボックス (置型)	○PL	パイロットランプ	◇RD	中継ドレイン (特記なき限り鋳鉄製とする)		水勾配 (特記なき限り1/100)		
△	外部出入口	00	屋外用消火器ボックス (置型)	◎A	コーナーガードA部	○P	竪樋 (特記なき限りVP管125Φとする)	□	機械基礎		

明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事
<代表設計者> 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A 建築工事 最終版 2025.02.28
	03 3階平面図 1/100(A1) 1/200(A3) 見積版 2024.12.16
	安井建築設計事務所 最終契約版

(2023年版)

20230220



(凡例)

W1 <天井まで> LGS下地 GB-R t12.5+GB-R t9.5 (両面)

W2 <天井まで> LGS下地 GB-R t9.5+GB-R t12.5 (片面)

W3 <天井まで> GL工法 GB-R t12.5+GB-R t9.5 <外壁面> <内部>

T1 耐火1時間<スラブまで> LGS下地 GB-F t21+GB-F t21 (片面)

T2 耐火1時間<スラブまで> LGS下地 GB-F t12.5+GB-F t9.5 (両面)

TS1 耐火1時間・遮音<スラブまで> LGS下地 GB-F t12.5 +GB-R t9.5 (両面) <硬質> グラスウール (t50 24kg/m3) 充填 千鳥配置間柱

S1 遮音<スラブまで> LGS下地 GB-R t12.5 +GB-R t9.5 (両面) <硬質> グラスウール (t50 24kg/m3) 充填 千鳥配置間柱

(特記事項)
- 壁種の切り替え部及び建具両端上部に見切り材を見込むこと (塩ビ製)
- 設備基礎の仕上げは床仕上げに倣う。
- WWC, MWC, 多機能WC, だれでもWC, ベビーケアルーム, SKは GB-R t9.5をGB-S 9.5に読み替えること。
- 内部仕上表にて不燃 (下地仕上共) の室はGB-R t9.5をGB-NC t9.5に読み替えること。

基礎リスト

記号	W	D	H	場所	個数	備考
C	100	600	100	MR	16	H形鋼

18.66	TPレベル	▲	代替進入口		床下点検口	◎B	コーナーガードB部 (屋外)		側溝 (グレーチング)	TR	タラップ
±0	フロアレベル	S	消火器併設型屋内消火栓 (壁埋込式)		点字鋲 (SUS製) 300角	点	壁点検口		浸透桝		人工芝
	RC壁	K	消火器ボックス (壁埋込型)	○OP	排煙オペレーター (電動)FL＋1,050の位置とする	YRD	横引ルーフドレイン (特記なき限り鋳鉄製とする)	VU	VU管φ		植栽
	LGS壁	0	消火器ボックス (置型)	○PL	パイロットランプ	◇RD	中継ドレイン (特記なき限り鋳鉄製とする)		水勾配 (特記なき限り1/100)		
△	外部出入口	00	屋外用消火器ボックス (置型)	◎A	コーナーガードA部	○ト	竪樋 (特記なき限りVP管125φとする)	□	機械基礎		

明石市政策局 プロジェクト推進室

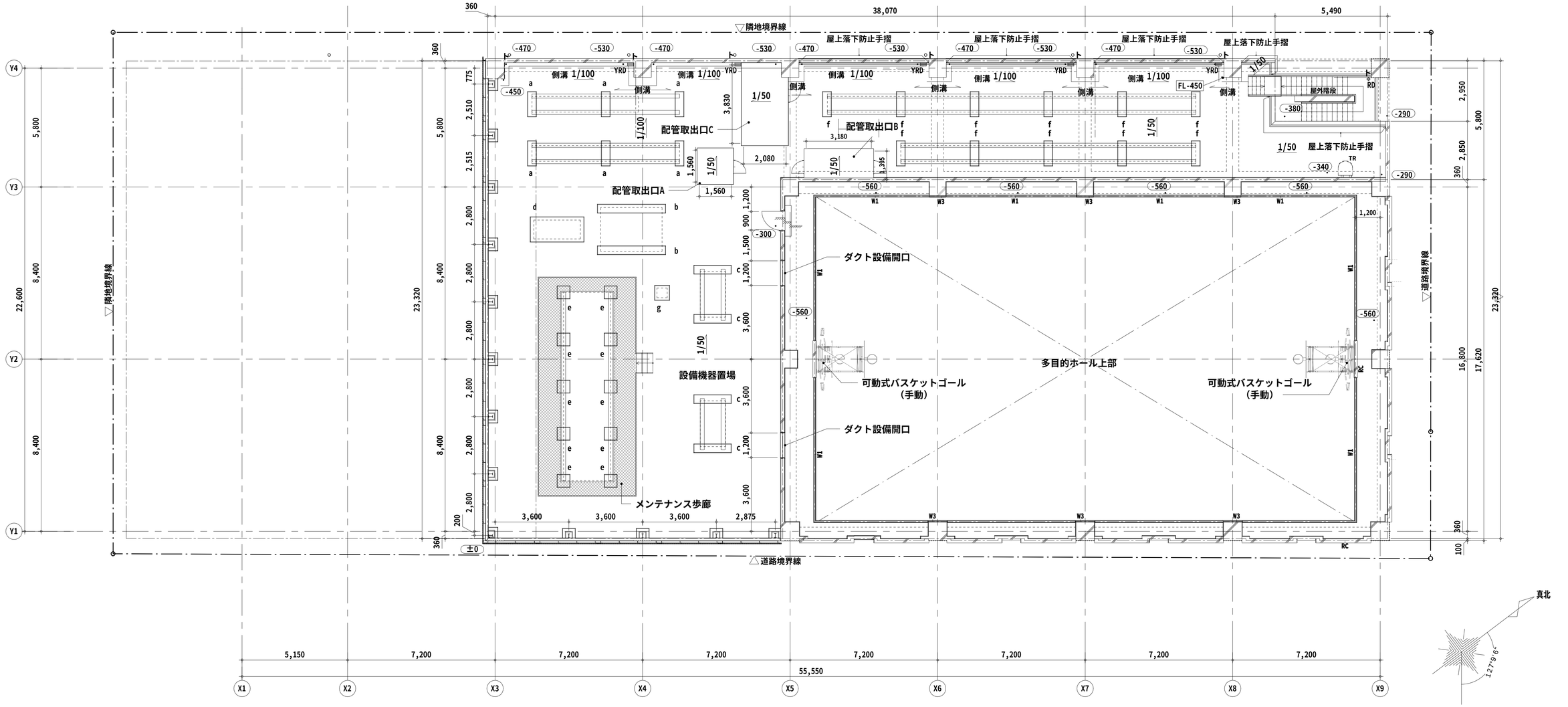
<代表設計者> 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章

西明石地域交流センター icotto 建設工事

A	建築工事		
04	4階平面図	1/100(A1) 1/200(A3)	最終版 2025.02.28
			見積版 2024.12.16
	安井建築設計事務所		最終契約版

(2023年版)

20230220



（凡例）

W1	<天井まで> LGS下地 GB-R t12.5+GB-R t9.5（両面）	W2	<天井まで> LGS下地 GB-R t9.5+GB-R t12.5（片面）	W3	<天井まで> GL工法 GB-R t12.5+GB-R t9.5 <外壁面> 断熱 <内部>	T1	耐火1時間<スラブまで> LGS下地 GB-F t21+GB-F t21（片面）	T2	耐火1時間<スラブまで> LGS下地 GB-F t12.5+GB-F t9.5（両面）	TS1	耐火1時間・遮音<スラブまで> LGS下地 GB-F t12.5 +GB-F t9.5（両面） <硬質> グラスウール（t50 24kg/m3）充填 千鳥配置間柱
S1	遮音<スラブまで> LGS下地 GB-R t12.5 +GB-R t9.5（両面） <硬質> グラスウール（t50 24kg/m3）充填 千鳥配置間柱										

（特記事項）
- 壁種の切り替え部及び建具両端上部に見切り材を見込むこと（塩ビ製）
- 設備基礎の仕上げは床仕上げに倣う。
- WWC，MWC，多機能WC，だれでもWC，ベビーケアルーム，SKは
  耐震取り出し口，記号を読み替えること。
- 開口位置は下記にて不燃（下地仕上共）の室はGB-R t9.5をGB-NC t9.5に読み替えること。

	H	開口位置
B	600	西面
C	600	東面

基礎リスト

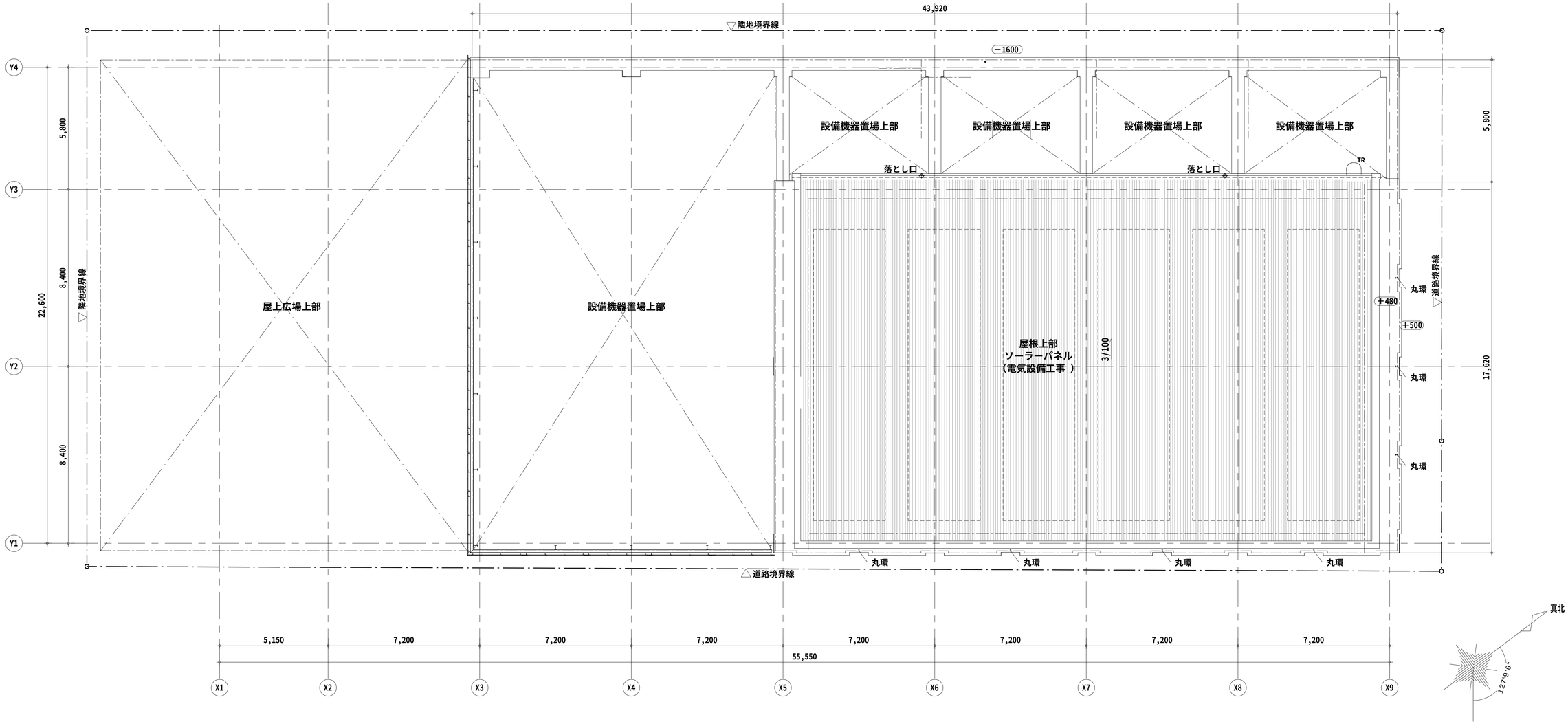
記号	W	D	H	場所	個数	備考
a	400	1200	600	屋上設備置場	6	コンクリート
b	3300	400	600	屋上設備置場	2	コンクリート
c	400	1400	600	屋上設備置場	4	コンクリート
d	2600	1200	600	屋上設備置場	1	コンクリート
e	900	900	600	屋上設備置場	10	コンクリート
f	400	1200	600	屋上設備置場	11	コンクリート
g	700	700	200	屋上設備置場	1	コンクリート

18.66	TPレベル	▲	代替進入口		床下点検口	B	コーナーガードB部（屋外）		側溝（グレーチング）	TR	タラップ
±0	フロアレベル	S	消火器併設型屋内消火栓（壁埋込式）		点字鋲（SUS製）300角	点	壁点検口		浸透桝		人工芝
	RC壁	K	消火器ボックス（壁埋込型）	OP	排煙オペレーター（電動）FL＋1,050の位置とする	YRD	横引ルードレイン（特記なき限り鋳鉄製とする）	VU	VU管φ		植栽
	LGS壁	0	消火器ボックス（置型）	PL	パイロットランプ	RD	中継ドレイン（特記なき限り鋳鉄製とする）		水勾配（特記なき限り1/100）		
△	外部出入口	00	屋外用消火器ボックス（置型）	A	コーナーガードA部		竪樋（特記なき限りVP管125φとする）		機械基礎		

明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
<代表設計者> 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	建築工事	最終版 2025.02.28
	05	屋上平面図 1/100(A1) 1/200(A3)	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

20230220

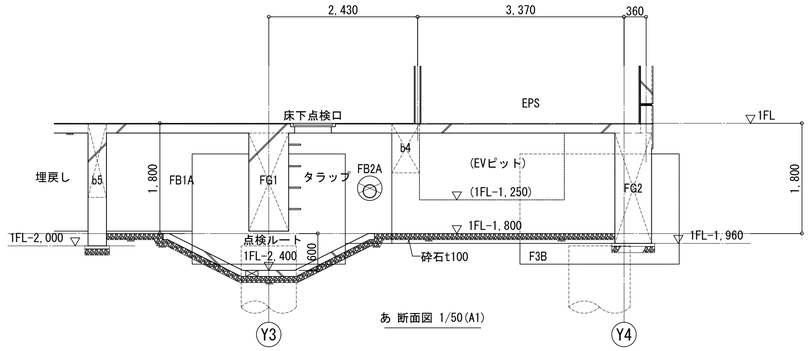


18.66	TPレベル	▲	代替進入口		床下点検口	◎B	コーナーガードB部（屋外）		側溝（グレーチング）	TR	タラップ
±0	フロアレベル	S	消火器併設型屋内消火栓（壁埋込式）		点字鋲（SUS製）300角	点	壁点検口		浸透桝		人工芝
	RC壁	K	消火器ボックス （壁埋込型）	○OP	排煙オペレーター（電動）FL＋1,050の位置とする	YRD	横引ルーフドレイン（特記なき限り鋳鉄製とする）	VU	VU管φ		植栽
	LGS壁	O	消火器ボックス （置型）	○PL	パイロットランプ	◇RD	中継ドレイン（特記なき限りVP管125φとする）		水勾配（特記なき限り1/100）		
△	外部出入口	OO	屋外用消火器ボックス （置型）	◎A	コーナーガードA部	○┣	竪樋（特記なき限りVP管125φとする）	□	機械基礎		

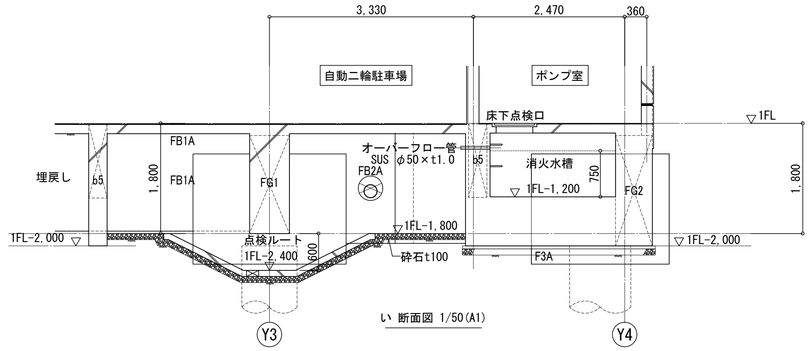
（2023年版）

明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
<代表設計者> 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	建築工事	最終版 2025.02.28
	06	屋根伏図 1/100(A1) 1/200(A3)	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

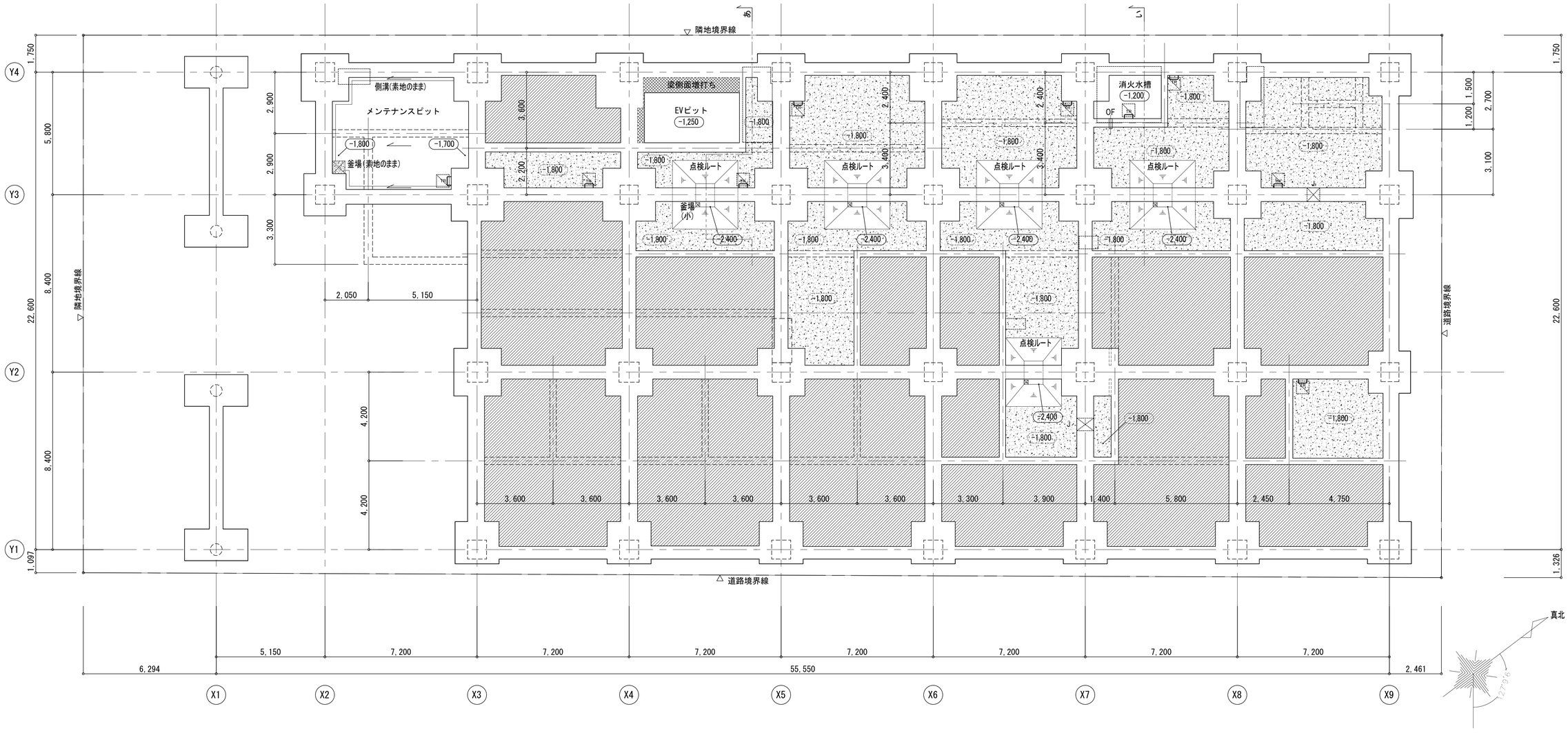
20230220



あ 断面図 1/50(A1)



い 断面図 1/50(A1)

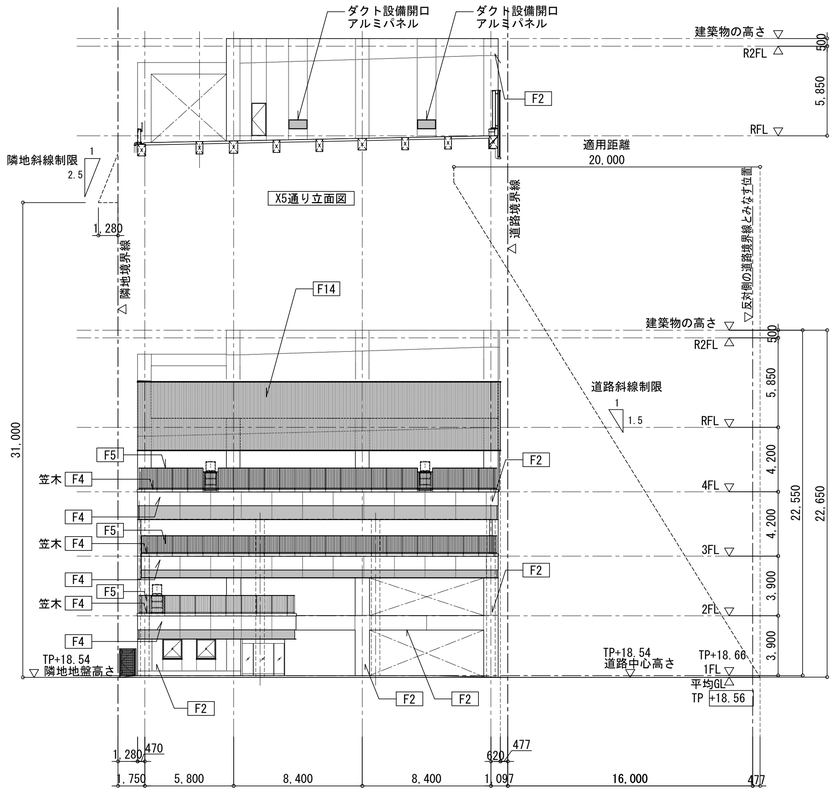


(ピット凡例)							
-1,800	1FLからのスラブレベルを示す	J	人通口 φ600	TR	タラップ	特記事項	点検ルート床面は土間コンクリートt100とすること。(ワイヤーメッシュφ6×100×100を配すること。)
-1,800	1FLからの砂利敷レベルを示す	M R	連通管(上部通気口)		上部1階床下点検口		人通孔上部に手掛り (SUSφ12 D150×W500ローレット加工)を設けること。
	埋戻し範囲を示す	OF	オーバーフロー管				
	砂利敷範囲を示す		釜場 600×600 砂利敷				
			釜場(小) 200×200 砂利敷				

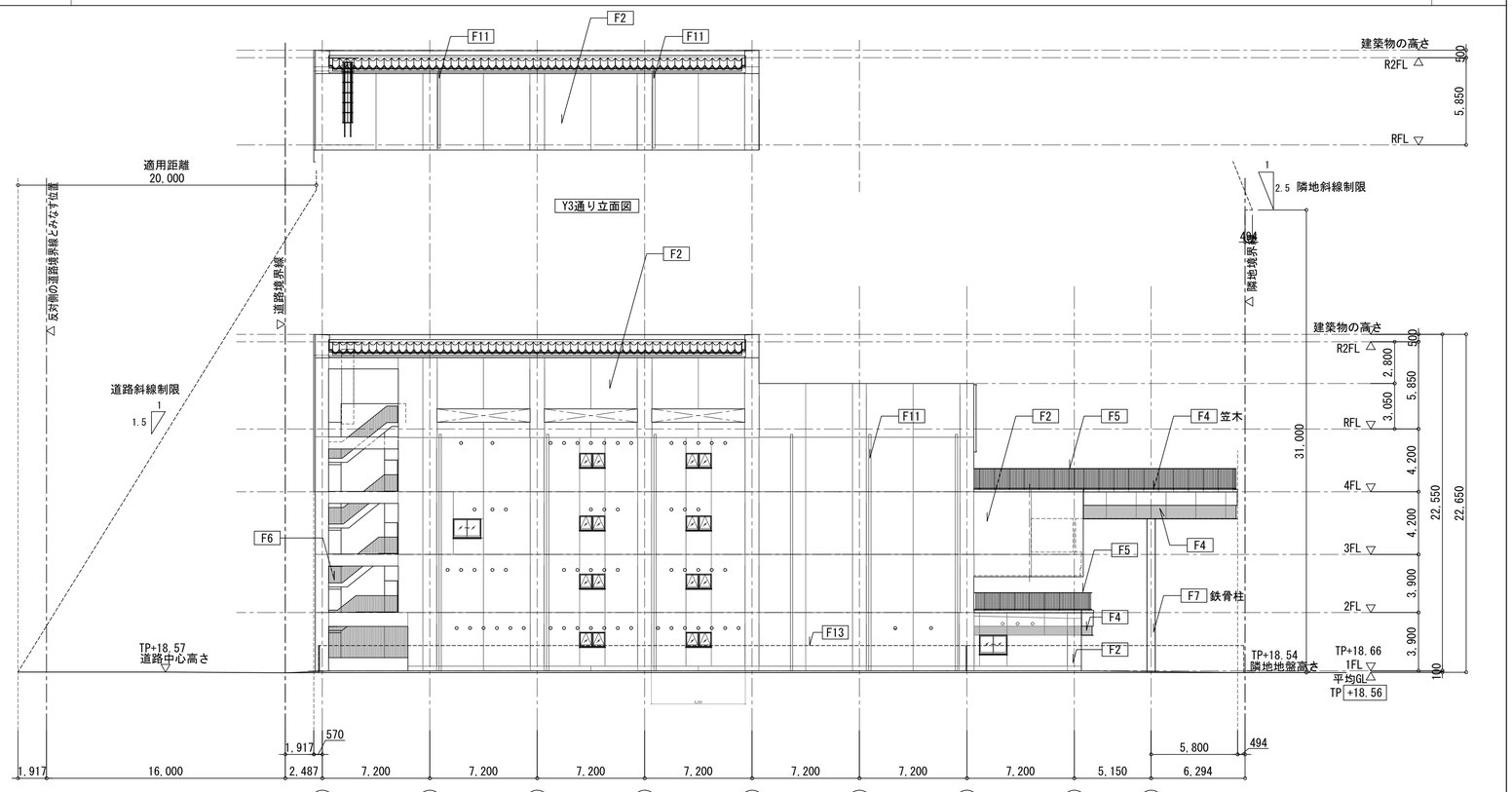
(2023年版)

明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
<代表設計者> 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	建築工事	最終版 2025.02.28
	07	ピット平面図 1/100(A1) 1/200(A3)	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

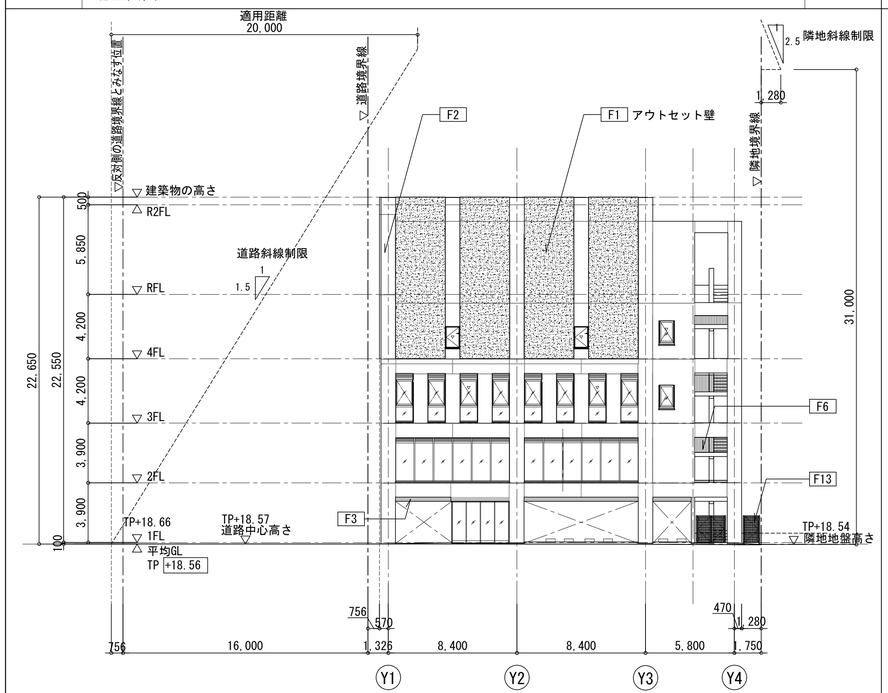
01 南立面図



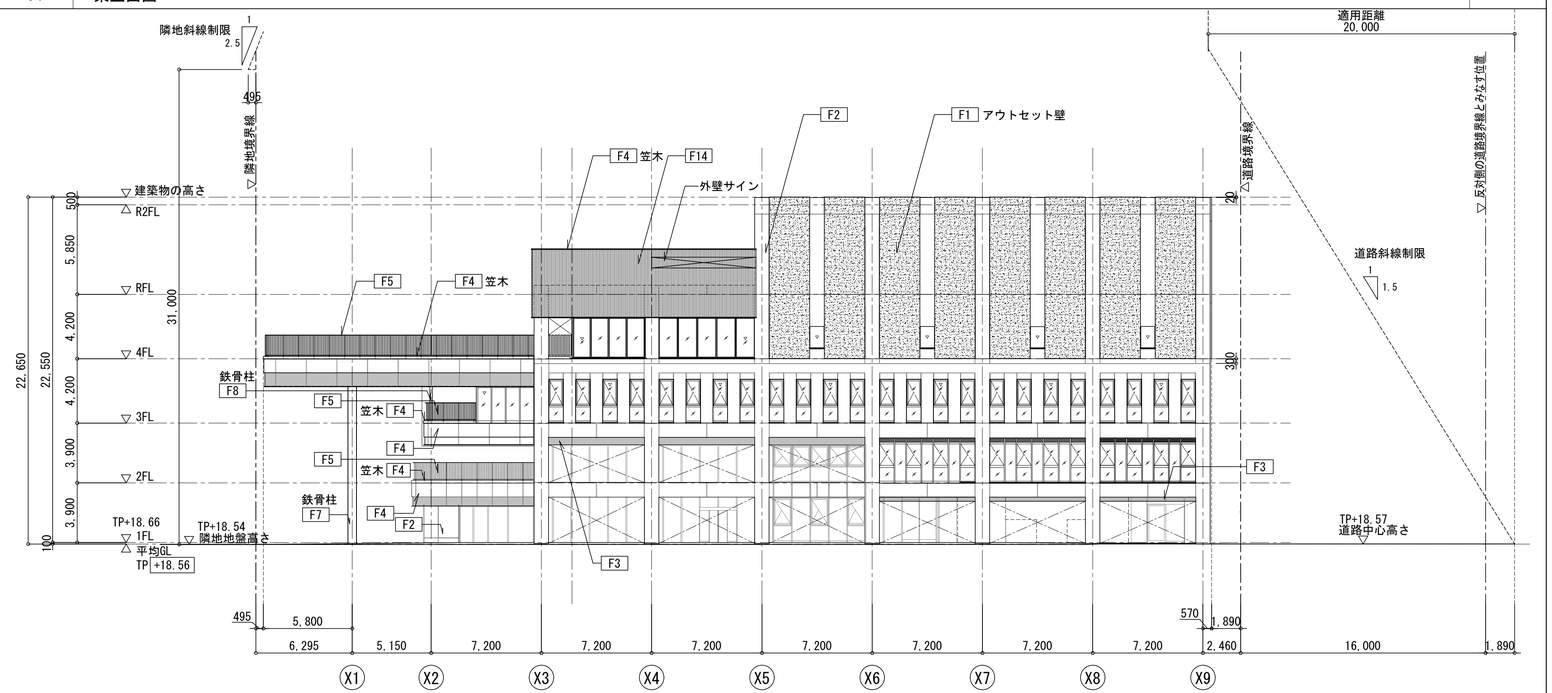
02 西立面図



03 北立面図



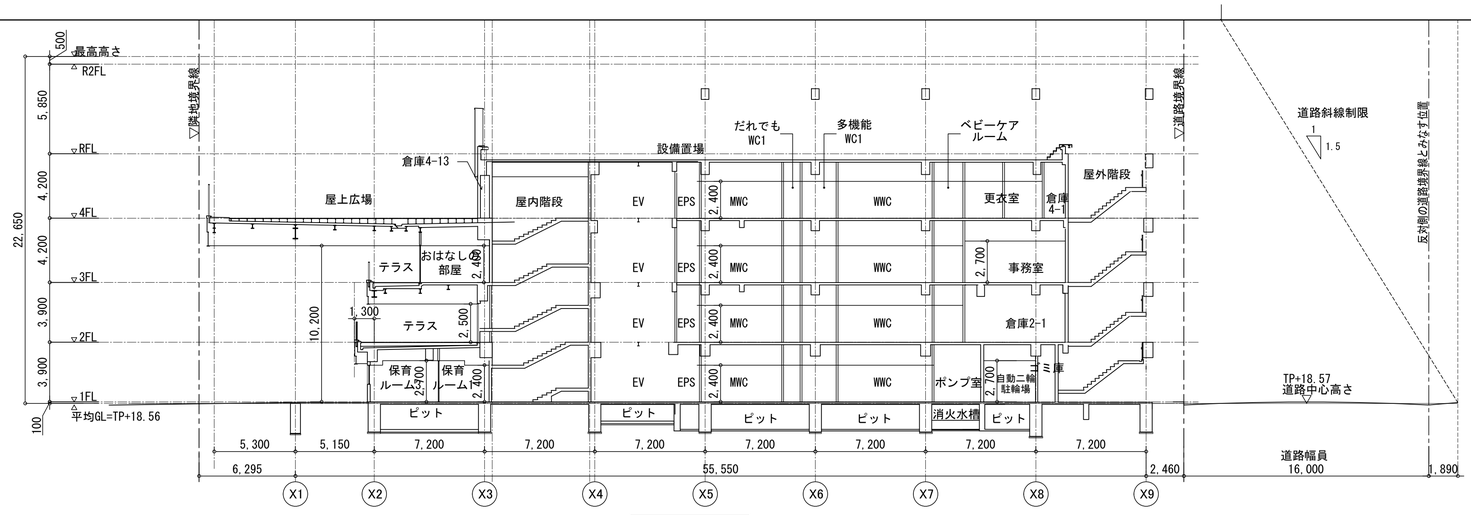
04 東立面図



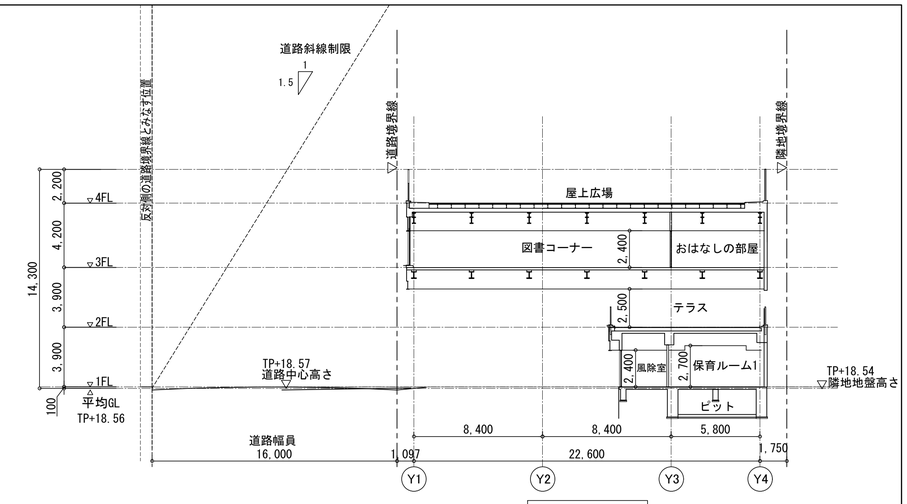
凡例								
	F1	複層仕上塗材塗布仕上(コンクリート面)	F6	溶融亜鉛めっきのうえDP塗料塗布仕上	F11	竪樋		
	F2	DP塗料塗布仕上(コンクリート面)	F7	耐火塗料パテ仕上(1)	F12			
	F3	DP塗料塗布仕上(ケイ酸カルシウム板)	F8	耐火塗料パテ仕上(2)	F13	メッシュフェンス		
	F4	アルミパネルt2.0曲げ加工フッ素樹脂焼付塗装仕上	F9		F14	アルミルーバー(目隠し壁)		
	F5	溶融亜鉛めっきリン酸処理仕上	F10		F15			

明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A 建築工事 最終版 2025. 02. 28 08 立面図 1/200 (A1) 1/400 (A3) 見積版 2024. 12. 16 安井建築設計事務所 最終契約版

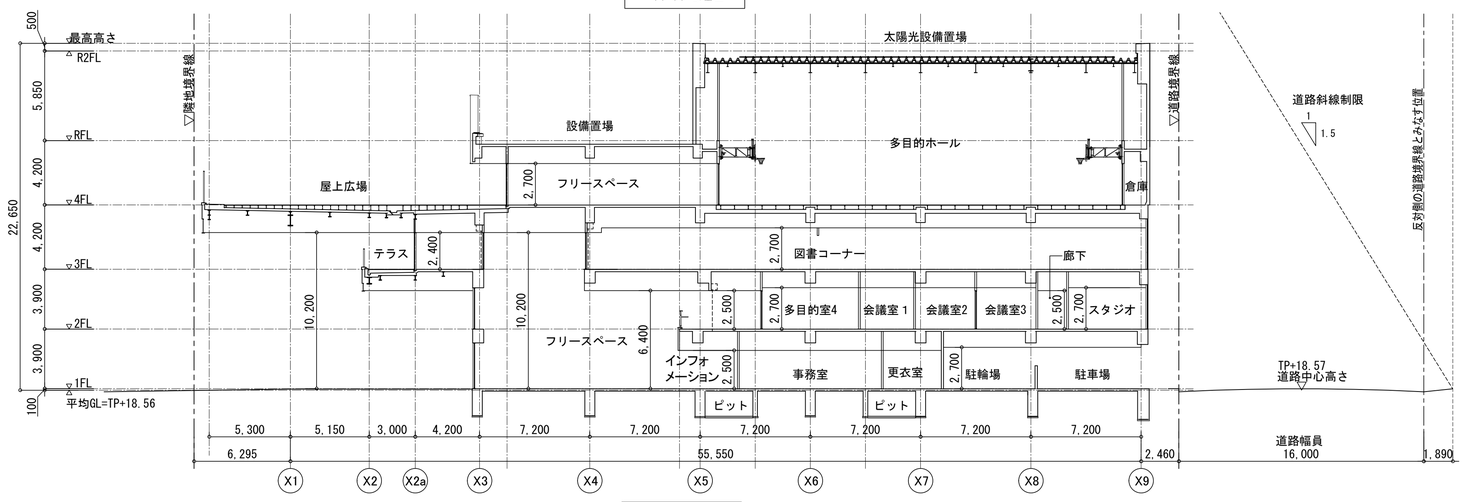
(2023年版)



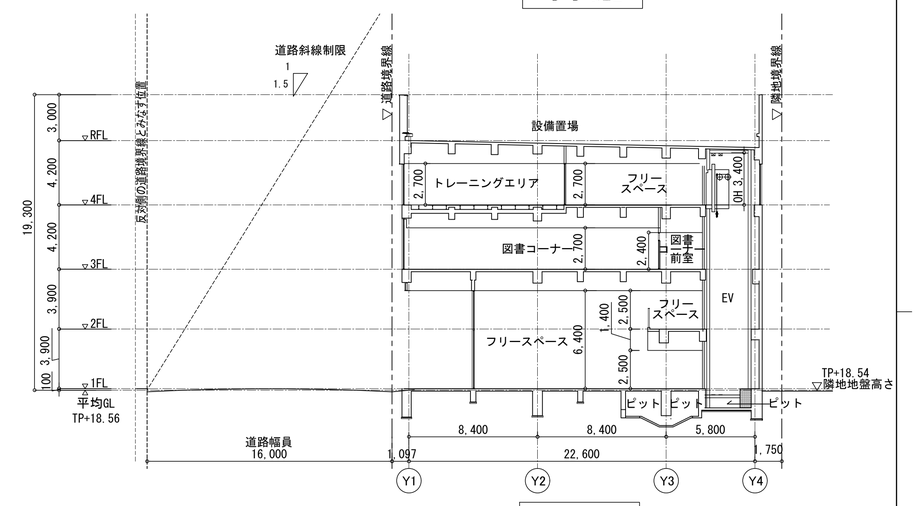
A－A　断面図



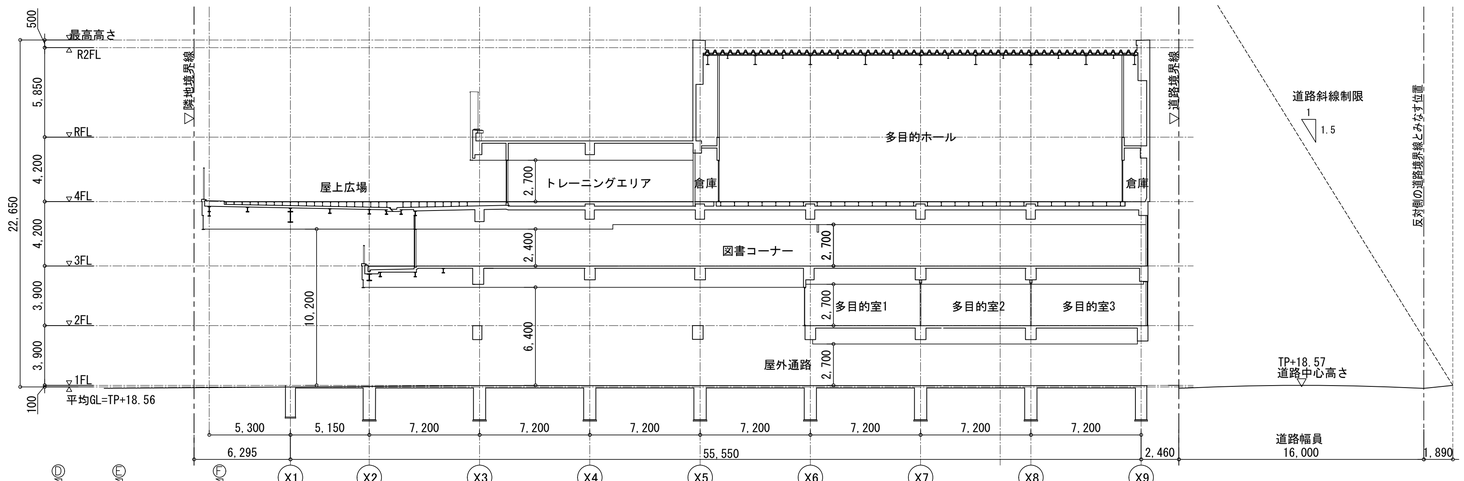
D－D　断面図



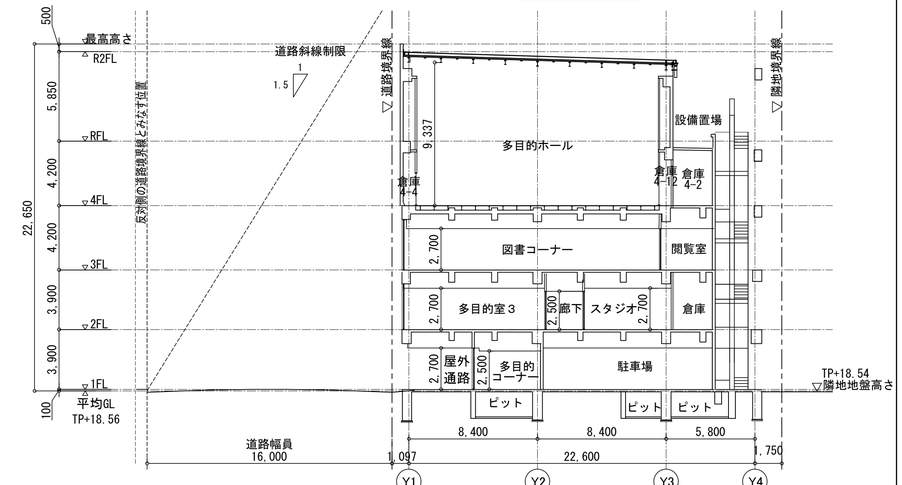
B－B　断面図



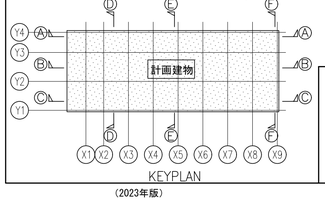
E－E　断面図



C－C　断面図



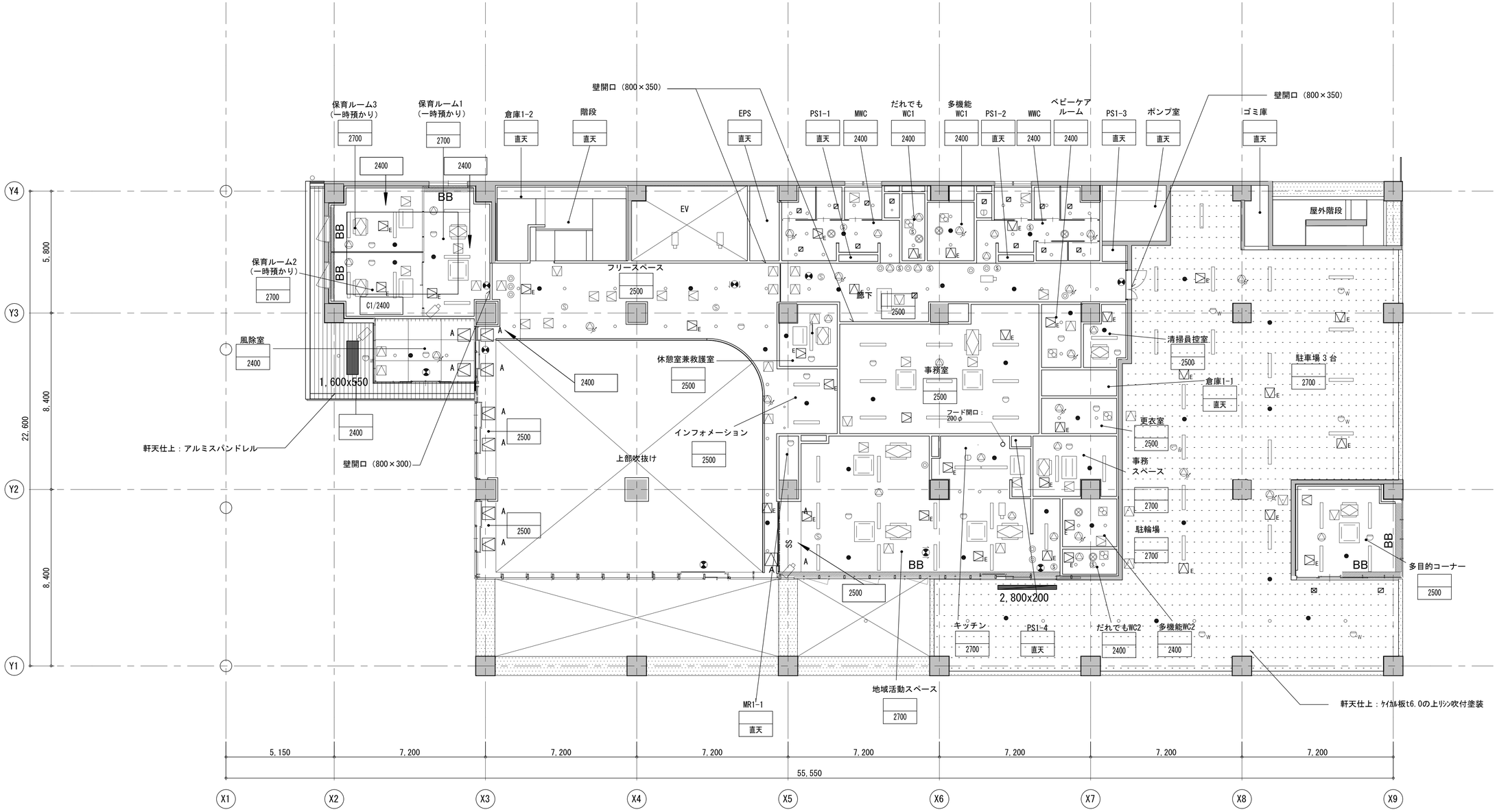
F－F　断面図



（2023年版）

明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto　建設工事
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	A　建築工事　最終版　2025. 02. 28 09　断面図　A1　1：200　A3　1：400　見積版　2024. 12. 16 安井建築設計事務所　最終契約版

20230220



1階天井伏図

（凡例）（OOO）:開口サイズを表す

	空調室内機(天井カセット４方向形)(950 × 950)		天井扇 (200 × 200)		スピーカー (220φ)	W	差動式スポット型感知器（防水型)(80φ)		図書コーナー照明（３）(82φ)		
	空調室内機(天井カセット１・２方向形)(1,070 × 700)		ベースライト (150 × 1250)		スピーカー (200φ)		ドーム型ネットワークカメラ (100φ)	A	図書コーナー照明（４）(1250×54)		
	全熱交換器(天井カセット形)(700 × 650)	○	ダウンライト (150φ)		差動式スポット型感知器 (80φ)	I	全方位ネットワークカメラ (100φ)	B	図書コーナー照明（５）(1250×100)		
	天井点検口(機械設備)(450 × 450)	●	非常用照明器具(200φ)		光電式スポット型感知器 (80φ)	E	天井点検口(電気設備) (450 × 450)	D	ラインティングダクトレール (3700×70)		
	吹出口・吸込口（ユニバーサル型)(400 × 400)		避難口誘導灯 (210×250)		廊下表示灯 (50φ)		図書コーナー照明（１）(107φ)		コンパクトスピーカー (200×300)		
	（空調・換気用）（ライン型）（Ｌサ × 150）（Ｌサは平面図参照）		通路誘導灯 (100×220)		光警報装置 (100φ)		図書コーナー照明（２）(57φ)	PR	プロジェクター吊材		
事務室 2500	上段:部屋名 下段:天井高さ			C9	アルミスパンドレル（木目調）		軒天アルミガラリ		アルミスパンドレル		
				BB	BBブラインドボックス		梁型 DP 塗装		ｹｲｶﾙ板t6.0の上ﾘｼﾝ吹付塗装		
				RB	ロールスクリーンボックス		梁型、ブレース EP 塗装				
				SS	シャッター	A	天井点検口A 600×600、外枠目地、内枠目地タイプ				
					防煙垂れ壁 H=800						

明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	建築工事	最終版 2025. 02. 28
	10-1	1階天井伏図 1/100(A1) 1/200(A3)	見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

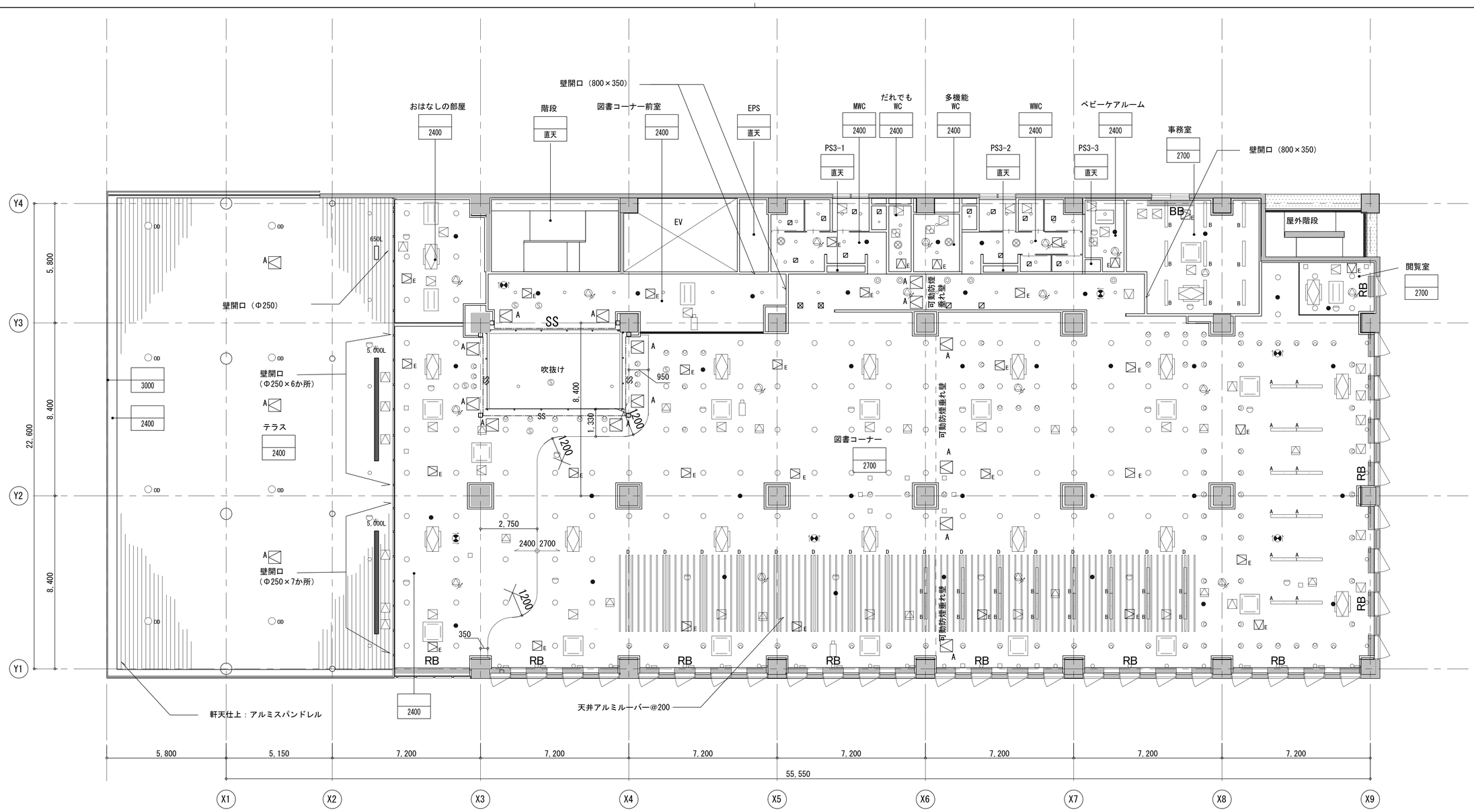


２階天井伏図

（凡例）（OOO）:開口サイズを表す

	空調室内機(天井カセット４方向形)(950 × 950)		天井扇 (200 × 200)		スピーカー (220φ)	W	差動式スポット型感知器（防水型)(80φ)		図書コーナー照明（３）(82φ)	OD	ダウンライト (172φ)
	空調室内機(天井カセット１・２方向形)(1,070 × 700)		ベースライト (150 × 1250)		スピーカー (200φ)		ドーム型ネットワークカメラ (100φ)	A	図書コーナー照明（４）(1250×54)		
	全熱交換器(天井カセット形)(700 × 650)	○	ダウンライト (150φ)		差動式スポット型感知器 (80φ)	I	全方位ネットワークカメラ (100φ)	B	図書コーナー照明（５）(1250×100)		
	天井点検口(機械設備)(450 × 450)	●	非常用照明器具(200φ)		光電式スポット型感知器 (80φ)	E	天井点検口(電気設備) (450 × 450)	D	ラインティングダクトレール (3700×70)		
	吹出口・吸込口 (ユニバーサル型) (400 × 400)		避難口誘導灯 (210×250)		廊下表示灯 (50φ)		図書コーナー照明（１）(107φ)		コンパクトスピーカー (200×300)		
***L	(空調・換気用) (ライン型) (L寸 × 150) (L寸は平面図参照)		通路誘導灯 (100×220)		光警報装置 (100φ)		図書コーナー照明（２）(57φ)	PR	プロジェクター吊材		
事務室 2500	上段:部屋名 下段:天井高さ			C9	アルミスパンドレル（木目調）		軒天アルミガラリ		アルミスパンドレル		
				BB	BBブラインドボックス		梁型 DP 塗装		ｹｲｶﾙ板t6.0の上ﾘﾝ吹付塗装		
				RB	ロールスクリーンボックス		梁型、ブレース EP 塗装				
				SS	シャッター	A	天井点検口A 600×600、外枠目地、内枠目地タイプ				
					防煙垂れ壁 H=800						

明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
<代表設計者> 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	建築工事	最終版 2025. 02. 28
	10-2	２階天井伏図	1/100(A1) 1/200(A3) 見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

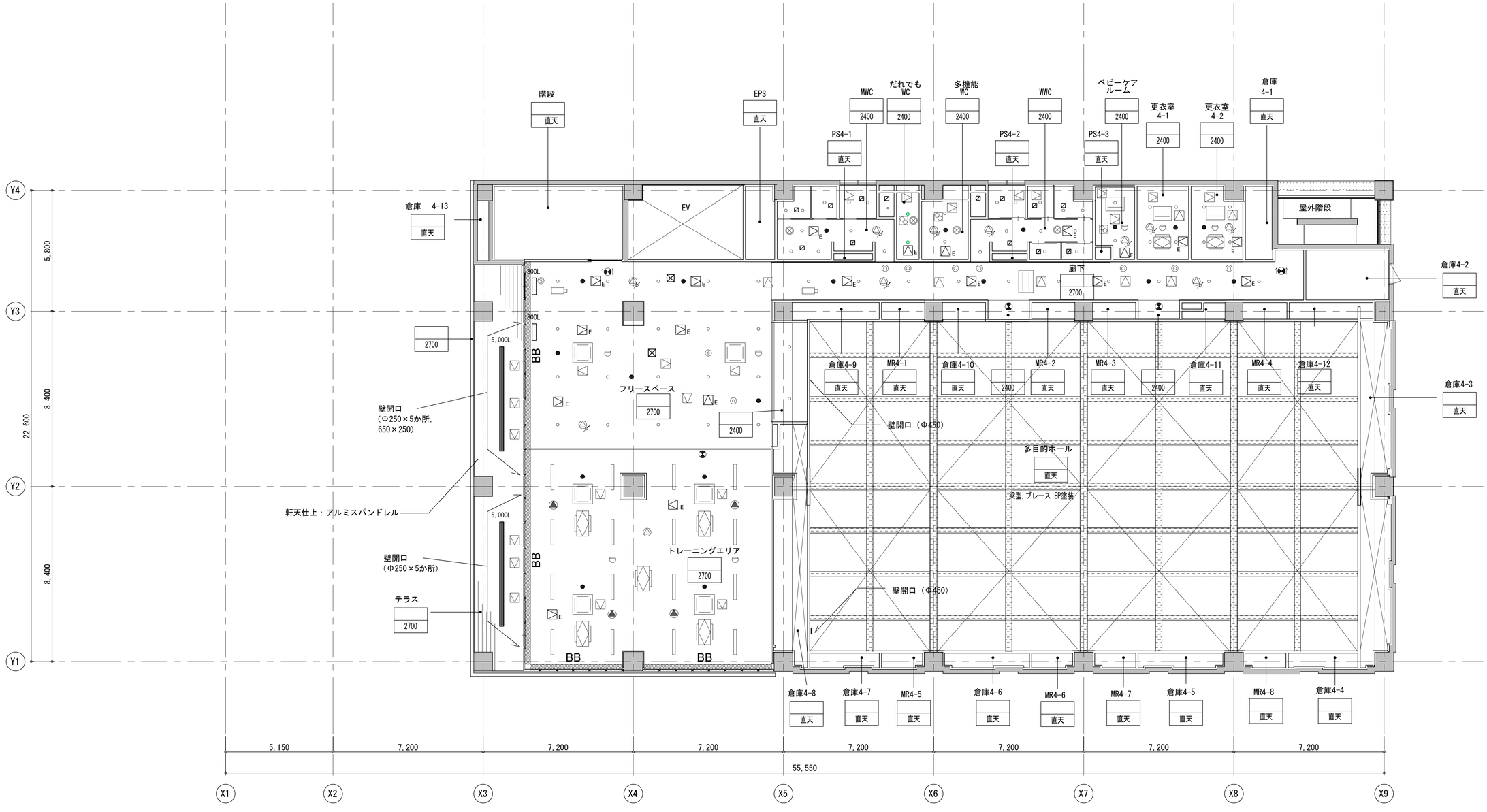


3階天井伏図

（凡例）（OOO）：開口サイズを表す

	空調室内機(天井カセット４方向形)(950 × 950)		天井扇 (200 × 200)		スピーカー (220φ)	W	差動式スポット型感知器（防水型)(80φ)		図書コーナー照明（３）(82φ)	OD	ダウンライト (172φ)
	空調室内機(天井カセット１・２方向形)(1,070 × 700)		ベースライト (150 × 1250)		スピーカー (200φ)		ドーム型ネットワークカメラ (100φ)	A	図書コーナー照明（４）(1250×54)		
	全熱交換器(天井カセット形)(700 × 650)	○	ダウンライト (150φ)		差動式スポット型感知器 (80φ)	I	全方位ネットワークカメラ (100φ)	B	図書コーナー照明（５）(1250×100)		
	天井点検口(機械設備)(450 × 450)	●	非常用照明器具(200φ)	S	光電式スポット型感知器 (80φ)	E	天井点検口(電気設備) (450 × 450)	D	ラインティングダクトレール (3700×70)		
	吹出口・吸込口（ユニバーサル型)(400 × 400)		避難口誘導灯 (210×250)		扉下表示灯 (50φ)		図書コーナー照明（１）(107φ)		コンパクトスピーカー (200×300)		
***L	(空調・換気用)（ライン型）(L寸 × 150)(L寸は平面図参照)		通路誘導灯 (100×220)		光警報装置 (100φ)		図書コーナー照明（２）(57φ)	PR	プロジェクター吊材		
事務室 2500	上段：部屋名 下段：天井高さ			C9	アルミスパンドレル（木目調）		軒天アルミガラリ		アルミスパンドレル		
				BB	BBブラインドボックス		梁型 DP塗装		ｹｲｶﾙ板t6.0の上ﾘﾝｽ吹付塗装		
				RB	ロールスクリーンボックス		梁型、ブレース EP塗装				
				SS	シャッター	A	天井点検口A 600×600、外枠目地、内枠目地タイプ				
					防煙垂れ壁 H=800						

明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	建築工事	最終版 2025. 02. 28
	10-3	3階天井伏図 1/100(A1) 1/200(A3)	見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版



4階天井伏図

（凡例）（OOO）：開口サイズを表す

	空調室内機(天井カセット４方向形)(950 × 950)		天井扇 （200 × 200）		スピーカー （220φ）	W	差動式スポット型感知器（防水型)(80φ)		図書コーナー照明（３）（82φ）		
	空調室内機(天井カセット１・２方向形)(1,070 × 700)		ベースライト （150 × 1250）		スピーカー （200φ）		ドーム型ネットワークカメラ（100φ）	A	図書コーナー照明（４）（1250×54）		
	全熱交換器(天井カセット形)(700 × 650)	○	ダウンライト （150φ）		差動式スポット型感知器（80φ）	I	全方位ネットワークカメラ （100φ）	B	図書コーナー照明（５）（1250×100）		
	天井点検口(機械設備)(450 × 450)	●	非常用照明器具(200φ）		光電式スポット型感知器（80φ）	E	天井点検口(電気設備)（450 × 450）	D	ラインティングダクトレール（3700×70）		
	吹出口・吸込口 (ユニバーサル型)(400 × 400)		避難口誘導灯（210×250）		廊下表示灯 （50φ）		図書コーナー照明（１）（107φ）		コンパクトスピーカー（200×300）		
**L	(空調・換気用) (ライン型)（L寸 × 150） (L寸は平面図参照)		通路誘導灯 （100×220）		光警報装置 （100φ）		図書コーナー照明（２）（57φ）	PR	プロジェクター吊材		
事務室	上段：部屋名			C9	アルミスパンドレル（木目調）		軒天アルミガラリ		アルミスパンドレル		
2500	下段：天井高さ			BB	BBブラインドボックス		梁型 DP塗装		ｹｲｶﾙ板t6.0の上ﾘｼﾝ吹付塗装		
				RB	ロールスクリーンボックス		梁型、ブレース EP塗装				
				SS	シャッター	A	天井点検口A 600×600、外枠目地、内枠目地タイプ				
				— — —	防煙垂れ壁 H=800						

明石市政策局 プロジェクト推進室

西明石地域交流センター icotto 建設工事

〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号
森 雅章

A	建築工事	最終版	2025. 02. 28
10-4	4階天井伏図 1/100(A1) 1/200(A3)	見積版	2024. 12. 16
	安井建築設計事務所	最終契約版	

共通事項

1　各項目の※及び　・　の適用は特記仕様書と同じとする。
2　（○－○○－○）内の数字は、公共建築協会発行「建築工事標準詳細図　最新版」の詳細番号を示す。
3　欠番
4　（De－○○）の数字は、「外部部分詳細図」の詳細番号を示す。
5　（Di－○○）の数字は、「内部部分詳細図」の詳細番号を示す。
6　特記以外の木部は、EP－G（水系）とする。ただし、和室廻りは塗装無とする。
7　特記以外の鉄部、亜鉛メッキ面は、SOP塗（F☆☆☆☆）とする。
8　備考欄の「測定対象室（　）」は、特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（　）内数値は、測定個所数を示す。
9　記号は下記による。

区　分	略　号	材料名称
下地略号	RC（　）	（　　）は標仕表6.2.4による
	CB	コンクリートブロック積み
	ALC	軽量気泡コンクリートパネル
	ECP	押出成形セメント板
	LGS	軽量鉄骨下地
	W	木（木造下地）
	ST	スチール
	SUS	ステンレス
	AL	アルミニウム
	MO	モルタルコテ押え
	WM	防水モルタルコテ押え
	UF（W）	木製ユニット床組
	UF（S）	鋼製ユニット床組
	OA	フリーアクセスフロア（OAフロア）
	PF	ポリエチレンフォーム床下地（床下地のみ）
床材略号	TS	単層ビニル床シート（発泡層なし）
	FS	複層ビニル床シート（発泡層なし）
	HS	発泡複層ビニル床シート（発泡層あり）
	KS	クッションフロア（発泡層あり）
	KT	コンポジションビニル床タイル
	TT	単層ビニル床タイル
	FT	複層ビニル床タイル
	FOA	置敷きビニル床タイル
	FOB	薄形置敷きビニル床タイル
	Ca	カーペット
	TCa	タイルカーペット
	_（電）	耐電性床シート／床タイル/タイルカーペット
	_（動）	耐動荷重性床シート
	_（薬）	耐薬品性床シート
幅木略号	VB	ビニル幅木
	WB	木製幅木
ボード類略号	GB-R	せっこうボード
	GB-NC	不燃積層せっこうボード（化粧無し：下地張り用）
	GB-NC（T）	不燃積層せっこうボード（化粧有り）
	GB-D（W）	化粧せっこうボード（木目）
	GB-D（T）	化粧せっこうボード
	GB-S	シージングせっこうボード
	GB-F	強化せっこうボード
	GB-P	吸音用穴あきせっこうボード
	FK	けい酸カルシウム板（タイプ2）
	FK（P）	吸音用穴あき無石綿セメントけい酸カルシウム板
	DR	ロックウール化粧吸音板（フラットタイプ）
	DR（凹凸）	ロックウール化粧吸音板（凹凸タイプ）
	DR（軒天）	ロックウール化粧吸音板（軒天井用：フラットタイプ）
	DR（軒天凹凸）	ロックウール化粧吸音板（軒天井用：凹凸タイプ）
	PF板	押出法ポリスチレンフォーム保温板
	RW-B	ロックウール吸音ボード（ガラスクロス包）
	GW-B	グラスウール吸音ボード（ガラスクロス包）（32kg/m³）
	HW	硬質木毛セメント板
	NW	普通木毛セメント板
	HF	硬質木片セメント板
	NF	普通木片セメント板
	GB-L	せっこうラスボード
	MDF	ミディアムデンシティファイバーボード
	HB	ハードボード
	IB	インシュレーションボード
仕上略号（塗装）	SOP	合成樹脂調合ペイント塗り
	CL	クリヤーラッカー塗り
	NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り
	DP（※）	耐候性塗料塗り（※：A、B、C、1、2、3）
	EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り
	EP	合成樹脂エマルションペイント塗り
	EP-T	合成樹脂エマルションペイント模様塗料塗り
	LE	ラッカーエナメル塗り
	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り
	OS	オイルステイン塗り
	WP	木材保護塗料塗り
	AE	アクリル樹脂エナメル塗り
	EP-M	多彩模様塗料塗り
	VE	塩化ビニル樹脂エナメル塗り
	AIP	アルミニウムペイント塗り
	2-XE	構造用さび止めペイント
仕上略号（鋼材）	HL	ヘアライン仕上
	SSE	エッチング仕上
	SSV	バイブレーション仕上
	SSM	鏡面仕上（＃800以上）
	SSB	ショットブラスト仕上
	BC	硫化イブシ仕上
	A-BE	アクリル樹脂焼付
	F-BE	フッ素樹脂焼付
	U-BE	ウレタン樹脂焼付
	M-BE	メラミン樹脂焼付
	NS	粘着剤付シート貼り

天井見切縁 カーテンブラインド ボックス略号	V	塩ビ製（既製品）
	AL	アルミニウム製（A-BE、指定色）
	ST	スチール、t=1.6mmSOP
	W	木製（OSCL）
	PR	ピクチャーレール（既製品：　　）
		耐荷重：
防水略号（防水）	A	アスファルト防水
	S	合成樹脂シート防水
	P	合成樹脂塗膜防水

外部仕上げ

	種　別	施工箇所
床	・コンクリート直均し仕上げ（1-01-3）	
	・ユニットタイル（1-01-5）	
	⊙磁器質タイル（1-01-6）	⊙図示
	・天然石（ひき石）（1-01-9）	
	⊙インターロッキングブロック	⊙図示
	⊙コンクリート平板ブロック	⊙図示
壁、柱、梁	※RC（B）増打厚さ20mm（2-02-7～11） ※出隅面取り：（20）mm　・出隅角面取：（20×20mm）のうえ ・複層塗材（　）　・外装薄塗材（　）　・AE塗り　・塗装なし ⊙DP1級 ・磁器質タイル密着張り（2-01-4） ・磁器質タイルマスク張り（2-01-7）	
腰	※壁、柱、梁に同じとする。	
屋　根	※下地RCのうえ ・塗膜防水 ⊙ウレタン複合防水　⊙図示 ・折板葺 ⊙断熱二重折版葺　ガルバリウム鋼板　⊙図示	
軒　天	・アルミスパンドレル　・化粧ケイ酸カルシウム板　⊙図示	

庇	施工箇所	・エントランス上部　・図示	
	上　端	・図示	
	はな	・図示	
	下　端	・図示	
外部詳細	⊙屋上パラペット	・コンクリート笠木：断熱防水（5-01-3）　⊙図示 ・コンクリート笠木（5-02-3） ・アルミニウム笠木：断熱防水（5-01-7） ・アルミニウム笠木（5-02-7）	
	・塔屋取合い	・コンクリート笠木（5-01-4）・図示 ・アルミニウム笠木（5-01-6）	
	・屋上点検口	（5-21-1：ステンレス製ふた）・図示	共通：防水立上り部
	・屋上換気塔	（5-21-2）　・図示	・（　　）
	・屋上管類貫通部	（5-22-1）　・図示	・塔屋取合と同じ
	・屋上基礎	・コンクリート笠木（5-22-2）⊙図示	⊙図示
	・煙突	※成型パイプ（7-21-1）径＝（　）mm 天板（※無　・有（　　））　耐酸耐熱塗料なし	
	⊙雨とい及びルーフドレン	※鋼管とい（5-32-1）径＝（　）mm　・横型　・たて型 ⊙図示	
	⊙タラップ	・標準型（8-31-1-1）・はしご型（8-31-2）・安全ガード型 ⊙図示	
	⊙屋上手すり	※（5-23-1）⊙図示	
	⊙看板、サイン	⊙図示	
	・くつふきマット	・排水なし（8-21-1）　※排水つき（8-21-2） ・泥だまり、排水つき（8-21-3）	
	・くつ洗い流し	・一槽型（8-22-1）　・二槽型（8-22-2）	

外部仕上表

場　所	部　位	仕上げ等	場　所	部　位	仕上げ等
屋上	防水	塗膜防水（ウレタンゴム系）	屋上広場	手摺	スチール手摺
	側溝	塗膜防水（ウレタンゴム系） 横型ドレイン：鋳鉄製100φ用		防水	塗膜防水（ウレタンゴム系）、
				デッキ床	鋼製床組み（既製品）のうえ コンクリート平板人工芝貼り
	パラペット	丸環：ステンレス製@3,000内外 塗膜防水			
	笠木	アルミプレートt2.0加工 F-BE 捨て笠木：ガルバリウム鋼板 t0.5		側溝	塗膜防水（ウレタンゴム系） 縦型ドレイン：鋳鉄製125φ用
			2～4階テラス	手摺	スチール手摺
	目隠しルーバー	アルミルーバー （柱・梁等露出鉄骨は溶融亜鉛メッキ）		防水	塗膜防水（ウレタンゴム系）
				デッキ床	鋼製床組み（既製品）のうえ コンクリート平板磁器質タイル貼り
	設備取出口・機械基礎	コンクリート金コテ押えのうえ塗膜防水			
	タラップ	ステンレスタラップ		側溝	塗膜防水（ウレタンゴム系） 縦型ドレイン：鋳鉄製100φ用
外壁		コンクリート打放補修のうえDP塗装	縦樋	西側	カラーVP
		コンクリート打放補修のうえ複層仕上塗材	横樋	西側	カラーVP
		アルミパネルフッ素樹脂焼付塗装	軒裏	2・3階	アルミスパンドレル（木目調）
		（一部ALCパネルのうえアルミパネル）	屋根	屋根材	金属二重折版
		開口部：アルミカーテンウォール	柱・梁	1・2階、屋上	コンクリート打放補修のうえDP塗装 耐火塗料パテ仕上(1)(2)（外部鉄骨柱）
		開口部：アルミ製建具			
屋上広場（テラス）	手摺	スチール手摺		3・4階	コンクリート打放補修のうえ複層仕上塗材
	防水	塗膜防水（ウレタンゴム系）			
	デッキ床	鋼製床組み（既製品）のうえ コンクリート平板磁器質タイル貼り	屋上広場3階南側柱・梁	柱	コンクリート打放補修のうえDP塗装
				梁	コンクリート打放補修のうえDP塗装
屋外避難階段	－	コンクリート金ゴテ仕上 ノンスリップ			

内部仕上げ

床

（１）特記以外の下地及び詳細番号は下記による。

仕上げ種別	詳細番号
ビニル床シート	（1-01-4：t＝10）RC
磁器質タイル	（1-01-5または6）
カーペット・タイルカーペット	（1-02-4または5）RC直張りの場合
たたみ	（1-02-3）
天然木化粧複合フローリング	（1-02-8）
RC、床用塗料、防塵用塗料	（1-01-3：t＝10）RC
モルタル、防水モルタル	（1-01-1）　防水モルタル厚（※ 15 ・ 30 ）
フリーアクセスフロア	（1-02-14）

（２）表記なきレベルは、FL±0とする。
（３）屋内のRC機械基礎は、床と同等の仕上を行う。
（４）デッキプレートを用いたスラブに防水を行う場合は、デッキプレートに穴明（6φ@300×600）を行う。
（５）浮床などのグラスウールは96kg/m³とする。
（６）異なる床仕上げの取合いで、沓摺りが無い場合はステンレス FB 見切 t=6mmを設置する。
床下がり10mmの場合SUS FB 6×9（HL）床下がり50mm以上の場合SUS FB 6×20（HL）
支持材St2×30プレート加工@450を見込むこと
（７）塗膜防水の上、仕上材による仕上げの指示がある場合は、保護コンクリートt=50の上、仕上げとする。
（８）屋内防水指示のある室の周囲壁面は RC を立ち上げ防水層を巻き上げる。
（９）床の防振
・厨房の下部に居室がある場合は、厨房の床防水の上に
（・RC浮床構造　・　防振束二重床（軽量衝撃音レベル等級LL50相当品）※設計図による
・押えコン下部防振材ｔ50（GW96K t 25×2））を設ける。範囲は設計図による。
・食堂の床などで下部に居室がある場合は、軽量床衝撃音対策として、
（・　防振束二重床（軽量衝撃音レベル等級LL50相当品）　※設計図による　・　）
を設ける。範囲は設計図による。
・歩行など衝撃を伴う屋上の下部に、会議室・役員室など重要な部屋がある場合は
屋上防水の上に（・　RC浮床構造　・　設計図による　）を設ける。範囲は設計図による。

幅木

（１）特記以外の下地及び詳細番号は下記による。

仕上げ種別	高さ（mm）	詳細番号
VB	※60　・75	（2-11-1）（2-11-9）
WB（樹種　※杉　・ナラ　）	※60　・100	（2-11-4）：CL仕上げ
ビニル床シート巻上げ	※60　・	（2-11-2）

（２）幅木防塵塗装で、壁下地がLGSの場合、コンクリートを幅木高さまで立ち上げる。

柱　壁

（１）特記以外の下地及び詳細番号は下記による。

仕上げ種別	詳細番号
ボード張り（RCまたはCB下地）	（GL工法：接着材=11～13mm）（2-03-6）（1枚張り）
ボード張り（軽量鉄骨壁下地：一般壁）	（2-22-1）（2-24-5～7：継目処理の場合）
ボード張り（軽量鉄骨壁下地：遮音壁）	（2-23-1）（2-24-5～7：継目処理の場合）
陶器質タイル（RC又はCB下地）	（2-01-2）
モルタル	（2-02-12）
吸音材張り（RCまたはCB下地）	（2-02-13）
地下二重壁	（2-41-1）

（２）特記以外のボード類は下記による。

種　別	厚さ（mm）	備　考
GB-R	12.5	塗装仕上げ及び、壁紙張りの場合は継目処理（2-03-6）（2-03-10） ただし、仕上げ等行わない場合は突き付け（2-03-9）（2-03-13）とする。 （二重張りは特記無き限り下張りは上張りと同厚のボードとする）
FK	8	突付け（V目地）（2-03-17：下地張りはGB-S） （2-03-12：下地張りは　・GB-S　・FK　）

（３）コンクリート打放しの出隅面取りは10mm とする。（梁型とも）
（４）下り壁（3-12-1：※塩ビ製見切縁・アルミ製見切縁）の仕上げは壁と同じとする。
（５）ボード壁とRC又はCB壁との取合いは（2-24-4,-7：継目処理の場合　塩ビ製見切縁）とする。
（６）ボード壁とサッシ取合いは（2-24－8）とする。
（７）押入（6-46-1）の壁はGB-R厚さ12.5mm塗装なし突き付けとする。
（８）陶器質タイルを、軽量鉄骨壁下地のボード面に接着張りを行う場合のボードは、下地張りをGB-S、上張りをFK（突付け）とする。（2-03-13）
（９）防水を行う室内のRC壁は、20mm増打とする。
（１０）常時開放式防火戸の戸袋内側は、特記なき限り塗装仕上とする。（4-47-1）（4-48-1）
（１１）外壁面に誘発目地を設ける場合は、内壁面にも同箇所に設け、内外共シールを行う。
（１２）アルミカーテンウォールのスパンドレル部にFKを裏打する場合は、EP仕上とする。
（１３）塗装下地用クロスの塗料は、専用塗料で防火一級認定品とする。
（１４）特記なき限り壁に取付いた柱型は、壁仕上に従う。
（１５）階段及び避難経路に使用する押出成型セメント板・ALC版等、乾式下地のボード貼は、LGS工法（ロッキング対応）とする。
（１６）単板練付は、0.3mm以上とし、特記なき限りUC仕上げとする。
（１７）耐火、遮音壁以外のボード類は、天井仕上面より100mm上まで貼る。
（１８）化粧FKを使用する場合の目地処理は
（・目地シーリング（SR-1 5×5）⊙アルミジョイナー工法 A-BE　）とする。

天　井

（１）軽量鉄骨天井下地は（3-21-1～4）（3-41-1～2）（3-42-1～2）とする。
（２）特記以外のボード類は下記による。

種　別	厚さ（mm）	詳細番号
DR	※9　・12	（3-01-4）
DR（凹凸）	※12　・15	（3-01-4）
FK	⊙6　・（　）	（3-01-2）
GB-NC	9.5	（3-01-2）
GB-D	12.5	下地は製造所の仕様とする
RW又はGW張り	25	（3-01-12）

（３）押入（6-46-1）の天井はGB-R厚さ12.5mm塗装なし突き付けとする。
（４）壁～天井の取合いは天井付き目地
（3-11-3、4、7、8：※塩ビ製見切縁　・アルミ製見切縁）とする。
（５）DRの下張りは　※GB-R厚さ12.5mm　・GB-NC厚さ9.5mm　とする。
（６）GB-NC（T）の大きさ　※910×455mm　・910×910mm
（７）塗装仕上げ及び壁紙張りの場合はGB-R厚さ12.5mm（継目処理）とする。
（・3-01-3、・3-01-8）
（８）外部のDR（軒天）の下地張りはGB-S厚さ12.5mmとする。
（９）特記なき限り天井より突出した梁型は天井仕上に、壁に取付いた梁型は壁仕上に従う。
（１０）照明ボックス部は、熱抜穴φ20防虫網付@600を設ける。
（１１）厨房等の天井でFK2枚貼の目地部はシーリングを施すものとする。

内部詳細

⊙断熱材	種　別　※PF板打ち込み　⊙現場発泡断熱材 窓まわりなどの補修材は現場発泡断熱材とする。 施工範囲　外壁　※内面がGB-R張り（GL工法）の床面から梁型下端まで（階段は除く）の部分（7-01-2） ⊙図示 スラブ　・土層接地スラブ下面および図示の範囲（7-01-2） （ただし、屋根スラブ下面を除く） ⊙図示
・雨といおよび掃除口	※鋼管とい（5-32-1および 2） ・
⊙カーテンボックス及びブランドボックス	・アルミニウム製（3-31-3）　・木製（3-32-1）　⊙図示 特記なき限り　W=120　H=80
⊙階段手すり	・ビニル製（7-12-5～7：通しのFBは38×9.0とする） ※集成材（7-12-2～4.8）　⊙図示
⊙落下防止手すり	・（　　）　⊙図示
・トラフ	・ビニル床タイル（1-21-4）　・しま鋼板SOP（1-21-3）
⊙トイレブース	※既製品　　へだての補強が必要な場合は製造所の仕様による
⊙肢体不自由者用便所手すり	固定手摺（A）（6-23-1）（6-25-1）　⊙図示 可動手摺　（既製品：取り付けは6-28-5に準ずる）
・便所防水	※塗膜防水（1-31-2）
⊙流し台およびコンロ台	（6-11-1）⊙図示
⊙流し上部水切り	・奥行き55mm（6-11-3）　・奥行き（　　mm）（6-11-4）⊙図示
⊙つり戸だな	（6-11-5）　⊙図示
・フード	（6-11-2）
・和室出入口	※（6-42）　・（6-41-　）　・（　　）
・押入	（6-46-1　※天袋なし　・天袋あり）
・浴室	（6-31-2～4　※防水あり　・防水なし）
・脱衣箱	（6-32-1）
⊙くつふきマット	・排水なし（8-21-1）　※排水つき（8-21-2） ⊙泥だまり、排水つき（8-21-3）
⊙タラップ	※標準型（8-31-1）⊙図示
⊙郵便受け	※既製品　（　　程度）　⊙図示
⊙表示標識	・（　　）・各階案内板　・室名札 ・ピクトグラフ　・階段表示板 既製品　・誘導標識　⊙図示
・屋内掲示板	既製品　（アルミ枠）

遮音性能

外部からの遮音
⊙外部からの音に対する室内遮音レベルは、（※45　・　）dBA以下を目標とする。
・重要室（　　）の室内騒音レベルは、（※40　・　）dBA以下を目標とする。
⊙工事着手後、騒音源が見渡せる位置で外部騒音の測定を行い、外装の検討に反映させる。
⊙完成時の騒音測定は窓から1m離れた位置とし、建物の高さに応じて（ 全 ）フロアを測定する。
室内間仕切りの遮音
・テナント間間仕切りの遮音性能はRr－（※50　・　）以上とする。また、サッシ取り合い部、柱取り合い部、窓廻り上下階区画部の遮音性能確保に注意する。
・（　　）間間仕切りの遮音性能は、独立スタッド型のRr－（※50　・　）以上とする。
⊙居室と便所、居室とEVシャフト間の間仕切りの遮音性能は、独立スタッド型のRr－（※50）以上とする。
⊙遮音上重要な壁には原則としてコンセントボックス、ペーパーホルダーなどによる切込みをつくらない。やむを得ず設ける場合にはスチール捨てボックス（アンダックスコート吹付け）を先付してその中に 設置すること。また遮音壁との間の隙間はシール材にて塞ぐこと。
⊙鉄骨造耐火被覆材に取り付く乾式遮音間仕切壁については、梁下に先付けチャンネル材を通して取付け、遮音壁を取り付ける。
耐火被覆材は湿式材またはこれに代わる充填性のよい被覆材とする。
※外部に設置する設備機器類の給排気騒音値は、隣接境界線上で騒音規制法に定める規定値以下とする。

防火材料（国土交通大臣認定品）

せっこうボード（t=9.5）	準不燃	QM-9828（一般社団法人　石膏ボード工業会）
せっこうボード（t=12.5，15.0）	不燃	NM-8619（一般社団法人　石膏ボード工業会）
不燃積層せっこうボード（化粧無）（t=9.5）	不燃	NM-0441（同等品）
不燃積層せっこうボード（化粧有）（t=9.5）	不燃	NM-1864（同等品）
化粧せっこうボード（t=9.5）	不燃	NM-1864（同等品）
化粧せっこうボード（t=12.5）	不燃	NM-0128（同等品）
強化せっこうボード（t=12.5,15.0,21.0）	不燃	NM-8615（一般社団法人　石膏ボード工業会）
化粧せっこう吸音ボード	準不燃	QM-9822（一般社団法人　石膏ボード工業会）
シージングせっこうボード（t=12.5）	準不燃	QM-9826（一般社団法人　石膏ボード工業会）
シージングせっこうボード（t=12.5）	不燃	NM-9639（同等品）
ロックウール吸音板（岩綿吸音板）	不燃	NM-8599
吹付岩綿	不燃	NM-8601
グラスウール保温板	不燃	NM-8605（硝子繊維協会）
繊維混入けい酸カルシウム板	不燃	NM-8578（同等品）
天然木練付化粧けい酸カルシウム板	不燃	NM-8040（同等品）
塗料	不燃	NM-8585（一般社団法人　日本塗料工業会）
塗料	準不燃	QM-9816（一般社団法人　日本塗料工業会）
塗料	難燃	RM-9364（一般社団法人　日本塗料工業会）
防火壁装材料	不燃	NM-9889（同等品）
防火壁装材料	準不燃	QM-9502（同等品）
防火壁装材料	難燃	RM-9216（同等品）
普通木片セメント板	準不燃	QM-9705（一般社団法人　全国木質セメント板工業組合）
硬質木片セメント板	準不燃	QM-9706（一般社団法人　全国木質セメント板工業組合）
木毛セメント板	準不燃	QM-9701（一般社団法人　全国木質セメント板工業組合）

〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号
森　雅章

明石市政策局　プロジェクト推進室
西明石地域交流センター　icotto 建設工事
A　建築工事　最終版　2025.02.28
11　仕上表（共通事項）兼外部仕上表　見積版　2024.12.16
安井建築設計事務所　最終契約版

仕上表ＮＯ.

階	室名	内装制限	床 下地	床 材質・仕上	床 FL/SL	巾木 特記ナキ限り（H=60）	壁 下地	壁 材質・仕上	天井 下地	天井 材質・仕上	天井 H	付属品 見切縁	付属品 天井ボックス	付属品 ブラインド	備考
1F	フリースペース	不燃（下地仕上共）	RC	FT（A）	±0	VB	LGS	繊維強化セメント板t3	LGS	GB-Rt12.5＋DRt9.0	2,400	V	-		本棚、SUS製誘導点字鋲
					-10		LGS	吹抜け壁面下り壁：FGボード15+EP	LGS	GB-Rt12.5＋DRt9.0	2,500	V	-		
							LGS	吹抜け部:GB-Rt12.5+DRt9.0			6,400	V	-		
	地域活動スペース		RC	FT（A）	±0	VB	LGS	ビニルクロス	LGS	GB-Rt12.5＋DRt9.0	2,700	V	ST		カウンター
					-10				LGS	GB-Rt12.5＋DRt9.0	2,500	V	ST		
	多目的コーナー	不燃（下地仕上共）	RC	FT（A）	-40	VB	LGS	ビニルクロス	LGS	GB-Rt12.5＋DRt9.0	2,500	V	ST		
					-50										
	保育ルーム1（一時預かり）	不燃（下地仕上共）	RC	FS	±0	VB	LGS	ビニルクロス	LGS	GB-Rt12.5＋DRt9.0	2,700	V	ST		ガラスパーテーション
					-10				LGS	GB-Rt12.5＋DRt9.0	2,400				
	保育ルーム2（一時預かり）	不燃（下地仕上共）	RC	FS	±0	VB	LGS	ビニルクロス	LGS	GB-Rt12.5＋DRt9.0	2,700	V	ST		ガラスパーテーション
					-10				LGS	GB-Rt12.5＋DRt9.0	2,400				
	保育ルーム3（一時預かり）	不燃（下地仕上共）	RC	FS	±0	VB	LGS	ビニルクロス	LGS	GB-Rt12.5＋DRt9.0	2,700	V	ST		ミニキッチン(L=1200)、調乳用温水器（浄水機付き・シンクー体型）、おむつ交換台
					-10				LGS	GB-Rt12.5＋DRt9.0	2,400				ガラスパーテーション
	インフォメーション	不燃（下地仕上共）	RC	FT（A）	±0	VB	LGS	ビニルクロス	LGS	GB-Rt12.5＋DRt9.0	2,500	V	-		カウンター
					-10										
	事務スペース	不燃（下地仕上共）	RC	FS	±0	VB	LGS	ビニルクロス	LGS	GB-Rt12.5＋DRt9.0	2,700	V	-		
					-10										
	キッチン		RC	FS	±0	VB	LGS	ビニルクロス	LGS	GB-Rt12.5＋DRt9.0	2,700	V	-		キッチン、カウンター、IH
					-10										
	事務室	不燃（下地仕上共）	RC	TCa（A）	±0	VB	LGS	ビニルクロス	LGS	GB-Rt12.5＋DRt9.0	2,500	V	-		
					-10										
	休憩室兼救護室	不燃（下地仕上共）	RC	TCa（A）	±0	VB	LGS	ビニルクロス	LGS	GB-NC(T)t9.5	2,500	V	-		ミニキッチン(L=900)
					-10										
	清掃員控室	不燃（下地仕上共）	RC	TCa（A）	±0	VB	LGS	ビニルクロス	LGS	GB-NC(T)t9.5	2,500	V	-		ミニキッチン(L=900)
					-10										
	風除室		MO	磁器質タイル(600×600)	±0	床同材	LGS	アルミカットパネルt=3.0+A-BE	LGS	アルミカットパネルt=3.0+A-BE	2,400	AL	-		防護棚
					-50										
	廊下	準不燃	RC	FT（A）	±0	VB	LGS	繊維強化セメント板t3	LGS	GB-Rt12.5＋DRt9.0	2,500	V	-		
					-10										
	更衣室		RC	TCa（A）	±0	VB	LGS	ビニルクロス	LGS	GB-D(T)t9.5	2,500	V	-		
					-10										
	ポンプ室		RC	塗床2	±0	床同材	RC	素地のまま	-	素地のまま	直天	-	-		
					-10										
	駐車場	準不燃	RC	塗床1	±0	床同材	RC	RC補修＋吹付タイル	-	化粧ケイ酸カルシウム板	2,700	-	-		バイクロック装置
					-10					アクリルリシン吹付					
	駐輪場	準不燃	RC	コンクリート刷毛引き仕上	±0	床同材	RC	RC補修＋吹付タイル	-	化粧ケイ酸カルシウム板	2,700	-	-		自転車ロック装置
					-10					アクリルリシン吹付					
	ゴミ庫		RC	塗床2	±0	床同材	RC	素地のまま	-	素地のまま	直天	-	-		
					-10										
2F	フリースペース	不燃（下地仕上共）	RC	FS	±0	VB	LGS	繊維強化セメント板t3	LGS	GB-Rt12.5＋DRt9.0	2,500	V	-		本棚、カウンター
					-10										
	多目的室１		RC	TCa（A）	±0	VB	LGS	ビニルクロス	LGS	GB-Rt12.5＋DRt9.0	2,700	-	-		ガラスパーテーション、
					-10						2,400				移動間仕切り
	多目的室２		RC	TCa（A）	±0	VB	LGS	ビニルクロス	LGS	GB-Rt12.5＋DRt9.0	2,700	V	-		ガラスパーテーション、
					-10						2,400				移動間仕切り
	多目的室３		RC	TCa（A）	±0	VB	LGS	ビニルクロス	LGS	GB-Rt12.5＋DRt9.0	2,700	V	ST		ガラスパーテーション、
					-10						2,400				移動間仕切り
	多目的室４	不燃（下地仕上共）	RC	HS(1)	±0	VB	LGS	ビニルクロス	LGS	GB-Rt12.5＋DRt9.0	2,700	V	ST		ガラスパーテーション
					-10										
	スタジオ	不燃（下地仕上共）	RC	HS(1)	±0	VB	LGS	ビニルクロス	LGS	GB-Rt12.5＋DRt9.0	2,700	V	ST		ガラスパーテーション
					-10										
	会議室１	不燃（下地仕上共）	RC	TCa（A）	±0	VB	LGS	ビニルクロス	LGS	GB-Rt12.5＋DRt9.0	2,700	V	ST		ガラスパーテーション
					-10										
	会議室２	不燃（下地仕上共）	RC	TCa（A）	±0	VB	LGS	ビニルクロス	LGS	GB-Rt12.5＋DRt9.0	2,700	V	ST		ガラスパーテーション、
					-10										移動間仕切り
	会議室３	不燃（下地仕上共）	RC	TCa（A）	±0	VB	LGS	ビニルクロス	LGS	GB-Rt12.5＋DRt9.0	2,700	V	ST		ガラスパーテーション、
					-10										移動間仕切り
	廊下	準不燃	RC	FS	±0	VB	LGS	繊維強化セメント板t3	LGS	GB-Rt12.5＋DRt9.0	2,500	V	-		
					-10										

階	室名	内装制限	床 下地	床 材質・仕上	床 FL/SL	巾木 特記ナキ限り（H=60）	壁 下地	壁 材質・仕上	天井 下地	天井 材質・仕上	天井 H	付属品 見切縁	付属品 天井ボックス	付属品 ブラインド	備考
3F	図書コーナー		RC	TCa（B）	±0	VB	LGS	ビニルクロス	LGS	GB-Rt12.5＋DRt9.0	2,700	V	ST		天井直付けアルミルーバー
					-10				LGS	GB-Rt9.5+t12.5+ビニルクロス	2,400	V	ST		天井異種仕上の見切：AL
	閲覧室	不燃（下地仕上共）	RC	TCa（B）	±0	VB	LGS	ビニルクロス	LGS	GB-Rt12.5＋DRt9.0	2,700	V	ST		
					-10										
	おはなしの部屋	不燃（下地仕上共）	RC	TCa（B）	±0	VB	LGS	ビニルクロス	LGS	GB-Rt12.5＋DRt9.0	2,400	V	ST		
					-10										
	事務室	不燃（下地仕上共）	RC	TCa（A）	±0	VB	LGS	ビニルクロス	LGS	GB-Rt12.5＋DRt9.0	2,700	V	-		
					-10										
	図書コーナー前室		RC	TCa（B）	±0	VB	LGS	ビニルクロス	LGS	GB-Rt12.5＋DRt9.0	2,400	V	-		
					-10										
4F	多目的ホール		RC	UF(S)+針葉樹構造用合板t12+ラワン合板t5.5+	±0	WB	LGS	有孔ラワン合板t6	-	屋根(ガルバリウム鋼板)素地のまま	直天	-	ST		バレーボール支柱床金物４組、バトミントン
				針葉樹構造用合板t12+HS(2)	-300	ウォールナットウレタン塗装仕上げ		ウレタンクリアラッカー塗装							支柱床金物３組、壁付バスケットゴール
	トレーニングエリア		RC	UF(S)+針葉樹構造用合板t12+ラワン合板t5.5+	±0	VB	LGS	ビニルクロス	LGS	GB-Rt12.5＋DRt9.0	2,700	V	ST		棚、ガラスパーテーション
				針葉樹構造用合板t12+HS(2)	-300										
	フリースペース		RC	FS	±0	VB	LGS	繊維強化セメント板t3	LGS	GB-Rt12.5＋DRt9.0	2,700	V	ST		本棚
					-10										靴箱
	更衣室4-1		RC	FS	±0	VB	LGS	ビニルクロス	LGS	GB-Rt12.5＋DRt9.0	2,400	V	-		
					-10										
	更衣室4-2		RC	FS	±0	VB	LGS	ビニルクロス	LGS	GB-Rt12.5＋DRt9.0	2,400	V	-		
					-10										
	廊下	準不燃	RC	FS	±0	VB	LGS	繊維強化セメント板t3	LGS	GB-Rt12.5＋DRt9.0	2,700	V	-		
					-10										
共通	WWC		RC	FS	±0	VB	LGS	メラミン不燃化粧板t3	LGS	GB-St9.5＋EP-G	2,400	V	ST		便所ブース(天井まで)、こどもWCブース(H2000)、姿見鏡、ライニング、洗面カウンター、小便器手摺、L型手摺、鏡、ベビーチェア、フィッティングボード、フック、パブリック用手摺（洗面カウンター用）
					-10										
	MWC		RC	FS	±0	VB	LGS	メラミン不燃化粧板t3	LGS	GB-St9.5＋EP-G	2,400	V	ST		便所ブース(天井まで)、こどもWCブース(H2000)、姿見鏡、ライニング、洗面カウンター、小便器手摺、L型手摺、鏡、ベビーチェア、フィッティングボード、フック、パブリック用手摺（洗面カウンター用）
					-10										
	多機能WC		RC	FS	±0	VB	LGS	メラミン不燃化粧板t3	LGS	GB-St9.5＋EP-G	2,400	V	-		ライニング、L型手摺、鏡、フィッティングボード、ベビーチェア
					-10										棚付き二重紙巻器紙巻器付跳ね上げ手摺、フック
	だれでもWC		RC	FS	±0	VB	LGS	メラミン不燃化粧板t3	LGS	GB-St9.5＋EP-G	2,400	V	-		ライニング、L型手摺、鏡、フィッティングボード、ベビーチェア
					-10										棚付き二重紙巻器紙巻器付跳ね上げ手摺、フック
	ベビーケアルーム		RC	FS	±0	VB	LGS	メラミン不燃化粧板t3	LGS	GB-St9.5＋EP-G	2,400	V	-		調乳用温水器（洗浄機付き・シンクー体型）
					-10										おむつ交換台、鏡
	SK		RC	FS	±0	VB	LGS	メラミン不燃化粧板t3	LGS	GB-St9.5＋EP-G	2,400	V	-		棚板、モップ掛けパネル
					-10										
	倉庫		RC	FT(B)	±0	VB	LGS	EP-G	LGS	素地のまま	直天	V	ST		
					-10										
	PS		RC	RC直押さえ＋防塵塗装	±0	-	LGS	LGSあらわし	LGS	素地のまま	直天	V	-		
					-10										
	EPS		RC	RC直押さえ＋防塵塗装	±0	-	LGS	LGSあらわし	LGS	素地のまま	直天	V	-		
					-10										
	MR		RC	RC直押さえ＋防塵塗装	±0	-	LGS	LGSあらわし	LGS	素地のまま	直天	V	-		
					100										
	屋内避難階段	不燃（下地仕上共）	RC	FT（A）		VB（ささら巾木）	LGS	EP-G	LGS	GB-Rt12.5＋EP	1～3F:直天 4F:3000	-	-		
										GB-Rt12.5＋EP					
	地下ピット			砕石t40											

FT(A)	エグザフロア　エスターテラ t3.0（川島織物）同等品	HS(2)	タラフレックス t7.5(クリヤマジャパン) 同等品	ビニルクロス	ルノン不燃認定壁紙　同等品
FT(B)	Pタイル t2.0(田島ルーフィング)同等品	FS	東リ消臭NSトワレNW 同等品	メラミン不燃化粧板	AICAセラールウイルテクトEFJ 同等品
TCa(A)	ECOS LX-1800 t6.5（スミノエ）同等品		(WWC、MWC、多機能WC、だれでもWC、ベビーケアルーム、SK)	吹付タイル防火認定番号	準不燃：QM-9813
TCa(B)	シチリアレザー t8.5（川島織物）同等品	FS	フロアリュームプレミアNWシリーズ 同等品	アクリルリシン吹付防火認定番号	準不燃：QM-9812
HS(1)	アリーナフィット t4.5(東リ) 同等品	磁器質タイル(風除室)	600x600川島織物セラミックタイルTERAZO 同等品		

特記事項
・仕上げ素地部の断熱材は、不燃材とする。
・巾木の床材立上部のLGS壁はビニルサニタリー巾木（R20）を見込むこと。
・壁種別については平面図を正とすること。
・内装材、天井裏などの措置：F☆☆☆☆又は規制対象外品
・RC素地のままは、打放し補修ありとする。
・メラミン不燃化粧板の目地処理、出隅はアルミジョイナーとする。
・繊維強化セメント板の出隅処理は突付け負け納まり、出隅糸面加工とする。

明石市政策局　プロジェクト推進室

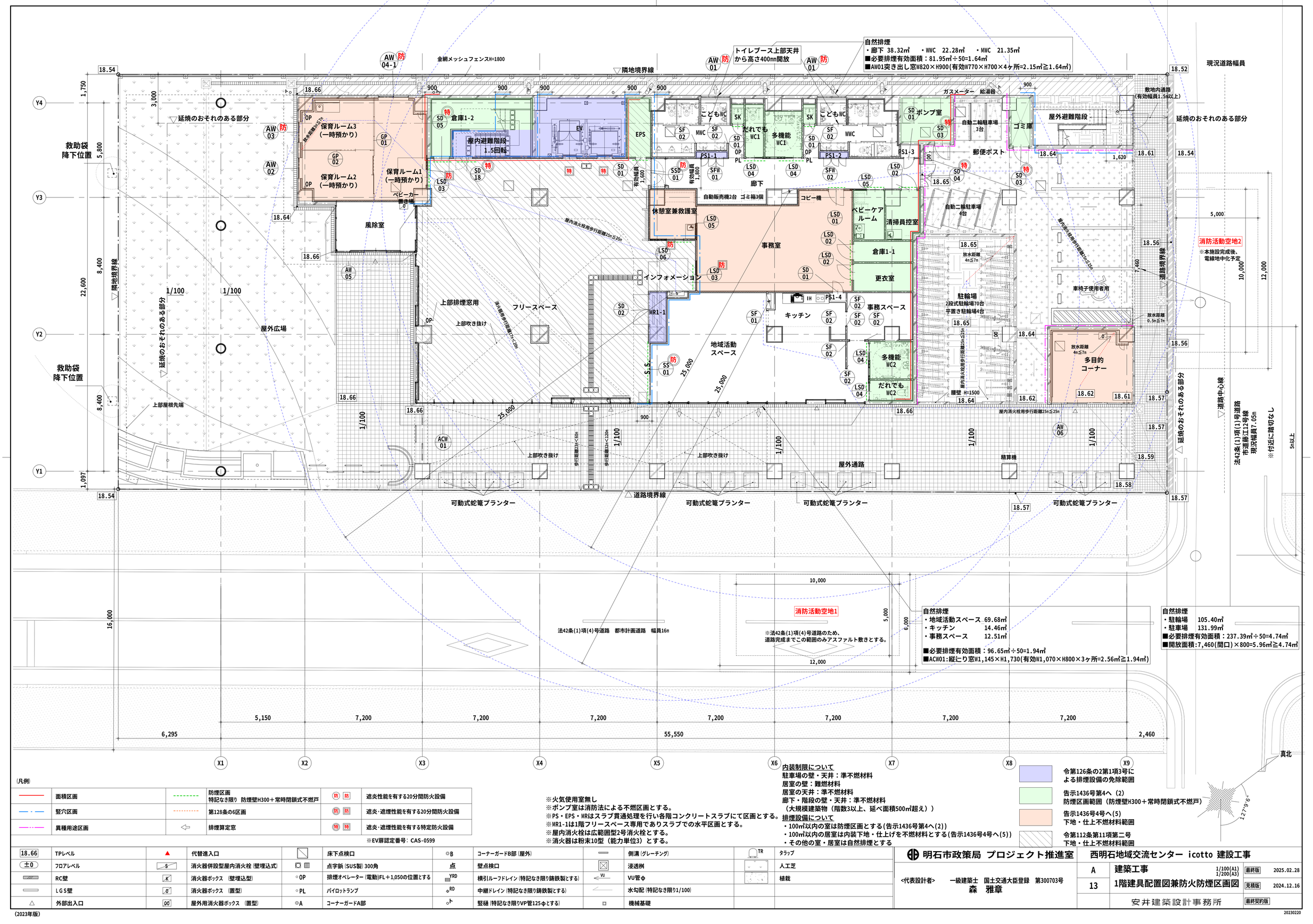
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号
森　雅章

西明石地域交流センター　icotto　建設工事

A	建築工事	最終版	2025.02.28
12	内部仕上表	見積版	2024.12.16
	安井建築設計事務所	最終契約版	

（2023年版）

20230220



(凡例)

面積区画		防煙区画 特記なき限り 防煙壁H300＋常時閉鎖式不燃戸	防 防	遮炎性能を有する20分間防火設備
竪穴区画		第128条の6区画	防 防	遮炎・遮煙性能を有する20分間防火設備
異種用途区画		排煙算定窓	特 特	遮炎・遮煙性能を有する特定防火設備

※EV扉認定番号：CAS-0599

※火気使用室無し
※ポンプ室は消防法による不燃区画とする。
※PS・EPS・MRはスラブ貫通処理を行い各階コンクリートスラブにて区画とする。
※MR1-1は1階フリースペース専用でありスラブでの水平区画とする。
※屋内消火栓は広範囲型2号消火栓とする。
※消火器は粉末10型（能力単位3）とする。

内装制限について
駐車場の壁・天井：準不燃材料
居室の壁：難燃材料
居室の天井：準不燃材料
廊下・階段の壁・天井：準不燃材料
（大規模建築物（階数3以上、延べ面積500㎡超え））
排煙設備について
・100㎡以内の室は防煙区画とする(告示1436号第4へ(2))
・100㎡以内の居室は内装下地・仕上げを不燃材料とする(告示1436号4号へ(5))
・その他の室・居室は自然排煙とする

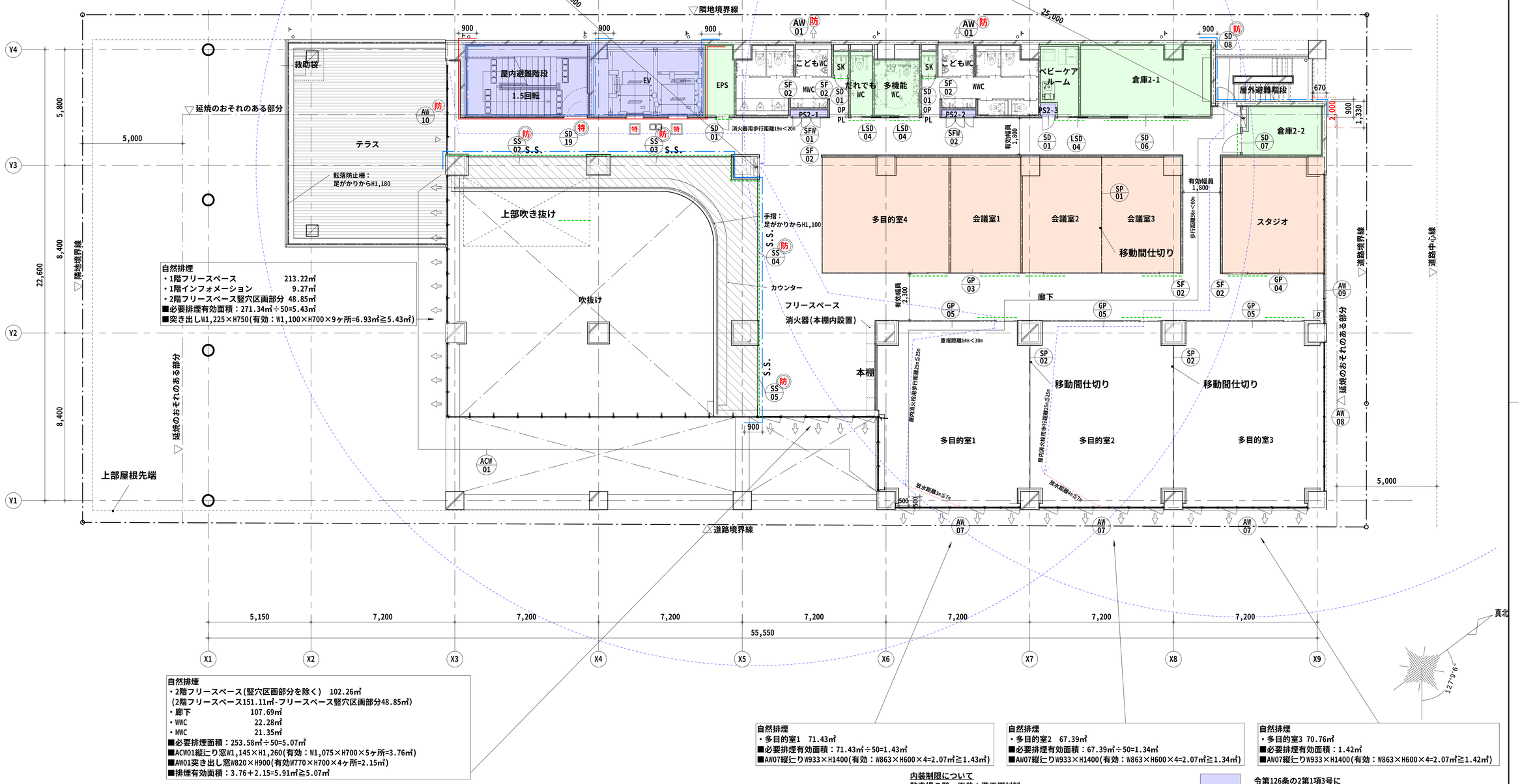
令第126条の2第1項3号による排煙設備の免除範囲
告示1436号第4へ（2）防煙区画範囲（防煙壁H300＋常時閉鎖式不燃戸）
告示1436号4号へ(5) 下地・仕上不燃材料範囲
令第112条第11項第二号 下地・仕上不燃材料範囲

18.66	TPレベル	▲	代替進入口		床下点検口	◎B	コーナーガードB部（屋外）		側溝（グレーチング）	TR	タラップ
±0	フロアレベル	S	消火器併設型屋内消火栓（壁埋込式）		点字鋲（SUS製）300角	点	壁点検口		浸透桝		人工芝
	RC壁	K	消火器ボックス （壁埋込型）	○OP	排煙オペレーター（電動)FL＋1,050の位置とする	YRD	横引ルーフドレイン（特記なき限り鋳鉄製とする）	VU	VU管φ		植栽
	LGS壁	0	消火器ボックス （置型）	○PL	パイロットランプ	RD	中継ドレイン（特記なき限りVP管125φとする）		水勾配（特記なき限り1/100）		
△	外部出入口	00	屋外用消火器ボックス （置型）	◎A	コーナーガードA部	○t	竪樋（特記なき限りVP管125φとする）	□	機械基礎		

明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
<代表設計者> 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	建築工事	1/100(A1) 1/200(A3)
	13	1階建具配置図兼防火防煙区画図	最終版 2025.02.28 見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

(2023年版)

20230220



自然排煙
・1階フリースペース　213.22㎡
・1階インフォメーション　9.27㎡
・2階フリースペース竪穴区画部分　48.85㎡
■必要排煙有効面積：271.34㎡÷50=5.43㎡
■突き出しW1,225×H750(有効：W1,100×H700×9ヶ所=6.93㎡≧5.43㎡)

自然排煙
・2階フリースペース(竪穴区画部分を除く)　102.26㎡
（2階フリースペース151.11㎡-フリースペース竪穴区画部分48.85㎡）
・廊下　107.69㎡
・WWC　22.28㎡
・MWC　21.35㎡
■必要排煙面積：253.58㎡÷50=5.07㎡
■ACW01縦辷り窓W1,145×H1,260(有効：W1,075×H700×5ヶ所=3.76㎡)
■AW01突き出し窓W820×H900(有効W770×H700×4ヶ所=2.15㎡)
■排煙有効面積：3.76+2.15=5.91㎡≧5.07㎡

自然排煙
・多目的室1　71.43㎡
■必要排煙有効面積：71.43㎡÷50=1.43㎡
■AW07縦辷りW933×H1400(有効：W863×H600×4=2.07㎡≧1.43㎡)

自然排煙
・多目的室2　67.39㎡
■必要排煙有効面積：67.39㎡÷50=1.34㎡
■AW07縦辷りW933×H1400(有効：W863×H600×4=2.07㎡≧1.34㎡)

自然排煙
・多目的室3 70.76㎡
■必要排煙有効面積：1.42㎡
■AW07縦辷りW933×H1400(有効：W863×H600×4=2.07㎡≧1.42㎡)

※火気使用室無し
※ポンプ室は消防法による不燃区画とする。
※PS・EPS・MRはスラブ貫通処理を行い各階コンクリートスラブにて区画とする。
※MR1-1は1階フリースペース専用でありスラブでの水平区画とする。
※屋内消火栓は広範囲型2号消火栓とする。
※消火器は粉末10型（能力単位3）とする。

内装制限について
駐車場の壁・天井：準不燃材料
居室の壁：難燃材料
居室の天井：準不燃材料
廊下・階段の壁・天井：準不燃材料
（大規模建築物（階数3以上、延べ面積500㎡超え））
排煙設備について
・100㎡以内の室は防煙区画とする(告示1436号第4へ(2))
・100㎡以内の居室は内装下地・仕上げを不燃材料とする(告示1436号4号へ(5))
・その他の室・居室は自然排煙とする

令第126条の2第1項3号による排煙設備の免除範囲
告示1436号第4へ（2）防煙区画範囲（防煙壁H300＋常時閉鎖式不燃戸）
告示1436号4号へ(5) 下地・仕上不燃材料範囲
令第112条第11項第二号 下地・仕上不燃材料範囲

※EV扉認定番号：CAS-0599

凡例

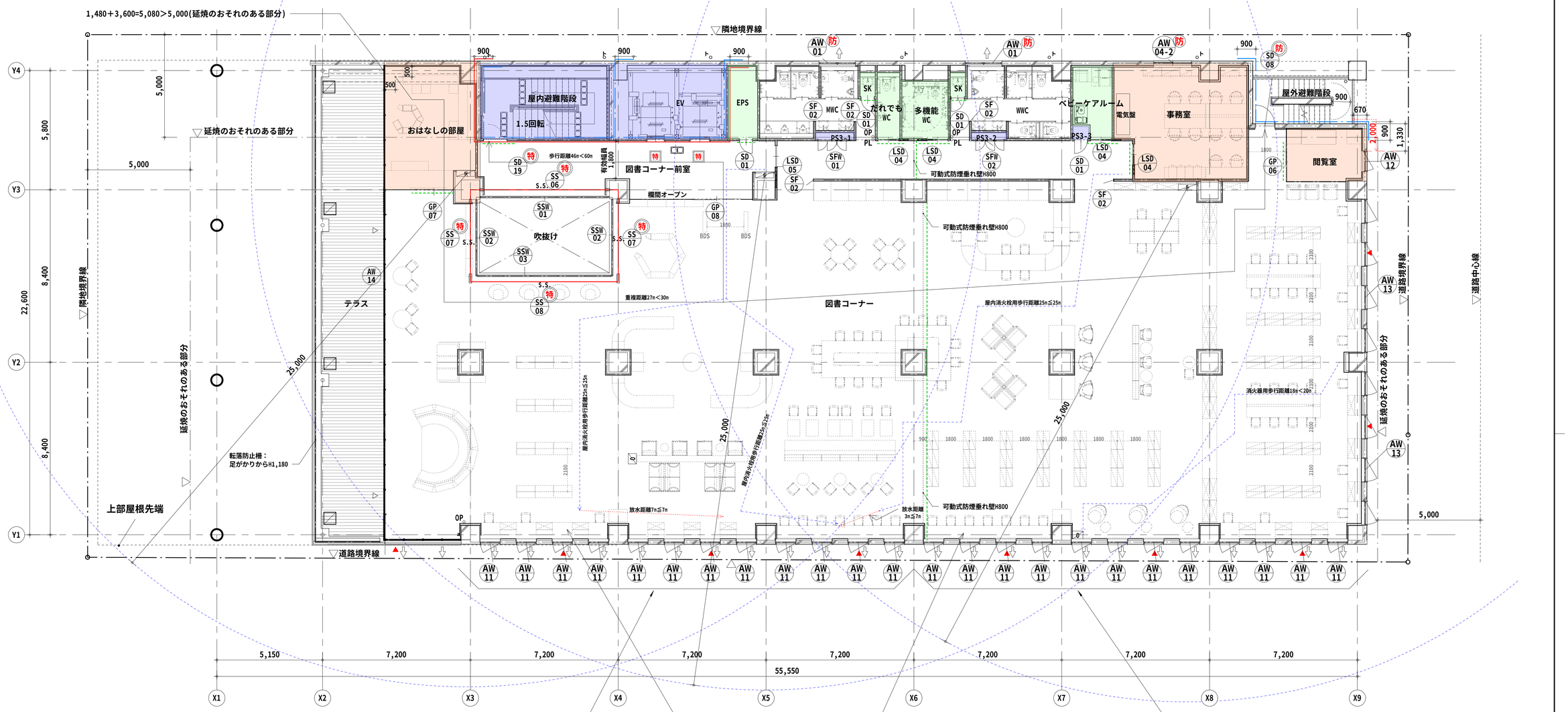
———	面積区画	- - - - -	防煙区画 特記なき限り 防煙壁H300＋常時閉鎖式不燃戸	防 防	遮炎性能を有する20分間防火設備
—·—	竪穴区画	·····	第128条の6区画	防 防	遮炎・遮煙性能を有する20分間防火設備
—··—	異種用途区画	⇦	排煙算定窓	特 特	遮炎・遮煙性能を有する特定防火設備

18.66	TPレベル	▲	代替進入口		床下点検口	◎B	コーナーガードB部（屋外）		側溝（グレーチング）	TR	タラップ
±0	フロアレベル	S	消火器併設型屋内消火栓（壁埋込式）		点字鋲（SUS製）300角	点	壁点検口		浸透桝		人工芝
	RC壁	K	消火器ボックス（壁埋込型）	○OP	排煙オペレーター（電動）FL＋1,050の位置とする	YRD	横引ルーフドレイン（特記なき限り鋳鉄製とする）	VU	VU管φ		植栽
	LGS壁	0	消火器ボックス（置型）	○PL	パイロットランプ	RD	中継ドレイン（特記なき限りVP管125φとする）		水勾配（特記なき限り1/100）		
△	外部出入口	00	屋外用消火器ボックス（置型）	◎A	コーナーガードA部		竪樋（特記なき限りVP管125φとする）		機械基礎		

明石市政策局　プロジェクト推進室		西明石地域交流センター　icotto 建築工事	
<代表設計者>　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	A	建築工事　1/100(A1) 1/200(A3)	最終版　2025.02.28
	14	2階建具配置図兼防火防煙区画図	見積版　2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

20230220



自然排煙
・図書コーナー1　434.66㎡
・MWC　21.35㎡
・図書コーナー前室　41.62㎡
■必要排煙有効面積：497.63㎡÷50=9.95㎡
■AW11縦辷り窓W933×H2250(有効：W863×H800×12ヶ所=8.28㎡)
■AW01突き出し窓W820×H900(有効W770×H300×2ヶ所=0.46㎡)
■AW14突き出し窓W1,752×H515(有効：W1,702×H400×2ヶ所=1.36㎡)
■排煙有効面積：8.28㎡＋0.46㎡＋1.36㎡=10.10㎡≧9.95㎡

※カウンター高さについて、F-F断面図参照

自然排煙
・図書コーナー2　405.05㎡
・WWC　22.28㎡
■必要排煙有効面積：427.33㎡÷50=8.55㎡
■AW11縦辷り窓W933×H2250(有効：W863×H800×12ヶ所=8.28㎡)
■AW01突き出し窓W820×H900(有効W770×H300×2ヶ所=0.46㎡)
■排煙有効面積：8.28㎡＋0.46㎡=8.74㎡≧8.55㎡

真北
12°7'6"

内装制限について
駐車場の壁・天井：準不燃材料
居室の壁：難燃材料
居室の天井：準不燃材料
廊下・階段の壁・天井：準不燃材料
（大規模建築物（階数3以上、延べ面積500㎡超え））
排煙設備について
・100㎡以内の室は防煙区画とする(告示1436号第4へ(2))
・100㎡以内の居室は内装下地・仕上げを不燃材料とする(告示1436号4号へ(5))
・その他の室・居室は自然排煙とする

※火気使用室無し
※ポンプ室は消防法による不燃区画とする。
※PS・EPS・MRはスラブ貫通処理を行い各階コンクリートスラブにて区画とする。
※MR1-1は1階フリースペース専用でありスラブでの水平区画とする。
※屋内消火栓は広範囲型2号消火栓とする。
※消火器は粉末10型（能力単位3）とする。

令第126条の2第1項3号による排煙設備の免除範囲
告示1436号第4へ（2）防煙区画範囲（防煙壁H300＋常時閉鎖式不燃戸）
告示1436号4号へ(5) 下地・仕上不燃材料範囲
令第112条第11項第二号 下地・仕上不燃材料範囲

[凡例]

———	面積区画	- - - -	防煙区画 特記なき限り 防煙壁H300＋常時閉鎖式不燃戸	防 防	遮炎性能を有する20分間防火設備
—— - ——	竪穴区画	- - - -	第128条の6区画	防 防	遮炎・遮煙性能を有する20分間防火設備
—— ·· ——	異種用途区画	⇦	排煙算定窓	特 特	遮炎・遮煙性能を有する特定防火設備

※EV扉認定番号：CAS-0599

18.66	TPレベル	▲	代替進入口		床下点検口	◎B	コーナーガードB部（屋外）		側溝（グレーチング）	TR	タラップ
±0	フロアレベル	S	消火器併設型屋内消火栓（壁埋込式）		点字鋲（SUS製）300角	点	壁点検口		浸透桝		人工芝
	RC壁	K	消火器ボックス（壁埋込型）	○OP	排煙オペレーター（電動)FL＋1,050の位置とする	YRD	横引ルーフドレイン（特記なき限り鋳鉄製とする）	VU	VU管φ		植栽
	LGS壁	0	消火器ボックス（置型）	○PL	パイロットランプ	◇RD	中継ドレイン（特記なき限り鋳鉄製とする）		水勾配（特記なき限り1/100）		
△	外部出入口	00	屋外用消火器ボックス（置型）	◎A	コーナーガードA部	○P	竪樋（特記なき限りVP管125φとする）		機械基礎		

明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
<代表設計者> 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	建築工事	1/100(A1) 1/200(A3) 最終版 2025.02.28
	15	3階建具配置図兼防火防煙区画図	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

(2023年版)

20230220

自然排煙
・フリースペース　115.77㎡
・廊下54.85㎡
・WWC　22.28㎡
・MWC　21.35㎡
■必要排煙有効面積：214.25㎡÷50=4.29㎡
■AW15突き出し窓W1,930×H475（有効W1,880×H475×2ヶ所=1.78㎡）
■AW15突き出し窓W900×H475（有効W850×H475×3ヶ所=1.21㎡）
■AW15引戸W1,930×H2,100（有効W900×H225×2ヶ所=0.40㎡）
■AW01突き出し窓W820×H900(有効W770×H300×4=0.92㎡)
■排煙有効面積：1.78㎡+1.21㎡+0.40㎡+0.92㎡=4.31≧4.29㎡

自然排煙
・トレーニングエリア　125.66㎡
■必要排煙有効面積：125.66㎡÷50=2.52㎡
■AW15突き出し窓W1,930×H475（有効W1,880×H475×2ヶ所=1.78㎡）
■AW15突き出し窓W900×H475（有効W850×H475=0.40㎡）
■AW15引戸W1,930×H2,100（有効W900×H200×2ヶ所=0.36㎡）
■排煙有効面積：1.78㎡+0.40㎡+0.36㎡=2.54㎡≧2.52㎡

※火気使用室無し
※ポンプ室は消防法による不燃区画とする。
※PS・EPS・MRはスラブ貫通処理を行い各階コンクリートスラブにて区画とする。
※MR1-1は1階フリースペース専用でありスラブでの水平区画とする。
※屋内消火栓は広範囲型2号消火栓とする。
※消火器は粉末10型（能力単位3）とする。

内装制限について
駐車場の壁・天井：準不燃材料
居室の壁：難燃材料
居室の天井：準不燃材料
廊下・階段の壁・天井：準不燃材料
（大規模建築物（階数3以上、延べ面積500㎡超え））
排煙設備について
・100㎡以内の室は防煙区画とする(告示1436号第4へ(2))
・100㎡以内の居室は内装下地・仕上げを不燃材料とする(告示1436号4号へ(5))
・その他の室・居室は自然排煙とする

令第126条の2第1項3号による排煙設備の免除範囲
告示1436号第4へ（2）防煙区画範囲（防煙壁H300＋常時閉鎖式不燃戸）
告示1436号4号へ(5) 下地・仕上不燃材料範囲
令第112条第11項第二号 下地・仕上不燃材料範囲

凡例

———	面積区画	- - - - -	防煙区画 特記なき限り 防煙壁H300＋常時閉鎖式不燃戸	防 防	遮炎性能を有する20分間防火設備
—·—	竪穴区画	·····	第128条の6区画	防 防	遮炎・遮煙性能を有する20分間防火設備
—··—	異種用途区画	⇦	排煙算定窓	特 特	遮炎・遮煙性能を有する特定防火設備

※EV扉認定番号：CAS-0599

18.66	TPレベル	▲	代替進入口		床下点検口	◎B	コーナーガードB部（屋外）		側溝（グレーチング）	TR	タラップ
±0	フロアレベル	S	消火器併設型屋内消火栓（壁埋込式）		点字鋲（SUS製）300角	点	壁点検口		浸透桝		人工芝
	RC壁	K	消火器ボックス（壁埋込型）	○OP	排煙オペレーター（電動）FL＋1,050の位置とする	YRD	横引ルーフドレイン（特記なき限り鋳鉄製とする）	VU	VU管φ		植栽
	LGS壁	O	消火器ボックス（置型）	○PL	パイロットランプ	◎RD	中継ドレイン（特記なき限り鋳鉄製とする）		水勾配（特記なき限り1/100）		
△	外部出入口	OO	屋外用消火器ボックス（置型）	◎A	コーナーガードA部	○P	竪樋（特記なき限りVP管125φとする）	□	機械基礎		

明石市政策局　プロジェクト推進室

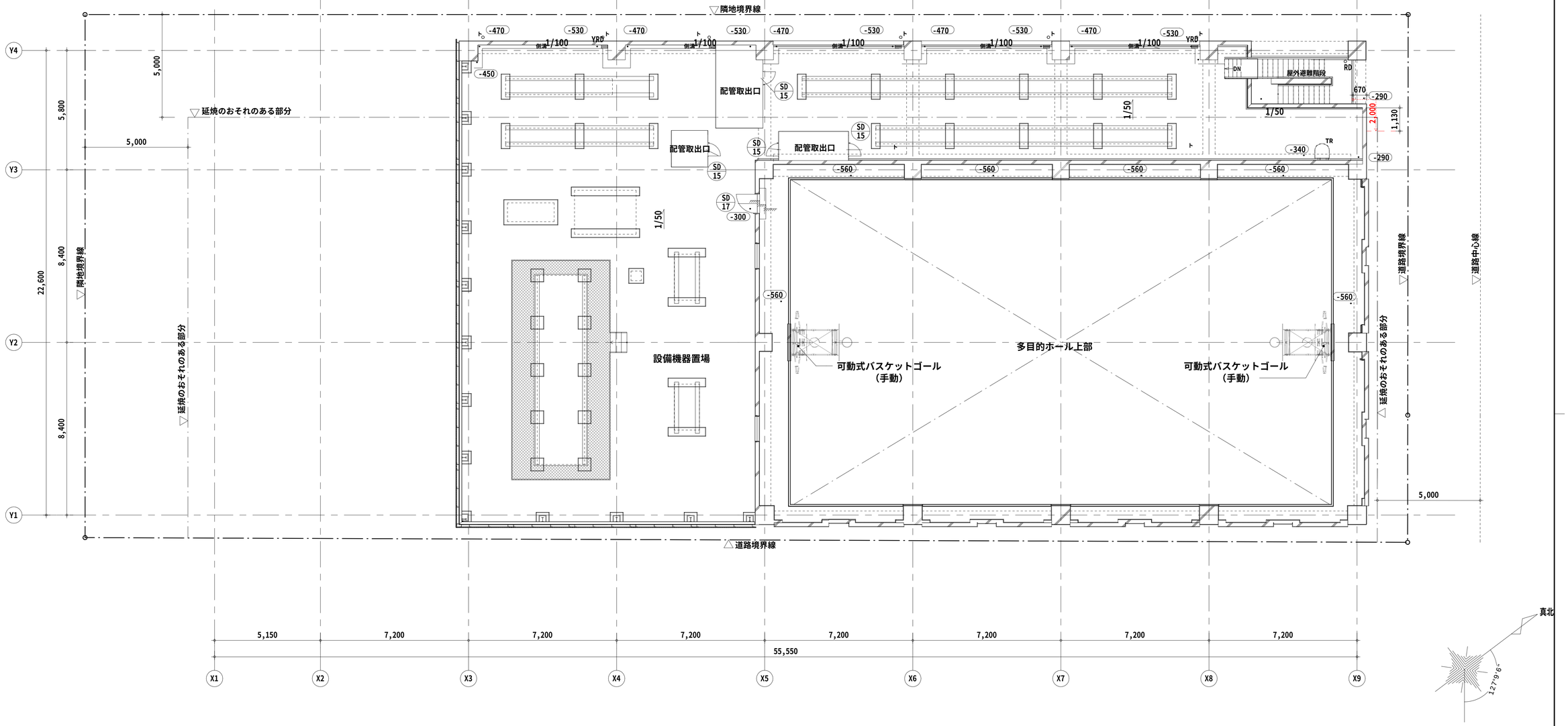
<代表設計者>　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号
森　雅章

西明石地域交流センター　icotto 建設工事

A	建築工事	1/100(A1) 1/200(A3)	最終版　2025.02.28
16	4階建具配置図兼防火防煙区画図		見積版　2024.12.16
	安井建築設計事務所		最終契約版

(2023年版)

20230220



[凡例]

———	面積区画	- - - - -	防煙区画 特記なき限り 防煙壁H300＋常時閉鎖式不燃戸	防 防	遮炎性能を有する20分間防火設備
—·—	竪穴区画	·····	第128条の6区画	防 防	遮炎・遮煙性能を有する20分間防火設備
—··—	異種用途区画	⇦	排煙算定窓	特 特	遮炎・遮煙性能を有する特定防火設備

※EV扉認定番号：CAS-0599

18.66	TPレベル	▲	代替進入口		床下点検口	◎B	コーナーガードB部（屋外）		側溝（グレーチング）	TR	タラップ
±0	フロアレベル	S	消火器併設型屋内消火栓（壁埋込式）	◎	点字鋲（SUS製）300角	点	壁点検口		浸透桝		人工芝
	RC壁	K	消火器ボックス（壁埋込型）	○OP	排煙オペレーター（電動）FL＋1,050の位置とする	YRD	横引ルーフドレイン（特記なき限り鋳鉄製とする）	VU	VU管φ		植栽
	LGS壁	0	消火器ボックス（置型）	○PL	パイロットランプ	RD	中継ドレイン（特記なき限り鋳鉄製とする）		水勾配（特記なき限り1/100）		
△	外部出入口	00	屋外用消火器ボックス（置型）	◎A	コーナーガードA部	○ト	竪樋（特記なき限りVP管125φとする）	□	機械基礎		

※火気使用室無し
※ポンプ室は消防法による不燃区画とする。
※PS・EPS・MRはスラブ貫通処理を行い各階コンクリートスラブにて区画とする。
※MR1-1は1階フリースペース専用でありスラブでの水平区画とする。
※屋内消火栓は広範囲型2号消火栓とする。
※消火器は粉末10型（能力単位3）とする。

内装制限について
駐車場の壁・天井：準不燃材料
居室の壁：難燃材料
居室の天井：準不燃材料
廊下・階段の壁・天井：準不燃材料
（大規模建築物（階数3以上、延べ面積500㎡超え））

排煙設備について
・100㎡以内の室は防煙区画とする(告示1436号第4へ(2))
・100㎡以内の居室は内装下地・仕上げを不燃材料とする(告示1436号4号へ(5))
・その他の室・居室は自然排煙とする

	令第126条の2第1項3号による排煙設備の免除範囲
	告示1436号第4へ（2） 防煙区画範囲（防煙壁H300＋常時閉鎖式不燃戸）
	告示1436号4号へ(5) 下地・仕上不燃材料範囲
	令第112条第11項第二号 下地・仕上不燃材料範囲

明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
<代表設計者> 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	建築工事 1/100(A1) 1/200(A3)	最終版 2025.02.28
	17	屋上建具配置図兼防火防煙区画図	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

(2023年版)

20230220

建具表（共通事項）

■ 特記事項

A．アルミニウム製建具
1．建具の室内側枠は、アルミ若しくはスチール額縁クリップ止めとする。木額縁の場合は埋木にてビス止め部分を隠すこと。又は、アングルビース差し込みとする。
2．外部に面する建具の室外側下枠は、サッシ同材同仕上による水切り（2次排水）を設ける。
3．排水孔は最小8mm、原則として2個以上設ける。また風圧による逆流を防止のためバッフルを設ける。
4．寒冷地の排水は氷結による落下防止のために、室内側排水経路（設備ドレン管等）に接続するか十分な滞留部分を確保すること。
5．PC版に接する外部建具は2次シールガスケット方式とする。
6．外壁金属パネルは裏面に結露防止、雨音防止としてグライト t=5.0吹付とする。耐火性能が必要な場合は、ロックウール吹付（耐火30分対応）とする。
7．アルミ材が異種金属材料やアルカリ性材料と接する場合は、接触腐食を防止する措置を適切に施すこと。
8．形式が引違、上げ下げ窓で、複層ガラスを使用する場合、枠見込は100mmとする。

B．鋼製建具
1．防錆処理は、特記なき限り、内外部とも鉄鋼面はJIS K 5674（鉛・クロムフリーさび止めペイント）、亜鉛めっき鋼面はJPMS 28（一液形変性エポキシ樹脂さび止めペイント）を使用する。
2．外部に面する建具はグラスウール（32kg/m³ 品）充填とする。
3．PS、DSの点検口はAT仕様とする。(SD01、SFW01、SFW02)
4．機械室・発電機室等の通常遮音を要する室の建具は、扉厚40mm以上（GW1.5KN/m² 充填）遮音性能30-35dB（500Hz）、締付金物グレモン錠3点締、三方枠、沓摺、クロロプレンゴム入扉エッジSUS304 t=1.5付きとする。
5．雨掛かり部分の扉外部上枠には、水切板（SUS304 厚1.5）を設ける。(SD14、SD15、SD17)
6．外部建具（外部に床面がある場合に限る）、厨房、便所等水の掛かる扉および建具枠は下部300mmをステンレス（SUS304 厚1.5）塗装仕上げとする。
7．手動引分戸（鋼製軽量建具）は閉鎖連動機構とする。
8．扉厚さは下表を参考とする。

扉大きさ	扉厚さ（mm）
3.0m² 以下	40
3.0m² ～ 5.0m²	50
5.0m² 超	60

C．ステンレス製建具
1．HL・SSE・SSB・SSV仕上の場合は、合成樹脂塗料透明塗り（ツヤ消し・50μ以上）とする。
2．上記以外は、B.鋼製建具による。鋼板の種類は特記仕様書による。

D．シャッター
1．外部シャッターには、はずれ止め装置を付けることとし、強度計算を行い耐力を確かめること。
2．シャッターレール下部（床部分）は、ステンレスt=2.0以上にて塞ぐ。
3．シャッター付防火戸のオートヒンジ調整孔は見え掛りを避け、フサギ板を設ける。
4．シャッターと自動ドアが近接する場合は、各々のスイッチを同一のボックスに収納すること。

E．建具金物
1．建具金物の材質、仕上げ、機構は特記なき限り下表による。但し、見本品を提出の上、監理者の承諾を受けること。

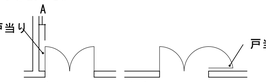
種　類	材質、仕上、機構	備　考
丁番	ステンレス製ヘアライン仕上	
ピボットヒンジ	SS41鍛造又は亜鉛ダイキャスト 見え掛かり部分はステンレスカバー	
フロアヒンジ	フェースプレートは浅型隠ペイ型 内外共90度ストップ付 ディレイトアクション ラッチングアクション バックチェック閉扉速度調整装置付	
オートヒンジ	焼付塗装（指定色）	
ドアクローザー	ディレイトアクション ラッチングアクション バックチェック閉扉速度調整装置付 アルミダイキャスト 焼付塗装（扉同色指定色）	
コンシールド型ドアクローザー	スプリング油圧式、2段変速調整装置付 90度ストップ付（戸当り併用）	
錠前	シリンダー錠、バックセット75mm以上、マスターキー装置付	
握り玉	ステンレス製ヘアライン仕上 バックセット100mm、丸座100φ	
レバーハンドル	座板共ステンレス製ヘアライン仕上	
グレモンハンドル	ステンレス製ヘアライン仕上	
彫込式フランス落し	ステンレス製ヘアライン仕上	
戸当り	外部ステンレス製ヘアライン仕上ゴム付 内部ダルクローム床埋込型	

2．握り玉、レバーハンドル、押板類の取付位置は、（※FL＋1,000mm ・ ）を標準とする。

3．窓専用建具には下記付属金物一式及びクレセントを含むものとする。色はサッシと同色とする。あおり止め、ストッパーは完全隠ぺい型とする。

形　式	種　類
片　開　き	丁番・締り・取手・あおり止め
両開き・親子開き	丁番・締り・取手・あおり止め・フランス落し
引違い・片引き	戸車・レール・締り
竪軸回転	ピボットヒンジ・締り・取手・あおり止め
横軸回転	ピボットヒンジ・締り・取手・アームストッパー
すべり出し	ピボットヒンジ・締り・取手・すべり出しアーム
突出し・内倒し・外倒し	丁番類・締り・取手・アームストッパー

4．外部に面する戸はドアクローザーおよびあおり止めを設ける。
5．ドアクローザーは室内側設置を原則とする。
6．ドアクローザーは原則としてストッパー付とするが、防火戸の場合はストッパーなしとする。
7．親子及び両開き扉のドアクローザーは原則として1ヶ所とするが防火戸の場合は2ヶ所とし順位調整器付とする。
8．親子及び両開き扉は、フランス落し付、上下1ヶ所とする。
9．壁当りとなる扉にはドアクローザーの有無に関わらず、全て戸当りを設ける。



10．上図のAは原則として150以上とする。

F．鍵
1．鍵はリバーシブルシリンダー、ディンプルキーとする。
2．シリンダー錠はアンチフリクション機構付とする。
3．鍵は必要により設備関係の鍵類も合わせて鍵整理保管箱に収容する。

G.ガラリ
1．原則として扉につくガラリは扉と同材同仕上とする。
2．外部に面するガラリには、ダクト接続有無に関わらずステンレス製防鳥網（SUS1.5φ15mm目）を設置する。
3．外部に面してダクトが接続されるガラリは接続枠付、水返し（ステンレス製（厚1.0以上）フラッシング）付とし、ダクトは板ゴムを会して取り付ける。また枠裏面（室内側）に結露防止材を施す。
4．外部ガラリは原則として２重ガラリ以上とする。(適用無し)

H.自然排煙窓
1．自然排煙窓のハンドル、オペレーター、クレセントの取付け高さはFL＋800mm以上、FL＋1,500mm以下とする。
2．排煙オペレーターは、ワンタッチ式もしくは煙感知器連動とし、オペレーターボックス、ケーブルは埋込、ダンパーは完全隠ペイ式とする。
3．特記なき限り排煙オペレーターボックスは既製品とし、ボックス扉は特記仕様書による。

I.その他
1．トロ詰めモルタルは防水剤入り、無塩砂モルタルを使用する。
2．かまち戸ガラス面には衝突防止金物 SUS製鏡面仕上30φ @300を両面に取付けること。
3．特記なき限り建具枠は留め納まり（下図）とする。



4．**ペアガラスに使用するスペーサーは個別防火設備の場合は、認定を取得したスペーサーとし、その他はブラックスペーサーとする。**

J.性能機能 JIS A4706（サッシ）及びJIS A4702（ドアセット）

1．耐風圧性 単位：Pa

等級	S-1	S-2	S-3	S-4	S-5	S-6	S-7
最大加圧圧力	800	1200	1600	2000	2400	2800	3600

2．気密性

等級	A-1	A-2	A-3	A-4
気密等級線	120等級線	30等級線	8等級線	2等級線

3．水密性 単位：Pa

等級	W-1	W-2	W-3	W-4	W-5
圧力差	100	150	250	350	500

4．遮音性

等級	T-1	T-2	T-3	T-4
遮音性等級線	25等級線	30等級線	35等級線	40等級線

5．断熱性 単位：m ・k/w

等級	H-1	H-2	H-3	H-4	H-5
熱貫流抵抗値	0.215	0.246	0.287	0.344	0.430

6．面内変形追随性 単位：rad

等級	D-1	D-2	D-3
開放可能な面内変形角	1/300	1/150	1/120

7．層間変位
建具表において、○印は下記性能を確保する。（H：階高）
1/300Hで各部異常なし。
1/150Hで破損脱落なし、防火性能確保。

■ 建具種別

SD	鋼製扉
LSD	軽量鋼製扉
SSD	鋼製扉
AD	アルミ製扉
WD	木製扉
SDW	鋼製複合扉
SSDW	ステンレス製複合扉
ADW	アルミ製複合扉
SW	鋼製窓
SSW	ステンレス製窓
GP	ガラスパーテーション
SFW	点検扉
AW	アルミ製窓
ACW	アルミカーテンウォール
WW	木製窓
SG	鋼製ガラリ
SSG	ステンレス製ガラリ
AG	アルミ製ガラリ
WG	木製ガラリ
SS	鋼製重量シャッター
LSS	鋼製軽量シャッター
RSS	グリルシャッター
SSS	ステンレス製重量シャッター
JD	和風建具（障子・襖）
SF	三方枠（鋼製）
SSF	三方枠（ステンレス製）
SP	移動間仕切（パーティション）

■ 仕上記号

B-1	無着色陽極酸化塗装（屋外）
B-2	着色陽極酸化塗装（屋外）
C-1	無着色陽極酸化塗装（屋内）
C-2	着色陽極酸化塗装（屋内）
SOP	合成樹脂調合ペイント
FE	フタル酸樹脂エナメル
EP	合成樹脂エマルジョンペイント
CL	クリヤラッカー塗り
HL	ヘアライン仕上
SSE	エッチング仕上
SSV	バイブレーション仕上
SSM	鏡面仕上（＃800以上）
SSB	ショットブラスト仕上
BC	硫化イブシ仕上
A-BE	アクリル樹脂焼付
F-BE	フッソ樹脂焼付
U-BE	ウレタン樹脂焼付
M-BE	メラミン樹脂焼付
NS	粘着剤付シート貼り
BA-2種	着色陽極酸化塗装複合被膜

■ 形式記号

引	引違窓
片	片引窓・片開戸
嵌	嵌殺し窓
回	回転窓
開	開き窓
に	に引り出し窓（開口制限ストッパー付）
内	内倒窓
外	外倒窓
上	上げ下げ窓
突	突出窓
親	親子扉
両	両開戸
片引	片引戸
引分	引分戸
引違	引違戸
枠	三方枠
く	くぐり戸付
ラ	ランマ付
袖	袖付
框	框戸
フ	両面フラッシュ

■ 材質記号

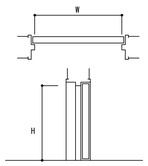
ST	鋼（スチール）
AL	アルミニウム
SUS	ステンレス
W	木

■ 性能記号

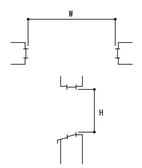
建具表において、○印は下記性能を確保する。
AT 気密性サッシ・ドアセット
（四周ゴム入） （気密性 ※A-4 ・A- ）
（水密性 ※W-5 ・W- ）
SAT 簡易気密性ドアセット（気密性 ※A-3 ・A- ）
（水密性 ※W-1 ・W- ）
（室内建具の下部ボトムエアタイト設置）
PAT 防音型ドアセット （気密性 ※A-4以上、扉内ロックウール）
（四周ゴム入） （150kg/m²) 充填、多点締りグレモン錠 ）
防音 防音型サッシ （遮音性 ・T- ）
断熱 断熱型サッシ・ドアセット
（断熱性 ・T- 気密性 ・A- ）
耐震 耐震ドアセット （面内変形追随性 ・D- ）

■ 内法寸法規定

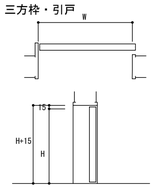
開扉



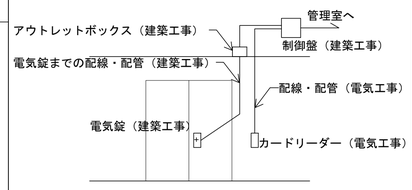
窓



三方枠・引戸



■ 電気錠の工事区分



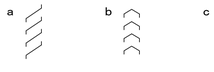
建築工事：電気錠（通電金物を含む）、
電気錠からアウトレットボックス・制御盤までの
配線・配管（個別タイプはテンキーとも建築工事）
電気工事：制御盤以降（カードリーダー含む）

別途工事 ※本工事外 ⊙電気工事

■ ガラス種別記号

PSG	フロート板ガラス
FG	型板ガラス
PWG	網入磨板ガラス
FWG	網入型板ガラス
PAG	合わせガラス
TG	強化ガラス
HS	倍強度ガラス
HG	熱線吸収ガラス
HWG	熱線吸収網入ガラス
MG	熱線反射ガラス
HMG	高性能熱線反射ガラス
WG	複層ガラス（空気層厚）
PGT	ガラスティッシュ入合わせガラス
GB	ガラスブロック
BHG	防犯ガラス
耐熱	耐熱ガラス
耐熱TG	耐熱強化ガラス
低反	低反射ガラス
Le	Low-e+A空気層+PSG
Le網	Low-e+A空気層+PWG

■ ドアガラリ形状記号

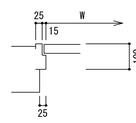


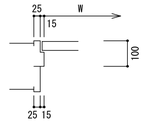
（開口率35%） （開口率35%） （開口率90%）

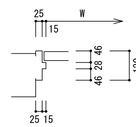
■ 防火性能記号

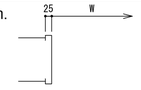
特	特定防火設備
防	防火設備（法2条9号の2）
不	不燃戸

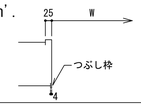
■ 枠形状記号< 寸法は参考とする >

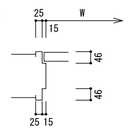
a.


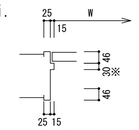
g.


b.


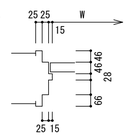
h.


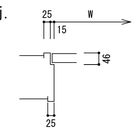
h'.


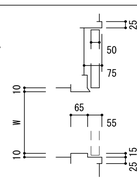
c.


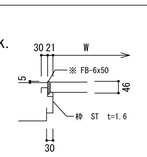
i.


※ATの場合は50以上

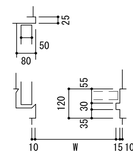
d.


j.


e.


k.


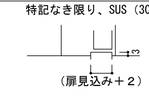
※FB材質は建具表による

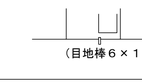
f.


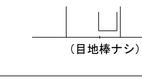
枠見込寸法記号

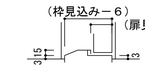
D1	100mm以下
D2	101～200
D3	201～300
D4	301～400
D5	401mm以上

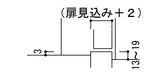
■ 沓摺形状記号< 寸法は参考とする >

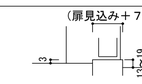
01 特記なき限り、SUS（304） t=2 HL とする


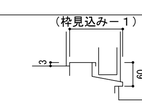
02


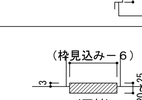
03


04


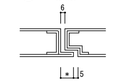
05


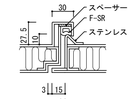
06


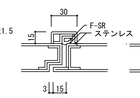
07


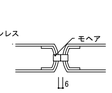
08


■ 扉両開き召しあわせ部

Ⓐ 一般扉


Ⓓ AT仕様


Ⓔ SAT仕様


Ⓕ （フロアヒンジ扉）


■ 建具金物［支持金物］記号

FH	フロアヒンジ
AH	オートヒンジ
PH	ピボットヒンジ
H	丁番
DH	自由丁番
HR	ハンガーレール
（特記なき限り自閉式とする）	
吊	中心吊りヒンジ
軸	軸吊りヒンジ
（特記なき限りストッパー無しとする）	

■ 建具金物［操作金物］記号

KN	握り玉
LH	レバーハンドル
HP	押棒・押板・引手
CH	ケースハンドル
FP	彫込引手
OP	オペレーター
GH	グレモンハンドル
CR	クレセント
PP	プッシュプル開閉金物

■ 建具金物［施錠金物］記号

本	本締錠
ケ	ケースロック
モ	モノロック
鎌	シリンダー鎌錠
非	非常錠
電	電気錠
グ	グレモン錠
ホ	ホテルロック
分	分電盤錠

■ 室名表示記号

切	切抜貼
プ	プロセス印刷

■ 建具金物［開閉金物］記号

DC	ドアクローザー
DC（F）	ドアクローザー（ヒューズ付）
DC（C）	コンシールド型ドアクローザー
FR	フランス落し
AS	アームストッパー
DS	戸当り

■ 建具金物［施錠機構］記号

両	両面シリンダー
片	片面シリンダー 片面サムターン
ソ	空錠
片ソ	片面シリンダー 片面空錠
非	非常カバー付
表	表示付きサムターン（非常時外部からの開閉機構付）
外	外付開装置付（消防用）
片サ	片面サムターン 片面空錠

特記事項	
	※シャッターは危害防止機能付きとする。 ※各防火戸は昭和48年建設省告示第2563号の構造を満たすものとする。 ※くぐり戸の寸法はW750×H1800以上、床からの高さ150以下とする。 ※防火戸、防火ダンパーの自動閉鎖装置は火災信号が継続している間は作動したら、外力により戻されても復旧しない限り再ロックしないものであること。

※防火戸・シャッターは以下の基準を満たすものとする。
・防火設備の質量×閉鎖時速（m/s）の2乗が20以下であること。
・防火設備の質量が15kg以下であること。
水平方向に閉鎖するものは閉鎖力が150N以下
・周囲の人と接触することで停止すること。
※防火シャッターには手動開閉装置を設置すること。

認定番号・適合告示	
	防火設備認定番号・適合告示 鋼製建具:H12年建設省告示1360号 AW防火設備部（嵌め殺し窓）:EB-2419-3 AW防火設備部（縦ぐり窓）:EB-2461-2 特定防火設備認定番号・適合告示 鋼製建具:H12年建設省告示1369号 遮煙性能を有する防火設備:平成12年建設省告示2564号

防火シャッター認定番号・適合告示
S48年建設省告示2564号

明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
<代表設計者> 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	建築工事	最終版 2025.02.28
	18	建具表（共通事項）	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

20230220

符号	形式	数量	ACW01	AW01	AW02	AW03	AW04-1	AW04-2
	法規		防	防		防	防	防
姿図			アルミカーテンウォール（嵌・自動引分・片引・二連片引・縦辷・突・オペレーター装置） 1	突 8	突 1	突 1	引 1	引 1
				WWC、MWC	保育ルーム3	保育ルーム2	保育ルーム1	3階事務室
建具	材質・仕上	見込	AL・BA-2種・標準色	AL・BA-2種・標準色	AL・BA-2種・標準色	AL・BA-2種・標準色	AL・BA-2種・標準色	AL・BA-2種・標準色
枠	材質・仕上・形状	見込	AL・BA-2種・標準色 D3	AL・BA-2種・標準色 D2	AL・BA-2種・標準色 D2	AL・BA-2種・標準色 D2	AL・BA-2種・標準色 D2	AL・BA-2種・標準色 D2
額縁	材質・仕上	見付	ST・SOP	ST・SOP	ST・SOP	ST・SOP	ST・SOP	ST・SOP
沓摺/膳板			—	—	—	—	—	—
硝子			図示	図示	図示	図示	図示	図示
建具金物			自動引分：本・電・片・ソ，二連片引：HP/CR ，突：OP ，縦辷：CR（換気用ストッパー付き），附属金物一式	OP,附属金物一式	OP,網戸(内部固定式)，	OP,網戸(内部固定式)，	CR,網戸(外部可動式)，	CR,網戸(外部可動式)，
備考			EB-3326，EB-3103	EA-3609	附属金物一式	附属金物一式，EB-2625-2	附属金物一式，EB-3068-2	附属金物一式，EB-3068-2

符号	形式	数量	AW05	AW06	AW07	AW08	AW09	AW10	AW11	AW12
	法規		自動引分 1	嵌・片引 1	嵌・辷・ガ 3	嵌・ガ 1	嵌 1	嵌・片引 1	嵌・縦辷 24	縦辷 2
						遮音		防		
姿図			1F 風除室	1F 多目的ｺｰﾅｰ	2F 多目的室	2F 多目的室3	2F スタジオ，廊下	2F 廊下	3F 図書ｺｰﾅｰ	3F 閲覧室、4F 倉庫4-2
建具	材質・仕上		AL・BA-2種・標準色	AL・BA-2種・標準色	AL・BA-2種・標準色	AL・BA-2種・標準色	AL・BA-2種・標準色	AL・BA-2種・標準色	AL・BA-2種・標準色	AL・BA-2種・標準色
枠	材質・仕上・形状	見込	AL・BA-2種・標準色 D2	AL・BA-2種・標準色 D2	AL・BA-2種・標準色 D2	AL・BA-2種・標準色 D2	AL・BA-2種・標準色 D2	AL・BA-2種・標準色 D2	AL・BA-2種・標準色 D2	AL・BA-2種・標準色 D2
額縁	材質・仕上	見付	ST・SOP	ST・SOP	ST・SOP	ST・SOP	ST・SOP	ST・SOP	ST・SOP	ST・SOP
沓摺/膳板			—	—	—	—	—	—	—	—
硝子			図示	図示	図示	図示	図示	図示	図示	図示
建具金物			本・電・片・ソ,附属金物一式	HR・CR，附属金物一式	CR，附属金物一式	附属金物一式，	附属金物一式，	HP・CR，附属金物一式	CR,附属金物一式	CR,附属金物一式
備考					チャンバーボックスSt1.6加工（裏面グライト吹付）	チャンバーボックスSt1.6加工（裏面グライト吹付）	チャンバーボックスSt1.6加工（裏面グライト吹付） 一部遮音性能:T-2	EB-3487		

符号	形式	数量	AW13	AW14	AW15
	法規		嵌・縦辷 2	嵌・片引・突 1	嵌・片引・突 1
姿図			3F 図書ｺｰﾅｰ	3F 図書ｺｰﾅｰ，おはなしの部屋	4F フリースペース，トレーニングルーム
建具	材質・仕上	見込	AL・BA-2種・標準色	AL・BA-2種・標準色	AL・BA-2種・標準色
枠	材質・仕上・形状	見込	AL・BA-2種・標準色 D2	AL・BA-2種・標準色 D2	AL・BA-2種・標準色 D2
額縁	材質・仕上	見付	ST・SOP	ST・SOP	ST・SOP
沓摺/膳板			—	—	—
硝子			図示附属金物一式，チャンバーボックスSt1.6加工（裏面グライト吹付）	図示	図示
建具金物				片引・HR・CR，突：OP，附属金物一式	片引：HP・CR,突：OP，附属金物一式

ガラス凡例

G1	Low-E6+A6+PSG6	G4	Low-E8+A6+耐熱TG8	G7	Low-E8+A6+TG6	G10	耐熱TG8
G2	Low-E8+A6+PSG8	G5	TG8	G8	Low-E6+A6+TG6		
G3	Low-E6+A6+耐熱TG6.5	G6	TG12	G9	PSG6	特記なき限り、飛散防止フィルム	

凡例

	バックボードt6EP		排煙有効部分
	耐火ボードt35EP		

明石市政策局 プロジェクト推進室

西明石地域交流センター icotto 建設工事

<代表設計者> 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号
森 雅章

A	建築工事	最終版	2025.02.28
19	建具表(1)	1/100(A1) 1/200(A3) 見積版	2024.12.16
	安井建築設計事務所	最終契約版	

(2023年版)

20230220

符号	形式	数量	SD01	SD02	SD03	SD04	SD05	SD06	SD07	SD08	SD09	SD10	SD10
	法規		片 17	両、ガ 1	片 2	親 1	片 1	引 1	片 2	片 3	両 1	両 10	両、ガ 8
					特	特	特			防			
姿図			各階EPS、各階SK、PS1-3 PS2-3、PS3-3、PS4-3、 PS1-4	MR1-1	ポンプ室、ゴミ庫	1階廊下	倉庫1-2	倉庫2-1	倉庫2-2、倉庫4-1	廊下	倉庫4-2	SD10-1	多目的ホール SD10-2
建具	材質・仕上	見込	ST・SOP, t=1.6 40	ST・SOP, t=1.6 40	ST・DP, t=1.6 40	ST・DP, t=0.8 40	ST・SOP, t=0.8 40	ST・SOP, t=0.8 40	ST・SOP, t=0.8 40	ST・DP, t=0.8 40	ST・SOP, t=0.8 40	ST・SOP, t=1.6 40	
枠	材質・仕上・形状	見込	ST・SOP D2・b	ST・SOP D2・b	ST・DP D2・b	ST・DP D2・b	ST・SOP D2・b	ST・SOP D2・b	ST・SOP D2・b	ST・DP D2・b	ST・SOP D2・b	ST・SOP D2・b	
額縁	材質・仕上	見付		–		– D1		–	–	–	–	–	
沓摺/膳板			SUS・HL	SUS・HL	SUS・HL	SUS・HL	SUS・HL	SUS・HL	SUS・HL	SUS・HL	SUS・HL	SUS・HL	
硝子				–		–		–	–	–	–	–	
建具金物			PH、AS、点検口鍵	PH、AS、点検口鍵	PH、LH、本片、DC	PH、LH、電、片、DC、FR	PH、LH、電、片、DC	HP、電、片、DC	PH、LH、電、片、DC	PH、LH、DC、片、4階のみ両面非・表	PH、LH、電、片、DC	PH、FP(ラッチ付き)、AS	
備考			附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式、SAT 告示1369号、告示2564号	附属金物一式、SAT、電気錠カードキー 告示1369号、告示2564号	附属金物一式、電気錠カードキー 告示1369号、告示2564号	附属金物一式、電気錠カードキー	附属金物一式、電気錠カードキー	附属金物一式 告示1360号、告示2564号	附属金物一式	附属金物一式	

符号	形式	数量	SD11	SD12	SD13	SD13	SD14	SD15	SD16	SD17	SD18	SD19	LSD01	LSD02
	法規		片、フ 4	両、フ 4	両、フ 7	両、フ、ガ 3	片、フ 6	片、フ 4	両、フ 1	片、フ 1	片 1	片 3	片、フ 1	片、フ 3
				特					防		特	特		
姿図			多目的ホール	多目的ホール	倉庫4-3、倉庫4-8 SD13-1	倉庫4-3、倉庫4-8 SD13-2	多目的ホール	配管取出口	倉庫4-13	屋上点検扉	1階、2階、屋内避難階段	3階、4階、屋内避難階段	1階事務室	倉庫1-1、更衣室 清掃員控室
建具	材質・仕上	見込	ST・SOP, t=1.6 40	ST・SOP, t=1.6 40	ST・SOP, t=1.6 40		ST・DP, t=1.6 40	ST・DP, t=1.6 40	ST・DP, t=1.6 40	ST・DP, t=1.6 40	ST・SOP, t=1.6 40	ST・SOP, t=1.6 40	ST・SOP, t=0.6 40	ST・SOP, t=0.6 40
枠	材質・仕上・形状	見込	ST・SOP D2・b	ST・SOP D2・b	ST・SOP D2・b		ST・DP D2・b	ST・DP D2・b	ST・DP D2・b	ST・DP D2・b	ST・SOP D2・b	ST・SOP D2・b	ST・SOP D2・b	ST・SOP D2・b
額縁	材質・仕上	見付	–	–	–		–	–	–	–			–	–
沓摺/膳板			SUS・HL	SUS・HL	SUS・HL				SUS・HL	SUS・HL			SUS・HL	SUS・HL
硝子			–	–	–		–		–	–	AH、CH	AH、CH	FG4	FG4
建具金物			PH、FP(ラッチ付き)、AS	PH、HP、DC(C)、FR、片	PH、HP、DC、片		PH、FP(ラッチ付き)、両面非・表、AS	PH、AS、分	PH、FP(ラッチ付き) 、AS	PH、FP(ラッチ付き) 、AS			PH、LH、DC、片、電	PH、LH、DC、片
備考			附属金物一式 SAT、1階は電気錠カードキー	附属金物一式 告示1369号、告示2564号	附属金物一式 告示1369号、告示2564号		附属金物一式 代替進入口、ワイヤーストッパー	附属金物一式、SAT 片面フラッシュとする	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式 常開くぐり戸付 告示1369号、告示2564号	附属金物一式 常開くぐり戸付 告示1369号、告示2564号	附属金物一式 1階事務室は電気錠カードキー	附属金物一式

符号	形式	数量	LSD03	LSD04	LSD05	LSD06	GP01	GP02	GP03
	法規		框、引 2	2連片引 16	片引 3	片引 1	ガラスパーテーション 1	ガラスパーテーション 1	ガラスパーテーション 1
			防			防			
姿図			1階事務室 保育ルーム1(一時預かり)	ベビーケアルーム(2階～4階)、 各階だれでもWC(WC1、WC2)、 多機能WC(WC1、WC2)、3階事務室 更衣室4－1、4－2	ベビーケアルーム(1階)、休憩室兼救護室、 図書コーナー前室	休憩室兼救護室	保育ルーム	保育ルーム	多目的室4、会議室1～3
建具	材質・仕上	見込	ST・SOP, t=0.6 40	ST・SOP, t=0.6 40	ST・SOP, t=0.6 40	ST・SOP, t=0.6 40	70	70	70
枠	材質・仕上・形状	見込	ST・SOP D2・b	ST・SOP D2・b	ST・SOP D2・b	ST・SOP D2・b	詳細図による	詳細図による	詳細図による
額縁	材質・仕上	見付	–	–		–			
沓摺/膳板			SUS・HL	SUS・HL	SUS・HL	SUS・HL			
硝子			TG5	FG4	FG4	FG4	TG10＋TG10	TG10＋TG10	TG10＋TG10
建具金物			HR、HP、自閉式、片、DC	HR、HP、錬(表)、DC	HR、HP、錬(表)、DC	HR、HP、片、DC、電			
備考			附属金物一式 EA-0511 電気錠カードキー	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式、電気錠カードキー 告示1360号、告示2564号	飛散防止フィルム貼、付属金物一式 自閉式吊戸	飛散防止フィルム貼、付属金物一式 自閉式吊戸	飛散防止フィルム貼、付属金物一式 自閉式吊戸

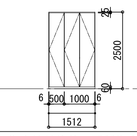
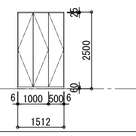
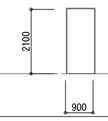
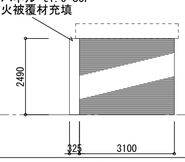
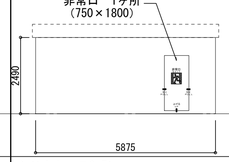
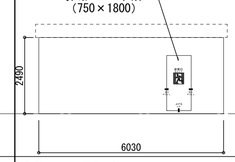
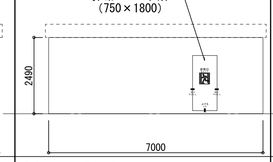
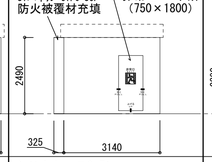
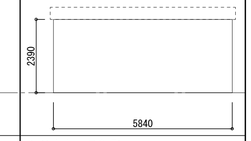
符号	形式	数量	GP04	GP05	GP06	GP07	GP08	GP09	SP01	SP02
	法規		ガラスパーテーション 1	ガラスパーテーション 3	ガラスパーテーション	ガラスパーテーション 1	ガラスパーテーション 1	ガラスパーテーション 1	移動間仕切り 1	移動間仕切り 2
姿図			スタジオ	多目的室1～3	閲覧室	おはなしの部屋	図書コーナー前室	トレーニングエリア	会議室2	多目的室1～3
建具	材質・仕上	見込	詳細図による 70	詳細図による 70	詳細図による 70	詳細図による 70	詳細図による 70	詳細図による 70	詳細図による 70	詳細図による 70
枠	材質・仕上・形状	見込	詳細図による	詳細図による	詳細図による	詳細図による	詳細図による	詳細図による	詳細図による	詳細図による
額縁	材質・仕上	見付								
沓摺/膳板										
硝子			TG10＋TG10	TG10＋TG10	TG10＋TG10	TG10＋TG10	TG10、TG8(自閉式吊戸)	TG10＋TG10		
建具金物										
備考			飛散防止フィルム貼、付属金物一式 自閉式吊戸	飛散防止フィルム貼、付属金物一式 自閉式吊戸	飛散防止フィルム貼、付属金物一式 自閉式吊戸	飛散防止フィルム貼、付属金物一式 自閉式吊戸	飛散防止フィルム貼、付属金物一式	飛散防止フィルム貼、付属金物一式 フラッシュ開き戸、電気錠カードキー	付属金物一式	付属金物一式

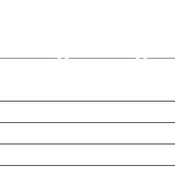
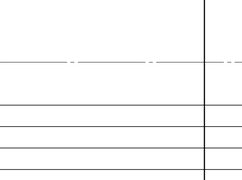
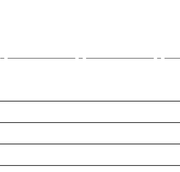
※外部SD枠廻りシーリングは特記なき限り二重シールとする。

明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	建築工事	最終版 2025. 02. 28
	20	建具表 (2) 1/100 (A1) 1/200 (A3)	見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

(2023年版)

20230220

符号	形式	数量	SFW 01	SFW 02	SF 01	SF 02	SS 01	SS 02	SS 03	SS 04	SS 05	SS 06
	法規		PS点検口扉 4	PS点検口扉 4	3方枠 1	1方枠 23	防火防煙シャッター 1 防	防火防煙スクリーン 1 防	防火防煙スクリーン 1 防	防火防煙スクリーン 1 防	防火防煙スクリーン 1 防	防火防煙スクリーン 1 特
姿図			PS1-1、PS2-1、PS3-1、PS4-1 	PS1-2、PS2-2、PS3-2、PS4-2 	キッチン 	MWC、WWC、地域活動スペース、キッチン、多目的室4、会議室1～3、スタジオ、図書コーナー、事務スペース 	地域活動スペース STパネル t1.6 SOP 防火被覆材充填 	2階フリースペース 非常口 1ヶ所 (750×1800) 	2階フリースペース 非常口 1ヶ所 (750×1800) 	2階フリースペース 非常口 1ヶ所 (750×1800) 	2階フリースペース STパネル t1.6 SOP 防火被覆材充填 非常口 1ヶ所 (750×1800) 	
建具	材質・仕上		ST・指定焼付塗装・既製指定枠 70	ST・指定焼付塗装・既製指定枠 70			スチールスラット1.6t	シリカクロス0.7t	シリカクロス0.7t	シリカクロス0.7t	シリカクロス0.7t	シリカクロス0.7t
枠	材質・仕上・形状	見込	ST・指定焼付塗装・既製指定枠 D2	ST・指定焼付塗装・既製指定枠 D2	ST・SOP D2	ST・SOP D2	ST・SOP	ST・SOP	ST・SOP	ST・SOP	ST・SOP	ST・SOP
額縁	材質・仕上	見付					–	–	–	–	–	–
沓摺/膳板							–	–	–	–	–	–
硝子							–	–	–	–	–	–
建具金物							–	–	–	–	–	–
備考			付属金物一式	付属金物一式			防炎防煙シャッター、付属金物一式 煙管感知器連動、危害防止装置、 CAS-1024、告示2564号	防炎防煙シャッター、付属金物一式 煙管感知器連動、危害防止装置、 CAS-0255、EA-0190	防炎防煙シャッター、付属金物一式 煙管感知器連動、危害防止装置、 CAS-0255、EA-0190	防炎防煙シャッター、付属金物一式 煙管感知器連動、危害防止装置、 CAS-0255、EA-0190	防炎防煙シャッター、付属金物一式 煙管感知器連動、危害防止装置、 CAS-0255、EA-0190	防炎防煙シャッター、付属金物一式 煙管感知器連動、危害防止装置、 CAS-0255、EA-0190

符号	形式	数量	SS 07	SS 08	SSW 01	SSW 02	SSW 03	SSD 01				
	法規		防火防煙スクリーン 2 特	防火防煙スクリーン 1 特	1	2	1	1 防				
姿図			図書コーナー STパネル t1.6 SOP 防火被覆材充填 	図書コーナー 	図書コーナー 	図書コーナー 	図書コーナー 	1階廊下 				
建具	材質・仕上		シリカクロス0.7t	シリカクロス0.7t	SUS・HL	SUS・HL	SUS・HL	ST・SOP、t1.6 40				
枠	材質・仕上・形状	見込	ST・SOP	ST・SOP	SUS・HL D2	SUS・HL D2	SUS・HL D2	ST・SOP D2・b				
額縁	材質・仕上	見付	–	–	SUS・HL	SUS・HL	SUS・HL					
沓摺/膳板			–	–								
硝子			–	–	PAG(TG5+TG5)	PAG(TG5+TG5)	PAG(TG5+TG5)	詳細図による				
建具金物			–	–	–	–	–					
備考			防炎防煙シャッター、付属金物一式 煙管感知器連動、危害防止装置、 CAS-0255、EA-0190 SAT、1階は電気錠カードキー	防炎防煙シャッター、付属金物一式 煙管感知器連動、危害防止装置、 CAS-0255、EA-0190	中間膜 30mil	中間膜 30mil	中間膜 30mil	附属金物一式 告示1360号，告示2564号				

符号	形式	数量										
	法規											
姿図												
建具	材質・仕上											
枠	材質・仕上・形状	見込										
額縁	材質・仕上	見付										
沓摺/膳板												
硝子												
建具金物												
備考												

符号	形式	数量										
	法規											
姿図												
建具	材質・仕上											
枠	材質・仕上・形状	見込										
額縁	材質・仕上	見付										
沓摺/膳板												
硝子												
建具金物												
備考												

明石市政策局 プロジェクト推進室

西明石地域交流センター icotto 建設工事

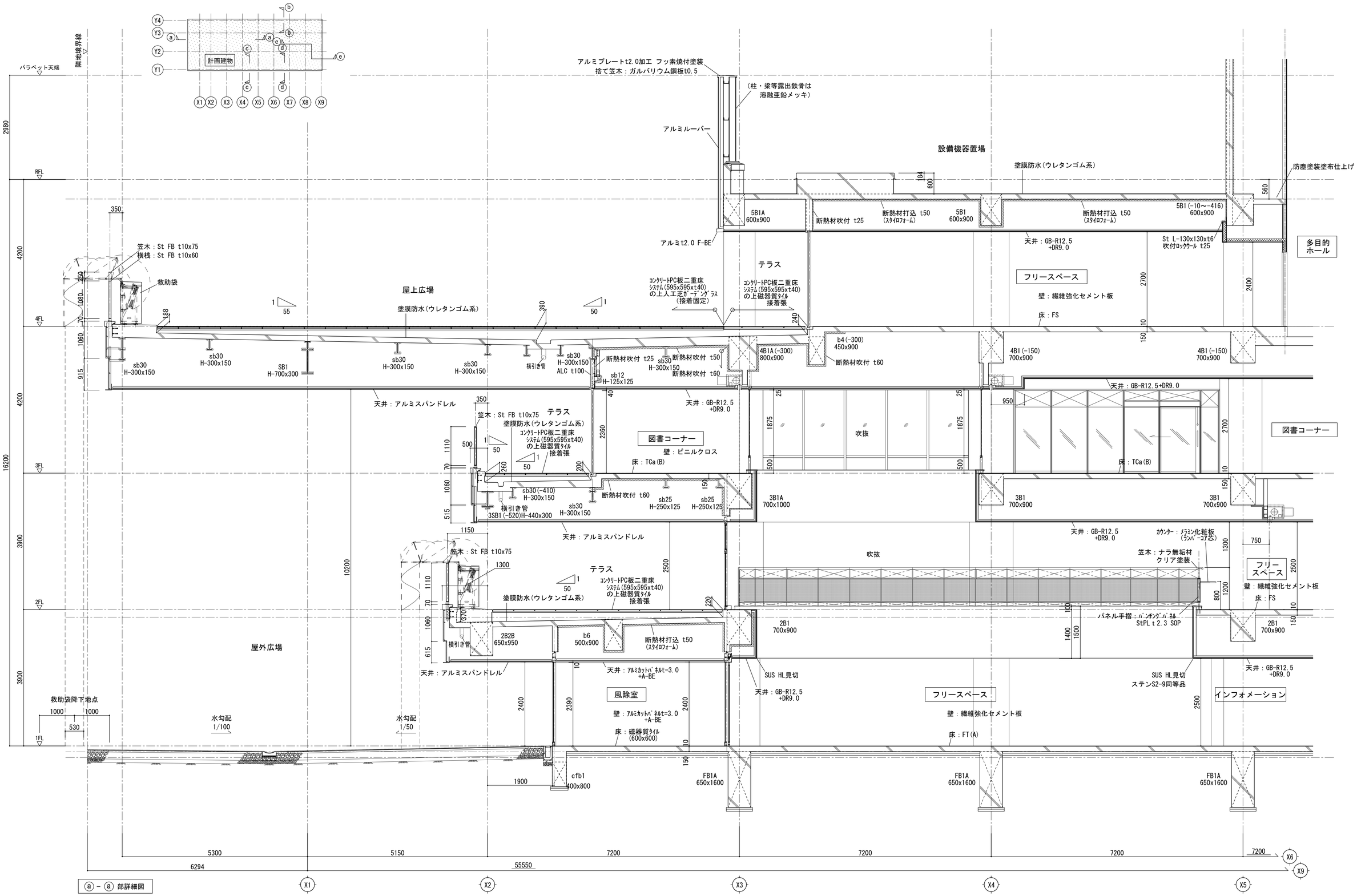
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号
森 雅章

A 建築工事 最終版 2025. 02. 28

21 建具表(3) 1/100(A1) 1/200(A3) 見積版 2024. 12. 16

安井建築設計事務所 最終契約版

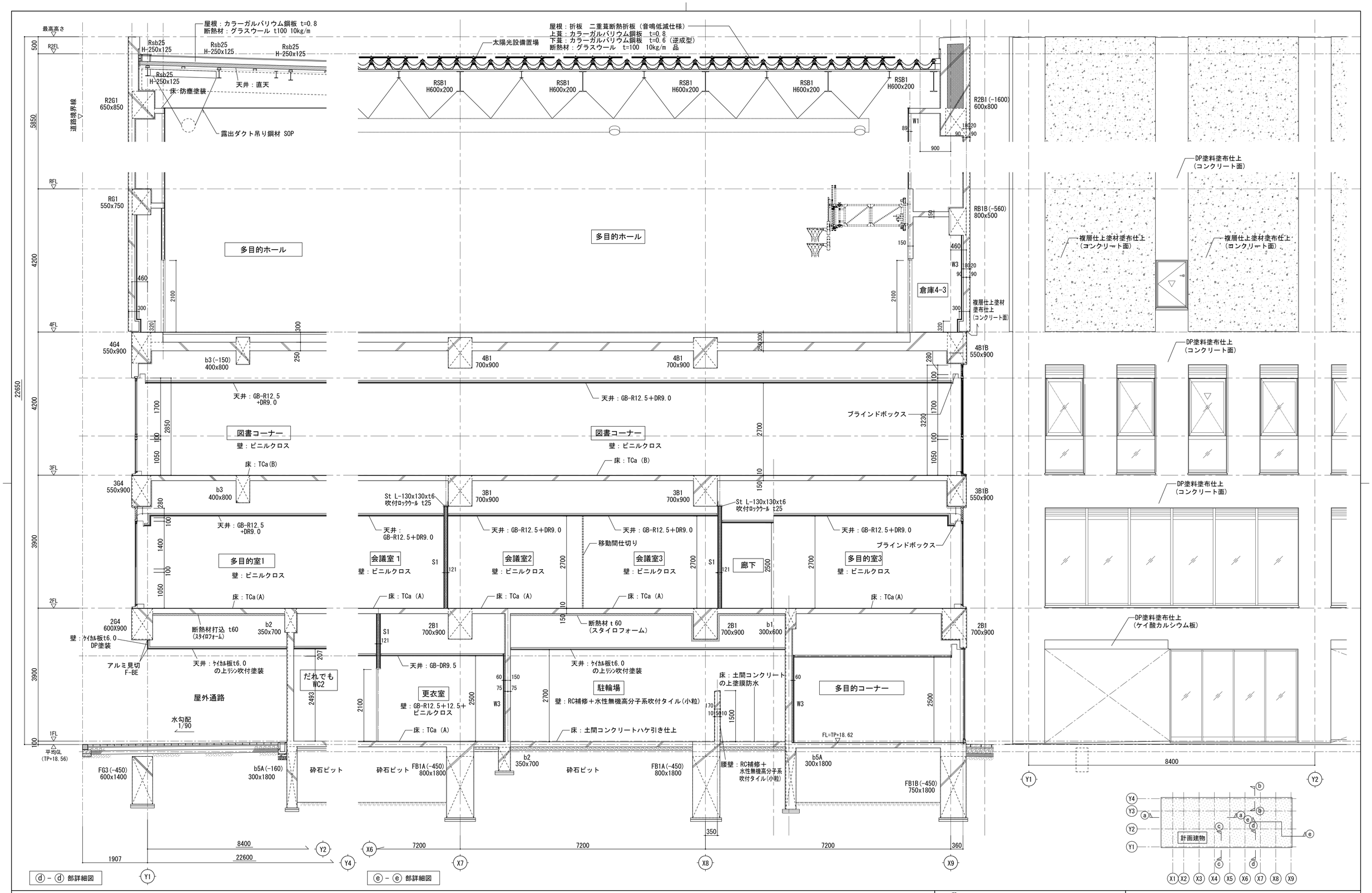
20230220



明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	建築工事 最終版 2025.02.28
	22	矩計図(1) A1 1:50 A3 1:100 見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所 最終契約版

（2023年版）

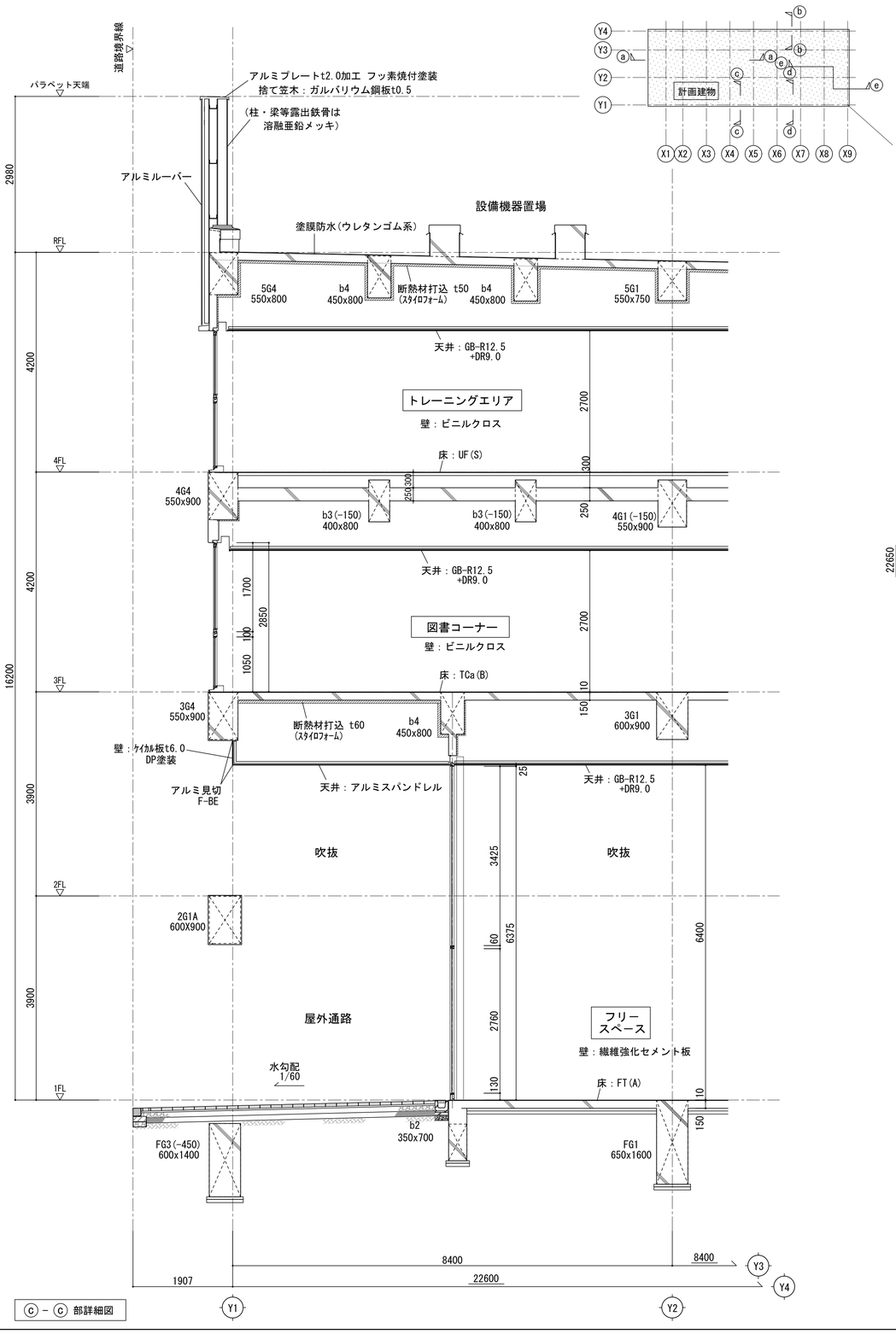
20230220

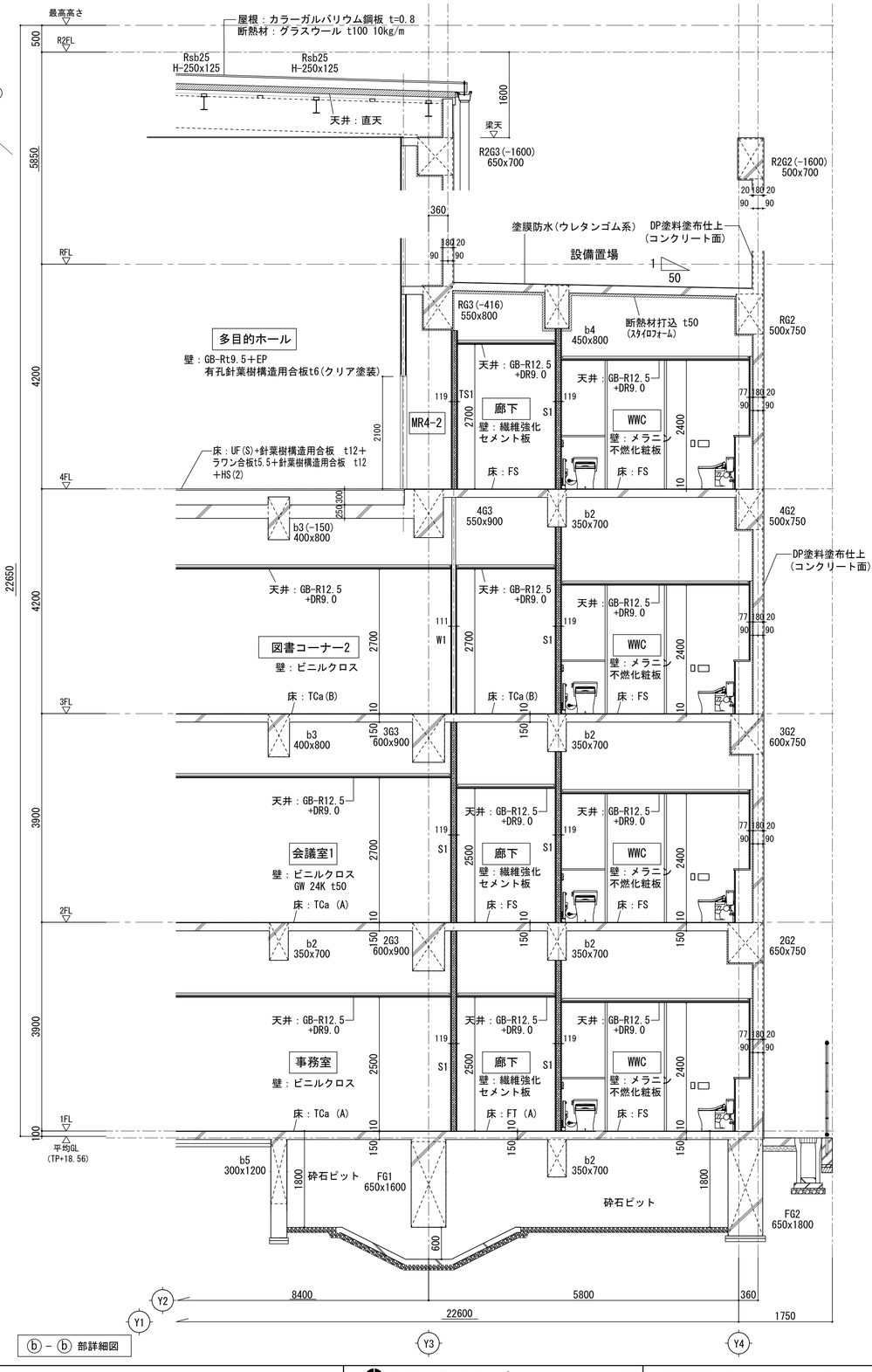


明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	建築工事	最終版 2025.02.28
	23	矩計図(2) A1 1:50 A3 1:100	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

(2023年版)

20230220

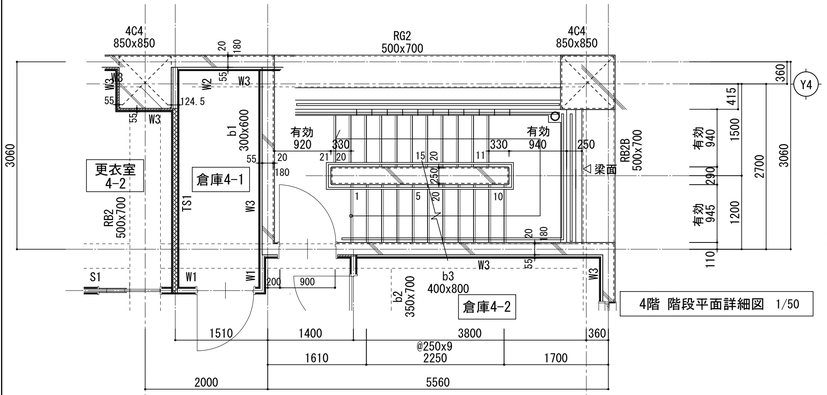


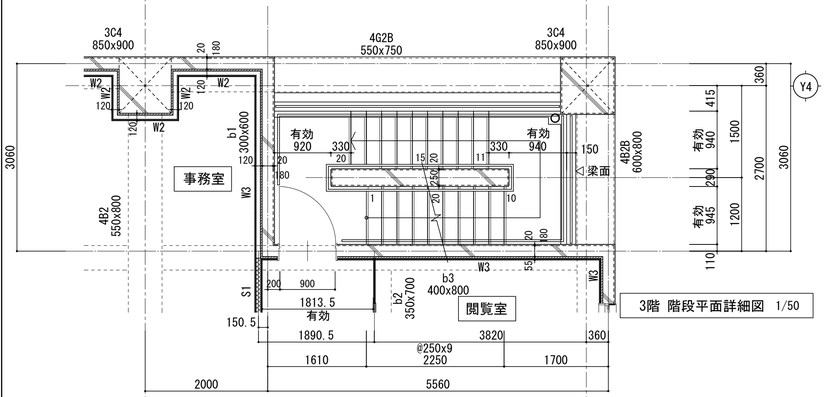


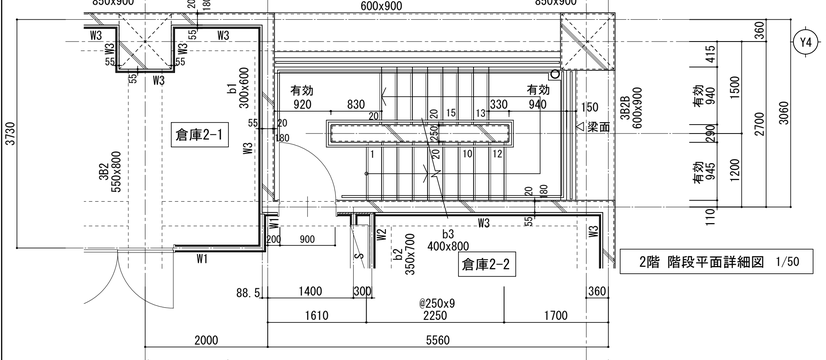
明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	建築工事	最終版 2025.02.28
	24	矩計図(3) A1 1:50 A3 1:100	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

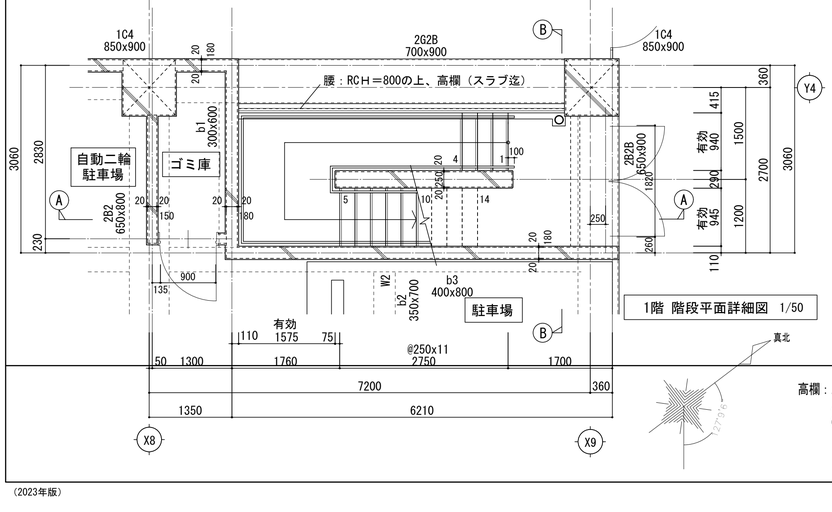
（2023年版）

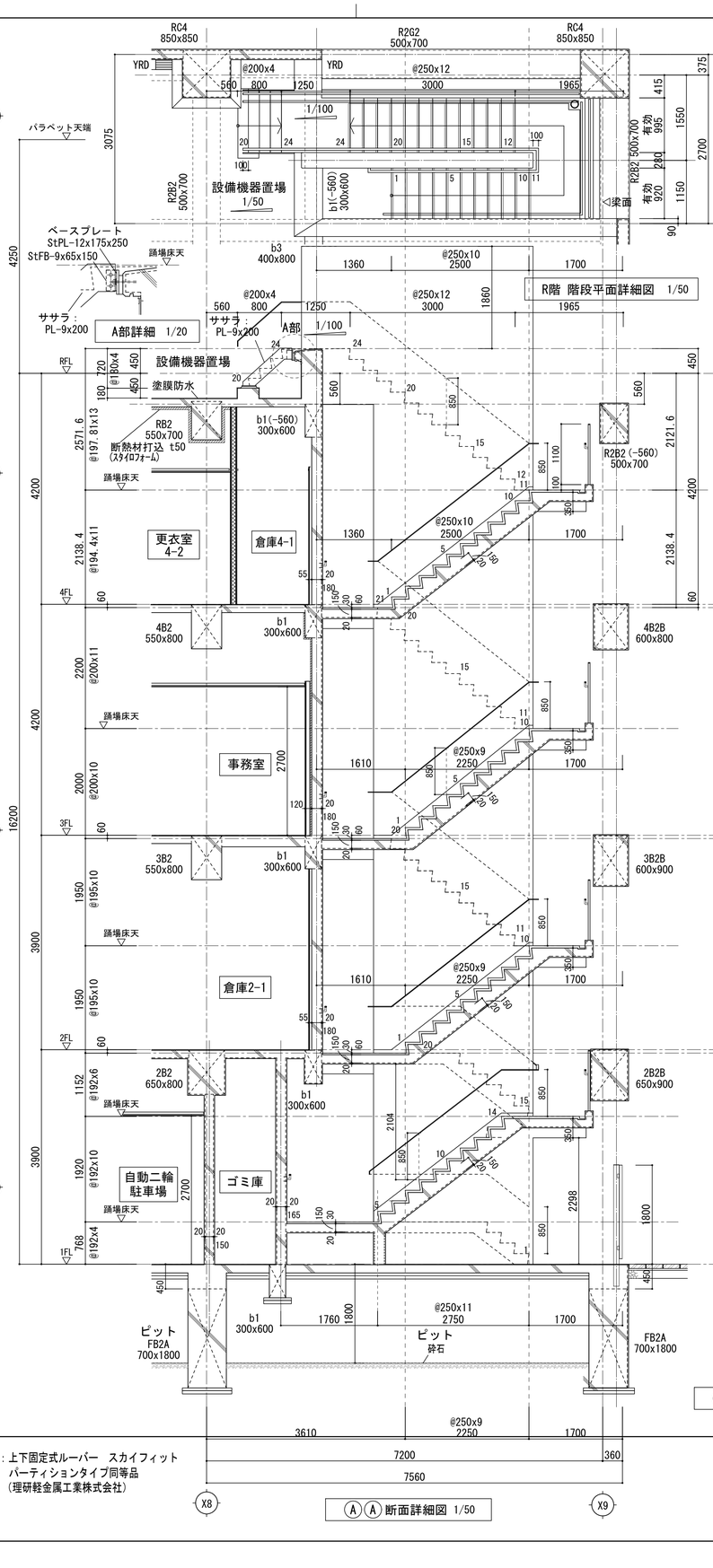
20230220

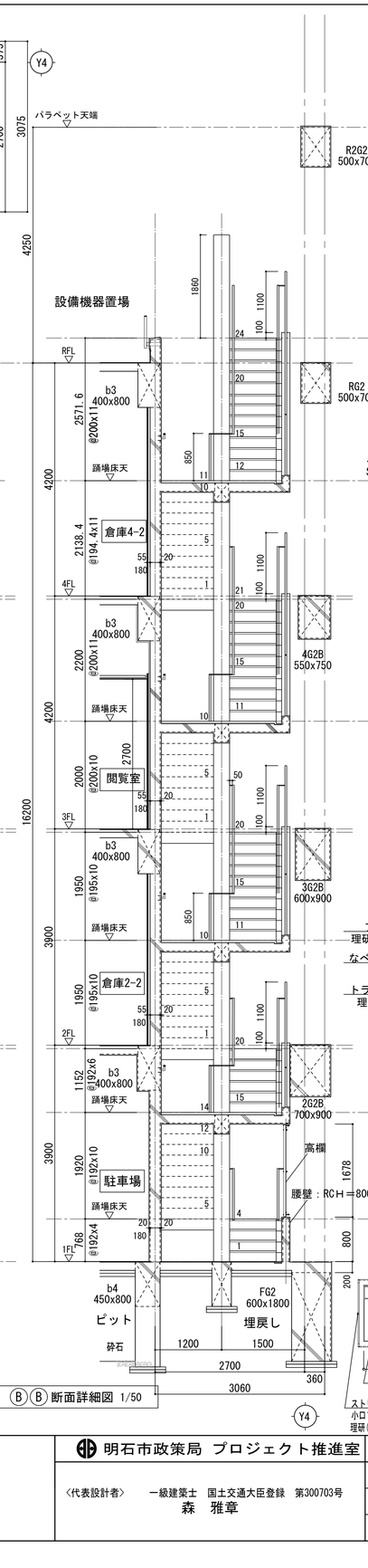


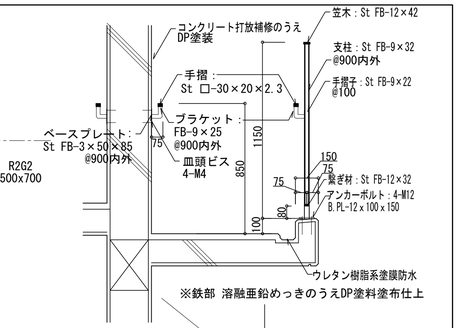


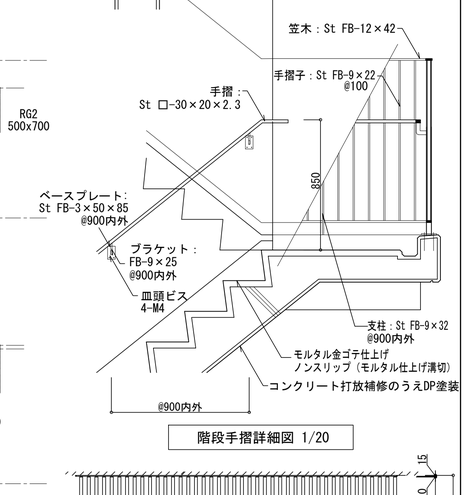










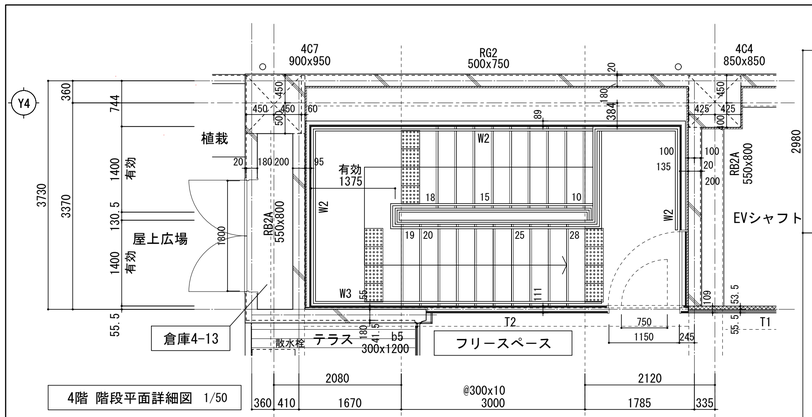


高棚：上下固定式ルーバー　スカイフィット
パーティションタイプ同等品
（理研軽金属工業株式会社）

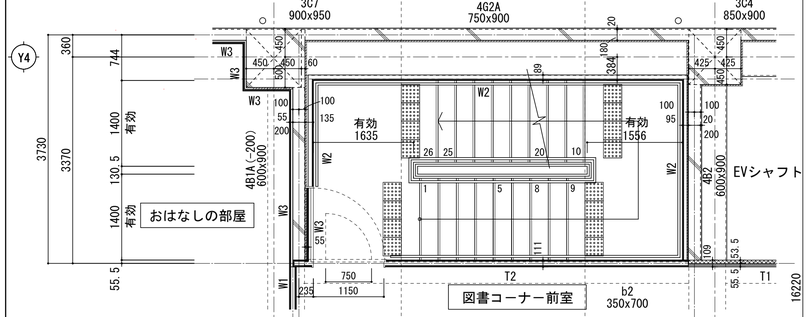
明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	建築工事	最終版 2025. 02. 28
	25	屋外避難階段詳細図 A1 1:50 A3 1:100	見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

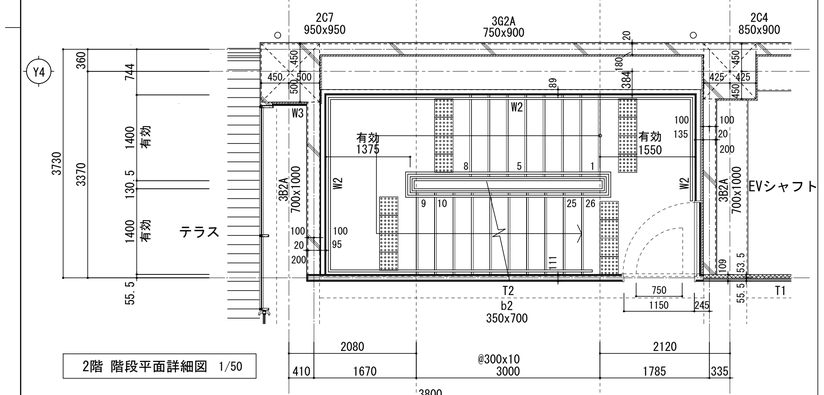
20230220



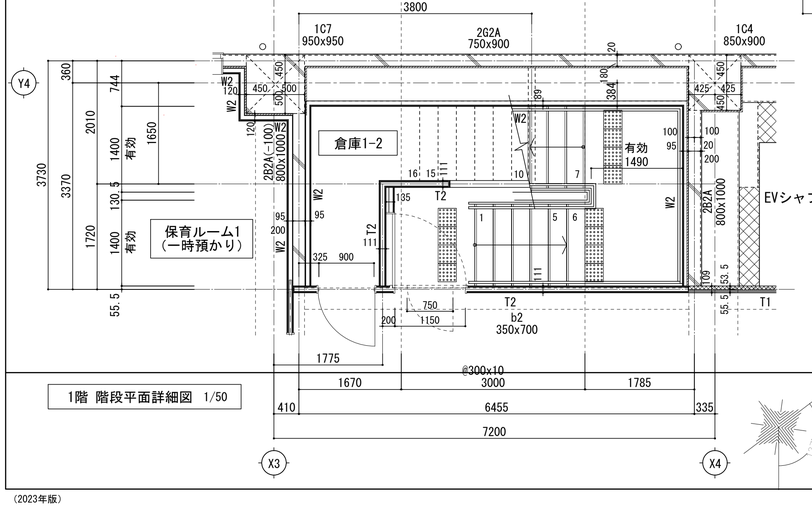
4階 階段平面詳細図 1/50



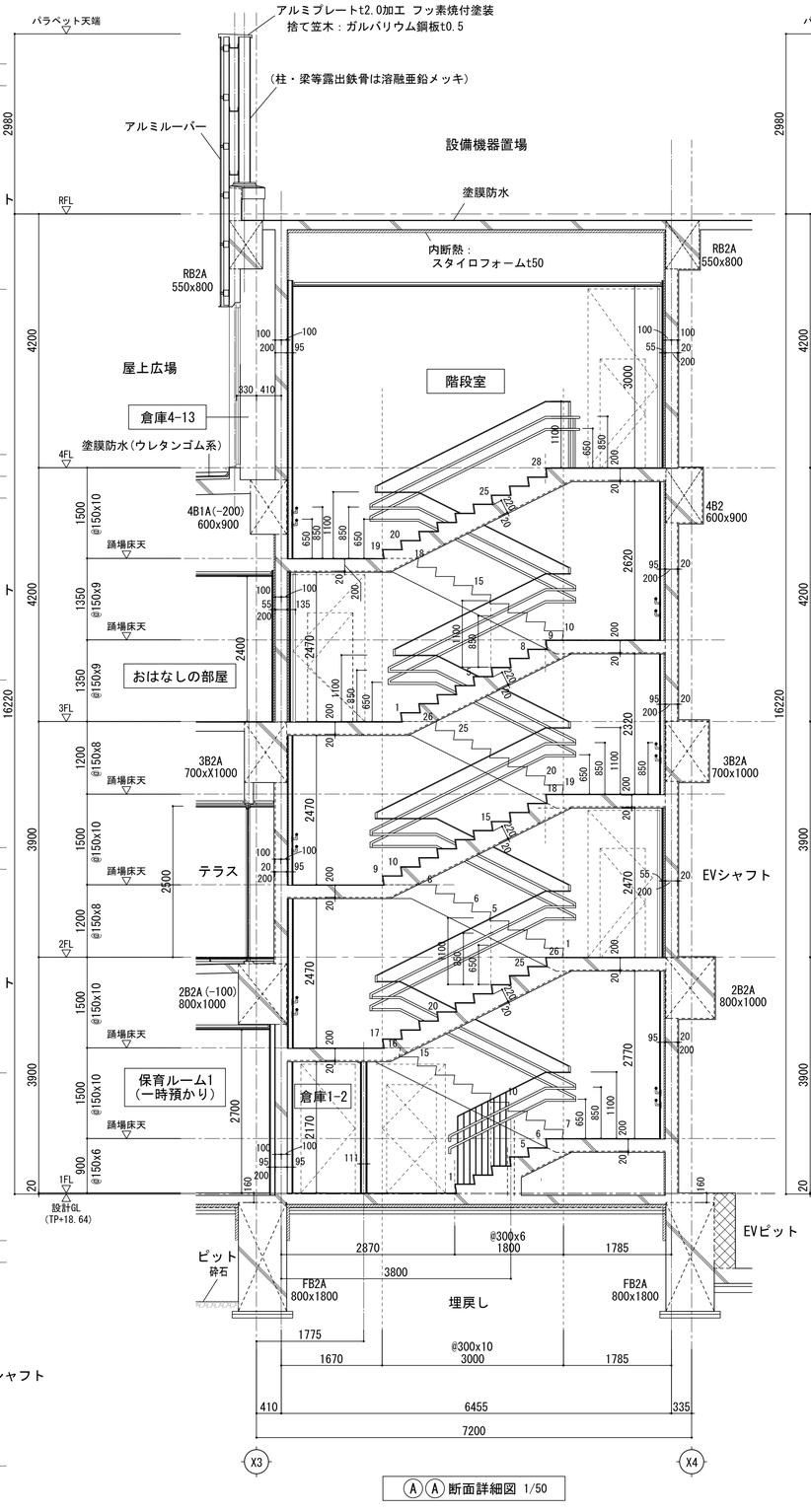
3階 階段平面詳細図 1/50



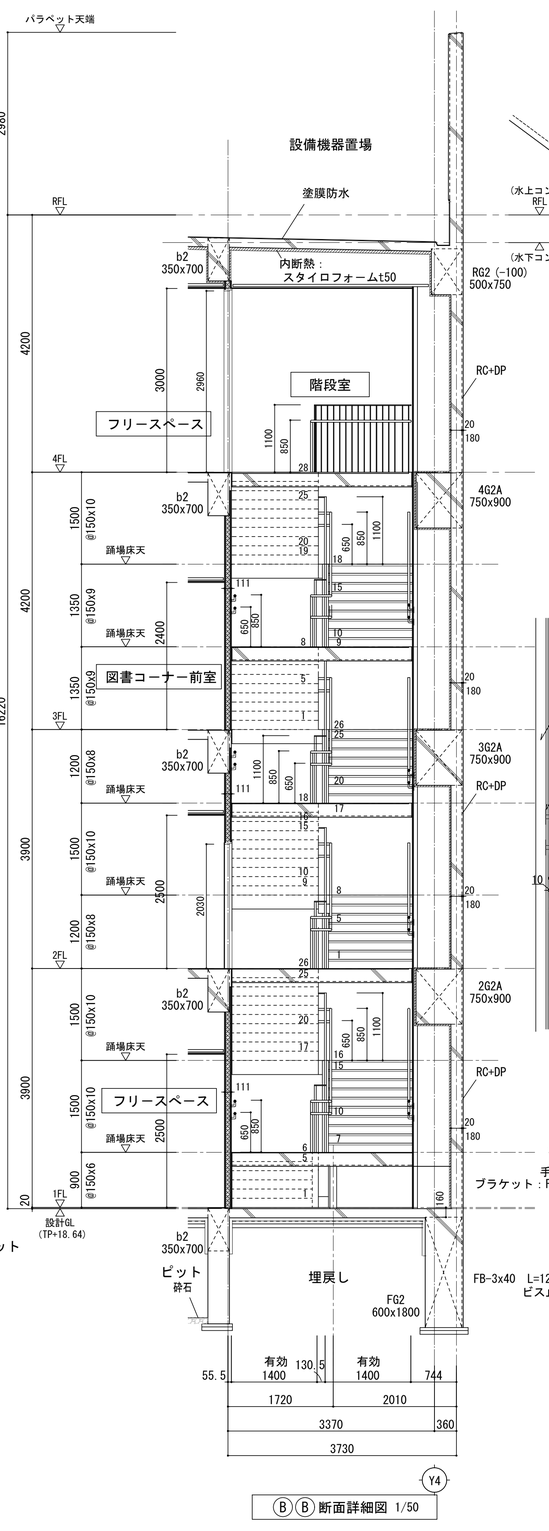
2階 階段平面詳細図 1/50



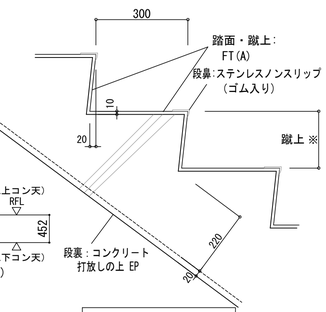
1階 階段平面詳細図 1/50

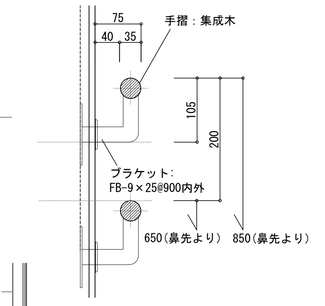


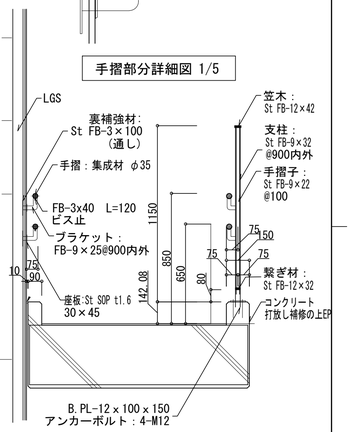
A A 断面詳細図 1/50

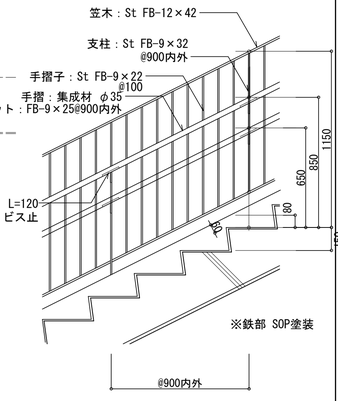


B B 断面詳細図 1/50









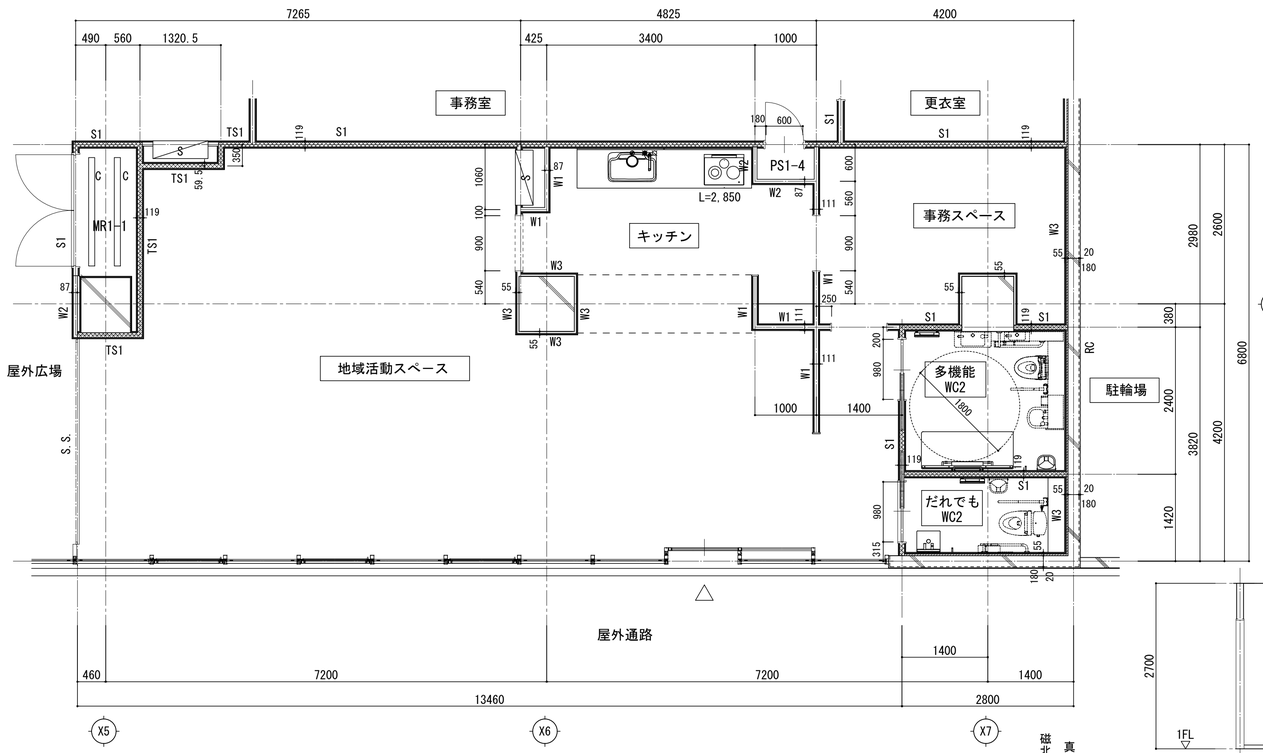
真北

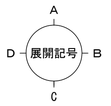
明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	建築工事	最終版 2025. 02. 28
	26	屋内避難階段詳細図 A1 1:50 A3 1:100	更積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

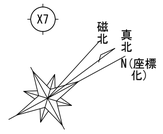
(2023年版)

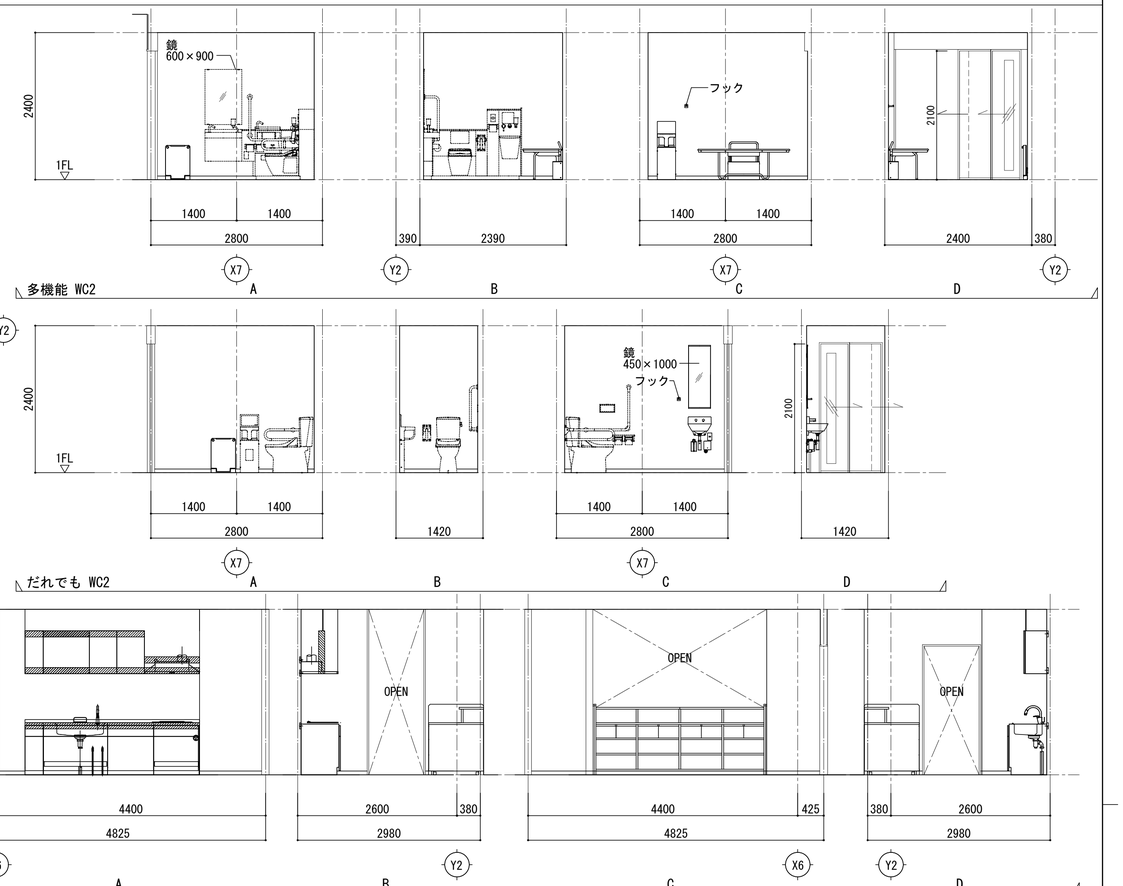
20230220

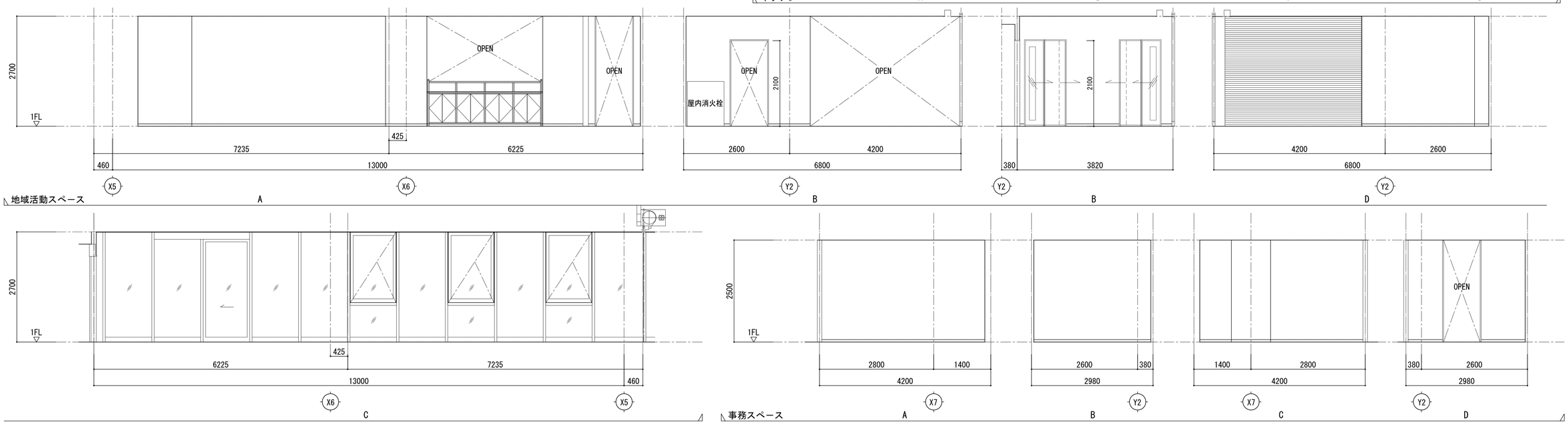
1階　地域活動スペース、多機能 WC2、だれでも WC2







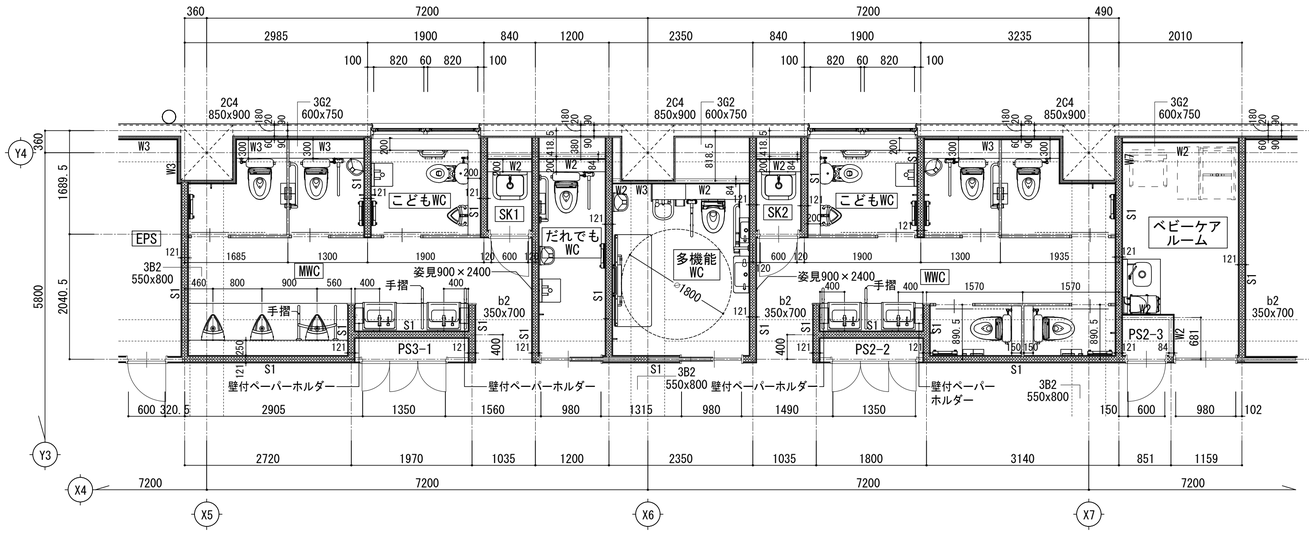




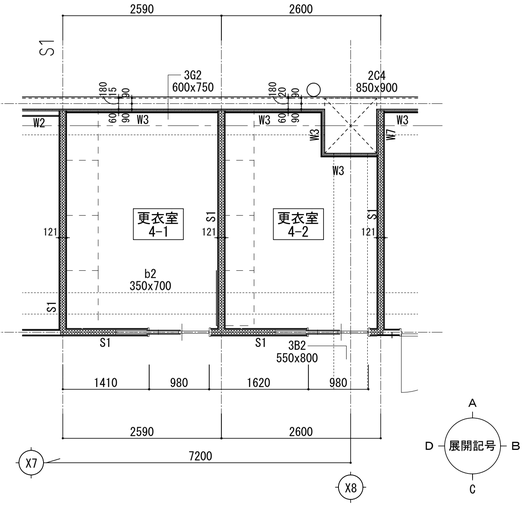
明石市政策局　プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	A	建築工事	最終版　2025. 02. 28
	27	地域活動スペース廻り詳細図 兼展開図　A1　1: 50 A3　1:100	見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

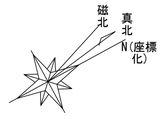
20230220

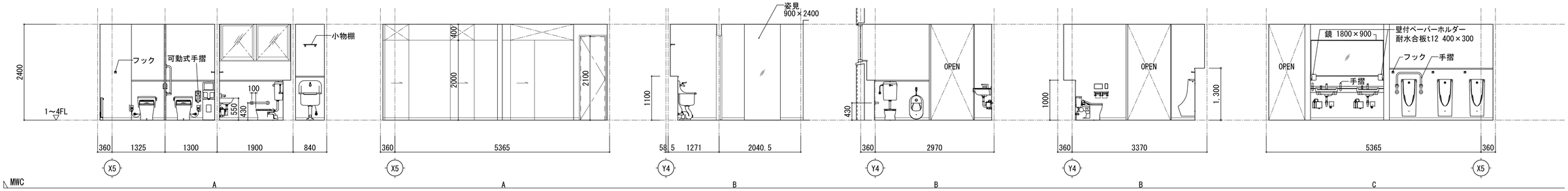


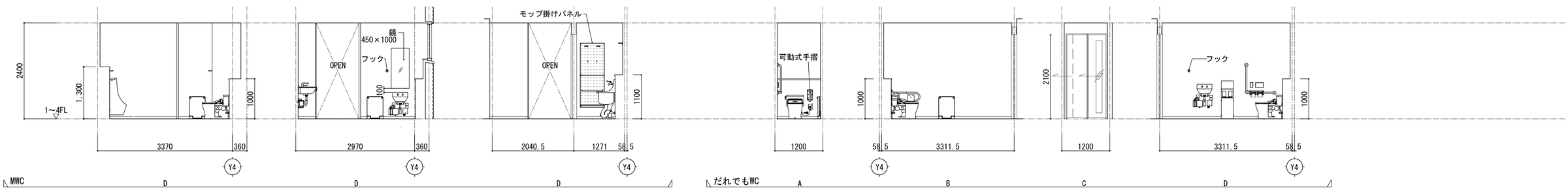
2～4階　平面詳細図　1:50

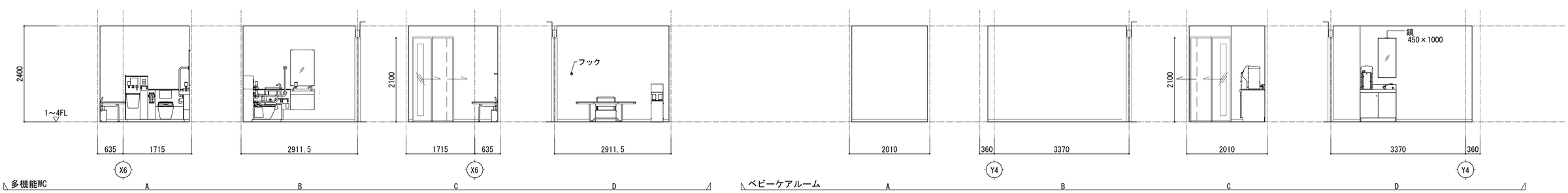


4階　平面詳細図　1:50





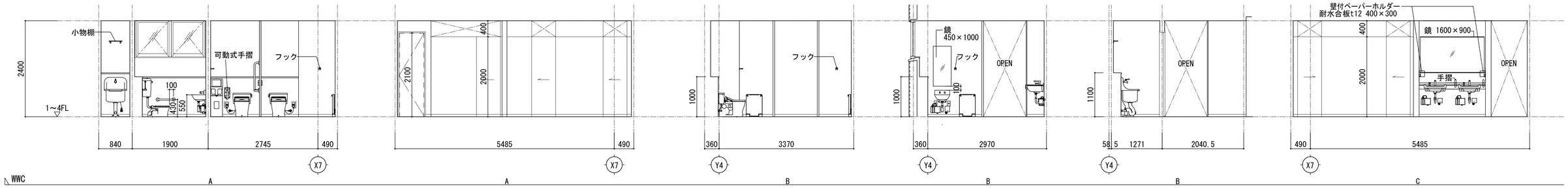


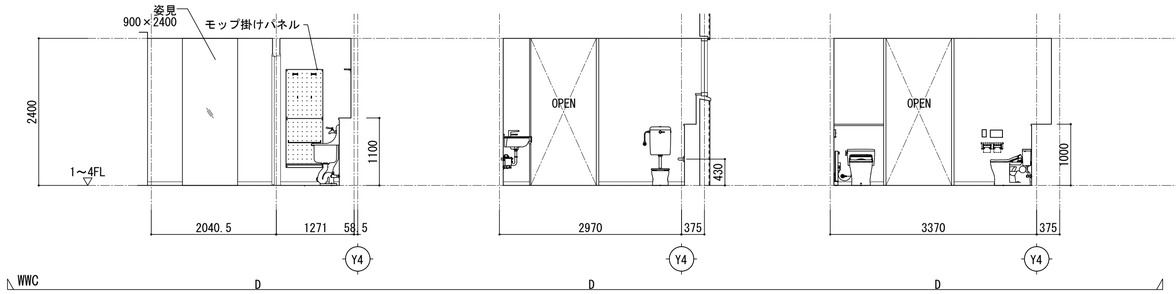


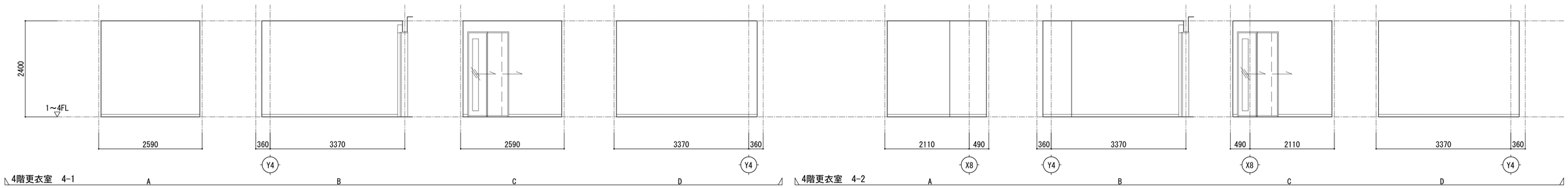
明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto　建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	A	建築工事	最終版　2025. 02. 28
	28	便所詳細図兼展開図(1)　A1　1:50　A3　1:100	見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

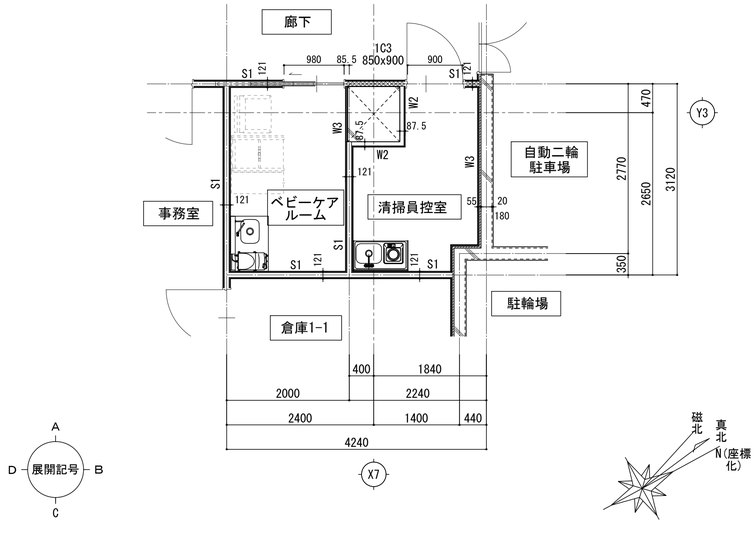
20230220

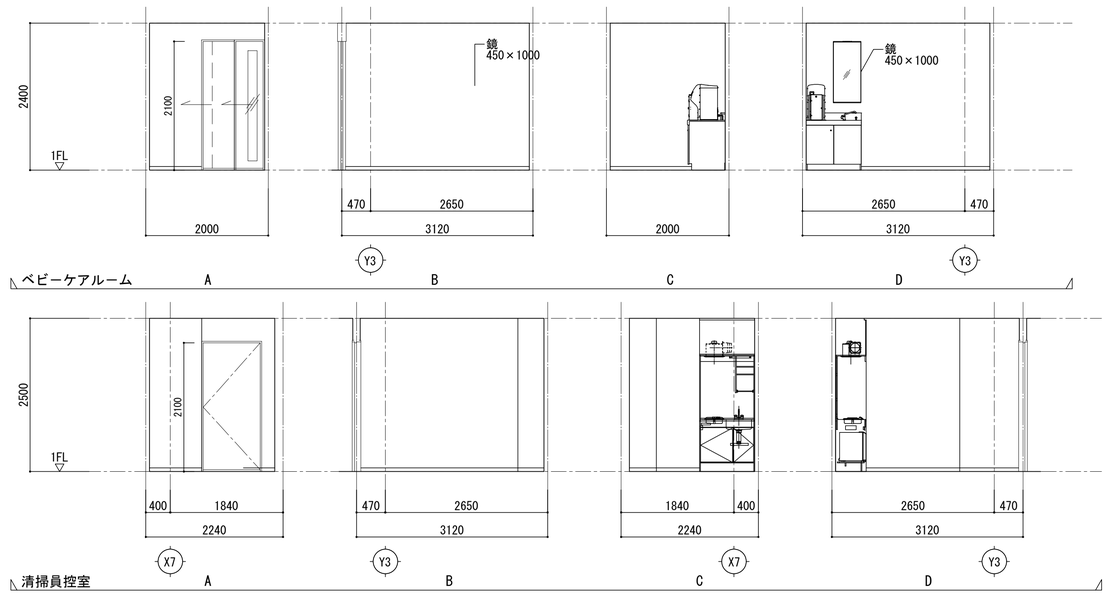






1階　ベビーケアルーム・清掃員控室





明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	建築工事	最終版 2025. 02. 28
	29	便所詳細図兼展開図(2) A1 1:50 A3 1:100	見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

FL+2500 平面詳細図

倉庫 4-9 | MR 4-1 | 倉庫 4-10 | 廊下 | MR 4-2 | MR 4-3 | 倉庫 4-11 | MR 4-4 | 倉庫 4-2

倉庫 4-12

フリースペース

多目的ホール 1

多目的ホール 2

倉庫 4-3

倉庫 4-※

倉庫 4-8

トレーニングエリア

倉庫 4-7 | MR 4-5 | 倉庫 4-6 | MR 4-6 | MR 4-7 | 倉庫 4-5 | MR 4-8 | 倉庫 4-4

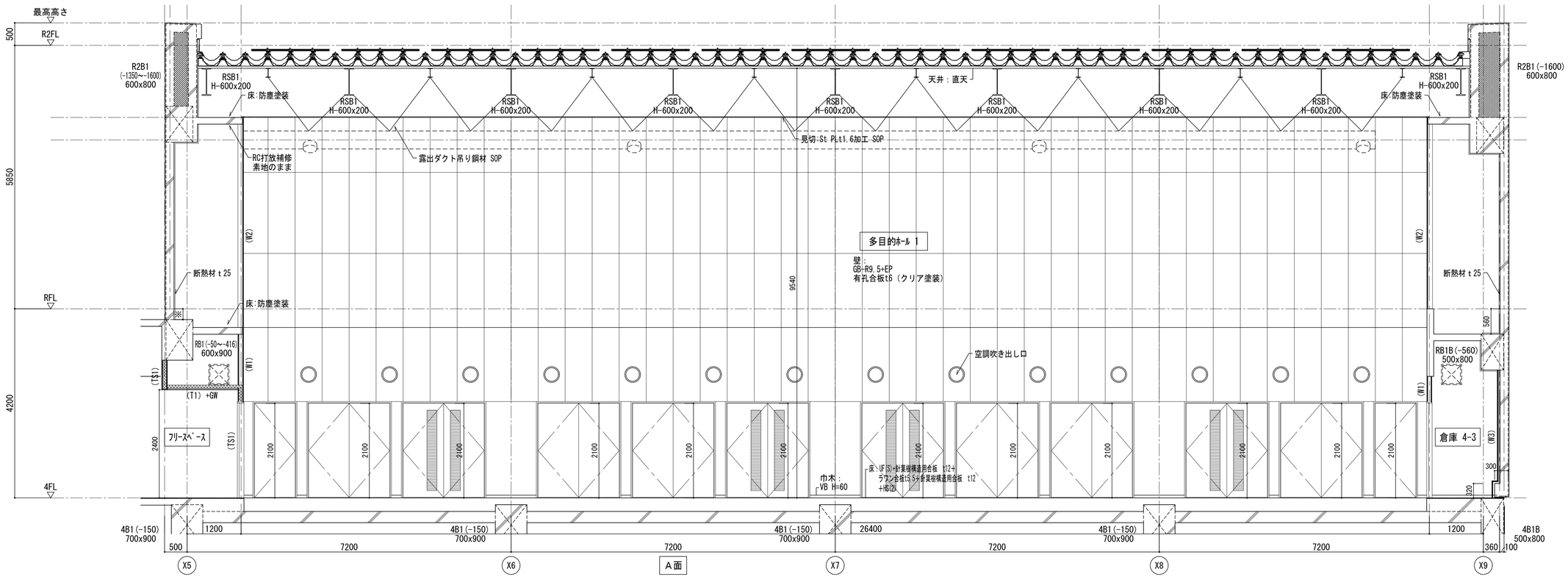
▽道路境界線

4階　多目的ホール平面詳細図

明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	建築工事 最終版 2025. 02. 28
	30	多目的ホール平面詳細図 A1 1:50 A3 1:100 見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所 最終契約版

（2023年版）

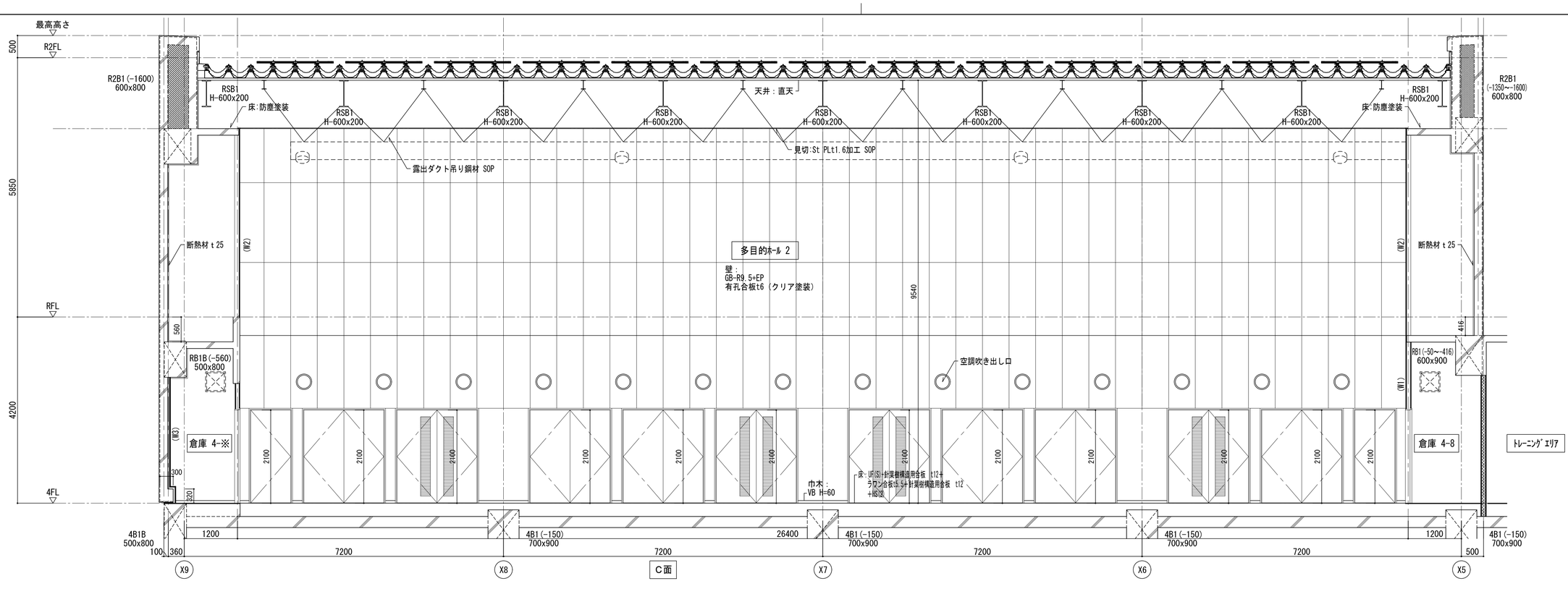
20230220

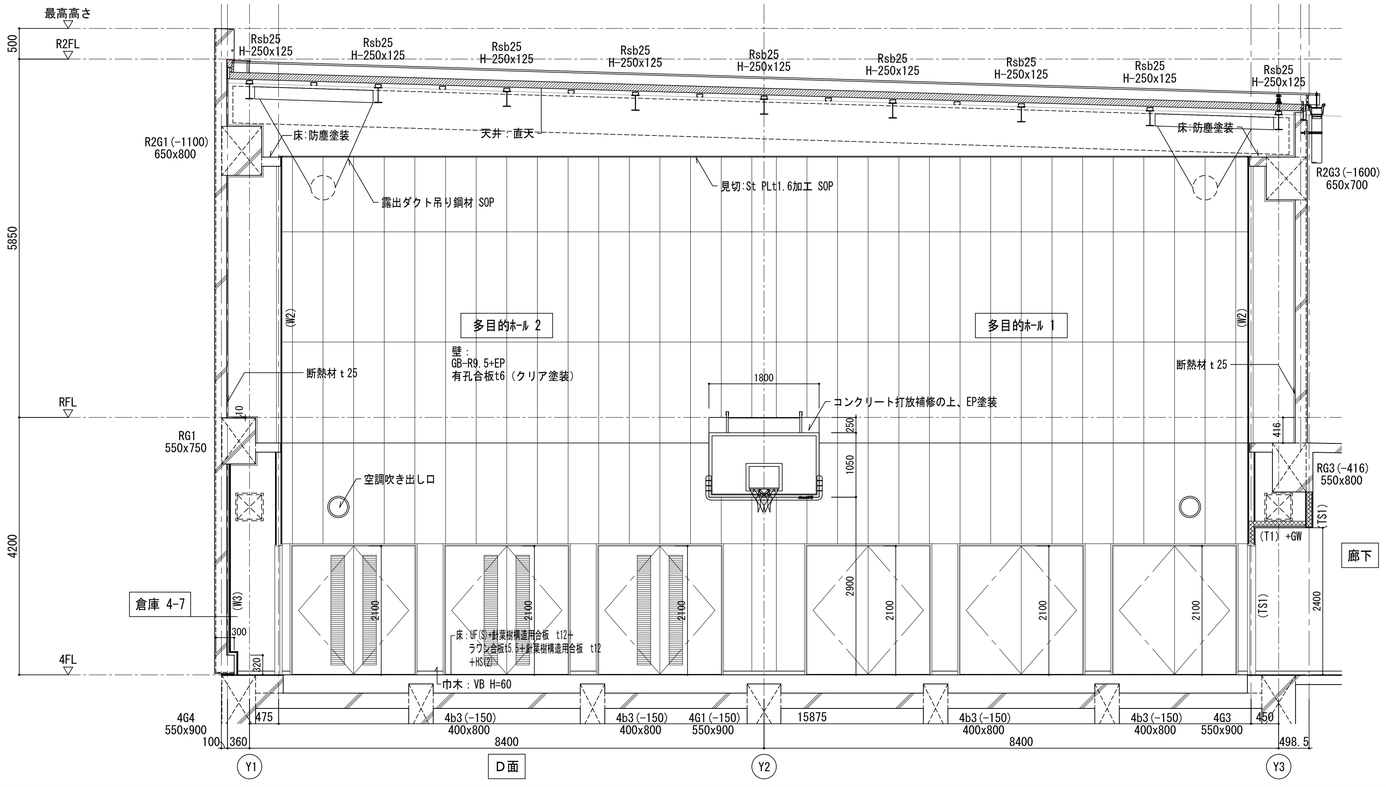


明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	建築工事	最終版 2025. 02. 28
	31	多目的ホール展開図(1) A1 1:50 A3 1:100	見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

(2023年版)

20230220

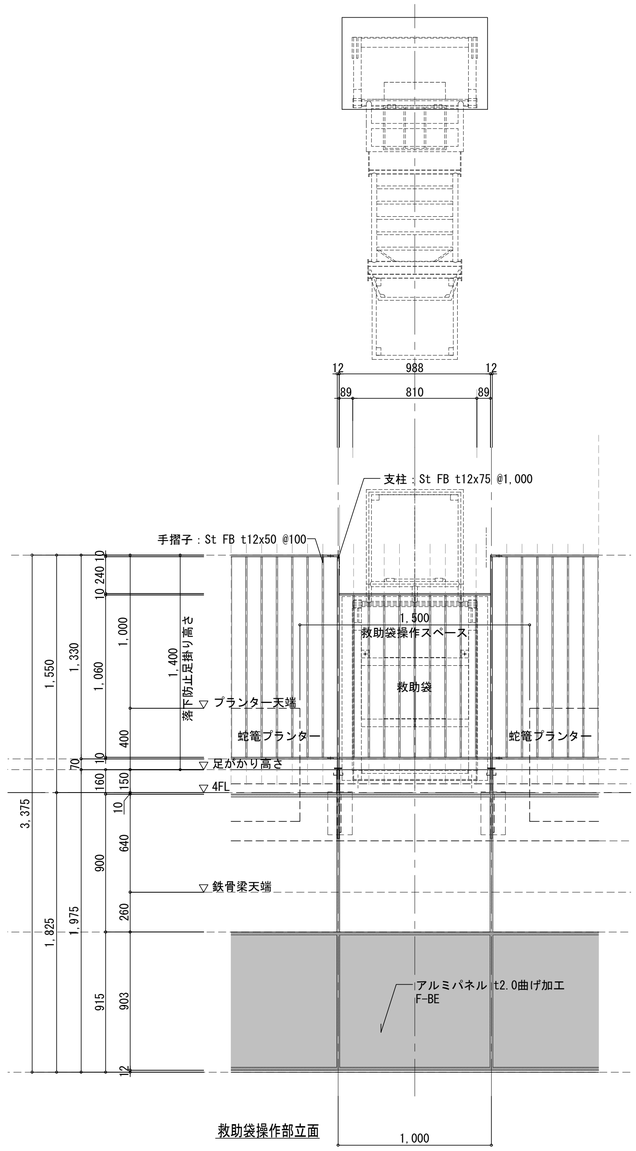


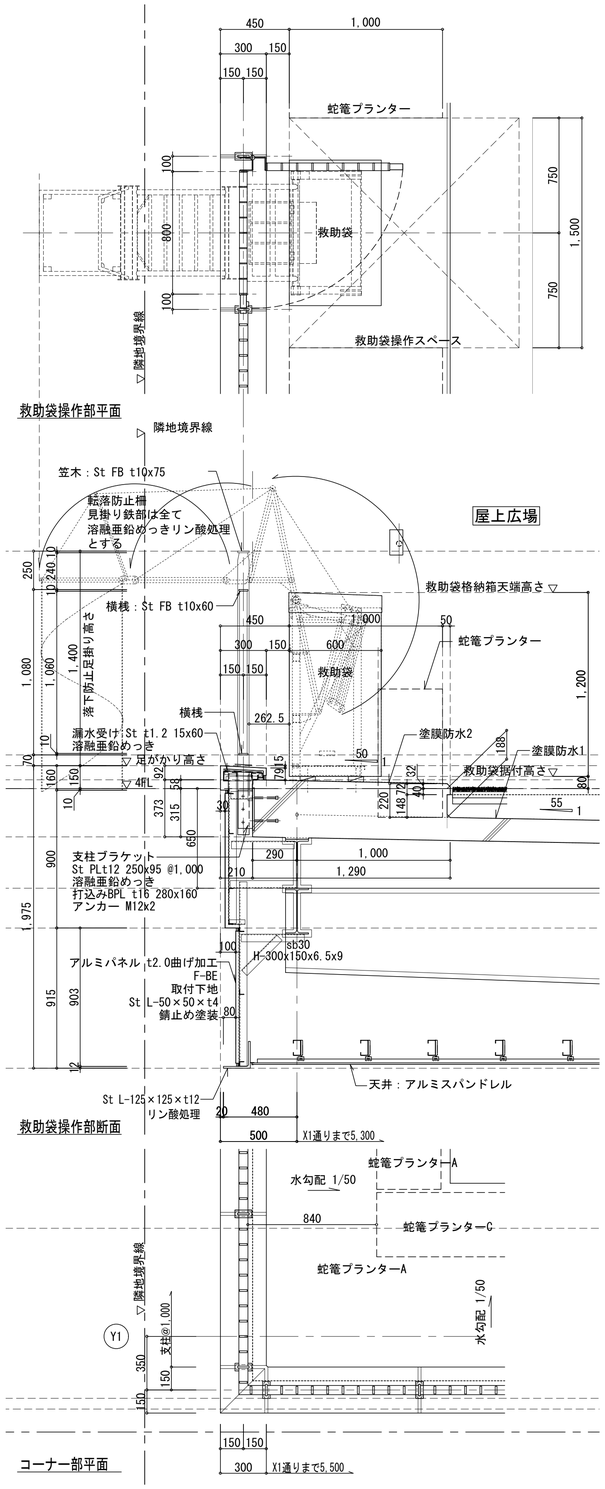


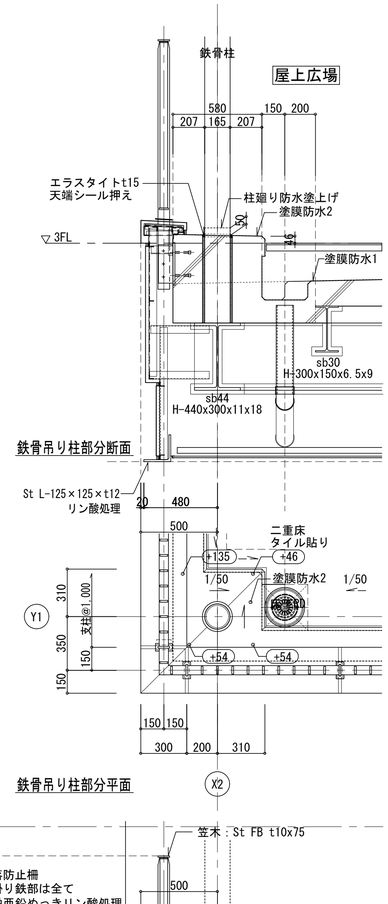
明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	建築工事	最終版 2025. 02. 28
	32	多目的ホール展開図(2) A1 1:50 A3 1:100	見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

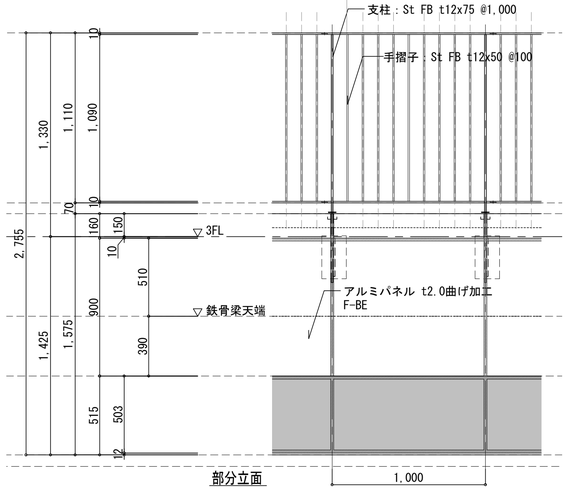
01 | 4階屋上広場廻り部分詳細図 | －

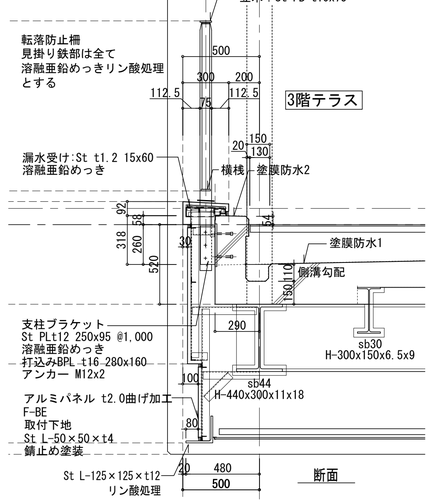
02 | 3階吊りテラス廻り部分詳細図 | －











特記								

明石市政策局 プロジェクト推進室

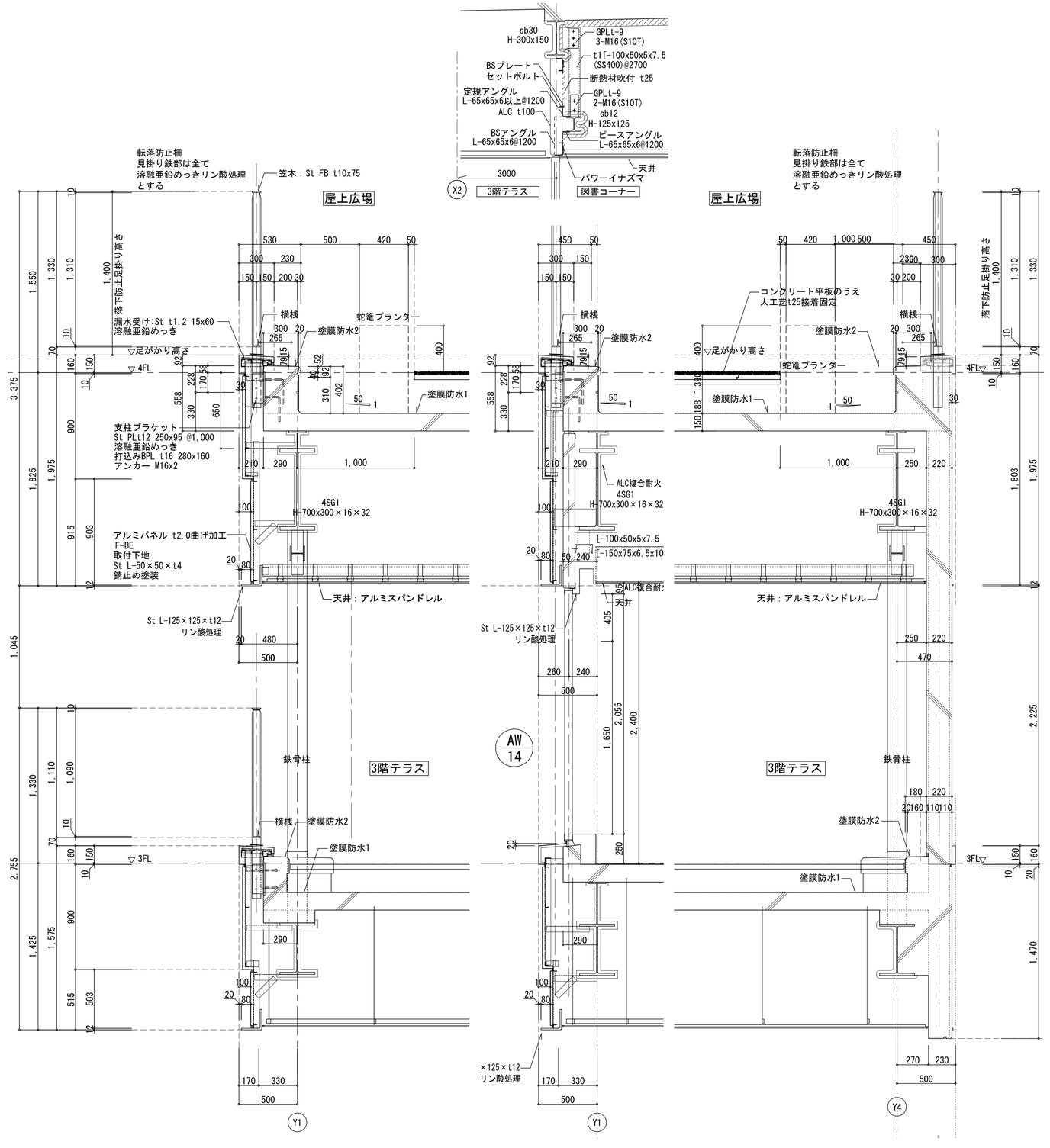
<代表設計者> 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号
森 雅章

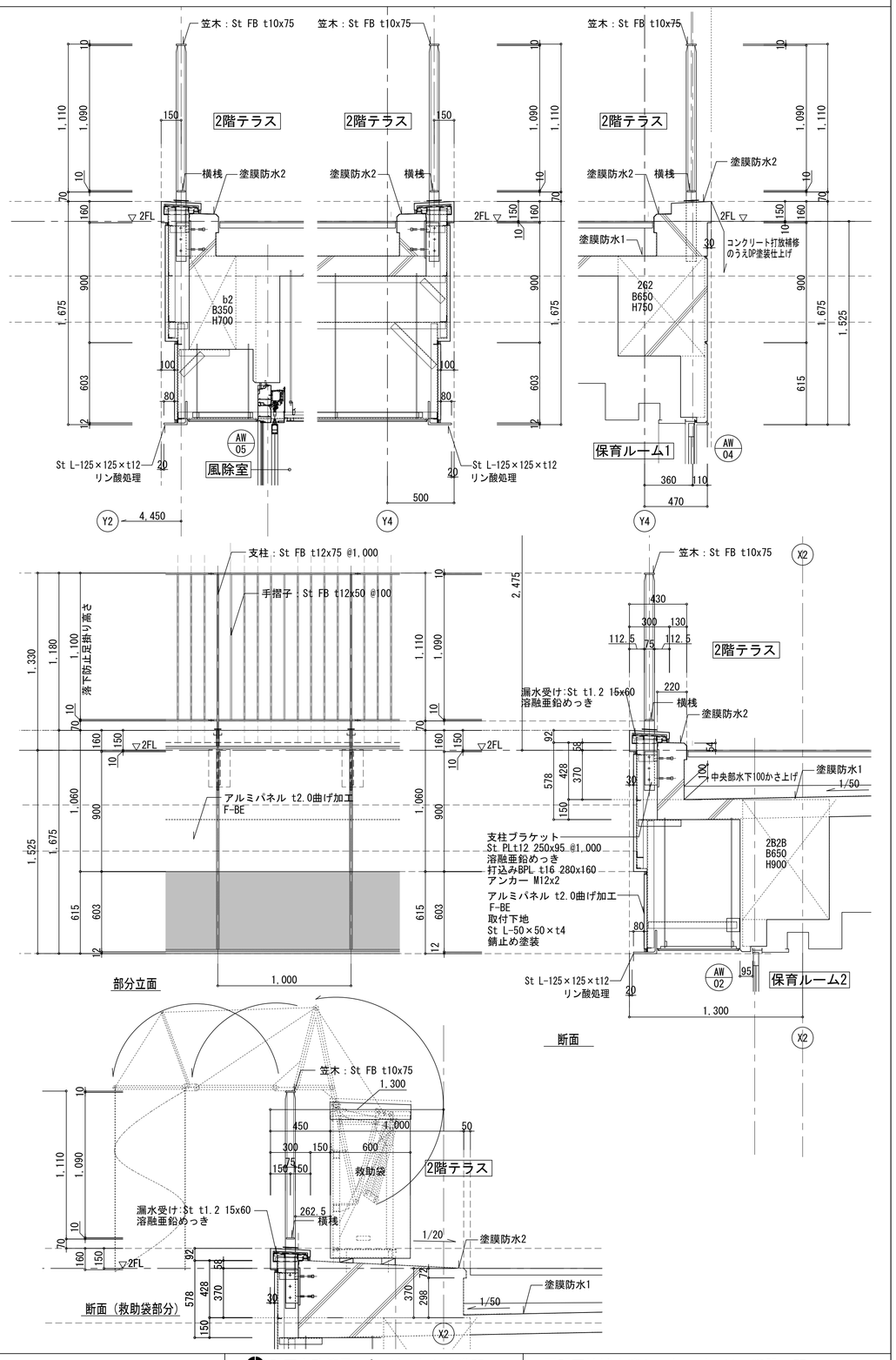
西明石地域交流センター icotto 建設工事

A	建築工事	最終版	2025.02.28
33	部分詳細図(1) 1/20(A1) 1/40(A3)	見積版	2024.12.16
	安井建築設計事務所	最終契約版	

(2023年版)

20241120作図





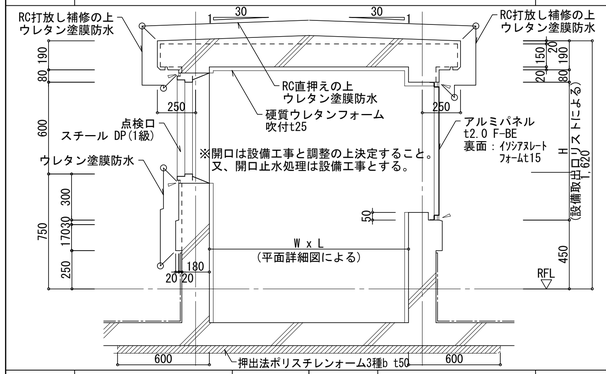
特記								

明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
<代表設計者> 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	建築工事	最終版 2025.02.28
	34	部分詳細図(2) 1/20(A1) 1/40(A3)	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

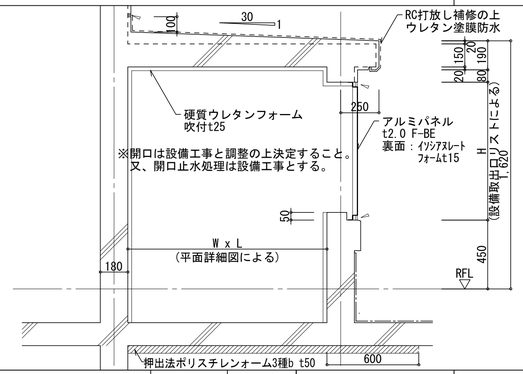
(2023年版)

20241120作図

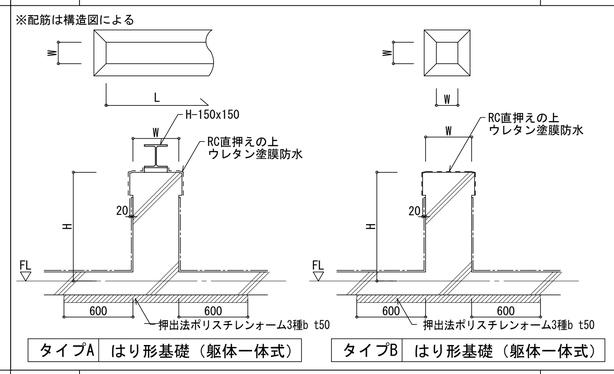
設備取出口（独立） 1:20



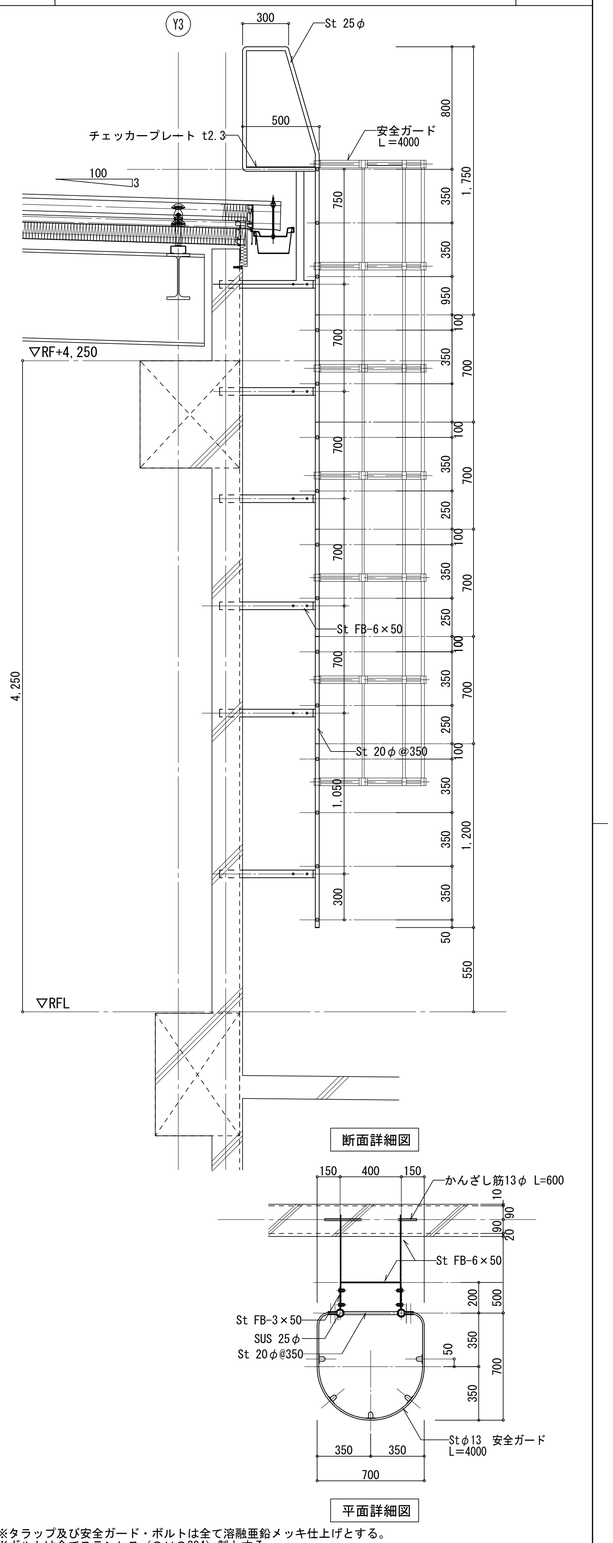
設備取出口（壁付け） 1:20



屋外機械基礎（大）H>300 1:20

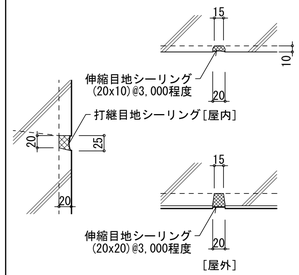


屋上タラップ 1:20

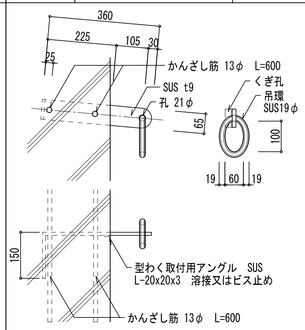


※タラップ及び安全ガード・ボルトは全て溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
※ボルトは全てステンレス（ＳＵＳ304）製とする。

外壁RC誘発目地 1:5

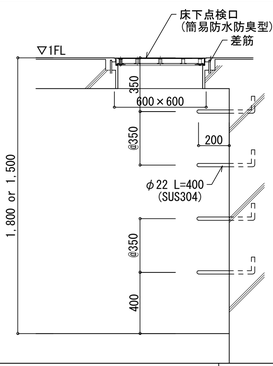


丸環 1:10

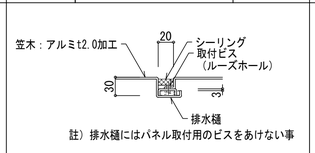


註記：丸環ピッチは、@3,000程度とする。

床下点検口・タラップ 1:20

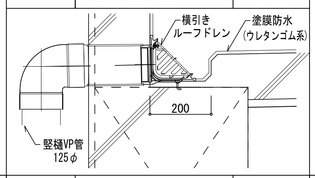


笠木ジョイント部詳細 1:5

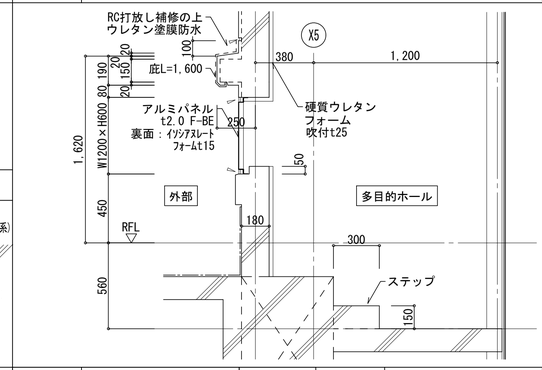


註）排水樋にはパネル取付用のビスをあけない事

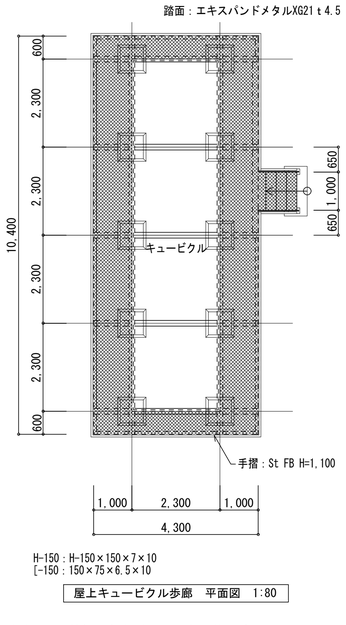
屋上側溝詳細 1:10



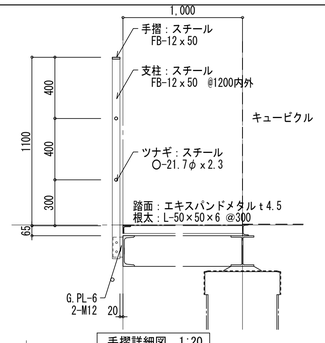
ダクト設備開口 1:20



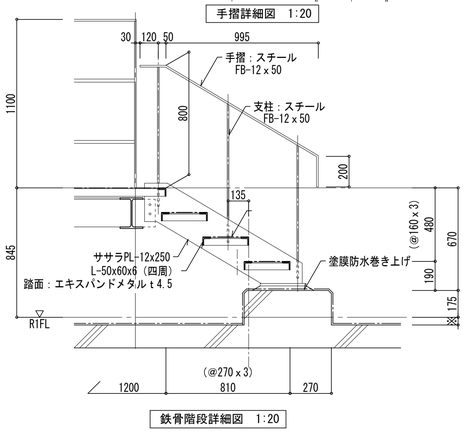
屋上キュービクルメンテナンス歩廊 1:20



屋上キュービクル歩廊 平面図 1:80



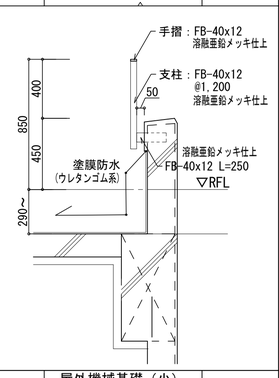
手摺詳細図 1:20



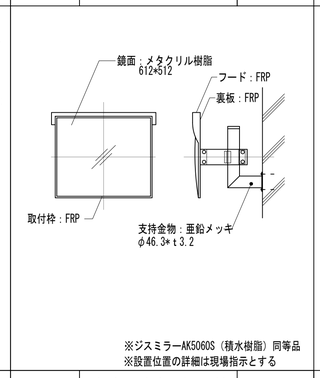
鉄骨階段詳細図 1:20

※特記なき限り、鉄部は溶融亜鉛メッキ処理仕上げ

屋上落下防止手摺 1:20

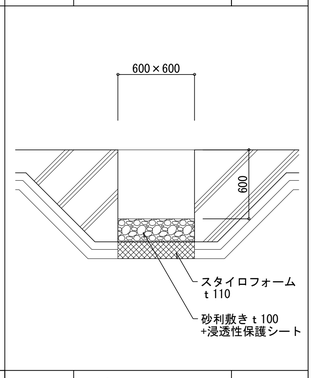


カーブミラー1 1:20



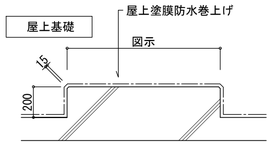
※ジスミラーAK5060S（積水樹脂）同等品
※設置位置の詳細は現場指示とする

釜場（浸透型） 1:20

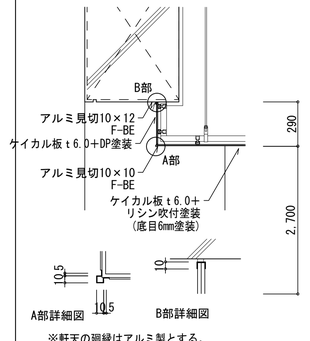


屋外機械基礎（小） H≦300 1:20

※配筋は構造図による

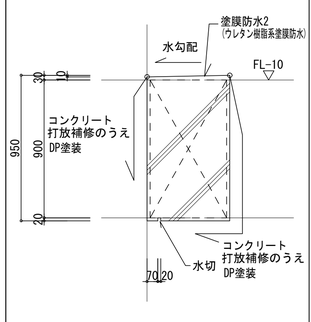


軒裏・垂壁取合い詳細 1:20



※軒天の廻縁はアルミ製とする。

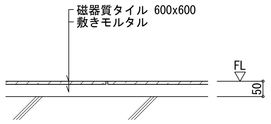
外部RC梁 1:20



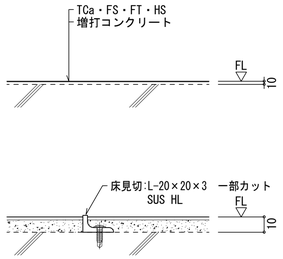
明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	建築工事	最終版 2025.02.28
	35	部分詳細図(3) A1 図示 A3 図示	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

20230220

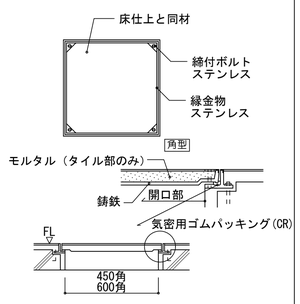
床　磁器質タイル　1:10



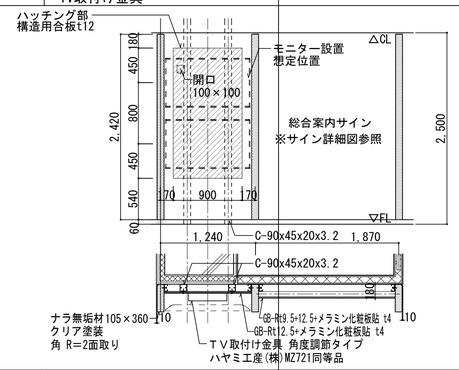
床　TCa・FS・FT・HS　1:10　1:2



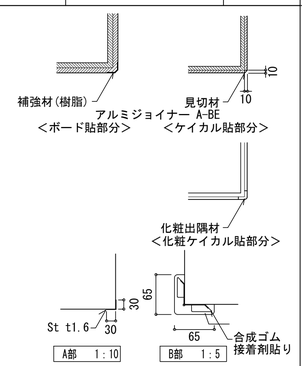
床下点検口（密閉型）　1:20



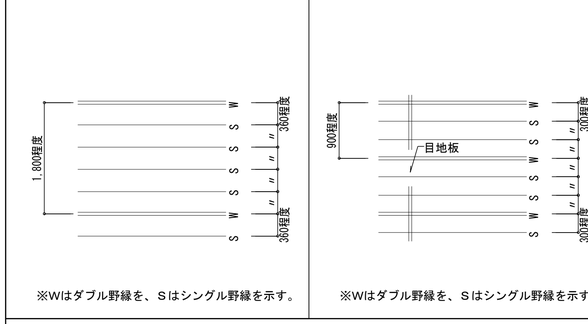
TV壁掛け用下地補強　TV取付け金具　1:40



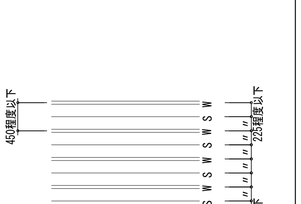
出隅壁　1:10



天井点検口　1:20



軽量鉄骨下地仕様　-



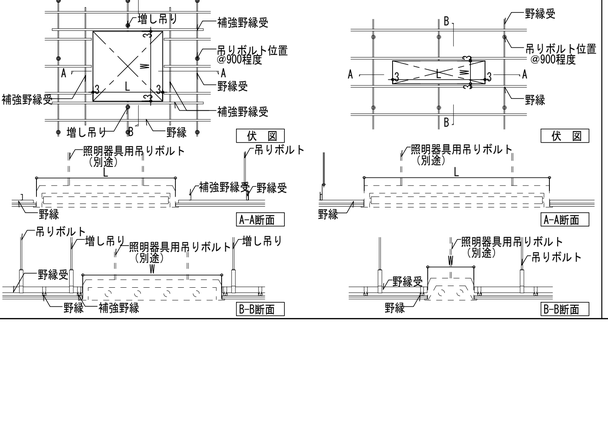
仕様

部材表			
H（m）	種類	スタッド ⊏	ランナー ⊔
H≦4.0	65形	65x45x0.8	67x40x0.8
	90形	90x45x0.8	92x40x0.8
4.0＜H≦5.0	100形	100x45x0.8	102x40x0.8

原則、65形とする。

スタッドの間隔 P（mm）	
片面にボード２枚以上張の場合	450
片面にボード　１枚張の場合	300

軽量鉄骨壁下地開口部補強要領　1:50



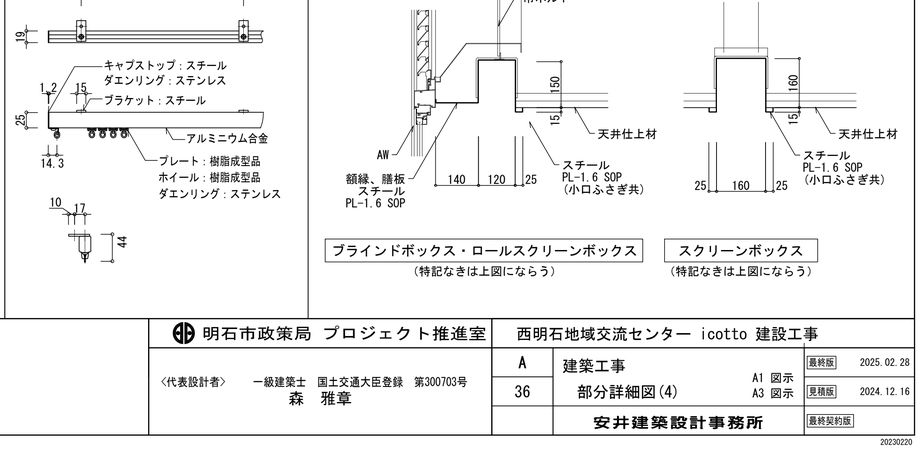
仕様

部材表	
H（m）	補強部材
H≦4.0	⊏-60x30x10x2.3
4.0≦H≦4.5	⊏-75x45x15x2.3
4.5≦H≦5.0	⊟-75x45x15x2.3

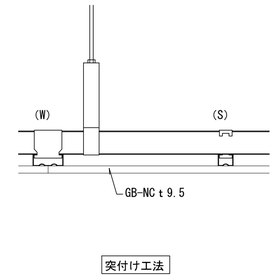
補強部材取付金物	
補強部材	取付金物
⊏-60x30x10x2.3	L-30x30x3
⊏-75x45x15x2.3	L-50x50x4
⊏-100x50x20x2.3	

*本図に示す開口補強は各工種に含むものとする。

図書返却口　1:20



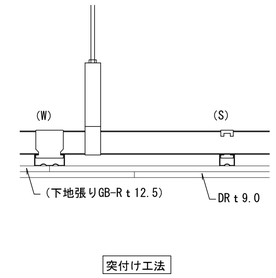
GB-NC　1:5



突付け工法

※Wはダブル野縁を、Sはシングル野縁を示す。

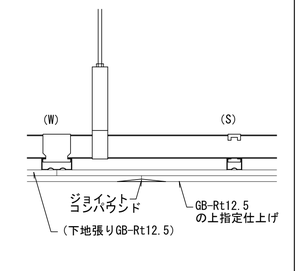
DR　1:5



突付け工法

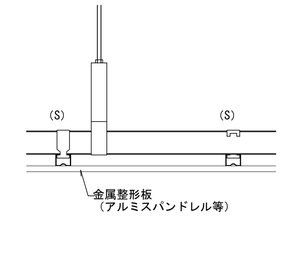
※Wはダブル野縁を、Sはシングル野縁を示す。

GB-R　1:5



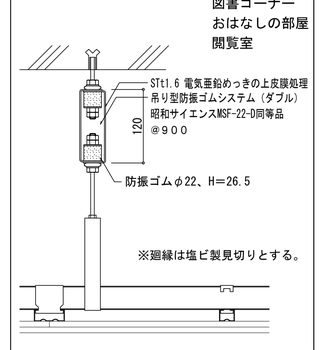
※Wはダブル野縁を、Sはシングル野縁を示す。

金属成形品　1:5

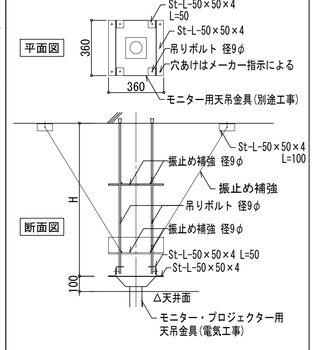


※Wはダブル野縁を、Sはシングル野縁を示す。

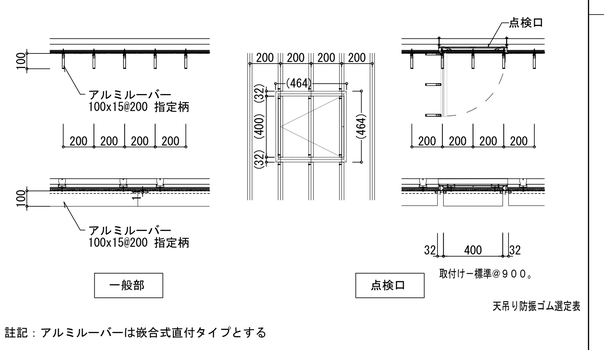
3階 吊り型防振天井　1:5



プロジェクター取付下地　1:5



直付けルーバー　1:20



註記：アルミルーバーは嵌合式直付タイプとする

軽量鉄骨天井下地

下地張りのある場合（ボード寸法900×1,800程度）

※Wはダブル野縁を、Sはシングル野縁を示す。

軽量鉄骨天井下地

下地張りのある場合（ボード寸法900×1,800、900×900程度）

※Wはダブル野縁を、Sはシングル野縁を示す。

軽量鉄骨天井下地

下地張りのある場合（ボード類の一辺の長さ≦450）

※Wはダブル野縁を、Sはシングル野縁を示す。

軽量鉄骨天井下地　1:10,1:20

※1 補強野縁は野縁と、補強野縁受は野縁受と同材とする。
※2 野縁受のはね出しが300mm以上の場合は、増し吊りを 設ける。

野縁を切断する場合

野縁を切断しない場合

天井直付けカーテンレール　1:5

ブラインドボックス・ロールスクリーンボックス・スクリーンボックス　1:10

ブラインドボックス・ロールスクリーンボックス
（特記なきは上図にならう）

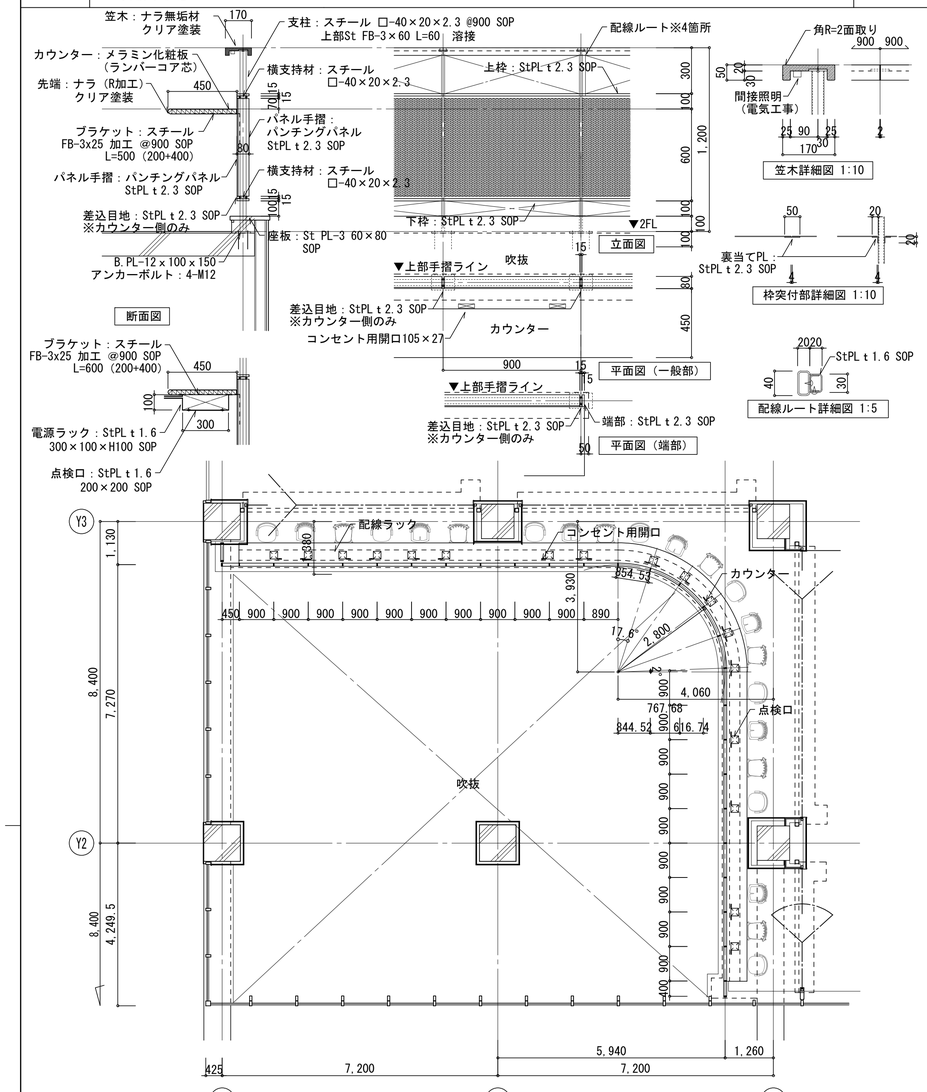
スクリーンボックス
（特記なきは上図にならう）

明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
<代表設計者> 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	建築工事	最終版 2025.02.28
	36	部分詳細図(4) A1 図示 A3 図示	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

20230220

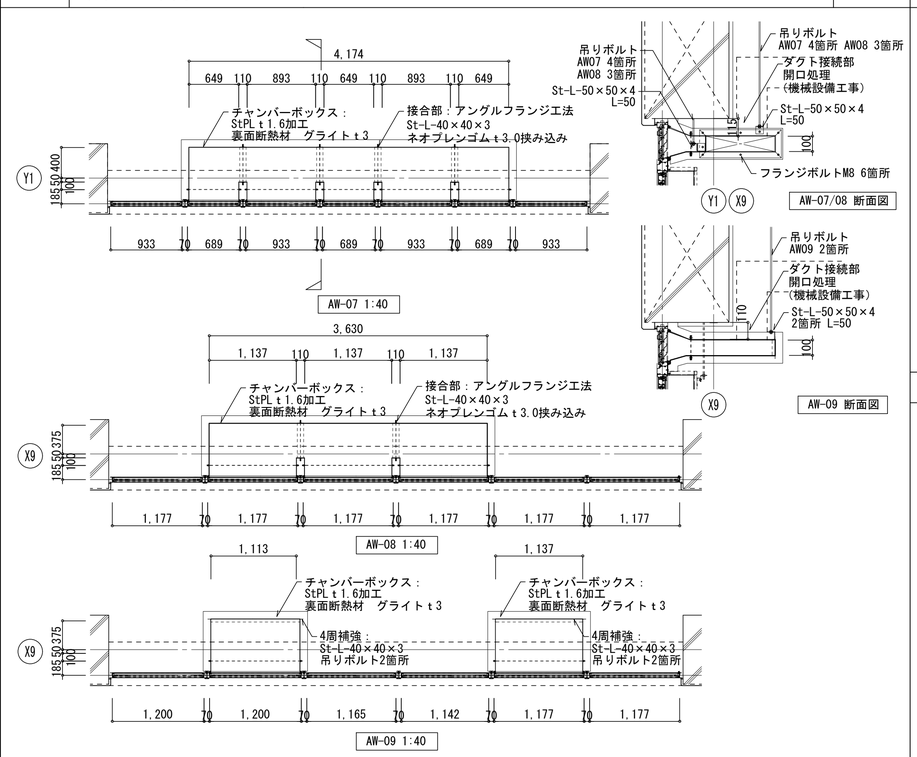
2F吹抜け手摺 1:20



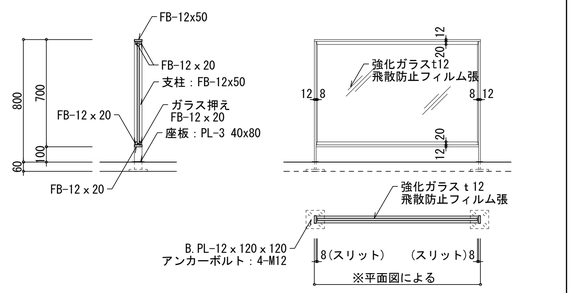
※吹抜の曲線部は曲率に合わせて曲面加工を行うこと
※パンチングパネルは開口率5%とする

カウンター手摺平面図 1:80

チャンバーボックス 1:20

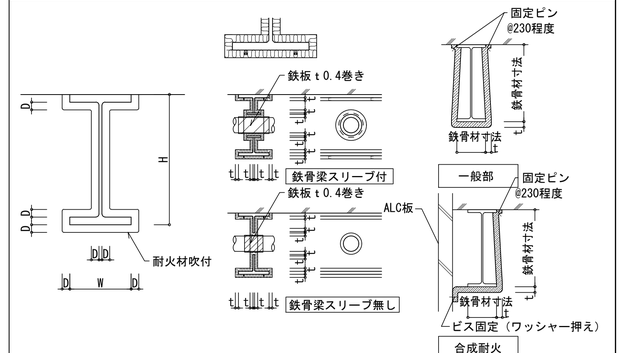


自動ドア誘導桷 1:20

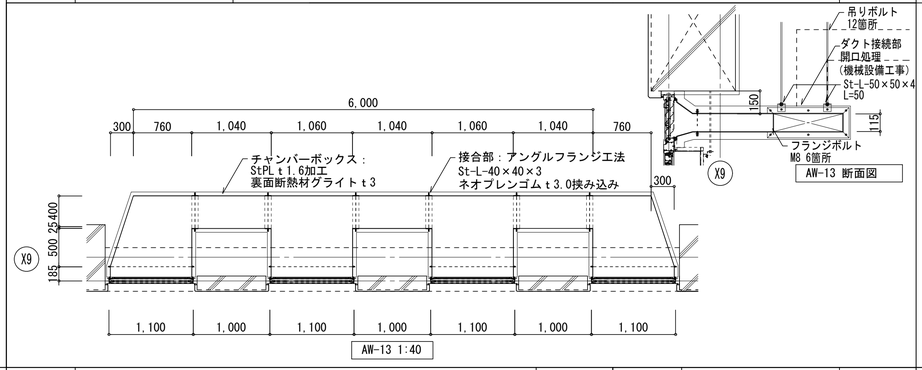


※鋼材は全てステンレスとしSSB仕上とする。

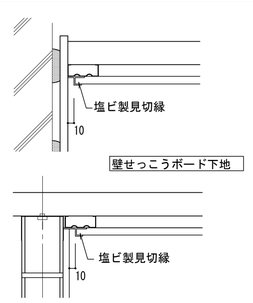
梁耐火被覆（半湿式・巻き付けタイプ） -



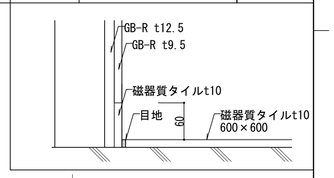
チャンバーボックス 1:20



壁-天井取り合い図 1:5

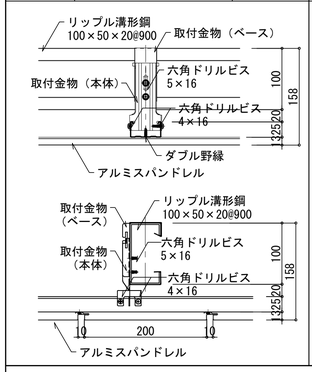


風除室巾木詳細図 1:5

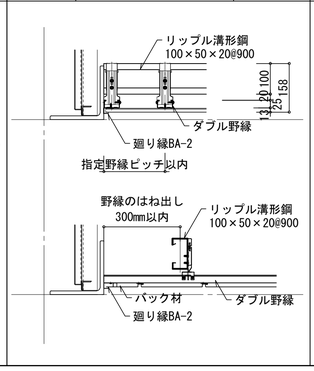


※ 壁取合い部の野縁種別は、天井下地張りのない場合は、ダブル野縁（W）、天井下地張りのある場合シングル野縁（S）を使用する。

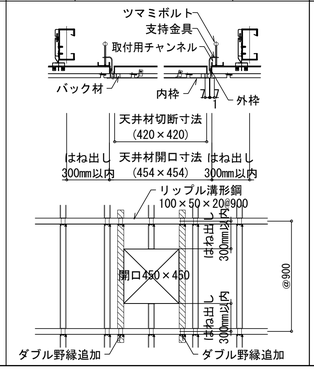
3F軒裏詳細図 1:5



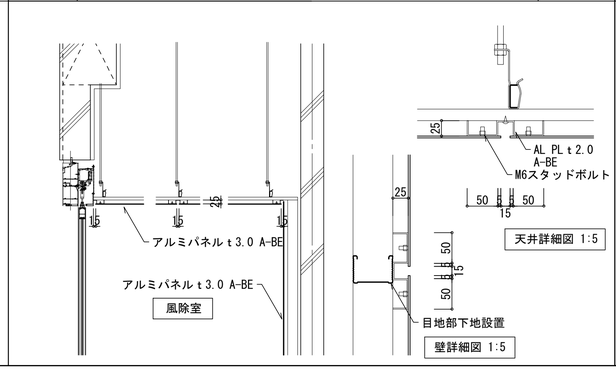
3F軒裏端部詳細図 1:10



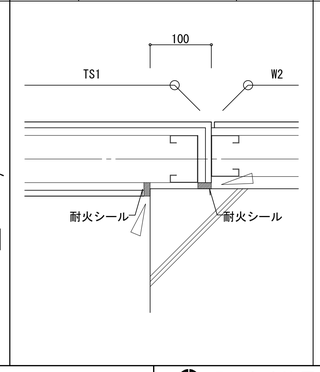
3F軒裏点検口詳細図 1:10



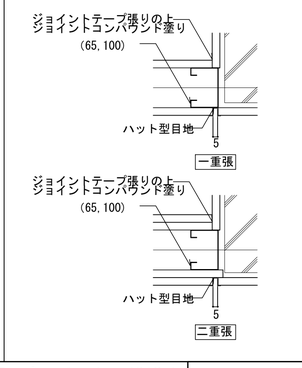
アルミカットパネル壁・天井 1:20



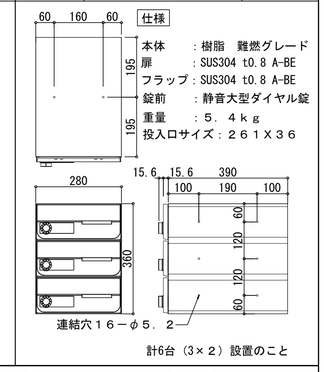
TS1・RC柱取合い 1:5



壁取合い（ハット型目地） 1:5



郵便ポスト 1:10

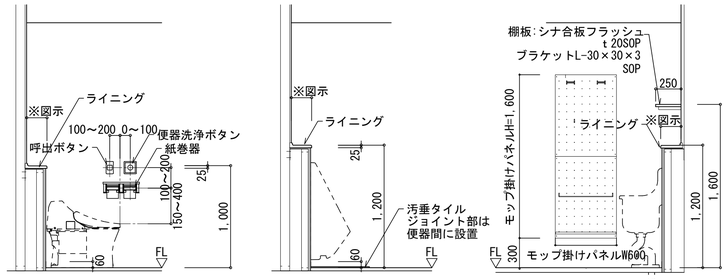


明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A 建築工事 / 37 部分詳細図(5) / A1 図示 A3 図示 / 最終版 2025.02.28 / 見積版 2024.12.16 / 安井建築設計事務所 / 最終契約版

（2023年版）

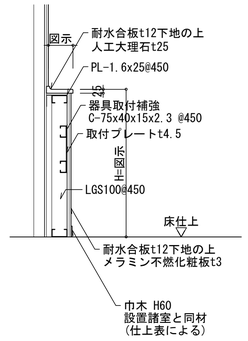
20230220

大便器・小便器・SK廻り　1:30

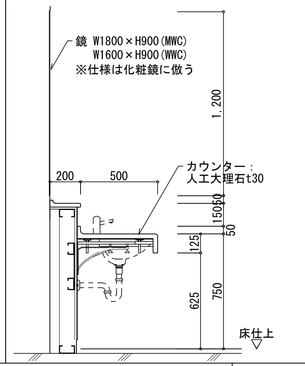


大便器廻り（乾式）　小便器廻り（乾式）　SK器廻り（乾式）

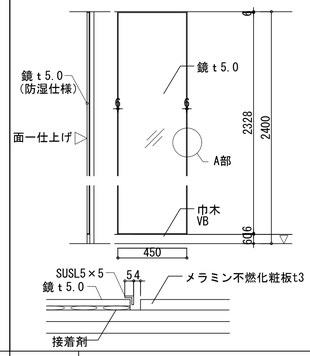
トイレ　ライニング　1:20



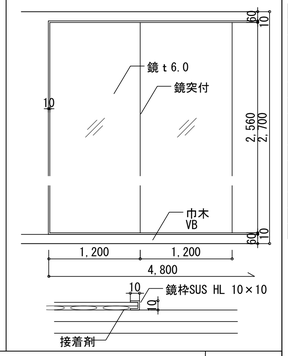
トイレ　洗面　1:20



化粧鏡詳細図　1:10



多目的室4鏡張り　1:10

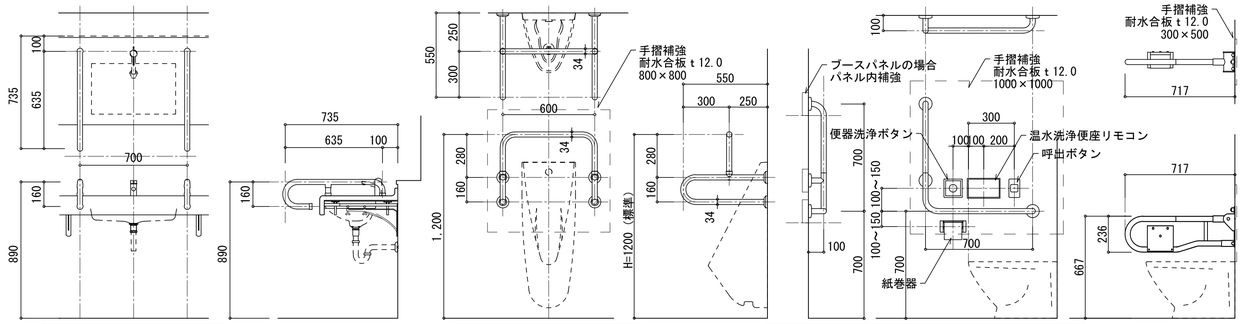


調乳器　1:40

No.	名　称	数量	仕　様
1	調乳カバーセット	1	PRS CH22 WH 同等品
2	キャビネット本体	1	メラニン化粧板
			カウンタートップ：メラニン化粧合板
			シンク：ステンレス
3	トレイ	1	
4	水切り蓋	1	
5	調乳用温水器	1	W280×D451×H583
			表面材/銅（防錆処理）、ABS樹脂
6	浄水器組	1	WP-M31LZ 同等品
7	フレキ管セット（L=700）	2	
8	水栓金具	1	三栄水栓 JA575-13　同等品
9	異型 ジョイント	1	三栄水栓 T25-5-20×13 同等品
10	エルボ	1	三栄水栓 T204-13　同等品

電源（定格電圧）	単相 100V
ヒータ 容量	1.5kW
電源プラグ	差込型/接地2P　125V/20A
推奨コンセント	パナソニックWK3821 WN19213
設定温度	72～81℃
発生熱量	5.4MJ/h
定格電流	15.0A
保有水量	14L
温水器質量	11kg
キャビネット本体質量	51kg
カバー質量	3kg
浄水器質量	2kg
製品重量	67kg（運転重量：81kg）

手摺　1:20



洗面用手摺（各一ヶ所）　小便器用手摺（各一ヶ所）　洋便器便器用手摺（各一ヶ所）+車椅子用便所用

仕　様

●手すり本体
表面材：軟質塩化ビニル樹脂（抗菌剤入）
芯　材：ステンレス鋼管SUS304
φ34　1.5ｔ

●ブラケット
ステンレス鋼板SUS304
4ｔ　バフ研磨仕上

●化粧カバー
ステンレス鋼板SUS304　バフ研磨仕上

●固定座金，止め輪
ステンレス鋼板SUS304

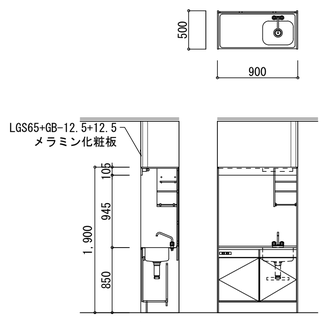
●Ｔジョイント部
表面材：ABS樹脂　クロムめっき仕上
内部材：グラスファイバー強化ＡＢＳ樹脂

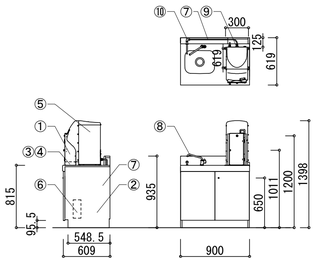
●ボルト，座金類
ステンレス製SUS304

●ガススプリング（上下可動式）
●取り付け下地一式
●下地補強耐水合板t12 300×500（取付部）

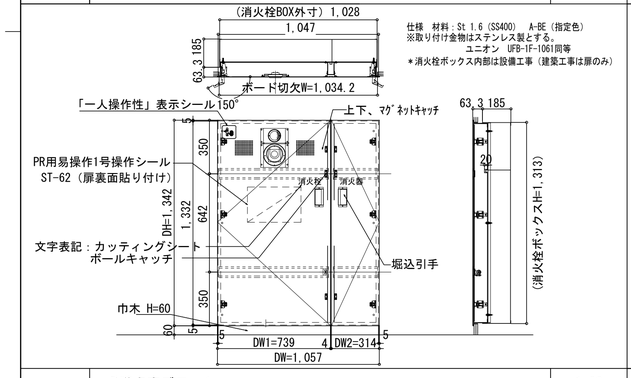
ミニキッチンW900　1:40

名　称	仕　様
シンク	ステンレス（SUS304）
排水トラップ	ごみ収納付排水トラップ
側板	化粧ケイカル板
扉	メラミン化粧板
丁番	スライド丁番
天板	化粧不燃合板
水切棚	ステンレス
水栓	ハンドル湯水混合水栓
ＬＥＤ照明	設備工事
電気温水器	設備工事
熱湯用水栓、混合栓	設備工事
換気扇	設備工事

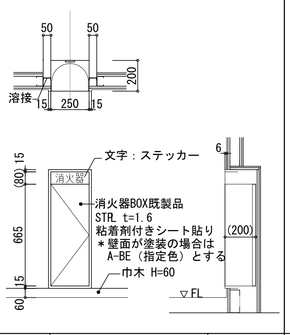




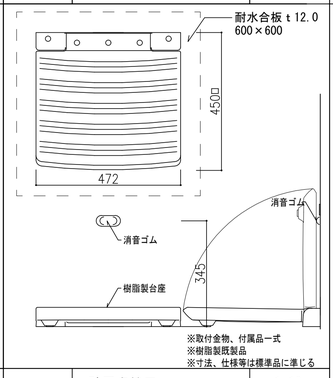
屋内消火栓ボックス扉　1:20



（LGS下地）　1:20

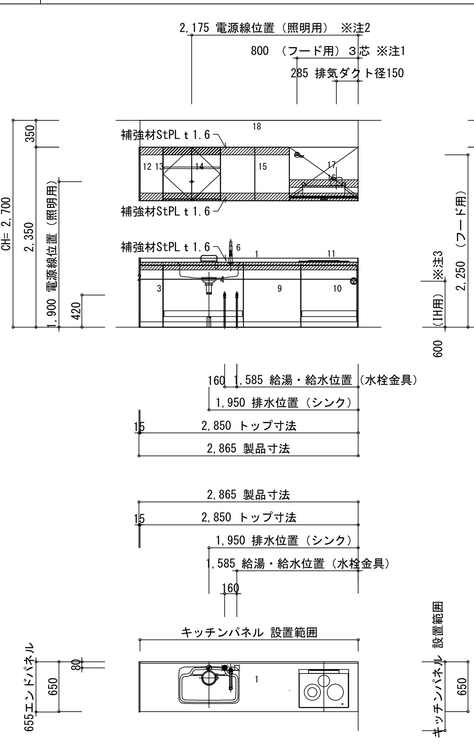


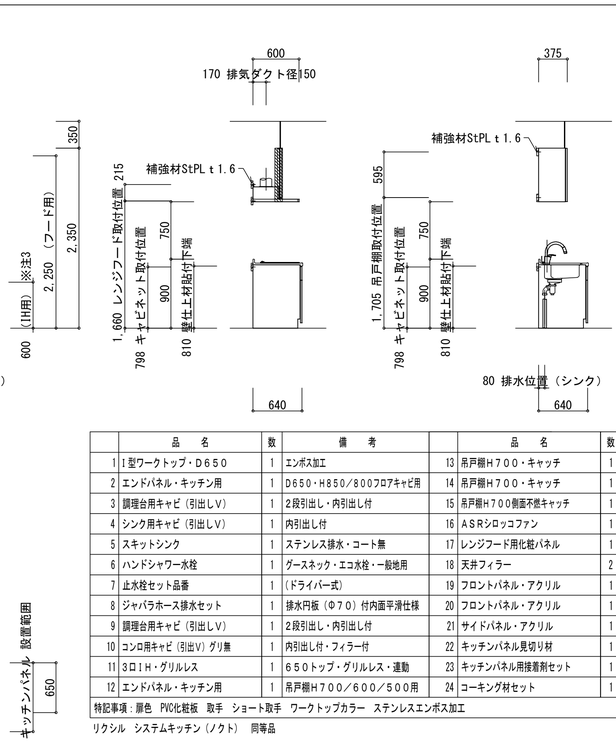
フィッティングボード　1:10



※取付金物、付属品一式
※樹脂製既製品
※寸法、仕様等は標準品に準じる

システムキッチン　1:40

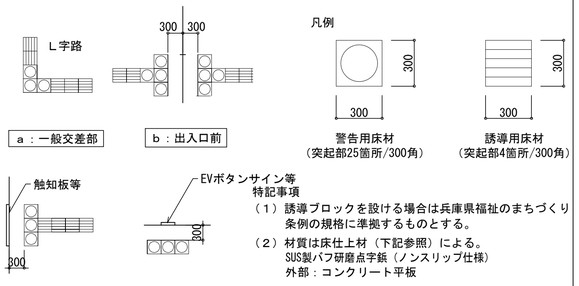




	品　名	数	備　考		品　名	数	備　考
1	I型ワークトップ・D650	1	エンボス加工	13	吊戸棚H700・キャッチ	1	開き扉
2	エンドパネル・キッチン用	1	D650・H850/800フロアキャビ用	14	吊戸棚H700・キャッチ	1	開き扉・LED照明付
3	調理台用キャビ（引出しV）	1	2段引出し・内引出し付	15	吊戸棚H700側面不燃キャッチ	1	開き扉
4	シンク用キャビ（引出しV）	1	内引出し付	16	ASRシロッコファン	1	W900・シルバー・右勝手・3芯
5	スキットシンク	1	ステンレス排水・コート無	17	レンジフード用化粧パネル	1	金具シルバー・扉カラー対応
6	ハンドシャワー水栓	1	グースネック・エコ水栓・一般地用	18	天井フィラー	2	H450・扉カラー対応
7	止水栓セット品番	1	（ドライバー式）	19	フロントパネル・アクリル	1	
8	ジャバラホース排水セット	1	排水円板（Φ70）付内面平滑仕様	20	フロントパネル・アクリル	1	
9	調理台用キャビ（引出しV）	1	2段引出し・内引出し付	21	サイドパネル・アクリル	1	
10	コンロ用キャビ（引出V）グリ無	1	内引出し付・フィラー付	22	キッチンパネル見切り材	1	サイド用2本入り・ホワイト
11	3口IH・グリルレス	1	650トップ・グリルレス・連動	23	キッチンパネル用接着剤セット	1	接着剤（3）・両面テープ（4）
12	エンドパネル・キッチン用	1	吊戸棚H700／600／500用	24	コーキング材セット	1	ホワイト
特記事項：扉色　PVC化粧板　取手　ショート取手　ワークトップカラー　ステンレスエンボス加工							

リクシル　システムキッチン（ノクト）　同等品

誘導点字ブロック　1:20



ａ：一般交差部　ｂ：出入口前

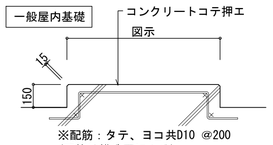
（１）誘導ブロックを設ける場合は兵庫県福祉のまちづくり条例の規格に準拠するものとする。

（２）材質は床仕上材（下記参照）による。
SUS製バフ研磨点字鈑（ノンスリップ仕様）
外部：コンクリート平板

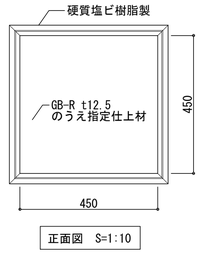
ｃ：総合案内　ｄ：EVホール

※誘導ブロックの色調については現場指示とする
※点字ブロックはコード化点字ブロックを監督員と

屋内基礎　1:20



壁用点検口　1:10



正面図　S=1:10

※扉のないPS全てに設置する。

明石市政策局　プロジェクト推進室

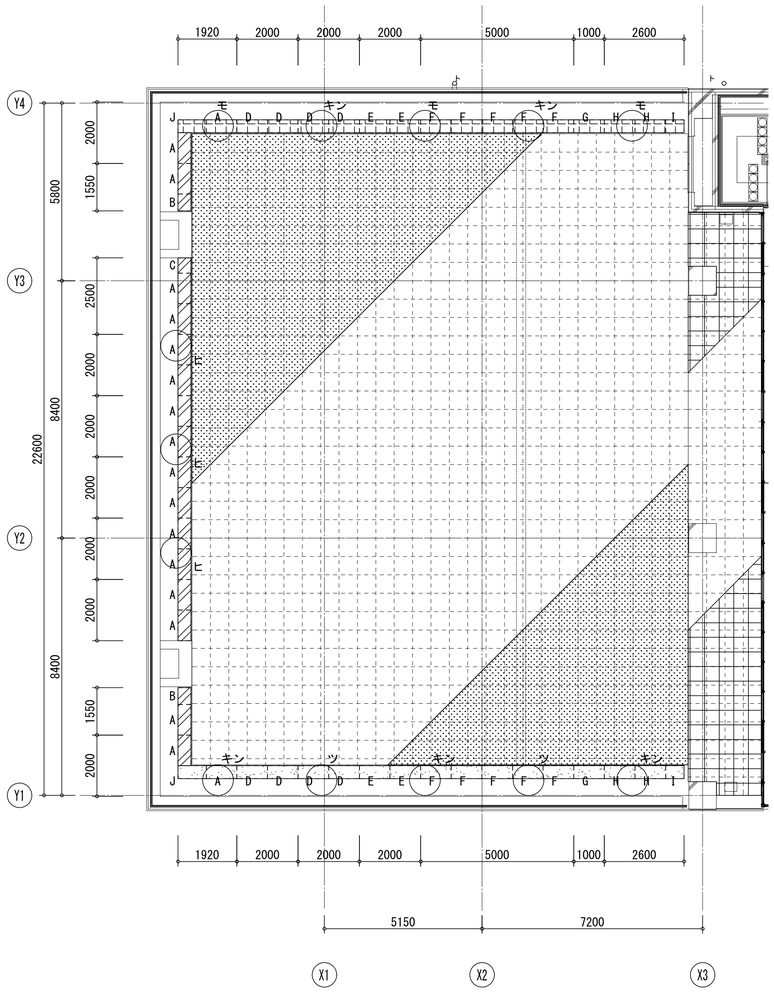
西明石地域交流センター　icotto 建設工事

〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号
森　雅章

A	建築工事	A1 図示	最終版　2025.02.28
38	部分詳細図(6)	A3 図示	見積版　2024.12.16
	安井建築設計事務所		最終契約版

20230220

屋上広場　植栽計画図　1:200



蛇篭プランターリスト

		数量	高さ	幅	長さ
本体	A	18	※	420	1000
	B	2	※	420	550
	C	1	※	420	500
	D	8	※	420	1000
	E	4	※	420	1000
	F	10	※	420	1000
	G	2	※	420	1000
	H	4	※	420	1000
	I	2	※	420	600
	J	2	※	420	920
側面		2	750	420	–
		6	750	420	–
固定PL		228	4.5	50	150

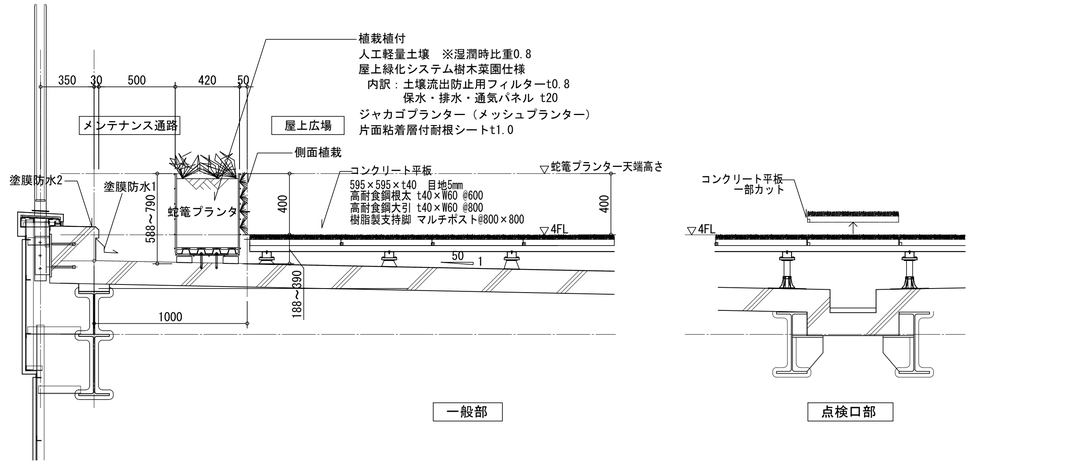
高さ※はH588～790を示す

二重床システム600×600

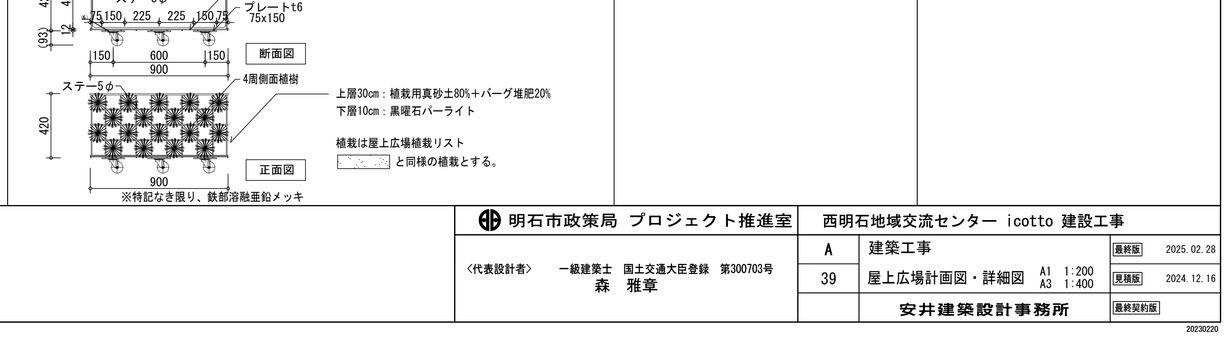
コンクリート平板ｔ40の上、人工芝ｔ25

コンクリート平板ｔ40の上、モルタル+磁器質タイル貼り
※平板目地とタイル目地を合わせること

蛇篭プランター取合・二重床システム詳細図　1:40



蛇篭プランター詳細図　1:40

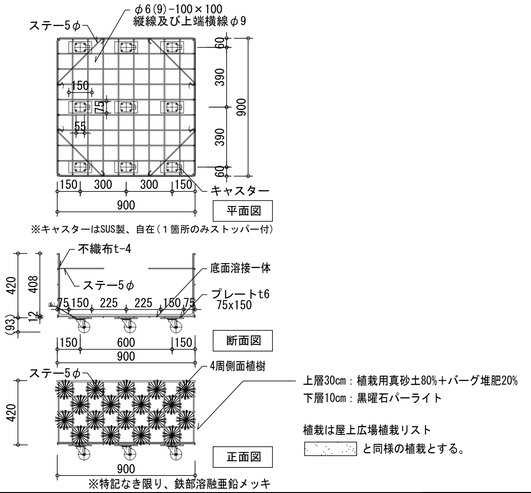


植栽リスト

記号	名称	規格 H	規格 C	規格 W	植栽密度	面積	備考
	サルココッカ	0.5	–	0.5	30株/㎡×40%		
	ラベンダー	0.3	–	0.5	20株/㎡×10%		
	コクチナシ	0.2	–	0.3	6本/㎡×30%	6.93㎡	側面植栽にも使用
	ニワウメ	1.0	–	1.0	6本/㎡×10%		
	シマカンスゲ	0.2	–	0.2	25株/㎡×10%		側面植栽にも使用
	サルココッカ	0.5	–	0.5	30株/㎡×40%		
	アガパンサス	0.3	–	0.2	20株/㎡×10%		
	マツバギク	0.2	–	0.5	25株/㎡×10%	7.39㎡	
	ヒメウツギ	0.2	–	0.2	20株/㎡×20%		側面植栽にも使用
	シマカンスゲ	0.2	–	0.2	25株/㎡×20%		側面植栽にも使用
	サルココッカ	0.5	–	0.5	30株/㎡×40%		
	イヌツゲ（ゴールデン・ジェム）	0.5	–	0.5	20株/㎡×20%		
	ヒメウツギ	0.2	–	0.2	20株/㎡×10%	6.93㎡	側面植栽にも使用
	シャガ	0.5	–	0.5	25株/㎡×20%		
	シマカンスゲ	0.2	–	0.2	25株/㎡×10%		側面植栽にも使用

記号	名称	規格 H	規格 C	規格 W	植栽密度	面積	備考
モ	モッコク	1.0	–	0.8	—	0.50㎡×3本＝1.5㎡	
キン	キンモクセイ	1.0	–	0.8	—	0.50㎡×5本＝2.5㎡	
ヒ	ヒメシャラ	1.0	–	0.8	—	0.50㎡×3本＝1.5㎡	
ツ	ツバキ	1.0	–	0.8	—	0.50㎡×2本＝1.0㎡	
合計緑地面積						6.93＋7.39＋6.93＋1.5＋2.5＋1.5＋1.0＝27.75㎡	

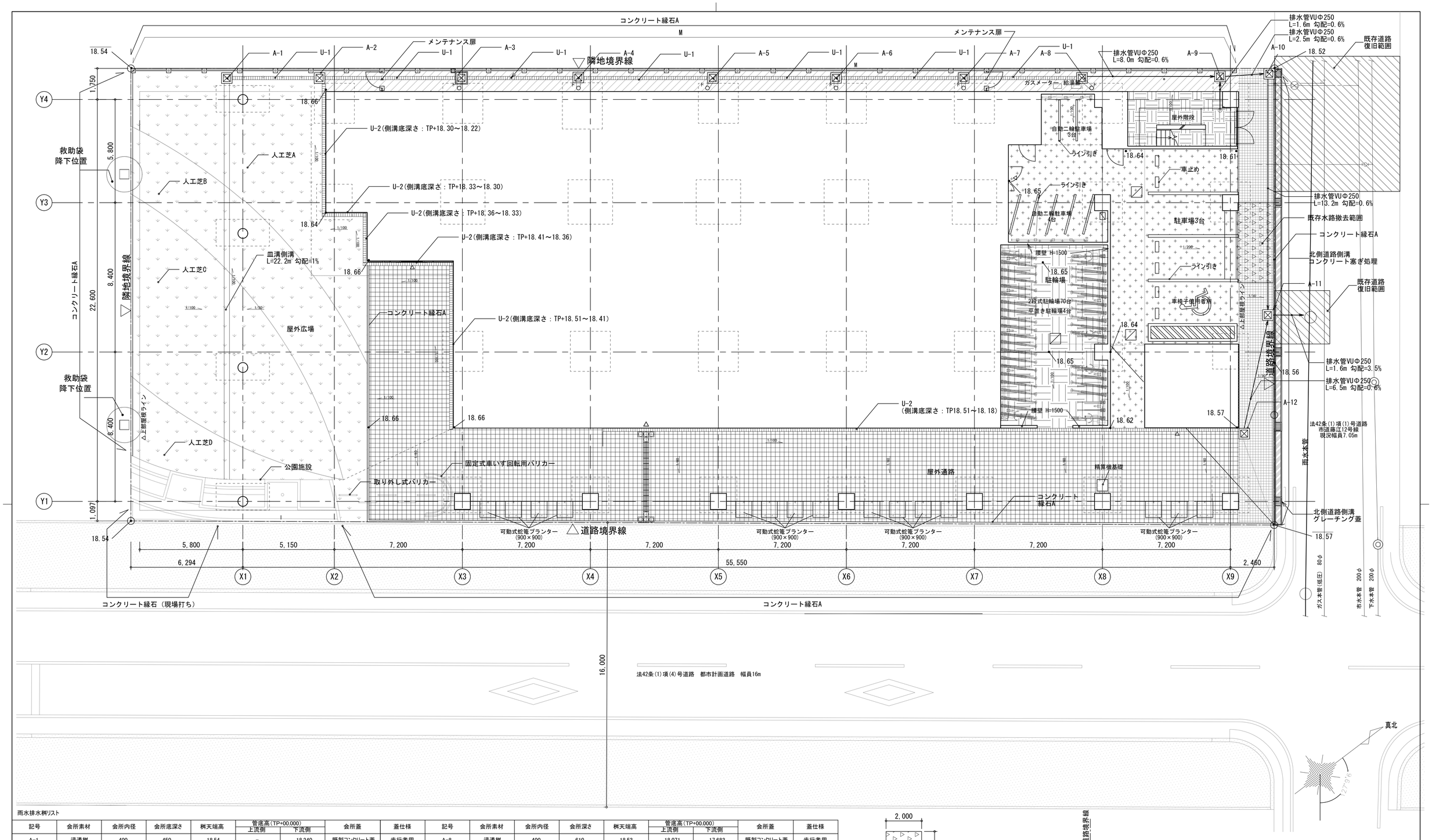
可動プランター詳細図　1:40



明石市政策局　プロジェクト推進室		西明石地域交流センター　icotto 建設工事	
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	A	建築工事	最終版　2025. 02. 28
	39	屋上広場計画図・詳細図　A1　1:200 A3　1:400	見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

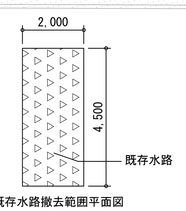
（2023年版）

20230220

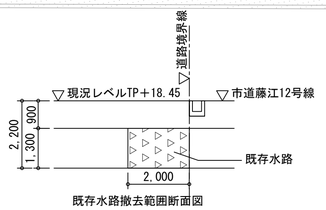


雨水排水桝リスト

記号	会所素材	会所内径	会所底深さ	桝天端高	管底高(TP+00.000) 上流側	管底高(TP+00.000) 下流側	会所蓋	蓋仕様	記号	会所素材	会所内径	会所底深さ	桝天端高	管底高(TP+00.000) 上流側	管底高(TP+00.000) 下流側	会所蓋	蓋仕様
A-1	浸透桝	400	450	18.54	-	18.240	既製コンクリート蓋	歩行者用	A-8	浸透桝	400	610	18.53	18.071	17.683	既製コンクリート蓋	歩行者用
A-2	浸透桝	400	480	18.54	18.209	18.229	既製コンクリート蓋	歩行者用	A-9	浸透桝	400	970	18.53	17.635	17.655	既製コンクリート蓋	T-6
A-3	浸透桝	400	510	18.54	18.181	18.201	既製コンクリート蓋	歩行者用	A-10	浸透桝	400	1000	18.52	17.640	17.660	既製コンクリート蓋	T-6
A-4	浸透桝	400	530	18.54	18.162	18.182	既製コンクリート蓋	歩行者用	A-11	浸透桝(最終桝)	400	1100	18.54	17.581	17.439	既製コンクリート蓋	T-6
A-5	浸透桝	400	560	18.54	18.136	18.156	既製コンクリート蓋	歩行者用	A-12	浸透桝	400	560	18.57	18.180	18.160	既製コンクリート蓋	T-6
A-6	浸透桝	400	570	18.53	18.114	18.134	既製コンクリート蓋	歩行者用									
A-7	浸透桝	400	590	18.53	18.091	18.111	既製コンクリート蓋	歩行者用									



既存水路撤去範囲平面図



既存水路撤去範囲断面図

※敷地内レベルはTPを基準とする。

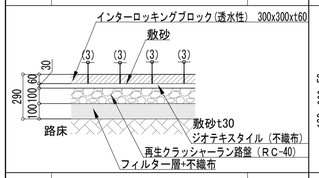
⊠	浸透桝(化粧蓋)		コンクリート舗装刷毛引きH150＋再生クラッシャランH100		コンクリート平板(車両用T-8透水)	VP	VP管	△	外部出入口	※外構舗装部分は路床安定処理とし、改良厚t300とする。
♂	竪樋(特記なき限りVP管125φとする)		土間コンクリート刷毛引きH150＋捨てコンクリートH50＋再生クラッシャランH100		インターロッキングブロック(歩行用 T-2透水)	VU	VU管		植栽	
	U字側溝(特記なき限り化粧蓋)W600				塗り床材1 防滑性ウレタン樹脂系防水仕上材(立上り H300含む)		水勾配(特記なき限り1/100)	M	メッシュフェンスH1800	
	側溝(グレーチング)		人工芝A.B.C.D(接着固定)＋開粒度アスファルトH50＋再生クラッシャランH250＋フィルター層＋不織布 ※A.B.C.Dはそれぞれ色が異なる				点字鋲(SUS製)		フェンス基礎	
							コンクリート縁石		床下点検口	

明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	建築工事	最終版 2025. 02. 28
	40	外構計画図兼雨水排水計画 A1 1:100 A3 1:200	見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

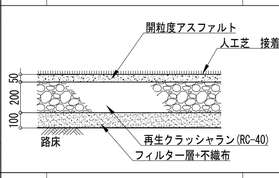
(2023年版)

20230220

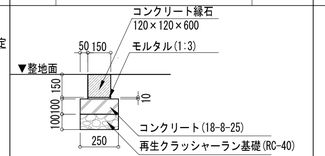
インターロッキングブロック 1:20



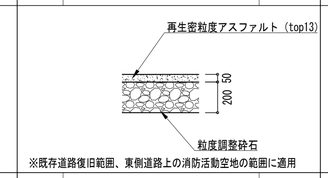
人工芝A.B.C.D 1:20



コンクリート縁石A 1:20

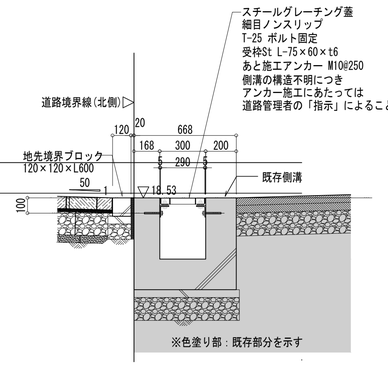


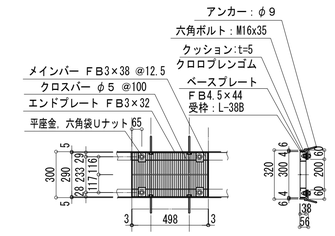
既存道路復旧断面 1:20



※既存道路復旧範囲、東側道路上の消防活動空地の範囲に適用

北側道路側溝グレーチング蓋 1:20



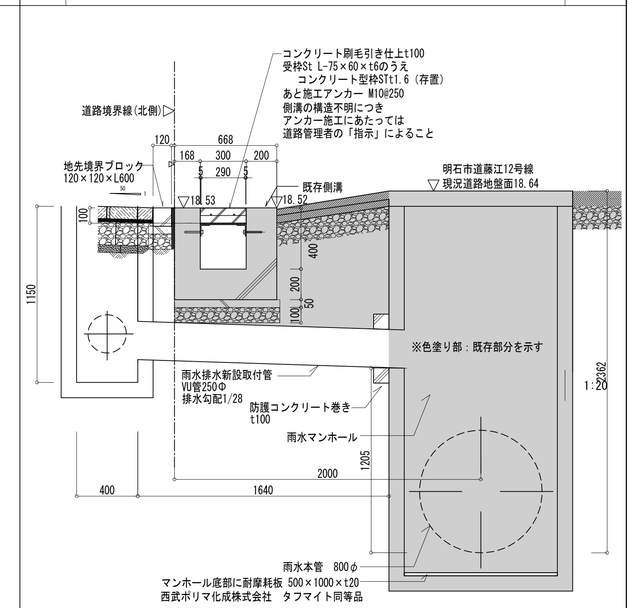


仕 様 ※適用荷重：T－25，T－20（一般用）
スチール製グレーチング ボルト固定式 細目プレーンタイプ
横断溝用 QSBL 83038
材質：SS400
処理：溶融亜鉛めっき

スチール製受枠 L－38B
材質：SS400
処理：樹脂系塗装
定尺：2000

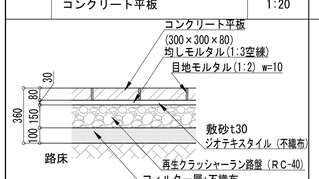
スチール製グレーチング ボルト固定式
細目プレーンタイプ 横断溝用
QSBL 83038＋L－38B

北側道路側溝現打ちコンクリート塞ぎ処理・雨水排水取付管周り詳細図 1:20

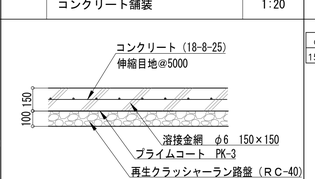


1:20

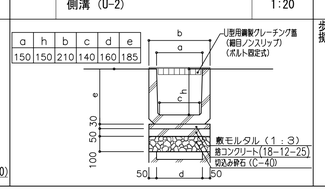
コンクリート平板 1:20



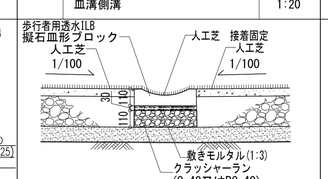
コンクリート舗装 1:20



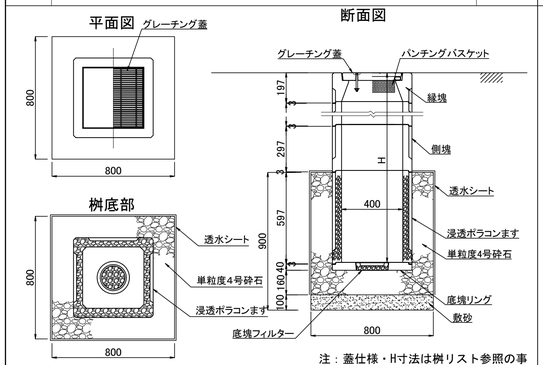
側溝 (U-2) 1:20



皿溝側溝 1:20

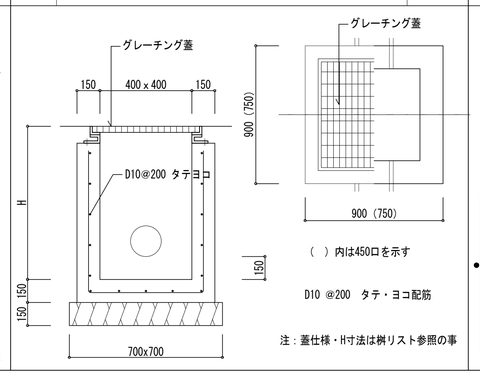


浸透桝 1:20



注：蓋仕様・H寸法は桝リスト参照の事

集水桝 1:20

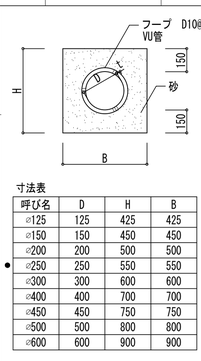


( ) 内は450口を示す

D10 @200 タテ・ヨコ配筋

注：蓋仕様・H寸法は桝リスト参照の事

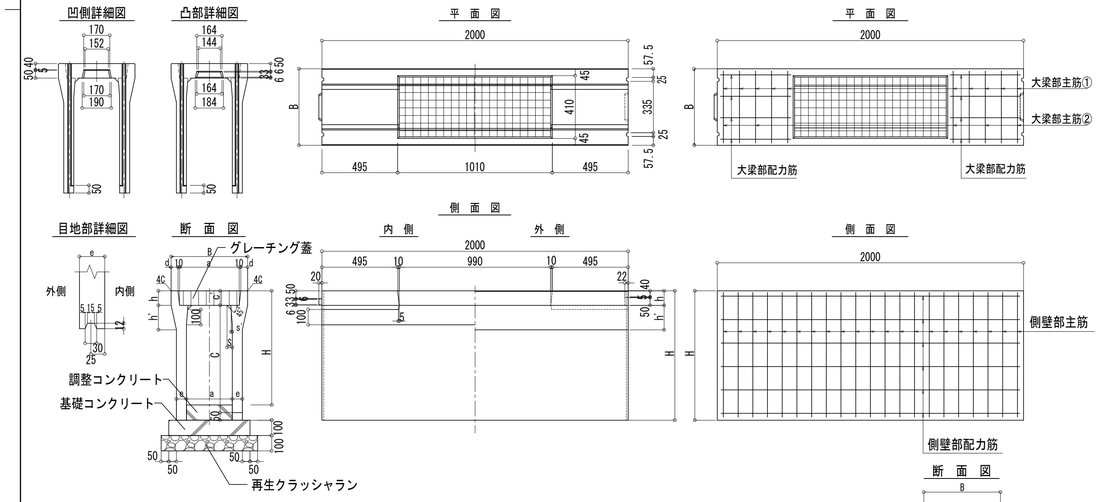
管渠 1:20



寸法表

呼び名	D	H	B
⌀125	125	425	425
⌀150	150	450	450
⌀200	200	500	500
⌀250	250	550	550
⌀300	300	600	600
⌀400	400	700	700
⌀450	450	750	750
⌀500	500	800	800
⌀600	600	900	900

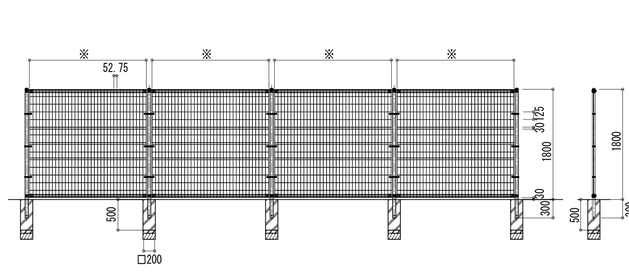
可変側溝 (U-1) 1:20



※側溝底深さは外構計画図のリストを参照すること。

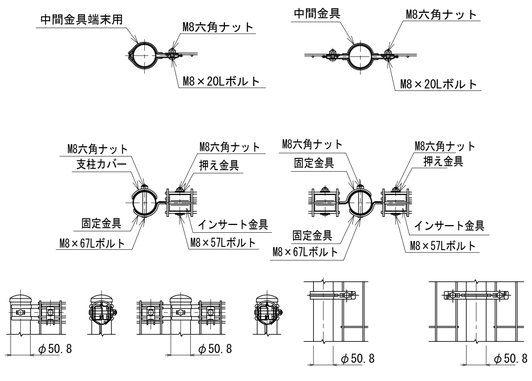
呼び名	寸法 a	B	H	h	h'	a'	C	c'	d	e	S	s'	配筋 側壁部(片側当り) 主筋 径(mm)	数	配力筋 径(mm)	数	大梁部(片梁当り) 主筋1 径(mm)	数	主筋2 径(mm)	数	配力筋 径(mm)	数	参考質量 (kg)
300 × 300			445				300							13		4							322
× 400			545		150		400			55	30	6	φ4.0	14		4							399
× 500			645				500							13	φ3.2	4							450
× 600			745		160		600			65	35	8	φ5.0	16		5							558
× 700	300	500	845	95		390	700	95	45					21		6	D6	5	D6	3	φ4.0	4	618
× 800			945		170		800			75	40	10		12		6							754
× 900			1045				900						D6	14	φ4.0	7							824
× 1000			1145		180		1000			85	45	12		16		8							986
× 1100			1245				1100							18		8							1065

メッシュフェンス 1:20

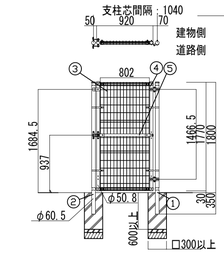


※:一般部の支柱ピッチは2000とし、端部は1940とする。

一般部 1:50

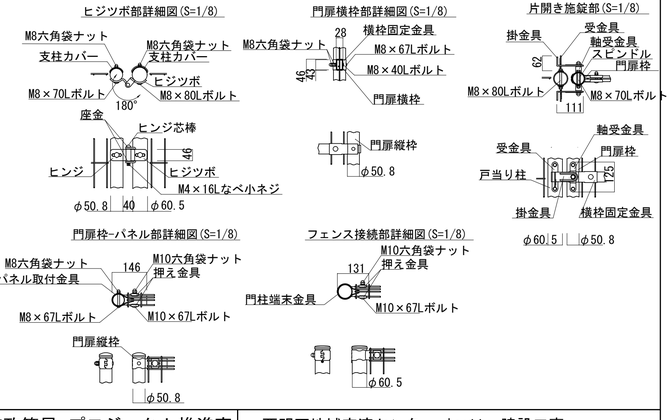


メンテナンス扉 1:20



ネ ジ 類	（ステンレス）（SPCC・SWCH）
錠 金 具	（ステンレス）
金 具 類	（SGH）静電粉体塗装
⑤横 枠	42×10×t1.6（SGH）静電粉体塗装
④縦 枠	φ50.8×t1.6（STK）（Zn・Al・Mg合金メッキ）ポリエステル粉体焼付塗装
③メッシュパネル	（SWMGM-3）アクリル流動浸漬塗装
②戸 当 り 柱	φ60.5×t3.2（STK）（Zn・Al・Mg合金メッキ）ポリエステル粉体焼付塗装
①吊 元 柱	φ60.5×t3.2（STK）（Zn・Al・Mg合金メッキ）ポリエステル粉体焼付塗装

扉部 1:50



明石市政策局 プロジェクト推進室

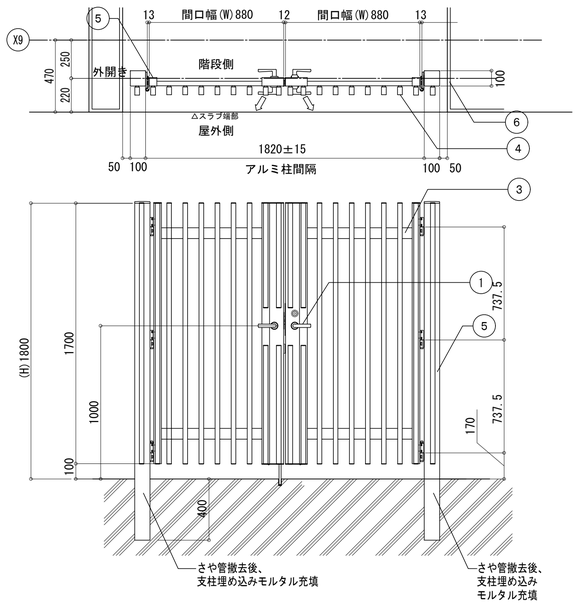
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号
森 雅章

西明石地域交流センター icotto 建設工事

A	建築工事	最終版	2025.02.28
41	外構詳細図(1) A1 図示 A3 図示	見積版	2024.12.16
	安井建築設計事務所	最終契約版	

20230220

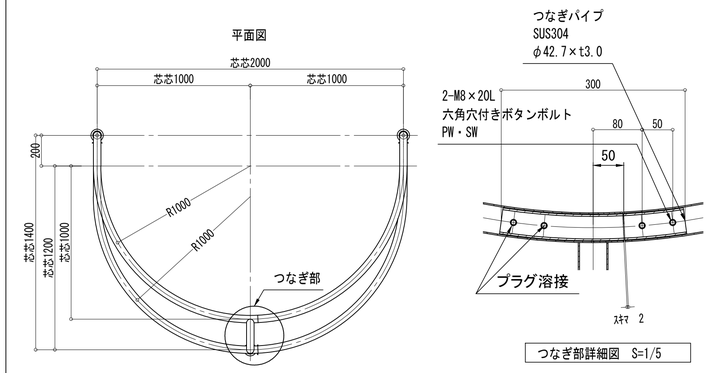
屋外階段扉　1:20



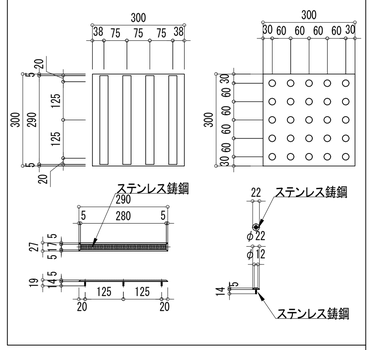
本件は破壊錠仕様（サムターン＋非常用カバー付き）とする

ボルト・ナット・座金	ステンレス		④	縦格子	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
①	施錠カマチ・受錠カマチ	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜	⑤	アルミ柱	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
②	吊元カマチ	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜	⑥	胴縁カバー	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
③	胴縁	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜			

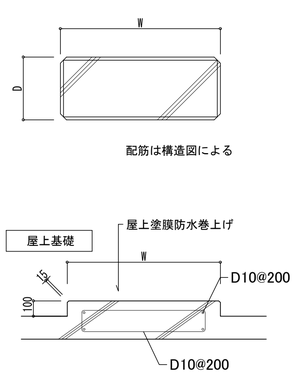
バリカー詳細図　1:20



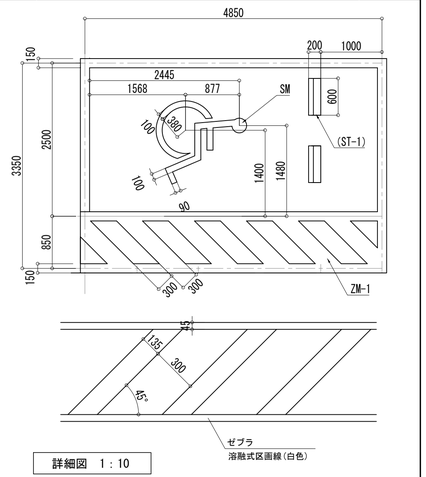
点字鋲　1:10



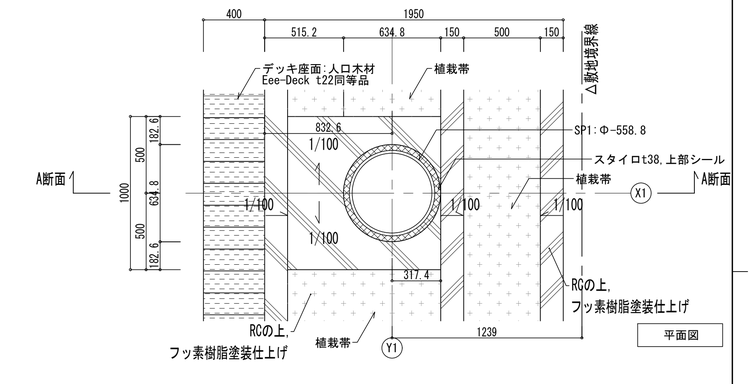
設備基礎（外構）　1:10



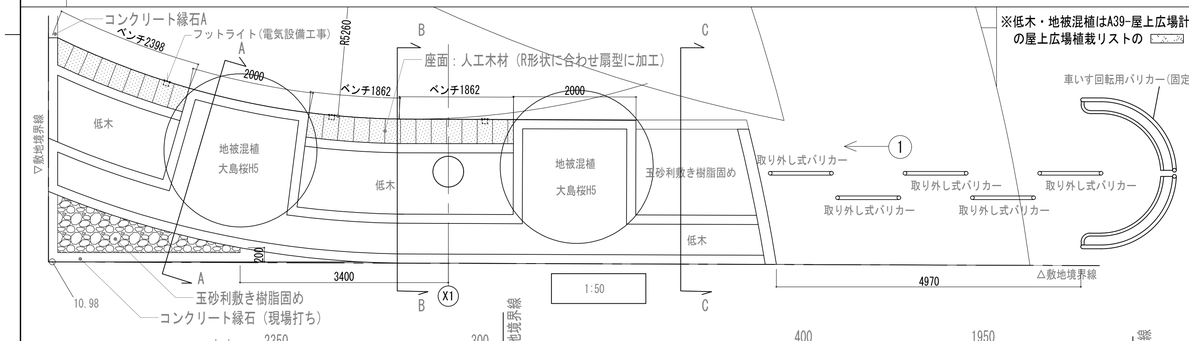
駐車区画ライン他白線　1:50



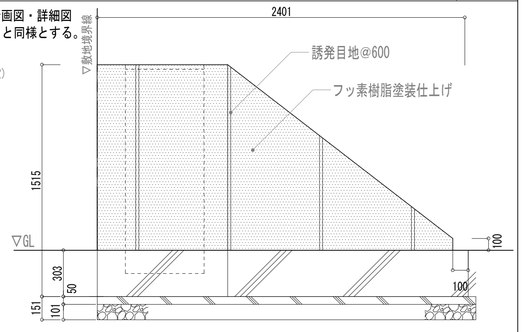
公園施設詳細図　1:20

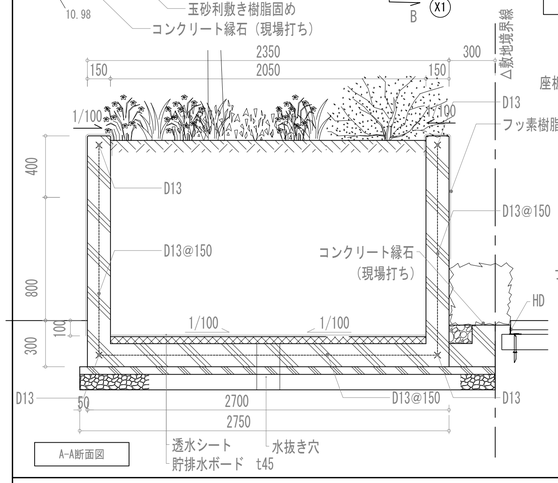


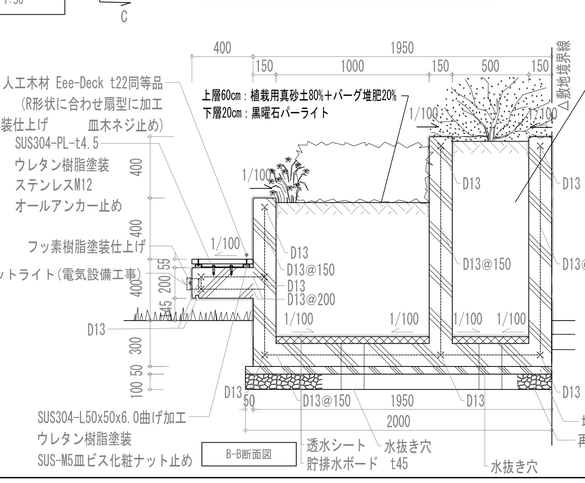
公園施設詳細図　1:20

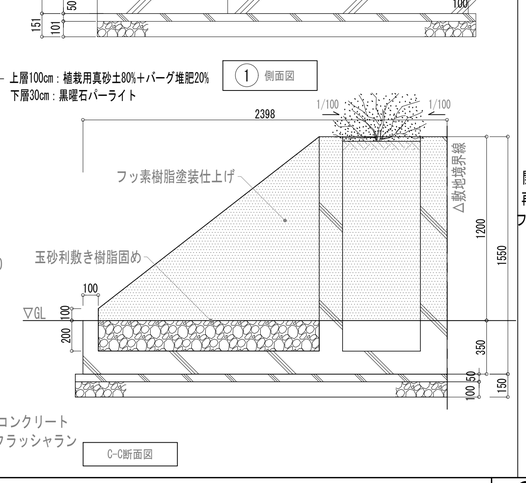


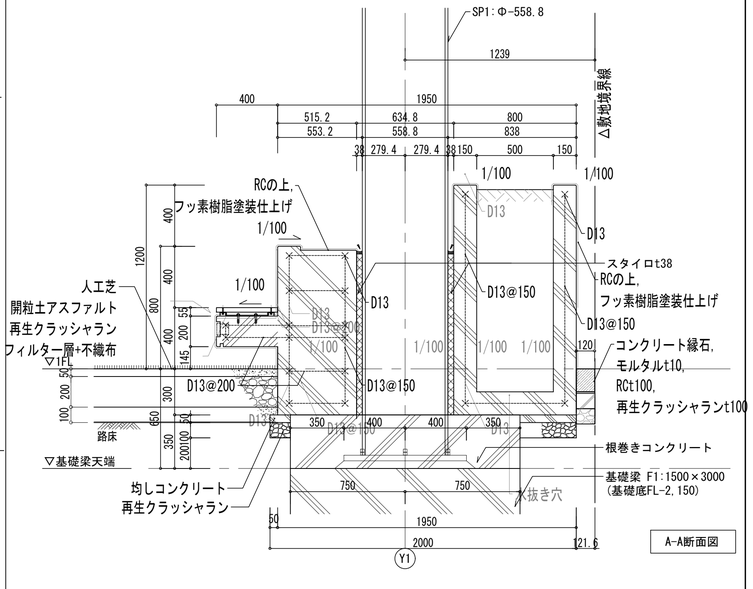
※低木・地被混植はA39-屋上広場計画図・詳細図の屋上広場植栽リストの ▭ と同様とする。







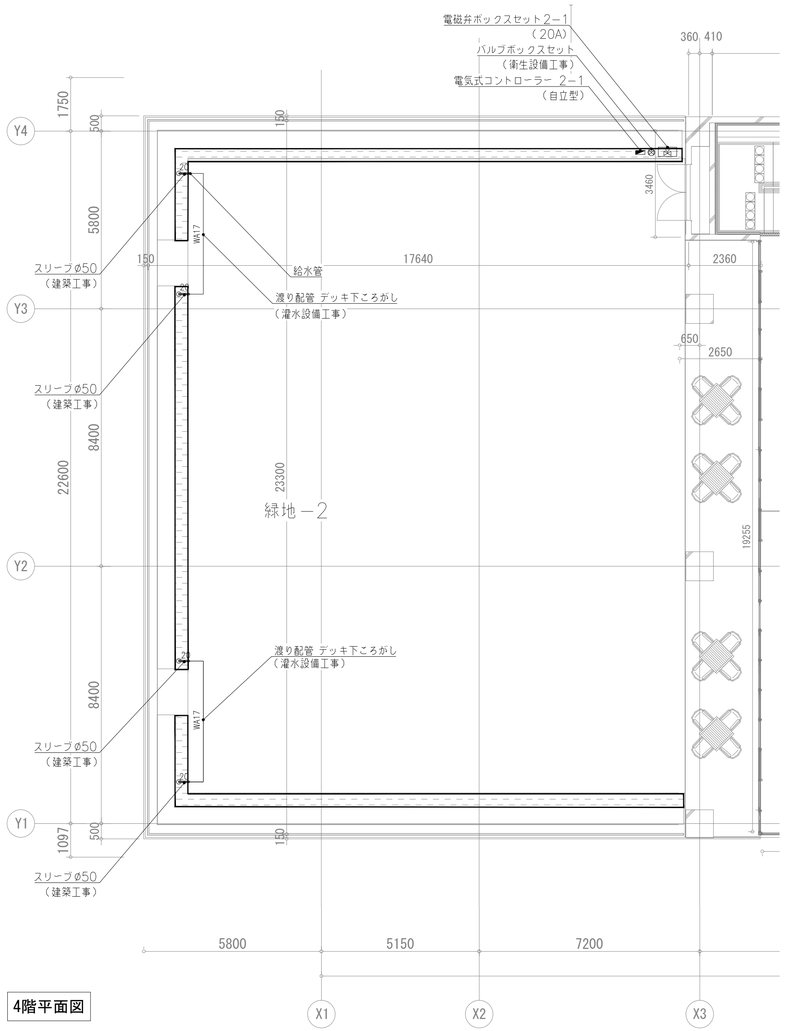




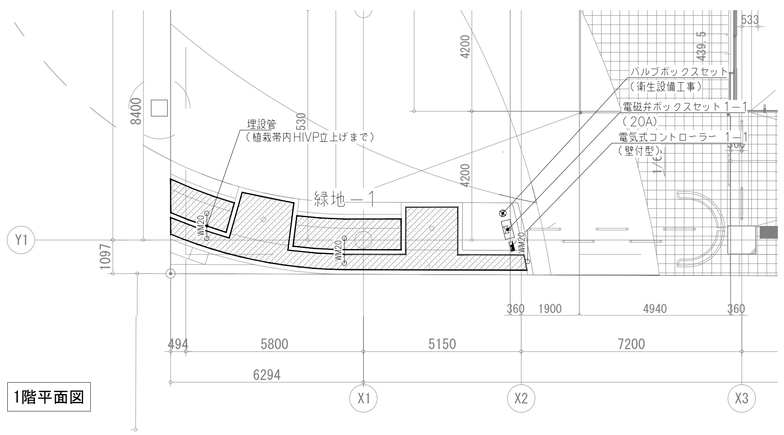
明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	建築工事	最終版 2025.02.28
	42	外構詳細図(2) A1 図示 A3 図示	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

(2023年版)

20230220



4階平面図



1階平面図

灌水設備工事

《仕　様》　点滴式灌水ホースΦ17　　（東邦レオ(株)製品同等品以上とする）

《灌水量》　4.6ℓ吐水/m・h(@500)

《灌水方式》　点滴式灌水ホースΦ17（圧力調整機能内蔵）　ホース間隔　敷設　@ 700

点滴式灌水ホースΦ17（圧力調整機能内蔵）　ホース間隔　敷設　@ 500

《条　件》　一次側給水バルブ（口径　20　A）（水圧　0.2　～　0.4　Mpa）

は、予衛生設備工事にて設置するものとする。

クロスコネクション対策が必要な場合は、予め衛生設備工事にて施すものとする。

コントローラーの電源供給(AC100V)はコントローラー内部引き込みまでを電気設備工事とする。

灌水設備工事

記号	名称	規格・形状
	点滴式灌水ホースΦ17（敷設）	Φ17　2.3ℓ/h・一穴
	電磁弁ボックスセット	電磁弁20A・Y型ストレーナー・逆止弁・ユニオン 樹脂製ボックス(536×336×H233)
	給水管	HIVP　20　A
	電気式コントローラー	壁付型:1系統用
	信号線・電気管	cvv1.25□−2c ・ﾌﾟﾘｶﾁｭｰﾌﾞ
	電気式コントローラー	自立型:1系統用
	信号線・電気管	cvv1.25□−2c ・PF管Φ16
WA	渡り配管 WA	穴なし灌水ホース　φ17・ﾃﾞｯｷ下ころがし

※ 制御弁・コントローラーの設置場所については現場にて再検討とのこと。

衛生設備工事

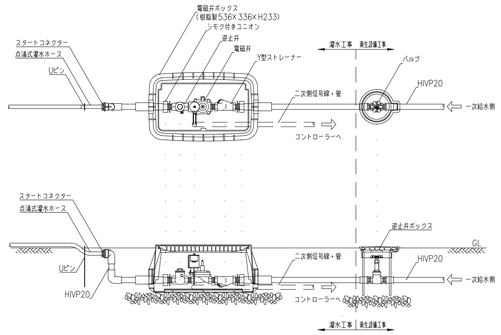
	バルブボックスセット	バルブ（20A）・バルブボックス
WM	渡り配管 WM	埋設管（植栽帯内HIVP立上げまで）

灌水数量表

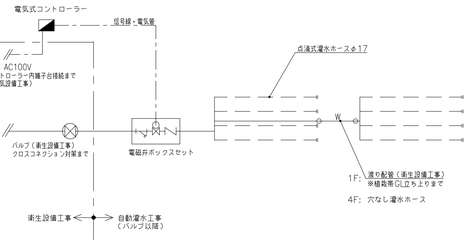
	灌水エリア		コントローラー	電磁弁ボックス		点滴式灌水ホースΦ17			渡り配管 (m):灌水工事
			数量	口径	数量	面積(㎡)	設置方法	ホース長(m)	WA
1F		緑地-1	1	20A	1	17.3	敷設：700mmピッチ	33.0	-
4F		緑地-2	1	20A	1	52.4	敷設：500mmピッチ	98.5	9.5

※上記ホースピッチを基準とし、植栽図面に合わせて配管する。

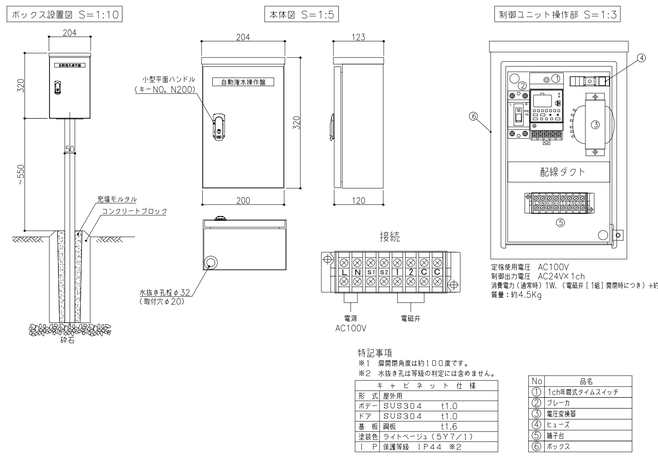
灌水システム詳細図（20A）　S=1：10



灌水システムフロー図　－



電気式コントローラー 詳細図 ※1F：壁付・4F：自立　図示



特記事項

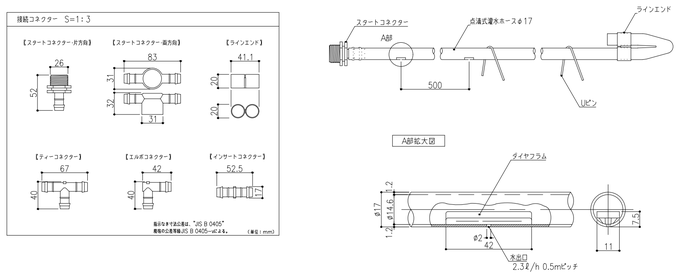
※1　開閉閉角度は約100度です。

※2　水抜き孔は等級の判定には含めません。

キャビネット仕様	
形　式	屋外用
ボデー	SUS304　t1.0
ドア	SUS304　t1.0
基　板	鋼板　t1.6
塗装色	ライトベージュ（5Y7/1）
I P	保護等級　IP44　※2

No	品名
①	1ch年間式タイムスイッチ
②	ブレーカ
③	電圧変換器
④	ヒューズ
⑤	端子台
⑥	ボックス

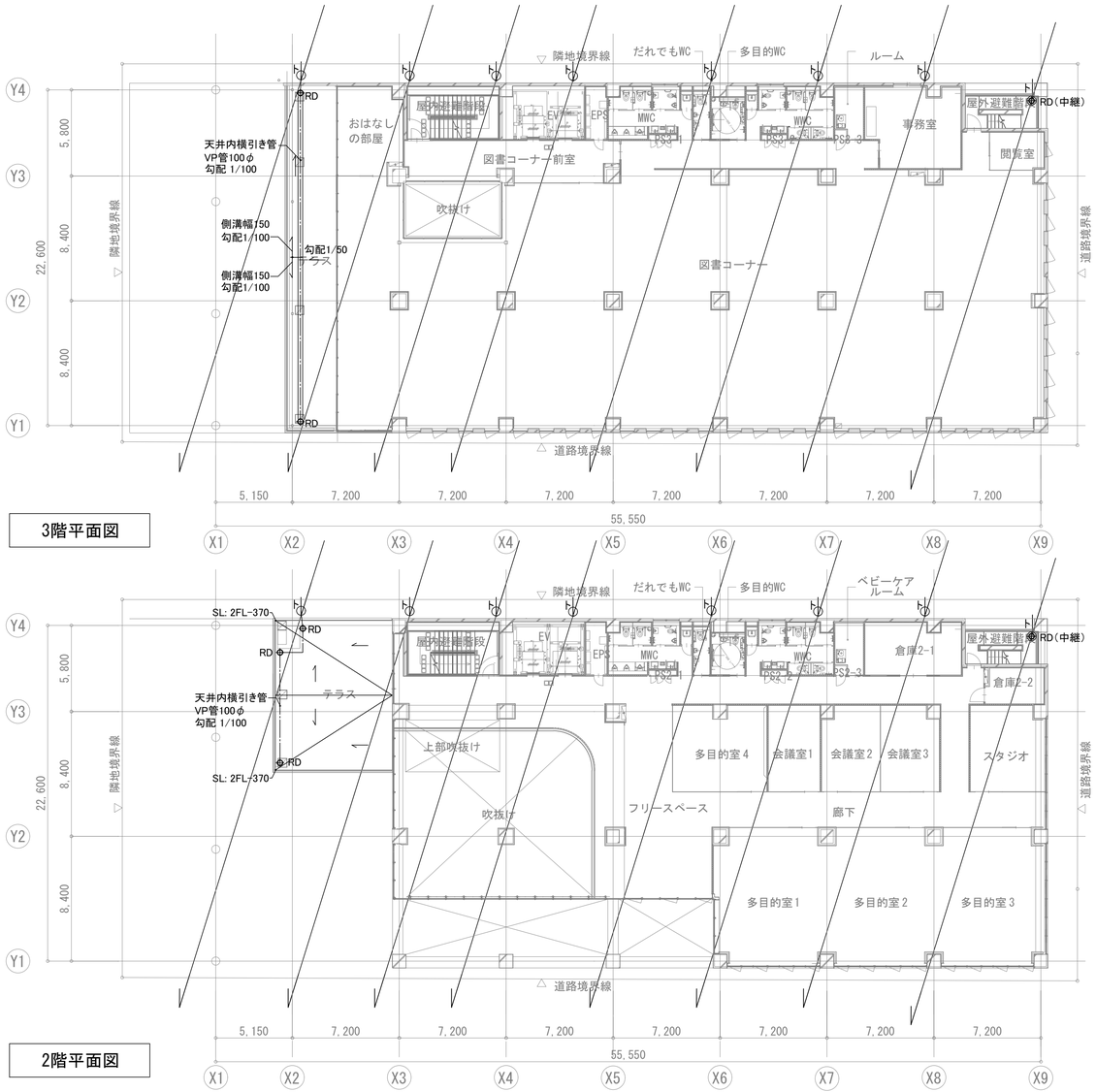
点滴式灌水ホースφ17詳細図　S=1：3



明石市政策局　プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	A	建築工事		
	43	外構潅水設備詳細図	A1 図示 A3 図示	最終版　2025. 02. 28 見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所		最終契約版

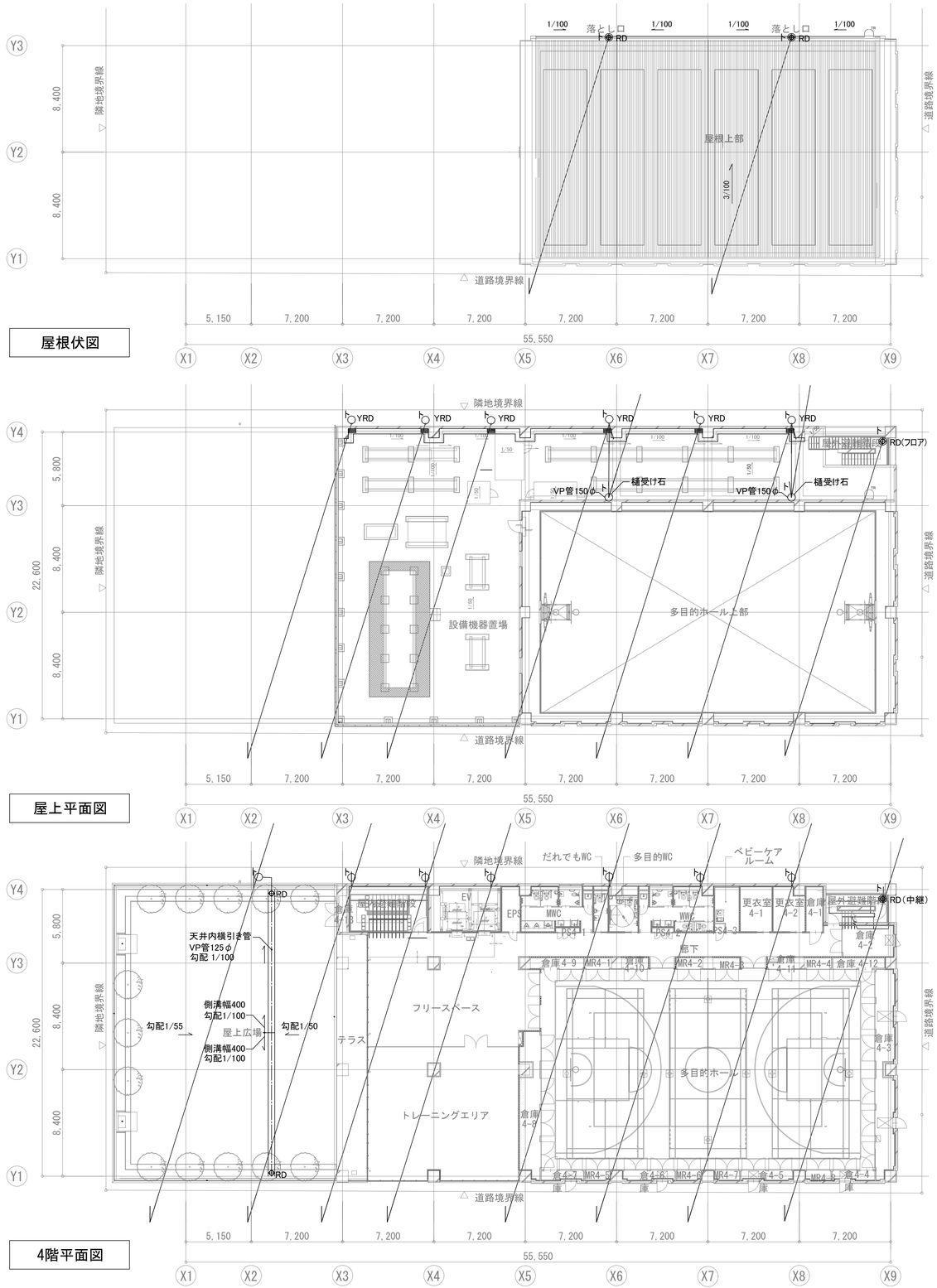
(2023年版)

20230220



3階平面図

2階平面図



屋根伏図

屋上平面図

4階平面図

—·—	横引き管	・樋天端はキャップ付きとする。					
═══	側溝						
○	竪樋（特記なき限りVP管125φ）						
RD	ルーフドレイン（特記なき限り錆鉄製とする）						
YRD	横引きルーフドレイン（特記なき限り錆鉄製とする）						

明石市政策局　プロジェクト推進室

西明石地域交流センター　icotto　建設工事

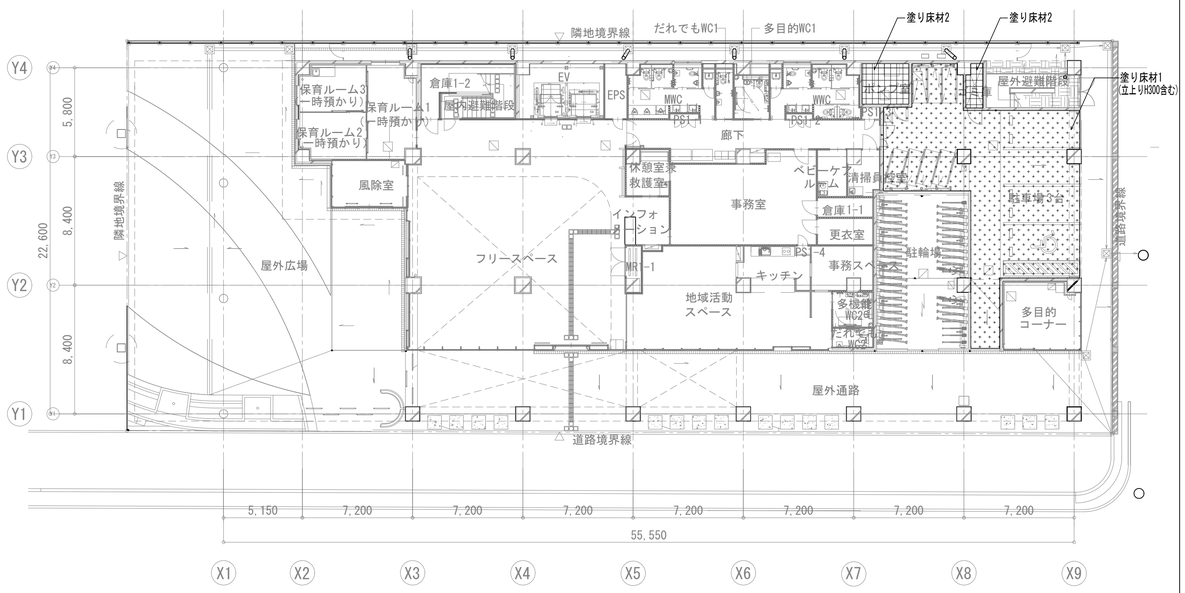
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号
森　雅章

A	建築工事		最終版	2025. 02. 28
44	雨水排水計画図	A1　1：200 A3　1：400	見積版	2024. 12. 16
	安井建築設計事務所		最終契約版	

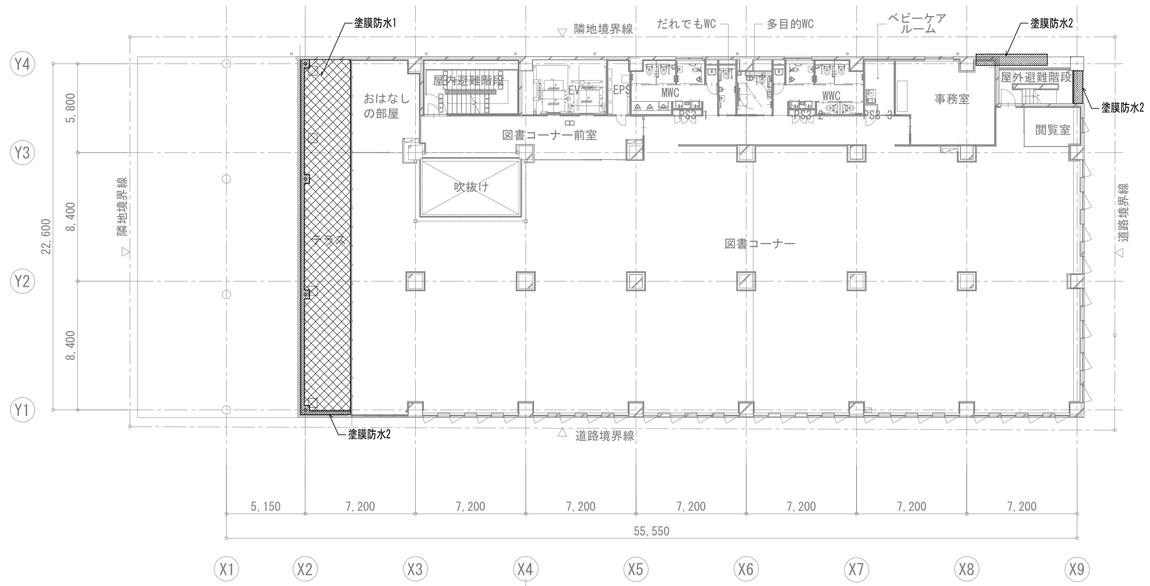
（2023年版）

20230220

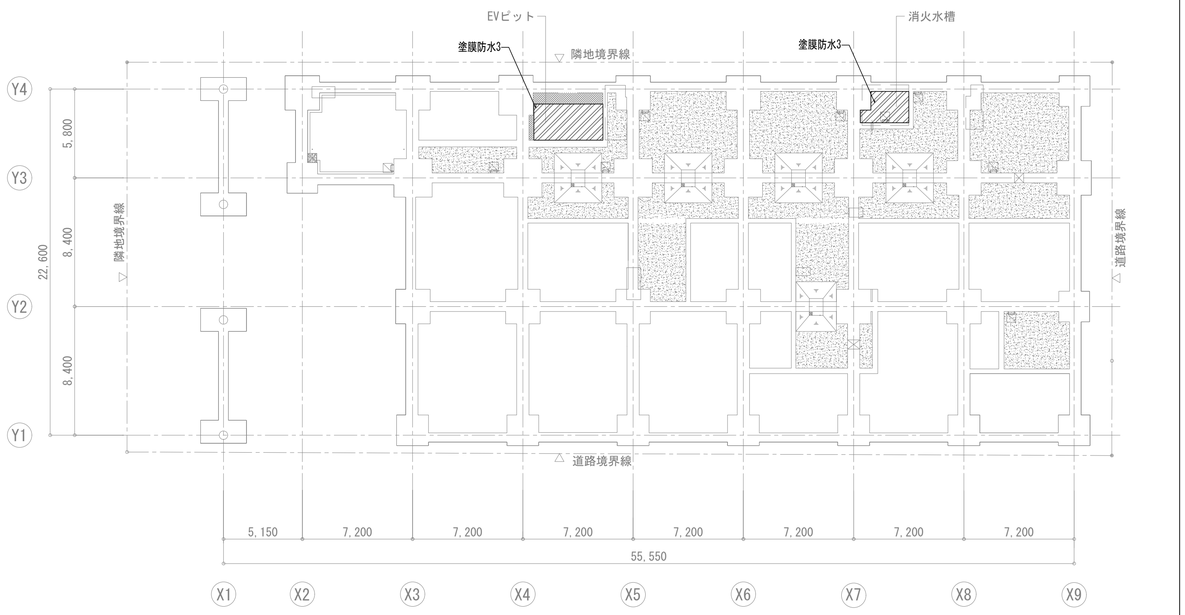
02 1階平面図 -



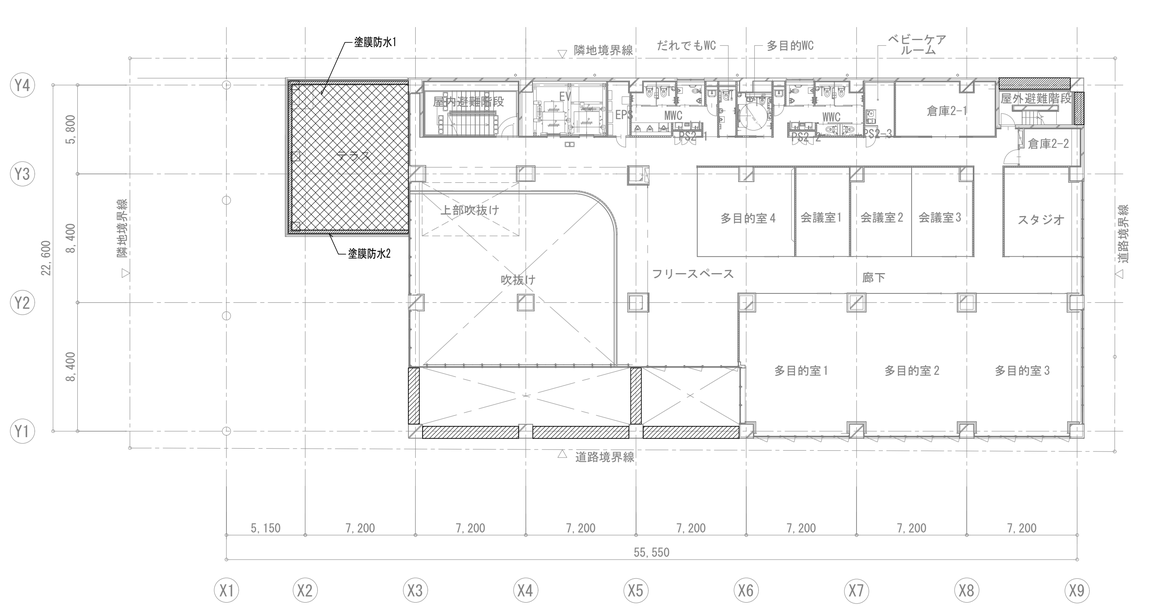
04 3階平面図 -



01 ピット平面図 -



03 2階平面図 -



凡例

塗膜防水1	ウレタンゴム複合塗膜防水	塗り床材1	防滑性ウレタン樹脂系防水仕上材
塗膜防水2	ウレタン樹脂系塗膜防水	塗り床材2	厚膜型エポキシ樹脂系塗り床材
塗膜防水3	ケイ酸質系塗布膜防水		

明石市政策局 プロジェクト推進室

〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号
森 雅章

西明石地域交流センター icotto 建設工事

A 建築工事 最終版 2025. 02. 28

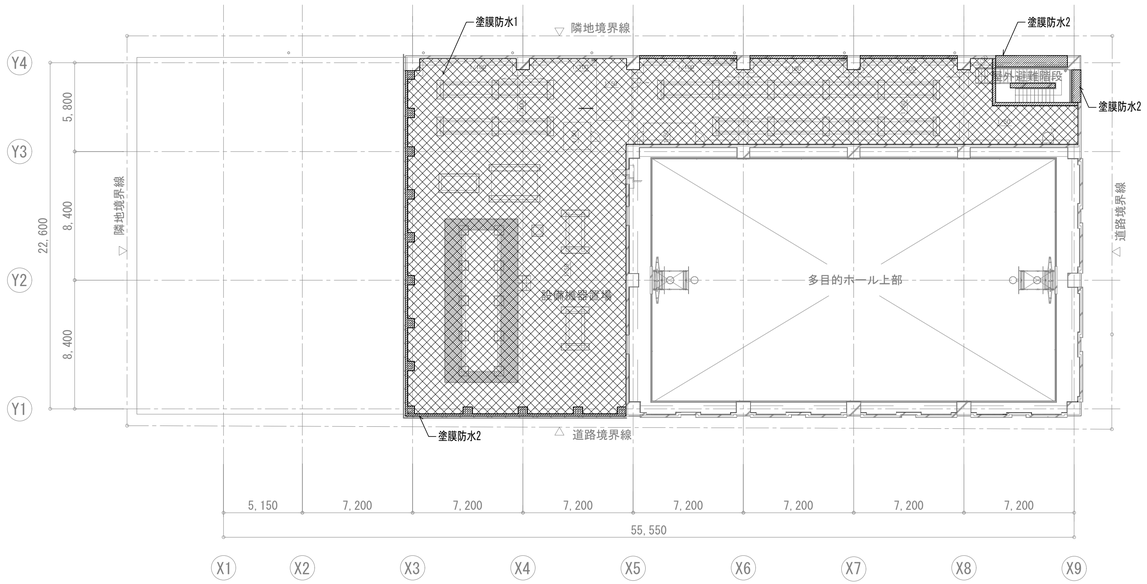
45 防水範囲図(1) A1 1:200 A3 1:400 見積版 2024. 12. 16

安井建築設計事務所 最終契約版

(2023年版)

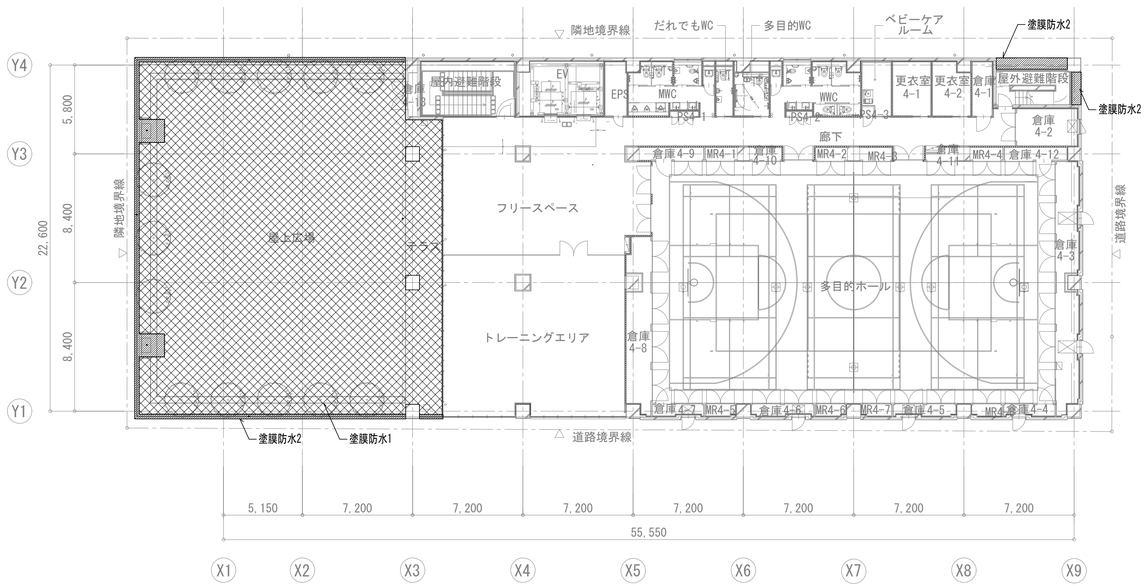
20230220

02 屋上平面図 –

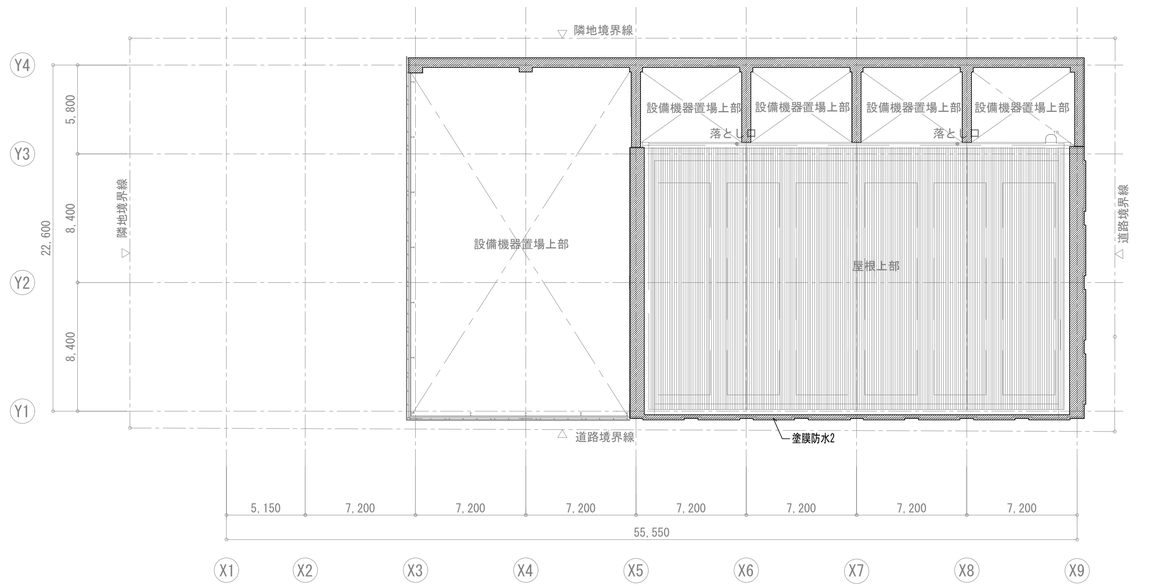


04 –

01 4階平面図 –



03 屋根伏せ図 –



凡例

塗膜防水1	ウレタンゴム複合塗膜防水	塗り床材1	防滑性ウレタン樹脂系防水仕上材
塗膜防水2	ウレタン樹脂系塗膜防水	塗り床材2	厚膜型エポキシ樹脂系塗り床材
塗膜防水3	ケイ酸質系塗布膜防水		

明石市政策局 プロジェクト推進室

〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号
森 雅章

西明石地域交流センター icotto 建設工事

A 建築工事 最終版 2025. 02. 28

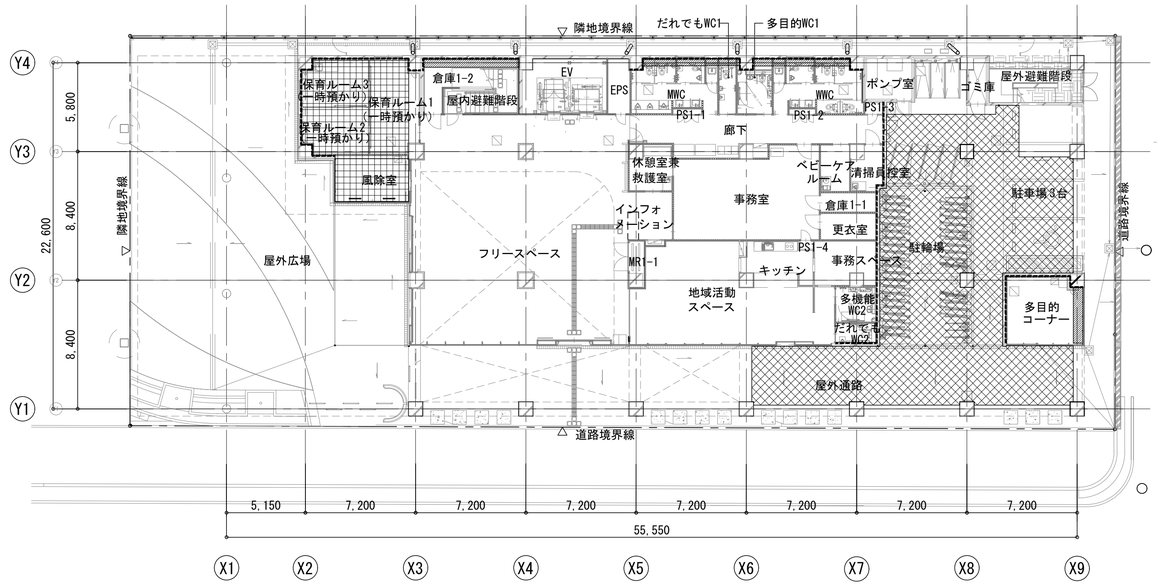
46 防水範囲図(2) A1 1:200 A3 1:400 見積版 2024. 12. 16

安井建築設計事務所 最終契約版

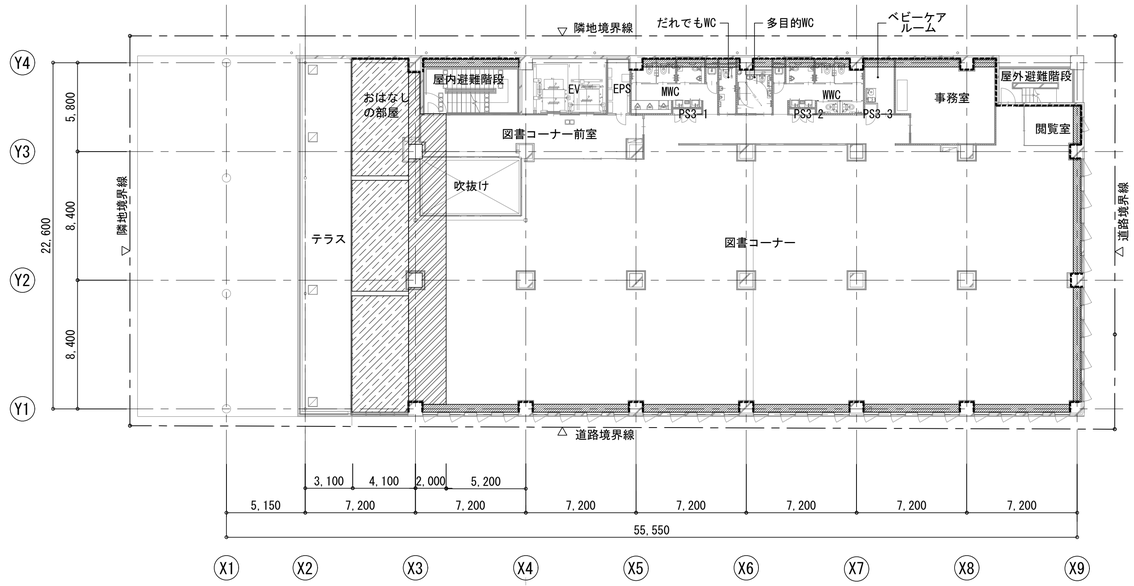
(2023年版)

20230220

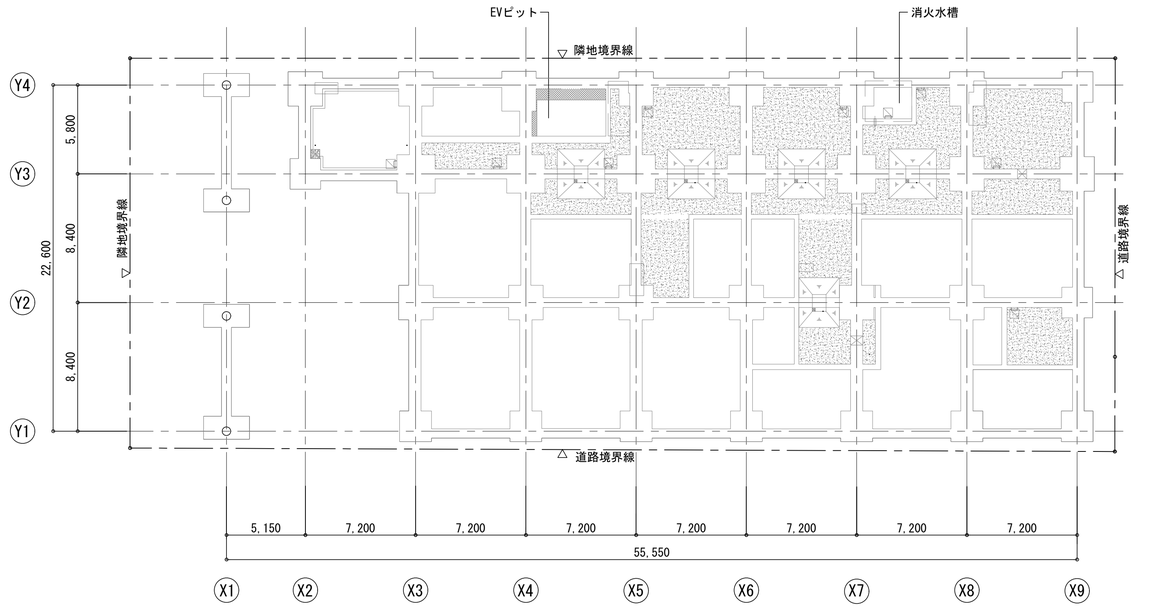
02 1階平面図 -



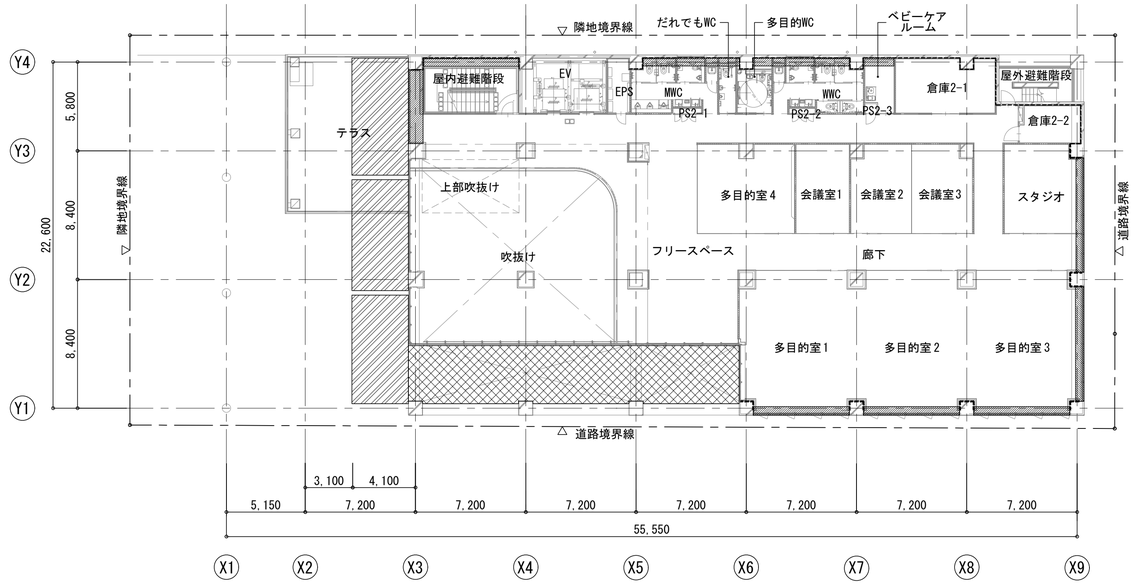
04 3階平面図 -



01 ピット平面図 -



03 2階平面図 -



凡例

断熱1 押出法ポリスチレンフォーム3種b t60（床下）	断熱5 吹付硬質ウレタンフォームA種1H t50（屋根）	特記	特記なき限り本図は見上げ図とする
断熱2 押出法ポリスチレンフォーム3種b t50（屋根）	外壁面 断熱6 吹付硬質ウレタンフォームA種1H t25（外壁）		
断熱3 吹付硬質ウレタンフォームA種1H t60（床下）			
断熱4 吹付硬質ウレタンフォームA種1H t25（屋根）			

明石市政策局 プロジェクト推進室

〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号
森 雅章

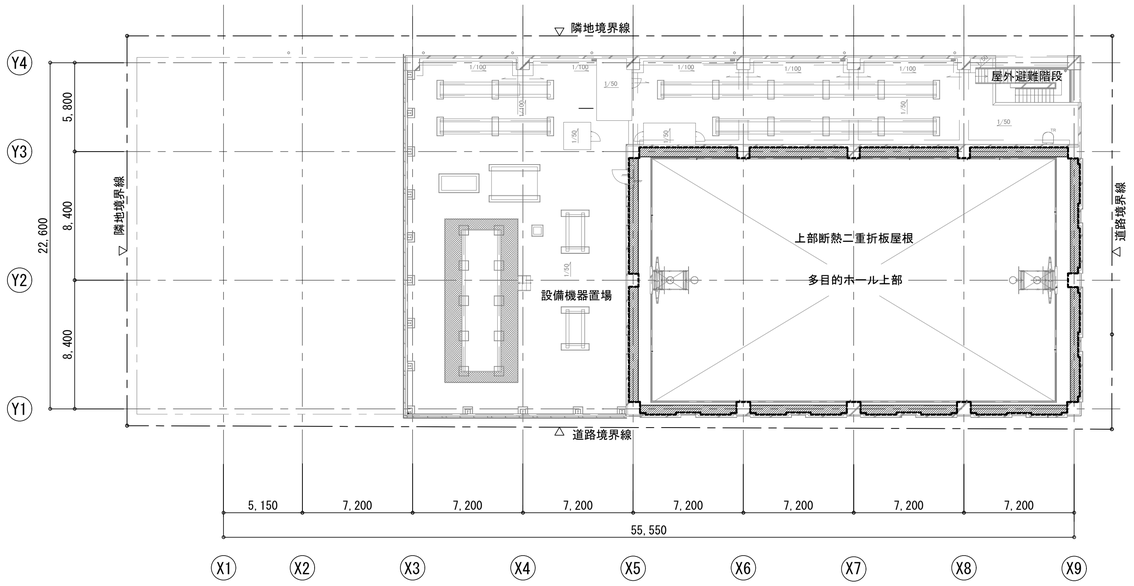
西明石地域交流センター icotto 建設工事

A	建築工事	最終版	2025. 02. 28
47	断熱範囲図(1) A1 1：200 A3 1：400	見積版	2024. 12. 16
	安井建築設計事務所	最終契約版	

（2023年版）

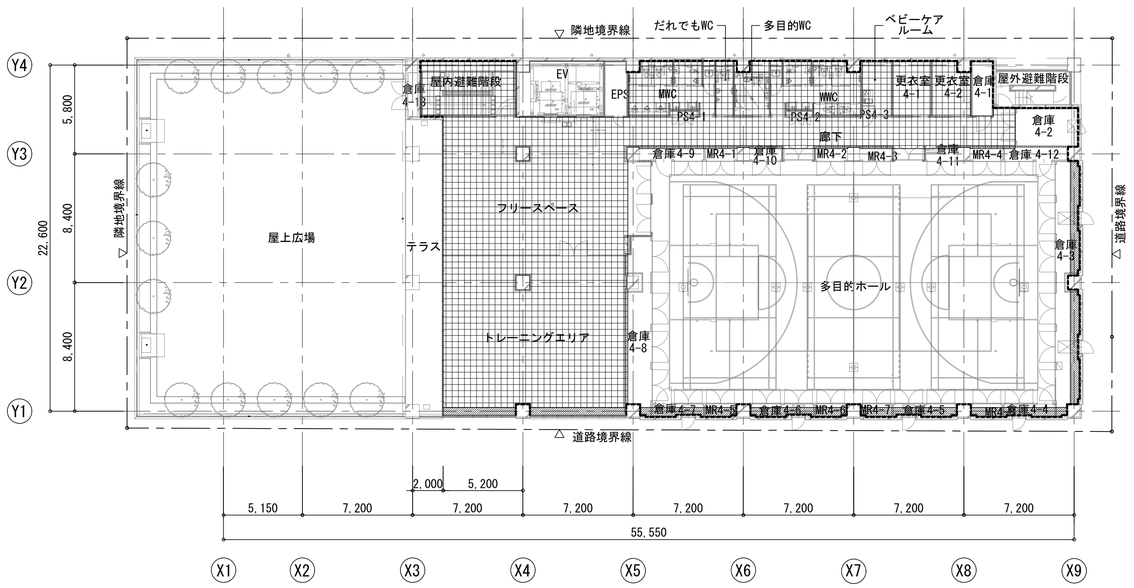
20230220

02 屋上平面図 –

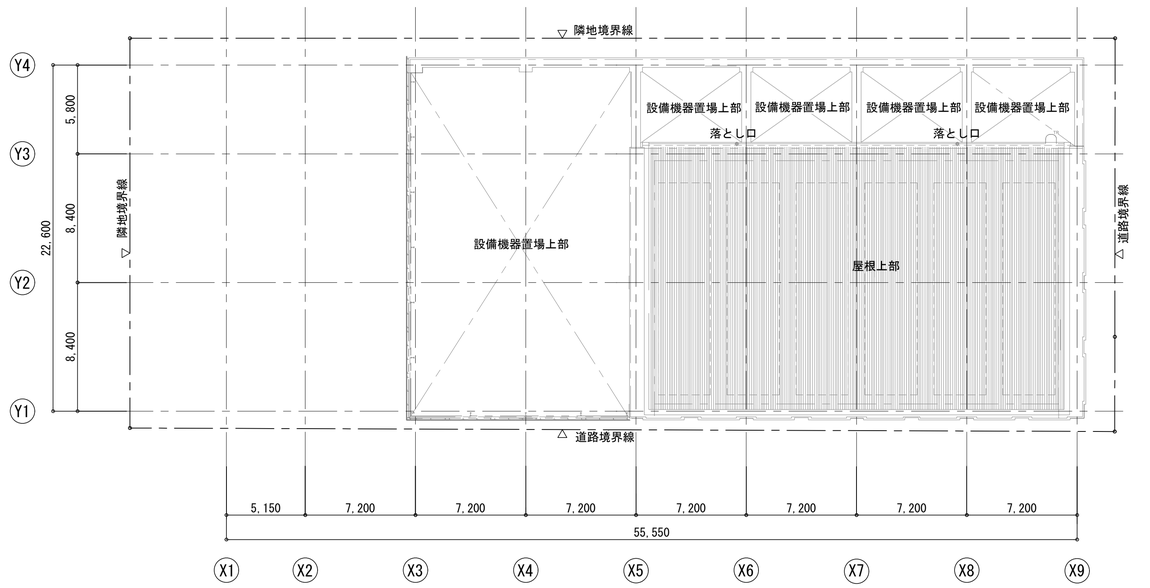


04 –

01 4階平面図 –



03 屋根伏せ図 –



凡例					特記	
	断熱1 押出法ポリスチレンフォーム3種b t60（床下）		断熱5 吹付硬質ウレタンフォームA種1H t50（屋根）		特記なき限り本図は見上げ図とする	
	断熱2 押出法ポリスチレンフォーム3種b t50（屋根）	外壁面	断熱6 吹付硬質ウレタンフォームA種1H t25（外壁）			
	断熱3 吹付硬質ウレタンフォームA種1H t60（床下）					
	断熱4 吹付硬質ウレタンフォームA種1H t25（屋根）					

明石市政策局 プロジェクト推進室

〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号
森 雅章

西明石地域交流センター icotto 建設工事

A 建築工事 最終版 2025. 02. 28

48 断熱範囲図(2) A1 1：200 A3 1：400 見積版 2024. 12. 16

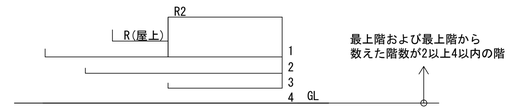
安井建築設計事務所 最終契約版

（2023年版）

20230220

耐火被覆範囲・仕様(建築基準法施工令107条の1に基づく)

		壁				柱	床	梁	屋根	階段	耐火被覆の厚さ Dmm	
		間仕切壁		外壁							半湿式吹付岩綿	
		耐力壁	非耐力壁	耐力壁	非耐力壁 延焼部分	非耐力壁 延焼部分以外					柱	梁
構造耐力上支障のある変形・溶融破壊その他の損傷を生じないもの	3階～1階 地下1階	1時間	－	1時間	－	－	1時間	1時間	1時間	30分間	30分間	25	25
加熱面以外屋内面が可燃物燃焼温度以上に上昇しないもの		1時間	1時間	1時間	1時間	30分間	－	1時間	－	－	－		
屋内に火災を出す原因となるき裂その他の損傷を生じないもの		－	－	1時間	1時間(30)	30分間(20)	－	－	－	30分間(10)	－		



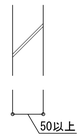
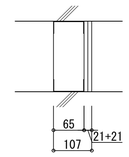
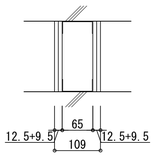
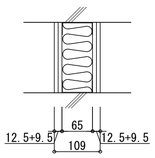
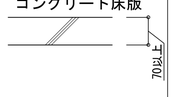
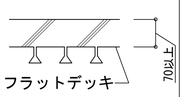
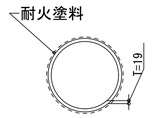
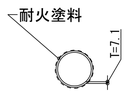
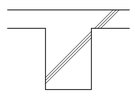
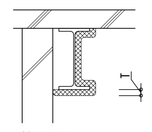
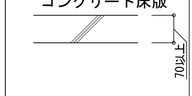
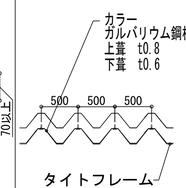
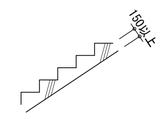
1)吹付耐火被覆の仕様場所
- 梁
- ALCファスナー
- 開口部補強(外壁開口部補強部材)は耐火被覆不要

2)ECP、ALCと他部材が取り合う部分には、ロックウールを充填し、指示金物は耐火被覆を行う

3)以下の部分のでは、落下、粉塵の発生などにより室内環境または機器等へ影響を及ぼすおそれがあるため半乾式(半湿式)ロックウール吹付けを行う場合は、表面硬化処理を行う
- エレベーター昇降路内
- エアチャンバーとして用いられる天井裏(屋上設備取出し口)
- エアチャンバー
- PS・DS・EPS

4)耐火材は全てのんアスベスト品とし、国土交通省の認定品とする。

耐火リスト

部位	壁				
	外壁(非耐力壁)		間仕切壁		
仕様	ALC 	RC 	GB-F21＋21片面貼り 	GB-F12.5＋9.5両面貼り 	GB-F12.5＋9.5両面貼り 	
階	3階	R2 ～ 1階	4階 ～ 1階	4階 ～ 1階	4階 ～ 1階	
耐火性能	1時間	1時間	1時間	1時間	1時間	
耐火被覆厚さ(T)	－	－	－	－	－	
認定番号	告示1399	告示1399	吉野石膏Sウォール FP060NP-0007	吉野石膏ハイパーウォールZ-T FP060NP-0199	吉野石膏ハイパーウォールZ・WI FP060NP-0200	
部位	床		柱			
仕様	RC コンクリート床版 		RC 	耐火塗料1 (準屋外仕様) (ローラー塗りの後パテ処理あり)  鋼管外形φ558.8	耐火塗料2 (準屋外仕様) (ローラー塗りの後パテ処理あり)  鋼管外形φ165.2	
階	4階 ～ 1階	4階 ～ 1階	R2 ～ 1階	1階		
耐火性能	1時間	1時間	1時間	1時間	1時間	
耐火被覆厚さ(T)	－	－	－	2.0	4.5	
認定番号	告示1399	告示1399	告示1399	SK化研 SK耐火コートHS FP060CN-0788	SK化研 SK耐火コートHS FP060CN-0906	
部位	梁		屋根			
仕様	RC 	半湿式吹付ロックウール 	RC コンクリート床版 	カラー ガルバリウム鋼板 上葺 t0.8 下葺 t0.6 	RC 	
階	R2 ～ 1階	4階 ～ 3階	屋根	屋根	4階 ～ 1階	
耐火性能	1時間	1時間	30分	30分	1時間	
耐火被覆厚さ(T)	－	25	－	－	－	
認定番号	告示1399	FP060 BM-9408	告示1399	FP030RF-2017	告示1399	

明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	建築工事	最終版 2025.02.28
	49	耐火リスト	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

(2023年版)

20230220

List

サインリスト

名称	1F	2F	3F	4F	5F	総数	取付	照明	基礎	下地	サンプル	製作図	備考
OS1.外壁施設名称サイン	-	-	-	-	1	1	外壁	◎			●	●	
OS2.欠番													
OS3.駐車場サイン（ピクト）	3	-	-	-	-	3	壁面						
OS4.注意書きサイン	3	-	-	-	-	3	壁面						
OS5.施設名称サイン	4	-	-	-	-	4	ガラス面						
OS6.名称サイン	2	-	-	-	-	2	ガラス面						
OS7.営業時間案内	2	-	-	-	-	2	ガラス面						
OS8.返却ボックスプレート	1	-	-	-	-	1	壁面						
S1a.総合案内サイン	1	-	-	-	-	1	壁面				●	●	
S1b.総合案内サイン	1	-	-	-	-	1	壁面				●	●	
S2.フロア案内サイン	1	1	1	1	-	4	壁面				●	●	
S3.EV前各階案内サイン	1	1	1	1	-	4	壁面				●	●	
S4.informationサイン	1	-	-	-	-	1	壁面				●	●	
S5a.掲示板サイン	5	1	1	1	-	8	壁面				●	●	
S5b.掲示板サイン	1	1	1	1	-	4	壁面				●	●	
S6.名称サイン	5	-	1	3	-	9	壁面				●	●	
S7.EV内各階案内サイン	2	-	-	-	-	2	壁面				●	●	
S8.室名サイン（ペーパークリップ）	-	5	-	4	-	9	壁面				●	●	
S9.室名サイン（在空）	-	3	-	-	-	3	壁面				●	●	
S10.突出サイン	7	5	5	5	-	22	突出				●	●	
S11.ピクトサイン	9	5	5	5	-	24	壁面				●	●	
S12.自動扉サイン	3	-	-	-	-	3	ガラス面						
S13.バックヤード	21	9	7	40	-	77	壁面						
S14.衝突防止	8（一式）	1（一式）	3（一式）	1（一式）	-	13（一式）	ガラス面				●		※プロットより計測
S15.階数表示（当階）	3	3	3	3	1	13	壁面				●	●	
S16.利用案内サイン	3	2	-	10	-	15	壁面						
S17.手摺点字	1	2	2	2	1	8	手摺						
S18.触知サイン	2	1	1	1	-	5	壁面				●		
S19.消火器・消火栓サイン	3	3	3	2	-	11	壁面				●		
S20.三禁表示	2	-	-	-	-	2	壁面						
S21.階段サイン	2	2	2	2	-	8	壁面						
S22.利用案内サイン	-	-	-	20	-	20	壁面					●	

※照明：◎＝電源が必要　○＝外部照明にて照射

サイン工事　特記事項

1.総記

本設計図書は、サインリスト、特記事項、サインプロット図、意匠図から成る。

2.共通事項

適用範囲　本計画に付設される案内板・室名札等のサイン及び移動式サインの全てに適用する。

一般事項
a.屋外大型サイン等の場合に 当該特記事項の仕様を超える範囲は、
日本建築学会建築工事標準仕様書（JASS）及び
日本建築学会制定各種指針の規定を基準とする。
b.仕上げ材は、工事に先立ち見本を提出して、監督職員の承諾を受ける。
c.設計図に基づき必要な製作図、施工図を作成し、監督職員の承諾を受ける。
d.サイン施工前に、原寸出力、実仕様サンプルの作成（費）を見込み、監督職員の承諾を受ける。
e.サイン施工前に、現場検証を監督職員等参加のうえで行い承諾を受ける。
f.サイン施工前に、現場調査をし、設計及び監督職員に報告すること。
g.特定の製品の指示がある場合は、そのメーカー仕様による。
h.耐震施工は、建築設備耐震設計・施工指針（日本建築センター）による。

官公署その他への手続き　工事の施工、建物の使用の開始に必要な官公署その他への手続きは速やかにおこなう。

3.施工基準

関係法令
a.設計図書及び監督職員の指示に従い、建築基準法消防法、その他関係ある法令、
指針を厳守しかつ電気設備技術基準及び内線規定ならびに配線規程に適合
するように施工する。
b.電気用品取締法の適応を受けるものは形式認可済みのものを使用する。
ただし制限外申請にて許可されたものはこの限りでない。
また規格制定なきものは官公署及び所轄電力会社の検査合格及び監督職員の
承諾を受ける。
c.JIS・JEC（電気規格調査会標準規格）・JEM（日本電気工業会標準規格）に
制定のあるもので特記が無い場合はこれに適合したものを使用する。

電照型の仕様
a.電灯、コンセント類
LED、白熱灯、蛍光灯、コンセント、スイッチ等の形式は特記による。
使用する部品のカタログ等を提出し監督職員の承諾を受ける。
1.配線の経路、コードの種類は監督職員と協議して決定する。
2.器具の取付けに当っては器具内の温度が過度に上昇しないよう、空気抜き等を設け、
電球の性能低下や寿命の低下の無いよう注意する。
3.放電灯器具の金属部には全てD種接地工事を施す。
4.工事完了後、点灯試験及び絶縁抵抗測定を行い、その結果を報告する。
b.電照式サインの指定色は照射及び透過された光が肉眼で知覚された色とする。
したがって指定の光源を用いた実験体により色彩を調整し、サンプルにて
監督職員の承諾を受ける。

4.材料及び工法

鋼　材
特記が無い場合以下を標準とする
a.鋼材はJIS規格品を使用する。
b.屋外部に使用される場合の防錆処理は溶融亜鉛メッキとするか、
電気亜鉛メッキ鋼板を使用すること。その他の処理とする場合は、
監督職員と協議して決定する。
c.ステンレスはSUS304とする。

アルミ材
特記が無い場合以下を標準とする
a.アルミニウム合金板はJIS-H-4000-1970「アルミニウム及び
アルミニウム合金の板及び条」二種（A-5052-H-32）とする。
b.異種金属による電気腐食の防止法は絶縁処理を施す。

粘着シート材
特記が無い場合以下を標準とする
a.外部に使用するシート類は耐候性能（5年間色の変化、ひび割れ、
はがれ、ゆがみが生じない）を有するものとする。

樹脂板
特記が無い場合以下を標準とする
a.メタアクリル樹脂板はJIS-K-6718とする。
1.切断面、切り抜き部分の見えがかり部はパフ仕上げとする。
2.接着材は融合型接着材を使用し、接着面に気泡、ゴミが入らないものとする。
3.静電気防止処理は監督職員の指示による。
b.硬質塩化ビニール板はJIS-K-6745とする。
c.アクリル変性高衝撃塩化ビニール板の加工はメーカー仕様とする。
d.偏光アクリル樹脂板の加工はメーカー仕様とする。
e.アルミポリエチレン積層板の表面加工はアルミ材料に準ずる。
f.強化ポリエステル材はガラス繊維補強法、仕上げを含めメーカー仕様及び
特記による。
g.切り文字は糸面取りとする。

ガラス
特記が無い場合以下を標準とする
a. 板ガラスは普通板、フロート、みがき、型板、合わせ、
強化など全ての種類はJIS規格製品とする。
b. ガラスの取付け用材のすべては見本を提出し監督職員の承諾を受ける。
c. ガラスの接着方法は接着剤、粘着シート、テープ類を含め監督職員と協議の上
決定する。
d. 人が触れる部分の仕上げに関しては安全性を十分に考慮して制作すること。

表面処理
a. スチール鋼材は全てサビ止め塗装（2液エポキシ塗料）を施した上で、
指定された仕上げを施すこと。

塗　装
a. 外部設置アイテムは指定色フッ素樹脂焼付塗装とすること。
b. 内部設置アイテムは指定色ポリウレタン樹脂焼付塗装とすること。

5.表示面その他

文字・ピクトグラム
a. サインに使用する書体はタイプフェイスの通りとする。
b. 文字の高さについては和字は「木」の高さ、英字は「H」の高さ、
数字は「1」の高さをそれぞれ基準とする。
c. 文字間隔については文章は詰め送りとし、室名などの短い文字組は別紙の
レイアウトを基本とする。
また字の間隔は視覚的に等しく見えるように調整配列する

レイアウト図
図は特記の無い場合以下の要領で作成する。
a. 文字及び図形等の拡大縮小指定原版を用い写真操作によって忠実に再現する。
また拡大時における変形は入念に修正し監督職員の承諾を受ける。

デジタル出力
デジタル出力品は特記のない場合下記による。
a. 色については現物見本を提出して、監督職員の承諾を受ける。
b. 出力画像を保護し耐候性や耐水性、防汚性を高める専用フィルムで
ラミネートする。
c. 設置する場所に応じ出力機の選定を行う。
d. 透明フィルム使用の際はPET素材とし、白インキ対応の出力機とする。

グラフィック原稿
a.多言語表記に応じた、翻訳の費用を見込むこと。
b.点字サインに必要な点訳の費用を見込むこと。

6.工事範囲

基礎工事　サイン本体を設置するにあたり必要な基礎工事はサイン工事とする。

下地工事　サイン本体を設置するにあたりサインに必要な下地工事はサイン工事とする。

足場架設工事　サイン本体を設置するにあたりサインに必要な足場架設工事はサイン工事とする。

照明工事　一次側電源は別途工事（電気工事）とする（タイマー、スイッチ、コンセント設置を含む）。
二次側結線及び配線はサイン工事とする。
内照式サイン（照明内蔵タイプ）の二次側結線及び照明器具はサイン工事とする。

7.その他

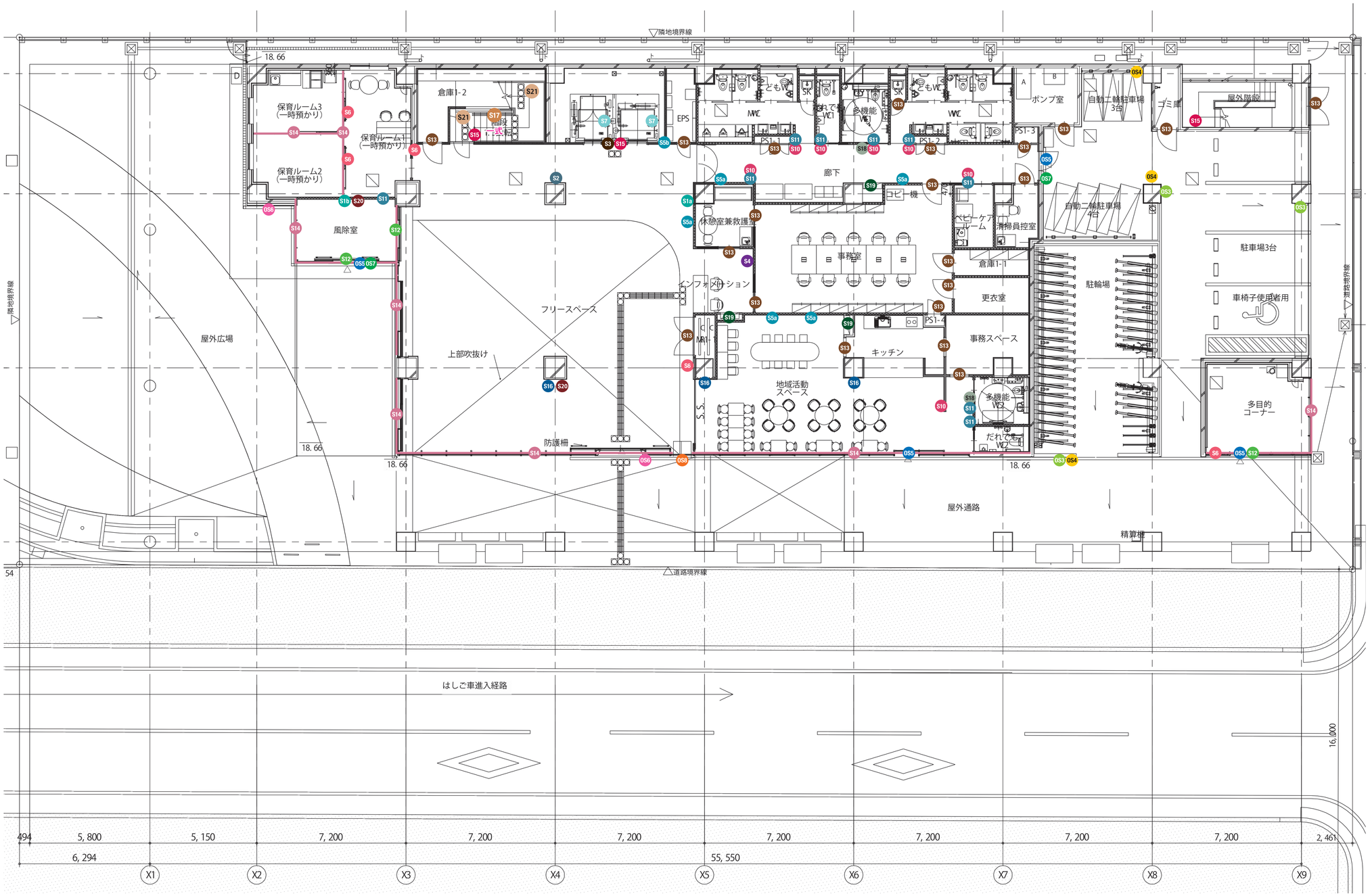
サインデザインの再検討　本施設に設置するサインは、A-54「サイン詳細図(1)」、A-55「サイン詳細図(2)」を
見込んでいるが、契約後、発注者と協議の上、各サインデザインの再検討を実施すること。
再検討により発生するサイン整備費の増減については、発注者と協議の上、
設計変更の対象とする。
なお、サインデザインの再検討は、過去に公益社団法人日本サインデザイン協会が
主催するSDA賞で、金賞・大賞・最優秀賞のいずれかを受賞したことがある
作品代表者（事業者）が実施すること。

明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	A	サインリスト	最終版 2025. 02. 28
	50		見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

Plot_1F

1Fサインプロット図

- OS1 外壁施設名称サイン
- OS3 駐車場サイン（ピクト）
- OS4 注意書きサイン
- OS5 施設名称サイン
- OS6 名称サイン
- OS7 営業時間案内
- OS8 返却ボックスプレート
- OS9 公開空地
- OS10 防火水槽
- S1 総合案内サイン
- S2 フロア案内サイン
- S3 EV前各階案内サイン
- S4 informationサイン
- S5 掲示板サイン
- S6 名称サイン
- S7 EV内各階案内サイン
- S8 室名サイン（ペーパークリップ）
- S9 室名サイン（在空）
- S10 突出サイン
- S11 ピクトサイン
- S12 自動扉サイン
- S13 バックヤード
- S14 衝突防止
- S15 階数表示（当階）
- S16 利用案内サイン
- S17 手摺点字
- S18 触知サイン
- S19 消火器・消火栓サイン
- S20 三禁表示
- S21 階段サイン
- S22 利用案内サイン



S=1/100(A1)

明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A		
	51	1階サイン配置図 A1 1/100 A3 1/200	最終版 2025. 02. 28
			見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

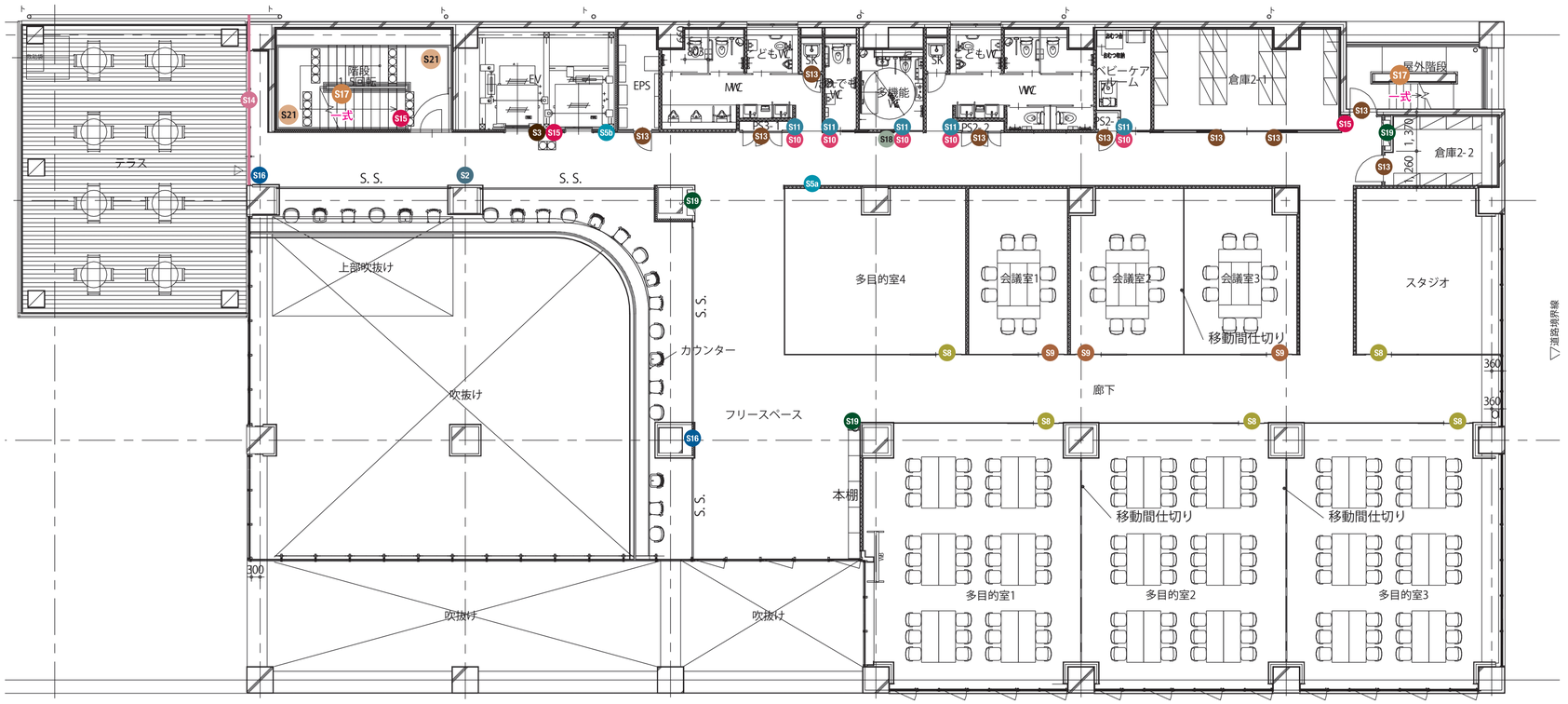
20230220

Plot_2F・3F

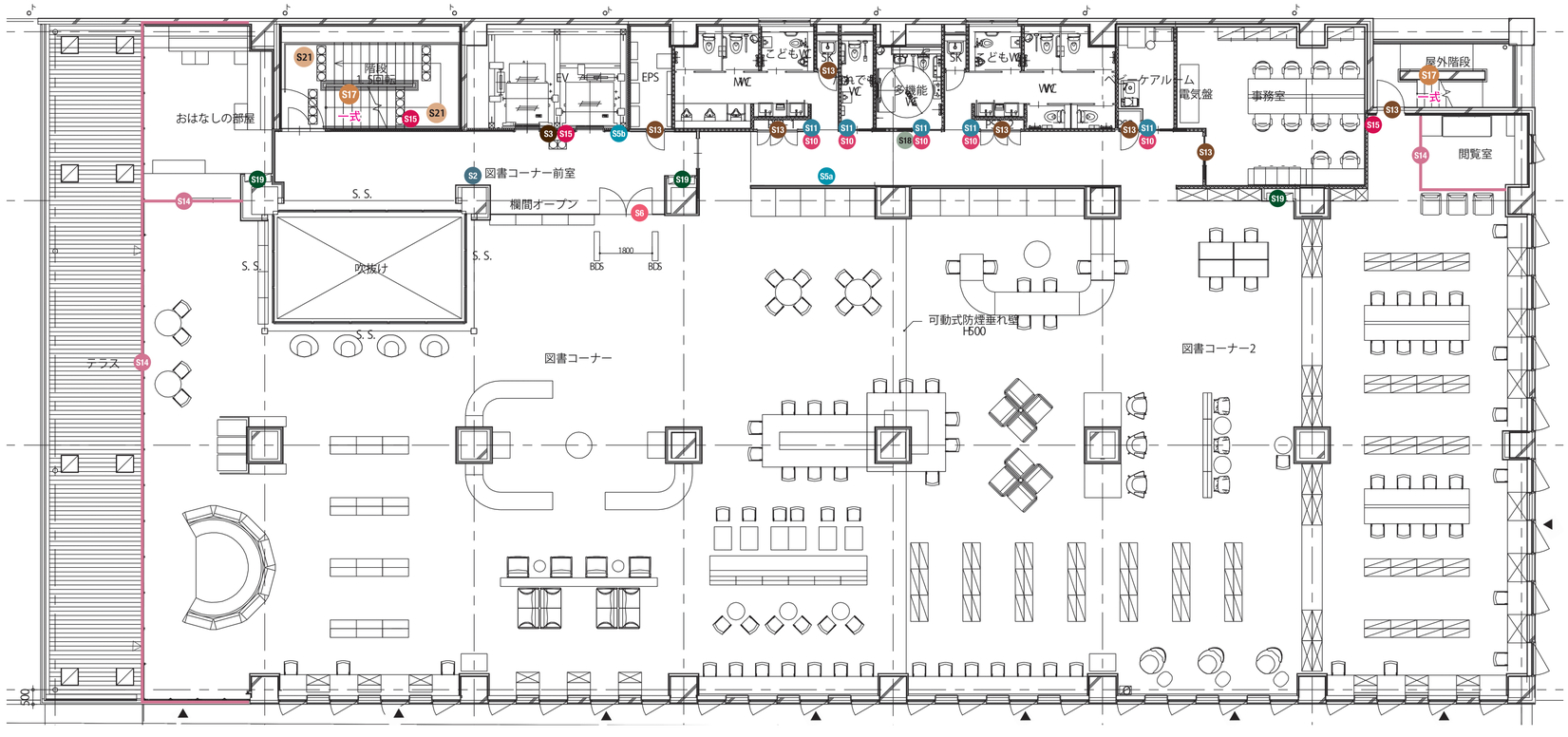
2F・3Fサインプロット図

- OS1 外壁施設名称サイン
- OS3 駐車場サイン（ピクト）
- OS4 注意書きサイン
- OS5 施設名称サイン
- OS6 名称サイン
- OS7 営業時間案内
- OS8 返却ボックスプレート
- OS9 公開空地
- OS10 防火水槽
- S1 総合案内サイン
- S2 フロア案内サイン
- S3 EV前各階案内サイン
- S4 informationサイン
- S5 掲示板サイン
- S6 名称サイン
- S7 EV内各階案内サイン
- S8 室名サイン（ペーパークリップ）
- S9 室名サイン（在空）
- S10 突出サイン
- S11 ピクトサイン
- S12 自動扉サイン
- S13 バックヤード
- S14 衝突防止
- S15 階数表示（当階）
- S16 利用案内サイン
- S17 手摺点字
- S18 触知サイン
- S19 消火器・消火栓サイン
- S20 三禁表示
- S21 階段サイン
- S22 利用案内サイン

2F



3F



S=1/100(A1)

明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	2階・3階サイン配置図 A1 1/100 A3 1/200	最終版 2025. 02. 28
	52		見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

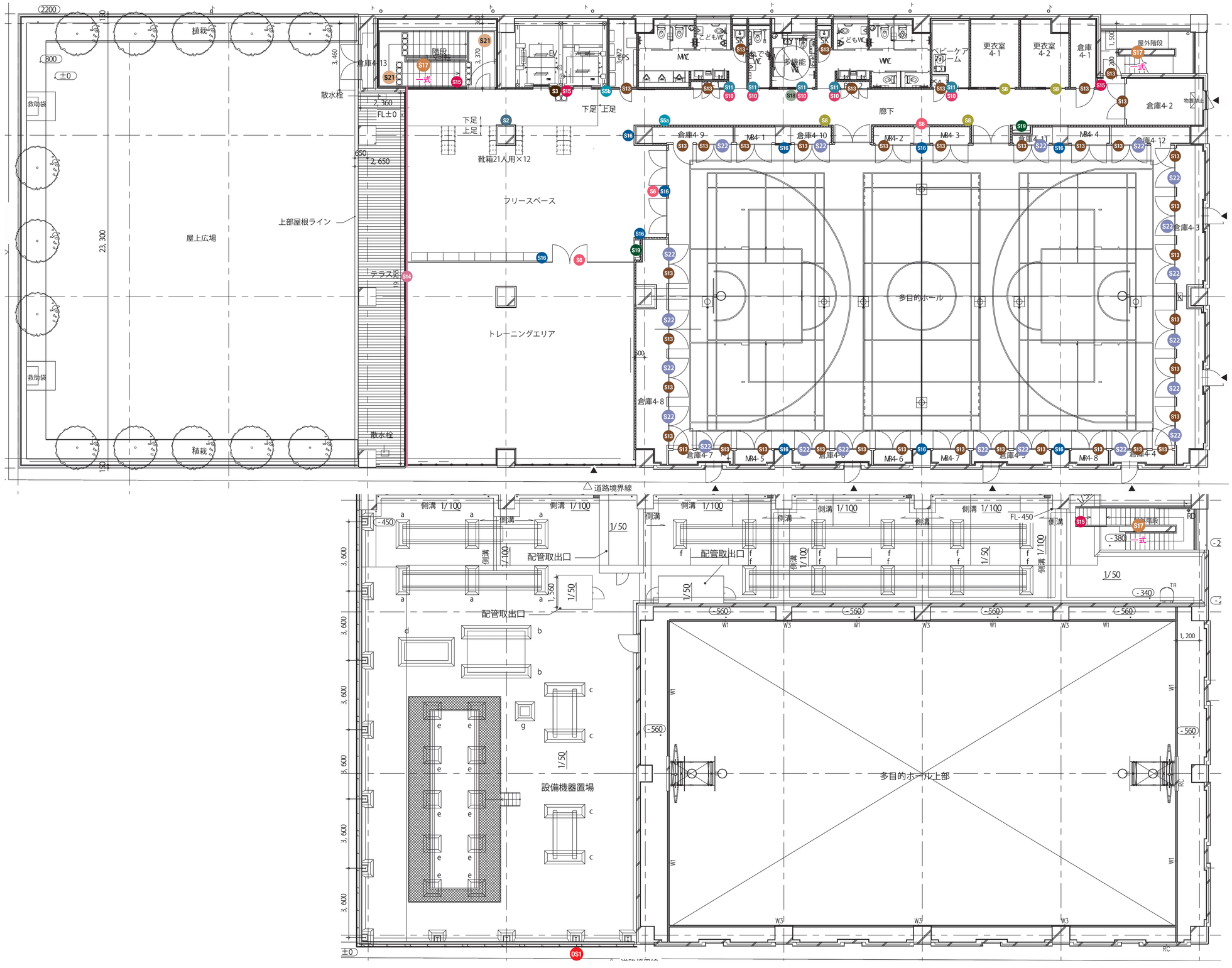
（2023年版）

20230220

Plot_4F・5F

4F・5Fサインプロット図

- OS1 外壁施設名称サイン
- OS3 駐車場サイン（ピクト）
- OS4 注意書きサイン
- OS5 施設名称サイン
- OS6 名称サイン
- OS7 営業時間案内
- OS8 返却ボックスプレート
- OS9 公開空地
- OS10 防火水槽
- S1 総合案内サイン
- S2 フロア案内サイン
- S3 EV前各階案内サイン
- S4 informationサイン
- S5 掲示板サイン
- S6 名称サイン
- S7 EV内各階案内サイン
- S8 室名サイン（ペーパークリップ）
- S9 室名サイン（在空）
- S10 突出サイン
- S11 ピクトサイン
- S12 自動扉サイン
- S13 バックヤード
- S14 衝突防止
- S15 階数表示（当階）
- S16 利用案内サイン
- S17 手摺点字
- S18 触知サイン
- S19 消火器・消火栓サイン
- S20 三禁表示
- S21 階段サイン
- S22 利用案内サイン



S=1/100(A1)

明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	4階・屋上サイン配置図 A1 1/100 A3 1/200	最終版 2025. 02. 28
	53		見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

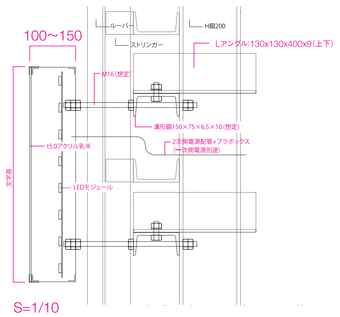
20230220

OS1 外壁施設名称サイン　S=1/400,1/40,1/10,(A1)

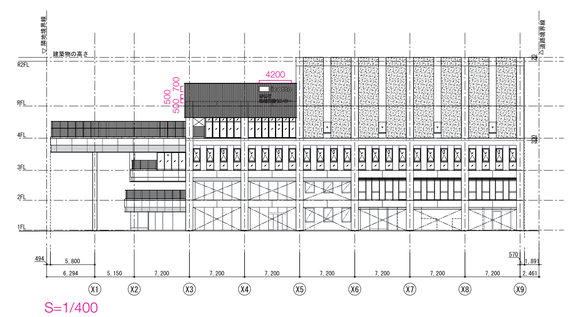
本　体：SUS 箱文字　焼付塗装仕上　アクリル押え枠仕様
照　明：LED モジュール　内照式　正面発光
表示板：t5.0 アクリル乳半
下　地：横胴縁
電　源：２次側電源電源配管＋プラボックス
　　（一次側電源別途）



S=1/40

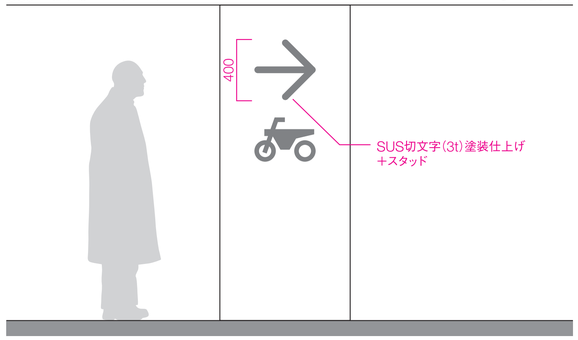


S=1/10



S=1/400

OS3 駐車場サイン(ピクト)　S=1/20(A1)



OS4 注意書きサイン　S=1/20,1/10(A1)





S=1/20

ベース: アルミ複合板(3t)
捨板: アルミ複合板(3t)
表示: インクジェット出力貼、小口巻き込み
角R

OS5 施設名称サイン　S=1/20(A1)



OS6 名称サイン　S=1/20(A1)



OS7 営業時間案内　S=1/20,1/10(A1)



塩ビシート切文字貼

28 開館時間　平　日　10:00～20:00
　　土日祝日　9:30～18:00
　休館日　毎週月曜日(祝日の場合翌日)
　　毎月第一水曜日(館内整理日)
　　年末年始(12月29日～1月3日)

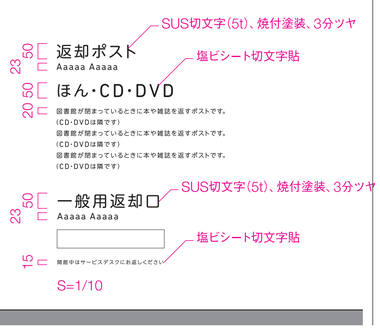
54 無料Wi-Fiスポット
　 Free Wi-Fi Spot

60

S=1/10

OS8 返却ボックスプレート　S=1/20,1/10(A1)



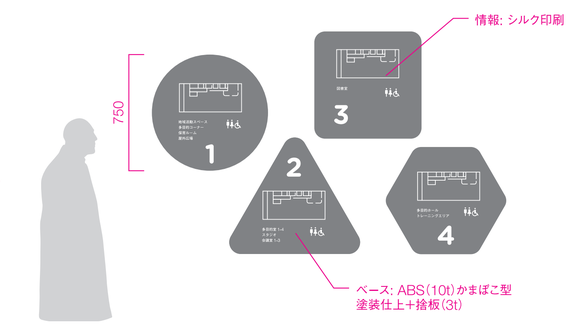


S=1/20

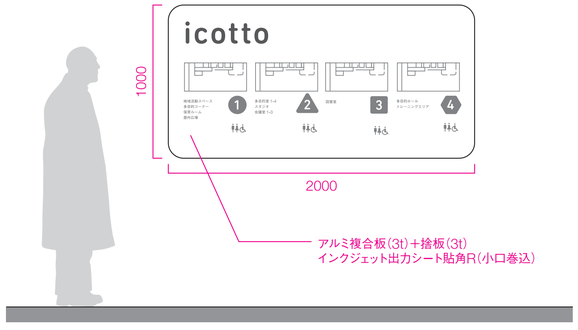
SUS切文字(5t)、焼付塗装、3分ツヤ
塩ビシート切文字貼
SUS切文字(5t)、焼付塗装、3分ツヤ
塩ビシート切文字貼

S=1/10

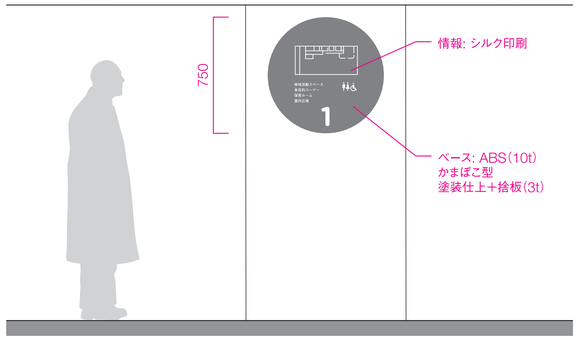
S1a 総合案内サイン　S=1/20(A1)



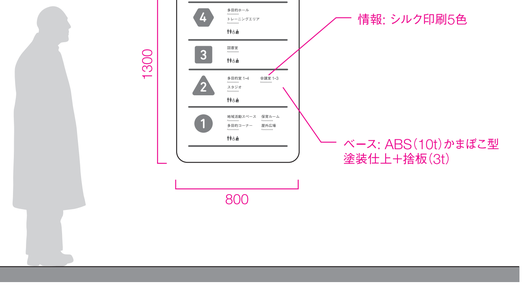
S1b 総合案内サイン　S=1/20(A1)



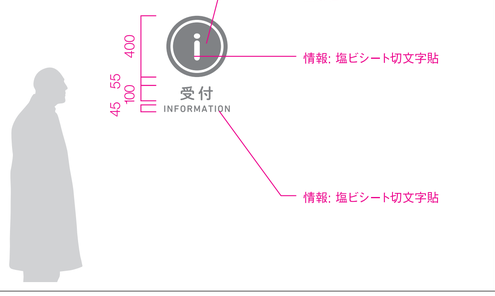
S2 フロア案内サイン　S=1/20(A1)



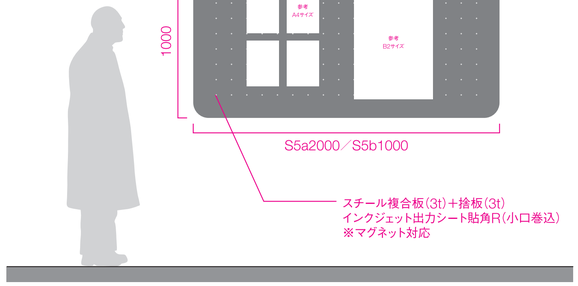
S3 EV前各階案内サイン　S=1/20(A1)



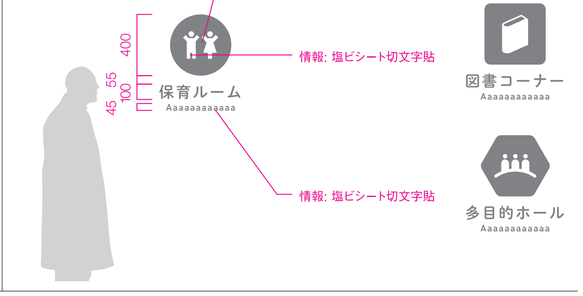
S4 informationサイン　S=1/20(A1)



S5 掲示板サイン　S=1/20(A1)



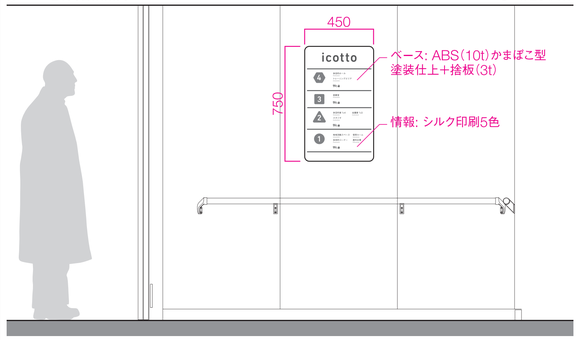
S6 名称サイン　S=1/20(A1)



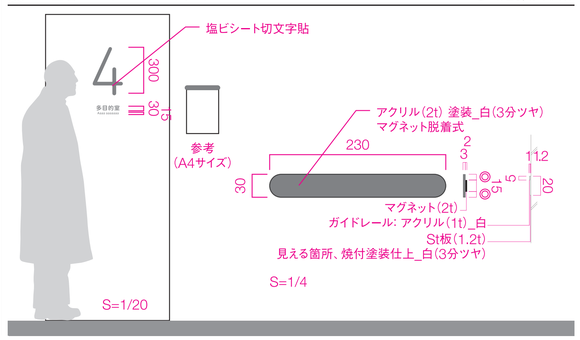
明石市政策局　プロジェクト推進室		西明石地域交流センター　icotto 建設工事	
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	A	サイン詳細図 (1)	最終版　2025. 02. 28
	54		見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

20230220

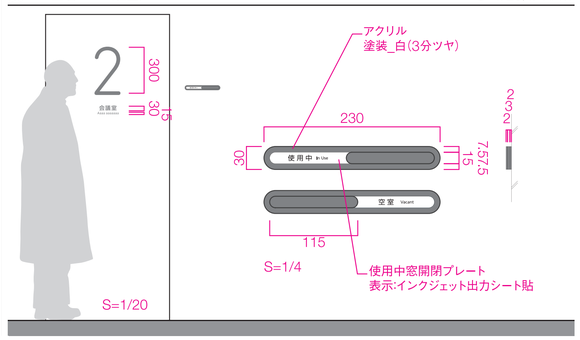
S7 EV内各階案内サイン　S=1/20(A1)



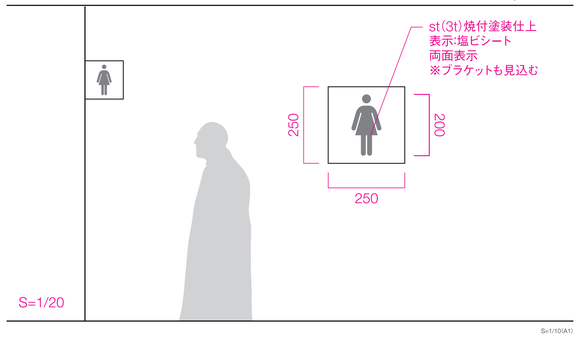
S8 室名サイン(ペーパークリップ)　S=1/20,1/4(A1)



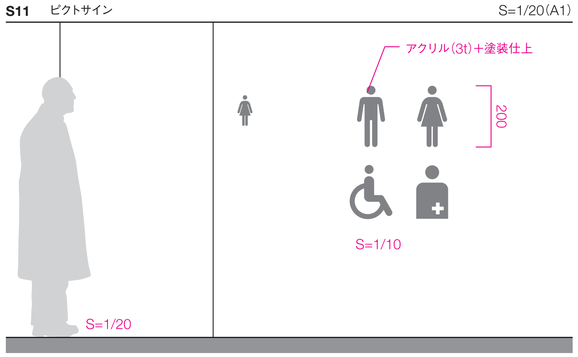
S9 室名サイン(在空)　S=1/20,1/4(A1)



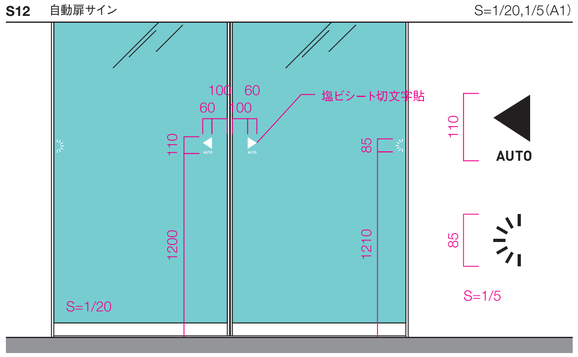
S10 突出サイン　S=1/20,1/10(A1)



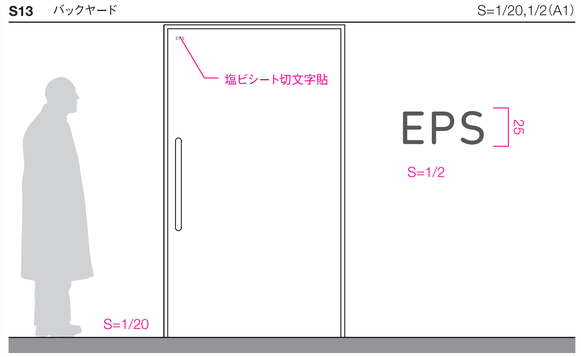
S11 ピクトサイン　S=1/20(A1)



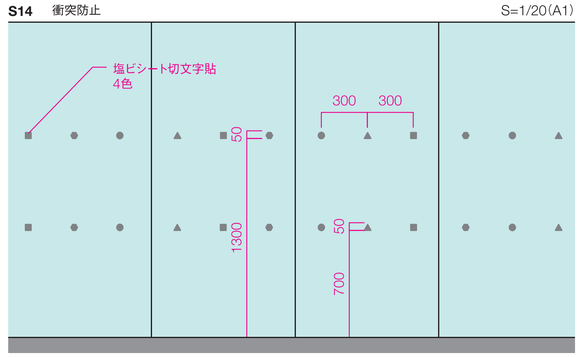
S12 自動扉サイン　S=1/20,1/5(A1)



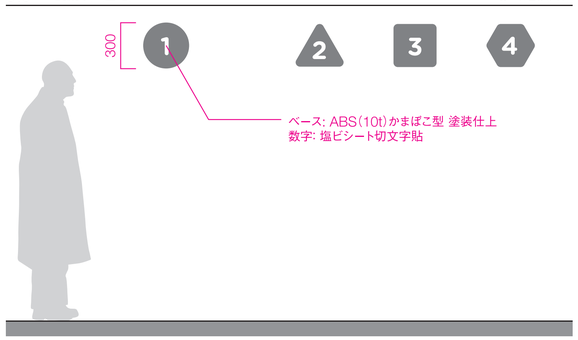
S13 バックヤード　S=1/20,1/2(A1)



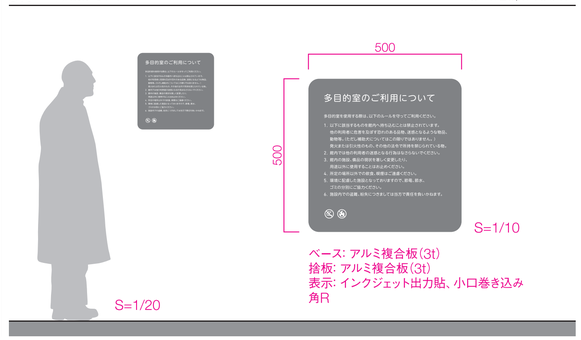
S14 衝突防止　S=1/20(A1)



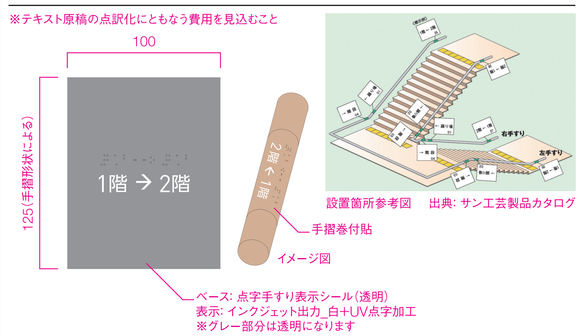
S15 階数表示(当階)　S=1/20(A1)



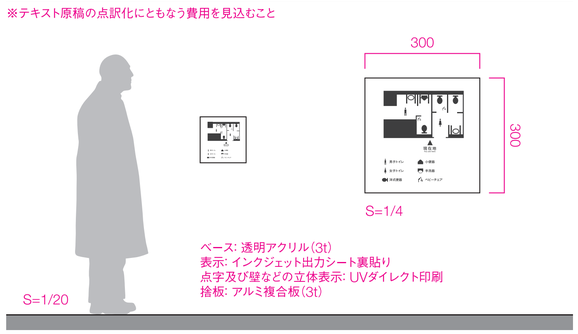
S16 利用案内サイン　S=1/20,1/10(A1)



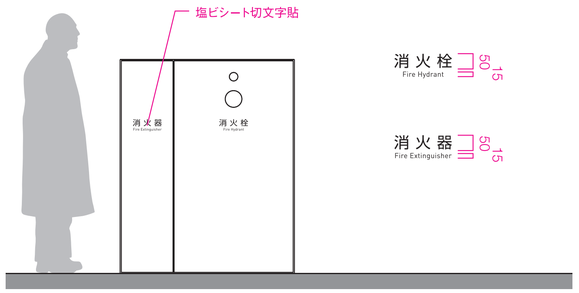
S17 手摺点字　S=1/2 (A1)



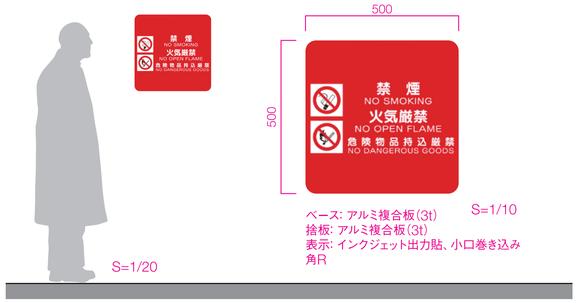
S18 触知サイン　S=1/20,1/10(A1)



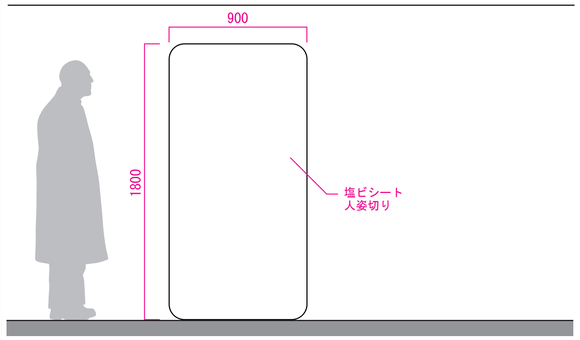
S19 消火器・消火栓サイン　S=1/20,1/10(A1)



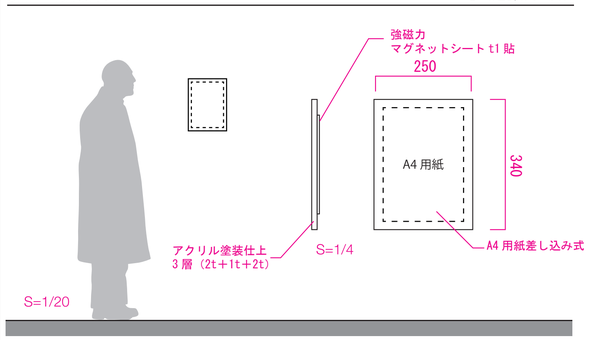
S20 三禁表示　S=1/20,1/10(A1)



S21 階段サイン　S=1/20(A1)



S22 利用案内サイン　S=1/20,1/4 (A1)



明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	サイン詳細図 (2)	最終版 2025. 02. 28
	55		見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

(2023年版)

20230220

仮囲い(万能版 H=3,000)

▽ 隣地境界線 64.33

▽ 道路境界線 64.30

△ 道路境界線

隣地境界線 ▽ 25.44

側溝

メンテナンスピット

釜場

梁側面増打ち

EVピット −1,250

消火水槽 −1,200

OF

点検ルート

釜場(小)

b5

作業ヤード

ETP3

ETP2

雨

汚

標

V

F

G

現況幅員 7,050

キャスターゲート W = 5.0 m

キャスターゲート W = 10.0 m

交通誘導員B 1名

交通誘導員B 1名

交通誘導員B 1名

仮囲い(万能版 H=3,000)

車両通行ルート (他現場と共用)

凡例	-------	万能版 H=3,000					
	◁▷	交通誘導員					

備考

・着工時地盤高さはTP+18.50(設計GL-140)とする

仮設資材

仮囲い	鋼製万能板 H= 3.00 m
親杭	H-250×125×9×6 L= 5.00 m @1.50m (根入れ 2.50 m)
横矢板	木矢板 W= 250 t= 30 D= 0.00～1.00
	木矢板 W= 250 t= 40 D= 1.00～2.00
	木矢板 W= 250 t= 50 D= 2.00～2.50
敷き鉄板	t22 ×1,219 × 2,438 (4×8)

TP+18.50 地盤面

設計GL

t=30

木矢板 t=40

t=50

▽ 根切底

2,500

2,640

140

親杭断面図

明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A 建築工事 最終版 2025.02.28
	56 仮設計画図 1/100(A1) 1/200(A3) 見積版 2024.12.16
	安井建築設計事務所 最終契約版

(2023年版)

20241213更新 20241211作図

仕　様　一　覧

		1号機	2号機
号　機			
用　途		乗用（車いす仕様）	乗用（車いす仕様）
機　種		XIOR（エクシオール／機械室レス）XI02　同等品	XIOR（エクシオール／機械室レス）XI02　同等品
制御方式		インバータ制御方式（電力回生無し）	インバータ制御方式（電力回生無し）
運転操作方式		群乗合全自動方式	群乗合全自動方式
積　載		750　kg　11　名	900　kg　13　名
速　度		60　m/min	60　m/min
動力用電源		三相3線　210　V　60　Hz	三相3線　210　V　60　Hz
照明用電源		単相　100　V　60　Hz	単相　100　V　60　Hz
巻上電動機		4.6　kW	5.6　kW
停止階及び数		（正面）1−4　階　4　個所 （背面）　階　個所	（正面）1−4　階　4　個所 （背面）　階　個所
かご内法		（間口）1400 mm（奥行）1350 mm（高さ）2250 mm	（間口）1600 mm（奥行）1350 mm（高さ）2250 mm
出入口寸法		（間口）800　mm（高さ）2100　mm	（間口）900　mm（高さ）2100　mm
戸の方式		2枚 両引き（電動式）	2枚 両引き（電動式）
おもり		50　%バランス	50　%バランス
荷重条件　※1		250　kg以下	250　kg以下
管制運転	地震時管制運転	●：（P・S波）リスタート運転機能付	●：（P・S波）リスタート運転機能付
	火災時管制運転	●	●
	停電時自動着床	●	●
	冠水時管制運転	●	●
	自家発時管制運転	−	−
	緊急地震速報連動	−	−
	長周期地震時管制運転	−	−
セーフティ機能	カードアポケットセンサー	●	●
	光電式ドアニック	●：（光電式）	●：（光電式）
	光電式多光軸ドアセンサー	●	●
	ドアエッジセンサー	−	−
	ドアウインカー	−	−
ユニバーサルデザイン	車いす仕様	●	●
	音声案内装置	●：四ヶ国語対応（通常時：日英、緊急時：日英中韓）	●：四ヶ国語対応（通常時：日英、緊急時：日英中韓）
福祉対応	視覚障がい者仕様（点字）	●	●
福祉対応	聴覚障がい者仕様（応答灯付インターホン呼びボタン）	●	●
福祉対応	発音機能付タクタイルボタン	●	●
福祉対応	走行お知らせ音	●	●
敷居隙間	10mm	●	●
乗場	三方枠	全階　大枠 鋼板塗装仕上（指定塗色）	全階　大枠 鋼板塗装仕上（指定塗色）
乗場	幕板		
乗場	扉	全階　鋼板塗装仕上（指定塗色）	全階　鋼板塗装仕上（指定塗色）
乗場	遮煙乗場ドア	●：1−4階	●：1−4階
乗場	防犯窓　※2	●：段差無（大型）：1−4階	●：段差無（大型）：1−4階
乗場	敷居	全階　硬質アルミ製	全階　硬質アルミ製
乗場	乗場意匠機器　表示機器	全階　液晶表示（混雑度表示付）／押ボタン組込	全階　1号機と共通
乗場	乗場意匠機器　押ボタン	全階　60角クリアタクタイルボタン	全階　60角クリアタクタイルボタン
乗場	乗場意匠機器　フェースプレート	全階　ステンレスヘアライン仕上	全階　ステンレスヘアライン仕上
かご	天　井	デラックスタイプ	デラックスタイプ
かご	袖　壁	ステンレスバイブレーション仕上（入口柱一体）	ステンレスバイブレーション仕上（入口柱一体）
かご	入口柱	−	−
かご	側　壁	鋼板塗装仕上（客先指定塗色）	鋼板塗装仕上（客先指定塗色）
かご	幕　板	鋼板塗装仕上（客先指定塗色）	鋼板塗装仕上（客先指定塗色）
かご	扉	鋼板塗装仕上（客先指定塗色）	鋼板塗装仕上（客先指定塗色）
かご	幅　木	ステンレスヘアライン仕上	ステンレスヘアライン仕上
かご	床	t=6.0　ゴムタイル	t=6.0　ゴムタイル
かご	敷　居	硬質アルミ製	硬質アルミ製
かご	換気装置	クロスフローファン	クロスフローファン
かご	主操作盤　表示機器	液晶表示／操作盤組込	液晶表示／操作盤組込
かご	主操作盤　押ボタン	60角クリアタクタイルボタン	60角クリアタクタイルボタン
かご	主操作盤　フェースプレート	ステンレスバイブレーション仕上	ステンレスバイブレーション仕上
かご	手すり	32φ ステンレスヘアライン仕上（端部亜鉛ダイカスト製）	32φ ステンレスヘアライン仕上（端部亜鉛ダイカスト製）
かご	鏡	標準ステンレス鏡（周囲ビス止め）	背面中央パネル：3tステンレス鏡面仕上
かご	ガード	ステンレスヘアライン仕上（H＝300）	ステンレスヘアライン仕上（H＝300）
かご	保護幕	●：標準品（取付：磁石式）	●：標準品（取付：磁石式）
かご	床マット	●	●
かご	ITVカメラ	●：122万画素、メンテナンスカメラ兼用	●：122万画素、メンテナンスカメラ兼用
特記仕様		抗菌仕様ボタン（乗場／かご）	抗菌仕様ボタン（乗場／かご）
特記仕様		非常呼出号 1A	非常呼出号 1A
特記仕様		かごドア面側セーフティ付	かごドア面側セーフティ付
特記仕様		行先階キャンセル機能	行先階キャンセル機能
特記仕様		放送用スピーカー	放送用スピーカー
特記仕様		映像分配器	映像分配器
特記仕様		車いす・視覚障がい者用一体型注意銘板	車いす・視覚障がい者用一体型注意銘板
特記仕様		車いす国際シンボルマーク	車いす国際シンボルマーク
特記仕様		聴覚障がい者対応システム	聴覚障がい者対応システム
特記仕様		かご内キーシリンダー（3階初構設置）	かご内キーシリンダー（3階初構設置）
特記仕様	監視盤	−	−
高調波対策	EMIフィルタ 零相リアクトル（標準）	●　（回路分類NO.31 換算係数Ki＝3.4）	●　（回路分類NO.31 換算係数Ki＝3.4）
高調波対策	標準＋ACリアクトル	−　（回路分類NO.32 換算係数Ki＝1.8）	−　（回路分類NO.32 換算係数Ki＝1.8）
高調波対策	標準＋DCリアクトル	−　（回路分類NO.33 換算係数Ki＝1.8）	−　（回路分類NO.33 換算係数Ki＝1.8）
高調波対策	標準＋AC・DCリアクトル	−　（回路分類NO.34 換算係数Ki＝1.4）	−　（回路分類NO.34 換算係数Ki＝1.4）

基本仕様

- 最寄階救出運転
- 戸開き不能時救出運転
- 乗り過ぎ検出（警報ブザー及び音声案内）
- 各階強制停止運転（各停運転）
- 昇降機耐震設計・施工指針（2016年版）対応
- 戸開走行保護装置
- イオンフル（プラズマクラスター技術搭載／シャープ（株）商標）
- 耐震クラス（ A14 ）

エコロジー機能

- かご天井 LED照明（液晶インジケータのバックライトもLED化）
- シックハウス対策（法令（建基）に基づいたシックハウス対策に対応）
- かご照明の自動休止

※1 4輪手押し台車等で荷物を積み込む場合は、台車の重量を含んで、荷重条件以下に分けて積み込むこと。
※2 特定防火設備の区画では、防犯窓付きの扉は設置不可。

1,2号機

車いす仕様

乗　場	車いす専用乗場ボタン
かご内室	車いす専用かご主副操作盤（主側のみインジケータ付）
	鏡
	手すり
セーフティ機能	戸開放時間の延長
	戸開速度の低減
	自動着床修正装置
	光電式多光軸ドアセンサー

1,2号機

遮煙エレベータ乗場ドア

認定番号　CAS−0599（国住指第4108号）

1~4　階　乗場ドアは、上記認定品とする。

認定条件通り　停電時自動着床装置と火災管制運転（自動）を合わせて設置。

遮煙エレベータ乗場ドア設置上の注意事項

- 遮煙エレベータ乗場ドア設置条件として、建物の火災感知信号をエレベータ制御盤へ供給すること。
- 建物側で自動火災報知設備の設置義務が無い場合においても、遮煙エレベータ乗場ドア設置階のエレベータホールに煙感知器などの火災感知器を設置の上火災感知信号をエレベータ制御盤へ供給すること。

1,2号機　※昇降路内温度の制約

下記いずれかの場合は、「換気上有効な開口部、換気設備又は空気調和設備」を設けること。

- 昇降路内温度が40℃を超える場合
  （エレベータ機器の発熱や昇降路外からの入射熱等による）
- エレベータ機器発熱量による昇降路内温度上昇が7℃を超える場合

エレベータ機器発熱量 ~~（かご用クーラー含む）~~	2559 W
エレベータ機器発熱量による昇降路内温度上昇	7℃以下

※エレベータ機器の発熱や昇降路外からの入射熱等により、昇降路内温度が40℃を超えないこと。

エレベータ除外工事

建築工事関係除外工事

1．昇降路の築造工事。
（コンクリート打ち誤差により必要となるはつりまたは肉付け工事）
・昇降路のコンクリート強度は 21N/mm²（FC21）以上。
・昇降路のコンクリート壁厚は 150mm 以上。
・昇降路の壁（囲い）は、5cm² の任意の面に直角方向の外力（300N）が作用しても15mmを超える変形及び塑性変形を生じない構造とする。
2．各階出入口（インジケータ、押釦用孔含む）の孔あけ工事。
3．各階乗場出入口枠周囲のモルタル詰め もしくはロックウール詰め工事。
4．乗場据付後の出入口廻りの壁・床及び建築物補修仕上工事。
5．屋上・開放廊下等直接外気と接する乗場における雨水よけ設備工事。
（排水口・水勾配・庇など）
6．ピット内防水仕上工事、およびピットが深い場合の埋め戻し工事。
（エレベータ工事の着工前に完了のこと）
・防水厚は 25mm 以下。
7．昇降路頂部の荷吊り用ビーム（ 20 kN）設置工事。
8．鉄骨構造の昇降路に於ける鉄骨材の耐火処理工事及び耐火材の飛散防止処理工事。
9．レール支持用（ ファスナープレート）の設置工事。
10．敷居受材設置工事。

設備工事関係除外工事

1．エレベータ受電箱までの動力電源・照明電源・接地線の引込み、並びにつなぎ込み工事。
2．昇降路外のインターホン・非常ベル、その他エレベータに必要な配管配線工事。
3．ピット点検用コンセント設置工事。
4．昇降路頂部の煙感知器設置工事。（昇降路頂部より点検が可能な事）
5．エレベータ遠隔監視用電話線（電話中継盤から監視ユニット設置場所まで）の配管配線工事。

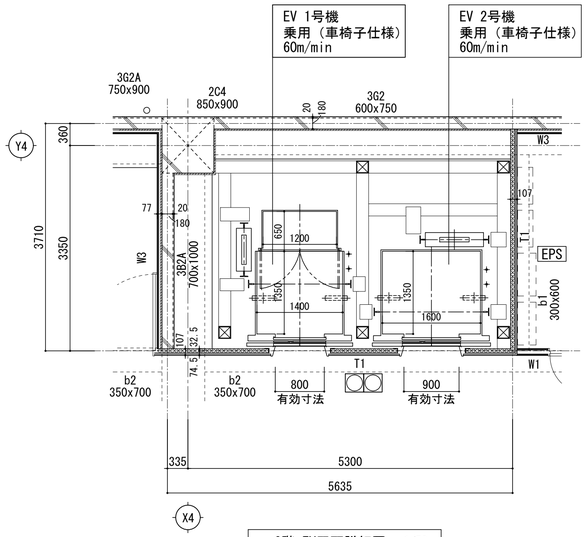
注意事項

1．昇降路内に他の用途の配管、ダクトを設けないこと。昇降機に必要な配管設備にあっては、昇降機の機能に支障無きようにすること。また、昇降路壁には、エレベータ以外の電気・水道等の配管・器具類を埋め込まないこと。
2．エレベータ受電箱における電源電圧の変動は±5％以内、照明用は±2％以内、電圧不平衡率は5％以内に保つよう電源を設置すること。
3．昇降路内温度は40℃、湿度は月平均90％・日平均95％を超えないこと。
4．昇降路には有毒ガスや甚だしい塵あい等が入らないようにすること。
5．昇降路および出入口は風雨に直接さらされたり、塩分の影響を受けないようにすること。
6．エレベータ機器の搬入に支障のない経路を確保すること。
（必要に応じてコンクリート乳あけ、および埋戻し工事）
7．据付工事用仮設電源、試運転用電力、砂、セメント、水等は無償供給すること。
8．工事現場におけるエレベータ部品、据付材料の保管場所を無償貸与すること。

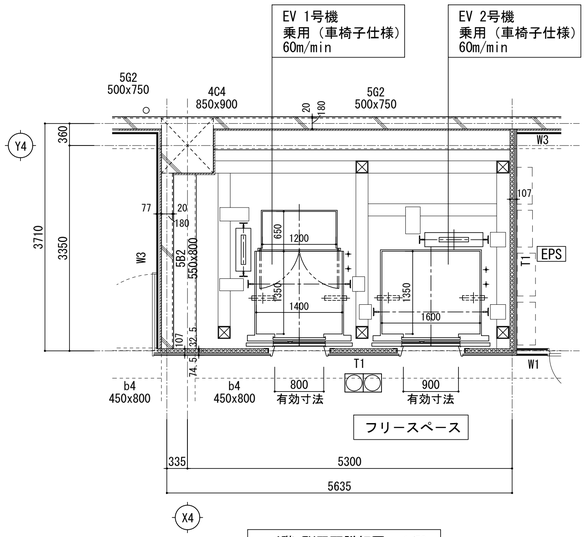
明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	建築工事	最終版 2025. 02. 28
	101	昇降機仕様書 二	見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

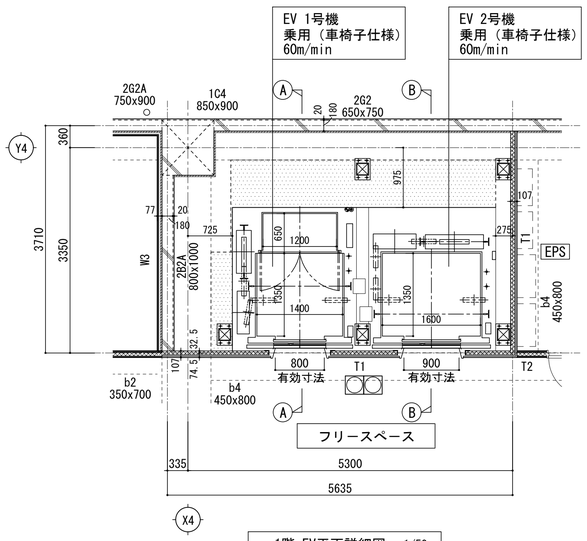
20230220



2階 EV平面詳細図　1/50

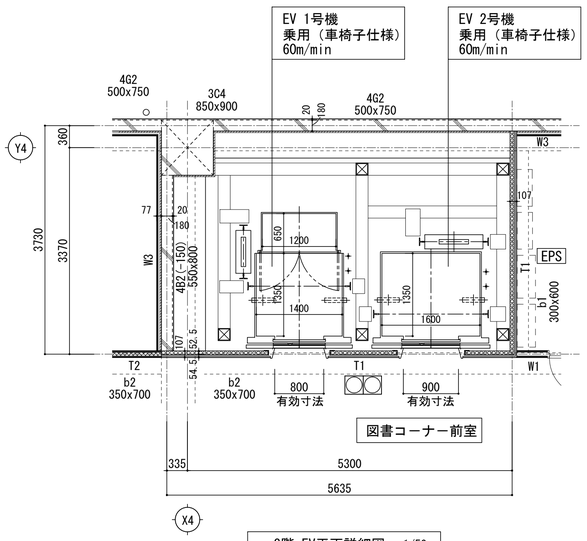


4階 EV平面詳細図　1/50

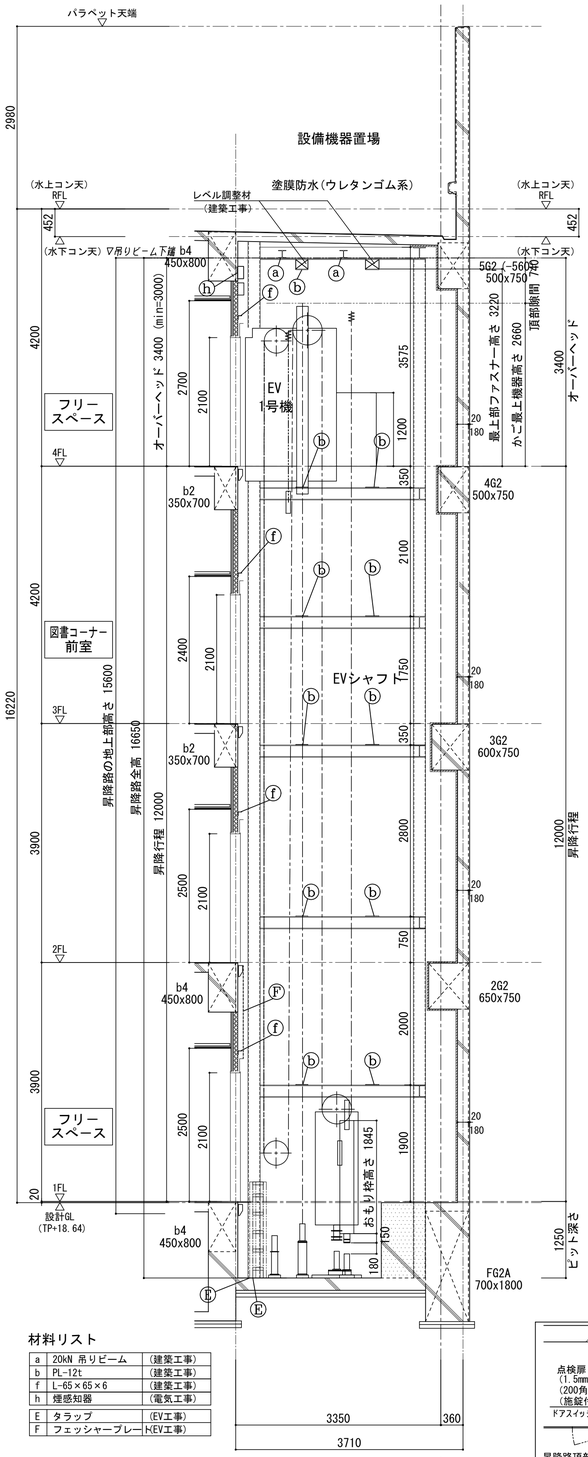


1階 EV平面詳細図　1/50

増打ち部分を示す



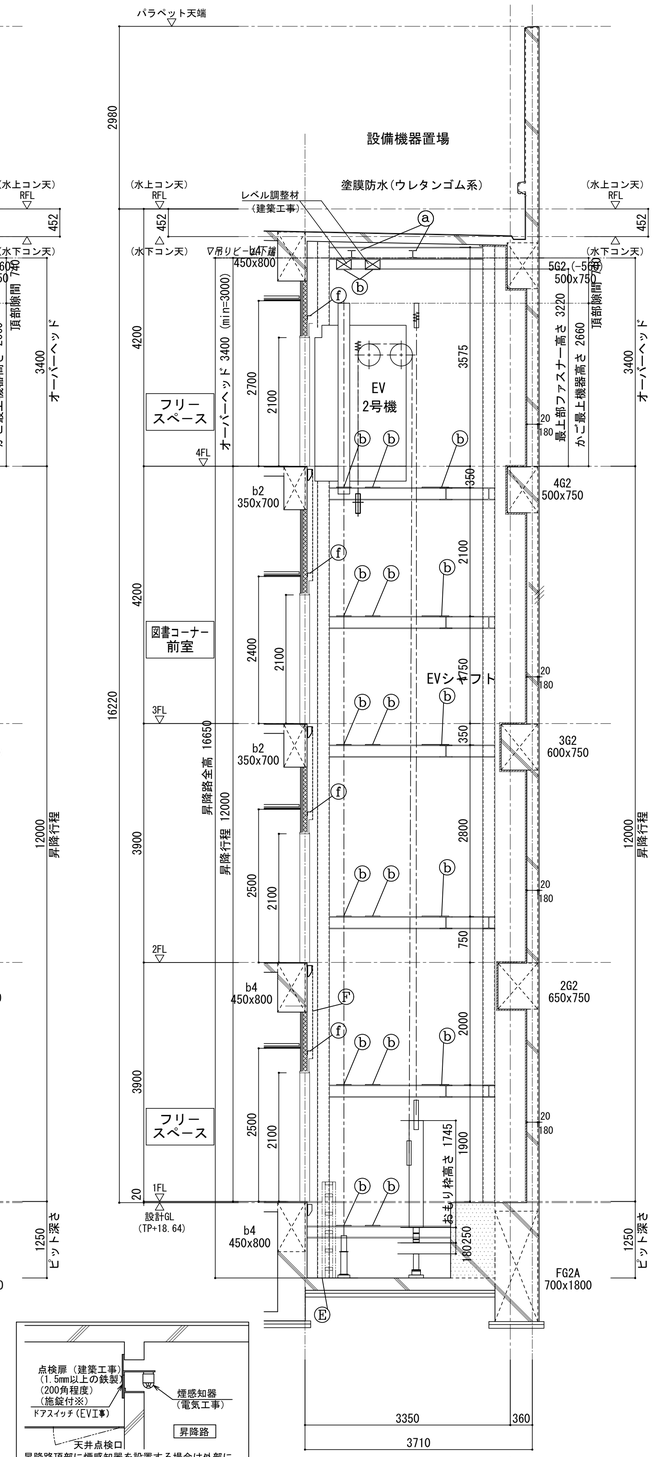
3階 EV平面詳細図　1/50



昇降路断面図
1号機側

A A 断面詳細図 1/50

増打ち部分を示す



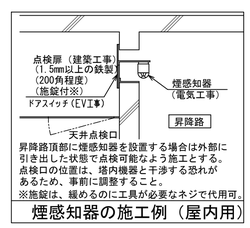
昇降路断面図
2号機側

B B 断面詳細図 1/50

増打ち部分を示す

材料リスト

a	20kN 吊りビーム	(建築工事)
b	PL-12t	(建築工事)
f	L-65×65×6	(建築工事)
h	煙感知器	(電気工事)
E	タラップ	(EV工事)
F	フェッシャープレート	(EV工事)



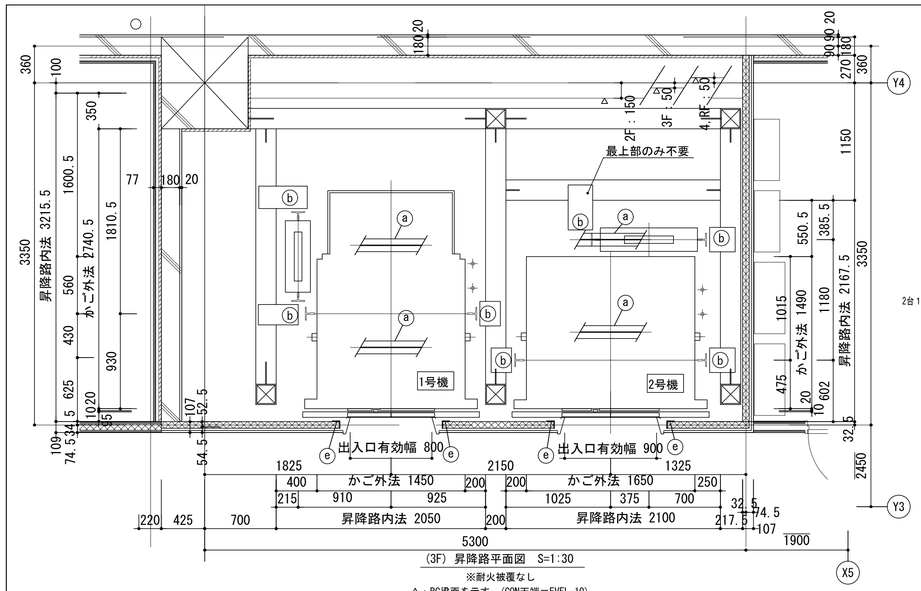
昇降路頂部に煙感知器を設置する場合は外部に引き出した状態で点検可能なよう施工とする。
点検口の位置は、塔内機器と干渉する恐れがあるため、事前に調整すること。
※施錠は、緩めるのに工具が必要なネジで代用可。

煙感知器の施工例（屋内用）

明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章		A	建築工事
		102	昇降機詳細図(1) A1 1:50 A3 1:100
			安井建築設計事務所
			最終版 2025.02.28
			見積版 2024.12.16
			最終契約版

（2023年版）

20230220



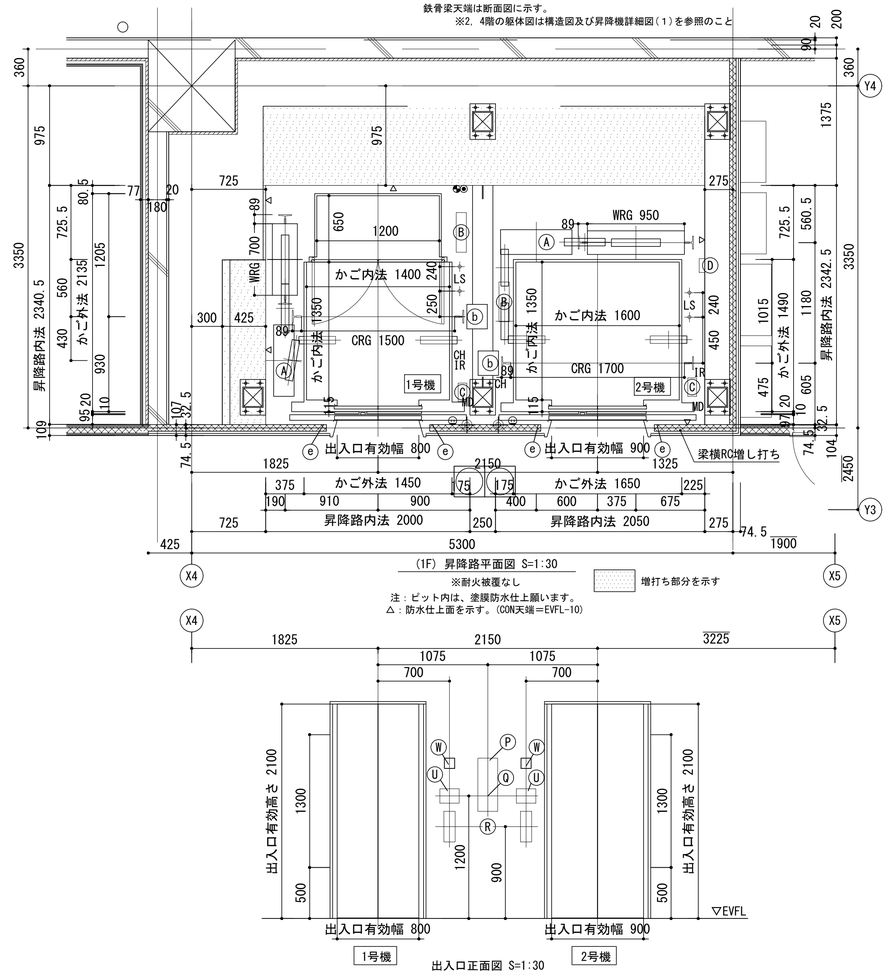
(3F) 昇降路平面図 S=1:30

※耐火被覆なし

△：RC梁面を示す。(CON天端＝EVFL-10)

鉄骨梁天端は断面図に示す。

※2、4階の躯体図は構造図及び昇降機詳細図(1)を参照のこと



(1F) 昇降路平面図 S=1:30

※耐火被覆なし

増打ち部分を示す

注：ピット内は、塗膜防水仕上願います。

△：防水仕上面を示す。(CON天端＝EVFL-10)

出入口正面図 S=1:30

1号機

電源設備（1台当たり） 【電気工事】

記号	種別	線種等				引込み高さ	引出し線長さ
	動力用電源	3φ 3W AC 210 V 60Hz				1FL-100	3500 mm
		幹線サイズ (mm²)	5.5	8	14		
		幹線こう長 (m)	40	57	100		
		電気室ブレーカ (A)	30				
		接地線 (mm²)	2.0				
		電源設備容量 (kVA)	6.0				
		制御盤内限圧トランス容量 (kVA)	0.15				
	クーラー用電源	—					
	照明用電源	1φ 2W AC 100 V 60Hz					
		照明用電源容量 (kVA)	1.0				
ⓒ	ピットコンセント	AC100V 10A 1個				1FL-200	
◉	電話回線用配線	弱電配線系統図による				1FL+100	3500 mm
◕	弱電関係用配線					1FL+100	3500 mm

2台1回線

2号機

電源設備（1台当たり） 【電気工事】

記号	種別	線種等				引込み高さ	引出し線長さ
	動力用電源	3φ 3W AC 210 V 60Hz				1FL-100	3500mm
		幹線サイズ (mm²)	5.5	8	14		
		幹線こう長 (m)	35	50	88		
		電気室ブレーカ (A)	40				
		接地線 (mm²)	3.5				
		電源設備容量 (kVA)	7.0				
		制御盤内限圧トランス容量 (kVA)	0.15				
	クーラー用電源	—					
	照明用電源	1φ 2W AC 100V 60Hz					
		照明用電源容量 (kVA)	1.0				
ⓒ	ピットコンセント	AC100V 10A 1個				1FL-200	

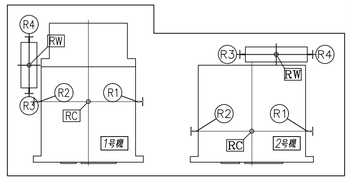
高調波（高周波ノイズ）への注意事項

電源側遮断器に漏電遮断器等を設置する場合は、下記対応を実施すること。

1. 漏電遮断器等を設置する場合は「インバータ対応型」とし、感度電流値は昇降機1台あたり50mA（感度設定値100mA相当）の漏洩電流として設定すること。
2. 昇降機と同一電源トランスを使用している機器の漏電遮断器、漏電警報器にも「インバータ対応型」を使用すること。

また高周波漏洩電流と高周波ノイズの影響を低減するため、下記対策を推奨する。

1. 昇降機の動力線と弱電機器の電源・信号線は、平行に配線しないこと。やむを得ず平行配線する場合は、1m以上離すこと。
2. 昇降機の電源トランスと弱電機器の電源トランスを分離すること。
3. 昇降機のアース線と弱電機器のアース線は、各々独立して配線のうえ、接地すること。
4. 昇降機の昇降路や動力線の近くにラジオや通信機器のアンテナを設置しないこと。



ピット部反力（kN）：長期荷重

R1	R2	R3	R4
25	40	20	15

ピット床衝撃力（kN）：短期荷重

RC	RW
94	86

レールに作用する荷重値 （kN）

		Px	Py
	かご	5.9	4.9
	おもり	7.1	3.7

短期荷重による建築部材のたわみは5mm以下

ピット部反力（kN）：長期荷重

R1	R2	R3	R4
23	24	39	20

ピット床衝撃力（kN）：短期荷重

RC	RW
101	90

レールに作用する荷重値 （kN）

		Px	Py
	かご	5.8	3.7
	おもり	8.2	4.1

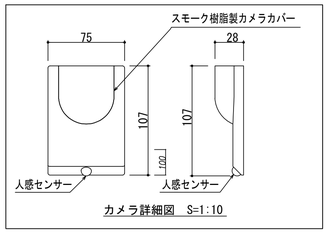
短期荷重による建築部材のたわみは5mm以下

A	巻上機	(EV工事)
B	制御盤	(EV工事)
C	受電箱・ピットタラップ	(EV工事)
D	地震感知器	(EV工事)
a	20kN 吊りビーム	(建築工事)
b	PL-12t	(建築工事)
e	L-75×75×6	(建築工事)

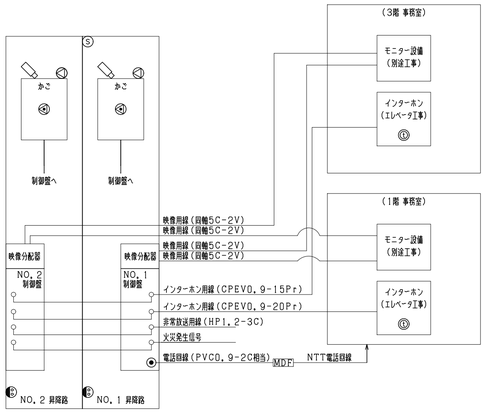
P	インジケータ
Q	一般用押釦芯
R	車いす用押釦芯
U	車いす・視覚障がい者用一体型注意銘板
W	車いすシンボルマーク

凡 例

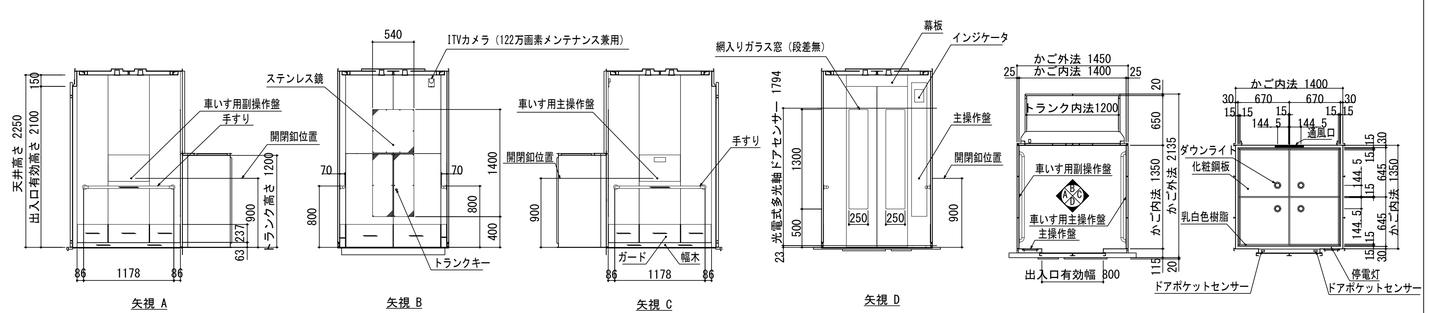
- ⓘ インターホン親機……（エレベータ工事）
- ⓘ インターホン子機……（エレベータ工事）
- Ⓢ 煙感知器……（電気工事）
- ◐ 点検用コンセント……（電気工事）
- ◉ NTTモジュラージャック……（電気工事）
- ◁ スピーカー……（エレベータ工事）
- ▭ メンテナンス用カメラ…（エレベータ工事）
- ——— 配管・配線……（電気工事）
- ——— 昇降路内配線……（エレベータ工事）
  （但し、昇降路内突き出し電線は電気工事）



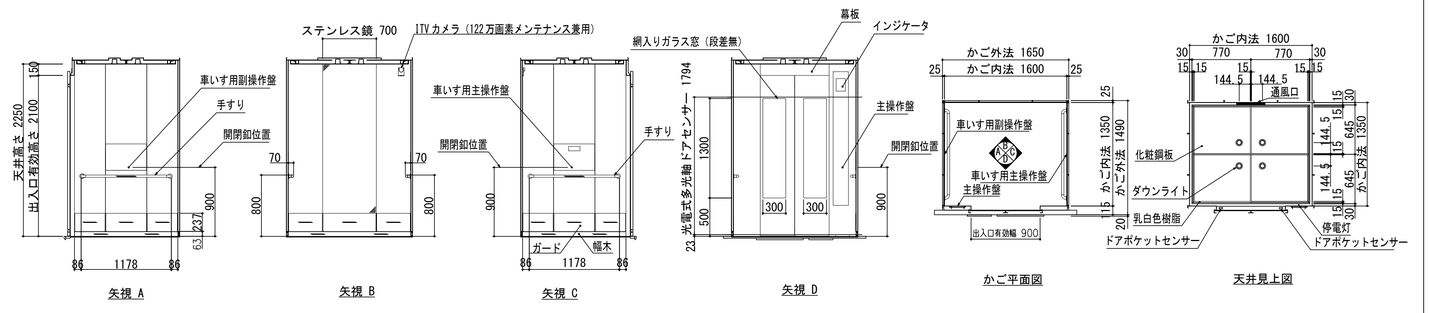
カメラ詳細図 S=1:10



1号機 昇降機姿図 S=1:40



2号機 昇降機姿図 S=1:40



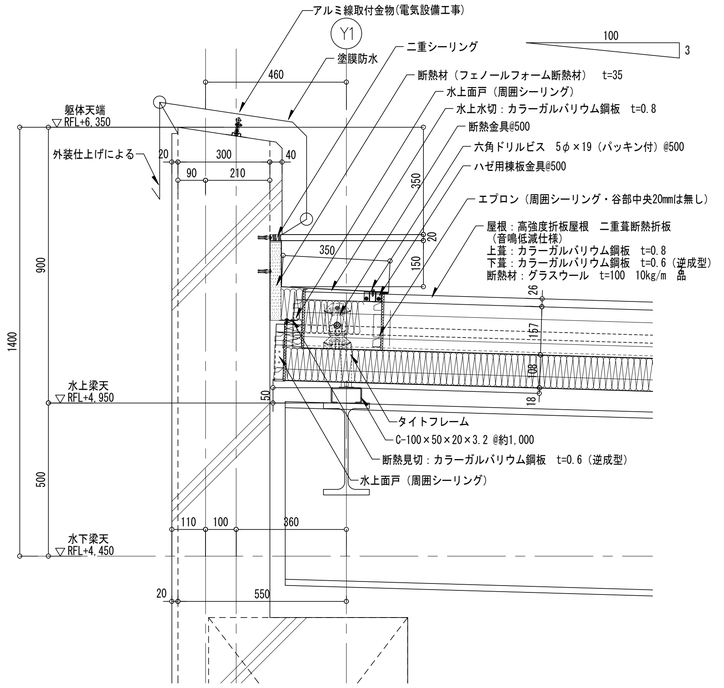
明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	建築工事
	103	昇降機詳細図(2) 図示(A1) 図示1/2(A3)
		安井建築設計事務所

最終版	2025. 02. 28	
見積版	2024. 12. 16	
最終契約版		

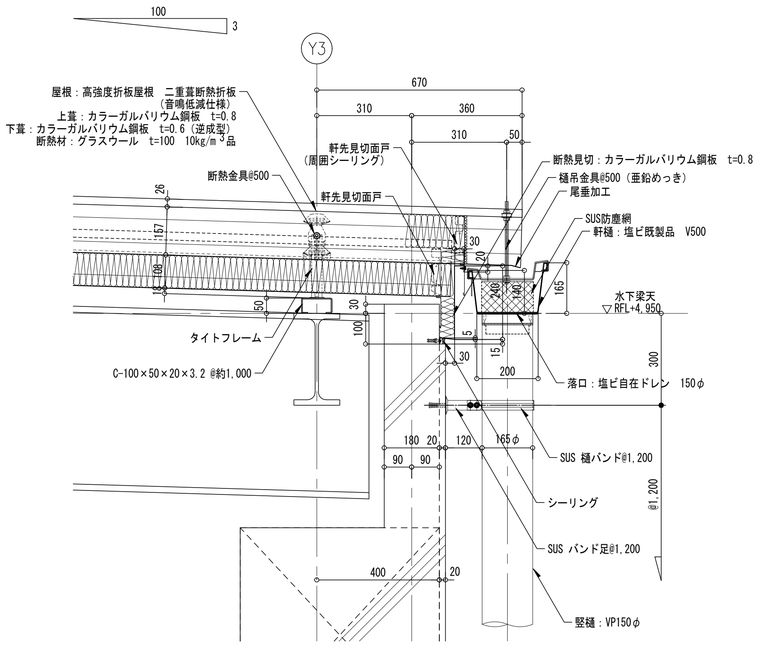
(2023年版)

20230220

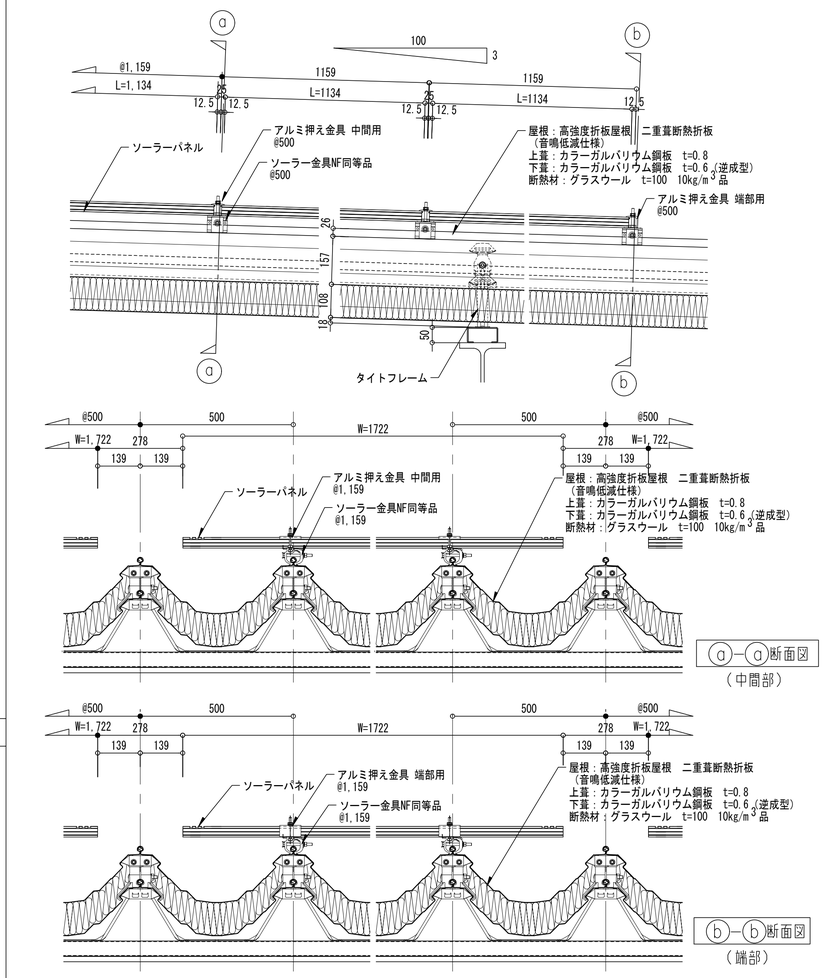
水上部分詳細図



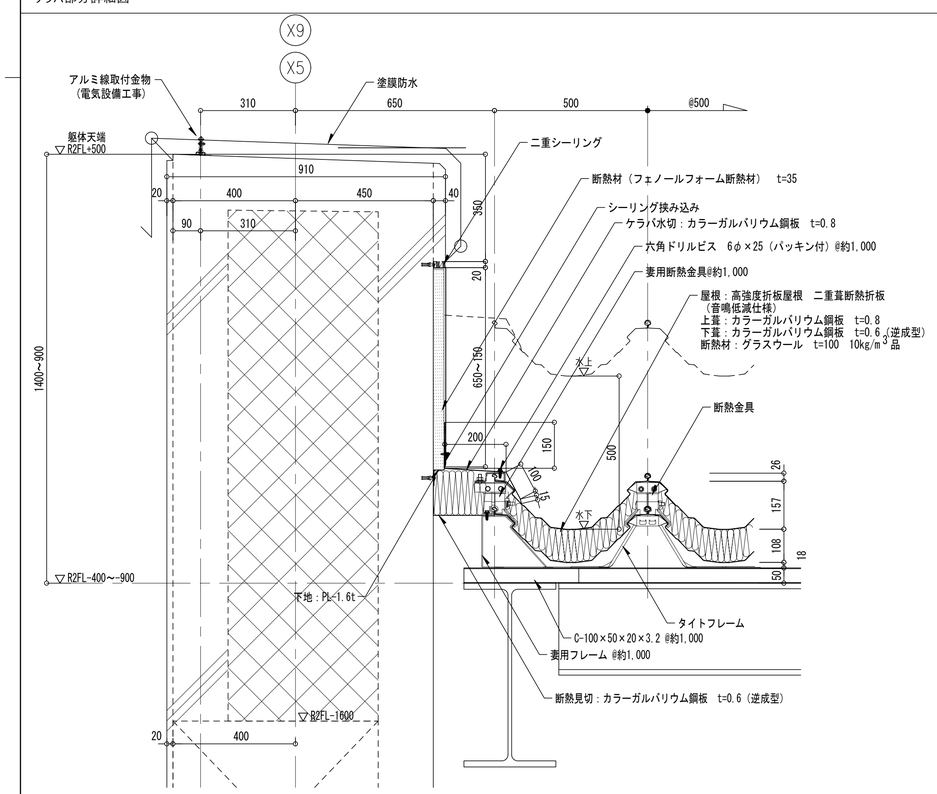
軒先部分詳細図



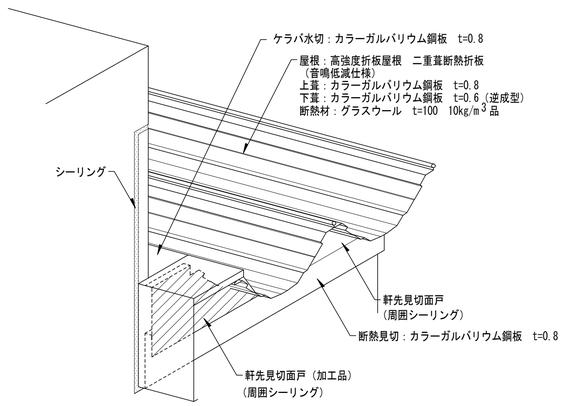
ソーラーパネル取付部分詳細図



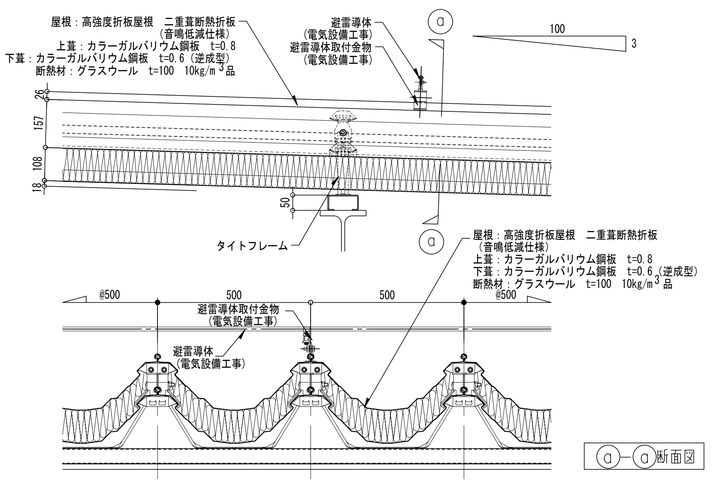
ケラバ部分詳細図



軒先端部スケッチ

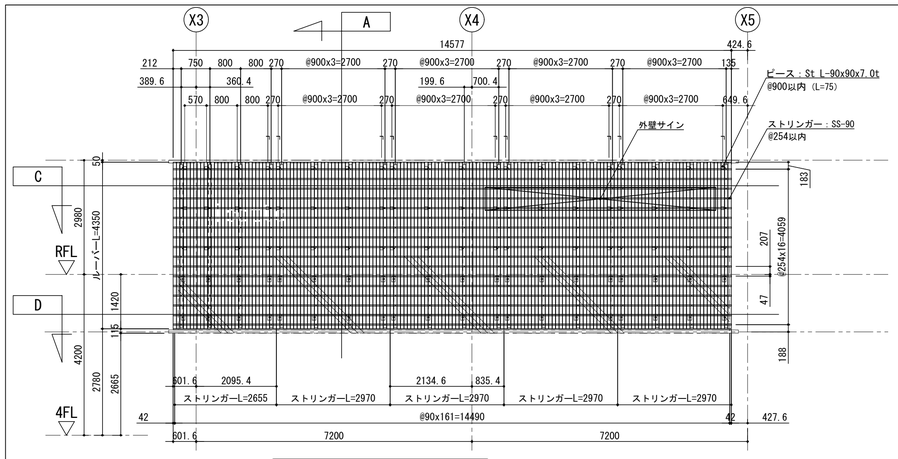


避雷導体取付部分詳細図

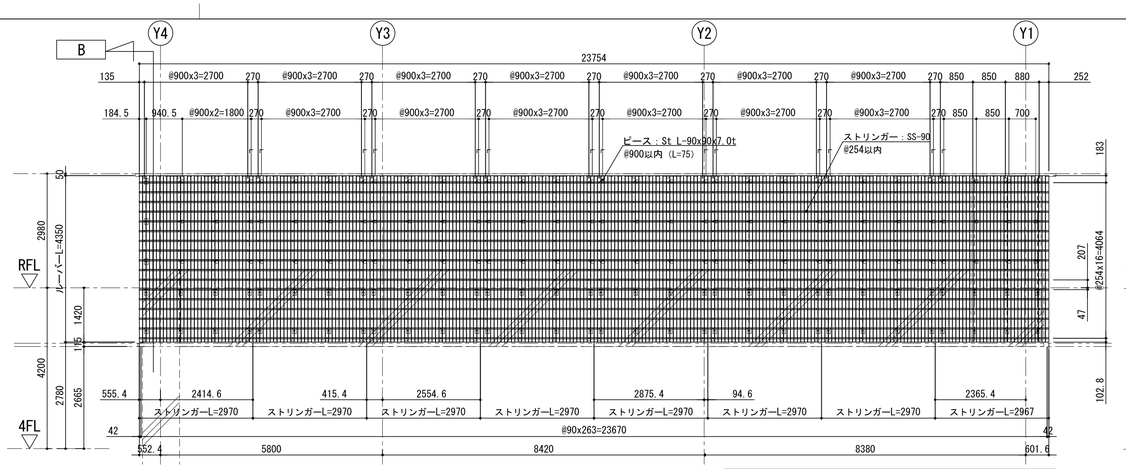


明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	建築工事	最終版 2025. 02. 28
	104	金属屋根詳細図 A1 1:10 A3 1:20	見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

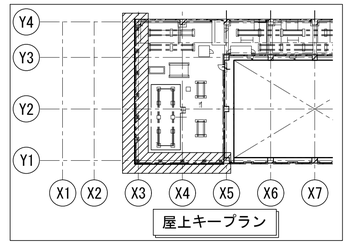
20230220

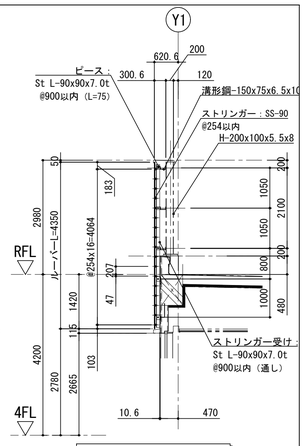


立面図（A-矢視） S=1:80

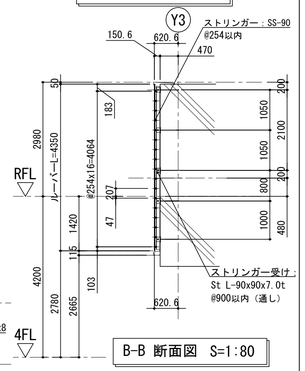


立面図（B-矢視） S=1:80

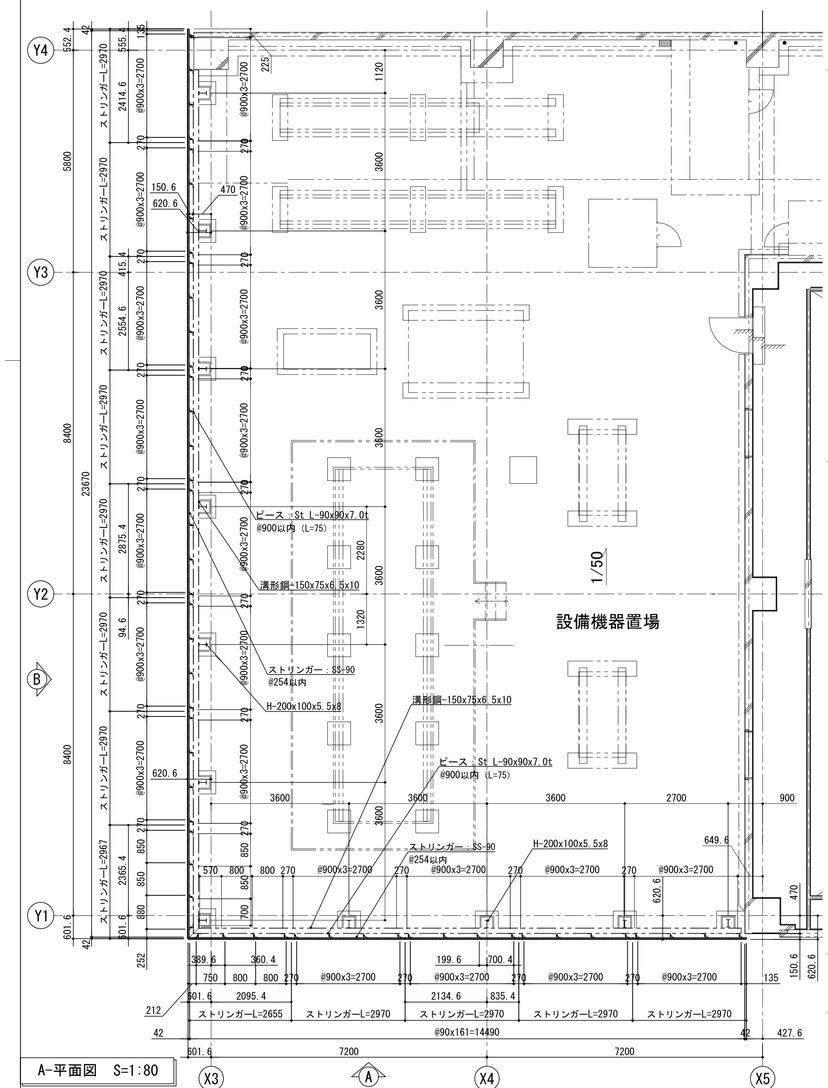




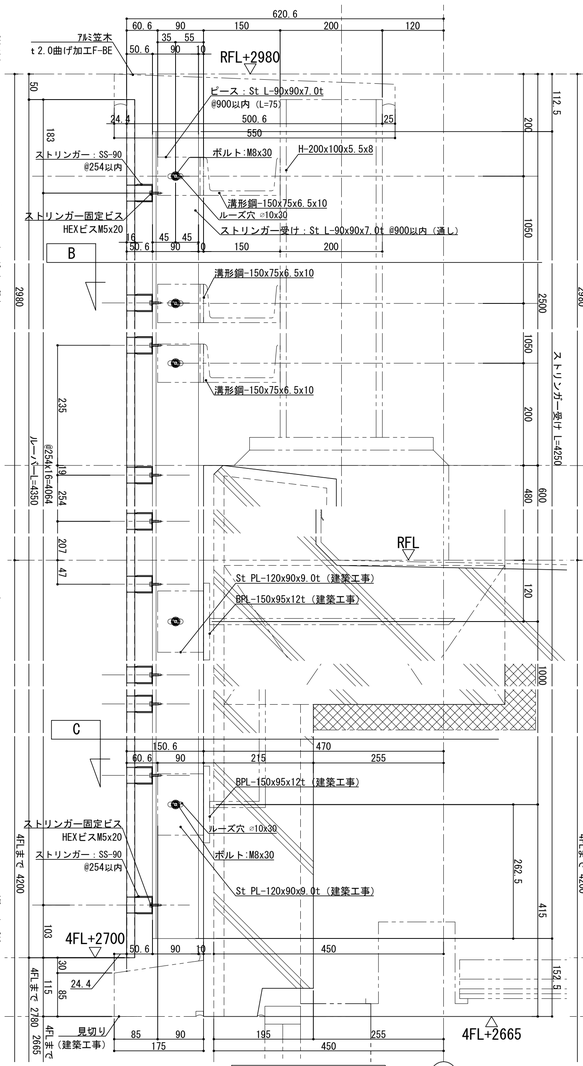
A-A 断面図 S=1:80



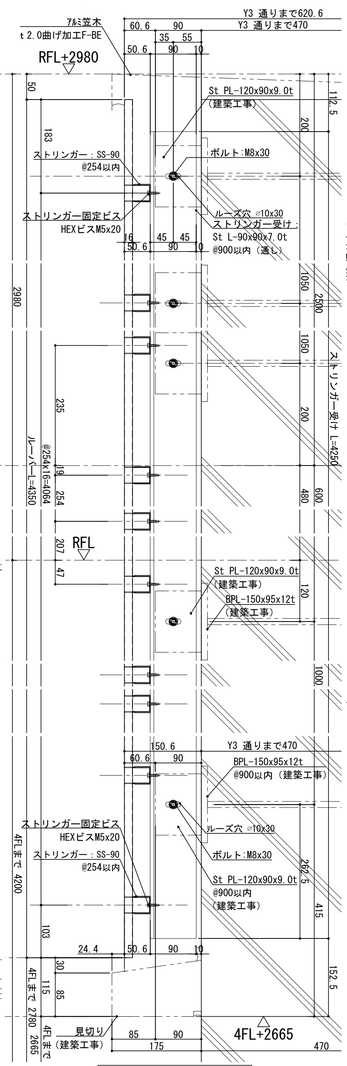
B-B 断面図 S=1:80



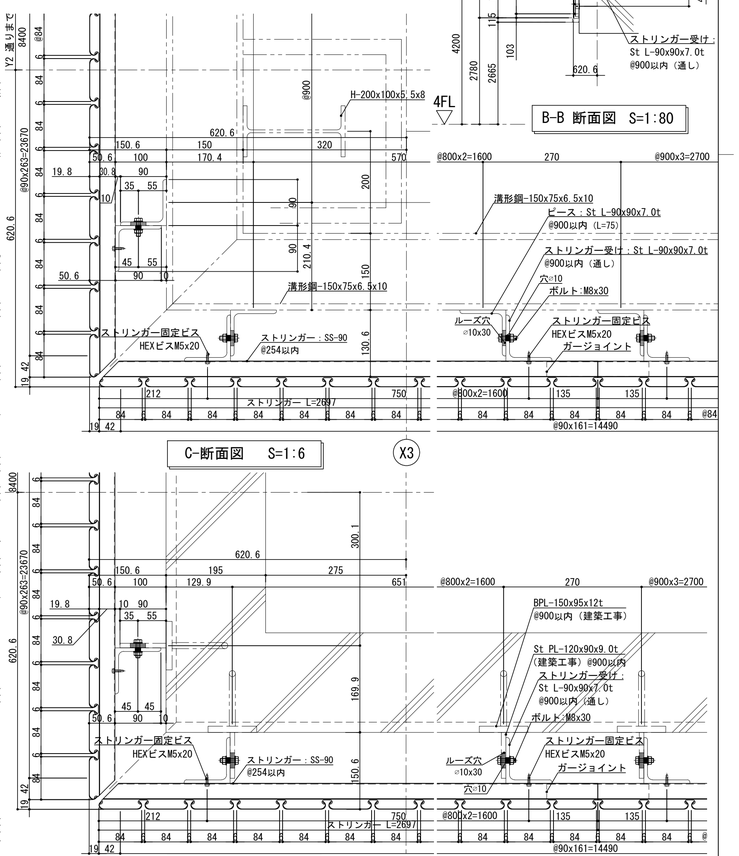
A-平面図 S=1:80



A-断面図 S=1:6



B-断面図 S=1:6



C-断面図 S=1:6

D-断面図 S=1:6

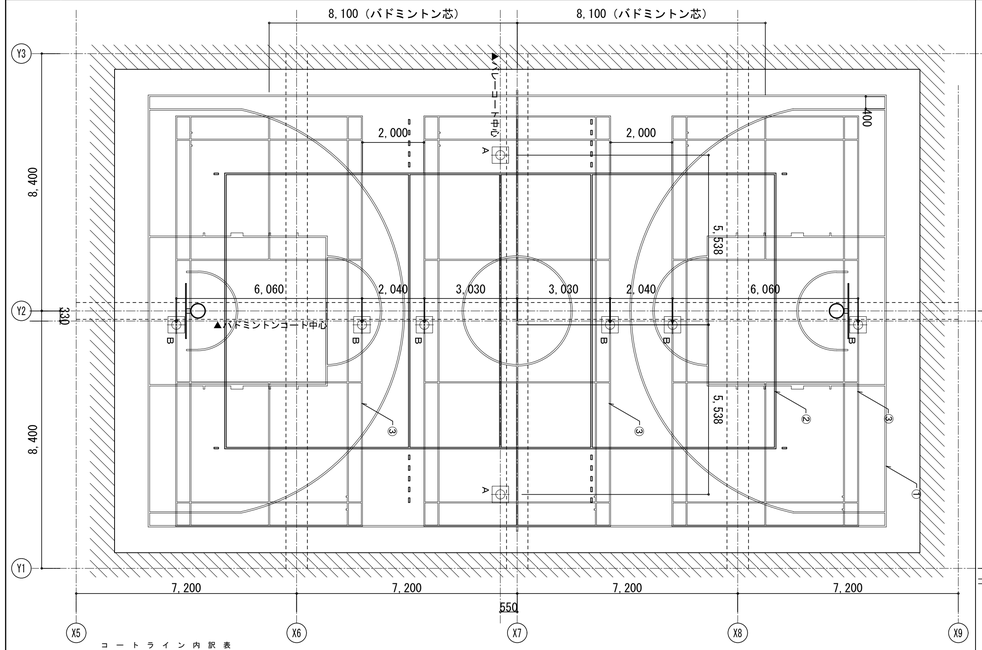
ルーバー：ABC商会 C-Line 84A 同等品とする。

明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	建築工事	最終版 2025.02.28
	105	屋上ルーバー詳細図 図示(A1) 図示1/2(A3)	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

20230220

コートライン・支柱基礎配置図　1:100



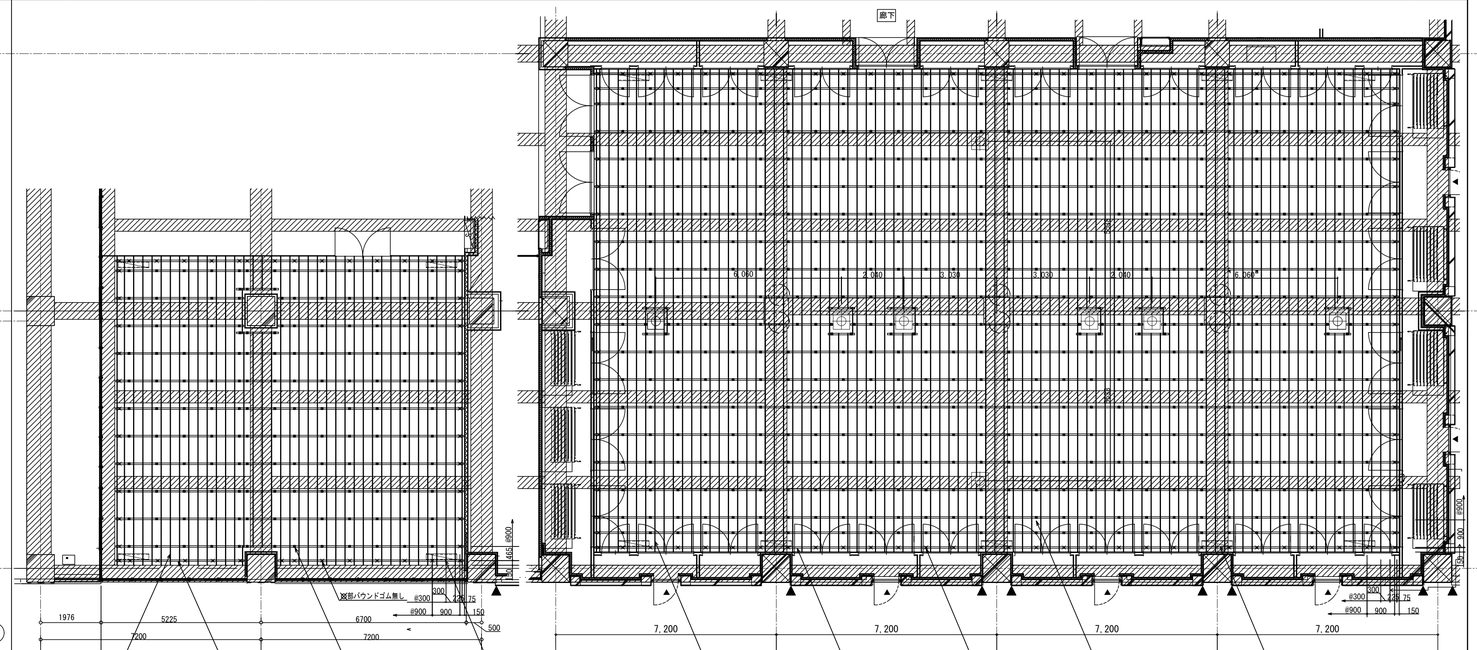
コートライン内訳表

記号	種別	コートサイズ	ライン	ライン幅	面数	色
1	バスケットボールコート	２４０００×１４０００	実線	５０mm	１面	
2	バレーボールコート（６人制）	１８０００×　９０００	実線	５０mm	１面	
3	バドミントンコート	１３４００×　６１００	実線	４０mm	３面	

基礎内訳表

記号	種別	数量
A	バレーボール用基礎	２個
B	バドミントン用基礎	６個

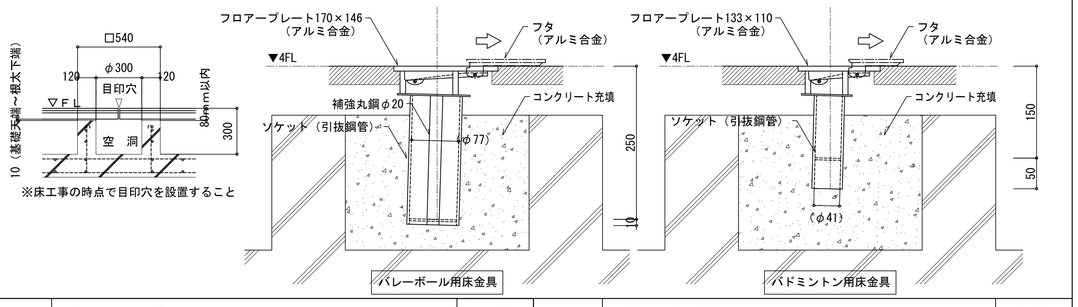
鋼製床配置詳細図　1:100



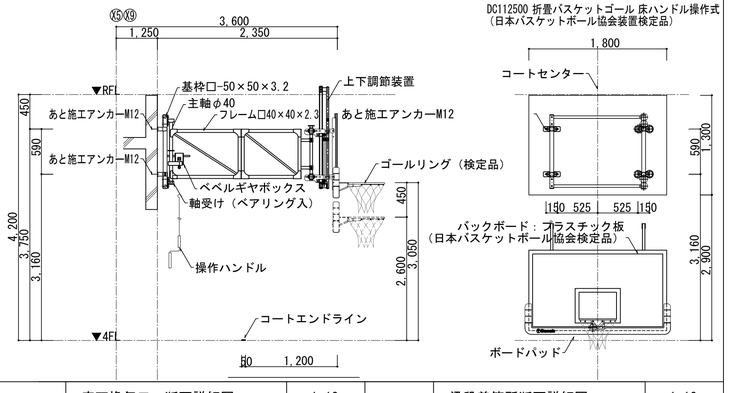
トレーニングエリア鋼製床詳細図

多目的ホール鋼製床詳細図

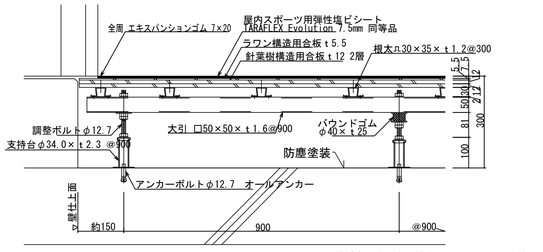
バレーボール用床金具・バドミントン用床金具　詳細図　1:5



バスケットゴール詳細図　1:40

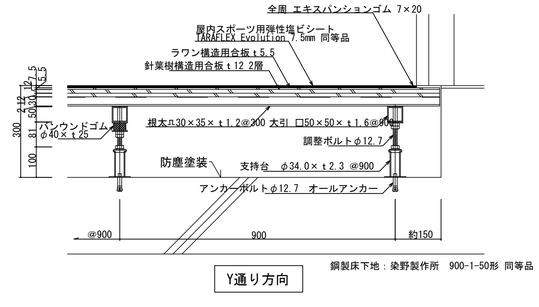


鋼製床断面詳細図　1:10



X通り方向

鋼製床下地：染野製作所　900-1-50形 同等品

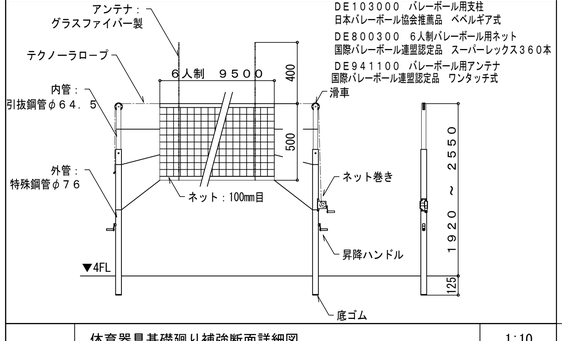


Y通り方向

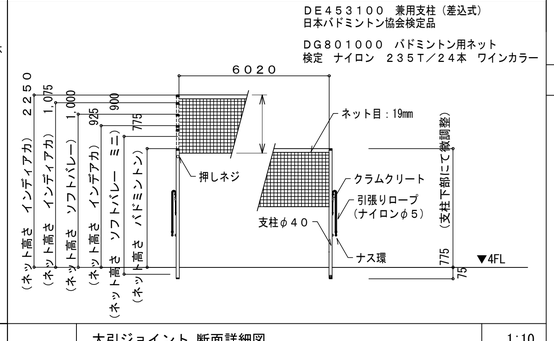
鋼製床下地：染野製作所　900-1-50形 同等品

※屋内スポーツ用弾性塩ビシートについて
復元性が実現可能なグラスファイバークロス層が含有していること。

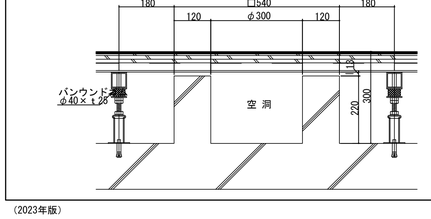
バレーボール用具　1:40



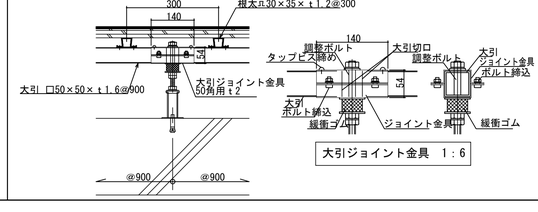
バドミントン用具　1:40



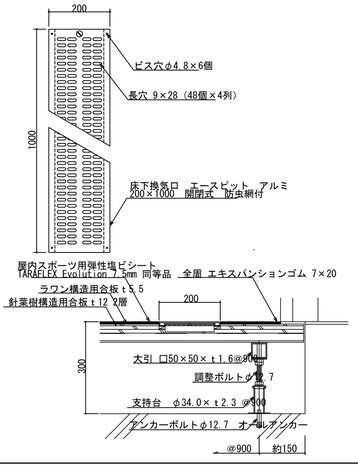
体育器具基礎廻り補強断面詳細図　1:10



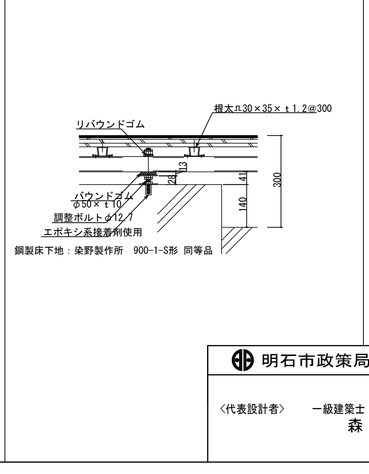
大引ジョイント 断面詳細図　1:10



床下換気口　断面詳細図　1:10



梁段差箇所断面詳細図　1:10



明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	建築工事	最終版 2025.02.28
	106	体育器具詳細図	A1 図示 A3 図示 見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

20230220

◇仕様表

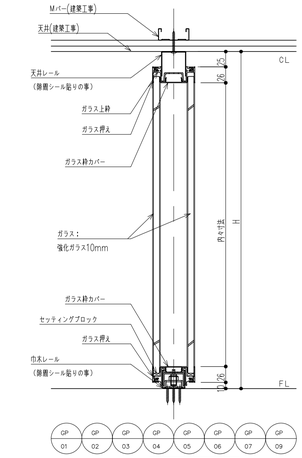
(小松ウオール マイティースマートレール同等品)

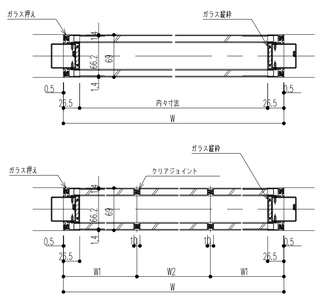
項目	部材	材料(板厚mm)
骨材	天井レール	冷間圧延鋼板 1.0mm 【焼付塗装仕上(メーカー標準色)】
	ボール・縦枠	冷間圧延鋼板 1.2mm 【焼付塗装仕上(メーカー標準色)】
	上枠・下枠	冷間圧延鋼板 1.0mm 【焼付塗装仕上(メーカー標準色)】
	壁面レール	冷間圧延鋼板 1.0mm 【焼付塗装仕上(メーカー標準色)】
	壁面カバー	冷間圧延鋼板 1.0mm 【焼付塗装仕上(メーカー標準色)】
	壁面レール充填材	ウレタンフォーム
	パネル受け	アルミ押出形材 【焼付塗装仕上(メーカー標準色)】
	パネル置き止め	アルミ押出形材 <アルマイト処理仕上>
	巾木レール	冷間圧延鋼板 1.2mm 【焼付塗装仕上(メーカー標準色)】
パネル	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.5mm 【焼付塗装仕上(メーカー標準色)】
	芯材	せっこうボード12.5mm
	充填材	グラスウール 32kg/m3 厚さ25mm
ガラス	ガラス(ガラス工事)	強化ガラス10mm
	ガラス上枠・下枠・縦枠・竪枠	アルミ押出型材 【焼付塗装仕上(メーカー標準色)】
	ガラス押え/ガラス枠カバー	アルミ押出型材 【焼付塗装仕上(メーカー標準色)】
	クリアジョイント	ポリカーボネート(PC) 対応ガラス厚10mm
枠	ドア枠	冷間圧延鋼板 1.2mm 【焼付塗装仕上(メーカー標準色)】
	ドア気密材	エチレン・プロピレンゴム <ブラック色>
開き戸	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.6mm 【焼付塗装仕上(メーカー標準色)】
	芯材	防音石材
	吊金具	ピボットヒンジ(中西SUS-PHD-5A-KW)
	フランス落し	ステンレス
	ドアクローザ	リョービ COU-153ES(コンシールドタイプ)
	ロック	美和 LA錠/ゴール LX錠
	戸当り	床付け戸当り
竪ガラス開き戸	ガラスドア表面材	強化ガラス 5mm(両面)
	ドアフレーム・内部補強	アルミ押出形材 【焼付塗装仕上(メーカー標準色)】
	目板	アルミ押出形材 【焼付塗装仕上(メーカー標準色)】
	召し合せ目板	亜鉛めっき鋼板 1.2mm 【焼付塗装仕上(メーカー標準色)】
	下部シール材	ドアボトム(シブタニ DB-400W)
	吊金具	ピボットヒンジ(中西SUS-PHD-5A-KW-G)
	フランス落し	ステンレス
	ドアクローザ	リョービ COU-153/DORMA ITS96
	ロック	美和ロック LA錠/ゴール LG錠
	戸当り	床付け戸当り(エイト OW75-301)
吊戸 (スライディングウォール)	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.5mm 【焼付塗装仕上(メーカー標準色)】
	芯材	防音石材(内部ロックウール入り)
	フロントゴム	ポリ塩化ビニル <ブラック色>
	ベース板	亜鉛めっき鋼板 2.3mm 【焼付塗装仕上(メーカー標準色)】
	ベース板カバー	亜鉛めっき鋼板 1.2mm 【焼付塗装仕上(メーカー標準色)】
	ベース板補強	冷間圧延鋼板 1.2mm 【焼付塗装仕上(メーカー標準色)】 亜鉛めっき鋼板 1.6mm 【焼付塗装仕上(メーカー標準色)】
	点検カバー	冷間圧延鋼板 1.2mm 【焼付塗装仕上(メーカー標準色)】
	自閉装置	小松ウオール標準建具部品セット(SAT調整式)
	ロック	美和 POSTE錠/ゴール AD錠
	取手	ユニオン G10501-26-101(038)-L600

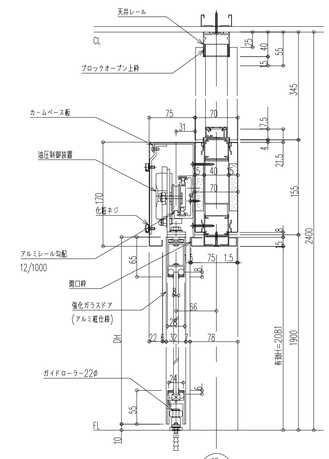
◇仕様表

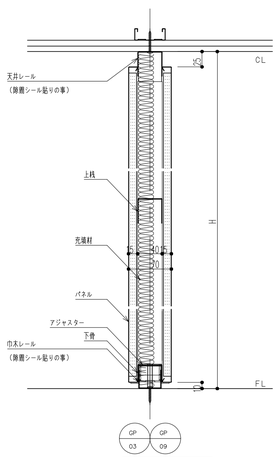
(小松ウオール工業 マイティーGWALL同等品)

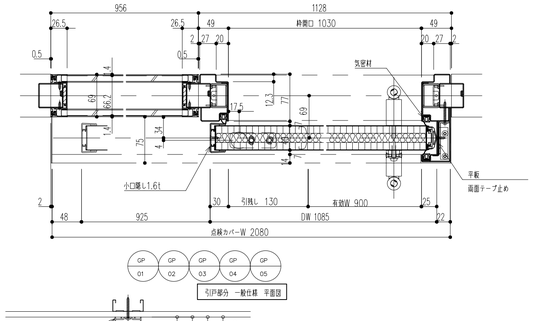
項目	部材	材料(板厚mm)
骨材	天井レール	アルミ押出形材 <指定色焼付塗装仕上>
	床レール(ガラス用)	冷間圧延鋼板 0.8mm <指定色焼付塗装仕上>
	ボール(支柱)	アルミ押出形材 <指定色焼付塗装仕上>
	下枠	アルミ押出形材 <アルマイト処理仕上>
	パネル受枠	アルミ押出形材 <指定色焼付塗装仕上>
	ガラス天上枠・押縁	アルミ押出形材 <指定色焼付塗装仕上>
	ガラス縦・桟子枠	アルミ押出形材 <指定色焼付塗装仕上>
	ガラス縦カバー・受	アルミ押出形材 <指定色焼付塗装仕上>
	巾木(ガラス用)	アルミ押出形材 <指定色焼付塗装仕上>
	壁面レール	冷間圧延鋼板 0.8mm <指定色焼付塗装仕上>
ガラス	ガラス(ガラス工事)	強化ガラス10mm
	ガラスビート	ポリ塩化ビニル 対応ガラス厚6~12mm <グレー色>
フレーム框戸	ドア枠	冷間圧延鋼板 1.2mm <焼付塗装仕上>
	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 1.6mm <焼付塗装仕上>
	ロック	美和 LA錠/ゴール LX錠
	ドアクローザ	ニュースター PS7002LW・リョービ S22PLW
	T 番	旗T番(ステンレス)
	フランス落し	ステンレス
	戸当り	床付け戸当り
	切妻	アルミ押出形材 <焼付塗装仕上>
	ガラス	強化ガラス 6mm
	ガラス押え	PVC(ポリ塩化ビニル)

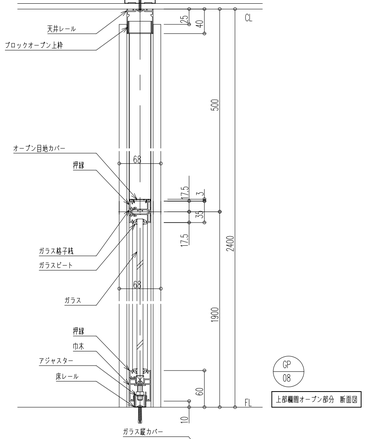


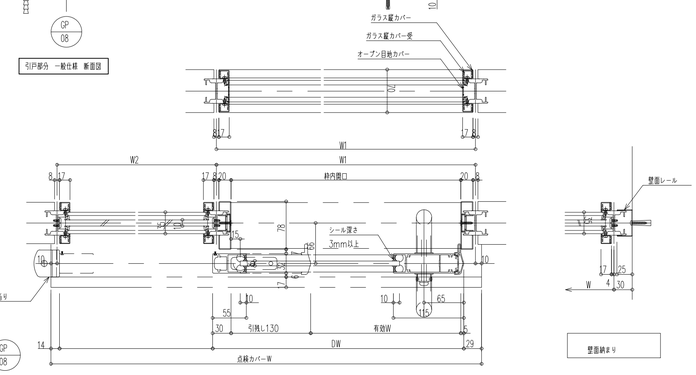


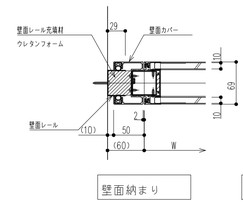


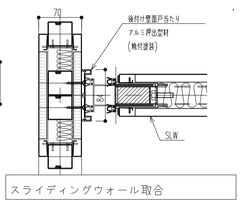


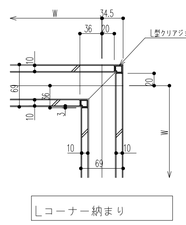


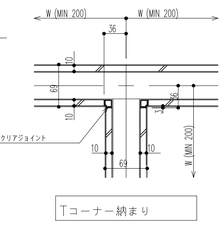


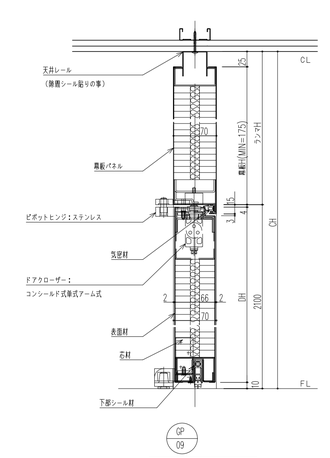


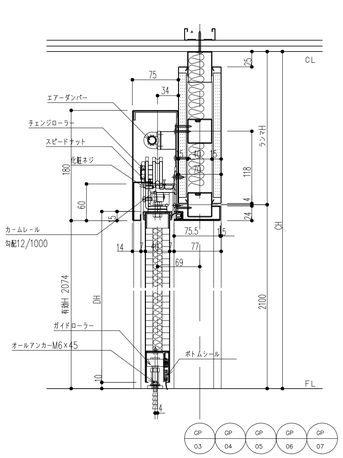


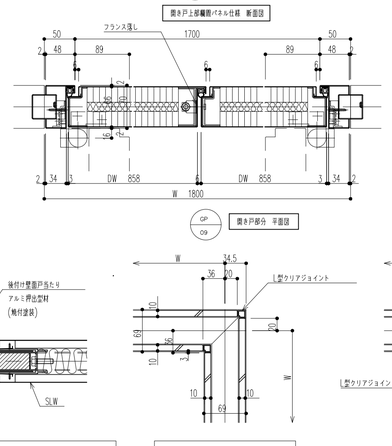










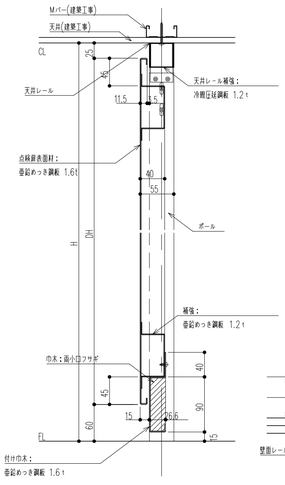


◇仕様表

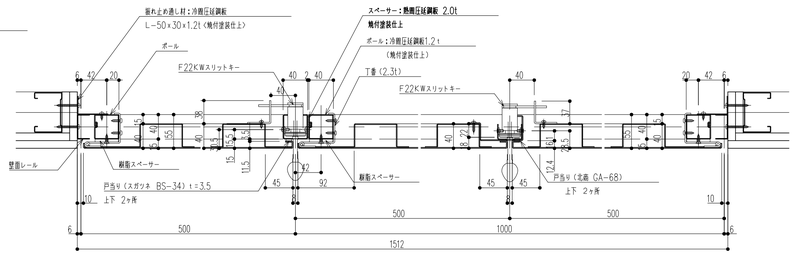
SFW 01 SFW 02

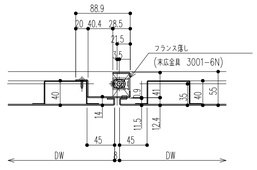
(小松ウオール オープンシャットウォール同等品)

項 目	部 材	材 料 (板厚mm)
骨材	天井レール	冷間圧延鋼板 1.0mm <焼付塗装仕上>
	ボール(支柱)	冷間圧延鋼板 1.2mm <焼付塗装仕上>
点検扉	表面材	亜鉛めっき鋼板 1.6mm <焼付塗装仕上>
	補強材	亜鉛めっき鋼板 1.2mm <焼付塗装仕上>
	付け巾木	亜鉛めっき鋼板 1.6mm <焼付塗装仕上>
	落し丁番	冷間圧延鋼板 2.3mm・熱間圧延鋼板 2.3mm
		ピン SS41 (ユニクロめっき)
	フランス落し	ステンレス (末広金具 3001-6N)
	ロック	シブタニ F22KWスリットキー
	置き止め	ワイヤーステーセット#2.0 (90°置き)
	戸当り	スガツネ BS-34 (片開き)/北嘉 GA-68(両開き)



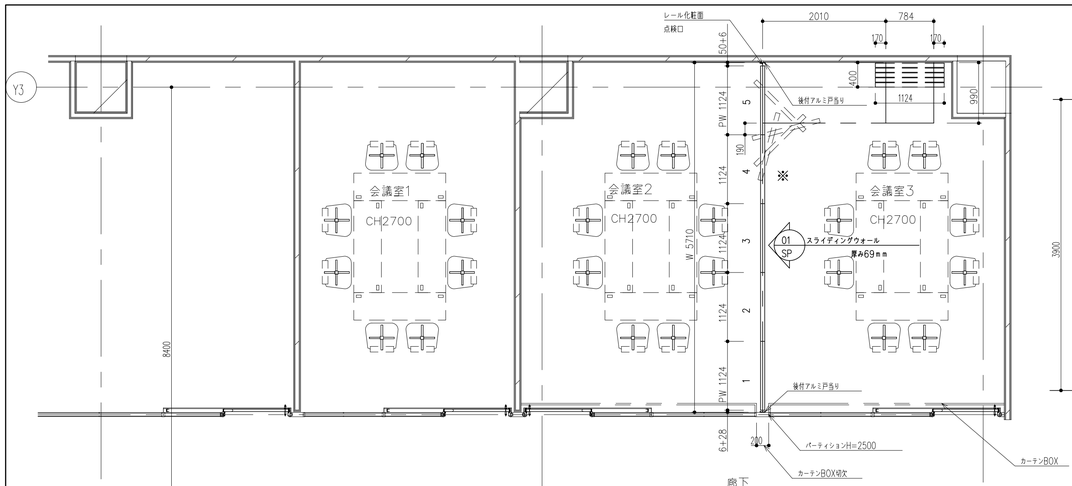
■DW=342以下はワイヤーステー取付不可。

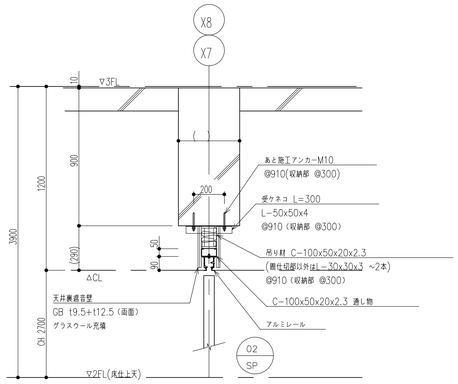


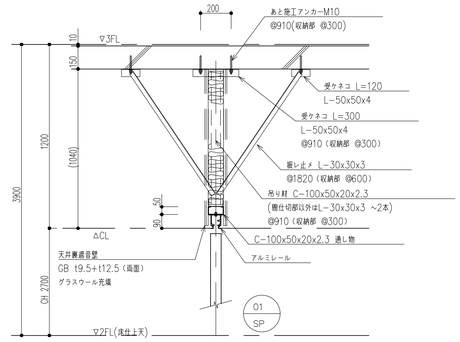


明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	建築工事	最終版 2025.02.28
	107	パーティション詳細図	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

20230220



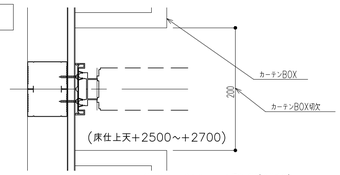


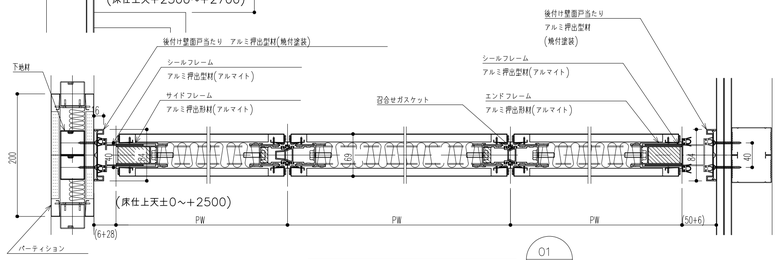


スライディングウォール 厚み69mm(LW-60D)同等

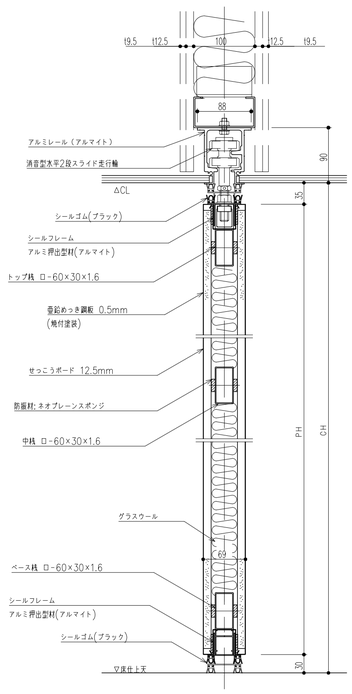
			01 SP	02 SP
レール仕様	レール	アルミ押出型材ハンガーレール(アルマイト処理)		
		コーナー部 直角レール		
ランナー仕様	走行輪	水平2段スライド走行輪(ベアリング内蔵)		
	吊ボルト	M 14		
パネル仕様	表面仕上			
	表面材	亜鉛めっき鋼板 0.5mm (焼付塗装)		
		下張り:せっこうボード 12.5mm		
	充填材	グラスウール 32kg/m3 厚み40mm		
	骨組	アルミフレーム + 鉄骨造		
	フレーム	アルミ押出形材(アルマイト処理)		
	召合せ	固定ゴム嵌合		
	壁面シールド	繊維製動式		
	上部シールド	繊維製動式		
	下部シールド	繊維製動式		
		パネル分離型構造(意匠部分別可能)・・・環境対応型		

レール取付断面図 S=1:20

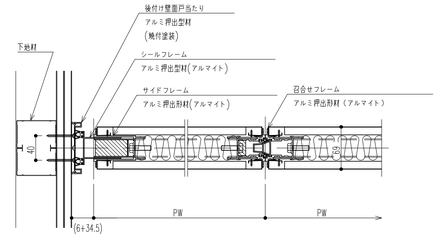


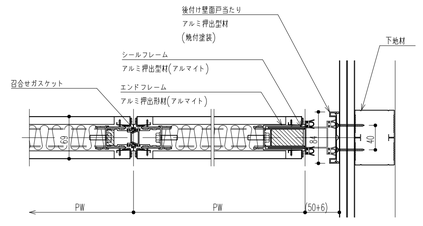


横断面詳細図 S=1:5 (01 SP)

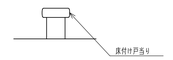


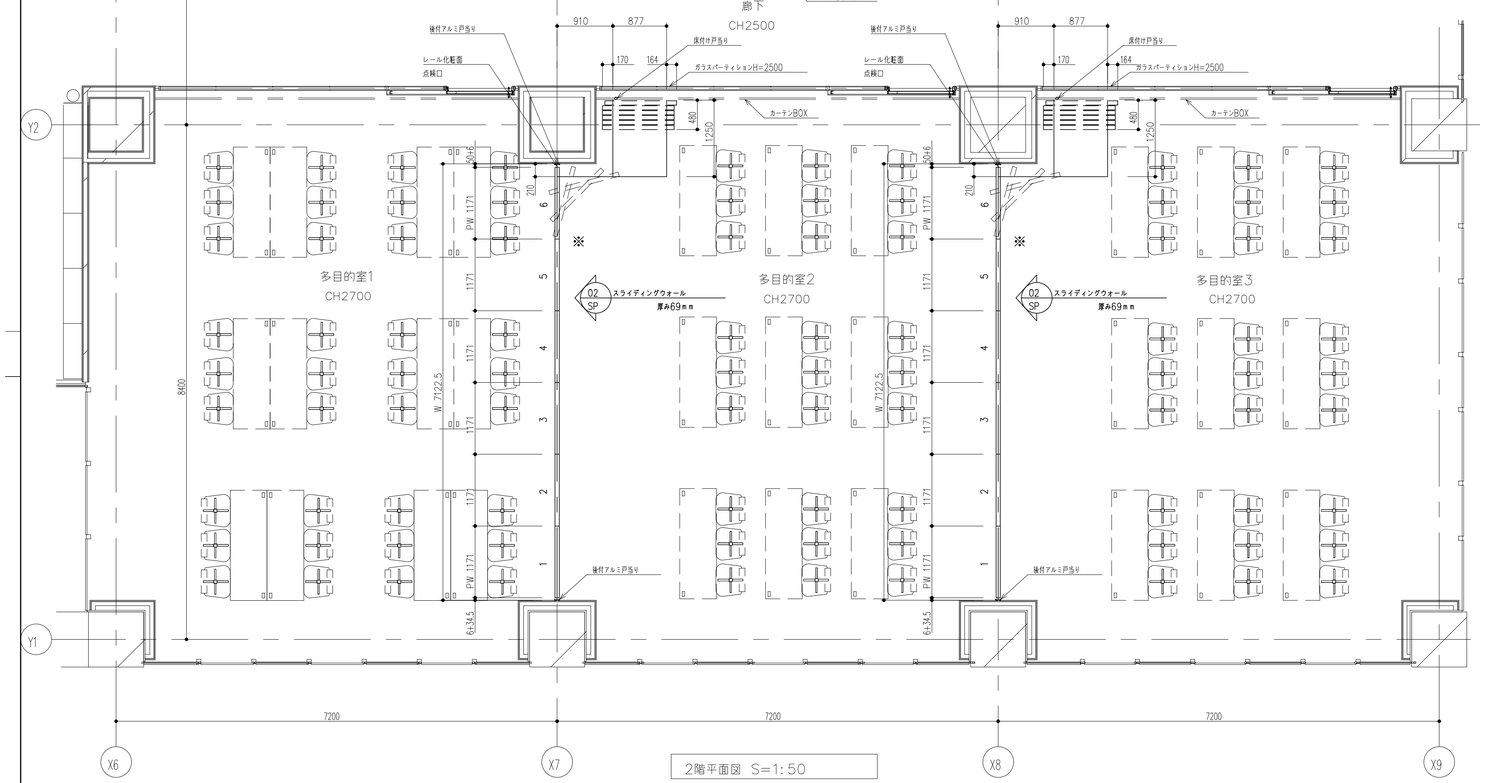
縦断面詳細図 S=1:5





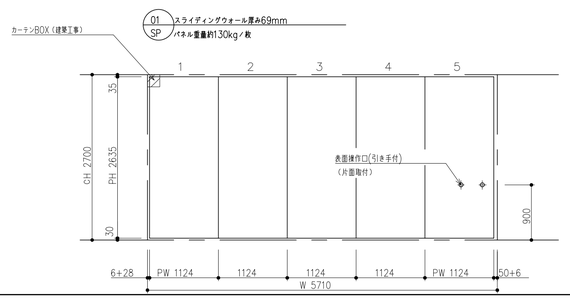
横断面詳細図 S=1:5 (02 SP)

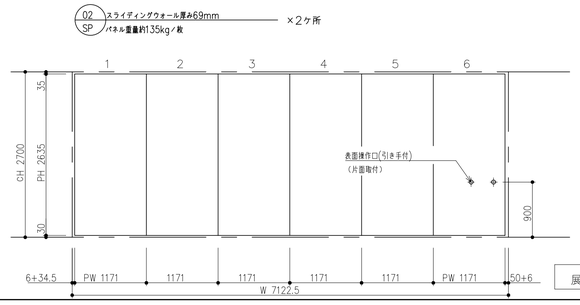




2階平面図 S=1:50

※操作口取付側





展開図 S=1:50

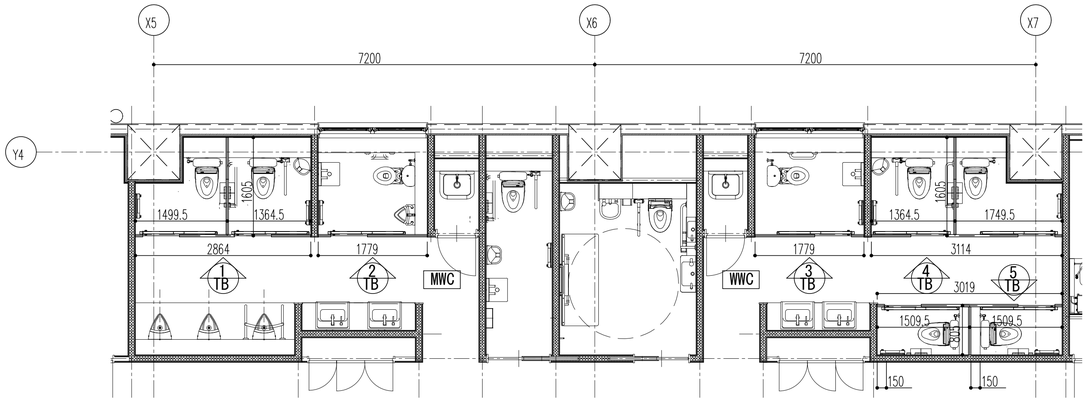
<スライディングウォール 厚み69mm> (LW-60D) 同等

明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事		
	A	建築工事	最終版	2025. 02. 28
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	108	移動間仕切詳細図 A1 1:50 20 5 A3 1:100 40 10	見積版	2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版	

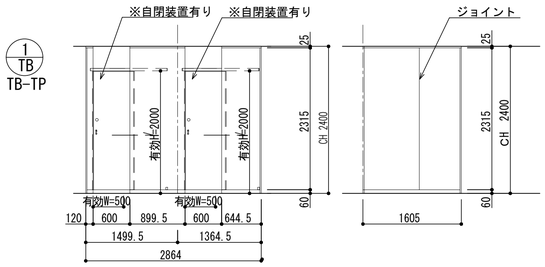
(20(2023年版)

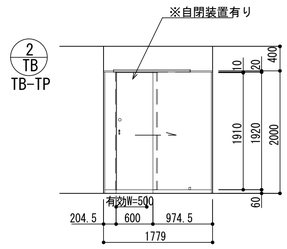
20230220

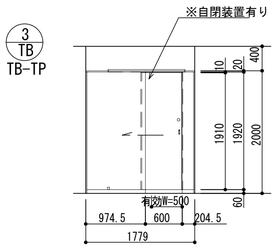
平面図・展開図（Ｓ＝１／５０）

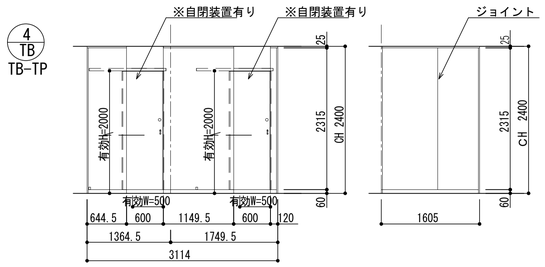


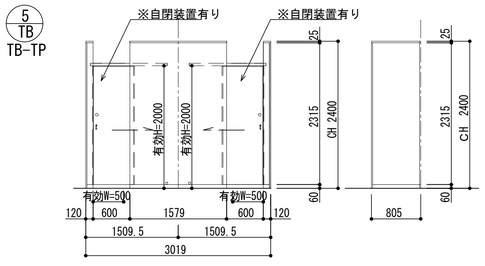
1～4階WC平面図







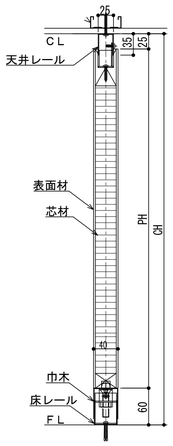




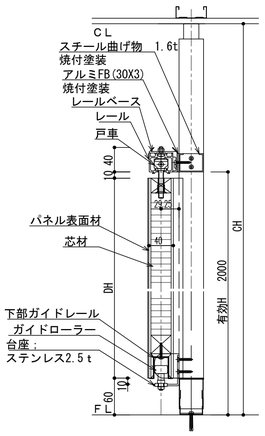
◇仕様表　（小松ウオール　サニティＴＢ－ＴＰ同等品）

項　目	部　材	材　料（板厚mm）
パネル	パネル表面材	高圧メラミン樹脂化粧板(下地：MDF)
	芯　材	ペーパーコア
	目板	アルミ押出形材 〈焼付塗装仕上〉
付属品	巾木／床レール	ステンレス　0.8mm 〈ヘアライン仕上〉
	天井レール	亜鉛めっき鋼板　1.2mm 〈焼付塗装仕上〉
	壁面レール／エンドカバー	アルミ押出形材 〈焼付塗装仕上〉
吊戸	パネル表面材(ドアパネル)	高圧メラミン樹脂化粧板(下地：MDF)
	芯　材（ドアパネル）	ペーパーコア
	フロントゴム	ポリ塩化ビニル(PVC)
	レール/レールベース	アルミ押出形材
	ロック	非常解錠表示錠　ベストNF-17
	引手	両面固定引き手　ベストBW-10

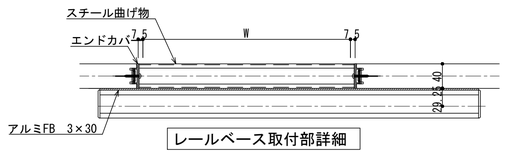
断面図（Ｓ＝１／５）



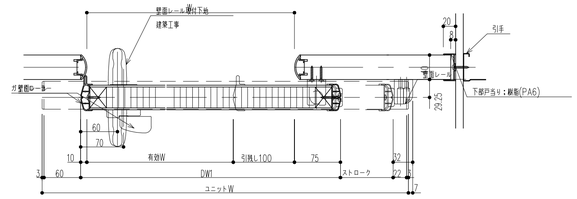
パネル詳細

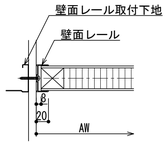


吊戸

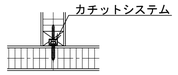


レールベース取付部詳細

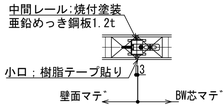




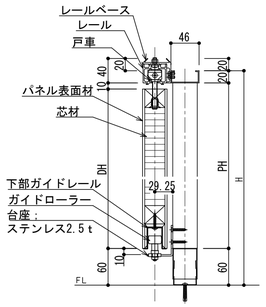
壁面部詳細

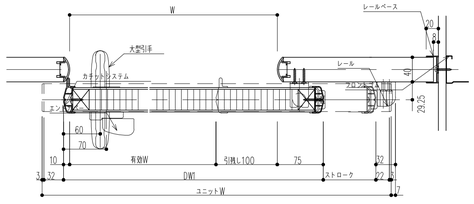


Ｔコーナー部詳細



ジョイント

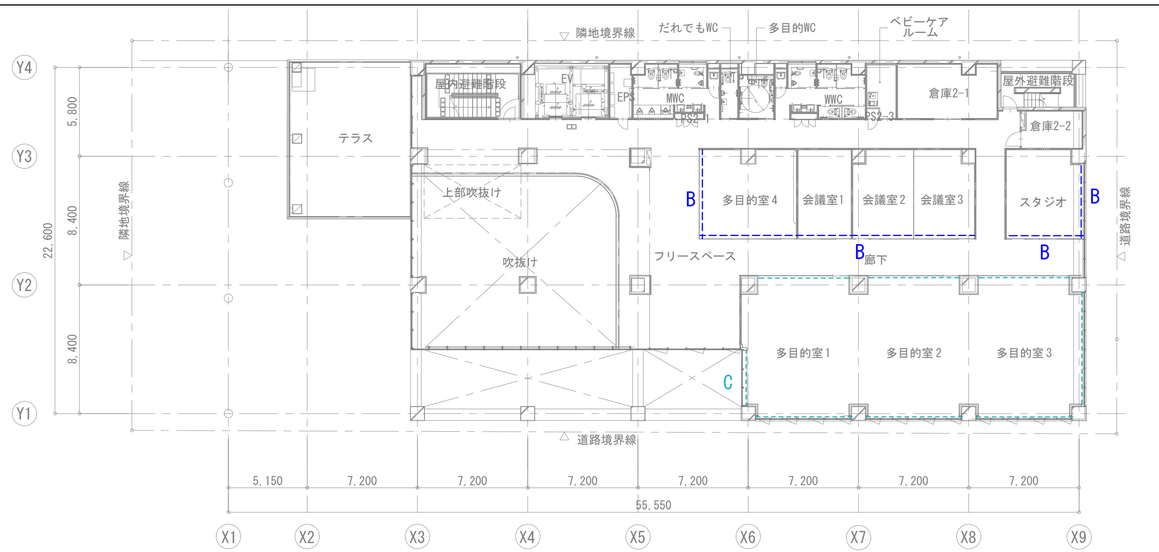




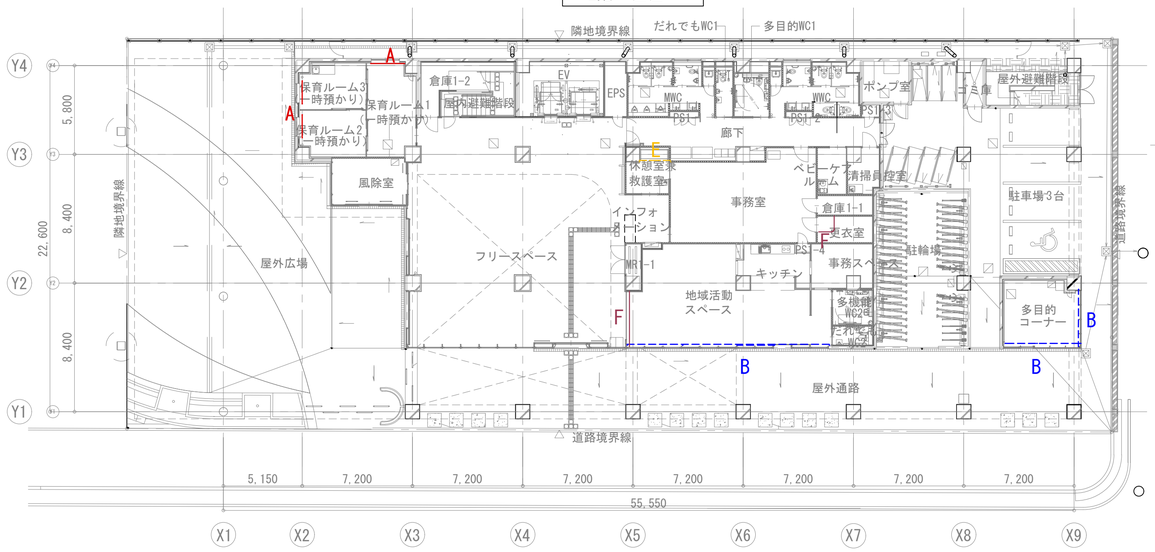
明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto 建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	A	建築工事	最終版　2025.02.28
	109	トイレブース詳細図　A1　1：50　A3　1：100	見積版　2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

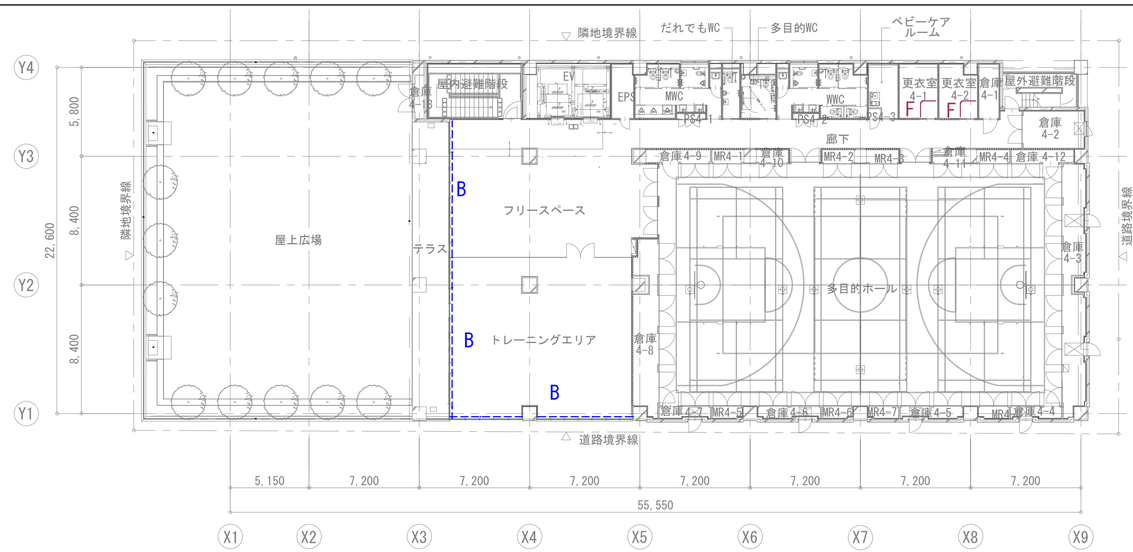
20230220



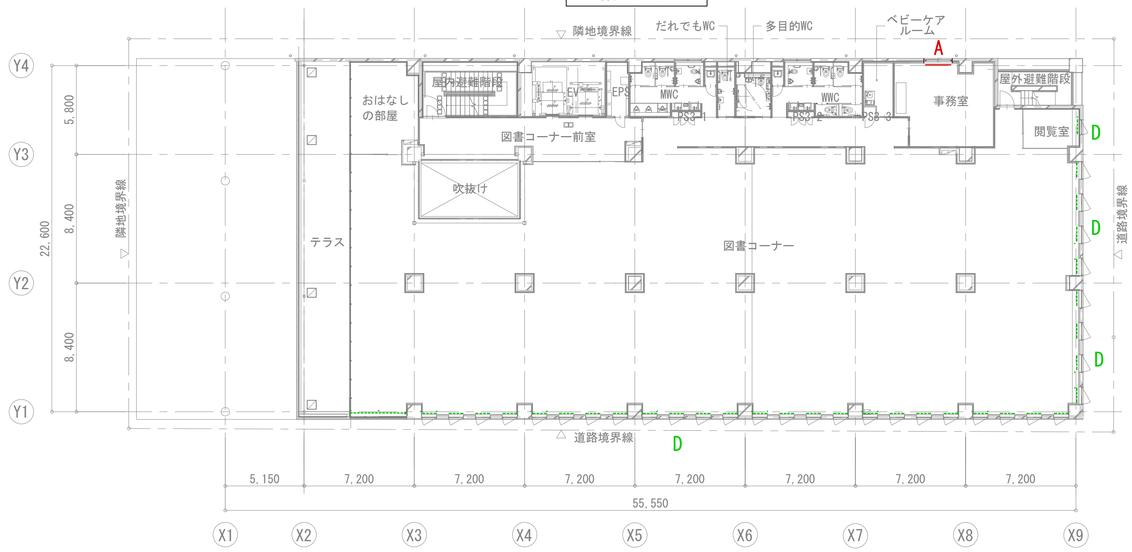
2階平面図



1階平面図



4階平面図



3階平面図

【カーテンリスト】

階	エリア	種類		(W)	(H)	数量	備考
1F	地域活動スペース	B	バーチカルブラインド	3680	2960	1	
				2340	2960	1	
				3630	2960	1	
				2640	2960	1	
		F	間仕切カーテン	3600	2960	1	
	多目的コーナー	B	バーチカルブラインド	3770	2700	1	
				3060	2700	1	
				2000	2700	1	
	保育ルーム1	A	日除カーテン	2400	2000	1	
	保育ルーム1・2	A	日除カーテン	1700	2100	2	
	休憩室兼救護室	E	ネットカーテン	2050	2500	1	
	更衣室	F	間仕切カーテン	2200	2500	1	
2F	会議室1	B	バーチカルブラインド	3480	2700	1	
	会議室2	B	バーチカルブラインド	3950	2700	1	
	会議室3	B	バーチカルブラインド	3950	2700	1	
	多目的室4	B	バーチカルブラインド	3170	2700	1	
				3140	2700	1	
				2280	2700	1	
				3470	2700	1	
	多目的室1～3	C	暗幕カーテン	2350	2700	3	
		C		3980	2700	3	
		C		6440	2700	3	
	多目的室1	C	暗幕カーテン	3800	2700	1	
	多目的室3	C	暗幕カーテン	7700	2700	1	
	スタジオ	B	バーチカルブラインド	2440	2700	2	
				2150	2700	1	
				2920	2700	1	

階	エリア	種類		(W)	(H)	数量	備考
3F	図書コーナー	D	ロールスクリーン	1830	2850	2	
				1000	2850	24	
				1150	2850	8	
	閲覧室	D	ロールスクリーン	1000	2250	1	
	事務室	A	日除カーテン	2200	2000	1	
4F	フリースペース	B	バーチカルブラインド	1970	2600	1	
				3880	2600	1	
				2950	2600	1	
	トレーニングエリア	B	バーチカルブラインド	1970	2600	1	
				2910	2600	1	
				2630	2600	1	
				2970	2600	1	
				1850	2600	1	
				2870	2600	1	
				3570	2600	1	
				2640	2600	1	
	更衣室	F	間仕切カーテン	2200	2400	2	
	A・C・E・F箇所		レール			70.06(m)	

●凡例

A	カーテン（日除け）	ポリエステル100% 1.5倍ヒダ
B	バーチカルブラインド	ガラス繊維100%
C	カーテン（暗幕）	ポリエステル100%（遮光1級） 1.5倍ヒダ
D	ロールスクリーン	ガラス繊維（遮光1級）
E	ネットカーテン	ネット付カーテン ポリエステル100% ヒダなし
F	間仕切カーテン	ポリエステル100% 1.5倍ヒダ

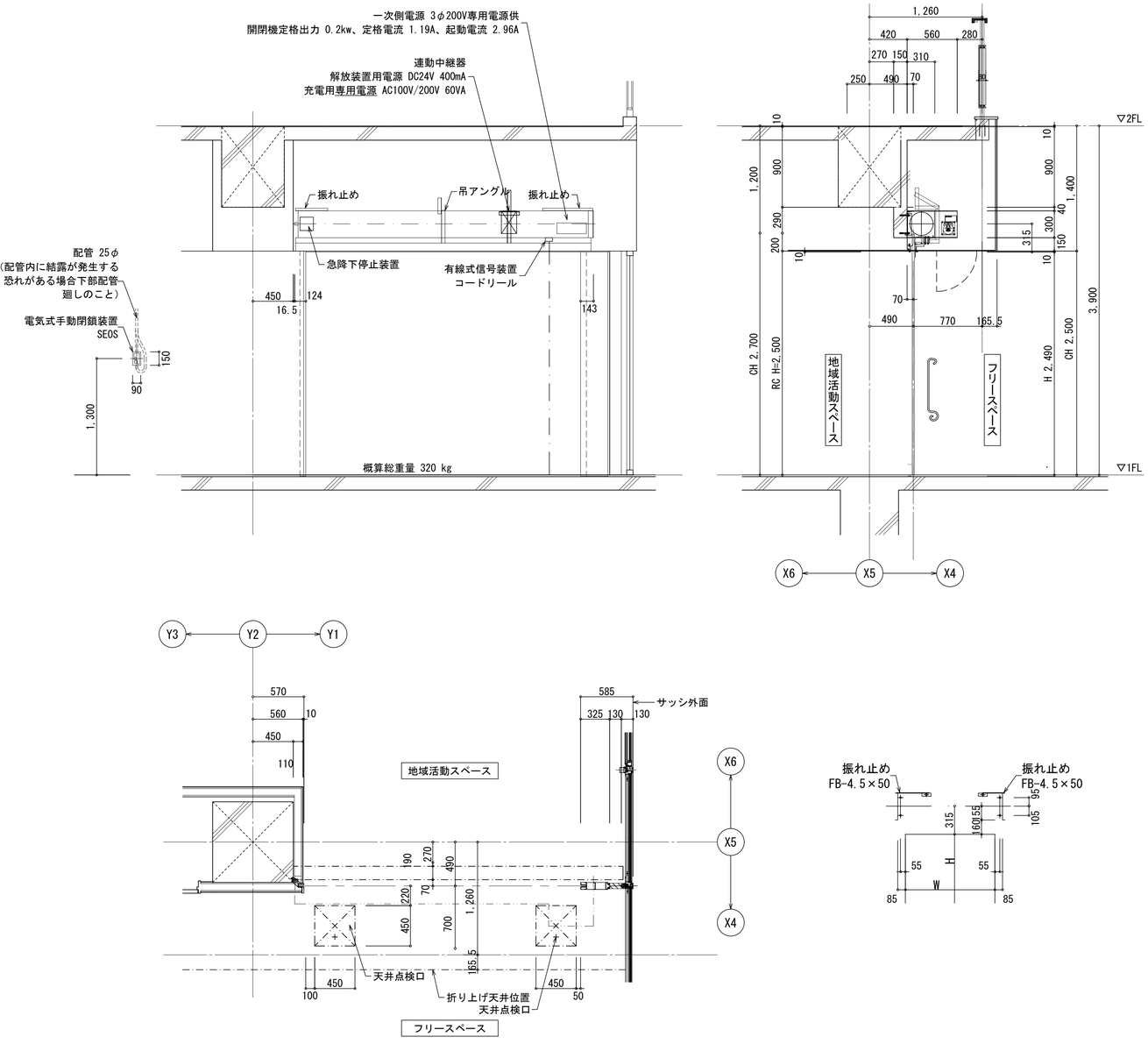
（共通）A・C・E・F のレールはアルミ角型レールとする。

明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	建築工事	最終版 2025. 02. 28
	110	カーテン図 A1 1:10 A3 1:20	見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

20230220

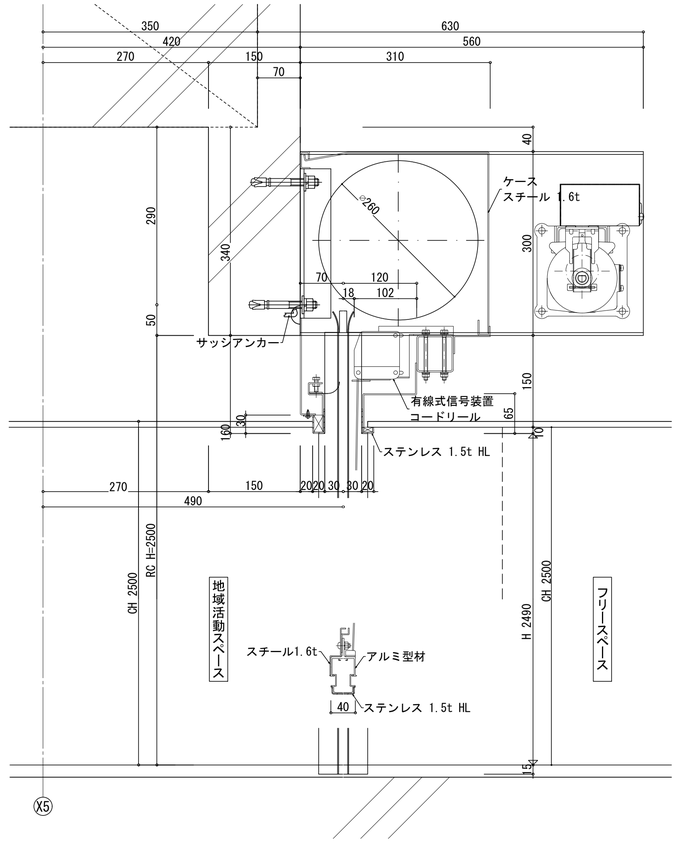
SS-01　詳細図　1:30

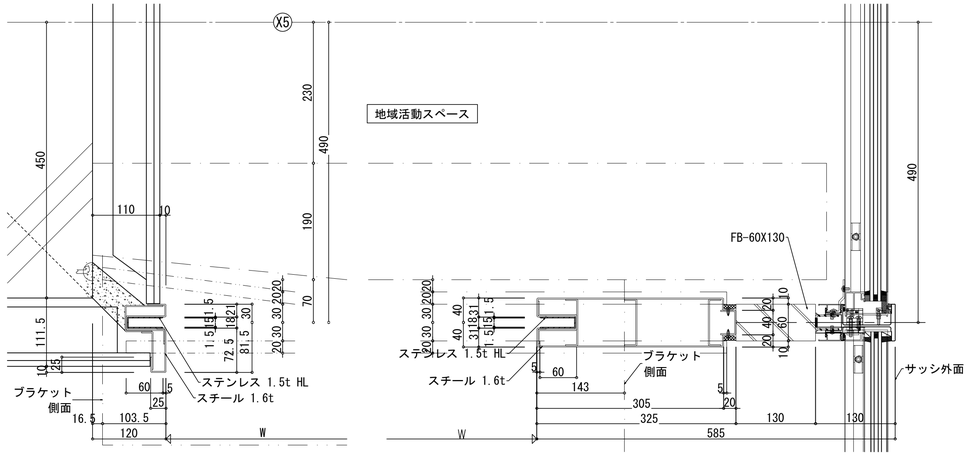


電動式防火・防煙シャッター（避難時停止装置付）

スラット	F-6	ステール1.6t	開閉機		SG15	定格出力	3φ200V　0.2kw　60Hz	設計範囲	D
座板		ステンレス	巻取シャフト		4"-35G	押ボタン		備考　大臣認定番号:CAS-1182	
ガイドレール		ステンレス	軸受	駆	No.5	手動開錠装置	SE0S Ⅱ-ACT	急降下停止装置付 (35)	
まぐさ		ステンレス		従	No.5	解放装置	ER-NⅢ		
ケース		ステール	手動時操作		ハンドル式		DC24V　400mA		

SS-101　部分詳細図　1:5

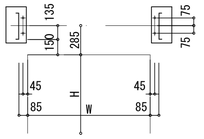


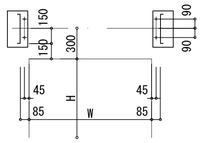


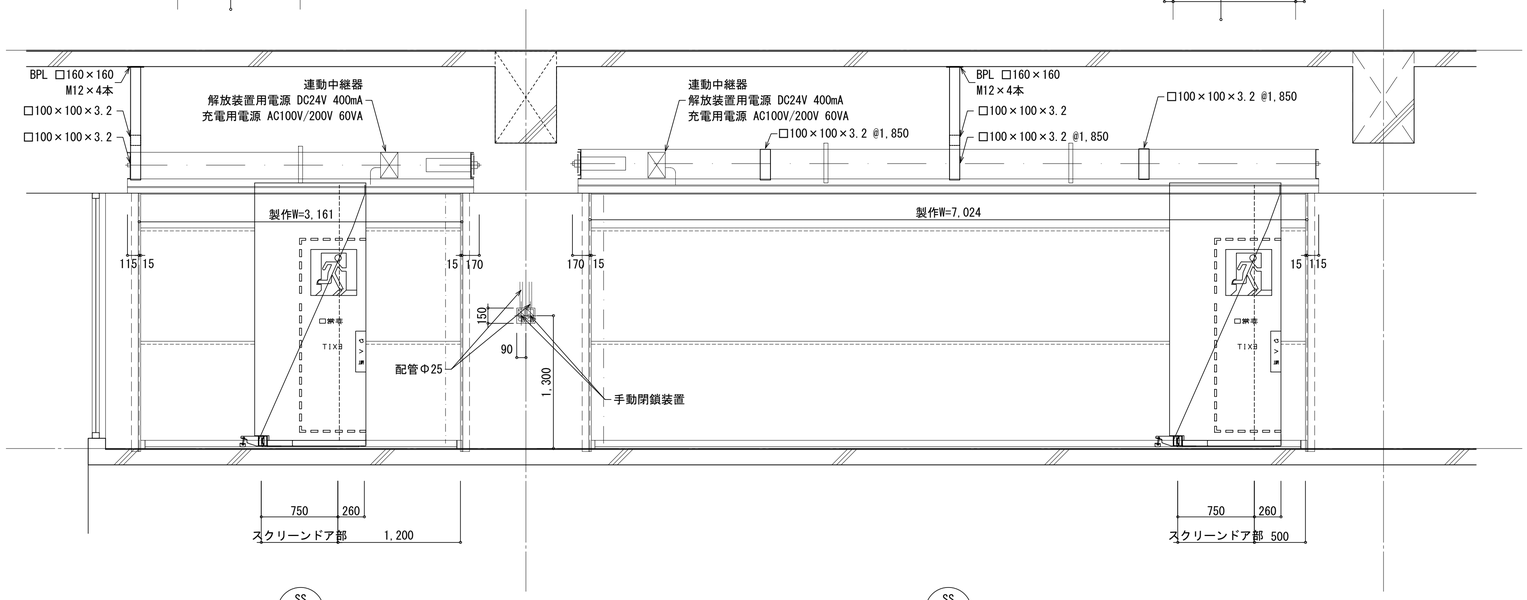
明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto 建設工事	
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	A	建築工事　A1 図示　A3 図示　最終版　2025. 02. 28
	301	シャッター・防火扉詳細図(1)　更積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所　最終契約版

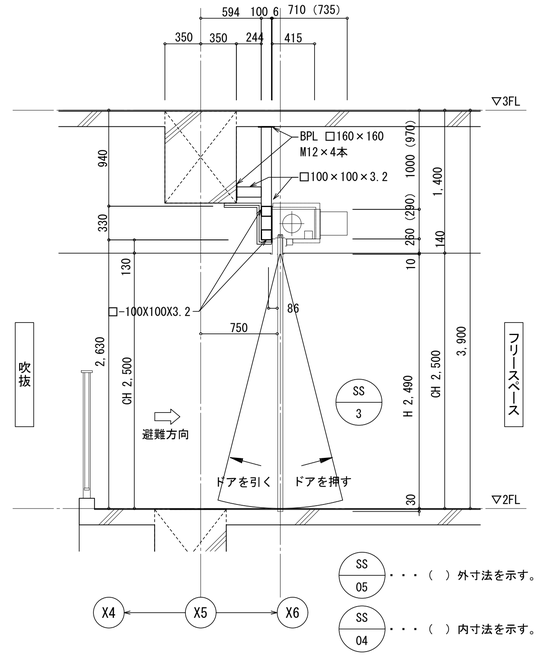
(2023年版)

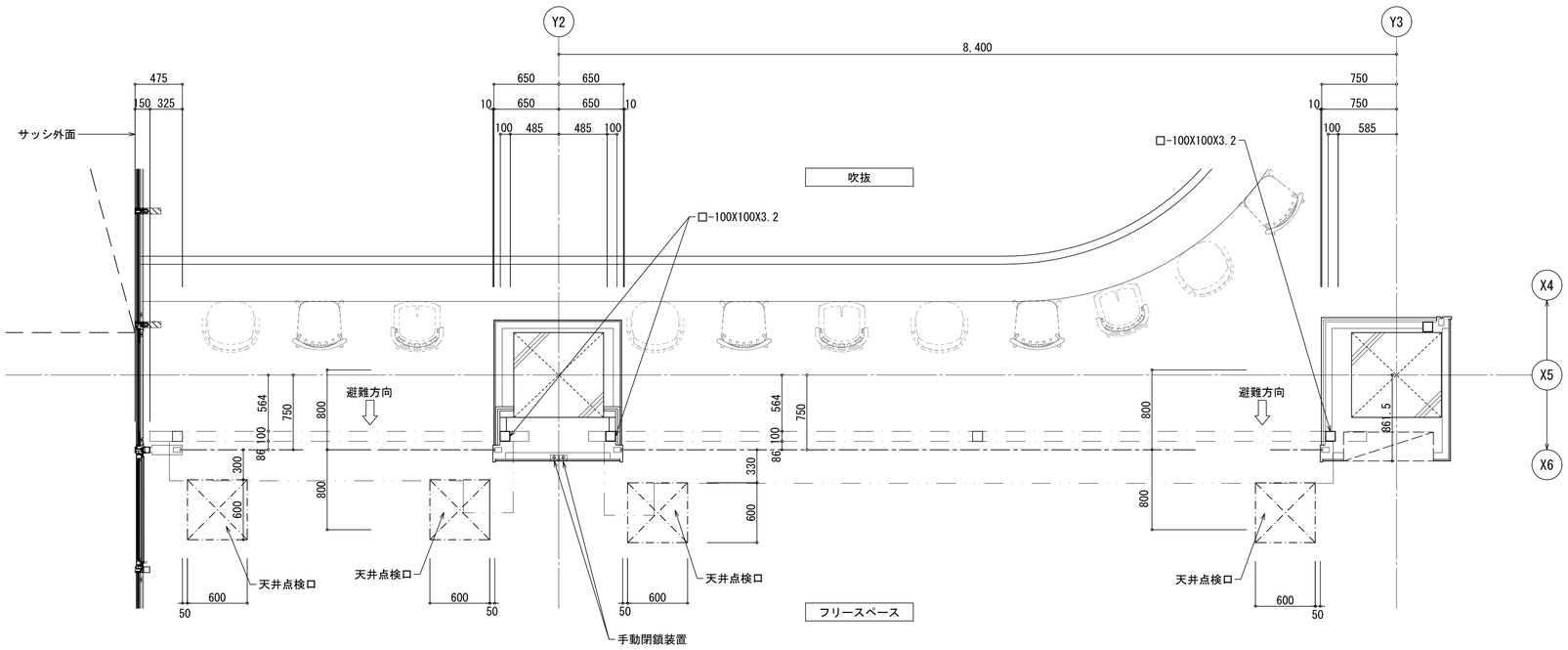
20230220











SS
05

手動式サンシリカスクリーンⅡ一体形WT-K（ＷＴ－ＫⅡ形）同等品

スクリーン		ｼﾘｶｸﾛｽ 0.7t	開閉機		SGH15	定格出力		設計範囲
座　板		ステンレス	巻取シャフト		6"-35	押ボタン		
ガイドレール		ステンレス	軸受	駆	SSD735	手動閉鎖装置	SEOSⅡ-C	備考 大臣認定番号:CAT-0254 遮炎性能番号:EA-0190
まぐさ		ステンレス		従	SSD735	解放装置	ＥＲ－Ｎ	
ケース		スチール	手動時操作		ハンドル式		DC24V 400mA	

SS
04

手動式サンシリカスクリーンⅡ一体形WT-K（ＷＴ－ＫⅡ形）同等品

スクリーン		ｼﾘｶｸﾛｽ 0.7t	開閉機		SGH15	定格出力		設計範囲
座　板		ステンレス	巻取シャフト		7"-35	押ボタン		
ガイドレール		ステンレス	軸受	駆	SWT735	手動閉鎖装置	SEOSⅡ-C	備考 大臣認定番号:CAT-0254 遮炎性能番号:EA-0190
まぐさ		ステンレス		従	SWT735	解放装置	ＥＲ－Ｎ	
ケース		スチール	手動時操作		ハンドル式		DC24V 400mA	

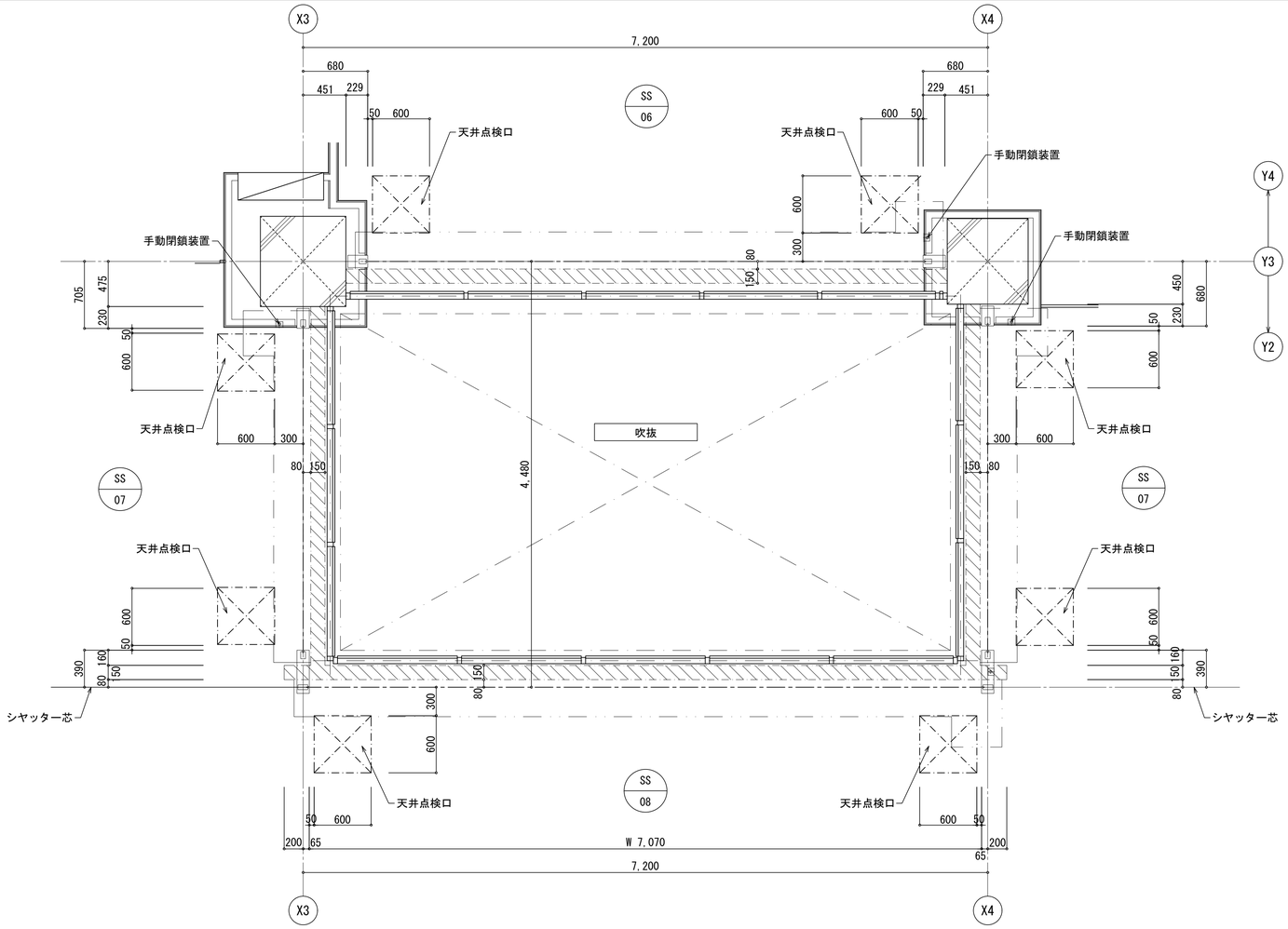
※SS-02, SS-03はSS-04, SS-05の詳細に準ずる

明石市政策局 プロジェクト推進室

〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号
森 雅章

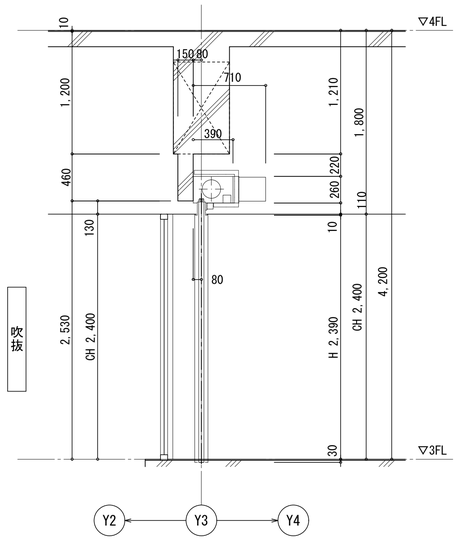
西明石地域交流センター icotto 建設工事

A　建築工事　A1 図示 A3 図示　最終版 2025.02.28
302　シャッター・防火扉詳細図(2)　見積版 2024.12.16
安井建築設計事務所　最終契約版

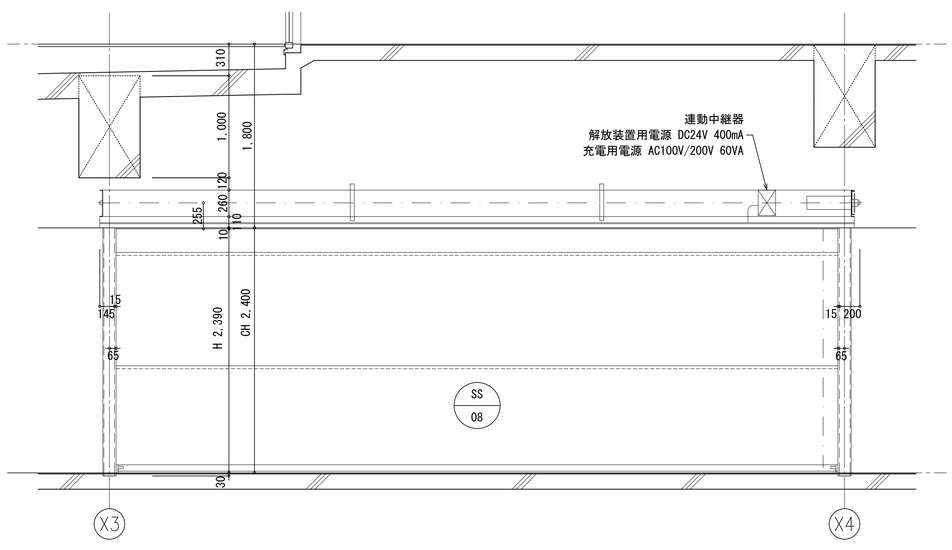


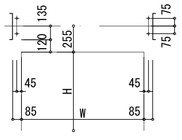
手動式サンシリカスクリーンⅡ一体形SD（Ⅱ形座板）

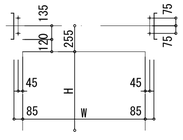
スクリーン		ｼﾘｶｸﾛｽ　0.7t	開閉機		SGH15	定格出力		設計範囲	
座板		ステンレス	巻取シャフト		7"-35	押ボタン		備考	大臣認定番号:CAT-0254
ガイドレール		ステンレス	軸受	駆	SSD735	手動閉鎖装置	SEOSⅡ-C		遮炎性能番号:EA-0189
まぐさ		ステンレス		従	SSD735	解放装置	ERーN		
ケース		スチール	手動時操作		ハンドル式		DC24V　400mA		

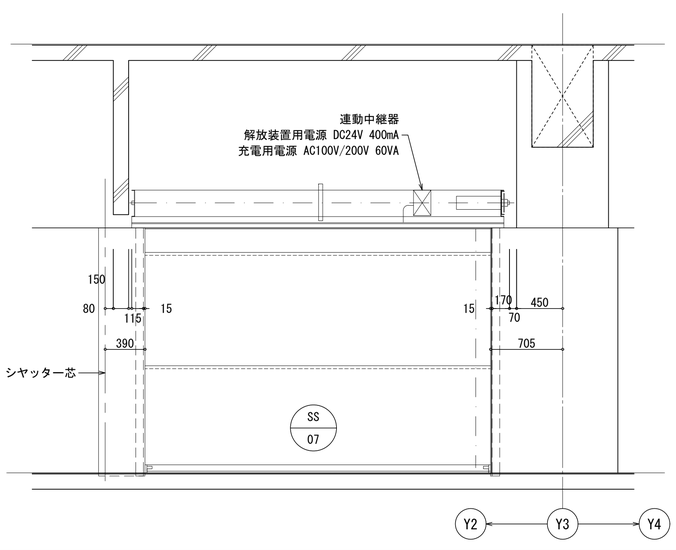


SS-07 断面図



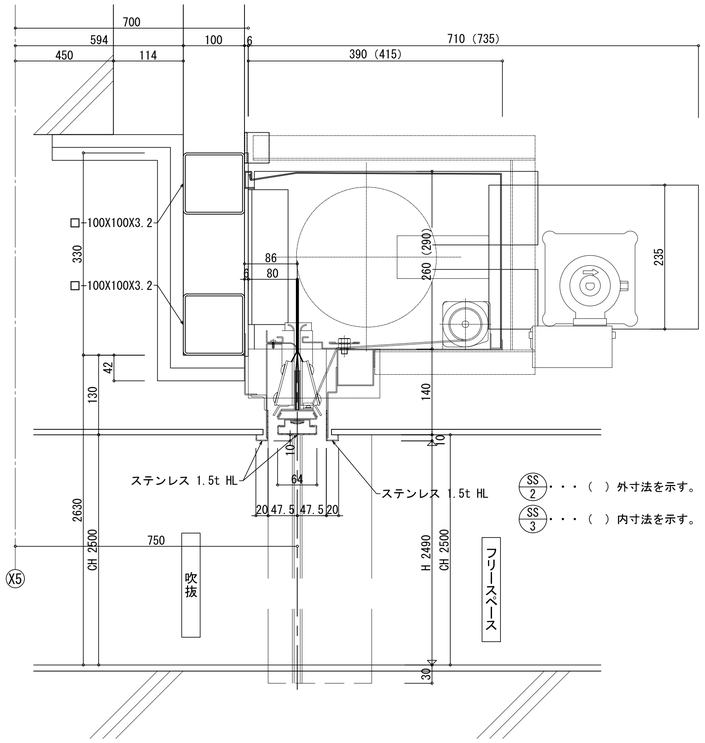




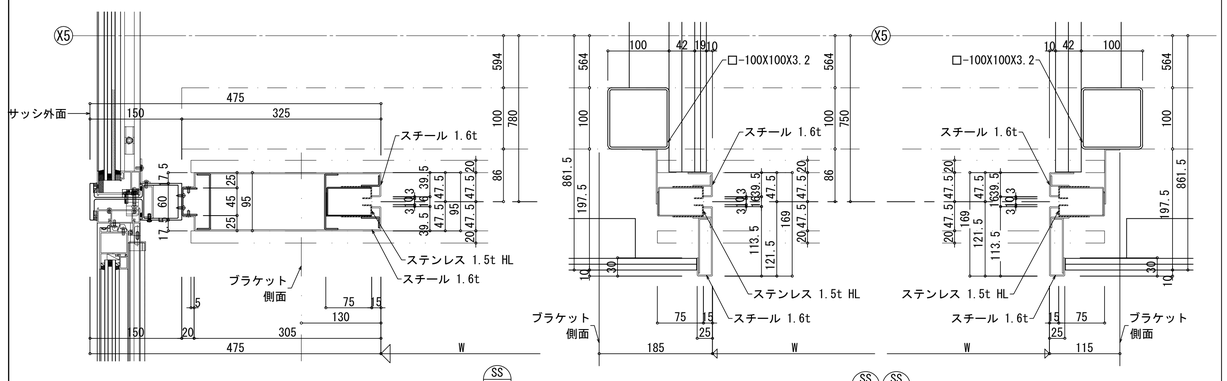


明石市政策局　プロジェクト推進室		西明石地域交流センター　icotto　建設工事	
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	A	建築工事	最終版　2025. 02. 28
	303	シャッター・防火扉詳細図(3)　A1 図示　A3 図示	見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

SS-04、SS-05　部分詳細図　1:5

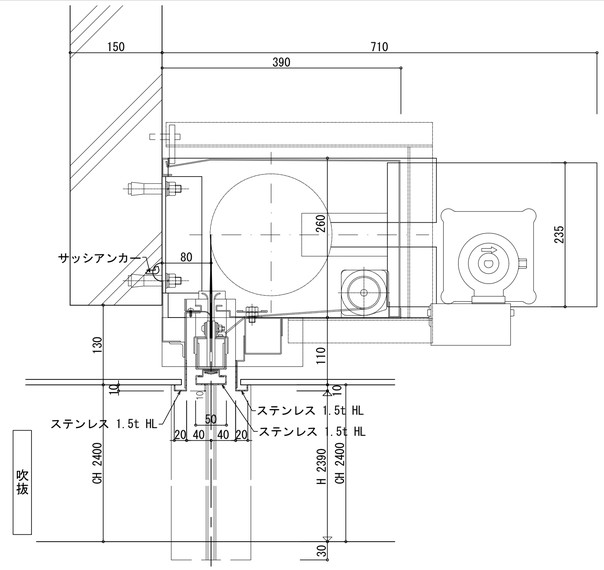


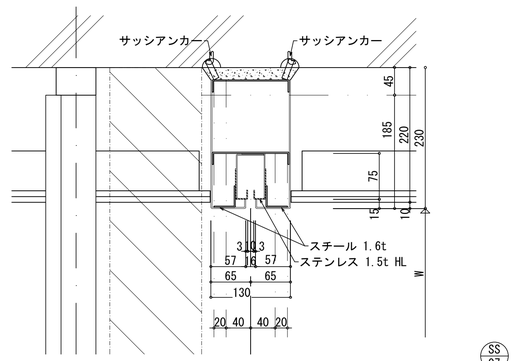
吹抜



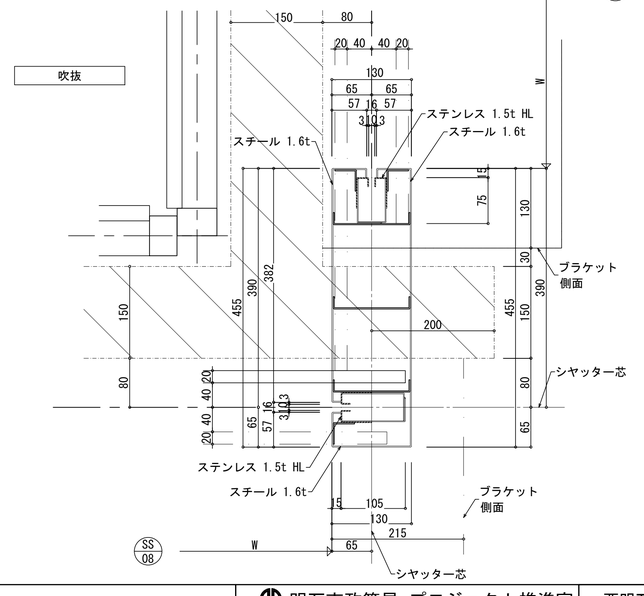
フリースペース

SS-07、SS-08　部分詳細図　1:5





SS/07



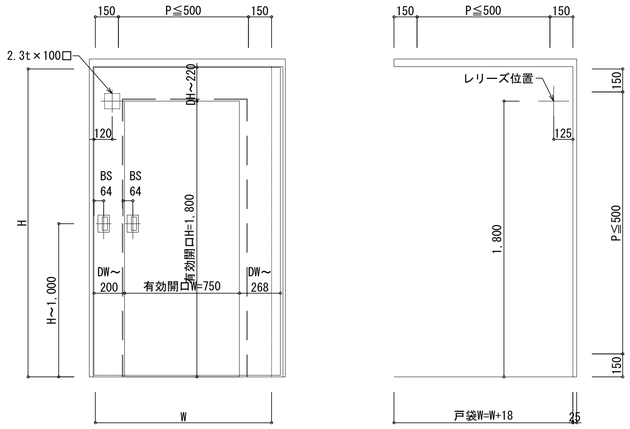
吹抜

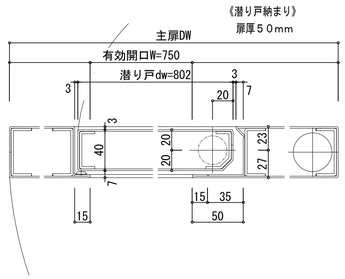
SS/08

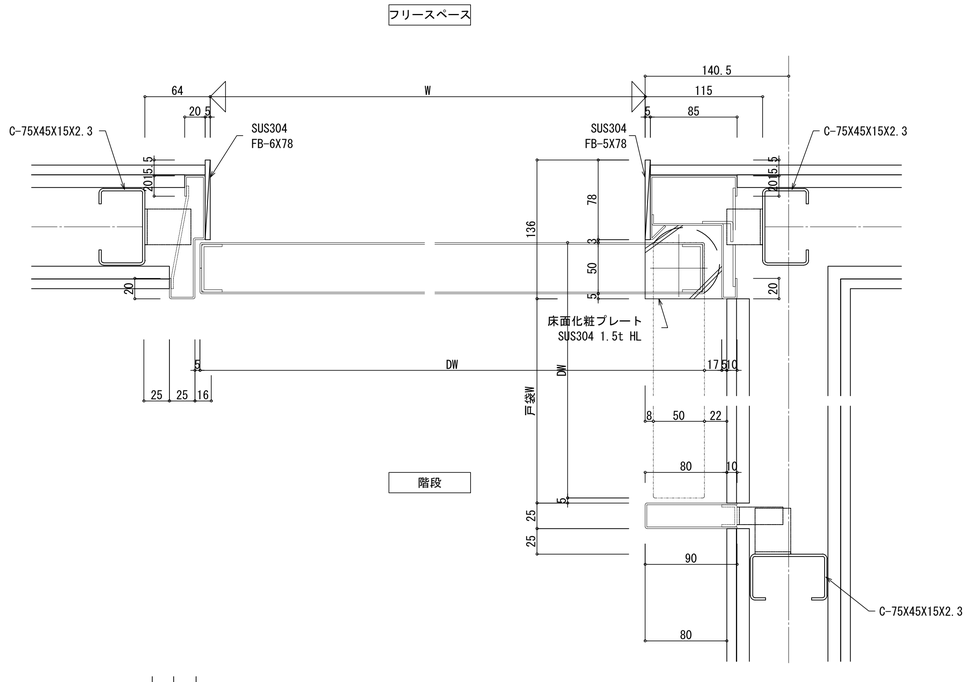
明石市政策局　プロジェクト推進室		西明石地域交流センター　icotto 建設工事	
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	A	建築工事 A1 図示 A3 図示	最終版　2025. 02. 28
	304	シャッター・防火扉詳細図(4)	見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

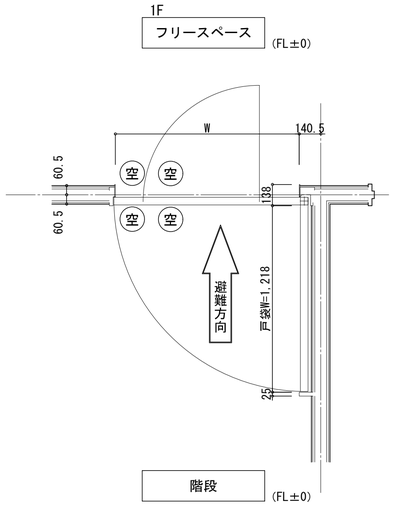
（2023年版）

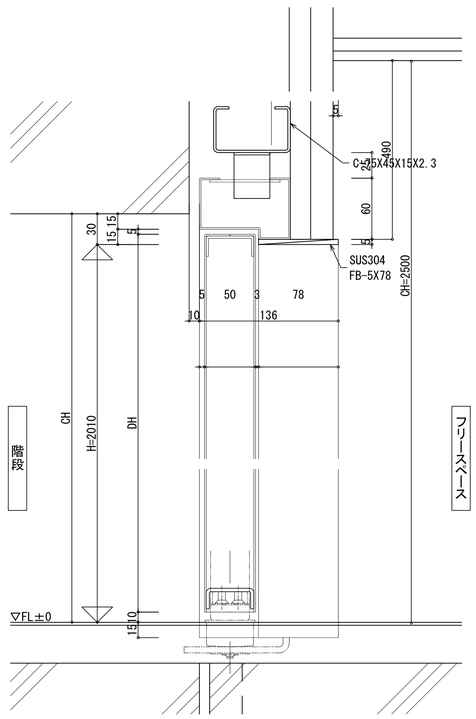
20230220

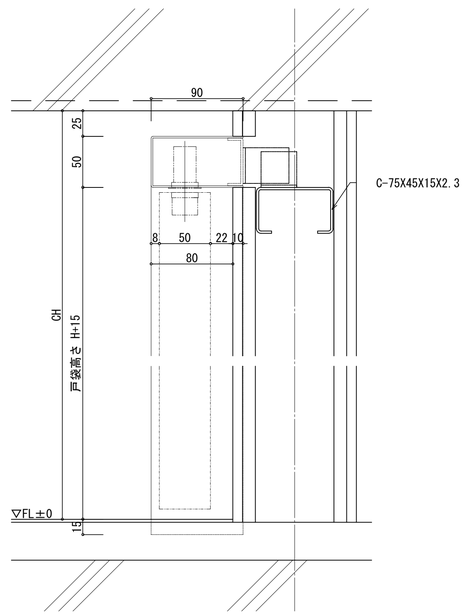








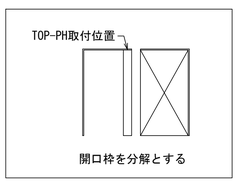




ＳＤ　戸袋付防火戸・潜り戸付
枠：1.6t　錆止め＋SOP
扉：1.6t　錆止め＋SOP

符　号	勝　手	数　量	枠性能	充填材	防火区分
SD 18	R　1 L　0	1	ＳＴ		特定防火設備
ガラリ	ー		ガラリタイプ		
ガラス	ー		窓タイプ		

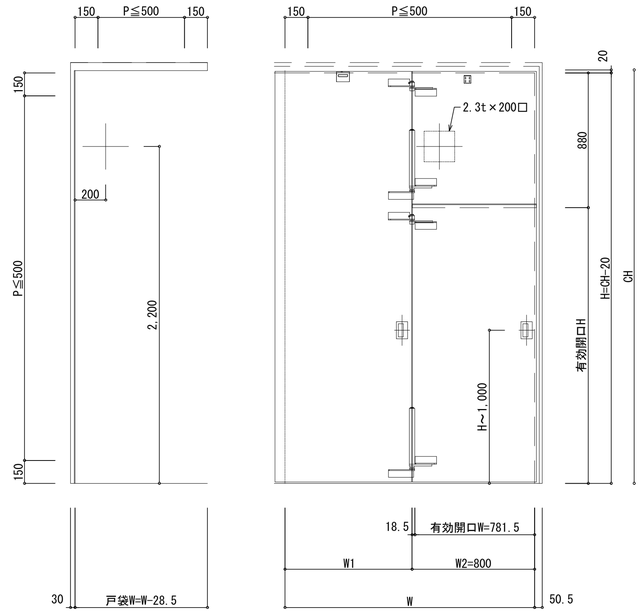
金具品名	メーカー・品番	1ヶ所数量	備　考
ﾋﾝｼﾞｸﾛｰｻﾞ	日東工器 AFD-14H-B 同等	1	
ﾋﾝｼﾞｸﾛｰｻﾞ	日東工器 AFD-8KH-B 同等	1	逆マド
戸当りｺﾞﾑ	ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ SJ-1101 同等	4	グレー
引手	ﾕﾆｵﾝ T209-01-023(DT50) 同等	1	
引手	ﾕﾆｵﾝ T209-01-023(DT40) 同等	1	

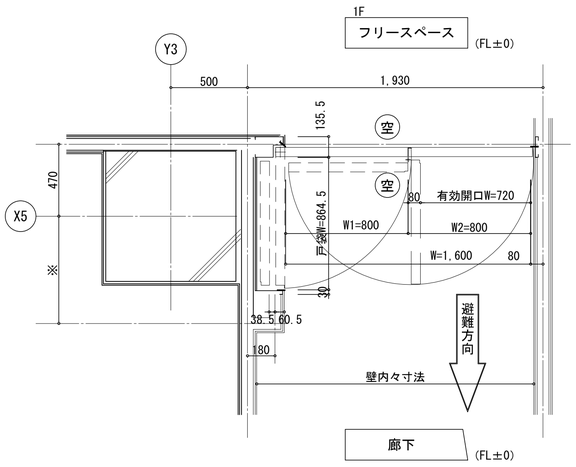


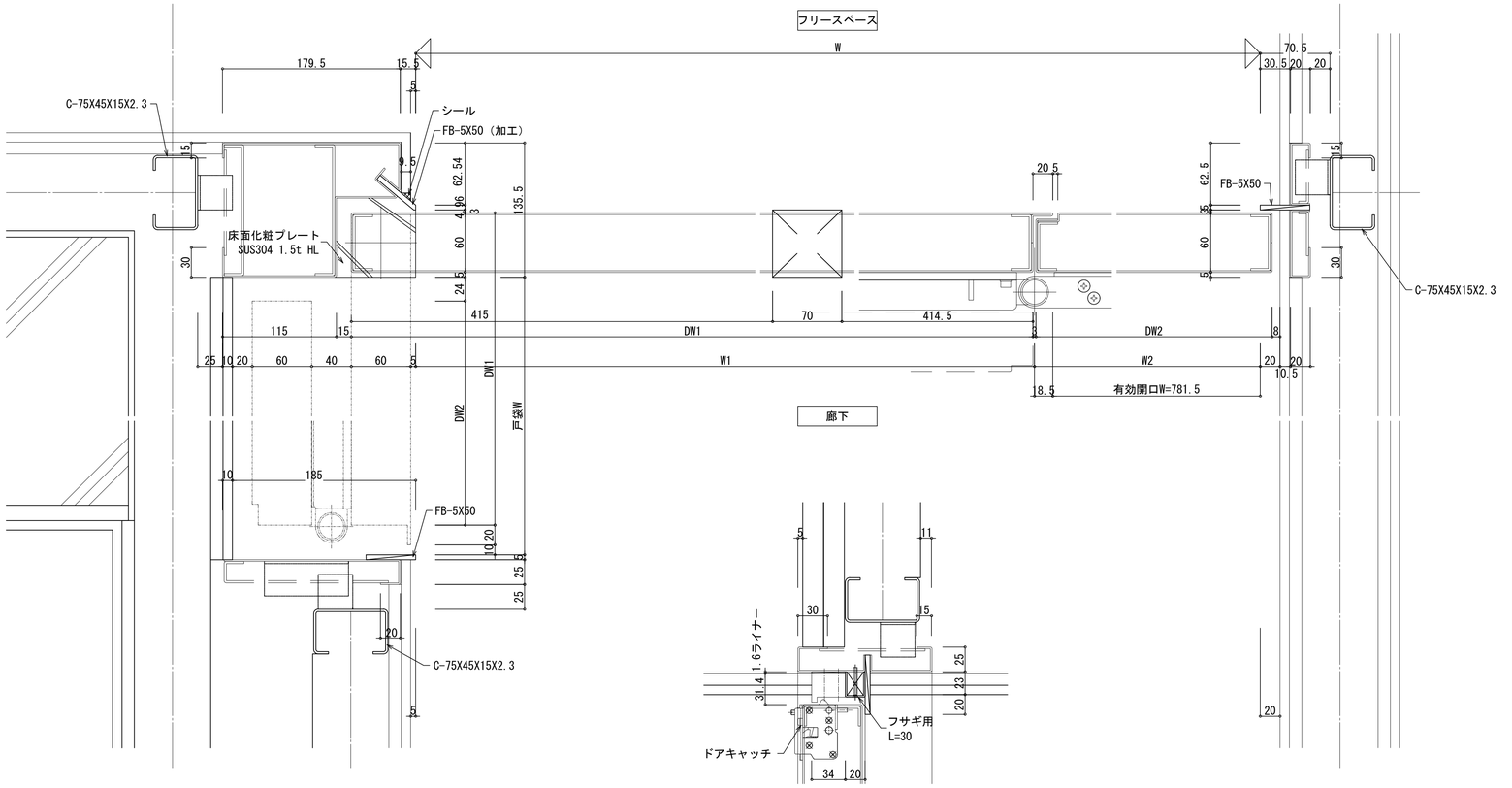
明石市政策局　プロジェクト推進室
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号
森　雅章

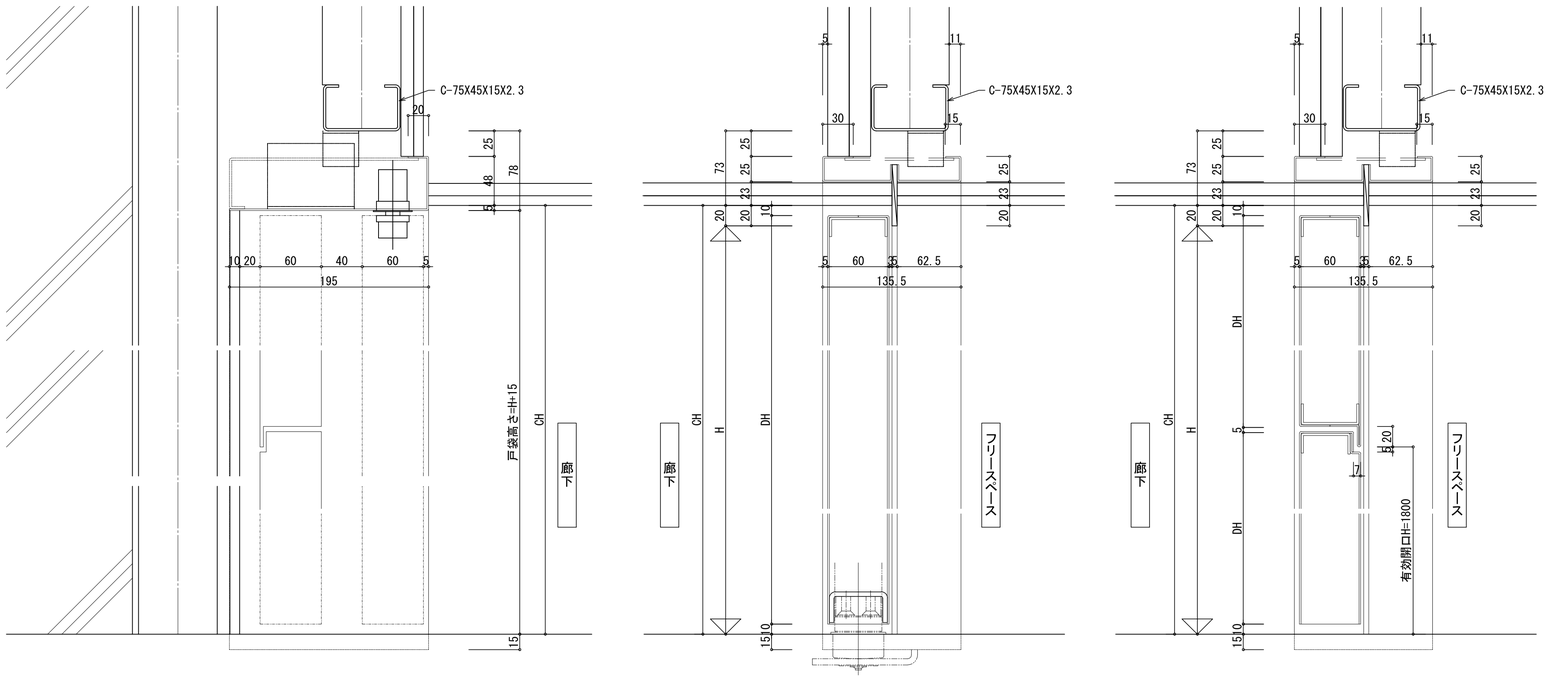
西明石地域交流センター　icotto　建設工事

A	建築工事	最終版	2025.02.28
305	シャッター・防火扉詳細図(5) A1 図示 A3 図示	見積版	2024.12.16
	安井建築設計事務所	最終契約版	





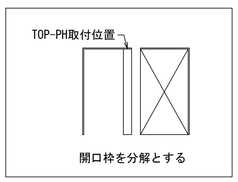




ＳＤ　戸袋付防火戸
枠：1.6t　錆止め＋SOP
扉：1.6t　錆止め＋SOP

符　号	勝　手	数　量	枠性能	充填材	防火区分
SSD 01	R　0 L　1	1	ＳＴ		防火設備
ガラリ	ー		ガラリタイプ		
ガラス	ー		窓タイプ		

金具品名	メーカー・品番	1ヶ所数量	備　考
ﾋﾝｼﾞｸﾛｰｻﾞ	日東工器 AFD-22-B 同等	1	
折戸用ﾋﾝｼﾞｸﾛｰｻﾞ	日東工器 N2B-AFD-8KH-40 同等	2	
折戸ﾋﾝｼﾞｶﾊﾞｰ	日東工器 N2B-16ﾈｼﾞｶﾊﾞｰ 同等	2	
ﾄﾞｱｷｬｯﾁ	日東工器 N-51CPK Dt60 ﾄﾞｱ間40 同等	1	
戸当りｺﾞﾑ	住友3M SJ-1101 同等	2	グレー
引手	ﾕﾆｵﾝ T209-01-023(DT60) 同等	2	



明石市政策局　プロジェクト推進室

西明石地域交流センター　icotto　建設工事

〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号
森　雅章

A
306

建築工事
シャッター・防火扉詳細図(6)
A1 図示
A3 図示

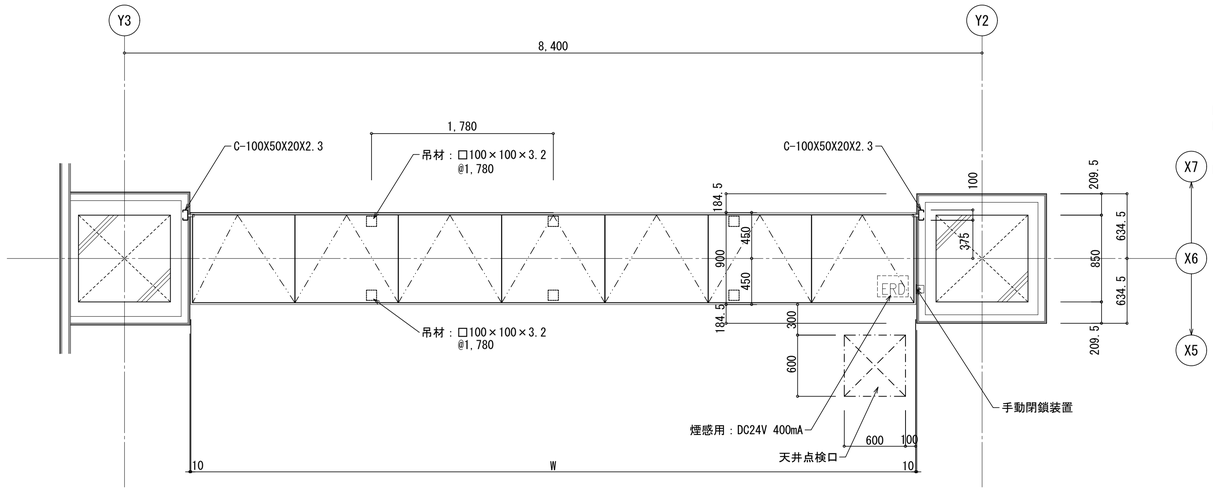
最終版　2025.02.28
見積版　2024.12.16

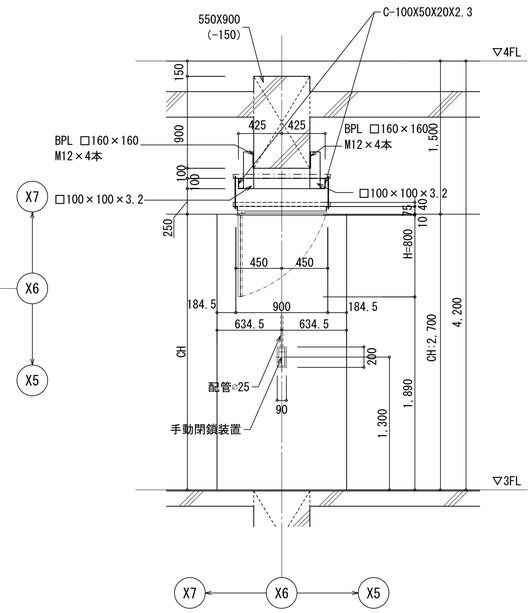
安井建築設計事務所

最終契約版

20230220

可動式防煙垂壁詳細図　1:30

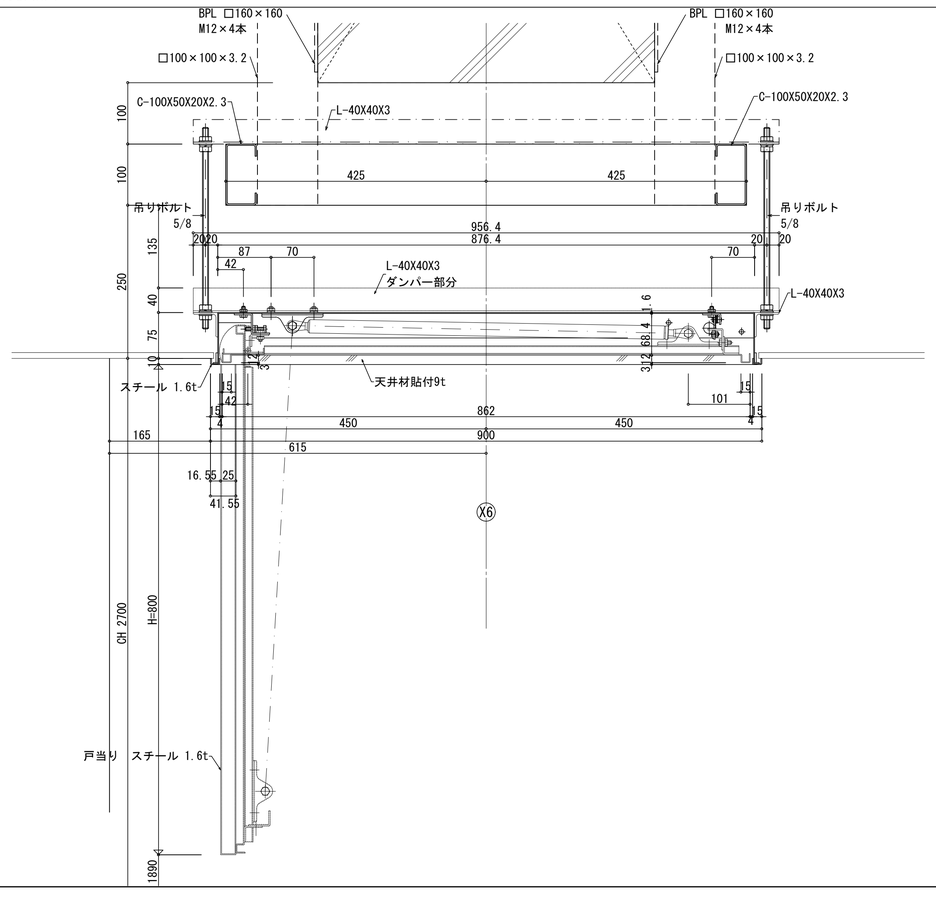


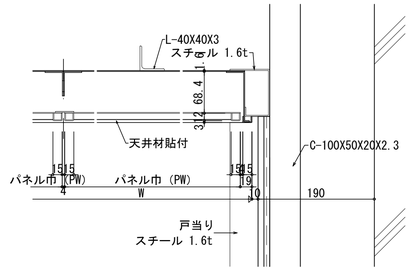


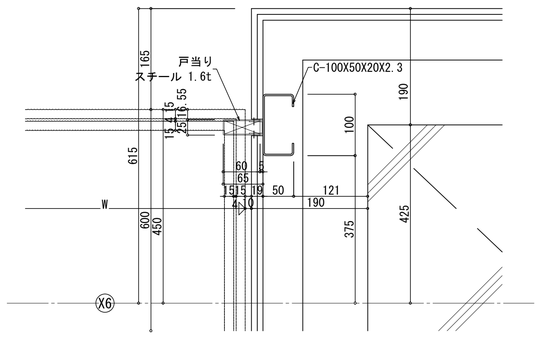
スチール防煙パネル（ＢＰＵ）（煙感連動）

開閉機	--	ハンドル式 チェーン式		電源	-- φ -- V -- Hz -- kW
巻取シャフト	--			押ボタン	露埋シサ
軸受	左 --	右 --		解放装置	ER-S・Ⓓ・A
特記事項					DC24V 400mA
				H O S	A B C D HOH

部分詳細図　1:5





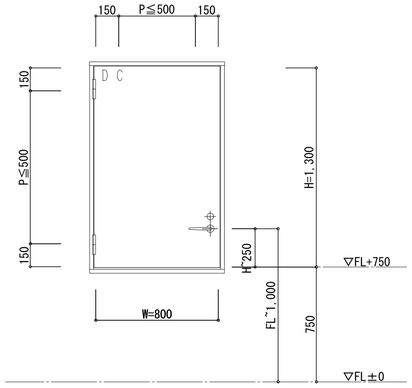


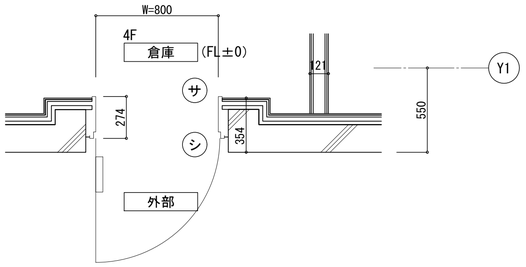
明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	建築工事	最終版 2025.02.28
	307	可動式防煙垂壁詳細図 A1 図示 A3 図示	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

(2023年版)

20230220

SD14　詳細図　1:20、1:3

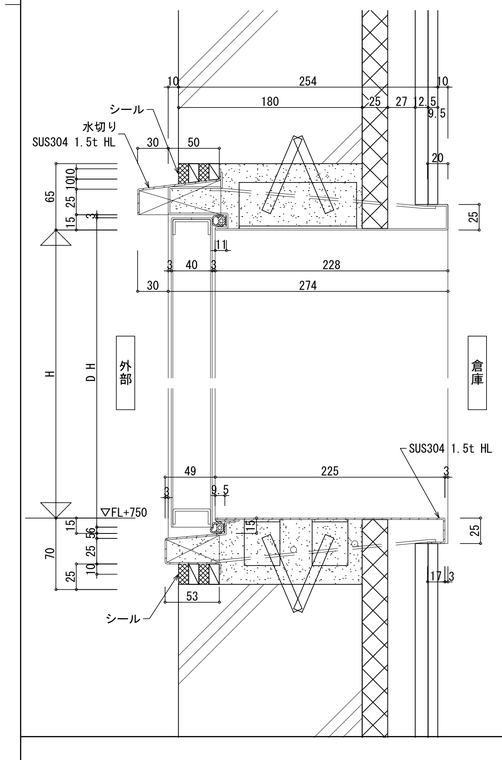


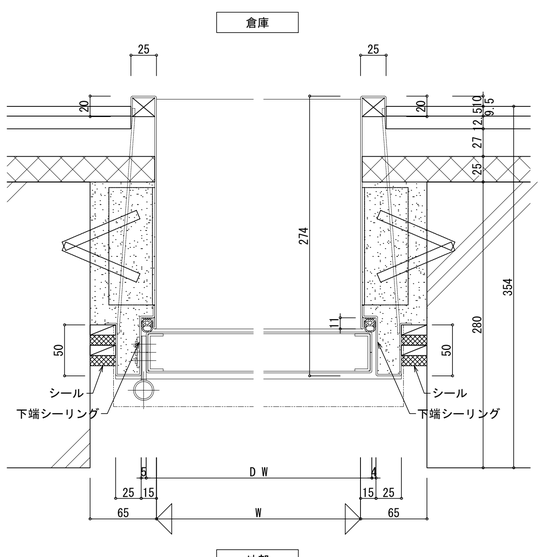


ＳＤ
枠：1.6t　錆止め＋DP塗
扉：1.6t　錆止め＋DP塗

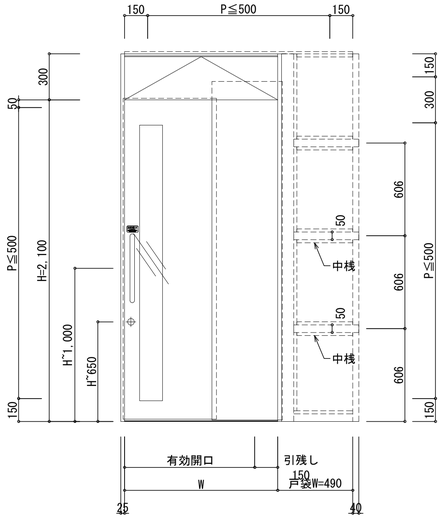
符　号	勝　手	数　量	枠性能	充填材	防火区分
GSD 1	R　1 L　0	1	ＳＡＴ		指定なし
ガラリ	ー		ガラリタイプ		
ガラス	ー		窓タイプ		

金具品名	メーカー・品番	1ヶ所数量	備　考
丁番	ｼﾌﾞﾀﾆ DH-508S(一式) 同等	3	
ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠	美和　LA -1(64X40) 同等	1	
ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞ	ﾘｮｰﾋﾞ B1002P (90) 同等	1	Sなし BC付 ﾊﾟﾗﾚﾙ 90° 制限
ｴｱﾀｲﾄｺﾞﾑ	三和型 ATG-205 同等	1	





LSD-04　詳細図　1:20、1:3

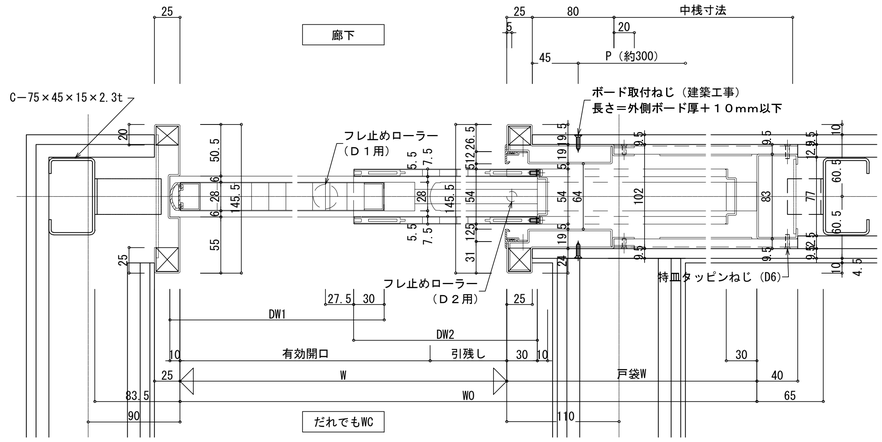


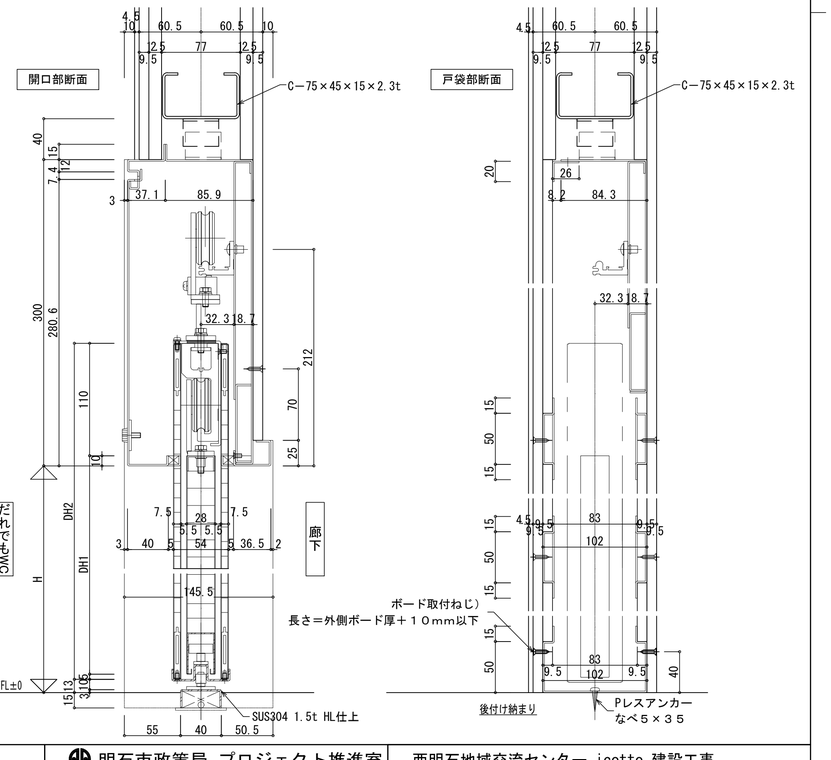
Ｓ二連（戸袋ボード）
枠：1.6t　錆止め＋SOP
扉：0.6t　錆止め＋SOP

符　号	勝　手	数　量	枠性能	充填材	防火区分
LSD 1	R　1 L　1	2	ＳＴ	ﾊﾆｶﾑ	指定なし
ガラリ	ー		ガラリタイプ		
ガラス	ー		窓タイプ		

金具品名	メーカー・品番	1ヶ所数量	備　考
付属部品	三和標準一式 同等	1	
ﾛｯﾄﾞ錠	美和 SW1SD11T(L=) 同等	1	
ﾛｯﾄﾞ錠用ｼﾘﾝﾀﾞｰ	美和　SWM28-8H 同等	1	
ﾛｯﾄﾞ錠ｽﾄﾗｲｸ	美和 SWSD-SKT 同等	1	
ｴﾝﾄﾞｽﾄｯﾊﾟｰ	ﾘｮｰﾋﾞ SWST-01 同等	1	
引き棒	ｼﾌﾞﾀﾆ SB-SUS425-W 同等	1	SUS鏡面

枠：ノックダウン





明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto 建設工事	
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	A	建築工事　A1 図示　A3 図示
	308	スチールドア詳細図
		安井建築設計事務所

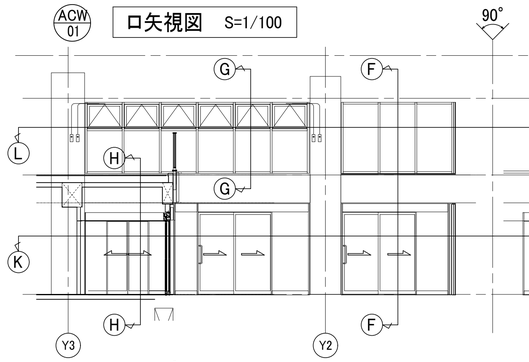
最終版　2025.02.28
見積版　2024.12.16
最終契約版

（2023年版）

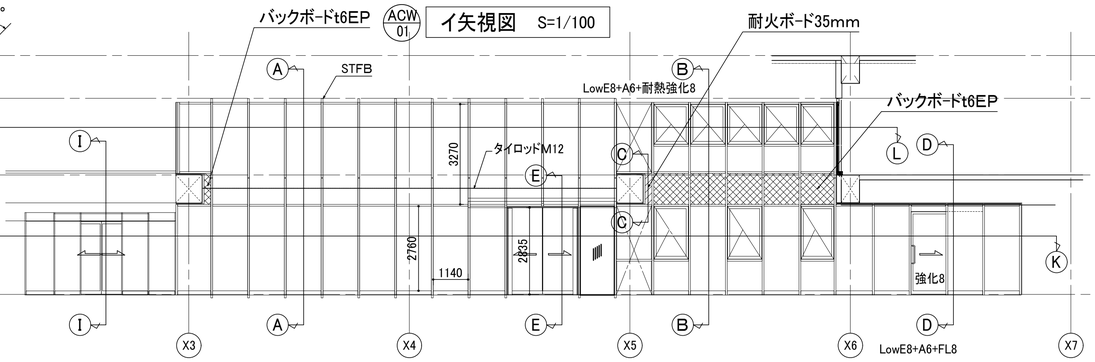
20230220

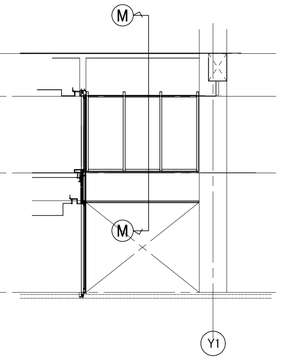
設計風圧力:2221.5Pa(100年再現)
水密性:W-5
気密性:1000Pa
ガラス:図示
オペレーター:隠蔽式
非防火(一部個別防火設備) ……防火設備ユニット

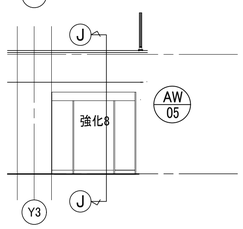
ロ矢視図 S=1/100



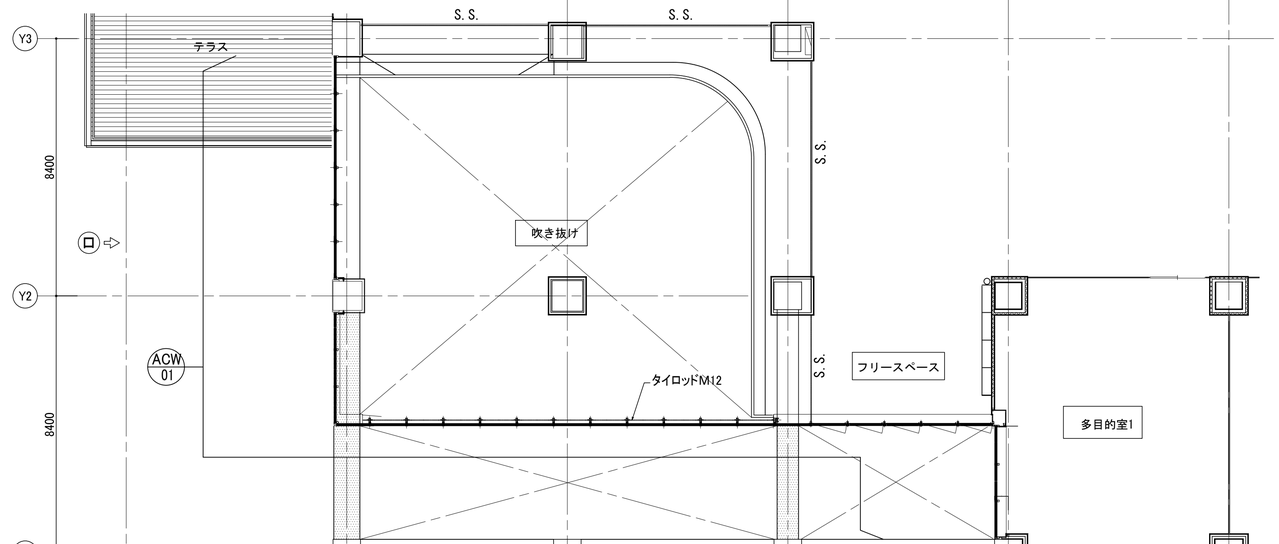
イ矢視図 S=1/100



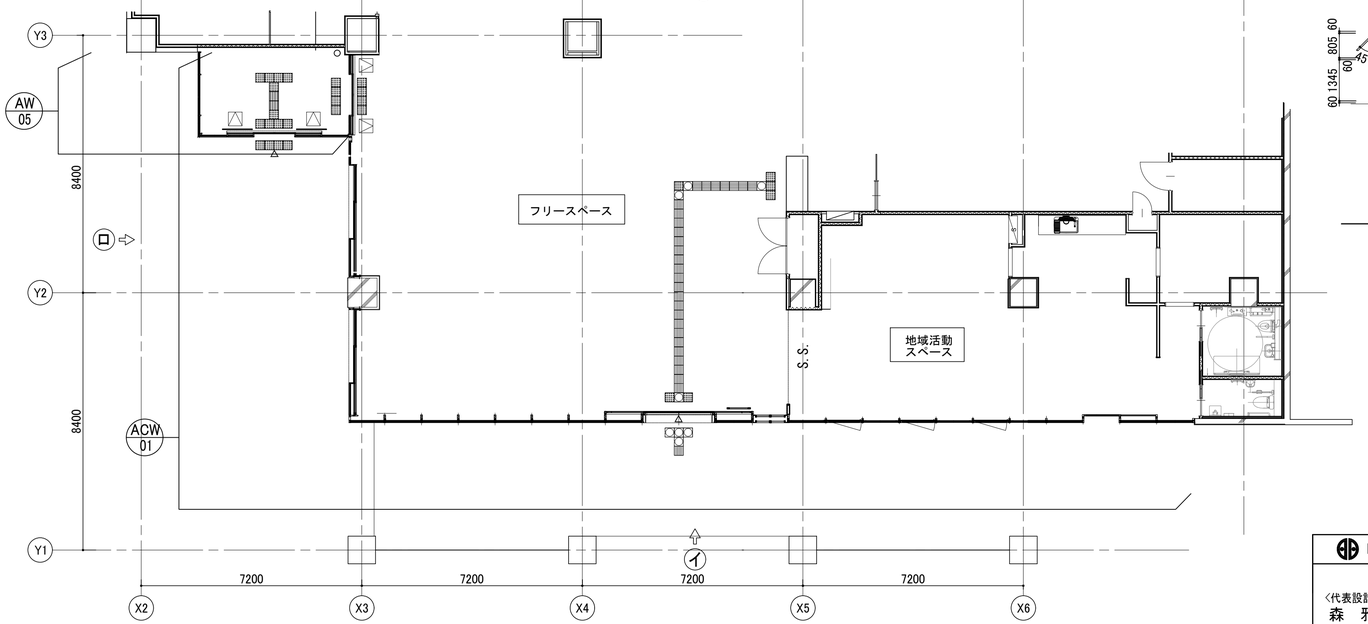


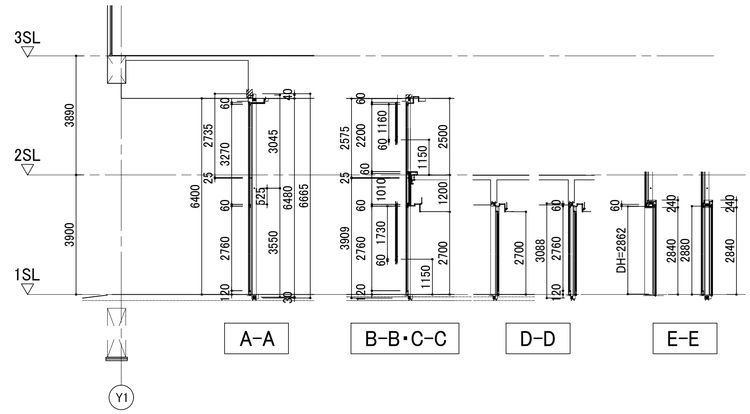


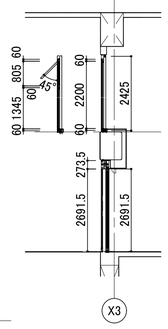
2F平面詳細



1F平面詳細







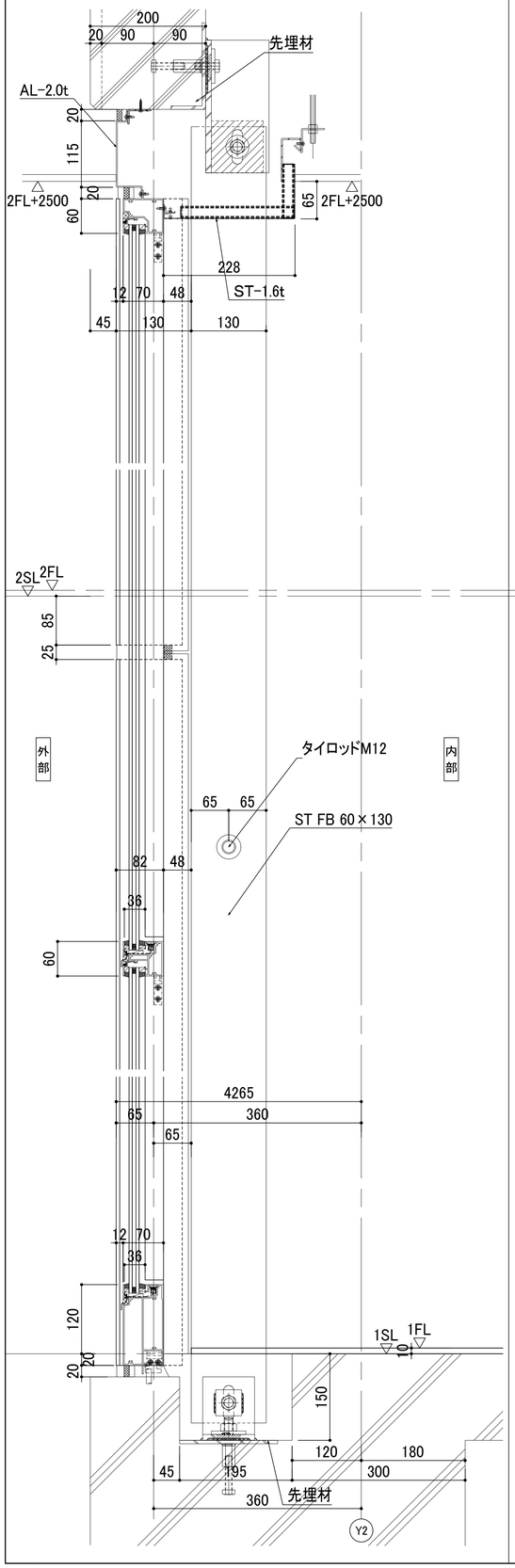
※特記なき限り内部のSTはSOP塗装とする。
※特記なき限りバックボード、耐火ボードはケイ酸カルシウム板とする。

明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
<代表設計者> 森 雅章 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号	A		最終版 2025. 02. 28
	309	アルミサッシ詳細図 (1) A1 1:100 A3 1:200	見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

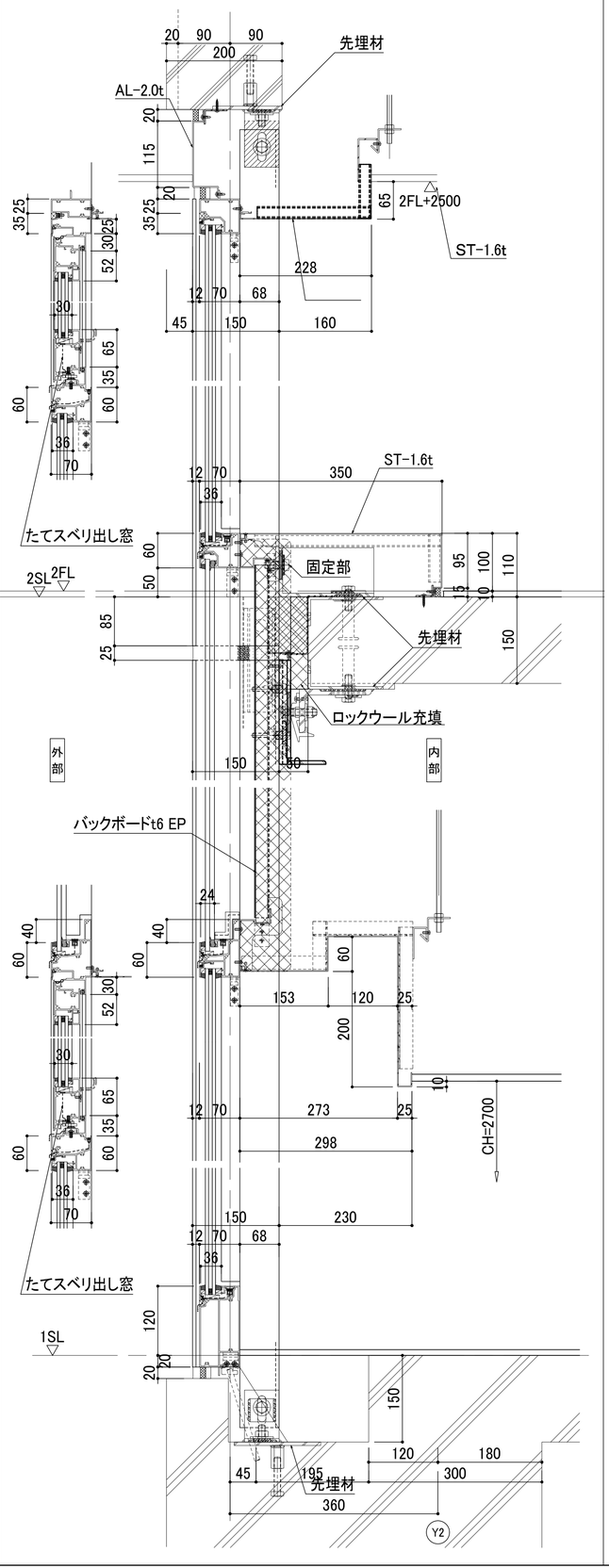
(2023年版)

20230220

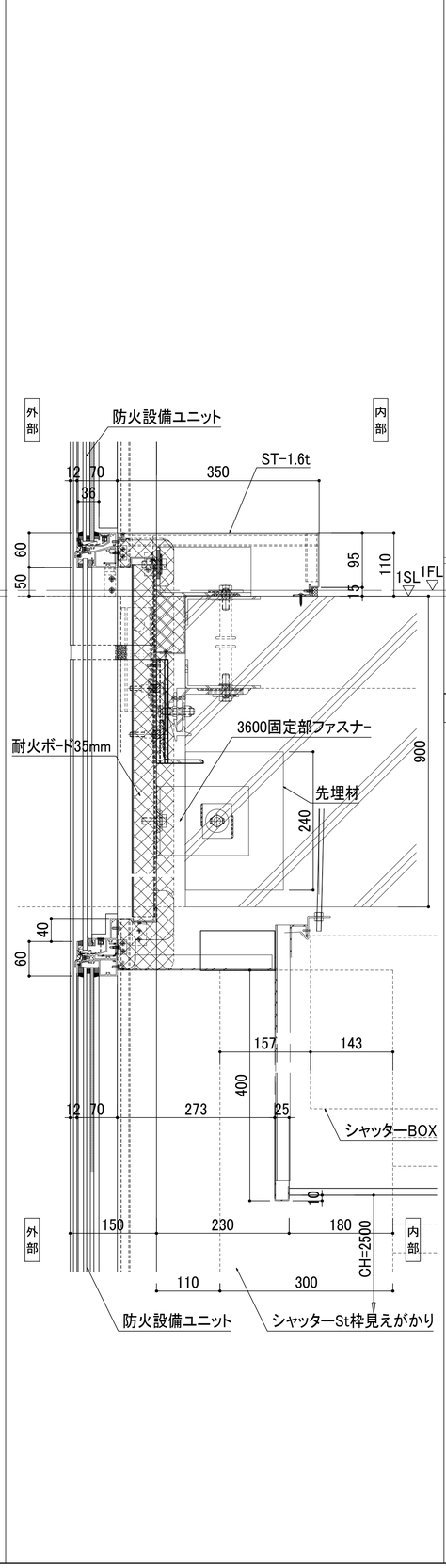
Ⓐ－Ⓐ 部 断面詳細図 S=1/5



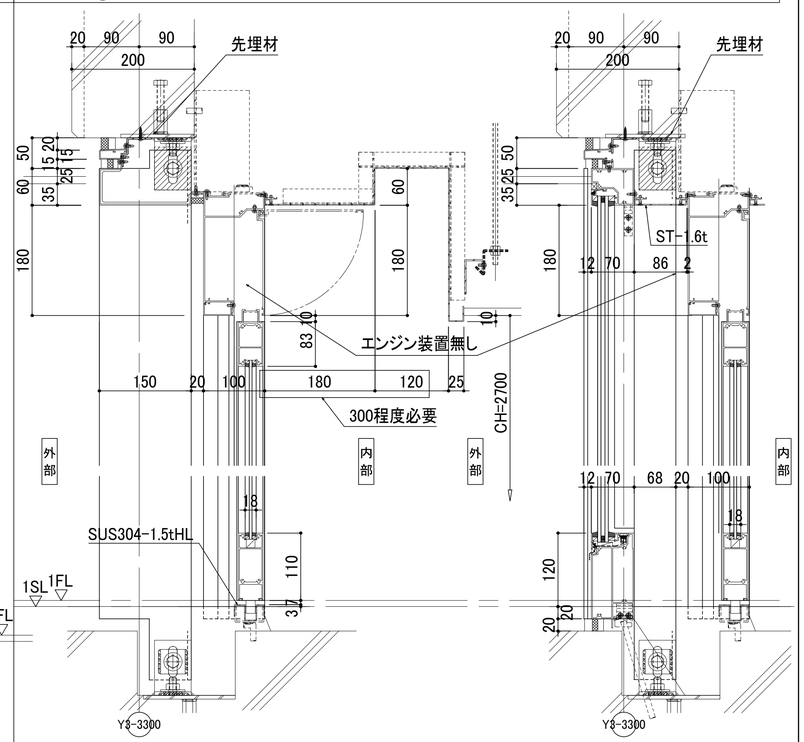
Ⓑ－Ⓑ 部 断面詳細図 S=1/5



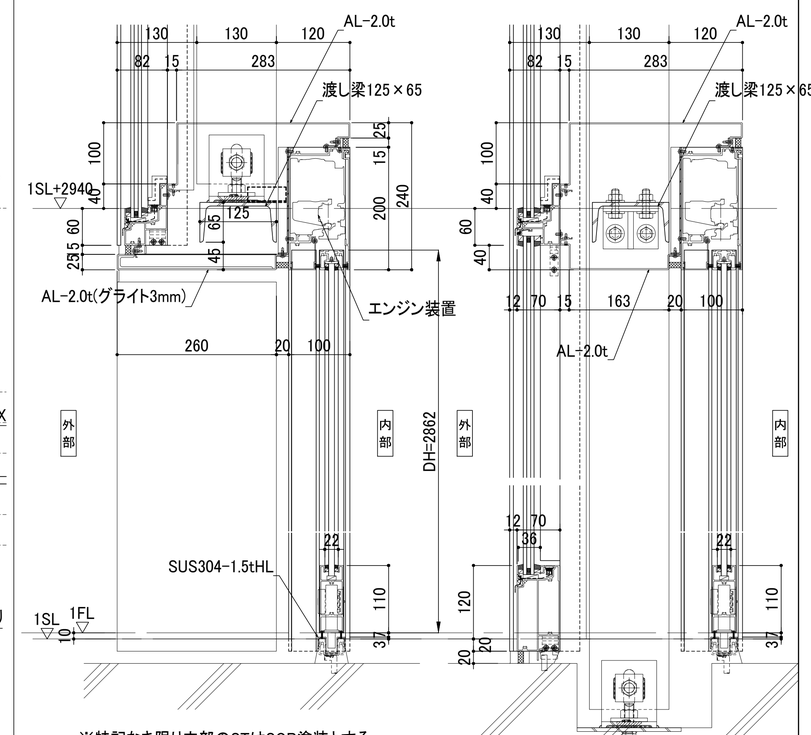
Ⓒ－Ⓒ 部 断面詳細図 S=1/5



Ⓓ－Ⓓ 部 断面詳細図 S=1/5



Ⓔ－Ⓔ 部 断面詳細図 S=1/5

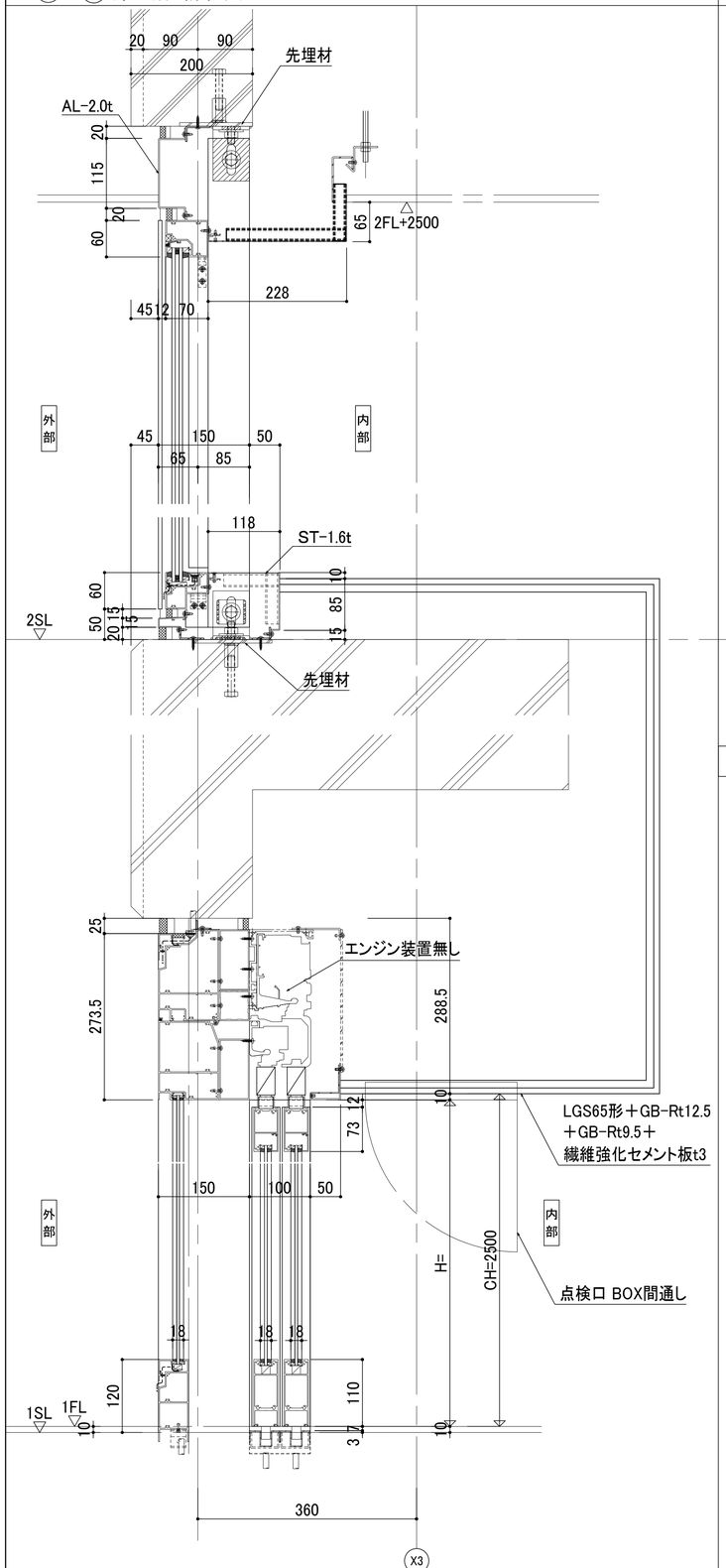


※特記なき限り内部のSTはSOP塗装とする。

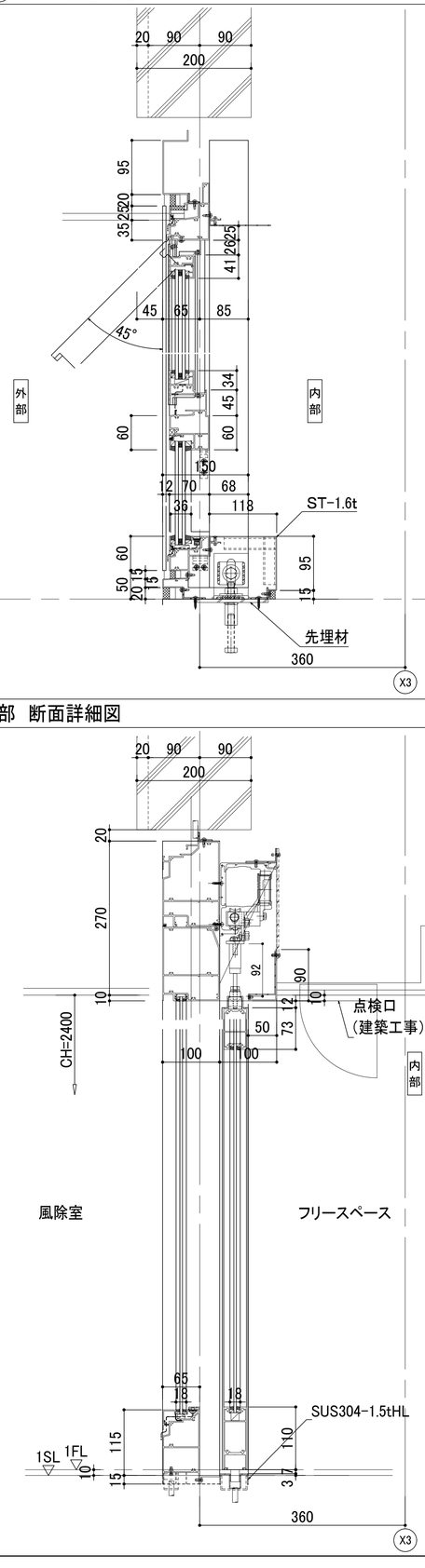
明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	最終版	2025. 02. 28
	310 アルミサッシ詳細図（2） A1 1：5 A3 1：10	更積版	2024. 12. 16
	安井建築設計事務所	最終契約版	

20230220

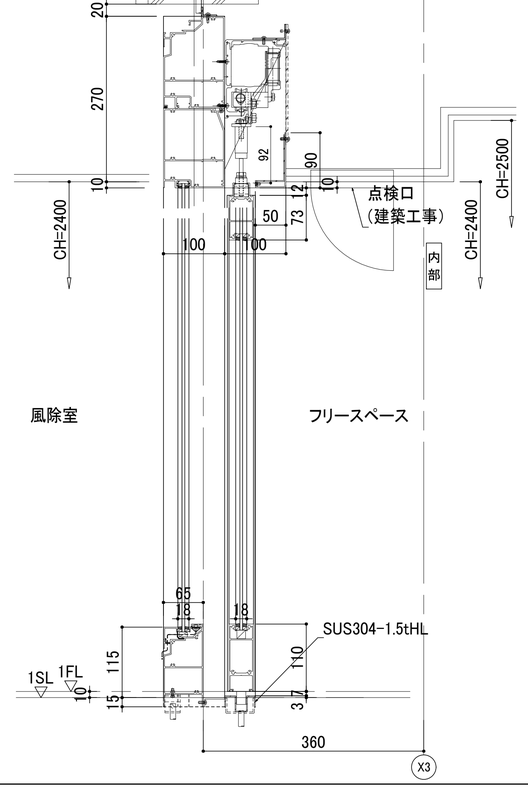
Ⓕ－Ⓕ 部 断面詳細図



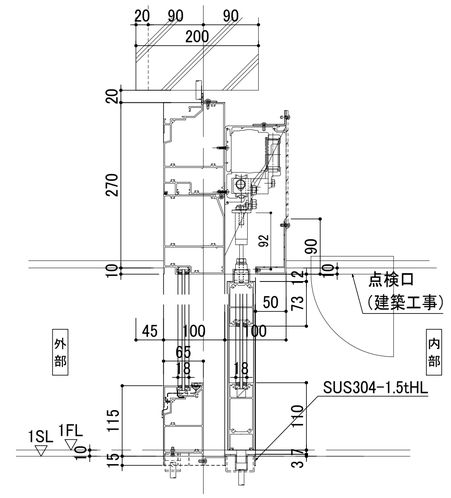
Ⓖ－Ⓖ 部 断面詳細図 S=1/5



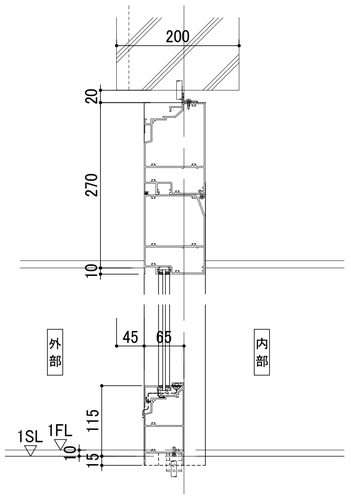
Ⓗ－Ⓗ 部 断面詳細図 S=1/5



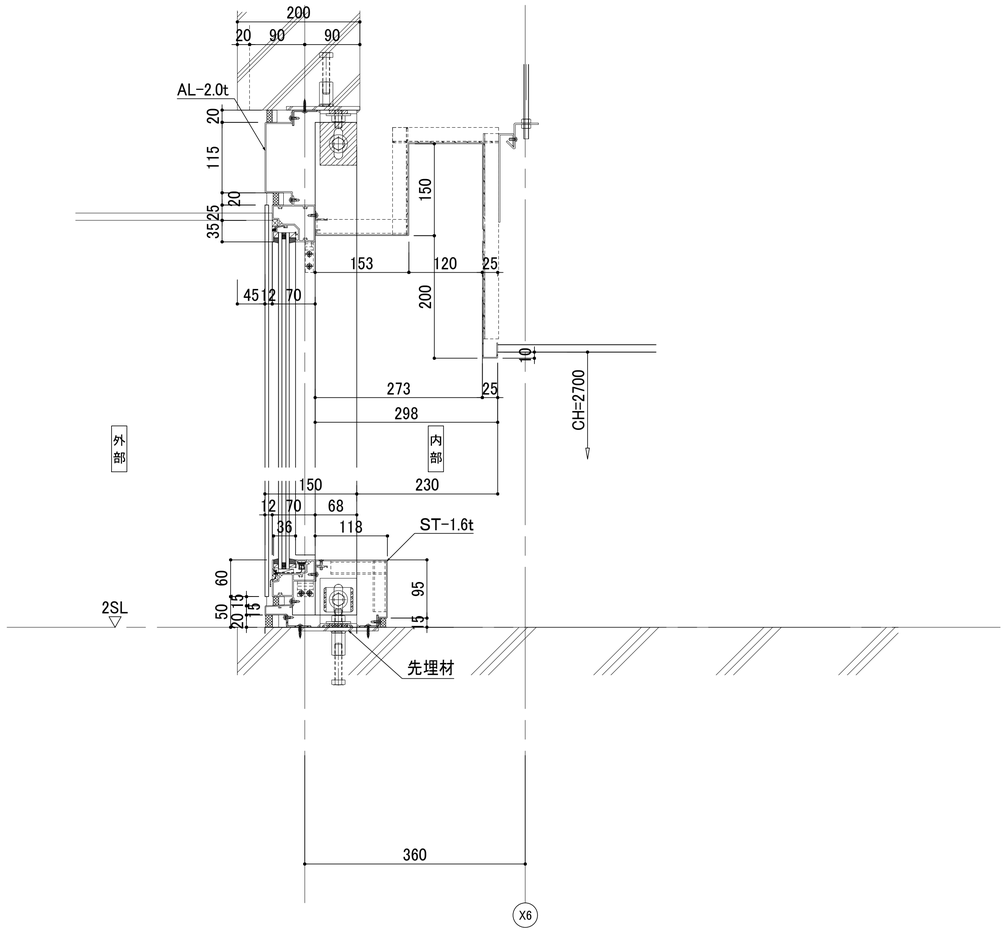
AW5詳細図 Ⓘ－Ⓘ 部 断面詳細図



AW5詳細図 Ⓙ－Ⓙ 部 断面詳細図 S=1/5



Ⓜ Ⓜ 部 断面詳細図 S=1/5



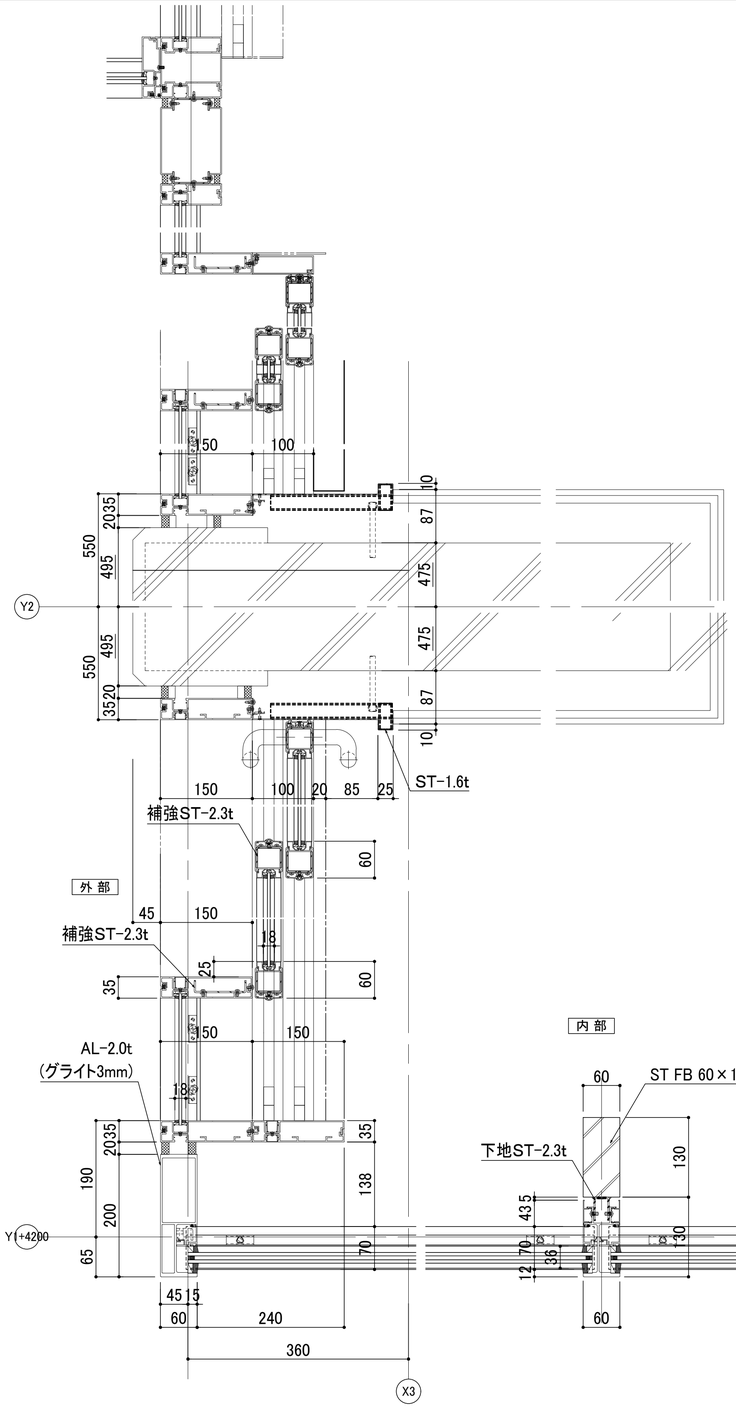
※特記なき限り内部のSTはSOP塗装とする。

明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A		最終版 2025. 02. 28
	311	アルミサッシ詳細図（3） A1 1：5 A3 1：10	見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

20230220

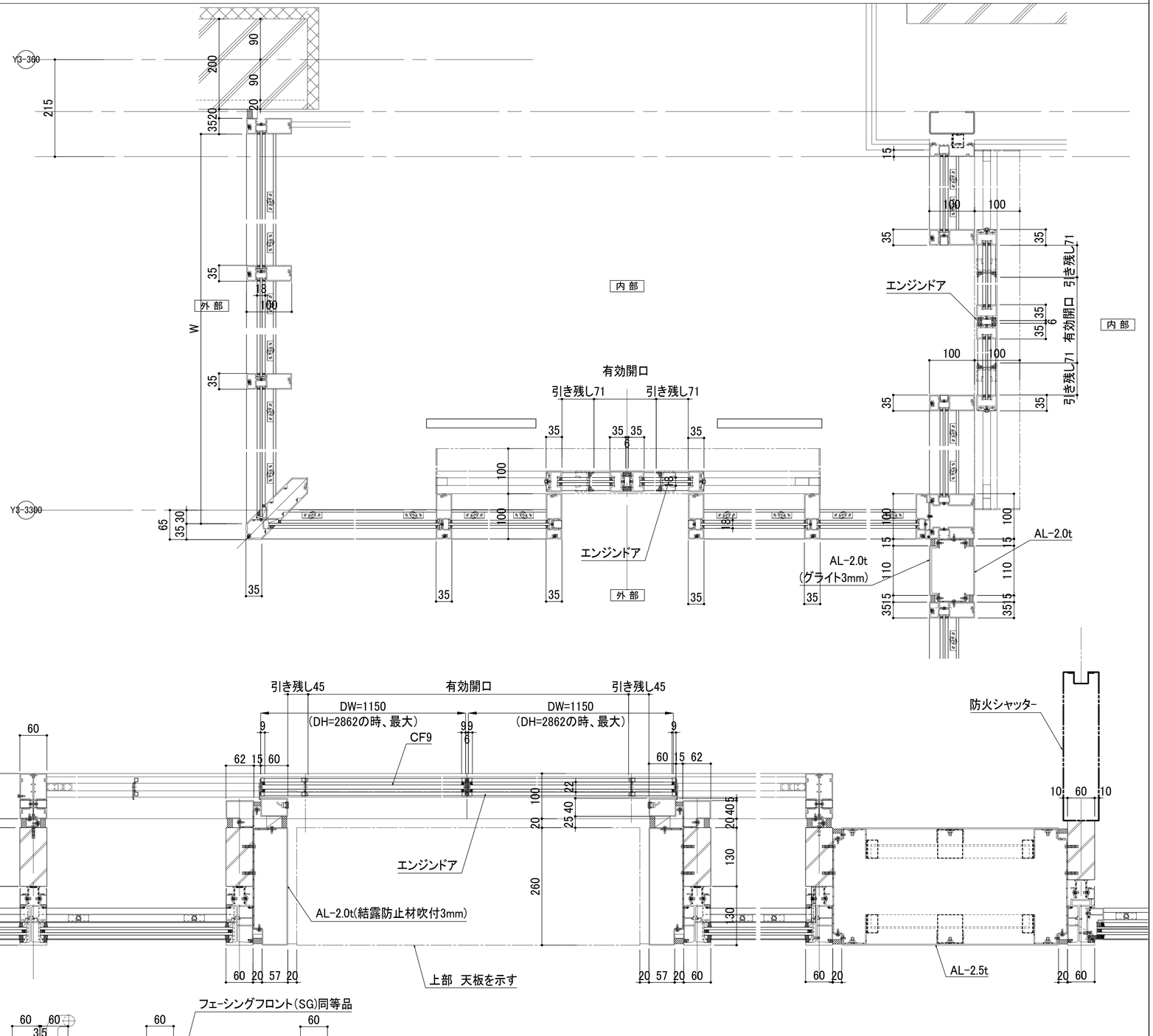
Ⓚ－Ⓚ部 断面詳細図

S=1/5



AW5詳細図

S=1/5



1F平面詳細

※特記なき限り内部のSTはSOP塗装とする。

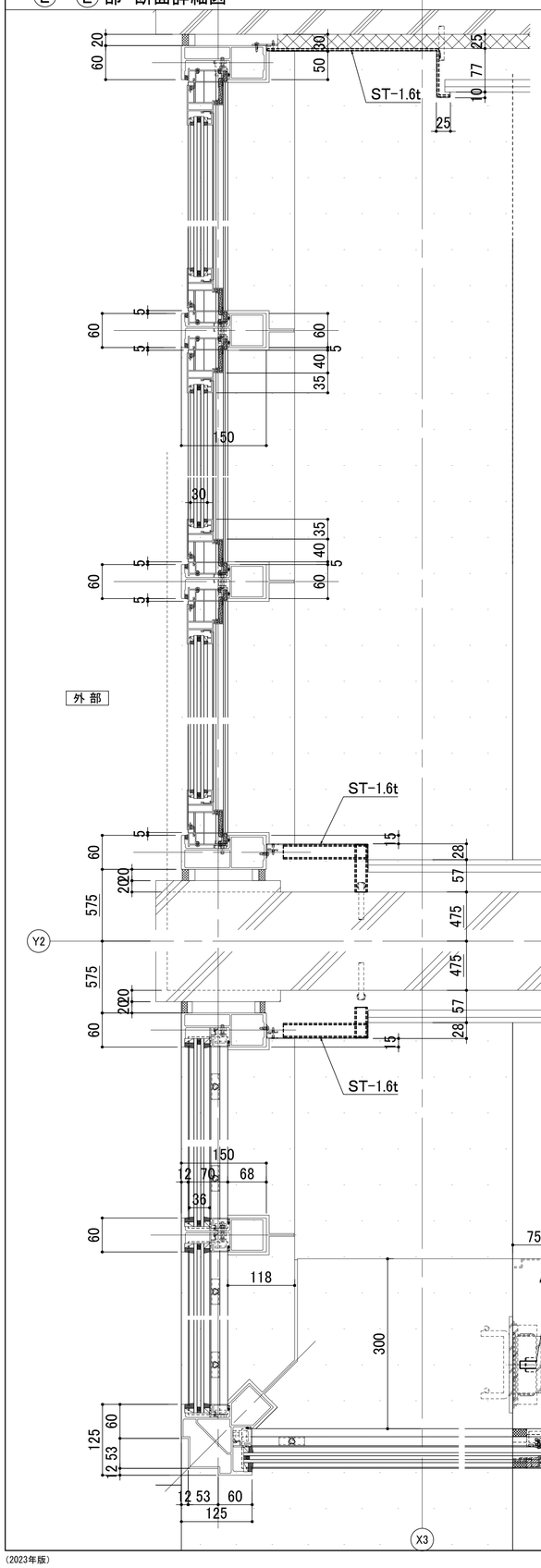
明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A		最終版 2025. 02. 28
	312	アルミサッシ詳細図 (4) A1 1：5 A3 1：10	見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

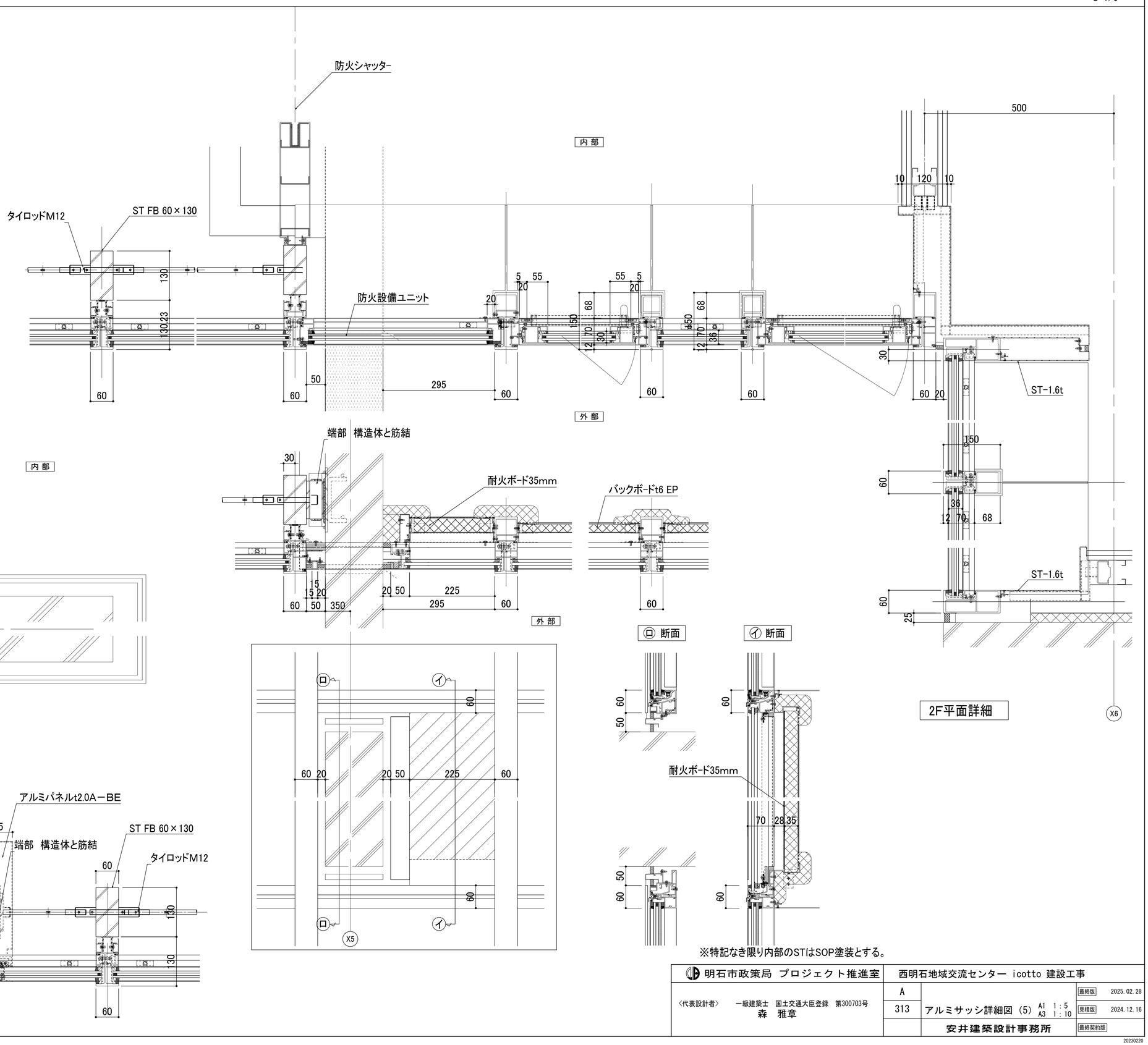
(2023年版)

20230220

Ⓛ－Ⓛ部 断面詳細図

S=1/5





※特記なき限り内部のSTはSOP塗装とする。

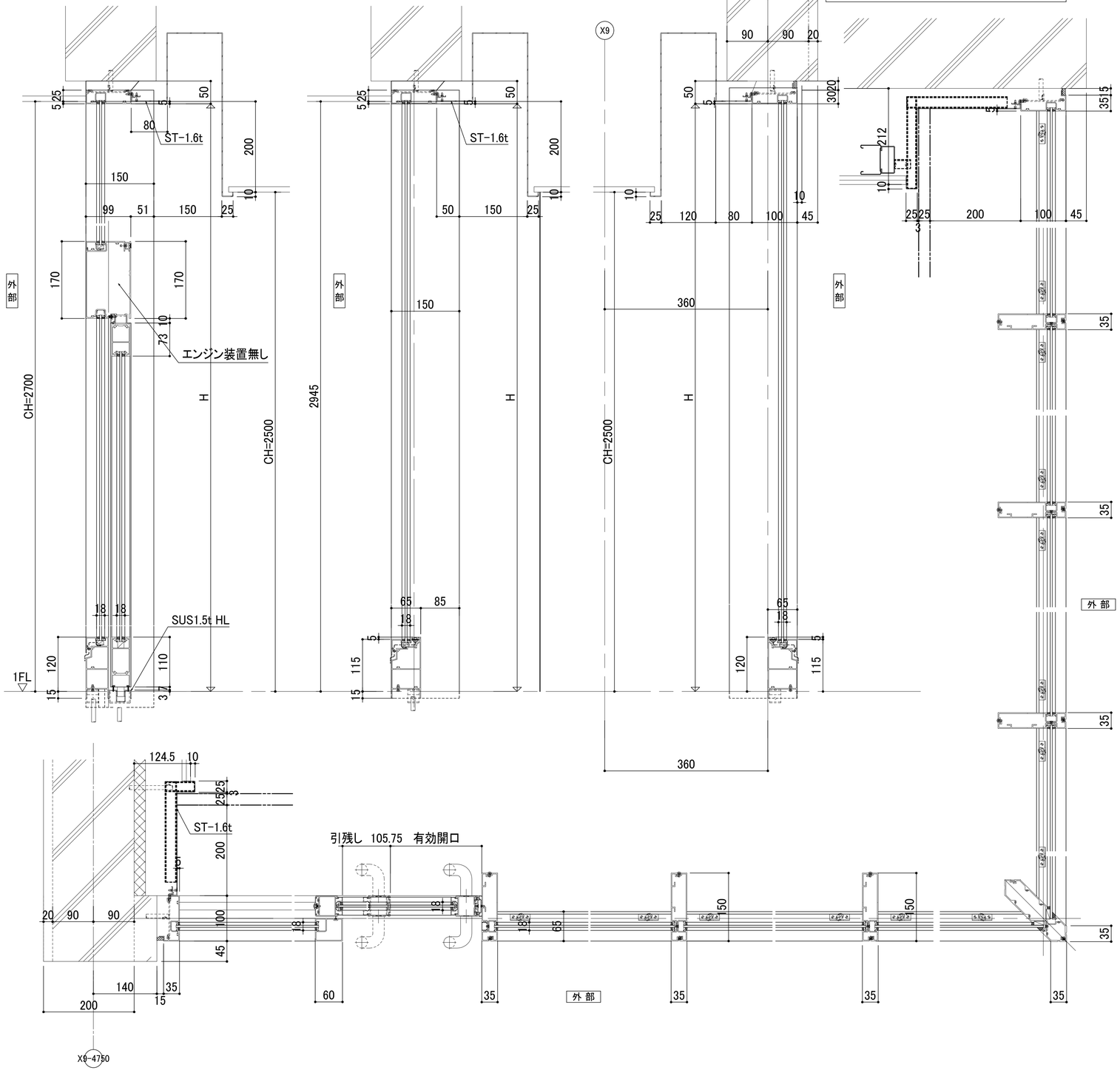
明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A		最終版 2025. 02. 28
	313	アルミサッシ詳細図（5） A1 1：5 A3 1：10	見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

20230220

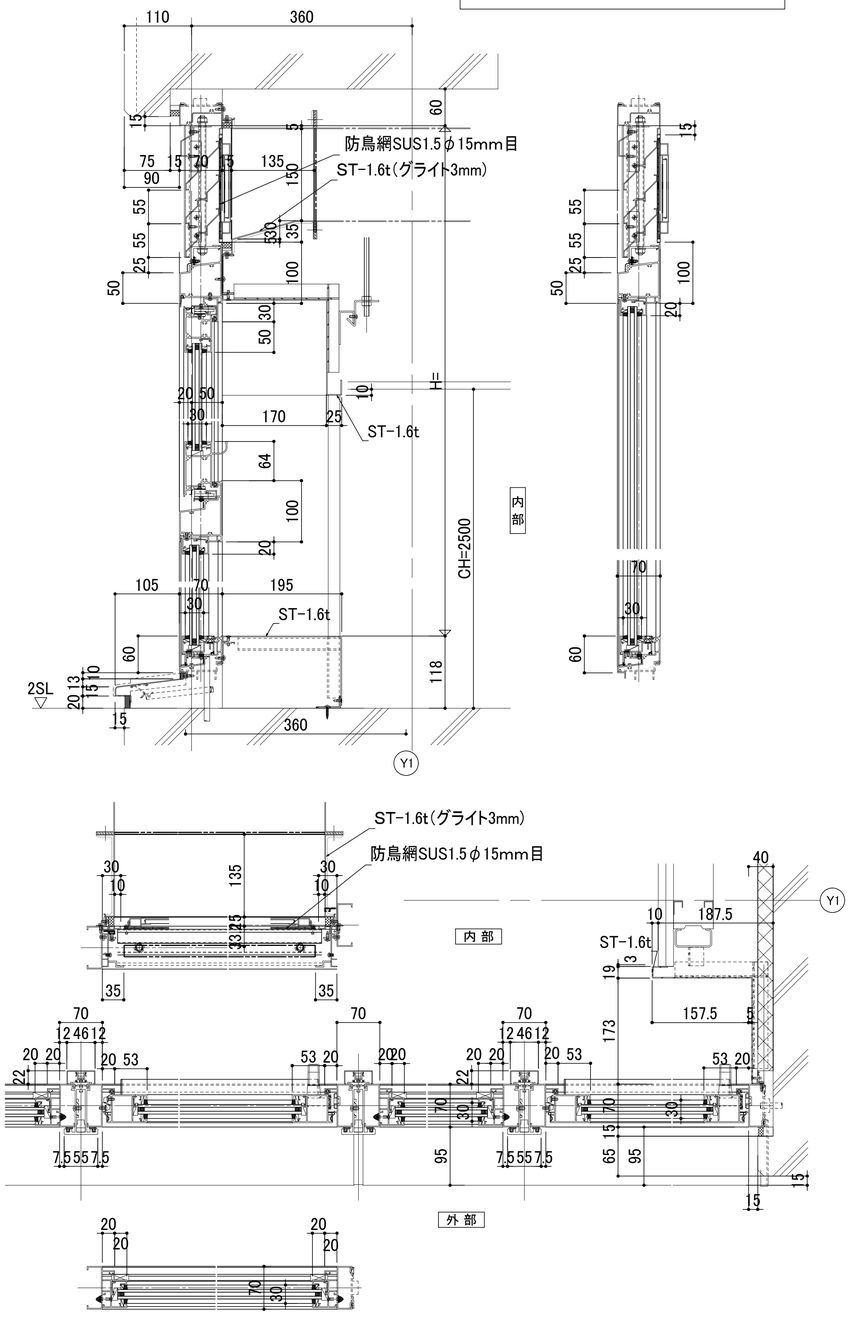
AW6詳細図

製品：フェーシングフロント（SG）
設計風圧力：800Pa
ガラス：建具表による
非防火



AW7詳細図

設計風圧力：2221.5Pa（100年再現）
水密性：W-5
気密性：A-4
ガラス：建具表による
オペレーター：隠蔽式
非防火



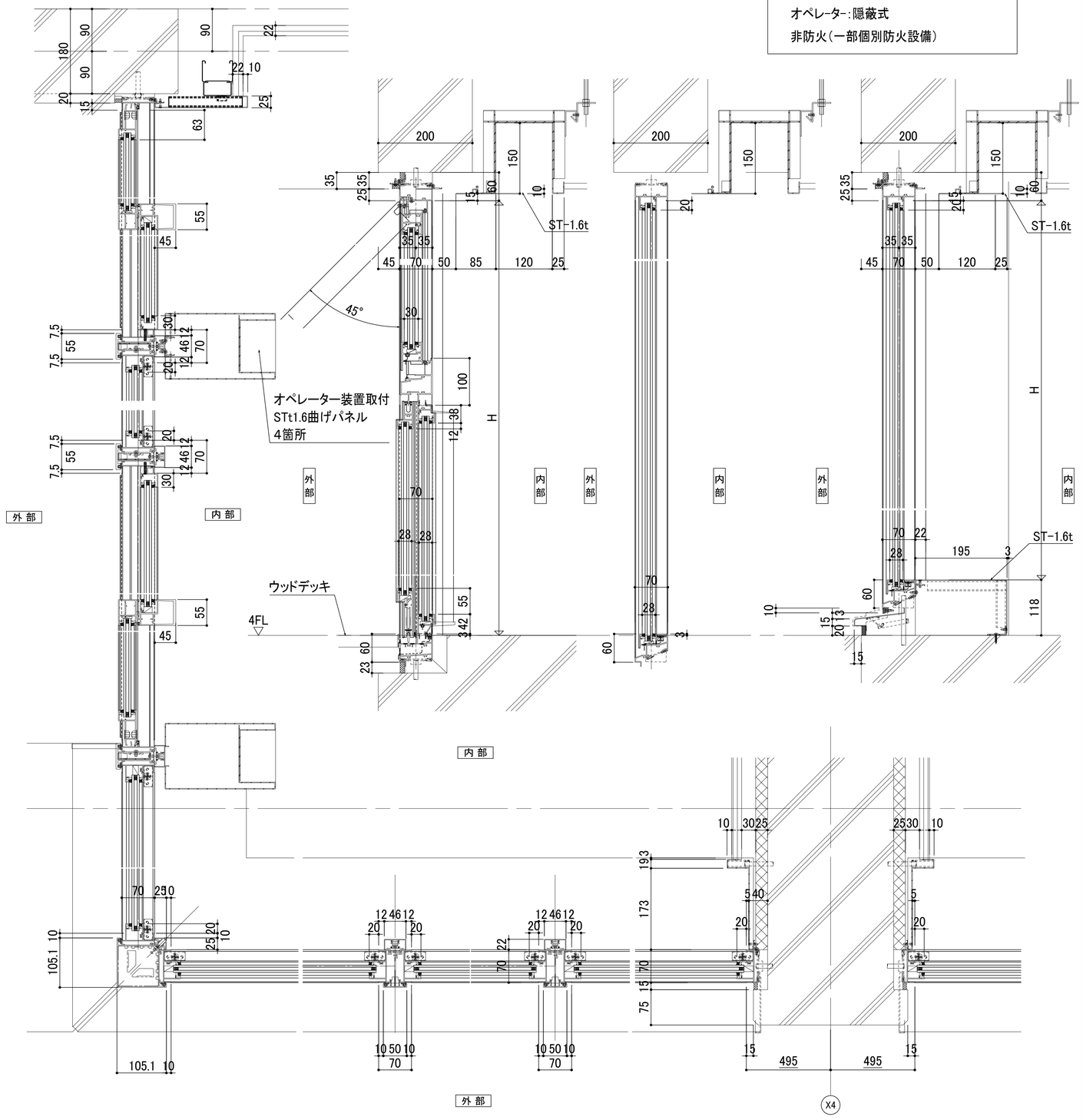
明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A		最終版 2025. 02. 28
	314	アルミサッシ詳細図（6） A1 1：5 A3 1：10	見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

20230220

AW15詳細図

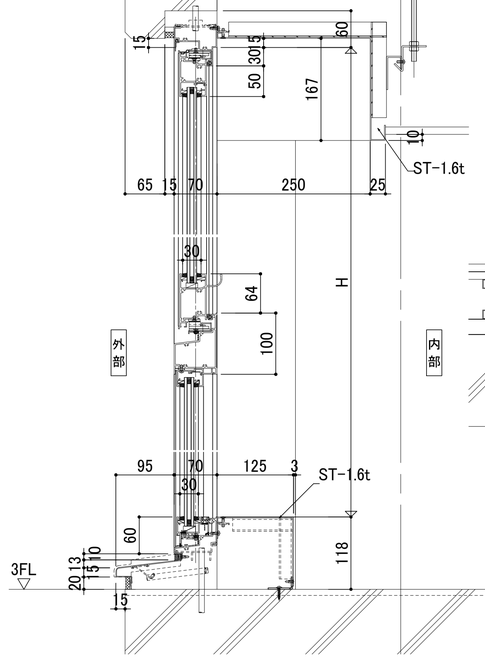
設計風圧力:2221.5Pa(100年再現)
水密性:W-5
気密性:A-4
ガラス:建具表による
オペレーター:隠蔽式
非防火(一部個別防火設備)

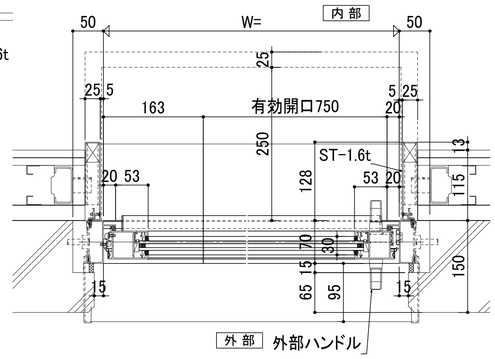


※内部パーテーションとの取合いのSTt1.6SOPは
小口塞ぎW89×D25+繋ぎW115×D40とする。

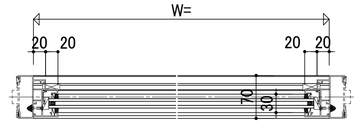
AW11詳細図

設計風圧力:2221.5Pa(100年再現)
水密性:W-5
気密性:A-4
ガラス:建具表による
オペレーター:隠蔽式
非防火





※額縁についてAW12, AW13も上記と同様とする。



明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A		最終版 2025. 02. 28
	315	アルミサッシ詳細図 (7) A1 1:5 A3 1:10	見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

(2023年版)

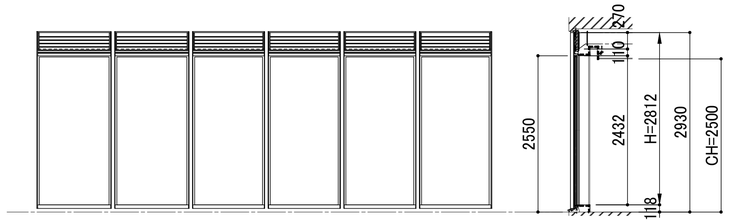
20230220

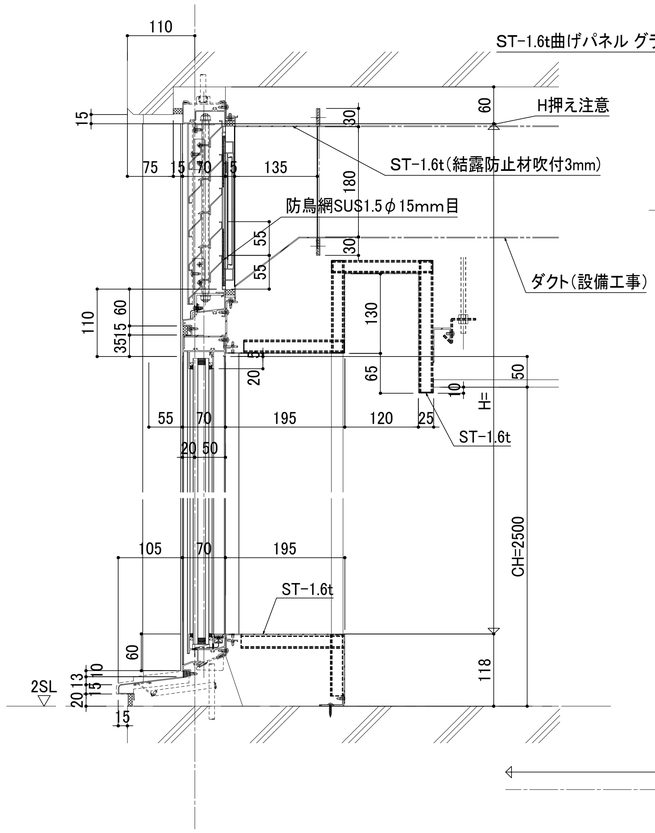
AW 9

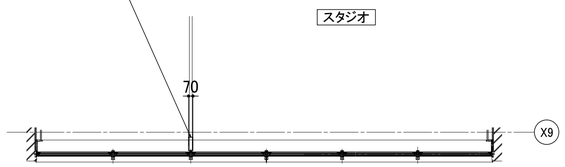
製品：FNS-70P(S)同等品
設計風圧力：2221.5Pa(100年再現)
水密性：W-5
気密性：A-4
ガラス：建具表による(T-2 外観右4箇所)

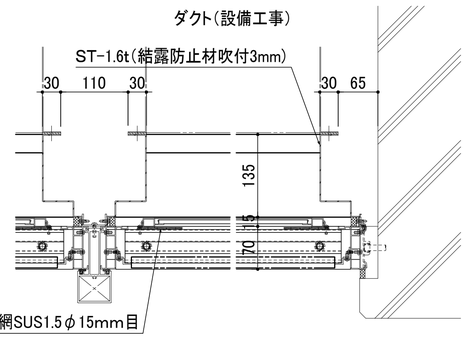
非防火

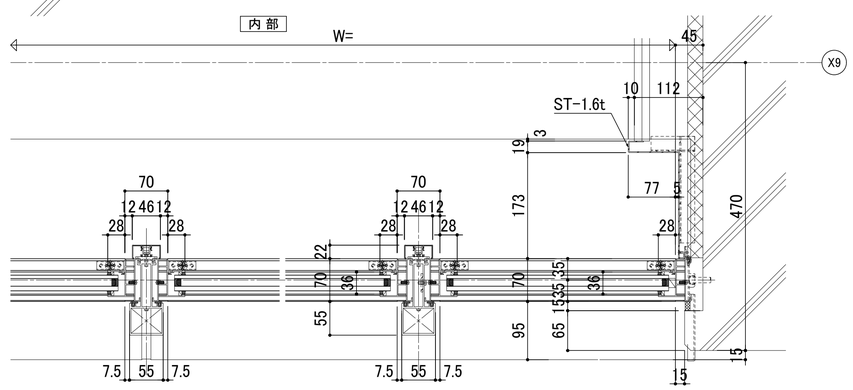
外観姿図　S=1/50











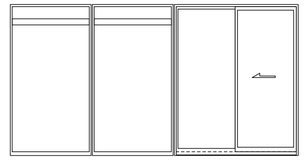
※AW08も同様の詳細とする。

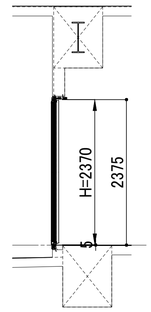
※内部パーテーションとの取合いのSTt1.6SOPは
小口塞ぎW89×D25＋繋ぎW115×D40とする。

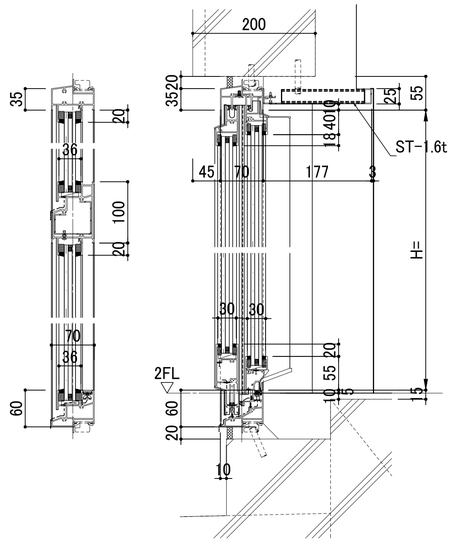
AW 10

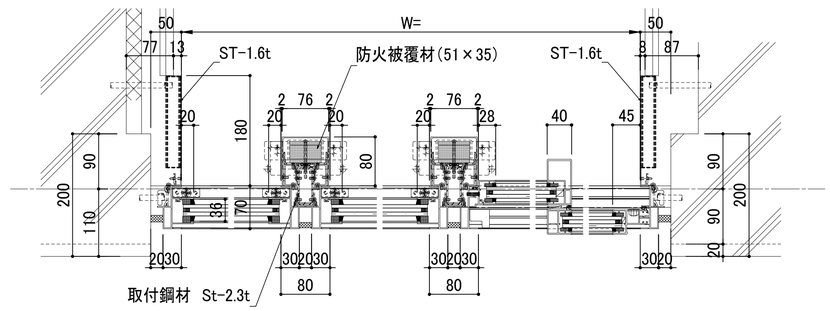
製品：FNS-Ⅱ70同等品
設計風圧力：2221.5Pa(100年再現)
水密性：W-5
気密性：A-4
ガラス：建具表による
防火設備

外観姿図　S=1/50









明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A		
	316	アルミサッシ詳細図 (8) A1 1：5 A3 1：10	最終版 2025. 02. 28
			見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

(2023年版)

20230220

AW
14

FIX・排煙窓部

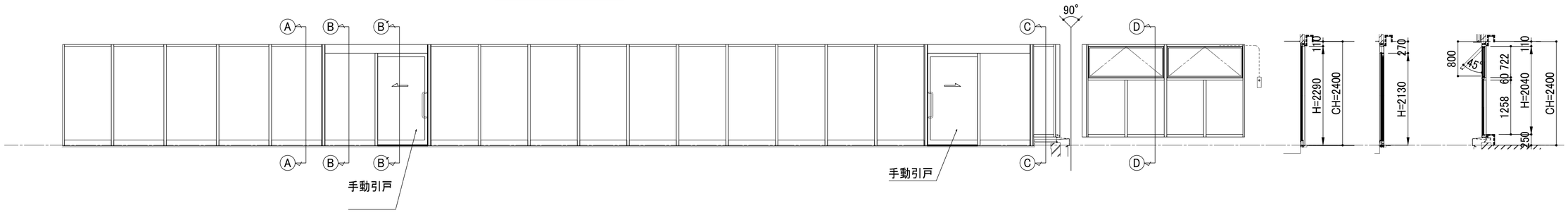
製品：製品：フェイシングフロント（PG）
設計風圧力：2221.5Pa（100年再現）
水密性：W-5
気密性：A-4
ガラス：建具表による

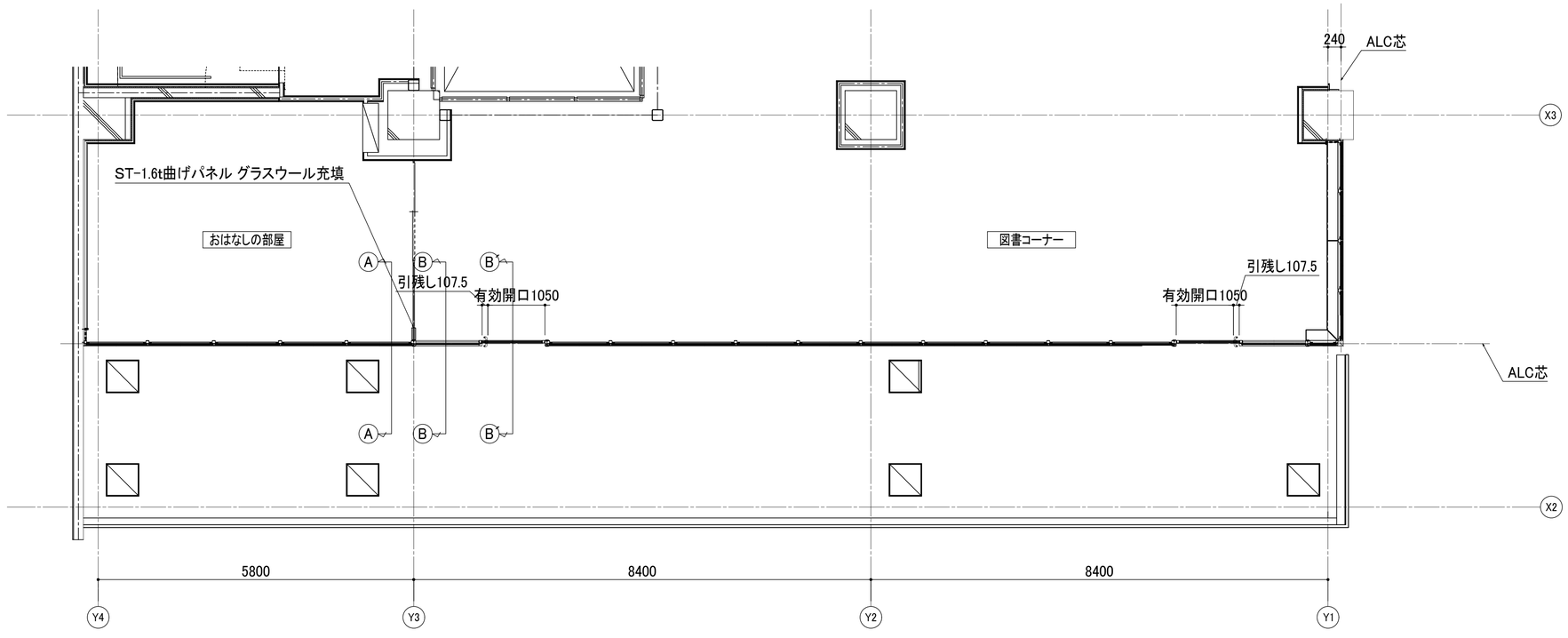
非防火

引き戸部

製品：フェイシングフロント（SG）
設計風圧力：800Pa
ガラス：建具表による
非防火

外観姿図　S=1/50



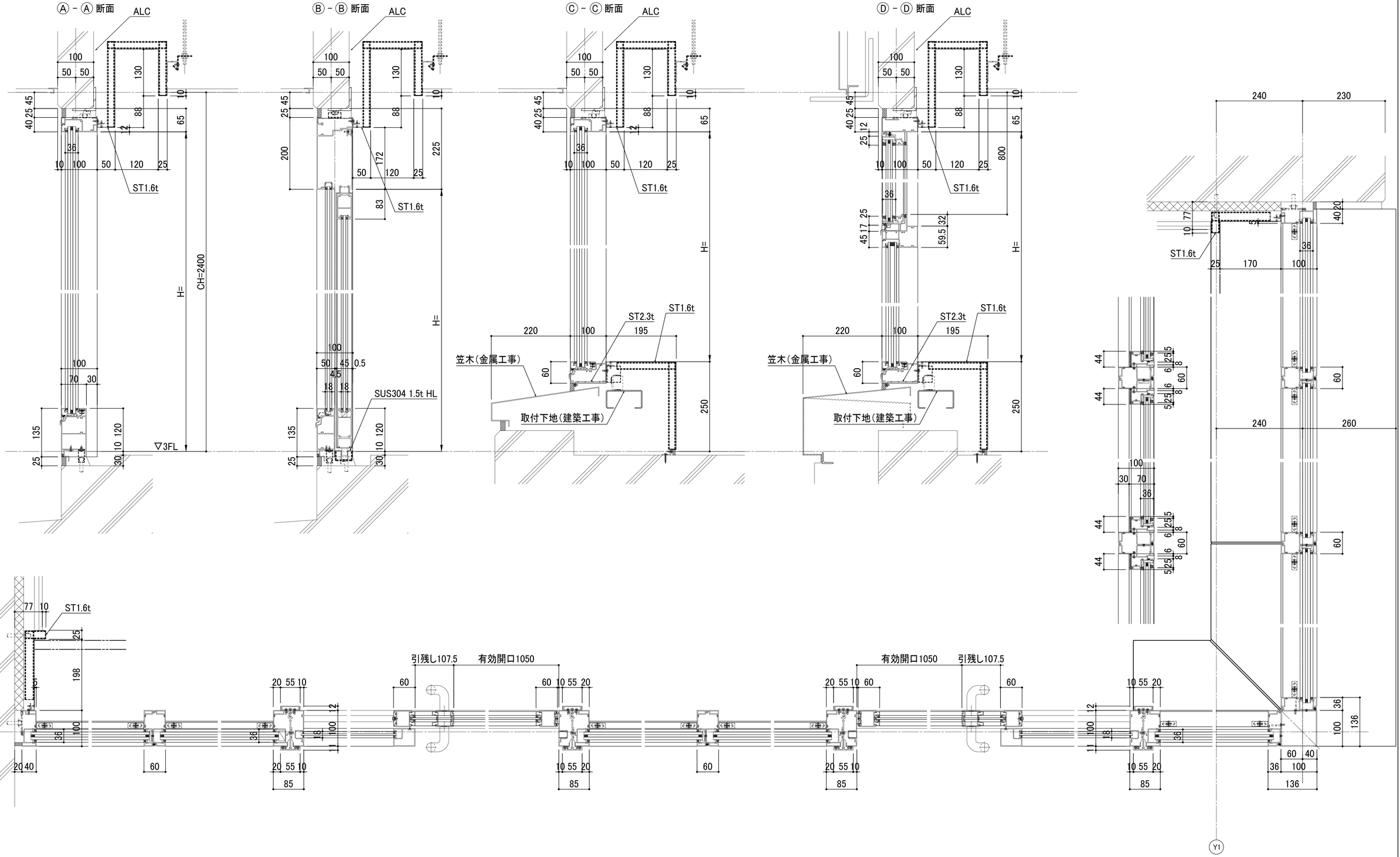


※内部パーテーションとの取合いのSTt1.6SOPは
小口塞ぎW89×D25＋繋ぎW115×D40とする。

明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto 建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	A		最終版　2025. 02. 28
	317	アルミサッシ詳細図（9）　A1　1：5 A3　1：10	見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

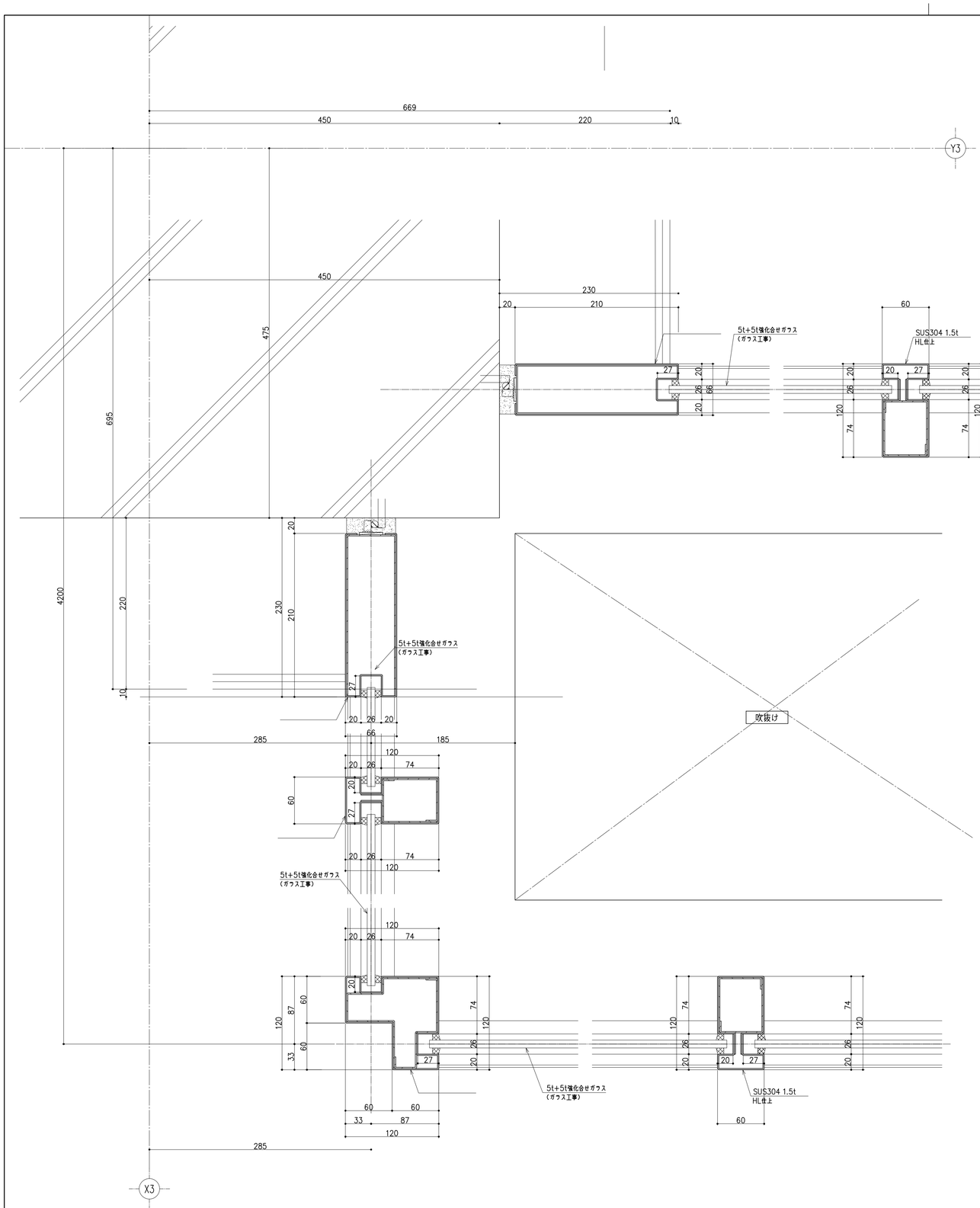
20230220

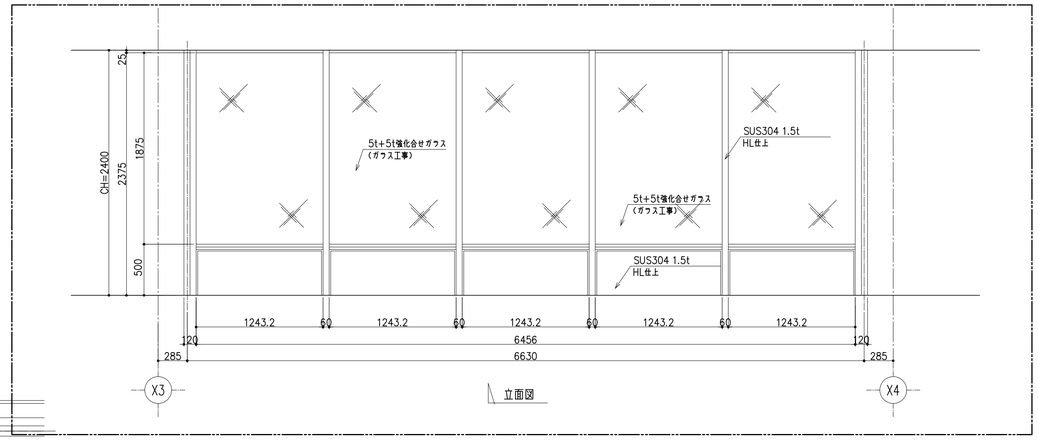


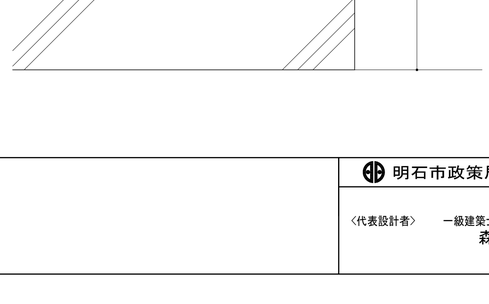
明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A		最終版 2025. 02. 28
	318	アルミサッシ詳細図 (10) A1 1：5 A3 1：10	見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

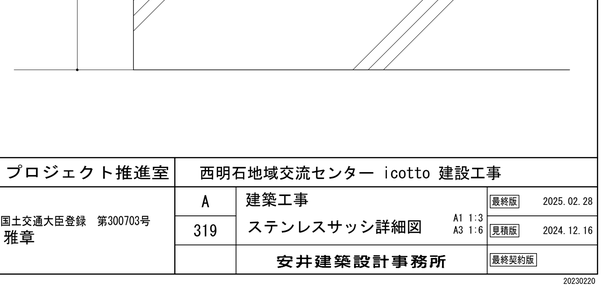
(2023年版)

20230220









明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	建築工事	最終版 2025.02.28
	319	ステンレスサッシ詳細図 A1 1:3 A3 1:6	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

(2023年版)

20230220

工 事 概 要

総 則

1 摘要範囲
a 「家具リスト」及び「家具プロット図」・「家具詳細図」並びに現場説明、質疑応答における指示事項は、この特記仕様書に優先する。
b 本工事の品目、数量は全て別紙、家具リストによる。
c 既製品は家具リストの摘要各項に指示するもの、及び備考欄に記す同等以上のものとし、監督員と協議の上承諾を受けるものとする。
d 家具リストの摘要欄に於いて、既製品の「仕様特注」と指示あるものは、特記なき限りは備考欄同等品もその特記に準ずるものとする。
「仕様特注」と記すものは、既成品目においてその本体の一部分の仕様を変更することをいう。
e 各工事に於いて、電気設備工事と関連のある事項のうち図中に記入のあるものについては、一次電源より先の、二次側の配線及びコンセント設置・接続を家具工事において行うものとする。
また、建物建設段階において、建物本体工事の電気工事施工者・監理者と調整を行うこと。
f 家具リスト及び図中に「程度」とあるもの及び特定メーカーの品番の記載があるものについては、「同等品以上」と同義とする。

2 監督員
この仕様書に云う監督員とは仕様書に基づく係員並びにその委任するものを云う。

3 請負者
この工事の請負者は施工の責任者として、施工担当者及び下請け施工者にこの仕様書の内容を徹底させなければならない。なお、以下の文章で特に主語のないものは全て請負者、施工者を指すものとする。

4 疑義
仕様書並びに設計図中に不明な箇所がある場合、また設計図書と仕様書または特記仕様書の内容に相違がある場合、直ちに届出て監督員の指示を受ける。

5 工程表
着工に先立ち、品目別の工程表を作成し、監督員の承諾を受ける。

6 製作
国内・海外の製品の製作にあたっては、原則、国内自家工場又は監督員の承認を得た工場で行うものとする。協力工場を利用する場合には、予めその品目、数量を提出し、監督員の承諾を受けた工場で行うものとする。

7 製作図及び型体見本
a 特注品及び一部特注品の場合、各品目について必ず製作上必要な製作図、原寸図等を作成、提出し監督員の承諾後製作にかかる。
b 特注品の品目のうち、監督員の作成する原寸図に基づいて、製作を指示する場合もある。
c 特注品中、製作図に表現し難い箇所のあるもの、其の他監督員の必要に応じてその指示に基づき型板及び型体見本または試作品を作製し、監督員の承諾の後製作にかかる。
d 既製品の場合、品目リスト中採用メーカー及び製品番号のリストを作成し、監督員に提出し承諾を受ける。仕様及び寸法変更の指示する品目については、製作図を同時に提出する。
e 現場実測を必要とするものは、着工前に行う。

8 変更
目的変更により、あるいは現場のおさまり、取合わせ等による軽微な変更(材料、仕上、工法、寸法、取付位置等)を行う場合は、監督員の指示によって行う。この場合は、請負金額の増減をしないことを原則とする。

9 材料・仕上
a 承諾
① 材料は、全て指定のものとし、監督員の承諾または検査を受けたものを使用する。
b 試作及び見本
① 設計図及び単品リストまたは特記仕様書に指示のあるものは、試作品または見本品を提出し、監督員の承諾後製作にかかる。
② 突板、木材、上張地、ｸｯｼｮﾝ詰め物、金物、ガラス、大理石、塗装見本等仕様書に明示し難いものは予め指示に基づき、見本を提出し監督員の承諾を受ける。
③ 既製品の品目にあっても、椅子張地、練付単板、焼付塗装色、メラミン化粧板等の見本を提出し、監督員の承諾を得るものとする。
c 検査及び試験
特注品にあって其の防災性能、強度等を求められるものについては、当検査または試験に直接必要な費用は全て請負者の負担とする。

10 保険
工事請負者は準備した材料、製品等に対して常に火災その他の災害に対する保険を掛けるなど、必要に応じて措置を講じるものとする。

11 検査
a 中間検査
製作にあたり、監督員が必要と認めた品目については、工事(製作)責任者立合いの上、監督員の中間検査を行う。
b 完成検査
前項同様必要に応じ監督員の立合い検査を行う。

12 現場調査
適当な時期に現場を調査し、必要な実測を行い、特に取付物については下地などを確認する。また搬入経路についても予め考慮しておく。

13 搬入・取付
a 搬入
事前に搬入現場について監督員と協議し、搬入計画書を提出の上、監督員の承諾を受ける。
b 現場取付工事
現場に取付ける必要のあるものについては、下地材の補強、アンカーボルトの位置などについて、位置、場所、時期等に関して遺漏のないよう関係者との打合せを行い、監督員の指示により施工すると共に、工事の円滑な進捗を計る。
尚、現場に於いて、電話工事、電気工事等インテリア、家具工事に付随する工事がある場合にはこれらの工事に協力する。
c 配置個所・取付個所
配置・取付個所は各工事の平面配置図及び部屋別単品リスト並びに各リスト表による。

14 建築工事関係者との連絡
現場実測、製品搬入、取付などの場合は、作業開始、終了時に現場の建築工事監理係員および建築工事施工責任者に連絡し、電力など使用する場合は、あらかじめ了解を受けるなどの措置をとる。
工事現場内において、建築物、工作物に損傷を与えた場合は、速やかに内装工事係員および建築工事監理係員に報告し、その指示に従う。前記損傷および人畜に与えた損害については、請負者がその責を負う。

15 検収
検収は請負者が施主に製品または物件の引渡しを目的とし、監督員の検査、及び、設計者・施主検査の完了後行う。

16 品質及び性能保証
現場搬入、検収後であっても、材料の不良、製作の粗悪による疵、故障などに対しては、請負者は直ちに新規取替えまたは補修を行い、検収後、満1ヶ年間の品質および性能の保証の義務を負うものとする。

17 著作権
図面及び仕様書によって説明された意匠の著作権は設計者に帰属するものであって、この意匠または之を模倣・改作した意匠を本工事以外に流用することは出来ない。工業所有権等の紛争に関する事項は請負者がその解決の任に当たるものとする。

18 竣工図
A3縮小2ツ折整本白焼製作図と単品の竣工写真を納品後一ヶ月以内に指定部数提出する。
※部数は、3部とする。
※設計監理者へは、PDFとCADデータのみを提出する。

19 ~~竣工写真~~
~~図書コーナーの当工事家具、備品家具・配架作業完了後に撮影を行うこと。~~
~~撮影者:エスエス大阪同等以上~~
~~カット数:20カット程度、完成写真全個所を画像デジタルデータにて提出すること。~~
~~完成写真の本撮影に先立ち、カメラアングル検討の為、35mmフィルム等で下撮りを行った後、必ず監理者・設計者の指示当を受けること。(下撮りも原則、本撮影の写真家によること)~~
~~成果品:エスエスAbookタイプ同等:3部~~

明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	家具特記仕様書(1)	最終版 2025. 02. 28
	201		見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

家 具 工 事

材 料

1 一般事項

本仕様書はシックハウス対策に応じた仕様に基づくものである。
特記のない限り本工事に使用されるすべての材料及び器機は、
日本工業規格（JIS）及び日本農林規格（JAS）並びに日本標準規格(JES)に合格したものとする。

2 木 材

a ムク材
木材は見懸り、見隠れを問わず芯去り無節、擦れ入皮乾裂腐れ虫害などのない良材を用いる。特に見懸りについては、木理色合などの均等なものを用いる。含水率は天然乾燥により20％以下にし、人口乾燥によって8％まで乾燥し、加工時には自然放置によって平衡含水率12％程度に安定したものを使用する。

b 化粧単板
材質、木理、色合など特に吟味したものを用い、厚さはスライドベニア（つき板）の場合は、0.5㎜程度とし、厚さ0.3㎜程度の化粧単板を用いる場合はクラック防止のため、下地に和紙などを使用する。ソードベニア（ひき板）の場合は3㎜程度とし、それ以上の厚さの場合は協議による。

c 合板
合板は、ホルムアルデヒドの発生を抑えた F☆☆☆☆のものとする。見隠れ分においても節、割れ、腐れ、剥がれ等があってはならない。
化粧単板の下地にあたっては、合板の厚み4㎜以上とする。

d 成形合板
成形合板の芯材は、厚さ1㎜程度のぶな材ロータリーベニア（ムキ材）またはぶな材とラワン材を併用したものとし含水率5％程度のものを用いる。
但し、使用箇所によっては表面指定材と同質のものを用いる。
工場出荷時点でホルムアルデヒド放出が F☆☆☆☆以上とする。

e 積層材
見懸り部の積層材は、厚さ1.5～3㎜程度の指定の材料を用いる。
積層芯の場合は、JAS タイプ2以上のラワンの合板を芯材とし、
指定化粧単板を圧締する。

f ランバーコア
芯材は良質の杉、檜、ポプラ、ポプラLVL、マトアなどを前記の含水率まで乾燥したものを用い二重工程により、芯材とし両面にシナ、ぶなまたは
ラワンの4.0㎜以上の合板を圧着する。

g フラッシュコア
芯材は前記含水率まで乾燥した良質の杉、檜、ポプラ、ポプラLVL、マトア等の同様品を用い、枠組とし、取付金具の位置などを確認し桟の間隔は
甲板類は芯々90㎜以内他は180㎜以内とし、特に指定した甲板類は8.0㎜以上、その他は4.0㎜以上の合板を両面に圧着してタイコ組とする。

h 繊維板及びパーティクルボード
繊維板は JIS A 5905規格とし、パーティクルボードは JIS A 5908規格のものを使用する。ホルムアルデヒドは F☆☆☆☆以上とする。

i その他
ハニカムコア、ロールコアなどを使用する場合は、殺虫、防腐加工の完全なものを用い、特に枠材は燃れの生じないように良材を選定する。

3 接 着 剤

成形合板、フラッシュパネルの施工は、すべて低ホルマリンタイプの尿素系合板樹脂接着剤を用いる。
製品出荷時で、ホルムアルデヒド放散量が F☆☆☆☆以下であること、
燃焼後のダイオキシンの発生がないものとする。
積層材接着には、石炭酸系合板樹脂接着剤を用いる。ハニカムコアの場合は、酢酸ビニール系樹脂と尿素系樹脂の混合接着剤を用いる。
特に耐水性を必要とする場合は、メラミン樹脂系または、石炭酸樹脂系接着剤を用いる。ほぞ差、小穴など軽微なる箇所には膠類を用いても良い。

4 金 属 材

a 材料
本工事に使用する鉄、非鉄金属及びこれらの製品は素材、製品共、
JIS規格のあるものは、これによりその他はJIS規格品と準用する。
ステンレスは、SUS304（18－8クローム）とする。

5 塗 装 材

a 下地材
目止材は天然の砥の粉などの水溶性のものを着色剤と同時に用いる。
着色はオイルステインを用いる。

b 塗料
塗料は、水溶性の顔料を用い、有機性のものは使用しない。
塗膜表面の強度の必要とするものは、VOCを含まないポリウレタン樹脂塗料を用いる。塗膜表面の強度が必要ないものには、天然セラックニスまたは、天然ワックス、天然オイルなどを用いる。
和信化学・日本ペイント・関西ペイント等及び指定メーカーの製品でJIS規格に合格したものとする。原則としてポリウレタンクリアーとし、オイルフィニッシュの場合はワトコオイルを使用する。
特記仕様により、ラッカーエナメル、ポリウレタン、樹脂エナメル、漆、
カシューなどを使用する。

c 研磨材
下地研磨は＃120～＃160サンドペーパー塗装中の研磨には
＃200～＃240＃サンドペーパー、フィニッシュペーパーとする。
上塗後の研磨は＃320～＃400耐水ペーパースチールウール
＃1000を使用する。つや消仕上は、フラットクリアラッカー及び
フラットポリウレタンクリアーを使用する。

e 色 艶
仕上等全て指定の塗見本を作製の上、監督員の承諾を受ける。
木部、着色ステインの場合は、指示された色合い基準に濃淡3枚以上の手板見本を提出する。

6 皮 革

使用する皮革は疵のないものとし、クロームなめししたものとする。
染色には特に留意し変褪色、色むらのない堅牢な染色を施す。

7 椅子張材

a 布バネ
ウェービングテープ等布バネ類は見本提出し、張り具合を係員と打合せのうえ、タッカーまたは、釘止めとし、形状により止め金具を用いて張る。

b スプリング
椅子の形状により大きさに適した良質のスプリングを使用し、縦横の間隔は50㎜以内と力布は巾60㎜以上の上質厚手の麻布を用いる。
セットスプリング、コイルスプリングなどの場合は監督員の指示による。

c 詰 物
ウレタンフォーム、フォームラバーは良質材1級品を使用する。
クッション性について椅子の機能性などを十分考慮し、ウレタンフォーム、合繊綿、羽毛等、用いる材料や量を使い分ける。成形合板の下地の場合は原則としては、その上にクッション材を充填する。

d 下張
前記詰物に良質の金布にて下張りとする。試作の指示のある椅子は、下張り及び上張りの仕上りの段階で監督員の指示を受ける。

e 上張
上張裂地は織斑のないもの褪色の恐れのないものとし、監督員の行う色彩計画に基づいて選定されたものを見本提出の上、用いるものとする。

8 メラミン化粧板類

特記がなければ1.2㎜厚以上のものとし、下地合板などの裏面に同等な力となる裏貼用のメラミン化粧板を圧着し反りを防ぐ。ポストフォームの場合は1.0～1.2㎜厚のものを用いる。指紋が目立ちにくい機能を有するもの。

9 塩化ビニールシート類

塩化ビニールシート類は原則としてスリーエム・シーアイ化成同等以上のものを使用する。

10 ガラス材

a 高透過ガラス
高透過ガラスは可視光透過率88％以上、主波長550NM以上、色純度0.6％以下とする。

b ガラスの切断・小口処理
板ガラスの切断は形状および寸法を正確に行い、小口は研磨加工とする。

c 養生及び清掃
引渡時まで適切な表示、養生等を行い、引渡直前にガラスの内外面を清掃する。

11 その他の材料

a ビニールエッヂは見本品提出の上、監督員の承諾を受ける。

b アクリル樹脂板、その他プラスチック類及びガラス類は指定のものを用い、見え懸りまたは摺れる部分は木口を研磨する。透明ガラスは特記なき限り、全てみがき板硝子を使用する。

12 その他

海外製作品でF☆☆☆☆以外を仕様の場合、その使用面積を設計者へ報告を行い、換気量と合わせて建築基準法に適合させることを確認すること。

家 具 工 事

製 作

1 木 取

木取は、図面により組上がりの目通りを考え、材料の不良箇所を除き木理、色合いなどをそろえる。特に椅子類の木取りについては、ぬか目の材料は除く等念入りに行う。

2 加工・組立て

a 共通事項

各部材の接合部は、原寸製作図により特に正確に加工し、一旦仮組みの上、目違いなどの手なおしを行い、その後接着剤を用いて本組みを行う。

接着剤のはみ出しはすみやかに払拭する。組立に必要な箇所には木ネジを用い、釘は使用してはならない。補強金物はさび止め塗装または鍍金したものを用いること。

b 板構造

天板、側板、羽根板などの巾広面はすべて次の方法によるものとし、前述のベニヤ芯材及び指定の化粧板を使用する。上張化粧板材、プラスチック化粧材などは両面共、同質材を使用し温度、湿度に対応し充分耐久力のある構成とする。接着乾燥後に材質の内外部に力の不均衡による狂いの生じないよう入念に施工する。芯材の構造はソリッドフラッシュの場合は単材のランバーコアー積層合板としベニアフラッシュの場合は格子組ハニカムコア類の使用にあたっては、これを間隙のないように使用し、縁材及び埋木は指定材を使用し、その厚さは使用するハニカムコア類の厚さに揃えるものとする。接着にあたっては接着剤を200g／㎡に均等に塗布し、10kg／㎡以上の圧締力を加え接着剤が充分に硬化するまで持続する。

c 成形合板

成形合板は使用単板に接着剤250g／㎡を均等に塗布し、型に入れ油圧プレスにて15～20kg／c㎡の圧力に圧締し、低電圧、加熱、高周波加熱または、マイクロウェーブによる加熱硬化を行わせ、電流切断後、変形を起こさぬまで温度が下がってから圧力を下げ型より取り出す。

d 箱物

机、棚などの箱物については特に矩（直角）の加工とつらいち、ちり、及び入隅の仕上に注意する。引出側板はアガチスまたは同程度とし、底板は指定のボード類またはシナ合板5㎜を用い底板は揚底とし、側板は角出しとする。指示のある場合は榻れる部分にはチークなどの硬質材を用いる。棚内部の仕上は表と同材またはスピナール練付もしくはシナ合板5㎜程度とする。但し、扉裏ガラス内部は特記がない限り必ず表と同材練付とする。引違戸は戸抉りを設け、戸車のない場合は敷居に硬質材を埋める。

e 卓子類

卓子類は天板面の加工と脚の転び、がたつきに注意する。天板表面の加工とともに裏面も同材練り、またはスピナール、マコレなどを練付け手触りよく平滑に仕上げる。その他の加工は、b 板構造に準ずる。木口その他の縁材については、指定された良質の単板を選定し入念に加工を行う。

f パネル類

パネル類の下地は表面材によるひずみの生じないように施工する。

表面仕上裂地張の場合は布目のひずみがないよう袋張または、べたはりとする。

g 椅子類

木枠組、椅子類の材料は割れ、腐れ、虫害のないさくら、なら、またはぶな材を選び、各仕口はほぞ差とし、接着剤を以って充分堅固に組立てる上、各要所には充分に補強材を取付け、なお必要ある時は木ネジで固定、または補強金物を使用して入念に施工する。

3 木部塗装

塗装は木地を充分に点検した後素地調整し、指定する塗装材料を用いて仕上げる。原則としてポリウレタン塗装とする。

机、椅子、棚などの見隠れ部はウレタンクリアー2回塗程度とする。

塗装仕上げは次に記載する塗装工程を標準として設定する。

（ポリウレタン樹脂クリアー）

1. 素地調整 － サンドペーパー ＃180～＃240
2. 着 色 － 油性 シークステイン 水性 ポアーステイン 1回塗装
3. 下 塗 － ポリウレタン樹脂トップクリアー 刷毛 1、2回塗装 2、3時間
4. 研 磨 － サンドペーパー ＃240
5. 中 塗 － ポリウレタン樹脂クリアー 刷毛 1回塗装 手触乾燥
6. 上 塗 － ポリウレタン樹脂クリアー スプレー 2、3回塗装 12時間
7. 研 磨 － サンドペーパー ＃240～＃400 スチールウール ＃1000
8. 艶消仕上 － ウレタン樹脂 フラットクリアー スプレー 1、2回塗装 2、3時間
9. 補 色 － 着色剤にて手板に合わせて補色する。 スプレー 1、2回塗装 2、3時間
10. 研 磨 － サンドペーパー ＃400～＃600
11. 仕 上 － ウレタン樹脂 フラットクリアー スプレー2回 4、5時間

※尚、塗色についてはサンプルを提示し監督員の指示を受ける。

4 金属加工

a 加 工

切断箇所はかえりを完全に除き、溶接は材質、用途に適した方法で曲り、撚れのないように強固に行う。甲板、側板類のエッジ、卓子類の貫、椅子類の部品、引手などの付属金物その他の人体に触れる部分は図面に明示のない場合でも、鋭利な角は0.5㎜R程度の丸みをつける。

b 鍍金(メッキ)仕上

鍍金の種類、色合い、光沢及び仕上状態は生地の研磨、脱脂、防錆などの前処理を完全に行い指定の鍍金処理を行う。

c 塗装仕上

塗装の色合い、光沢などの状態は、前記の生地調整の後、指定の塗装を行う。塗装は特記がなければ、メラミン焼付塗装とする。

d 表面仕上

ヘアーラインは特記がなければ＃20とする。鏡面仕上、ブラスト仕上、腐食仕上とする。

5 椅子張

e 取付

現場取付は、図面及び指示により正確に取付ける。他の部材との接合部は特に注意し、ずれ、がたつきがないように完全に取付け、ナットのゆるみ、ネジ釘頭部の溝のくずれかえりのないように点検する。

a スプリング使用

椅子の形状・大きさに適したスプリングを使用し、スプリングの間隙を50㎜以内とし力布は60㎜以上の麻布を用い充分に引張り、折返し釘止めとする。各々のスプリングは良質のイタリアンコートまたは、小型のスプリングで縦横に連結し、ヘッシャンクロスで被う。土手の必要な場合は上質馬毛も用い、ヘッシャンクロスで包み、指定のセール糸で2段刺をする。

b ウェービング使用

指定のウェービングは、網代張とする。

c 下張り

指定の詰物を下地加工の上に充填し糸締めまたは糊付けし、上質巾で下張りする。

d 上張り

指定した上質材料を張方向、縫目位置、玉縁などは体裁よく仕上げる。ボタン締めの糸は特に丈夫なものを使用する。キルティングは原則として重ねミシンがけとする。底張は特記がなければ、上張材と共色の体裁よい厚手綿布を用いる。上張材料は裁断前に疵、色合いなどを充分に点検を行う。特に指定する上張材、張加工等については、監督員の指示を受ける。

製 作 工 場

a 製作工場は木材乾燥、木取りから塗装仕上、椅子張り仕上迄の木製家具加工の標準工程に従い一貫作業が出来る工場であること。

b 塗装室など独立した部屋及び防塵設備をもった湿度、温度を調節出来る環境で製作ができること。

c 優秀な技術者(ボイラー技師、木工家具手加工、機械加工、塗装、張加工作業等の1級技能検定取得者)を多数有すること。

試 作 品 リ ス ト

- F3-04（複式6段・金属書架）：側板部分含む1連（オプションとも）
- F3-10a（単式1連8段）：1台
- T1b（テーブルスタンド照明b）：1台

明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	家具特記仕様書(3)	最終版 2025. 02. 28
	203		見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

家具リスト

階数	部屋名	記号	品名	数量	備考
1階	地域活動スペース	K1-01	地域活動スペースカウンター	1台	木製 コンセントあり
1階	インフォメーション	K1-02	インフォメーションカウンター	1台	木製 コンセントあり
2階	フリースペース	K2-01	2Fフリースペース本棚	1台	木製 内部消火器設置

階数	部屋名	記号	品名	数量	備考
3階	図書コーナー	K3-01	カウンターバック棚	1台	木製 コンセント付（配線・接続とも）
		K3-02	端末台	1台	木製 コンセント付（配線・接続とも）
		K3-03	サービスカウンター	1台	木製 コンセント付（配線・接続とも）
		K3-04	カウンターテーブル	1台	木製 コンセント付（配線・接続とも）
		K3-07ab	窓際閲覧机（1人用）	16台	木製
		K3-08	窓際閲覧机（6人用）	2台	木製 コンセント付（配線・接続とも）
		K3-11a	OPAC台	3台	木製
		K3-11b	OPAC台	1台	木製

階数	部屋名	記号	品名	数量	備考
3階	図書コーナー	F3-01a	中置書架　複式3連4段	4台	ｽﾁｰﾙ製書架
		F3-01b	中置円形書架　単式8連3段+ｿﾌｧ	1台	木製書架 ウレタンマットとも
		F3-02	中置書架　複式3連6段	7台	ｽﾁｰﾙ製書架
		F3-03a	大型本架　単式1連2段+書見台	1台	木製
		F3-03b	地図架　単式1連10段+書見台	1台	木製
		F3-04	中置書架　複式4連6段	5台	ｽﾁｰﾙ製書架
		F3-06	壁面書架　単式4連5段	1台	木製書架
		F3-07a	壁面書架　単式4連8段	1台	木製書架
		F3-07b	壁面書架　単式1.5連8段	1台	木製書架
		F3-07c	中置書架　複式2連8段	4台	木製書架
		F3-07d	中置書架　通路門	2台	木製
		F3-08	中置書架　単式6連4段	1台	ｽﾁｰﾙ製書架
		F3-09a	新聞架+新聞収納棚	1台	木製
		F3-09b	雑誌架	2台	木製
		F3-10ab	窓際書架　単式1連8段	15台	木製書架
		F3-13	壁面書架　単式4連3段	1台	木製書架
		F3-14	柱面書架　単式1連3段	2台	木製書架
			図書コーナーサイン	1式	

階数	部屋名	記号	品名	数量	備考

明石市政策局　プロジェクト推進室

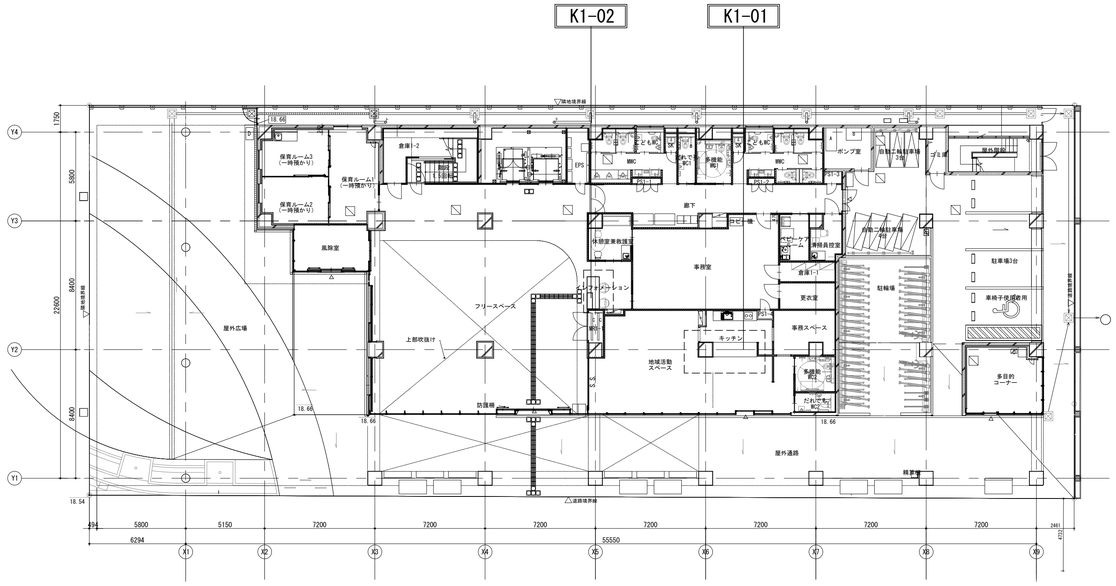
西明石地域交流センター icotto 建設工事

〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号
森　雅章

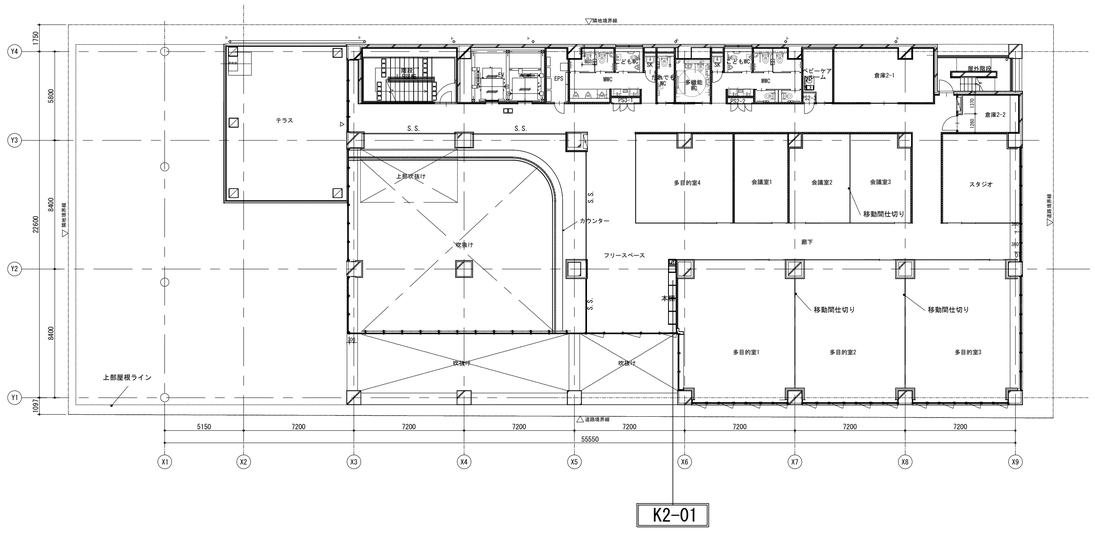
A	家具リスト	最終版	2025. 02. 28
211		見積版	2024. 12. 16
	安井建築設計事務所	最終契約版	

2025. 02. 28
2025. 03. 25

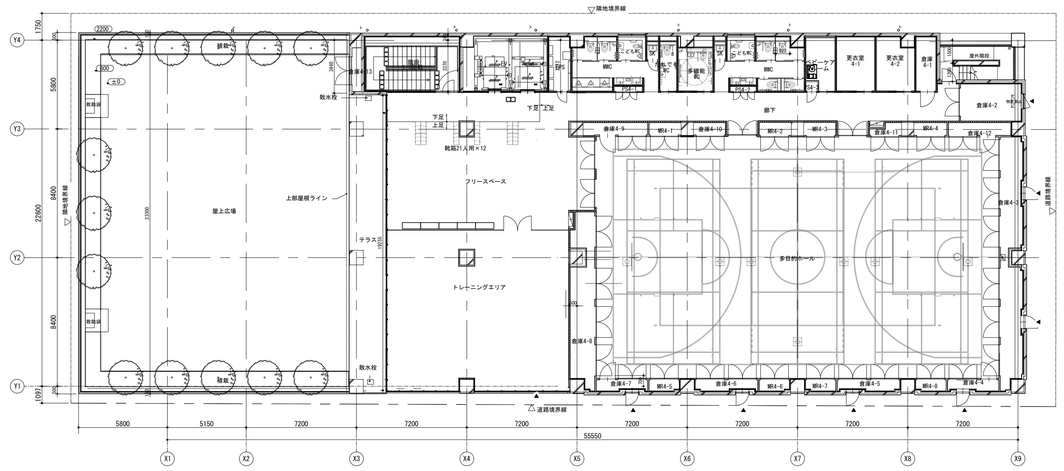
1Fプロット図



2Fプロット図

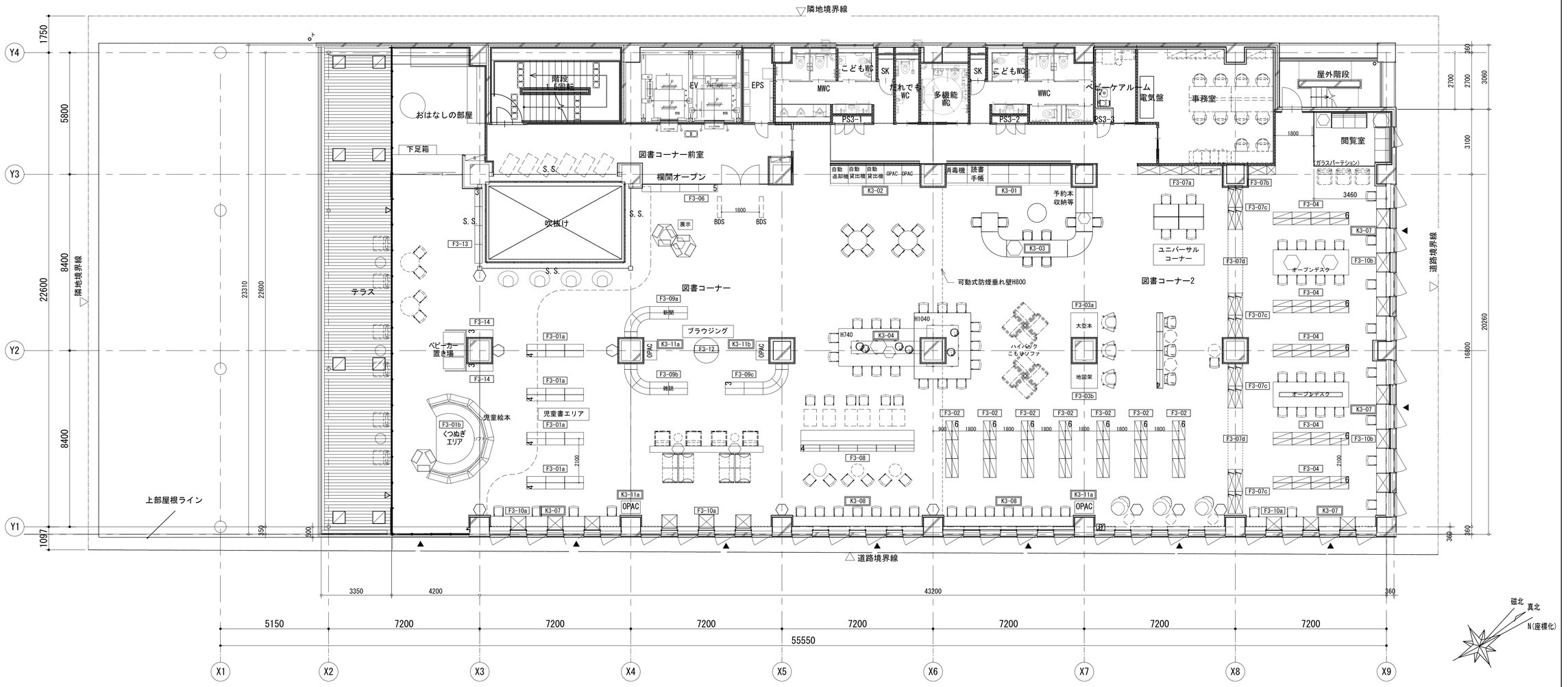


4Fプロット図



明石市政策局　プロジェクト推進室		西明石地域交流センター　icotto　建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	A	家具プロット図（1）	最終版	2025. 02. 28
	212	1階・2階・4階	見積版	2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版	

2025. 02. 28
2025. 03. 25

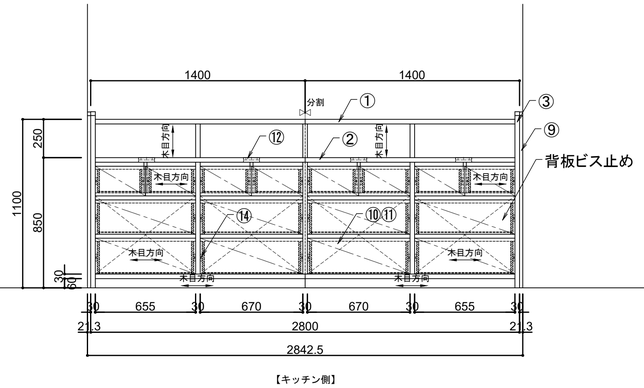


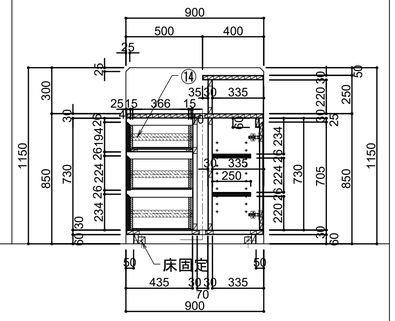
明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	家具プロット図 (2)	最終版 2025. 02. 28
	213	3階	見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

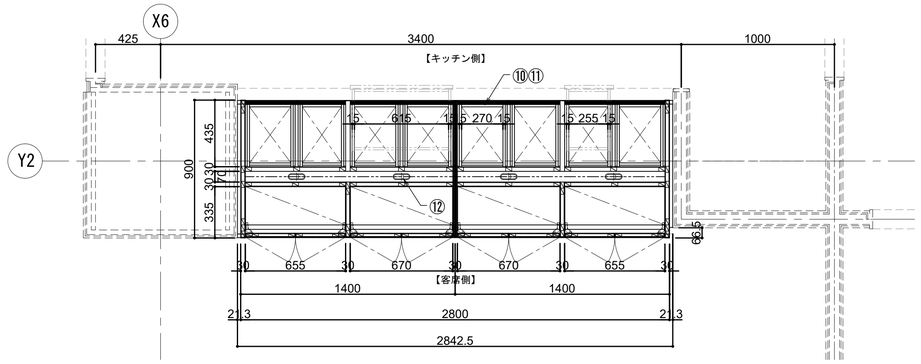
2025. 02. 28
2025. 03. 25

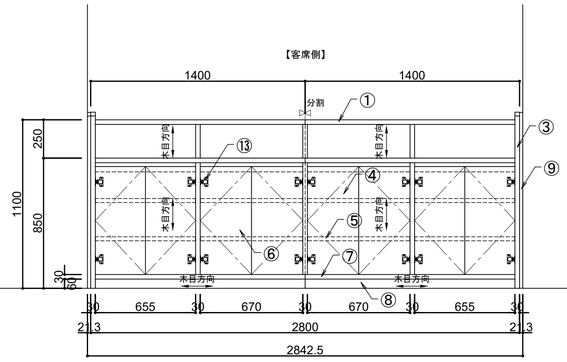
【K1-01】1F_地域活動スペースカウンター：1台

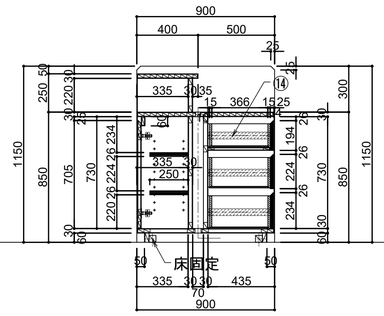
仕様		
① 天板	ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=30	(※1)
② 中天板	ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=30	(※1)
③ 側板	ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30	(※1)
④ 扉	ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30	(※1)
⑤ 棚板	ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼り　積層合板芯　t=26	(※1)
⑥ 背板	ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30	
⑦ 地板	ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30	(※1)
⑧ 巾木	ﾎﾟﾘ合板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=30	
⑨ ﾌｨﾗｰ	ﾎﾟﾘ合板貼り	
⑩ 引出し前板	ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼り　積層合板芯　t=15	(※1)
⑪ 引出し内部	ｱｶﾞﾁｽ材　t=15 UC（汚れ止め程度）	
⑫ 配線孔ｷｬｯﾌﾟ	ｽｶﾞﾂﾈ工業㈱：配線孔ｷｬｯﾌﾟ　SALSA　S12520	
⑬ ｽﾗｲﾄﾞ丁番	ｽｶﾞﾂﾈ工業㈱：ｵﾘﾝﾋﾟｱｽﾗｲﾄﾞ丁番　H360	
⑭ ｽﾗｲﾄﾞﾚｰﾙ	ｽｶﾞﾂﾈ工業㈱：4670　ｾﾙﾌ&ｿﾌﾄｸﾛｰｼﾞﾝｸﾞ機構付	
(※1)	木口　オーク堅木 t5　染色OSUC	





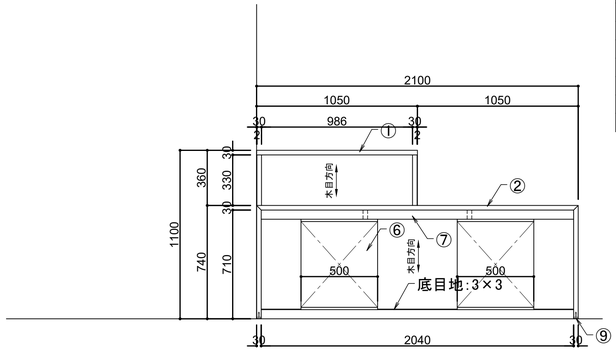


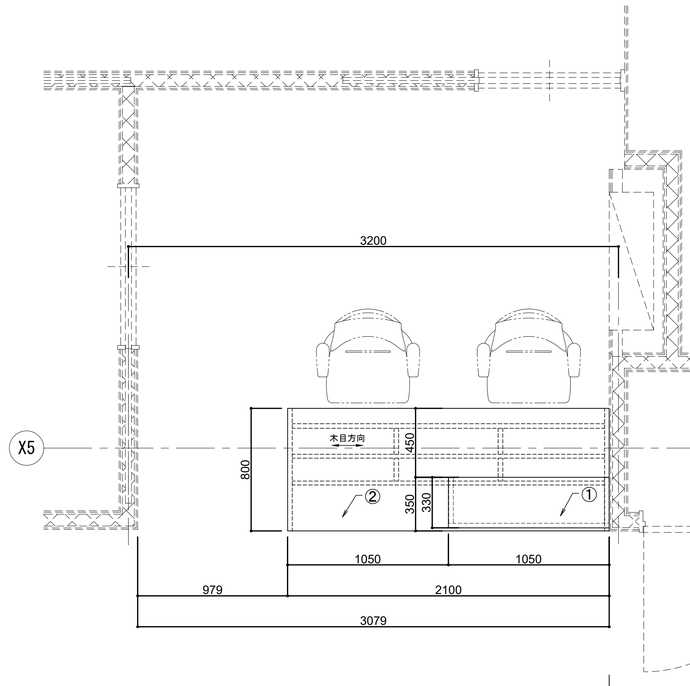


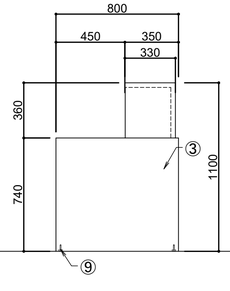


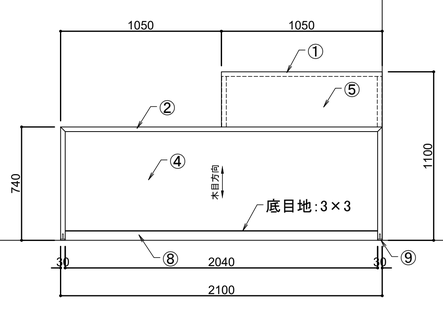
【K1-02】1F_インフォメーションカウンター：1台

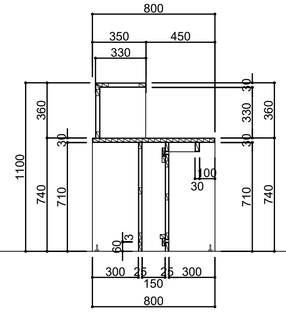
仕様		
① 天板	人工大理石貼り　t=10　下地積層合板芯	
② 中天板	人工大理石貼り　t=10　下地積層合板芯	
③ 側板	人工大理石貼り　t=10　下地積層合板芯	
④ 腰板	ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=25	(※1)
⑤ 上部前板	人工大理石貼り　t=10　下地積層合板芯	
⑥ ｹﾝﾄﾞﾝ式点検口	ポリ合板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=25	(※1)
⑦ 幕板	ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=30	(※1)
⑧ 巾木	ポリ合板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=30	
⑨ 隠しｱｼﾞｬｽﾀｰ	ｽｶﾞﾂﾈ工業㈱：八角ｱｼﾞｬｽﾀｰ　MK8AD型	
(※1)	木口　オーク堅木 t5　染色OSUC	







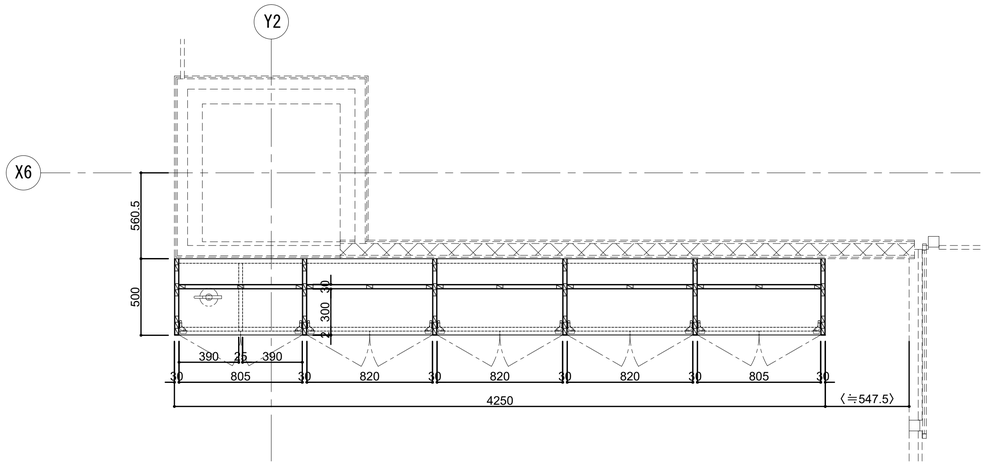


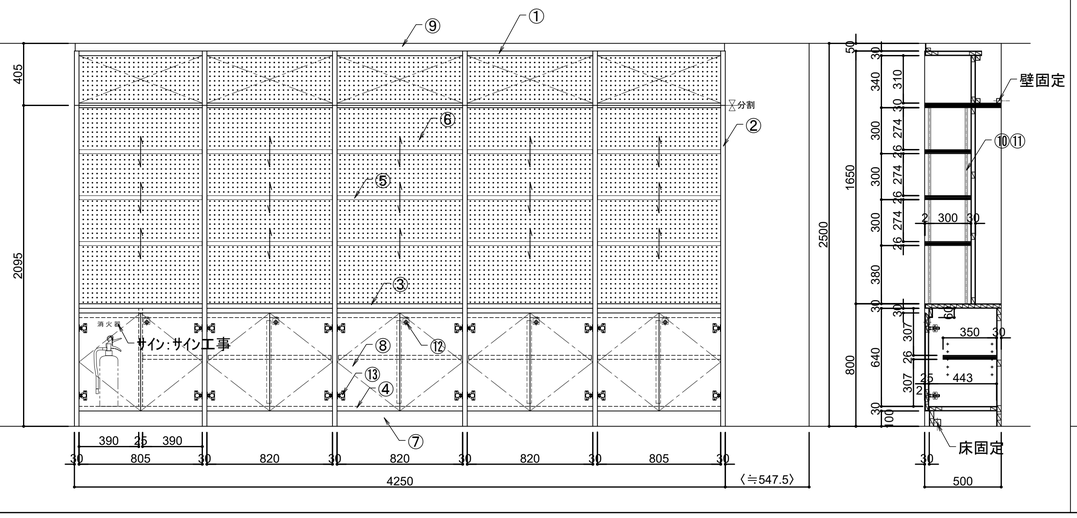


明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	A	家具詳細図（1）	最終版　2025. 02. 28
	214		見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

【K2-01】2F_フリースペース本棚：1台

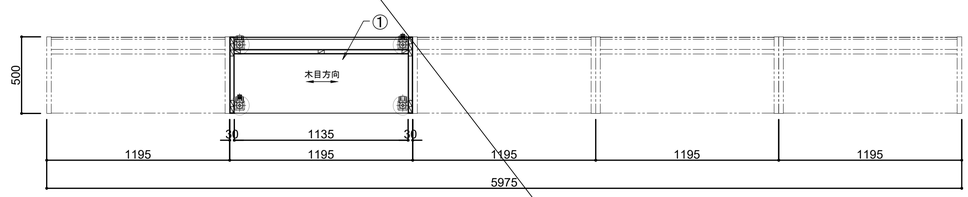
仕様		
① 天板	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=30	(※1)
② 側板	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30	(※1)
③ 中天板	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=30	(※1)
④ 地板	メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30	(※1)
⑤ 棚板	メラミン化粧板貼り　積層合板芯　t=26	(※1)
⑥ 背板	有孔合板　メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30	
	有孔合板　⌀5mm　上下30mmﾋﾟｯﾁ	
⑦ 巾木	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=30	
⑧ 両開き扉	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=25	(※1)
⑨ 支輪	メラミン化粧板貼り	
⑩ 棚柱	スガツネ工業㈱：SPE-2620	
⑪ 棚受	スガツネ工業㈱：SPE-FB20S	
⑫ ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠	スガツネ工業㈱：面付ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠　507型（同番）	
⑬ ｽﾗｲﾄﾞ丁番	ｽｶﾞﾂﾈ工業㈱：ｵﾘﾝﾋﾟｱｽｽﾗｲﾄﾞ丁番　H360	
(※1)	木口　オーク堅木 t5　染色OSUC	

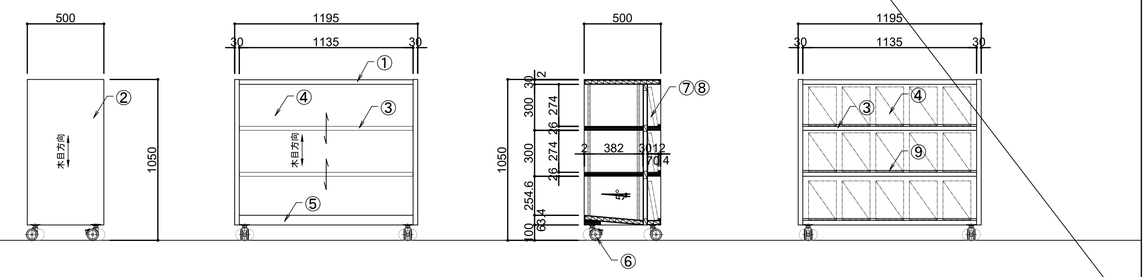




【K4-01】：4F_フリースペース本棚：5台

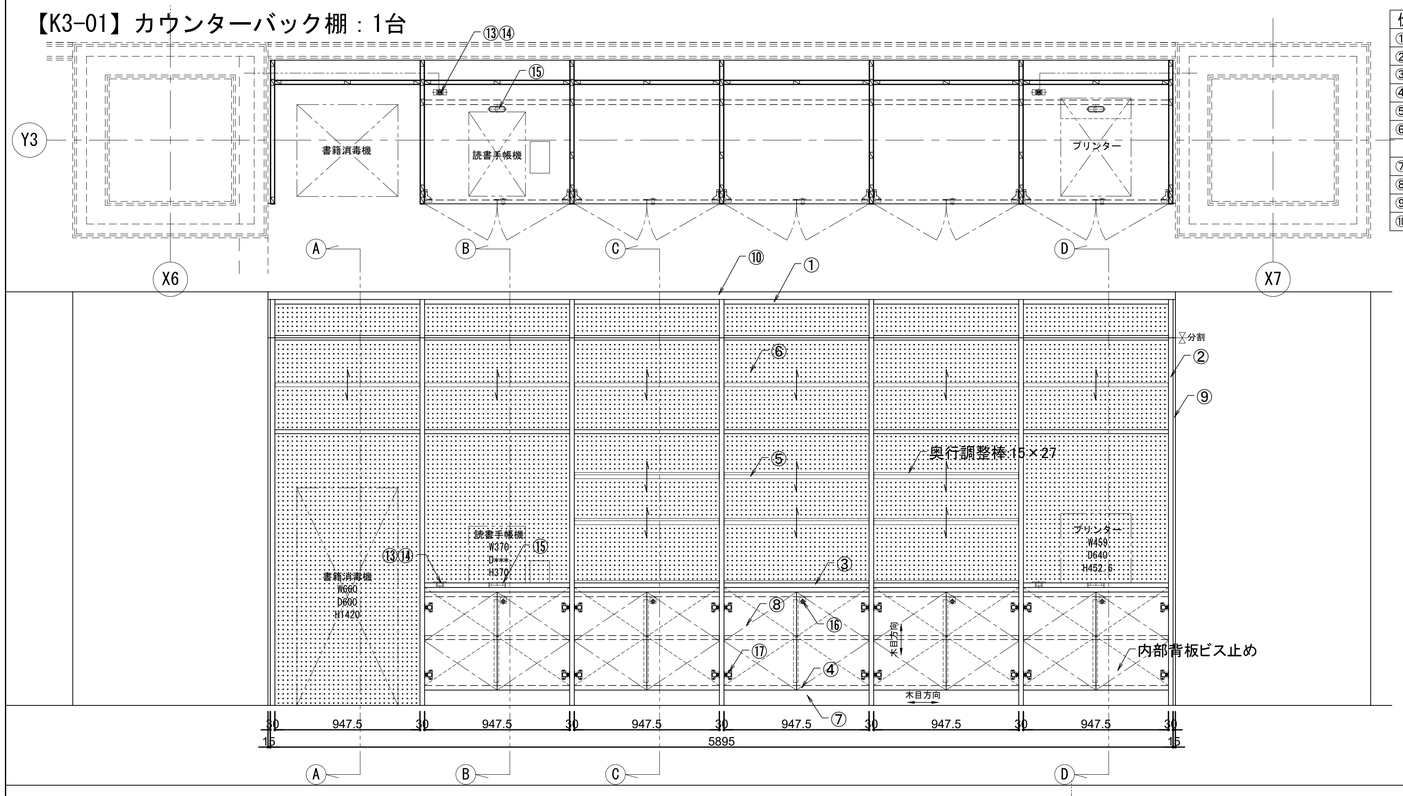
仕様		
① 天板	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=30	(※1)
② 側板	メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30	(※1)
③ 棚板	メラミン化粧板貼り　積層合板芯　t=26	(※1)
④ 背板	メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30	
⑤ 地板	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=30	(※1)
⑥ キャスター	スガツネ工業㈱：MFD型　ﾌﾟﾚｰﾄﾀｲﾌﾟ⌀75（内ｽﾄｯﾊﾟｰ付×3ヶ）	
⑦ 棚柱	スガツネ工業㈱：SPE-2620	
⑧ 棚受	スガツネ工業㈱：SPE-FB20S	
⑨ 転び止め	オーク材　12×12　染色OSUC	
(※1)	木口　オーク堅木 t5　染色OSUC	





明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto　建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	A	家具詳細図（2）	最終版　2025. 02. 28
	215		見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

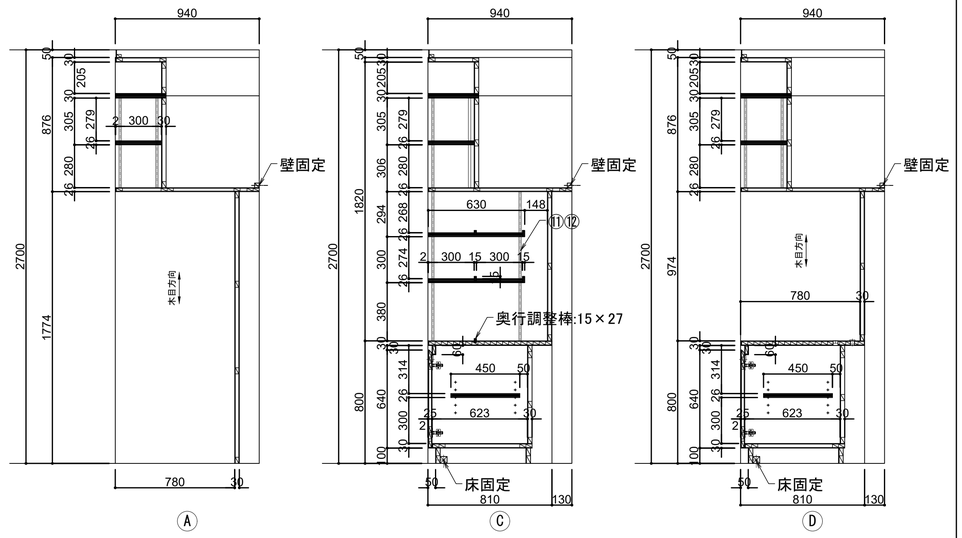
【K3-01】カウンターバック棚：1台



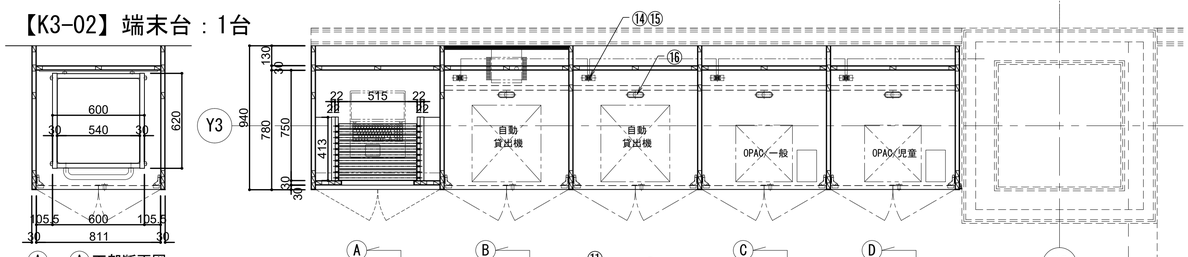
仕様		
①	天板	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=30　(※1)
②	側板	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30　(※1)
③	中天板	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=30　(※1)
④	地板	メラミン化粧板貼り　積層合板芯　t=30　(※1)
⑤	棚板	メラミン化粧板貼り　積層合板芯　t=26　(※1)
⑥	背板	有孔合板　メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30
		有孔合板　⌀5mm　上下30mmﾋﾟｯﾁ
⑦	巾木	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=30
⑧	両開き扉	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=25
⑨	ﾌｨﾗｰ	メラミン化粧板貼り　(※1)
⑩	支輪	メラミン化粧板貼り

仕様	
⑪ 棚柱	スガツネ工業㈱：SPE-2620
⑫ 棚受	スガツネ工業㈱：SPE-FB20S
⑬ ｺﾝｾﾝﾄﾌﾟﾚｰﾄ	神保電器㈱：SLPN機器用ﾌﾟﾚｰﾄ(ﾁｮｺ)　SLPN-1UP(1口用)
⑭ ｺﾝｾﾝﾄ	神保電器㈱：1口用　JEC-BN-5(ﾁｮｺ)
⑮ 配線孔ｷｬｯﾌﾟ	スガツネ工業㈱：配線孔ｷｬｯﾌﾟ　SALSA　SI2520
⑯ ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠	スガツネ工業㈱：面付ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠　507型（同番）
⑰ ｽﾗｲﾄﾞ丁番	スガツネ工業㈱：ｵﾘﾝﾋﾟｱｽﾗｲﾄﾞ丁番　H360
(※1)	木口　オーク堅木 t5　染色OSUC

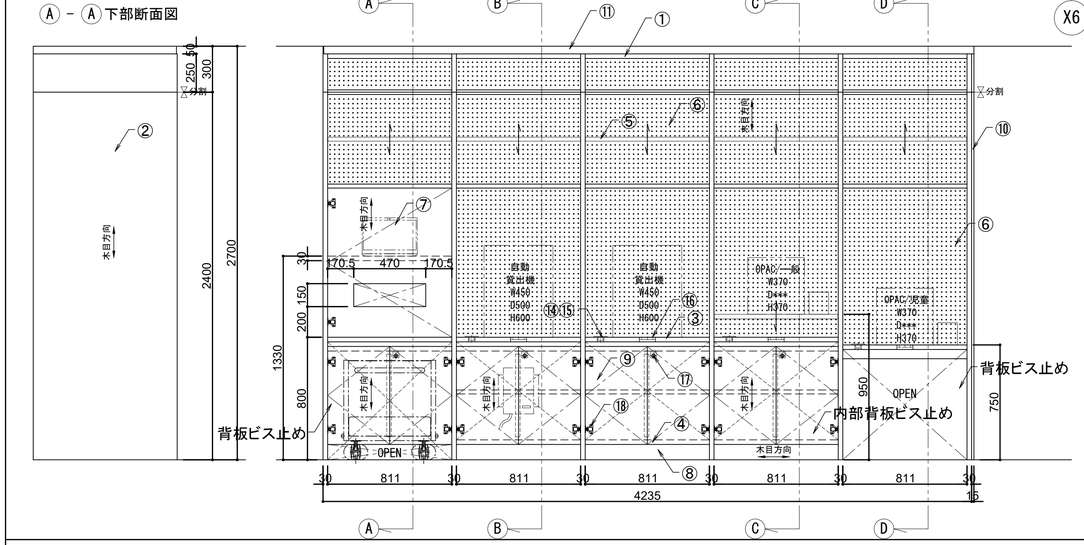
※Ⓑ-Ⓑ断面図は、K3-02に準ずる。

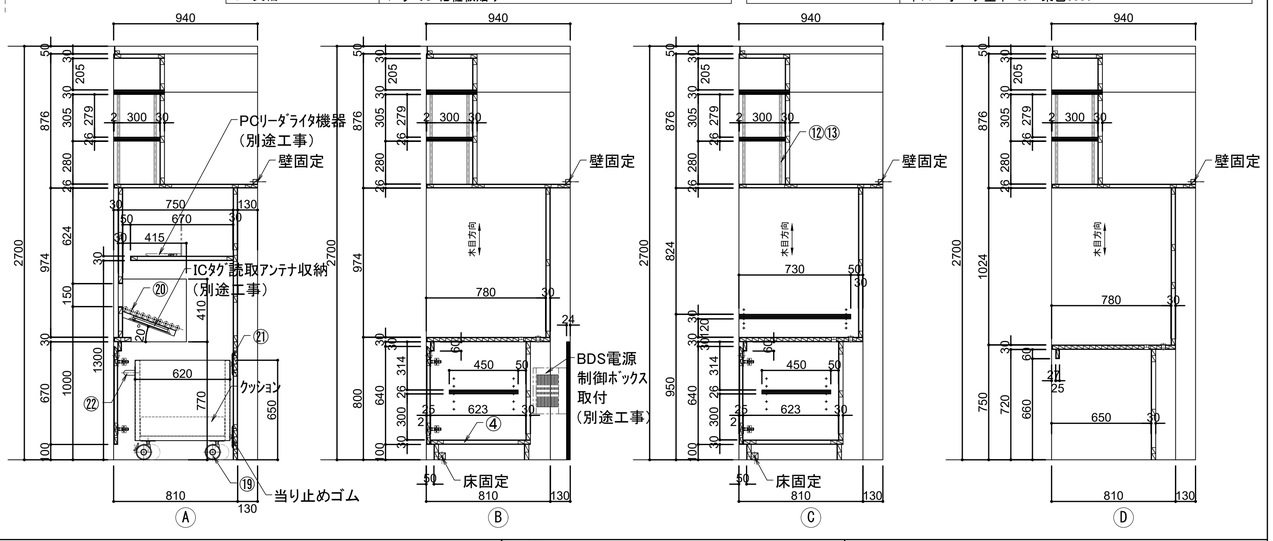


【K3-02】端末台：1台



A - A 下部断面図





仕様		
①	天板	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=30　(※1)
②	側板	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30　(※1)
③	中天板	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=30　(※1)
④	地板	メラミン化粧板貼り　積層合板芯　t=30　(※1)
⑤	棚板	メラミン化粧板貼り　積層合板芯　t=26　(※1)
⑥	背板	有孔合板　メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30
		有孔合板　⌀5mm　上下30mmﾋﾟｯﾁ
⑦	前板	メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30
⑧	巾木	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=30
⑨	両開き扉	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=25　(※1)
⑩	ﾌｨﾗｰ	メラミン化粧板貼り
⑪	支輪	メラミン化粧板貼り

仕様	
⑫ 棚柱	スガツネ工業㈱：SPE-2620
⑬ 棚受	スガツネ工業㈱：SPE-FB20S
⑭ ｺﾝｾﾝﾄﾌﾟﾚｰﾄ	神保電器㈱：SLPN機器用ﾌﾟﾚｰﾄ(ﾁｮｺ)　SLPN-1UP(1口用)
⑮ ｺﾝｾﾝﾄ	神保電器㈱：1口用　JEC-BN-5(ﾁｮｺ)
⑯ 配線孔ｷｬｯﾌﾟ	スガツネ工業㈱：配線孔ｷｬｯﾌﾟ　SALSA　SI2520
⑰ ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠	スガツネ工業㈱：面付ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠　507型（同番）
⑱ ｽﾗｲﾄﾞ丁番	スガツネ工業㈱：ｵﾘﾝﾋﾟｱｽﾗｲﾄﾞ丁番　H360
⑲ 返却ﾛｺﾞﾝｷｬｽﾀｰ	ｽｶﾞﾂﾈ工業㈱：⌀100 TSD-100P（内2ｹｱｽﾄｯﾊﾟｰ付）
⑳ 樹脂ﾛｰﾗｰ	ﾏｷﾃｯｸ：⌀30.5×巾500mm　取付ﾋﾟｯﾁ:40mm　JR-3018B
㉑ ｾｷｭｨｰｶﾞｰﾄﾞ	ﾅｶ工業㈱:ｾｷｭｨｰﾗｲﾝ NS　NS-150
㉒ ﾊﾝﾄﾞﾙ	ｼﾛｸﾏ：No.166S ｽﾃﾝﾚｽﾍｱｰﾗｲﾝ
(※1)	木口　オーク堅木 t5　染色OSUC

明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	A	家具詳細図（3）	最終版　2025. 02. 28
	216		見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

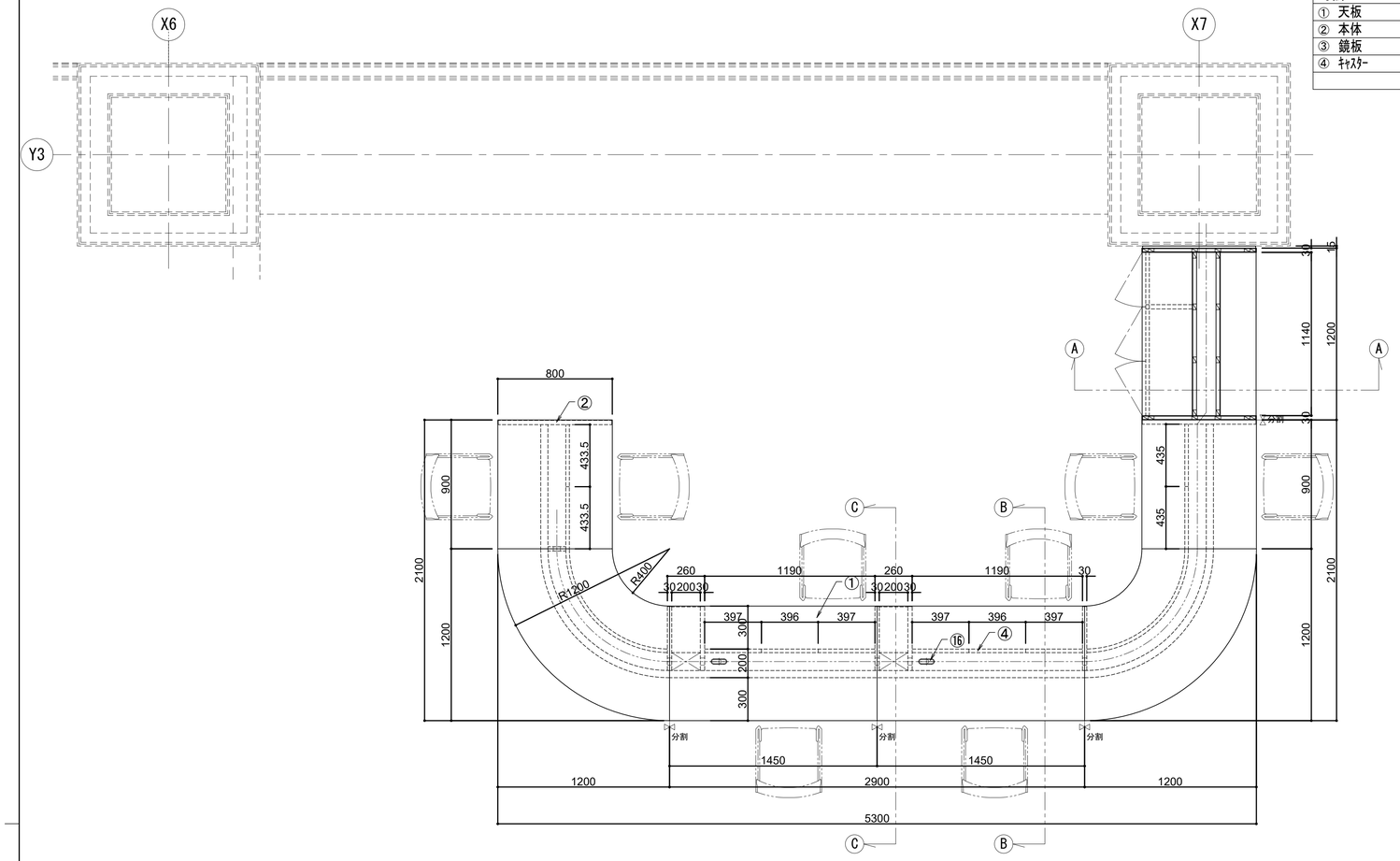
【K3-03】サービスカウンター：1台

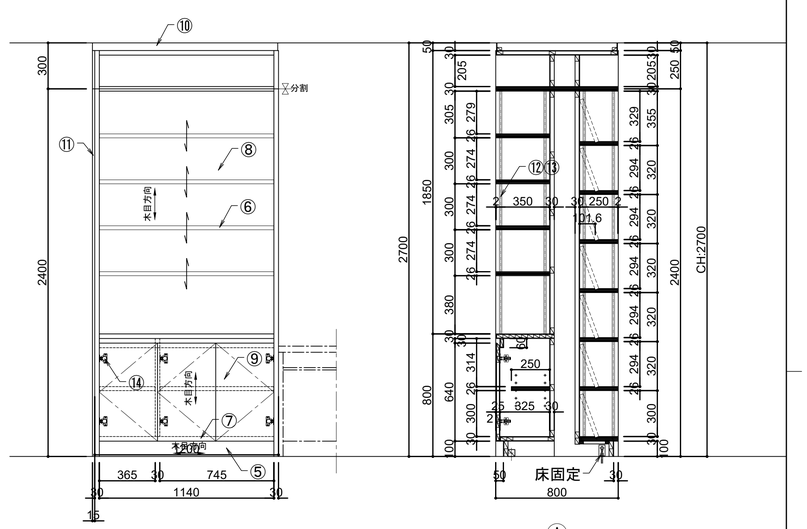
仕様	
メーカー	ｺｸﾖ/GTﾜｺﾞﾝ/T3ﾍﾞﾝﾄﾚｰ引出し付ﾜｺﾞﾝ/ﾀﾞｲﾔﾙ錠ﾀｲﾌﾟ (SD-GTZ46DT3S81NN)
寸法	W395×D602×H648
① 天板	ｽﾁｰﾙ　焼付塗装
② 本体	ｽﾁｰﾙ　焼付塗装
③ 鏡板	ｽﾁｰﾙ　焼付塗装
④ ｷｬｽﾀｰ	薄型自在ｷｬｽﾀｰ（ﾛｯｸ機構付）

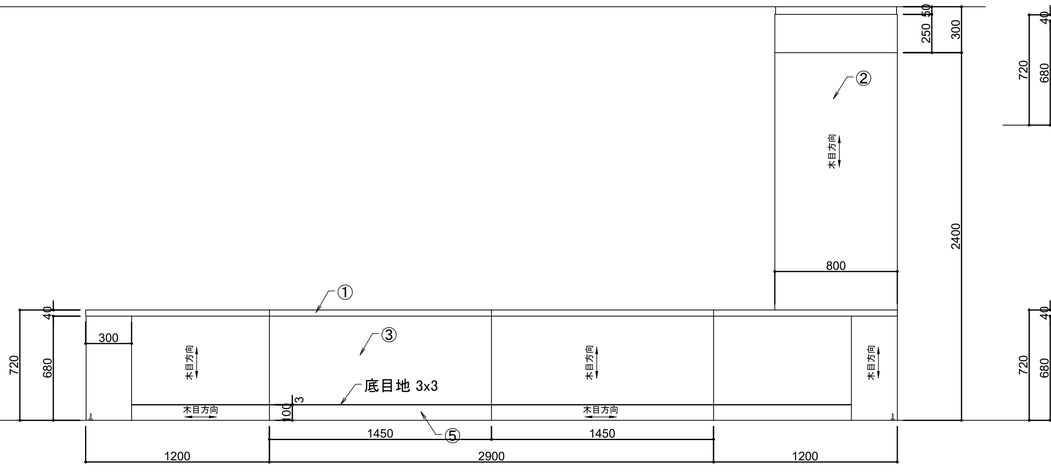


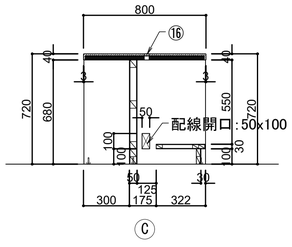
【ｻｲﾄﾞﾜｺﾞﾝ：2台】

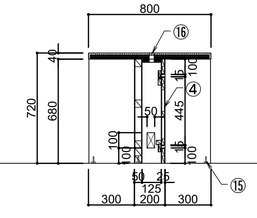
仕様		
① 天板	人工大理石貼り　t=12　下地積層合板芯	
	（ｺｰﾘｱﾝ/ﾆｭｰﾄﾗﾙｱｸﾞﾘｹﾞｰﾄﾞ程度）	
② 側板	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=30	(※1)
③ 腰板	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=25	
④ ｹﾝﾄﾞﾝ式点検口	ポリ合板貼り　ﾛｰﾙｺｱ芯　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=25	(※1)
⑤ 巾木	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=25	(※1)
⑥ 棚板	メラミン化粧板貼り　積層合板芯　t=26	(※1)
⑦ 地板	メラミン化粧板貼り　積層合板芯　t=30	(※1)
⑧ 背板	メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30	
⑨ 両開き扉	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=25	(※1)
⑩ 支輪	メラミン化粧板貼り	
⑪ ﾌｨﾗｰ	メラミン化粧板貼り	
⑫ 棚柱	スガツネ工業㈱：SPE-2620	
⑬ 棚受	スガツネ工業㈱：SPE-FB20S	
⑭ ｽﾗｲﾄﾞ丁番	ｽｶﾞﾂﾈ工業㈱：ｵﾘﾝﾋﾟｱｽﾗｲﾄﾞ丁番　H360	
⑮ 隠しｱｼﾞｬｽﾀｰ	スガツネ工業㈱：八角ｱｼﾞｬｽﾀｰ　MK8AD型	
⑯ 配線孔ｷｬｯﾌﾟ	スガツネ工業㈱：配線孔ｷｬｯﾌﾟ　SALSA　S12520	
(※1)	木口　オーク堅木 t5　染色OSUC	

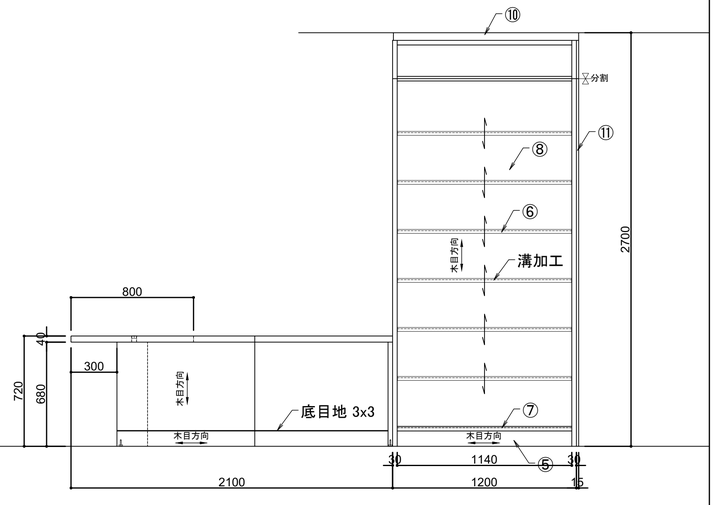








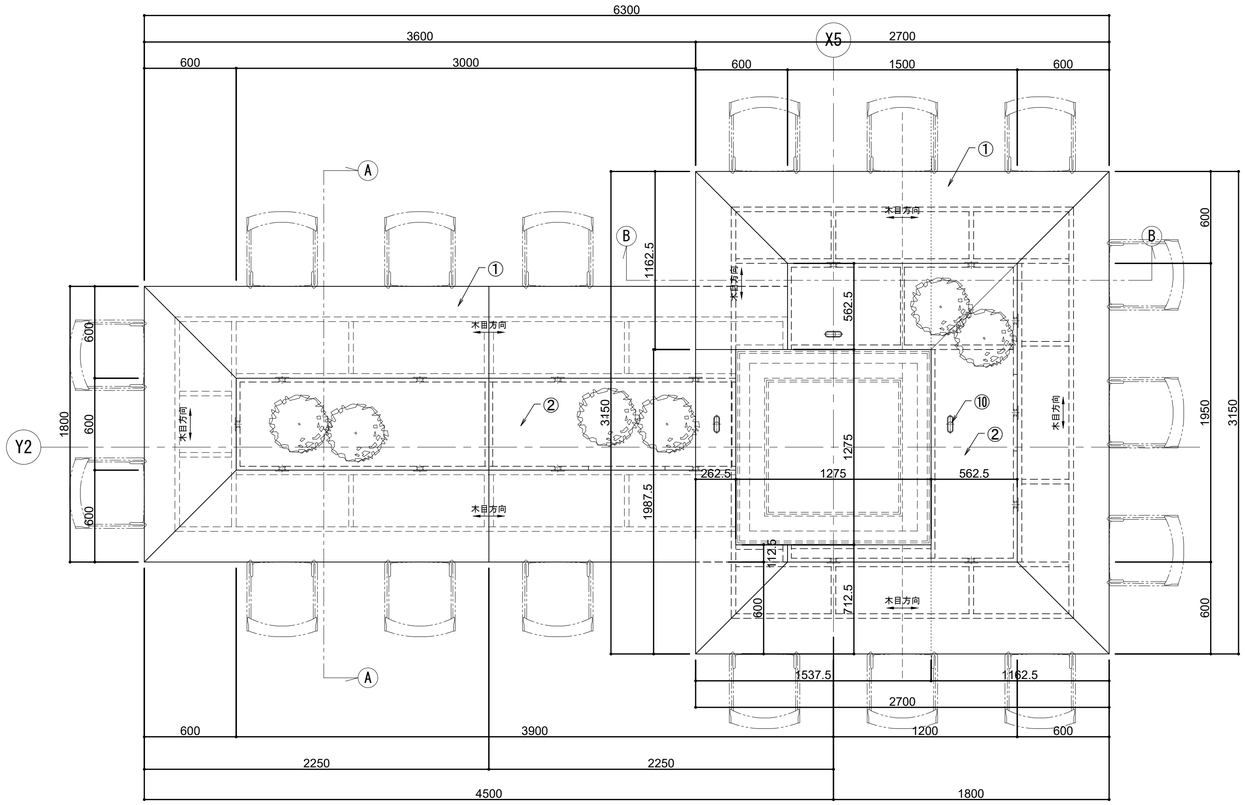


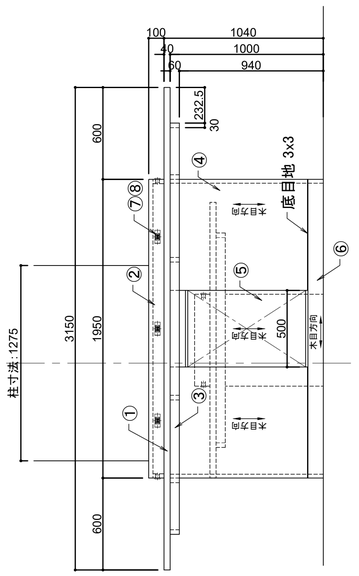


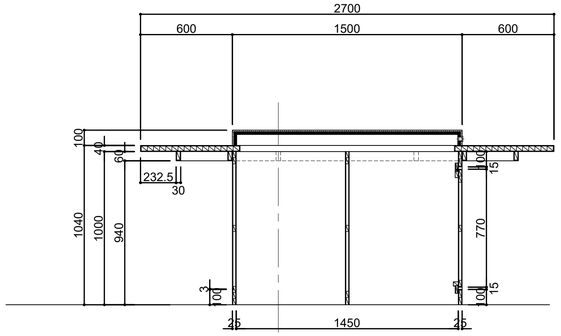
明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto　建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	A	家具詳細図（4）	最終版　2025. 02. 28
	217		見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

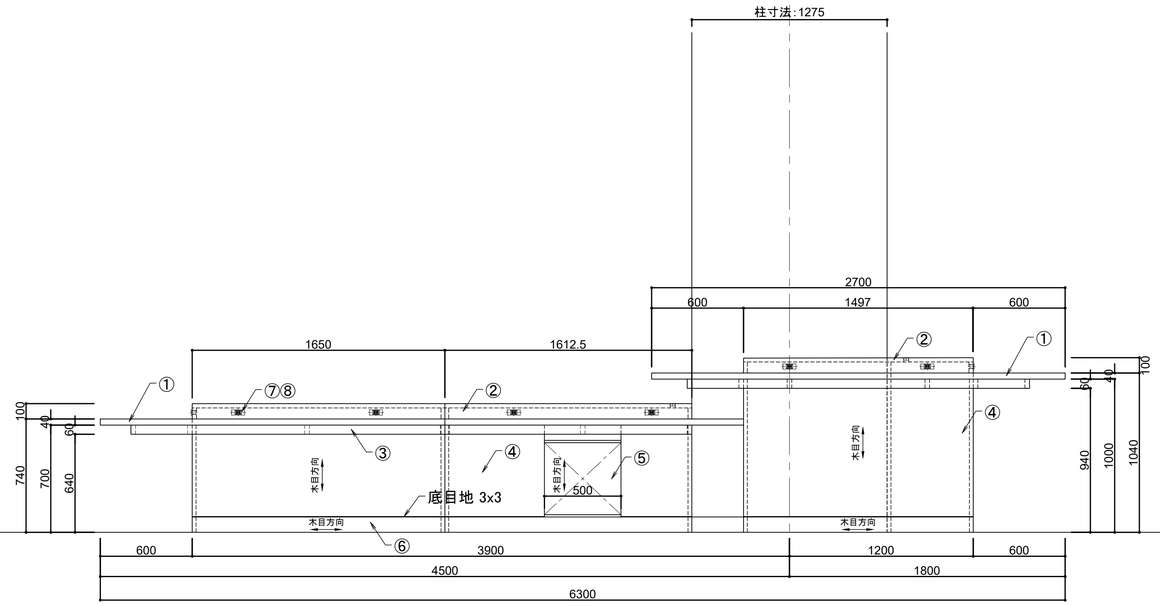
【K3-04】カウンターテーブル：1台

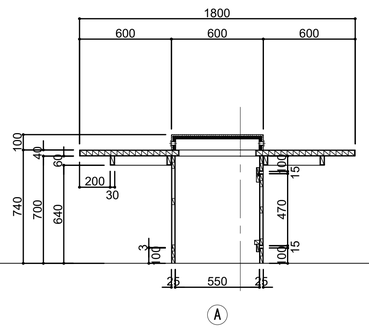
仕様		
① 天板	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=40	(※1)
② 立上り天板	人工大理石貼り　t=10　下地積層合板芯	
③ 幕板	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=30	(※1)
④ 腰板	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=25	(※1)
⑤ ｹﾝﾄﾞﾝ式点検口	ポリ合板貼り　ﾛｰﾙｺｱ芯　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=25	(※1)
⑥ 巾木	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=25	
⑦ ｺﾝｾﾝﾄﾌﾟﾚｰﾄ	神保電器㈱：SLPN機器用ﾌﾟﾚｰﾄ(ﾁｮｺ)　SLPN-1UP(1口用)	
⑧ ｺﾝｾﾝﾄ	神保電器㈱：1口用　JEC-BN-5(ﾁｮｺ)	
⑩ 配線孔	スガツネ工業㈱：配線孔ｷｬｯﾌﾟ　SALSA　S12520	
（※1）	木口　オーク堅木 t5　染色OSUC	

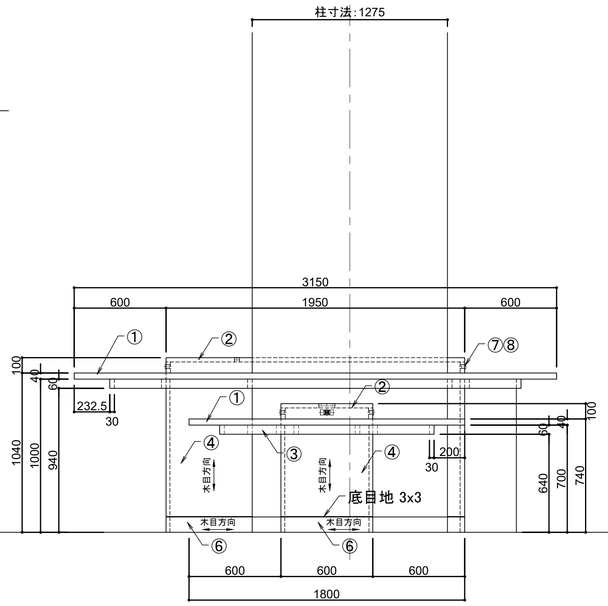






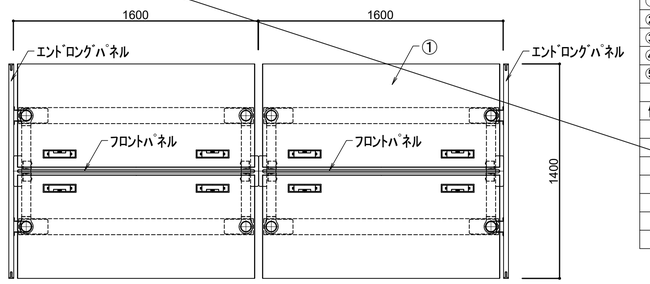


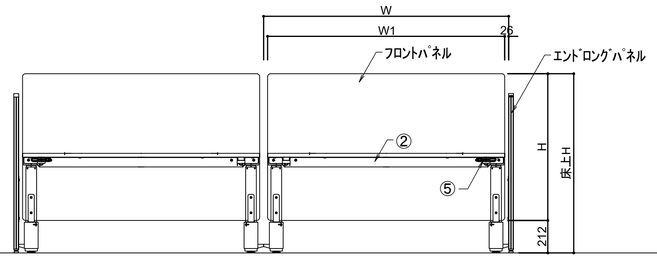


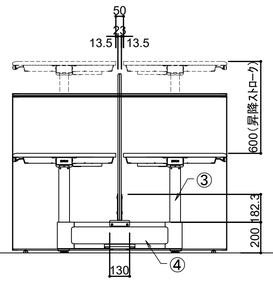


明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	A	家具詳細図（5）	最終版　2025. 02. 28
	218		見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

【K3-05】電動上下昇降デスク：2台

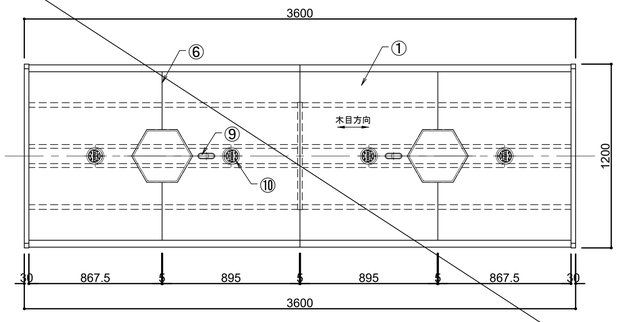


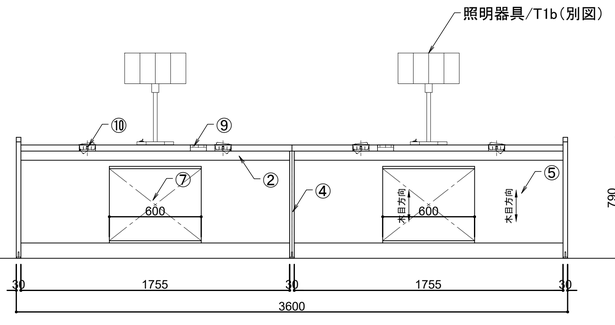


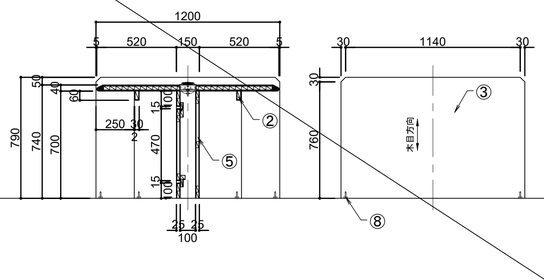


仕様	
メーカー	ITOKI/toiro/ツインデスク・ラウンドエッジ（JZD-1616HB-C）
寸法	W1600×D1400×H650～1250　塗装脚タイプ
① 天板	表面材：メラミン化粧板　エッジ：ABS樹脂
② 本体	スチール　塗装仕上
③ 脚支柱	スチール　塗装仕上
④ 脚ベース	アルミダイキャスト　塗装仕上
⑤ 上下スイッチ	インジケーター付昇降スイッチタイプ
備考	フロントパネル（JZ-169XBYN）・エンドロングパネル（JZ-1411XKYN）
	張地：不織布（FY）
	ケーブルガイド（JZA-CG2N-T1）×2本
	電源×4口コンセント（CZRA-400U）×4ヵ所
	横配線ダクト（JZA-16HD）
	定格電圧：100V　定格消費電力：300W　定格周波数：50/60Hz
	天板最大積載質量：60kg（等分布荷重）

【K3-06a】閲覧テーブル（8人用）：1台

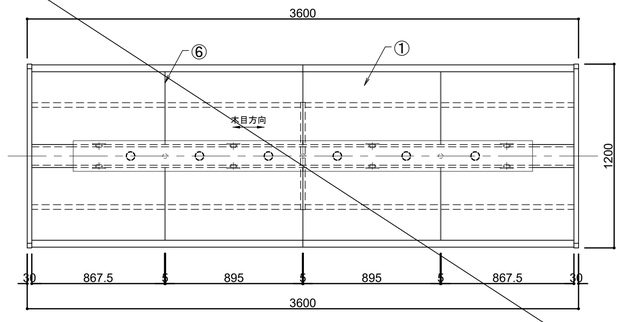


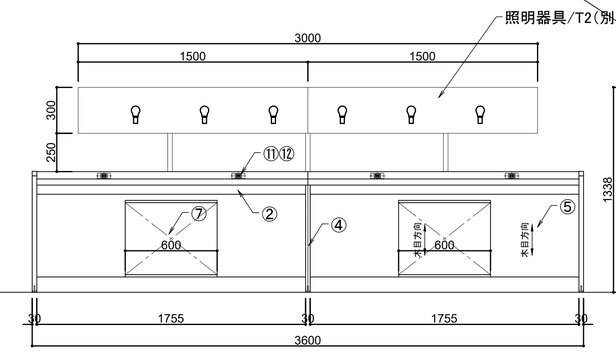


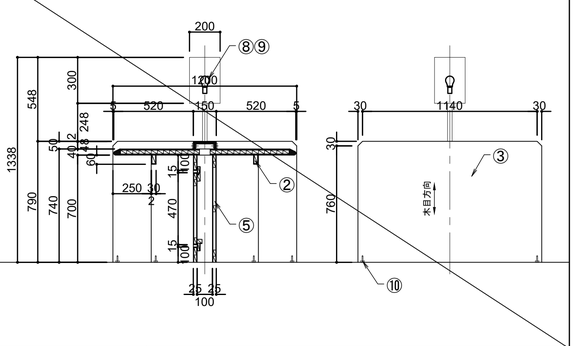


仕様		
① 天板	メラミン化粧板貼り　ランバーコア芯　t=40	
	木口：堅木無垢材 40×45　染色OSUC	
② 貫	ポリ合板貼り　ランバーコア芯　t=30	（※1）
③ 側板	メラミン化粧板貼り　ランバーコア芯　t=30	（※1）
④ 中側板	ポリ合板貼り　ランバーコア芯　t=30	（※1）
⑤ 腰板	ポリ合板貼り　ロールコア芯　フラッシュ構造　t=30	
⑥ 天板見切り材	ステンレス製（HL仕上）　FB-5.0×10.0	
⑦ ケンドン式点検口	ポリ合板貼り　ロールコア芯　フラッシュ構造　t=30	（※1）
⑧ 隠しアジャスター	スガツネ工業㈱：八角アジャスター　MK8AD型	
⑨ 配線孔キャップ	スガツネ工業㈱：配線孔キャップ　SALSA　S12520	
⑩ コンセント	スガツネ工業㈱：埋込式USB・ACコンセント	
	16R-016型（回転収納タイプ）：16R-016-B	
（※1）	木口　オーク堅木 t5　染色OSUC	

【K3-06b】閲覧テーブル（8人用）：1台



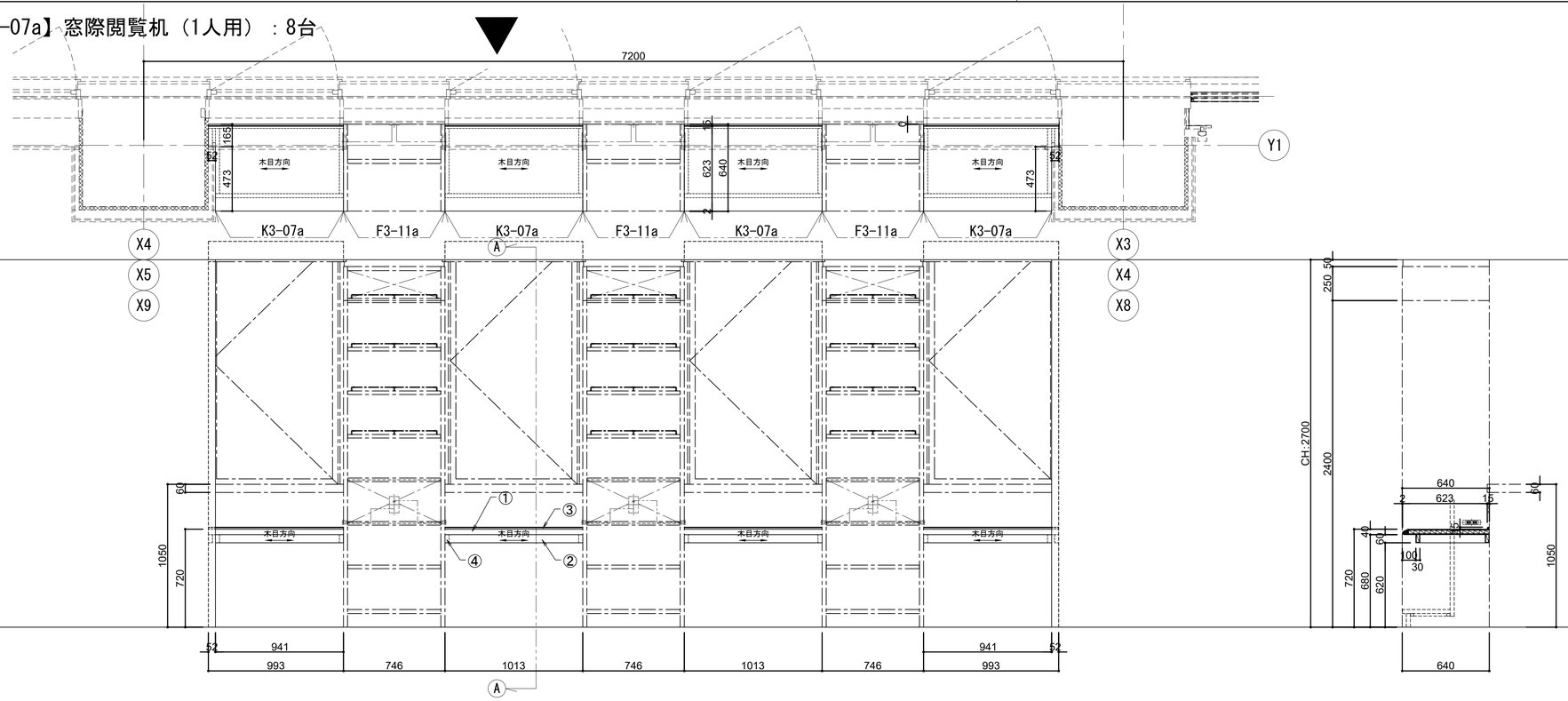




仕様		
① 天板	メラミン化粧板貼り　ランバーコア芯　t=40	
	木口：堅木無垢材 40×45　染色OSUC	
② 貫	ポリ合板貼り　ランバーコア芯　t=30	（※1）
③ 側板	メラミン化粧板貼り　ランバーコア芯　t=30	（※1）
④ 中側板	ポリ合板貼り　ランバーコア芯　t=30	（※1）
⑤ 腰板	ポリ合板貼り　ロールコア芯　フラッシュ構造　t=30	
⑥ 天板見切り材	ステンレス製（HL仕上）　FB-5.0×10.0	
⑦ ケンドン式点検口	ポリ合板貼り　ロールコア芯　フラッシュ構造　t=30	（※1）
⑧ 照明本体	照明器具/T2（別図）による	
⑨ ランプ	照明器具/T2（別図）による	
⑩ 隠しアジャスター	スガツネ工業㈱：八角アジャスター　MK8AD型	
⑪ コンセントプレート	神保電器㈱：SLPN機器用プレート（チョコ）　SLPN-1UP（1口用）	
⑫ コンセント	神保電器㈱：1口用　JEC-BN-5（チョコ）	
（※1）	木口　オーク堅木 t5　染色OSUC	

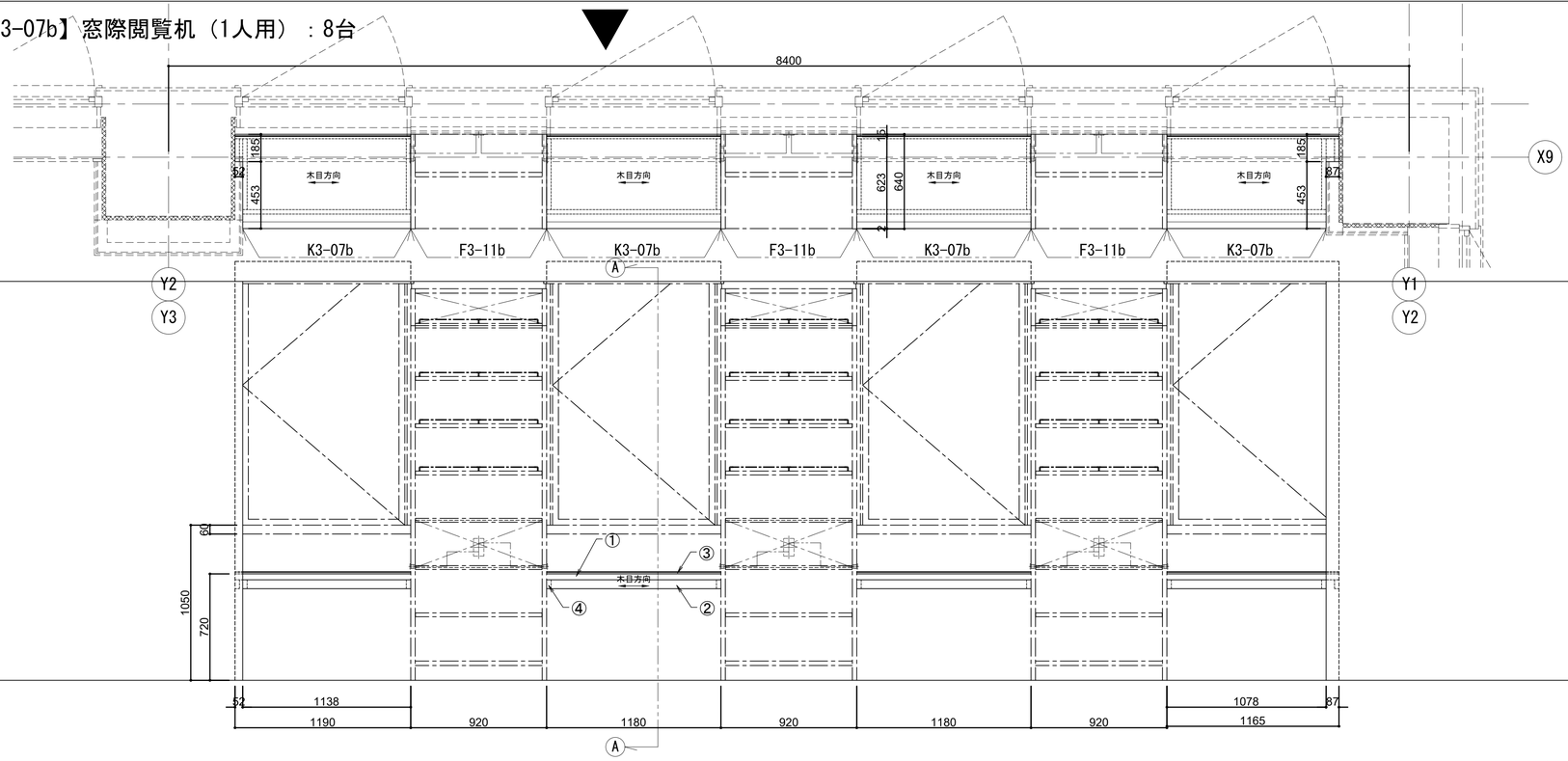
明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto 建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	A	家具詳細図（6）-1	最終版　2025. 02. 28
	219-1		見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

【K3-07a】窓際閲覧机（1人用）：8台



仕様	
① 天板	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=40
	木口：堅木無垢材 40×45　染色OSUC
② 貫	ポリ合板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=30　（※1）
③ 雑巾摺り	オーク材　15×15　角面取り　染色OSUC
④ 補強材	堅木材　t=30
（※1）	木口　オーク堅木 t5　染色OSUC

【K3-07b】窓際閲覧机（1人用）：8台

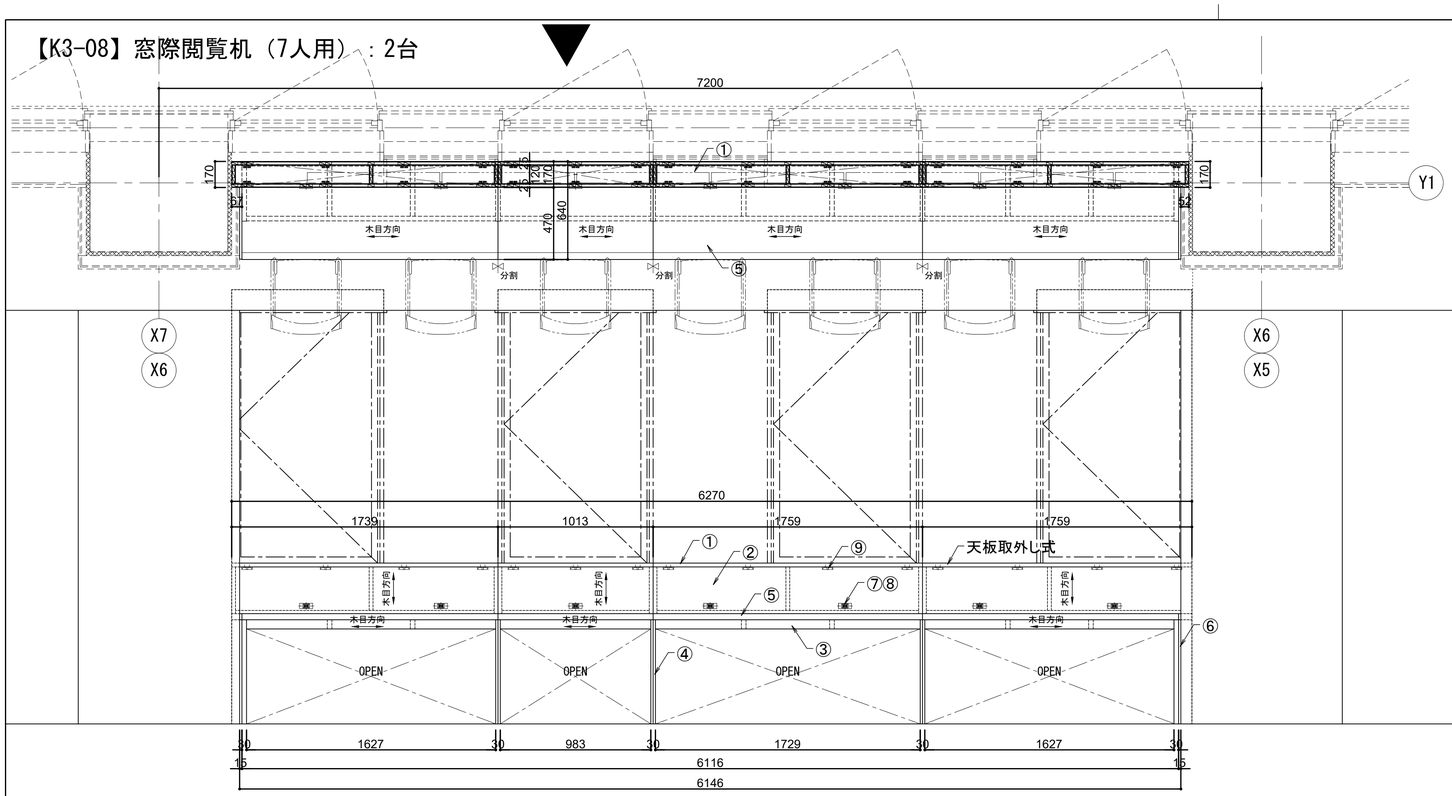


仕様	
① 天板	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=40
	木口：堅木無垢材 40×45　染色OSUC
② 貫	ポリ合板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=30　（※1）
③ 雑巾摺り	オーク材　15×15　角面取り　染色OSUC
④ 補強材	堅木材　t=30
（※1）	木口　オーク堅木 t5　染色OSUC

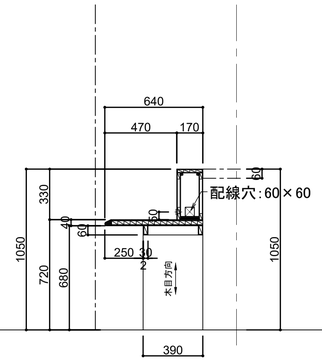
明石市政策局　プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	A	家具詳細図（6）-2	最終版　2025. 02. 28
	219-2		見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

2025. 02. 28

【K3-08】窓際閲覧机（7人用）：2台

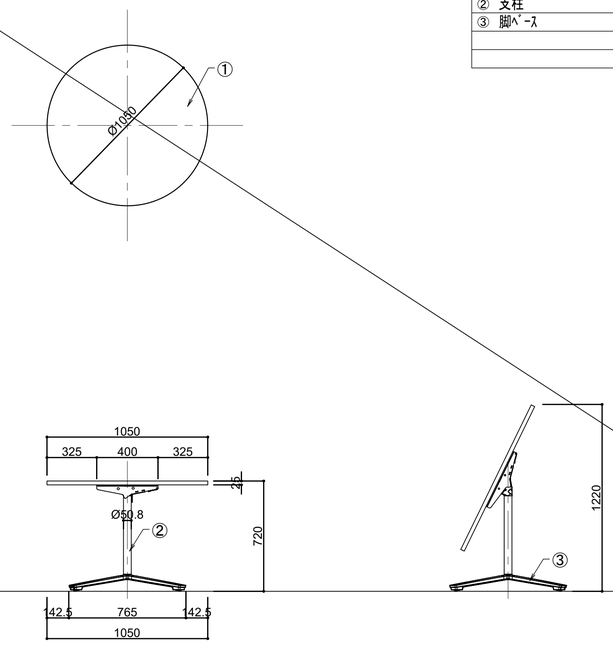


仕様	
① 天板	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=25　(※1)
② 正面前板	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=25
③ 貫	ポリ合板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=30　(※1)
④ 板脚	ポリ合板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=30　(※1)
⑤ 中天板	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=40
	木口：堅木無垢材 40×45　染色OSUC
⑥ ﾌｨﾗｰ	ポリ合板貼り
⑦ ｺﾝｾﾝﾄﾌﾟﾚｰﾄ	神保電器㈱：SLPN機器用ﾌﾟﾚｰﾄ(ﾁｮｺ)　SLPN-1UP(1口用)
⑧ ｺﾝｾﾝﾄ	神保電器㈱：1口用　JEC-BN-5(ﾁｮｺ)
⑨ ﾎﾞｰﾙｷｬｯﾁ	スガツネ工業㈱：ﾎﾞｰﾙｷｬｯﾁ　BCT型　BT-70
(※1)	木口　オーク堅木 t5　染色OSUC

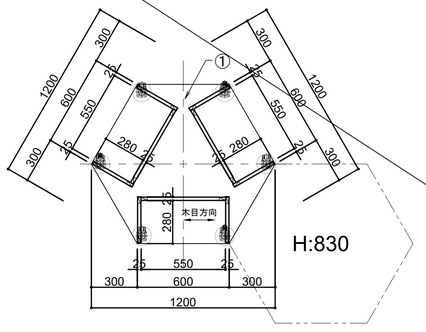


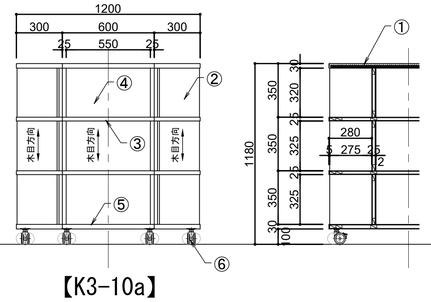
【K3-09】折り畳み式可動テーブル：3台

仕様	
メーカー	ｺｸﾖ/VIENA/ﾌﾗｯﾌﾟﾀｲﾌﾟ(MT-VE10F)
寸法	⌀1050×H720　塗装脚ﾀｲﾌﾟ
① 天板	表面材：ﾒﾗﾐﾝ化粧板　ｴｯｼﾞ：樹脂押出材(ABS)
	芯材：ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ　天板厚み：25mm
② 支柱	支柱：ｽﾁｰﾙ丸ﾊﾟｲﾌﾟ(⌀50.8　焼付塗装)
③ 脚ﾍﾞｰｽ	脚ﾍﾞｰｽ：ｱﾙﾐﾀﾞｲｶｽﾄ　焼付塗装
	ｷｬｽﾀｰ：薄型ｷｬｽﾀｰ(ﾅｲﾛﾝ　ｽﾄｯﾊﾟｰ2個付)



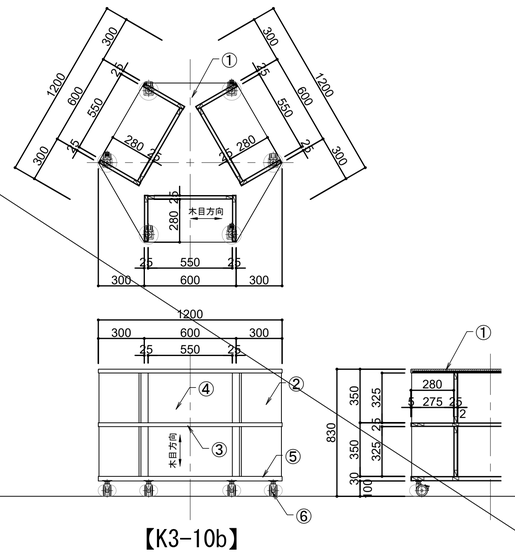
【K3-10a, b】展示台：各1台





【K3-10a】

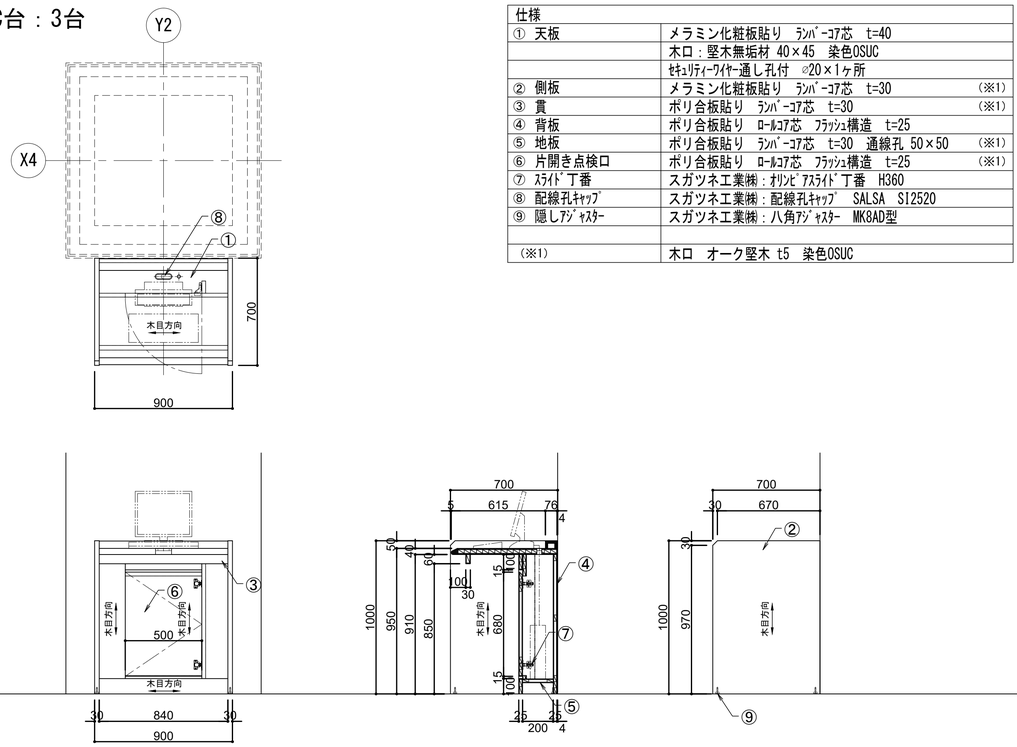
仕様	
① 天板	人工大理石貼り　t=12　下地積層合板芯
	(ｺｰﾘｱﾝ/ﾆｭｰﾄｰﾙｱｸﾞﾘｹﾞｰﾄﾞ程度)
② 側板	メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=25　(※1)
③ 棚板	メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=25　(※1)
④ 背板	メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=25
⑤ 地板	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30　(※1)
⑥ キャスター	スガツネ工業㈱：MFD型　ﾌﾟﾚｰﾄﾀｲﾌﾟ⌀75（内ｽﾄｯﾊﾟｰ付×3ヶ）
(※1)	木口　オーク堅木 t5　染色OSUC



【K3-10b】

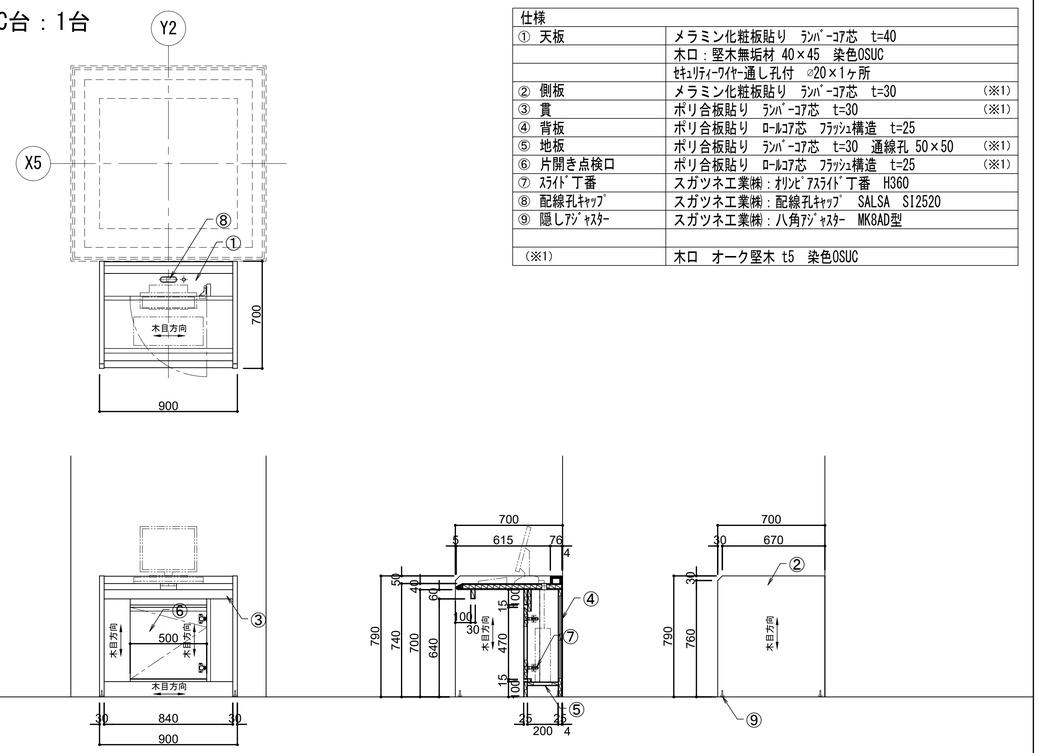
明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto　建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	A	家具詳細図（7）	最終版　2025. 02. 28
	220		見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

【K3-11a】OPAC台：3台



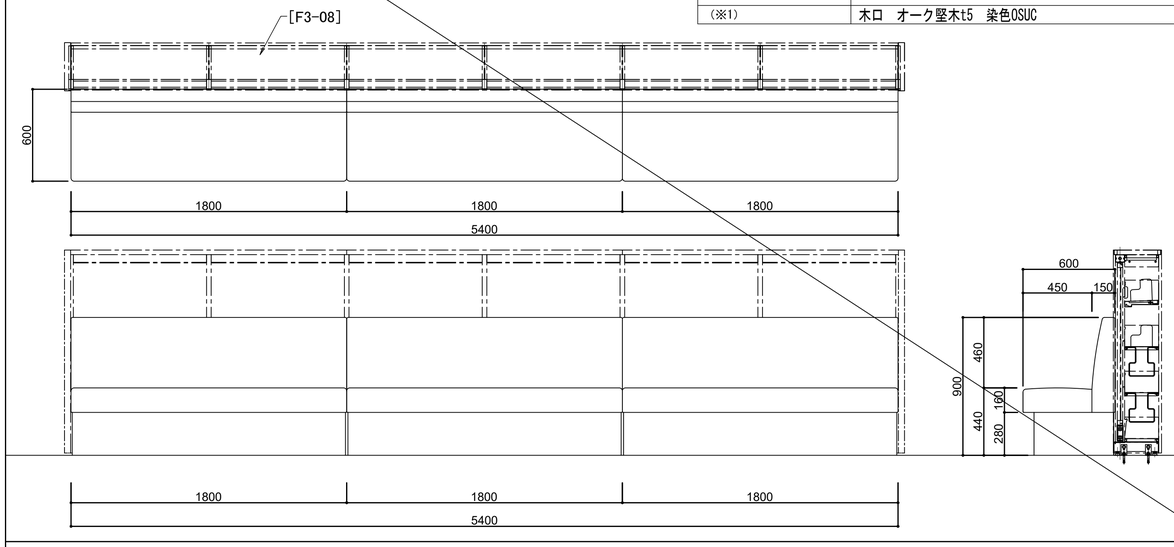
仕様		
① 天板	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=40	
	木口：堅木無垢材 40×45　染色OSUC	
	ｾｷｭﾘﾃｨｰﾜｲﾔｰ通し孔付　⌀20×1ヶ所	
② 側板	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=30	(※1)
③ 貫	ポリ合板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=30	(※1)
④ 背板	ポリ合板貼り　ﾛｰﾙｺｱ芯　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=25	
⑤ 地板	ポリ合板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=30　通線孔 50×50	(※1)
⑥ 片開き点検口	ポリ合板貼り　ﾛｰﾙｺｱ芯　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=25	(※1)
⑦ ｽﾗｲﾄﾞ丁番	スガツネ工業㈱：ｵﾘﾝﾋﾟｱｽﾗｲﾄﾞ丁番　H360	
⑧ 配線孔ｷｬｯﾌﾟ	スガツネ工業㈱：配線孔ｷｬｯﾌﾟ　SALSA　S12520	
⑨ 隠しｱｼﾞｬｽﾀｰ	スガツネ工業㈱：八角ｱｼﾞｬｽﾀｰ　MK8AD型	
(※1)	木口　オーク堅木 t5　染色OSUC	

【K3-11b】OPAC台：1台



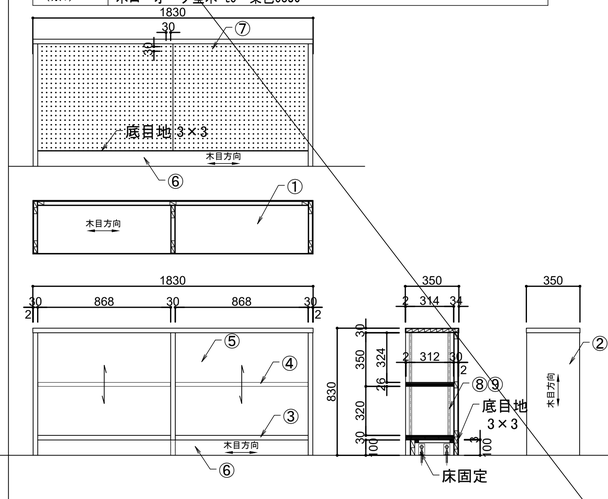
仕様		
① 天板	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=40	
	木口：堅木無垢材 40×45　染色OSUC	
	ｾｷｭﾘﾃｨｰﾜｲﾔｰ通し孔付　⌀20×1ヶ所	
② 側板	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=30	(※1)
③ 貫	ポリ合板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=30	(※1)
④ 背板	ポリ合板貼り　ﾛｰﾙｺｱ芯　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=25	
⑤ 地板	ポリ合板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=30　通線孔 50×50	(※1)
⑥ 片開き点検口	ポリ合板貼り　ﾛｰﾙｺｱ芯　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=25	(※1)
⑦ ｽﾗｲﾄﾞ丁番	スガツネ工業㈱：ｵﾘﾝﾋﾟｱｽﾗｲﾄﾞ丁番　H360	
⑧ 配線孔ｷｬｯﾌﾟ	スガツネ工業㈱：配線孔ｷｬｯﾌﾟ　SALSA　S12520	
⑨ 隠しｱｼﾞｬｽﾀｰ	スガツネ工業㈱：八角ｱｼﾞｬｽﾀｰ　MK8AD型	
(※1)	木口　オーク堅木 t5　染色OSUC	

【K3-12】ソファ：3台



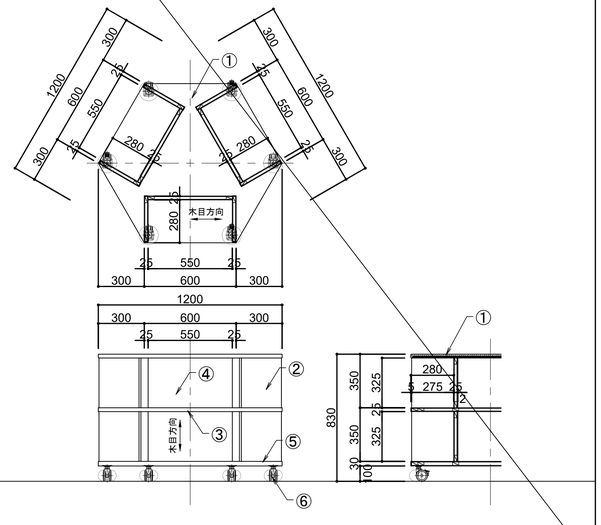
仕様		
メーカー	SOGOKAGU/ボクストンD-A-WNA	
寸法	W:1800×D:600×H:900	
① 背	布張り:ｻﾝｹﾞﾂ　ｱｸｱｸﾘﾝ　ﾆﾄﾗAC程度	
	内部:ｳﾚﾀﾝｸｯｼｮﾝ（※背裏仕上げ有り）	
② 座面	布張り:ｻﾝｹﾞﾂ　ｱｸｱｸﾘﾝ　ﾆﾄﾗAC程度	
	内部:ｳﾚﾀﾝｸｯｼｮﾝ	
③ 巾木	合板　ポリエステル化粧板貼り	
備考	※下部収納・底板付/連結仕様・ｱｼﾞｬｽﾀｰ付き	
(※1)	木口　オーク堅木t5　染色OSUC	

【K3-13a】下足箱：1台



仕様	
① 天板	メラミン化粧板貼り　ランバーコア芯　t=30　(※1)
② 側板	メラミン化粧板貼り　ﾛｰﾙｺｱ芯ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30 (※1)
③ 地板	メラミン化粧板貼り　積層合板芯　t=30　(※1)
④ 棚板	メラミン化粧板貼り　積層合板芯　t=26　(※1)
⑤ 背板	メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30
⑥ 巾木	メラミン化粧板貼り　ランバーコア芯　t=30
⑦ 背板裏	有孔合板　メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30、⌀5mm　上下30mmﾋﾟｯﾁ
⑧ 棚柱	ｽｶﾞﾂﾈ工業(株):SPE-2620
⑨ 棚受	ｽｶﾞﾂﾈ工業(株):SPE-FB20S
(※1)	木口　オーク堅木 t5　染色OSUC

【K3-13b】下足箱：1台

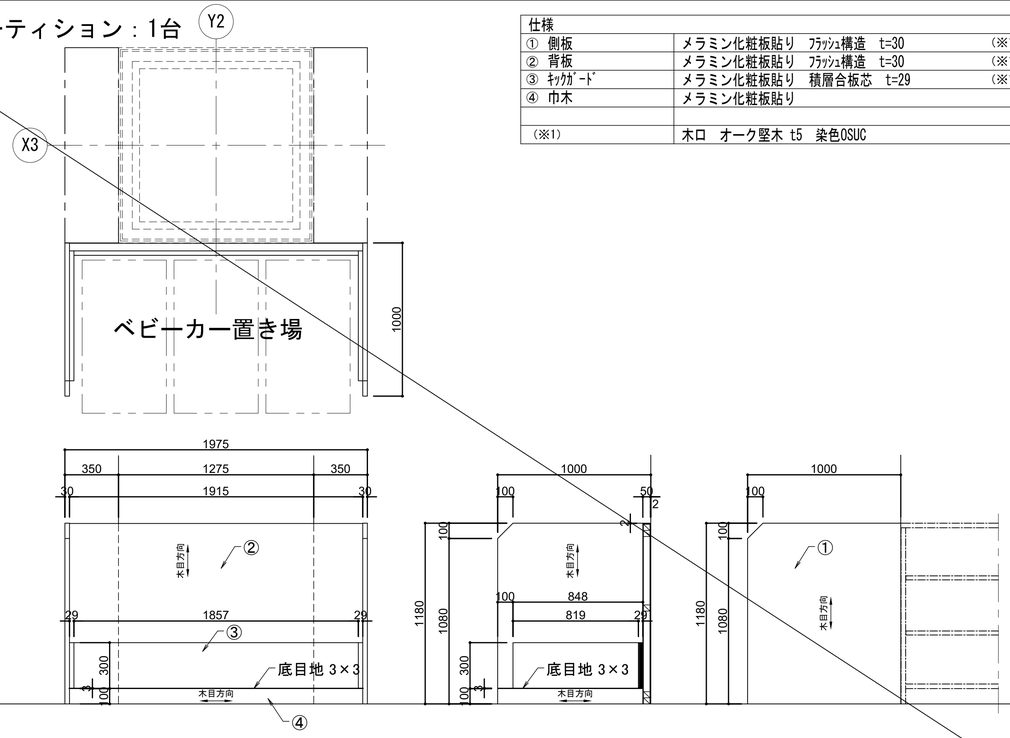


仕様	
① 天板	人工大理石貼り　t=12　下地積層合板芯
	(ﾕｰﾘｱﾝ/ﾆｭｰﾄﾗﾙｱｸﾞﾘｶﾞｰﾄﾞ程度)
② 側板	メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=25　(※1)
③ 棚板	メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=25　(※1)
④ 背板	メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=25
⑤ 地板	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30　(※1)
⑥ キャスター	スガツネ工業㈱：MFD型　ﾌﾟﾚｰﾄﾀｲﾌﾟ⌀75（内ｽﾄｯﾊﾟｰ付×3ヶ）
(※1)	木口　オーク堅木 t5　染色OSUC

明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	A	家具詳細図（8）	最終版　2025. 02. 28
	221		見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

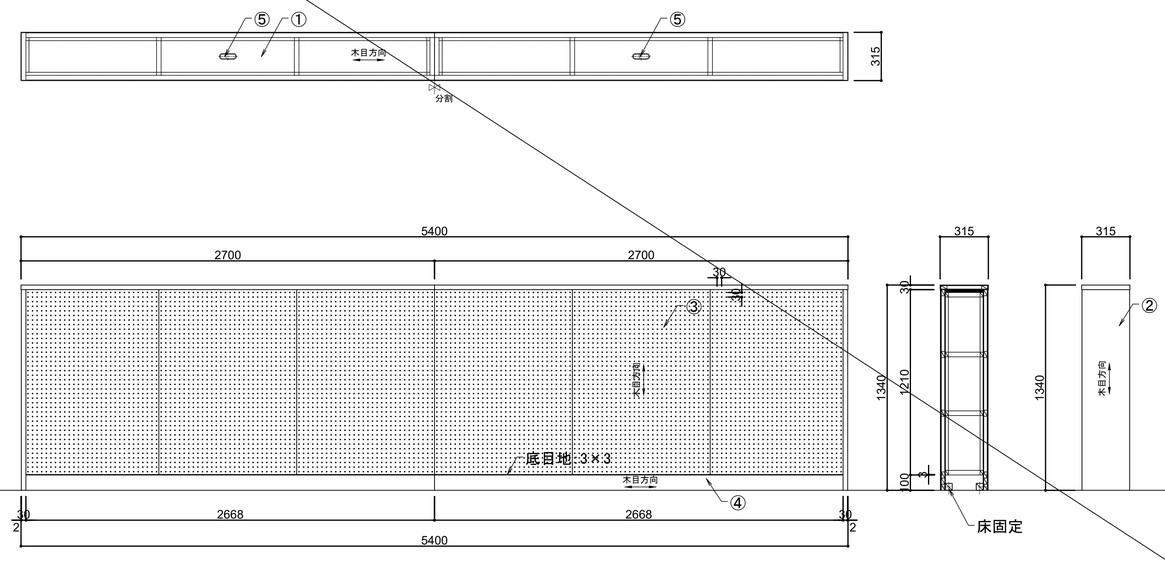
【K3-14】パーティション：1台

仕様		
① 側板	メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30	(※1)
② 背板	メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30	(※1)
③ ｷｯｸﾊﾞｰﾄﾞ	メラミン化粧板貼り　積層合板芯　t=29	(※1)
④ 巾木	メラミン化粧板貼り	
(※1)	木口　オーク堅木 t5　染色OSUC	



【K3-15】間仕切りパーティション：1台

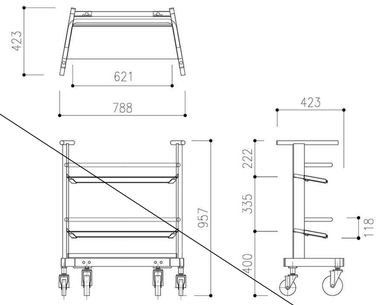
仕様		
① 天板	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=30	(※1)
② 側板	メラミン化粧板貼り　ﾛｰﾙｺｱ芯ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30	(※1)
③ 腰板	有孔合板　メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30	(※1)
	有孔合板　∅5mm　上下30mmﾋﾟｯﾁ	
④ 巾木	メラミン化粧板貼り　ランバーコア芯　t=30	
⑤ 配線孔	スガツネ工業㈱：配線孔ｷｬｯﾌﾟ　SALSA　SI2520	
(※1)	木口　オーク堅木t5　染色OSUC	



【K3-16】ブックトラック：8台

仕様	
メーカー	ｷｬﾊﾗ/ﾈｽﾃｨﾝｸﾞﾌﾞｯｸﾄﾗｯｸ/(466-141)
寸法	W788×D423×H957
① 本体	ｽﾁｰﾙ粉体塗装
	積載量:100kg　重量:約20kg
② ｷｬｽﾀｰ	100∅・125∅ｷｬｽﾀｰ（静音ﾀｲﾌﾟ）
	1段あたり約21冊収納(棚内寸法:W621)





【K3-17ab】踏台a：2台、踏台b:4台

仕様:a	
メーカー	長谷川工業/踏台/CAMBER DE2.0-4B
寸法	W600×D830×H960　天板高さ:H790
① 本体	ｱﾙﾐ　ｶﾗｰｱﾙﾏｲﾄ
	耐荷重:100kg　重量:12.5kg
	ｷｬｽﾀｰ付
仕様:b	
メーカー	長谷川工業/踏台/CAMBER DE2.0-2B
寸法	W510×D560×H650　天板高さ:H410
① 本体	ｱﾙﾐ　ｶﾗｰｱﾙﾏｲﾄ
	耐荷重:100kg　重量:8kg
	ｷｬｽﾀｰ付



【K3-17a】踏台a

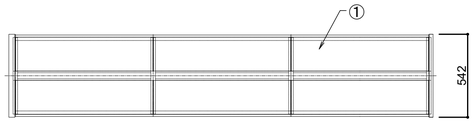


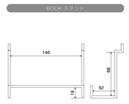
【K3-17b】踏台b

明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto　建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	A	家具詳細図（9）	最終版　2025. 02. 28
	222		見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

2025. 02. 28

【F3-01a】中置書架/複式3連4段：4台

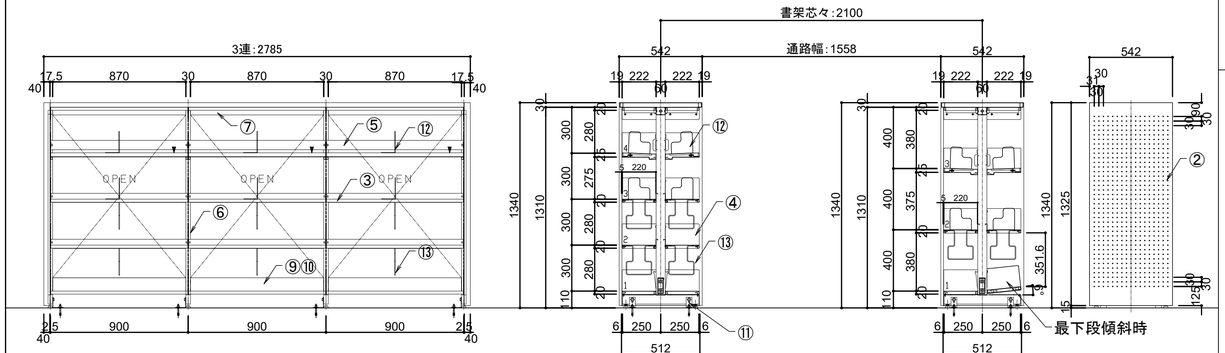




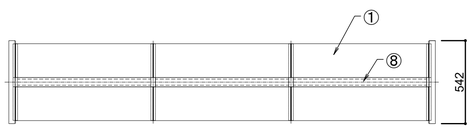
既製品BOOKスタンド
1台につき6個

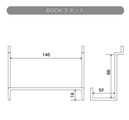
仕様　（棚板はＢ５判仕様）	
① 天板	スチール t=1.0　塗装:焼付塗装(基準色)
② 側板	スチール t=1.0　塗装:焼付塗装(基準色)
	パンチング　φ5mm　上下30mmピッチ
③ 棚板	スチール t=1.0　塗装:焼付塗装(基準色)
④ 袖板	スチール t=1.6　塗装:焼付塗装(基準色)
⑤ 背当たり	スチール t=0.8　塗装:焼付塗装(基準色)
⑥ 支柱	ロ-30×60×2.3 引抜鋼管　塗装:焼付塗装(基準色)
⑦ 柱接ぎ(上)	スチール C-60×50×1.6　塗装:焼付塗装(基準色)
⑨ 柱接ぎ(下)	スチール C-108×38×2.3　塗装:焼付塗装(基準色)
⑩ 柱接ぎ(下)カバー	スチール t=0.8　塗装:焼付塗装(基準色)
⑪ 床固定金物	スチール t=2.3　塗装:焼付塗装(基準色)
⑫ ブックエンド	スチール t=1.0　塗装:焼付塗装(基準色)
⑬ ブックサポート	硬鋼線材　Φ5　塗装:クロムメッキ仕上げ

▼傾斜スライド棚



【F3-02】中置書架/複式3連6段：7台

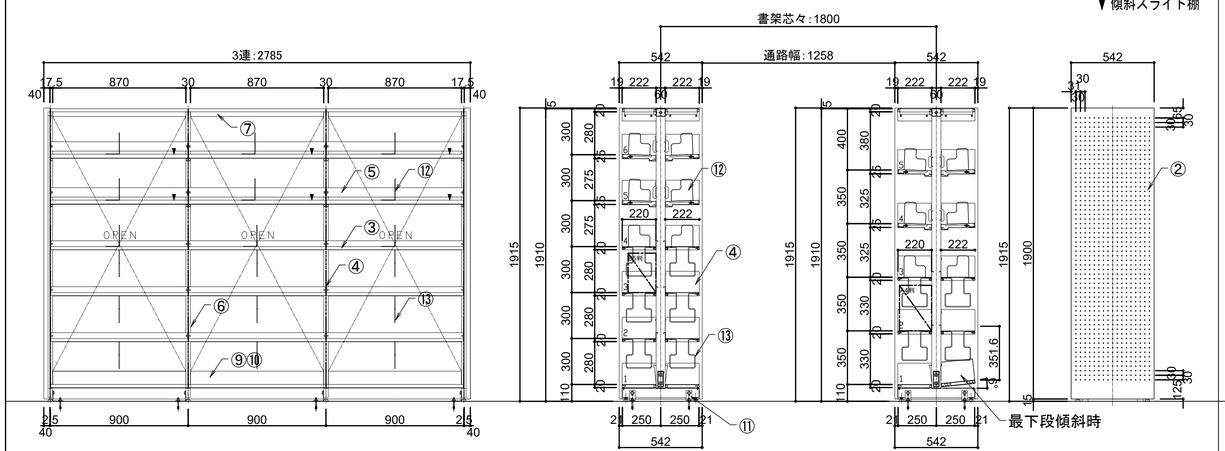




既製品BOOKスタンド
1台につき6個

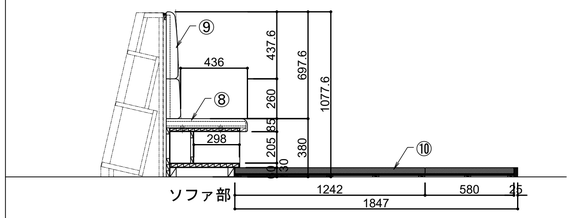
仕様　（棚板はＢ５判仕様）	
① 天板（棚板仕様）	スチール t=1.0　塗装:焼付塗装(指定色)
② 側板	スチール t=1.0　塗装:焼付塗装(指定色)
	パンチング　φ5mm　上下30mmピッチ
③ 棚板	スチール t=1.0　塗装:焼付塗装(指定色)
④ 袖板	スチール t=1.6　塗装:焼付塗装(指定色)
⑤ 背当たり	スチール t=0.8　塗装:焼付塗装指定色)
⑥ 支柱	ロ-30×60×2.3 引抜鋼管　塗装:焼付塗装(指定色)
⑦ 柱接ぎ(上)	スチール C-60×50×1.6　塗装:焼付塗装(指定色)
⑧ 柱接ぎ(上)カバー	スチール t=0.8　塗装:焼付塗装(指定色)
⑨ 柱接ぎ(下)	スチール C-108×38×2.3　塗装:焼付塗装(指定色)
⑩ 柱接ぎ(下)カバー	スチール t=0.8　塗装:焼付塗装(指定色)
⑪ 床固定金物	スチール t=2.3　塗装:焼付塗装(指定色)　1連ずつ固定
⑫ ブックエンド	スチール t=1.0　塗装:焼付塗装(指定色)
⑬ ブックサポート	硬鋼線材　Φ5　塗装:クロムメッキ仕上げ

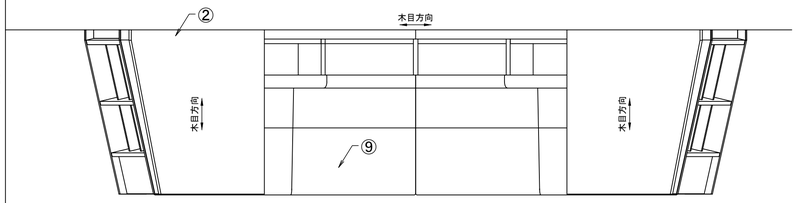
▼傾斜スライド棚

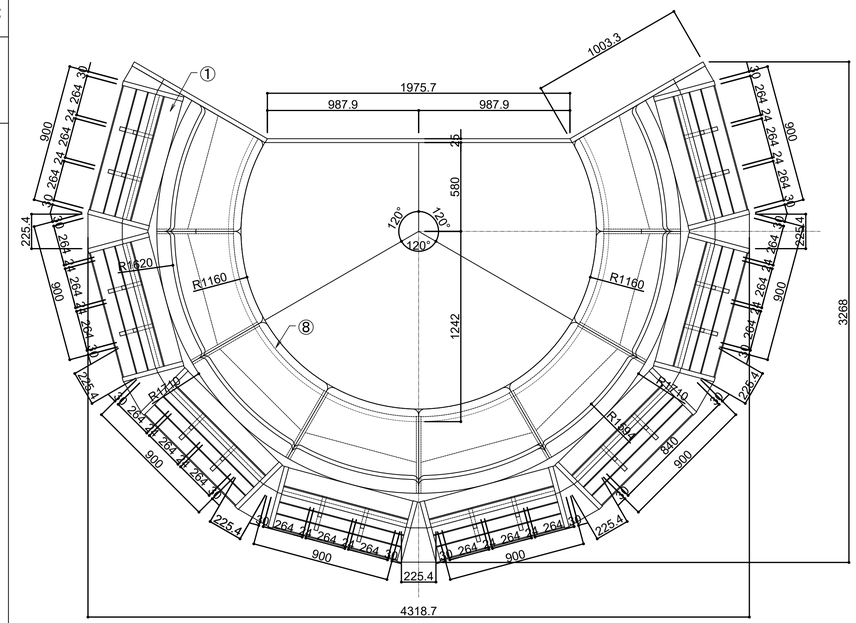


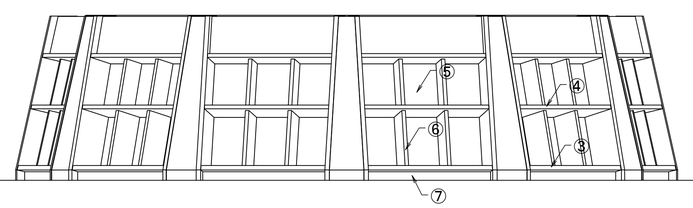
【F3-01b】中置円形書架/単式8連3段+内側ソファ：1台

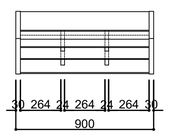
仕様		
① 天板	メラミン化粧板貼り　ランバーコア芯　t=30	(※1)
② 側板	メラミン化粧板貼り　ロールコア芯フラッシュ構造　t=30	(※1)
③ 地板	メラミン化粧板貼り　ランバーコア芯　t=30	(※1)
④ 棚板	メラミン化粧板貼り　ランバーコア芯　t=25	(※1)
⑤ 背板	メラミン化粧板貼り　フラッシュ構造　t=30	
⑥ 棚仕切板	メラミン化粧板貼り　ランバーコア芯　t=24	(※1)
⑦ 巾木	メラミン化粧板貼り　ランバーコア芯　t=30	
⑧ 座面	布張り　サンゲツ　アクアクリン　ニトラＡＣ程度	
	内部　ウレタンクッション	
⑨ 背	布張り　サンゲツ　アクアクリン　ニトラＡＣ程度	
	内部　ウレタンクッション	
⑩ マット	積層合板　t=12下地　框/オーク材　t=25　染色OSUC	
	マット部　硬質ｳﾚﾀﾝ下地+ﾋﾞﾆｰﾚﾚｻﾞｰ（指定色）	
（※1）	木口　オーク堅木 t5　染色OSUC	

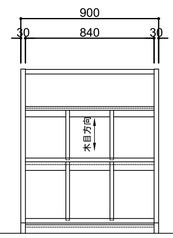




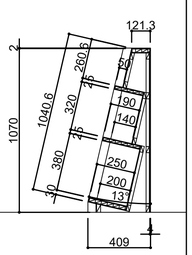








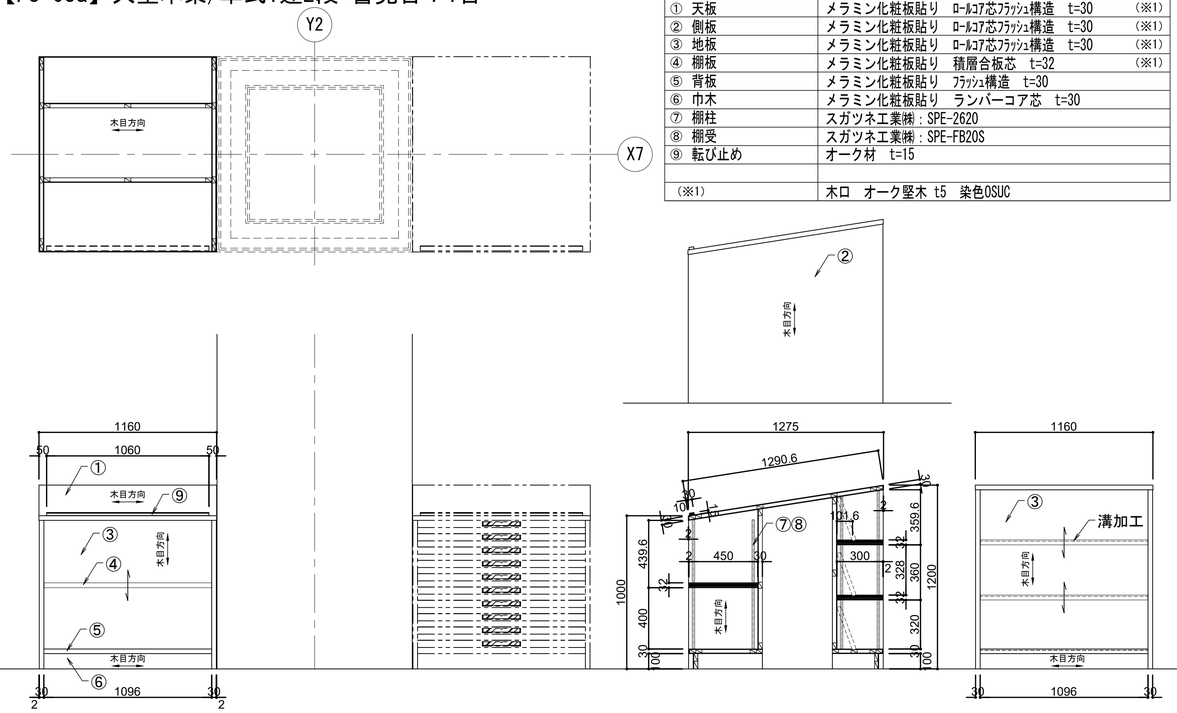
収納棚部



明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto　建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	A	家具詳細図（10）	最終版　2025. 02. 28
	223		見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

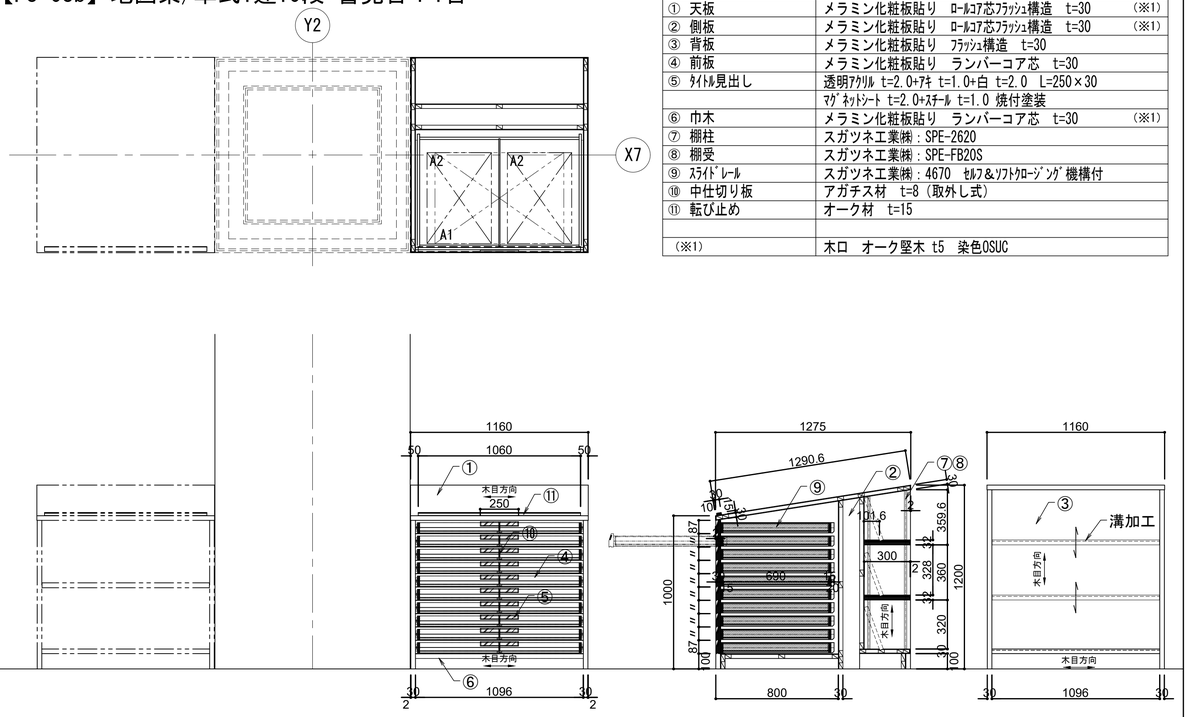
【F3-03a】大型本架/単式1連2段+書見台：1台

仕様		
① 天板	メラミン化粧板貼り　ﾛｰﾙｺｱ芯ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30	(※1)
② 側板	メラミン化粧板貼り　ﾛｰﾙｺｱ芯ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30	(※1)
③ 地板	メラミン化粧板貼り　ﾛｰﾙｺｱ芯ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30	(※1)
④ 棚板	メラミン化粧板貼り　積層合板芯　t=32	(※1)
⑤ 背板	メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30	
⑥ 巾木	メラミン化粧板貼り　ランバーコア芯　t=30	
⑦ 棚柱	スガツネ工業㈱：SPE-2620	
⑧ 棚受	スガツネ工業㈱：SPE-FB20S	
⑨ 転び止め	オーク材　t=15	
(※1)	木口　オーク堅木 t5　染色OSUC	

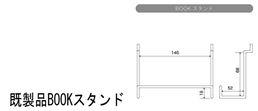


【F3-03b】地図架/単式1連10段+書見台：1台

仕様		
① 天板	メラミン化粧板貼り　ﾛｰﾙｺｱ芯ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30	(※1)
② 側板	メラミン化粧板貼り　ﾛｰﾙｺｱ芯ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30	(※1)
③ 背板	メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30	
④ 前板	メラミン化粧板貼り　ランバーコア芯　t=30	
⑤ ﾀｲﾄﾙ見出し	透明ｱｸﾘﾙ t=2.0+ｱｸﾘ t=1.0+白 t=2.0　L=250×30	
	ﾏｸﾞﾈｯﾄｼｰﾄ t=2.0+ｽﾁｰﾙ t=1.0 焼付塗装	
⑥ 巾木	メラミン化粧板貼り　ランバーコア芯　t=30	(※1)
⑦ 棚柱	スガツネ工業㈱：SPE-2620	
⑧ 棚受	スガツネ工業㈱：SPE-FB20S	
⑨ ｽﾗｲﾄﾞﾚｰﾙ	スガツネ工業㈱：4670　ｾﾙﾌ&ｿﾌﾄｸﾛｰｼﾞﾝｸﾞ機構付	
⑩ 中仕切り板	アガチス材　t=8（取外し式）	
⑪ 転び止め	オーク材　t=15	
(※1)	木口　オーク堅木 t5　染色OSUC	

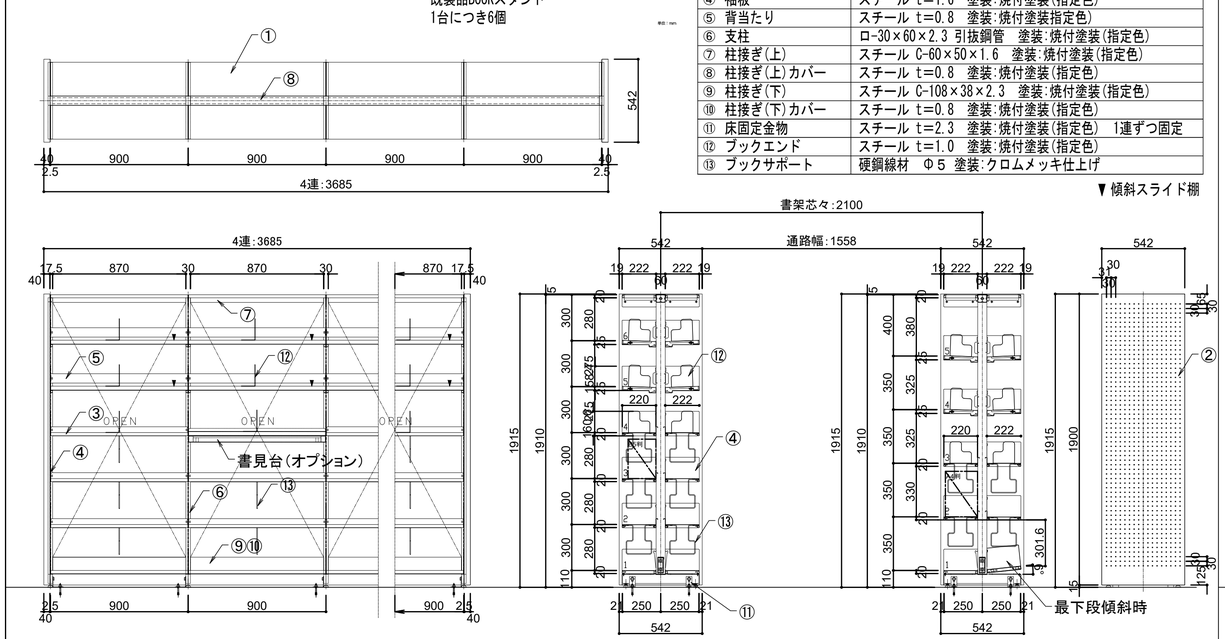


【F3-04】中置書架/複式4連6段：5台



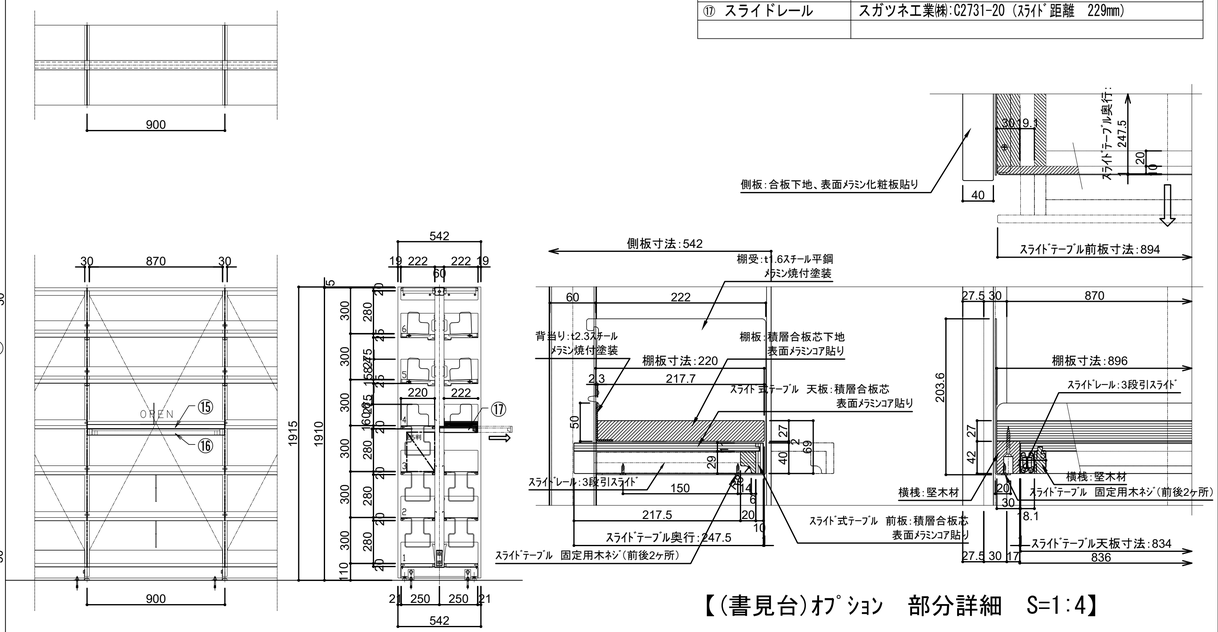
仕様　（棚板はB５判仕様）		
① 天板（棚板仕様）	スチール t=1.0　塗装:焼付塗装(指定色)	
② 側板	スチール t=1.0　塗装:焼付塗装(指定色)	
	パンチング　φ5mm　上下30mmピッチ	
③ 棚板	スチール t=1.0　塗装:焼付塗装(指定色)	
④ 袖板	スチール t=1.6　塗装:焼付塗装(指定色)	
⑤ 背当たり	スチール t=0.8　塗装:焼付塗装指定色)	
⑥ 支柱	ロ-30×60×2.3 引抜鋼管　塗装:焼付塗装(指定色)	
⑦ 柱接ぎ(上)	スチール C-60×50×1.6　塗装:焼付塗装(指定色)	
⑧ 柱接ぎ(上)カバー	スチール t=0.8　塗装:焼付塗装(指定色)	
⑨ 柱接ぎ(下)	スチール C-108×38×2.3　塗装:焼付塗装(指定色)	
⑩ 柱接ぎ(下)カバー	スチール t=0.8　塗装:焼付塗装(指定色)	
⑪ 床固定金物	スチール t=2.3　塗装:焼付塗装(指定色)　1連ずつ固定	
⑫ ブックエンド	スチール t=1.0　塗装:焼付塗装(指定色)	
⑬ ブックサポート	硬鋼線材　Φ5　塗装:クロムメッキ仕上げ	

▼傾斜スライド棚



【F3-02・04】中置書架/書見台ｵﾌﾟｼｮﾝ部分詳細：20個所

仕様　（棚板はB５判仕様）	
※1：①～⑭	F3-04と同仕様
⑮ 書見台用棚板	メラミン化粧板貼り　ランバーコア芯　t=40
	木口:堅木無垢材　塗装:UC塗装
⑯ 書見台用スライド棚	メラミン化粧板貼り　ランバーコア芯　t=40
	木口:堅木無垢材　塗装:UC塗装
⑰ スライドレール	スガツネ工業㈱:C2731-20（ｽﾗｲﾄﾞ距離　229mm）

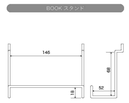


【(書見台)ｵﾌﾟｼｮﾝ　部分詳細　S=1:4】

明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto　建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	A	家具詳細図（11）	最終版　2025. 02. 28
	224		見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

2025. 02. 28

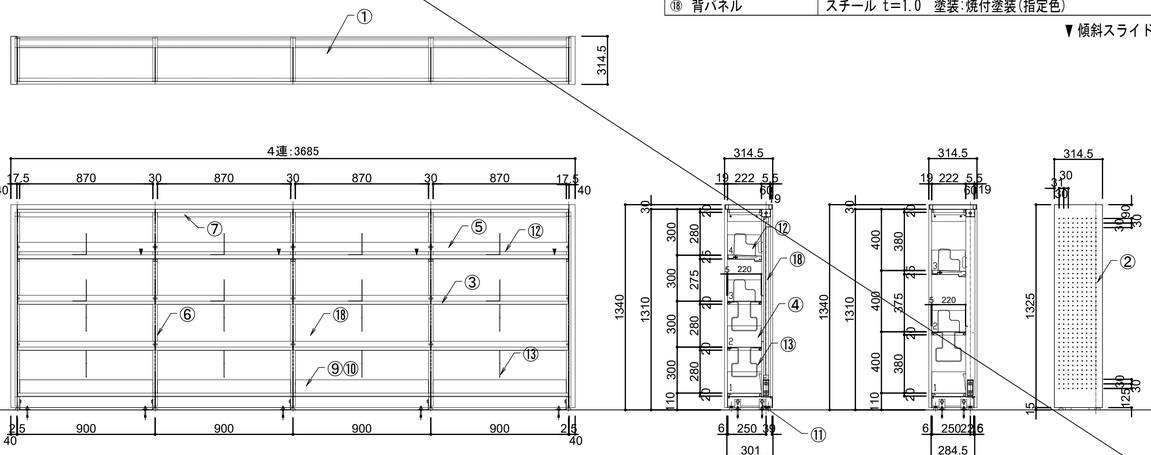
【F3-05】中置書架/単式4連4段：1台



既製品BOOKスタンド
1台につき6個

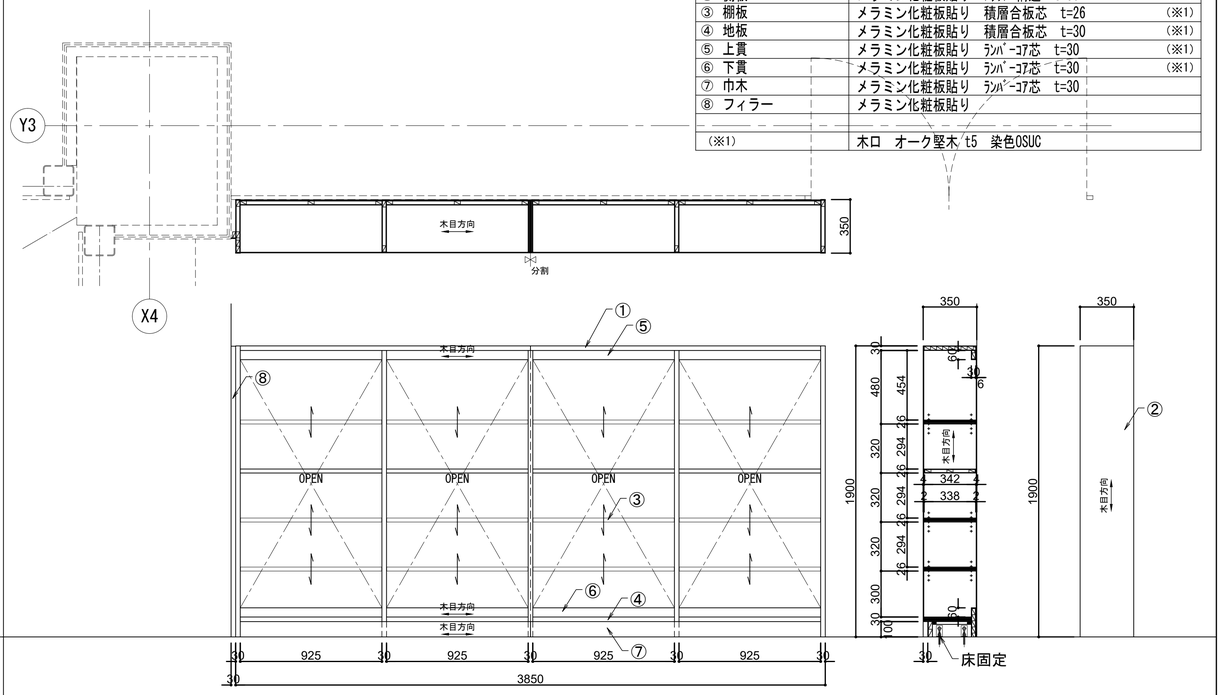
仕様　（棚板はＢ５判仕様）	
① 天板	スチール t=1.0　塗装:焼付塗装(指定色)
② 側板	スチール t=1.0　塗装:焼付塗装(指定色)
	パンチング　φ5mm　上下30mmピッチ
③ 棚板	スチール t=1.0　塗装:焼付塗装(指定色)
④ 袖板	スチール t=1.6　塗装:焼付塗装(指定色)
⑤ 背当たり	スチール t=0.8　塗装:焼付塗装(指定色)
⑥ 支柱	ロ-30×60×2.3 引抜鋼管　塗装:焼付塗装(指定色)
⑦ 柱接ぎ(上)	スチール C-60×50×1.6　塗装:焼付塗装(指定色)
⑨ 柱接ぎ(下)	スチール C-108×38×2.3　塗装:焼付塗装(指定色)
⑩ 柱接ぎ(下)カバー	スチール t=0.8　塗装:焼付塗装(指定色)
⑪ 床固定金物	スチール t=2.3　塗装:焼付塗装(指定色)　1連ずつ固定
⑫ ブックエンド	スチール t=1.0　塗装:焼付塗装(指定色)
⑬ ブックサポート	硬鋼線材　Φ５　塗装:クロムメッキ仕上げ
⑱ 背パネル	スチール t=1.0　塗装:焼付塗装(指定色)

▼傾斜スライド棚



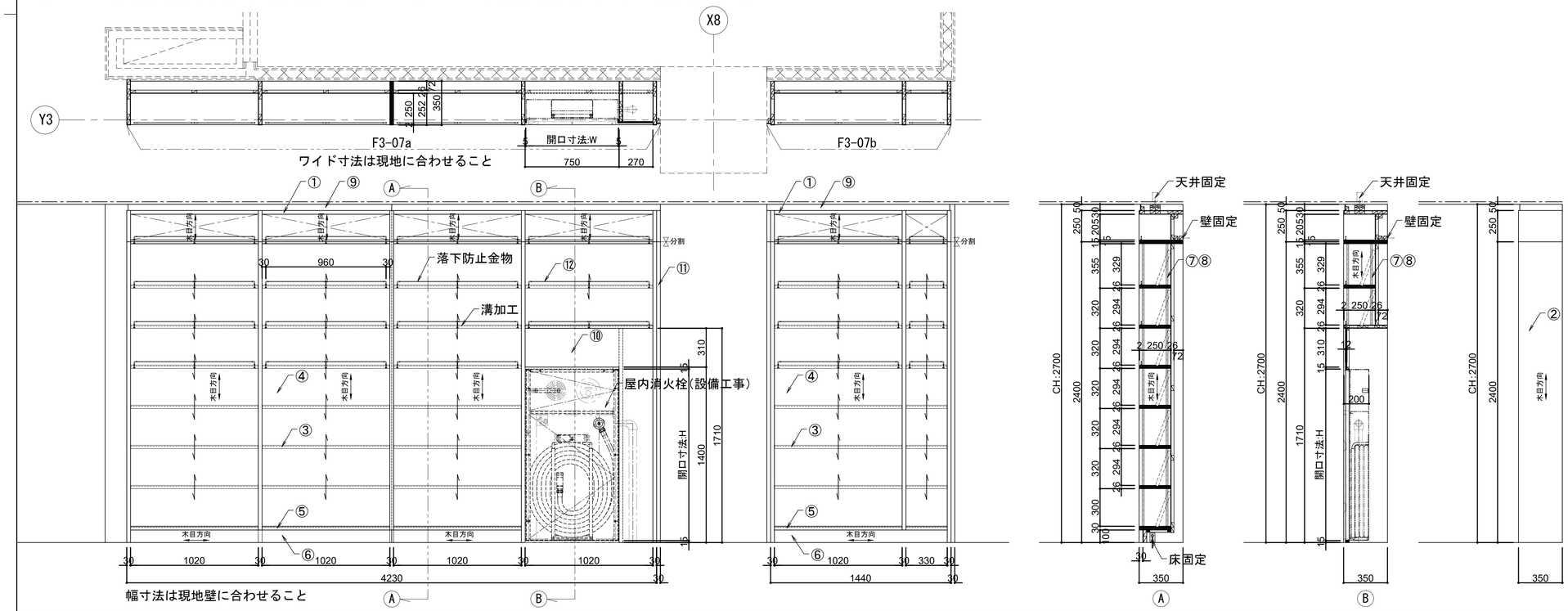
【F3-06】壁面書架/単式4連5段：1台

仕様		
① 天板	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=30	(※1)
② 側板	メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30	(※1)
③ 棚板	メラミン化粧板貼り　積層合板芯　t=26	(※1)
④ 地板	メラミン化粧板貼り　積層合板芯　t=30	(※1)
⑤ 上貫	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=30	(※1)
⑥ 下貫	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=30	(※1)
⑦ 巾木	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=30	
⑧ フィラー	メラミン化粧板貼り	
(※1)	木口　オーク堅木 t5　染色OSUC	



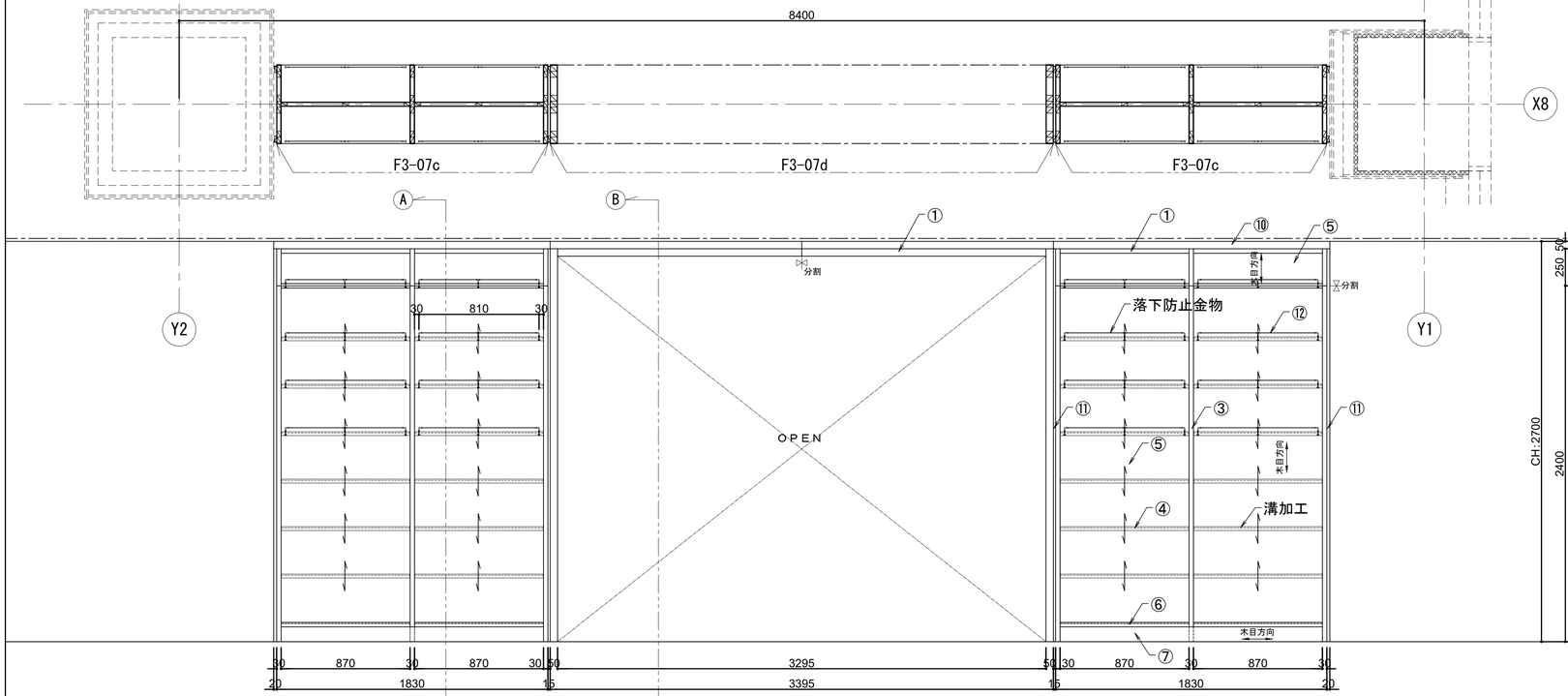
【F3-07a】壁面書架/単式4連8段：1台　　【F3-07b】壁面書架/単式1.5連8段：1台

仕様		
① 天板	メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30	(※1)
② 側板	メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30	(※1)
③ 棚板	メラミン化粧板貼り　積層合板芯　t=26	(※1)
④ 背板	メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30	
⑤ 地板	メラミン化粧板貼り　積層合板芯　t=30	(※1)
⑥ 巾木	メラミン化粧板貼り　ランバーコア芯　t=30	(※1)
⑦ 棚柱	スガツネ工業㈱：SPE-2620	
⑧ 棚受	スガツネ工業㈱：SPE-FB20S	
⑨ 幕板	メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造	
⑩ FIXﾊﾟﾈﾙ	メラミン化粧板貼り　積層合板芯　t=12	
⑪ フィラー	メラミン化粧板貼り	
⑫ 落下防止金物	ROYAL:KL/KO-180/K-4S/KN 30mm・35mm　黒/半艶　H-30	
(※1)	木口　オーク堅木 t5　染色OSUC	



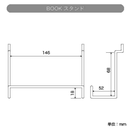
明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto　建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	A	家具詳細図（12）	最終版　2025. 02. 28
	225		見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

【F3-07c】中置書架/複式2連7段：4台　【F3-07d】中置書架/通路門：2台



仕様　（棚板はＢ５判仕様）		
① 天板	メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30	(※1)
② 側板	メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30	(※1)
③ 中仕切板	メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30	(※1)
④ 棚板	メラミン化粧板貼り　積層合板芯　t=26	(※1)
⑤ 背板	メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30	
⑥ 地板	メラミン化粧板貼り　積層合板芯　t=30	(※1)
⑦ 巾木	メラミン化粧板貼り　ランバーコア芯　t=30	
⑧ 棚柱	スガツネ工業㈱：SPE-2620	
⑨ 棚受	スガツネ工業㈱：SPE-FB20S	
⑩ 幕板	メラミン化粧板貼り	
⑪ フィラー	メラミン化粧板貼り	
⑫ 落下防止金物	ROYAL:KL/KO-180/K-4S/KN 30mm・35mm　黒/半艶　H=30	
（※1）	木口　オーク堅木 t5　染色OSUC	

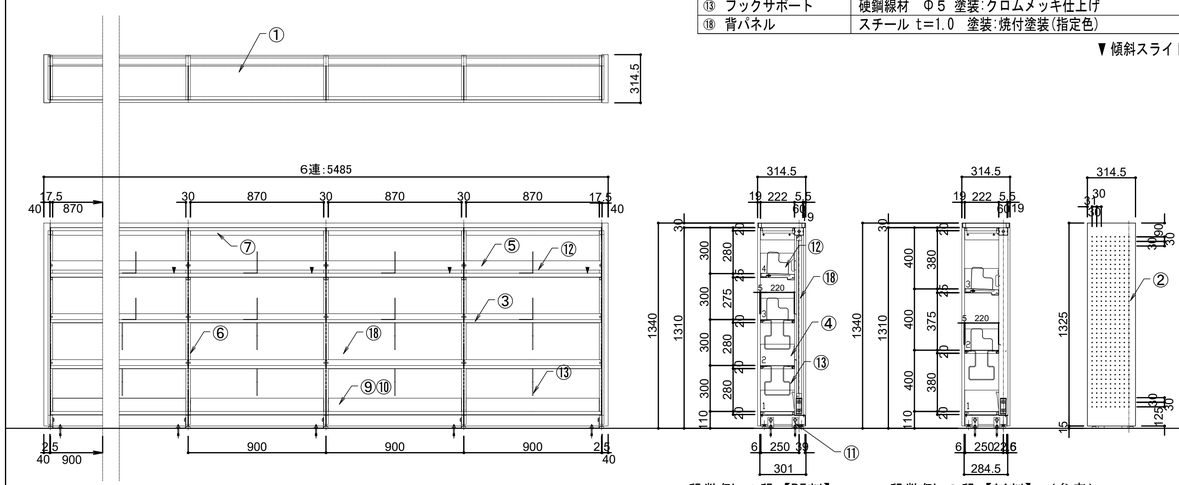
【F3-08】中置書架/単式6連4段：1台



既製品BOOKスタンド
1台につき6個

仕様　（棚板はＢ５判仕様）	
① 天板	スチール t=1.0　塗装:焼付塗装(指定色)
② 側板	スチール t=1.0　塗装:焼付塗装(指定色)
	パンチング　φ5mm　上下30mmピッチ
③ 棚板	スチール t=1.0　塗装:焼付塗装(指定色)
④ 袖板	スチール t=1.6　塗装:焼付塗装(指定色)
⑤ 背当たり	スチール t=0.8　塗装:焼付塗装(指定色)
⑥ 支柱	ロ-30×60×2.3 引抜鋼管　塗装:焼付塗装(指定色)
⑦ 柱接ぎ(上)	スチール C-60×50×1.6　塗装:焼付塗装(指定色)
⑨ 柱接ぎ(下)	スチール C-108×38×2.3　塗装:焼付塗装(指定色)
⑩ 柱接ぎ(下)カバー	スチール t=0.8　塗装:焼付塗装(指定色)
⑪ 床固定金物	スチール t=2.3　塗装:焼付塗装(指定色)　1連ずつ固定
⑫ ブックエンド	スチール t=1.0　塗装:焼付塗装(指定色)
⑬ ブックサポート	硬鋼線材　Φ5　塗装:クロムメッキ仕上げ
⑱ 背パネル	スチール t=1.0　塗装:焼付塗装(指定色)

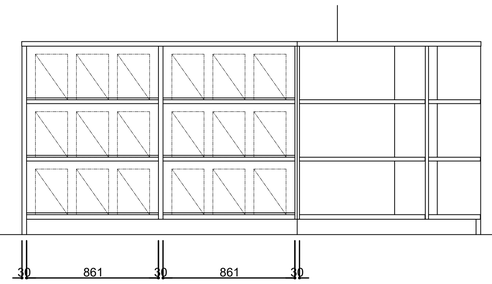
▼傾斜スライド棚



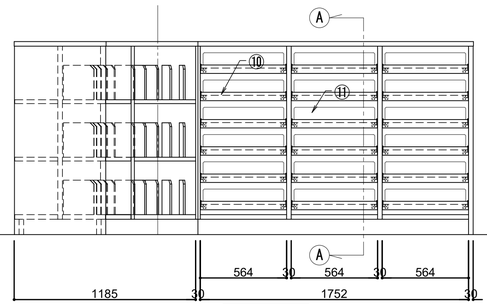
明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto　建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	A	家具詳細図（13）	最終版　2025. 02. 28
	226		見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

【F3-09a】新聞架+新聞収納棚：1台　【F3-09b】雑誌架：2台

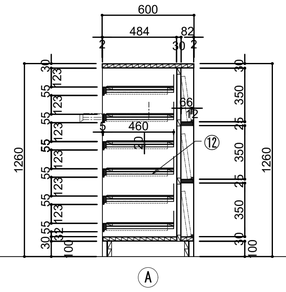
仕様		
① 天板	メラミン化粧板貼り　ランバーコア芯　t=30	(※1)
② 側板	メラミン化粧板貼り　ﾛｰﾙｺｱ芯ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30	(※1)
③ 地板	メラミン化粧板貼り　ランバーコア芯　t=30	(※1)
④ 棚板	メラミン化粧板貼り　ランバーコア芯　t=25	(※1)
⑤ 背板	メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30	
⑥ 巾木	メラミン化粧板貼り　ランバーコア芯　t=30	
⑦ 雑誌架跳上棚	メラミン化粧板貼り　ランバーコア芯　t=24	(※1)
⑧ 雑誌架跳上棚受	スチール t=3.0　塗装:焼付塗装(基準色)	
⑨ 雑誌架跳上棚レール	野口ハードウェアー　GKビス止めフラップレール280mm	
⑩ 新聞収納棚	メラミン化粧板貼り　ランバーコア芯　t=24	
⑪ 新聞収納棚背当たり	スチール t=1.2　塗装:焼付塗装(基準色)	
⑫ 新聞収納棚ｽﾗｲﾄﾞﾚｰﾙ	スガツネ工業㈱:C2731-40SC (ｽﾗｲﾄﾞ距離　426mm)	
(※1)	木口　オーク堅木 t5　染色OSUC	

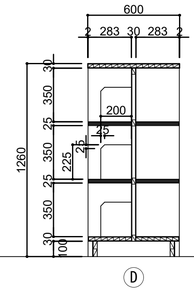


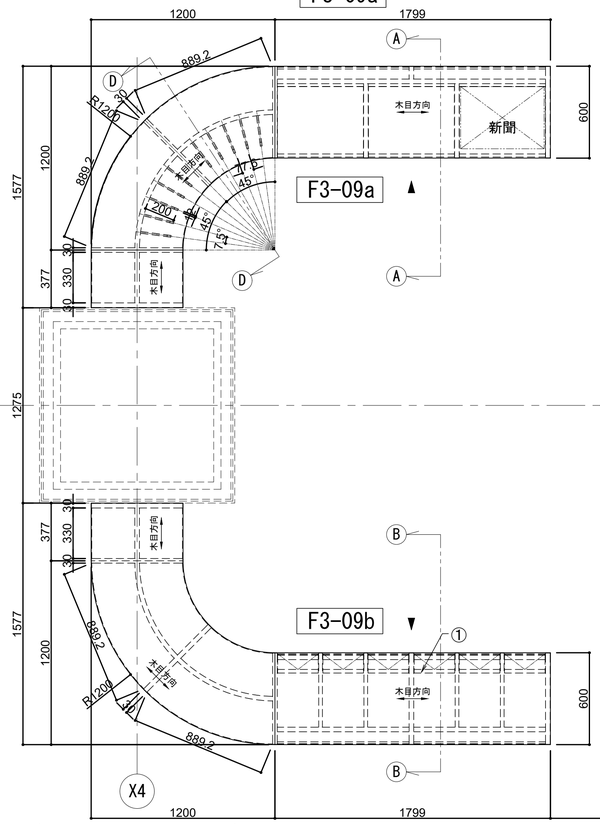
F3-08a



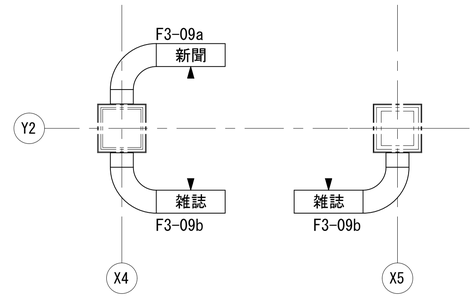
F3-09a

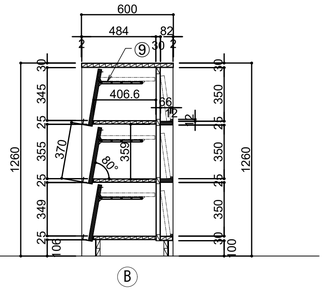


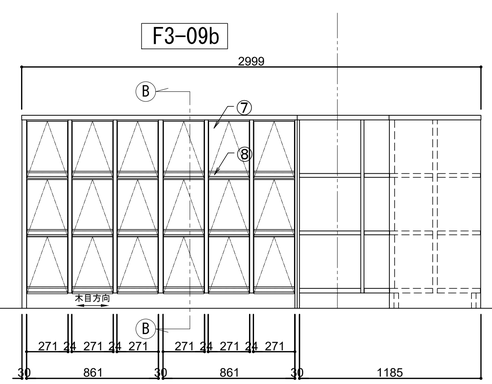


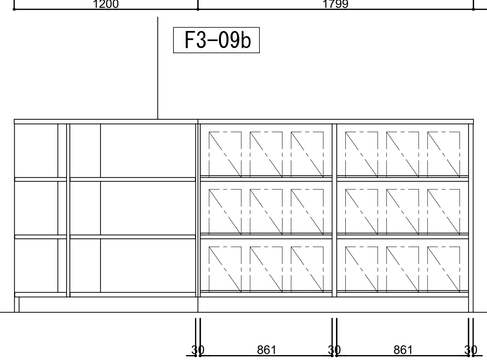


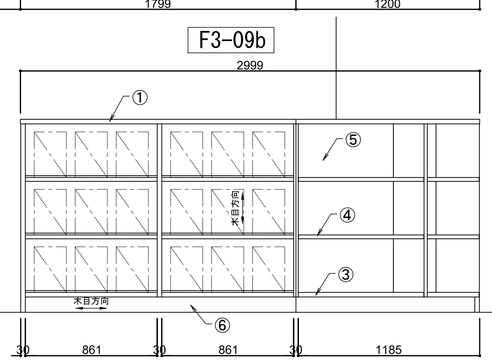
F3-09a

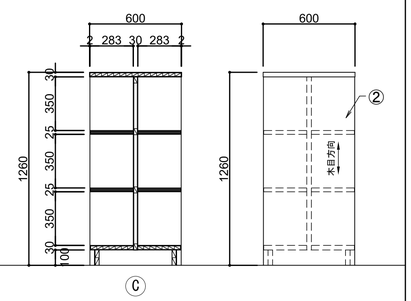








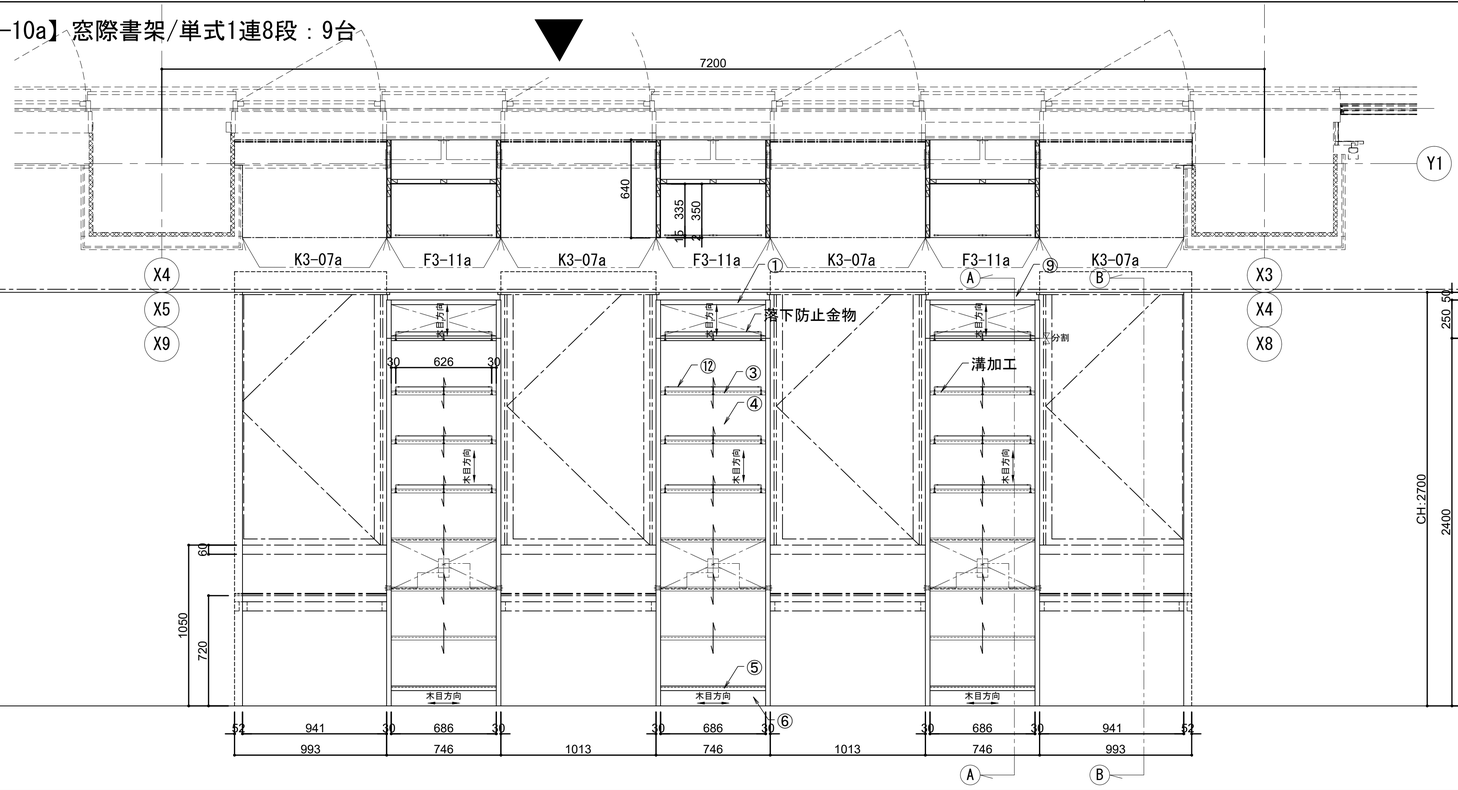




明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto　建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	A	家具詳細図（14）	最終版　2025. 02. 28
	227		見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

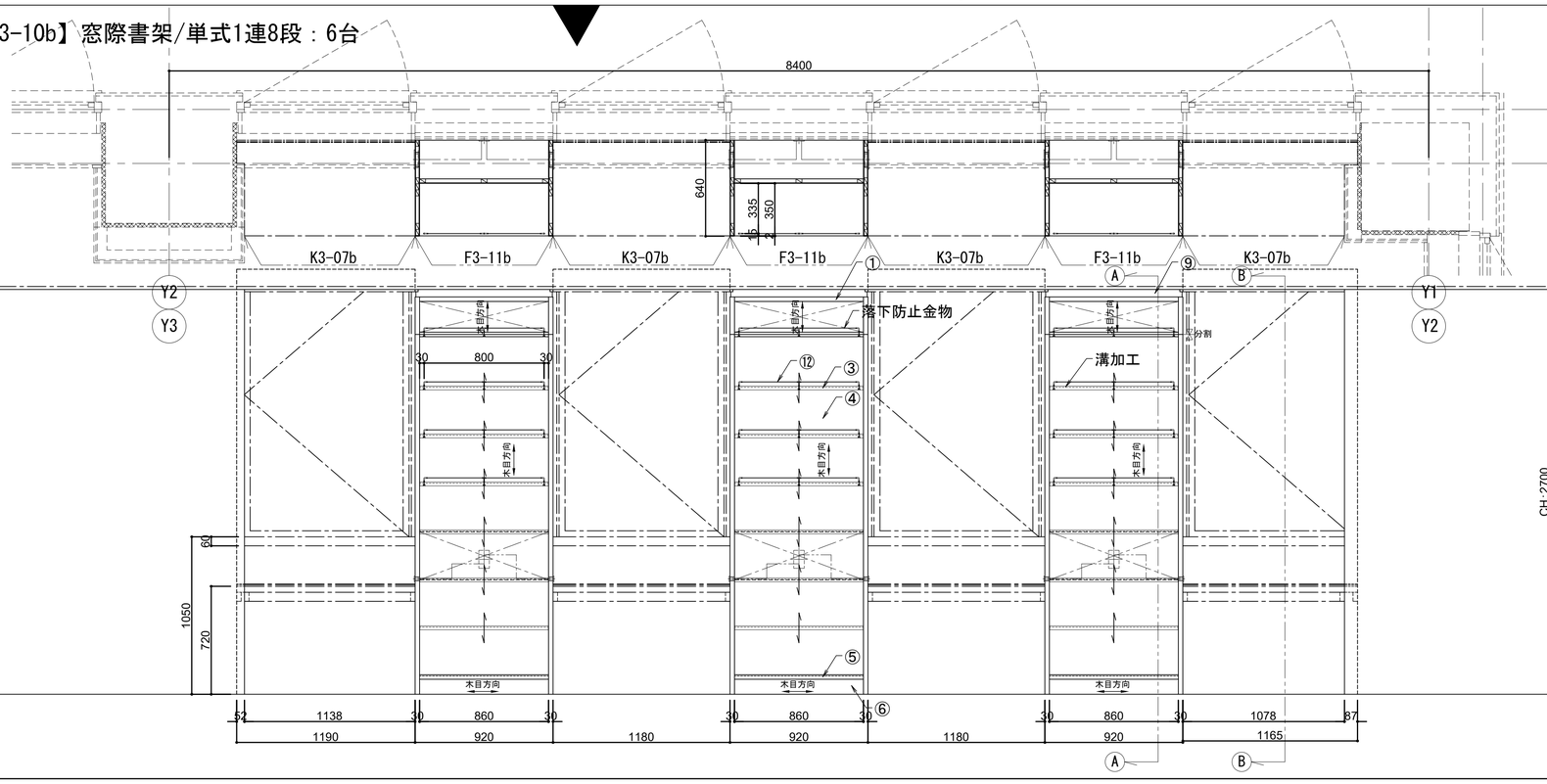
2025. 02. 28

【F3-10a】窓際書架/単式1連8段：9台



仕様		
① 天板	メラミン化粧板貼り フラッシュ構造 t=30	(※1)
② 側板	メラミン化粧板貼り フラッシュ構造 t=30	(※1)
③ 棚板	メラミン化粧板貼り 積層合板芯 t=26	(※1)
④ 背板	メラミン化粧板貼り フラッシュ構造 t=30	
⑤ 地板	メラミン化粧板貼り 積層合板芯 t=30	(※1)
⑥ 巾木	メラミン化粧板貼り ランバーコア芯 t=30	(※1)
⑦ 棚柱	スガツネ工業㈱：SPE-2620	
⑧ 棚受	スガツネ工業㈱：SPE-FB20S	
⑨ 幕板	メラミン化粧板貼り フラッシュ構造	
⑩ ｺﾝｾﾝﾄﾌﾟﾚｰﾄ	神保電器㈱：SLPN機器用ﾌﾟﾚｰﾄ(ﾁｮｺ) SLPN-2UP-C(2口用)	
⑪ ｺﾝｾﾝﾄ	神保電器㈱：ｼﾝｸﾞﾙ JEC-BN-5-C(ﾁｮｺ)	
⑫ 落下防止金物	ROYAL:KL/KO-180/K-4S/KN 30mm・35mm 黒/半艶 H=30	
(※1)	木口 オーク堅木 t5 染色OSUC	

【F3-10b】窓際書架/単式1連8段：6台

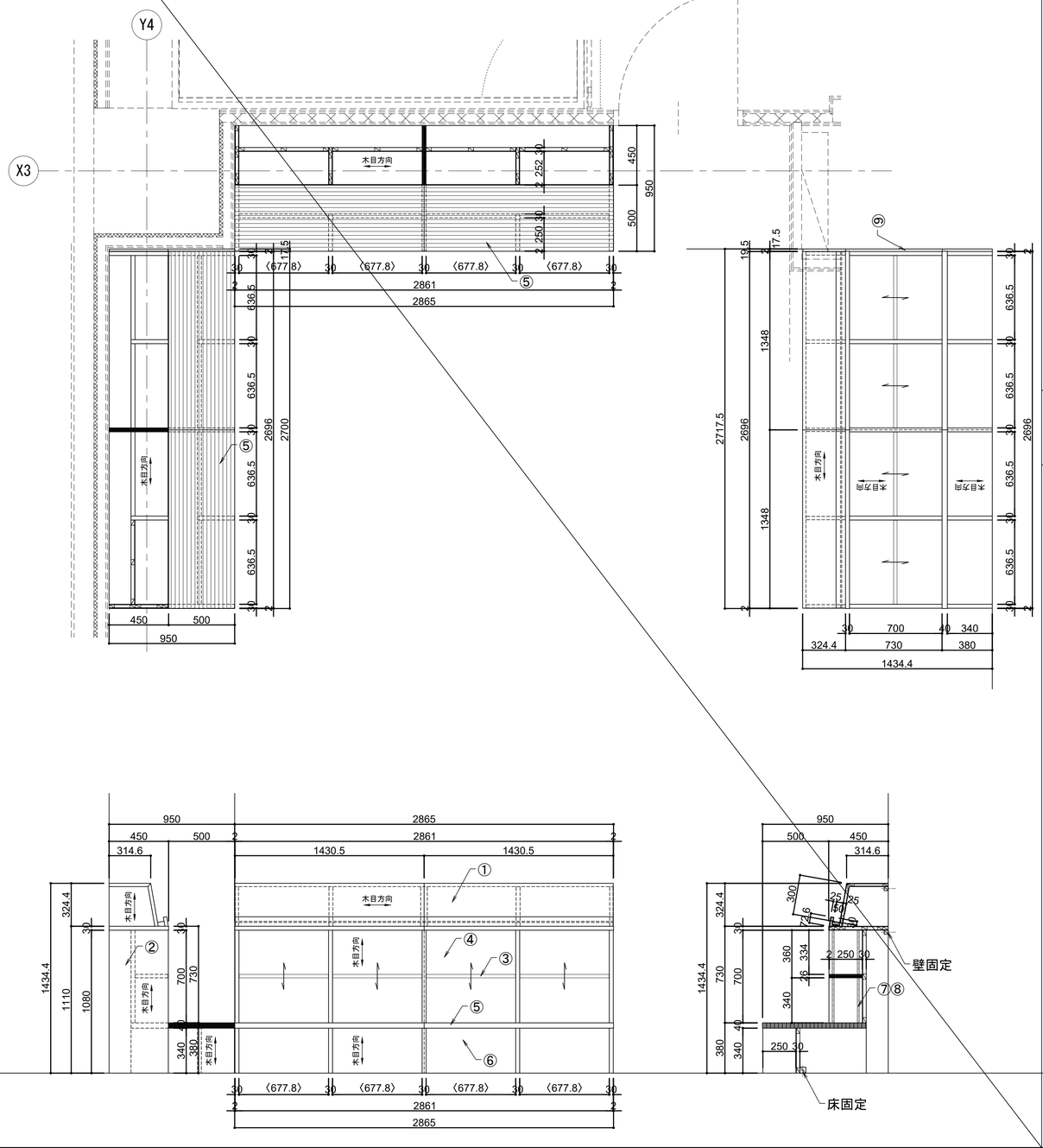


仕様		
① 天板	メラミン化粧板貼り フラッシュ構造 t=30	(※1)
② 側板	メラミン化粧板貼り フラッシュ構造 t=30	(※1)
③ 棚板	メラミン化粧板貼り 積層合板芯 t=26	(※1)
④ 背板	メラミン化粧板貼り フラッシュ構造 t=30	
⑤ 地板	メラミン化粧板貼り 積層合板芯 t=30	(※1)
⑥ 巾木	メラミン化粧板貼り ランバーコア芯 t=30	(※1)
⑦ 棚柱	スガツネ工業㈱：SPE-2620	
⑧ 棚受	スガツネ工業㈱：SPE-FB20S	
⑨ 幕板	メラミン化粧板貼り フラッシュ構造	
⑩ ｺﾝｾﾝﾄﾌﾟﾚｰﾄ	神保電器㈱：SLPN機器用ﾌﾟﾚｰﾄ(ﾁｮｺ) SLPN-2UP-C(2口用)	
⑪ ｺﾝｾﾝﾄ	神保電器㈱：ｼﾝｸﾞﾙ JEC-BN-5-C(ﾁｮｺ)	
⑫ 落下防止金物	ROYAL:KL/KO-180/K-4S/KN 30mm・35mm 黒/半艶 H=30	
(※1)	木口 オーク堅木 t5 染色OSUC	

明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	家具詳細図（15）	最終版 2025. 02. 28
	228		見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

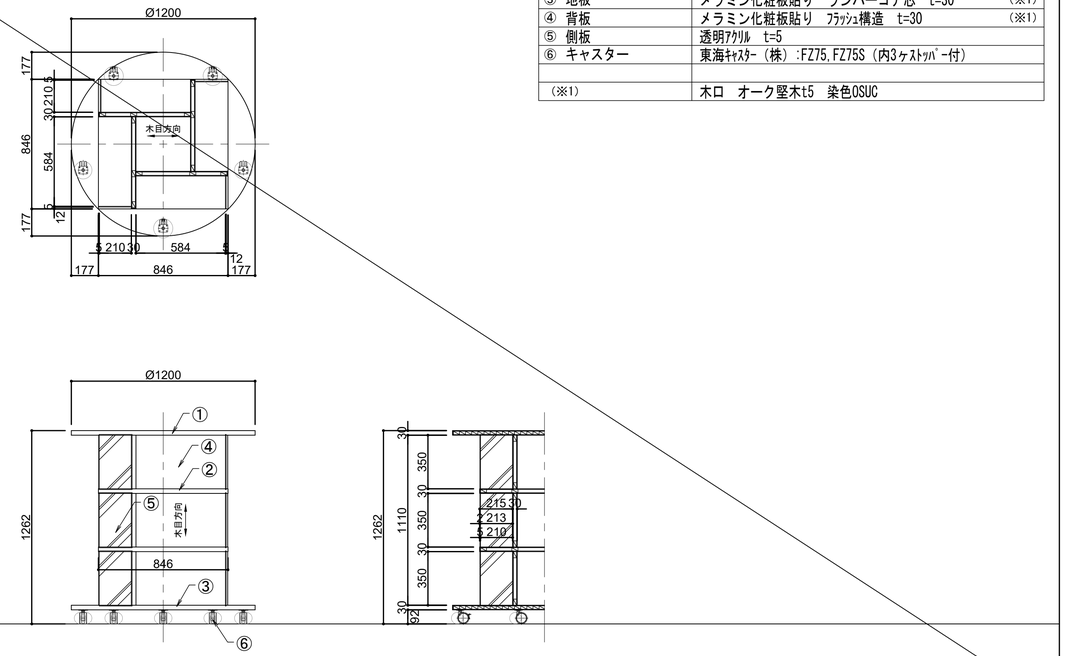
【F3-11】壁面絵本架/単式4連2段 上部展示：2台

仕様		
①	上部展示部天板	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=25　(※1)
②	側板	メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30　(※1)
③	棚板	メラミン化粧板貼り　積層合板芯　t=26　(※1)
④	背板	メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30
⑤	中天板	オーク集成材　t=40　塗装：染色OSUC
⑥	下部背板	メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30
⑦	棚柱	スガツネ工業㈱：SPE-2620
⑧	棚受	スガツネ工業㈱：SPE-FB20S
⑨	フィラー	メラミン化粧板貼り
(※1)		木口　オーク堅木 t5　染色OSUC



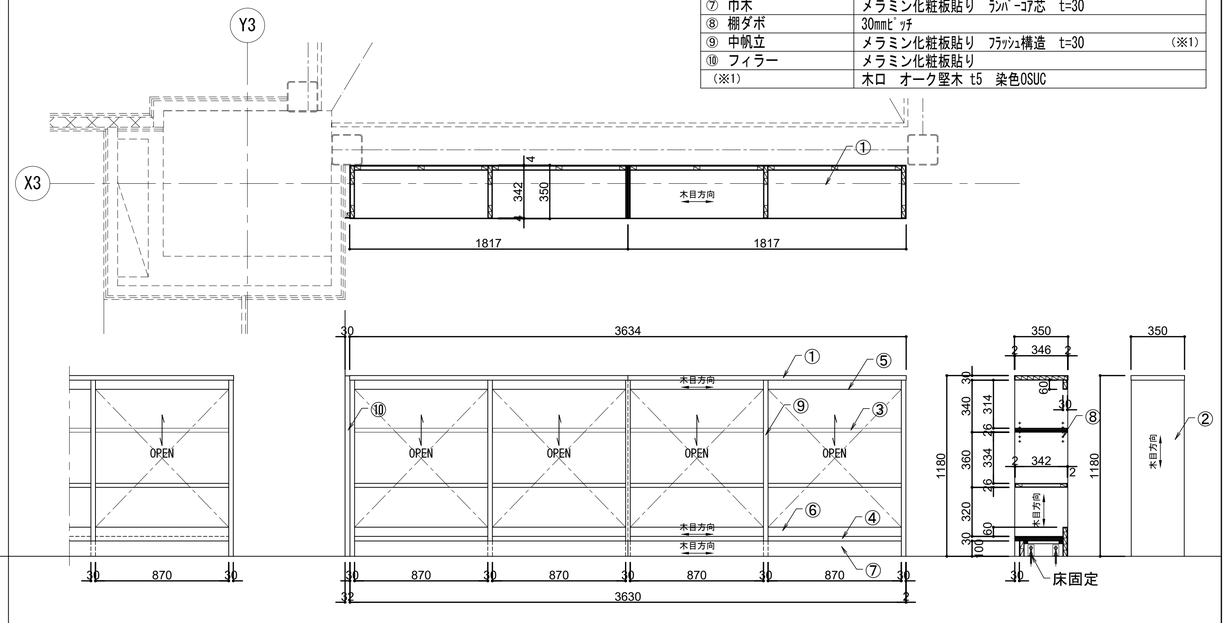
【F3-12】可動本棚：2台

仕様		
①	天板	メラミン化粧板貼り　ランバーコア芯　t=30　(※1)
②	棚板	メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30　(※1)
③	地板	メラミン化粧板貼り　ランバーコア芯　t=30　(※1)
④	背板	メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30　(※1)
⑤	側板	透明ｱｸﾘﾙ　t=5
⑥	キャスター	東海ｷｬｽﾀｰ（株）：FZ75,FZ75S（内3ｹｽﾄｯﾊﾟｰ付）
(※1)		木口　オーク堅木t5　染色OSUC



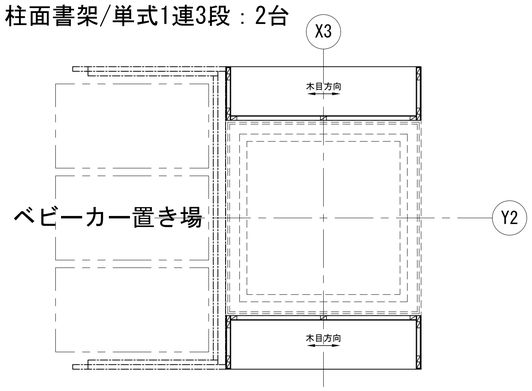
【F3-13】壁面書架/単式4連3段：1台

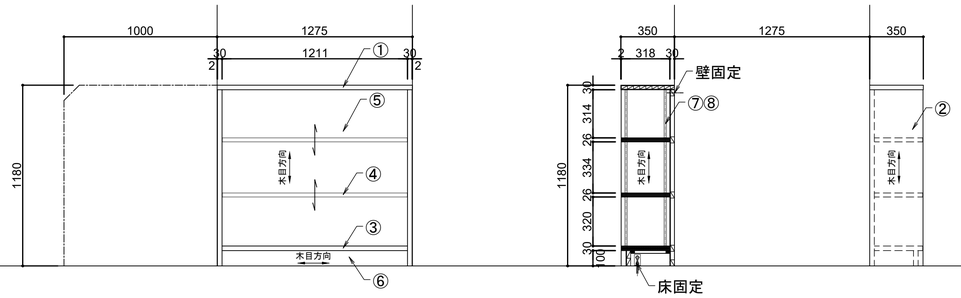
仕様		
①	天板	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=30　(※1)
②	側板	メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30　(※1)
③	棚板	メラミン化粧板貼り　積層合板芯　t=26　背当り付き (※1)
④	地板	メラミン化粧板貼り　積層合板芯　t=30　(※1)
⑤	上貫	メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30　(※1)
⑥	下貫	メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30　(※1)
⑦	巾木	メラミン化粧板貼り　ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ芯　t=30
⑧	棚ダボ	30mmﾋﾟｯﾁ
⑨	中帆立	メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30　(※1)
⑩	フィラー	メラミン化粧板貼り
(※1)		木口　オーク堅木 t5　染色OSUC



明石市政策局　プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	A	家具詳細図（16）	最終版	2025. 02. 28
	229		見積版	2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版	

【F3-14】柱面書架/単式1連3段：2台





仕様		
①	天板	メラミン化粧板貼り　ランバーコア芯　t=30　(※1)
②	側板	メラミン化粧板貼り　ﾛｰﾙｺｱ芯ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30　(※1)
③	地板	メラミン化粧板貼り　ランバーコア芯　t=30　(※1)
④	棚板	メラミン化粧板貼り　積層合板芯　t=26　(※1)
⑤	背板	メラミン化粧板貼り　ﾌﾗｯｼｭ構造　t=30
⑥	巾木	メラミン化粧板貼り　ランバーコア芯　t=30
⑦	棚柱	スガツネ工業㈱：SPE-2620
⑧	棚受	スガツネ工業㈱：SPE-FB20S
(※1)		木口　オーク堅木 t5　染色OSUC

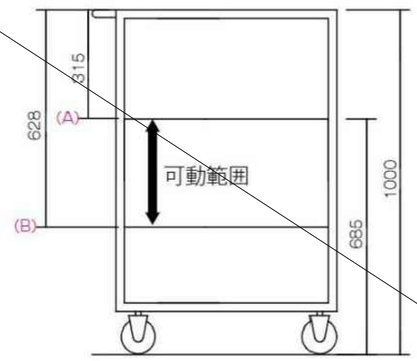
【F3-15】ブックリターンポスト：1台



仕様:	
メーカー	キハラ/ブックリターンポストL Ⅱ スプリング式 同等品
寸法	W754×D850×H1454
本体	スチール（粉体塗装：粘着シート貼）
	ｷｬｽﾀｰ付
備考	3Fに設置（未ブロット）

【F3-16】ブックリターンカート：1台





仕様:	
メーカー	金剛/BP03 同等品
寸法	W625×D685×H1000
本体	スチール（焼付塗装：指定色）
	荷重沈下装置
	φ100ｷｬｽﾀｰ付
備考	1F返却ポストに設置

明石市政策局 プロジェクト推進室

西明石地域交流センター icotto 建設工事

〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号
森　雅章

A
230

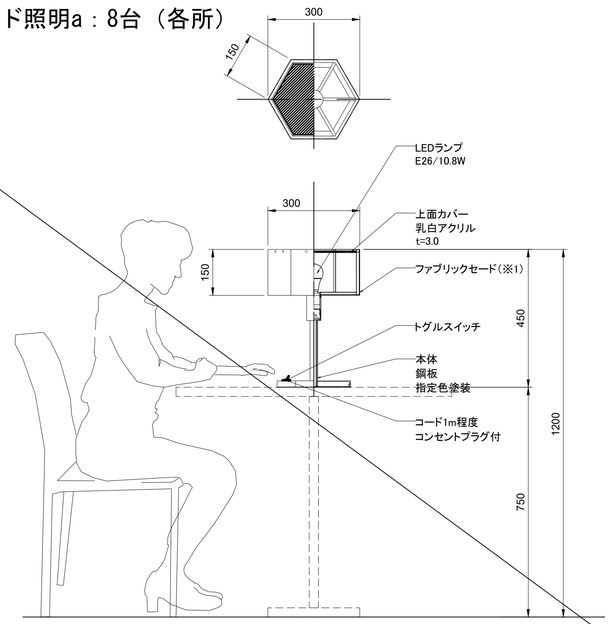
家具詳細図（17）

最終版　2025. 02. 28
見積版　2024. 12. 16

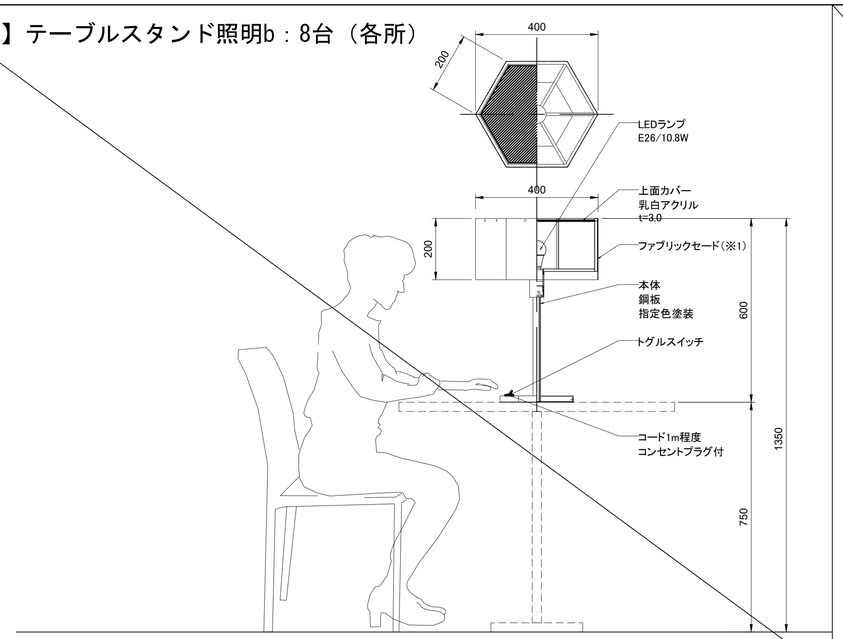
安井建築設計事務所

最終契約版

【T1a】テーブルスタンド照明a：8台（各所）



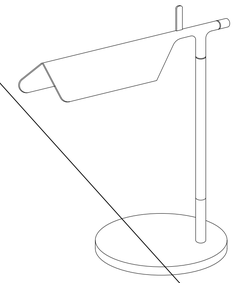
【T1b】テーブルスタンド照明b：8台（各所）



【ST1】デスクスタンド照明：26台（各所）

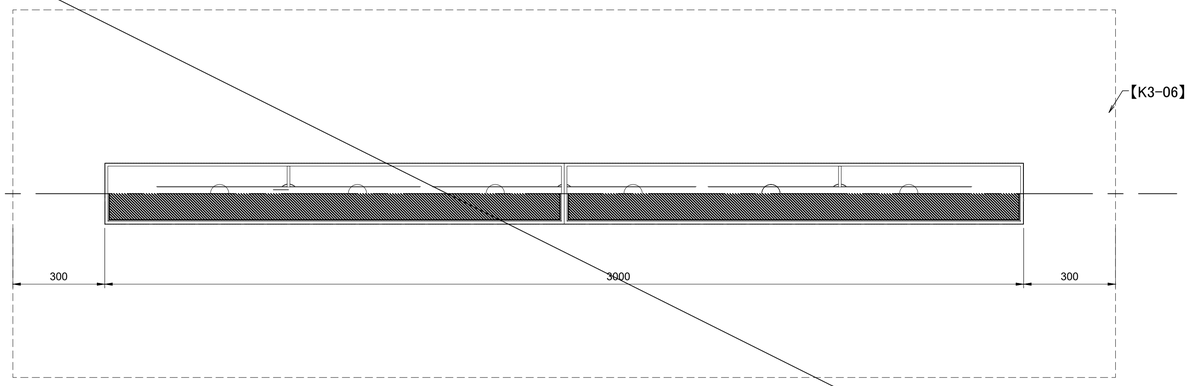
FLOS/756TAB/T/LED/BLK

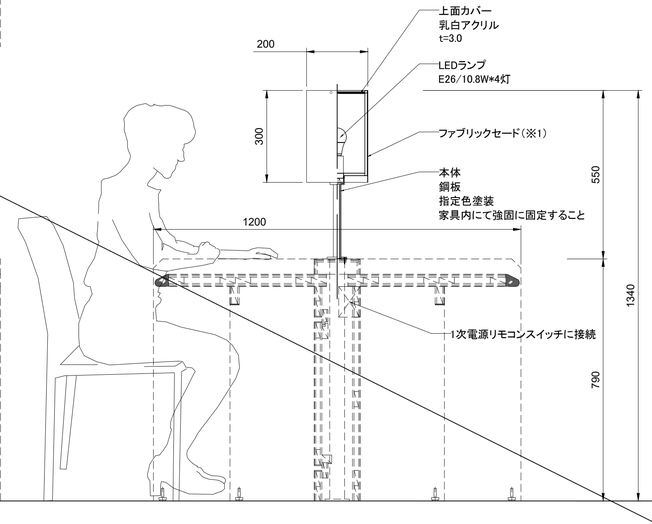
LED 7W（3000K）347lm　Ra90



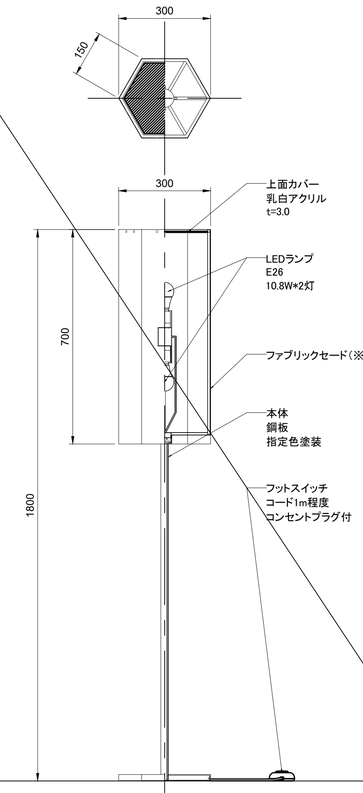
高・327 巾・273 奥・175mm 質量・1.0kg
アルミダイキャスト塗装仕上 アクリル
中間調光スイッチ付（100%→50%→OFF、100%～10%）
ACアダプター付

【T2】閲覧テーブル照明：1台





【T3】フロアスタンド照明：10台（各所）



※1：ファブリックセード：ヤマギワ/324S7247G相当品・2枚重ね加工

明石市政策局　プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	A	家具詳細図（18）	最終版　2025. 02. 28
	231		見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

List

サインリスト

名称	総数	取付	サンプル	製作図	備考
1.自立書架番号サイン	39	書架	●	●	
2.自立書架側板サイン	39	書架	●	●	
3.コーナーサイン	6	壁面	●	●	
4.仕切板サイン	500	書架			
5.書架コーナーサイン	23	書架	●	●	
6.新聞架サイン	20	書架	●		
7.雑誌架サイン	80	書架	●	●	
8.地図架・大型本架サイン	20	書架	●		
9.分類表サイン	1	壁面	●	●	
10.図書館マップサイン	8	壁面	●	●	
12.利用案内サイン	10	壁面・家具			
13.室名サイン(ペーパークリップ)	3	壁面	●		
14.カウンターサイン	3	卓上	●	●	
15.返却日サイン	3	卓上	●	●	
16.禁止サイン	20	卓上	●	●	
17.多目的スタンド	4	床置			
18.営業時間案内	1	ガラス			
19.ベビーカー置き場サイン	2	壁面		●	
20.BDSサイン	2	ガラス・設備			
21.図書館宣言サイン	1	壁面			

※照明:◎＝電源が必要　○＝外部照明にて照射

サイン工事　特記事項

1. 総記

本設計図書は、サインリスト、特記事項、サインプロット図、意匠図から成る。

2. 共通事項

適用範囲　本計画に付設される案内板・室名札等のサイン及び移動式サインの全てに適用する。

一般事項
a. 屋外大型サイン等の場合に 当該特記事項の仕様を超える範囲は、
日本建築学会建築工事標準仕様書（JASS）及び
日本建築学会制定各種指針の規定を基準とする。
b. 仕上げ材は、工事に先立ち見本を提出して、監督職員の承諾を受ける。
c. 設計図に基づき必要な製作図、施工図を作成し、監督職員の承諾を受ける。
d. サイン施工前に、原寸出力、実仕様サンプルの作成（貰）を見込み、監督職員の承諾を受ける。
e. サイン施工前に、現場検証を監督職員等参加のうえで行い承諾を受ける。
f. サイン施工前に、現場調査をし、設計及び監督職員に報告すること。
g. 特定の製品の指示がある場合は、そのメーカー仕様による。
h. 耐震施工は、建築設備耐震設計・施工指針（日本建築センター）による。

官公署その他への手続き　工事の施工、建物の使用の開始に必要な官公署その他への手続きは速やかにおこなう。

3. 施工基準

関係法令
a. 設計図書及び監督職員の指示に従い、建築基準法消防法、その他関係ある法令、
指針を厳守しかつ電気設備技術基準及び内線規定ならびに配線規程に適合
するように施工する。
b. 電気用品取締法の適応を受けるものは形式認可済みのものを使用する。
ただし制限外申請にて許可されたものはこの限りでない。
また規格制定なきものは官公署及び所轄電力会社の検査合格及び監督職員の
承諾を受ける。
c. JIS・JEC（電気規格調査会標準規格）・JEM（日本電気工業会標準規格）に
制定のあるもので特記が無い場合はこれに適合したものを使用する。

電照型の仕様
a. 電灯、コンセント類
LED、白熱灯、蛍光灯、コンセント、スイッチ等の形式は特記による。
使用する部品のカタログ等を提出し監督職員の承諾を受ける。
1. 配線の経路、コードの種類は監督職員と協議して決定する。
2. 器具の取付けに当っては器具内の温度が過度に上昇しないよう、空気抜き等を設け、
電球の性能低下や寿命の低下の無いよう注意する。
3. 放電灯器具の金属部には全てD種接地工事を施す。
4. 工事完了後、点灯試験及び絶縁抵抗測定を行い、その結果を報告する。
b. 電照式サインの指定色は照射及び透過された光が肉眼で知覚された色とする。
したがって指定の光源を用いた実験体により色彩を調整し、サンプルにて
監督職員の承諾を受ける。

4. 材料及び工法

鋼　材　特記が無い場合以下を標準とする
a. 鋼材はJIS規格品を使用する。
b. 屋外部に使用される場合の防錆処理は溶融亜鉛メッキとするか、
電気亜鉛メッキ鋼板を使用すること。その他の処理とする場合は、
監督職員と協議して決定する。
c. ステンレスはSUS304とする。

アルミ材　特記が無い場合以下を標準とする
a. アルミニウム合金板はJIS-H-4000-1970「アルミニウム及び
アルミニウム合金の板及び条」二種（A-5052-H-32）とする。
b. 異種金属による電気腐食の防止法は絶縁処理を施す。

粘着シート材　特記が無い場合以下を標準とする
a. 外部に使用するシート類は耐候性能（5年間色の変化、ひび割れ、
はがれ、ゆがみが生じない）を有するものとする。

樹脂板　特記が無い場合以下を標準とする
a. メタアクリル樹脂板はJIS-K-6718とする。
1. 切断面、切り抜き部分の見えがかり部はバフ仕上げとする。
2. 接着材は融合型接着材を使用し、接着面に気泡、ゴミが入らないものとする。
3. 静電気防止処理は監督職員の指示による。
b. 硬質塩化ビニール板はJIS-K-6745とする。
c. アクリル変性高衝撃塩化ビニール板の加工はメーカー仕様とする。
d. 偏光アクリル樹脂板の加工はメーカー仕様とする。
e. アルミポリエチレン積層板の表面加工はアルミ材料に準ずる。
f. 強化ポリエステル材はガラス繊維補強法、仕上げを含めメーカー仕様及び
特記による。
g. 切り文字は糸面取りとする。

ガラス　特記が無い場合以下を標準とする
a. 板ガラスは普通板、フロート、みがき、型板、合わせ、
強化など全ての種類はJIS規格製品とする。
b. ガラスの取付け用材のすべては見本を提出し監督職員の承諾を受ける。
c. ガラスの接着方法は接着剤、粘着シート、テープ類を含め監督職員と協議の上
決定する。
d. 人が触れる部分の仕上げに関しては安全性を十分に考慮して制作すること。

表面処理
a. スチール鋼材は全てサビ止め塗装（2液エポキシ塗料）を施した上で、
指定された仕上げを施すこと。

塗　装
a. 外部設置アイテムは指定色フッ素樹脂焼付塗装とすること。
b. 内部設置アイテムは指定色ポリウレタン樹脂焼付塗装とすること。

5. 表示面その他

文字・ピクトグラム
a. サインに使用する書体はタイプフェイスの通りとする。
b. 文字の高さについては和字は「木」の高さ,英字は「H」の高さ、
数字は「I」の高さをそれぞれ基準とする。
c. 文字間隔については文章は詰め送りとし、室名などの短い文字組は別紙の
レイアウトを基本とする。
また字の間隔は視覚的に等しく見えるように調整配列する

レイアウト図　図は特記の無い場合以下の要領で作成する。
a. 文字及び図形等の拡大縮小指定原版を用い写真操作によって忠実に再現する。
また拡大時における変形は入念に修正し監督職員の承諾を受ける。

デジタル出力　デジタル出力品は特記のない場合下記による。
a. 色については現物見本を提出して、監督職員の承諾を受ける。
b. 出力画像を保護し耐候性や耐水性、防汚性を高める専用フィルムで
ラミネートする。
c. 設置する場所に応じ出力機の選定を行う。
d. 透明フィルム使用の際はPET素材とし、白インキ対応の出力機とする。

グラフィック原稿
a. 多言語表記に応じた、翻訳の費用を見込むこと。
b. 点字サインに必要な点訳の費用を見込むこと。

6. 工事範囲

基礎工事　サイン本体を設置するにあたり必要な基礎工事はサイン工事とする。

下地工事　サイン本体を設置するにあたりサインに必要な下地工事はサイン工事とする。

足場架設工事　サイン本体を設置するにあたりサインに必要な足場架設工事はサイン工事とする。

照明工事　一次側電源は別途工事（電気工事）とする（タイマー、スイッチ、コンセント設置を含む）
二次側結線及び配線はサイン工事とする。
内照式サイン（照明内蔵タイプ）の二次側結線及び照明器具はサイン工事とする。

7. その他

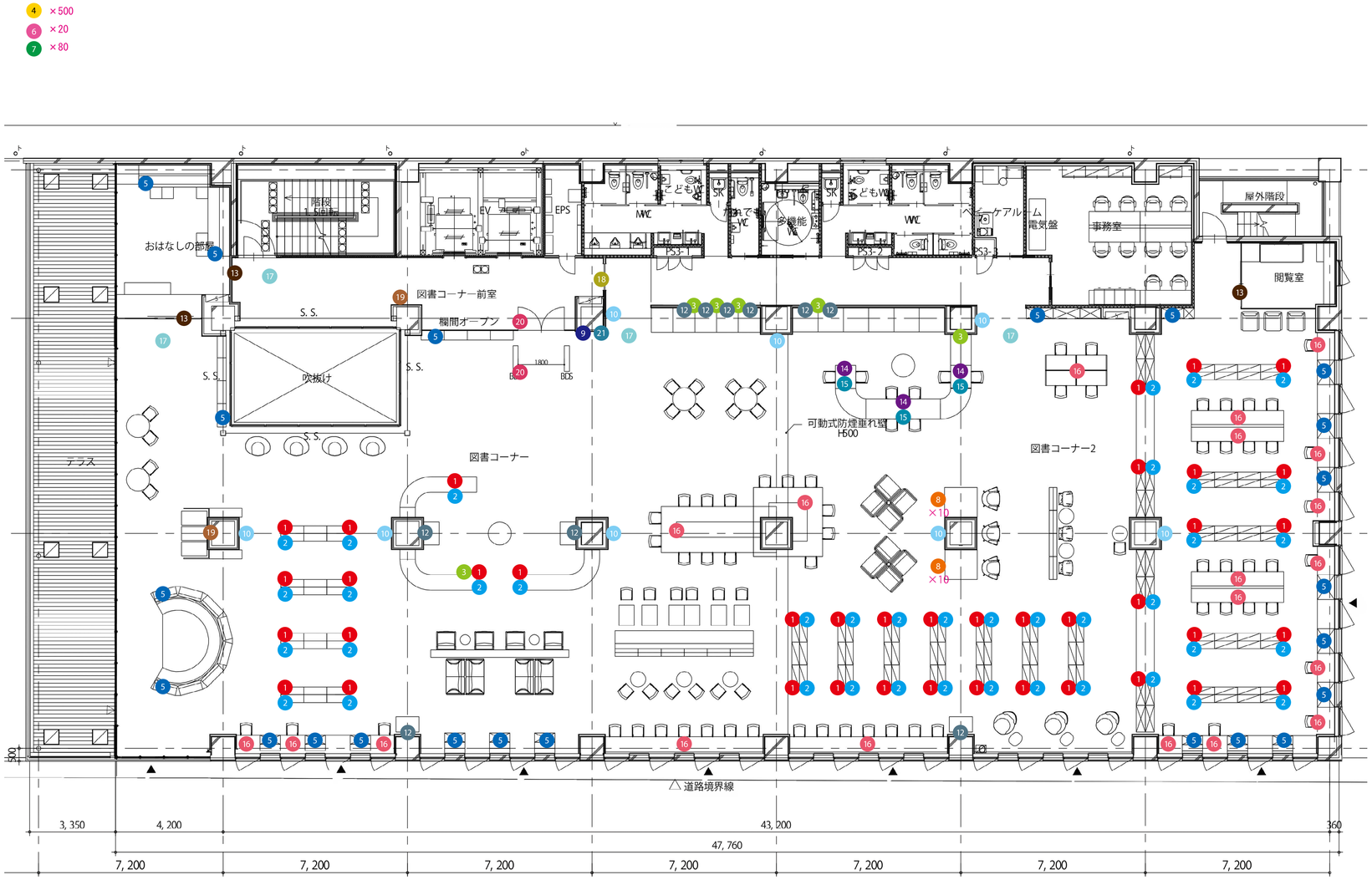
サインデザインの再検討　本施設に設置するサインは、A-54「サイン詳細図（1）」、A-55「サイン詳細図（2）」を見込んでいるが、契約後、発注者と協議の上、各サインデザインの再検討を実施すること。
再検討により発生するサイン整備費の増減については、発注者と協議の上、設計変更の対象とする。
なお、サインデザインの再検討は、過去に公益社団法人日本サインデザイン協会が主催するSDA賞で、金賞・大賞・最優秀賞のいずれかを受賞したことがある作品代表者（事業者）が実施すること。

明石市政策局　プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	A	家具詳細図(19)	最終版　2025. 02. 28
	232	図書コーナーサインリスト	見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

Plot_3F

3F図書館サインプロット図

- 1 自立書架番号サイン
- 2 自立書架側板サイン
- 3 コーナーサイン
- 4 仕切板サイン
- 5 書架コーナーサイン
- 6 新聞架サイン
- 7 雑誌架サイン
- 8 地図架サイン
- 9 分類表サイン
- 10 図書館マップサイン
- 12 利用案内サイン
- 13 室名サイン（ペーパークリップ）
- 14 カウンターサイン
- 15 返却日サイン
- 16 禁止サイン
- 17 多目的スタンド
- 18 営業時間案内
- 19 ベビーカー置き場サイン
- 20 BDSサイン
- 21 図書館宣言サイン



S=1/100（A1）

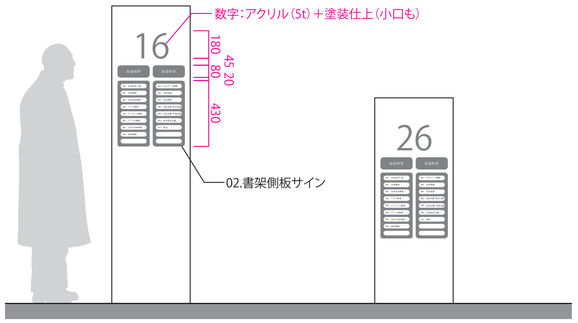
図書館

明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	A	家具詳細図(20)	最終版 2025. 02. 28
	233	図書コーナーサイン配置図	見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

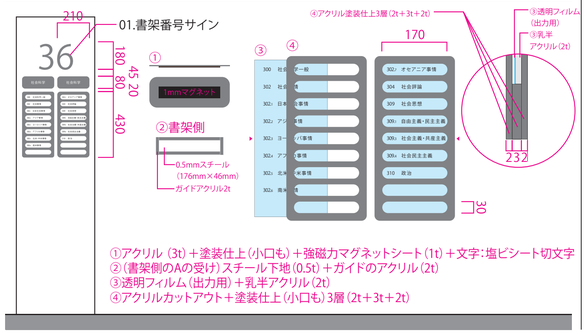
（2023年版）

20230220

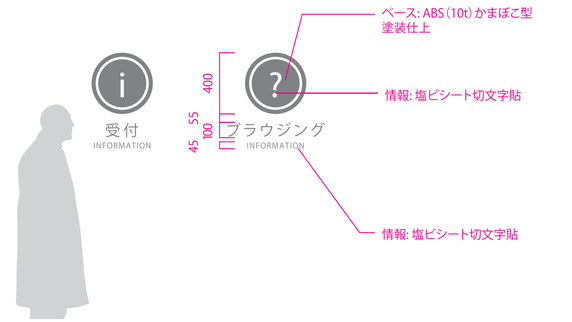
Sign_01　自立書架番号サイン　S=1/20（A1）



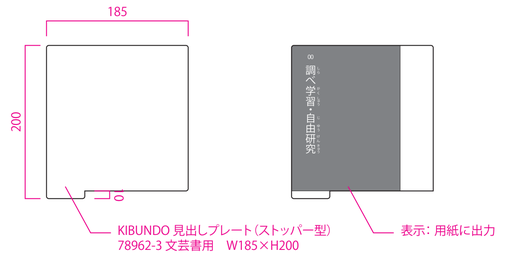
Sign_02　自立書架側板サイン　S=1/20,1/8（A1）



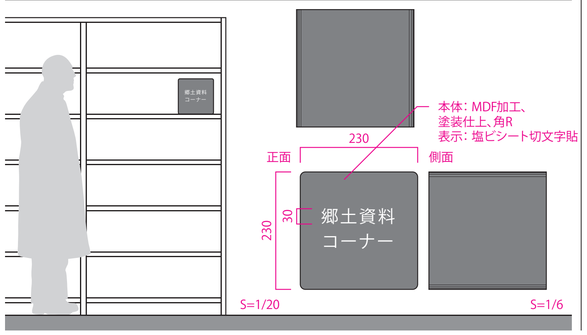
Sign_03　コーナーサイン　S=1/20（A1）



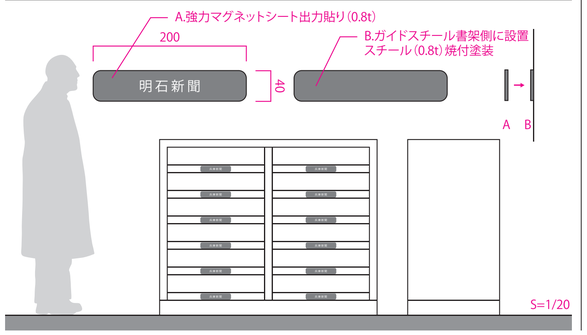
Sign_04　仕切板サイン　S=1/4（A1）



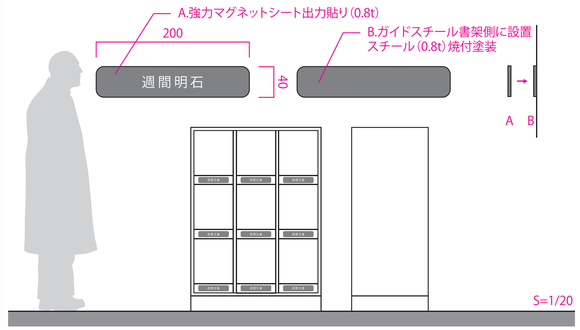
Sign_05　書架コーナーサイン　S=1/20,1/6（A1）



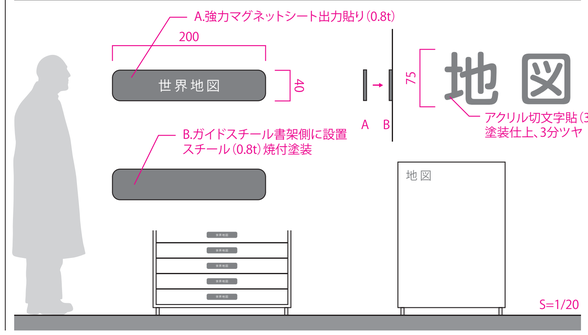
Sign_06　新聞架サイン　S=1/20,1/4（A1）



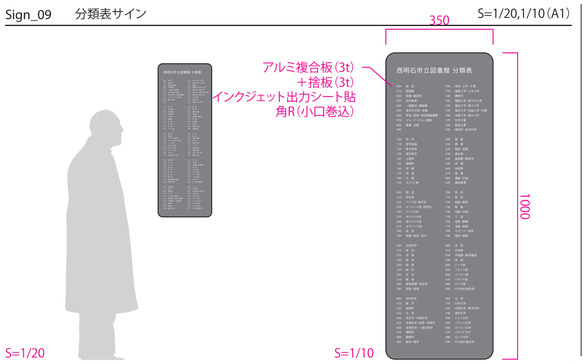
Sign_07　雑誌架サイン　S=1/20,1/4（A1）



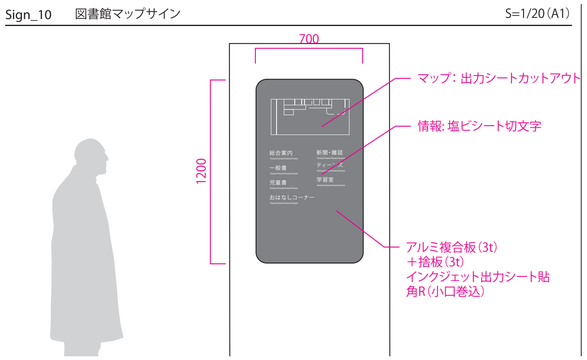
Sign_08　地図架・大型本架サイン　S=1/20,1/4（A1）



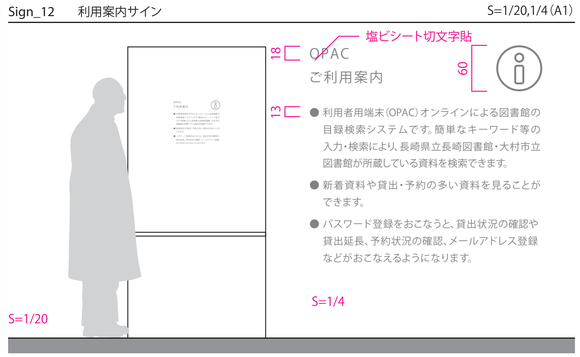
Sign_09　分類表サイン　S=1/20,1/10（A1）



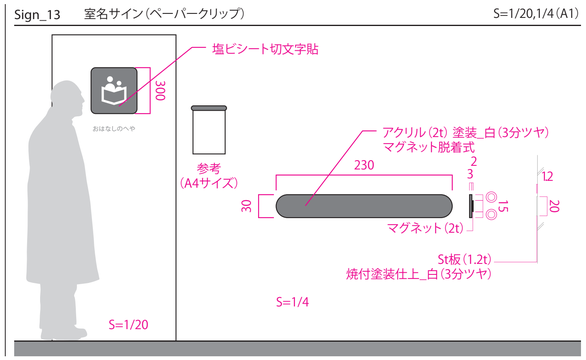
Sign_10　図書館マップサイン　S=1/20（A1）



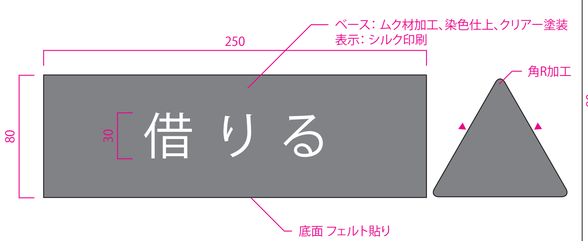
Sign_12　利用案内サイン　S=1/20,1/4（A1）



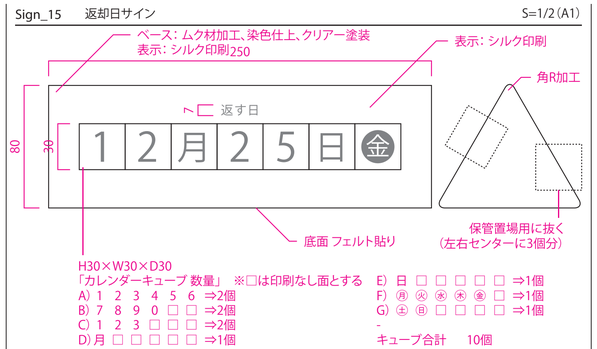
Sign_13　室名サイン（ペーパークリップ）　S=1/20,1/4（A1）



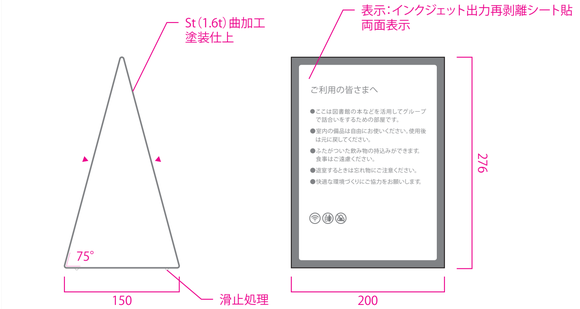
Sign_14　カウンターサイン　S=1/2（A1）



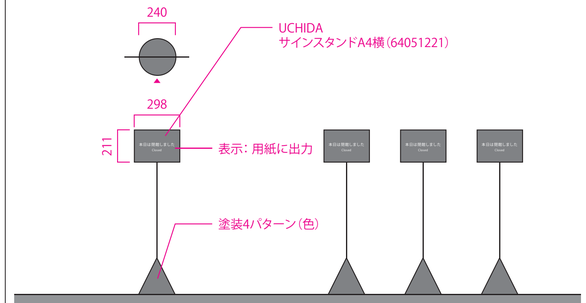
Sign_15　返却日サイン　S=1/2（A1）



Sign_16　禁止サイン　S=1/4（A1）



Sign_17　多目的スタンド　S=1/20（A1）



明石市政策局　プロジェクト推進室		西明石地域交流センター　icotto　建設工事	
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	A	家具詳細図（21）	最終版　2025. 02. 28
	234	図書コーナーサイン詳細図1	見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

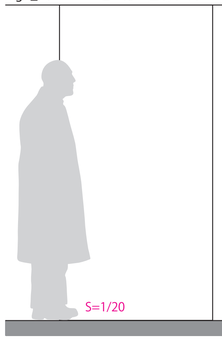
（2023年版）

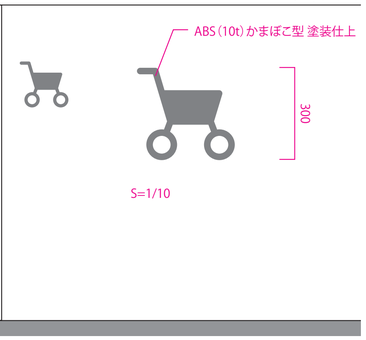
20230220

Sign_18　営業時間案内　S=1/20,1/10（A1）

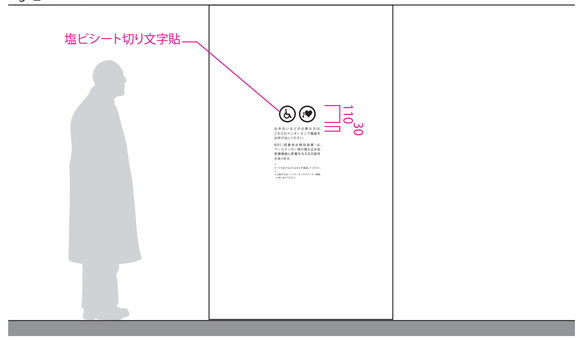


Sign_19　ベビーカー置場サイン　S=1/20,1/4（A1）

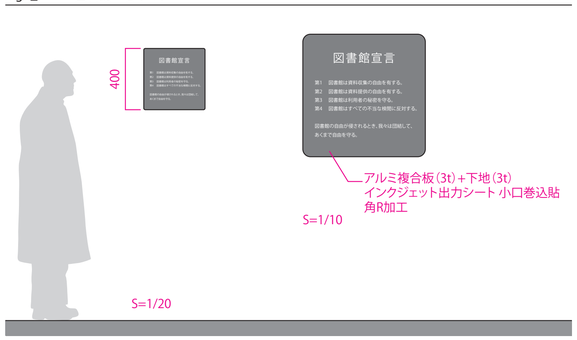




Sign_20　BDSサイン　S=1/4（A1）



Sign_21　図書館宣言サイン　S=1/20,1/10（A1）



明石市政策局　プロジェクト推進室		西明石地域交流センター　icotto　建設工事	
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	A	家具詳細図(22)	最終版　2025. 02. 28
	235	図書コーナーサイン詳細図2	見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

構造関係共通事項

1．総則

1．1　適用範囲
（1）構造関係共通図（配筋標準図）は，鉄筋コンクリート及び鉄骨鉄筋コンクリート造等における鉄筋の加工，組立等の一般的な標準図を表わす。
（2）構造関係共通図（鉄骨標準図）は，鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造における鉄骨の加工，組立の一般的な標準図を表わす。
（3）構造関係共通図（配筋標準図，鉄骨標準図）以外については，図面及び監督職員の指示による。

1．2　優先順位
（1）設計図書間で配筋方法に相違がある場合の優先順位は以下のとおりとする。
　1．建築工事特記仕様書（構造関係）
　2．図面 ┬ 下記以外の図面
　　　　└ 構造関係共通図（配筋標準図，鉄骨標準図）
　3．国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」

1．3　用語の定義
（1）設計図とは，建築構造図のうち特記仕様書，構造関係共通図以外の図面をいう。
（2）異形鉄筋の径（本文，図，表において「D，d」で示す）は，呼び名に用いた数値とする。
（3）長さ，厚さ等の単位は，特記がなければmmとする。

1．4　記号等
設計図中で使用する記号は，表1～表8，図1を標準とする。

表1　鉄筋の断面表示

区分＼径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
建　築	●	×	∅	●	○	⊙	⊗	◎

表2　各階伏図における記号

記　号	説　明	記　号	説　明
S=	スラブの配筋種別		杭の位置
	スラブ厚さ		試験杭の位置
	階段の配筋種別		打増しの範囲
D0	土間コンクリート		スラブ開口
	コンクリートブロック壁（CB壁）		ボーリング位置
	梁・スラブの上がり下がりの範囲	（±　）	FLからの上がり下がり
EW○○ EKW○○ ERW○○	耐力壁の種別 片持スラブ形階段を受け，かつ耐力壁の種別 土圧を受け，かつ耐力壁の種別	W○○ KW○○	一般壁の種別 片持スラブ形階段を受け，かつ耐力壁の種別

表3　梁貫通孔記号

区分＼径	50	75	100	125	150	175	200	225	250	275	300	325	350	375	400
建　築	⊖	⊗	┼	⊘	⊕	✳	╫	⊘	⊕	✳	╫	⊘	⊕	✳	╫

表4　スリーブ材質の凡例

管名	鋼管	溶融亜鉛めっき鋼板	硬質塩化ビニル管（薄肉管）	つば付き鋼管（黒管）
記号（建築用）	SP（白管）	GA	VU	RS

建築用以外のスリーブ材質は各工事による。

表5　高力ボルト径の記号

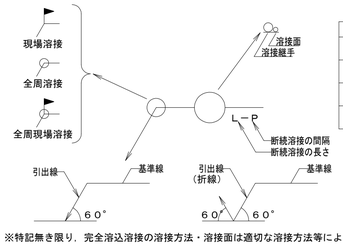
区分＼径	M12	M16	M20	M22	M24
高力ボルト（F10T，S10T）	●	●	●	●	●
溶融亜鉛めっき高力ボルト（F8T相当）	／	｜	┼	⊘	✳

表6　普通ボルト径の記号

区分＼径	M12	M16	M20	M22	M24
普通ボルト	○	◐	⊕	⊘	✳

表7　溶接方法，溶接継手及び溶接面の分類記号

			記号
溶接継手	完全溶込み溶接	突合わせ継手	B
		T型継手	T
		かど継手	L
	隅肉溶接		F
	部分溶込み溶接		P
	重ねアーク溶接（フレア溶接）		FL
溶接面	片面溶接		1
	両面溶接		2



※特記無き限り，完全溶込溶接の溶接方法・溶接面は適切な溶接方法等による。
図1　溶接記号の記載例

表8　溶接の補助記号

区　分	補助記号
現場溶接	⚑
全周溶接	○
全周現場溶接	⚑○
断面溶接の長さ及び間隔	L－P

標準仕様書　5章　鉄筋工事　3節　加工及び組立よりの抜粋

5．3．2　加工
（2）次の部分に使用する異形鉄筋の末端部にフックを付ける。
　（ア）柱の四隅にある主筋の重ね継手
　（イ）最上階の柱の四隅にある主筋の柱頭の定着
　（ウ）梁の出隅及び下端の両隅にある梁主筋の重ね継手（基礎梁を除く。）
　（エ）煙突の鉄筋（壁の一部となる場合を含む。）
　（オ）杭基礎のベース筋
　（カ）帯筋，あばら筋及び幅止め筋

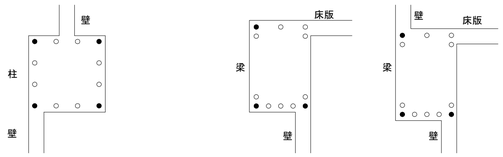
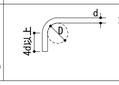


図3.3（5.3.2(2)の解説）　末端部にフックを必要とする出隅部の鉄筋（●印）

（3）鉄筋の折曲げ形状及び寸法は，表5.3.1による。
　なお，異形鉄筋の径（この節の本文，図及び表において「d」で示す。）は，呼び名に用いた数値とする。

表5.3.1 鉄筋の折曲げ形状及び寸法

折曲げ角度	折曲げ図	鉄筋の種類	折曲げ内法直径(D)		
			SD295，SD345		SD390
		呼び名	D16以下	D19～D38	D19～D38
180°			3d以上	4d以上	5d以上
135°					
90°					
135°及び90°（幅止め筋）					

（注）1．片持スラブ先端，壁筋の自由端側の先端で90°フック又は135°フックを用いる場合には，余長を4d以上とする。
　2．90°未満の折曲げの内法直径は特記による。

5．3．4　継手及び定着
（1）鉄筋の継手は，重ね継手，ガス圧接継手，機械式継手又は溶接継手とし，適用は特記による。
　原則として，D35以上の異形鉄筋については，重ね継手を用いない。
（2）鉄筋の継手位置は，特記による。
（3）鉄筋の重ね継手は，次による。
　なお，径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは，細い鉄筋の径による。
（ア）柱及び梁の主筋並びに耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは，特記による。特記がなければ，耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは，40d（軽量コンクリートの場合は50d）又は表5.3.2の重ね継手の長さのうちいずれか大きい値とする。
（イ）（ア）以外の鉄筋の重ね継手の長さは，表5.3.2による。

表5.3.2 鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度（Fc）(N/mm²)	L1（フックなし）	L1h（フックあり）
SD295	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24，27	35d	25d
	30，33，36	35d	25d
SD345	18	50d	35d
	21	45d	30d
	24，27	40d	30d
	30，33，36	35d	25d
SD390	21	50d	35d
	24，27	45d	35d
	30，33，36	40d	30d

（注）1．L1，L1h：重ね継手の長さ及びフックありの重ね継手の長さ
　2．L1hは，図5.3.1に示すようにフック部分 l を含まない。
　3．軽量コンクリートの場合は，表の値に5dを加えたものとする。

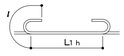
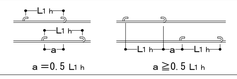
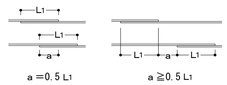
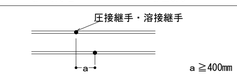
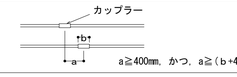


図5.3.1 フックありの重ね継手の長さ

（4）隣り合う継手の位置は，表5.3.3による。ただし，スラブ筋でD16以下の場合及び壁筋の場合は除く。
　なお，先組み工法等で，柱及び梁の主筋のうち，隣り合う継手を同一箇所に設ける場合は，特記による。

表5.3.3 隣り合う継手の位置

重ね継手	フックありの場合	 a＝0.5 L1h	a≧0.5 L1h
	フックなしの場合	 a＝0.5 L1	a≧0.5 L1
溶接継手	——	 圧接継手・溶接継手 a≧400mm	
機械式継手	——	 カップラー a≧400mm，かつ，a≧(b+40)mm	

（5）鉄筋の定着は，次による。
（ア）鉄筋の定着の長さは，特記による。特記がなければ，表5.3.4による。

表5.3.4 鉄筋の定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度（Fc）(N/mm²)	直線定着の長さ L1	直線定着の長さ L2	直線定着の長さ L3 小梁	直線定着の長さ L3 スラブ	フックあり定着の長さ L1h	フックあり定着の長さ L2h	フックあり定着の長さ L3h 小梁	フックあり定着の長さ L3h スラブ
SD295	18	45d	40d	20d（片持小梁の場合は25d）	10dかつ150mm以上（片持スラブの場合は25d）	35d	30d	10d	—
	21	40d	35d			30d	25d		
	24，27	35d	30d			25d	20d		
	30，33，36	35d	30d			25d	20d		
SD345	18	50d	40d			35d	30d		
	21	45d	35d			30d	25d		
	24，27	40d	35d			30d	25d		
	30，33，36	35d	30d			25d	20d		
SD390	21	50d	40d			35d	30d		
	24，27	45d	40d			35d	30d		
	30，33，36	40d	35d			30d	25d		

（注）1．L1，L1h：重ね継手の長さ及びフックありの定着の長さ
　2．L2，L2h：割裂破壊のおそれのない箇所への直線定着の長さ及びフックありの定着の長さ
　3．L3　：小梁及びスラブの下端筋の直線定着の長さ。ただし，基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁は除く。
　4．L3h：小梁の下端筋のフックありの定着の長さ
　5．フックありの定着の場合は，図5.3.2に示すようにフック部分 l を含まない。また，中間部での折曲げは行わない。
　6．軽量コンクリートの場合は，表の値に5dを加えたものとする。

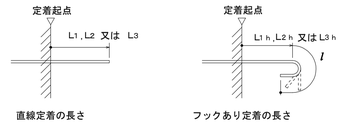


図5.3.2 直線定着の長さ及びフックありの定着の長さ

（イ）仕口内に縦に折り曲げて定着する鉄筋の定着長さしが，表5.3.4のフックありの定着の長さを確保できない場合の折曲げ定着の方法は，特記による。特記がなければ，図5.3.3により，次の(a)から(c)までを全て満足するものとする。
（a）全長は，表5.3.4の直線定着の長さ以上とする。
（b）余長は8d以上とする。
（c）仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さLa及びLbは，表5.3.5に示す長さとする。ただし，梁主筋の柱内定着においては，柱せいの3/4倍以上とする。

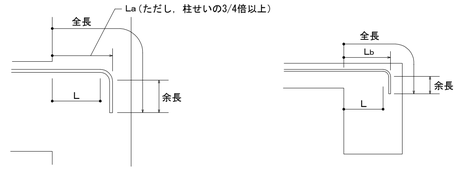


図5.3.3 折曲げ定着の方法

表5.3.5 投影定着長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度（Fc）(N/mm²)	La	Lb
SD295	18	20d	15d
	21	15d	15d
	24，27	15d	15d
	30，33，36	15d	15d
SD345	18	20d	20d
	21	20d	20d
	24，27	20d	15d
	30，33，36	15d	15d
SD390	21	20d	20d
	24，27	20d	20d
	30，33，36	20d	15d

（注）1．La：梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ（基礎梁，片持梁及び片持スラブを含む。）
　2．Lb：小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ（片持小梁及び片持スラブを除く。）
　3．軽量コンクリートの場合は，表の値に5dを加えたものとする。

（6）溶接金網及びスパイラル筋の継手及び定着は，次による。
（ア）溶接金網の継手及び定着は，図5.3.4による。
　なお，L1 は表5.3.2に，L2 及び L3 は表5.3.4による。

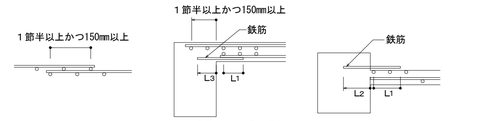


図5.3.4 溶接金網の継手及び定着

（イ）スパイラル筋の継手及び定着は，図5.3.5による。

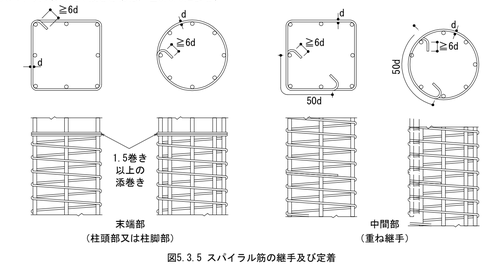


図5.3.5 スパイラル筋の継手及び定着

5．3．5　鉄筋のかぶり厚さ及び間隔
（1）鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは，特記による。特記がなければ，表5.3.6による。ただし，柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は，主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

表5.3.6 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ

構造部分の種別				最小かぶり厚さ(mm)
土に接しない部分	スラブ，耐力壁以外の壁		仕上げあり	20
			仕上げなし	30
	柱，梁，耐力壁	屋内	仕上げあり	30
			仕上げなし	30
		屋外	仕上げあり	30
			仕上げなし	40
	擁壁，耐圧スラブ			40
土に接する部分	柱，梁，スラブ，壁			40
	基礎，擁壁，耐圧スラブ			60
煙突等高熱を受ける部分				60

（注）1．この表は，普通コンクリートに適用し，軽量コンクリートには適用しない。また，塩害を受けるおそれのある部分等耐久性上不利な箇所には適用しない。
　2．「仕上げあり」とは，モルタル塗り等の仕上げのあるものとし，鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ（仕上塗材，塗装等）のものを除く。
　3．スラブ，梁，基礎及び擁壁で，直接土に接する部分のかぶり厚さには，捨コンクリートの厚さを含まない。
　4．杭基礎の場合の基礎下端筋のかぶり厚さは，杭天端からとする。

（2）柱，梁等の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは，最小かぶり厚さに10mmを加えた数値を標準とする。
（3）鉄筋組立後のかぶり厚さは，最小かぶり厚さ以上とする。
（4）鉄筋相互のあきは図5.3.6により，次の値のうち最大のもの以上とする。ただし，機械式継手及び溶接継手の場合は，5節又は6節による。
（ア）粗骨材の最大寸法の1.25倍
（イ）25mm
（ウ）隣り合う鉄筋の径　標準仕様書（5.3.2(3)によるd）の平均の1.5倍

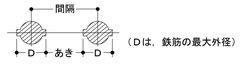


図5.3.6 鉄筋相互のあき及び間隔

（5）鉄骨鉄筋コンクリート造の場合，主筋と平行する鉄骨とのあきは，(4)による。
（6）貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは，最小かぶり厚さ以上とする。

明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto　建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	B	建築工事	最終版　2025.02.28
〈構造設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第308030号 構造設計一級建築士　第5193号 秋田　智	01	構造関係共通事項	見積版　2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

配筋標準図

1．1　基礎梁主筋の継手，定着及び余長

（1） 一般事項

（ア）梁筋は，原則として，柱をまたいで引き通すものとし，引き通すことができない場合は，柱内に定着する。ただし，やむを得ず梁内に定着する場合は，図1.4による。

（イ）梁筋を柱内に定着する場合は，3.1(1)(イ)による。

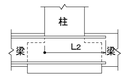


図1.1　梁筋の基礎梁内への定着

（2） 独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手，定着及び余長

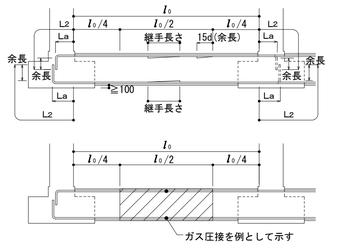


図1.2　主筋の継手，定着及び余長（その１）

1. 図示のない事項は，3.1による。
2. ═══ 印は，継手及び余長位置を示す。
3. 破線は，柱内定着の場合を示す。
4. La の数値は，原則として，柱せいの3/4倍以上とする。

（3）独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手，定着及び余長

ただし，耐圧スラブが付く場合は，（４）による。

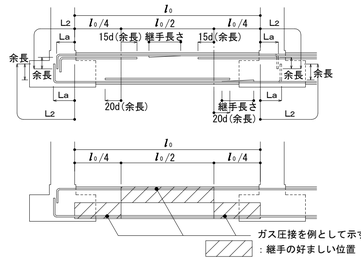


図1.3　主筋の継手，定着及び余長（その２）

1. 図示のない事項は，3.1による。
2. ═══ 印は，継手及び余長位置を示す。
3. 破線は，柱内定着の場合を示す。
4. La の数値は，原則として，柱せいの3/4倍以上とする。

（4）連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手，定着及び余長（耐圧スラブがつく場合を含む）

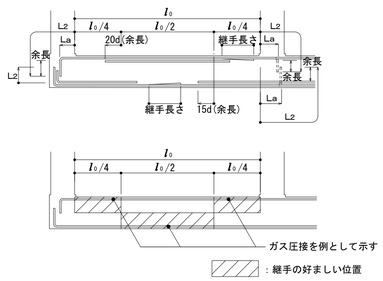


図1.4　主筋の継手，定着及び余長（その３）

1. 図示のない事項は，3.1による。
2. ═══ 印は，継手及び余長位置を示す。
3. 破線は，柱内定着の場合を示す。
4. La の数値は，原則として，柱せいの3/4倍以上とする。

1．2　基礎梁のあばら筋

あばら筋組立の形及びフックの位置は，3.2(1)による。ただし，梁の上下にスラブが付く場合で，かつ，梁せいが1.5m以上の場合は，図1.5によることができる。

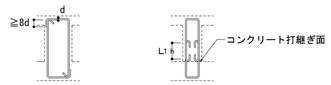
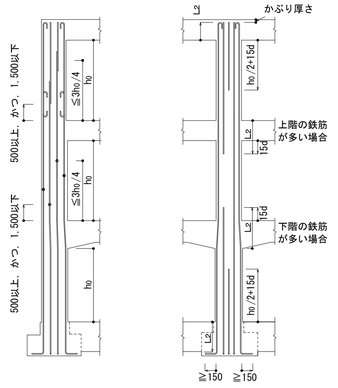


図1.5　あばら筋組立の形及びフックの位置

2．1　柱主筋の継手，定着及び余長

（1）柱主筋の継手及び定着の一般事項



1. 柱の四隅にある主筋で，重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合には，フックを付ける。
2. 隣り合う継手の位置は，標準仕様書（表5.3.3）による。
3. 柱頭定着長さ L2 が確保できない場合は，構造計算等により必要長さの確認を行うものとする。
4. 柱頭柱主筋について，梁上端主筋との取合いを考慮し，適切なかぶり厚さを確保する。

図2.1　柱主筋の継手，定着及び余長

（2）柱打増し部

（a）打増し部分に，壁，梁，スラブ筋等がとりつく場合は，壁，梁，スラブ筋等の定着長さには，打増し部分を含まない。

（b）土に接する柱周囲の打増しは図2.2による。

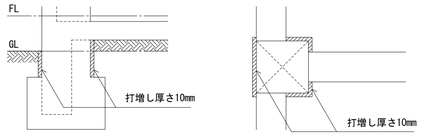
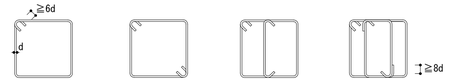


図2.2　柱打増し部

2．2　帯筋組立の形及び割付け

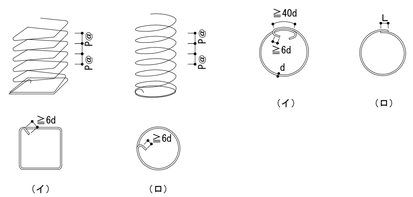
①H形



②W-I形

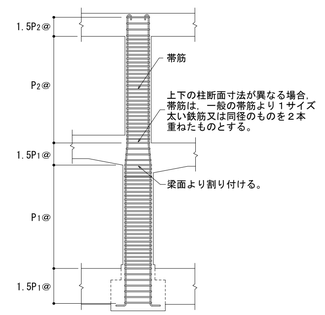


⑤ＳＰ形（スパイラル筋）　⑥丸形



1. H形を標準とする。
2. フック及び接手の位置は，交互とする。
3. 溶接は，鉄筋の組立前に行う。
4. 溶接する場合の溶接長さは，両面重ねアーク溶接（フレア溶接）の場合は5d以上，片面重ねアーク溶接（フレア溶接）の場合は10d以上とする。
5. SP形において，柱頭及び柱筋の端部は1.5巻以上の添巻を行う。
6. H形の135°曲げフックが困難な場合は，W-I形とする。

図2.3　帯筋組立の形



1. 柱に取り付く梁に段差がある場合，帯筋の間隔を1.5P1@または1.5P2@とする範囲は，その柱に取り付くすべての梁を考慮して適用する。なお，P1@，P2@は，特記された帯筋の間隔を示す。

図2.4　帯筋の割付け

3．1　大梁主筋の継手，定着及び余長

（1） 大梁主筋の継手及び定着の一般事項

（ア）梁主筋は，原則として，柱をまたいで引き通すものとし，引き通すことができない場合は，（イ）により柱内に定着することができる。ただし，やむを得ず梁内に定着する場合は，図3.1による。

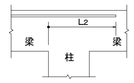
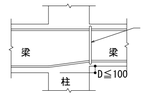


図3.1　梁主筋の梁内定着

（イ）梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は次による。
なお，定着の方法は，標準仕様書（5.3.4(5)(イ)）による。
上端筋　　：曲げ降ろす。
下端筋（一般）　：原則として曲げ上げる。
下端筋（ハンチ付）：原則として曲げ上げる。

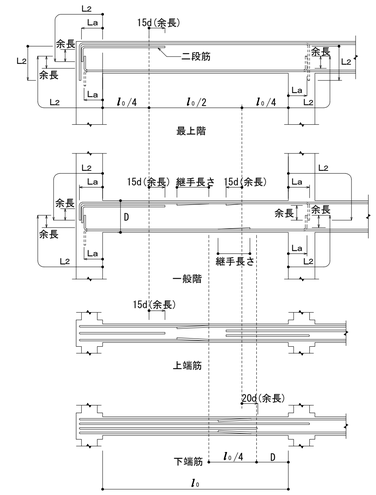
（ウ）段違い梁は，図3.2による。



吊上げ筋は，一般のあばら筋より１サイズ太い鉄筋又は同径のものを2本重ねたものとする。

図3.2　段違い梁

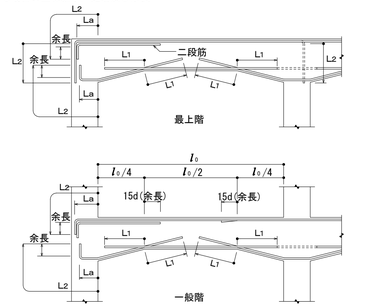
（2）ハンチのない場合の重ね継手，定着及び余長



1. 継手中心位置は次による。
上端筋：中央 $l_0/2$ 以内
下端筋：柱面より梁せい（D）以上離し，$l_0/4$ を加えた範囲以内
2. 標準仕様書（5.3.2(2)(イ)）で定めた鉄筋には，フックを付ける。
3. ═══ 印は，継手及び余長を示す。
4. 破線は，柱内定着の場合を示す。
5. La の数値は，原則として，柱せいの3/4倍以上とする。

図3.3　大梁の重ね継手，定着及び余長

（3）ハンチのある場合の重ね継手，定着及び余長



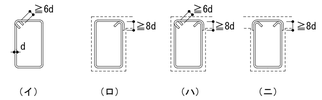
1. 標準仕様書（5.3.2(2)(イ)）で定めた鉄筋には，フックを付ける。
2. ═══ 印は，継手及び余長を示す。
3. 梁内定着の端部下端筋が接近するときは，┈┈┈ のように引き通すことができる。
4. 破線は，柱内定着の場合を示す。
5. La の数値は，原則として，柱せいの3/4倍以上とする。

図3.4　ハンチのある大梁の定着及び余長

明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto 建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	B	建築工事	最終版　2025. 02. 28
〈構造設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第308030号 構造設計一級建築士　第5193号 秋田　智	02	配筋標準図（１）	見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

3．2　あばら筋（小梁，片持梁，基礎梁含む）の組立て形及び割付け等

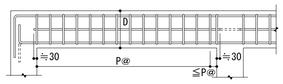
（1）あばら筋組立の形及びフックの位置



1.（イ）形を標準とする。ただし，L形梁の場合は，（ロ）又は（ハ），T形梁の場合は，（ロ）～（ニ）とすることができる。
2. フックの位置は，（イ）の場合は交互とし，（ロ）の場合は，L形ではスラブの付く側，T形では交互とする。
なお，（ハ）の場合は床版の付く側を90°折曲げとする。

図3.5　あばら筋組立の形

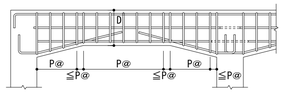
（2）あばら筋の割付け
（ア）間隔が一様でハンチのない場合



1. あばら筋は，柱面の位置から割り付ける。
2. 図中Ｐ@は，特記されたあばら筋の間隔を示す。

図3.6　あばら筋の割付け　（その1）

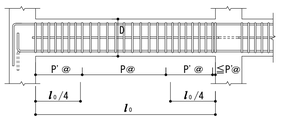
（イ）間隔が一様でハンチがある場合



1. あばら筋は，柱面の位置及びハンチに切り替わる位置から割り付ける。
2. 図中Ｐ@は，特記されたあばら筋の間隔を示す。

図3.7　あばら筋の割付け　（その2）

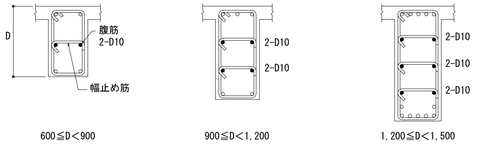
（ウ）梁の端部で間隔の異なる場合



1. あばら筋は，柱面の位置から割り付ける。
2. 図中Ｐ@，Ｐ'@は，特記されたあばら筋の間隔を示す。

図3.8　あばら筋の割付け　（その3）

（3）　腹筋及び幅止め筋



1. 腹筋に継手を設ける場合の継手長さは，150mm程度とする。
2. 幅止め筋及び受け用幅止め筋は，D10-1,000ℓ程度とする。

図3.9　腹筋及び幅止め筋

3．4　小梁主筋の継手，定着及び余長

（1）　連続小梁の場合

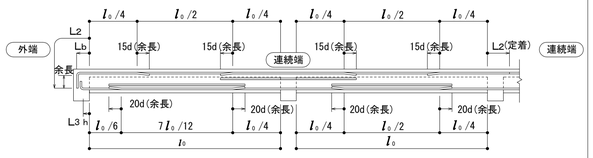


図3.10　小梁主筋の継手，定着及び余長(その1)

（2）　単独小梁の場合

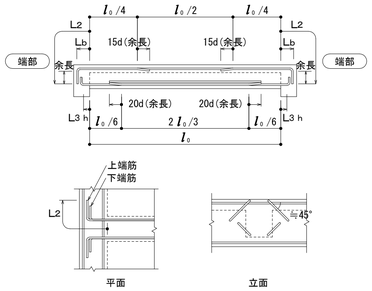
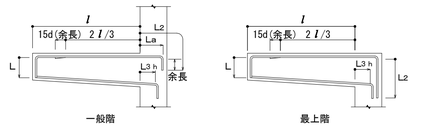


図3.11　小梁主筋の継手，定着及び余長(その2)

1. ——— 印は，余長位置を示す。
2. 梁せいが小さく垂直で余長がとれない場合，斜めにしても良い。
3. 図示のない事項は，1.3及び3.1に準ずる。
4. Ls h を確保できない場合は，標準仕様書（5.3.4(5)(イ)）によることができる。

3．5　片持梁主筋の継手，定着及び余長

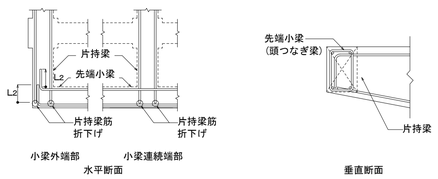
（1）先端に小梁のない場合



1. ——— 印は，余長位置を示す。
2. 先端の折曲げの長さLは，梁せいからかぶり厚さを除いた長さとする。
3. 図時のない事項は，3.1による。
4. La の数値は，原則として，柱せいの3/4倍以上とする。
5. Ls h を確保できない場合は，標準仕様書（5.3.4(5)(イ)）によることができる。

図3.12　片持梁主筋の定着及び余長

（2）先端に小梁がある場合



1. 図示のない事項は，（1）による。
2. 先端小梁終端部の主筋は，片持梁内に水平定着する。
3. 先端小梁の連続端は，片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

図3.13　片持梁主筋の定着

4．1　壁の配筋

（1）壁の配筋は表4.1による。

表4.1　壁の配筋

種別	縦筋及び横筋	断面図　(mm)
W12	D10-200@シングル	120
W15A	D10-150@シングル	150
W15B	D10-100@シングル	
W18A	D10-200@ダブル	180
W18B	D10-150@ダブル	
W20A	D10-200@ダブル	200
W20B	D10-150@ダブル	

（注）　壁筋の配筋順序は，規定しない。

（2）片持スラブ形階段を受ける壁の配筋は表4.2による。

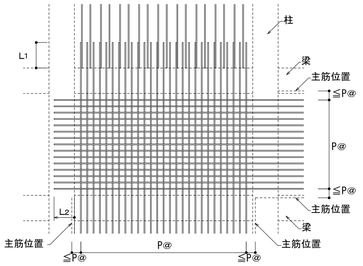
表4.2　片持スラブ形階段を受ける壁の配筋

種別	縦筋及び横筋		断面図　(mm)	階段の配筋種別(表6.1)
KW1	縦筋	D13-200@ダブル	180	KA1
	横筋	D10-200@ダブル		KA3
KW2	縦筋	D13-150@ダブル	200	KA2
	横筋	D10-200@ダブル		KA4

（注）　縦筋は，横筋の外側に配筋する。

（3）土圧を受ける壁の配筋は，構造図による。

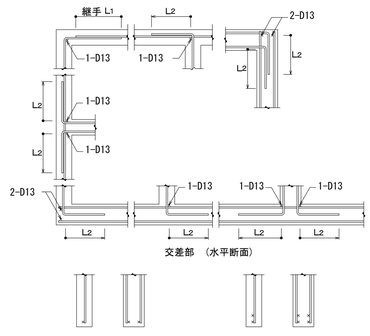
4．2　壁の継手及び定着



1. 図中のＰ@は，特記された壁筋の間隔を示す。
2. 壁配筋の重ね継手はL1，定着長さはL2とし，鉄筋の継手位置は柱・梁以外とする。
3. 幅止め筋は，縦横ともD10-1,000ℓ程度とする。

図4.1　壁の配筋

4．3　壁の交差部及び端部の配筋



4．4　壁の開口部補強

（1）耐震壁を除く壁開口部の補強筋は，A形は表4.3，B形は表4.4とする。

表4.3　壁開口部補強筋（A形）

壁の種別	補強筋	
	縦横	斜め
W12，W15	1-D13	1-D13
W18，W20	2-D13	2-D13

表4.4　壁開口部補強筋（B形）

壁の種別	補強筋	
	縦横	斜め
W12，W15	2-D13	1-D13
W18，W20	4-D13	2-D13

（2）壁開口部補強筋の定着長さは図4.3による。

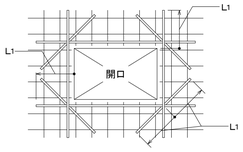


図4.3　壁開口部補強筋の定着長さ

（3）開口部は柱及び梁に接する部分又は鉄筋を縦やかに曲げることにより開口部を避けて配筋できる場合は，補強を省略することができる。
（4）コンセントボックス等を壁に埋め込む場合の補強は，構造図による。

4．5　パラペット

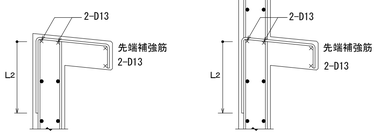


図4.4　パラペットの配筋

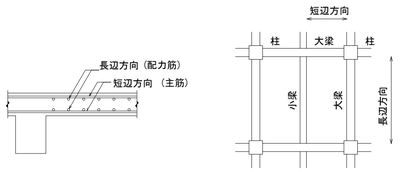
明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto　建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	B	建築工事	最終版　2025. 02. 28
〈構造設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第308030号 構造設計一級建築士　第5193号 秋田　智	03	配筋標準図（2）	見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

5．1　スラブの配筋

表5.1　スラブの配筋

配筋種別	短辺方向（主筋）全域	長辺方向（配力筋）全域	配筋種別	短辺方向（主筋）全域	長辺方向（配力筋）全域
S 1	D13-100@	D13-100@	S 8	D10，D13-150@	D10-150@
S 2	同上	D13-150@	S 9	同上	D10-200@
S 3	同上	D10，D13-150@	S10	D10，D13-200@	D10，D13-200@
S 4	D13-150@	D13-150@	S11	同上	D10-200@
S 5	同上	D10，D13-150@	S12	同上	D10-250@
S 6	同上	D10-150@	S13	D10-200@	D10-200@
S 7	D10，D13-150@	D10，D13-150@	S14	同上	D10-250@

（注）　上端筋，下端筋とも同一配筋とする。



1. 配筋の割付けは，中央から行い，端部は定められた間隔以下とする。
2. 鉄筋の重ね継手長さは，L_1 とする。
3. 土間コンクリート補強筋の配筋及びコンクリート厚さは，構造図による。

図9.1　スラブの配筋

5．2　スラブ筋の定着及び受け筋

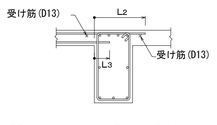
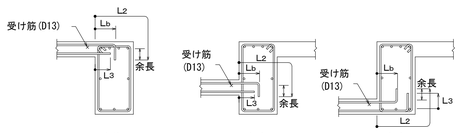
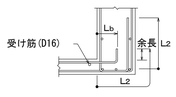


図5.2　スラブ筋の定着長さ及び受け筋(その1)



一般スラブの場合



耐圧スラブの場合

図5.3　スラブ筋の定着長さ及び受け筋(その2)

5．3　片持スラブの配筋

表5.2　CS形配筋

配筋種別		主筋	配筋種別		主筋
CS1	上	D13-100@	CS5	上	D10-200@
	下	D13-200@		下	D10-400@
CS2	上	D13-150@	CS6	上	D10，D13-200@
	下	D13-300@		下	―――
CS3	上	D10，D13-150@	CS7	上	D10-200@
	下	D10，D13-300@		下	―――
CS4	上	D10，D13-200@			
	下	D10-200@			

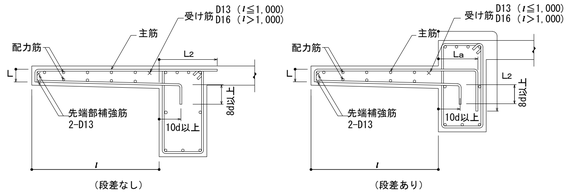


図5.4　片持スラブの配筋（CS1 から CS5）

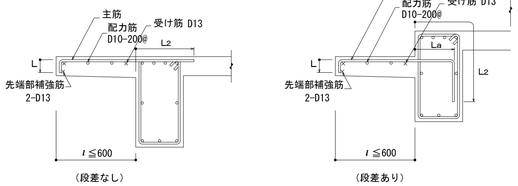


図5.5　片持スラブの配筋（CS6 及び CS7）

1. 先端の折曲げ長さは，スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。
2. スラブに段差のない場合は，主筋を引き通してスラブに定着してもよい。

5．4　片持スラブの先端に壁が付く場合の配筋

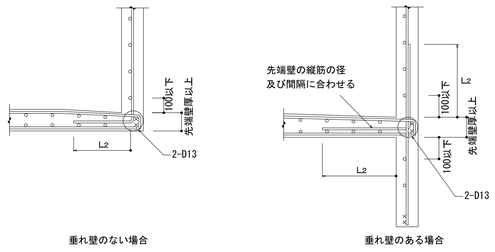
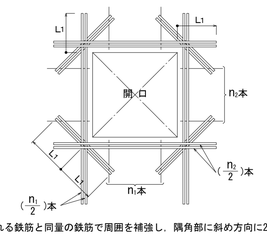


図5.6　先端に壁が付く場合の配筋

5．5　スラブの開口部の補強

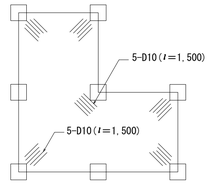


1. スラブ開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し，隅角部に斜め方向に2-D13（l=2 L_1）シングルを上下筋の内側に配筋する。
2. スラブ開口の最大径が両方向の鉄筋間隔以下で，鉄筋を緩やかに曲げることにより，開口部を避けて配筋できる場合は，補強を省略することができる。
3. スラブ開口の最大径が700mm以下の場合に限る。

図5.7　スラブ開口部の補強配筋

5．6　出隅部及び入隅部の補強

（1）屋根スラブの出隅及び入隅部



1. 補強筋を上下筋の下側に配置する。

図5.8　出隅及び入隅部の補強配筋

（2）片持スラブの出隅部

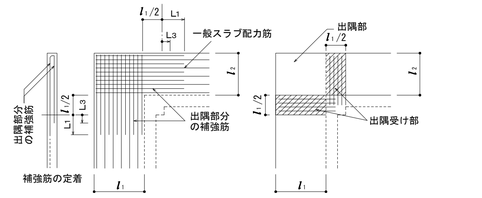
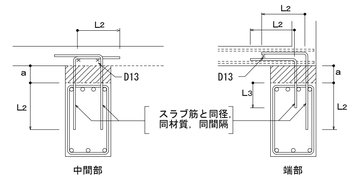


図5.9　片持スラブ出隅部の補強配筋

5．7　スラブの打継ぎの補強等

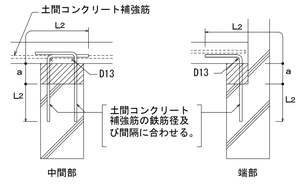
（1）土間スラブの打継ぎ補強（基礎梁とスラブを一体打ちとしないで，打継ぎを設ける場合の補強を示す。）



1. 土間コンクリートとは，土に接するスラブのうち，床荷重を直接地盤へ伝達できるものをいい，それ以外は土間スラブとして，梁及び柱を介して基礎へ荷重を伝達するものとする。
2. aが300mm以下の場合に限る。

図5.10　打継ぎ補強配筋

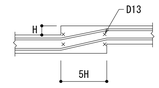
（2）土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋



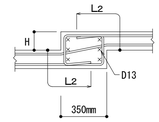
1. 土間コンクリートとは，土に接するスラブのうち，床荷重を直接地盤へ伝達できるものをいい，それ以外は土間スラブとして，梁及び柱を介して基礎へ荷重を伝達するものとする。
2. aが300mm以下の場合に限る。

図5.11　土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋

5．8　段差のあるスラブの補強



H≦70の場合



70＜H≦150の場合

1. 150mm以下の段差のあるスラブの場合に限る。

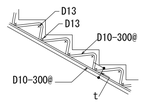
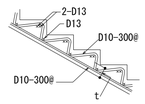
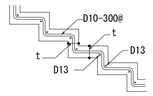
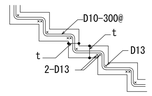
図5.12　段差のあるスラブの補強配筋

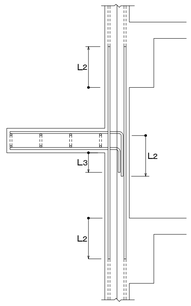
明石市政策局　プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	B	建築工事	最終版　2025. 02. 28
〈構造設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第308030号 構造設計一級建築士　第5193号 秋田　智	04	配筋標準図（３）	見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

20230220

6．1　片持スラブ形階段の配筋

表6.1　片持スラブ形階段の配筋

配筋種別	KA1	KA2
配筋図		
配筋種別	**KA3**	**KA4**
配筋図		



1. 壁配筋は，4.1(2)による。
2. 階段主筋は，壁の中心線を越えてから縦に下ろす。
3. スラブ配力筋の継手及び定着長さは，標準仕様書（表5.3.4）の L3 とする。

図6.1　片持スラブ形階段配筋の定着

6．2　ニ辺固定スラブ形階段の配筋

表6.2　ニ辺固定スラブ形配筋

配筋種別	上端筋，下端筋とも(全域)
KB1	D13-200@
KB2	D13-150@
KB3	D13-100@
KB4	D13,D16-150@
KB5	D16-150@
KB6	D16-125@
KB7	D16-100@

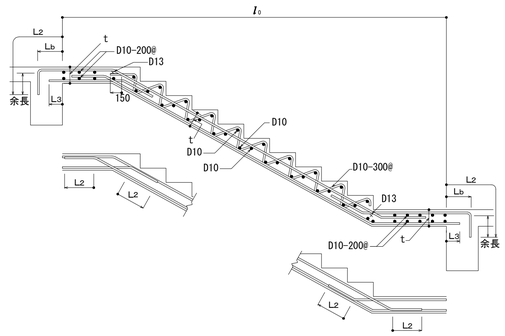
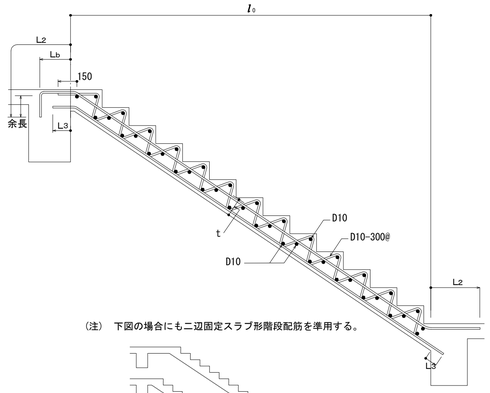


図6.2　ニ辺固定スラブ形階段配筋(その1)



（注）　下図の場合にもニ辺固定スラブ形階段配筋を準用する。

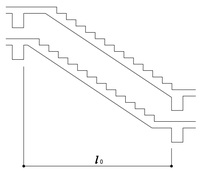


図6.3　ニ辺固定スラブ形階段配筋(その2)

7．1　梁貫通孔の配筋

（1）梁貫通孔補強筋の名称等は，図7.1による。
（2）孔の径は，梁せいの1/3以下とし，孔が円形でない場合はこれの外接円とする。
（3）孔の上下方向の位置は梁せい中心付近とし，梁中央部下端は梁下端よりD/3（Dは梁せい）の範囲には設けてはならない。
（4）孔は，柱面から，原則として，1.5D以上離す。ただし，基礎梁及び壁付帯梁は除く。
（5）孔が並列する場合の中心間隔は，孔の径の平均値の3倍以上とする。
（6）縦筋及び上下縦筋は，あばら筋の形に配筋する。
（7）補強筋は，主筋の内側とする。また，鉄筋の定着長さは，図7.2による。
（8）孔の径が梁せいの1/10以下，かつ，150mm未満のものは，鉄筋を緩やかに曲げることにより，開口部を避けて配筋できる場合は，補強を省略することができる。
（9）溶接金網の余長は1格子以上とし，突出しは10mm以上とする。
（10）溶接金網の貫通孔部分には，鉄筋1-13φのリング筋を取り付ける。
　　なお，リング筋は，溶接金網に４箇所以上溶接する。
（11）溶接金網の割付け始点は，横筋であばら筋の下側とし，縦筋では貫通孔の中心とする。
（12）他の開孔を設けない範囲は図7.3による。

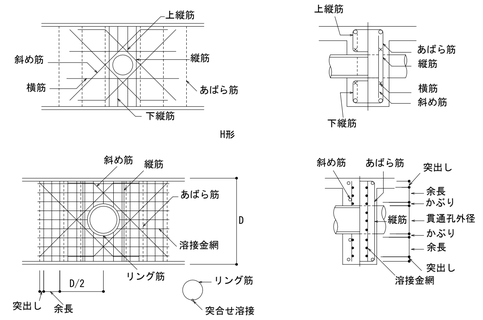
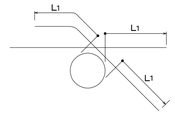


図7.1　梁貫通孔補強筋の名称等



貫通孔が円形の場合

図7.2　補強筋の定着長さ

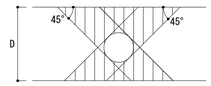
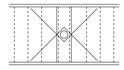
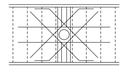
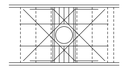


図7.3　他の開孔を設けない範囲

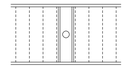
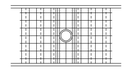
7．2　梁貫通孔の補強形式

表7.1　H形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下縦筋	配筋図
H1	2-2-D13	なし	なし	なし	
H2		2-2-D13			
H3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H4	4-2-D16				
H5	4-2-D16	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H6	4-2-D19				
H7	4-2-D22				
H8	4-2-D25	4-2-D16	2-2-D16	3-2-D13	
H9	4-2-D29				
H10	6-2-D29				
H11	6-2-D32	6-2-D16			
H12	8-2-D32				
H13	8-2-D32				

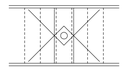
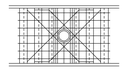
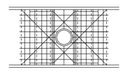
（注）-------- は，一般部分のあばら筋を示す。

表7.2　M形配筋

配筋種別	縦筋	溶接金網	配筋図
M1	2-2-D13	なし	
M2	4-2-D13		
M3	4-2-D13	2-6φ-100@	
M4	6-2-D13		

（注）-------- は，一般部分のあばら筋を示す。

表7.3　MH形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	溶接金網	配筋図
MH1	2-2-D13	なし	なし	
MH2		2-2-D13		
MH3	2-2-D13	2-2-D13	2-6φ-100@	
MH4	4-2-D13			
MH5	4-2-D16			
MH6	4-2-D16	4-2-D13	2-6φ-100@	
MH7	4-2-D19			

（注）-------- は，一般部分のあばら筋を示す。

7．3　コンクリートブロック帳壁との取合い

（1）控壁の配筋

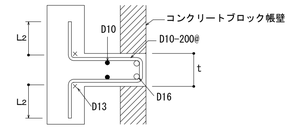


図7.3　控壁の配筋(水平，垂直とも)

（2）　帳壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強

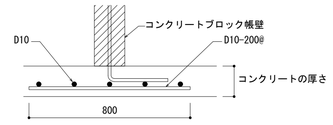


図7.4　壁付き土間コンクリートの補強配筋

明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto　建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	B	建築工事	最終版　2025. 02. 28
〈構造設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第308030号 構造設計一級建築士　第5193号 秋田　智	05	配筋標準図（４）	見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

20230220

構造関係共通事項（鉄骨標準図）

1．1　繰端距離及びボルト間隔等

（1）繰端距離及びボルト間隔

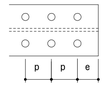
繰端距離及びボルト間隔は，表1.1による。

ただし，引張材の接合部分において，せん断力を受けるボルトが応力方向に３本以上並ばない場合の繰端距離は，構造図による。構造図がなければ，ボルト軸径の2.5倍以上とする。

また，アンカーボルトの繰端距離は構造図による。

表1.1　繰端距離及びボルト間隔　（単位：mm）

ねじの呼び	繰端距離 e	ボルト間隔 p
M12 M16 M20 M22	40	60
M24	45	70

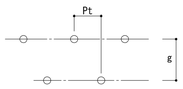


（2）千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔

千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔は，表1.2による。

表1.2　千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔　（単位：mm）

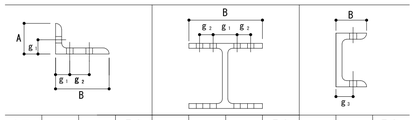
ゲージ g	千鳥打ちのボルト間隔　Pt ねじの呼び	
	M12，M16，M20，M22	M24
35	50	65
40	45	60
45	40	55
50	35	50
55	25	45
60	―	40



（3）形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径

形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径は，表1.3による。

表1.3　形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径　（単位：mm）



A又はB	g_3	g_2	最大軸径	B	g_1	g_2	最大軸径	B	g_3	最大軸径
45	25		12	100	56		16	50	30	12
50	28		16	125	75		16	65	35	20
60	35		16	150	90		22	70	40	20
65	35		20	175	105		22	75	40	22
70	40		20	200	120		24	80	45	22
75	40		22	250	150		24	90	50	24
80	45		22	300	150	40※1	24	100	55	24
90	50		24	350	140	70	24			
100	55		24	400	140	90	24			
125	50	35	24							
130	50	40	24							
150	55	55	24							
175	60	70	24							
200	60	90	24							

※1　千鳥打ちとした場合

1．2　溶接継手の種類別開先標準

突合せ継手の開先標準

（単位：mm）

H（被覆アーク溶接，ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接）

1（片面溶接）	2（両面溶接）
t≦6	
G＝t	
6＜t≦19	
35°，2，7	45°，2，7
19＜t≦40	
35°，2，7	45°，2，7，D1＝2(t−2)/3，D2＝(t−2)/3，1/4t≦S≦10

A（サブマージアーク自動溶接）

1（片面溶接）	2（両面溶接）
t≦12	
G＝6	
12＜t≦22	
30°，2，6	60°，6
22＜t≦40	
35°，2，7	45°，2，7，D1＝2(t−2)/3，D2＝(t−2)/3
30°，2，6	60°，6，D1＝(t−6)/2，D2＝(t−6)/2

Ｔ型継手の開先標準

（単位：mm）

H（被覆アーク溶接，ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接）

1（片面溶接）	2（両面溶接）
t≦6	
35°，S，2，6	
1/4t≦S≦10	
6＜t≦19	
35°，45°，S，2，7	
1/4t≦S≦10	
19＜t≦40	
35°，45°，S，2，D1，D2，7，60°	
1/4t≦S≦10	

A（サブマージアーク自動溶接）

1（片面溶接）	2（両面溶接）
t≦12	
35°，S，2，6	
1/4t≦S≦10	
12＜t≦22	
35°，60°，S，2，7，6	
1/4t≦S≦10	
22＜t≦40	
35°，60°，S，2，D1，D2，7，6，60°	
1/4t≦S≦10	

部材が直交しない場合の開先標準

（単位：mm）

H（被覆アーク溶接，ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接）

1（片面溶接）	2（両面溶接）	
6＜t≦40	6＜t≦19	19＜t≦40
≧60°，t，7，S，35°	≧60°，t，2，S，45°	≧15°，45°，0，2，3(t−2)，S，60°
1/4t≦S≦10	1/4t≦S≦10	1/4t≦S≦10

かど継手の開先標準

（単位：mm）

H（被覆アーク溶接，ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接）

1（片面溶接）	2（両面溶接）
t≦6	
S＝t	
6＜t≦19	
35°，45°，2，7，S	
1/4t≦S≦10	
19＜t≦40	
35°，45°，2，D1，D2，7，S，60°	
D1＝2(t−2)/3，D2＝(t−2)/3，1/4t≦S≦10	

A（サブマージアーク自動溶接）

1（片面溶接）	2（両面溶接）
t≦12	
6	
12＜t≦19	
35°，45°，2，7，S	50°，6，S
1/4t≦S≦10	
19＜t≦40	
35°，2，7	60°，6，D1，D2，S
D1＝(t−6)/2，D2＝(t−6)/2，1/4t≦S≦10	

隅肉溶接の開先標準

（単位：mm）

H（被覆アーク溶接，ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接）

1（片面溶接）	2（両面溶接）	
t≦16	t≦16	16＜t≦40
S，t，S	S，t，S，S	S/2，S/2，t，60°，60°，S，S

隅肉溶接のサイズ

（単位：mm）

t	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	19	22	25	28	32	36	40
S	3	4	5	5	6	7	8	8	9	10	10	11	12	11	13	15	17	19	21	24

部分溶込み溶接の開先標準

（単位：mm）

H（被覆アーク溶接，ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接）

1（片面溶接）	2（両面溶接）
12≦t≦40	16≦t≦40
t，S，D，S，45°，S	t，D1，D2，S，S，2，45°，45°

t	12	16	19	22	25	28	32	36	40
D	10	11	12	13	13	14	15	15	16

1/4t≦S≦10

D1＝(t−2)/2
D2＝(t−2)/2
1/4t≦S≦10

重ねアーク溶接（フレア溶接）の開先標準

（単位：mm）

H（被覆アーク溶接，ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接）

1（丸鋼等片面溶接）	2（丸鋼等両面溶接）	3（軽量形鋼Ｖ形溶接）	4（軽量形鋼Ｌ形溶接）
d/2，d/2，d，d	d，d/2，d/2，t，d/2，d/2，d，d，d/2，d/2	S，t，t≧3のときS＝t，t＜3のときS＝3	S，t，t≧3のときS＝t，t＜3のときS＝3

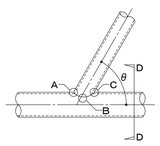
1．3　鋼管分岐継手詳細

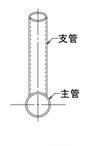
自動機械により開先加工を行う場合はその限りではない。

（単位：mm）

適用管厚　3.2mm≦t≦12mm

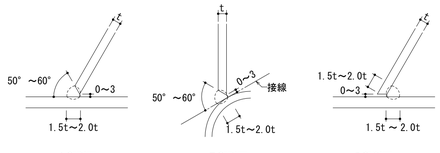
交角　30°≦θ≦150°





Ｄ－Ｄ断面図

主管の管軸と支管の管軸とは一致させること。

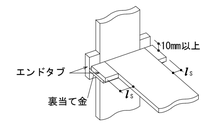


1．4　鉄骨溶接施工

（1）エンドタブ・裏当て金の鋼材の種別及び引張強さによる区分は，母材と同等とする。

（2）エンドタブ

エンドタブの形状は母材と同厚，同開先のものとする。



エンドタブの長さ　（単位：mm）

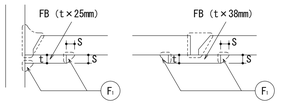
溶接方法	l_s
手　溶　接	35以上
半自動溶接	38以上
自 動 溶 接	70以上

（3）裏当て金

裏当て金の溶接

（ア）裏当て金の組立溶接は，接合部に影響を与えないように，エンドタブの位置又は梁フランジ幅の1/4の位置に行い，梁フランジ両端から10mm以内の位置には行ってはならない。

（イ）完全溶込み溶接の片面溶接に用いる裏当て金は原則としてフランジの内側に設置する。



裏当て金の厚さ　（単位：mm）

溶接方法	t
手　溶　接	6以上
半自動溶接	9以上
自 動 溶 接	12以上

溶接のサイズ　（単位：mm）

裏当て金の厚さ	S
t≦9	5
t>9	9

（4）スカラップ

改良型スカラップ

（ア）スカラップ半径 Sr_1 は35mmとする。Sr_2 は10mmとする。

（イ）スカラップ円弧の曲線は，フランジに滑らかに接するように加工し，複合円は滑らかに仕上げる。



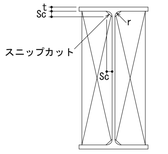
従来型スカラップ

スカラップ半径Srは35mmとする。



（5）スニップカット

（ア）スニップカット部は溶接により埋めるものとする。



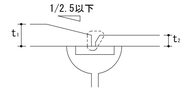
スニップカットの寸法　（単位：mm）

t	6	9	12	16以上
Sc	10	12	14	15

ただし，既製形鋼のスニップカットについては，Sc＝r+2により求めるものとする。

（6）溶接部分の段差

（ア）完全溶込み溶接を行う部分の板厚の差による段違いが10mmを超える場合又は低応力高サイクル疲労を受ける場合。



明石市政策局　プロジェクト推進室		西明石地域交流センター　icotto　建設工事	
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	B	建築工事	最終版　2025. 02. 28
〈構造設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第308030号 構造設計一級建築士　第5193号 秋田　智	06	鉄骨規準図（１）	見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（７）鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件

鋼材の種類	規格	溶接材料	入熱 (kJ/cm)	パス間温度 (℃)
400N級炭素鋼 (STKR，BCR及び BCPを除く。)	JIS Z 3211	引張強さ570MPa以上のものを除く	40以下	350以下
	JIS Z 3312	YGW-11，15	40以下	350以下
		YGW-18，19	30以下	450以下
	JIS Z 3313	T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U	40以下	350以下
		T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	30以下	450以下
	JIS Z 3214	引張強さ570MPa以上のものを除く	40以下	350以下
	JIS Z 3315	G49A0U-CCJ G49A0U-NCC，NCCT等		
490N級炭素鋼 (STKR及び BCPを除く。)	JIS Z 3211	引張強さ570MPa以上のものを除く	40以下	350以下
	JIS Z 3312	YGW-11，15	30以下	250以下
		YGW-18，19	40以下	350以下
	JIS Z 3313	T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U	30以下	250以下
		T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	40以下	350以下
	JIS Z 3214	引張強さ570MPa以上のものを除く	40以下	350以下
	JIS Z 3315	G49A0U-CCJ G49A0U-NCC，NCCT等		
520N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW-18，19	30以下	250以下
	JIS Z 3313	T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U		
400N級炭素鋼 (STKR，BCR及び BCPに限る。)	JIS Z 3312	YGW-11，15	30以下	250以下
		YGW-18，19	40以下	350以下
	JIS Z 3313	T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U	30以下	250以下
		T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	40以下	350以下
490N級炭素鋼 (STKR及び BCPに限る。)	JIS Z 3312	YGW-18，19	30以下	250以下
	JIS Z 3313	T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U		

１．５　重ねアーク溶接（フレア溶接）を行う場合の溶接長さ

鉄筋又は軽量形鋼に重ねアーク溶接（フレア溶接）を行う場合の溶接長さ（L）は，ビートの始点（La）及びクレーター（Lb）を除いた長さとする。

Ｌ：片面フレア溶接の場合　10d
　　両面フレア溶接の場合　5d

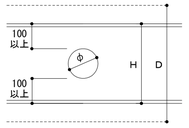
Ｌａ及びＬｂは1d（軽量形鋼についてはlS）以上
ｄ：異形鉄筋の呼び名に用いた数値
Ｓ：溶接のサイズ



１．６　梁貫通孔補強

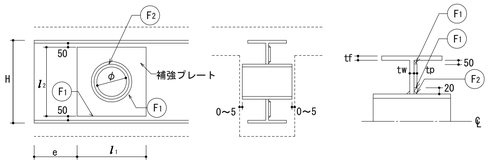
（１）鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の鉄骨梁ウェブ部材に貫通孔を設ける場合は，次による。
（ア）貫通孔の内径寸法は，鉄骨せいの1/2以下かつ鉄筋コンクリートの梁せいの1/3以下とする。
（イ）貫通孔間隔は，両側の貫通孔径の平均値の，鉄骨造で2倍以上，鉄骨鉄筋コンクリート造で3倍以上確保する。

梁貫通孔の位置の限度　（単位：mm）



Ｈ：鉄骨せい
Ｄ：梁せい
φ：貫通孔内径寸法
（φ≦H/2，かつ，φ≦D/3）

（２）貫通孔の補強方法は，構造図による。
補強プレート法及び補強トラス法の溶接等は，以下による。
補強プレート法
（ア）補強プレートが16mm以上となる場合は，必要な長さの1/2以上の補強プレートをウェブ両面から溶接する。
（イ）補強プレートは丸型としても良い。上下フランジとのあき50mmについては施工性を考慮して小さくすることもできる。



l_1 は３φ又は l_2 のうち小さい方とする。　（e≧Ｈとする）
ｅ：材端と補強プレートの間隔

補強トラス法
スリーブの取付けは，全周隅肉溶接とする。

１．７　その他

（１）広幅平鋼の取扱い
　　BH材のフランジ及びフランジに使用する外側スプライスプレートは，PL表記であっても FB又はPLとする。
（２）フィラープレートの材質
　　フィラープレートを使用する場合，材質はSS400とする。
（３）もや，胴縁類の取付け用ボルト
　　もや，胴縁類の取付け用ボルトを普通ボルト結合とする場合は，二重ナットとする。

明石市政策局　プロジェクト推進室		西明石地域交流センター　icotto　建設工事	
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	B	建築工事	最終版　2025. 02. 28
〈構造設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第308030号 構造設計一級建築士　第5193号 秋田　智	07	鉄骨規準図（２）	見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

20230220

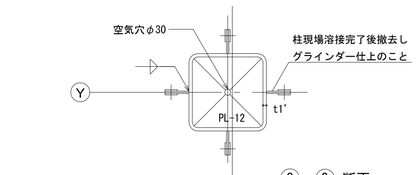
鉄骨規準図　（３）　［ＳＲＣ造］

仕口部の溶接　1:20

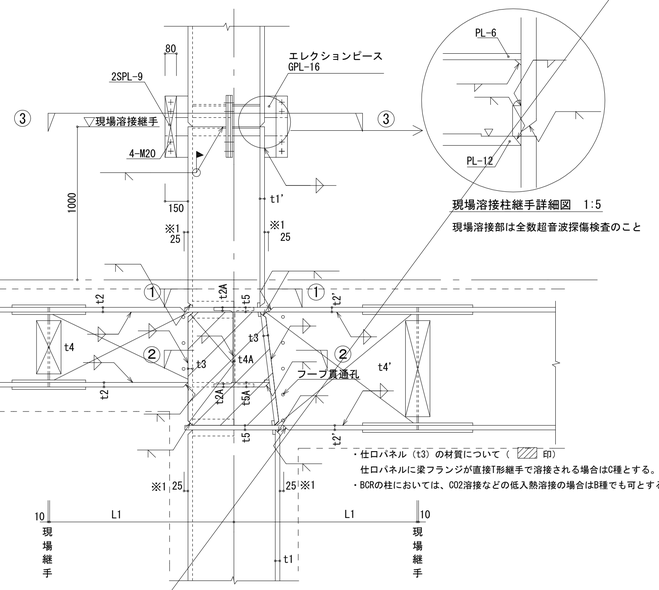
（注）・仕口部にはスカーラップを設けないことを原則とする。
・冷間成形角形鋼管の角部へのピースの取り付け要領は以下による。
１）柱梁接合部から1.5D（D:柱成）へは取り付けない。
２）ショートビードとなる溶接は避ける。

・柱梁仕口部の成は取付く大梁成の公差およびダイアフラムの笠折れ・溶接縮みなどを考慮して製作すること。

・施工者はエレクションピース・仮設ピースに関する安全性およびディテールを検討し、確認、決定した上で施工を行うこと。
その上で本規準と異なる場合は監理者に確認を得ること。



③－③　断面

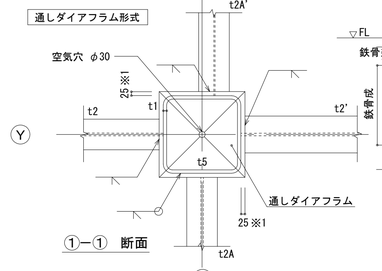


現場溶接柱継手詳細図　1:5

現場溶接部は全数超音波探傷検査のこと

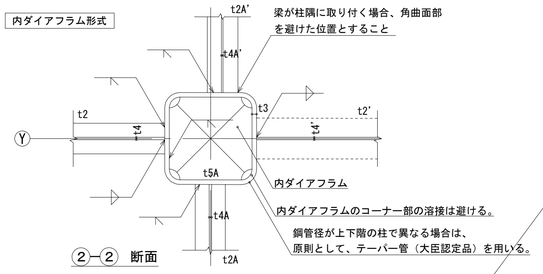
・仕口パネル（t3）の材質について（　印）
仕口パネルに梁フランジが直接T形継手で溶接される場合はC種とする。
・BCRの柱においては、CO2溶接などの低入熱溶接の場合はB種でも可とする。

通しダイアフラム形式



①－①　断面

内ダイアフラム形式



梁が柱隅に取り付く場合、角曲面部を避けた位置とすること

内ダイアフラムのコーナー部の溶接は避ける。

鋼管径が上下階の柱で異なる場合は、
原則として、テーパー管（大臣認定品）を用いる。

②－②　断面

（X）（梁フランジが、柱の曲げ加工面にかかる場合は通しダイアフラム形式とする。）

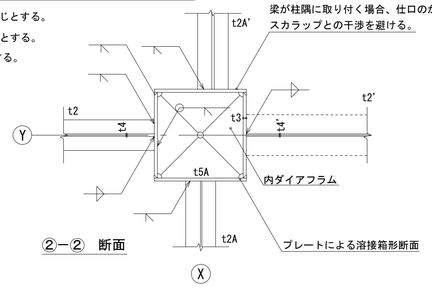
仕口部分　の　材質・板厚

ダイアフラム材質・強度　材質はC種とする。ただし、内ダイアフラムとなる場合はB種とする。強度は柱梁の鋼材のうち、最も高強度の材料と同じとする。
t5：通しダイアフラムに取り合う梁フランジ（t2，t2A，t2'，t2A'）のうち最大の板厚の2サイズ（6mm以上）アップとする。
t5A：内ダイアフラムに取り合う梁フランジ（t2，t2A，．．．．）のうち最大の板厚の2サイズ（6mm以上）アップとする。

仕口パネル部の材質・強度　上下の柱鋼管と同じB種とする。また、強度は上下柱と同強度以上のものを使用する。
ただし、仕口パネルに段違い梁のフランジが直接取り付く場合は、材種はC種とする。
t3：上下の柱鋼管厚（t1，t1'）の厚い方とし、かつ、かつ寄り合う梁のウェブ板厚（t4，t4A，．．．．）以上とする。
ただし、仕口パネルを4面プレート加工により製作する場合の板厚は以下による。
１）柱鋼管がBCR材の場合は上下の柱鋼管厚（t1，t1'）の厚い方の1サイズ以上とする。
２）柱鋼管がBCP材の場合は上下の柱鋼管厚（t1，t1'）の厚い方の2サイズ以上とする。

（注）※1.　通しダイアフラムの出寸法は25mmを標準とし、角形鋼管厚が28mm以上の場合は30mmとする。
※2.　上下の柱鋼管径が異なる場合は原則として大臣認定取得したテーパー管（大臣認定品）を用いること。
※3.　ダイアフラム、仕口パネル共に板厚が40mmを超える場合はTMCP鋼（大臣認定品）を用いること。

仕口部をプレート溶接加工する場合



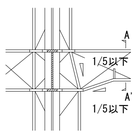
梁が柱隅に取り付く場合、仕口のかど継ぎ手部のスカラップとの干渉を避ける。

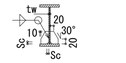
プレートによる溶接箱形断面

②－②　断面

梁ハンチ要領

・梁に鉛直ハンチを設ける場合は、下図に示すようなリブプレートを設ける。
リブプレートは梁ウェブと同厚・同材質とする。

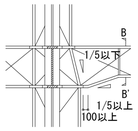


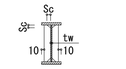


A-A'　断面

Sc：スニップカットの寸法
既製RH形鋼のスニップカット寸法は
Sc＝r（フィレット部半径）+2mmとする。
溶接BH形鋼のスニップカット寸法は下表による。

ウェブ板厚　tw	6	9	12	16以上
スニップカット Sc	10	12	14	15





B-B'　断面
鉛直ハンチ1/5以上の場合
リブプレート形状は上図による。

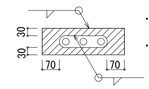
鉄筋貫通孔

・鉄筋貫通孔位置は、工作図作成の上、監理者の承認を得ること。

鉄筋径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
孔径	21.0φ	24.0φ	28.0φ	31.0φ	35.0φ	38.0φ	43.0φ	46.0φ

埋込み柱脚ウェブの梁主筋貫通補強要領

・貫通鉄筋が水平に3個以上並ぶ場合、下記の補強をする。

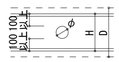


・補強プレートは柱ウェブと同厚・同材質とする。
・補強プレートが16mm以上となる場合は、必要な厚さの1/2以上の補強プレートを柱ウェブの両面に溶接する。

梁貫通孔の補強

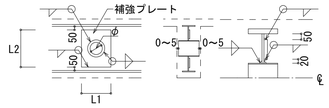
1. 梁貫通孔の限度
・梁貫通孔の内径寸法は、鉄骨成Hの0.45倍以下　かつ　鉄筋コンクリート部分の梁成Dの1/3以下とする。

梁貫通孔の位置及び大きさ
H：鉄骨成
D：鉄筋コンクリート部分の梁成
φ：貫通孔内径寸法
（φ≦H/2かつφ≦D/3）



・スリーブピッチは、隣り合うスリーブ平均の3倍以上とする。
・梁端に貫通孔を設ける場合、原則として梁端部から貫通孔の中心まで1.5D以上、内部の鉄骨せいの2.0H以上離すこと。
・梁継手部のウェブスプライスプレート端部より1.0H以上離すこと。

2. 梁貫通孔の補強要領
・梁貫通孔の補強方法は、補強プレート法とする。また、補強プレートの他に補強鋼管スリーブを溶接する。
・原則として、「1.梁貫通孔の限度」以内にあるφ≦H/5かつφ≦100の貫通孔は補強プレートは不要とし、補強鋼管スリーブのみ溶接する。



・鉄筋コンクリート部分の補強要領は、「鉄筋コンクリート配筋規準図（2）」による。

（1）補強プレートは、梁ウェブと同厚、同材質とし、補強プレートが16mm以上となるものについては、必要な厚さの1/2以上の補強プレートを、ウェブ両面から溶接する。

（2）L1は3φまたは、L2の小さい方とする。

（3）L2は3φまたは図示寸法のうち小さい方とする。

（4）補強鋼管スリーブは下表による。

（5）小梁ガセットや補強プレート同士が干渉する場合、監督職員の指示による。

貫通孔φ	補強鋼管スリーブ（STK400）
100	φ-101.6×3.2
125	φ-139.8×3.6
150	φ-165.2×4.5
175	φ-190.7×4.5
200	φ-216.3×4.5
250	φ-267.4×6.0
300	φ-318.5×7.0
350	φ-355.6×8.0
400	φ-406.4×9.0
450	φ-457.2×9.0

ＳＲＣ造の配筋要領

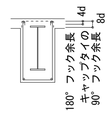
（注）SRC造の配筋要領として「鉄筋コンクリート配筋規準図」以外に下図による。

1. 大梁のあばら筋

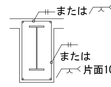
原則として「鉄筋コンクリート配筋規準図（1）、3.梁・あばら筋」によるが、下図によってもよい。

（1）柱コンクリート面より　Max（1.5D,2.0H）までの範囲は
（a）または（b）によってもよい。

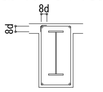
（2）柱コンクリート面より　Max（1.5D,2.0H）以外の範囲は
（c）または（d）によってもよい。



（a）180°フックU字形
キャップタイ付



（b）溶接形



（c）90°フック閉鎖形

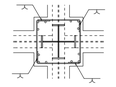


（d）90°フックU字形
キャップタイ付

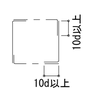
2. 柱梁接合部の帯筋

柱梁接合部の帯筋は割フープとして、片側10d以上のフレア溶接とする。

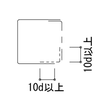
（注）梁の取付かない側には原則として溶接継手箇所を設けないこと。



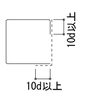
（a）中柱



（b）側柱



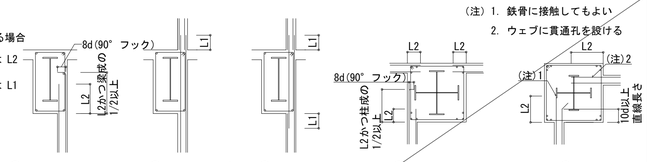
（c）隅柱



3. 壁筋の定着

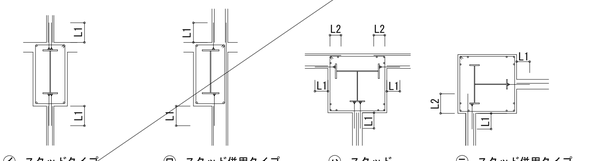
（1）コンクリート断面に定着する場合
柱または梁内へ定着する場合は L2
壁内で重ね継手を設ける場合は L1
とする。

（注）1. 鉄骨に接触してもよい
2. ウェブに貫通孔を設ける



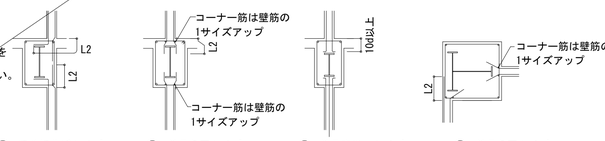
㋑ 定着長さの取り方（梁）　㋺ 通し筋タイプ　㋩ ジョイント筋の使用　㋥ 定着長さの取り方（柱）　㋭ 一般定着

（2）鉄骨に接合する場合
壁筋と鉄骨フランジとが干渉する場合（壁筋の直線部分定着長さが15d確保できない場合）は、右図のように鉄筋工事用スタッドを鉄骨フランジにスタッド溶接の上、重ね継手（L1）とする。スタッドは干渉する壁筋と同材種で同径・同ピッチとする。



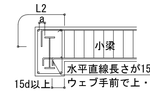
㋑ スタッドタイプ　㋺ スタッド併用タイプ　㋩ スタッド　㋥ スタッド併用タイプ

（3）その他
非耐力壁などにおいて、監理者の承認を得た場合は右図の定着を採用してもよい。

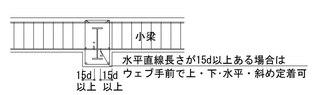


㋑ 手前折曲げタイプ　㋺ 鉄骨う回タイプ　㋩ 鉄骨突当てタイプ　㋥ 鉄骨う回タイプ

4. 小梁筋の定着

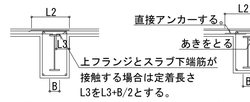


㋑ 不連続端（フランジ側面と梁筋のあきaが必要）

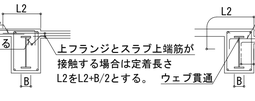


㋺ 連続端（連梁の下端筋は手前アンカーでもよい）

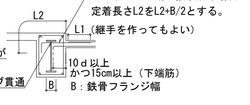
5. スラブ筋の定着



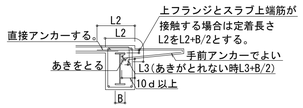
㋑ 一般のスラブ



㋺ スラブに段差のある場合（１）



㋩ スラブに段差のある場合（2）



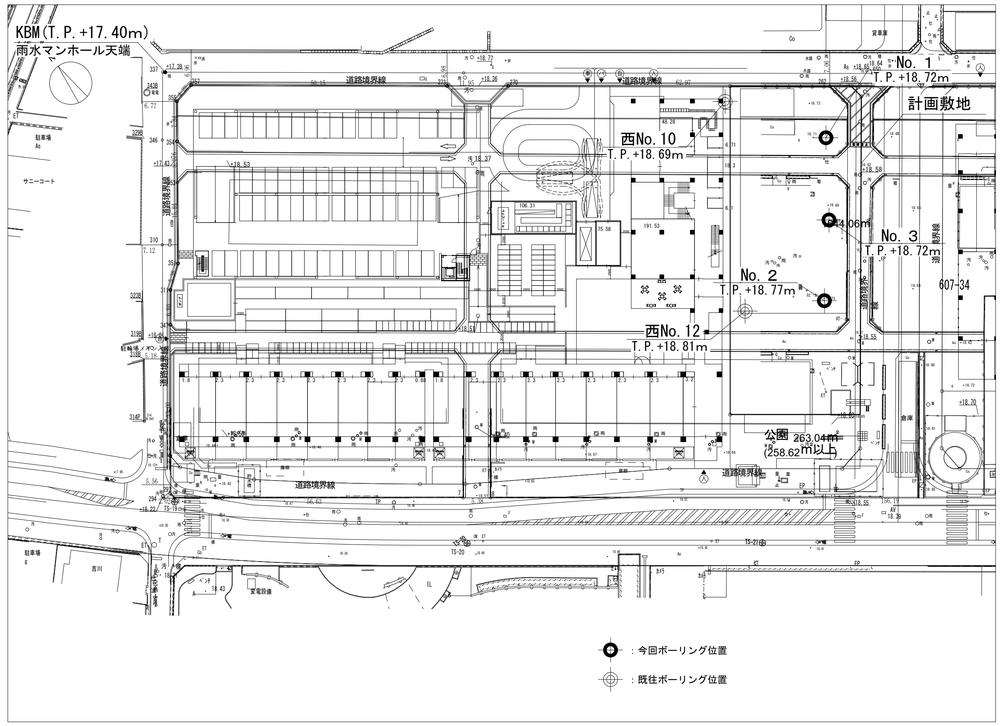
㋥ 片持スラブ（段差のある場合）

（注）スラブ筋が鉄骨フランジと接触したり、コンクリート充てん性に懸念のある箇所で定着する場合は、
鉄筋の付着性能が劣るため、上記のように定着長さを変更すること。

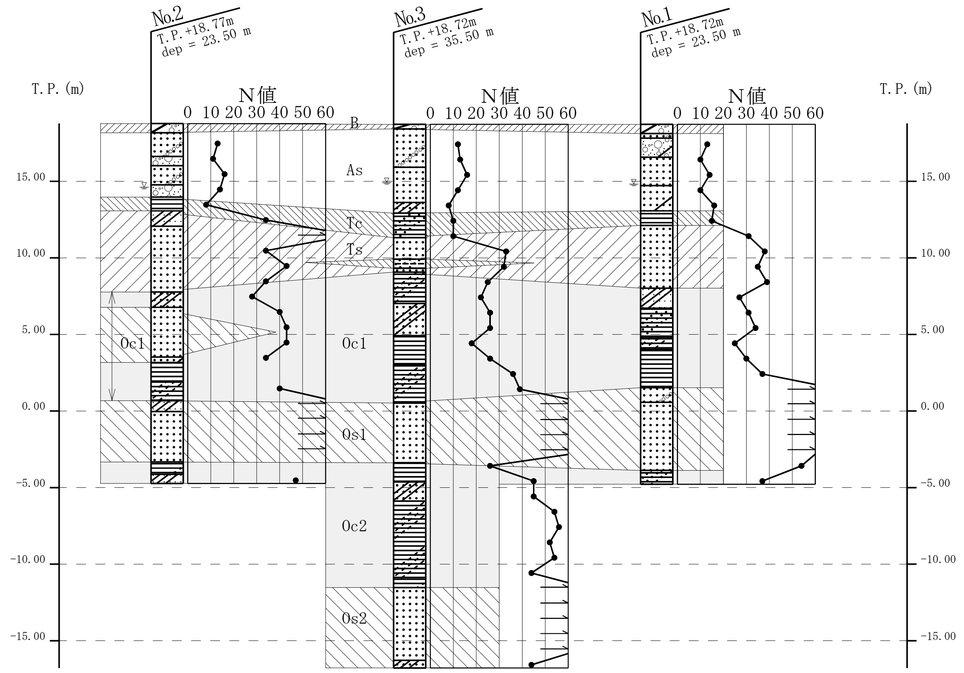
	明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	B	建築工事	最終版	2025. 02. 28
〈構造設計者〉 一級建築士　国土交通大臣登録　第308030号 構造設計一級建築士　第5193号 秋田　智	08	鉄骨規準図（３）	見積版	2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版	

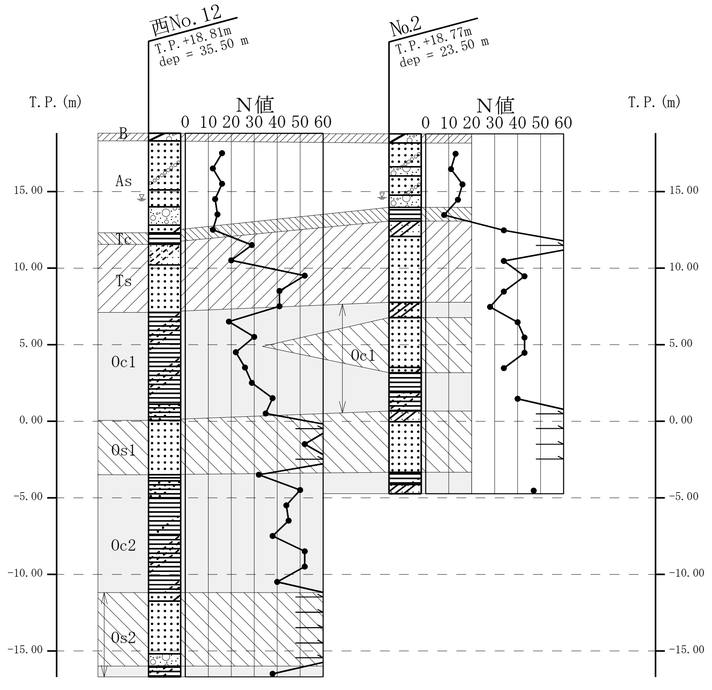
（2023年版）

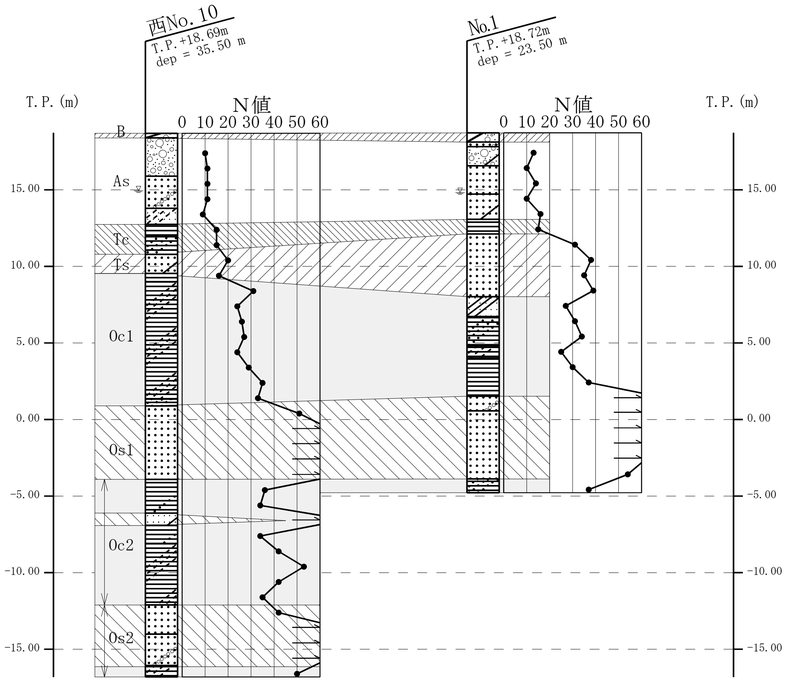
20230220



地質調査位置図　1:600







地質推定断面図　1:200

＜凡　例＞

時代			地層区分		記号
新生代	第四紀	現世	盛土層		B
		完新世	沖積層	砂質土層	As
		更新世	段丘層	粘性土層	Tc
				砂質土層	Ts
			大阪層群	粘性土層	Oc
	新第三紀			砂質土層	Os

明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森　雅章	B	建築工事	A1 1:600 1:200 最終版 2025.02.28
〈構造設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第308030号 構造設計一級建築士 第5193号 秋田　智	09	調査位置図・地質断面図	A3 1:1200 1:400 見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

(T.P.+18.64m)
設計GL
▽
杭天端
GL-2.1～2.5m
▽
杭先端
GL-19.1～19.5m
▽

ボーリングNo.1

標尺	標高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対硬度	記事
(m)	(m)	(m)	(m)						
0	18.12	0.60	0.60		盛土(砂礫)	黄灰褐			φ7～20mm程度の礫主体。マトリクスは中砂～粗砂。
	17.82	0.30	0.90		礫混り砂	黄灰			中砂～粗砂主体。φ2～20mm程度の礫混入。含水(低い)。
2	16.57	1.25	2.15		粘土混り砂礫	暗黄灰	中位		φ2～30mm程度の礫主体。マトリクスは中砂～粗砂。粘土分混入。含水(低い)。
3	14.72	1.85	4.00		砂	暗黄灰	緩い/中位		中砂～粗砂主体。φ2～5mm程度の礫点在。含水(低い)。
5	13.07	1.65	5.65		粘土混り砂	淡黄灰	緩い/中位		細砂～中砂主体。粘土分混入。含水(中位)。
6	12.12	0.95	6.60		粘土	黒～黄灰		硬い	ほぼ均質。粘性(強)。
9	8.60	4.10	10.70		砂	淡黄灰	密		細砂～中砂主体。含水(中位)。s.00～中砂～粗砂主体。
12	6.72	1.30	12.00		粘土質細砂	暗青灰	中位		粘土分多量混入。含水(低い)。
13	4.82	1.90	13.90		砂質粘土	暗青灰		固結した	細砂多量混入。粘性(弱)。
15	4.02	0.80	14.70		シルト質粘土	暗青灰		非常に硬い	ほぼ均質。粘性(弱)。
16	1.82	2.20	16.90		粘土	暗青灰		固結した	ほぼ均質。粘性(弱)。
17	1.27	0.55	17.45		礫混り砂	暗青灰			中砂～粗砂主体。φ2～5mm程度の礫混入。粘土分多量混入。含水(低い)。
20	-0.88	4.43	22.60		砂	灰	非常に密		中砂～粗砂主体。含水(低い)。18.70付近、薄く 粘土挟む。19.00～細砂～中砂主体。22.00～含水(中位)。
23	-3.88	3.00	25.60		砂質粘土	暗青灰		固結した	細砂多量混入。粘性(弱)。
	-4.78	0.90	26.50						

孔内水位(m)／測定日
9/23
無水掘りにより自然水位

標準貫入試験

深度	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数→貫入量(cm)	N値
1.15	3	4	6	15/30	
2.15	3	3	4	15/30	
3.15	4	5	5	15/30	
4.15	3	3	4	15/30	
5.15	4	5	7	15/30	
6.15	8	10	13	15/30	
7.15	8	13	15	15/30	
8.15	9	11	15	15/30	
9.15	10	15	14	15/30	
10.15	6	10	11	15/30	
11.15	7	11	13	15/30	
12.15	9	12	13	15/30	
13.15	7	8	10	15/30	
14.15	9	10	11	15/30	
15.15	10	12	15	15/30	
16.15	10	22	33/9	42/45	
17.15	27	33/9	35/12	95/95	
18.15	22	27	35/9	75/78	
19.15	28	35	55/20	90/95	
20.15	28	33/8	55/18	100/103	
21.15	17	16	51/30	54/57	
22.15	10	12	15	37/30	
23.15					

原位置試験

深度	試験名および結果
(m)	
1.00	試掘

試料番号	深度 (m)
1.15	
1.45	1P-1
2.15	
2.45	2P-2
3.15	
3.45	3P-3
4.15	
4.45	4P-4
5.15	
5.45	5P-5
6.15	
6.45	6P-6
7.15	
7.45	7P-7
8.15	
8.45	8P-8
9.15	
9.45	9P-9
10.15	
10.45	10P-10
11.15	
11.45	11P-11
12.15	
12.45	12P-12
13.15	
13.45	13P-13
14.15	
14.45	14P-14
15.15	
15.45	15P-15
16.15	
16.45	16P-16
17.15	
17.44	17P-17
18.15	
18.34	18P-18
19.15	
19.39	19P-19
20.15	
20.35	20P-20
21.15	
21.33	21P-21
22.15	
22.45	22P-22
23.15	
23.45	23P-23

採取方法(　)

室内試験	掘進月日
シ	

ボーリングNo.2

標尺	標高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対硬度	記事
(m)	(m)	(m)	(m)						
0	18.17	0.60	0.60		盛土(砂礫)	黄灰褐			φ7～20mm程度の礫主体。マトリクスは中砂～粗砂。コンクリート片混入。
1	16.62	1.55	2.15		礫混り砂	黄灰	中位		中砂～粗砂主体。φ5～10mm程度の礫混入。含水(低い)。
2	16.02	0.60	2.75		砂礫	黄灰	中位		φ7～20mm程度の礫主体。マトリクスは中砂～粗砂。
3	14.77	1.25	4.00		礫混り砂	黄灰～黄灰	中位		中砂～粗砂主体。φ5～10mm程度の礫混入。含水(低い)。
4	13.92	0.85	4.85		砂礫	淡灰	中位		φ7～20mm程度の礫主体。マトリクスは中砂～粗砂。
5	13.02	0.90	5.70		粘土	暗青灰～黄灰	中位		ほぼ均質。粘性(中位)。
6	12.07	1.00	6.70		粘土質細砂	暗青灰～黄灰	中位～密		粘土分多量混入。含水(低い)。
9	8.77	4.30	11.00		砂	黄灰	非常に密/密		細砂～中砂主体。含水(中位)。
12	6.77	1.00	12.00		粘土質細砂	暗青灰	中位		細砂～中砂主体。粘土分多量混入。含水(低い)。
13	5.52	1.25	13.25		砂	暗青灰	密		細砂～中砂主体。含水(中位)。15.00付近、腐植物混入。
15	3.32	2.20	15.20		粘土混り砂	暗青灰			細砂～中砂主体。粘土分混入。含水(中位)。
	3.17	0.15	15.35		粘土	暗青灰			ほぼ均質。粘性(弱)。
16	1.92	1.25	16.85		シルト質粘土	暗青灰	固結した		ほぼ均質。粘性(弱)。
17	0.67	1.25	18.10		粘土質細砂	暗青灰	非常に密		粘土分多量混入。含水(低い)。
18	-0.03	0.70	18.80		砂	灰	非常に密		細砂～中砂主体。含水(低い)。21.00～φ2～5mm程度の礫点在。
22	-3.33	3.30	22.10		砂混り粘土	暗青灰			細砂混入。粘性(弱)。
	-4.13	0.80	22.90		粘土質細砂	暗青灰	密		粘土分多量混入。含水(低い)。
23	-4.73	0.60	23.50						

孔内水位(m)／測定日
9/23
無水掘りにより自然水位

標準貫入試験

深度	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数→貫入量(cm)	N値
1.15	3	5	5	15/30	
2.15	3	4	4	15/30	
3.15	5	5	6	15/30	
4.15	4	5	5	15/30	
5.15	2	2	4	15/30	
6.15	11	11	12	34/30	
7.15	16	14	30/27	59/57	
8.15	10	10	14	34/30	
9.15	10	14	19	52/45	
10.15	10	12	12	34/30	
11.15	7	9	12	28/30	
12.15	10	14	16	52/45	
13.15	12	15	16	53/45	
14.15	10	14	19	52/45	
15.15	10	12	12	34/30	
16.15					
17.15	8	14	18	50/45	
18.15	12	23	33/7	67/52	
19.15	26	34/8	59/18	100/26	
20.15	19	29	54/14	75/40	
21.15	28	33/9	57/17	106/26	
22.15	14	16	17	47/30	
23.15					

原位置試験

深度	試験名および結果
(m)	
1.00	試掘
4.00	ﾌﾟﾚｯｼｬｰﾒｰﾀｰ試験
5.50	

試料番号	深度 (m)
1.15	
1.45	1P-1
2.15	
2.45	2P-2
3.15	
3.45	3P-3
4.15	
4.45	4P-4
5.15	
5.45	5P-5
6.15	
6.45	6P-6
7.15	
7.45	7P-7
8.15	
8.45	8P-8
9.15	
9.45	9P-9
10.15	
10.45	10P-10
11.15	
11.45	11P-11
12.15	
12.45	12P-12
13.15	
13.45	13P-13
14.15	
14.45	14P-14
15.15	
15.45	15P-15
16.15	
16.45	16P-16
17.15	
17.45	17P-17
18.15	
18.42	18P-18
19.15	
19.39	19P-19
20.15	
20.39	20P-20
21.15	
21.39	21P-21
22.15	
22.45	22P-22
23.15	
23.45	23P-23

採取方法(　)

室内試験	掘進月日
シ	

ボーリングNo.3

標尺	標高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対硬度	記事
(m)	(m)	(m)	(m)						
0	18.42	0.30	0.30		盛土(砂礫)	茶灰			φ7～20mm程度の礫主体。マトリクスは中砂～粗砂。レンガ片混入。
1	16.52	1.90	2.20		礫混り砂	暗黄灰	中位		中砂～粗砂主体。φ5～10mm程度の礫混入。シルト分少量混入。含水(低い)。
3	15.92	0.60	2.80		砂	淡灰	中位		中砂～粗砂主体。含水(低い)。4.00～含水(中位)。
5	13.62	2.30	5.10		粘土質砂	淡灰～暗灰	緩い		中砂～粗砂主体。粘土分多量混入。含水(低い)。
6	12.92	0.70	5.80		砂質粘土	暗灰	硬い		中砂～粗砂多量混入。腐植物点在。粘性(弱)。
8	11.32	1.60	7.40		砂	淡灰	密		細砂～中砂主体。粘土分多量混入。含水(中位)。
9	9.92	1.40	8.80		砂質シルト	淡灰			細砂多量混入。粘性(弱)。
	9.32	0.60	9.40						
	9.02	0.25	9.65		砂	淡灰			細砂～中砂主体。含水(中位)。
11	7.02	2.00	11.70		シルト質粘土	暗青灰		非常に硬い	ほぼ均質。下部、砂挟む。粘性(弱)。11.00付近、腐植物点在。
13	4.92	2.10	13.80		粘土質砂	暗青灰	中位		細砂～中砂主体。粘土分多量混入。含水(低い)。
15	3.02	1.90	15.70		粘土	暗青灰		非常に硬い	ほぼ均質。粘性(中位)。
16	2.52	0.50	16.20		シルト質粘土	暗青灰		固結した	ほぼ均質。粘性(弱)。
18	0.52	2.00	18.20		砂	灰	非常に密		中砂～粗砂主体。φ2～5mm程度の礫点在。含水(低い)。
21	-3.38	3.90	22.10		粘土	暗青灰	非常に硬い		細砂少量混入。粘性(弱)。
22	-4.63	1.25	23.35		粘土質砂	暗青灰	密		細砂～中砂主体。粘土分多量混入。含水(低い)。
24	-5.88	1.25	24.60		シルト質粘土	灰		固結した	ほぼ均質。粘性(弱)。
30	-10.98	5.10	29.70		砂混り粘土	灰			細砂～中砂混入。粘性(弱)。
	-11.53	0.55	30.25						
33	-14.28	2.75	32.90		砂	灰/青灰	非常に密		細砂～中砂主体。含水(低い)。14.60～34.80間、粘土挟む。
35	-16.28	2.75	35.00		粘土質砂	青灰	密		細砂～中砂主体。粘土分多量混入。含水(低い)。
	-16.78	0.50	35.50						

孔内水位(m)／測定日
9/23
無水掘りにより自然水位

標準貫入試験

深度	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数→貫入量(cm)	N値
1.15	3	4	5	15/30	
2.15	4	4	5	15/30	
3.15	5	5	6	15/30	
4.15	3	3	3	15/30	
5.15	2	3	3	15/30	
6.15	3	3	4	15/30	
7.15	2	3	5	15/30	
8.15	9	12	12	33/30	
9.15	10	10	12	32/30	
10.15	7	8	10	25/30	
11.15	5	7	10	22/30	
12.15	7	8	11	26/30	
13.15	7	9	10	26/30	
14.15	5	6	7	18/30	
15.15	7	9	10	26/30	
16.15	10	12	14	36/30	
17.15	10	13	16	39/30	
18.15	23	35/5	59/15	200/20	
19.15	29	26	31/7	72/37	
20.15	19	28	31/7	78/37	
21.15	24	32	31/7	86/37	
22.15	12	14	19	45/30	
23.15	12	14	19	45/30	
24.15	13	19	22	54/30	
25.15	15	19	22	56/30	
26.15	15	17	20	52/30	
27.15	11	21	22	54/30	
28.15	11	15	18	44/30	
29.15	25	34/4	55/11	113/26	
30.15	26	33	31/7	82/37	
31.15	21	32	31/7	82/37	
32.15	23	34	31/7	86/37	
33.15	24	27	31/7	82/37	
34.15	14	16	34/9	44/39	
35.15					

原位置試験

深度	試験名および結果
(m)	
1.00	試掘

試料番号	深度 (m)
1.15	
1.45	1P-1
2.15	
2.45	2P-2
3.15	
3.45	3P-3
4.15	
4.45	4P-4
5.15	
5.45	5P-5
6.15	
6.45	6P-6
7.15	
7.45	7P-7
8.15	
8.45	8P-8
9.15	
9.45	9P-9
10.15	
10.45	10P-10
11.15	
11.45	11P-11
12.15	
12.45	12P-12
13.15	
13.45	13P-13
14.15	
14.45	14P-14
15.15	
15.45	15P-15
16.15	
16.45	16P-16
17.15	
17.45	17P-17
18.15	
18.42	18P-18
19.15	
19.48	19P-19
20.15	
20.39	20P-20
21.15	
21.38	21P-21
22.15	
22.45	22P-22
23.15	
23.45	23P-23
24.15	
24.45	24P-24
25.15	
25.45	25P-25
26.15	
26.45	26P-26
27.15	
27.45	27P-27
28.15	
28.45	28P-28
29.15	
29.45	29P-29
30.15	
30.31	30P-30
31.15	
31.37	31P-31
32.15	
32.37	32P-32
33.15	
33.36	33P-33
34.15	
34.37	34P-34
35.15	
35.45	35P-35

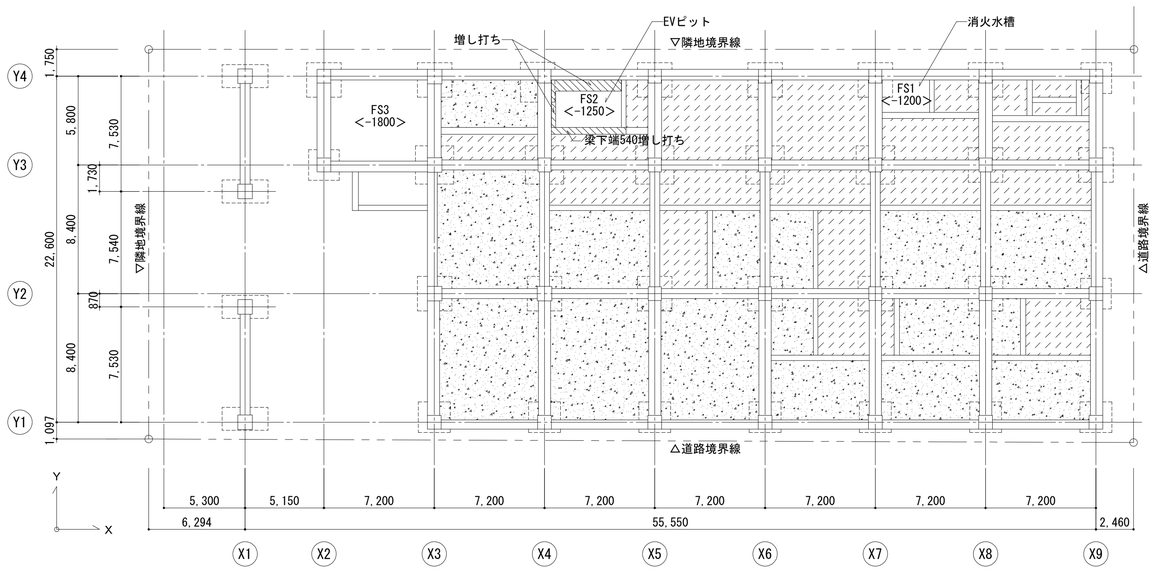
採取方法(　)

室内試験	掘進月日
シ	

明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	B	建築工事	最終版 2025.02.28
〈構造設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第308030号 構造設計一級建築士 第5193号 秋田 智	10	土質柱状図 A1 1:200 A3 1:400	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

(2023年版)

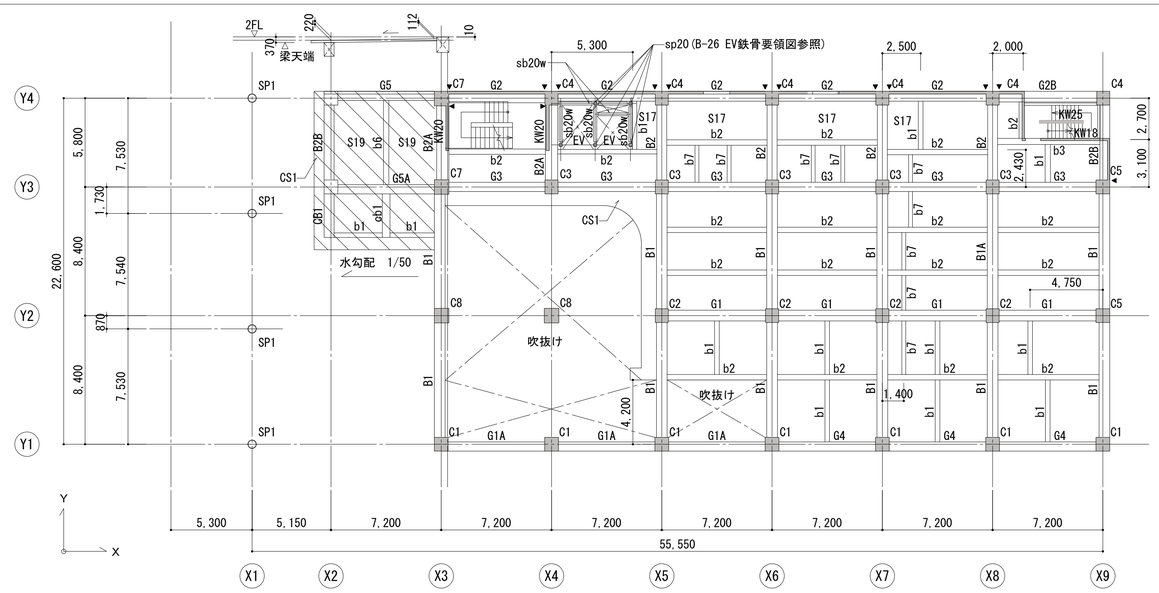
20230220



ピット伏図　1:200

共通事項（特記なき限り）

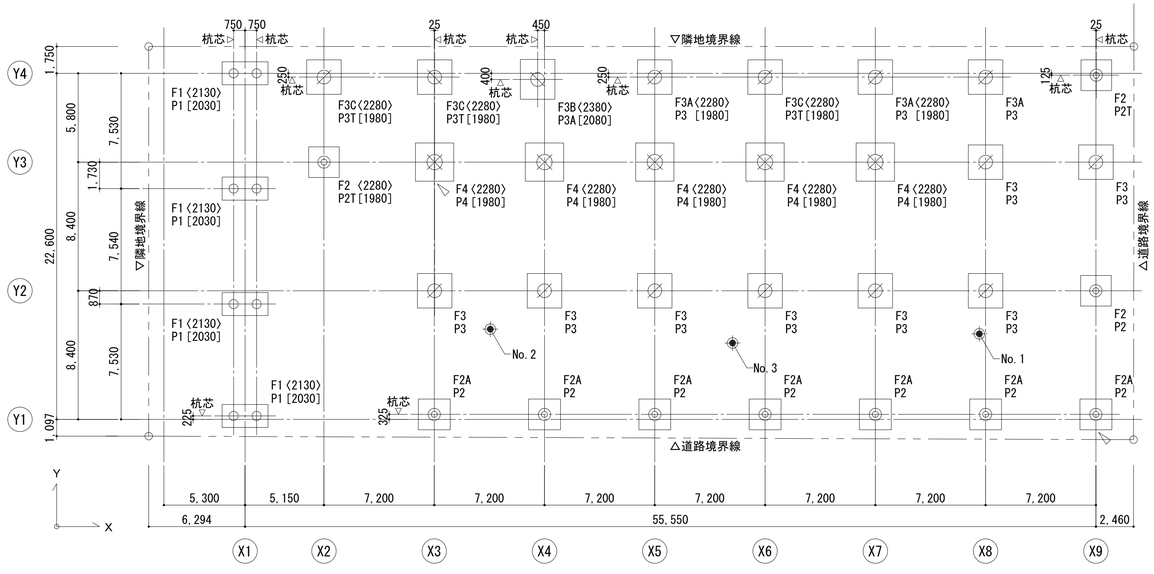
- ◦ ▨ 印は 砕石ピット -1800 を示す。
- ◦ ⋰ 印は 埋め戻し範囲 を示す。
- ◦ ⊠ 印は 人通口600φ を示す。
- ◦ < >内数値は、1FLからの底版天端レベルを 示す。
- ◦



2階床梁伏図　1:200

共通事項（特記なき限り）

- ◦ スラブ符号は S16 とする。
- ◦ スラブ天端は FL-10 とする。
- ◦ 大梁天端は FL-10 とする。
- ◦ 小梁天端は FL-10 とする。
- ◦ ( ) 内数値は FLからの梁天端レベル を示す。
- ◦ 壁符号は W18 とする。
- ◦ ◀ ▼ 印は 耐震スリット(三方スリット) を示す。
- ◦ ▨ 印 梁天端は水勾配により、スラブ天端は 2FL-110～250 とする。



杭・基礎伏図　1:200

共通事項（特記なき限り）

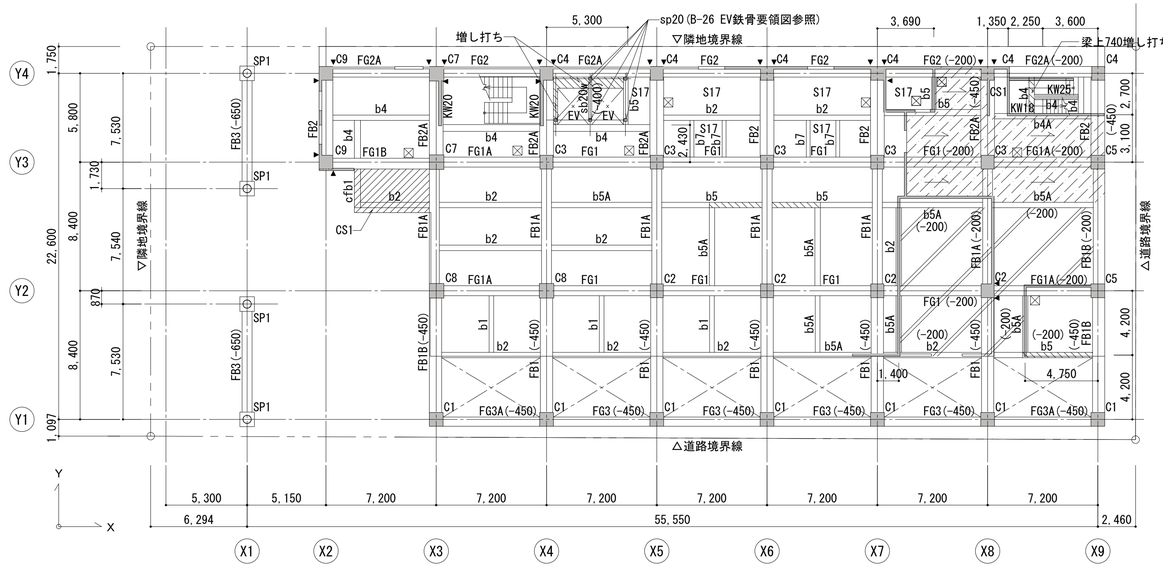
- ◦ 設計GL=T.P.+18.64m とする。
- ◦ 杭芯は通芯とする。
- ◦ 基礎芯は柱芯とする。
- ◦ 基礎底は GL-2530 とする。
- ◦ 〈 〉内数値は GLからの基礎底レベル を示す。
- ◦ 杭天端は GL-2230 とする。
- ◦ [ ] 内数値は GLからの杭天端レベル を示す。
- ◦ ◉ 印は ボーリング調査位置 を示す。
- ◦ ＼ 印は 試験杭位置 を示す。(2ヶ所)
- ◦ 試験杭により支持層を確認すること。その結果が本設計と差異がある場合には設計変更することがある。
- ◦ トリプルプレートジョイント（接合方式：無溶接継手）(BCJ認定-FD0183-08)とする。
- ◦ T付杭は 引抜対応杭を示す。
- ◦ ()内数値はT付杭本数を示す。

杭仕様

共通事項（特記なき限り）

- ◦ 杭工法は プレボーリング拡大根固め工法とし、[α=335、β=4.4、γ=0.62以上]の長期許容支持力を確保できる工法とする。
- ◦ 試験杭は 下記杭長+1.0m(下杭+1.0m)とする。

記号	符号	上杭 杭径(φ)	上杭 杭種	上杭 杭長(m)	下杭 杭径(φ)	下杭 杭種	下杭 杭長(m)	杭本数	長期支持力 (kN/本)
○	P1	600	PRC杭 (Ⅲ種)	5	600	PHC杭 (B種)	12	8	2500
◎	P2, P2T	800	SC杭 (STK490 t=16.0)	5	800	PHC杭 (B種)	12	10 (2)	4000
∅	P3	900	SC杭 (STK490 t=12.0)	5	900	PHC杭 (B種)	12	11	5000
⦸	P3A, P3T	900	SC杭 (STK490 t=14.0)	5	900	PHC杭 (C種)	12	4 (3)	5000
⊠	P4	1000	SC杭 (STK490 t=12.0)	5	1000	PHC杭 (B種)	12	5	6000



1階床梁伏図　1:200

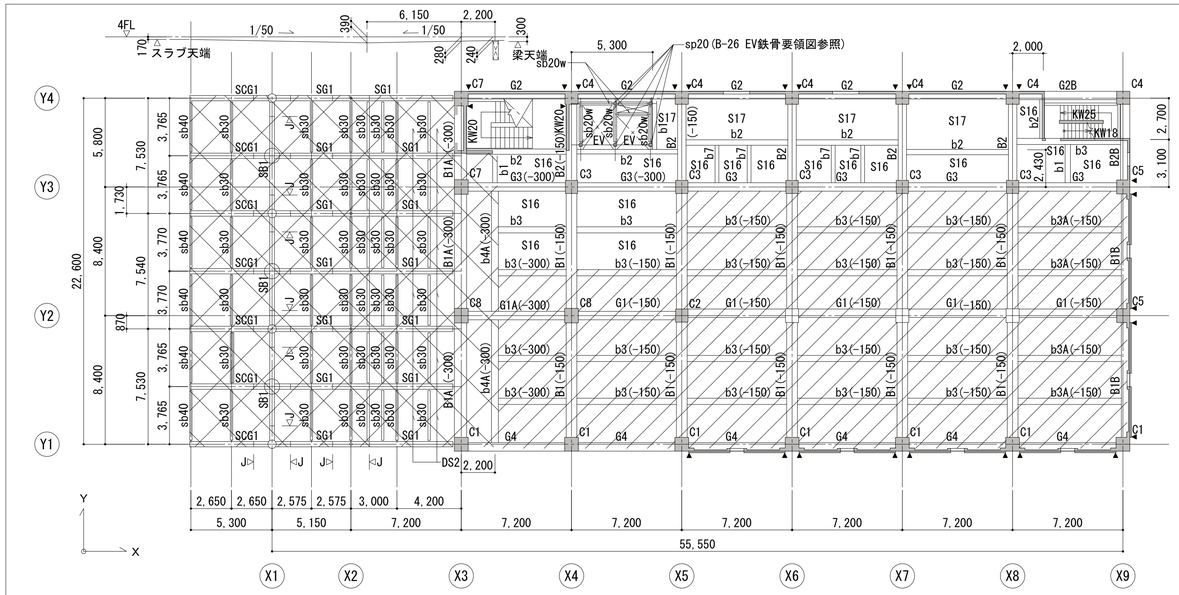
共通事項（特記なき限り）

- ◦ 1FL=設計GL+20 とする。
- ◦ 設計GL=T.P.+18.64m とする。
- ◦ スラブ符号は S16 とする。
- ◦ スラブ天端は 1FL-10 とする。
- ◦ 基礎梁天端は 1FL-160 とする。
- ◦ 小梁天端は 1FL-160 とする。
- ◦ ( ) 内数値は 1FLからの梁天端レベル を示す。
- ◦ ☒ 印は 床点検口位置 を示す。
- ◦ ▨ 印は 土間コンクリート を示す。
- ◦ ▨ 印は スラブ天端=FL-50 とする。
- ◦ 壁符号は W18 とする。
- ◦ ◀ ▼ 印は 耐震スリット(三方スリット) を示す。
- ◦ ▨ 印範囲 ⟶ 方向に 水勾配T.P.18.65～T.P.18.62 とする。
- ◦

明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章 〈構造設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第308030号 構造設計一級建築士 第5193号 秋田 智	B	建築工事	最終版 2025.02.28
	11	伏図(1) A1 1:200 A3 1:400	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

(2023年版)

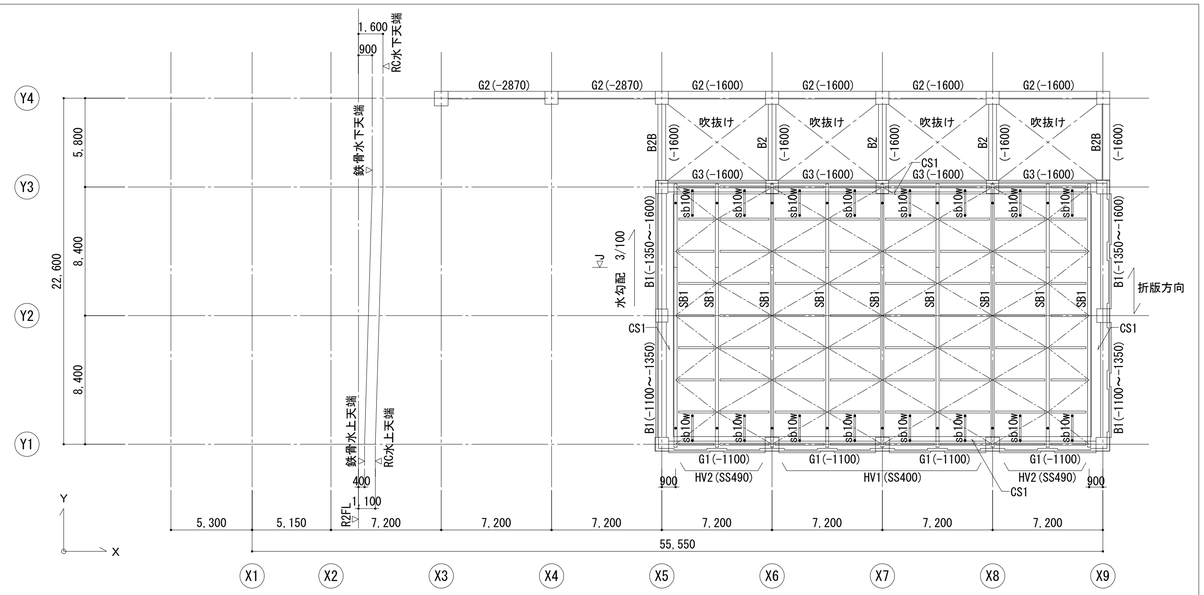
20230220



4階床梁伏図　1:200

共通事項（特記なき限り）

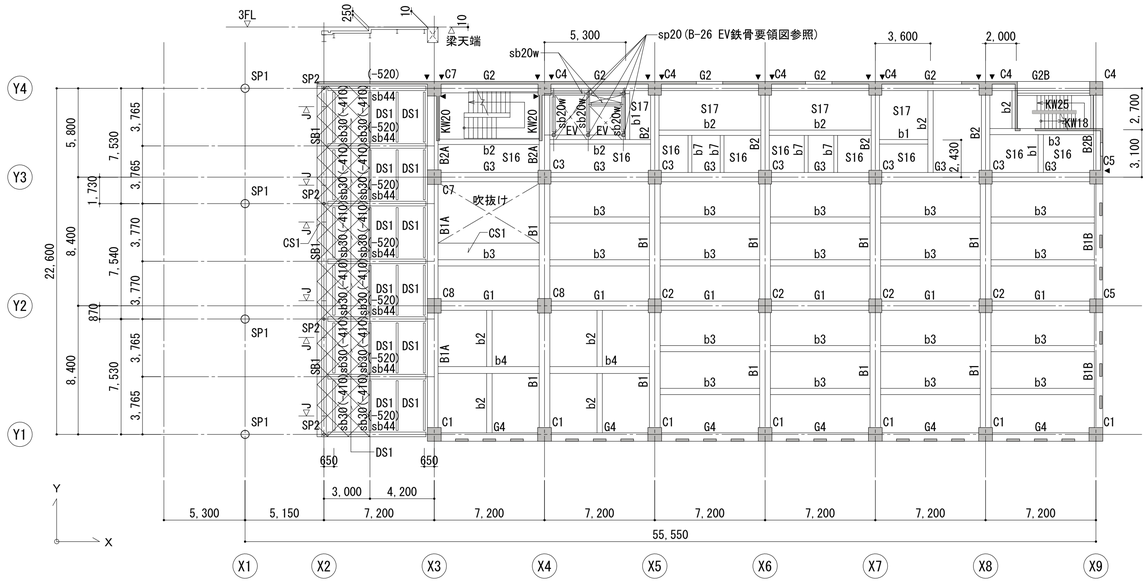
- スラブ符号は S18 とする。
- スラブ天端は FL-10 とする。
- 大梁天端は FL-10 とする。
- 小梁天端は FL-10 とする。
- （ ）内数値は FLからの梁天端レベル を示す。
- 壁符号は W18 とする。
- ◀ ▼ 印は 耐震スリット(三方スリット) を示す。
- 印は スラブ天端=FL-300 とする。
- 印のスラブ符号は DS1 とし、スラブ天端は水勾配による。
- 鉄骨大梁天端は FL-650 とする。
- 鉄骨小梁天端は 水勾配による。
- 印は 梁剛接合を示す。
- J 印は 現場継手位置(柱芯より1200)を示す。



R2階床梁伏図　1:200

共通事項（特記なき限り）

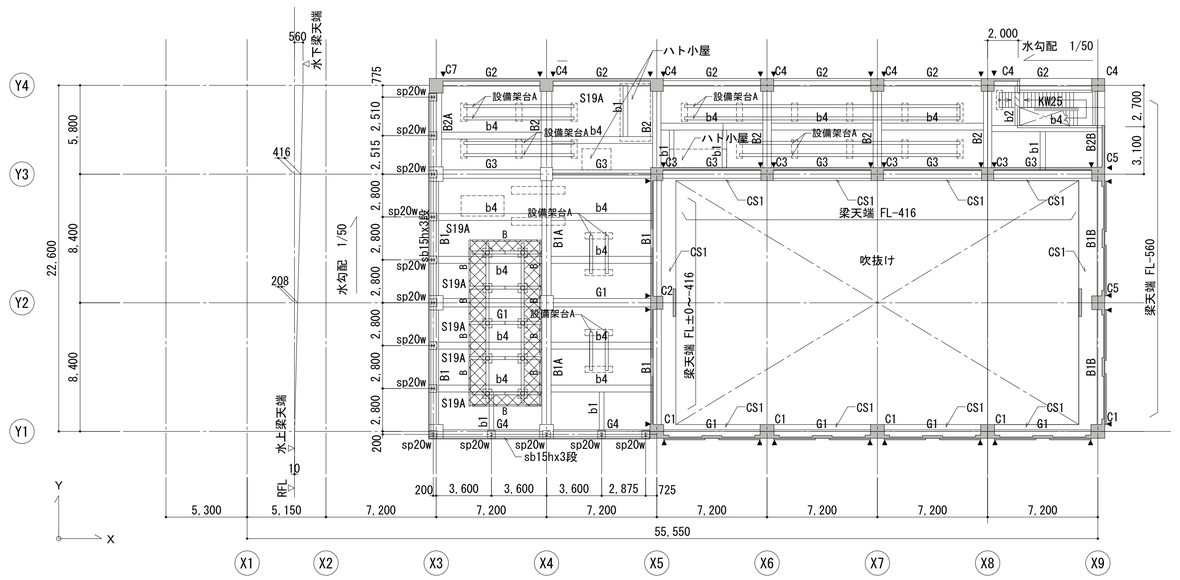
- 梁天端は 水勾配による。
- （ ）内数値は FLからの梁天端レベル を示す。
- 鉄骨大梁天端は 水勾配 による。
- 鉄骨小梁天端は 鉄骨大梁天端+50 とする。
- 鉄骨大梁上部は C-100×50×20×2.3 を設けること。
- 鉄骨小梁符号は sb25a とする。
- 印は 水平ブレース(HV1 HV2 L-65x65x8) を示す。
- J 印は 現場継手位置を示す。
- sb10w下端は sb25aの下端揃え とする。
- ● 印位置の梁下に C-100x50x20x3.2(L=200)を取付ける。



3階床梁伏図　1:200

共通事項（特記なき限り）

- スラブ符号は S19 とする。
- スラブ天端は FL-10 とする。
- 大梁天端は FL-10 とする。
- 小梁天端は FL-10 とする。
- （ ）内数値は FLからの梁天端レベル を示す。
- 壁符号は W18 とする。
- ◀ ▼ 印は 耐震スリット(三方スリット) を示す。
- 鉄骨大梁天端は FL-510 とする。
- 鉄骨小梁天端は FL-160 とする。
- 鉄骨小梁符号は sb25 とする。
- 印は スラブ天端=FL-250 とし、鉄骨小梁天端は FL-410 とする。
- J 印は 現場継手位置(柱芯より1200)を示す。



R階床梁伏図　1:200

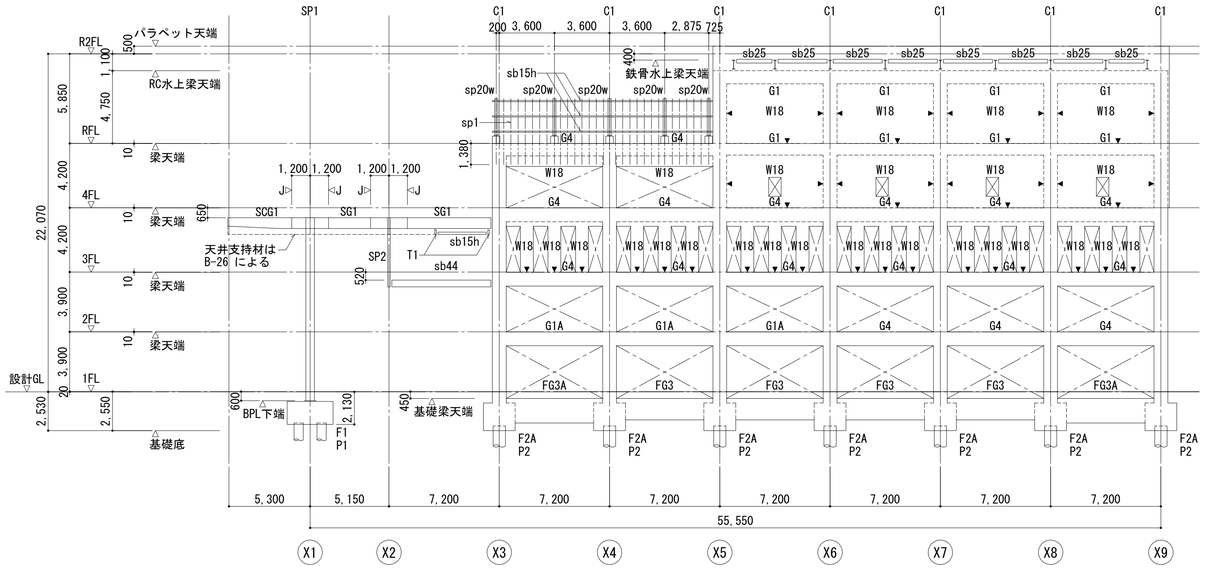
共通事項（特記なき限り）

- スラブ符号は S19 とする。
- スラブ天端は 水勾配による。
- 梁天端は 水勾配による。
- 小梁天端は 水勾配による。
- （ ）内数値は FLからの梁天端レベル を示す。
- 壁符号は W18 とする。
- ◀ ▼ 印は 耐震スリット(三方スリット) を示す。
- CS1スラブ天端は RFL-560 とする。
- 設備架台AはH-200x200x8x12(SN400A)、ABOLT-4-M16 (L=25d、二重ナット締め) とする。
- 歩廊受けABは[-200x80x7.5x11(SS400)、GPL-9、2-M16 (F8T) とする。
- 印はメンテナンス歩廊を示し、根太L-50x50x6@300 (SS400)とする。
- 印は 梁剛接合を示す。

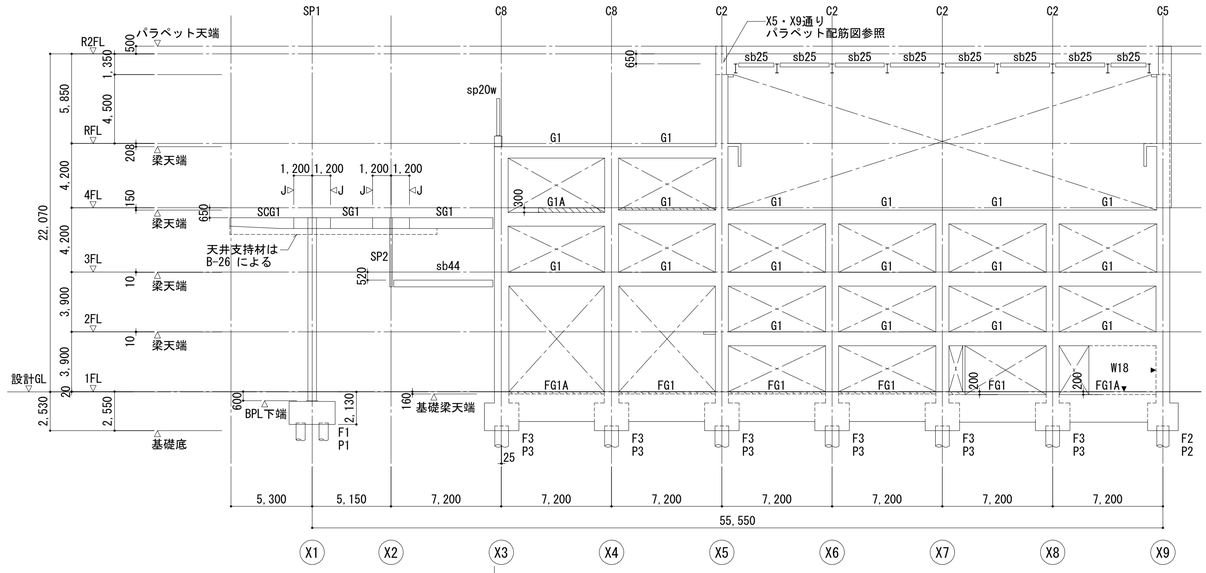
明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章 〈構造設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第308030号 構造設計一級建築士 第5193号 秋田 智	B	建築工事	最終版 2025.02.28
	12	伏図(2) A1 1:200 A3 1:400	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

(2023年版)

20230220

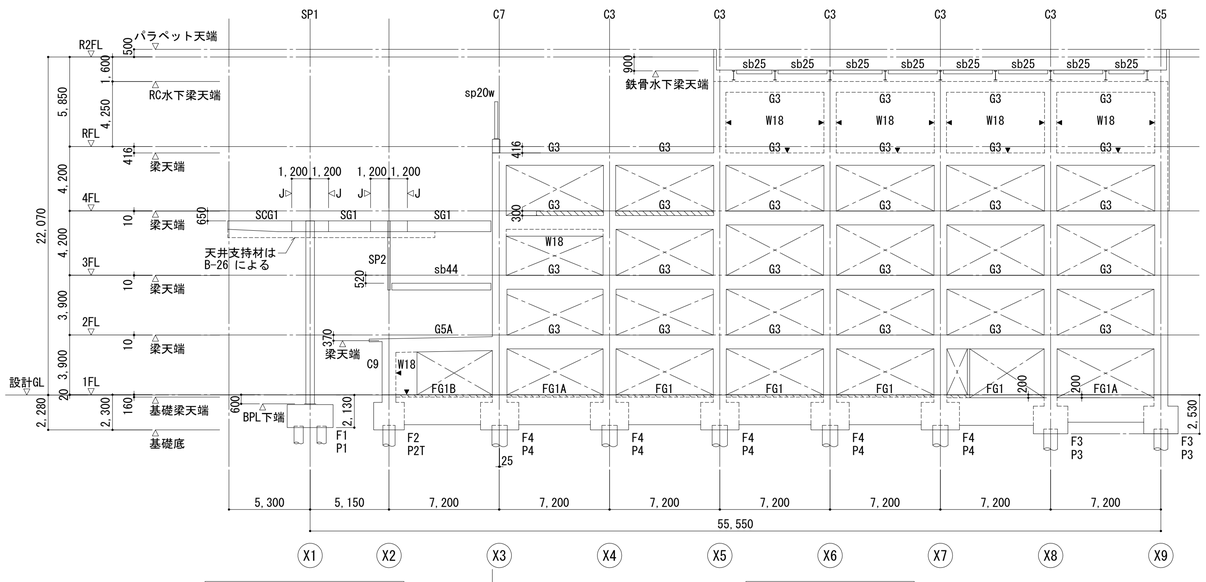


Y1通り軸組図 1:200



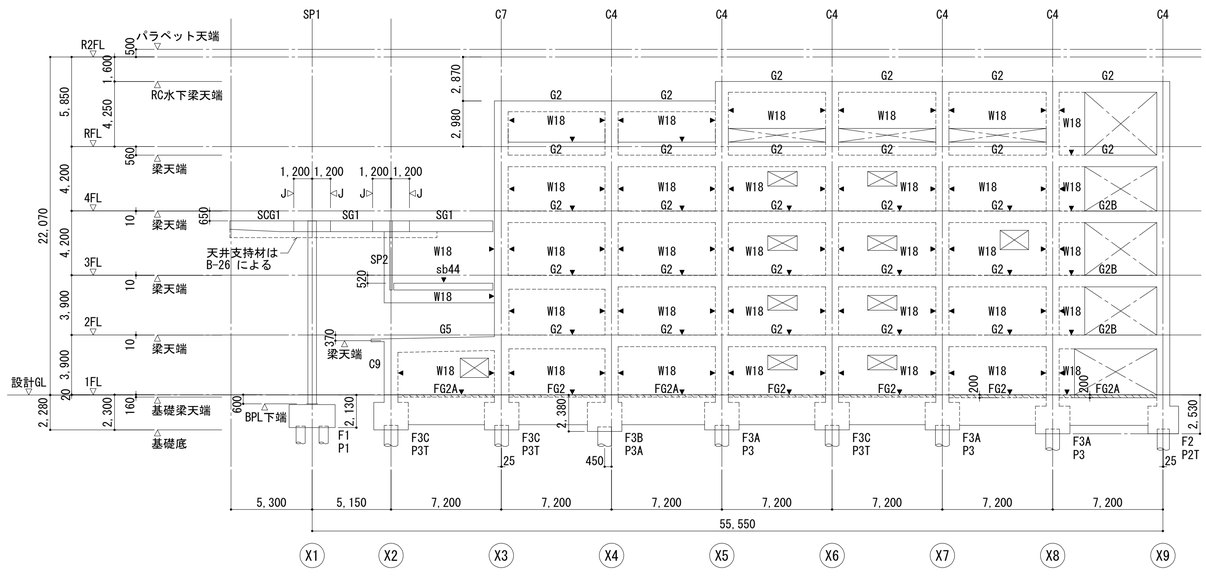
Y2-870通り軸組図 1:200

Y2通り軸組図 1:200



Y3-1730通り軸組図 1:200

Y3通り軸組図 1:200



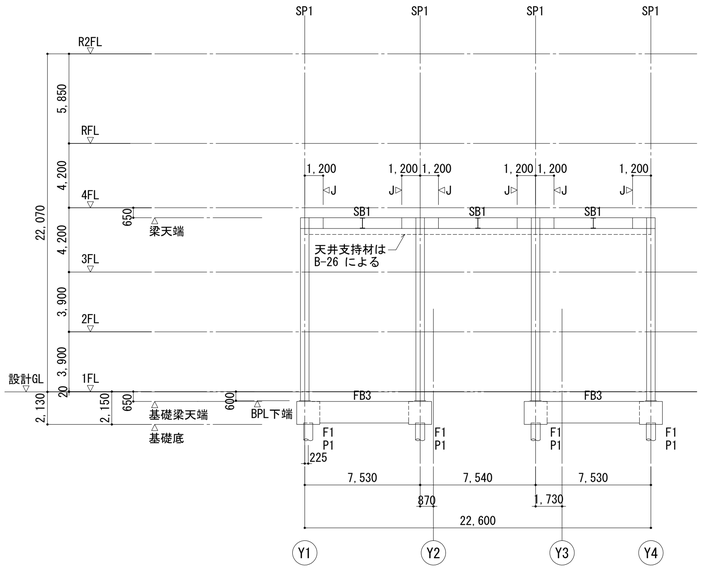
Y4通り軸組図 1:200

共通事項（特記なき限り）

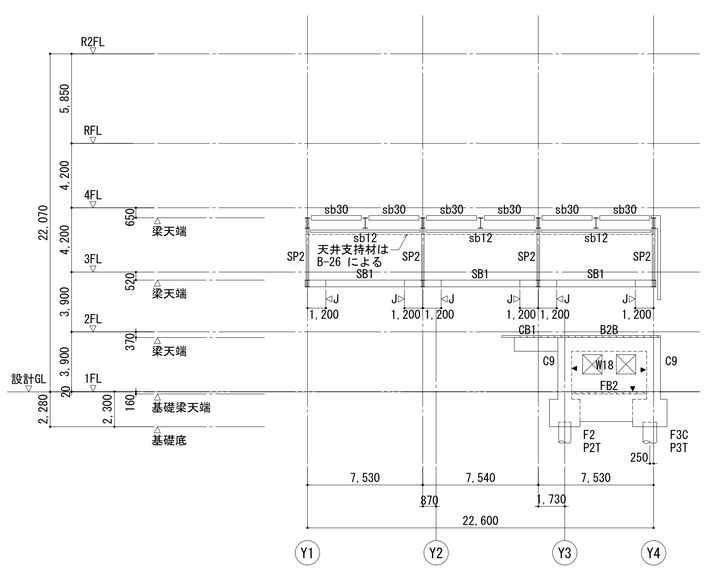
- ◦ J 印は 現場継手位置 を示す。
- ◦ ◀ ▼ 印は 耐震スリット を示す。
- ◦ 印は 増打 を示す。

明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	B	建築工事	最終版 2025. 02. 28
〈構造設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第308030号 構造設計一級建築士 第5193号 秋田 智	13	軸組図（1） A1 1:200 A3 1:400	見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

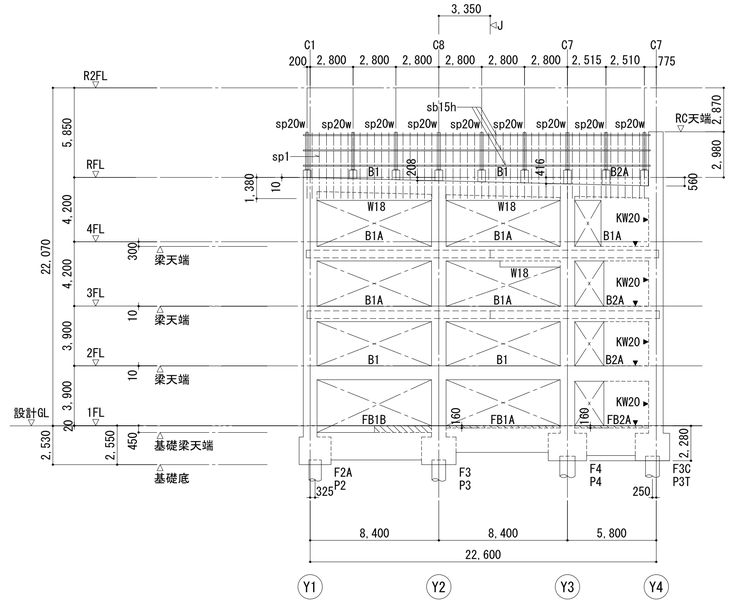
20230220



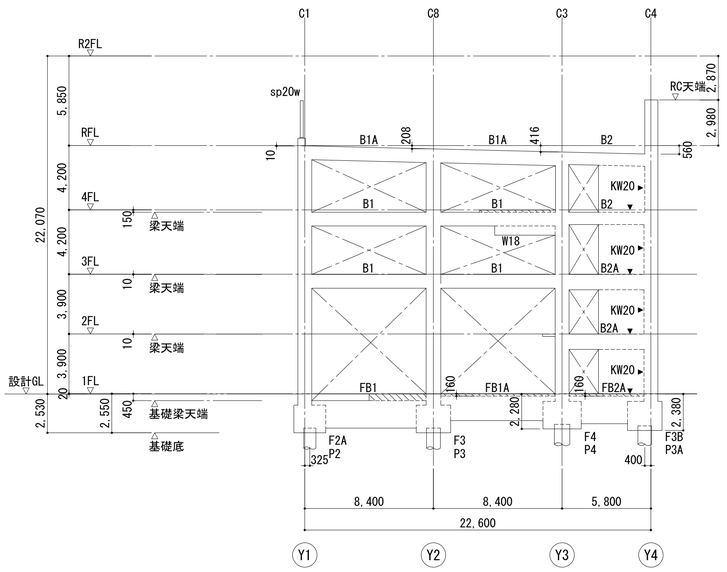
X1通り軸組図　1:200



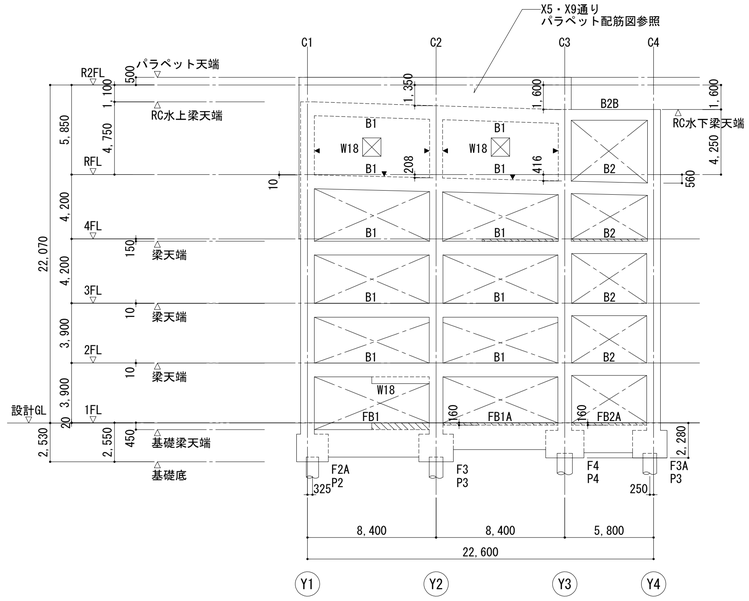
X2通り軸組図　1:200



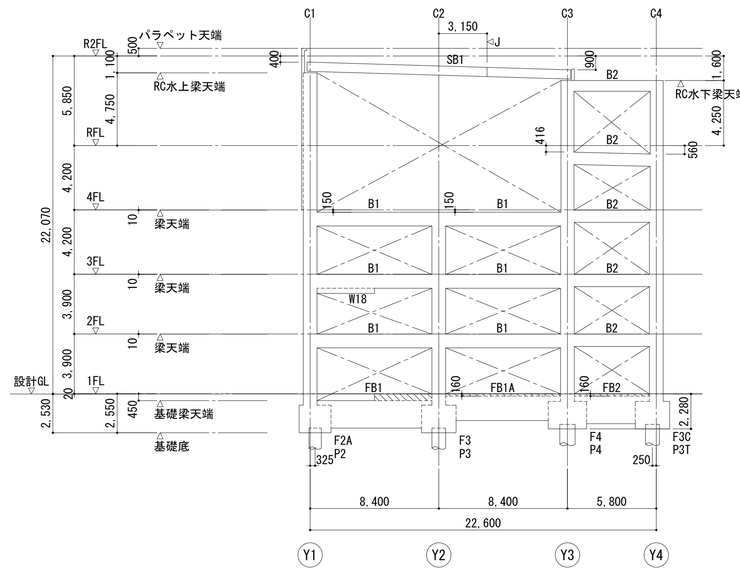
X3通り軸組図　1:200



X4通り軸組図　1:200



X5通り軸組図　1:200



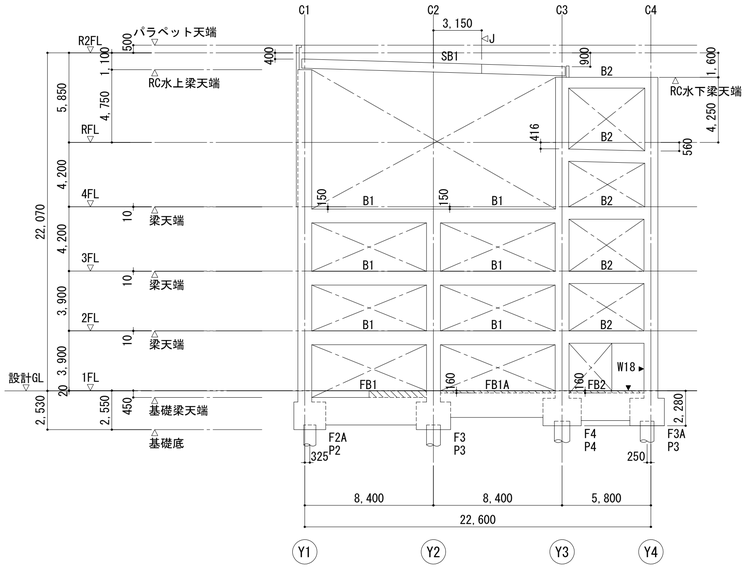
X6通り軸組図　1:200

共通事項（特記なき限り）

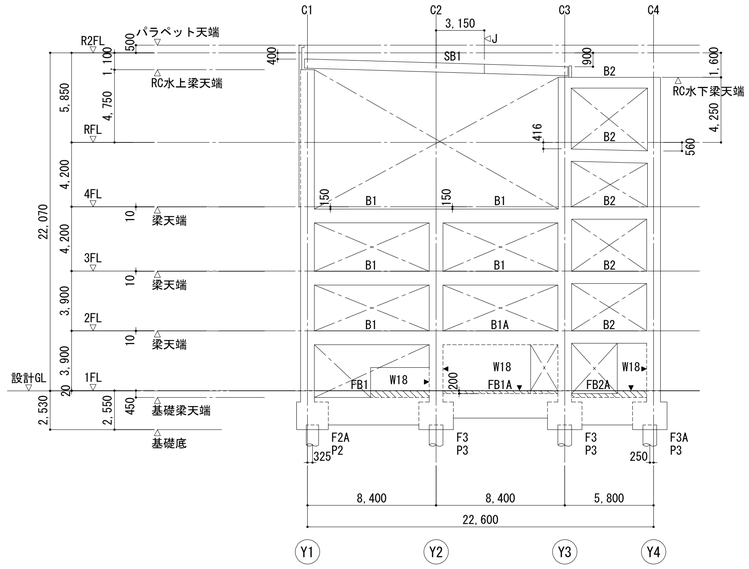
- ◁J 印は 現場継手位置 を示す。
- ◀ ▼ 印は 耐震スリット を示す。
- ▨ 印は 増打 を示す。

明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	B	建築工事	最終版 2025. 02. 28
〈構造設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第308030号 構造設計一級建築士 第5193号 秋田 智	14	軸組図（2） A1 1:200 A3 1:400	見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

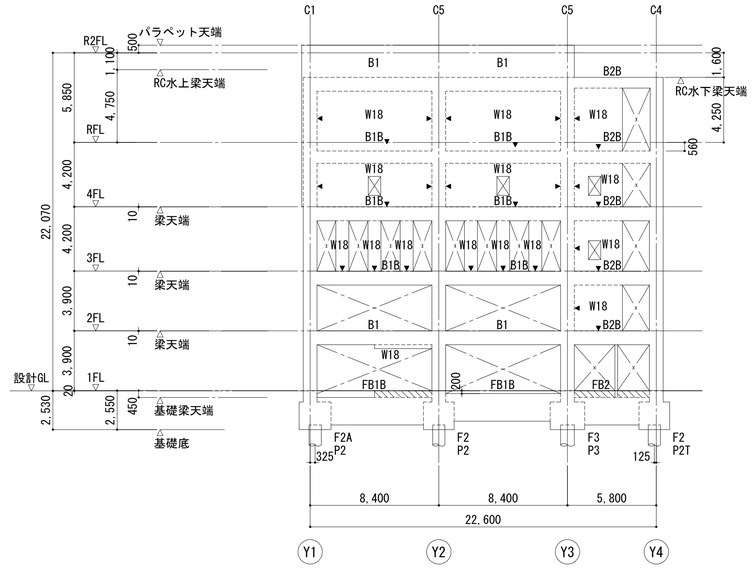
20230220



X7通り軸組図　1:200



X8通り軸組図　1:200



X9通り軸組図　1:200

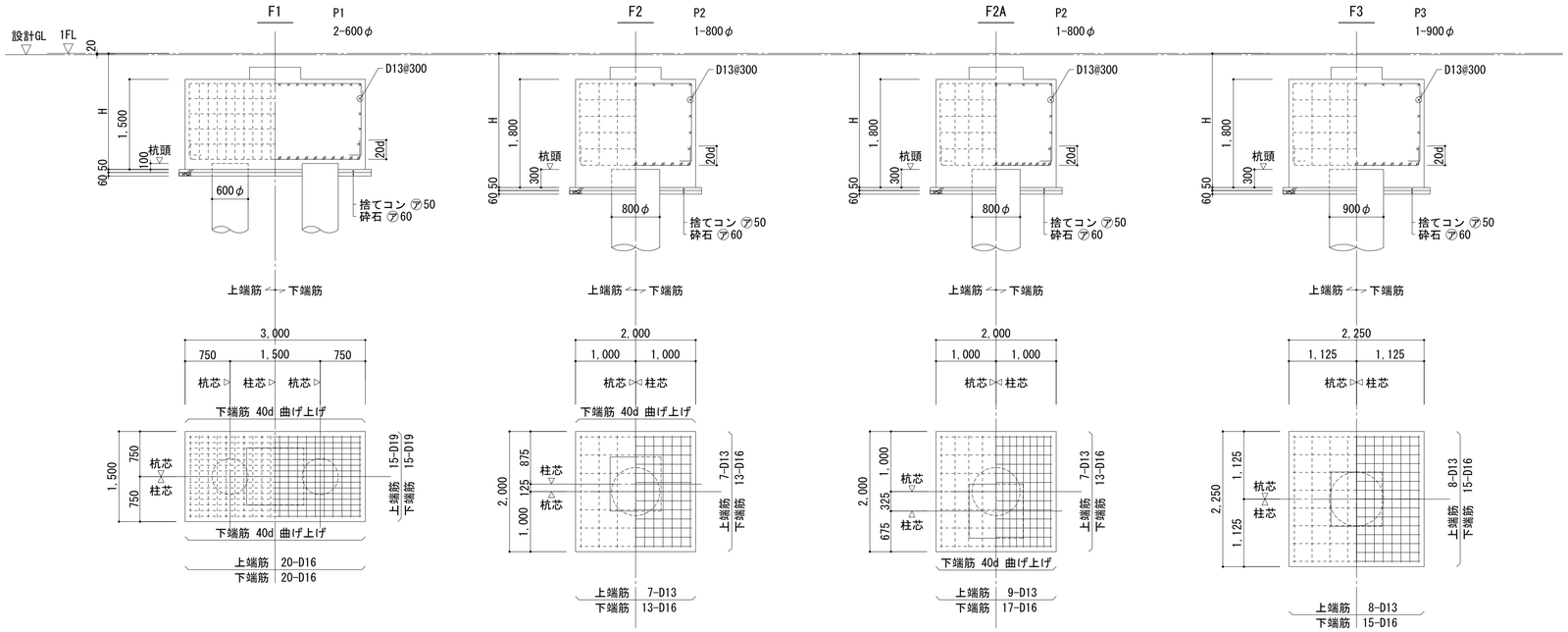
共通事項（特記なき限り）

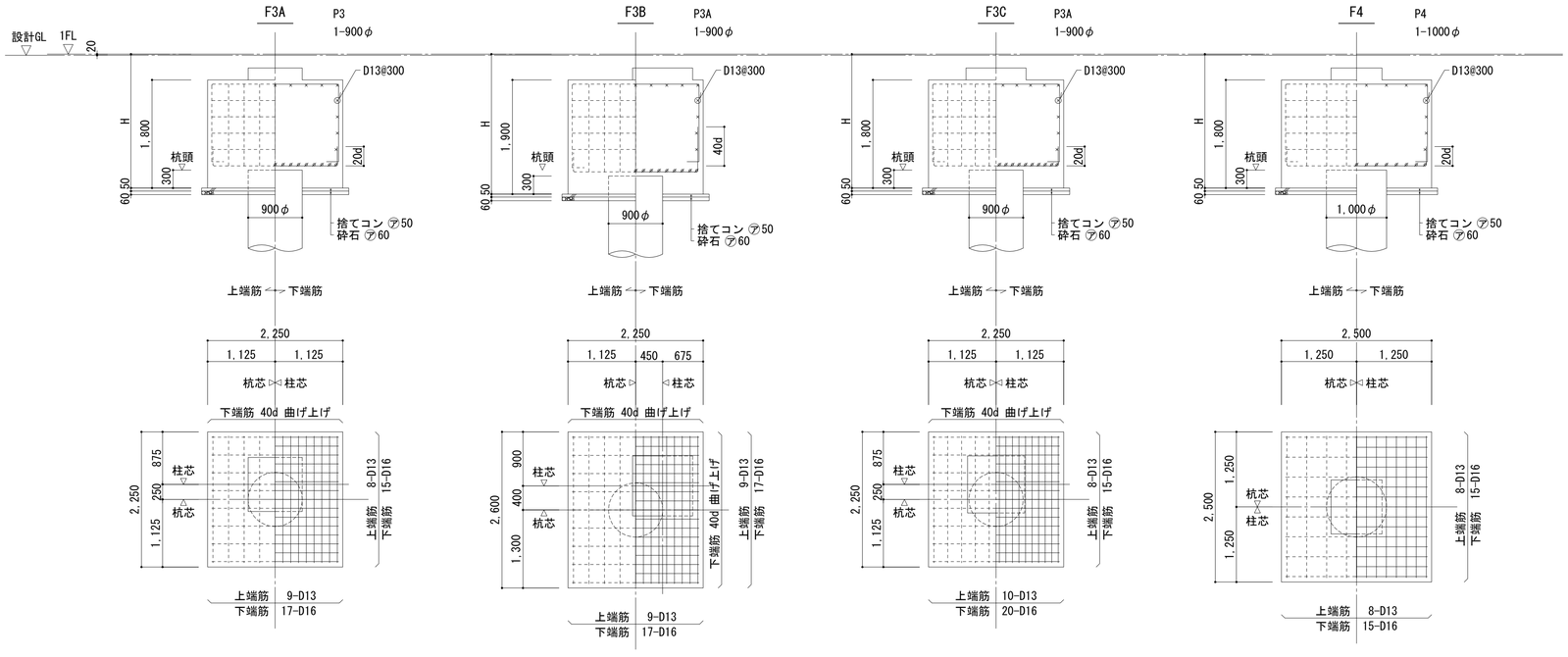
- ◦ J 印は 現場継手位置 を示す。
- ◦ ◀ ▼ 印は 耐震スリット を示す。
- ◦ 印は 増打 を示す。

明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章 〈構造設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第308030号 構造設計一級建築士 第5193号 秋田 智	B	建築工事	最終版 2025. 02. 28
	15	軸組図 (3) A1 1:200 A3 1:400	見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

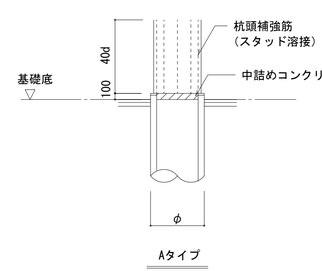
基礎リスト　1:50

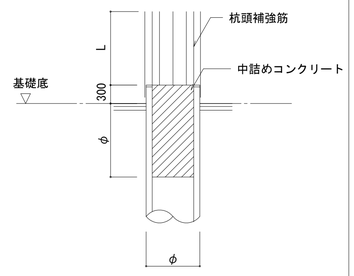
共通事項（特記なき限り）
- 基礎深さHは 杭・基礎伏図 による。
- 基礎下地業は 捨コンクリート ㋐50、砕石 ㋐60 とする。





杭頭補強要領





注）杭頭補強筋は採用する工法において取得している第三者機関による技術監査証明に記載されたスタッド鉄筋に適合する鉄筋を使用すること。

タイプ	符号	杭径(⌀)	杭頭補強筋	備　考
A	P1	600	8-D25	
B	P2	800	14-D38	開先付異形棒鋼（SD390相当大臣認定品）　L=1330mm、溶接長160mm以上
	P2T	800	16-D38	開先付異形棒鋼（SD390相当大臣認定品）　L=1330mm、溶接長160mm以上
	P3	900	16-D38	開先付異形棒鋼（SD390相当大臣認定品）　L=1330mm、溶接長160mm以上
	P3A	900	14-D38	開先付異形棒鋼（SD390相当大臣認定品）　L=1330mm、溶接長160mm以上
	P3T	900	17-D38	開先付異形棒鋼（SD390相当大臣認定品）　L=1330mm、溶接長160mm以上
	P4	1000	14-D38	開先付異形棒鋼（SD390相当大臣認定品）　L=1330mm、溶接長160mm以上

明石市政策局　プロジェクト推進室
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号
森　雅章
〈構造設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第308030号
構造設計一級建築士　第5193号
秋田　智

西明石地域交流センター icotto 建設工事

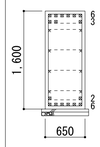
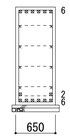
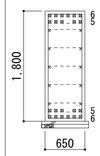
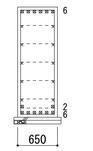
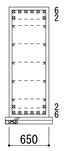
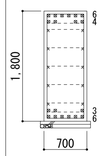
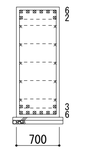
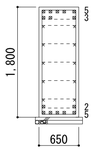
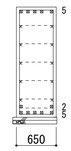
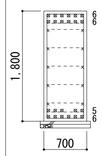
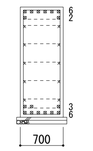
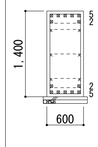
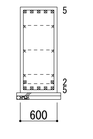
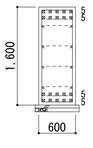
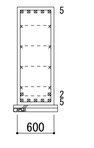
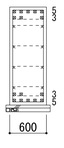
B　建築工事　A1　1:50　A3　1:100　最終版　2025.02.28

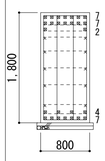
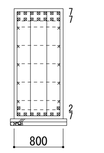
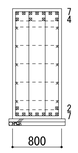
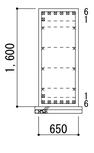
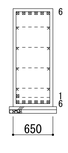
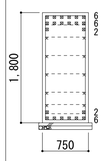
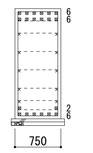
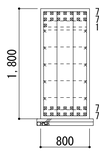
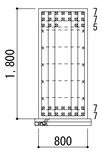
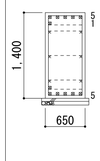
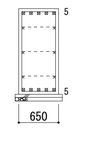
16　基礎リスト　見積版　2024.12.16

安井建築設計事務所　最終契約版

基礎梁リスト 1:50

共通事項（特記なき限り）
- 幅止筋は D10@1000以内 とする。
- 梁下地業は 捨コンクリート ㋐50、砕石 ㋐60 とする。
- 2段受け筋は D16@1000以内 とする。
- 腹筋は 10-D13 とする。
- FG梁主筋は、先組鉄筋とし、FB梁主筋は後組鉄筋とする。

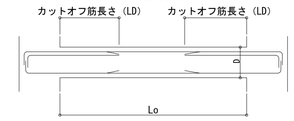
符号	FG1		FG1A			FG1B		FG2		FG2A		FG3		FG3A		
位置	端部	中央	X3・X9 端	中央	他端	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	X3・X9 端	中央	X4・X8 端
断面																
上端筋	9-D29	6-D29	11-D29	6-D29	8-D29	10-D29	8-D29	8-D29	5-D29	12-D29	8-D29	7-D29	5-D29	10-D29	5-D29	8-D29
下端筋	8-D29	8-D29	11-D29	8-D29	8-D29	9-D29	9-D29	7-D29	7-D29	11-D29	9-D29	7-D29	7-D29	10-D29	7-D29	8-D29
スターラップ	□-D16@200		□-D16@200			□-D16@150		□-D16@200		□-D16@150		□-D16@200		□-D16@150		
腹筋	8-D13											6-D13		8-D13		
備考	Ld = 3100		Ld = 4100			Ld = 3500		Ld = 3300		Ld = 4120		Ld = 2550		Ld = 3750		Ld = 3050

符号	FB1			FB1A		FB1B		FB2	FB2A	FB3	
位置	Y1 端	中央	Y2 端	端部	中央	端部	中央	全断面	全断面	端部	中央
断面											
上端筋	16-D29	14-D29	11-D29	7-D29	6-D29	14-D29	12-D29	15-D29	19-D29	6-D29	5-D29
下端筋	11-D29	9-D29	9-D29	7-D29	7-D29	8-D29	8-D29	14-D29	14-D29	5-D29	5-D29
スターラップ	▥-D16@200			□-D16@200		□-D16@150		▥-D16@150	▥-D16@150	□-D16@200	
腹筋				8-D13						6-D13	
備考	Ld = 3000										

凡例
スターラップ 4-D13@200 は
右図 ▥ -D13@200 を示す。



- カットオフ筋の定着要領



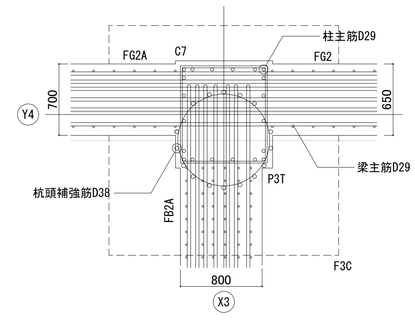
基礎小梁リスト 1:50

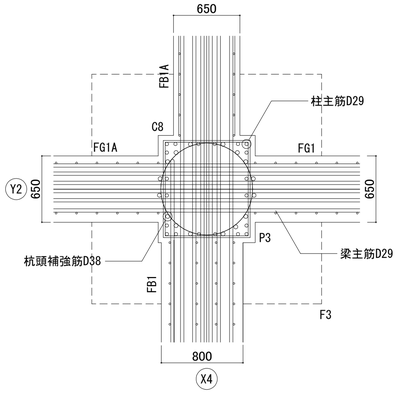
共通事項（特記なき限り）
- 幅止筋は D10@1000以内 とする。
- 梁下地業は 捨コンクリート ㋐50、砕石 ㋐60 とする。
- 2段受け筋は D16@1000以内 とする。

符号	cfb1
位置	全断面
断面	
上端筋	6-D22
下端筋	4-D22
スターラップ	□-D13@200
腹筋	2-D10
備考	

基礎梁配筋詳細図 1:30

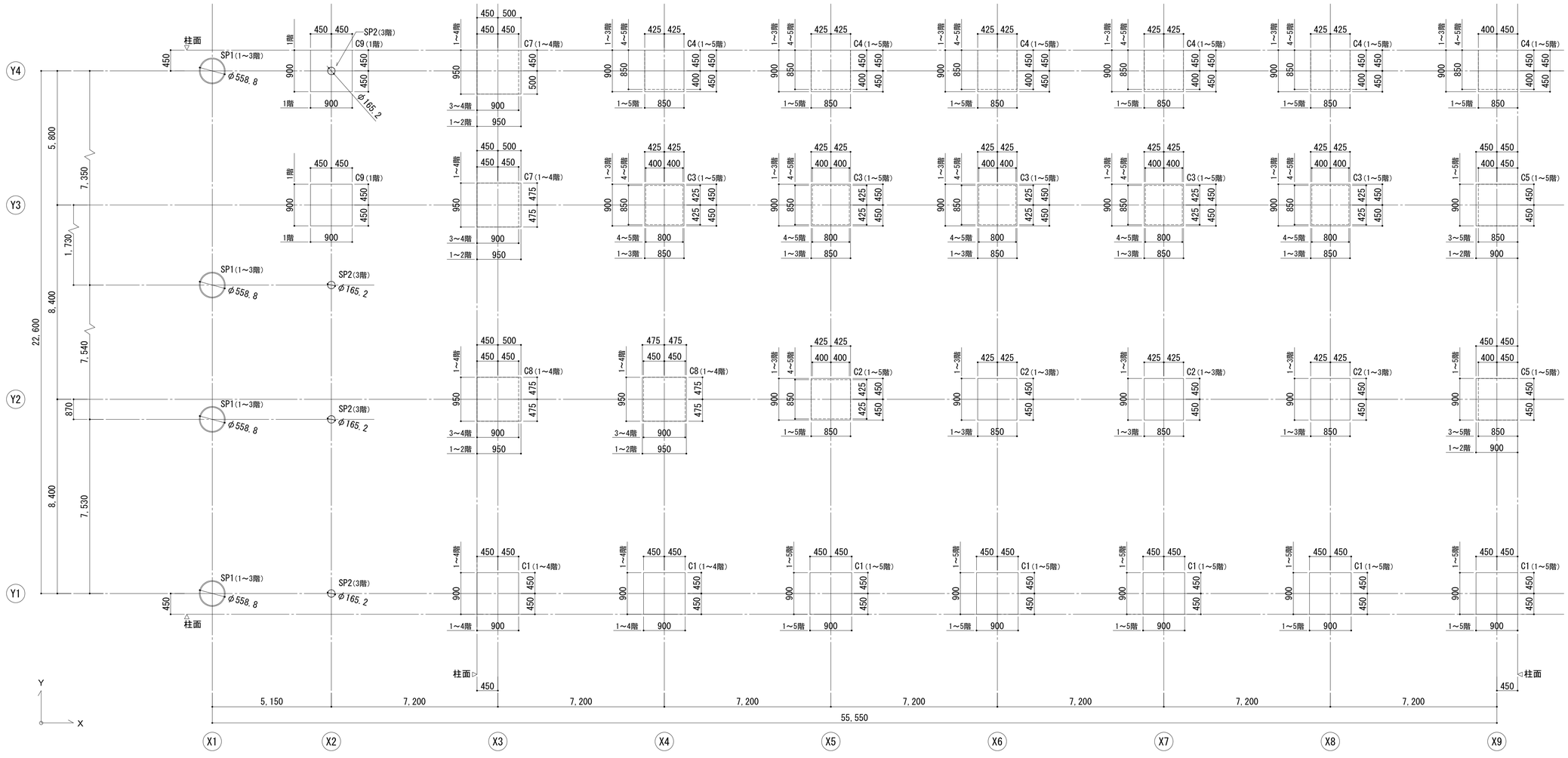
共通事項（特記なき限り）
- SD295A D16以下、SD345 D19～D25、SD390 D29以上





明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	B	建築工事	最終版 2025. 02. 28
〈構造設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第308030号 構造設計一級建築士 第5193号 秋田 智	17	基礎梁・基礎小梁リスト A1 1: 50 A3 1:100	見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

20230220



柱芯線図　1:50 1:100

共通事項（特記なき限り）

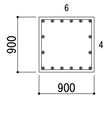
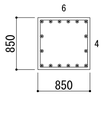
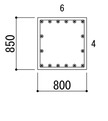
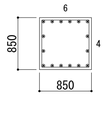
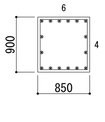
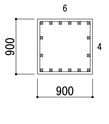
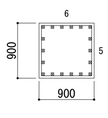
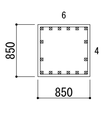
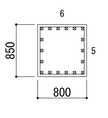
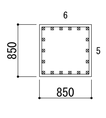
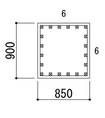
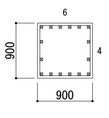
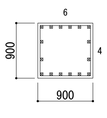
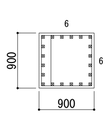
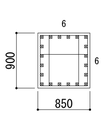
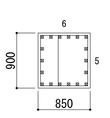
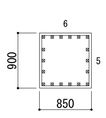
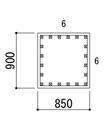
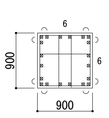
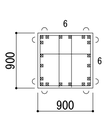
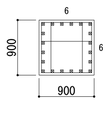
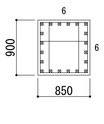
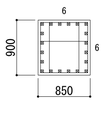
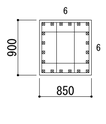
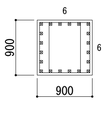
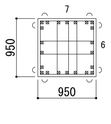
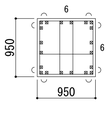
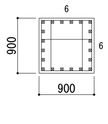
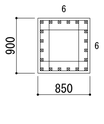
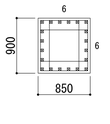
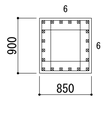
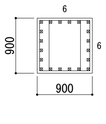
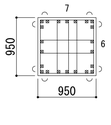
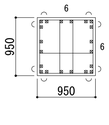
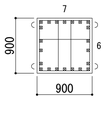
- 柱芯=通り芯 とする。
-

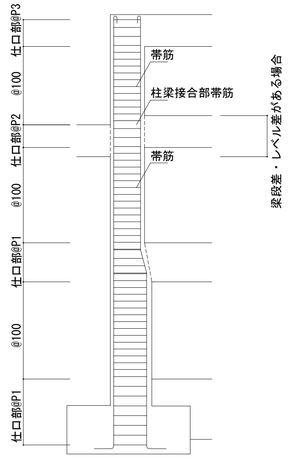
明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事			
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	B	建築工事	A1 1:50 1:100	最終版 2025.02.28
〈構造設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第308030号 構造設計一級建築士 第5193号 秋田 智	18	柱芯線図	A3 1:100 1:200	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所		最終契約版

20230220

柱リスト　1:50

共通事項（特記なき限り）
- 柱のフープは 溶接閉鎖型とする。
- ◠ ◡ 印は 寄せ筋（主筋間隔2.7d）を示す。
- 隣接する柱主筋の最大ピッチaが400mmを超えるときは補助筋 1-D16 を主筋間に入れる。（定着不要）

階	符号	C1	C2	C3	C4	C5	C7	C8	C9
5階	断面								
	主筋	16-D25	16-D25	16-D25	16-D25	16-D25	16-D29		
	フープ	□-D13@100	□-D13@100	□-D13@100	□-D13@100	□-D13@100	□-D13@100		
	柱梁接合部フープ	□ -D13@90	□ -D13@90	□ -D13@90	□ -D13@90	□ -D13@90	□-D16@125		
	備考								
4階	断面								
	主筋	18-D29	16-D29	18-D29	20-D29	20-D29	16-D29	16-D29	
	フープ	□-D13@100	□-D16@100	□-D16@100	□-D13@100	□-D16@100	□-D13@100	□-D13@100	
	柱梁接合部フープ	□-D16@125	□-D16@150	□-D16@150	□-D16@125	□-D16@125	□-D16@125	□-D16@125	
	備考								
3階	断面								
	主筋	20-D29	20-D29	18-D29	20-D29	20-D29	20-D29	20-D29	
	フープ	3□-D16@100	3田-D16@100	3□-D16@100	□-D16@100	□-D16@100	3田-D16@100	3田-D16@100	
	柱梁接合部フープ	□-D16@125	□-D16@125	□-D16@125	□-D16@125	□-D16@125	□-D16@125	□-D16@125	
	備考								
2階	断面								
	主筋	20-D29	20-D29	20-D29	20-D29	20-D29	22-D29	20-D29	
	フープ	4 3田-D16@100	4 3田-D16@100	4 3田-D16@100	4 4田-D16@100	4 □-D16@100	5 4田-D16@100	4 3田-D16@100	
	柱梁接合部フープ	□-D16@125	□-D16@125	□-D16@125	□-D16@125	□-D16@125	□-D16@125	□-D16@125	
	備考								
1階	断面								
	主筋	20-D29	20-D29	20-D29	20-D29	20-D29	22-D29	20-D29	22-D29
	フープ	4 3田-D16@100	4 4田-D16@100	4 4田-D16@100	4 4田-D16@100	4 □-D16@100	5 4田-D16@100	4 3田-D16@100	4 3田-D16@100
	柱梁接合部フープ	□-D16@125	□-D16@125	□-D16@125	□-D16@125	□-D16@125	□-D16@125	□-D16@125	□-D16@125
	備考								



※柱に取り付く梁に段差または梁成差がある場合、
仕口部帯筋間隔は、その柱に取り付くすべての梁を考慮して適用する。
- 上下柱フープが多い場合：　　部は上下柱フープを適用する。
- 仕口部フープが多い場合：　　部は仕口部フープを適用する。
　　：　　部は仕口部フープを適用する。

柱梁接合部（仕口部）範囲

明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章 〈構造設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第308030号 構造設計一級建築士 第5193号 秋田 智	B	建築工事	最終版 2025. 02. 28
	19	柱リスト A1 1:50 A3 1:100	見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

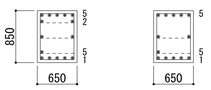
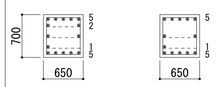
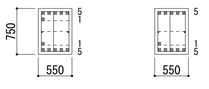
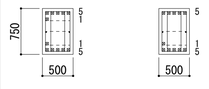
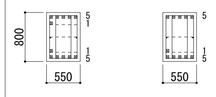
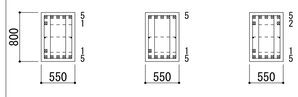
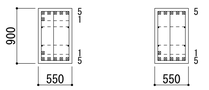
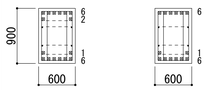
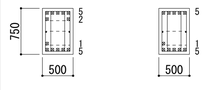
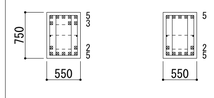
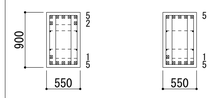
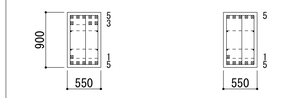
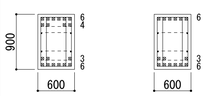
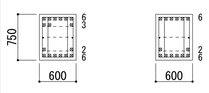
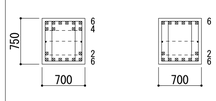
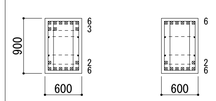
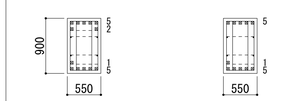
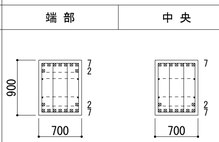
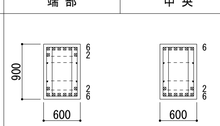
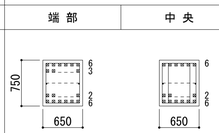
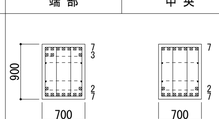
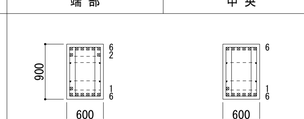
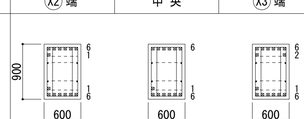
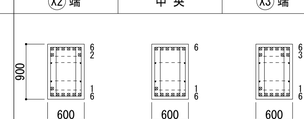
（2023年版）

20230220

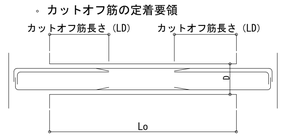
大梁リスト(1)　1:50

共通事項（特記なき限り）

- スターラップは □-D13@200 とする。
- 幅止筋は D10@1000以内 とする。
- 2段受け筋は D13@1000以内 とする。
- G梁主筋は、先組鉄筋とし、B梁主筋は後組鉄筋とする。
- ・印は補助筋を示し 隣接する梁主筋の最大ピッチa'400mm を超えるときは補助筋 1-D16 を主筋間に入れる。（定着不要）
- D16以上の腹筋は柱にL2定着すること。
-

階	符号	G1		G1A		G2		G2B		G3		G4			G5		G5A		
R2階	位置	端部	中央			全断面				端部	中央								
	断面																		
	上端筋	7-D25	5-D25			5-D25				7-D25	5-D25								
	下端筋	6-D25	6-D25			5-D25				6-D25	6-D25								
	スターラップ	□-D13@150				□-D13@200				□-D13@150									
	腹筋	2-D25				2-D10				2-D25									
	カットオフ筋長さ																		
	備考																		
R階	位置	端部	中央			端部	中央			端部	中央	X3・X5 端		中央		X4 端			
	断面																		
	上端筋	6-D29	5-D29			6-D29	5-D29			6-D29	5-D29	6-D29		5-D29		7-D29			
	下端筋	6-D29	6-D29			6-D29	6-D29			6-D29	6-D29	6-D29		6-D29		6-D29			
	スターラップ	□-D13@150				□-D13@150				□-D13@150		□-D13@150							
	腹筋	2-D10				2-D10				2-D10		2-D10							
	カットオフ筋長さ																		
	備考																		
4階	位置	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部		中央					
	断面																		
	上端筋	6-D29	5-D29	8-D29	6-D29	7-D29	5-D29	8-D29	5-D29	7-D29	5-D29	8-D29		5-D29					
	下端筋	6-D29	6-D29	7-D29	7-D29	6-D29	6-D29	7-D29	7-D29	6-D29	6-D29	6-D29		6-D29					
	スターラップ	□-D13@150		□-D16@200		□-D13@125		□-D13@125		□-D13@150		□-D16@150							
	腹筋	4-D10		4-D10		2-D10		2-D10		4-D10		4-D10							
	カットオフ筋長さ																		
	備考																		
3階	位置	端部	中央			端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部		中央					
	断面																		
	上端筋	10-D29	6-D29			9-D29	6-D29	10-D29	6-D29	9-D29	6-D29	7-D29		5-D29					
	下端筋	9-D29	9-D29			8-D29	8-D29	8-D29	8-D29	8-D29	8-D29	6-D29		6-D29					
	スターラップ	□-D16@200				□-D16@125		□-D16@125		□-D16@150		□-D16@200							
	腹筋	4-D10				2-D10		2-D10		4-D10		4-D10							
	カットオフ筋長さ	Ld = 2500																	
	備考																		
2階	位置	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部		中央	X2 端	中央	X3 端	X2 端	中央	X3 端
	断面																			
	上端筋	9-D29	7-D29	8-D29	6-D29	9-D29	6-D29	10-D29	7-D29	9-D29	6-D29	8-D29		6-D29	7-D29	6-D29	8-D29	8-D29	6-D29	9-D29
	下端筋	9-D29	9-D29	8-D29	8-D29	8-D29	8-D29	9-D29	9-D29	8-D29	8-D29	7-D29		7-D29	7-D29	7-D29	7-D29	7-D29	7-D29	7-D29
	スターラップ	□-D16@150		□-D16@200		□-D16@125		□-D16@150		□-D16@200		□-D16@200			□-D16@150			□-D16@150		
	腹筋	4-D10		4-D10		2-D10		4-D10		4-D10		4-D10			4-D10			4-D10		
	カットオフ筋長さ																			
	備考																			

◦ カットオフ筋の定着要領

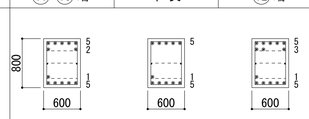
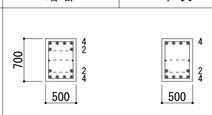
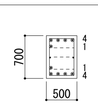
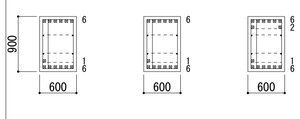
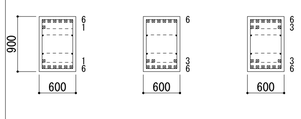
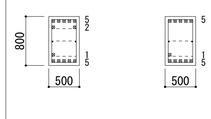
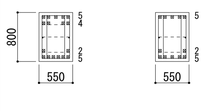
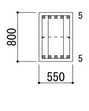
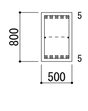
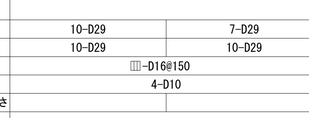
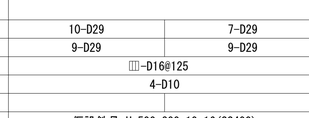
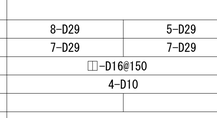
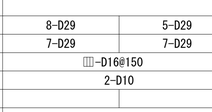
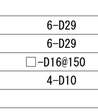
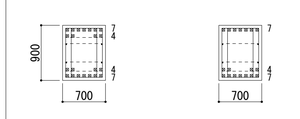
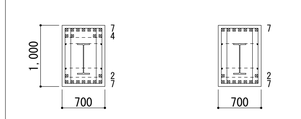
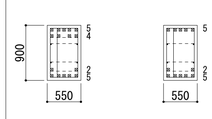
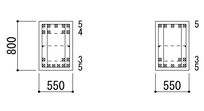
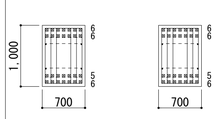
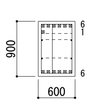
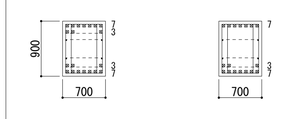
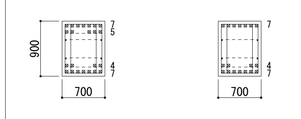
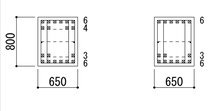
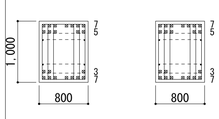
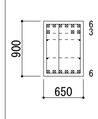
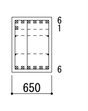
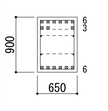


明石市政策局　プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	B	建築工事	最終版　2025. 02. 28
〈構造設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第308030号 構造設計一級建築士　第5193号 秋田　智	20	大梁リスト(1)　A1　1:50　A3　1:100	見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

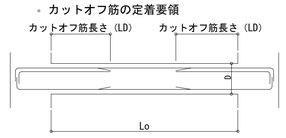
20230220

大梁リスト(2)　1:50

共通事項（特記なき限り）
- スターラップは □-D13@200 とする。
- 幅止筋は D10@1000以内 とする。
- 2段受け筋は D13@1000以内 とする。
- G梁主筋は、先組鉄筋とし、B梁主筋は後組鉄筋とする。
- ・印は補助筋を示し 隣接する梁主筋の最大ピッチa'が400mmを超えるときは補助筋 1-D16 を主筋間に入れる。（定着不要）

階	符号	B1			B1A			B1B		B2		B2A	B2B	CB1
R2階	位置	Y1・Y3 端	中央	Y2 端						端部	中央		全断面	
	断面													
	上端筋	7-D25	5-D25	8-D25						6-D25	4-D25		5-D25	
	下端筋	6-D25	6-D25	6-D25						6-D25	6-D25		5-D25	
	スターラップ	□-D13@150								□-D13@150			□-D13@200	
	腹筋	2-D10								2-D10			2-D10	
	カットオフ筋長さ													
	備考													
R階	位置	Y1・Y3 端	中央	Y2 端	Y1・Y3 端	中央	Y2 端	端部	中央	端部	中央	全断面	全断面	
	断面													
	上端筋	6-D29	6-D29	8-D29	7-D29	6-D29	9-D29	7-D29	5-D29	9-D29	5-D29	5-D29	5-D29	
	下端筋	7-D29	7-D29	7-D29	7-D29	9-D29	9-D29	6-D29	6-D29	7-D29	7-D29	5-D29	5-D29	
	スターラップ	□-D16@150			□-D16@150			□-D16@150		□-D16@150		□-D16@200	□-D16@150	
	腹筋	4-D10			4-D10			2-D10		2-D10		2-D10	2-D10	
	カットオフ筋長さ									Ld = 1810				
	備考													
4階	位置	端部	中央		端部	中央		端部	中央	端部	中央		全断面	
	断面													
	上端筋	10-D29	7-D29		10-D29	7-D29		8-D29	5-D29	8-D29	5-D29		6-D29	
	下端筋	10-D29	10-D29		9-D29	9-D29		7-D29	7-D29	7-D29	7-D29		6-D29	
	スターラップ	□-D16@150			□-D16@125			□-D16@150		□-D16@150			□-D16@150	
	腹筋	4-D10			4-D10			4-D10		2-D10			4-D10	
	カットオフ筋長さ													
	備考				仮設鉄骨 H-500x200x10x16(SS400)									
3階	位置	端部	中央		端部	中央		端部	中央	端部	中央	端部	中央	全断面
	断面													
	上端筋	11-D29	7-D29		11-D29	7-D29		9-D29	5-D29	9-D29	5-D29	12-D29	12-D29	7-D29
	下端筋	11-D29	11-D29		9-D29	9-D29		7-D29	7-D29	8-D29	8-D29	11-D29	11-D29	6-D29
	スターラップ	□-D16@150			□-D16@125			□-D16@150		□-D16@100		(6) □-D16@125		□-D16@150
	腹筋	4-D10			4-D10			4-D10		2-D10		4-D10		4-D10
	カットオフ筋長さ							Ld = 2480		Ld = 1800				
	備考				仮設鉄骨 H-500x200x10x16(SS400)									
2階	位置	端部	中央		端部	中央				端部	中央	端部	中央	Y3 端・中央	Y4 端	全断面
	断面															
	上端筋	10-D29	7-D29		12-D29	7-D29				10-D29	6-D29	12-D29	12-D29	9-D29	7-D29	9-D29
	下端筋	10-D29	10-D29		11-D29	11-D29				9-D29	9-D29	10-D29	10-D29	6-D29	6-D29	6-D29
	スターラップ	□-D16@150			□-D16@150					□-D16@125		(6) □-D16@125		□-D16@150		□-D16@150
	腹筋	4-D10			4-D10					2-D10		4-D10		4-D10		4-D10
	カットオフ筋長さ				Ld = 2400					Ld = 1700						
	備考															

- カットオフ筋の定着要領



明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	B	建築工事	最終版 2025.02.28
〈構造設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第308030号 構造設計一級建築士 第5193号 秋田 智	21	大梁リスト(2) A1 1:50 A3 1:100	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

20230220

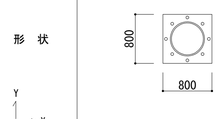
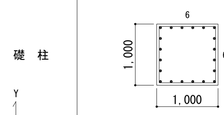
大梁リスト

共通事項（特記なき限り）
- 鉄骨材質は SN490B とする。
- ガセットプレート（GPL）材質は 母材と同材質 とする。
- 高力ボルトは S10T または F10T とする。
- 屋外露出となる部材は、溶融亜鉛メッキを施すものとする。

符 号	SG1	SB1	SCG1
R 階		全断面 H- 600x200x11x17 (SN400B)	
5 階		全断面 ―――	
4 階	全断面 SH- 700x300x16x32	全断面 H- 700x300x13x24	先 端 BH- 550x300x16x32 元 端 BH- 700x300x16x32
3 階		全断面 H- 440x300x11x18 (SN400B)	
2 階			
備 考			

柱リスト 1:50

共通事項（特記なき限り）
- 鉄骨材質は STK400 とする。

符 号	SP1	SP2
R階～5階	―――	―――
4 階	―――	○ -165.2x7.1
3階～2階	―――	―――
1 階	○ -558.8x19 (STKN490B)	―――
備 考	λ=110.2	λ=119.5
柱脚形状型名	露出柱脚	
形 状		
ベースプレート	BPL-36x800x800 (SN490C)	
アンカーボルト	8-M24, L=25d定着板付き(ABR490)	
礎 柱		
主 筋	20-D25	
フープ	□-D16@100	
備 考		

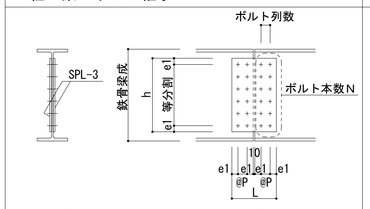
（無収縮モルタル▽50）

鉄骨梁継手リスト（フランジ・ウェブ）

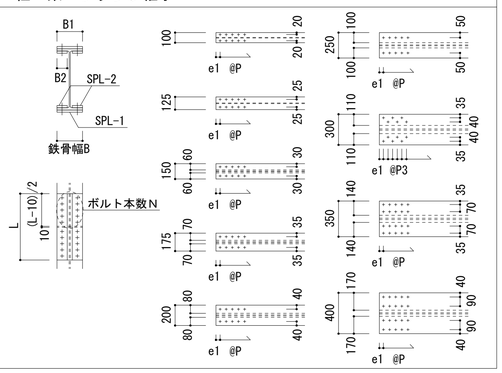
共通事項（特記なき限り）
- スプライスプレートは 母材と同材質 とする。
- フィラープレートは SS400 とする。
- 高力ボルトは S10T、メッキ部材については メッキボルト F8T とする。
- 継手は 原則として「鉄骨構造標準接合部 SCSS-H97」による。

材質	部材メンバー（中央断面）	フランジ継手 ボルト 径	列	本数N	SPL-1 板厚	B1	SPL-2 板厚	B2	L	ウェブ継手 ボルト 径	列	本数N	SPL-3 板厚	h	L	備考
SN400B	H-440x300x11x18	M22	ﾁﾄﾞﾘ4	8	12	300	12	110	440	M22	1	5	9	320	170	
	H-600x200x11x17	M22	2	6	12	200	12	80	410	M22	1	7	9	440	170	
SN490B	H-700x300x13x24	M22	ﾁﾄﾞﾘ4	14	19	300	19	110	710	M22	2	12	12	530	290	
	SH-700x300x16x32	M22	ﾁﾄﾞﾘ4	16	22	300	22	110	800	M22	2	12	12	530	290	SG1・SCG1
SS400	H-500x200x10x16	M20	2	6	12	200	12	80	410	M20	1	5	9	320	170	仮設鉄骨

柱・梁 ウェブ継手



柱・梁 フランジ継手



柱・梁・フランジ・ウェブ 共通

	e1	P	P3
M16	40	60	45
M20	40	60	45
M22	40	60	45

鉄骨部材リスト

共通事項（特記なき限り）
- 鉄骨材質は SS400 とする。
- ガセットプレート（GPL）材質は 母材と同材質 とする。
- ボルトは 高力ボルト S10T、メッキボルト F8T とする。
- 屋外露出となる部材は、溶融亜鉛メッキを施すものとする。

符 号	部材メンバー	接合ボルト	ガセットプレート（GPL）	スプライスプレート（2-SPL）	備 考
sb10w	H-100x100x 6x 8	2-M16	PL- 9		
sb12h	H-125x125x6.5x 9	2-M16	PL- 6		横使い
sb15h	[-150x75x6.5x10	2-M16	PL- 6		横使い 目隠し壁支持鉄骨詳細図 参照
sb20w	H-200x200x 8x12	2-M20	PL- 9		EV鉄骨要領図 参照
sb25	H-250x125x 6x 9	3-M16	PL- 6		
sb25a	H-250x125x 6x 9	2-M20	PL- 9	PL- 6	B-TYPE、ボルトピッチ70mm
sb30	H-300x150x6.5x 9	3-M20	PL- 9		
sb40	H-400x200x8x13	4-M20	PL- 9		
sb44	H-440x300x11x18 (SN400B)	5-M20	PL-12		
HV1	L-65x65x8 (SS400)	3-M16	PL- 9		
HV2	L-65x65x8 (SS490)	3-M16	PL- 9		
sp20w	H-200x200x 8x12				目隠し壁支持鉄骨詳細図 参照
sp20	□-200x200x9 (STKR400)				EV鉄骨要領図 参照
sp1	L-90x90x6				目隠し壁支持鉄骨詳細図 参照

小梁継手要領図 （リブプレートは GPLと同材質・同厚とする）

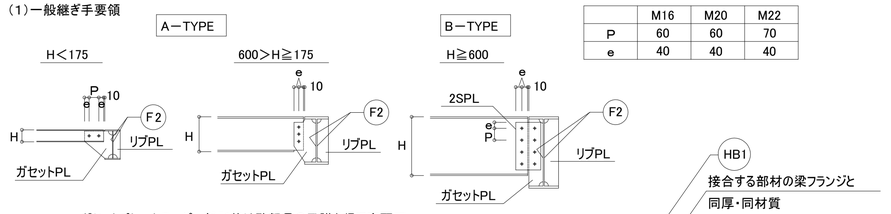
特記なき限り
- リブプレートは GPLと同材質・同厚とする。
- 座屈止め要領と仕様が異なる場合は、座屈止め要領を優先する。
- ガセットプレート形状については座屈止メ要領を考慮して定める。

ボルトピッチ

共通事項（特記なき限り）
- 小梁・間柱・横座屈補剛等共通とする。

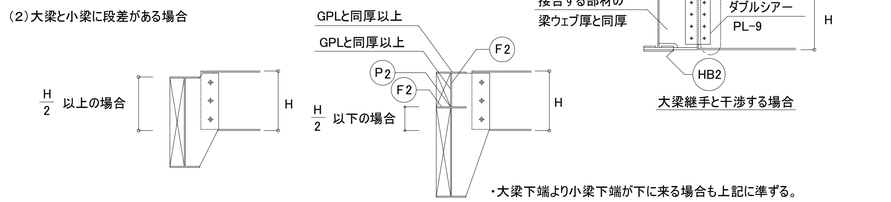
	M16	M20	M22
P	60	60	70
e	40	40	40

（1）一般継ぎ手要領



・ガセットプレートテーパー部形状は監督員の承諾を得て変更可

（2）大梁と小梁に段差がある場合

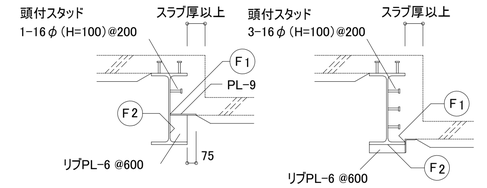


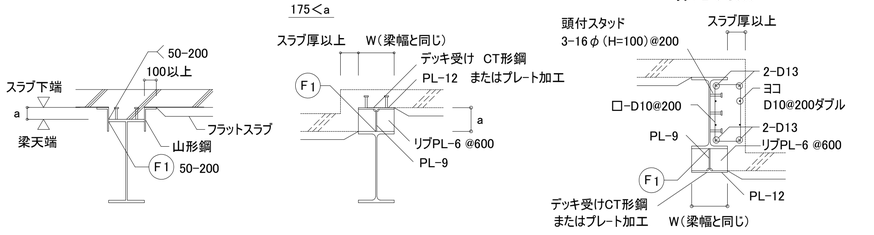
・大梁下端より小梁下端が下に来る場合も上記に準ずる。

梁段差かさ上げ材要領

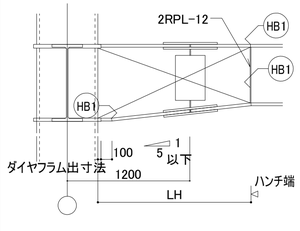
スラブ下端と梁天端との段差 a	デッキプレート受材
a ≦ 75	L-100x100x7
75 ＜ a ≦ 125	L-150x150x12
125 ＜ a ≦ 175	L-200x200x15
175 ＜ a	CT形鋼またはプレート加工（図示）

a ＞ 350 のときは係員の指示による



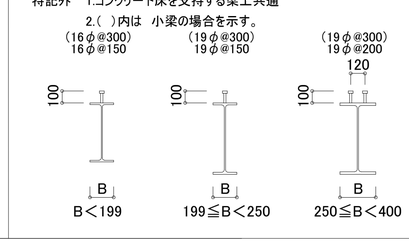


ハンチ継手要領図



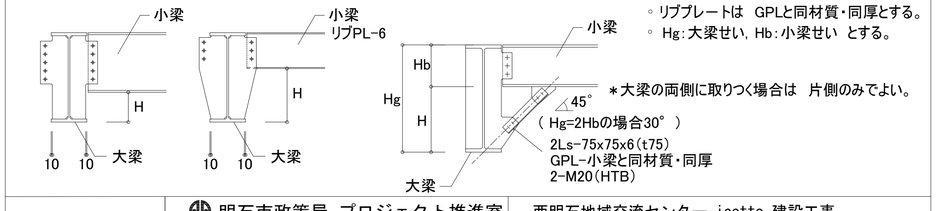
梁上端スタッドボルト要領（大梁・小梁）

特記外 1.コンクリート床を支持する梁上共通
2.（ ）内は 小梁の場合を示す。



大梁座屈止め要領図

（1）H＜300の場合 （2）300≦H＜400の場合 （3）H≧400の場合



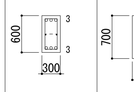
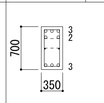
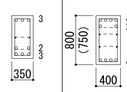
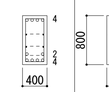
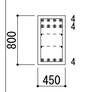
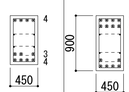
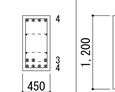
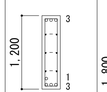
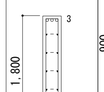
特記なき限り
- リブプレートは GPLと同材質・同厚とする。
- Hg:大梁せい, Hb:小梁せい とする。

＊大梁の両側に取りつく場合は 片側のみでよい。

明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章 〈構造設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第308030号 構造設計一級建築士 第5193号 秋田 智	B	建築工事	最終版	2025. 02. 28
	22	鉄骨部材リスト A1 1: 50 A3 1:100	見積版	2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版	

小梁リスト 1:50

共通事項（特記なき限り）
- 幅止筋は D10@1000以内 とする。
- 2段受け筋は D16@1000以内 とする。

符 号	b1	b2		b3		b4		b4A		b5	b5A	b6	b7	cb1
位 置	全断面	端 部	中 央	端 部	中 央	端 部	中 央	端 部	中 央	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断 面														
上端筋	3-D22	5-D22	3-D22	6-D22	4-D22	8-D25	4-D25	8-D25	4-D25	3-D22	3-D22	10-D25	2-D22	10-D25
下端筋	3-D22	3-D22	5-D22	4-D22	6-D22	4-D25	7-D25	6-D25	7-D25	4-D22	4-D22	5-D25	2-D22	5-D25
スターラップ	□-D10@200	□-D13@200		□-D13@200		□-D13@200		□-D13@200		□-D10@200	□-D10@200	□-D13@200	□-D10@200	□-D13@200
腹 筋	2-D10	2-D10		4-D10		4-D10		4-D10		6-D10	6-D10	4-D10	-	4-D10
備 考				()内数値はb3Aを示す。										

壁リスト 1:50

共通事項（特記なき限り）
- 巾止筋は、タテヨコ共D10@1000以下とする。

符 号		W15	W18	KW18	KW20	KW25
壁 厚 (mm)		150	180	180	200	250
断 面（水平断面）						
縦 筋		D10@150 チドリ	D13@200 ダブル	D13@200 ダブル	D16@100 ダブル	D13@200 ダブル
横 筋		D10@150 チドリ	D10D13@200 ダブル	D13@200 ダブル	D13@200 ダブル	D13@200 ダブル
壁開口部補強筋	縦筋	2-D13	4-D13	-	-	-
	横筋	2-D13	4-D13	-	-	-
	斜筋	6φ-100目シングル	6φ-100目ダブル	-	-	-
備 考						

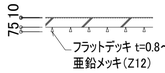
床版リスト

共通事項（特記なき限り）
- 直押え部分は スラブ天端増打 10 とする。
- 土に接するスラブ下地業は 捨コンクリート ㋐50、砕石 ㋐60 とする。

符 号	版 厚 (mm)	位置	短 辺 方 向	長 辺 方 向	備 考
S16	150	上端筋	D10・D13 @200	D10 @200	モチアミ配筋
		下端筋	D10・D13 @200	D10 @200	
S17	150	上端筋	D10・D13 @200	D10・D13 @200	モチアミ配筋
		下端筋	D10・D13 @200	D10・D13 @200	
S18	250	上端筋	D13 @200	D13 @200	モチアミ配筋
		下端筋	D13 @200	D13 @200	
S19	150	上端筋	D13 @200	D13 @200	モチアミ配筋
		下端筋	D13 @200	D13 @200	
S19A	150	上端筋	D13 @150	D13 @200	モチアミ配筋
		下端筋	D13 @150	D13 @200	
DS1	150	上端筋	D13 @200	D10・D13 @200	床型枠用鋼製デッキプレート使用
		下端筋	D13 @200	D10・D13 @200	
DS2	250	上端筋	D13 @200	D10・D13 @200	床型枠用鋼製デッキプレート使用
		下端筋	D13 @200	D10・D13 @200	
CS1	150	上端筋	D10・D13 @200	D10・D13 @200	モチアミ配筋
		下端筋	D10・D13 @200	D10・D13 @200	
FS1	200	上端筋	D13 @200	D13 @200	消化水槽底版、モチアミ配筋
		下端筋	D13 @200	D13 @200	
FS2	250	上端筋	D16 @200	D13 @200	EVピット底版、モチアミ配筋
		下端筋	D16 @200	D13 @200	
FS3	300	上端筋	D13 @200	D13 @200	モチアミ配筋
		下端筋	D13 @200	D13 @200	

床型枠用鋼製デッキプレート仕様

注）フラットデッキは「フラットデッキ建設技術評価取得品」とする。

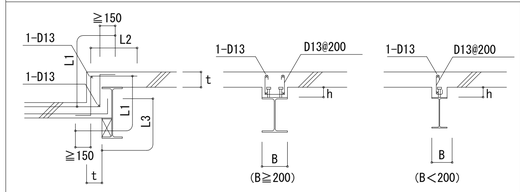


- スラブ段差がある箇所は「普通型枠」を使用してもよい。
- 受注者に施工に先立ち、施工の安全性を確保すること。
- ※スパンL=スラブ短辺方向寸法=フラットデッキ支持方向寸法を示す。
- スパンL>3.1mの場合 ベコビームなど仮設材を用いてコンクリートを打設すること。

＜リブ高さ75の場合＞

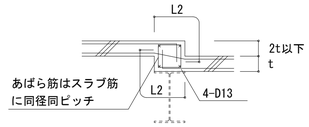
スパンL※	デッキプレート厚さ t
L ≦ 2.4m	t=0.8mm
2.4m< L ≦ 2.7m	t=1.0mm
2.7m< L ≦ 2.9m	t=1.2mm
2.9m< L ≦ 3.1m	t=1.6mm

鉄骨部分スラブ段差配筋要領



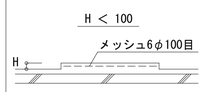
※ h≦50の場合は不要

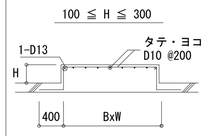
※段差部は原則、低い方のスラブレベルに応じて梁を設けるものとする。
※小梁を介さず同一スパン内でスラブ高さが異なる場合は
鉄筋コンクリートスラブ段差部配筋要領（B）に準じる。

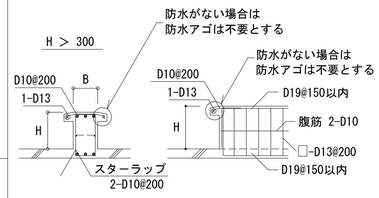


機械基礎配筋図 1:50

(B,W,H寸法は 意匠図による。)



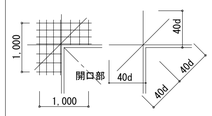




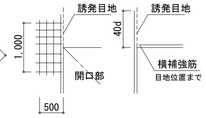
主 筋	B＜300の場合	上下共 2-D19
	B≧300の場合	上下共 D19@150以内
腹 筋	H＜600の場合	不 要
	H≧600の場合	2-D10

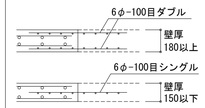
壁開口隅角部補強筋

開口際に誘発目地がない場合



開口際に誘発目地を設ける場合

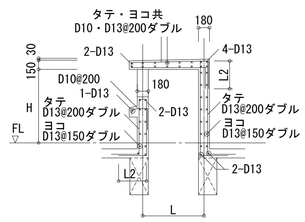




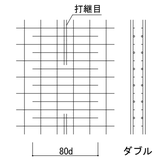
- 開口部補強溶接金網を上記要領で設置すること

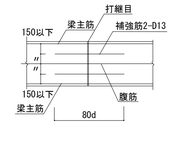
ハト小屋配筋要領図 1:50

H、L寸法は 意匠図 による。



打継ぎ部および後打ちコンクリート部の補強



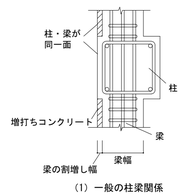


壁またはスラブの打継ぎ部
dは壁筋またはスラブ筋と同一径とし、
鉄筋間隔が1/2となるように補強する。

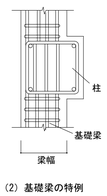
梁の打継部
補強筋は2-D13とし、
ピッチ150以下に配筋する。

※壁またはスラブの打継ぎ部の補強筋間隔が@100より過密、
または@300より過少となる場合は、構造設計者・監理者と協議する

梁と柱が同一面の場合の梁断面の割増し幅



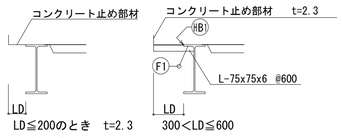
(1) 一般の柱梁関係



(2) 基礎梁の特例

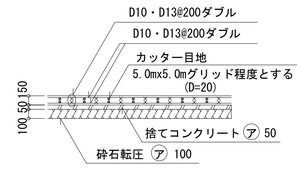
デッキ床端部コンクリート止め要領図

デッキ床の端部が梁フランジ端部より外側にくる場合は下記要領で
コンクリート止め部材、及び、補強部材を設けること。



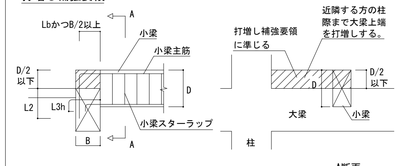
土間コンクリート配筋図 1:50

(注:Fc18とする。)
※構造スラブと接する箇所は
目地(意匠図参照)を設けること。

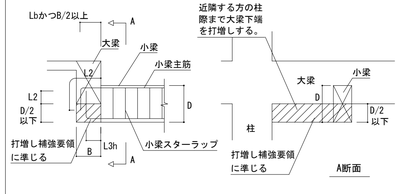


小梁の上端レベルが大梁より高い場合の定着要領

打増し補強要領

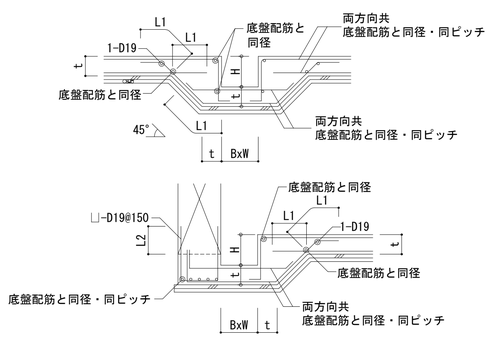


小梁の下端レベルが大梁より低い場合の定着要領



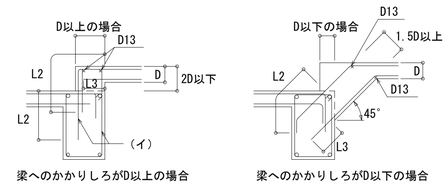
釜場配筋要領図 1:50

H, B, W寸法は 意匠図 による。



鉄筋コンクリートスラブ段差部配筋要領

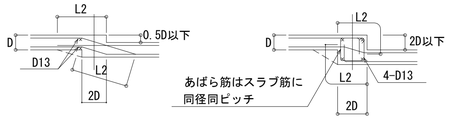
（A）スラブの高さが異なる場合の補強



梁へのかかりしろがD以上の場合　　梁へのかかりしろがD以下の場合

（イ）はスラブ端部上端筋と同径、同間隔とする。

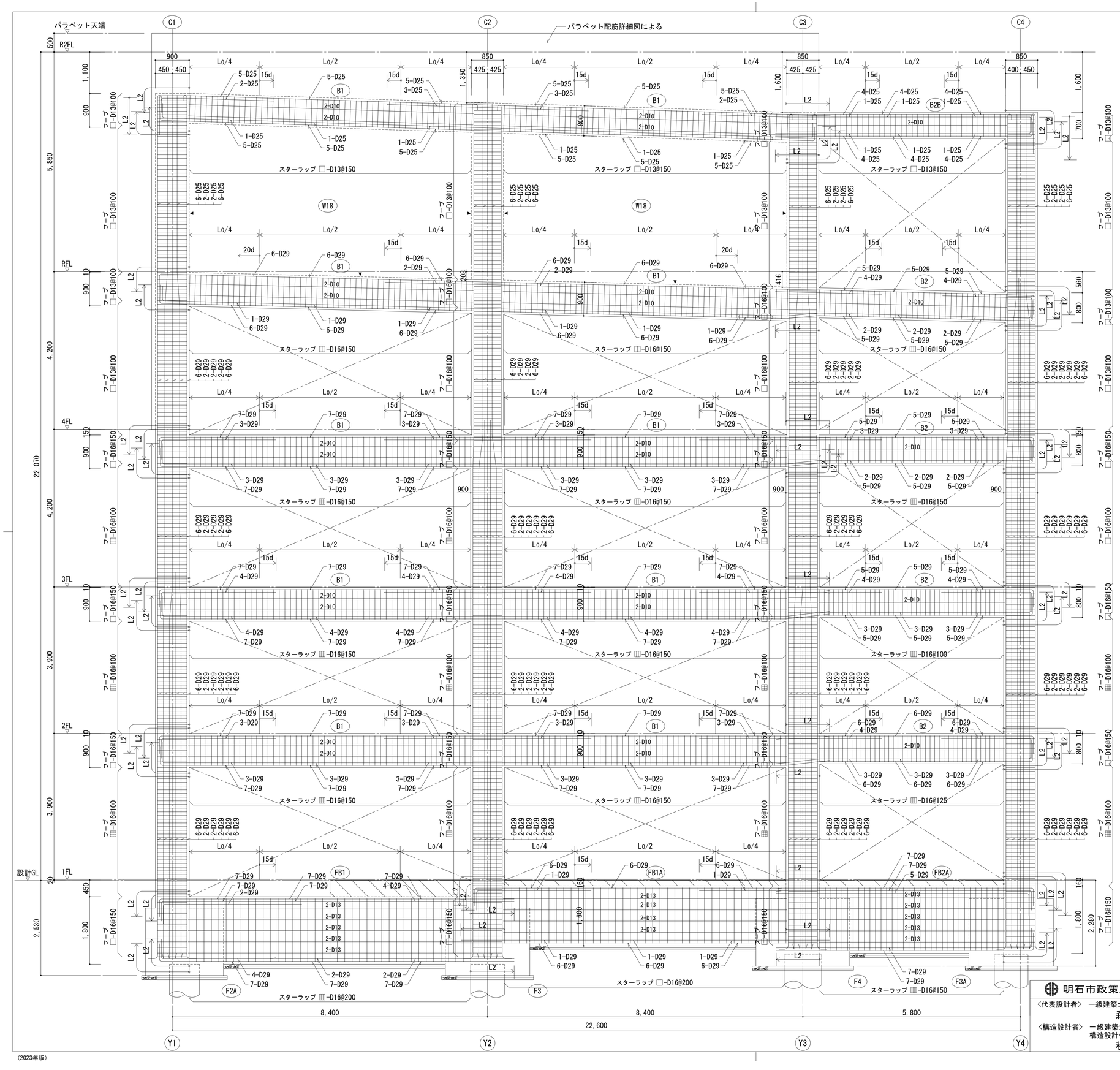
（B）同一スパン内でスラブの高さが異なる場合の補強



明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
<代表設計者> 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	B	建築工事	最終版 2025. 02. 28
<構造設計者> 一級建築士 国土交通大臣登録 第308030号 構造設計一級建築士 第5193号 秋田 智	23	RC部材リスト・各部配筋図 A1 1:50 A3 1:100	見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

20230220



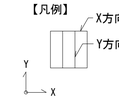
X5通り架構配筋詳細図　1:50

共通事項（特記なき限り）

- フープは、溶接閉鎖型とする。
- ◀ ▼ 印は 耐震スリット を示す。
- ▨ 印は 増打 を示す。

フープ □-D13

【凡例】

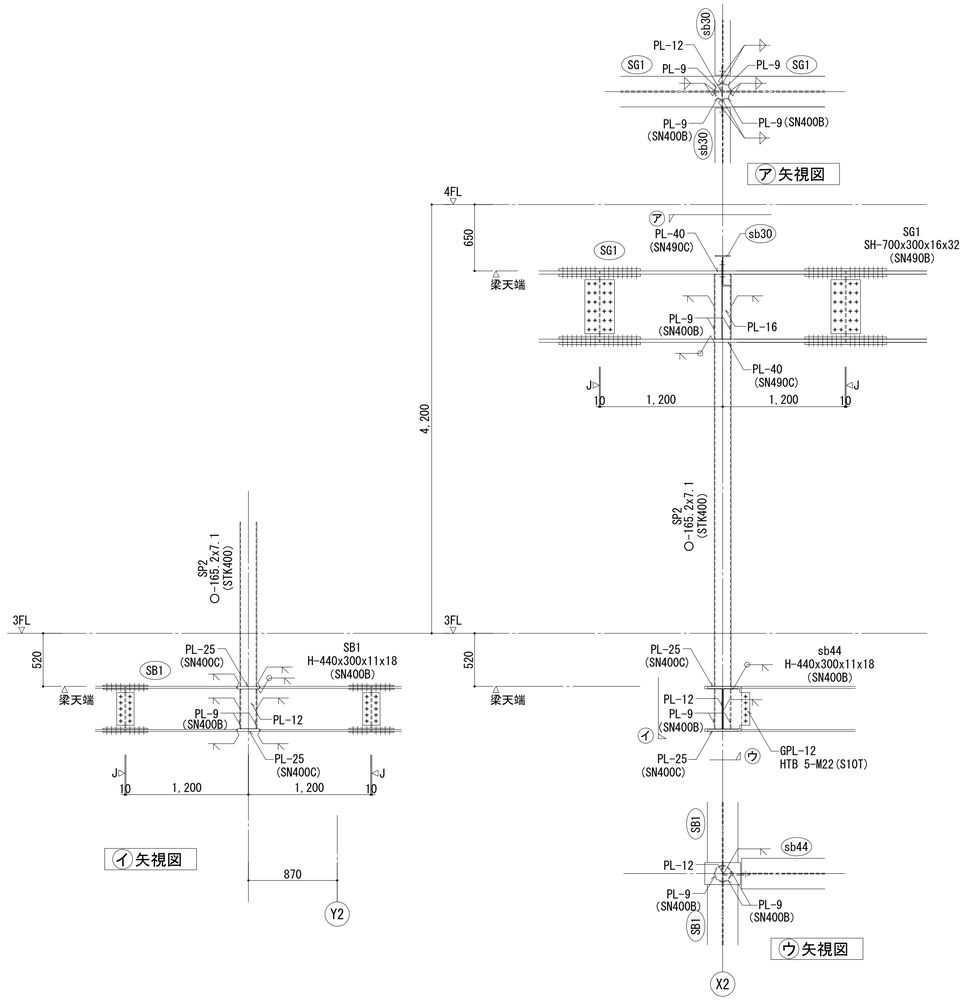


明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	B	建築工事	最終版 2025. 02. 28
〈構造設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第308030号 構造設計一級建築士 第5193号 秋田 智	24	架構配筋詳細図 A1 1:50 A3 1:100	見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

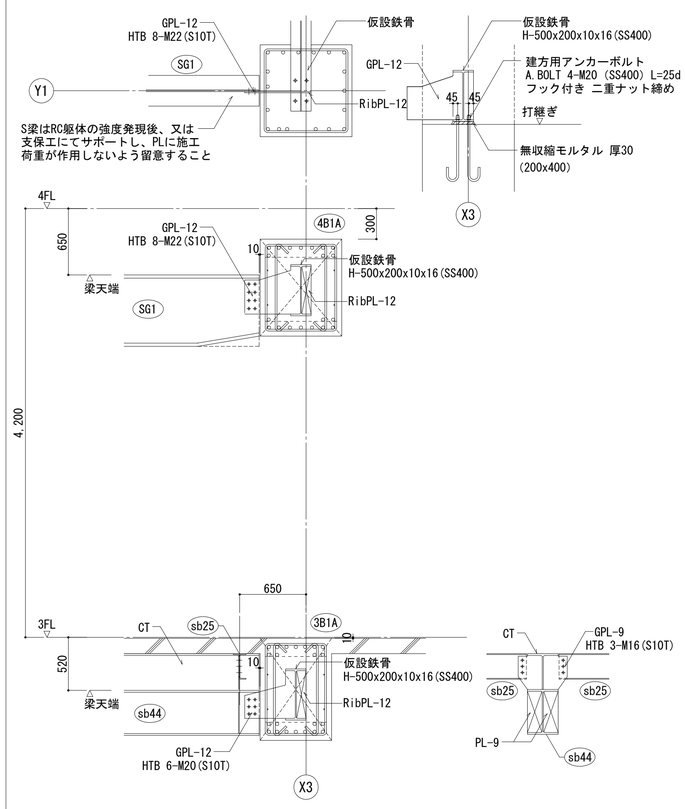
（2023年版）

20230220

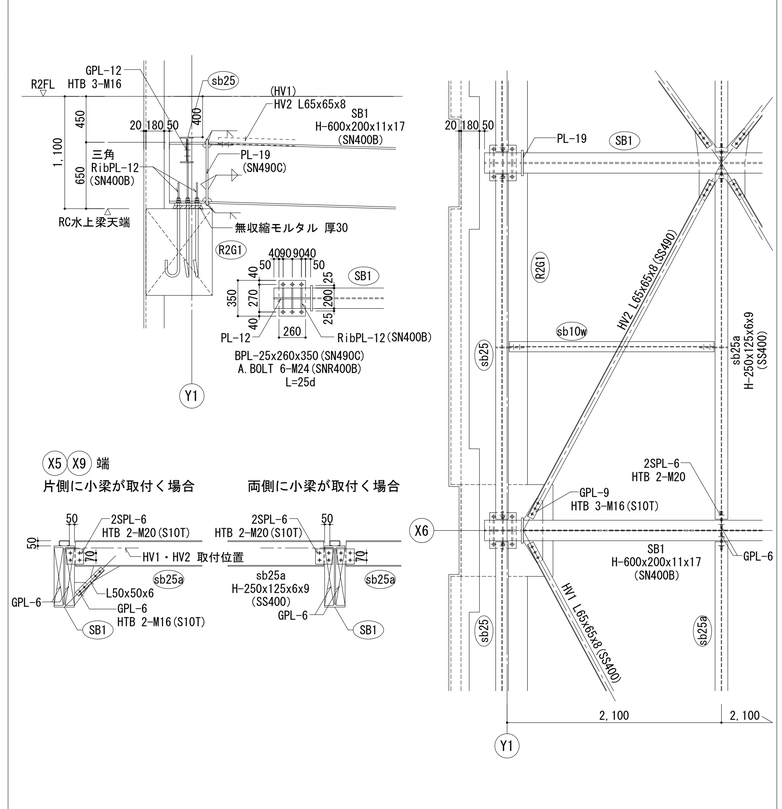
SP2柱取合い要領図 1:30



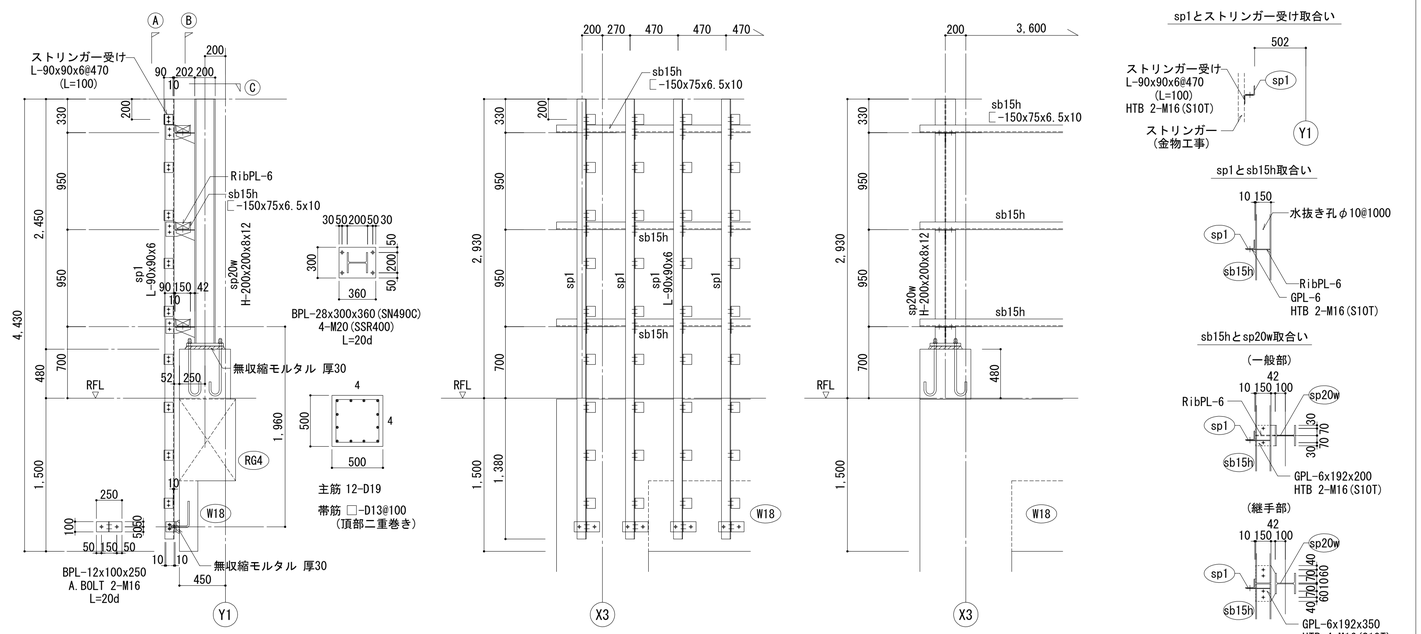
3FL・4FL RC梁と鉄骨梁の取合い要領図 1:30



R2FL RC梁と鉄骨梁の取合い要領図 1:30



RFL 目隠し壁支持鉄骨詳細図 1:30

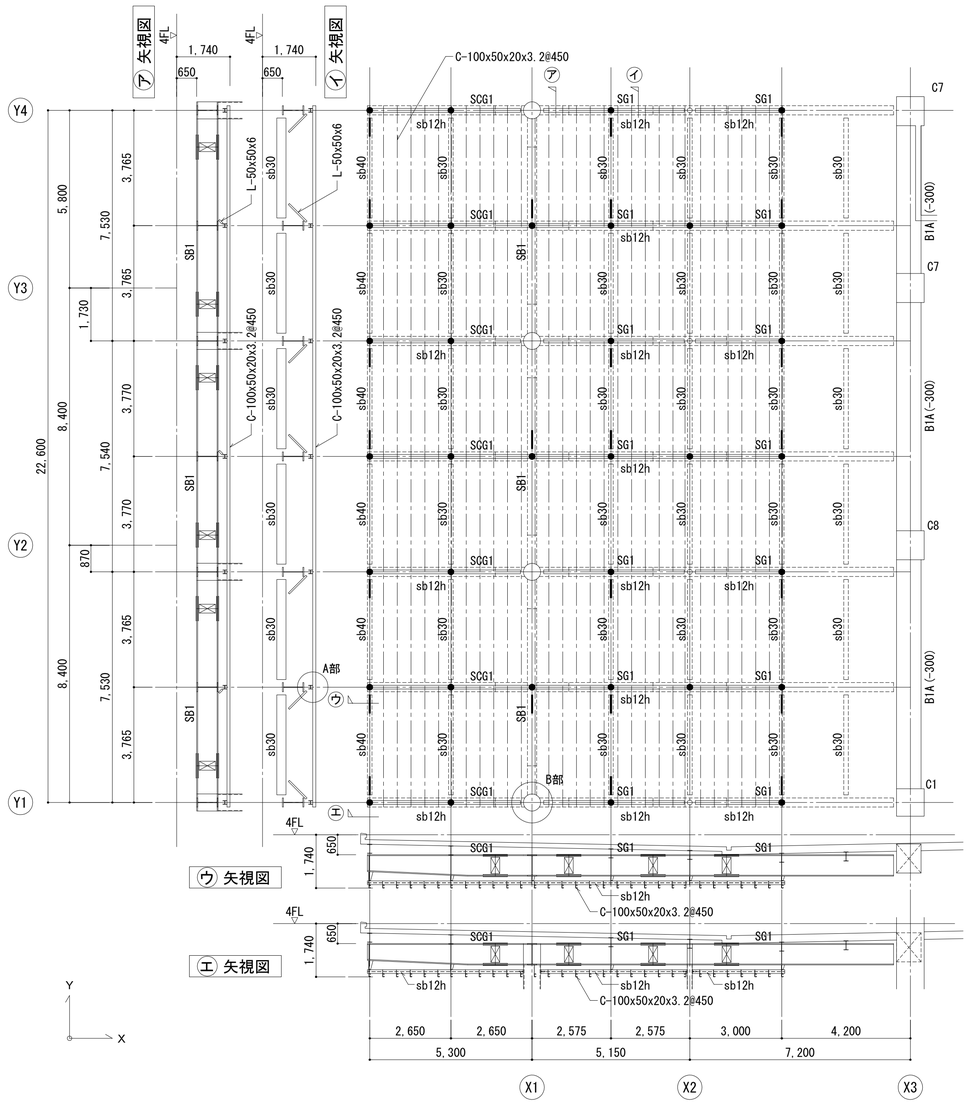


A 矢視図　　B 矢視図　　C 矢視図

明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	B	建築工事	最終版 2025.02.28
〈構造設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第308030号 構造設計一級建築士 第5193号 秋田 智	25	各部詳細図(1) A1 1:30 A3 1:60	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

20230220

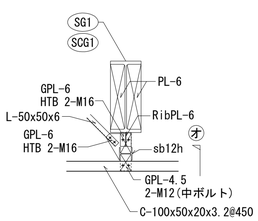
3階天井支持鉄骨要領図　1:100　1:30



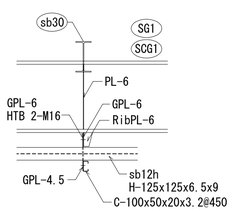
4FL-1740梁伏図　1:100

共通事項（特記なき限り）

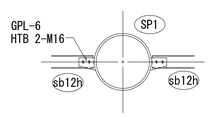
- ● 印は 吊りプレート位置 を示す。
- ━━ 印は 端部方杖材 L-50x50x6 を示す。



A部 詳細図　1:30

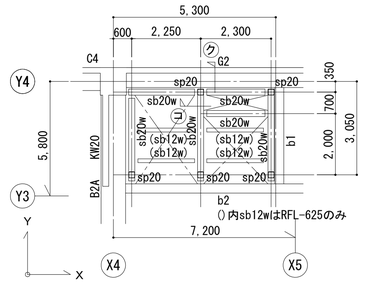


オ 矢視図　1:30

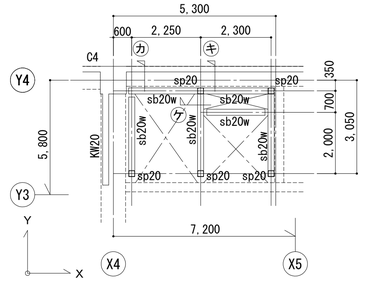


B部 詳細図　1:30

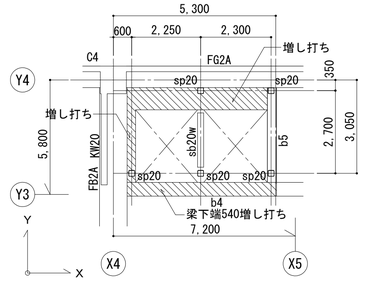
EV鉄骨要領図　1:100　1:30



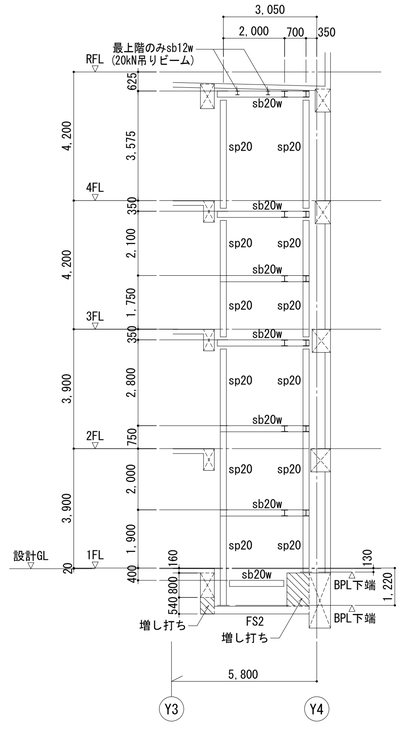
3FL-350・4FL-350・RFL-625床梁伏図　1:100



2FL-2000・2FL+750・3FL+1750床梁伏図　1:100



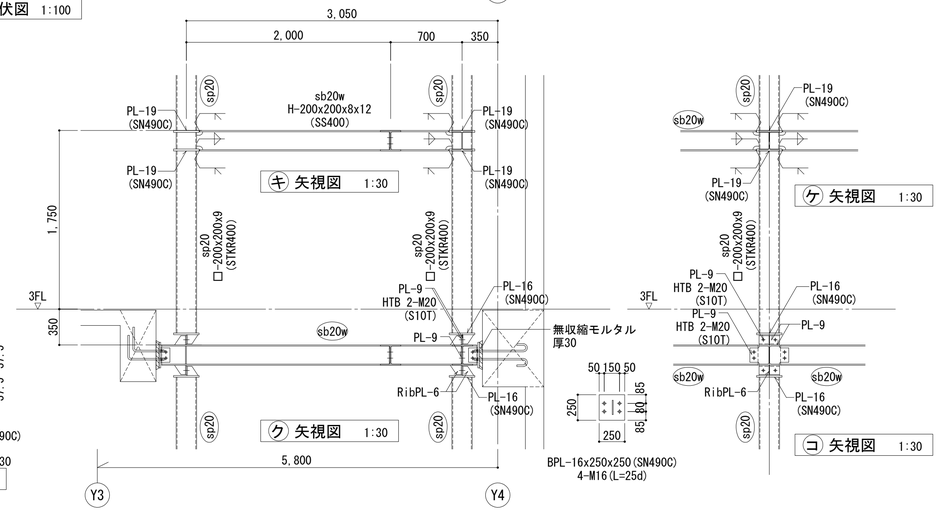
1FL-400床梁伏図　1:100

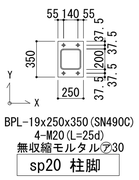


EV支持材軸組図　1:100



カ 矢視図　1:30



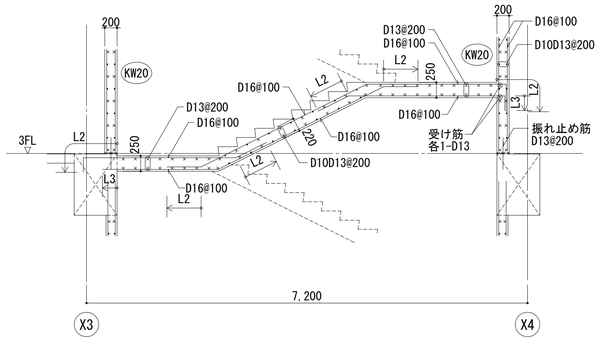


EV支持材部分詳細図　1:30

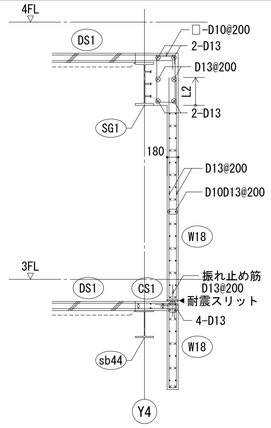
明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事			
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	B	建築工事	A1 1:100 1:30	最終版	2025.02.28
〈構造設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第308030号 構造設計一級建築士 第5193号 秋田 智	26	各部詳細図(2)	A3 1:200 1:60	見積版	2024.12.16
		安井建築設計事務所		最終契約版	

20230220

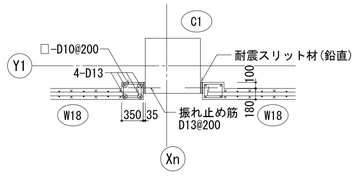
屋内階段詳細図　1:50



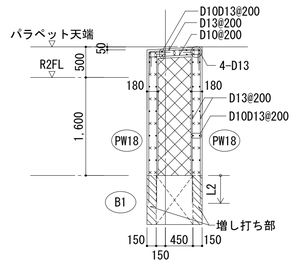
Y4通り X2-X3間 W18 配筋要領図　1:50



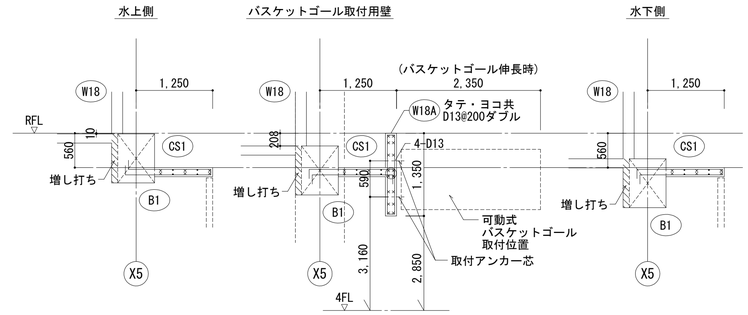
4階多目的ホール W18 耐震スリット要領図　1:50



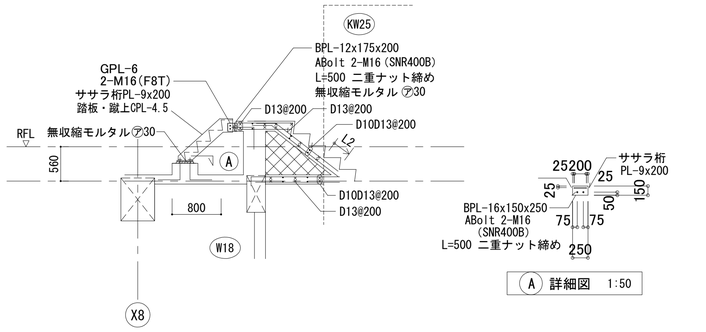
屋上階パラペット配筋要領図　1:50



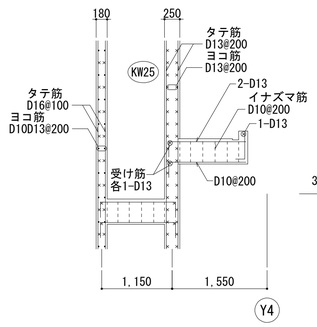
RFL CS1スラブレベルとバスケットゴール取付用壁配筋要領図　1:50



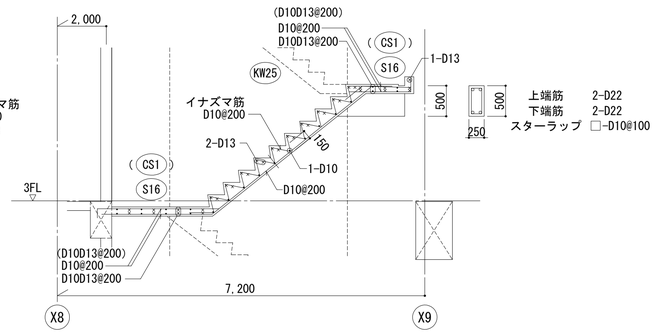
屋外階段詳細図　1:50



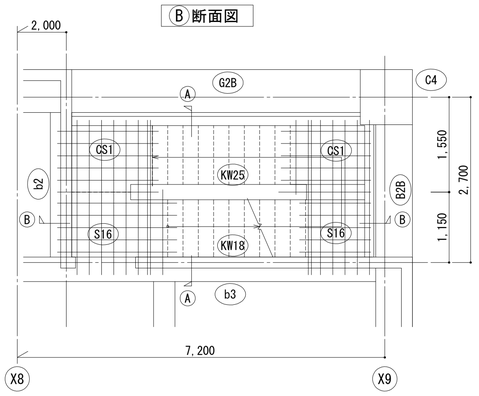
A 詳細図　1:50



A 断面図



B 断面図

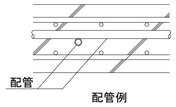


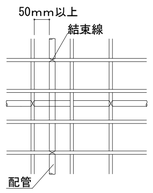
平面配筋要領図

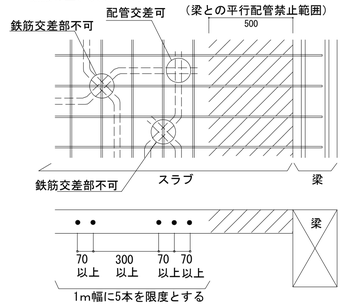
埋設配管要領

共通事項

(1) 使用する配管はPF管のみとし、呼称22以下、外径30.5φ以下とする。
(2) 配管のかぶり厚さは鉄筋と同等以上を確保する。
(3) 配管は出来るだけ直線的に行い、蛇行しない。
(4) 配管は結束線などで1m以内毎に直交方向の鉄筋と結束する。
(5) 鉄筋と平行な配管は鉄筋より50mm以上離す。
(6) 配管相互のあきは50mm以上とする。
(7) 配管は極力重ねない。やむを得ず重ねる場合は2段以下にする。
(8) 盤取付部の配管立上りが集中する部位においては、そこを開口部とみなして開口補強を行う。
(9) 配管は盤取付位置周辺を除き、過度に集中しないよう配管する。目安として1m幅に5本程度までとする。
(10) この規準の適用範囲は在来工法による建物とする。
(11) この要領に示す配管を満足させるのが困難な場合は、設計者・監理者と協議の上、決定する。



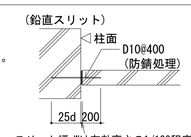




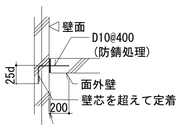
(1) 屋根スラブ及び防水を行うスラブには、原則として配管類を埋め込まない。
(2) 配管外径は部材厚の1/5以下とする。
(3) シングル配筋の場合は配管は行わなず、ダブル配筋の内側に配管を行う。
(4) 梁面より500mm以内の範囲に1.0mを超える配管を設けない。
(5) 配管同士の交差は鉄筋交差部では行わないものとし、配管同士が直交方向に交わるようにする。
(6) 配管相互のあきは70mm以上とし、3本以上平行配管してはならない。ただし、配管同士の間隔が300mm以上の場合はその限りではない。
(7) 平行配管は1m幅の中で5本を限度とする。

耐震スリット壁の要領

(1) 耐震スリット材は全貫通タイプとする。
(2) 鉛直スリット幅(W)は梁下有効寸法の1/100以上とする。
(3) 耐震スリット材が所定の耐火性能を有し、かつ、二次防水処理が施してあるものとする。
(4) 遮音性能はD-50(1級)以上とする。
(5) スリット設置箇所は柱際を原則とし、0～200の範囲で目地位置に合わせる。
(6) 防水立ち上がりがある場合は梁天端より上部300以下にスリットを設ける。
(7) 鉄筋の防錆処理は防錆塗装(JIS K5674)または 亜鉛メッキ鉄筋 とする。
(8) スリット部に設備配管は干渉させないものとする。
(9) 3辺スリットの場合、水平スリットから鉄筋を離す為のスペーサーを配置する。
(10) 外壁の場合、垂直スリットと水平スリットの取合いコーナー部、スリット材のジョイント部において止水材を連続させること。
(11) 水平スリット取付箇所は、コンクリート面は平滑に仕上げて接着性を確保する。
(12) 垂直スリットにより区画され、上部から流れなくなる腰壁のコンクリート打設は後打ちとするか、同時打ちの場合はサニーホース等にて上部より下部腰壁に打設する。
(13) 垂直スリットの変形を防止するため、スリットをはさんだ柱・壁を交互に打設し、スリットの直近では棒型振動機を使用しない。
(14) 袖壁上部、端部等の充填性が悪いと予想される部分には、事前に充填確認用の穿孔を行い、充填を目視にて確認する（必要に応じて壁型の振動機を使用する）。

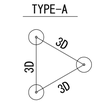


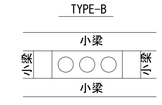
スリット幅 Wは有効高さの1/100程度



スリット幅 Wは有効高さの1/100程度

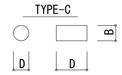
スラブ開口補強要領図





◦ スラブ開口は原則、開口中心間距離を3D以上確保すること。

◦ 開口中心間距離が3D未満の場合は小梁補強を原則とし、設計者・監理者と協議の上、補強方法を検討すること。



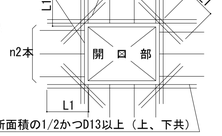
◦ D、B寸法が700を超える場合は小梁補強を原則とし、設計者・監理者と協議の上、補強方法を検討すること。

スラブ開口補強

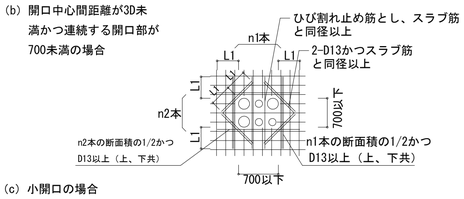
(1) 開口部最大径が700以下の場合の開口部補強

n1本の断面積の1/2かつD13以上（上、下共）

(a) 一般開口の場合
梁に接近しておりL1が確保できない場合は、補強筋を延長して梁内に定着する。



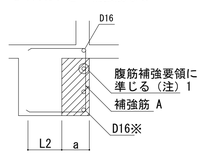
(b) 開口中心間距離が3D未満かつ連続する開口部が700未満の場合



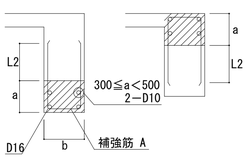
(c) 小開口の場合
スラブ開口の最大径が両方向の鉄筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略できる。

梁の打増し補強要領図

・a<70のとき　補強筋なし



※梁側面打増しの場合は角部のD16以外は腹筋でよい（腹筋径とピッチは補助筋による）。



b<350の場合　2−D16
350≦b<500の場合3−D16
500≦b<750の場合4−D16
750≦bの場合　D16@200

a	70≦a≦200	200<a
補強筋A	あばら筋と同径・SD295・同ピッチ	構造図による

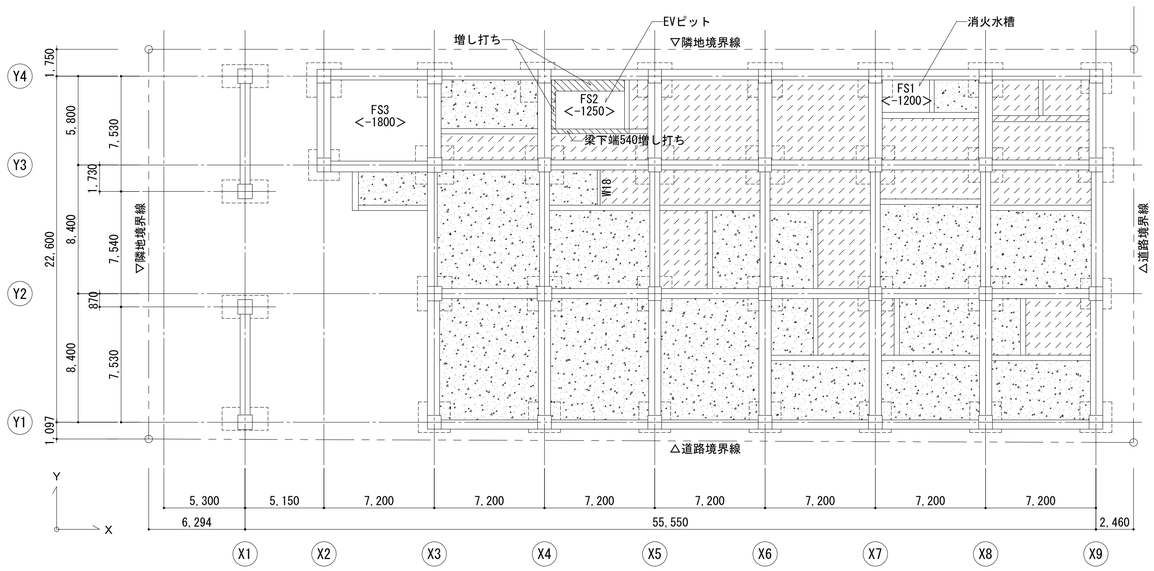
（注）1. 定着は3cmとする。ただしD16以上の場合は定着L2とする。

※200<aの場合、あばら筋と同径・同材質・同間隔とする。

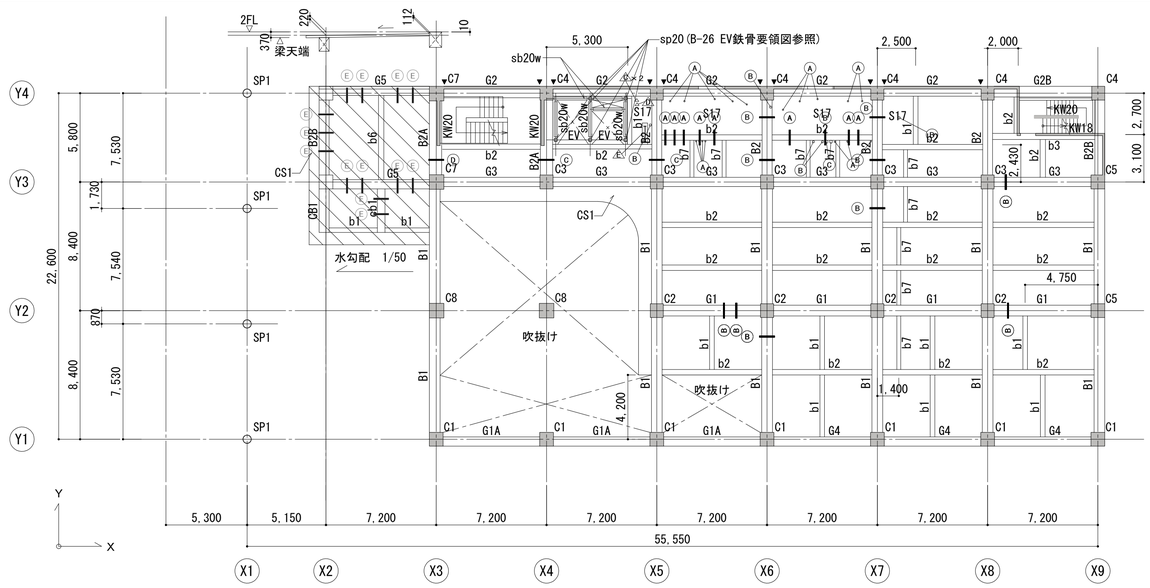
明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	B	建築工事	最終版 2025.02.28
〈構造設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第308030号 構造設計一級建築士 第5193号 秋田 智	27	各部詳細図(3) A1 1:50 A3 1:100	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

(2023年版)

20230220



ピット伏図　1:200



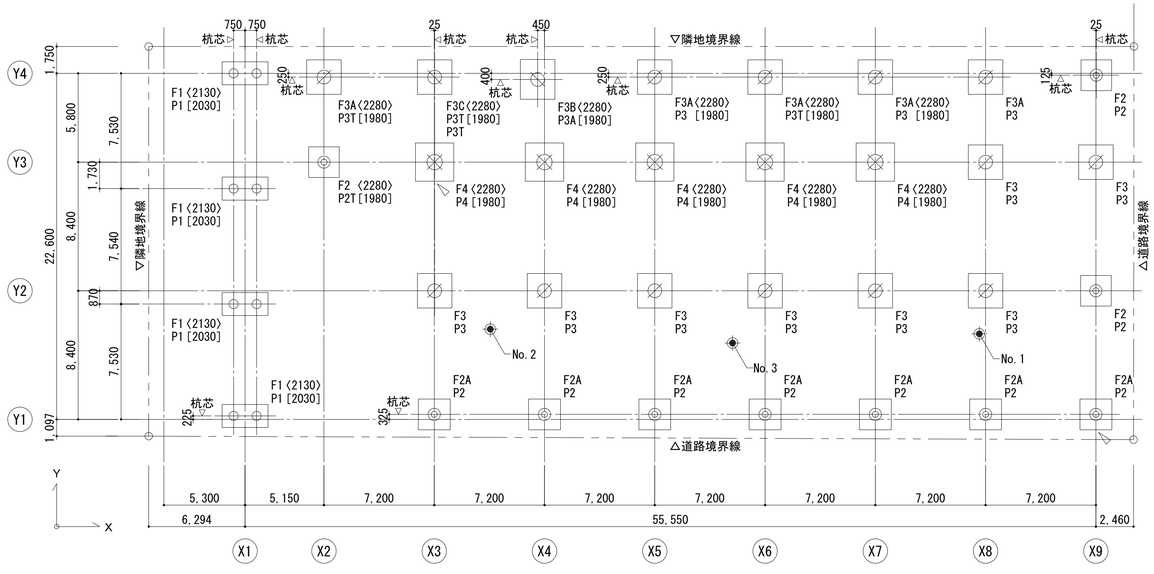
2階床梁伏図　1:200

2階梁貫通リスト

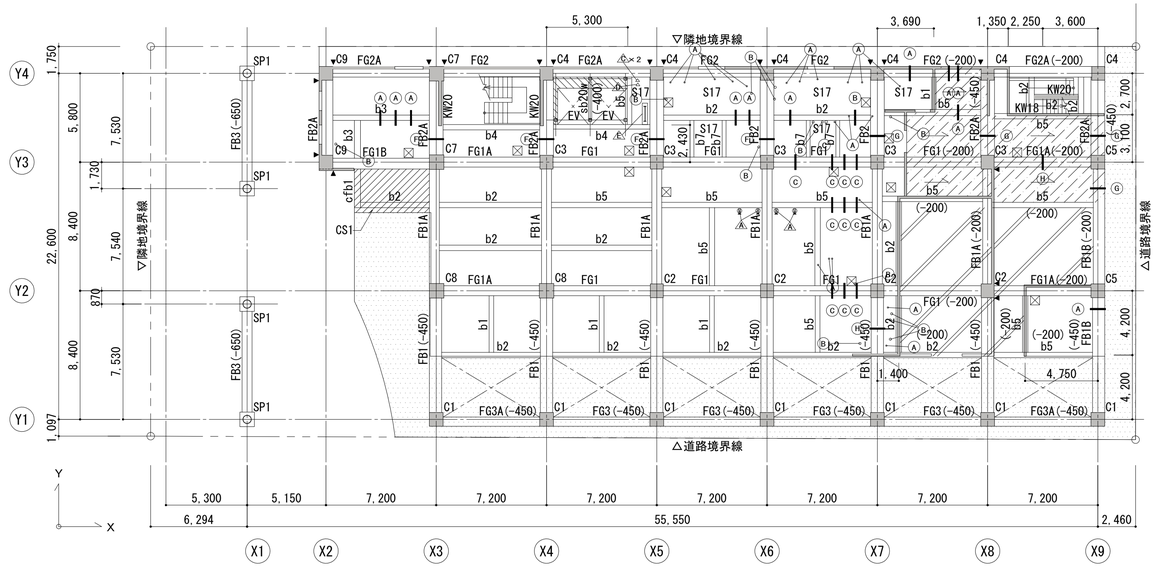
符号	スリーブ径(mm)	箇所数	配筋補強種別
G1	150	3	H8
G3	150	1	H7
G5	300	8	H9
B1	150	2	H8
B2	150	5	H8
B2A	200	1	H10
	250	1	H11
B2B	300	3	H9
b2	100	8	—
	150	1	H4
cb1	300	2	H6

2階床貫通リスト

符号	スリーブ径(mm)	箇所数
S16	100	2
	150	2
S17	100	18
	150	8
	200	2
	350x1400	1



杭・基礎伏図　1:200



1階床梁伏図　1:200

1階梁貫通リスト

符号	スリーブ径(mm)	箇所数	配筋補強種別
FG1	200	7	H7
FG1A	600	1	H10
FG2	100	1	—
FB1	600	1	H12
FB2	400	1	H11
	500	1	H12
FB1B	100	1	—
	500	1	H10
FB2A	400	3	H12
	500	2	H13
b2	100	3	—
	150	1	H4
b3	100	3	—
b5	100	1	—
	200	3	H5

1階床貫通リスト

符号	スリーブ径(mm)	箇所数
S16	100	27
	150	18
	200	1
S17	100	10
	150	10
	200	1
	350x1400	1

共通事項（特記なき限り）

- スリーブ外径は　呼び径　とする。
- RC梁の補強要領はH形配筋とし、本図による。
- 梁貫通補強は監督員の承認を受け、既製品（大臣認定品）による補強とすることができる。
- 既製品による補強の計算書を掲示し監督員の承認を得ること。
- 梁貫通に関しては、リスト数量を正とし、伏図は参考とする。
- 床貫通について（スラブ鉄筋ピッチ-50）以下となる径の開口は、鉄筋を切断しないものとする。
- RC梁について、特記なき建築工事のスリーブ材は VU（硬質塩化ビニル管）とする。
- － 印は補強不要とする。

スリーブ径（梁）
- A 100Φ
- B 150Φ
- C 200Φ
- D 250Φ
- E 300Φ
- F 400Φ
- G 500Φ
- H 600Φ

スリーブ径（スラブ）
- A 100Φ
- B 150Φ
- C 200Φ
- D 250Φ
- E 300Φ
- F 400Φ
- G 500Φ
- H 600Φ

電気凡例
- A 100Φ
- B 50Φ
- C 104Φ
- D 51Φ
- E 350×1400

明石市政策局　プロジェクト推進室

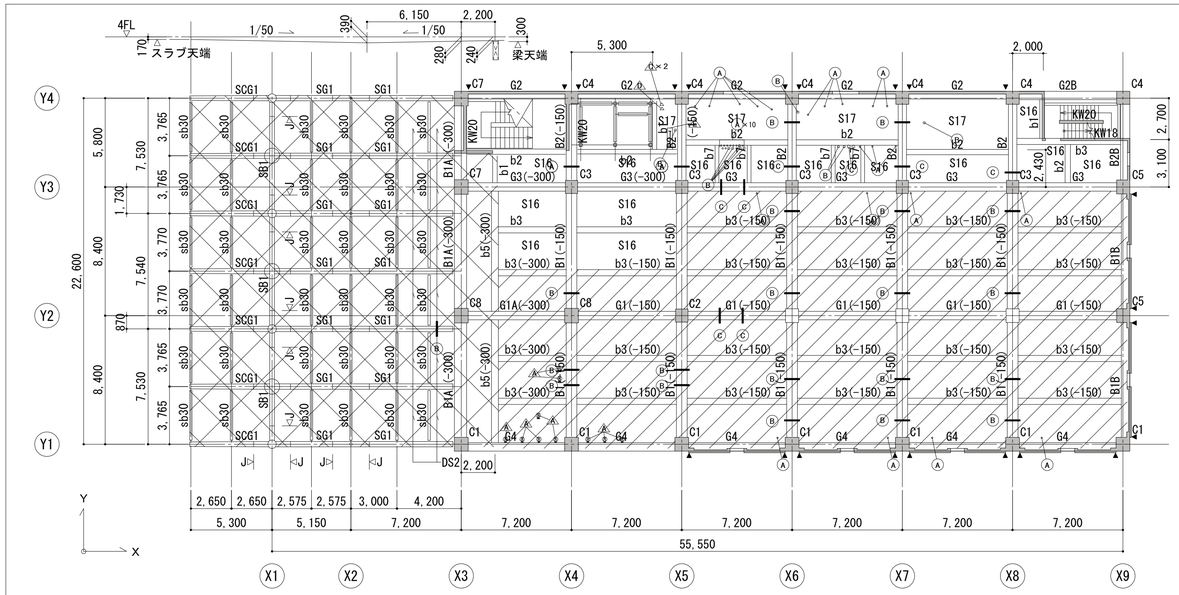
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号
森　雅章

〈構造設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第308030号
構造設計一級建築士　第5193号
秋田　智

西明石地域交流センター　icotto 建設工事

B	建築工事		最終版 2025.02.28
28	梁貫通図(1)	A1 1:200 A3 1:400	見積版 2024.12.16
	安井建築設計事務所		最終契約版

20230220



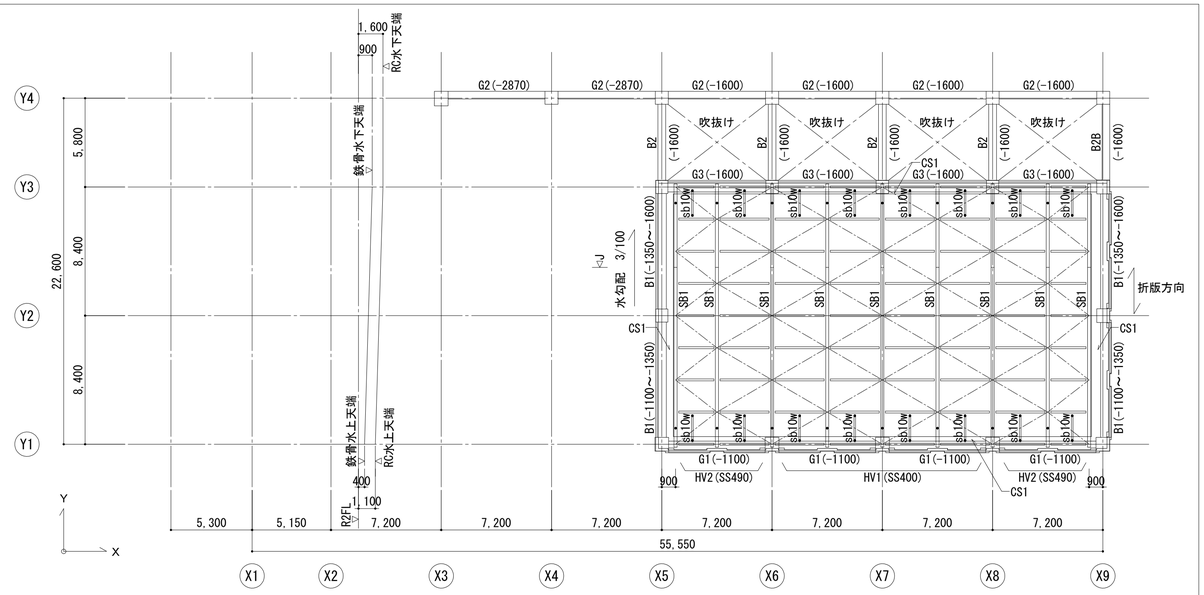
4階床梁伏図　1:200

4階梁貫通リスト

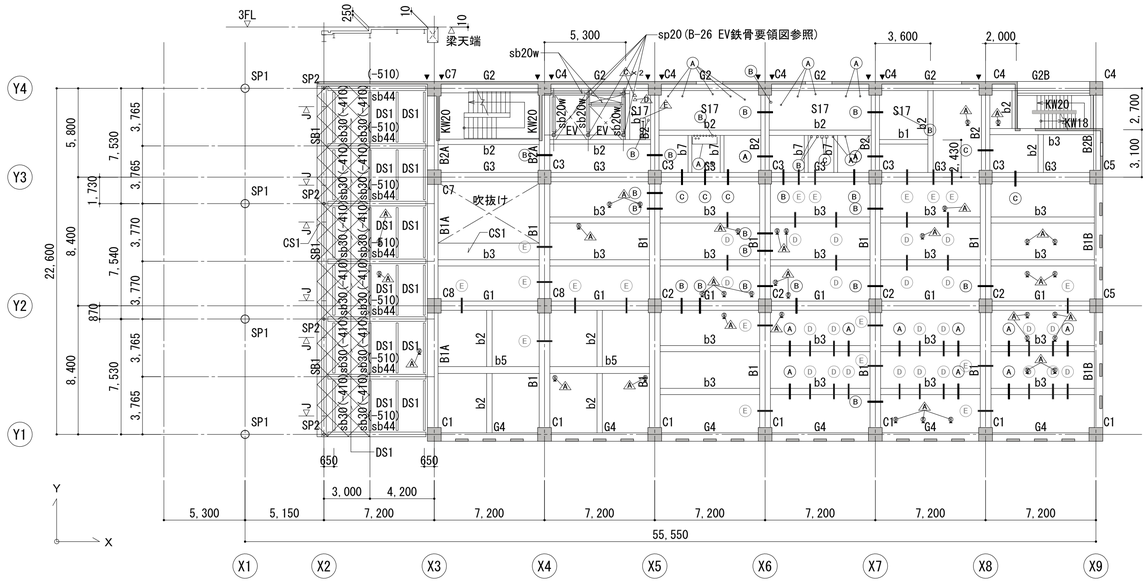
符号	スリーブ径(mm)	箇所数	配筋補強種別
G1	200	4	H6
B1	150	17	H7
B2	100	2	—
	150	2	H7
	200	3	H8
SG1	150	1	

4階床貫通リスト

符号	スリーブ径(mm)	箇所数
S17	100	24
	150	12
	200	2
	350x1400	1
S18	100	18



R2階床梁伏図　1:200



3階床梁伏図　1:200

3階梁貫通リスト

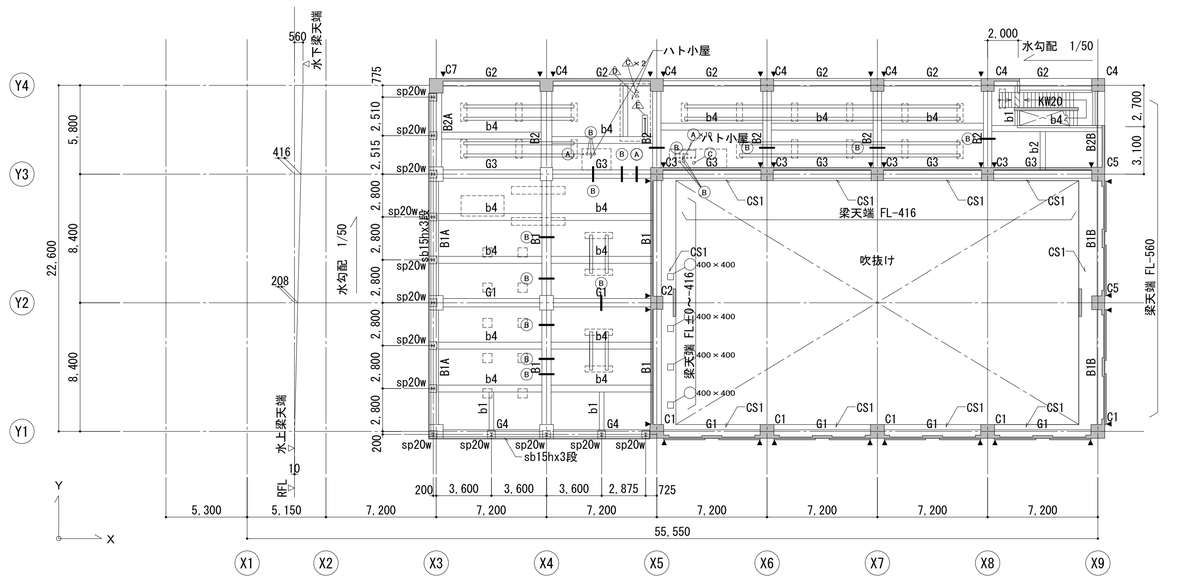
符号	スリーブ径(mm)	箇所数	配筋補強種別
G1	150	3	H7
	300	4	H9
G3	150	2	H8
	200	4	H8
	300	5	H9
B1	150	9	H8
	300	9	H9
B2	100	2	—
	150	3	H9
	200	1	H9
B2A	150	1	H10
b3	100	9	H4
	250	24	H6

3階床貫通リスト

符号	スリーブ径(mm)	箇所数
S16	100	4
S17	100	22
	150	8
	200	2
	350x1400	1
S19	100	32
DS1	100	3

共通事項（特記なき限り）

- スリーブ外径は　呼び径　とする。
- RC梁の補強要領はH形配筋とし、本図による。
- 梁貫通補強は監督員の承認を受け、既製品（大臣認定品）による補強とすることができる。
- 既製品による補強の計算書を掲示し監督員の承認を得ること。
- 梁貫通に関しては、リスト数量を正とし、伏図は参考とする。
- 床貫通について（スラブ鉄筋ピッチ-50）以下となる径の開口は、鉄筋を切断しないものとする。
- RC梁について、特記なき建築工事のスリーブ材は VU（硬質塩化ビニル管）とする。
- - 印は補強不要とする。
- S梁の補強要領はプレート補強とし、B-07による。



R階床梁伏図　1:200

R階梁貫通リスト

符号	スリーブ径(mm)	箇所数	配筋補強種別
G1	150	1	H4
G3	100	1	—
	150	2	H6
B1	150	5	H6
B2	150	4	H7

R階床貫通リスト

符号	スリーブ径(mm)	箇所数
S19	100	13
	150	10
	200	1
	350x1400	1
CS1	400	4

スリーブ径(梁)

- Ⓐ 100Φ
- Ⓑ 150Φ
- Ⓒ 200Φ
- Ⓓ 250Φ
- Ⓔ 300Φ
- Ⓕ 400Φ
- Ⓖ 500Φ
- Ⓗ 600Φ

スリーブ径(スラブ)

- Ⓐ 100Φ
- Ⓑ 150Φ
- Ⓒ 200Φ
- Ⓓ 250Φ
- Ⓔ 300Φ
- Ⓕ 400Φ
- Ⓖ 500Φ
- Ⓗ 600Φ

電気凡例

- Ⓐ 100Φ
- Ⓑ 50Φ
- Ⓒ 104Φ
- Ⓓ 51Φ
- Ⓔ 350×1400

明石市政策局　プロジェクト推進室

西明石地域交流センター icotto 建設工事

〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号
森　雅章

〈構造設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第308030号
構造設計一級建築士　第5193号
秋田　智

B
29

建築工事

梁貫通図(2)

A1　1:200
A3　1:400

最終版　2025. 02. 28
見積版　2024. 12. 16

安井建築設計事務所

最終契約版

20230220

(2023年版)

タンク類　（○印のあるものを適用する）

機器番号	系統・用途	種類 FRP製 単板	種類 FRP製 複合板	種類 耐熱FRP製	種類 ステンレス製 単板	種類 ステンレス製 複合板	種類 コンクリート製	種類 その他	型式 一体型	型式 パネル型	型式 一槽式	型式 二槽式	台数	有効容量 m3	寸法 W(φ) mm	寸法 L mm	寸法 H mm	耐震 G	保温	付属品 マンホール 大きさ mmφ	付属品 マンホール 個数	付属品 マンホール 鍵	付属品 マンホール 二重蓋	付属品 タラップ 内(PVC)	付属品 タラップ 外(溶融亜鉛メッキ)	付属品 電極座	付属品 ボールタップ	付属品 緊急弁	付属品 制御盤	架台 ※）材質明記なき場合 鋼製溶融亜鉛メッキ	設置場所	監視（警報） 満水	監視（警報） 減水	監視（警報） その他	備考
TF-1	消火水槽						○（ピット）		○		○		1	3.2				－													ピット	○	○		水槽、マンホール（600φ）および防水処理は、建築工事 電極棒、プルボックスおよび配管配線は、電気工事
TF-2	消火用充水タンク				○				○		○		1	0.2	600	600	900	2.0		450	1					○（M）	○			床置架台　1,500H	R階　機器置場	○	○		基礎・一次鋼材は、建築工事

共通特記事項

ポンプ　（○印のあるものを適用する）

※）防振材　＜Ｓ：スプリング　ＲＰ：ゴムパッド＞

機器番号	系統・用途	型式	屋内型/屋外型	台数 組数	材質	口径 mm(φ) 吐出	口径 mm(φ) 吸込	水量 L/min	揚程 m	電動機 φ	電動機 V	電動機 kW	電動機 起動方式	電動機 制御盤(M/E)	電動機 ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ(M/E)	運転方法	制御方式 電極	制御方式 フロート	制御方式 吐出圧一定	制御方式 端末圧一定	制御方式 その他	防振材	防振架台	耐震 G	付属品 GV	付属品 CV	付属品 圧力計	付属品 フート弁	付属品 着脱装置	付属品 水中ケーブル	付属品 呼水槽	付属品 流量計	付属品 サクションホール	付属品 屋外カバー	設置場所	非常電源 ●防災 ○保安	連動	インターロック	監視・制御 中央 監視	監視・制御 中央 制御	備考
PU-1	直結増圧給水ポンプユニット	キャビネット形	屋内型	1	SUS	75	75	400	5	3	200	1.5x2	INV	○（M）	○（M）	2台並列 3台ローテーション運転				○		S	○	1.0	○	○	○								1階　ポンプ室	○			○		逆流防止器内蔵型
PFU-1	屋内消火栓消火ポンプユニット	消防認定品ユニット	屋内型	1	－	50	50	180	60	3	200	5.5	L-S	○（M）	－						○	RP		1.0	○	○	○	○			○	○	○		1階　ポンプ室	●			○		

共通特記事項

ガス湯沸器　（○印のあるものを適用する）

機器番号	系統・用途	形式（1） 屋内型	形式（1） 屋外型	形式（2） 瞬間式	形式（2） 潜熱回収型	形式（2） 床置	形式（2） 壁掛	形式（3） FF式	形式（3） FE式	形式（4） 元止式	形式（4） 先止式	台数	ガス種別	仕様 標準能力 号数	仕様 最大ガス消費量 kW/台	仕様 加熱能力 kW/台	寸法(参考) W mm	寸法(参考) D mm	寸法(参考) H mm	電源 φ	電源 V	電源 定格消費電力 kW/台	電源 起動方式	熱源効率(JIS)	据置台	運転リモコン メイン	運転リモコン サブ	即湯ユニット(内蔵)	膨張タンク	低Noxバーナー	付属品	設置場所	備考
WHG-1	1階　キッチン系統		○	○	○		○			○		1	13A	16号	29.4		350	250	600	1	100	0.030	L-S	0.94		○		○		○	安全装置・配管カバー	屋外　機器置場	

共通特記事項　　1．ガス給湯器の定格加熱能力・定格消費電力及び定格燃料消費量は、ＪＩＳ Ｓ ２１０９に規定された定格条件による。　　2．リモコン～本体間配管・配線共本工事とする。

電気温水器　（○印のあるものを適用する）

機器番号	系統・用途	形式（1） 屋内型	形式（1） 屋外型	形式（2） 瞬間式	形式（2） 貯湯式 密閉式	形式（2） 貯湯式 開放式	形式（2） 床置	形式（2） 壁掛	用途 熱湯＋雑湯	用途 雑湯	台数	加熱能力 kW	貯湯量 L	寸法(参考) W mm	寸法(参考) D mm	寸法(参考) H mm	電源 φ	電源 V	電源 定格消費電力 kW	電源 起動方式	熱源効率(JIS)	運転制御仕様	付属品	設置場所	備考
WHE-1	各個別給湯系統	○			○		○			○	3	1.1	12	250	350	400	1	100	1.1	L-S	0.36	プログラムタイマー	減圧弁・逃し弁・絶縁パイプ・密閉式排水金物・止水栓	1階　休憩室兼救護室 清掃員控室 保育ルーム3(一時預かり)	

共通特記事項　　1．電気温水器の定格加熱能力及び定格消費電力は、ＪＩＳ Ｃ ９２１９の定格条件及び試験方法による。　　2．リモコン～本体間配管・配線共本工事とする。　　3．床置形機器の固定方法は平成２４年度国土交通省公示第１４４７号に準じる。

消火栓格納箱・消火器　（○印のあるものを適用する）

機器番号	系統・用途	形式（1） 屋内型	形式（1） 屋外型	形式（2） 露出	形式（2） 埋込	材質	仕上 指定色焼付塗装	仕上 ヘアーライン	仕上 塩害塗装	仕上 その他	本体寸法(参考) W mm	本体寸法(参考) L mm	本体寸法(参考) H mm	付属品 消火栓弁 25A	付属品 放水口 65A	付属品 アダプター 65×50	付属品 ホース(ホース架共) 25Ax30m	付属品 ホース×2 65Ax20m	付属品 噴霧ノズル	付属品 スペース 表示灯	付属品 スペース 発信機	付属品 スペース 非常コンセント	付属品 スペース 非常電話	付属品 スペース 消火器	付属品 スペース 散水栓	付属品 消火器(ABC型)	付属品 置台	付属品 その他	設置場所（平面図参照） 1F	2F	3F	4F	RF	合計	備考
HB-1	広範囲型２号消火栓(消火器BOX併設型)	○			○	鋼板製	○			指定字体	900	200	1,150	○			○		○	○	○			○		○（10型）			3	2	3	2		10	扉は建築工事
	消火器	○																								○（10型）			2	2	2	1		7	ボックス（壁埋込型）、置台は建築工事
	消火器（屋外設置）		○	○					○																	○（10型）	○		2（駐車場）				1	3	ボックス（耐塩害仕様）共
	大型消火器（屋外設置）		○	○					○																	○（50型）	○						1	1	ボックス（耐塩害仕様）共

共通特記事項

－特記・凡例－

明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto　建設工事
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	C　給排水衛生設備工事　最終版　2025.02.28
〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築士　国土交通大臣登録　第　2339号 小林　陽一	01　機器表　－(A1) －(A3)　見積版　2024.12.16
	安井建築設計事務所　最終契約版

20230220

衛生器具表　　※便宜上、（●ＴＯＴＯ　●ＬＩＸＩＬ　○ＪＩＳ）の型番を使用する

器具名称	品番 上段：TOTO 下段：LIXIL	主要付属品等	電気容量 φ	電気容量 V	電気容量 W	備考	合計	1 多目的コーナー	1 保育ルーム３（一時預かり）	1 キッチン	1 休憩室兼救護室	1 清掃員控室	1 WC	1 MC	1 多機能WC１	1 多機能WC２	1 だれでもWC１	1 だれでもWC２	1 ベビーケアルーム	1 ゴミ庫	2 WC	2 MC	2 多機能WC	2 だれでもWC	2 ベビーケアルーム	3 WC	3 MC	3 多機能WC	3 だれでもWC	3 ベビーケアルーム	4 WC	4 MC	4 多機能WC	4 だれでもWC	4 ベビーケアルーム	4 テラス	R 機器置場	屋外 外構
洋風大便器（床置床排水）	CFS498B	上水仕様、TCF5524AUJY（温水洗浄便座、ふた無、ﾀｯﾁｽｲｯﾁ（発電式ﾘﾓｺﾝ）、擬音装置）、YH702（棚付二連紙巻器）	1	100	311		21														4	2		1		4	2		1		4	2		1				
	BC-P110S	上水仕様、DQ-PA150CH（ｸｲｯｸﾀﾝｸ）、CW-PA21LQE-NEC-R1（温水洗浄便座、ふた無、ﾀｯﾁｽｲｯﾁ（発電式ﾘﾓｺﾝ）、擬音装置）、CF-63HST（棚付二連紙巻器）	1	100	310																															
洋風大便器（床置床排水） （ﾚｼﾞｴﾝｽﾄｲﾚ）							8						4	2			1	1																		
	BC-P112SA	上水仕様、DT-PB150CH（ﾀﾝｸ）、CW-PA21L-NEC（温水洗浄便座、ふた無、擬音装置）、CF-63HST（棚付二連紙巻器）	1	100	310																															
幼児用大便器	CS300B	上水仕様、S300BK（ﾛｰﾀﾝｸ）、TS300SGR（ｾｯﾄ金具）、T82C38（ｽﾊﾟｯﾄﾞ）、TCF40（幼児用暖房便座）	1	100	32		8						1	1							1	1				1	1				1	1					
	C-P143S	上水仕様、DT-520XECH38（ﾛｰﾀﾝｸ）、CF-8AWP（ﾌﾗﾝｼﾞ）、CF-103BC（ｽﾊﾟｯﾄﾞ）、CF-43DCK（幼児用暖房便座）	1	100	35																															
ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰﾄｲﾚﾊﾟｯｸ	UADBZ61[R/L]1A1ADD1BA	上水仕様、停電時洗浄ﾚﾊﾞｰ有、TCF5841AUP（温水洗浄便座、温風乾燥付、金属製ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄ、ﾀｯﾁｽｲｯﾁ（発電式ﾘﾓｺﾝ））	1	100	1,260		5								1	1							1							1							
		自動水栓（手洗器）	1	100	0.6																															
		自動水栓（洗面器）	1	100	0.6																															
		電気温水器（洗面器）	1	100	505																															
		汚物流し	1	100	30																															
		電気温水器（汚物流し）	1	100	600																															
	PTWC-HC101R1A1AWWW	上水仕様、CW-PC12-CK-UR-TU（温水洗浄便座、温風乾燥付、固定強化ｶﾞﾗｽ、ﾀｯﾁｽｲｯﾁ）、AC-EBK-F62（ﾍﾞﾋﾞｰｷｰﾌﾟ）	1	100	1,307.5																															
		自動水栓（手洗器）	1	100	1.3																															
		自動水栓（洗面器）	1	100	1.3																															
		電気温水器（洗面器）	1	100	350																															
		汚物流し	1	100	7.5																															
		電気温水器（汚物流し）	1	100	700																															
小便器（壁掛）	UFS900WR	上水仕様、発電ﾀｲﾌﾟ					12							3								3				3						3				
	U-A51MP	上水仕様、発電ﾀｲﾌﾟ																																		
幼児用小便器（壁掛）	U310GY	上水仕様、T601P（手動ﾌﾗｯｼｭﾊﾞﾙﾌﾞ）、T64CP（壁排水ﾌﾗﾝｼﾞ）、T9R（ﾊﾞｯｸﾊﾝｶﾞｰ）					8						1	1							1	1				1	1				1	1					
	U-401R	上水仕様、UF-3J（手動ﾌﾗｯｼｭﾊﾞﾙﾌﾞ）、UF-13AWP（VU）（ﾌﾗﾝｼﾞ）、UF-114E（ﾊﾞｯｸﾊﾝｶﾞｰ）																																		
ｾﾙﾌﾘﾐﾝｸﾞ式洗面器	LS351CM	TLE28SA1W（台付自動水栓、発電ﾀｲﾌﾟ、ﾜﾝﾌﾟｯｼｭ有）、TLK07S01JA（自動水石けん供給栓、3L、1連）、TLDP2201JA（壁排水金具、ﾜﾝﾌﾟｯｼｭ）、THD84（ﾌﾟﾗｹｯﾄ）	1	100	4		16						2	2							2	2				2	2				2	2					
	L-2150FCS	AM-300（台付自動水栓、発電ﾀｲﾌﾟ、ﾜﾝﾌﾟｯｼｭ有）、KS-941UMTP（自動水石けん供給栓、3L、1連）、LF-WN7PF（壁排水金具、ｷｬｯﾌﾟｱｯﾌﾟ）、EFH-KK2-MB（ﾌﾟﾗｹｯﾄ）	1	100	9																															
壁掛け洗面器	LSB125AC	壁掛ﾊｲﾊﾞｯｸ洗面器（壁排水）、自動水栓（単水栓、発電ﾀｲﾌﾟ）、自動水石けん供給栓（1L、1連）	1	100	4		13						1	1			1	1			1	1		1		1	1		1		1	1		1			
	L-A951M2E	LF-30PAL（壁排水金具）、自動水栓（単水栓、発電ﾀｲﾌﾟ）、自動水石けん供給栓（1L、1連）	1	100	9																															
掃除流し	SK22A	T23AE20C（横水栓）、T37SGEP（床排水金具）、TN114（ｱﾝｸﾞﾙ形止水栓）、T9R（ﾊﾞｯｸﾊﾝｶﾞｰ）、TK22（ﾘﾑｶﾊﾞｰ）					8						1	1							1	1				1	1				1	1					
	S-202A	LF-7KE-19-U（横水栓）、SF-20SAF-P（床排水金具）、SF-202（給水ﾎｰｽ）、SF-10E（ﾊﾞｯｸﾊﾝｶﾞｰ）、ﾘﾑｶﾊﾞｰ付																																		
ｼﾝｸﾞﾙﾚﾊﾞｰ混合栓	TKS05301J						4		1	1	1	1																								
	SF-WM420SYX（JW）																																			
横水栓	T28AUNH13	ｶｯﾌﾟﾘﾝｸﾞ付					3													1																2	
	LF-35-13-CV	ｶｯﾌﾟﾘﾝｸﾞ付																																		
散水栓（ｷｰ付）	T28KUNH13	ｶｯﾌﾟﾘﾝｸﾞ付、ｷｰ付					5																											1		4
	LF-33G-13-CV	ｶｯﾌﾟﾘﾝｸﾞ付、ｷｰ付																																		
調乳用温水器（ｼﾝｸ付）		浄水器、水栓、排水トラップ	1	100	1,500	（建築工事）	4												1					1				1				1				
ｼﾝｸ（ﾐﾆｷｯﾁﾝ）						（建築工事）	4		1	1	1	1																								
ｼﾝｸﾞﾙﾚﾊﾞｰ混合栓						（別途工事）	1	1																														
ｼﾝｸ（ﾐﾆｷｯﾁﾝ）						（別途工事）	1	1																														

ー特記・凡例ー

1．各WC内の手すり、鏡、フィッティングボード、ベビーキープ、フック、
　ペーパーホルダーは建築工事とする。

2．建築工事で設置する器具への配管接続は本工事とする。

明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto　建設工事
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	C　給排水衛生設備工事　最終版　2025.02.28
〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築士　国土交通大臣登録　第　2339号 小林　陽一	02　衛生器具表　－（A1）－（A3）　見積版　2024.12.16
	安井建築設計事務所　最終契約版

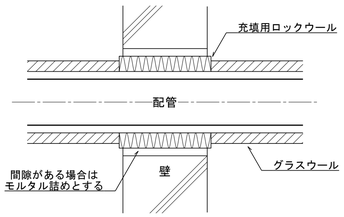
（2023年版）

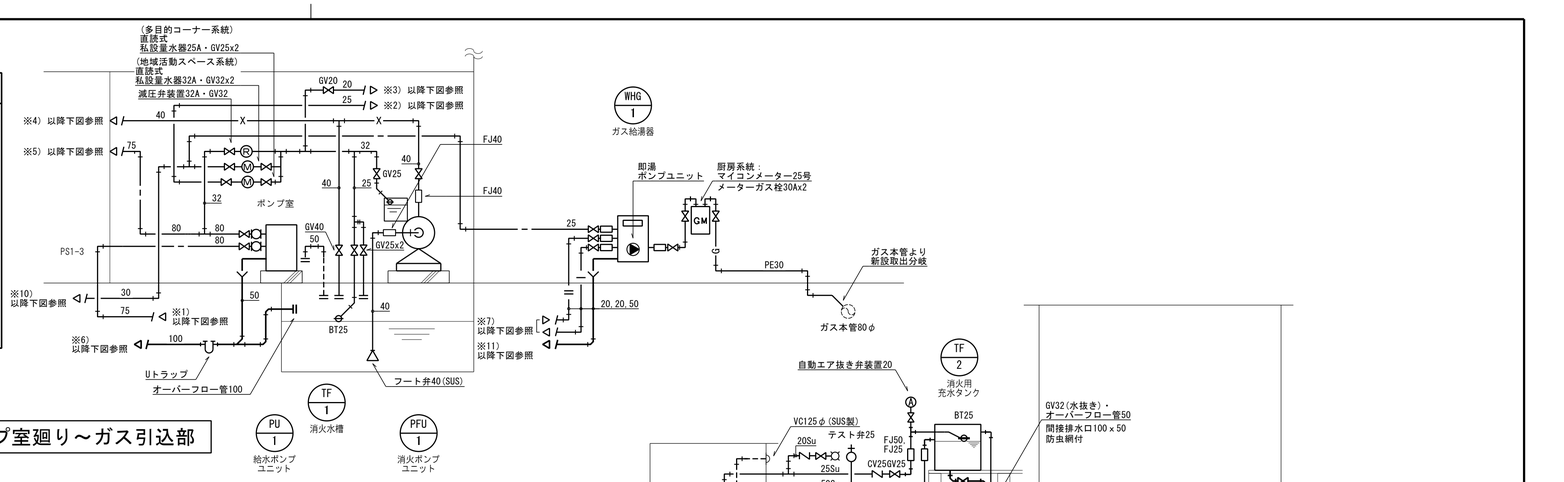
20230220

凡　例

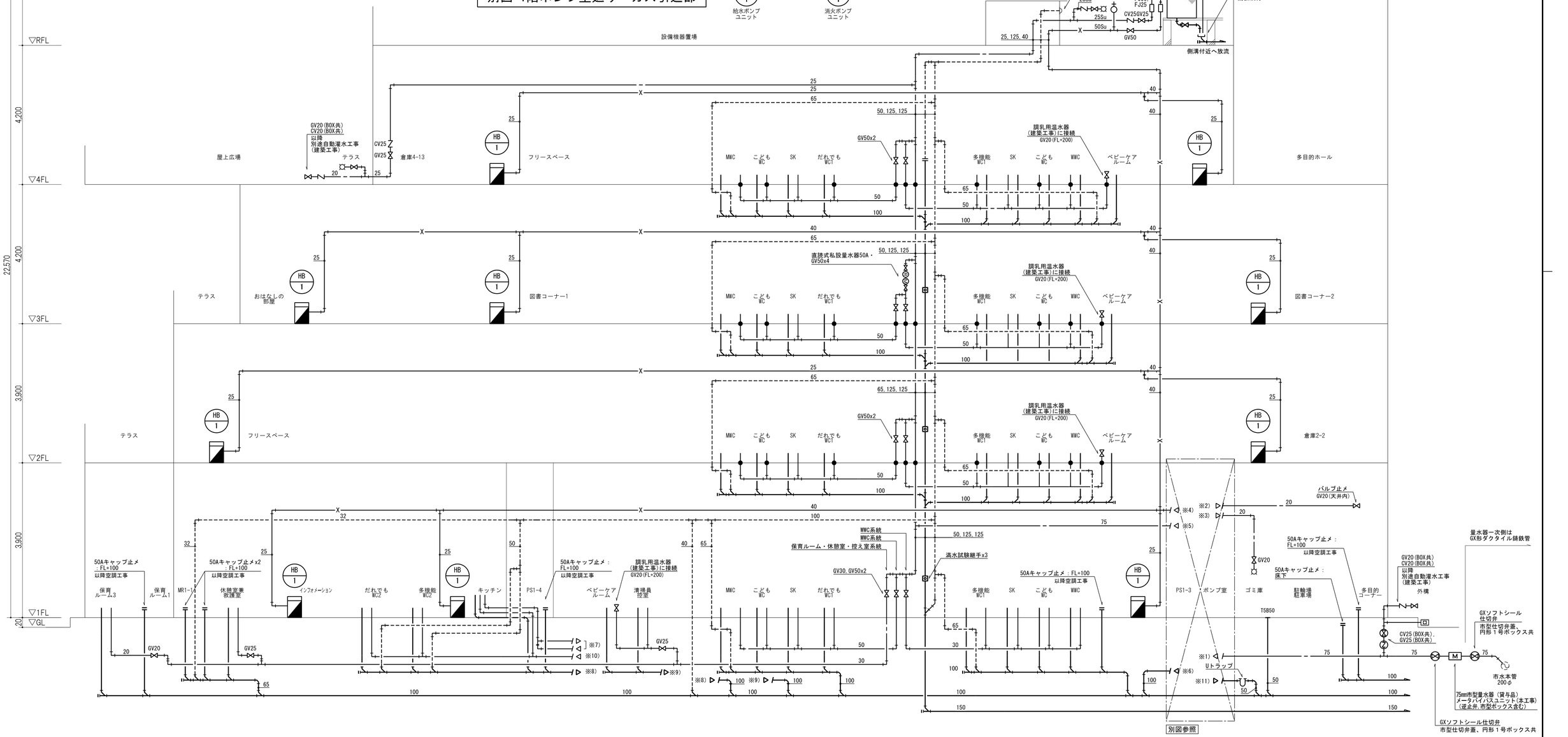
記号	名称
———	給水管（上水）
——— I ———	給湯管（往）
——— II ———	給湯管（還）
——— G ———	都市ガス（低圧）
- - - - - - - -	通気管
———	排水管（一般排水）
——— X ———	屋内消火栓配管
●———	防火区画貫通ユニット（大臣認定工法）
◪	広範囲型2号消火栓(25A)

50A以下の排水管、通気管の区画貫通部の措置





別図 1階ポンプ室廻り～ガス引込部



ー特記・凡例ー

1．屋上に設置するVCは床仕上面より0.2m以上の高さに設置すること。

2．本工事の給水引き込みに係わる負担金について

　サンライフ明石の解体工事に伴い、給水引き込み40φの権利を引き継ぐため、

　本工事の新設給水引き込み75φとの差額を見込むこと。

明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto 建設工事
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	C　給排水衛生設備工事　最終版　2025. 02. 28
〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築士　国土交通大臣登録　第　2339号 小林　陽一	03　系統図(衛生)　－(A1)　－(A3)　見積版　2024. 12. 16
	安井建築設計事務所　最終契約版

（2023年版）

20230220

屋外配管架台要領図　NO SCALE

Uボルト

L-60×60×5t
(溶融亜鉛めっき)

H

W

配管架台図

※□═══□ ⟺ は配管架台（本工事）を示す。

架台種類	W (mm)	H (mm)	数量	備考
①	200	200	10	

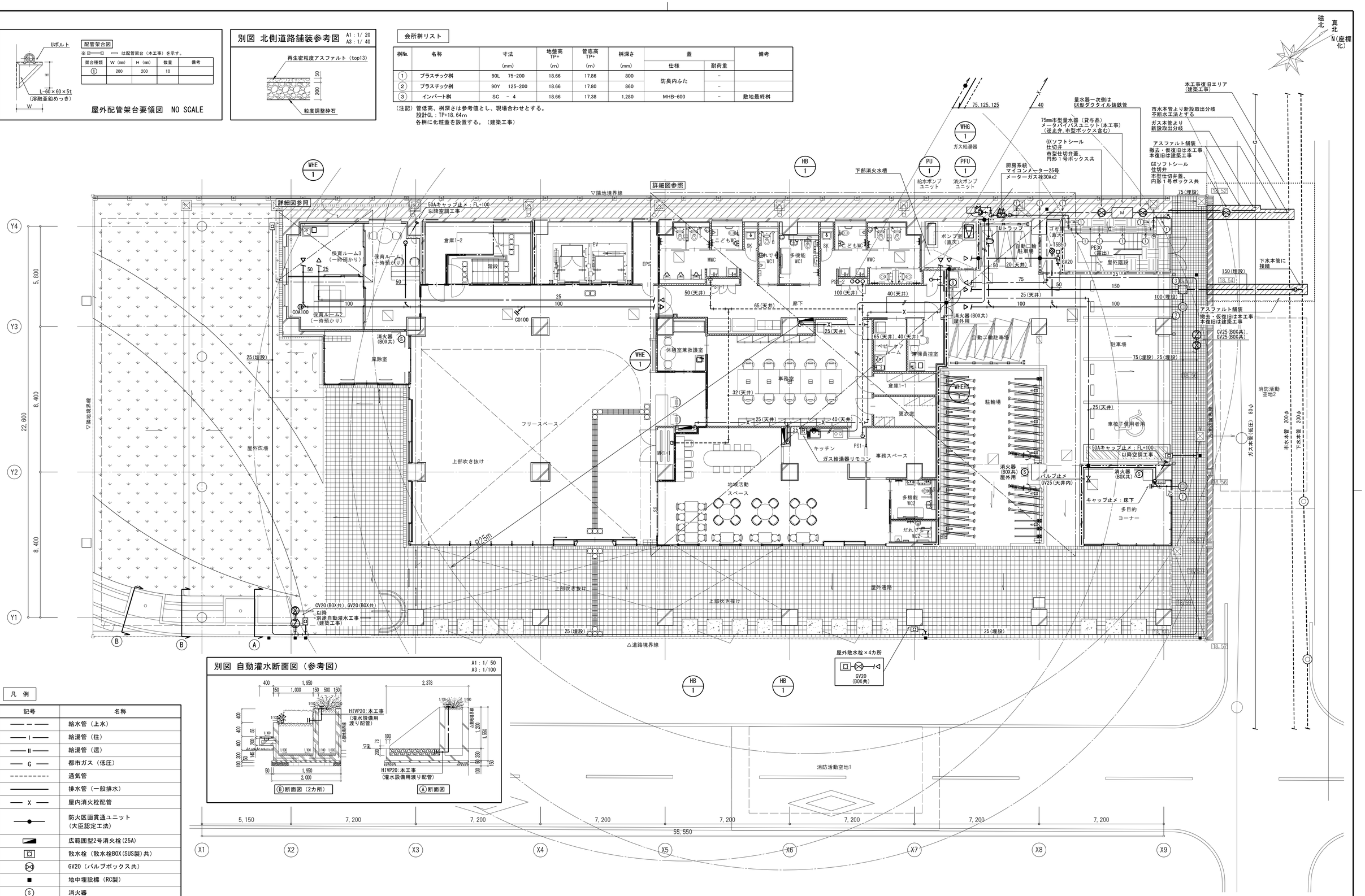
別図 北側道路舗装参考図

A1：1/ 20
A3：1/ 40

会所桝リスト

桝No.	名称	寸法 (mm)	地盤高 TP+ (m)	管底高 TP+ (m)	桝深さ (mm)	蓋 仕様	蓋 耐荷重	備考
①	プラスチック桝	90L　75-200	18.66	17.86	800	防臭内ふた	－	
②	プラスチック桝	90Y　125-200	18.66	17.80	860		－	
③	インバート桝	SC　－ 4	18.66	17.38	1,280	MHB-600	－	敷地最終桝

（注記）管低高、桝深さは参考値とし、現場合わせとする。
設計GL：TP+18.64m
各桝に化粧蓋を設置する。（建築工事）



別図 自動灌水断面図（参考図）

A1：1/ 50
A3：1/100

凡　例

記号	名称
——－——	給水管（上水）
——I——	給湯管（往）
——II——	給湯管（還）
——G——	都市ガス（低圧）
----------	通気管
————	排水管（一般排水）
——X——	屋内消火栓配管
—●—	防火区画貫通ユニット（大臣認定工法）
◢	広範囲型2号消火栓(25A)
□	散水栓（散水栓BOX(SUS製)共）
⊗	GV20（バルブボックス共）
■	地中埋設標（RC製）
Ⓢ	消火器

－特記・凡例－

1．特記無き建物内の配管は、床下ピット配管を示す。

2．給水引込管等の建物導入部についてはスリークッションにて変位吸収を行うこと。

（さや管による対応も可とする）

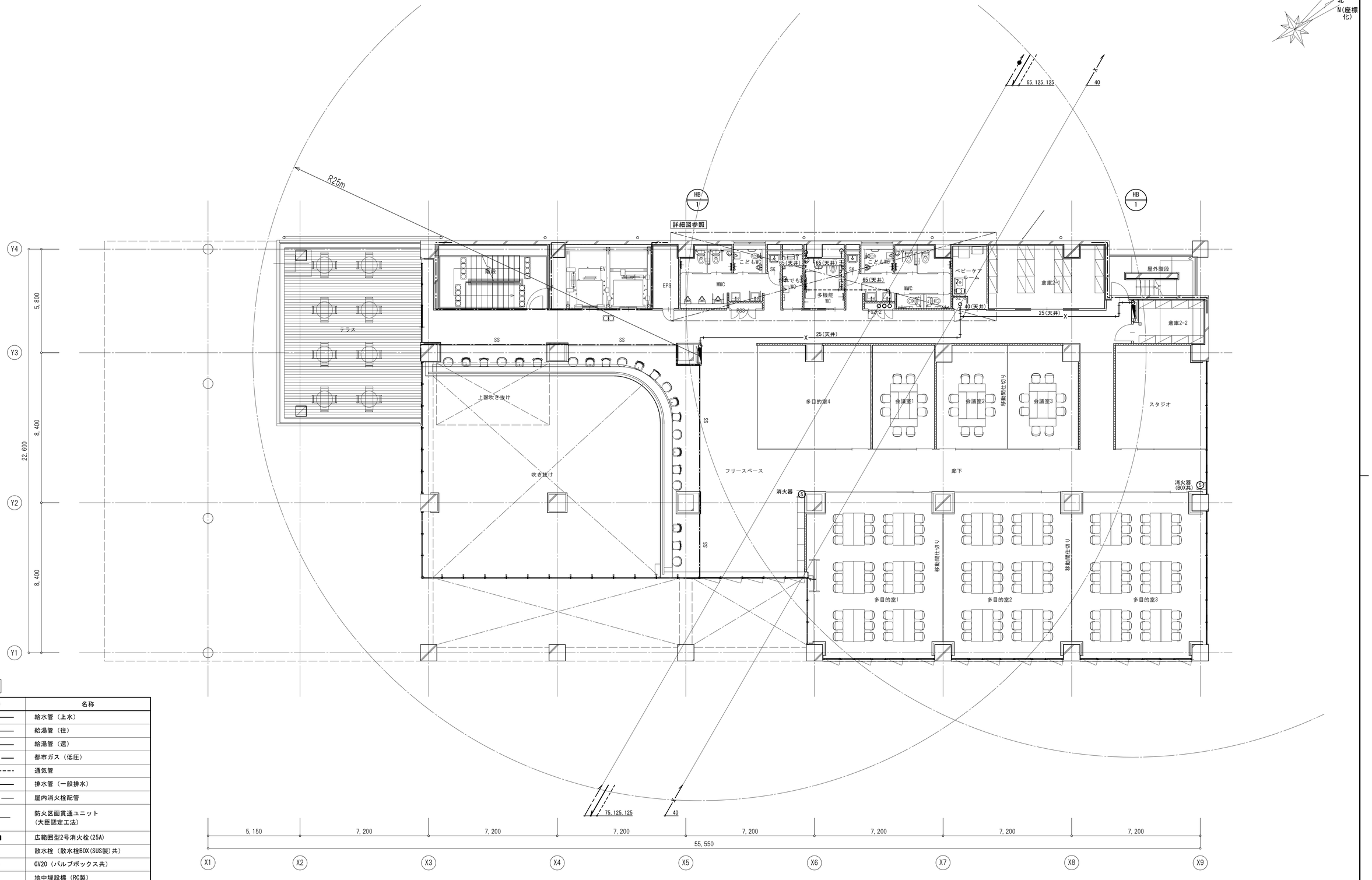
—·—·— 防火区画

—·—·— 異種用途区画

明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto　建設工事
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号　森　雅章	C　給排水衛生設備工事　最終版　2025. 02. 28
〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号　設備設計一級建築士　国土交通大臣登録　第　2339号　小林　陽一	04　配置図兼１階平面図　1/100 (A1)　1/200 (A3)　見積版　2024. 12. 16
	安井建築設計事務所　最終契約版

（2023年版）

20230220



凡　例

記号	名称
———	給水管（上水）
——— I ———	給湯管（往）
——— II ———	給湯管（還）
——— G ———	都市ガス（低圧）
- - - - - - - - -	通気管
———	排水管（一般排水）
——— X ———	屋内消火栓配管
———●———	防火区画貫通ユニット（大臣認定工法）
	広範囲型2号消火栓(25A)
	散水栓（散水栓BOX(SUS製)共）
	GV20（バルブボックス共）
	地中埋設標（RC製）
Ⓢ	消火器

ー特記・凡例ー

1．特記無き建物内の配管は、床下配管を示す。

——●——	防火区画
- - -●- - -	異種用途区画

明石市政策局　プロジェクト推進室

〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号
森　雅章

〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号
設備設計一級建築士　国土交通大臣登録　第　2339号
小林　陽一

西明石地域交流センター icotto 建設工事

C　給排水衛生設備工事　最終版　2025. 02. 28

05　2階平面図　1/100(A1) 1/200(A3)　見積版　2024. 12. 16

安井建築設計事務所　最終契約版

（2023年版）

20230220

磁北
真北
N(座標化)

R25m

50, 125, 125
40

詳細図参照

HB 1

Y4
Y3
Y2
Y1

5, 800
8, 400
22, 600
8, 400

おはなしの部屋
階段
EV
EPS
MWC
こども WC
多機能 WC
WWC
ピーケアルーム
電気盤
事務室
屋外階段
閲覧室
図書コーナー前室
横間オープン
吹き抜け
テラス
図書コーナー1
図書コーナー2
可動式防煙垂れ壁H500
消火器 (BOX共)

25(天井)
40(天井)
65(天井)
SK
SS
PS3-1
PS3-2

5, 150
7, 200
55, 550

X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9

凡 例

記号	名称
——ー——	給水管（上水）
——I——	給湯管（往）
——II——	給湯管（還）
——G——	都市ガス（低圧）
----------	通気管
————————	排水管（一般排水）
——X——	屋内消火栓配管
——●——	防火区画貫通ユニット（大臣認定工法）
◢	広範囲型2号消火栓(25A)
⊡	散水栓（散水栓BOX(SUS製)共）
⊗	GV20（バルブボックス共）
■	地中埋設標（RC製）
Ⓢ	消火器

ー特記・凡例ー

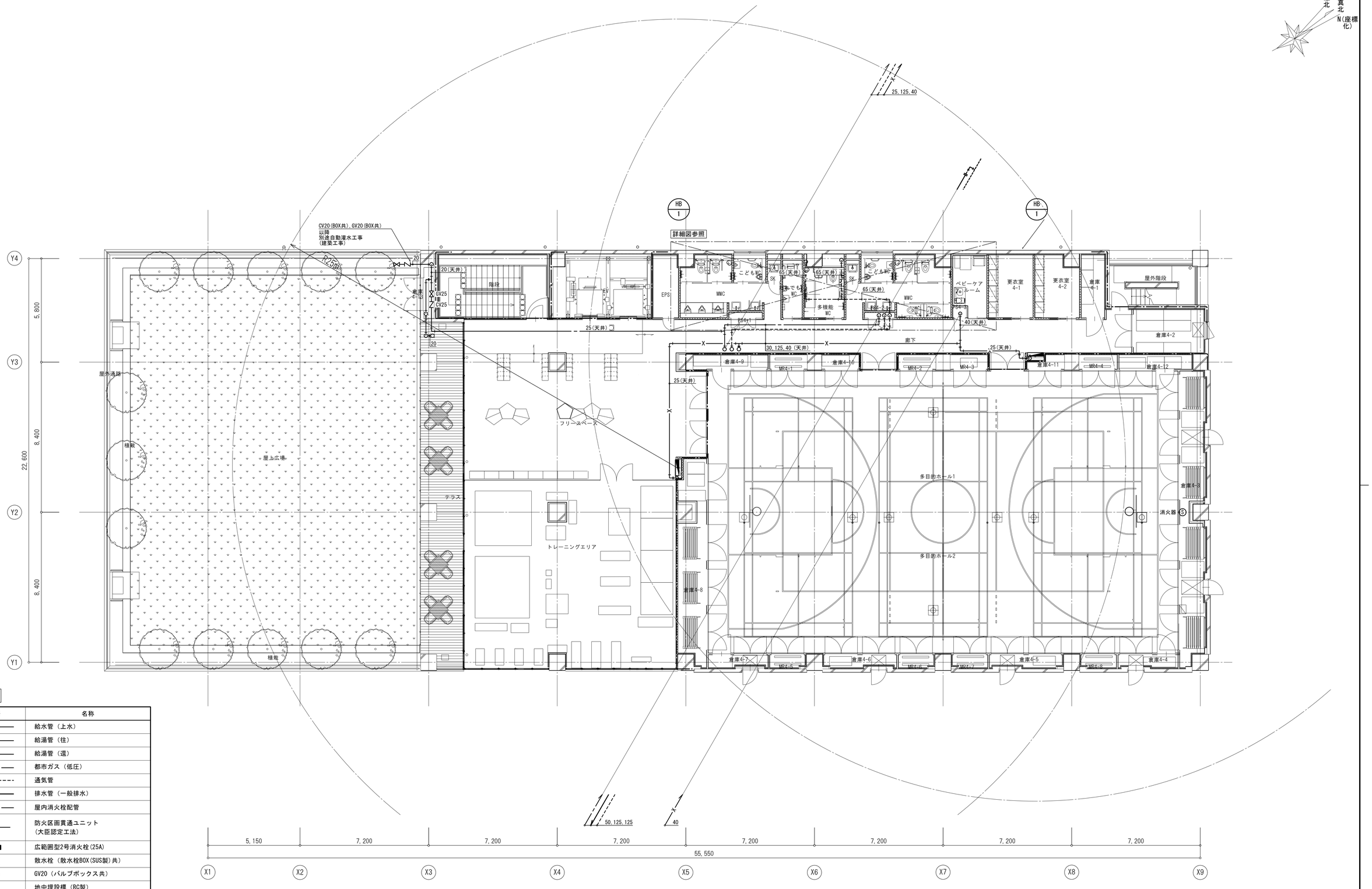
1．特記無き建物内の配管は、床下配管を示す。

——·——·—— 防火区画
- - -——- - - 異種用途区画

明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	C 給排水衛生設備工事 最終版 2025. 02. 28
〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築士 国土交通大臣登録 第 2339号 小林 陽一	06 3階平面図 1/100(A1) 1/200(A3) 見積版 2024. 12. 16
	安井建築設計事務所 最終契約版

（2023年版）

20230220



凡　例

記号	名称
———	給水管（上水）
——— I ———	給湯管（往）
——— II ———	給湯管（還）
——— G ———	都市ガス（低圧）
- - - - - - - - -	通気管
———	排水管（一般排水）
——— X ———	屋内消火栓配管
———●———	防火区画貫通ユニット（大臣認定工法）
	広範囲型2号消火栓(25A)
	散水栓（散水栓BOX(SUS製)共）
	GV20（バルブボックス共）
■	地中埋設標（RC製）
Ⓢ	消火器

ー特記・凡例ー

1．特記無き建物内の配管は、床下配管を示す。

———·———	防火区画
- - -———- - - -	異種用途区画

明石市政策局　プロジェクト推進室

〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号
森　雅章

〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号
設備設計一級建築士　国土交通大臣登録　第　2339号
小林　陽一

西明石地域交流センター　icotto 建設工事

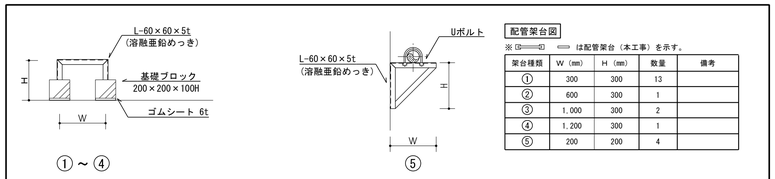
C　給排水衛生設備工事　最終版　2025.02.28

07　4階平面図　1/100(A1) 1/200(A3)　見積版　2024.12.16

安井建築設計事務所　最終契約版

（2023年版）

20230220



配管架台図

※□═══○ ═══ は配管架台（本工事）を示す。

架台種類	W（mm）	H（mm）	数量	備考
①	300	300	13	
②	600	300	1	
③	1,000	300	2	
④	1,200	300	1	
⑤	200	200	4	

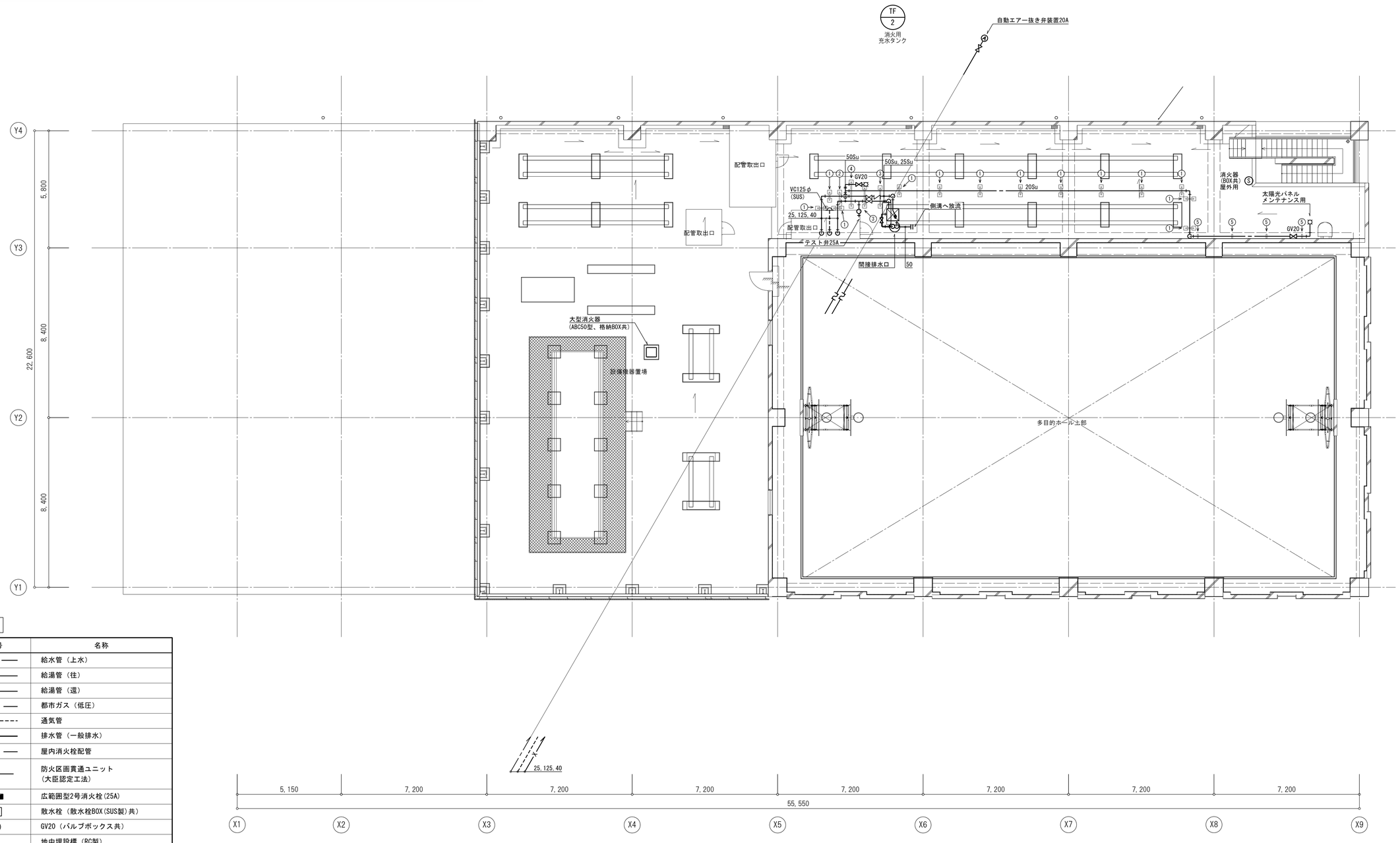
屋外配管架台要領図　NO SCALE

TF-2

消火用充水タンク			
給水	GV25		x1
	FJ25		x1
	BT25		x1
消火	GV50		x1
	FJ50		x1
排水	GV32	（水抜き）	x1
	間接排水口	150x50（ドレン）	x1

※ドレン管、オーバーフロー管の末端に防虫網設置のこと。

磁北　真北　N（座標北）



凡　例

記号	名称
———	給水管（上水）
——— I ———	給湯管（往）
——— II ———	給湯管（還）
——— G ———	都市ガス（低圧）
- - - - - - - - -	通気管
———————	排水管（一般排水）
——— X ———	屋内消火栓配管
———●———	防火区画貫通ユニット（大臣認定工法）
	広範囲型2号消火栓(25A)
	散水栓（散水栓BOX(SUS製)共）
	GV20（バルブボックス共）
■	地中埋設標（RC製）
Ⓢ	消火器

ー特記・凡例ー

——·——·——	防火区画
- - -——- - -	異種用途区画

明石市政策局　プロジェクト推進室

〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号
森　雅章

〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号
設備設計一級建築士　国土交通大臣登録　第　2339号
小林　陽一

西明石地域交流センター　icotto　建設工事

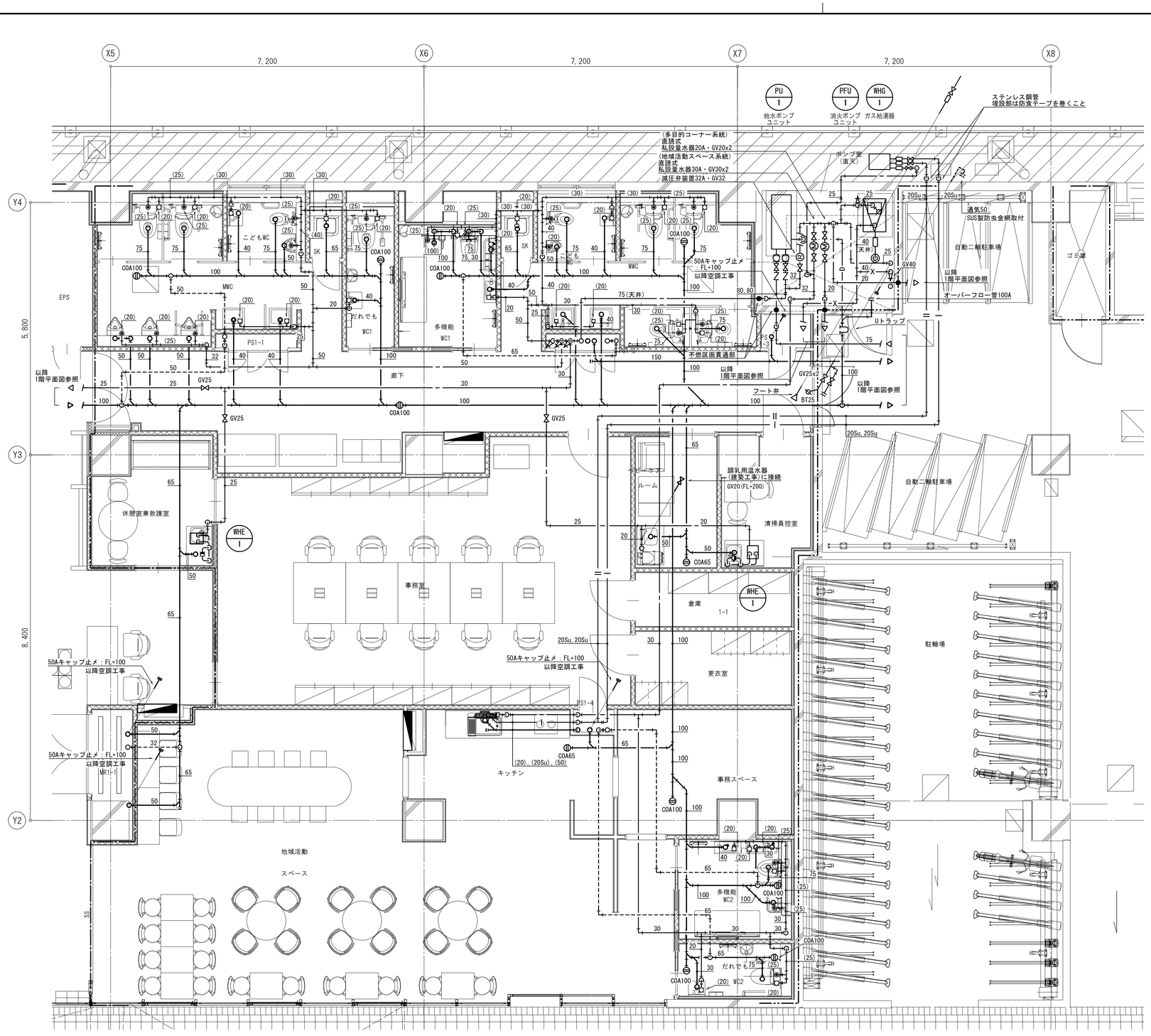
C　給排水衛生設備工事　最終版　2025. 02. 28

08　屋上平面図　1/100(A1) 1/200(A3)　見積版　2024. 12. 16

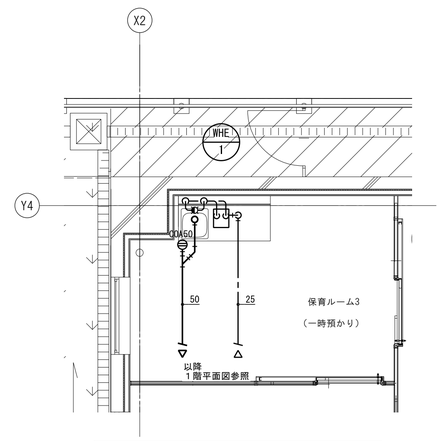
安井建築設計事務所　最終契約版

（2023年版）

20230220



１階 配管詳細図



１階 保育ルーム配管詳細図

磁北 真北 N(座標化)

PU-1

給水ポンプユニット			
給水	GV75	（吸込・吐出側）	x2
	CV75	（吸込・吐出側）	x2
	防振継手75	（吸込・吐出側）	x2
排水	排水目皿50		x1
	間接排水口 100x50	（ドレン）	x1

PFU-1

消火ポンプユニット		
給水	GV25	x1
	防振継手25	x1
消火	GV40	x1
	防振継手40	x2
	サクションカバー	x1
	フート弁40	x1

WHG-1

ガス給湯器			
給水	GV25		x1
	FJ25		x1
給湯	GV20	（往・還）	x2
	FJ20	（往・還）	x2
ガス	GC30		x1
	ガス用フレキ30		x1
排水	間接排水口 100x50	（ドレン）	x1

系統バルブリスト

上水	MWC	GV50
	WWC	GV50
	保育ルーム・事務諸室系統	GV50
	地域活動スペース系統	GV30
	多目的コーナー系統	GV20

凡 例

記号	名称
—— — ——	給水管（上水）
—— I ——	給湯管（往）
—— II ——	給湯管（還）
—— G ——	都市ガス（低圧）
----------	通気管
——————	排水管（一般排水）
—— X ——	屋内消火栓配管
—●——	防火区画貫通ユニット（大臣認定工法）
◢	広範囲型2号消火栓(25A)

ー特記・凡例ー

1．特記無き建物内の配管は、床下ピット配管を示す。

2．配管サイズの（　　）表記は、床上配管を示す。

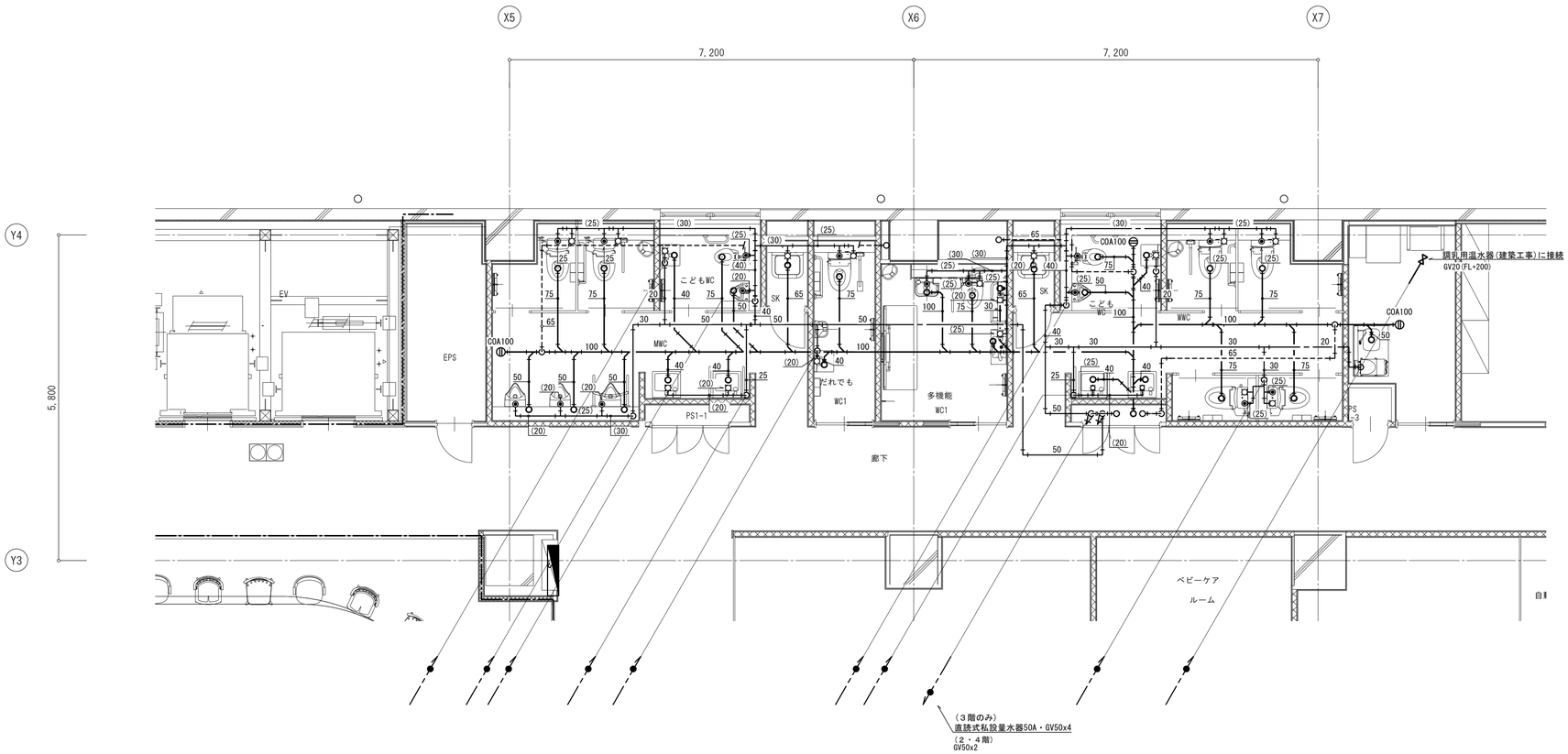
—·—·— 防火区画

—·—·— 異種用途区画

明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	C 給排水衛生設備工事 最終版 2025. 02. 28
〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築士 国土交通大臣登録 第 2339号 小林 陽一	09 平面図詳細図（１） 1/ 50 (A1) 1/100 (A3) 見積版 2024. 12. 16
	安井建築設計事務所 最終契約版

（2023年版）

20230220



2～4階 WC廻り配管詳細図

凡 例

記号	名称
——— ー ———	給水管（上水）
——— I ———	給湯管（往）
——— II ———	給湯管（還）
——— G ———	都市ガス（低圧）
- - - - - - - - -	通気管
———————	排水管（一般排水）
——— X ———	屋内消火栓配管
——●———	防火区画貫通ユニット（大臣認定工法）
◢	広範囲型2号消火栓(25A)

ー特記・凡例ー

1．特記無き建物内の配管は、床下配管を示す。

2．配管サイズの（　　）表記は、床上配管を示す。

——·——·——	防火区画
- - -——- - -	異種用途区画

明石市政策局 プロジェクト推進室

〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号
森 雅章

〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号
設備設計一級建築士 国土交通大臣登録 第 2339号
小林 陽一

西明石地域交流センター icotto 建設工事

C
10

給排水衛生設備工事
平面図詳細図（2）
1/ 50(A1)
1/100(A3)

安井建築設計事務所

最終版	2025. 02. 28	
見積版	2024. 12. 16	
最終契約版		

空冷熱源ヒートポンプパッケージ／空冷式パッケージ形空気調和機　（○印のあるものを適用する）

※）防振材　＜S：スプリング防振架台　SH：スプリングハンガー　RP：ゴムパッド　R：防振ゴム＞

機器番号 ACP・ACPE・ACR 室外機	機器番号 ACP・ACPE・ACR 室内機	系統・用途	室内機型式 種別 S：セパレート W：ツイン T：トリプル M：マルチ WS：ウォールスルー R：ルームエアコン SP：スポット(可動) MR：マルチルームエアコン H：ハウジングエアコン	室内機型式 FC：床置露出 FR：床置隠ぺい CC：天井カセット CR：天井隠ぺい C：天井吊露出 W：壁掛 MF：4方向吹出 WF：2方向吹出 SF：1方向吹出	室外機仕様 標準 高外気温(50℃) 寒冷地 高COP(50℃)	台数	定格能力(JIS) 冷房(上段) 暖房(下段) 標準/低温 kW	耐塩仕様	圧縮機 電動機 φ	圧縮機 電動機 V	圧縮機 電動機 kW	送風機 風量 m3/h	送風機 機外静圧 Pa	送風機 電動機 φ	送風機 電動機 V	送風機 電動機 kW	定格消費電力(JIS) 冷房(上段) 暖房(下段) 標準/低温 kW	冷媒種類	フィルター ロングライフ	フィルター 中性能 比色法65%以上	付属品 高調波対策品	付属品 ドレンアップ	付属品 ワイヤードリモコンスイッチ	付属品 センシング機能(在室検知)	防振材(上段) 絶縁効率(下段)	室外機鉄骨架台(溶融亜鉛メッキ)	耐震 G	設置場所	非常電源 ●防災 ○保安	監視・制御 中央 監視	監視・制御 中央 制御	監視・制御 集中管理コントローラー	冷媒漏えい対策	備考
EHP-1-1		保育ルーム系統	M (冷暖切替)		高外気温(50℃)	1	28.0 31.5	耐塩	3	200	6.85			3	200	0.54	7.69 7.7	R32			○				S		2.0	屋上機器置場	○			A		
	R1	1階 保育ルーム1 （一時預かり）		CC (MF)		1	4.5 5.0					780		1	200	0.053	0.037 0.033		○			○	○	○	R			1階 保育ルーム1 （一時預かり）	○			A	(b)	
	R2	1階 保育ルーム2 （一時預かり）		CC (SF)		1	3.6 4.0					438		1	200	0.078	0.056 0.056		○			○	○		R			1階 保育ルーム2 （一時預かり）	○			A	(b)	
	R3	1階 保育ルーム3 （一時預かり）		CC (SF)		1	3.6 4.0					438		1	200	0.078	0.056 0.056		○			○	○		R			1階 保育ルーム3 （一時預かり）	○			A	(b)	
	R4	1階 事務室		CC (MF)		2	2.8 3.2					690		1	200	0.053	0.028 0.024		○			○	○	○	R			1階 事務室	○			A	(a)	
	R5	1階 休憩室兼救護室		CC (SF)		1	1.6 1.8					342		1	200	0.078	0.036 0.036		○			○	○		R			1階 休憩室兼救護室	○			A	(e)	
	R6	1階 ベビーケアルーム		CR (コンパクト)		1	2.2 2.5					360		1	200	0.078	0.040 0.040		○			○	○		R			1階 ベビーケアルーム	○			A	(e)	
	R7	1階 清掃員控室		W		1	1.6 1.8					390		1	200	0.03	0.026 0.032		○			○	○					1階 清掃員控室	○			A	(e)	ドレンポンプキット 1φ-100V 0.032kW
	R8	1階 廊下		CC (WF)		1	2.2 2.5					540		1	200	0.046	0.031 0.028		○			○	○		R			1階 廊下	○			A	(a)	
EHP-1-2		フリースペース系統	M (冷暖切替)		高外気温(50℃)	1	28.0 31.5	耐塩	3	200	6.85			3	200	0.54	7.69 7.7	R32			○				S		2.0	屋上機器置場				A		
	R1	1階 フリースペース（床置）		FR		1	14.0 16.0					2,520	79	3	200	0.75	0.46 0.46		○				○		S			1階 フリースペース（床置）				A	(a)	
	R2	1階 フリースペース（天埋）		CR		1	11.2 12.5					1,620	100	1	200	0.35	0.212 0.2		○			○	○		R			1階 フリースペース（天埋）				A	(a)	
EHP-1-3		地域活動スペース系統	M (冷暖切替)		高外気温(50℃)	1	22.4 25.0	耐塩	3	200	4.96			3	200	0.54	5.29 5.73	R32			○				S		2.0	屋上機器置場	○			A		
	R1	1階 地域活動スペース		CC (MF)		3	5.6 6.3					810		1	200	0.053	0.043 0.038		○			○	○	○	R			1階 地域活動スペース	○			A	(a)	
	R2	1階 キッチン		CC (SF)		1	1.6 1.8					342		1	200	0.078	0.036 0.036		○			○	○		R			1階 キッチン	○			A	(a)	
	R3	1階 事務スペース		CC (WF)		1	2.2 2.5					540		1	200	0.046	0.031 0.028		○			○	○	○	R			1階 事務スペース	○			A	(a)	
EHP-1-4		1階外気処理系統	M (冷暖切替)		高外気温(50℃)	1	28.0 31.5	耐塩	3	200	6.85			3	200	0.54	7.69 7.7	R32			○				S		2.0	屋上機器置場				A		
	R1	1階 1階外気処理系統		CR (外気処理エアコン)		1	28.0 27.4					2,100	210	1	200	0.38	0.93 0.93			○		○	○		R			1階 1階外気処理系統				A	(a)	24時間換気
EHP-2-1		多目的室系統	M (冷暖切替)		高外気温(50℃)	1	56.0 63.0	耐塩	3	200	13.95			3	200	1.08	14.2 15.7	R32			○				S		2.0	屋上機器置場				A		
	R1	2階 多目的室1		CC (MF)		3	5.6 6.3					810		1	200	0.053	0.043 0.038		○			○	○	○	R			2階 多目的室1				A	(b)	
	R2	2階 多目的室2		CC (MF)		3	5.6 6.3					810		1	200	0.053	0.043 0.038		○			○	○	○	R			2階 多目的室2				A	(b)	
	R3	2階 多目的室3		CC (MF)		3	7.1 8.0					1,050		1	200	0.053	0.072 0.068		○			○	○	○	R			2階 多目的室3				A	(b)	
EHP-2-2		会議室系統	M (冷暖切替)		高外気温(50℃)	1	22.4 25.0	耐塩	3	200	4.96			3	200	0.54	5.29 5.73	R32			○				S		2.0	屋上機器置場	○			A		
	R1	2階 会議室1		CC (MF)		1	4.5 5.0					780		1	200	0.053	0.037 0.033		○			○	○	○	R			2階 会議室1	○			A	(b)	
	R2	2階 会議室2		CC (MF)		1	4.5 5.0					780		1	200	0.053	0.037 0.033		○			○	○	○	R			2階 会議室2	○			A	(b)	
	R3	2階 会議室3		CC (MF)		1	4.5 5.0					780		1	200	0.053	0.037 0.033		○			○	○	○	R			2階 会議室3	○			A	(b)	
EHP-2-3		フリースペース系統	M (冷暖切替)		高外気温(50℃)	1	28.0 31.5	耐塩	3	200	6.85			3	200	0.54	7.69 7.7	R32			○				S		2.0	屋上機器置場				A		
	R1	2階 フリースペース・廊下系統		CC (MF)		4	5.6 6.3					810		1	200	0.053	0.043 0.038		○			○	○	○	R			2階 フリースペース・廊下系統				A	(a)	
	R2	2階 ベビーケアルーム		CR (コンパクト)		1	2.2 2.5					360		1	200	0.078	0.040 0.040		○			○	○		R			2階 ベビーケアルーム				A	(e)	
EHP-2-4		2階外気処理系統	M (冷暖切替)		高外気温(50℃)	1	22.4 25.0	耐塩	3	200	4.96			3	200	0.54	5.29 5.73	R32			○				S		2.0	屋上機器置場				A		
	R1	2階 2階外気処理系統		CR (外気処理エアコン)		1	22.4 13.9					1,550	150	1	200	0.38	0.762 0.762		○			○	○		R			2階 2階外気処理系統				A	(a)	24時間換気
EHP-3-1		図書コーナー1系統	M (冷暖切替)		高外気温(50℃)	1	61.5 69.0	耐塩	3	200	15.61			3	200	1.08	16.5 17.4	R32			○				S		2.0	屋上機器置場				B		
	R1	3階 図書コーナー1		CC (MF)		8	7.1 8.0					1,050		1	200	0.053	0.072 0.068		○			○	○	○	SH			3階 図書コーナーA				B	(a)	

※）冷媒漏えい対策　＜(a)：対応不要　(b)：24時間換気による必要換気量の確保　(c)：検知器+強制換気設備　(d)：検知器+遮断弁　(e)：その他(開口(ガラリ等)設置による必要容積量の確保)＞

ー特記・凡例ー

明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	D 空気調和設備工事 最終版 2025.02.28
〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築士 国土交通大臣登録 第 2339号 小林 陽一	01 機器表（1） －(A1) －(A3) 見積版 2024.12.16
	安井建築設計事務所 最終契約版

（2023年版）

20230220

空冷熱源ヒートポンプパッケージ／空冷式パッケージ形空気調和機　（○印のあるものを適用する）

※）防振材　＜S：スプリング防振架台　SH：スプリングハンガー　RP：ゴムパッド　R：防振ゴム＞

機器番号 ACP・ACPE・ACR 室外機	機器番号 ACP・ACPE・ACR 室内機	系統・用途	室内機型式 種別 S：セパレート W：ツイン T：トリプル M：マルチ WS：ウォールスルー R：ルームエアコン SP：スポット(可動) MR：マルチルームエアコン H：ハウジングエアコン	室内機型式 FR：床置露出 FR：床置隠ぺい CC：天井カセット CR：天井隠ぺい C：天井吊露出 W：壁掛 MF：4方向吹出 WF：2方向吹出 SF：1方向吹出	室外機仕様 標準 高外気温(50℃) 寒冷地 高COP(50℃)	台数	定格能力(JIS) 冷房（上段） 暖房（下段） 標準/低温 kW	耐塩仕様	圧縮機 電動機 φ	圧縮機 電動機 V	圧縮機 電動機 kW	送風機 風量 m3/h	送風機 機外静圧 Pa	送風機 電動機 φ	送風機 電動機 V	送風機 電動機 kW	定格消費電力(JIS) 冷房（上段） 暖房（下段） 標準/低温 kW	冷媒種類	フィルター ロングライフ	フィルター 中性能 比色法65%以上	付属品 高調波アクティブフィルター	付属品 ドレンアップ	付属品 ワイヤードリモコンスイッチ	付属品 センシング機能(在室検知)	防振材(上段) 絶縁効率(下段)	室外機鉄骨架台(溶融亜鉛メッキ)	耐震 G	設置場所	非常電源 ●防災 ○保安	監視・制御 中央 監視	監視・制御 中央 制御	監視・制御 集中管理コントローラー	冷媒漏えい対策	備考
EHP-3-2		図書コーナー2系統	M (冷暖切替)		高外気温 (50℃)	1	45.0 50.0	耐塩	3	200	10.4			3	200	1.34	12.2 11.9	R32			○				S		2.0	屋上機器置場				B		
	R1	3階 図書コーナー2		CC (MF)		6	7.1 8.0					1,050		1	200	0.053	0.072 0.068		○			○	○	○	SH			3階 図書コーナーB				B	(a)	
EHP-3-3		閲覧室・事務エリア系統	M (冷暖切替)		高外気温 (50℃)	1	28.0 31.5	耐塩	3	200	6.85			3	200	0.54	7.69 7.7	R32			○				S		2.0	屋上機器置場				B		
	R1	3階 図書コーナー前室		CC (WF)		1	3.6 4.0					570		1	200	0.046	0.039 0.035		○			○	○	○	R			3階 図書コーナー前室				B	(a)	
	R2	3階 おはなしの部屋		CC (WF)		2	4.5 5.0					630		1	200	0.046	0.041 0.037		○			○	○		R			3階 おはなしの部屋				B	(b)	
	R3	3階 閲覧室		CC (WF)		1	2.2 2.5					540		1	200	0.046	0.031 0.028		○			○	○	○	R			3階 閲覧室				B	(b)	
	R4	3階 事務室		CC (MF)		1	5.6 6.3					810		1	200	0.053	0.043 0.038		○			○	○	○	R			3階 事務室				B	(b)	
	R5	3階 ベビーケアルーム		CR (コンパクト)		1	2.2 2.5					360		1	200	0.078	0.040 0.040		○			○	○		R			3階 ベビーケアルーム				B	(e)	
EHP-4-1		トレーニングエリア・更衣室系統	M (冷暖切替)		高外気温 (50℃)	1	50.0 56.0	耐塩	3	200	11.63			3	200	1.08	12.8 13.2	R32			○				S		2.0	屋上機器置場				A		
	R1	4階 トレーニングエリア		CC (MF)		4	7.1 8.0					1,050		1	200	0.053	0.072 0.068		○			○	○	○	R			4階 トレーニングエリア				A	(b)	
	R2	4階 フリースペース		CC (MF)		2	5.6 6.3					810		1	200	0.053	0.043 0.038		○			○	○	○	R			4階 フリースペース				A	(a)	
	R3	4階 ベビーケアルーム		CR (コンパクト)		1	2.2 2.5					360		1	200	0.078	0.040 0.040		○			○	○		R			4階 ベビーケアルーム				A	(e)	
	R4	4階 更衣室4-1		CC (SF)		1	1.6 1.8					342		1	200	0.078	0.036 0.036		○			○	○		R			4階 更衣室4-1				A	(e)	
	R5	4階 更衣室4-2		CC (SF)		1	1.6 1.8					342		1	200	0.078	0.036 0.036		○			○	○		R			4階 更衣室4-2				A	(e)	
	R6	4階 廊下		CC (WF)		1	3.6 4.0					570		1	200	0.046	0.039 0.035		○			○	○		R			4階 廊下				A	(a)	
EHP-4-2		多目的ホール1系統	M (冷暖切替)		高外気温 (50℃)	1	61.5 69.0	耐塩	3	200	15.61			3	200	1.08	16.5 17.4	R32			○				S		2.0	屋上機器置場				A		
	R1	4階 多目的ホール1		FR		4	14.0 16.0					2,520	79	3	200	0.75	0.46 0.46		○				○		S			4階 多目的ホールA				A	(a)	
EHP-4-3		多目的ホール2系統	M (冷暖切替)		高外気温 (50℃)	1	61.5 69.0	耐塩	3	200	15.61			3	200	1.08	16.5 17.4	R32			○				S		2.0	屋上機器置場				A		
	R1	4階 多目的ホール2		FR		4	14.0 16.0					2,520	79	3	200	0.75	0.46 0.46		○				○		S			4階 多目的ホールB				A	(a)	
EHP-4-4		4階外気処理系統	M (冷暖切替)		高外気温 (50℃)	1	28.0 31.5	耐塩	3	200	6.85			3	200	0.54	7.69 7.7	R32			○				S		2.0	屋上機器置場				A		
	R1	4階 4階外気処理系統		CR (外気処理エアコン)		1	28.0 27.4					2,050	210	1	200	0.38	0.93 0.93		○				○	○	R			4階 4階外気処理系統				A	(a)	24時間換気
ACP-1-1	R1	1階 多目的コーナー	S	CC (MF)		1セット	7.1 8.0		1	200	1.3			1	200	0.08	1.76 1.78	R32	○				○	○	○	RP		1.0	1階機器置場				A		RC置架台共
												1,260		（室外機送り）											R			1階 多目的コーナー				A	(a)	
ACP-2-1	R1	2階 多目的室4	W	CC (MF)		1セット	10.0 11.2		3	200	1.8			3	200	0.22	2.38 2.53	R32	○				○	○	○	S	○	2.0	屋上機器置場	○			A		
												810		（室外機送り）											R			2階 多目的室4	○			A	(a)	
ACP-2-2	R1	2階 スタジオ	S	CC (MF)		1セット	10.0 11.2		3	200	1.8			3	200	0.22	2.49 2.39	R32	○				○	○	○	S	○	2.0	屋上機器置場				A		
												1,590		（室外機送り）											R			2階 スタジオ				A	(a)	

集中管理コントローラー

主要機能：　運転／停止、運転モード切替、手元操作禁止／許可、室温表示、火災一括ＯＦＦ、液晶タッチパネル方式

備考　：　集中管理コントローラーは室内機１台毎にコントロール可能な台数を設置のこと。また、上記の制御を行うにあたって、必要付属品があれば見込む事。

※）右記の室は、防災連動停止対象外とする　（　　）

設置場所：　A系統/１階　事務室　（電気総合盤に組込）

B系統/３階　事務室　（電気総合盤に組込）

共通特記事項

１．室内、室外機間の制御配管、配線スイッチコントローラーの取付、及び配管、配線工事は本工事とする。

２．フィルターの予備は、１００％とする。

３．セパレート、ツイン、トリプル形のパッケージの電源接続は室外機のみ（電気工事）とし、内外機間の渡り配線は、冷媒共巻（本工事）とする。

４．ルームエアコンの電源は室内側コンセント接続とする。

５．冷媒管サイズは、各メーカー標準仕様のこと。

６．パッケージエアコンの定格能力および定格消費電力は、ＪＩＳ Ｂ ８６１６に規定された定格条件による。

７．最大消費電力とは設計条件下における最大の値とする。

８．絶縁効率は、特記が無ければ90%以上とする。

９．高調波対策品：換算係数 Ki=1.8 を超えない機種

１０．室外機は最上位モデル（高COP仕様を除く）とする。

※）冷媒漏えい対策　＜(a)：対応不要　(b)：24時間換気による必要換気量の確保　(c)：検知器+強制換気設備　(d)：検知器+遮断弁　(e)：その他(開口(ガラリ等)設置による必要容積量の確保)＞

ー特記・凡例ー

明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	D 空気調和設備工事 最終版 2025.02.28
〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築士 国土交通大臣登録 第 2339号 小林 陽一	02 機器表（２） －(A1) －(A3) 見積版 2024.12.16
	安井建築設計事務所 最終契約版

（2023年版）

20230220

全熱交換器　　（○印のあるものを適用する）

※）防振材　＜Ｓ：スプリング防振架台　ＳＨ：スプリングハンガー　Ｒ：防振ゴム＞

機器番号	系統・用途	型式・種類				型式			台数	送風機 給気（上段）・排気（下段）						交換効率	フィルター		付属品		マイコンタイプ	自動換気切替機能	予熱時外気取入れ停止	防振材	設置場所	非常電源 ●防災 ○保安	連動	監視・制御				備考
										風量	機外静圧	送風機			制御盤	風量制御方式												中央		集中管理	手元リモコン	
HEU		静止型	回転型	屋内型	屋外型	天井隠ぺい	天井カセット	床置		m3/h	Pa	φ	V	kW	(M/E)	インバーター	ｽｸﾛｰﾙﾀﾞﾝﾊﾟｰ	%以上	プレ	中性能比色法65%以上	集中管理アダプター	CO2センサー						監視	制御	コントローラー		
HEU-1-1	保育ルーム1　（一時預かり）	○		○			○		1	250	100	1	100	0.156				60	○		○	○	○	○	○	R	保育ルーム1　（一時預かり）	○				A	○	24時間換気・弱運転（163㎥/h）以上
										250	100							60															
HEU-1-2	保育ルーム2　（一時預かり）	○		○			○		1	200	100	1	100	0.128				60	○		○	○	○	○	○	R	保育ルーム2　（一時預かり）	○				A	○	24時間換気・強運転（163㎥/h）以上
										200	100							60															
HEU-1-3	保育ルーム3　（一時預かり）	○		○			○		1	200	100	1	100	0.128				60	○		○	○	○	○	○	R	保育ルーム3　（一時預かり）	○				A	○	24時間換気・強運転（163㎥/h）以上
										200	100							60															
HEU-1-4	事務室	○		○			○		1	350	100	1	100	0.232				60	○		○	○	○	○	○	R	事務室	○				A	○	24時間換気
										350	100							60															
HEU-1-5	休憩室兼救護室	○		○			○		1	100	100	1	100	0.08				60	○		○	○	○	○	○	R	休憩室兼救護室					A	○	24時間換気
										100	100							60															
HEU-1-6	清掃員控室	○		○			○		1	100	100	1	100	0.08				60	○		○	○	○	○	○	R	清掃員控室					A	○	24時間換気
										100	100							60															
HEU-1-7	地域活動スペース	○		○			○		3	385	100	1	100	0.232				60	○		○	○	○	○	○	R	地域活動スペース	○				A	○	24時間換気（1台のみ）
										385	100							60															
HEU-1-8	事務スペース	○		○			○		1	100	100	1	100	0.08				60	○		○	○	○	○	○	R	事務スペース	○				A	○	24時間換気
										100	100							60															
HEU-1-9	多目的コーナー	○		○			○		1	150	100	1	100	0.128				60	○		○	○	○	○	○	R	多目的コーナー					A	○	24時間換気
										150	100							60															
HEU-2-1	多目的室1	○		○			○		3	370	100	1	100	0.232				60	○		○	○	○	○	○	R	多目的室1					A	○	24時間換気・微弱運転（163㎥/h）以上（1台のみ）
										370	100							60															
HEU-2-2	多目的室2	○		○			○		3	350	100	1	100	0.232				60	○		○	○	○	○	○	R	多目的室2					A	○	24時間換気・微弱運転（163㎥/h）以上（1台のみ）
										350	100							60															
HEU-2-3	多目的室3	○		○			○		3	370	100	1	100	0.232				60	○		○	○	○	○	○	R	多目的室3					A	○	24時間換気・微弱運転（163㎥/h）以上（1台のみ）
										370	100							60															
HEU-2-4	多目的室4	○		○			○		2	400	100	1	100	0.232				60	○		○	○	○	○	○	R	多目的室4	○				A	○	24時間換気・微弱運転（163㎥/h）以上（1台のみ）
										400	100							60															
HEU-2-5	会議室1	○		○			○		1	350	100	1	100	0.232				60	○		○	○	○	○	○	R	会議室1	○				A	○	24時間換気・微弱運転（163㎥/h）以上
										350	100							60															
HEU-2-6	会議室2	○		○			○		1	400	100	1	100	0.232				60	○		○	○	○	○	○	R	会議室2	○				A	○	24時間換気・微弱運転（163㎥/h）以上
										400	100							60															
HEU-2-7	会議室3	○		○			○		1	400	100	1	100	0.232				60	○		○	○	○	○	○	R	会議室3	○				A	○	24時間換気・微弱運転（163㎥/h）以上
										400	100							60															
HEU-2-8	スタジオ	○		○			○		1	300	100	1	100	0.232				60	○		○	○	○	○	○	R	スタジオ					A	○	24時間換気・微弱運転（163㎥/h）以上
										300	100							60															
HEU-3-1	図書コーナー	○		○			○		13	435	100	1	100	0.232				60	○		○	○	○	○	○	SH	図書コーナー					B	○	24時間換気
										435	100							60															
HEU-3-2	事務室	○		○			○		1	250	100	1	100	0.156				60	○		○	○	○	○	○	R	事務室					B	○	24時間換気・弱運転（163㎥/h）以上
										250	100							60															
HEU-3-3	おはなしの部屋	○		○			○		1	300	100	1	100	0.232				60	○		○	○	○	○	○	R	おはなしの部屋					B	○	24時間換気・微弱運転（163㎥/h）以上
										300	100							60															
HEU-3-4	閲覧室	○		○			○		1	200	100	1	100	0.128				60	○		○	○	○	○	○	R	閲覧室					B	○	24時間換気・強運転（163㎥/h）以上
										200	100							60															
HEU-4-1	多目的ホール		○		○			○	2	3,000	350	3	200	2.2×2	○（M）	○（M）		60	○			○		○		S	多目的ホール						○	耐塩害仕様、24時間換気（1台のみ）
										3,000	350							60															
HEU-4-2	トレーニングエリア	○		○			○		5	380	100	1	100	0.232				60	○		○	○	○	○	○	R	トレーニングエリア					A	○	24時間換気・微弱運転（163㎥/h）以上（1台のみ）
										380	100							60															
HEU-4-3	更衣室4-1	○		○			○		1	150	100	1	100	0.128				60	○		○		○	○	○	R	更衣室4-1					A	○	24時間換気
										150	100							60															
HEU-4-4	更衣室4-2	○		○			○		1	150	100	1	100	0.128				60	○		○		○	○	○	R	更衣室4-2					A	○	24時間換気
										150	100							60															

集中管理コントローラー

主要機能：　運転／停止、運転モード切替、手元操作禁止／許可、室温表示、火災一括ＯＦＦ、液晶タッチパネル方式

設置場所：A系統/１階　事務室　（電気総合盤に組込）

備考　：　集中管理コントローラーは室内機１台毎にコントロール可能な台数を設置のこと。また、上記の制御を行うにあたって、必要付属品があれば見込む事。

B系統/３階　事務室　（電気総合盤に組込）

共通特記事項

１．特記無き限り、上記機器は全て２４時間換気機能付き・強弱切替・個別運転液晶リモコン共とする。

２．フィルターの予備は、１００%とする。

３．全熱交換器の全熱交換効率は、ＪＩＳ Ｂ ８６２８に規定された定格時エンタルピ交換効率による。

４．制御盤の（M）：本工事、（E）：電気工事を示す。

ー特記・凡例ー

明石市政策局　プロジェクト推進室

〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号
森　雅章

〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号
設備設計一級建築士　国土交通大臣登録　第　2339号
小林　陽一

西明石地域交流センター icotto 建設工事

D　空気調和設備工事　最終版　2025. 02. 28

03　機器表（３）　－（A1）　－（A3）　見積版　2024. 12. 16

安井建築設計事務所　最終契約版

（2023年版）

20230220

送風機　（○印のあるものを適用する）

※）防振材　＜R：防振ゴム＞

機器番号 FE	系統・用途	型式 種類	消音ボックス	屋内型	屋外型	据付方法 F:床置 C:天吊 W:壁付他	台数	給排区分 給気	給排区分 排気	番手（径） #（mmφ）	風量 m3/h	機外静圧 Pa	電動機 φ	電動機 V	電動機 定格出力 kW	電動機 定格消費電力 kW	電動機 起動方式	電動機 ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ (M/E)	極数	防振材	付属品 サーモスイッチ	スイッチ・発停方法 (M:本工事 E:電気工事) 区分	スイッチ・発停方法 (M:本工事 E:電気工事) 方式	設置場所	非常電源 ●防災 ○保安	連動	インターロック	監視・制御 中央 監視	監視・制御 中央 制御	備考
FE-1-1	MWC	SSF（消音形）	○	○		C	1		○		550	120	1	100	0.065	0.125	L-S		4	R		E	人感センサー（強弱切替）	MWC	○					24時間換気
FE-1-2	だれでもWC1	VCF（サニタリー用）		○		C	1		○		150	100	1	100		0.006	L-S					E	人感センサー（遅延）	だれでもWC1	○					DCモーター仕様
FE-1-3	多機能WC1	VCF（サニタリー用）		○		C	1		○		250	100	1	100		0.010	L-S					E	人感センサー（遅延）	多機能WC1	○					DCモーター仕様
FE-1-4	WWC	SSF（消音形）	○	○		C	1		○		550	120	1	100	0.065	0.125	L-S		4	R		E	人感センサー（強弱切替）	WWC	○					24時間換気
FE-1-5	ベビーケアルーム	VCF（居室用）		○		C	1		○		200	100	1	100		0.010	L-S					E	人感センサー（遅延）	ベビーケアルーム	○					DCモーター仕様
FE-1-6	更衣室	VCF（居室用）		○		C	1		○		100	100	1	100		0.006	L-S					E	人感センサー（強弱切替）	更衣室						24時間換気、DCモーター仕様
FE-1-7	ポンプ室	VCF		○		C	1		○		200	100	1	100		0.010	L-S				○	E	サーモスイッチ	ポンプ室						DCモーター仕様
FE-1-8	ゴミ庫	VCF		○		C	1		○		150	100	1	100		0.006	L-S					E	人感センサー（遅延）	ゴミ庫						DCモーター仕様
FE-1-9	キッチン（フード）	レンジフード		○		C	1		○		300	120	1	100		0.125	L-S					-	（本体付属）	キッチン（フード）	○					（建築工事）
FE-1-10	だれでもWC2	VCF（サニタリー用）		○		C	1		○		100	100	1	100		0.006	L-S					E	人感センサー（遅延）	だれでもWC2	○					DCモーター仕様
FE-1-11	多機能WC2	VCF（サニタリー用）		○		C	1		○		200	100	1	100		0.006	L-S					E	人感センサー（遅延）	多機能WC2	○					DCモーター仕様
FE-1-12	倉庫1-1	VCF		○		C	1		○		100	100	1	100		0.006	L-S					E	ON-OFFスイッチ	倉庫1-1						DCモーター仕様
FE-1-13	倉庫1-2	VCF		○		C	1		○		200	100	1	100		0.010	L-S					E	ON-OFFスイッチ	倉庫1-2						DCモーター仕様
FE-2-1	MWC	SSF（消音形）	○	○		C	1		○		550	120	1	100	0.065	0.125	L-S		4	R		E	人感センサー（強弱切替）	MWC	○					24時間換気
FE-2-2	だれでもWC	VCF（サニタリー用）		○		C	1		○		150	100	1	100		0.006	L-S					E	人感センサー（遅延）	だれでもWC	○					DCモーター仕様
FE-2-3	多機能WC	VCF（サニタリー用）		○		C	1		○		250	100	1	100		0.010	L-S					E	人感センサー（遅延）	多機能WC	○					DCモーター仕様
FE-2-4	WWC	SSF（消音形）	○	○		C	1		○		550	120	1	100	0.065	0.125	L-S		4	R		E	人感センサー（強弱切替）	WWC	○					24時間換気
FE-2-5	ベビーケアルーム	VCF（居室用）		○		C	1		○		200	100	1	100		0.036	L-S					E	人感センサー（遅延）	ベビーケアルーム	○					DCモーター仕様
FE-2-6	倉庫2-1	VCF		○		C	1		○		500	100	1	100		0.036	L-S					E	ON-OFFスイッチ	倉庫2-1						DCモーター仕様
FE-2-7	倉庫2-2	VCF		○		C	1		○		250	100	1	100		0.010	L-S					E	ON-OFFスイッチ	倉庫2-2						DCモーター仕様
FE-3-1	MWC	SSF（消音形）	○	○		C	1		○		550	120	1	100	0.065	0.125	L-S		4	R		E	人感センサー（強弱切替）	MWC						24時間換気
FE-3-2	だれでもWC	VCF（サニタリー用）		○		C	1		○		150	100	1	100		0.006	L-S					E	人感センサー（遅延）	だれでもWC						DCモーター仕様
FE-3-3	多機能WC	VCF（サニタリー用）		○		C	1		○		250	100	1	100		0.010	L-S					E	人感センサー（遅延）	多機能WC						DCモーター仕様
FE-3-4	WWC	SSF（消音形）	○	○		C	1		○		550	120	1	100	0.065	0.125	L-S		4	R		E	人感センサー（強弱切替）	WWC						24時間換気
FE-3-5	ベビーケアルーム	VCF（居室用）		○		C	1		○		200	100	1	100		0.010	L-S					E	人感センサー（遅延）	ベビーケアルーム						DCモーター仕様
FE-4-1	MWC	SSF（消音形）	○	○		C	1		○		550	120	1	100	0.065	0.125	L-S		4	R		E	人感センサー（強弱切替）	MWC						24時間換気
FE-4-2	だれでもWC	VCF（サニタリー用）		○		C	1		○		150	100	1	100		0.006	L-S					E	人感センサー（遅延）	だれでもWC						DCモーター仕様
FE-4-3	多機能WC	VCF（サニタリー用）		○		C	1		○		250	100	1	100		0.010	L-S					E	人感センサー（遅延）	多機能WC						DCモーター仕様
FE-4-4	WWC	SSF（消音形）	○	○		C	1		○		550	120	1	100	0.065	0.125	L-S		4	R		E	人感センサー（強弱切替）	WWC						24時間換気
FE-4-5	ベビーケアルーム	VCF（居室用）		○		C	1		○		200	100	1	100		0.010	L-S					E	人感センサー（遅延）	ベビーケアルーム						DCモーター仕様
FE-4-6	倉庫4-1	VCF		○		C	1		○		150	100	1	100		0.006	L-S					E	ON-OFFスイッチ	倉庫4-1						DCモーター仕様
FE-4-7	倉庫4-2	VCF		○		C	1		○		250	100	1	100		0.010	L-S					E	ON-OFFスイッチ	倉庫4-2						DCモーター仕様
FE-4-8	倉庫4-3	SSF（消音形）	○	○		C	1		○		500	120	1	100	0.045	0.088	L-S		4	R		E	ON-OFFスイッチ	倉庫4-3						

共通特記事項　1．屋外形の送風機は、ケーシング下部に水抜きを設けること。　2．送風機の電動機出力は、ＪＩＳ Ｃ ９６０３に規定された消費電力による。送風機の電動機は、ＪＩＳ Ｃ ４２１３（低圧三相かご形誘導電動機）に規定された低圧トップランナーモーターとする。　3．インバーターの（Ｍ）：本工事、（Ｅ）：電気工事を示す。

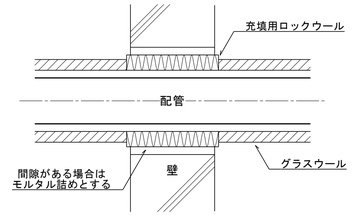
ー特記・凡例ー

明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	D 空気調和設備工事
〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築士 国土交通大臣登録 第 2339号 小林 陽一	04 機器表（4） －（A1） －（A3）
安井建築設計事務所	最終版 2025.02.28 / 見積版 2024.12.16 / 最終契約版

（2023年版）

20230220

50A以下のドレン管の区画貫通部の措置



（注記）防火区画貫通部は上記の処理を行う。

冷媒管サイズ表

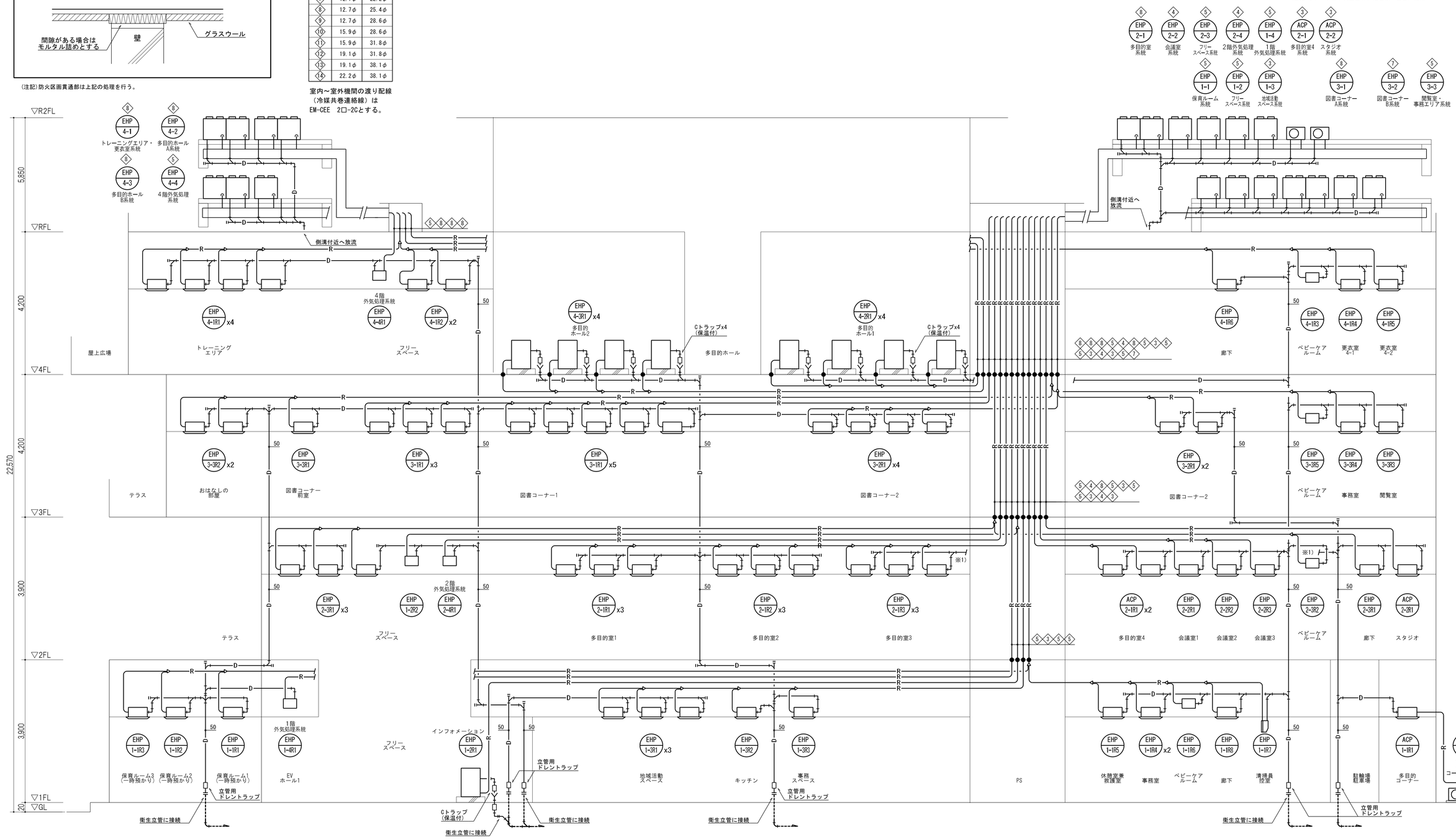
記号	液管	ガス管
1	6.4φ	9.5φ
2	6.4φ	12.7φ
3	9.5φ	15.9φ
4	9.5φ	19.1φ
5	9.5φ	22.2φ
6	9.5φ	25.4φ
7	12.7φ	22.2φ
8	12.7φ	25.4φ
9	12.7φ	28.6φ
10	15.9φ	28.6φ
11	15.9φ	31.8φ
12	19.1φ	31.8φ
13	19.1φ	38.1φ
14	22.2φ	38.1φ

室内～室外機間の渡り配線
（冷媒共巻連絡線）は
EM-CEE　2□-2Cとする。

凡　例

記号	名称
—— R ——	冷媒管
—— D ——	ドレン管
●——	防火区画貫通ユニット （大臣認定工法）

（注記）各フロアの防火区画貫通処理は平面図に記載



ー特記・凡例ー							

明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto 建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	D	空気調和設備工事	最終版　2025.02.28
〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築士　国土交通大臣登録　第　2339号 小林　陽一	05	系統図（配管）　－（A1）　－（A3）	見積版　2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

20230220

凡 例

記号	名称	記号	名称	記号	名称
—— R ——	冷媒管		天井カセット形室内機（４方向）		天井埋込ダクト形室内機
—— D ——	ドレン管		天井カセット形室内機（２方向）		床置ダクト形室内機
——●——	防火区画貫通ユニット（大臣認定工法）		天井カセット形室内機（１方向）	外	外気処理エアコン
			壁掛形室内機		

磁北 真北 N(座標化)

EHP 1-1R3 保育ルーム3（一時預かり）
EHP 1-1R2 保育ルーム2（一時預かり）
EHP 1-1R1 保育ルーム1（一時預かり）
EHP 1-4R1 1階 外気処理系統
EHP 1-1R8 廊下
EHP 1-1R4 x2 事務室
EHP 1-3R2 キッチン
EHP 1-1R6 ベビーケアルーム
EHP 1-1R7 清掃員控室
EHP 1-1R5 休憩室兼救護室
EHP 1-2R1 フリースペース（床置）
EHP 1-3R1 x3 地域活動スペース
EHP 1-3R3 事務スペース
ACP 1-1R1 多目的コーナー
ACP 1-1 室外機（多目的コーナー系統）

EHP-1-4 EHP-1-1 EHP-1-2 EHP-1-3

▽隣地境界線
△道路境界線
▽延焼のおそれのある部分
△延焼のおそれのある部分

保育ルーム3（一時預かり）
保育ルーム2（一時預かり）
保育ルーム1（一時預かり）
倉庫1-2
階段
EV
EPS
こども WC
SK
多機能 WC1
MWC
PS1-1
PS1-2
PS1-3
廊下
ポンプ室（直天）
自動二輪駐車場
ゴミ置場（直天）
屋外階段
1FL+600で貫通（露出）
風除室
外
休憩室兼救護室
清掃員控室
駐車場
事務室
倉庫 1-1
駐輪場
更衣室
車椅子併用者用
フリースペース
上部吹き抜け
衛生立管に接続（FL+100）
ACトラップ（保温型）
MR1
キッチン
事務スペース
多機能 WC2
だれでも WC2
地域活動スペース
多目的コーナー
消防活動空地2
消防活動空地1
屋外広場
管末トラップ（1FL+600）
屋外通路

Y4 Y3 Y2 Y1
5,800 8,400 22,600 8,400

18,52 18,54 18,56 18,57 18,43

5,150 7,200 7,200 7,200 7,200 7,200 7,200 7,200 7,200 55,550

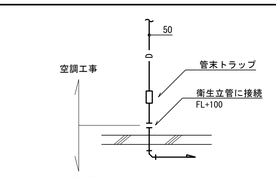
X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9

冷媒管サイズ表

記号	液管	ガス管
1	6.4φ	9.5φ
2	6.4φ	12.7φ
3	9.5φ	15.9φ
4	9.5φ	19.1φ
5	9.5φ	22.2φ
6	9.5φ	25.4φ
7	12.7φ	22.2φ
8	12.7φ	25.4φ
9	12.7φ	28.6φ
10	15.9φ	28.6φ
11	15.9φ	31.8φ
12	19.1φ	31.8φ
13	19.1φ	38.1φ
14	22.2φ	38.1φ

室内～室外機間の渡り配線（冷媒共巻連絡線）はEM-CEE 2□-2Cとする。

別図 １階ドレン立管接続要領図 A1：－ A3：－



※管末トラップ用に壁点検口（建築工事）を設けること。

－特記・凡例－

1．特記無き配管は、天井配管を示す。
2．特記無き限り空調室内機のドレン管接続サイズは、２５Ａとする
3．区画貫通部の空隙はモルタル等の不燃材料を充填すること。

—·—·— 防火区画
- - - - - 異種用途区画

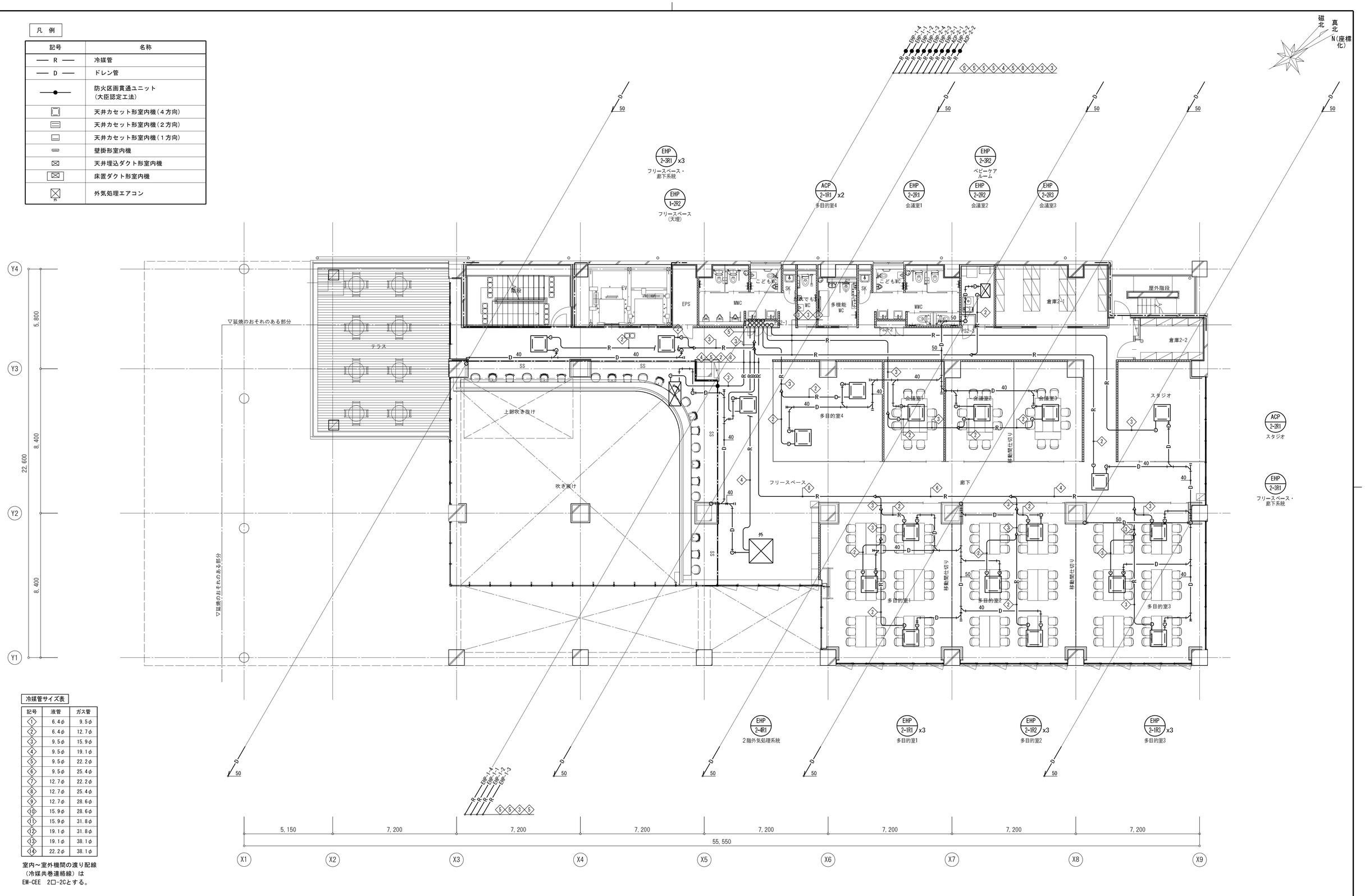
明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	D 空気調和設備工事 最終版 2025.02.28
〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築士 国土交通大臣登録 第 2339号 小林 陽一	06 １階平面図（配管） 1/100 (A1) 1/200 (A3) 見積版 2024.12.16
	安井建築設計事務所 最終契約版

（2023年版）

20230220

凡　例

記号	名称
—— R ——	冷媒管
—— D ——	ドレン管
——●——	防火区画貫通ユニット（大臣認定工法）
	天井カセット形室内機（４方向）
	天井カセット形室内機（２方向）
	天井カセット形室内機（１方向）
	壁掛形室内機
	天井埋込ダクト形室内機
	床置ダクト形室内機
外	外気処理エアコン



冷媒管サイズ表

記号	液管	ガス管
1	6.4φ	9.5φ
2	6.4φ	12.7φ
3	9.5φ	15.9φ
4	9.5φ	19.1φ
5	9.5φ	22.2φ
6	9.5φ	25.4φ
7	12.7φ	22.2φ
8	12.7φ	25.4φ
9	12.7φ	28.6φ
10	15.9φ	28.6φ
11	15.9φ	31.8φ
12	19.1φ	31.8φ
13	19.1φ	38.1φ
14	22.2φ	38.1φ

室内～室外機間の渡り配線（冷媒共巻連絡線）はEM-CEE　2□-2Cとする。

ー特記・凡例ー

１．特記無き配管は、天井配管を示す。

２．特記無き限り空調室内機のドレン管接続サイズは、２５Ａとする

３．区画貫通部の空隙はモルタル等の不燃材料を充填すること。

—·—·— 防火区画

- - -—- - - 異種用途区画

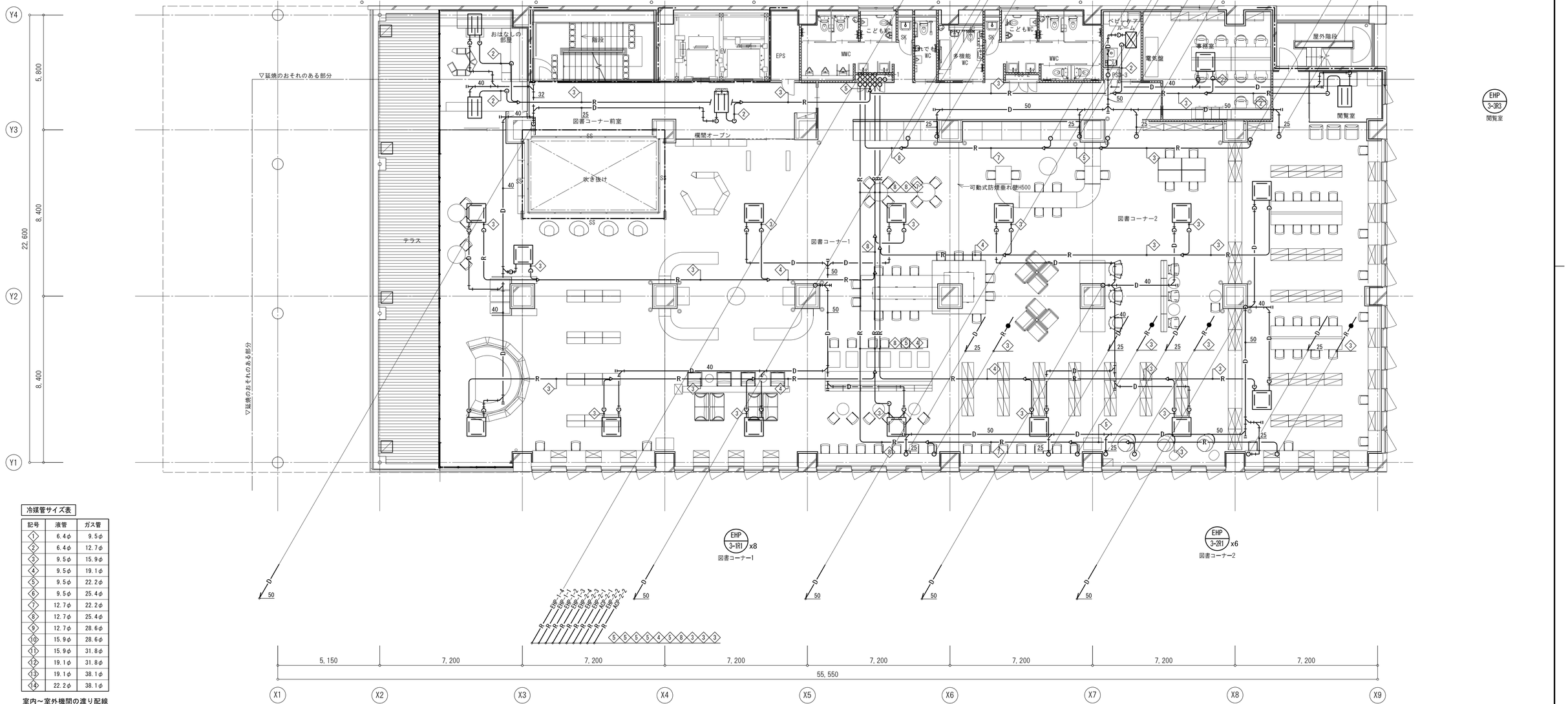
明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto　建設工事
〈代表設計者〉一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号　森　雅章	D　空気調和設備工事　最終版　2025. 02. 28
〈設備設計者〉一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号　設備設計一級建築士　国土交通大臣登録　第　2339号　小林　陽一	07　２階平面図(配管)　1/100(A1) 1/200(A3)　見積版　2024. 12. 16
	安井建築設計事務所　最終契約版

（2023年版）

20230220

凡 例

記号	名称
—— R ——	冷媒管
—— D ——	ドレン管
——●——	防火区画貫通ユニット（大臣認定工法）
	天井カセット形室内機（４方向）
	天井カセット形室内機（２方向）
	天井カセット形室内機（１方向）
	壁掛形室内機
	天井埋込ダクト形室内機
	床置ダクト形室内機
外	外気処理エアコン



冷媒管サイズ表

記号	液管	ガス管
1	6.4φ	9.5φ
2	6.4φ	12.7φ
3	9.5φ	15.9φ
4	9.5φ	19.1φ
5	9.5φ	22.2φ
6	9.5φ	25.4φ
7	12.7φ	22.2φ
8	12.7φ	25.4φ
9	12.7φ	28.6φ
10	15.9φ	28.6φ
11	15.9φ	31.8φ
12	19.1φ	31.8φ
13	19.1φ	38.1φ
14	22.2φ	38.1φ

室内～室外機間の渡り配線（冷媒共巻連絡線）は EM-CEE　2□-2Cとする。

ー特記・凡例ー

1．特記無き配管は、天井配管を示す。

2．特記無き限り空調室内機のドレン管接続サイズは、２５Ａとする

3．区画貫通部の空隙はモルタル等の不燃材料を充填すること。

—·—·— 防火区画

- - - —— - - - 異種用途区画

明石市政策局　プロジェクト推進室

〈代表設計者〉 一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号
森　雅章

〈設備設計者〉 一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号
設備設計一級建築士　国土交通大臣登録　第 2339号
小林　陽一

西明石地域交流センター icotto 建設工事

D　空気調和設備工事　最終版　2025. 02. 28

08　３階平面図(配管)　1/100 (A1) 1/200 (A3)　見積版　2024. 12. 16

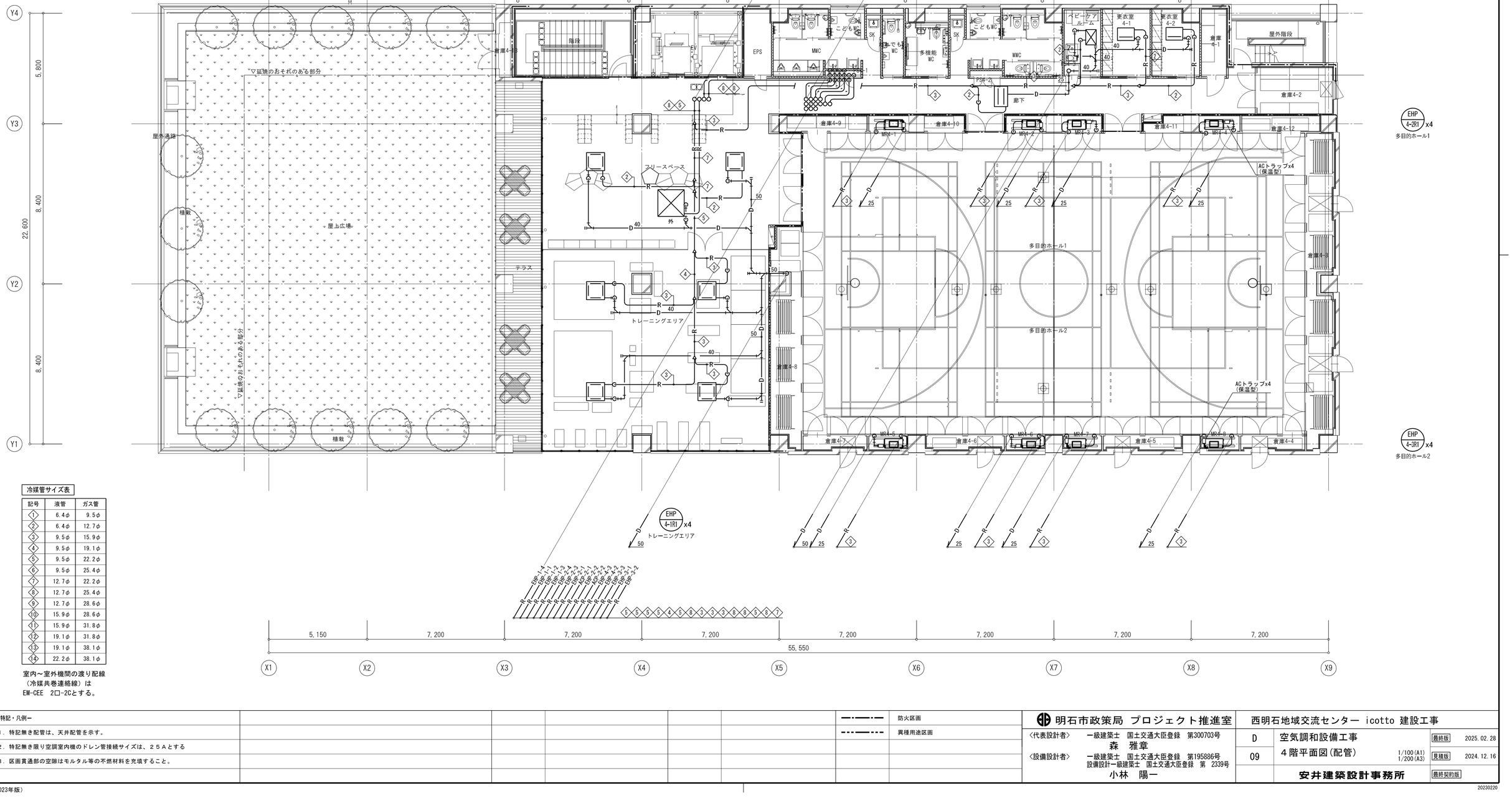
安井建築設計事務所　最終契約版

（2023年版）

20230220

凡 例

記号	名称
—— R ——	冷媒管
—— D ——	ドレン管
●——	防火区画貫通ユニット（大臣認定工法）
	天井カセット形室内機（４方向）
	天井カセット形室内機（２方向）
	天井カセット形室内機（１方向）
	壁掛形室内機
	天井埋込ダクト形室内機
	床置ダクト形室内機
外	外気処理エアコン



冷媒管サイズ表

記号	液管	ガス管
1	6.4φ	9.5φ
2	6.4φ	12.7φ
3	9.5φ	15.9φ
4	9.5φ	19.1φ
5	9.5φ	22.2φ
6	9.5φ	25.4φ
7	12.7φ	22.2φ
8	12.7φ	25.4φ
9	12.7φ	28.6φ
10	15.9φ	28.6φ
11	15.9φ	31.8φ
12	19.1φ	31.8φ
13	19.1φ	38.1φ
14	22.2φ	38.1φ

室内～室外機間の渡り配線（冷媒共巻連絡線）は EM-CEE 2□-2Cとする。

ー特記・凡例ー

1．特記無き配管は、天井配管を示す。

2．特記無き限り空調室内機のドレン管接続サイズは、２５Ａとする

3．区画貫通部の空隙はモルタル等の不燃材料を充填すること。

—·—·— 防火区画

---—--- 異種用途区画

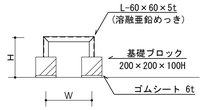
明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	D 空気調和設備工事 最終版 2025.02.28
〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築士 国土交通大臣登録 第 2339号 小林 陽一	09 4階平面図(配管) 1/100(A1) 1/200(A3) 見積版 2024.12.16
	安井建築設計事務所 最終契約版

（2023年版）

20230220

凡　例

記号	名称
── R ──	冷媒管
── D ──	ドレン管

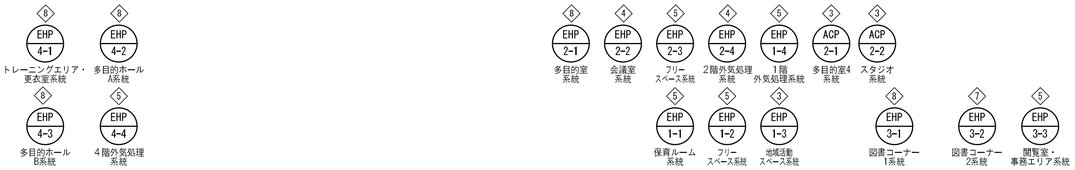


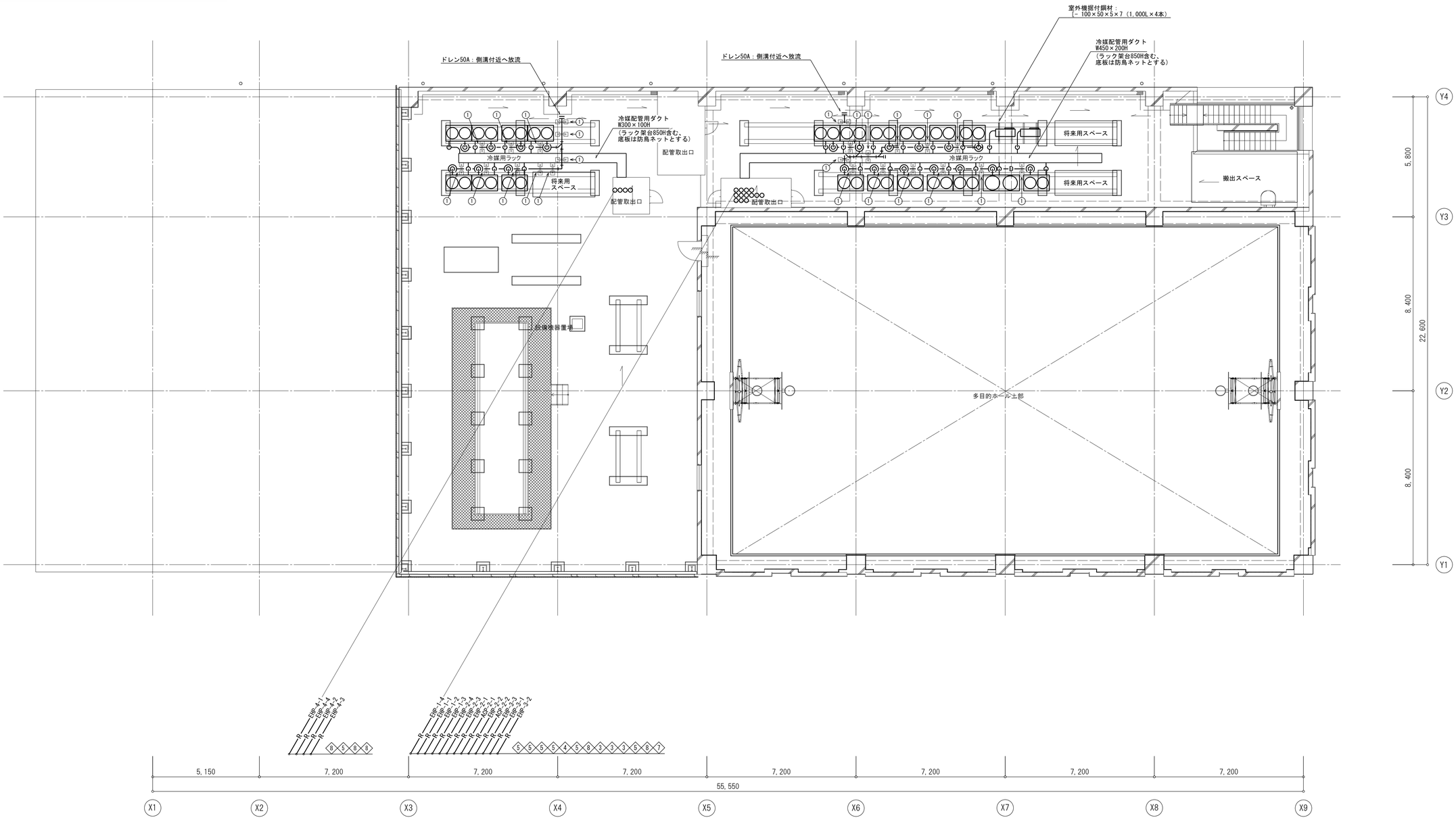
配管架台図

※ (D──ⅱ) は配管架台（本工事）を示す。

架台種類	W（mm）	H（mm）	数量	備考
①	300	300	24	

屋外配管架台要領図　NO SCALE





冷媒管サイズ表

記号	液管	ガス管
①	6.4φ	9.5φ
②	6.4φ	12.7φ
③	9.5φ	15.9φ
④	9.5φ	19.1φ
⑤	9.5φ	22.2φ
⑥	9.5φ	25.4φ
⑦	12.7φ	22.2φ
⑧	12.7φ	25.4φ
⑨	12.7φ	28.6φ
⑩	15.9φ	28.6φ
⑪	15.9φ	31.8φ
⑫	19.1φ	31.8φ
⑬	19.1φ	38.1φ
⑭	22.2φ	38.1φ

室内～室外機間の渡り配線
（冷媒共巻連絡線）は
EM-CEE　2□-2Cとする。

ー特記・凡例ー

1．冷媒配管用ダクトの材質は、高耐食性溶融亜鉛メッキ鋼板とする。

2．冷媒配管用ダクトはダクト上を歩行可能な歩路タイプとする。

3．室外機据付鋼材は溶融亜鉛メッキ仕上げ(2種55)とする。

4．一次鉄骨は建築工事。

─·─·─	防火区画
─ ─ ─	異種用途区画

明石市政策局　プロジェクト推進室

〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号
森　雅章

〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号
設備設計一級建築士　国土交通大臣登録　第　2339号
小林　陽一

西明石地域交流センター　icotto 建設工事

D　空気調和設備工事　最終版　2025. 02. 28

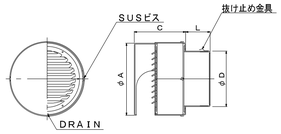
10　屋上平面図(配管)　1/100 (A1)　1/200 (A3)　見積版　2024. 12. 16

安井建築設計事務所　最終契約版

（2023年版）

20230220

ベントキャップ(SUS製丸深型)仕様
（株）ユニックス　BSG-SB特殊型　同等品以上

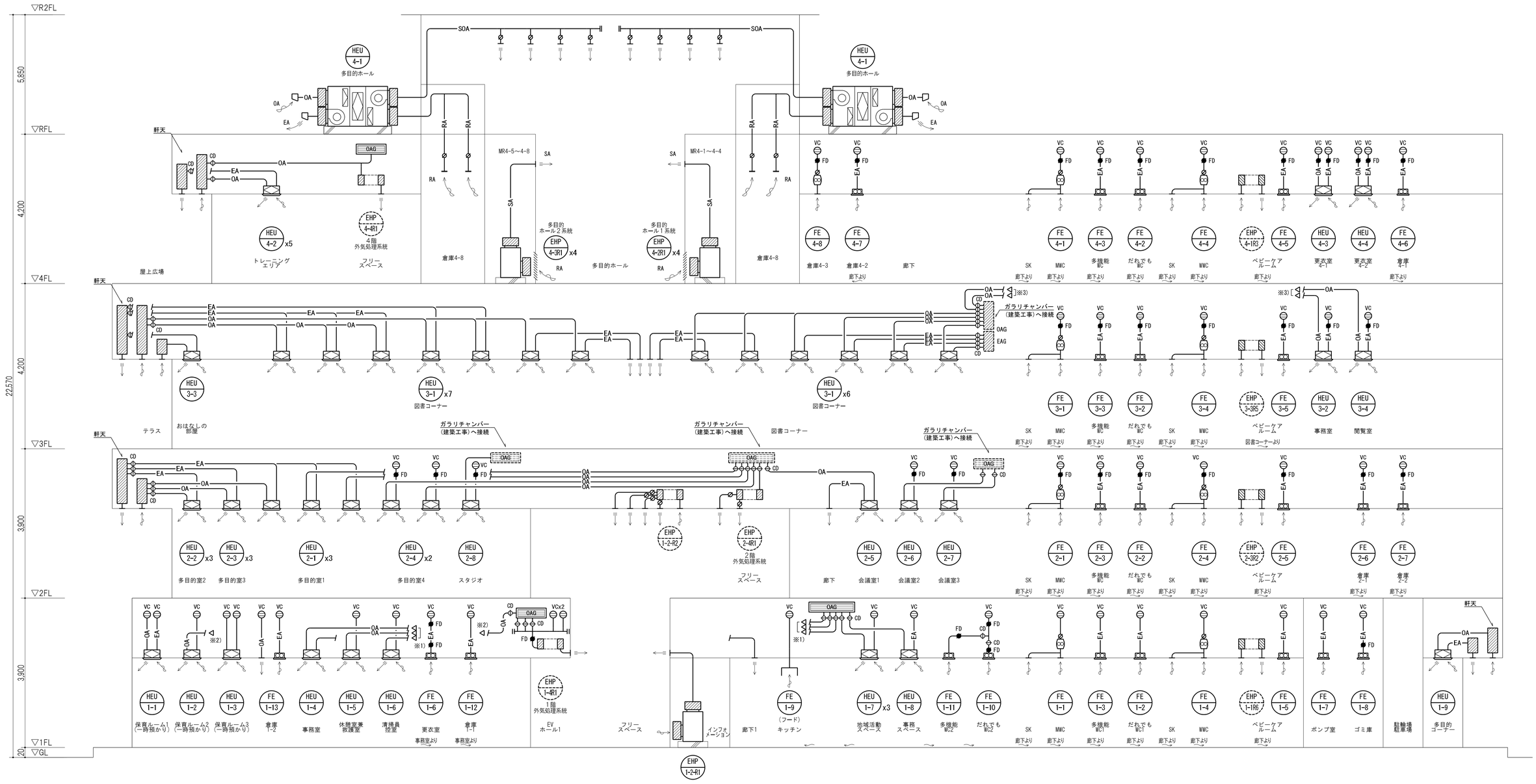


型式＼寸法	A	C	D	L	適用パイプ内径
BSG100SB特	143	98	97	56	φ100
BSG125SB特	193	118	122	64	φ125
BSG150SB特	193	118	147	63	φ150
BSG175SB特	247	128	172	74	φ175
BSG200SB特	247	128	197	74	φ200
BSG225SB特	350	139	222	90	φ225
BSG250SB特	350	139	247	90	φ250

材質：SUS304　t 0.5（指定色焼付塗装）

凡　例

記号	名称	記号	名称	記号	名称	記号	名称
OA	外気ダクト	PA	パスダクト		全熱交換器(天井カセット形)		天井埋込ダクト形室内機
EA	排気ダクト		風量調整ダンパー（ＶＤ）		消音ボックス付送風機		外気処理エアコン
SA	給気ダクト	FD	防火ダンパー		天井扇		
RA	還気ダクト	CD	逆流防止ダンパー				
SOA	外気処理ダクト						



ー特記・凡例ー							

明石市政策局　プロジェクト推進室

〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号
森　雅章

〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号
設備設計一級建築士　国土交通大臣登録　第　2339号
小林　陽一

西明石地域交流センター icotto 建設工事

D	空気調和設備工事	最終版	2025. 02. 28
11	系統図(ダクト) －(A1) －(A3)	見積版	2024. 12. 16
	安井建築設計事務所	最終契約版	

20230220

（2023年版）

凡 例

記号	名称	記号	名称
── OA ──	外気ダクト		ドアガラリ・アンダーカット（建築工事）
── EA ──	排気ダクト		
── SA ──	給気ダクト		全熱交換器（天井カセット形）
── RA ──	還気ダクト		消音ボックス付送風機
── SOA ──	外気処理ダクト		天井扉
── PA ──	パスダクト		天井埋込ダクト形室内機
──⊘──	風量調整ダンパー（ＶＤ）		床置露出形室内機
FD ──●──	防火ダンパー	FS	外気処理エアコン
CD ──⊘──	逆流防止ダンパー		

軒天：風除室	
HS: 1,600×550 (F付)（SUS製）防鳥網（SUS製）	1
OA: 2,710 ㎥/h	
BOX: 1,800×750×300H	

廊下	
HS: 250×250	1
EA: 345 ㎥/h	
BOX: 450×450×400H	
GW25t内貼共	

MWC	
HS: 200×200	4
EA: 90 ㎥/h	
BOX: 400×400×350H	

こどもWC	
HS: 200×200	1
EA: 90 ㎥/h	
BOX: 400×400×350H	

MWC(SK)	
HS: 200×200	1
EA: 50 ㎥/h	
BOX: 400×400×350H	

こどもWC	
HS: 200×200	1
EA: 85 ㎥/h	
BOX: 400×400×350H	

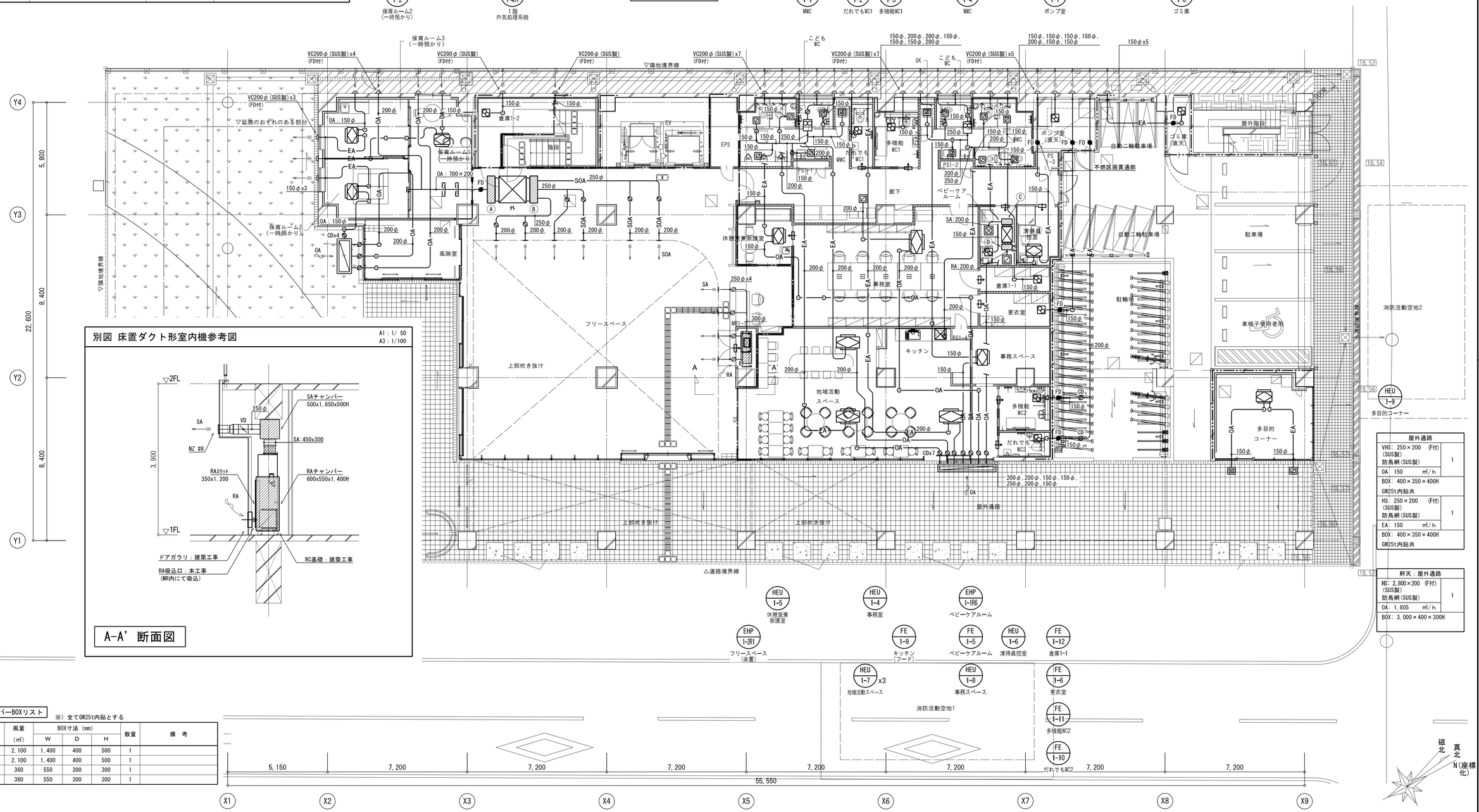
WMC(SK)	
HS: 200×200	1
EA: 40 ㎥/h	
BOX: 400×400×350H	

MWC	
HS: 200×200	5
EA: 85 ㎥/h	
BOX: 400×400×350H	

ベビーケアルーム	
VHS: 300×300	1
OA: 360 ㎥/h	
BOX: 450×450×500H	
GW25t内貼共	
HS: 300×300	1
EA: 360 ㎥/h	
BOX: 450×450×500H	
GW25t内貼共	

フリースペース	
NZ: #8	4
SA: 630 ㎥/h	
結露防止型 風向調整型（自動）	
NZ: #8	6
SA: 350 ㎥/h	
結露防止型 風向調整型（自動）	

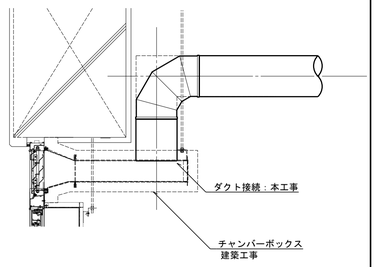
HEU 1-3 保育ルーム3（一時預かり）
HEU 1-1 保育ルーム1（一時預かり）
FE 1-13 倉庫1-2
HEU 1-2 保育ルーム2（一時預かり）
EHP 1-4R1 1階 外気処理系統
FE 1-1 MWC
FE 1-2 だれでもWC1
FE 1-3 多機能WC1
FE 1-4 WMC
FE 1-7 ポンプ室
FE 1-8 ゴミ庫



凡 例

記号	名称	記号	名称
—— OA ——	外気ダクト		ドアガラリ・アンダーカット（建築工事）
—— EA ——	排気ダクト		
—— SA ——	給気ダクト		全熱交換器（天井カセット形）
—— RA ——	還気ダクト		消音ボックス付送風機
—— SOA ——	外気処理ダクト		天井扉
—— PA ——	パスダクト		天井埋込ダクト形室内機
—— ⌀ ——	風量調整ダンパー（ＶＤ）		床置露出形室内機
FD	防火ダンパー	FA	外気処理エアコン
CD ⌀	逆流防止ダンパー		

別図 チャンバーBOXダクト接続要領図（参考）



注記：2～3階の図中表記のチャンバーBOXへのダクト接続はこれに準ずる

廊下	
VHS：300×300 結露防止型	3
SOA：560 ㎥/h	
BOX：450×450×500H GW25t内貼共	
VHS：250×250	1
EA：560 ㎥/h	
BOX：400×400×450H GW25t内貼共	

MWC	
HS：200×200	4
EA：90 ㎥/h	
BOX：400×400×350H	

こどもWC	
HS：200×200	1
EA：90 ㎥/h	
BOX：400×400×350H	

MWC(SK)	
HS：200×200	1
EA：50 ㎥/h	
BOX：400×400×350H	

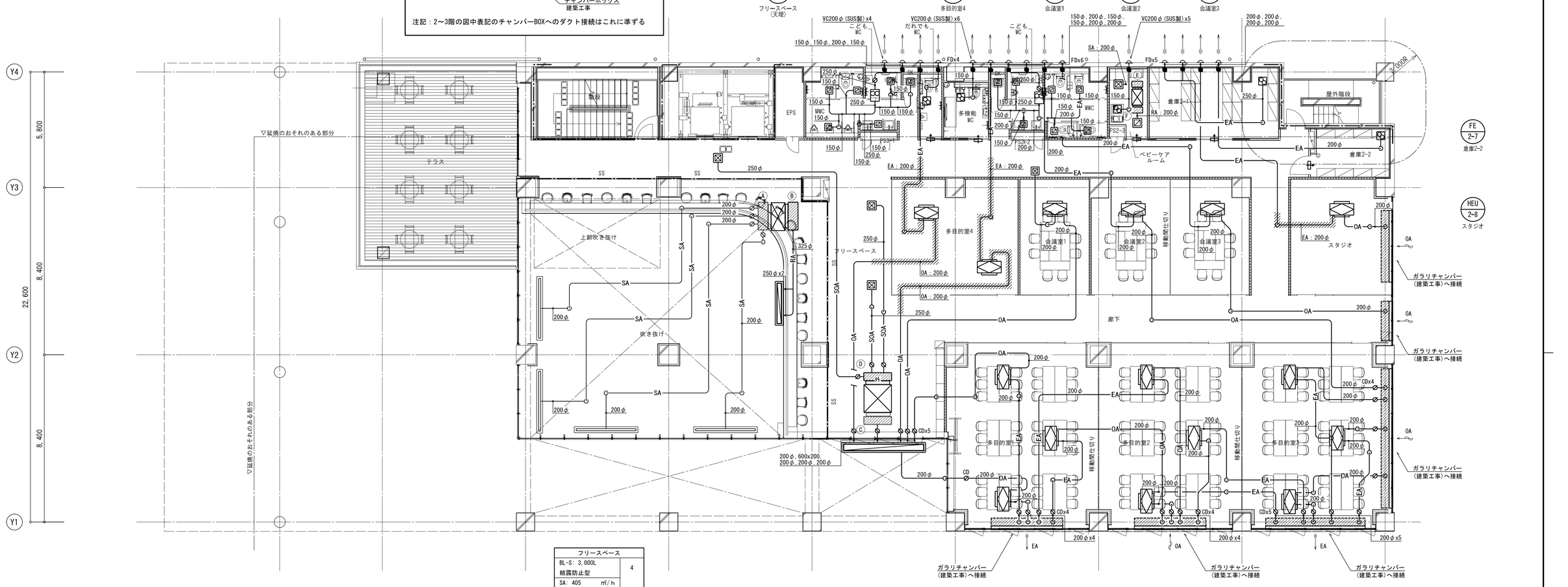
こどもWC	
HS：200×200	1
EA：85 ㎥/h	
BOX：400×400×350H	

WWC(SK)	
HS：200×200	1
EA：40 ㎥/h	
BOX：400×400×350H	

WWC	
HS：200×200	5
EA：85 ㎥/h	
BOX：400×400×350H	

ベビーケアルーム	
VHS：300×300	1
OA：360 ㎥/h	
BOX：450×450×500H GW25t内貼共	
HS：300×300	1
EA：360 ㎥/h	
BOX：450×450×500H GW25t内貼共	

FE 2-1 MWC
FE 2-2 だれでもWC
FE 2-3 多機能WC
FE 2-4 WWC
FE 2-5 ベビーケアルーム
EHP 2-5R2 ベビーケアルーム
FE 2-6 倉庫2-1
EHP 1-5R2 フリースペース（天埋）
HEU 2-4 x2 多目的室4
HEU 2-5 会議室1
HEU 2-6 会議室2
HEU 2-7 会議室3
FE 2-7 倉庫2-2
HEU 2-8 スタジオ
EHP 2-4R1 2階外気処理系統
HEU 2-1 x3 多目的室1
HEU 2-2 x3 多目的室2
HEU 2-3 x3 多目的室3



フリースペース

BL-S：3,000L 結露防止型	4
SA：405 ㎥/h	
BOX：3,300×400×450H GW25t内貼共	
ｽﾘｯﾄ：2,000×200	1
RA：405 ㎥/h	
BOX：2,200×400×400H GW25t内貼共	

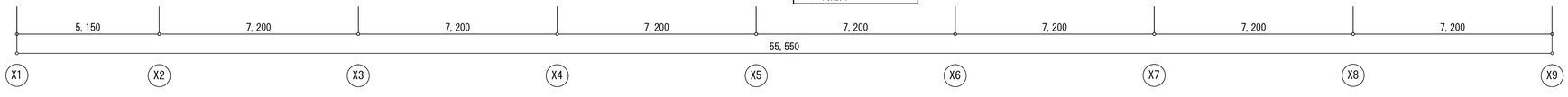
軒天（吹抜部）

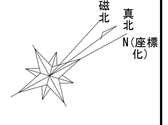
ｽﾘｯﾄ：4,000×300 (SUS製) 防鳥網(SUS製)	1
OA：3,870 ㎥/h	
BOX：4,200×500×450H GW25t内貼共	

室内機チャンバーBOXリスト

※）全てGW25t内貼とする

No	区分	風量 (㎥)	BOX寸法（mm） W	D	H	数量	備 考
Ⓐ	OA	1,680	1,400	500	500	1	
Ⓑ	RA	1,680	1,400	400	500	1	
Ⓒ	OA	1,620	1,400	400	500	1	
Ⓓ	SOA	1,620	1,400	400	500	1	
Ⓔ	SA	360	550	300	300	1	
Ⓕ	RA	360	550	300	300	1	





ー特記・凡例ー

1．▨ は鉛巻を示す。
（多目的室４およびスタジオの室内側全ておよび室外側1mの範囲）
2．天井カセット型全熱交換ユニットの吹出方向は、原則室内側とする。
3．防火ダンパー設置箇所には、□450以上の点検口（建築工事）を設置すること。
4．制気口は全て指定色焼付塗装とすること。
5．遮音壁貫通部は、ロックウールまたはグラスウールを充填すること。

防火区画
異種用途区画

明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	D	空気調和設備工事 最終版 2025.02.28
〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築士 国土交通大臣登録 第 2339号 小林 陽一	13	2階平面図（ダクト） 1/100(A1) 1/200(A3) 見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所 最終契約版

（2023年版）

20230220

凡 例

記号	名称	記号	名称
── OA ──	外気ダクト		ドアガラリ・アンダーカット（建築工事）
── EA ──	排気ダクト		
── SA ──	給気ダクト		全熱交換器（天井カセット形）
── RA ──	還気ダクト		消音ボックス付送風機
── SOA ──	外気処理ダクト		天井扇
── PA ──	パスダクト		天井埋込ダクト形室内機
──⊘──	風量調整ダンパー（ＶＤ）		床置露出形室内機
──FD●──	防火ダンパー		外気処理エアコン
──CD⊘──	逆流防止ダンパー		

軒天（テラス）	
ｽﾘｯﾄ：650×200　(千付)（SUS製）防鳥網（SUS製）	1
OA：300　㎥/h	
BOX：850×400×300H GW25t内貼共	
ｽﾘｯﾄ：5,000×300　(千付)（SUS製）防鳥網（SUS製）	1
EA：3,010　㎥/h	
BOX：5,200×400×300H GW25t内貼共	
ｽﾘｯﾄ：5,000×300　(千付)（SUS製）防鳥網（SUS製）	1
OA：4,315　㎥/h	
BOX：5,200×400×300H GW25t内貼共	

廊下	
VHS：250×250	4
EA：435　㎥/h	
BOX：450×450×400H GW25t内貼共	

MWC	
HS：200×200	4
EA：90　㎥/h	
BOX：400×400×350H	

こどもWC	
HS：200×200	1
EA：90　㎥/h	
BOX：400×400×350H	

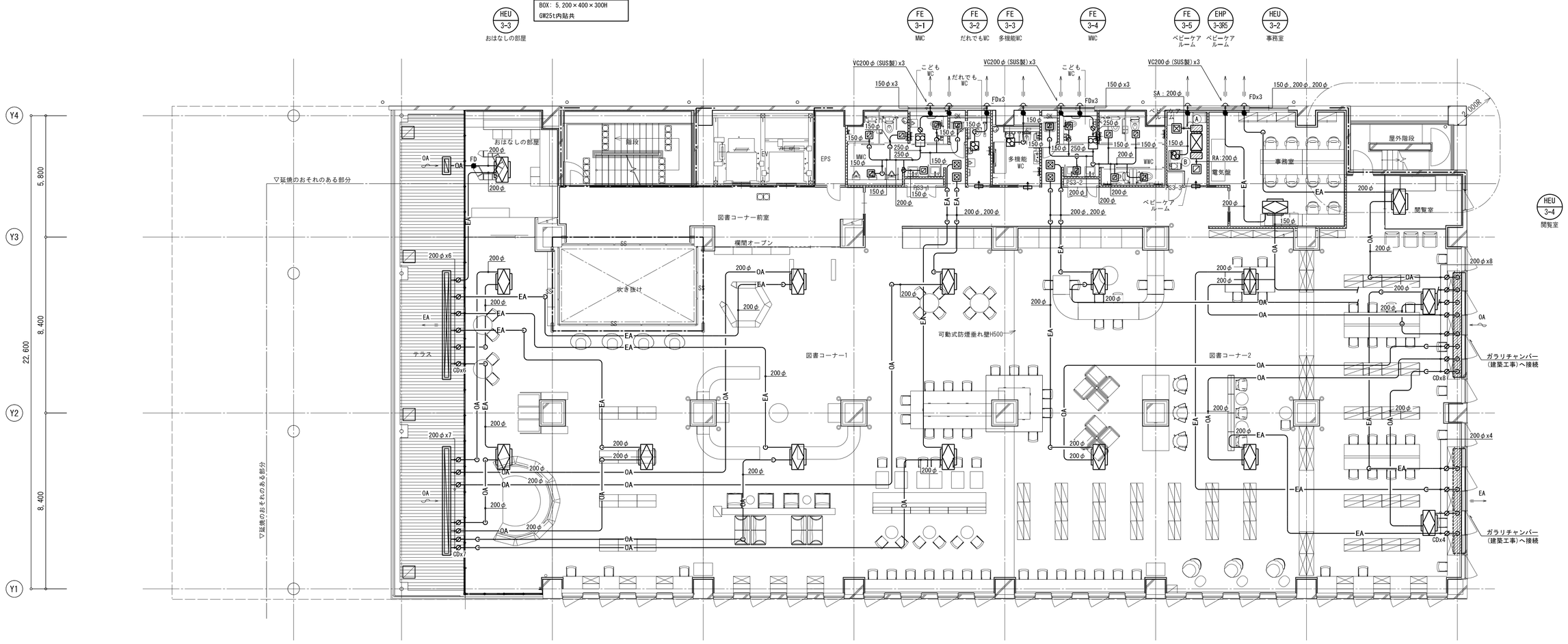
MWC(SK)	
HS：200×200	1
EA：50　㎥/h	
BOX：400×400×350H	

こどもWC	
HS：200×200	1
EA：85　㎥/h	
BOX：400×400×350H	

WWC(SK)	
HS：200×200	1
EA：40　㎥/h	
BOX：400×400×350H	

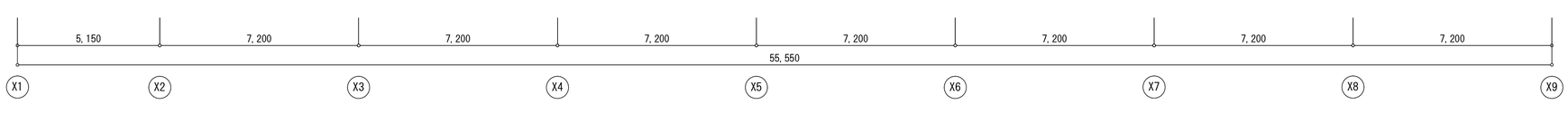
WWC	
HS：200×200	5
EA：85　㎥/h	
BOX：400×400×350H	

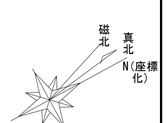
ベビーケアルーム	
VHS：300×300	1
OA：360　㎥/h	
BOX：450×450×500H GW25t内貼共	
HS：300×300	1
EA：360　㎥/h	
BOX：450×450×500H GW25t内貼共	



室内機チャンバーBOXリスト　※）全てGW25t内貼とする

No	区分	風量 (㎥/h)	BOX寸法（mm） W	D	H	数量	
Ⓐ	SA	360	550	300	300	1	
Ⓑ	RA	360	550	300	300	1	





ー特記・凡例ー

1．▨ は鉛巻を示す。
（多目的室４およびスタジオの室内側全ておよび室外側1mの範囲）

2．天井カセット型全熱交換ユニットの吹出方向は、原則室内側とする。

3．防火ダンパー設置箇所には、口450以上の点検口（建築工事）を設置すること。

4．制気口は全て指定色焼付塗装とすること。

┅┅┅ 防火区画
┅ ┅ ┅ 異種用途区画

明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto 建設工事
〈代表設計者〉 一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	D　空気調和設備工事　最終版　2025. 02. 28
〈設備設計者〉 一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築士　国土交通大臣登録　第　2339号 小林　陽一	14　３階平面図（ダクト）　1/100(A1) 1/200(A3)　見積版　2024. 12. 16
	安井建築設計事務所　最終契約版

（2023年版）

20230220

凡 例

記号	名称	記号	名称
── OA ──	外気ダクト		ドアガラリ・アンダーカット（建築工事）
── EA ──	排気ダクト		
── SA ──	給気ダクト		全熱交換器(天井カセット形)
── RA ──	還気ダクト		消音ボックス付送風機
── SOA ──	外気処理ダクト		天井扇
── PA ──	パスダクト		天井埋込ダクト形室内機
──⊘──	風量調整ダンパー（ＶＤ）		床置露出形室内機
──FD●──	防火ダンパー	PS	外気処理エアコン
──CD⊘──	逆流防止ダンパー		

軒天(テラス)	
ｽﾘｯﾄ: 5,000×200 (FF付)(SUS製)防鳥網(SUS製)	1
OA: 4,000 ㎥/h	
BOX: 5,200×400×400H GW25t内貼共	
ｽﾘｯﾄ: 5,000×200 (SUS製)防鳥網(SUS製)	1
EA: 2,350 ㎥/h	
BOX: 5,200×400×400H GW25t内貼共	

フリースペース	
VHS: 800×200	2
SOA: 525 ㎥/h	
BOX: 1,000×400×400H GW25t内貼共 結露防止型	
VHS: 350×350	2
SOA: 525 ㎥/h	
BOX: 500×500×550H GW25t内貼共 結露防止型	

MWC	
HS: 200×200	4
EA: 90 ㎥/h	
BOX: 400×400×350H	

こどもWC	
HS: 200×200	1
EA: 90 ㎥/h	
BOX: 400×400×350H	

MWC(SK)	
HS: 200×200	1
EA: 50 ㎥/h	
BOX: 400×400×350H	

こどもWC	
HS: 200×200	1
EA: 85 ㎥/h	
BOX: 400×400×350H	

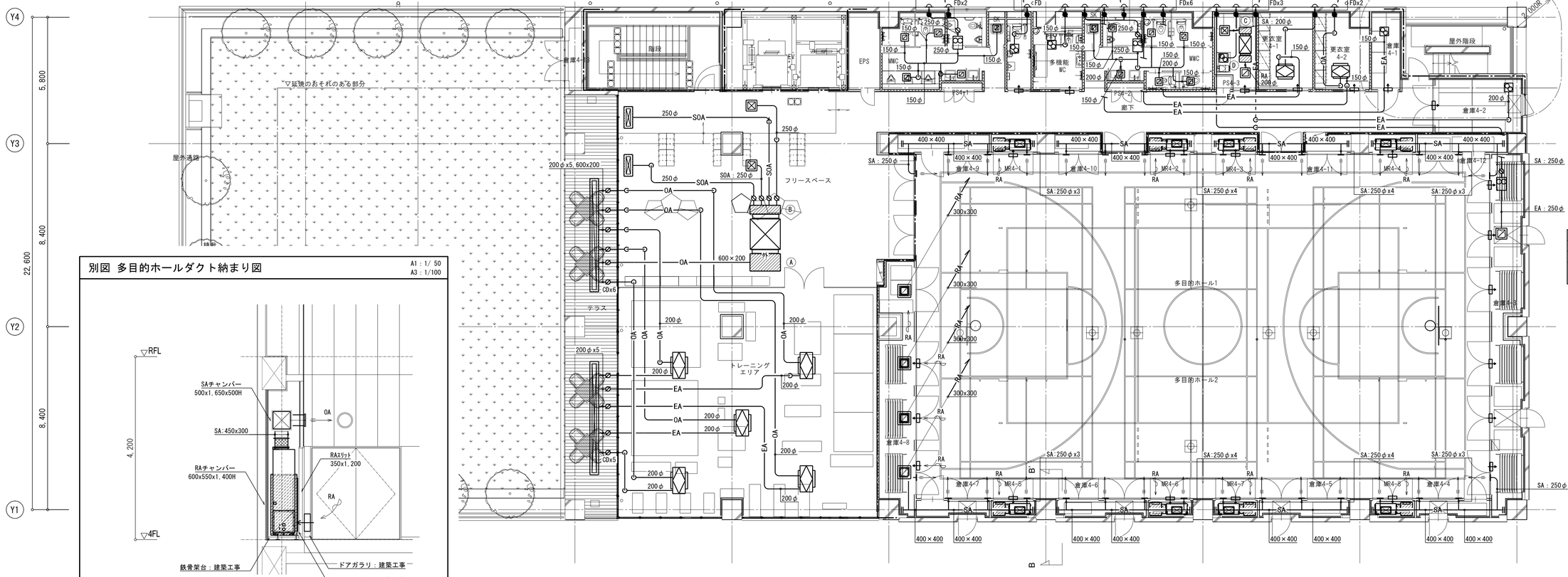
WWC(SK)	
HS: 200×200	1
EA: 40 ㎥/h	
BOX: 400×400×350H	

WWC	
HS: 200×200	5
EA: 85 ㎥/h	
BOX: 400×400×350H	

ベビーケアルーム	
VHS: 300×300	1
OA: 360 ㎥/h	
BOX: 450×450×500H GW25t内貼共	
HS: 300×300	1
EA: 360 ㎥/h	
BOX: 450×450×500H GW25t内貼共	

EHP 4-4R1 4階外気処理系統

FE 4-1 MWC / FE 4-2 だれでもWC / FE 4-3 多機能WC / FE 4-4 WWC / FE 4-5 ベビーケアルーム / EHP 4-1R3 ベビーケアルーム / HEU 4-3 更衣室4-1 / HEU 4-4 更衣室4-2 / FE 4-6 倉庫4-1



倉庫4-3	
HS: 350×350	1
EA: 600 ㎥/h	
BOX: 500×500×550H GW25t内貼共	

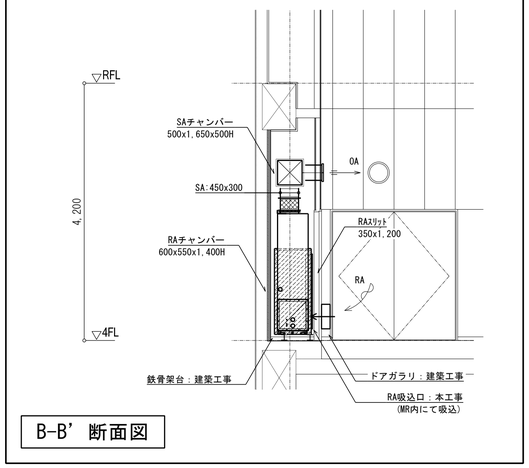
多目的ホール	
HS: 450×450	4
RA: 1,500 ㎥/h	
BOX: 600×600×600H GW25t内貼共	

多目的ホール1	
NZ: #10	16
SA: 630 ㎥/h	
結露防止型 風向調整型(手動)	

多目的ホール2	
NZ: #10	16
SA: 630 ㎥/h	
結露防止型 風向調整型(手動)	

別図 多目的ホールダクト納まり図

A1：1/ 50
A3：1/100

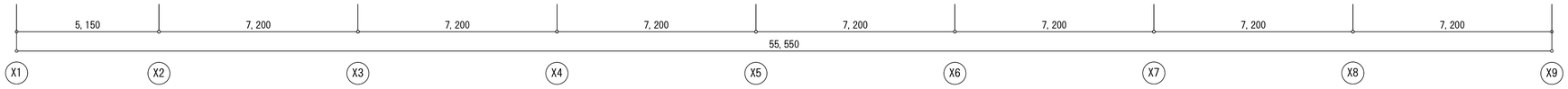


B-B’ 断面図

室内機チャンバーBOXリスト

※）全てGW25t内貼とする

No	区分	風量 (㎥/)	BOX寸法 (mm) W	D	H	数量	備 考
Ⓐ	OA	2,100	1,400	800	500	1	
Ⓑ	SOA	2,100	1,400	400	500	1	
Ⓒ	SA	360	550	300	300	1	
Ⓓ	RA	360	550	300	300	1	



磁北 真北 N(座標化)

ー特記・凡例ー

1．////// は鉛巻を示す。
（多目的室４およびスタジオの室内側全ておよび室外側1mの範囲）
2．天井カセット型全熱交換ユニットの吹出方向は、原則室内側とする。
3．防火ダンパー設置箇所には、□450以上の点検口（建築工事）を設置すること。
4．制気口は全て指定色焼付塗装とすること。

—·—·— 防火区画
---—--- 異種用途区画

明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	D	空気調和設備工事	最終版 2025.02.28
〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築士 国土交通大臣登録 第 2339号 小林 陽一	15	4階平面図（ダクト） 1/100 (A1) 1/200 (A3)	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

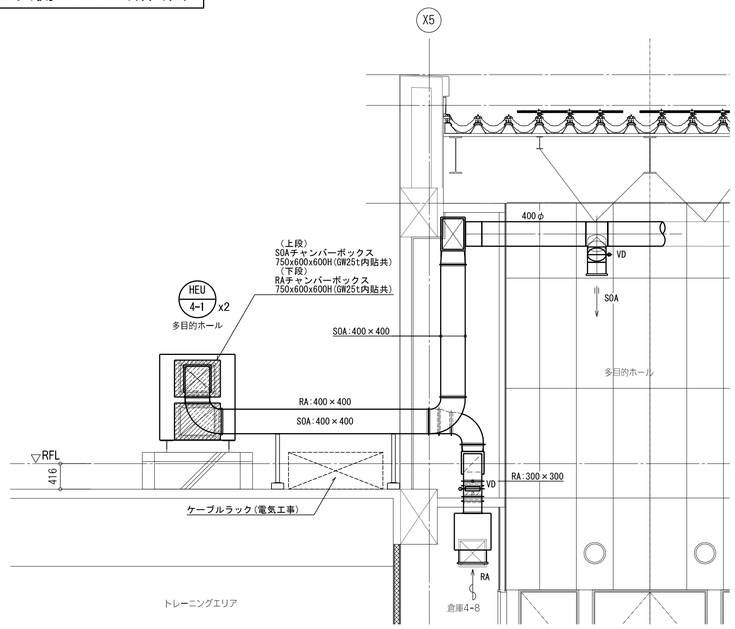
（2023年版）

20230220

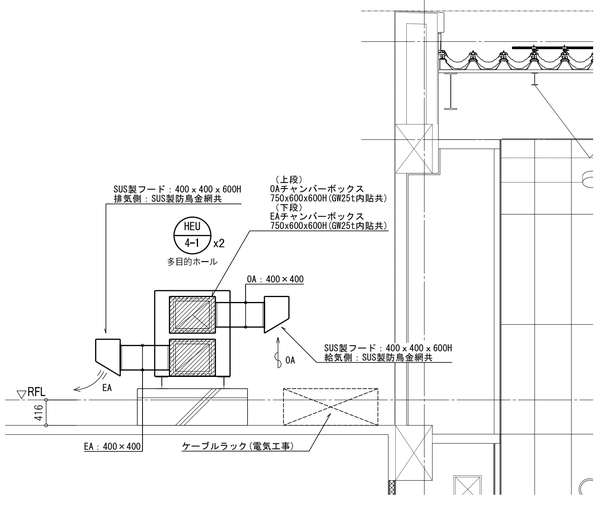
別図 多目的ホール全熱交換器廻りダクト詳細図

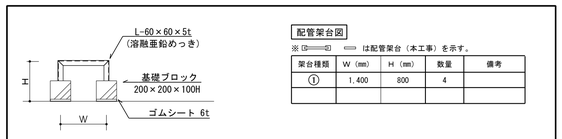
A1：1/ 50
A3：1/100

二次側　D-D’ 断面図



一次側　C-C’ 断面図





配管架台図

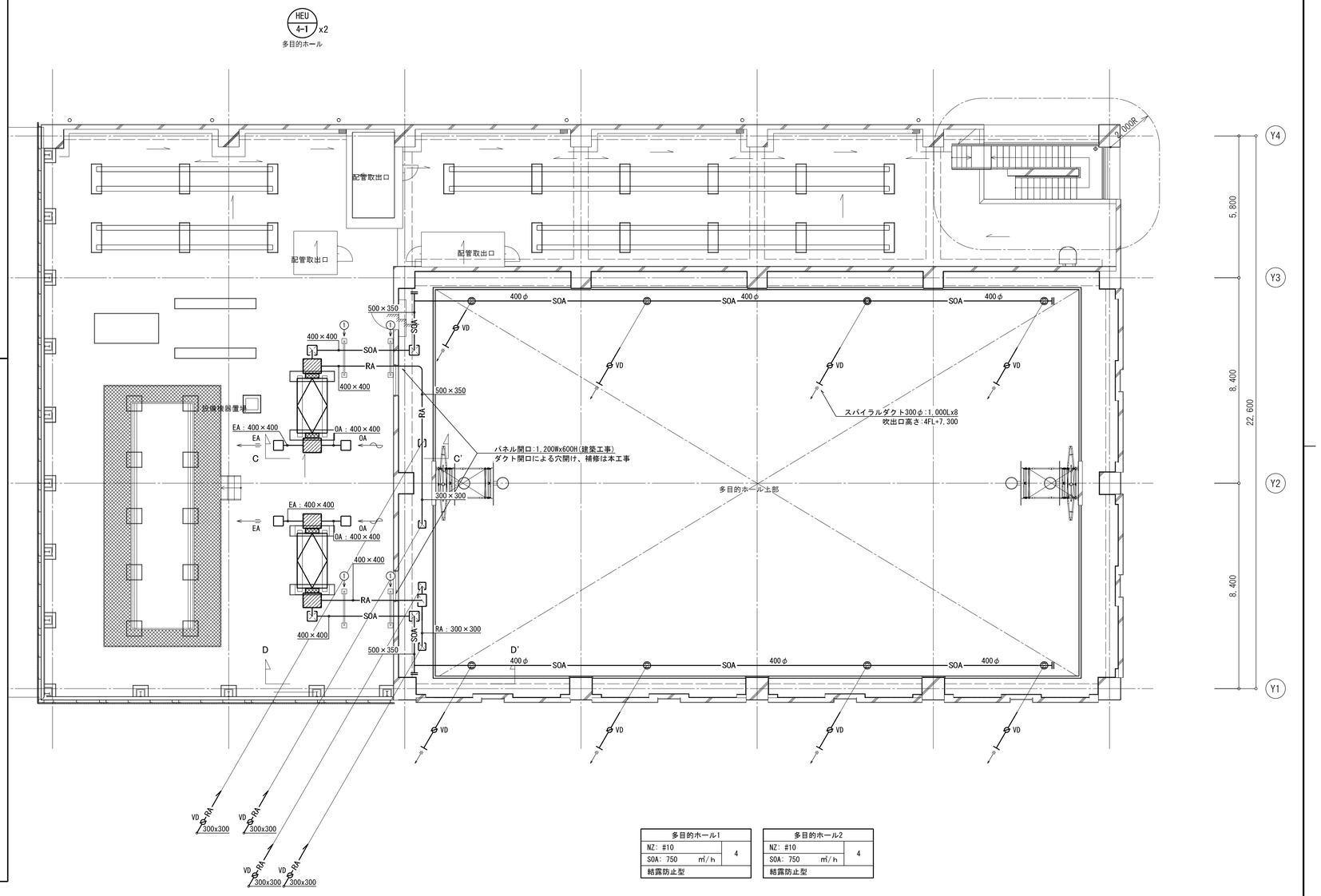
※□=□ ═ は配管架台（本工事）を示す。

架台種類	W（mm）	H（mm）	数量	備考
①	1,400	800	4	

屋外配管架台要領図　NO SCALE

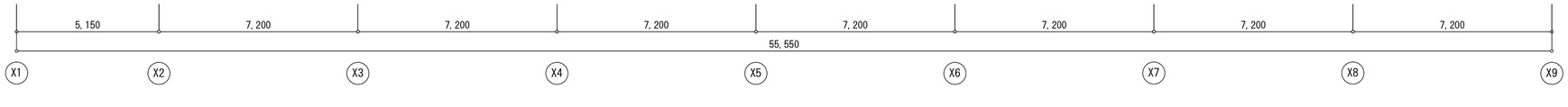
凡　例

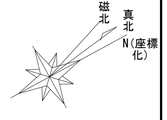
記号	名称
── OA ──	外気ダクト
── EA ──	排気ダクト
── SA ──	給気ダクト
── RA ──	還気ダクト
── SOA ──	外気処理ダクト
── PA ──	パスダクト
──⌀──	風量調整ダンパー（ＶＤ）
FD	防火ダンパー
CD	逆流防止ダンパー



多目的ホール1	
NZ：#10	4
SOA：750　㎥/h	
結露防止型	

多目的ホール2	
NZ：#10	4
SOA：750　㎥/h	
結露防止型	





ー特記・凡例ー

1．屋外ダクトはステンレス製とする。

2．──●── は風量測定口を示し、※は個数を表す。

3．ー次鉄骨は建築工事。

──·──·── 防火区画

- - -──- - - 異種用途区画

明石市政策局　プロジェクト推進室

〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号
森　雅章

〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号
設備設計一級建築士　国土交通大臣登録　第　2339号
小林　陽一

西明石地域交流センター　icotto 建設工事

D　空気調和設備工事　最終版　2025.02.28

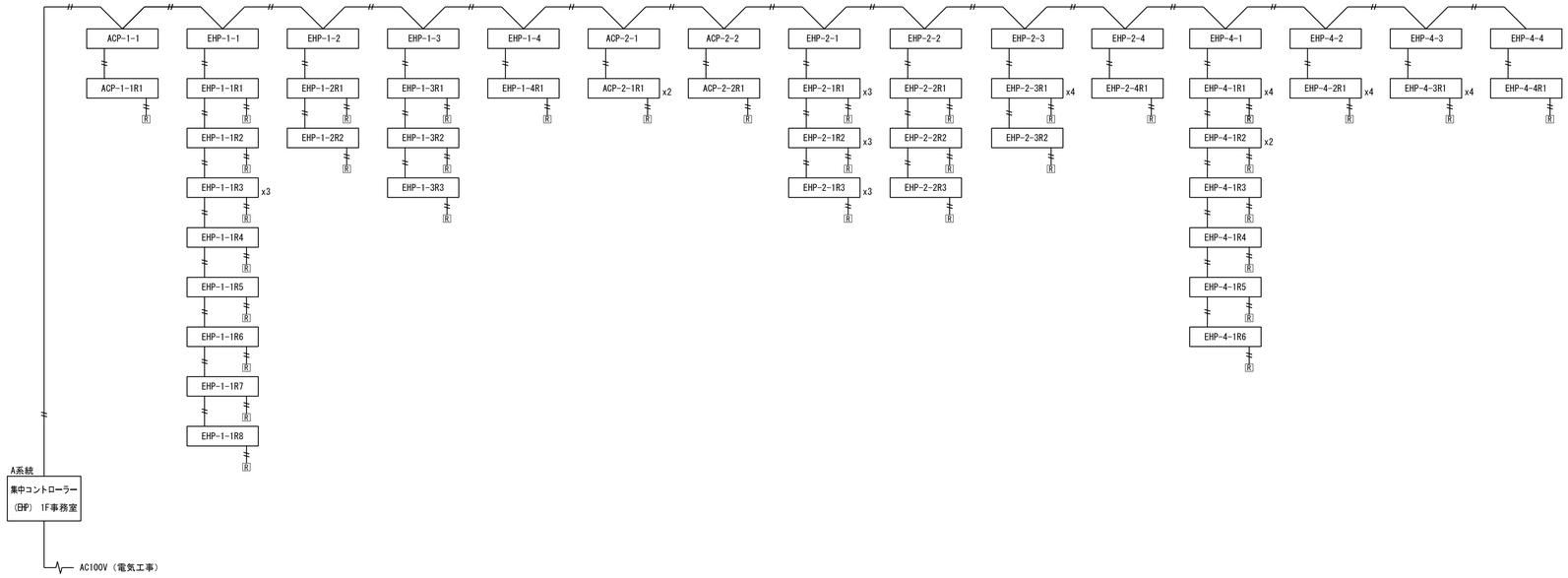
16　屋上平面図（ダクト）　1/100 (A1) 1/200 (A3)　見積版　2024.12.16

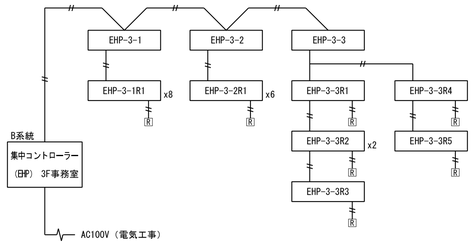
安井建築設計事務所　最終契約版

（2023年版）

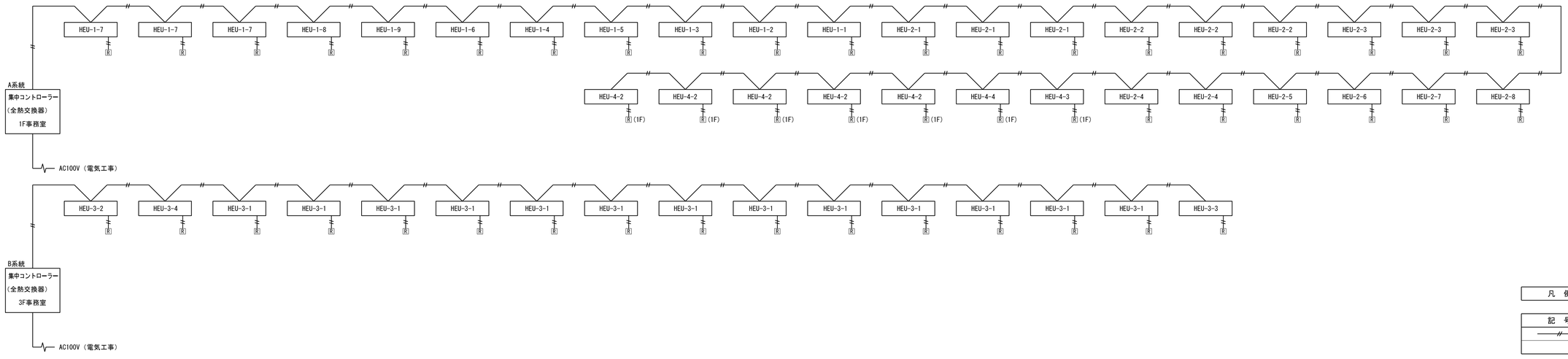
20230220

集中コントローラー制御フロー図（空調）

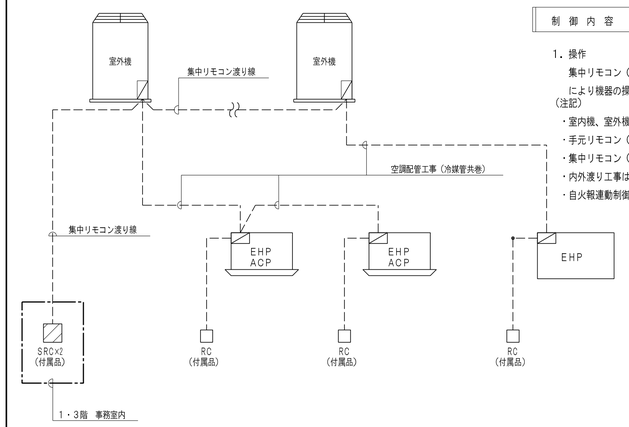




集中コントローラー制御フロー図（換気）（全熱交換器：49台）



パッケージ廻り配管配線工事（参考）

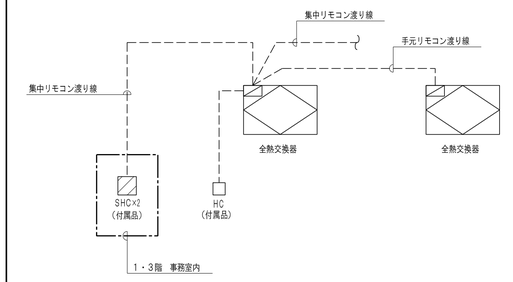


制 御 内 容

1．操作
集中リモコン（SRC）及び手元リモコン（RC）により機器の操作を行う。

（注記）
・室内機、室外機への電源送りは、電気設備工事とする。
・手元リモコン（RC）は機器付属品とする。
・集中リモコン（SRC）は機器付属品とする。
・内外渡り工事は空調設備工事（冷媒管共巻）とする。
・自火報連動制御機器については、電気設備工事と調整のこと。

全熱交換器廻り配管配線工事（参考）



制 御 内 容

1．操作
集中リモコン（SHC）及び手元リモコン（HC）により機器の操作を行う。

（注記）
・電源送りは電気設備工事とする。
・手元リモコン（HC）は機器付属品とする。
・集中リモコン（SHC）は機器付属品とする。

凡 例

記 号	名 称
——//——	リモコン線

ー特記・凡例ー

明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事
〈代表設計者〉 ー級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	D 空気調和設備工事 最終版 2025.02.28
〈設備設計者〉 ー級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計ー級建築士 国土交通大臣登録 第 2339号 小林 陽一	17 リモコン配線 計装図 －(A1) －(A3) 見積版 2024.12.16
	安井建築設計事務所 最終契約版

（2023年版）

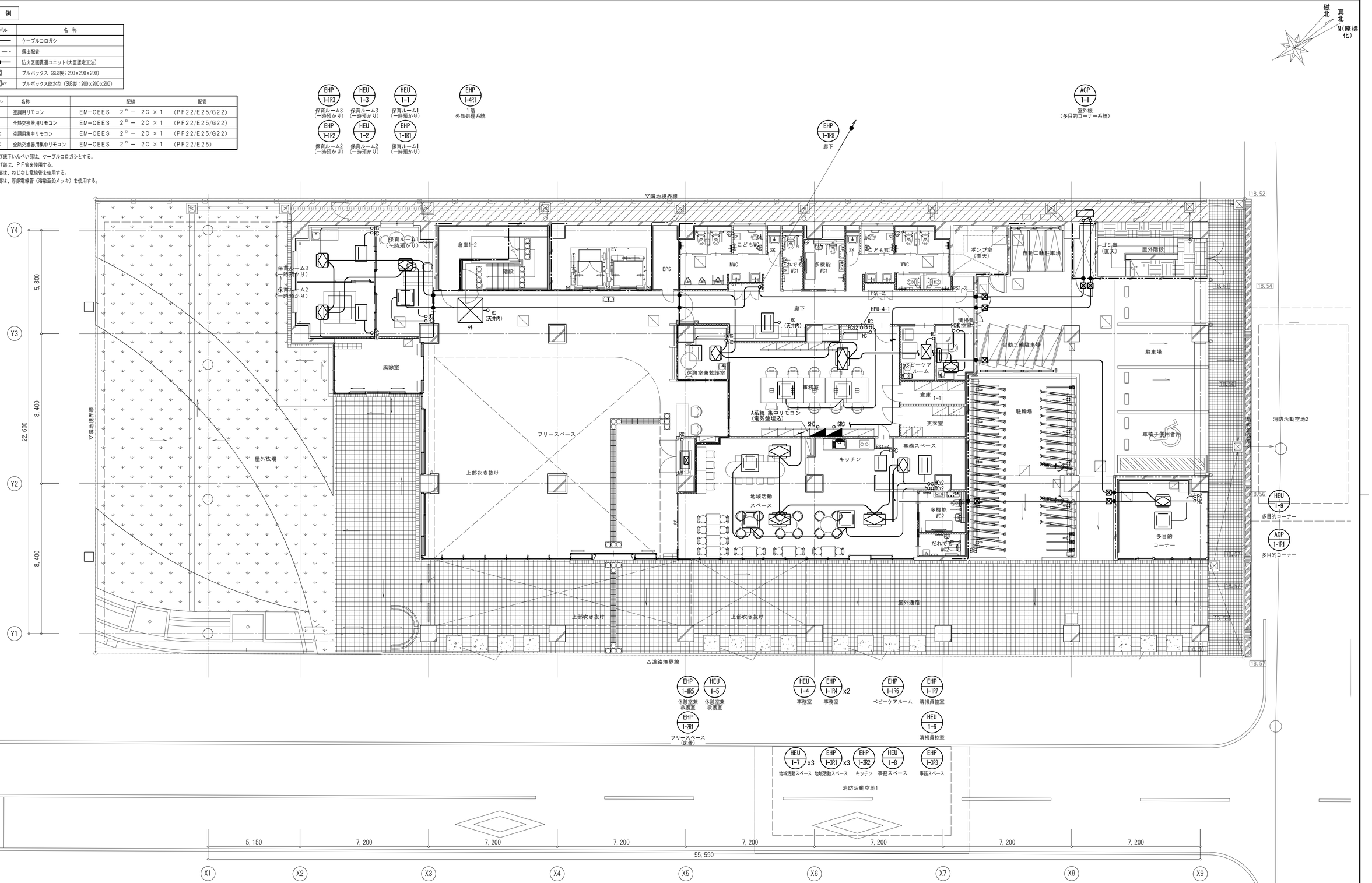
20230220

凡　例

シンボル	名　称
———	ケーブルコロガシ
ー ー ー -	露出配管
——●——	防火区画貫通ユニット(大臣認定工法)
☒	プルボックス（SUS製：200x200x200）
☒WP	プルボックス防水型（SUS製：200x200x200）

シンボル	名称	配線	配管
○RC	空調用リモコン	EM-CEES　2ᵖ－ 2C x 1	(PF22/E25/G22)
○HC	全熱交換器用リモコン	EM-CEES　2ᵖ－ 2C x 1	(PF22/E25/G22)
○SRC	空調用集中リモコン	EM-CEES　2ᵖ－ 2C x 1	(PF22/E25/G22)
○SHC	全熱交換器用集中リモコン	EM-CEES　2ᵖ－ 2C x 1	(PF22/E25)

天吊内及び床下いんぺい部は、ケーブルコロガシとする。
壁内立下げ部は、ＰＦ管を使用する。
屋内露出部は、ねじなし電線管を使用する。
屋外露出部は、厚鋼電線管（溶融亜鉛メッキ）を使用する。



ー特記・凡例ー						——●——	防火区画
						---●---	異種用途区画

明石市政策局　プロジェクト推進室

〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号
森　雅章

〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号
設備設計一級建築士　国土交通大臣登録　第　2339号
小林　陽一

西明石地域交流センター icotto 建設工事

D　空気調和設備工事　リモコン配線　1/100(A1) 1/200(A3)　最終版　2025. 02. 28

18　1階平面図　見積版　2024. 12. 16

安井建築設計事務所　最終契約版

（2023年版）

20230220

凡　例

シンボル	名　称
———	ケーブルコロガシ
ー ー ー -	露出配管
——●——	防火区画貫通ユニット（大臣認定工法）
☒	プルボックス（SUS製：200x200x200）
☒WP	プルボックス防水型（SUS製：200x200x200）

シンボル	名称	配線	配管
○RC	空調用リモコン	EM-CEES　2□－　2C×1	(PF22/E25/G22)
○HC	全熱交換器用リモコン	EM-CEES　2□－　2C×1	(PF22/E25/G22)
○SRC	空調用集中リモコン	EM-CEES　2□－　2C×1	(PF22/E25/G22)
○SHC	全熱交換器用集中リモコン	EM-CEES　2□－　2C×1	(PF22/E25)

天吊内及び床下いんぺい部は、ケーブルコロガシとする。
壁内立下げ部は、ＰＦ管を使用する。
屋内露出部は、ねじなし電線管を使用する。
屋外露出部は、厚鋼電線管（溶融亜鉛メッキ）を使用する。

磁北　真北　N（座標化）

EHP 2-3R2 ベビーケアルーム
EHP 2-3R1 x3 フリースペース・廊下系統
EHP 1-2R2 フリースペース（天埋）
HEU 2-4 x2 多目的室4
ACP 2-1R1 x2 多目的室4
HEU 2-5 会議室1
EHP 2-2R1 会議室1
HEU 2-6 会議室2
EHP 2-2R2 会議室2
HEU 2-7 会議室3
EHP 2-2R3 会議室3

Y4 Y3 Y2 Y1
5,800 8,400 8,400 22,600

テラス　階段　EV　EPS　MWC　こども WC　SK　だれでも WC　多機能 WC　WWC　ベビーケアルーム　倉庫2-1　屋外階段　倉庫2-2
RC（天井内）　SS　RS3-1　RS2-2　RS2-3
上部吹き抜け　吹き抜け　フリースペース　廊下　外
多目的室4　会議室1　会議室2　会議室3　スタジオ　移動間仕切り
HCHC　RDx3
多目的室1　多目的室2　多目的室3

HEU 2-8 スタジオ
ACP 2-3R1 スタジオ
EHP 2-3R1 フリースペース・廊下系統

EHP 2-4R1 2階外気処理系統
HEU 2-1 x3 EHP 2-1R1 x3 多目的室1
HEU 2-2 x3 EHP 2-1R2 x3 多目的室2
HEU 2-3 x3 EHP 2-1R3 x3 多目的室3

5,150　7,200　7,200　7,200　7,200　7,200　7,200　7,200
55,550
X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9

ー特記・凡例ー

——●——	防火区画
---●---	異種用途区画

明石市政策局　プロジェクト推進室

〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号
森　雅章
〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号
設備設計一級建築士　国土交通大臣登録　第　2339号
小林　陽一

西明石地域交流センター　icotto　建設工事

D　空気調和設備工事
19　リモコン配線
２階平面図
1/100 (A1)
1/200 (A3)

安井建築設計事務所

最終版	2025. 02. 28	
見積版	2024. 12. 16	
最終契約版		

（2023年版）

20230220

凡　例

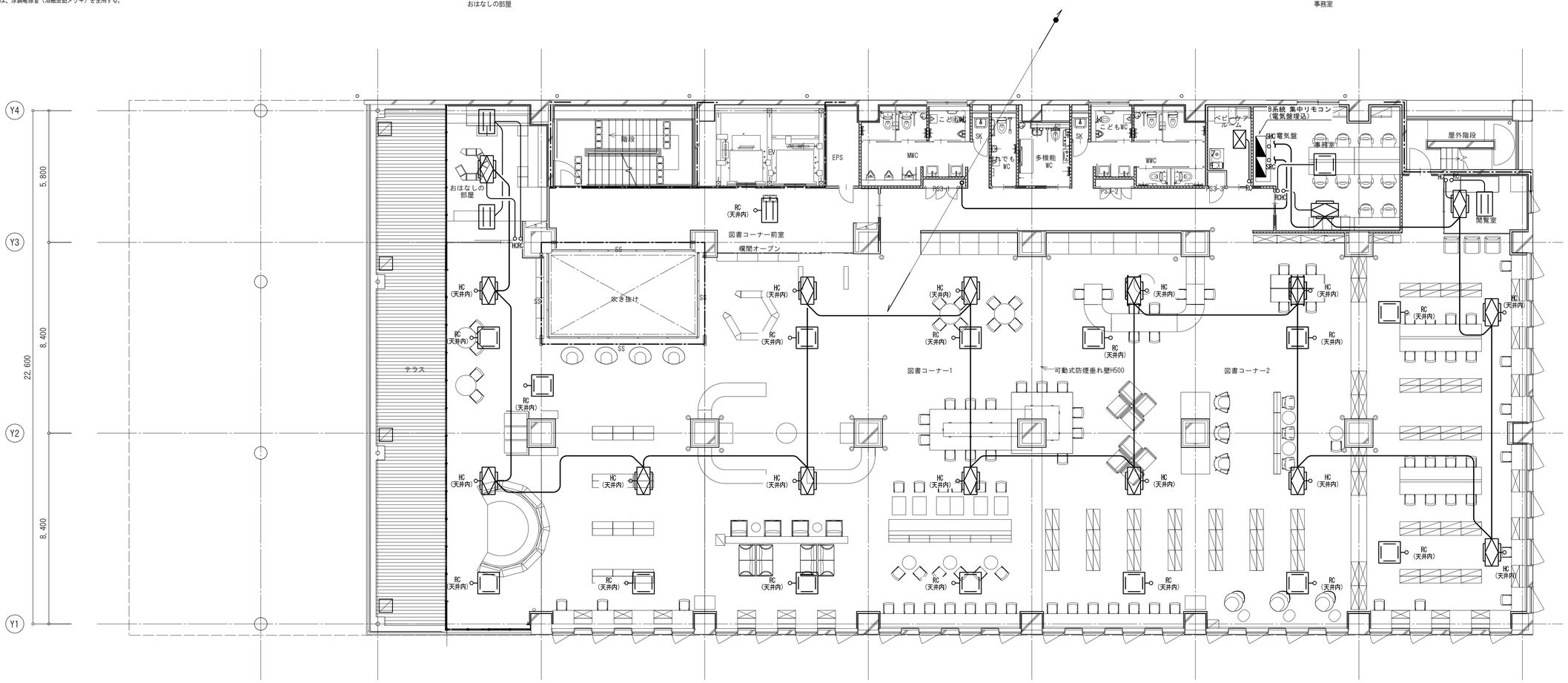
シンボル	名　称
———	ケーブルコロガシ
ー ー ー -	露出配管
——●——	防火区画貫通ユニット(大臣認定工法)
☒	プルボックス（SUS製：200x200x200）
☒WP	プルボックス防水型（SUS製：200x200x200）

シンボル	名称	配線	配管
○RC	空調用リモコン	EM-CEES　2ᵖ－　2C　x1	(PF22/E25/G22)
○HC	全熱交換器用リモコン	EM-CEES　2ᵖ－　2C　x1	(PF22/E25/G22)
○SRC	空調用集中リモコン	EM-CEES　2ᵖ－　2C　x1	(PF22/E25/G22)
○SHC	全熱交換器用集中リモコン	EM-CEES　2ᵖ－　2C　x1	(PF22/E25)

天吊内及び床下いんぺい部は、ケーブルコロガシとする。
壁内立下げ部は、ＰＦ管を使用する。
屋内露出部は、ねじなし電線管を使用する。
屋外露出部は、厚鋼電線管（溶融亜鉛メッキ）を使用する。

磁北　真北　N(座標化)

EHP 3-3R2 x2　おはなしの部屋
EHP 3-3R1　図書コーナー前室
EHP 3-3R5　ベビーケアルーム
EHP 3-3R4　事務室
HEU 3-3　おはなしの部屋
HEU 3-2　事務室



ー特記・凡例ー						——·——·——	防火区画
						---·---·---	異種用途区画

明石市政策局　プロジェクト推進室

〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号
森　雅章
〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号
設備設計一級建築士　国土交通大臣登録　第　2339号
小林　陽一

西明石地域交流センター　icotto 建設工事

D	空気調和設備工事		最終版	2025. 02. 28
20	リモコン配線 ３階平面図	1/100 (A1) 1/200 (A3)	見積版	2024. 12. 16
	安井建築設計事務所		最終契約版	

（2023年版）

20230220

凡　例

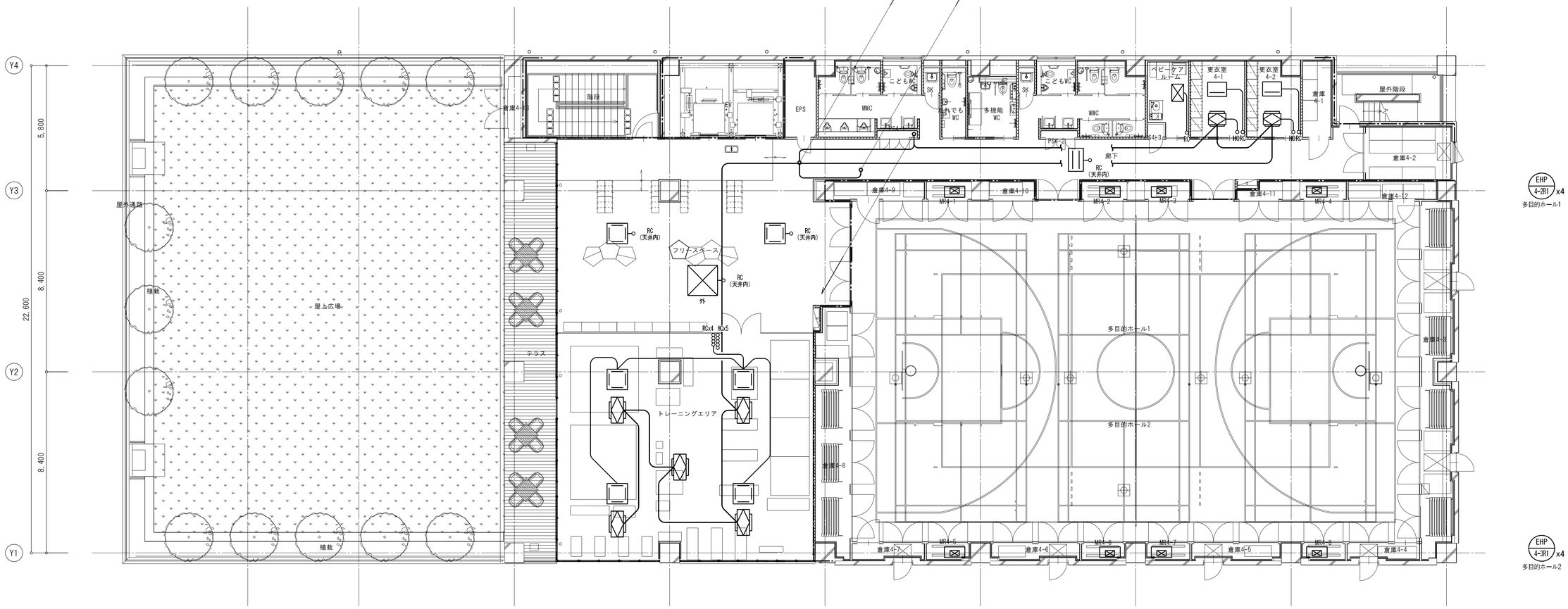
シンボル	名　称
———	ケーブルコロガシ
ー ー ー -	露出配管
——●——	防火区画貫通ユニット（大臣認定工法）
☒	プルボックス（SUS製：200x200x200）
☒WP	プルボックス防水型（SUS製：200x200x200）

シンボル	名称	配線	配管
○RC	空調用リモコン	EM-CEES　2□－ 2C x 1	(PF22/E25/G22)
○HC	全熱交換器用リモコン	EM-CEES　2□－ 2C x 1	(PF22/E25/G22)
○SRC	空調用集中リモコン	EM-CEES　2□－ 2C x 1	(PF22/E25/G22)
○SHC	全熱交換器用集中リモコン	EM-CEES　2□－ 2C x 1	(PF22/E25)

天吊内及び床下いんぺい部は、ケーブルコロガシとする。
壁内立下げ部は、ＰＦ管を使用する。
屋内露出部は、ねじなし電線管を使用する。
屋外露出部は、厚鋼電線管（溶融亜鉛メッキ）を使用する。

磁北　真北　N（座標北）

EHP 4-1R2 x2 フリースペース
EHP 4-4R1 4階外気処理系統
EHP 4-1R6 廊下
EHP 4-1R3 ベビーケアルーム
EHP 4-1R4 更衣室4-1
EHP 4-1R5 更衣室4-2
HEU 4-3 更衣室4-1
HEU 4-4 更衣室4-2



ー特記・凡例ー

——·——·——	防火区画
----——----	異種用途区画

明石市政策局　プロジェクト推進室

〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号
森　雅章

〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号
設備設計一級建築士　国土交通大臣登録　第　2339号
小林　陽一

西明石地域交流センター icotto 建設工事

D	空気調和設備工事		最終版	2025. 02. 28
21	リモコン配線 4階平面図	1/100 (A1) 1/200 (A3)	見積版	2024. 12. 16
	安井建築設計事務所		最終契約版	

20230220

（2023年版）

凡　例

シンボル	名　称
———	ケーブルコロガシ
ー ー ー -	露出配管
——●——	防火区画貫通ユニット(大臣認定工法)
☒	プルボックス（SUS製：200x200x200）
☒WP	プルボックス防水型（SUS製：200x200x200）

シンボル	名称	配線	配管
○RC	空調用リモコン	EM-CEES　2□－ 2C x 1	(PF22/E25/G22)
○HC	全熱交換器用リモコン	EM-CEES　2□－ 2C x 1	(PF22/E25/G22)
○SRC	空調用集中リモコン	EM-CEES　2□－ 2C x 1	(PF22/E25/G22)
○SHC	全熱交換器用集中リモコン	EM-CEES　2□－ 2C x 1	(PF22/E25)

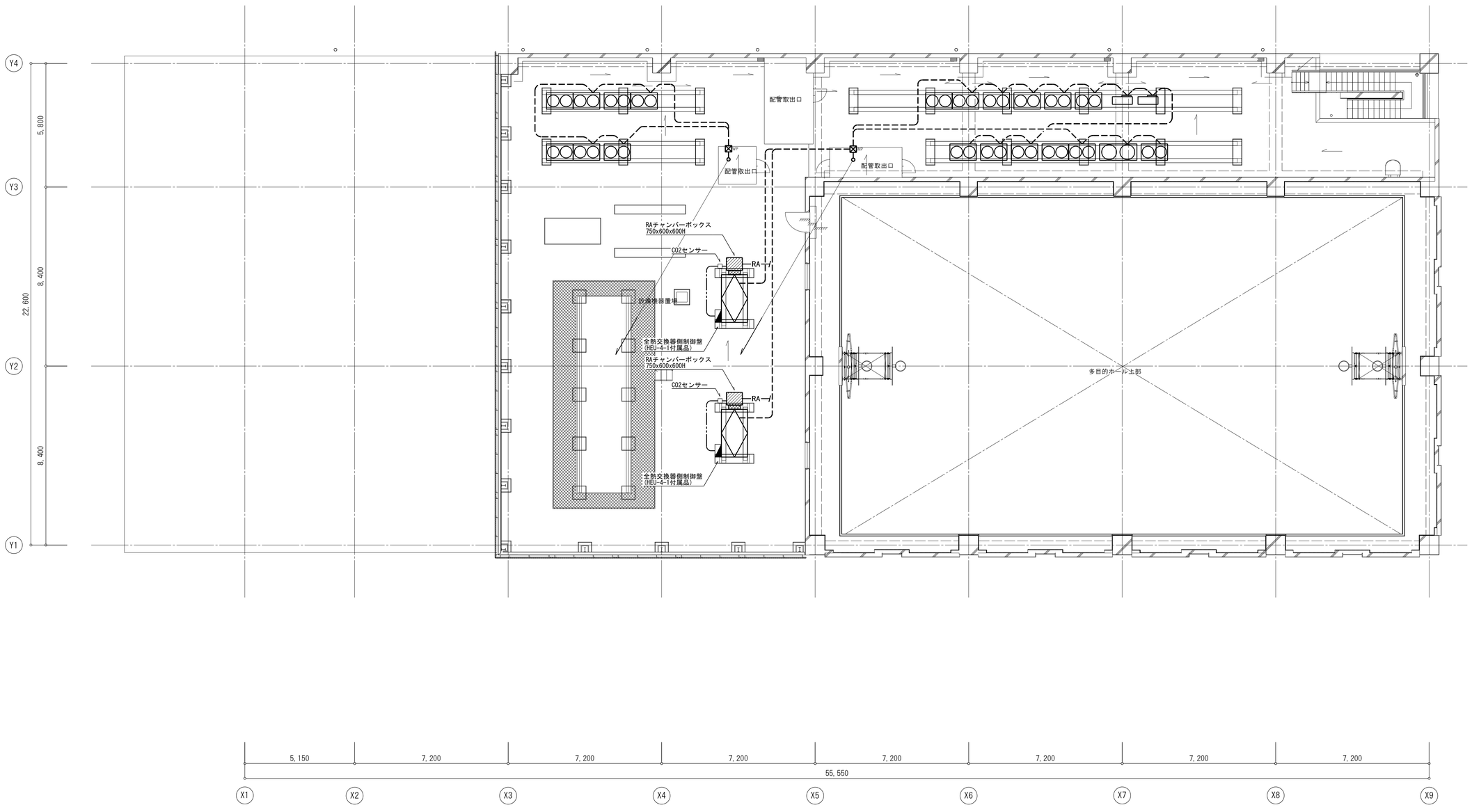
天吊内及び床下いんぺい部は、ケーブルコロガシとする。
壁内立下げ部は、ＰＦ管を使用する。
屋内露出部は、ねじなし電線管を使用する。
屋外露出部は、厚鋼電線管（溶融亜鉛メッキ）を使用する。

EHP 4-1 トレーニングエリア・更衣室系統
EHP 4-2 多目的ホールA系統
EHP 4-3 多目的ホールB系統
EHP 4-4 4階外気処理系統

EHP 2-1 多目的室系統
EHP 2-2 会議室系統
EHP 2-3 フリースペース系統
EHP 2-4 2階外気処理系統
EHP 1-4 1階外気処理系統
ACP 2-1 多目的室4系統
ACP 2-2 スタジオ系統
EHP 1-1 保育ルーム系統
EHP 1-2 フリースペース系統
EHP 1-3 地域活動スペース系統
EHP 3-1 図書コーナーA系統
EHP 3-2 図書コーナーB系統
EHP 3-3 閲覧室・事務エリア系統

磁北　真北　N(座標化)

HEU 4-1 x2
多目的ホール



ー特記・凡例ー						——●——	防火区画
						---●---	異種用途区画

明石市政策局　プロジェクト推進室

〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号
森　雅章

〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号
設備設計一級建築士　国土交通大臣登録　第　2339号
小林　陽一

西明石地域交流センター　icotto　建設工事

D
22

空気調和設備工事
リモコン配線
屋上平面図

1/100(A1)
1/200(A3)

最終版　2025. 02. 28
見積版　2024. 12. 16
最終契約版

安井建築設計事務所

（2023年版）

20230220

凡例

記号	名　　称	備　　考
PAS	高圧引込負荷開閉器	
H.H	ハンドホール	
WP	プルボックス　防水型	
	配管支持架台	
	埋設標	
―・―	地中埋設	
------	露出配管	
	配管配線　立上り　立下げ	
	接地極（E_A E_B E_D E_{DELB} ）	

注記

1. 地中埋設配管部には埋設表示シートを敷設すること。
2. ハンドホールの仕様は下記による。
   H.H：H1-9, RB2K-60
3. 地中埋設配管の埋設深さは、GL-600とする。
4. プルボックスのサイズ・仕様は下記による。
   664　：　SS600×600×400
   995　：　SS900×900×500
   662WP：　SS600×600×200WP-SUS　（ピット内設置）
   664WP：　SS600×600×400WP-SUS
   995WP：　SS900×900×500WP-SUS

A

6kV　EM-CET38°（E-E型）(G104)		高圧引込
―0―	(G104)	予備
EM-CEE3.5°-10C	(G54)	制御線
EM-CEES3.5°-3C		

B（1階EPS内露出配管）

6kV　EM-CET38°（E-E型）(G104)		高圧引込
―0―	(G104)	予備
EM-CEE3.5°-10C	(E54)	制御線
EM-CEES3.5°-3C		

C（ピット内敷設）

EM-1E100°		接地
EM-1E150°	(VE54)	
EM-1E60° x3		
EM-1E14° x2	(VE54)	
EM-1E5.5° x2		

イ

―0―	(G54) ×2	電話
―0―	(G54) ×3	通信
―0―	(G54) ×1	CATV
―0―	(G54) ×1	予備

ロ（1階EPS内露出配管）

―0―	(E51) ×2	電話
―0―	(E51) ×3	通信
―0―	(E51) ×1	予備

ハ

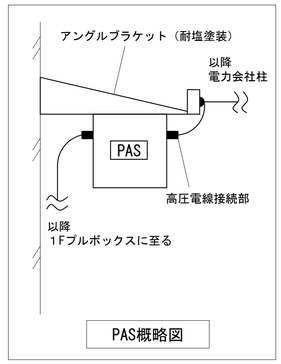
―0―	(E51) ×1	CATV

ニ

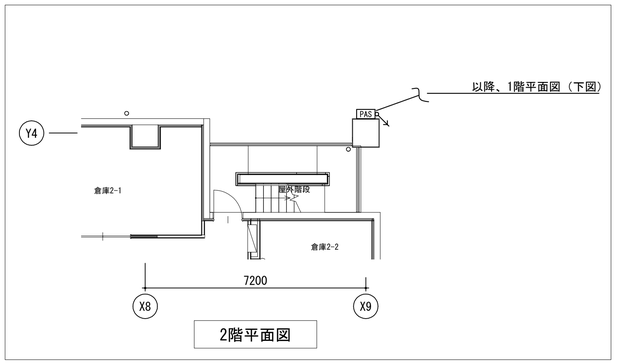
―0―	(VE54) ×2	電話
―0―	(VE54) ×1	予備

ホ

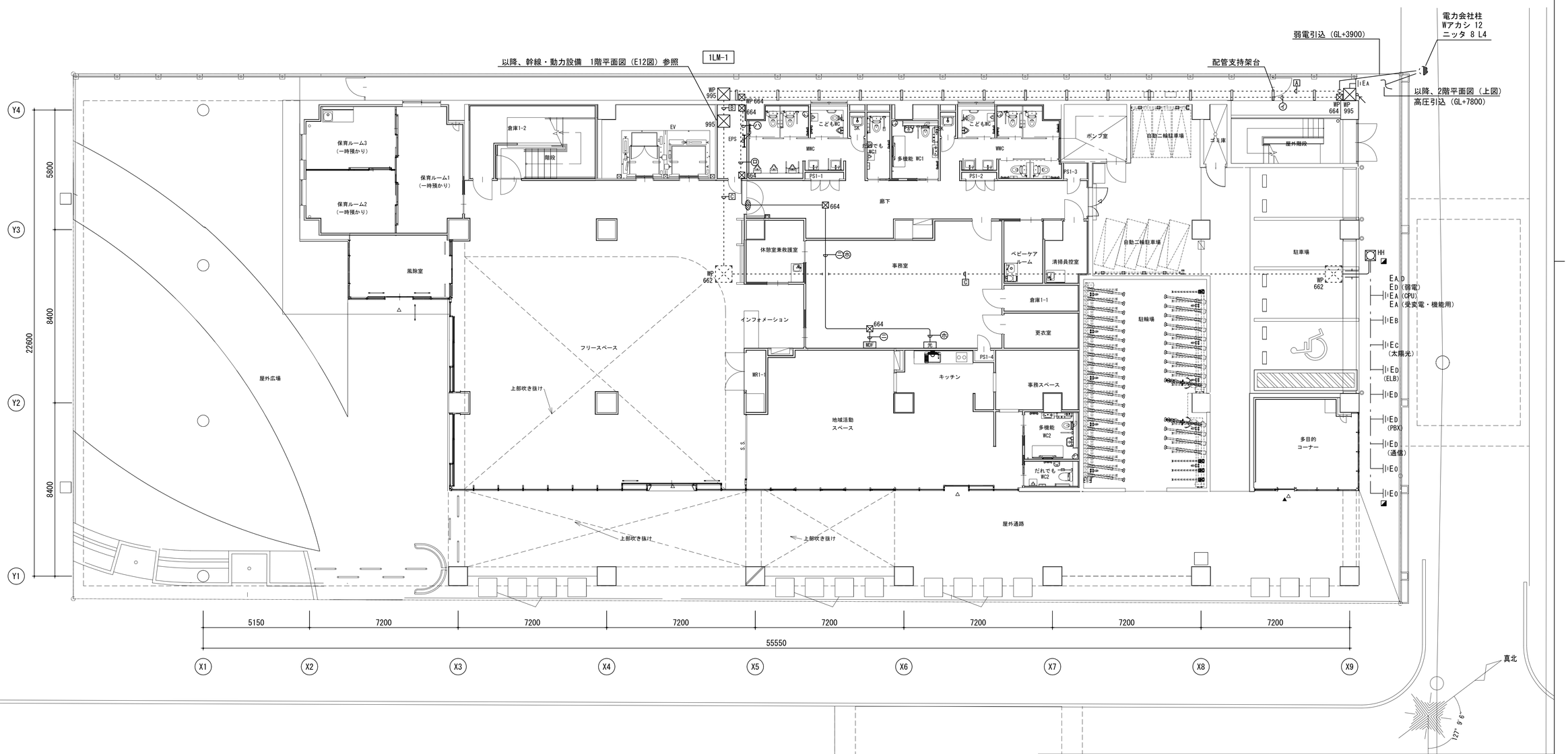
―0―	(VE54) ×3	通信



PAS概略図



2階平面図



明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto　建設工事	
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	E	電気設備工事　最終版　2025. 02. 28
〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計1一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	01	配置図　A1 1:100　A3 1:200　見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所　最終契約版

（2023年版）

20230220

1　受変電設備単線結線図　－

凡例

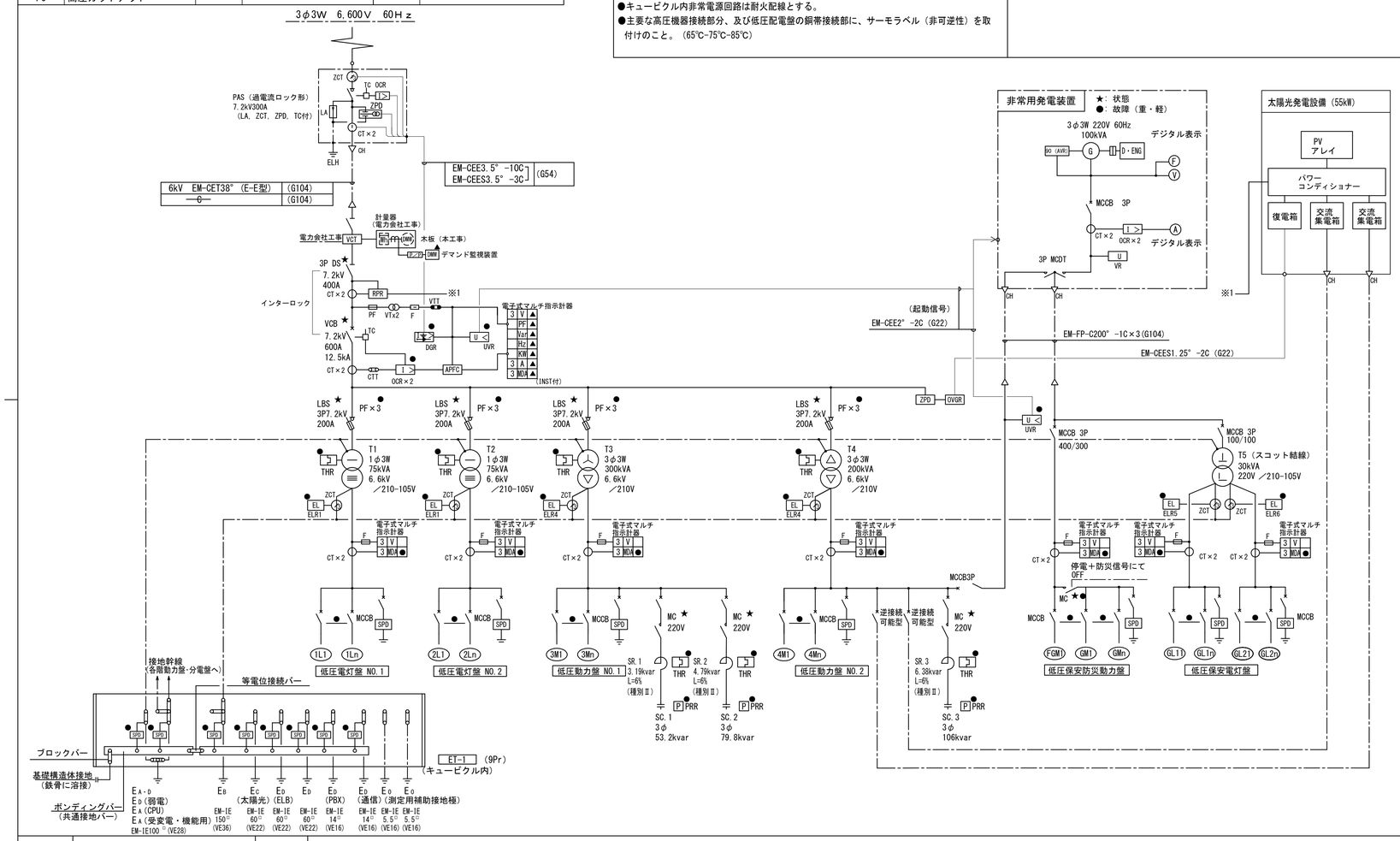
記　号	名　称	記　号	名　称	記　号	名　称
CH	ケーブルヘッド	PF	限流ヒューズ	A	電流計（電子式マルチ指示計器）
G	発電機	LBS	高圧負荷開閉器	V	電圧計（電子式マルチ指示計器）
T	油入変圧器（トップランナー2026対応）	VS	高圧真空開閉器	kW	電力計（電子式マルチ指示計器）
VT	計器用変圧器	DS	断路器	PF	力率計（電子式マルチ指示計器）
CT	変流器	FDS	断路型限流ヒューズ	Var	無効電力量子式マルチ指示計器）
VCT	計器用変圧変流器	VMC	高圧真空電磁接触器	Hz	周波数計量子式マルチ指示計器）
ZCT	零相変流器	PAS	高圧引込用気中開閉器（架空引込）	MDA	最大需要電流計（警報接点付）
ZPD	コンデンサ形零相基準入力装置	UAS	高圧引込用気中開閉器（地中引込）		（電子式マルチ指示計器）
APFC	自動力率制御装置	⏚	接地（種類は付記）	MDW	最大需要電力計
SC	電力用コンデンサ	OCR	過電流継電器	Ⓗ	高周波計
SR	直列リアクトル	DGR	地絡方向継電器	Ⓐ	電流計
LA	避雷器	UVR	不足電圧継電器	Ⓥ	電圧計
SPD	サージ防護デバイス	ELR	漏電継電器	Ⓦ	電力計
MCDT	双投形電磁接触器	THR	熱動継電器	Ⓕ	周波数計
MC	電磁接触器	PRR	圧力継電器	VS	電圧計切換スイッチ
F	ヒューズ	OVGR	地絡過電圧継電器	AS	電流計切換スイッチ
VCB	真空遮断器	Wh	電力量計（無検定）	VTT	試験用電圧端子
MCCB	配線用遮断器	Wh	電力量計（検定付）	CTT	試験用電流端子
PC	高圧カットアウト				

特記事項

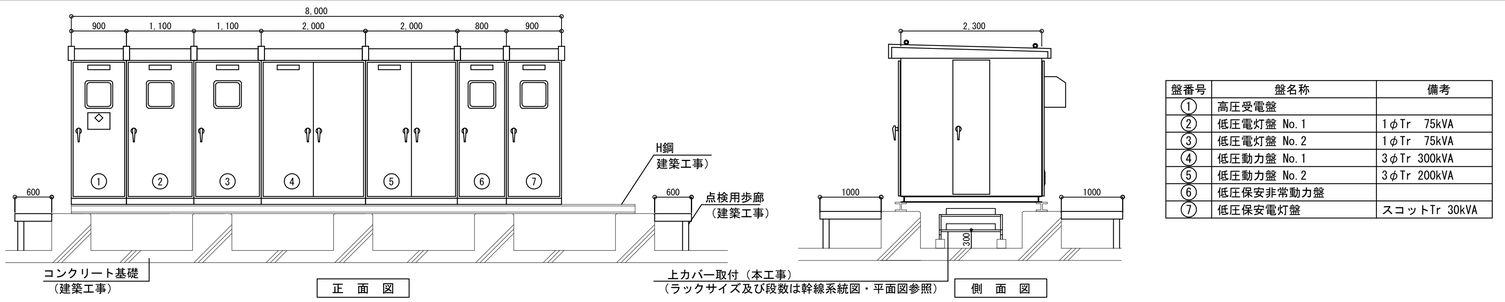
- 図中、下記印は監視内容をあらわす。但し、MDA、MCCBトリップ及びSC・SRは、各々一括警報とする。
  ●：警報　★：状態　▲：計測
- ●VCBは、（●手動バネ操作　○電動バネ操作）とする。
- ●LBS（PF付）は、欠相保護装置付（ストライカー付）とする。
- ●停電後の復電時における変圧器励磁突入電流に対する過電流保護協調を行うこと。
- ●VT、CTは、全て回路条件を満足すること。
- ●制御電源系統は、（●1系統　○商用電源系・非常電源系の2系統　○高圧フィーダー盤毎）に分けること。
- ●低圧配線用遮断器（MCCB）はトリップ接点付とし、トリップ表示は盤面に各盤一括にて表示のこと。
- ●MCCBには用途・定格表示を行うこと。また、225AF以上の予備回路MCCBは、可変トリップ容量型とすること。
- ●サージ防護デバイスを接地端子盤に組込み函体に接続し、落雷時には共用接地に切替えるものとする。
- ●表示ランプは、全てLEDとすること。
- ●変圧器に　○標準棒温度計　●ダイヤル温度計（警報接点付及び置き針付）を見えやすい位置に取付けること。
- ●変圧器2次側母線バー接続部は、フレキシブル銅帯を使用すること。
- ●キュービクル内非常電源回路は耐火配線とする。
- ●主要な高圧機器接続部分、及び低圧配電盤の銅帯接続部に、サーモラベル（非可逆性）を取付けのこと。（65℃-75℃-85℃）

○配電盤内ＷＨが読める様、検視窓を設けること。
- ●キュービクル内通路及び扉内面には、扉と連動（リミットスイッチ）する内部照明を取付けること。
- ●盤内保守用コンセント付（2P15AEf×2）を2か所以上設けること。
- ●換気ファンは、ステンレス防鳥網付とすること。
- ●給排気ガラリ等、キュービクル開口部には、雨水の吹込み防止並びに防塵対策を施すこと。
- ●防鼠及び小動物進入防止対策を施すこと。
- ●扉のストッパーは、自動ストッパーとすること。
- ●試験端子および計器類は、盤前面に設置すること。

○将来増設スペースとして（○1φTR　100kVA　○3φTR 300kVA）相当を確保のこと。
- ●PF管を除き、高圧配管は指定色塗装とする。
- ●ヒューズの予備品として制御用Ffは5%、電力用PFは、種別ごとに1セットを納入すること。
- ●変圧器には防振ゴム組み込みのこと。
- ●電力ヒューズは種別毎に最低1セット以上予備品として納品すること。
- ●機器の納入仕様書に耐震計算書を添付のこと。
- ●盤内機器内配線及びケーブルはEM電線及びEMケーブルを使用のこと。
- ●変圧器二次側に設置サージ保護デバイスの仕様は下記とする。
  JISC5381低圧用SPDクラスⅠ・50kVA(10/350μs)
- ●キュービクルは耐塩塗装とする。



2　屋外キュービクル姿図　－



盤番号	盤名称	備考
①	高圧受電盤	
②	低圧電灯盤 No.1	1φTr　75kVA
③	低圧電灯盤 No.2	1φTr　75kVA
④	低圧動力盤 No.1	3φTr 300kVA
⑤	低圧動力盤 No.2	3φTr 200kVA
⑥	低圧保安非常動力盤	
⑦	低圧保安電灯盤	スコットTr 30kVA

3　配電盤・幹線リスト　－

TR.	幹線番号	MCCB P	MCCB AF	MCCB AT	幹線系統	負荷名称	幹線種別・サイズ	負荷容量 (kVA)	備　考
								(kVA)	
T1 1φ3W 210/105V 75kVA （低圧電灯盤 NO.1）	1L1	3	225	175		1LM-1	EM-CET100° E14° x2 (G82)	27.7	
	1L2	3	50	30		1L-2	EM-CET14° E5.5° x2 (E31)	3.0	
	1L3	3	100	75		1L-3	EM-CET38° E5.5° x2 (E51)	9.5	
	1L4	3	100	75		1L-4	EM-CET38° E5.5° x2 (E51)	10.0	
	1L5	3	225	125		2LM-1	EM-CET60° E8° x2 (E75)	22.1	
		3	225	225		予備			
		3	225	225		予備			
						SPD（クラスⅠ）			
							計	72.3	
								(kVA)	
T2 1φ3W 210/105V 75kVA （低圧電灯盤 NO.2）	2L1	3	400	300		3LM-1	EM-CET200° E22° x2 (G104)	52.0	
	2L2	3	225	150		4LM-1	EM-CET60° E8° x2 (G82)	24.7	
		3	225	225		予備			
		3	225	225		予備			
						SPD（クラスⅠ）			
							計	76.7	
								(kW)	
T3 3φ3W 210V 300kVA （低圧動力盤 NO.1）	3M1	3	50	50		EM-CET14° (E39)		3.51	
						2LM-1	EM-CE8° -3C (E31)	2.65	
						1LM-1	EM-CE8° -3C (E31)	0.86	
	3M2	3	100	100		EM-CET22° (E51)		5.98	
						4LM-1	EM-CE8° -3C (E31)	1.84	
						3LM-1	EM-CET14° (E39)	4.14	
	3M3	3	400	300		RM-1	EM-CET150° E22° x2 (G92)	39.3	
	3M4	3	400	250		RM-1	EM-CET150° (G82)	45.0	
	3M5	3	400	350		RM-2	EM-CET200° E22° x2 (G104)	64.5	
		3	225	225		予備		-	
		3	225	225		予備		-	
						SPD（クラスⅠ）			
							計	158.29	
								(kVA)	
T4 3φ3W 210V 200kVA （低圧動力盤 NO.2）	4M1	3	50	30		EV-1	EM-CET14° E5.5° x2 (E39)	6.0	
	4M2	3	50	40		EV-2	EM-CET14° E5.5° x2 (E39)	7.0	
	4M3	3	400	350		保安防災動力盤 スコットトランス		30.19kW 30.0kVA	
		3	225	225		予備		-	
		3	225	225		予備		-	
								(kW)	
	太1	3	225	125		太陽光 交流集合箱1	EM-CET100° E8° (G82)	30.0	逆接続可能型
	太2	3	225	125		太陽光 交流集合箱2	EM-CET100° E8° (G82)	30.0	逆接続可能型
						SPD（クラスⅠ）			
							計	90.19kW 43.0kVA	
								(kW)	
（低圧保安防災動力盤）	GM1	3	225	175		RM-1	EM-CET100° (G70)	21.69	
	GM2	3	50	30		PU-1	EM-CET14° E5.5° x2 (E39)	3.0	給水ポンプユニット
	FGM1	3	100	100		PFU-1	EM-FP-C-T14° E5.5° x2 (E39)	5.5	屋内消火栓消火ポンプユニット
						SPD（クラスⅠ）			
							計	30.19	
								(kVA)	
T5 220V/ 210-105V 30kVA （スコットトランス）	GL11	3	100	75		1LM-1	EM-CET22° (E51)	10.6	
	GL12	3	50	30		1L-3	EM-CET14° (E39)	3.7	
		3	100	100		予備		-	
						SPD（クラスⅠ）			
							小計	14.3	
								(kVA)	
	GL21	3	50	50		2LM-1	EM-CET22° (E51)	7.4	
	GL22	3	50	30		3LM-1	EM-CE8° -3C (E31)	1.7	
	GL23	2	50	20		LGR	EM-CE5.5° -2C (E25)	0.5	
	GL24	2	50	20		所内電源	EM-CE5.5° -2C (E25)	1.0	
		3	100	100		予備		-	
						SPD（クラスⅠ）			
							小計	10.6	
							計	24.9	

註記）1．予備ブレーカー（225AF以上）のトリップ容量（AT）は可変型とする。
2．ケーブルラック外は配管にてケーブル保護とする。

明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章 〈設備設計者〉 一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	E	電気設備工事	最終版　2025. 02. 28
	02	受変電設備単線結線図 配電盤・幹線リスト　N. S	見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

20230220

1 機器仕様

1. 一般事項
1-1 種　類
日本内燃力発電設備協会の認定する40秒始動、長時間形(定格:1時間超)
キュービクル式(日本内燃力発電設備協会発行の消防認定証票付とする)

1-2 適用規格
(a)日本産業規格(JIS)　(d)電気設備技術基準
(b)日本電気規格調査会標準規格(JEC)　(e)消防法
(c)日本電機工業会標準規格(JEM)

1-3 使用条件
設置場所 地上R階(屋上)
温　　度 -5℃～40℃
湿　　度 85%RH以下
騒　　音 機側1mで約75dB(A)以下(4方向平均値)(防音パッケージ内蔵形)

2. 機器構成

発電機	1台
ディーゼル機関及び付属機器	1式
防音パッケージ	1基
発電機盤	1面
始動用蓄電池設備	1式
燃料小出槽	1基

(1)発電機

台　　数	1台
形　　式	横軸回転界磁形単相交流同期発電機
定格出力	100kVA以上
出力電圧	220V
周 波 数	60Hz
定格力率	80%
回 転 数	1800min^{-1}
相　　数	3相 3線
極　　数	4極
励磁方式	ブラシレス方式
耐熱クラス	発電機　電機子:155(F)　界磁:180(H) 励磁機　電機子:155(F)　界磁:155(F)
定　　格	連続
保護方式	保護形(IP20)
冷却方式	自由通流形(1C01)
電圧変動率	瞬時-30%以内 整定±3.0%以内
逆相電流	15%以内
塗 装 色	耐塩塗装

(2)ディーゼル機関

台　　数	1台
形　　式	立形直列水冷4サイクルディーゼル機関
出　　力	100kW以上
回 転 数	1800min^{-1}
燃　　料	A重油
燃料消費量	26.2L/h+裕度5%以下
燃料方式	別置タンク方式(1950L)
始動方式	電気式(セルモータ式)
始動時間	40秒以内
冷却方式	ラジエータ冷却方式 ラジエータ風量:140m^3/min
冷却水量	22L
潤滑油量	18L(全量)/8L(有効)
防振装置	ゴム防振
速度整定率	5%以内
瞬時速度変動率	10%以内
塗 装 色	耐塩塗装

(3)防音パッケージ

台　　数	1基
形　　式	吸音遮蔽式
構　　造	鋼板製溶接構造
搭載機器	排気消音器
性　　能	機側1mで約75dB(A)以下 4方向エネルギー平均値※半自由音場下による
塗 装 色	塩害耐熱塗装

(4)発電機盤

台　　数	1面
形　　式	鋼板製閉鎖形(搭載盤)
遮 断 器	1-MCCB
操作方式	自動及び手動操作方式
制御電源	DC24V電源(始動用蓄電池より供給)
保守機能	7日又は14日毎に自動で無負荷運転を行うための自動保守運転回路を付帯すること
充 電 器	
型　　式	自動充電式
入力電圧	単相・200V・60Hz
出力電源	DC24V
予 備 品	ヒューズ実数分
塗 装 色	耐塩塗装

(5)始動用蓄電池設備

型　　式	制御弁式鉛蓄電池(REH)
容　　量	24Ah(連続始動回数:3回以上)
電　　圧	DC24V

(6)燃料小出槽

台　　数	1基
形　　式	鋼板溶接製角形(屋外キュービクル式)
容　　量	1950L(A重油)
付 属 品	フロートスイッチ、側圧式液面計 ウィングポンプ(25A)、架台
塗 装 色	耐塩塗装

(7)その他
満油状態にて引き渡しのこと。

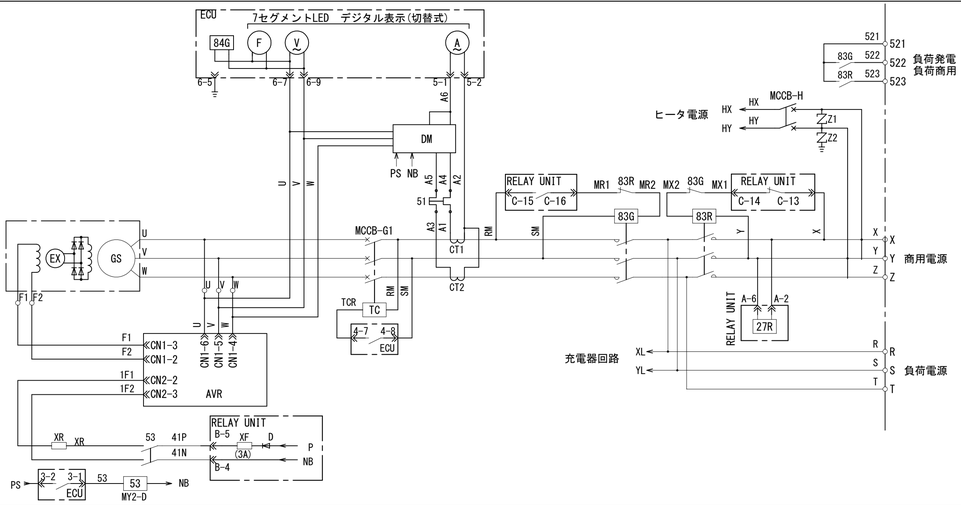
2 保護装置

故障		機関停止	遮断器開放	警報装置 警報	警報装置 表示	諸警報(自火報受信機)
重故障	潤滑油油圧低下	○	○	○	○	○一括
	冷却水温度上昇	○	○	○	○	
	過回転	○	○	○	○	
	始動渋滞	○	—	○	○	
	過電流	×	○	○	○	
	緊急停止	○	○	○	○	
	燃料小出槽油最低油量	○	○	○	○	
軽故障	燃料小出槽油面低下	×	×	○	○	
	蓄電池温度上昇	×	×	○	○	

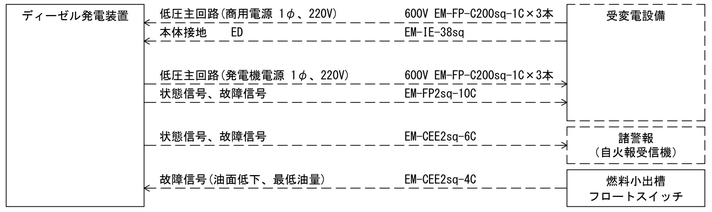
3 外部信号取合い

項目	信号出力先 受電変設備	信号出力先 諸警報(自火報受信機)	備考
発電	○	○	運転信号
故障一括	○	○	重故障・軽故障
負荷切替(発電機側)	○	—	
負荷切替(商用側)	○	—	

4 単線結線図

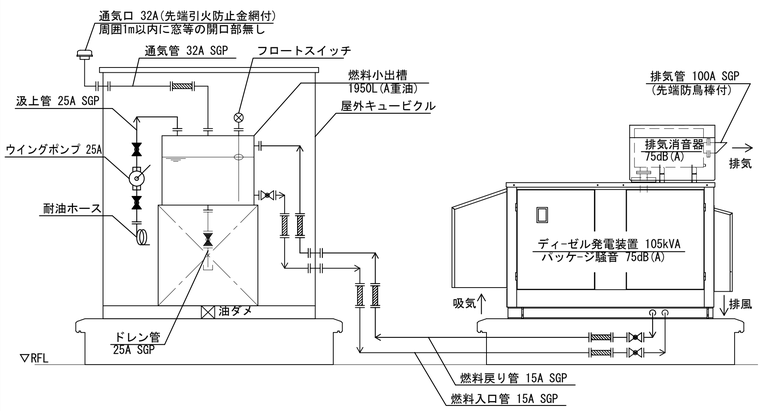


5 配線系統図

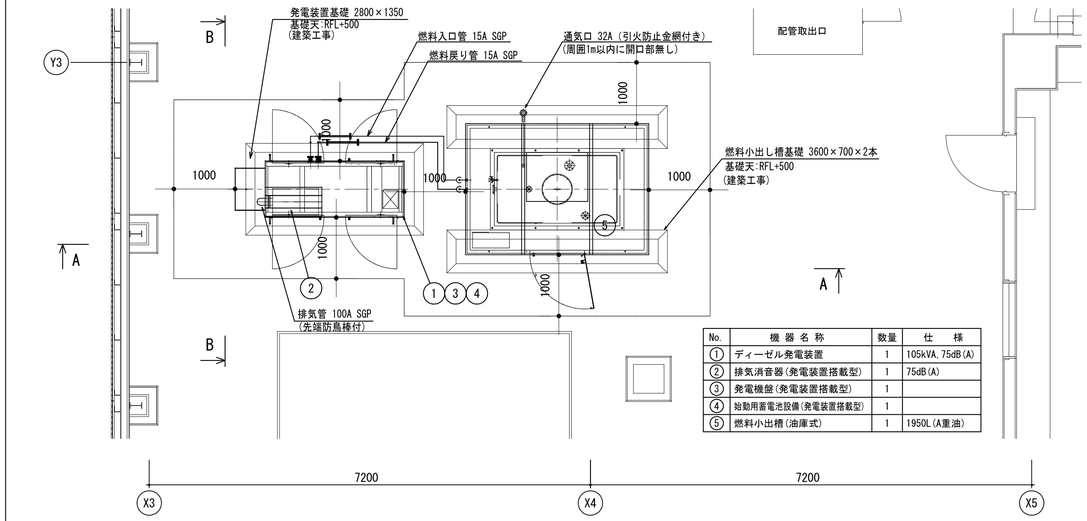


備考
1. 実線 ――― :発電機設備工事
2. 破線 － － － :電気設備工事
3. 配線の種類及びサイズは、参考用とする。

6 配管系統図



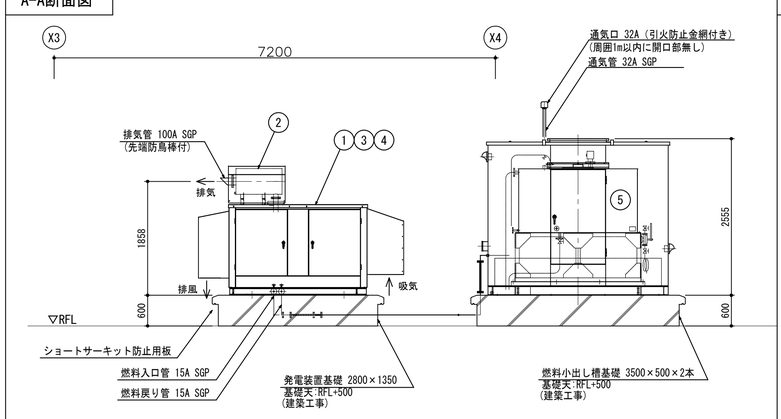
7 配置平面図



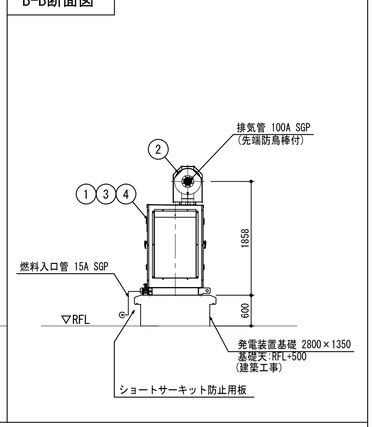
No.	機器名称	数量	仕様
①	ディーゼル発電装置	1	105kVA, 75dB(A)
②	排気消音器(発電装置搭載型)	1	75dB(A)
③	発電機盤(発電装置搭載型)	1	
④	始動用蓄電池設備(発電装置搭載型)	1	
⑤	燃料小出槽(油庫式)	1	1950L(A重油)

8 断面図

A-A断面図



B-B断面図



明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	E / 03
〈設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築 国土交通大臣登録 第2339号 小林 陽一	電気設備工事 非常用発電機設備 仕様、単線結線図、平面配置図 A1 1:100 A3 1:200
	安井建築設計事務所
	最終版 2025.02.28 / 見積版 2024.12.16 / 最終契約版

20230220

1 太陽光発電設備

(1) 仕様

1. システム概要

1.1 設備の概要

連系する電力系統　：高圧一般配電線（三相３線、６．６ｋＶ、６０Ｈｚ）
発電設備の種類　：太陽電池発電所
設備容量　：太陽電池容量　　５９ｋＷ以上
　　パワーコンディショナ容量　６０ｋＷ以上（１０ｋＷ×６台）

1.2 システム構成

本システムは、太陽電池モジュール、太陽電池用架台、パワーコンディショナ（接続箱機能、連系保護装置含む）、計測監視装置及び表示装置等より構成する。

① 太陽電池は太陽からの日射を受けると直流電力を発生し、これをパワーコンディショナ（接続箱機能）で集電する。
② パワーコンディショナは、この直流電力を並列する商用電源の電圧、周波数、位相と同期した交流電力に変換し、系統連系にて電力を供給する。
③ 連系保護装置等により、パワーコンディショナ及び系統の異常時には連系を遮断する。
④ 運転データ等は、計測監視装置により収集する。

1.3 運転方式

パワーコンディショナは、下記の通り運転を行うものとする。

① 太陽電池の動作特性を監視し、設定値に達するとパワーコンディショナを自動的に起動する。
② 太陽電池の出力を監視し、設定値以下になると自動的に運転を停止する。
③ 太陽光発電システムによる負荷への電力供給は、原則として日中発電時のみを対象とする。日中発電時に日射不足により給電不能となる場合は自動的に運転を停止させる。
④ 太陽電池出力監視による発電装置自動停止後の復帰は時限を取って行い、不要な高頻度のポンピング（ＯＮ／ＯＦＦ動作）を避ける。
⑤ 交流系統に事故が発生した場合やパワーコンディショナ故障時は、速やかに商用系統との連系接続を解列し確実に停止する。
⑥ 商用系統の事故の場合は、商用系統が復旧すれば設定時間後、ＰＣＳで再投入して運転を再開する。

1.4 系統連系保護方式

本システムにおける連系保護装置は、電気設備技術基準に沿って設置するものとする。
電気設備技術基準の解釈第229条の規定による保護継電器の種類・設置相数および検出場所を表－１に示す。
（高圧連系）

表－１

保護継電器の種類	設置相数	検出場所
① 地絡過電圧継電器　(OVGR)	零相回路	受電盤内に設置
② 過電圧継電器　(OVR)	１相	パワーコンディショナ内
③ 不足電圧継電器　(UVR)	３相	
④ 周波数上昇継電器　(OFR)	１相	
⑤ 周波数低下継電器　(UFR)	１相	
⑥ 単独運転検出機能　(受動・能動)	－	

1.5 データ計測方式

本システムにおけるデータ計測に当たっては、①に示す機器により、②に示す条件で、③に示すデータを自動的に収集し、パーソナルコンピュータ内に１時間データを蓄積し、抽出できる計測システムを構築する。

① 使用機器
・パーソナルコンピュータ　：１式
・日射計　：１組
・気温計　：１組
・データ検出用機器及び信号変換器　：１式
② 測定周期、演算周期
・測定周期　：６秒
・演算周期　：１分
③ データ収集項目

表－２

項　目	測定点数	データ格納
・日射量	１点	○
・気温	１点	○
・パワーコンディショナ出力電力	１点	○ ※
・太陽電池出力電力	１点	○ ※

※　パワーコンディショナの合計値とする。

2. 機器仕様

2.1 太陽電池
種類　：結晶系シリコン太陽電池（防眩仕様）
容量　：５９ｋＷ以上

2.2 架台
構造　：陸屋根用
材質　：一般構造用鋼　溶融亜鉛メッキ仕上げ
強度　：関係法規に基づき必要な強度を有するものとする。

2.3 パワーコンディショナ
種類　：系統連系パワーコンディショナ（屋外壁掛形）
容量　：１０ｋＷ×６以上
入力電圧範囲　：ＤＣ０～６５０Ｖ
出力電圧　：三相３線　ＡＣ２０２Ｖ　６０Ｈｚ
自立出力　：単相２線　１００Ｖ　３ｋＶＡ
電力変換効率　：９７％
出力基本波力率　：０．９５以上
交流電流ひずみ率　：総合５％以下　各次３％以下
制御方式　：最大出力追従制御
運転/停止　：「１．３ 運転方式」によるものとする。
保護機能　：「１．４ 系統連系保護方式」によるものとする。
計測機能　：表示項目（切替式）
・直流電圧　・直流電流　・直流電力
・交流電圧　・交流電流　・交流電力
・交流電力量
接続箱機能　：回路数：入力4回路
：収納機器：入力回路断路端子及び逆流防止ダイオード
配線用しゃ断器・誘導雷保護器（ZNR）
その他　：耐塩塗装

2.4 交流集合箱
構造　：屋外壁掛形
材質　：ＳＵＳ製

2.5 計測監視装置
使用機器　：パーソナルコンピュータ、他一式
設置場所　：屋内
電源電圧　：ＡＣ１００Ｖ
ＵＰＳ電源容量　：５００ＶＡ

2.6 日射計
対象　：傾斜面日射量
計測精度　：ＩＳＯ　Ｓｅｃｏｎｄ　Ｃｌａｓｓ　相当とする。
設置場所　：太陽電池架台近辺に設置

2.7 気温計
種類　：測温抵抗体
センサー　：Ｐｔ１００Ω
設置場所　：太陽電池架台近辺に設置

2.8 ディスプレイ表示装置
構造　：屋内壁掛形（取付金具共）
電源電圧　：ＡＣ１００Ｖ
表示内容　：発電電力、発電電力量　他

3. 工事範囲

3.1 据付、配管配線工事
（１）据付工事　：納入機器の据付工事
（２）配管配線工事　：納入機器の配管配線工事
3.2 接地用配線工事
（１）Ｃ種及びＤ種接地工事
3.3 工事範囲外
（１）太陽電池架台用ＲＣの基礎工事

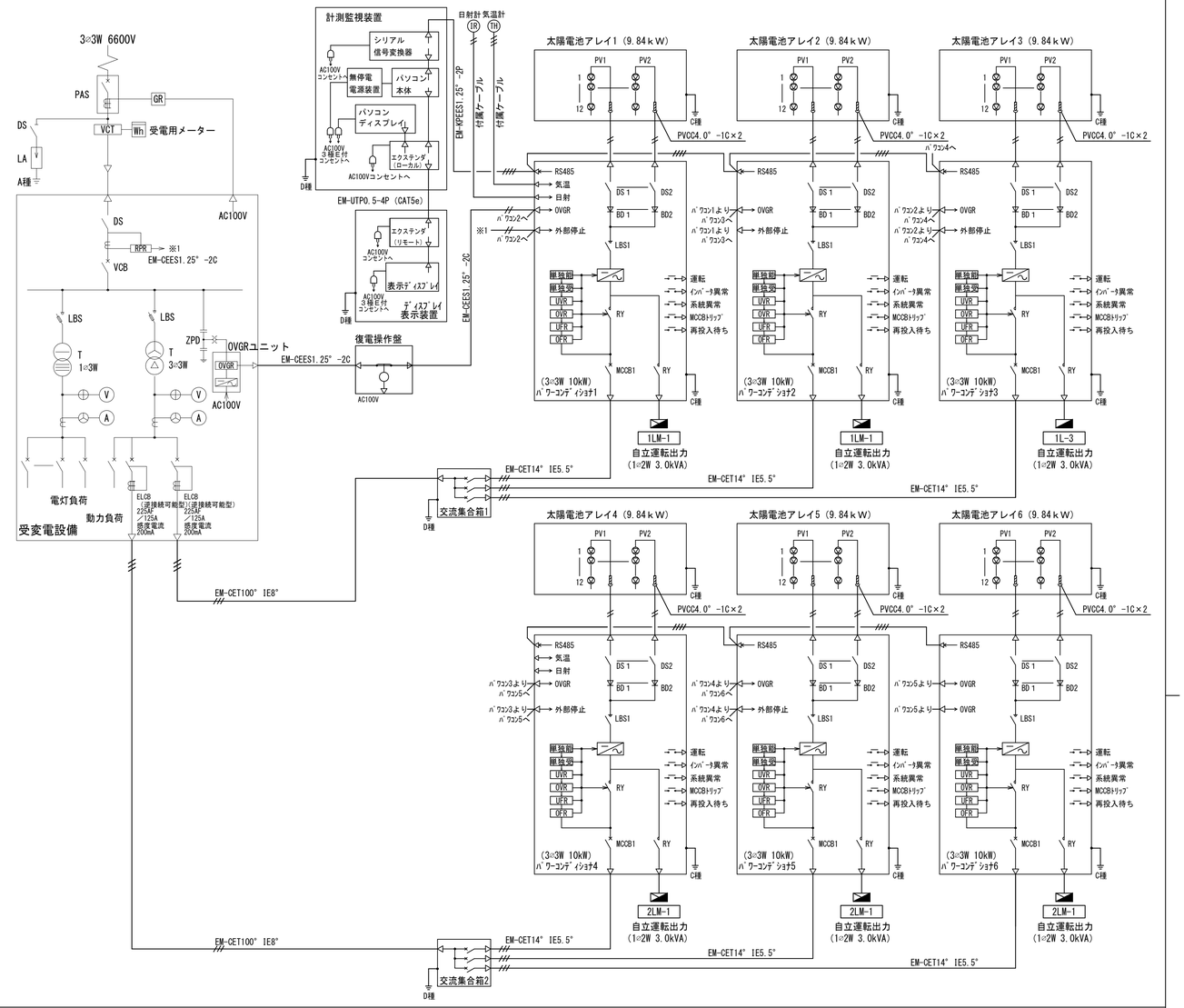
4. 試運転・完成検査項目

試運転・完成検査項目は、下表に示す通りとする。

表－３

	太陽電池	パワーコンディショナ	計測監視装置	ディスプレイ表示装置	配線ケーブル
外観・構造試験	○	○	○	○	○
絶縁抵抗試験	○	○			○
絶縁耐圧試験	○	○			
保護装置特性		○			
動作確認試験		○	○	○	

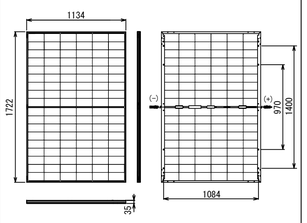
(2) システム図



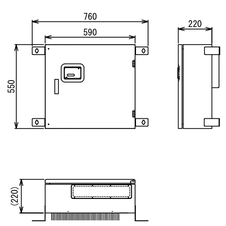
(3) 姿図

注記）1. 形状及び寸法は参考とする。
2. 機器耐震固定を行うこと。

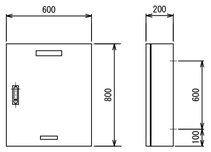
太陽電池モジュール



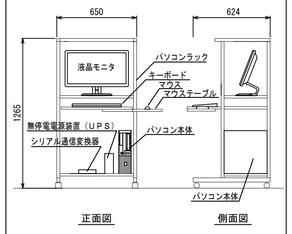
PW パワーコンディショナ



交流集合箱

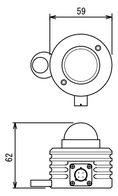


PC 計測監視装置

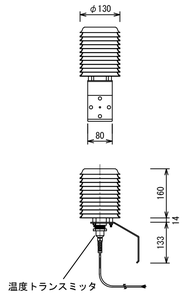


※パソコンラック本工事

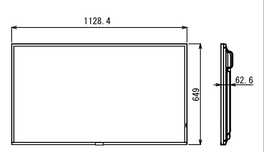
IR 日射計



TH 気温計

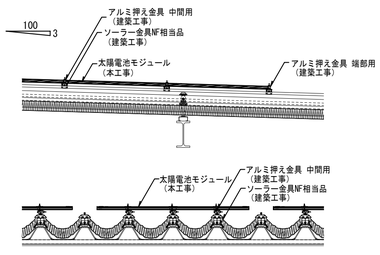


DP ディスプレイ表示装置 50型



※壁面取付（固定部材共）
※落下防止対策を施すこと
※前面に保護用強化ガラス（無色透明）を設置すること

太陽光パネル取付詳細図、工事区分図

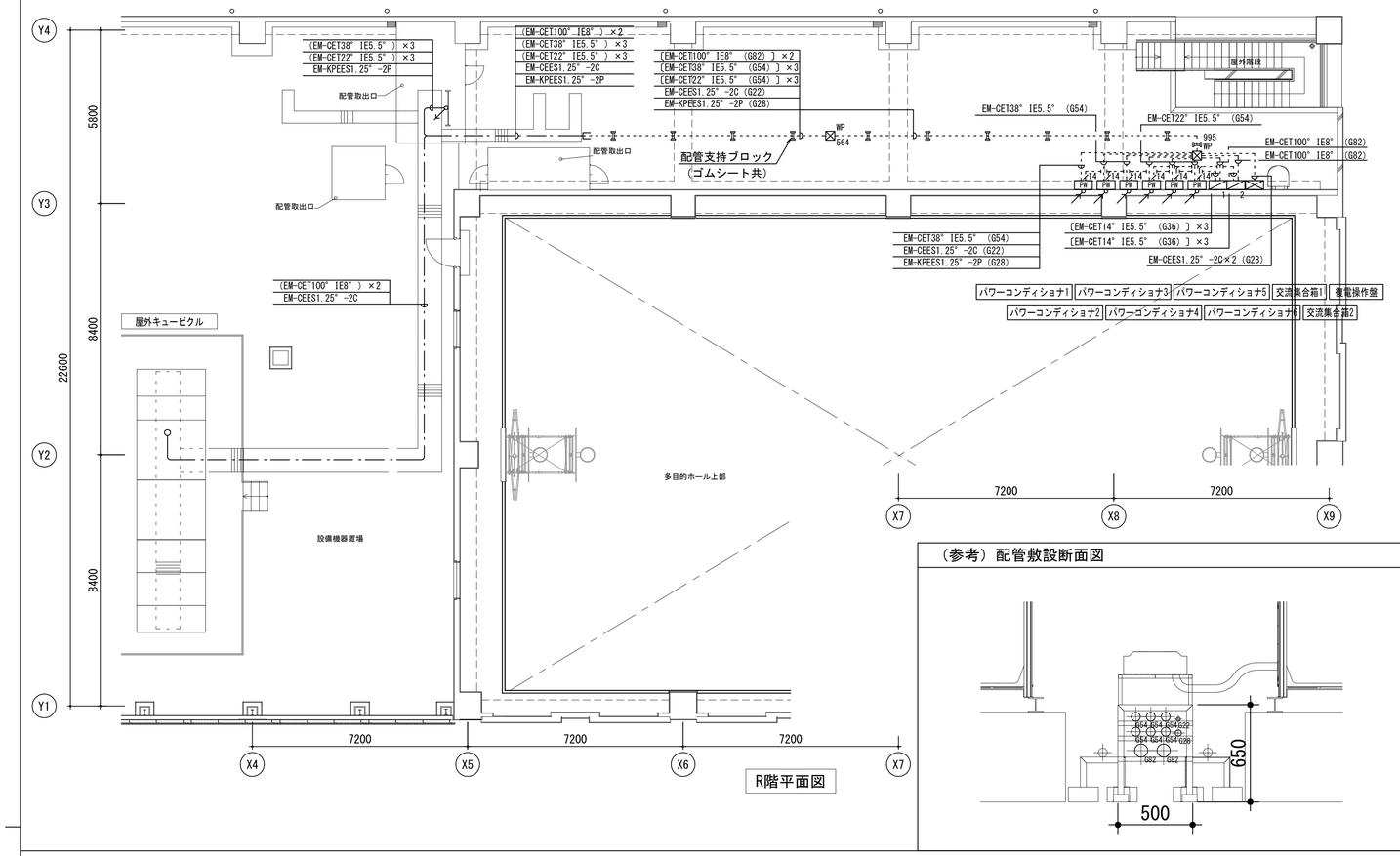


※傾斜角度は3/100（屋根勾配）とする

明石市政策局　プロジェクト推進室		西明石地域交流センター　icotto 建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	E	電気設備工事 太陽光発電設備	最終版　2025. 02. 28
〈設備設計者〉 一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	04	仕様、システム図、姿図　N. S	見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

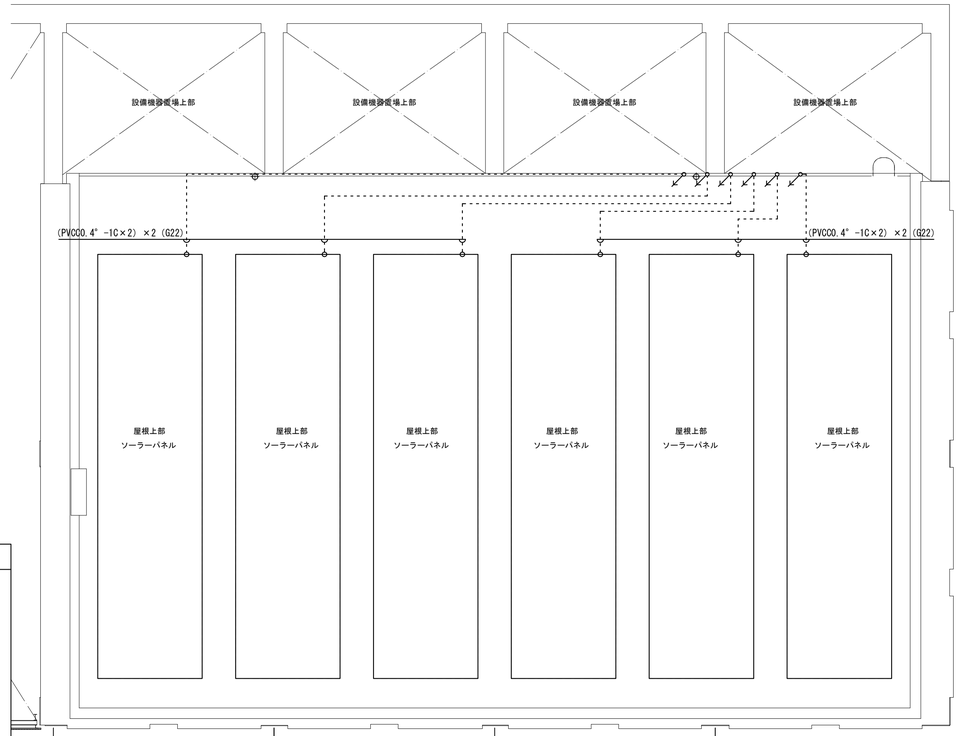
（2023年版）

20230220

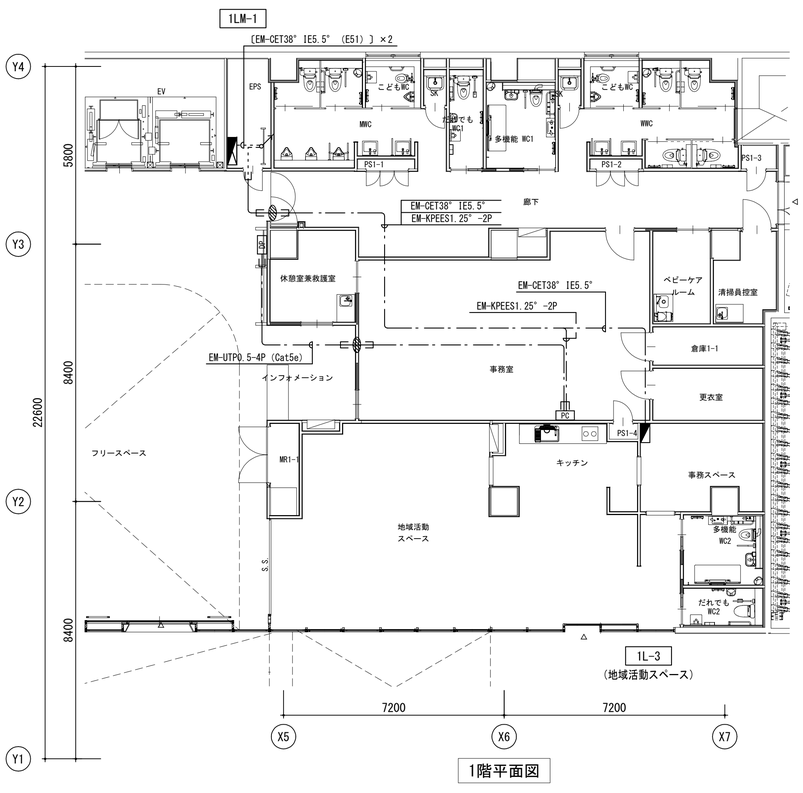


R階平面図

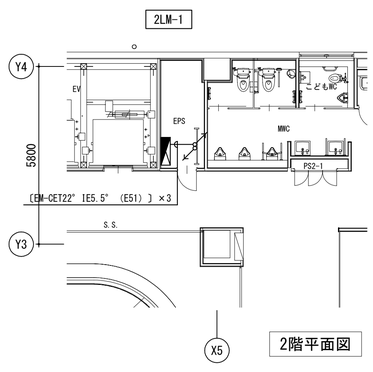
（参考）配管敷設断面図



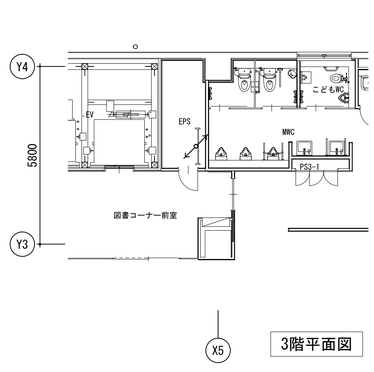
屋根伏図



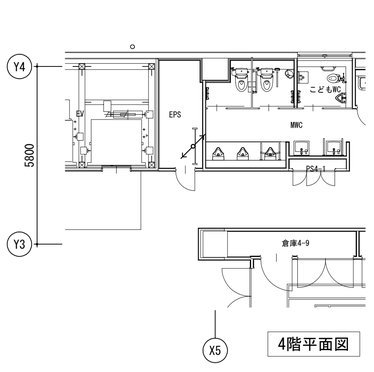
1階平面図



2階平面図



3階平面図



4階平面図

自立運転出力幹線リスト　注記）1.ケーブルラック外は配管にてケーブル保護とする。

EM-CET38° IE5.5° (G54) (CR)	EM-CET38° IE5.5° (G54) (CR)	EM-CET38° IE5.5° (G54) (CR)	EM-CET22° IE5.5° (G54) (CR)	EM-CET22° IE5.5° (G54) (CR)	EM-CET22° IE5.5° (G54) (CR)
PW	PW	PW	PW	PW	PW
パワーコンディショナ1	パワーコンディショナ2	パワーコンディショナ3	パワーコンディショナ4	パワーコンディショナ5	パワーコンディショナ6
1LM-1	1LM-1	1L-3	2LM-1	2LM-1	2LM-1

凡例

記号	名　　称	備　　考
	電灯分電盤	
	電灯動力分電盤	
DP	ディスプレイ表示装置 50型	
PC	計測監視装置	
PW	パワーコンディショナ	
	交流集合箱	
	復電操作盤	
	防火区画貫通処理	国土交通大臣認定
	ケーブルラック（垂直）	
	ケーブルラック（水平）	
○	露出ボックス	丸型
□	プルボックス	
□WP	プルボックス 防水型(SUS製)	指定色焼付塗装
	天井隠ぺい配線	
	ケーブルラック内配線	
	床隠ぺい配線	
	露出配線	
	配管配線　立上り　立下げ	

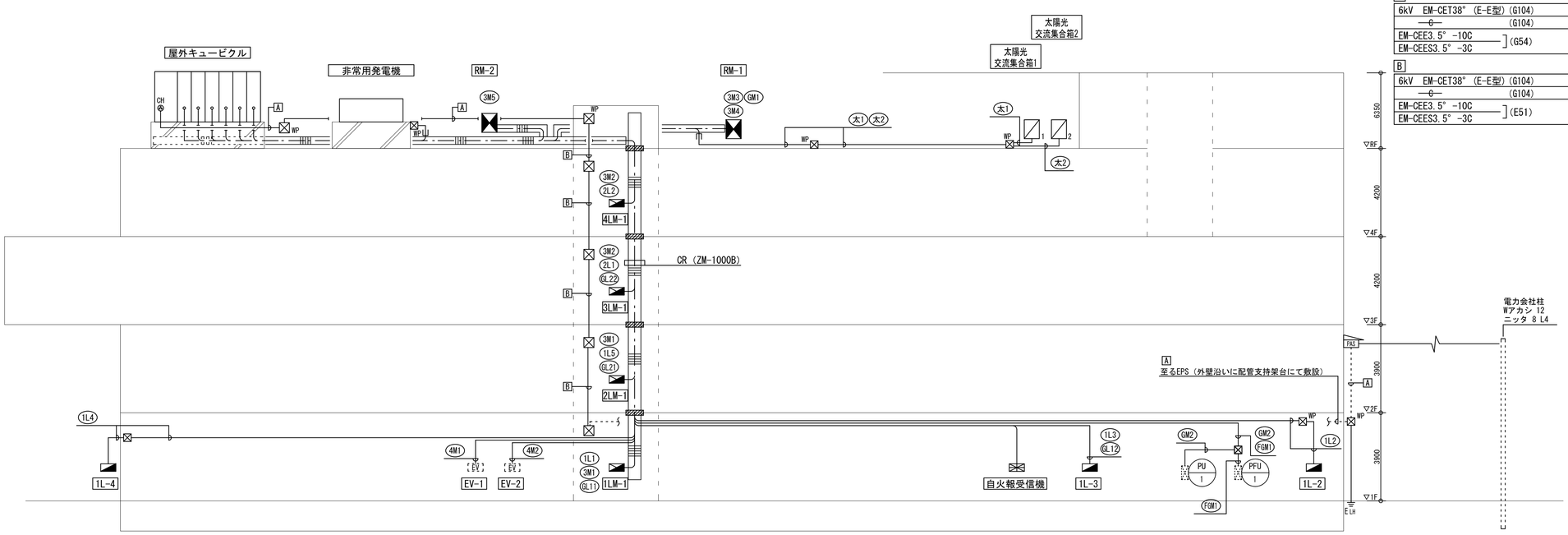
注記
1. 図中、特記なき配管配線は下記による。
   ---16--- EM-CET14° IE5.5° (G36)
2. ケーブルラックは電力共用とする。
3. ゾーニング区分図施工要領に応じた仕様とすること。（E07図）
4. プルボックスのサイズ・仕様は下記による。
   564WP：　SS500×600×400WP-SUS
   995WP：　SS900×900×500WP-SUS

明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森　雅章		E	電気設備工事 太陽光発電設備 平面図
〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築 国土交通大臣登録 第2339号 小林　陽一		05	A1 1:100 A3 1:200
			安井建築設計事務所
			最終版 2025. 02. 28 見積版 2024. 12. 16 最終契約版

(2023年版)

20230220

1 幹線系統図



A		
6kV EM-CET38° (E-E型) (G104)		高圧引込
(G104)		予備
EM-CEE3.5° -10C EM-CEES3.5° -3C	(G54)	制御線

B		
6kV EM-CET38° (E-E型) (G104)		高圧引込
(G104)		予備
EM-CEE3.5° -10C EM-CEES3.5° -3C	(E51)	制御線

凡例

記号	名称	備考
	電灯分電盤	
	電灯動力分電盤	
	動力制御盤	
	自火報受信機	
ET	接地端子盤	
EV	エレベータ制御盤	エレベータ工事
	交流集合箱	
PW	パワーコンディショナー	
CH	ケーブルヘッド	
H.H	ハンドホール	
	ケーブルラック	
	プルボックス	
WP	プルボックス　防水型（ＳＵＳ製）	
	防火区画貫通処理	国土交通大臣認定
	天井隠ぺい配線	
	床隠ぺい配線	
	露出配線	
	地中埋設配管	
	配管配線　立上り　立下げ	
	防水鋳鉄管	
	接地極（E_A、E_B、E_D、$E_{D(ELB)}$）	

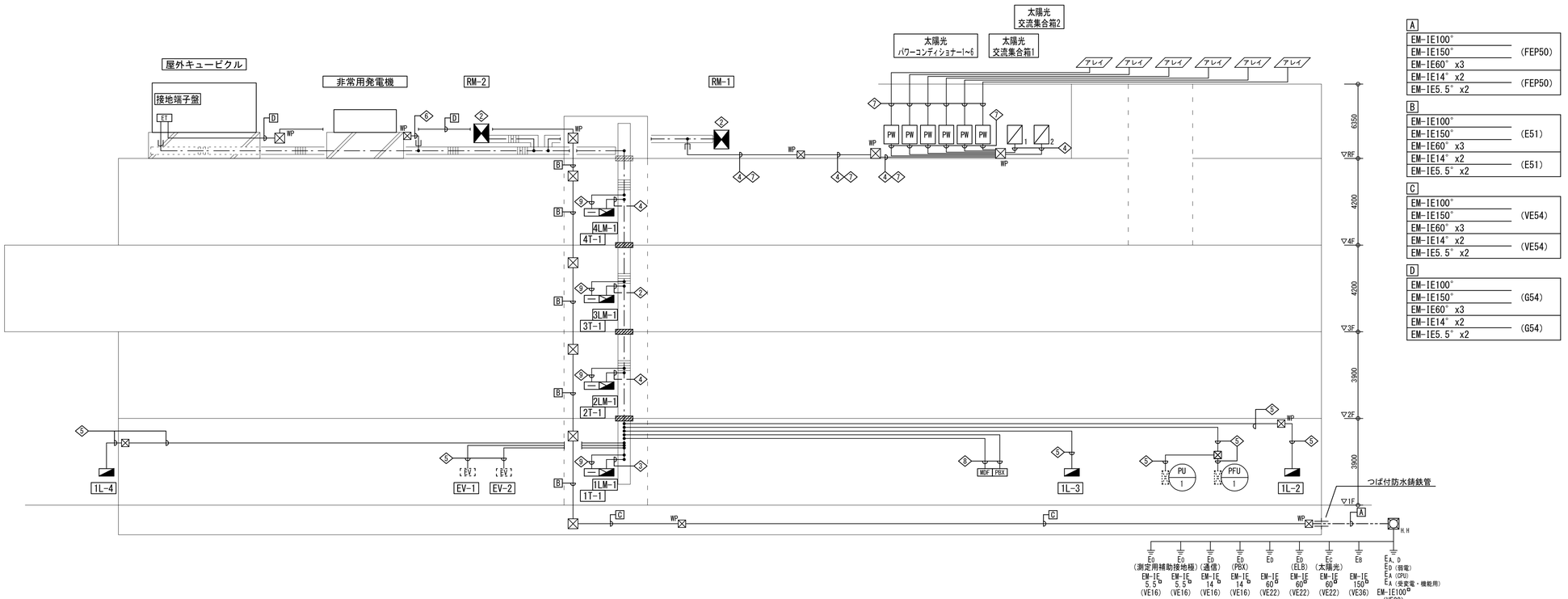
注記

1. 幹線サイズ、制御線サイズは各々配電盤リスト、制御線リストによる。
2. 図中、▨は防火区画貫通処理（国土交通大臣認定）を示す。
3. 水平ケーブルラックサイズ及びプルボックスのサイズは幹線・動力設備平面図参照とする。
4. ハンドホールの仕様・サイズは配置図を参照とする。
5. 各盤に至る接地線は下記による。

番号	接地線サイズ	配管サイズ 屋内	屋外	地中 (FEP)	接地種別
1	EM-IE 38° x2	E39	G36	30	E_D,$E_{D(ELB)}$
2	EM-IE 22° x2	E31	G28	30	E_D,$E_{D(ELB)}$
3	EM-IE 14° x2	E25	G22	30	E_D,$E_{D(ELB)}$
4	EM-IE 8° x2	E25	G22	30	E_D,$E_{D(ELB)}$
5	EM-IE 5.5° ×2	E19	G16	30	E_D,$E_{D(ELB)}$
6	EM-IE 38°	E25	G22	30	E_D
7	EM-IE 5.5°	E19	G16	30	E_C
8	EM-IE 14°	E19	G16	30	E_D(PBX)
9	EM-IE 5.5° ×2	E19	G16	30	E_D(弱電),E_D(通信)

6. ケーブルラック上に下記の接地幹線を敷設する。
   E_C　EM-IE38° x1
   E_D、$E_{D(ELB)}$ EM-IE38° x2
7. 接地線系統図において、薄線ケーブルラックは幹線工事共用とする。

2 接地線系統図



A	
EM-IE100°	
EM-IE150°	(FEP50)
EM-IE60° x3	
EM-IE14° x2	(FEP50)
EM-IE5.5° x2	

B	
EM-IE100°	
EM-IE150°	(E51)
EM-IE60° x3	
EM-IE14° x2	(E51)
EM-IE5.5° x2	

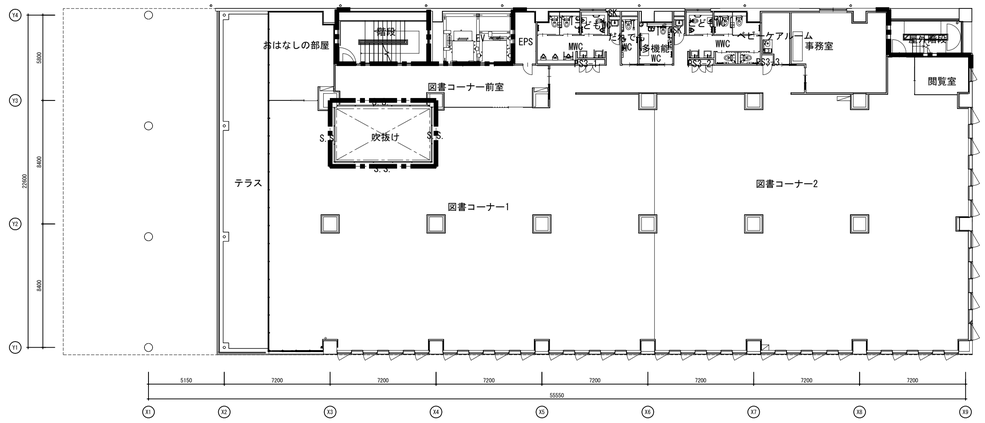
C	
EM-IE100°	
EM-IE150°	(VE54)
EM-IE60° x3	
EM-IE14° x2	(VE54)
EM-IE5.5° x2	

D	
EM-IE100°	
EM-IE150°	(G54)
EM-IE60° x3	
EM-IE14° x2	(G54)
EM-IE5.5° x2	

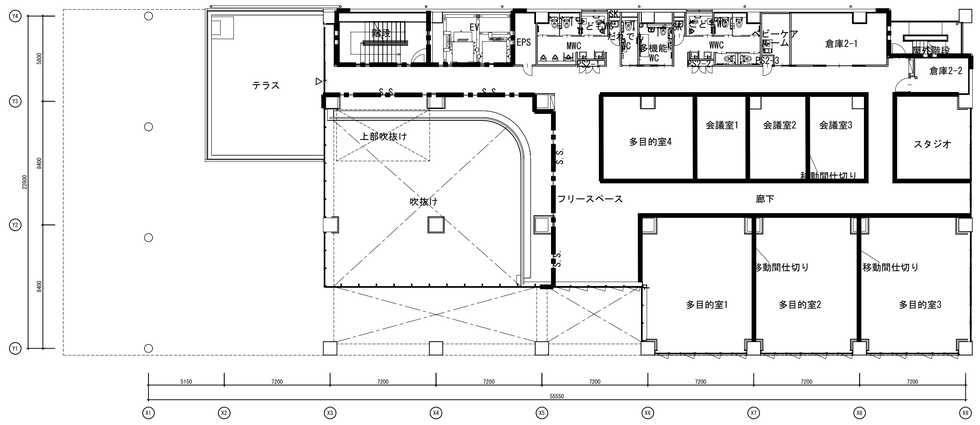
明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	E	電気設備工事 幹線系統図 接地線系統図 N.S	最終版 2025.02.28
〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築 国土交通大臣登録 第2339号 小林 陽一	06		見積版 2024.12.16
	安井建築設計事務所		最終契約版

20230220

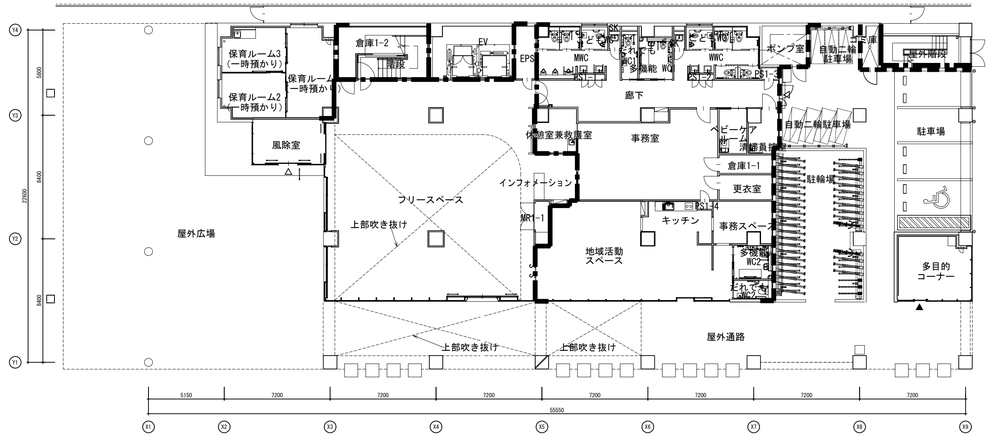
3階平面図



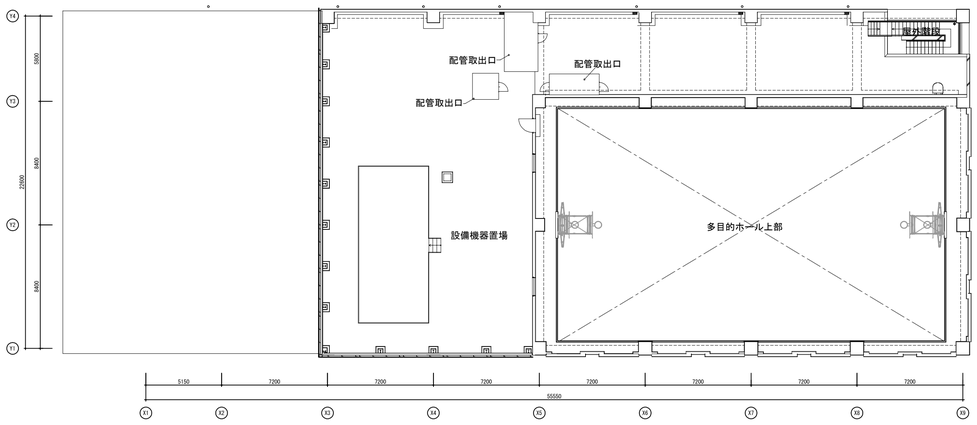
2階平面図



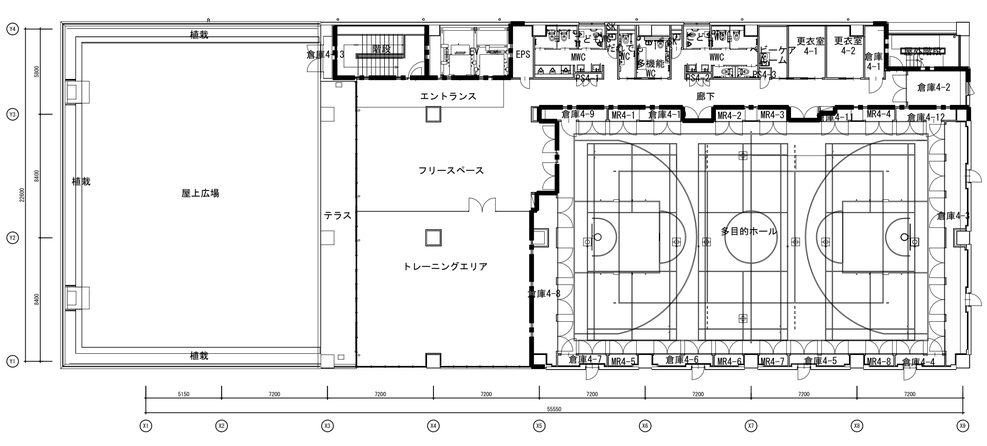
1階平面図



R階平面図



4階平面図



注記

1. ゾーニング区分凡例
   - ：防火区画
   - ：異種用途区画
   - ：防音壁

2. ゾーニングエリア施工要領
   （1）面積区画、竪穴区画、異種用途区画、第128条の6区画を貫通するものについては、関連法規に適した区画貫通処理を施すこととする。（国土交通大臣認定）
   （2）2階フロアにおいて、防音壁を貫通する箇所については、防音性能に配慮した貫通処理を施すこと。

明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章		E	電気設備工事 ゾーニング区分 （防火・防煙区画） N.S
〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築 国土交通大臣登録 第2339号 小林 陽一		07	最終版 2025.02.28 見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

20230220

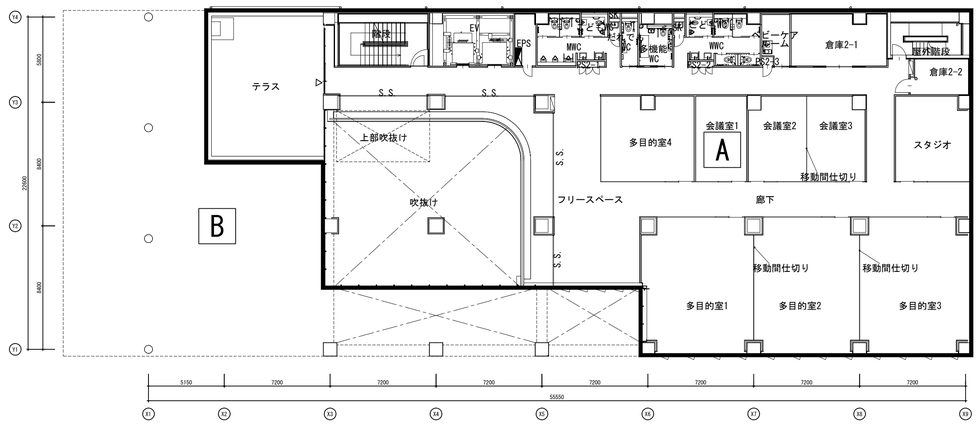
3階平面図

すべて3LM-1より電源供給とする。



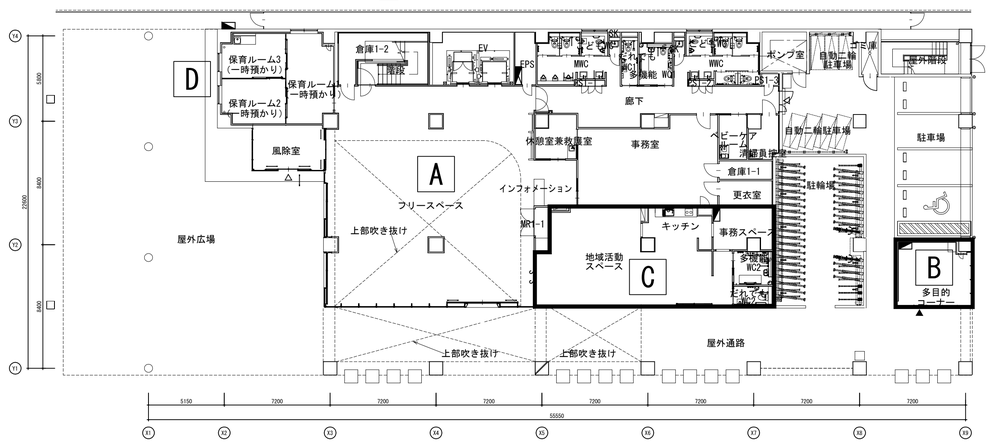
2階平面図

A :2LM-1（共用）
B :1LM-1（共用）



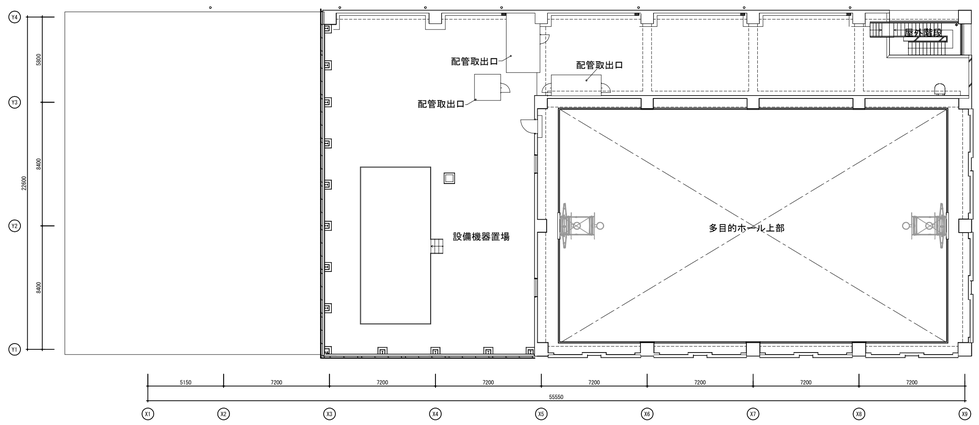
1階平面図

A :1LM-1（共用）
B :1L-2（多目的コーナー）
C :1L-3（地域活動スペース）
D :1L-4（キッチンカー用電源盤）



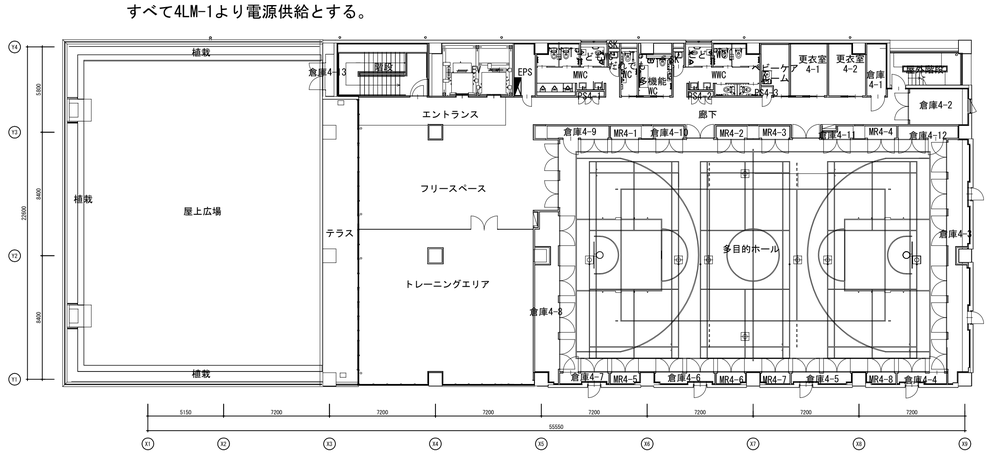
R階平面図

すべて4LM-1より電源供給とする。



4階平面図

すべて4LM-1より電源供給とする。



明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	E	電気設備工事	最終版 2025.02.28
〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築 国土交通大臣登録 第2339号 小林 陽一	08	分電盤エリア図 N.S	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

20230220

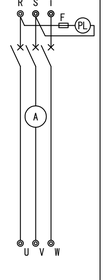
動力盤リスト(1)

1. リスト内に於いて○印は該当機器の取付及び動作を示す　2. Wh は電力量計(デジタル検定付)とする。EP はパルス発信装置付、デジタル式とする。　3. 防災連動停止はパッケージ集中コントローラーによる停止とする。

盤名称 形状・幹線No	主開閉器 〈P/AF/AT〉 電圧・容量(kW)	機器番号	機器名称	設置階	機器容量(kW)	電動機種別	回路構成 主回路	回路構成 制御回路	回路構成 nE	諸警報(自火報受信機) 発停	状態	故障警報	計測	切替	計量	RS盤	手元開閉器(P・AF)	配管配線 動力配線	配管配線 制御線	インターロック連動	防災連動停止	発電機運転	備考
1LM-1 自立盤 (屋内型)			SPD(クラスⅡ)																				20kA(8/20μs)
	3M1 MCCB 3P 50/30 3φ3W AC 200V	EHP-1-2R1	空冷熱源ヒートポンプパッケージ室内機	1	0.46		B					○(一括)				3P50AF	2			○		1
			(1階フリースペース床置系統)																				
		SS-1	シャッター	1	0.4		B										2					2
	計 0.86kW																						
2LM-1 自立盤 (屋内型)			SPD(クラスⅡ)																				20kA(8/20μs)
	3M1 MCCB 3P 50/40 3φ3W AC 200V	SS-2A	シャッター	1	0.75		B										2					1
		SS-2B	シャッター	1	0.75		B					○(一括)					2					2
		SS-2C	シャッター	1	0.75		B										2					3
		SS-1	シャッター	1	0.4		B										2					4
	計 2.65kW																						
3LM-1 自立盤 (屋内型)			SPD(クラスⅡ)																				20kA(8/20μs)
	3M2 MCCB 3P 100/60 3φ3W AC 200V	EHP-4-3R1A	空冷熱源ヒートポンプパッケージ室内機	4	0.46		B									3P50AF	2				○		1
			(4階多目的ホール2系統)																				
		EHP-4-3R1B	空冷熱源ヒートポンプパッケージ室内機	4	0.46		B					○(一括)				3P50AF	2				○		2
			(4階多目的ホール2系統)																				
		EHP-4-3R1C	空冷熱源ヒートポンプパッケージ室内機	4	0.46		B									3P50AF	2				○		3
			(4階多目的ホール2系統)																				
		EHP-4-3R1D	空冷熱源ヒートポンプパッケージ室内機	4	0.46		B									3P50AF	2				○		4
			(4階多目的ホール2系統)																				
		SS-2A	シャッター	1	0.75		B										2						1
		SS-1A	シャッター	1	0.4		B										2						2
		SS-2B	シャッター	1	0.75		B										2						3
		SS-1B	シャッター	1	0.4		B										2						4
	計 4.14kW																						
4LM-1 自立盤 (屋内型)			SPD(クラスⅡ)																				
	3M2 MCCB 3P 50/40 3φ3W GAC 200V	EHP-4-2R1A	空冷熱源ヒートポンプパッケージ室内機	4	0.46		B											3P50AF	2		○		5
			(4階多目的ホール1系統)																				
		EHP-4-2R1B	空冷熱源ヒートポンプパッケージ室内機	4	0.46		B					○(一括)						3P50AF	2		○		6
			(4階多目的ホール1系統)																				
		EHP-4-2R1C	空冷熱源ヒートポンプパッケージ室内機	4	0.46		B											3P50AF	2		○		7
			(4階多目的ホール1系統)																				
		EHP-4-2R1D	空冷熱源ヒートポンプパッケージ室内機	4	0.46		B											3P50AF	2		○		8
			(4階多目的ホール1系統)																				
	計 1.84kW																						

動力盤標準結線図

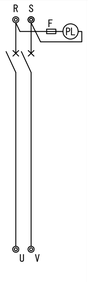
A 結線MCCB AE結線ELCB



B 結線MCCB BE結線ELCB



C 結線MCCB CE結線ELCB



特記事項

1. 特記なきは、国土交通省大臣官房緒部設備課監修の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事)」、「公共建築設備工事標準図(電気設備工事)」(最新版)による。
2. 動力制御盤は、ユニット型簡易コントロールパネル形式(図示)とする。
   ・幹線部は端子(電流容量を表示)受けとし、幹線分岐を有するものは、送り端子を設置する。
   ・1次電源供給表示灯(LED)を取付ける。
   ・分岐MCCB・ELCBは、50AF以上とする。尚、400V分岐回路は注記なき場合を除きELCBとする。
3. 制御回路における運転電流計は、設定指針付とする。また下記に基づき、変流器を取付ける。
   ・200V回路：5.5kWを超える回路
   ・400V回路：全ての回路
4. 動力機器の特性に応じて2E(過電流・欠相)もしくは3E(過電流・欠相・逆相)の保護装置を設置する。但し、注記なき制御回路は、1E(過電流・熱動式)とする。
5. 給水ポンプ、排水ポンプの複式自動運転、異常時同時運転の主回路(G及びH、HC)は各々ポンプ毎の単位構成とする。
6. 防災連動停止欄に○印のある機器は、火災検知、SFD動作、排煙口動作、不活性ガス消火起動等に伴い、監視システムまたは連動接点により停止する機器を示す。
   通常、電磁接触器(52)を要しない機器回路においては、強制停止用の電磁接触器を設置すること。
7. インバータ仕様は、PWM制御方式とし、瞬時停電時自動回復運転機能、バイパス運転回路付とする。
   また、保護装置、※高周波対策装置を具備すること。
   高周波対策装置
   ・高周波低減リアクトル
   ・騒音低減リアクトル(400V級)
8. 発電機運転回路には、遅延タイマーを取付ける。また運転用途は、下記信号で表示する。
   ・GA:防災用(建基法、消防法)
   ・GB:保安用
   ・GC:保安用(但し、火災停電時停止)
9. 電力エネルギー管理を目的とする電力量計は、デジタル式とする。但し、計量法に基づき設置する電力量計は、検定付(パルス発信装置付)とし、注記する。
10. 電動機負荷回路には必要時、進相コンデンサを取付けのこと。
11. 電動機の種別は表記なき場合、トップランナー電動機(IM IE3)とする。
    トップランナー電動機以外は、下記とし、表記する。
    ・IM :標準電動機
    ・PMSM:永久磁石式同期電動機
12. 監視システムの管理点数のカウントは、原則下記によること。
    ・状態、発停、故障・・・1点　・状態、故障・・・1点　・警報・・・1点
    ・アナログ計測値・・・各1点　・計量・・・各1点　・運転切替・・・1点

配管配線一覧表

動力二次側配管配線(IE:EM-IE　CE:EM-CE　CET:EM-CET　FPC:EM-FP-C(耐火ケーブル)を示す。)

記号	二次側配線サイズ		配管サイズ 屋内 (PF)	配管サイズ 屋内 (VE)	配管サイズ 屋外 (PE)	配管サイズ 地中 (FEP)
1	CE2° -3C	E1.6	22	22	22	30
2	CE3.5° -3C	E2.0	22	22	22	30
3	CE5.5° -3C	E5.5°	28	28	28	30
4	CE8° -3C	E5.5°	28	28	28	30
5	CET14°	E8°	-	36	36	50
6	CET22°	E14°	-	54	54	50

明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	E	電気設備工事
〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築 国土交通大臣登録 第2339号 小林 陽一	09	動力盤リスト (1)
		安井建築設計事務所

最終版 2025.02.28
見積版 2024.12.16
最終契約版

(2023年版)

20230220

動力盤リスト(2)

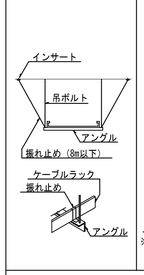
1. リスト内に於いて○印は該当機器の取付及び動作を示す　2. Mt1 は電力量計(デジタル検定付)とする。LSE1 はパルス発信装置付、デジタル式とする。　3. 防災連動停止はパッケージ集中コントローラーによる停止とする。

盤名称 形状・幹線No	主開閉器 〈P/AF/AT〉 電圧・容量(kW)	機器番号	機器名称	設置階	機器容量(kW)	電動機種別	回路構成 主回路	回路構成 制御回路	回路構成 nE	諸警報(自火報受信機) 発停	状態	故障警報	計測	切替	計量	RS盤	手元開閉器(P・AF)	配管配線 動力配線	配管配線 制御線	インターロック連動	防災 連動停止	発電機 運転	備考
RM-1 自立盤 (屋外型) (耐塩塗装)			SPD(クラスⅡ)																				20kA(8/20μs)
	3M3 MCCB 3P 400/300 3φ3W AC 200V	EHP-2-1	空冷熱源ヒートポンプパッケージ室外機	R	15.7		BE											6			○		1
			(2階多目的室系統)									○(一括)											
		EHP-2-3	空冷熱源ヒートポンプパッケージ室外機	R	7.7		BE											4			○		2
			(2階フリースペース系統)																				
		EHP-2-4	空冷熱源ヒートポンプパッケージ室外機	R	5.73		BE											3			○		3
			(2階外気処理系統)																				
		ACP-2-2	空冷熱源ヒートポンプパッケージ室外機	R	2.49		BE											2			○		4
			(2階スタジオ系統)																				
		EHP-1-4	空冷熱源ヒートポンプパッケージ室外機	R	7.7		BE											4			○		5
			(1階外気処理系統)																				
	計 39.32kW																						
			SPD(クラスⅡ)																				20kA(8/20μs)
	3M4 MCCB 3P 400/250 3φ3W AC 200V Mt3	EHP-1-2	空冷熱源ヒートポンプパッケージ室外機	R	7.7		BE											4			○		6
			(1階フリースペース系統)									○(一括)											
		EHP-3-1	空冷熱源ヒートポンプパッケージ室外機	R	17.4		BE											6			○		7
			(3階図書コーナー1系統)																				
		EHP-3-2	空冷熱源ヒートポンプパッケージ室外機	R	12.2		BE											6			○		8
			(3階図書コーナー2系統)																				
		EHP-3-3	空冷熱源ヒートポンプパッケージ室外機	R	7.7		BE											3			○		9
			(3階閲覧室・事務エリア系統)																				
	計 45.0kW																						
			SPD(クラスⅡ)																				20kA(8/20μs)
	GM1 MCCB 3P 225/175 3φ3W GAC 200V	EHP-1-1	空冷熱源ヒートポンプパッケージ室外機	R	7.7		BE											4			○	GC	61
			(1階保育ルーム系統)									○(一括)											
		Mt4 EHP-1-3	空冷熱源ヒートポンプパッケージ室外機	R	5.73		BE											3			○	GC	62
			(1階地域活動スペース系統)																				
		EHP-2-2	空冷熱源ヒートポンプパッケージ室外機	R	5.73		BE											3			○	GC	63
			(2階会議室系統)																				
		ACP-2-1	空冷熱源ヒートポンプパッケージ室外機	R	2.53		BE											2			○	GC	64
			(2階多目的室4系統)																				
	計 21.69kW																						

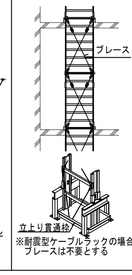
盤名称 形状・幹線No	主開閉器 〈P/AF/AT〉 電圧・容量(kW)	機器番号	機器名称	設置階	機器容量(kW)	電動機種別	回路構成 主回路	回路構成 制御回路	回路構成 nE	諸警報(自火報受信機) 発停	状態	故障警報	計測	切替	計量	RS盤	手元開閉器(P・AF)	配管配線 動力配線	配管配線 制御線	インターロック連動	防災 連動停止	発電機 運転	備考
RM-2 自立盤 (屋外型) (耐塩塗装)			SPD(クラスⅡ)																				
	3M5 MCCB 3P 400/350 3φ3W AC 200V	EHP-4-1	空冷熱源ヒートポンプパッケージ室外機	R	13.2		BE											6			○		1
			(4階トレーニングエリア・更衣室系統)									○(一括)											
		EHP-4-2	空冷熱源ヒートポンプパッケージ室外機	R	17.4		BE											6			○		2
			(4階多目的ホール1系統)																				
		EHP-4-3	空冷熱源ヒートポンプパッケージ室外機	R	17.4		BE											6			○		3
			(4階多目的ホール2系統)																				
		EHP-4-4	空冷熱源ヒートポンプパッケージ室外機	R	7.7		BE											4			○		4
			(4階外気処理系統)																				
		HEU-4-1	全熱交換器(4階多目的ホール系統)	R	2.2×2		BE											3			○		5
		HEU-4-1	全熱交換器(4階多目的ホール系統)	R	2.2×2		BE											3			○		6
	計 64.5kW																						

機器耐震固定要領〔電気設備工事標準図（最新版）（国土交通省大臣官房官庁営繕部設備課監修）他による〕

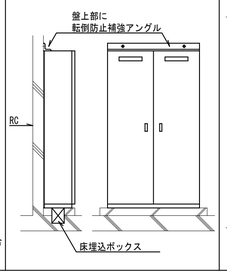
●ケーブルラック（水平）



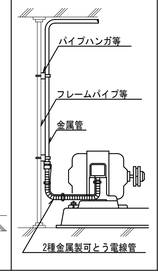
●ケーブルラック（垂直）



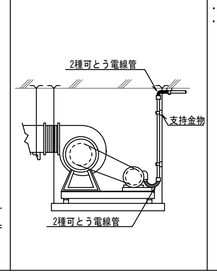
●動力盤・電灯盤



○電動機への接続（ポンプ）



○電動機への接続（ファン）

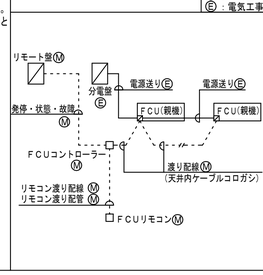


●照明器具

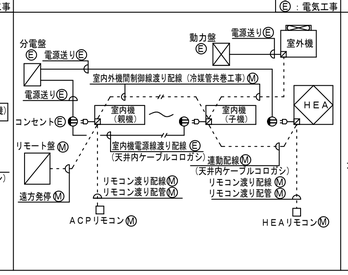
・照明器具の取付１～４に依るものとする。
・器具の取付、脱落防止には注意を図ること

工事区分図

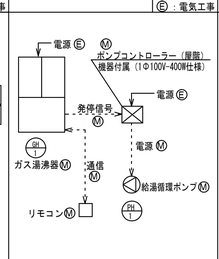
○ファンコイルユニット廻り工事区分図　凡例 Ⓜ：機械工事 Ⓔ：電気工事



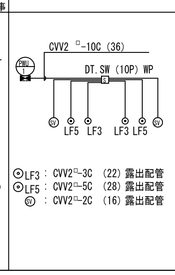
●マルチエアコン及び全熱交換器廻り工事区分図　凡例 Ⓜ：機械工事 Ⓔ：電気工事



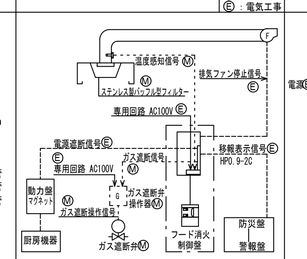
○業務用湯沸器工事区分図　凡例 Ⓜ：機械工事 Ⓔ：電気工事



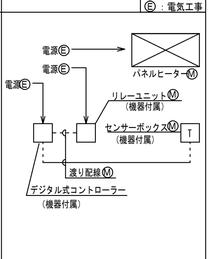
○受水槽電極用配線図



○ダクト消火工事区分図　Ⓜ：機械工事 Ⓔ：電気工事



○パネルヒーター制御工事区分図　凡例 Ⓜ：機械工事 Ⓔ：電気工事



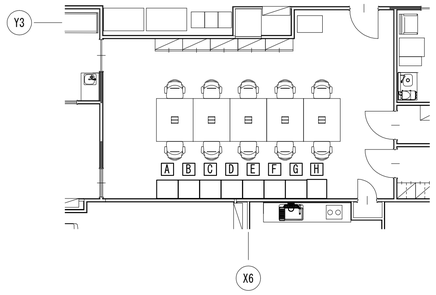
明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	E	電気設備工事	最終版 2025.02.28
〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築 国土交通大臣登録 第2339号 小林 陽一	10	動力盤リスト（2）	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

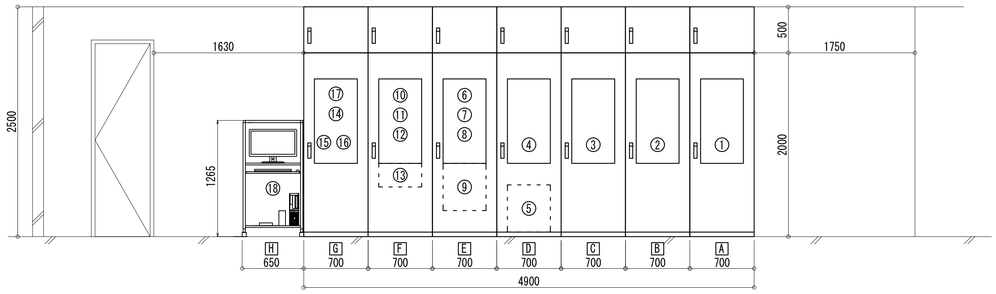
20230220

1 1階事務室詳細図

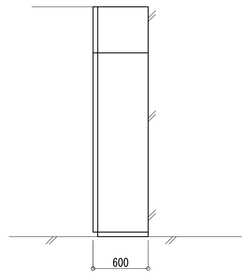
A1：1:100
A3：1:200



	番号	設備名	機 器 名 称	備 考
A	①	防災設備	自火報受信機	防災設備にて設置
B	②	非常放送設備	非常業務兼用放送アンプ	弱電設備にて設置
C	③	監視カメラ設備	ITV架	弱電設備にて設置
D	④	構内交換設備	MDF	弱電設備にて設置
	⑤	構内交換設備	電話交換機	弱電設備にて設置
E	⑥	誘導支援設備	非常呼出表示窓	弱電設備にて設置
	⑦	誘導支援設備	インターホン	弱電設備にて設置（EV,出入口）
	⑧	誘導支援設備	トイレ音声誘導設備制御PC	弱電設備にて設置
	⑨	防災設備	誘導灯信号装置	電灯設備にて設置
F	⑩	入退室管理設備	電気錠制御盤	弱電設備にて設置
	⑪	入退室管理設備	カードリーダーコントローラー	弱電設備にて設置
	⑫	入退室管理設備	電気錠管理用PC	弱電設備にて設置
	⑬	光警報設備	メインコントローラー	弱電設備にて設置
G	⑭	電灯設備	照明リモコンスイッチ	電灯設備にて設置
	⑮	空調設備	パッケージエアコン集中コントローラー（A系統）	空調設備設備にて設置
	⑯	空調設備	全熱交換器集中コントローラー（A系統）	空調設備設備にて設置
	⑰	時刻表示設備	１回線パネル型水晶式親時計	弱電設備にて設置
H	⑱	太陽光発電設備	計測監視装置	太陽光発電設備にて設置



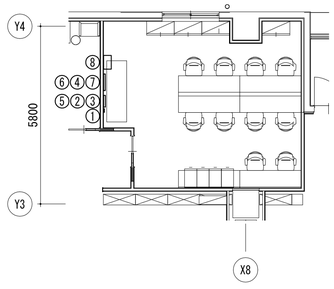
正面図

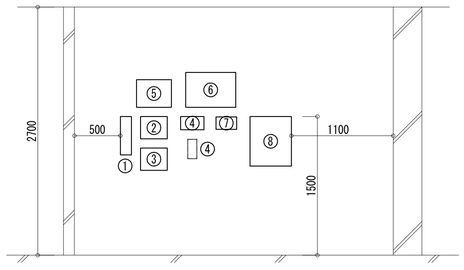


側面図

2 3階事務室詳細図

A1：1:100
A3：1:200





正面図

番号	設備名	機 器 名 称	備 考
①	電灯設備	照明リモコンスイッチ	電灯設備にて設置
②	空調設備	パッケージエアコン集中コントローラー（B系統）	空調設備設備にて設置
③	空調設備	全熱交換器集中コントローラー（B系統）	空調設備設備にて設置
④	誘導支援設備	インターホン	弱電設備にて設置（EV,出入口）
⑤	誘導支援設備	非常呼出表示窓	弱電設備にて設置
⑥	監視カメラ設備	監視カメラリモートビューア機器	弱電設備にて設置
⑦	非常放送設備	業務リモコンマイク	弱電設備にて設置
⑧	防災設備	副受信機	自火報設備にて設置

3 諸警報（自火報受信機）表示内容

（1階事務室内設置）

※以下諸警報を自火報受信機の警報窓に表示を行うこと。

諸警報リスト

窓番号	表示内容		窓番号	表示内容	
1	受変電設備	一括警報	16	太陽光 パワーコンディショナー1	故障
2	デマンド	警報	17	太陽光 パワーコンディショナー2	故障
3	SPD（劣化）	一括故障	18	太陽光 パワーコンディショナー3	故障
4	非常用発電機	運転	19	太陽光 パワーコンディショナー4	故障
5	非常用発電機	故障	20	太陽光 パワーコンディショナー5	故障
6	給水ポンプ（PU-1）	故障	21	太陽光 パワーコンディショナー6	故障
7	1LM-1	一括警報	22	消火水槽	満水
8	1L-2	一括警報	23	消火水槽	減水
9	1L-3	一括警報	24	消火用充水タンク	満水
10	1L-4	一括警報	25	消火用充水タンク	減水
11	2LM-1	一括警報	26	予備	
12	3LM-1	一括警報	27	予備	
13	4LM-1	一括警報	28	予備	
14	RM-1	一括警報	29	予備	
15	RM-2	一括警報	30	予備	

4 制御線リスト

—

警報用

自	至	配 線	配 管	備 考
自火報受信機	受変電	15P	(E51) (G54)	
	非常用発電機	EM-CEE2°-6C	(E39) (G36)	
	PU-1	3P	(E25)	給水ポンプユニット
	1LM-1	3P	(E25)	
	1L-2	3P	(E25)	
	1L-3	3P	(E25)	
	1L-4	3P	(E25)	
	2LM-1	3P	(E25)	
	3LM-1	3P	(E25)	
	4LM-1	3P	(E25)	
	RM-1	3P	(E25) (G22)	
	RM-2	3P	(E25) (G22)	
	太陽光 パワーコンディショナー1	3P	(E25) (G22)	
	太陽光 パワーコンディショナー2	3P	(E25) (G22)	
	太陽光 パワーコンディショナー3	3P	(E25) (G22)	
	太陽光 パワーコンディショナー4	3P	(E25) (G22)	
	太陽光 パワーコンディショナー5	3P	(E25) (G22)	
	太陽光 パワーコンディショナー6	3P	(E25) (G22)	
	消火水槽	3P	(E25) (G22)	
	消火用充水タンク	3P	(E25) (G22)	

註記）１．特記なき配線はEM-FCPEE1.2とする。
２．サイズ記号の前にSを付記したものはEM-FCPEESとする。
３．ケーブルラック外は記載配管にてケーブル保護とする。

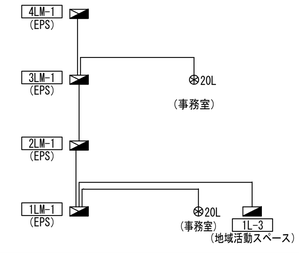
連動・インターロック用

自	至	配 線	配 管	備 考
非常用発電機	受変電	EM-FP-C2°-10C	(G42)	状態信号、故障信号
燃料小出槽 フロートスイッチ	非常用発電機	4C	(G28)	油面信号（油面低下・最低油量）
自火報受信機	パッケージエアコン 集中コントローラー（A系統）	EM-HP1.2-2C	(E25)	防災連動停止
	全熱交換器 集中コントローラー（A系統）	EM-HP1.2-2C	(E25)	防災連動停止
	パッケージエアコン 集中コントローラー（B系統）	EM-HP1.2-2C	(E25)	防災連動停止
	全熱交換器 集中コントローラー（B系統）	EM-HP1.2-2C	(E25)	防災連動停止
	受変電	EM-HP1.2-2C	(E25)	受変電マグネット開放
	RM-2	EM-HP1.2-2C	(E25)	防災連動停止

註記）１．特記なき配線はEM-CEE2°とする。
２．サイズ記号の前にSを付記したものはEM-CEESとする。
３．ピット、ケーブルラック外は記載配管にてケーブル保護とする。

照明リモコン

配線はすべてEM-FCPEES1.2-3P（E19）とする。



明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	E	電気設備工事 事務室詳細図	最終版 2025.02.28
〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築 国土交通大臣登録 第2339号 小林 陽一	11	制御線リスト N.S	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

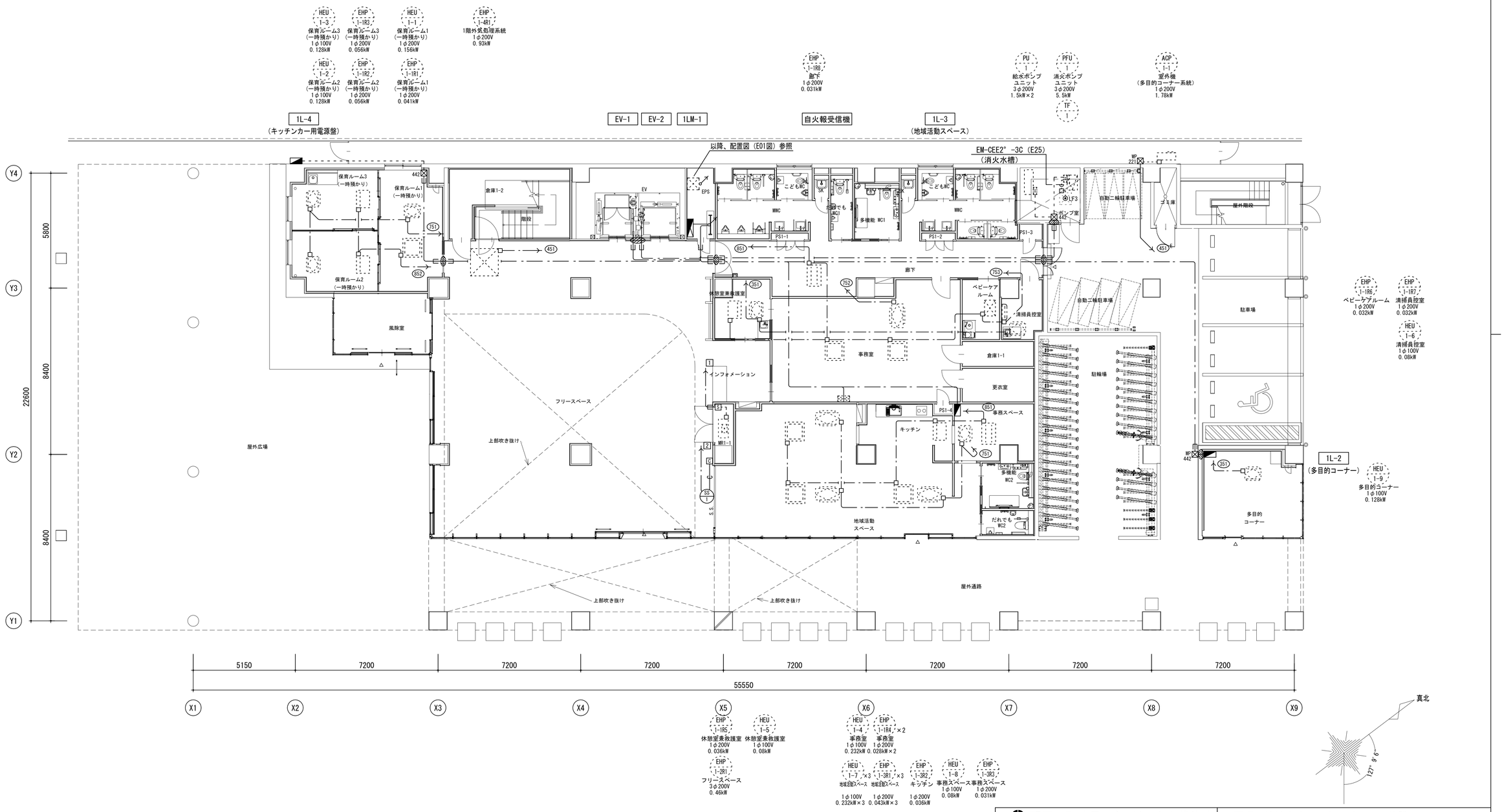
20230220

凡例

記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考
	電灯分電盤		S	開閉器箱（容量傍記）	樹脂製収納箱		防火区画貫通処理	国土交通大臣認定
	電灯動力分電盤		S WP	開閉器箱（容量傍記）	防水型、樹脂製収納箱		ケーブルラック（垂直）	
	動力制御盤		CH	ケーブルヘッド		○	露出ボックス	丸型
	諸警報（自火報受信機）		LF	フロートレススイッチ電源		⊠	プルボックス	
	接地端子盤					⊠WP	プルボックス 防水型(SUS製)	指定色焼付塗装
						——	天井隠ぺい配線	
	エレベータ制御盤	エレベータ工事				— - —	天井転がし配線	
	交流集合箱					— — —	床隠ぺい配線	
						------	露出配管	
	電動機　動力番号を示す						配管配線　立上り　立下げ	
	空調室内機	空調設備工事					接地極（EA 、EB 、ED 、EE (ELB) ）	
	全熱交換器	空調設備工事						
	シャッター電源							
C	シャッタースイッチボックス	建築工事						

注記

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。
   （1）幹線・動力設備　　配電盤・動力盤リスト参照
   ——— EM-EEF2.0-3C（1CE）（PF22）
   ——c——（PF22）
   二重天井内はケーブル転がし配線とする。
2. ACP室内機・全熱交換器・換気扇（単相）電源はコンセント接続とする。
   （抜け止め型接地端子付）また点検口より点検できる様にコンセントを設置のこと。
3. 直天井は電灯設備図参照とする。
4. 特記なきケーブルラックは、ZM-nBとする。
5. 屋外のケーブルラックは高耐食性溶融亜鉛メッキ鋼板製（ZAM）・蓋付（点検歩廊用）とし、支持架台（高耐食性溶融亜鉛メッキ鋼板製）を見込むこと。
   また、屋上コンクリート仕上面より 300mm 以上の空間を保持する支持架台とすること。
6. EPS内各電灯盤上部より二重天井内まで二次側配線ケーブル立上げ用としてケーブルラックを見込むこと。
7. プルボックスのサイズ・仕様は下記による。
   ⊠442 ： SS400×400×200
   ⊠595 ： SS500×900×500
   ⊠221WP： SS200×200×100WP-SUS
   ⊠331WP： SS300×300×100WP-SUS
   ⊠442WP： SS400×400×200WP-SUS
   ⊠664WP： SS600×600×400WP-SUS
   ⊠995WP： SS900×900×500WP-SUS
8. ゾーニング区分図施工要領に応じた仕様とすること。（E07図）
9. 2階フロアにおいて、防音壁を貫通する箇所については、防音性能に配慮した貫通処理を施すこと。



明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto 建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	E	電気設備工事 幹線・動力設備	最終版　2025. 02. 28
〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	12	1階平面図　A1 1:100　A3 1:200	見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

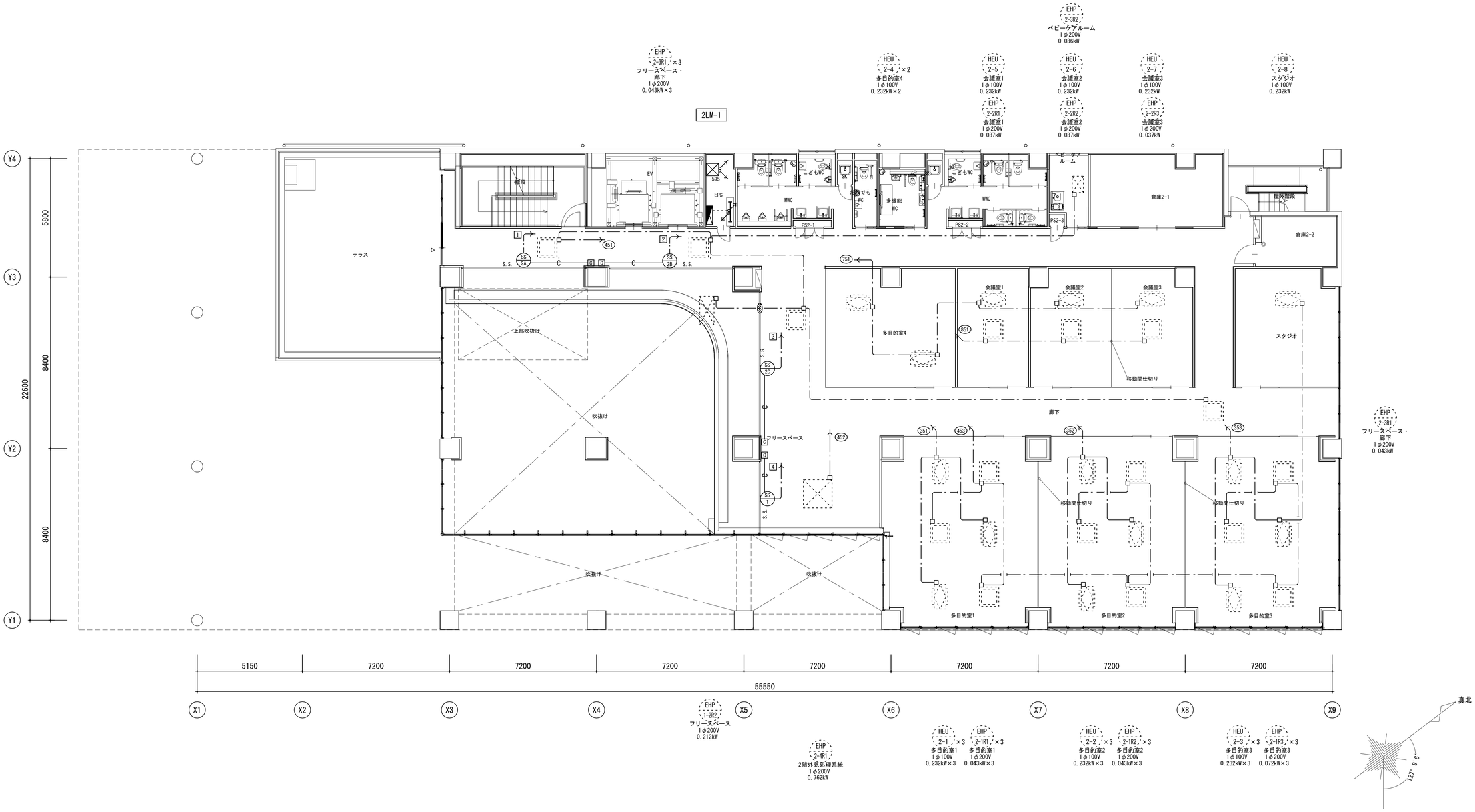
20230220

凡例

記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考
	電灯分電盤		S	開閉器箱（容量傍記）	樹脂製収納箱		防火区画貫通処理	国土交通大臣認定
	電灯動力分電盤		S WP	開閉器箱（容量傍記）	防水型、樹脂製収納箱		ケーブルラック（垂直）	
	動力制御盤		CH	ケーブルヘッド		○	露出ボックス	丸型
	諸警報（自火報受信機）		LF	フロートレススイッチ電源		☒	プルボックス	
	接地端子盤					☒ WP	プルボックス 防水型(SUS製)	指定色焼付塗装
						———	天井隠ぺい配線	
	エレベータ制御盤	エレベータ工事				— - —	天井転がし配線	
	交流集合箱					— — —	床隠ぺい配線	
						------	露出配管	
	電動機　動力番号を示す						配管配線　立上り　立下げ	
	空調室内機	空調設備工事					接地極（EA 、EB 、ED 、ED (ELB) ）	
	全熱交換器	空調設備工事						
SS 77	シャッター電源							
C	シャッタースイッチボックス	建築工事						

注記

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。
   （1）幹線・動力設備　　配電盤・動力盤リスト参照
   ——— EM-EEF2.0-3C（1CE）（PF22）
   ——c——（PF22）
   二重天井内はケーブル転がし配線とする。
2. ACP室内機・全熱交換器・換気扇（単相）電源はコンセント接続とする。
   （抜け止め型接地端子付）また点検口より点検できる様にコンセントを設置のこと。
3. 直天井は電灯設備図参照とする。
4. 特記なきケーブルラックは、ZM-nBとする。
5. 屋外のケーブルラックは高耐食性溶融亜鉛メッキ鋼板製（ZAM）・蓋付（点検歩廊用）とし、支持架台（高耐食性溶融亜鉛メッキ鋼板製）を見込むこと。
   また、屋上コンクリート仕上面より 300mm 以上の空間を保持する支持架台とすること。
6. EPS内各電灯盤上部より二重天井内まで二次側配線ケーブル立上げ用としてケーブルラックを見込むこと。
7. プルボックスのサイズ・仕様は下記による。
   ☒442 ： SS400×400×200
   ☒595 ： SS500×900×500
   ☒221WP： SS200×200×100WP-SUS
   ☒331WP： SS300×300×100WP-SUS
   ☒442WP： SS400×400×200WP-SUS
   ☒664WP： SS600×600×400WP-SUS
   ☒995WP： SS900×900×500WP-SUS
8. ゾーニング区分図施工要領に応じた仕様とすること。（E07図）
9. 2階フロアにおいて、防音壁を貫通する箇所については、防音性能に配慮した貫通処理を施すこと。



明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章 〈設備設計者〉 一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	E	電気設備工事 幹線・動力設備 2階平面図 A1 1:100 A3 1:200	最終版 2025. 02. 28
	13		見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

20230220

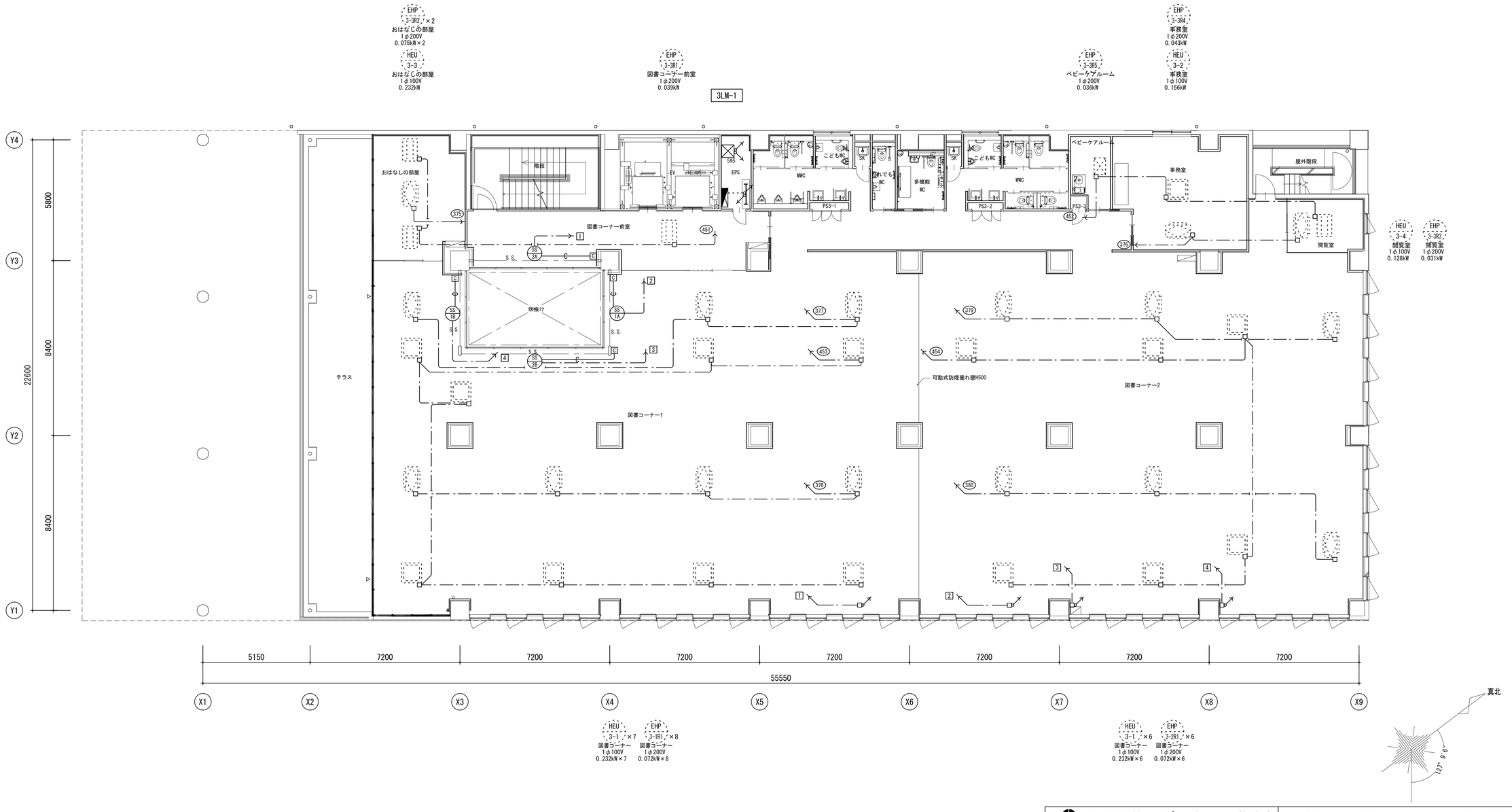
凡例

記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考
	電灯分電盤		S	開閉器箱（容量傍記）	樹脂製収納箱		防火区画貫通処理	国土交通大臣認定
	電灯動力分電盤		S WP	開閉器箱（容量傍記）	防水型、樹脂製収納箱		ケーブルラック（垂直）	
	動力制御盤		CH	ケーブルヘッド		○	露出ボックス	丸型
	諸警報（自火報受信機）		LF	フロートレススイッチ電源		⊠	プルボックス	
	接地端子盤					⊠WP	プルボックス 防水型(SUS製)	指定色焼付塗装
							天井隠ぺい配線	
	エレベータ制御盤	エレベータ工事					天井転がし配線	
	交流集合箱						床隠ぺい配線	
							露出配管	
	電動機　動力番号を示す						配管配線　立上り　立下げ	
	空調室内機	空調設備工事					接地極（EA、EB、ED、ED(ELB)）	
	全熱交換器	空調設備工事						
SS	シャッター電源							
C	シャッタースイッチボックス	建築工事						

注記

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。
   （1）幹線・動力設備　　配電盤・動力盤リスト参照
   ———— EM-EEF2.0-3C（1CE）（PF22）
   ——C—— （PF22）

   二重天井内はケーブル転がし配線とする。
2. ACP室内機・全熱交換器・換気扇（単相）電源はコンセント接続とする。
   （抜け止め型接地端子付）また点検口より点検できる様にコンセントを設置のこと。
3. 直天井は電灯設備図参照とする。
4. 特記なきケーブルラックは、ZM-nBとする。
5. 屋外のケーブルラックは高耐食性溶融亜鉛メッキ鋼板製（ZAM）・蓋付（点検歩廊用）とし、支持架台（高耐食性溶融亜鉛メッキ鋼板製）を見込むこと。
   また、屋上コンクリート仕上面より 300mm 以上の空間を保持する支持架台とすること。
6. EPS内各電灯盤上部より二重天井内まで二次側配線ケーブル立上げ用としてケーブルラックを見込むこと。
7. プルボックスのサイズ・仕様は下記による。
   ⊠442 ： SS400×400×200
   ⊠595 ： SS500×900×500
   ⊠221WP： SS200×200×100WP-SUS
   ⊠331WP： SS300×300×100WP-SUS
   ⊠442WP： SS400×400×200WP-SUS
   ⊠664WP： SS600×600×400WP-SUS
   ⊠995WP： SS900×900×500WP-SUS
8. ゾーニング区分図施工要領に応じた仕様とすること。（E07図）
9. 2階フロアにおいて、防音壁を貫通する箇所については、防音性能に配慮した貫通処理を施すこと。



明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	E	電気設備工事	最終版 2025.02.28
〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築 国土交通大臣登録 第2339号 小林 陽一	14	幹線・動力設備 3階平面図 A1 1:100 A3 1:200	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

20230220

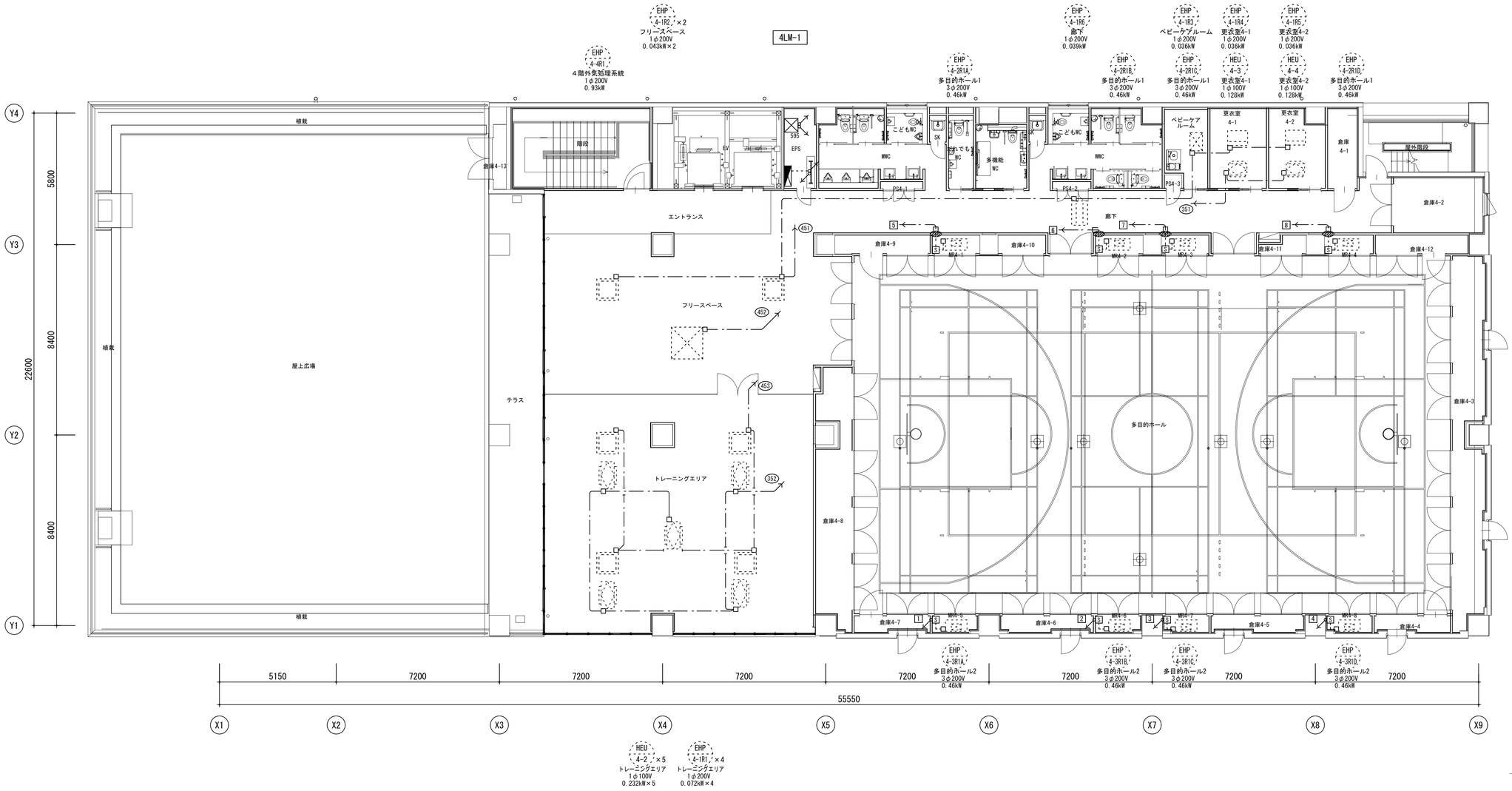
凡例

記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考
	電灯分電盤		S	開閉器箱（容量傍記）	樹脂製収納箱		防火区画貫通処理	国土交通大臣認定
	電灯動力分電盤		S WP	開閉器箱（容量傍記）	防水型、樹脂製収納箱		ケーブルラック（垂直）	
	動力制御盤		CH	ケーブルヘッド		○	露出ボックス	丸型
	諸警報（自火報受信機）		LF	フロートレススイッチ電源		⊠	プルボックス	
	接地端子盤					⊠ WP	プルボックス 防水型(SUS製)	指定色焼付塗装
							天井隠ぺい配線	
	エレベータ制御盤	エレベータ工事					天井転がし配線	
	交流集合箱						床隠ぺい配線	
							露出配管	
	電動機　動力番号を示す						配管配線　立上り　立下げ	
	空調室内機	空調設備工事					接地極（EA 、EB 、ED 、ED(ELB)）	
	全熱交換器	空調設備工事						
SR	シャッター電源							
C	シャッタースイッチボックス	建築工事						

注記

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。
   （1）幹線・動力設備　　配電盤・動力盤リスト参照
   ——— EM-EEF2.0-3C（1CE）（PF22）
   ——c——（PF22）

   二重天井内はケーブル転がし配線とする。
2. ACP室内機・全熱交換器・換気扇（単相）電源はコンセント接続とする。
   （抜け止め型接地端子付）また点検口より点検できる様にコンセントを設置のこと。
3. 直天井は電灯設備図参照とする。
4. 特記なきケーブルラックは、ZM-nBとする。
5. 屋外のケーブルラックは高耐食性溶融亜鉛メッキ鋼板製（ZAM）・蓋付（点検歩廊用）とし、支持架台（高耐食性溶融亜鉛メッキ鋼板製）を見込むこと。
   また、屋上コンクリート仕上面より 300mm 以上の空間を保持する支持架台とすること。
6. EPS内各電灯盤上部より二重天井内まで二次側配線ケーブル立上げ用としてケーブルラックを見込むこと。
7. プルボックスのサイズ・仕様は下記による。
   ⊠442 ： SS400×400×200
   ⊠595 ： SS500×900×500
   ⊠221WP： SS200×200×100WP-SUS
   ⊠331WP： SS300×300×100WP-SUS
   ⊠442WP： SS400×400×200WP-SUS
   ⊠664WP： SS600×600×400WP-SUS
   ⊠995WP： SS900×900×500WP-SUS
8. ゾーニング区分図施工要領に応じた仕様とすること。（E07図）
9. 2階フロアにおいて、防音壁を貫通する箇所については、防音性能に配慮した貫通処理を施すこと。



明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	E	電気設備工事 幹線・動力設備 4階平面図　A1 1:100　A3 1:200	最終版　2025. 02. 28
〈設備設計者〉 一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	15		見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

20230220

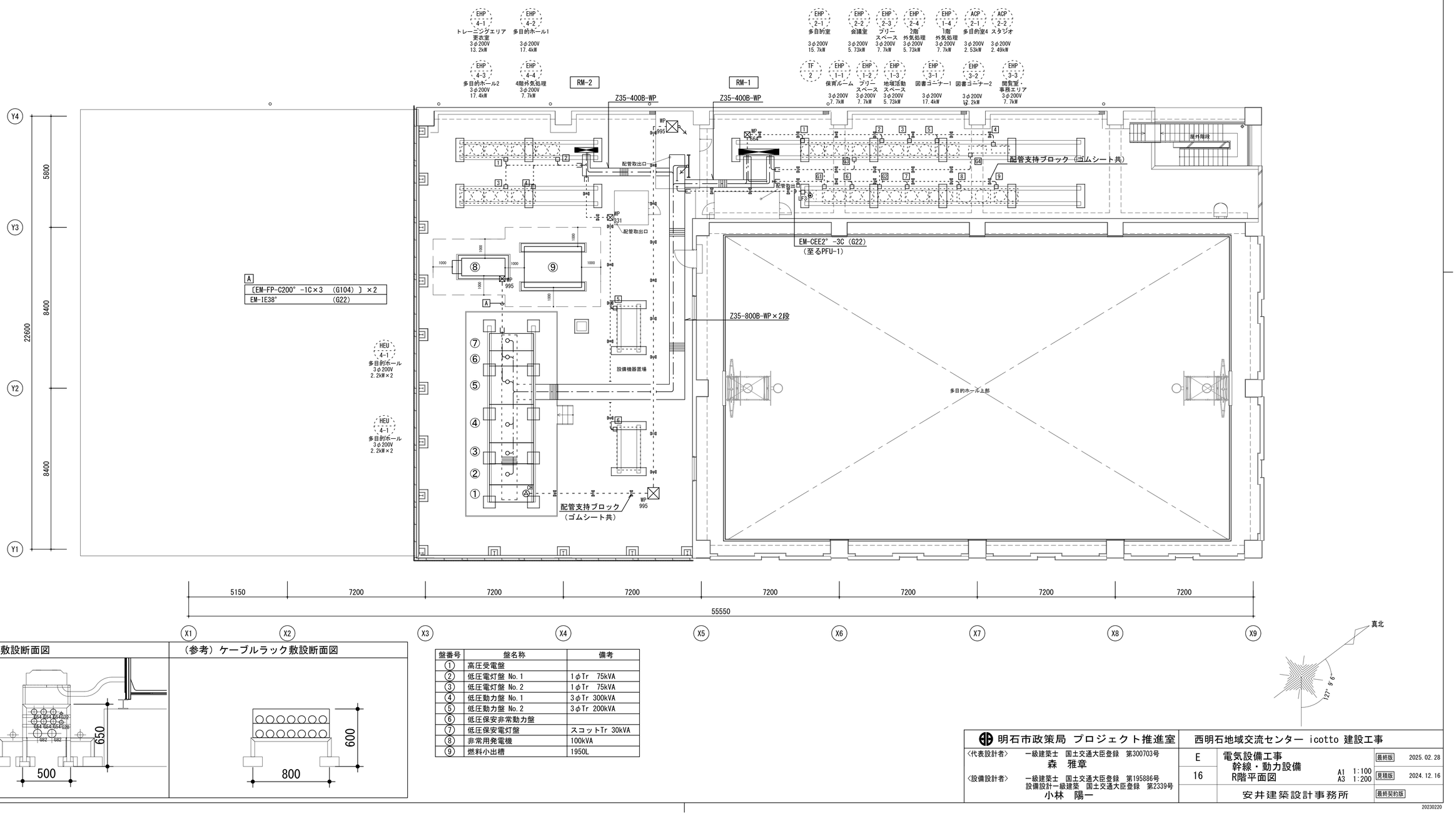
凡例

記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考
◢	電灯分電盤		S	開閉器箱（容量傍記）	樹脂製収納箱	▨	防火区画貫通処理	国土交通大臣認定
◪	電灯動力分電盤		S WP	開閉器箱（容量傍記）	防水型、樹脂製収納箱	⊢⊣	ケーブルラック（垂直）	
◤	動力制御盤		CH	ケーブルヘッド		○	露出ボックス	丸型
⊡	諸警報（自火報受信機）		LF	フロートレススイッチ電源		☒	プルボックス	
▭	接地端子盤					☒ WP	プルボックス 防水型(SUS製)	指定色焼付塗装
						———	天井隠ぺい配線	
⊡	エレベータ制御盤	エレベータ工事				— · —	天井転がし配線	
◪	交流集合箱					— — —	床隠ぺい配線	
						-------	露出配管	
(EHP 4-1)	電動機　動力番号を示す					∫	配管配線　立上り　立下げ	
⊡	空調室内機	空調設備工事				⏚	接地極（EA 、EB 、ED 、ED（ELB））	
⊡	全熱交換器	空調設備工事						
SSR (TF)	シャッター電源							
C	シャッタースイッチボックス	建築工事						

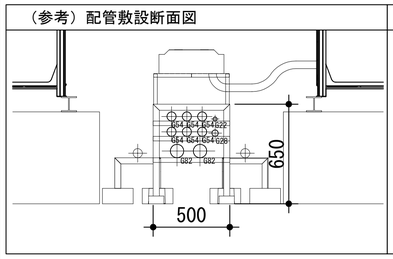
注記

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。
   （1）幹線・動力設備　　配電盤・動力盤リスト参照
   ——— EM-EEF2.0-3C（1CE）（PF22）
   ——c——（PF22）

   二重天井内はケーブル転がし配線とする。
2. ACP室内機・全熱交換器・換気扇（単相）電源はコンセント接続とする。
   （抜け止め型接地端子付）また点検口より点検できる様にコンセントを設置のこと。
3. 直天井は電灯設備図参照とする。
4. 特記なきケーブルラックは、ZM-nBとする。
5. 屋外のケーブルラックは高耐食性溶融亜鉛メッキ鋼板製（ZAM）・蓋付（点検歩廊用）とし、支持架台（高耐食性溶融亜鉛メッキ鋼板製）を見込むこと。
   また、屋上コンクリート仕上面より 300mm 以上の空間を保持する支持架台とすること。
6. EPS内各電灯盤上部より二重天井内まで二次側配線ケーブル立上げ用としてケーブルラックを見込むこと。
7. プルボックスのサイズ・仕様は下記による。
   ☒442 ： SS400×400×200
   ☒595 ： SS500×900×500
   ☒221WP： SS200×200×100WP-SUS
   ☒331WP： SS300×300×100WP-SUS
   ☒442WP： SS400×400×200WP-SUS
   ☒664WP： SS600×600×400WP-SUS
   ☒995WP： SS900×900×500WP-SUS
8. ゾーニング区分図施工要領に応じた仕様とすること。（E07図）
9. 2階フロアにおいて、防音壁を貫通する箇所については、防音性能に配慮した貫通処理を施すこと。



（参考）配管敷設断面図



（参考）ケーブルラック敷設断面図

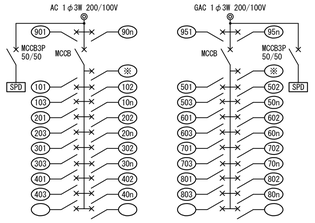
盤番号	盤名称	備考
①	高圧受電盤	
②	低圧電灯盤 No.1	1φTr 75kVA
③	低圧電灯盤 No.2	1φTr 75kVA
④	低圧動力盤 No.1	3φTr 300kVA
⑤	低圧動力盤 No.2	3φTr 200kVA
⑥	低圧保安非常動力盤	
⑦	低圧保安電灯盤	スコットTr 30kVA
⑧	非常用発電機	100kVA
⑨	燃料小出槽	1950L

明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	E	電気設備工事	最終版 2025. 02. 28
〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築 国土交通大臣登録 第2339号 小林 陽一	16	幹線・動力設備 R階平面図 A1 1:100 A3 1:200	見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

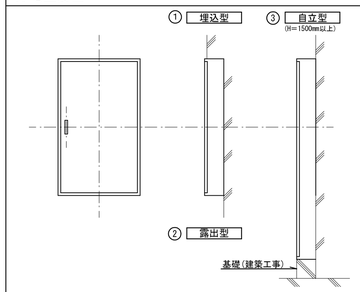
（2023年版）

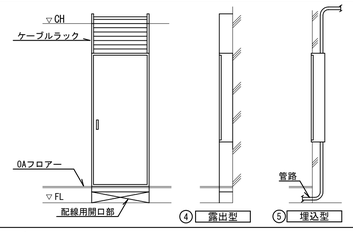
20230220

分電盤結線図



分電盤姿図





凡例

図記号	名称		備考
(101)	AC100V	電灯回路	MCCB2P1E 50AF／20AT
(201)	AC200V	電灯回路	MCCB2P2E 50AF／20AT
(301)	AC100V	コンセント回路	MCCB2P1E 50AF／20AT
(401)	AC200V	コンセント回路	MCCB2P2E 50AF／20AT
(351)	AC100V	単相動力回路	MCCB2P1E 50AF／20AT
(451)	AC200V	単相動力回路	MCCB2P2E 50AF／20AT
(501)	GAC100V	電灯回路	MCCB2P1E 50AF／20AT
(601)	GAC200V	電灯回路	MCCB2P2E 50AF／20AT
(701)	GAC100V	コンセント回路	MCCB2P1E 50AF／20AT
(801)	GAC200V	コンセント回路	MCCB2P2E 50AF／20AT
(751)	GAC100V	単相動力回路	MCCB2P1E 50AF／20AT
(851)	GAC200V	単相動力回路	MCCB2P2E 50AF／20AT
(901)	AC100V	消防等用電源	MCCB2P2E 50AF／20AT
(DC1)	AC100V	電源別置非常照明電源	MCCB2P1E 50AF／20AT
◯R	リモコンスイッチ回路		
◯T	タイマー回路		MC2P 20A 取付
◯E	漏電遮断器回路		ELCB2P 50AF／20AT
◯A	自動点滅器回路		MC2P 20A 取付
T/U	リレー制御用T/U		4回路用
Wh	電力量計 (パルス発信装置付) (デジタル付)		120A以上はCT付とする。検定付とする。
EM	エネルギー(電力量)計測装置 (パルス発信装置付)(デジタル付)		120A以上はCT付とする。
SPD	サージ保護装置		クラスⅡ 20kA(8／20 μs)

注記)
1) リモコン回路は多重伝送フル2線式リモコン(レイアウトフリー)とする。
2) 分電器内にはリモコントランス、リレー制御用T/U(4回路用)を必要個数組込むこと。
3) リモコンスイッチの負荷アドレス設定用ワイヤレスアドレス設定器を1台、納品のこと。
4) 分電盤内の内扉開表面に盤内のリモコンスイッチを(光アドレス設定式)を取付のこと。
5) 分電盤面に負荷エリア図を貼付のこと。
6) 1次側電源供給表示灯(LED)を取付のこと。
7) ソーラータイマーは年間プログラムタイマーとし、補償用バッテリー内蔵のこと。
8) 主開閉器のトリップ警報及びSPD警報を、盤面に表示するとともに、諸警報(自火報受信機)に移報表示できる接点を設けること。
9) 分電盤内Whが読める様、検視窓を設けること。

分電盤リスト(1)

1LM-1

盤名称(結線記号): 1LM-1 ③
主開閉器(幹線番号): 1L1 MCCB 3P 225/175 1φ3W AC 210/105V
伝送ユニット×1 TU(4L)×5 リモコントランス×1 EEスイッチ 連動ユニット×1 年間ｽｹｼﾞｭｰﾙﾀｲﾏｰ×1

回路番号	容量(VA)	備考
901	80	誘導灯
902	330	階段通路誘導灯
903	200	誘導灯信号装置
904		予備
		<小計 610>
101 R9,R10	170	MWC、WWC 電灯
102	310	SK、ポンプ室、清掃員控室 他 電灯
103	495	倉庫1-1、2、更衣室 換気扇、電灯
104 R13 E	70	屋外通路 電灯
105 AT E	80	屋外サイン用 電灯
106		予備
		<小計 1125>
151 E	135	非常用照明
152		予備
		<小計 135>
201	250	保育ルーム1～3、EPS 電灯
202 R1～3	280	フリースペース、廊下 電灯
203 R4	200	事務室 電灯
204	180	インフォメーション、清掃員控室他 電灯
205 R5～R8	425	駐車場、駐輪場 電灯
206 R11,12 E	625	屋外広場、屋外通路、庇 電灯
207		予備
208		予備
		<小計 1960>
301	500	EPS コンセント
302 E	620	MWC ウォシュレット コンセント
303 E	250	MWC ウォシュレット コンセント
304	300	トイレ音声誘導パッシブセンサー用電源
305 E	350	だれでもWC1 コンセント
306 E	1350	多機能WC1 ウォシュレット コンセント
307 E	250	MWC ウォシュレット コンセント
308 E	620	MWC ウォシュレット コンセント
309 E	620	MWC ウォシュレット コンセント
310	500	映像音響アンプ コンセント
311	400	フリースペース コンセント
312	400	廊下、清掃員控室 コンセント
313	300	保育ルーム1～3 コンセント
314 E	1100	保育ルーム3 電気温水器コンセント
315	500	インフォメーション コンセント
316	300	休憩室兼救護室 コンセント
317 E	1100	休憩室兼救護室 電気温水器 コンセント
318	1200	事務室 コンセント
319	1500	事務室 プリンター コンセント
320 E	1100	清掃員控室 電気温水器 コンセント
321	200	倉庫1-1、更衣室 コンセント
322	200	エレベータ コンセント
323	1000	エレベータ制御盤(EV-2)
324	1000	エレベータ制御盤(EV-1)
325	500	階段、倉庫1-2 コンセント
326	600	デジタルサイネージ用 コンセント
327 E	1000	自動販売機用 コンセント
328 E	1000	自動販売機用 コンセント
329 E	300	ポンプ室、ゴミ庫 コンセント
330 E	600	駐車場、屋外通路 コンセント
331 E	200	精算機、音声案内 コンセント
332	300	自動ドア用電源
333	500	ITV架用電源
334	1000	電気錠制御盤用電源
335	400	音声誘導装置用電源
336	600	インターホン用電源
337	100	フリースペース カットリレー用電源
338		予備
339		予備
340		予備
341		予備
342		予備
343		予備
344		予備
		<小計 22760>
351	200	休憩室兼救護室 全熱交換器
352		予備
		<小計 200>
451	950	外気処理系統 空調室内機
452		予備
		<小計 950>
		<合計 27740>

1LM-1 太陽光自立電源

主開閉器(幹線番号): GL11 MCCB 3P 100/75 1φ3W GAC 210/105V

回路番号	容量(VA)	備考
951	300	自火報受信機
952	500	非常業務兼用放送アンプ
		<小計 800>
501 R14,R15	100	MWC、WWC 電灯
502	310	だれでもWC1、ベビーケアルーム 電灯
503		予備
504		予備
		<小計 410>
551	250	MWC、WWC 換気扇
552 R16,R17	250	MWC、WWC 換気扇
		<小計 500>
601 R11,12	120	廊下、WWC 電灯
602 R13	250	事務室 電灯
603	200	休憩室、兼救護室保育ルーム1～3 電灯
604		予備
		<小計 570>
701	200	光警報サブコントローラー コンセント
702 E	750	多機能WC1 汚物流し コンセント
703 E	550	多機能WC1 洗面 コンセント
704	200	フリースペース コンセント
705	300	保育ルーム1～3 コンセント
706	1100	事務室 コンセント
707	1100	事務室 コンセント
708 E	1500	ベビーケアルーム コンセント
709	300	照明リモコン、空調集中コントローラー用電源
710	500	光警報コントローラー・PBX用電源
711	100	シャッター危害防止電源
712		予備
713		予備
714		予備
		<小計 6600>
751	420	保育ルーム1～3 全熱交換器
752	250	事務室 全熱交換器
753	100	ベビーケアルーム、清掃員控室 ドレンアップユニット
754		予備
755		予備
		<小計 770>
851	600	事務室他 空調室内機
852	300	保育ルーム1～3 空調室内機
853		予備
854		予備
		<小計 900>
		<合計 10550>

1LM-1 太陽光自立電源

	主開閉器(幹線番号)	回路番号	容量(VA)	備考
パワコン1より	MCCB 3P 50/30	T301	1500	フリースペース
		T302	1500	廊下
				<合計 3000>
パワコン2より	MCCB 3P 50/30	T303	1500	フリースペース
		T304	1500	廊下
				<合計 3000>

1L-2

盤名称(結線記号): 1L-2 ②
主開閉器(幹線番号): 1L2 MCCB 3P 50/30 1φ3W AC 210/105V
(多目的コーナー) (指定色塗装) (上部配線ダクト)

回路番号	容量(VA)	備考
151	5	非常用照明
152		予備
		<小計 5>
201	200	多目的コーナー 電灯
202		予備
		<小計 200>
301	400	多目的コーナー コンセント
302	200	多目的コーナー コンセント
303		予備
304		予備
		<小計 600>
351	130	多目的コーナー 全熱交換器
352		予備
		<小計 130>
451 E	1800	多目的コーナー 空調室外機
452		予備
		<小計 1800>
		<合計 2735>

1L-3

盤名称(結線記号): 1L-3 ③
主開閉器(幹線番号): 1L3 MCCB 3P 100/75 1φ3W AC 210/105V
(地域活動スペース) (指定色塗装) (上部配線ダクト) TU(4L)×1 リモコントランス×1

回路番号	容量(VA)	備考
901	20	誘導灯
902		予備
		<小計 20>
151	35	非常用照明
152		予備
		<小計 35>
201	180	キッチン、事務スペース 電灯
202 R18	300	地域活動スペース 電灯
203		予備
204		予備
		<小計 480>
301	400	キッチン、事務スペース コンセント
302	300	地域活動スペース コンセント
303 E	1350	多機能WC2 ウォシュレット コンセント
304 E	400	だれでもWC2 コンセント
305 E	200	IH照明用 コンセント
306	400	レジスター用
307	400	レジスター用
308		予備
		<小計 3450>
401 E 30A	5500	キッチン IH コンセント
		<小計 5500>
		<合計 9485>

1L-3 太陽光自立電源

	主開閉器(幹線番号)	回路番号	容量(VA)	備考
パワコン3より	MCCB 3P 50/30	T301	1500	地域活動スペース
		T302	1500	地域活動スペース
				<合計 3000>

1L-3

主開閉器(幹線番号): GL12 MCCB 3P 50/30 1φ3W GAC 210/105V

回路番号	容量(VA)	備考
501	250	多機能WC2、だれでもWC2 電灯
502		予備
		<小計 250>
551	200	キッチン 換気扇
552		予備
		<小計 200>
601	50	キッチン 電灯
602 R19	250	地域活動スペース 電灯
603		予備
604		予備
		<小計 300>
701	300	地域活動スペース コンセント
702 E	550	多機能WC2 洗面 コンセント
703 E	750	多機能WC2 汚物流し コンセント
704		予備
705		予備
706		予備
		<小計 1600>
751	850	地域活動スペース 全熱交換器
752		予備
		<小計 850>
851	500	地域活動スペース 空調室内機
852		予備
		<小計 500>
		<合計 3700>

1L-4

盤名称(結線記号): 1L-4 ②
(ｷｯﾁﾝｶｰ用電源盤) (耐塩仕様) (指定色塗装)
主開閉器(幹線番号): 1L4 MCCB 3P 100/75 1φ3W AC 210/105V

回路番号	容量(VA)	備考
301 E	1000	キッチンカー用
302 E	1000	キッチンカー用
303 E	1000	キッチンカー用
304 E	1000	キッチンカー用
305 E	1000	キッチンカー用
306 E	1000	キッチンカー用
		<小計 6000>
		<合計 10000>
401 E	2000	キッチンカー用
402 E	2000	キッチンカー用
		<小計 4000>

※ 2P15AE×2コンセント×6(1φ100V)
2P15AE×2コンセント×2(1φ200V)を盤内に取付
※ 配線取出口を見込むこと

明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	E	電気設備工事
〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築 国土交通大臣登録 第2339号 小林 陽一	17	分電盤リスト (1) A1：N.S A3：N.S
		安井建築設計事務所

最終版 2025.02.28
見積版 2024.12.16
最終契約版

(2023年版)

20230220

分電盤リスト(2)

2LM-1

主開閉器（結線記号）：③
主開閉器（幹線番号）：1L5
MCCB 3P 225/125 1φ3W AC 210/105V
TU(4L)×9 リモコントランスx1

回路番号	容量(VA)	備考
901	50	誘導灯
902		予備
		<小計 50>
101 R14,15	170	MWC、WWC 電灯
102	35	SK、WWC、ベビーケアルーム 電灯
103 R16	290	フリースペース 電灯
104	200	倉庫2-1、2-2 換気扇
105		予備
106		予備
		<小計 695>
151	165	非常用照明
152		予備
		<小計 165>
201	145	EPS、倉庫2-1 電灯
202 R1~3	590	廊下、フリースペース 電灯
203 R4,5	520	フリースペース、吹抜 電灯
204 R6~10	430	多目的室4、会議室1~3 他 電灯
205 R11~13	750	多目的室1~3 電灯
206 R17,18 E	135	テラス 電灯
207		予備
208		予備
		<小計 2570>
301	400	EPS コンセント
302 E	620	MWC ウォシュレット コンセント
303 E	250	MWC ウォシュレット コンセント
304		予備
305 E	350	だれでもWC コンセント
306 E	1350	多機能MC ウォシュレット コンセント
307 E	250	WWC ウォシュレット コンセント
308 E	620	WWC ウォシュレット コンセント
309 E	620	WWC ウォシュレット コンセント
310 E	200	自動灌水設備電源
311 E	400	廊下 コンセント
312	300	廊下、フリースペース コンセント
313	600	カウンター コンセント
314	600	カウンター コンセント
315	600	カウンター コンセント
316	400	倉庫2-1、2-2 コンセント
317 E	1500	ベビーケアルーム コンセント
318	500	多目的室4、会議室1 コンセント
319	500	映像音響アンプ コンセント
320	200	多目的室4 カットリレー用電源
321	500	会議室2、3、スタジオ コンセント
322	500	映像音響アンプ コンセント
323	200	スタジオ、多目的室3 カットリレー用電源
324	700	多目的室1 コンセント
325	500	映像音響アンプ コンセント
326	400	多目的室3、4 コンセント
327	600	カウンター
328		予備
329		予備
330		予備
331		予備
332		予備
		<小計 13660>
351	750	多目的室1 全熱交換器
352	750	多目的室2 全熱交換器
353	1000	多目的室3、スタジオ 全熱交換器
354		予備
355		予備
356		予備
		<小計 2500>
451	750	廊下、フリースペース 空調室内機
452	800	外気処理系統 空調室内機
453	900	多目的室1~3 空調室内機
454		予備
455		予備
456		予備
		<小計 2450>
		<合計 22090>

盤名称（結線記号）：太陽光自立電源

	回路番号	容量(VA)	備考
パワコン4より MCCB 3P 50/30	T301	1500	廊下
	T302	1500	廊下
			<合計 3000>
パワコン5より MCCB 3P 50/30	T303	1500	廊下
	T304	1500	フリースペース
			<合計 3000>
パワコン6より MCCB 3P 50/30	T305	1500	廊下
	T306	1500	廊下
			<合計 3000>

3LM-1

主開閉器（結線記号）：③
主開閉器（幹線番号）：2L1
MCCB 3P 400/300 1φ3W AC 210/105V
TU(4L)×11 リモコントランスx1 LED照明・蛍光灯調光TU×2 R29 R30 (2V0)(2V0)用

回路番号	容量(VA)	備考
901	70	誘導灯
902		予備
		<小計 70>
101 R34,35	270	MWC、WWC 電灯
102	445	SK、だれでもMC、多機能MC他 電灯
103 R5,R9~12	510	図書コーナー1 電灯
104 R15~17	525	図書コーナー1、2 電灯
105 R20	225	図書コーナー1、2 電灯
106 R21	500	図書コーナー1、2 電灯
107 R22	400	図書コーナー1 電灯
108 R23	400	図書コーナー1 電灯
109 R24	400	図書コーナー1、2 電灯
110 R25	400	図書コーナー2 電灯
111 R26	320	図書コーナー1、2 電灯
112 R27	725	図書コーナー2 電灯
113 R32	240	図書コーナー2 電灯
114 R33	150	テラス 電灯
115	250	MWC、WWC 換気扇
116 R36,37	250	MWC、WWC 換気扇
117		予備
118		予備
		<小計 6010>
151	190	非常用照明
152		予備
		<小計 190>
201	205	EPS、事務室 電灯
202 R1~4	260	図書コーナー前室、通路 電灯
203 R6,7	700	図書コーナー1 電灯
204 R8	700	図書コーナー1 電灯
205 R13,14	980	図書コーナー1、2 電灯
206 R18	805	図書コーナー1、2 電灯
207 R19	840	図書コーナー1、2 電灯
208 R28,31	210	図書コーナー2、閲覧室 電灯
209 R29,30	840	図書コーナー2 電灯
210 R11,12	640	庇 電灯
211		予備
212		予備
		<小計 6180>
301	400	EPS コンセント
302 E	620	MWC ウォシュレット コンセント
303 E	250	MWC ウォシュレット コンセント
304		予備
305 E	350	だれでもWC コンセント
306 E	750	多機能MC 汚物流し コンセント
307 E	1350	多機能MC ウォシュレット コンセント
308 E	550	多機能MC 洗面 コンセント
309 E	250	WWC ウォシュレット コンセント
310 E	620	WWC ウォシュレット コンセント
311 E	620	WWC ウォシュレット コンセント
312		予備
313	400	図書コーナー前室 コンセント
314	600	デジタルサイネージ コンセント
315	200	ベビーケアルーム コンセント
316 E	1500	ベビーケアルーム コンセント
317	300	事務室 コンセント
318 E	400	おはなしの部屋 コンセント
319 R38	600	図書コーナー1 コンセント
320	500	図書コーナー1 コンセント
321	700	図書コーナー1 コンセント
322	400	図書コーナー1 BDS用 コンセント
323 R40	500	図書コーナー2 コンセント
324 R43	600	図書コーナー1 コンセント
325	400	図書コーナー1 コンセント
326	400	図書コーナー1 コンセント
327	400	図書コーナー1 コンセント
328	400	図書コーナー1 コンセント
329	900	図書コーナー1 コンセント
330	600	図書コーナー1 コンセント
331	300	図書コーナー1 コンセント
332	600	図書コーナー2 コンセント
333	1000	図書コーナー2 コンセント
334	1000	図書コーナー2 プリンターコンセント
335	1000	図書コーナー2 コピー コンセント
336	1000	図書コーナー2 コピー コンセント
337	1000	図書コーナー2 コンセント
338	1000	図書コーナー2 コンセント
339	1000	図書コーナー2 コンセント
340	1000	図書コーナー2 コンセント
341	300	図書コーナー2 コンセント
342	400	図書コーナー2 コンセント
343	700	図書コーナー2 コンセント
344	400	図書コーナー2 コンセント
345	700	図書コーナー2 コンセント
346	400	図書コーナー2 コンセント
347	300	図書コーナー2 コンセント
348	300	図書コーナー2 コンセント
349	800	図書コーナー2 コンセント
350	400	図書コーナー2 コンセント

盤名称（結線記号）：

回路番号	容量(VA)	備考
351	500	映像音響アンプ コンセント
352	100	図書コーナー カットリレー用電源
353	300	閲覧室 コンセント
354	500	図書コーナー1 コンセント
355	600	照明リモコン用電源
356	800	インターホン用電源
357	500	監視カメラリモートビューア用電源
358 R42	400	図書コーナー2 コンセント
359 R41	400	図書コーナー1、2 コンセント
360 R44	300	図書コーナー2 コンセント
361 R39	200	図書コーナー2 コンセント
362		予備
363		予備
364		予備
365		予備
366		予備
367		予備
368		予備
		<小計 33760>
375	250	おはなしの部屋 全熱交換器
376	300	事務室、閲覧室 全熱交換器
377	750	図書コーナー 全熱交換器
378	1000	図書コーナー 全熱交換器
379	750	図書コーナー 全熱交換器
380	750	図書コーナー 全熱交換器
381		予備
382		予備
		<小計 3800>
451	300	図書コーナー前室他 空調室内機
452	300	事務室、閲覧室 空調室内機
453	800	図書コーナー 空調室内機
454	600	図書コーナー 空調室内機
455		予備
456		予備
		<小計 2000>
		<合計 52010>

盤名称（結線記号）：

主開閉器（幹線番号）：6L22
MCCB 3P 50/30 1φ3W GAC 210/105V

回路番号	容量(VA)	備考
601	140	事務室 電灯
602		予備
		<小計 140>
701	600	事務室 コンセント
702	600	事務室 コンセント
703	400	シャッター危害防止電源
704		予備
		<小計 1600>
		<合計 1740>

4LM-1

主開閉器（結線記号）：③
主開閉器（幹線番号）：2L2
MCCB 3P 225/150 1φ3W AC 210/105V
TU(4L)×5 リモコントランスx1

回路番号	容量(VA)	備考
901	80	誘導灯
902		予備
		<小計 80>
101 R14,15	270	MWC、WWC 電灯
102	680	SK、だれでもMC、多機能MC他 電灯
103	250	MWC、WWC 換気扇
104 R16,17	250	MWC、WWC 換気扇
105 R1 AT	100	サイン用電源
106		予備
		<小計 1550>
151	115	非常用照明
152		予備
		<小計 115>
201	50	EPS 電灯
202 R1~4	650	廊下、フリースペース 電灯
203 R5~8	480	トレーニングエリア 電灯
204	350	倉庫4-3、4-8 電灯
205 R9	800	多目的ホール上部 電灯
206 R10	800	多目的ホール上部 電灯
207 R11	800	多目的ホール上部 電灯
208 R12,13 E	120	テラス 電灯
209 E	240	設備機器置場
210		予備
		<小計 4290>
301	400	EPS コンセント
302 E	620	MWC ウォシュレット コンセント
303 E	250	MWC ウォシュレット コンセント
304		予備
305 E	350	だれでもWC コンセント
306 E	750	多機能MC 汚物流し コンセント
307 E	1350	多機能MC ウォシュレット コンセント
308 E	550	多機能MC 洗面 コンセント
309 E	250	WWC ウォシュレット コンセント
310 E	620	WWC ウォシュレット コンセント
311 E	620	WWC ウォシュレット コンセント
312		予備
313	200	ベビーケアルーム コンセント
314 E	1500	ベビーケアルーム コンセント
315	600	エントランス コンセント
316	500	更衣室4-1、4-2 コンセント
317	400	トレーニングエリア コンセント
318	1000	トレーニングエリア コンセント
319	600	トレーニングエリア コンセント
320	400	トレーニングエリア コンセント
321	600	トレーニングエリア コンセント
322	600	トレーニングエリア コンセント
323	500	映像音響アンプ コンセント
324	100	トレーニングエリア カットリレー用電源
325	600	多目的ホール コンセント
326	400	多目的ホール コンセント
327	500	映像音響アンプ コンセント
328	100	多目的ホール カットリレー用電源
329 E	300	テラス コンセント
330 E	300	RF設備機器置場 コンセント
331 E	200	自動灌水設備電源 コンセント
332		予備
333		予備
334		予備
		<小計 15160>
351	300	更衣室4-1、4-2 全熱交換器
352	1250	トレーニングエリア 全熱交換器
353		予備
354		予備
		<小計 1550>
451	600	エントランス他 空調室内機
452	950	外気処理系統 空調室内機
453	400	トレーニングエリア 空調室内機
454		予備
455		予備
456		予備
		<小計 1950>
		<合計 24695>

盤名称（結線記号）：

主開閉器（幹線番号）：

回路番号	容量(VA)	備考

明石市政策局 プロジェクト推進室

〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号
森 雅章

〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号
設備設計一級建築 国土交通大臣登録 第2339号
小林 陽一

西明石地域交流センター icotto 建設工事

E
18

電気設備工事
分電盤リスト（2）
A1：N.S
A3：N.S

最終版 2025.02.28
見積版 2024.12.16

安井建築設計事務所

最終契約版

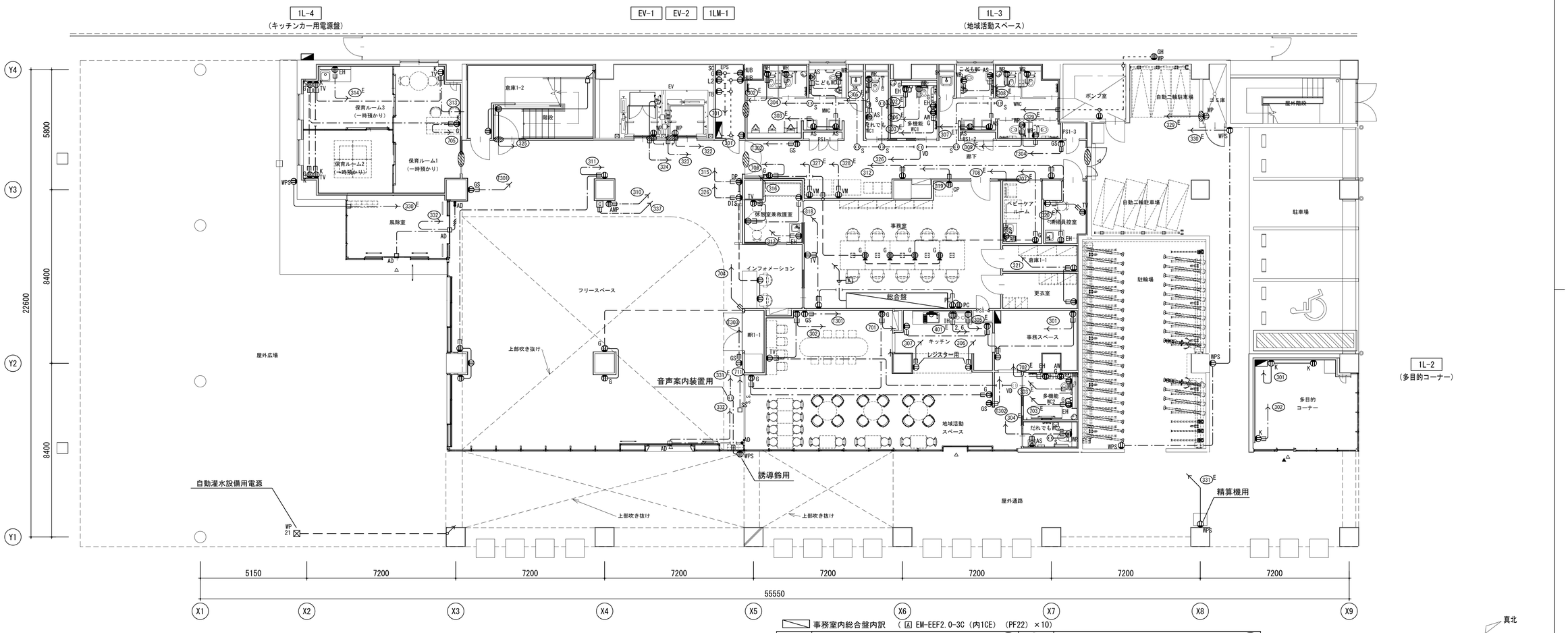
凡例

記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考
◢	電灯分電盤		⊕VM	コンセント　2P15AE×2	自動販売機用	⊕KS	コンセント　2P15AE×2	家具照明接続用	▨	防火区画貫通処理				
◢	電灯動力盤		⊕PR	コンセント　2P15AE×2	プリンター用	⊕KG	コンセント　2P15AE×2	家具用	○	露出ボックス	丸型			
[⊖]	エレベータ制御盤		⊕CP	コンセント　2P15AE×2	コピー機用	⊕GS	コンセント　2P15AE×2	太陽光自立出力用 ・カバー付	☒	プルボックス				
			⊕GH	コンセント　2P15AE	ガス湯沸器用				☒WP	プルボックス 防水型(SUS製)	指定色焼付塗装			
⊕	コンセント　2P15AE×2		⊕EH	コンセント　2P15AE	電気温水器用	⊙VD	コンセント　天井取付　2P15AEx1	トイレ音声案内装置用	———	天井隠ぺい配線				
⊕WP	防水型コンセント 2P15AE×2　ET付		⊕TV	コンセント　2P15AE×2	テレビ用	⊙VP	コンセント　天井取付　2P15AEx1	プロジェクタ用	— · —	天井転がし配線				
⊕WPS	防水型コンセント 2P15AE×2　接地極付	化粧カバー・簡易カギ付	⊕DIS	コンセント　2P15AE×2	デジタルサイネージ用	⊙DIS	コンセント　天井取付　2P15AEx1	デジタルサイネージ用	— — —	床隠ぺい配線				
⊕	コンセント　床面取付　2P15AE×2		⊕DP	コンセント　2P15AE×2	太陽光ディスプレイ用	⊙TV	コンセント　天井取付　2P15AEx1	テレビ用	- - - - -	露出配管				
⊕G	コンセント　床面取付　2P15AE×2	発電機回路	⊕PC	コンセント　2P15AE×2	太陽光計測監視装置用	⊙S	コンセント　天井取付　2P15AEx1	トイレ音声誘導パッシブセンサー用	∫∫	配管配線　立上り　立下げ				
⊕G	コンセント　2P15AE×2	発電機回路	⊕HUB	コンセント　2P15AE×2	HUB用	⊕IH	コンセント　2P30AE	1φ200V、IHコンロ電源用						
⊕K	コンセント　2P15AE×2	扉付（片刃挿入防止機能）	⊕SC	コンセント　2P15AE×2	光警報サブコントローラー用	ロSS	シャッター危険防止用電源							
⊕USB	コンセント　2P15AE×2 USBコンセント1ポート（タイプA）	コンセント：扉付	⊕L2	コンセント　2P15AE×2	エレベータ連絡用L2スイッチ用	ロAD	自動ドア電源							
⊕WR	コンセント　2P15AE×2　ET付	ウォシュレット用	⊕AMP	コンセント　2P15AE×2	映像音響アンプ用	•AD	スイッチ（自動ドア）	H=FL+300　カバー付						
⊕AW	コンセント　2P15AE×2	自動水栓用	⊕TB	コンセント　2P15AE×2	端子盤用	C	カットリレー用電源							
⊕AS	コンセント　2P15AE×2	自動石鹸供給用												

注記

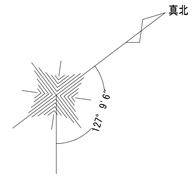
1. 図中、特記なき配管配線は下記による。
   - —·-ₙ— EM-EEF1.6-2C　(PF22)
   - —·-ₙ— EM-EEF1.6-3C　(PF22)
   - ——— EM-EEF2.0-3C（内1CE）　(PF22)
   - – – – EM-EEF2.0-3C（内1CE）　(PF22)
   - —·—·— EM-EEF2.0-3C（内1CE）　(PF22)
   - —·-₄— [EM-EEF2.0-3C（内1CE）×2　(PF28)] ×2
   - —₂,₆— EM-EEF2.6-2C　E2.0　(PF22)
   - - - - - EM-EEF2.0-3C（内1CE）　(E25)　露出配管
   - - -₆- - EM-EEF2.0-3C（内1CE）　(G22)　露出配管
   - ═══ EM-EEF2.0-3C（内1CE）×2　(PF28)

   二重天井内はケーブル転がし配線とする。但し、壁立下げ等は配管にてケーブル保護とする。
2. ゾーニング区分図に応じた仕様とすること。（EO7図）
3. 直天井は電灯設備図参照とする。
4. コンセントプレートはパナソニックコスモワイドシリーズワイド21同等品とする。
   但し、4階多目的ホールについては金属プレートとする。
5. コンセントプレートには分電盤名称及び、回路番号の明記を行うこと。
6. コンセント傍記Gは発電機回路を示す。
   配線器具及びテプラの文字色は色で識別を行うこと。（OAタップ共）
7. プルボックスサイズは下記とする。
   - ☒221　：SS200×200×100
   - ☒221WP：SS200×200×100WP-SUS
8. 2階フロアにおいて、防音壁を貫通する箇所については、防音性能に配慮した貫通処理を施すこと。



事務室内総合盤内訳　（ A EM-EEF2.0-3C（内1CE）（PF22）×10）

⊛	照明リモコン	709	◎A	モニター付インターホン端末	336
PAC A	パッケージエアコン集中コントローラー（A系統）	709	EV	エレベータインターホン	336
HC A	全熱交換器集中コントローラー（A系統）	709	25L	非常呼出表示窓	336
	自火報受信機	951	PC	トイレ音声誘導設備制御PC	335
AMP	非常業務兼用放送アンプ	952	EK	電気錠制御盤	334
YU	誘導灯信号装置	903	FRS	カードリーダーコントローラー	334
ITV	ITV架	333	PC E	電気錠管理用PC	334
PBX	電話交換機	710	MC	光警報設備メインコントローラー	710
	１回線パネル型水晶式親時計	335			



明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto　建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章 〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	E	電気設備工事 コンセント設備	最終版　2025. 02. 28
	19	1階平面図　A1　1:100　A3　1:200	見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

20230220

凡例

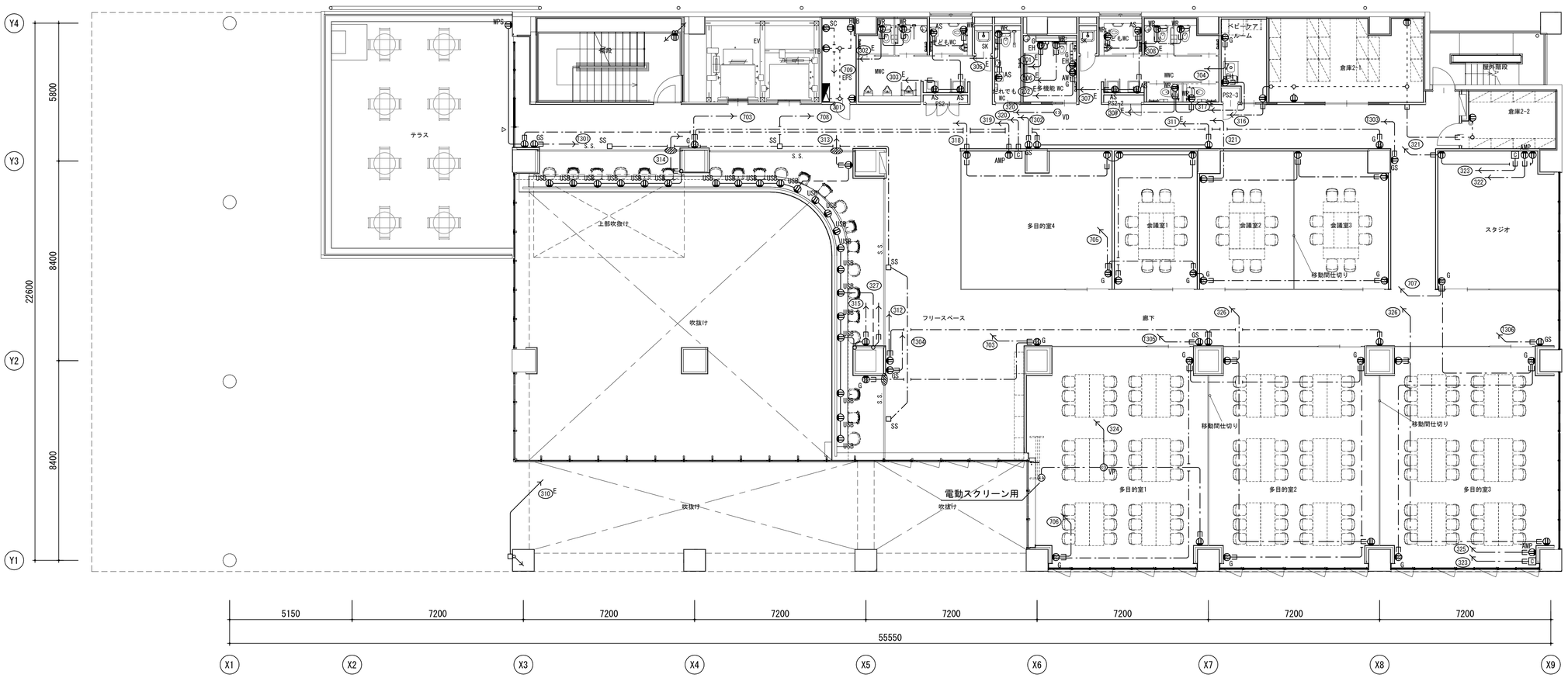
記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考
▰	電灯分電盤		⊕VM	コンセント　2P15AE×2	自動販売機用	⊕KS	コンセント　2P15AE×2	家具照明接続用	▨	防火区画貫通処理	
▰	電灯動力盤		⊕PR	コンセント　2P15AE×2	プリンター用	⊕KG	コンセント　2P15AE×2	家具用	○	露出ボックス	丸型
[e]	エレベータ制御盤		⊕CP	コンセント　2P15AE×2	コピー機用	⊕GS	コンセント　2P15AE×2	太陽光自立出力用 ・カバー付	☒	プルボックス	
			⊕GH	コンセント　2P15AE	ガス湯沸器用				☒WP	プルボックス 防水型(SUS製)	指定色焼付塗装
⊕	コンセント　2P15AE×2		⊕EH	コンセント　2P15AE	電気温水器用	⊙VD	コンセント　天井取付　2P15AEx1	トイレ音声案内装置用	——	天井隠ぺい配線	
⊕WP	防水型コンセント 2P15AE×2　ET付		⊕TV	コンセント　2P15AE×2	テレビ用	⊙VP	コンセント　天井取付　2P15AEx1	プロジェクタ用	— · —	天井転がし配線	
⊕WPS	防水型コンセント 2P15AE×2　接地極付	化粧カバー・簡易カギ付	⊕DIS	コンセント　2P15AE×2	デジタルサイネージ用	⊙DIS	コンセント　天井取付　2P15AEx1	デジタルサイネージ用	— — —	床隠ぺい配線	
⊕	コンセント　床面取付　2P15AE×2		⊕DP	コンセント　2P15AE×2	太陽光ディスプレイ用	⊙TV	コンセント　天井取付　2P15AEx1	テレビ用	- - - -	露出配管	
⊕G	コンセント　床面取付　2P15AE×2	発電機回路	⊕PC	コンセント　2P15AE×2	太陽光計測監視装置用	⊙S	コンセント　天井取付　2P15AEx1	トイレ音声誘導パッシブセンサー用		配管配線　立上り　立下げ	
⊕G	コンセント　2P15AE×2	発電機回路	⊕HUB	コンセント　2P15AE×2	HUB用	⊕IH	コンセント　2P30AE	1φ200V、IHコンロ電源用			
⊕K	コンセント　2P15AE×2	扉付（片刃挿入防止機能）	⊕SC	コンセント　2P15AE×2	光警報サブコントローラー用	□SS	シャッター危険防止用電源				
⊕USB	コンセント　2P15A×2 USBコンセント1ポート（タイプA）	コンセント：扉付	⊕L2	コンセント　2P15AE×2	エレベータ連絡用L2スイッチ用	□AD	自動ドア電源				
⊕WR	コンセント　2P15AE×2　ET付	ウォシュレット用	⊕AMP	コンセント　2P15AE×2	映像音響アンプ用	●AD	スイッチ（自動ドア）	H=FL+300　カバー付			
⊕AW	コンセント　2P15AE×2	自動水栓用	⊕TB	コンセント　2P15AE×2	端子盤用	[C]	カットリレー用電源				
⊕AS	コンセント　2P15AE×2	自動石鹸供給用									

注記

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。
   - —·-·— EM-EEF1.6-2C　(PF22)
   - —·-·— EM-EEF1.6-3C　(PF22)
   - ——— EM-EEF2.0-3C（内1CE）　(PF22)
   - – – – EM-EEF2.0-3C（内1CE）　(PF22)
   - —·—·— EM-EEF2.0-3C（内1CE）　(PF22)
   - —·4·— [EM-EEF2.0-3C（内1CE）×2　(PF28)] ×2
   - —2.6— EM-EEF2.6-2C　E2.0　(PF22)
   - - - - EM-EEF2.0-3C（内1CE）　(E25)　露出配管
   - - G - - EM-EEF2.0-3C（内1CE）　(G22)　露出配管
   - ═══ EM-EEF2.0-3C（内1CE）×2　(PF28)

   二重天井内はケーブル転がし配線とする。但し、壁立下げ等は配管にてケーブル保護とする。
2. ゾーニング区分図に応じた仕様とすること。（E07図）
3. 直天井は電灯設備図参照とする。
4. コンセントプレートはパナソニックコスモワイドシリーズワイド21同等品とする。
   但し、4階多目的ホールについては金属プレートとする。
5. コンセントプレートには分電盤名称及び、回路番号の明記を行うこと。
6. コンセント傍記Gは発電機回路を示す。
   配線器具及びテプラの文字色は色で識別を行うこと。（OAタップ共）
7. プルボックスサイズは下記とする。
   - ☒221　：SS200×200×100
   - ☒221WP：SS200×200×100WP-SUS
8. 2階フロアにおいて、防音壁を貫通する箇所については、防音性能に配慮した貫通処理を施すこと。

2LM-1



明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto　建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	E	電気設備工事 コンセント設備	最終版　2025.02.28
〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	20	2階平面図　A1 1:100　A3 1:200	見積版　2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

20230220

凡例

記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考
◢	電灯分電盤		Φ_{VM}	コンセント　2P15AE×2	自動販売機用	Φ_{KS}	コンセント　2P15AE×2	家具照明接続用	▨	防火区画貫通処理				
◢	電灯動力盤		Φ_{PR}	コンセント　2P15AE×2	プリンター用	Φ_{KG}	コンセント　2P15AE×2	家具用	○	露出ボックス	丸型			
[e]	エレベータ制御盤		Φ_{CP}	コンセント　2P15AE×2	コピー機用	Φ_{GS}	コンセント　2P15AE×2	太陽光自立出力用 ・カバー付	☒	プルボックス				
			Φ_{GH}	コンセント　2P15AE	ガス湯沸器用				☒$_{WP}$	プルボックス 防水型(SUS製)	指定色焼付塗装			
Φ	コンセント　2P15AE×2		Φ_{EH}	コンセント　2P15AE	電気温水器用	Φ_{VD}	コンセント　天井取付　2P15AEx1	トイレ音声案内装置用	———	天井隠ぺい配線				
Φ_{WP}	防水型コンセント 2P15AE×2　ET付		Φ_{TV}	コンセント　2P15AE×2	テレビ用	Φ_{VP}	コンセント　天井取付　2P15AEx1	プロジェクタ用	— · —	天井転がし配線				
Φ_{WPS}	防水型コンセント 2P15AE×2　接地極付	化粧カバー・簡易カギ付	Φ_{DIS}	コンセント　2P15AE×2	デジタルサイネージ用	Φ_{DIS}	コンセント　天井取付　2P15AEx1	デジタルサイネージ用	— — —	床隠ぺい配線				
Φ	コンセント　床面取付　2P15AE×2		Φ_{DP}	コンセント　2P15AE×2	太陽光ディスプレイ用	Φ_{TV}	コンセント　天井取付　2P15AEx1	テレビ用	------	露出配管				
Φ_G	コンセント　床面取付　2P15AE×2	発電機回路	Φ_{PC}	コンセント　2P15AE×2	太陽光計測監視装置用	Φ_S	コンセント　天井取付　2P15AEx1	トイレ音声誘導パッシブセンサー用	$\mathcal{J}^{G}$	配管配線　立上り　立下げ				
Φ_G	コンセント　2P15AE×2	発電機回路	Φ_{HUB}	コンセント　2P15AE×2	HUB用	Φ_{IH}	コンセント　2P30AE	1φ200V、IHコンロ電源用						
Φ_K	コンセント　2P15AE×2	扉付（片刃挿入防止機能）	Φ_{SC}	コンセント　2P15AE×2	光警報サブコントローラー用	ロ$_{SS}$	シャッター危険防止用電源							
Φ_{USB}	コンセント　2P15A×2 USBコンセント1ポート（タイプA）	コンセント：扉付	Φ_{L2}	コンセント　2P15AE×2	エレベータ連絡用L2スイッチ用	ロ$_{AD}$	自動ドア電源							
Φ_{WR}	コンセント　2P15AE×2　ET付	ウォシュレット用	Φ_{AMP}	コンセント　2P15AE×2	映像音響アンプ用	•$_{AD}$	スイッチ（自動ドア）	H=FL+300　カバー付						
Φ_{AW}	コンセント　2P15AE×2	自動水栓用	Φ_{TB}	コンセント　2P15AE×2	端子盤用	[c]	カットリレー用電源							
Φ_{AS}	コンセント　2P15AE×2	自動石鹸供給用												

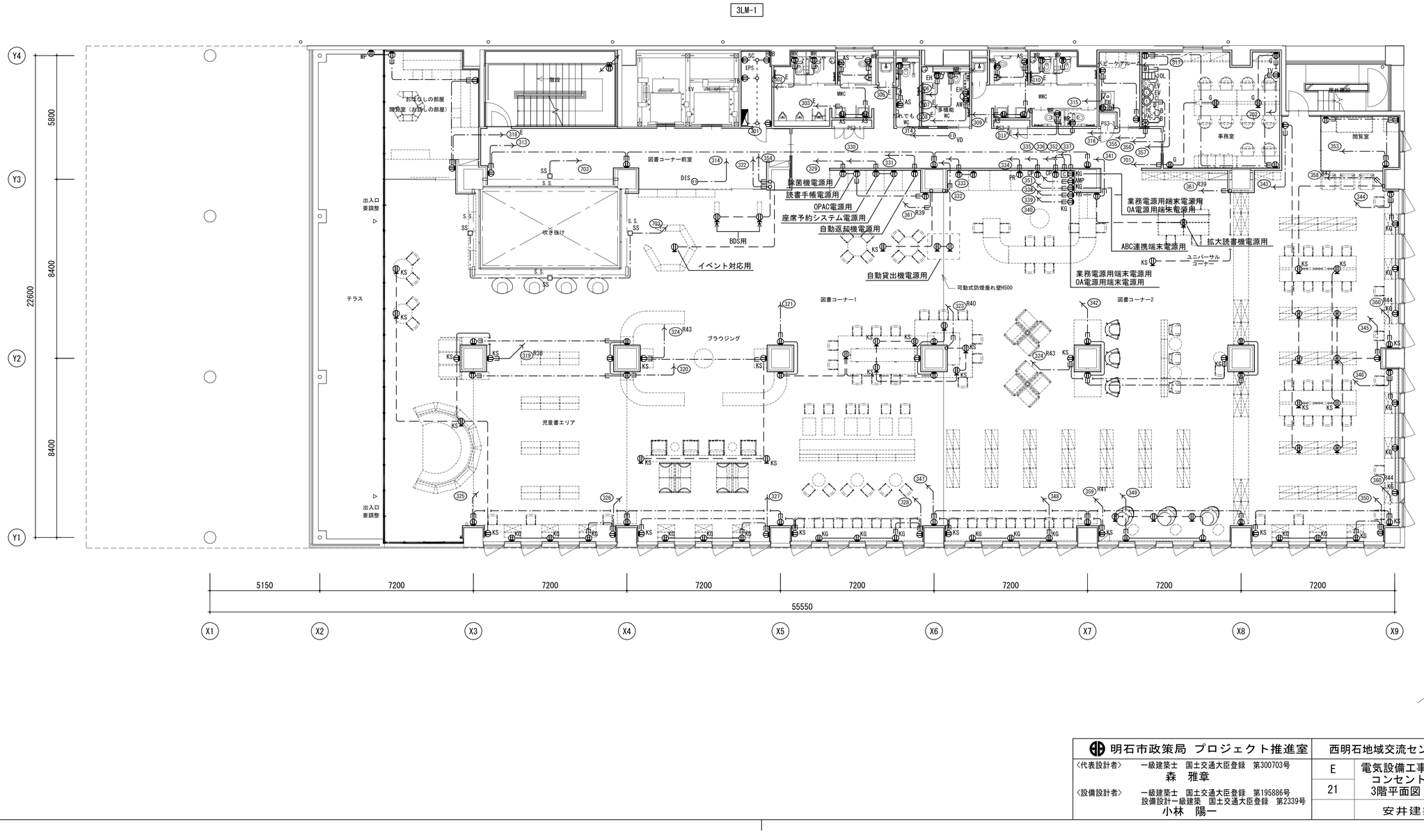
注記

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。
   - —·-·— EM-EEF1.6-2C　(PF22)
   - —·-·— EM-EEF1.6-3C　(PF22)
   - ——— EM-EEF2.0-3C（内1CE）　(PF22)
   - – – – EM-EEF2.0-3C（内1CE）　(PF22)
   - —·—·— EM-EEF2.0-3C（内1CE）　(PF22)
   - —·-4-— {EM-EEF2.0-3C（内1CE）×2 (PF28) } ×2
   - —2.6— EM-EEF2.0-6C　E2.0　(PF22)
   - - - - EM-EEF2.0-3C（内1CE）　(E25)　露出配管
   - - G - - EM-EEF2.0-3C（内1CE）　(G22)　露出配管
   - ═══ EM-EEF2.0-3C（内1CE）×2 (PF28)

   二重天井内はケーブル転がし配線とする。但し、壁立下げ等は配管にてケーブル保護とする。
2. ゾーニング区分図に応じた仕様とすること。（E07図）
3. 直天井は電灯設備図参照とする。
4. コンセントプレートはパナソニックコスモワイドシリーズワイド21同等品とする。
   但し、4階多目的ホールについては金属プレートとする。
5. コンセントプレートには分電盤名称及び、回路番号の明記を行うこと。
6. コンセント傍記Gは発電機回路を示す。
   配線器具及びテプラの文字色は色で識別を行うこと。(OAタップ共)
7. プルボックスサイズは下記とする。
   - ☒221　：SS200×200×100
   - ☒221WP：SS200×200×100WP-SUS
8. 2階フロアにおいて、防音壁を貫通する箇所については、防音性能に配慮した貫通処理を施すこと。

事務エリア内訳

⊛	照明リモコン	355
[PAC]$_B$	パッケージエアコン集中コントローラー（B系統）	355
[HE]$_B$	全熱交換器集中コントローラー（B系統）	355
◎$_B$	モニター付インターホン端末	356
◌$_{EV}$	エレベーターインターホン	356
$_{10L}$	非常呼出表示窓	356
M	監視カメラリモートビューア機器	357



明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	E	電気設備工事	最終版　2025. 02. 28
〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	21	コンセント設備 3階平面図　A1 1:100　A3 1:200	見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

20230220

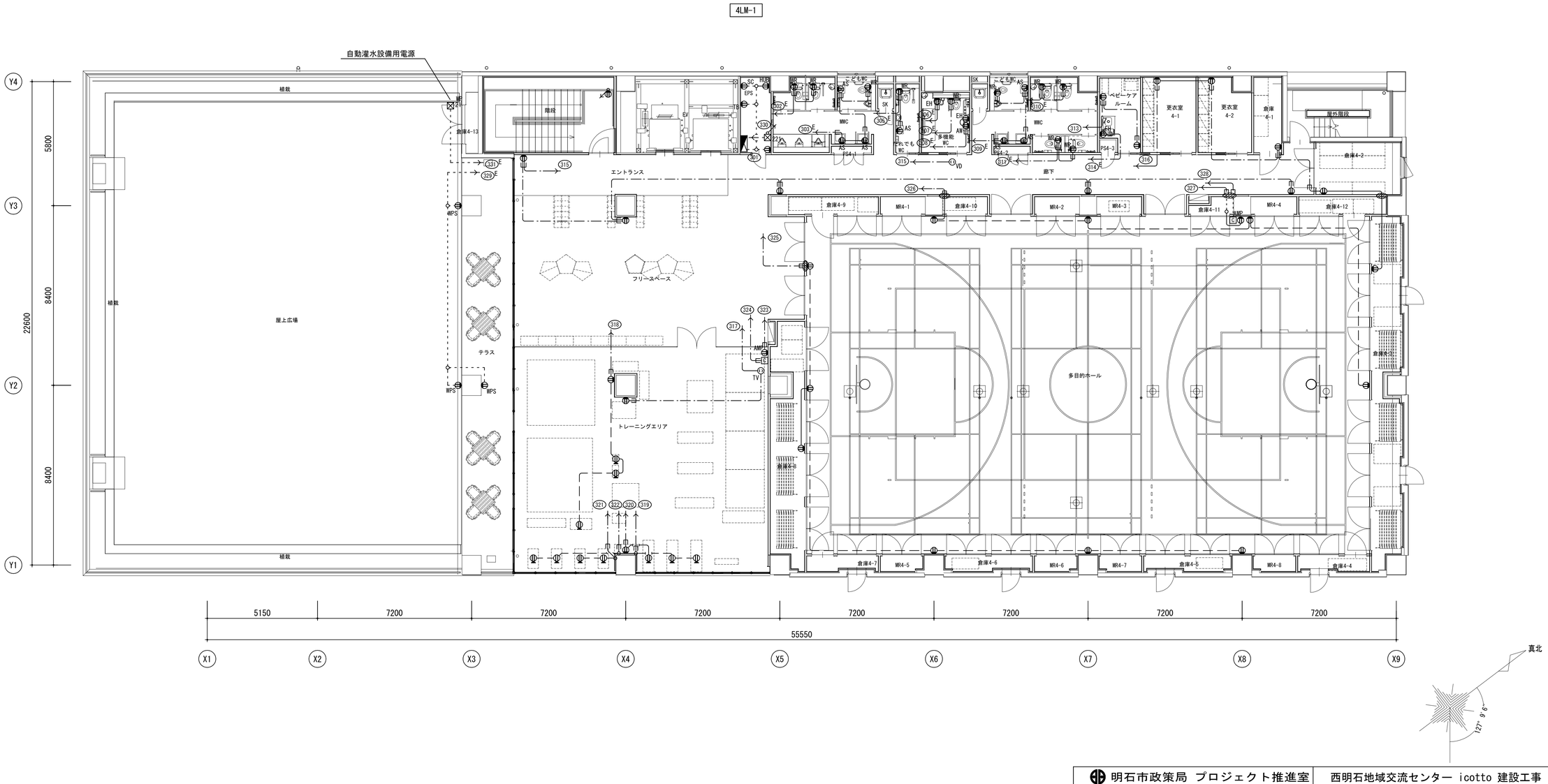
凡例

記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考
◢	電灯分電盤		⊕VM	コンセント　2P15AE×2	自動販売機用	⊕KS	コンセント　2P15AE×2	家具照明接続用	▨	防火区画貫通処理	
◢	電灯動力盤		⊕PR	コンセント　2P15AE×2	プリンター用	⊕KG	コンセント　2P15AE×2	家具用	○	露出ボックス	丸型
[e]	エレベータ制御盤		⊕CP	コンセント　2P15AE×2	コピー機用	⊕GS	コンセント　2P15AE×2	太陽光自立出力用 ・カバー付	☒	プルボックス	
			⊕GH	コンセント　2P15AE	ガス湯沸器用				☒WP	プルボックス 防水型(SUS製)	指定色焼付塗装
⊕	コンセント　2P15AE×2		⊕EH	コンセント　2P15AE	電気温水器用	⊙VD	コンセント　天井取付　2P15AEx1	トイレ音声案内装置用	———	天井隠ぺい配線	
⊕WP	防水型コンセント 2P15AE×2　ET付		⊕TV	コンセント　2P15AE×2	テレビ用	⊙VP	コンセント　天井取付　2P15AEx1	プロジェクタ用	ー・ー	天井転がし配線	
⊕WPS	防水型コンセント 2P15AE×2　接地極付	化粧カバー・簡易カギ付	⊕DIS	コンセント　2P15AE×2	デジタルサイネージ用	⊙DIS	コンセント　天井取付　2P15AEx1	デジタルサイネージ用	ー ー ー	床隠ぺい配線	
⊕	コンセント　床面取付　2P15AE×2		⊕DP	コンセント　2P15AE×2	太陽光ディスプレイ用	⊙TV	コンセント　天井取付　2P15AEx1	テレビ用	- - - - -	露出配管	
⊕G	コンセント　床面取付　2P15AE×2	発電機回路	⊕PC	コンセント　2P15AE×2	太陽光計測監視装置用	⊙S	コンセント　天井取付　2P15AEx1	トイレ音声誘導パッシブセンサー用	∫	配管配線　立上り　立下げ	
⊕G	コンセント　2P15AE×2	発電機回路	⊕HUB	コンセント　2P15AE×2	HUB用	⊕IH	コンセント　2P30AE	1φ200V、IHコンロ電源用			
⊕K	コンセント　2P15AE×2	扉付（片刃挿入防止機能）	⊕SC	コンセント　2P15AE×2	光警報サブコントローラー用	ロSS	シャッター危険防止用電源				
⊕USB	コンセント　2P15A×2 USBコンセント1ポート（タイプA）	コンセント：扉付	⊕L2	コンセント　2P15AE×2	エレベータ連絡用L2スイッチ用	ロAD	自動ドア電源				
⊕WR	コンセント　2P15AE×2　ET付	ウォシュレット用	⊕AMP	コンセント　2P15AE×2	映像音響アンプ用	●AD	スイッチ（自動ドア）	H=FL+300　カバー付			
⊕AW	コンセント　2P15AE×2	自動水栓用	⊕TB	コンセント　2P15AE×2	端子盤用	[c]	カットリレー用電源				
⊕AS	コンセント　2P15AE×2	自動石鹸供給用									

注記

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。
   - —·-𝓌— EM-EEF1.6-2C　(PF22)
   - —·-𝓌— EM-EEF1.6-3C　(PF22)
   - ——— EM-EEF2.0-3C（内1CE）　(PF22)
   - – – – EM-EEF2.0-3C（内1CE）　(PF22)
   - —·-·— EM-EEF2.0-3C（内1CE）　(PF22)
   - —·-4-{EM-EEF2.0-3C（内1CE）×2　(PF28)｝×2
   - —2.6— EM-EEF2.6-2C　E2.0　(PF22)
   - - - - EM-EEF2.0-3C（内1CE）　(E25)　露出配管
   - - -6- - EM-EEF2.0-3C（内1CE）　(G22)　露出配管
   - ═══ EM-EEF2.0-3C（内1CE）×2　(PF28)

   二重天井内はケーブル転がし配線とする。但し、壁立下げ等は配管にてケーブル保護とする。
2. ゾーニング区分図に応じた仕様とすること。（E07図）
3. 直天井は電灯設備図参照とする。
4. コンセントプレートはパナソニックコスモワイドシリーズワイド21同等品とする。
   但し、4階多目的ホールについては金属プレートとする。
5. コンセントプレートには分電盤名称及び、回路番号の明記を行うこと。
6. コンセント傍記Gは発電機回路を示す。
   配線器具及びテプラの文字色は色で識別を行うこと。（OAタップ共）
7. プルボックスサイズは下記とする。
   - ☒221　：SS200×200×100
   - ☒221WP：SS200×200×100WP-SUS
8. 2階フロアにおいて、防音壁を貫通する箇所については、防音性能に配慮した貫通処理を施すこと。



明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章 〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	E	電気設備工事	最終版　2025.02.28
	22	コンセント設備 4階平面図　A1　1:100　A3　1:200	見積版　2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

20230220

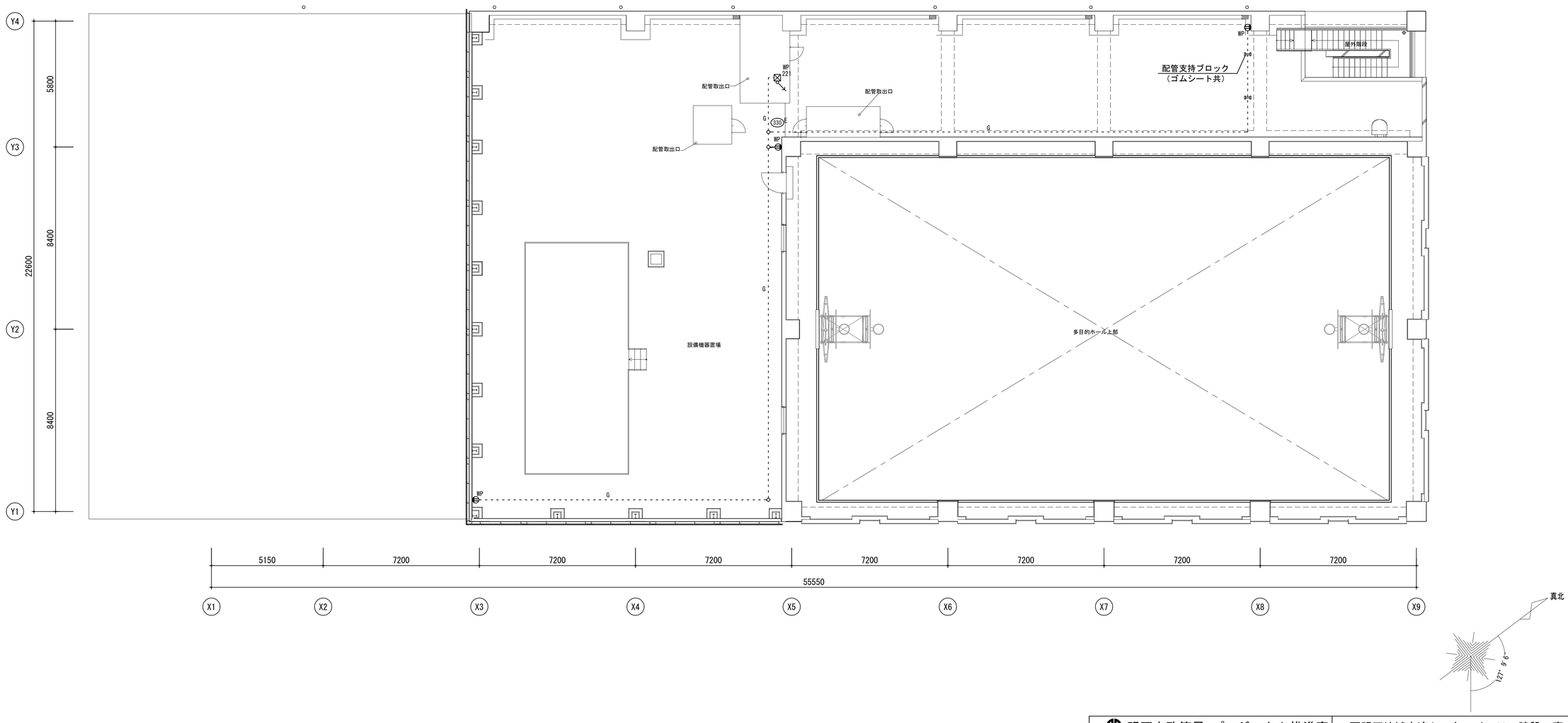
凡例

記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考
	電灯分電盤		VM	コンセント　2P15AE×2	自動販売機用	KS	コンセント　2P15AE×2	家具照明接続用		防火区画貫通処理	
	電灯動力盤		PR	コンセント　2P15AE×2	プリンター用	KG	コンセント　2P15AE×2	家具用	○	露出ボックス	丸型
	エレベータ制御盤		CP	コンセント　2P15AE×2	コピー機用	GS	コンセント　2P15AE×2	太陽光自立出力用 ・カバー付	☒	プルボックス	
			GH	コンセント　2P15AE	ガス湯沸器用				☒WP	プルボックス 防水型(SUS製)	指定色焼付塗装
	コンセント　2P15AE×2		EH	コンセント　2P15AE	電気温水器用	VD	コンセント　天井取付　2P15AEx1	トイレ音声案内装置用		天井隠ぺい配線	
WP	防水型コンセント 2P15AE×2　ET付		TV	コンセント　2P15AE×2	テレビ用	VP	コンセント　天井取付　2P15AEx1	プロジェクタ用		天井転がし配線	
WPS	防水型コンセント 2P15AE×2　接地極付	化粧カバー・簡易カギ付	DIS	コンセント　2P15AE×2	デジタルサイネージ用	DIS	コンセント　天井取付　2P15AEx1	デジタルサイネージ用		床隠ぺい配線	
	コンセント　床面取付　2P15AE×2		DP	コンセント　2P15AE×2	太陽光ディスプレイ用	TV	コンセント　天井取付　2P15AEx1	テレビ用		露出配管	
G	コンセント　床面取付　2P15AE×2	発電機回路	PC	コンセント　2P15AE×2	太陽光計測監視装置用	S	コンセント　天井取付　2P15AEx1	トイレ音声誘導パッシブセンサー用		配管配線　立上り　立下げ	
G	コンセント　2P15AE×2	発電機回路	HUB	コンセント　2P15AE×2	HUB用	IH	コンセント　2P30AE	1φ200V、IHコンロ電源用			
K	コンセント　2P15AE×2	扉付（片刃挿入防止機能）	SC	コンセント　2P15AE×2	光警報サブコントローラー用	SS	シャッター危険防止用電源				
USB	コンセント　2P15A×2 USBコンセント1ポート（タイプA）	コンセント：扉付	L2	コンセント　2P15AE×2	エレベータ連絡用L2スイッチ用	AD	自動ドア電源				
WR	コンセント　2P15AE×2　ET付	ウォシュレット用	AMP	コンセント　2P15AE×2	映像音響アンプ用	AD	スイッチ（自動ドア）	H=FL+300　カバー付			
AW	コンセント　2P15AE×2	自動水栓用	TB	コンセント　2P15AE×2	端子盤用	C	カットリレー用電源				
AS	コンセント　2P15AE×2	自動石鹸供給用									

注記

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。
   - EM-EEF1.6-2C　(PF22)
   - EM-EEF1.6-3C　(PF22)
   - EM-EEF2.0-3C（内1CE）　(PF22)
   - EM-EEF2.0-3C（内1CE）　(PF22)
   - EM-EEF2.0-3C（内1CE）　(PF22)
   - 4 { EM-EEF2.0-3C（内1CE）×2　(PF28) } ×2
   - 2.6 EM-EEF2.6-2C　E2.0　(PF22)
   - EM-EEF2.0-3C（内1CE）　(E25)　露出配管
   - G EM-EEF2.0-3C（内1CE）　(G22)　露出配管
   - EM-EEF2.0-3C（内1CE）×2　(PF28)

   二重天井内はケーブル転がし配線とする。但し、壁立下げ等は配管にてケーブル保護とする。
2. ゾーニング区分図に応じた仕様とすること。（E07図）
3. 直天井は電灯設備図参照とする。
4. コンセントプレートはパナソニックコスモワイドシリーズワイド21同等品とする。
   但し、4階多目的ホールについては金属プレートとする。
5. コンセントプレートには分電盤名称及び、回路番号の明記を行うこと。
6. コンセント傍記Gは発電機回路を示す。
   配線器具及びテプラの文字色は色で識別を行うこと。(OAタップ共)
7. プルボックスサイズは下記とする。
   - ☒221　：SS200×200×100
   - ☒221WP：SS200×200×100WP-SUS
8. 2階フロアにおいて、防音壁を貫通する箇所については、防音性能に配慮した貫通処理を施すこと。



明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	E	電気設備工事	最終版 2025.02.28
〈設備設計者〉 一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	23	コンセント設備 R階平面図　A1 1:100　A3 1:200	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

20230220

照 明 器 具 特 記 仕 様

1 照明器具記号

照明器具記号

□□40 □
- (1) 器具の形状-1
- (1) 器具の形状-2
- (2) 明るさ表示(lm／100：光束数)
- (3) 補助記号(機能等)

(1)器具の形状-1

B ：ブラケット	T ：トラフ(id)
BR：ブラケット(片反射)	TM：モジュールタイプ
BK：ブラケット	V ：逆富士
C ：直付	d ：ダウンライト
D ：埋込	dc：ダウンライト(直付)
DS：埋込(スクエア型)	dd：ダウンライト(深型)
G ：殺菌灯	S ：誘導灯
M ：ミラーライト	LP：庭園灯
R ：反射笠	HP：ポール灯

(1)器具の形状-2
- A ：アクリルカバー
- G ：ガード付き
- L ：ルーバー
- SC：スクールコンフォート

(2)明るさ表示(lm／100：光束数)

(2-1)ライトバータイプ
- 10：1000lm以上
- 15：1500lm以上
- 20：2000lm以上
- 23：2300lm以上
- 30：3000lm以上
- 37：3700lm以上
- 48：4800lm以上
- 65：6500lm以上
- 100：10000lm以上

(2-2)ダウンライト
- 05： 500lm以上
- 08： 800lm以上
- 13：1300lm以上
- 17：1700lm以上
- 22：2200lm以上
- 33：3300lm以上
- 49：4900lm以上
- 65：6500lm以上
- 85：8500lm以上

(3)補助記号(機能等)
- S ：非常照明一体型
- F ：フラッシャー(誘導灯)
- V ：音声誘導
- X ：防爆型
- cl-N：クリーンルーム-ISOクラス
- e ：センサー付き
- C ：調色
- k ：ウォールウォッシャー
- Lc：電球交換可能型
- m ：電動昇降装置付
- p ：パイプ吊
- T ：調光
- w ：防雨型
- -N：長さNmmタイプ

2 ランプ色温度(K)

※ベース照明：特記なきは昼白色(N)とする。
※ダウンライト照明：特記なきは白色(W)とする。
・上記以外の色温度を採用する場合、各室の器具表に色の名前(アルファベット記号)を表記する。

色の名前	色 温 度	ＪＩＳ 表 示
昼光色(D)	6500K	5700～7100K
昼白色(N)	5000K	4600～5400K
白色(W)	4200K	3900～4500K
温白色(WW)	3500K	3200～3700K
電球色(L)	3000K	2600～3150K

3 非 常 灯

照明器具記号

□S □
- (1) 器具の形状
- (2) 仕様

(1)器具の形状
- XS：非常照明(直付)
- YS：非常照明(埋込)

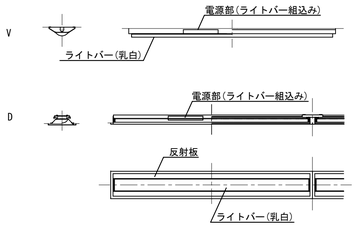
(2)仕様
- ● 電池内蔵型
  - 一般型：電池点灯時間30分間タイプ
  - 階段通路誘導灯兼用型：電池点灯時間
    - ○30分間タイプ ○60分間タイプ
  - ・SF：○一体型ベースライト
    ○直管LEDランプ搭載ベースライト
  - ・Sa：LED専用型 取付高さ H=3m以下
    (低天井・小空間用)
  - ・Sb：LED専用型 取付高さ H=3m以下
    (低天井用)
  - ・Sc：LED専用型 取付高さ H=6m以下
    (中天井用)
  - ・Sh1：LED専用型 取付高さ H=8m以下
    (中天井用)
  - ・Sh2：LED専用型 取付高さ H=10m以下
    (高天井用)
  - ・Sh3：LED専用型 取付高さ H=16m以下
    (特高天井用)
  - ※LED専用型はリモコン自己点検機能付とする。
- ○ 電源別置型
  (10分間：直流電源装置、10分以降：自家発電設備)
  - ・Sf ：LED専用型 取付高さ H=6m以下
    (ミニクリプトン40W相当 低～中天井用)
  - ・Sd ：LED専用型 取付高さ H=16m以下
    (JBD75W相当 中～特高天井用)
  - ・Se ：LED専用型 取付高さ H=6m以下
    (JBD45W相当 低～中天井用)

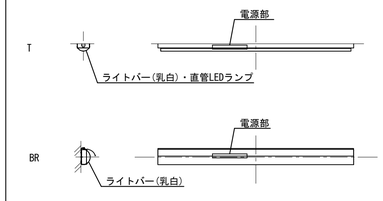
4 そ の 他

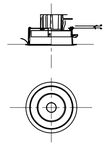
○市販品 ●公共施設用照明器具
・設計図中に記入の器具寸法、ランプ色温度、メーカー名及び参考型番は基準を示す。実施に際しては、係員の指示により決定する
・照明器具の輝度限界値の表示
画面CLASS ○ Ⅰ ○ Ⅱ ○ Ⅲ

○	V65	LED-43.1W	(6900lm)	●	D65	LED-43.1W	(6680lm)	○	T65	LED-43.1W	(6900lm)	●	BR48	LED-43.1W	(5360lm)	○	d49	LED-39.4W	(5475lm)	○	d49w	LED-42.4W	(5120lm)
○	V48	LED-31.9W	(5200lm)	●	D48	LED-31.9W	(5040lm)	●	T48	LED-31.9W	(5200lm)	○	BR37	LED-31.9W	(4040lm)	○	d33	LED-29.1W	(4020lm)	●	d33w	LED-30.7W	(3690lm)
○	V30	LED-20.6W	(3200lm)	●	D37	LED-25.0W	(3880lm)	●	T37	LED-25W	(4000lm)	●	BR23	LED-20.6W	(2490lm)	●	d22	LED-18.6W	(2515lm)	○	d17w	LED-15.0W	(1910lm)
○	V23	LED-16.3W	(2500lm)	●	D30	LED-20.6W	(3100lm)	●	T30	LED-20.6W	(3200lm)	○	BR20	LED-16.3W	(1940lm)	●	d17	LED-15.0W	(2070lm)	●	d13w	LED-11.6W	(1560lm)
○	V30-N6	LED-21.8W	(3200lm)	○	D30-N6	LED-21.8W	(3100lm)	●	T23	LED-16.3W	(2500lm)	○	BR23-N6	LED-21.8W	(2490lm)	●	d13	LED-11.6W	(1695lm)	○	d08w	LED-7.0W	(955lm)
○	V15-N6	LED-11.6W	(1600lm)	○	D15-N6	LED-11.6W	(1550lm)	○	T30-N6	LED-21.8W	(3200lm)	○	BR10-N6	LED-11.6W	(1240lm)	●	d08	LED-7.0W	(1045lm)	○	d05w	LED-4.2W	(565lm)
								○	T15-N6	LED-11.6W	(1600lm)	○				●	d05	LED-4.2W	(610lm)	○			

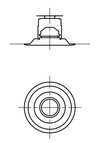
○	BK60eSF	(46.0W)	○	BKb60eSF	(46.0W)	○	XSf	LED-6.6W		○	YSf	LED-6.6W
○	BK38eSF	(29.6W)	○	BKb38eSF	(29.6W)	○	XSe	LED-6.6W		○	YSe	LED-6.6W
○	BK28eSF-N9	(24.0W)	○	BKb28eSF-N9	(24.0W)	○	YSd	LED-15.4W		○	YSd	LED-15.4W
○	BK16eSF-N9	(15.6W)	○	BKb16eSF-N9	(15.6W)	○	XSa	LED-0.9W		○	YSa	LED-0.9W
○			●	BKc60eSF	(46.0W)	○	XSb	LED-1.0W		●	YSb	LED-1.0W
●			○	BKc38eSF	(29.6W)	○	XSc	LED-1.3W		●	YSc	LED-1.3W
○			○	BKc28eSF-N9	(24.0W)	○	XSh1	LED-1.3W		●	YSh1	LED-1.3W
○			○	BKc16eSF-N9	(15.6W)	●	XSh2G	LED-1.3W	(ガード付)	○	YSh2	LED-1.3W
						○	XSh3	LED-1.3W		○	YSh3	LED-1.3W



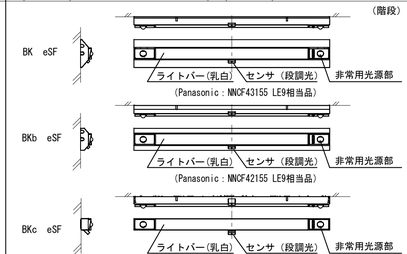


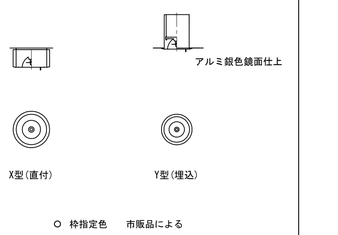


防雨型



(階段)





○ 枠指定色 市販品による

○	M30	LED-22.8W	(2730lm)	○	BC10-N6	LED-12.0W	(980lm)	●	No. 1	LED-68.8W	(10115lm)	●	No. 2 A	LED-22.5W		●	No. 3	LED-25W	(1972lm)	●	No. 4	LED-12.8W	(671lm)
●	M15-N6	LED-11.7W	(1350lm)	●	BC10e-N6	LED-12.0W	(980lm)					●	No. 2 B	LED-25.5W									
●	BA30	LED-27.0W	(2980lm)	○								●	No. 2 C	LED-26.0W									
○	BA20	LED-19.9W	(2210lm)	○																			
○	BA15-N6	LED-14.9W	(1480lm)	○																			
○	BA10-N6	LED-10.0W	(990lm)	○																			

○	S1	避難口誘導灯 A級		○	S5	通路誘導灯 A級		○				○											
●	S2	〃 B級H形		●	S6	〃 B級H形		○	S2F	避難口誘導灯 B級H形点滅形		●	S2FV	避難口誘導灯 B級H形音声付点滅形
○	S3	〃 B級L形(BL形)		○	S7	〃 B級L形(BL形)		○	S3F	〃 B級L形(BL形)点滅形		○	S3FV	〃 B級L形音声付点滅形
○	S4	〃 C級		○	S8	〃 C級		○				○											
				○	S10	〃 蓄光型誘導標識		○				○											

凡例

記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考
	電灯分電盤		Ⓢ	熱線センサー付自動スイッチ（親機）（広角検知）		AT	年間プログラムタイマ制御回路	
	電灯動力盤		Ⓢ	熱線センサー付自動スイッチ（子機）		Rn	リモコン制御回路	
			Ⓢ T	熱線センサー付自動スイッチ（子機）換気扇連動用				
	照明器具　天井付		Ⓢ A	熱線センサー付自動スイッチ（LED・換気扇連動・遅れOFF機能付用			防火区画貫通処理	
	照明器具　天井付	発電機回路	Ⓢ R	熱線センサー付自動スイッチ（親機）	リモコン制御用	○	露出ボックス	丸型
	照明器具　壁面取付		Ⓢ R	熱線センサー付自動スイッチ（子機）	リモコン制御用	⊠	プルボックス	
○	ダウンライト　天井付		●	スイッチ　片切　1P15A	WP:防水	⊠WP	プルボックス 防水型(SUS製)	指定色焼付塗装
⊘	ダウンライト　天井付	発電機回路	● 3	スイッチ　3路　3P15A			天井隠ぺい配線	
◁	スポットライト　天井付		● L	換気扇電源スイッチ（確認スイッチ付）			天井転がし配線	
	間接照明		● R	リモコンスイッチ			床隠ぺい配線	
	ライティングダクトレール		● RS	リモコンスイッチ	センサー入切用		露出配管	
			● Th	換気扇温度スイッチ			レースウェイ	40×45
⊠	換気扇	空調工事		調光器			配管配線　立上り　立下げ	
				セレクタースイッチ				
			● EE	EEスイッチ（自動点滅器）				

注記

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。

（A）分電盤以降第1負荷迄

——— EM-EEF2.0-3C（内1Cアース）（PF22）
- - - - - - EM-EEF2.0-3C（内1Cアース）（E25）露出配管
—·— EM-EEF2.0-3C（内1Cアース）（天井内転がし）
—·-3-{EM-EEF2.0-3C（内1Cアース）}×3（天井内転がし）

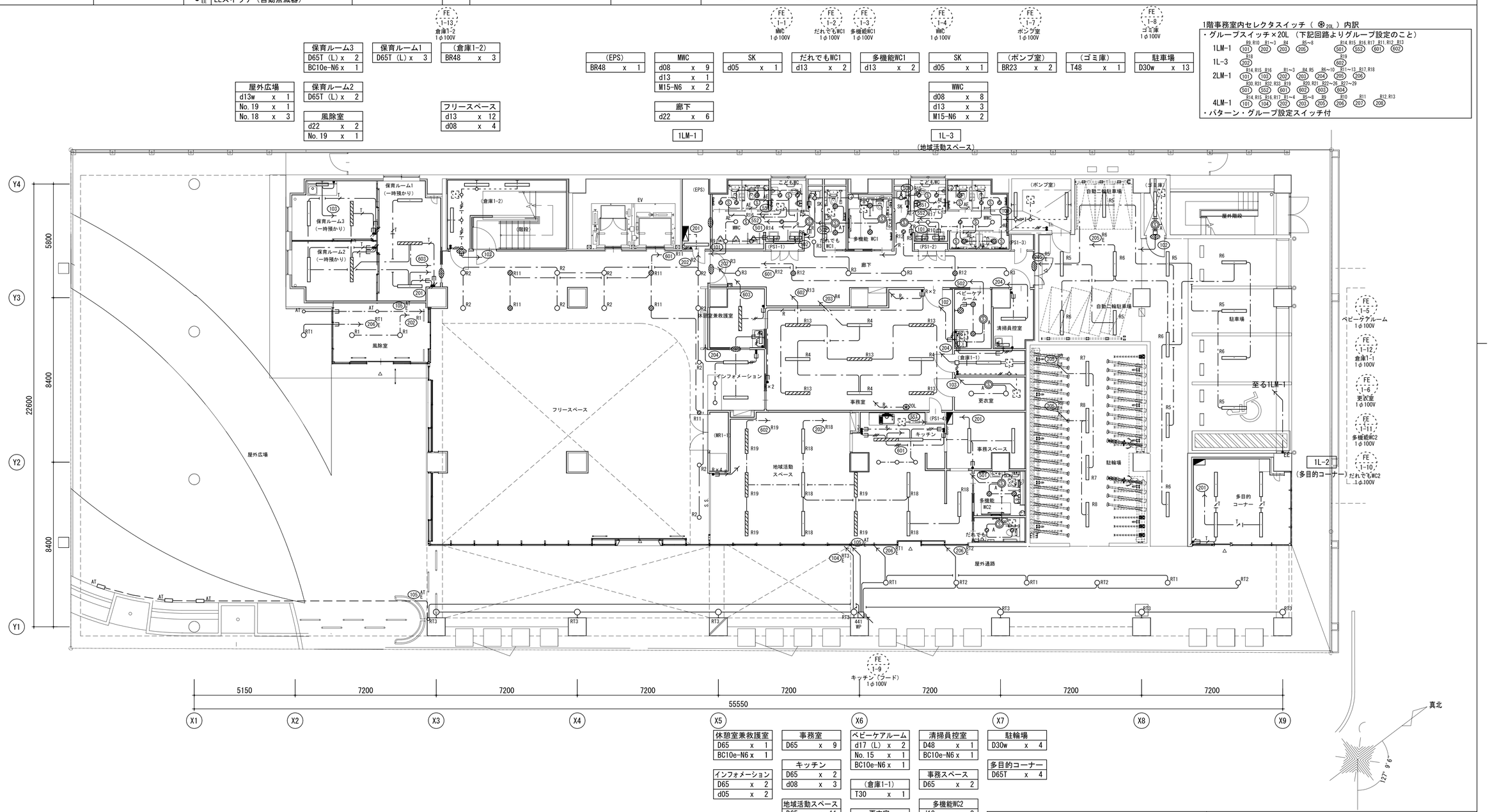
（B）第1負荷以降

——— EM-EEF1.6-2C　（PF22）
——— EM-EEF1.6-3C　（PF22）
- - -/- - EM-EEF1.6-2C　（E25）露出配管
- - -/-/- EM-EEF1.6-3C　（E25）露出配管
——— EM-EEF1.6-3C（内1Cアース）（PF22）
—·— EM-EEF1.6-3C（内1Cアース）（天井内転がし）
- - - - - - EM-EEF1.6-3C（内1Cアース）（E25）露出配管
- - -/-/- EM-EEF1.6-2C×2（内1Cアース）（E25）露出配管
- - -/G- EM-EEF1.6-3C（内1Cアース）（G22）屋外露出配管
- - -/-/- EM-EEF1.6-2C×2（内1Cアース）（G22）屋外露出配管

R EM-FCPEE0.9-3P　（PF22）
AE EM-AE0.9-2C（PF16）　（PF16）
T EM-EEF1.6-2C　（PF22）
EM-FCPEE0.9-3P　（PF22）
EM-EEF1.6-3C（内1Cアース）（天井内転がし）
EM-FCPEE0.9-3P　（天井内転がし）
EM-EEF1.6-3C（内1Cアース）（レースウェイ）
EM-EEF1.6-2C×2（内1Cアース）（レースウェイ）
S EM-EEF1.6-2C+3C（内1Cアース）（レースウェイ）

2. 部屋名に（　　）がある場合は直天井を示す。
3. スイッチプレートはパナソニックコスモワイドシリーズ ワイド21同等品とする。 但し、4階多目的ホールについては金属プレートとする。
4. ゾーニング区分図に応じた仕様とすること。（E07図）
5. 2階フロアにおいて、防音壁を貫通する箇所については、防音性能に配慮した貫通処理を施すこと。
6. プルボックスサイズは下記とする。
   - ⊠ 221　：SS200×200×100
   - ⊠ 441　：SS400×400×100
   - ⊠ 442　：SS400×400×200
   - ⊠ 221WP：SS200×200×100WP-SUS
   - ⊠ 441WP：SS400×400×100WP-SUS

二重天井内はケーブル転がし配線とする。但し、壁立下げ等は配管にてケーブル保護とする。



明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	E	電気設備工事	最終版　2025. 02. 28
〈設備設計者〉 一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	25	電灯設備 1階平面図　A1 1:100 A3 1:200	見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

20230220

凡例

記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考
	電灯分電盤		Ⓢ	熱線センサー付自動スイッチ（親機）（広角検知）		AT	年間プログラムタイマ制御回路	
	電灯動力盤		Ⓢ	熱線センサー付自動スイッチ（子機）		Rn	リモコン制御回路	
			Ⓢ$_T$	熱線センサー付自動スイッチ（子機）換気扇連動用				
	照明器具　天井付		Ⓢ$_A$	熱線センサー付自動スイッチ（LED・換気扇連動・遅れOFF機能付用）			防火区画貫通処理	
	照明器具　天井付	発電機回路	Ⓢ$_R$	熱線センサー付自動スイッチ（親機）	リモコン制御用	○	露出ボックス	丸型
	照明器具　壁面取付		Ⓢ$_R$	熱線センサー付自動スイッチ（子機）	リモコン制御用	☒	プルボックス	
○	ダウンライト　天井付		●	スイッチ　片切　1P15A	WP:防水	☒$_{WP}$	プルボックス 防水型(SUS製)	指定色焼付塗装
⊘	ダウンライト　天井付	発電機回路	●$_3$	スイッチ　3路　3P15A			天井隠ぺい配線	
◁	スポットライト　天井付		●$_L$	換気扇電源スイッチ（確認スイッチ付）			天井転がし配線	
	間接照明		●$_R$	リモコンスイッチ			床隠ぺい配線	
	ライティングダクトレール		●$_{RS}$	リモコンスイッチ	センサー入切用		露出配管	
			●$_{Th}$	換気扇温度スイッチ			レースウェイ	40×45
	換気扇	空調工事		調光器			配管配線　立上り　立下げ	
				セレクタースイッチ				
			●$_{EE}$	EEスイッチ（自動点滅器）				

注記

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。

（A）分電盤以降第1負荷迄

———	EM-EEF2.0-3C（内1Cアース）	(PF22)	
- - - - - -	EM-EEF2.0-3C（内1Cアース）	(E25)	露出配管
—·—	EM-EEF2.0-3C（内1Cアース）	(天井内転がし)	
—·—^{3}	{EM-EEF2.0-3C（内1Cアース）} ×3	(天井内転がし)	

（B）第1負荷以降

———	EM-EEF1.6-2C	(PF22)	
———	EM-EEF1.6-3C	(PF22)	
- - -·- - -	EM-EEF1.6-2C	(E25)	露出配管
- - -·- - -	EM-EEF1.6-3C	(E25)	露出配管
———	EM-EEF1.6-3C（内1Cアース）	(PF22)	
—·—	EM-EEF1.6-3C（内1Cアース）	(天井内転がし)	
- - - - - -	EM-EEF1.6-3C（内1Cアース）	(E25)	露出配管
- - -⊢	EM-EEF1.6-2C×2（内1Cアース）	(E25)	露出配管
- - -^{G}- - -	EM-EEF1.6-3C（内1Cアース）	(G22)	屋外露出配管
- - -^{5}⊢	EM-EEF1.6-2C×2（内1Cアース）	(G22)	屋外露出配管
—·—^{5}	EM-EEF2.0-3C（内1Cアース）	(天井内転がし)	
—·—^{3}	{EM-EEF2.0-3C（内1Cアース）} ×3	(天井内転がし)	
—^{R}	EM-FCPEE0.9-3P	(PF22)	
—^{AE}	EM-AE0.9-2C（PF16）	(PF16)	
—^{L}	EM-EEF1.6-2C	(PF22)	
	EM-FCPEE0.9-3P	(PF22)	
—·—^{L}	EM-EEF1.6-3C（内1Cアース）	(天井内転がし)	
	EM-FCPEE0.9-3P	(天井内転がし)	
═══	EM-EEF1.6-3C（内1Cアース）	(レースウェイ)	
═══⊢	EM-EEF1.6-2C×2（内1Cアース）	(レースウェイ)	
═══^{5}	EM-EEF1.6-2C+3C（内1Cアース）	(レースウェイ)	

ニ重天井内はケーブル転がし配線とする。但し、壁立下げ等は配管にてケーブル保護とする。

2. 部屋名に（　　）がある場合は直天井を示す。
3. スイッチプレートはパナソニックコスモワイドシリーズ ワイド21同等品とする。
   但し、4階多目的ホールについては金属プレートとする。
4. ゾーニング区分図に応じた仕様とすること。（E07図）
5. 2階フロアにおいて、防音壁を貫通する箇所については、防音性能に配慮した貫通処理を施すこと。
6. プルボックスサイズは下記とする。
   - ☒221　：SS200×200×100
   - ☒441　：SS400×400×100
   - ☒442　：SS400×400×200
   - ☒221WP：SS200×200×100WP-SUS
   - ☒441WP：SS400×400×100WP-SUS

FE 2-1 WMC 1φ100V
FE 2-2 だれでもWC 1φ100V
FE 2-3 多機能WC 1φ100V
FE 2-4 WMC 1φ100V
FE 2-5 ベビーケアルーム 1φ100V
FE 2-6 倉庫2-1 1φ100V

テラス
d13w　x　9

吹き抜け
No.1　x　7

フリースペース
d22　x　13
No.2A　x　2
No.2B　x　3
No.2C　x　5
d13　x　8

(EPS)
BR48　x　1

MWC
d08　x　9
d13　x　1
M15-N6　x　2

廊下
d22　x　26

2LM-1

だれでもWC
d13　x　2

SK
d05　x　1

多機能WC
d13　x　2

多目的室4
D37　x　8

SK
d05　x　1

WWC
d08　x　8
d13　x　3
M15-N6　x　2

会議室1
D48　x　4

ベビーケアルーム
d17（L）x　2
No.15　x　1
BC10e-N6 x　1

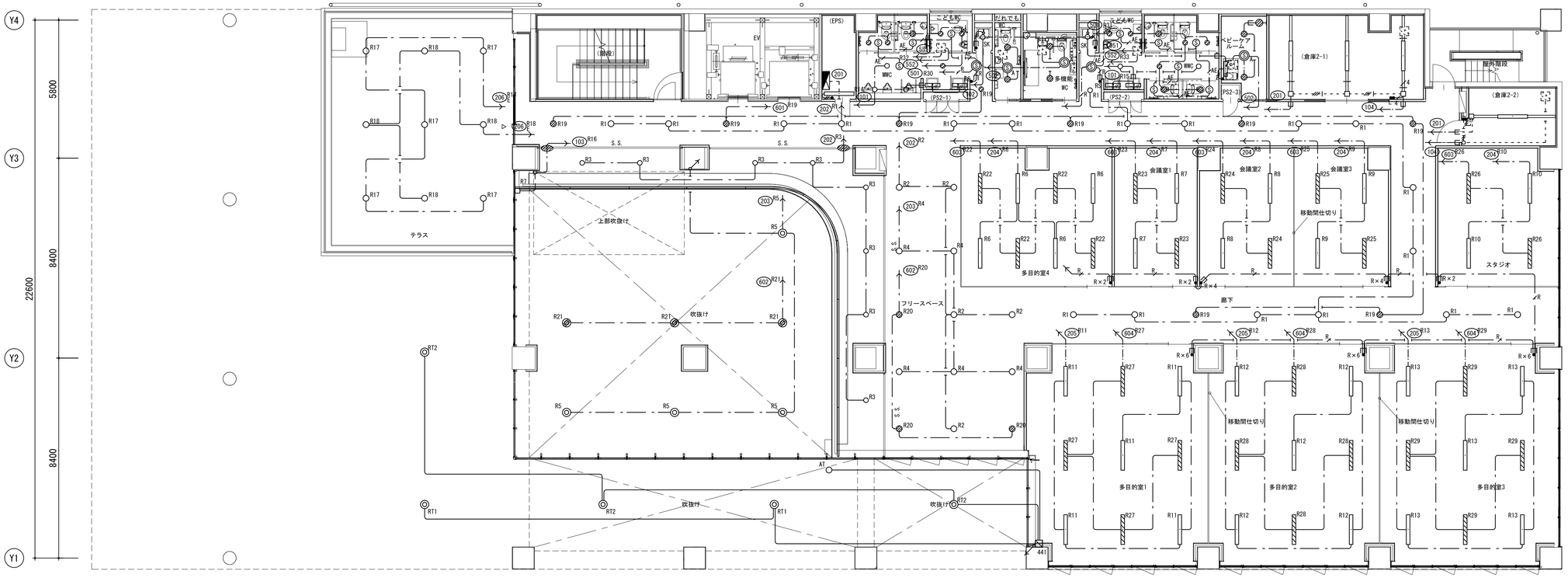
会議室2
D48　x　4

(倉庫2-1)
T23　x　3

会議室3
D48　x　4

(倉庫2-2)
T48　x　1

スタジオ
D65　x　4

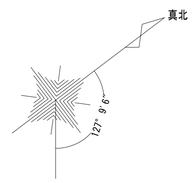


庇
No.17　x　5
No.20　x　1

多目的室1
D65　x　9

多目的室2
D65　x　9

多目的室3
D65　x　9



明石市政策局　プロジェクト推進室		西明石地域交流センター　icotto　建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	E	電気設備工事 電灯設備	最終版　2025. 02. 28
〈設備設計者〉 一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	26	2階平面図　A1　1:100　A3　1:200	見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

20230220

凡例

記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考
	電灯分電盤		Ⓢ	熱線センサー付自動スイッチ（親機）（広角検知）		AT	年間プログラムタイマ制御回路	
	電灯動力盤		Ⓢ	熱線センサー付自動スイッチ（子機）		Rn	リモコン制御回路	
			Ⓢ T	熱線センサー付自動スイッチ（子機）換気扇連動用				
	照明器具　天井付		Ⓢ A	熱線センサー付自動スイッチ（LED・換気扇連動・遅れOFF機能付用）			防火区画貫通処理	
	照明器具　天井付	発電機回路	Ⓢ R	熱線センサー付自動スイッチ（親機）	リモコン制御用	○	露出ボックス	丸型
	照明器具　壁面取付		Ⓢ R	熱線センサー付自動スイッチ（子機）	リモコン制御用	⊠	プルボックス	
○	ダウンライト　天井付		●	スイッチ　片切　1P15A	WP:防水	⊠WP	プルボックス 防水型(SUS製)	指定色焼付塗装
⊘	ダウンライト　天井付	発電機回路	● 3	スイッチ　3路　3P15A			天井隠ぺい配線	
◁	スポットライト　天井付		● L	換気扇電源スイッチ（確認スイッチ付）			天井転がし配線	
	間接照明		● R	リモコンスイッチ			床隠ぺい配線	
	ライティングダクトレール		● RS	リモコンスイッチ	センサー入切用		露出配管	
			● Th	換気扇温度スイッチ			レースウェイ	40×45
⊠	換気扇	空調工事		調光器			配管配線　立上り　立下げ	
				セレクタースイッチ				
			● EE	EEスイッチ（自動点滅器）				

注記

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。

（A）分電盤以降第1負荷迄

———	EM-EEF2.0-3C（内1Cアース）	(PF22)
- - - - - -	EM-EEF2.0-3C（内1Cアース）	(E25)　露出配管
—·—	EM-EEF2.0-3C（内1Cアース）	(PF22)（天井内転がし）
—·—3—	{EM-EEF2.0-3C（内1Cアース）} ×3	(天井内転がし)

（B）第1負荷以降

———	EM-EEF1.6-2C	(PF22)
———	EM-EEF1.6-3C	(PF22)
- - -·- - -	EM-EEF1.6-2C	(E25)　露出配管
- - -·- - -	EM-EEF1.6-3C	(E25)　露出配管
———	EM-EEF1.6-3C（内1Cアース）	(PF22)
—·—	EM-EEF1.6-3C（内1Cアース）	(天井内転がし)
- - - - - -	EM-EEF1.6-3C（内1Cアース）	(E25)　露出配管
- - -⊢	EM-EEF1.6-2C×2（内1Cアース）	(E25)　露出配管
- - -G- - -	EM-EEF1.6-3C（内1Cアース）	(G22)　屋外露出配管
- - -⊢	EM-EEF1.6-2C×2（内1CアースG22）	屋外露出配管
—·—3—	{EM-EEF2.0-3C（内1Cアース）} ×3	(天井内転がし)
—R—	EM-FCPEE0.9-3P	(PF22)
—AE—	EM-AE0.9-2C（PF16）	(PF16)
—I—	EM-EEF1.6-2C	(PF22)
	EM-FCPEE0.9-3P	(PF22)
—·—I—	EM-EEF1.6-3C（内1Cアース）	(天井内転がし)
	EM-FCPEE0.9-3P	(天井内転がし)
═══	EM-EEF1.6-3C（内1Cアース）	(レースウェイ)
═══	EM-EEF1.6-2C×2（内1Cアース）	(レースウェイ)
═══5═══	EM-EEF1.6-2C+3C（内1Cアース）	(レースウェイ)

二重天井内はケーブル転がし配線とする。但し、壁立下げ等は配管にてケーブル保護とする。

2. 部屋名に（　　）がある場合は直天井を示す。
3. スイッチプレートはパナソニックコスモワイドシリーズ ワイド21同等品とする。 但し、4階多目的ホールについては金属プレートとする。
4. ゾーニング区分図に応じた仕様とすること。（E07図）
5. 2階フロアにおいて、防音壁を貫通する箇所については、防音性能に配慮した貫通処理を施すこと。
6. プルボックスサイズは下記とする。
   - ⊠221　：SS200×200×100
   - ⊠441　：SS400×400×100
   - ⊠442　：SS400×400×200
   - ⊠221WP：SS200×200×100WP-SUS
   - ⊠441WP：SS400×400×100WP-SUS

庇		
No.17	x	8

テラス		
No.6	x	6

おはなしの部屋		
No.7	x	6

図書コーナー前室		
d22	x	6

吹き抜け		
No.1	x	2

(EPS)		
BR48	x	1

MWC		
d08	x	9
d13	x	1
M15-N6	x	2

SK		
d05	x	1

だれでもWC		
d13	x	2

多機能WC		
d13	x	2

通路		
d22	x	6

SK		
d05	x	1

WWC		
d08	x	8
d13	x	3
M15-N6	x	2

ベビーケアルーム		
d17（L）	x	2
No.15	x	1
BC10e-N6	x	1

事務室		
D48	x	9

閲覧室		
No.3	x	4

3階事務室内セレクタスイッチ（ ⊛20L ）内訳

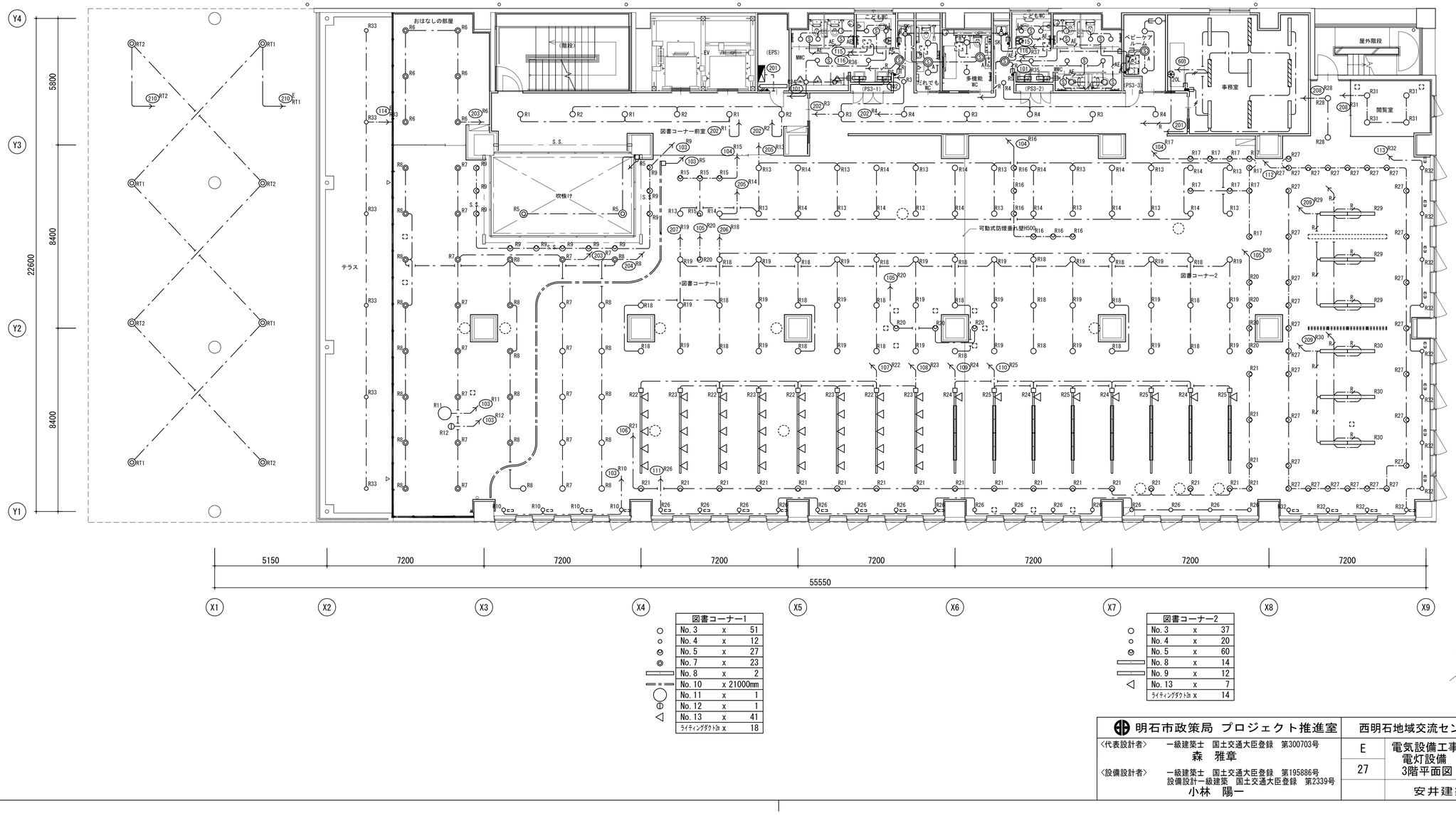
・グループスイッチ×20L （下記回路よりグループ設定のこと）

3LM-1
R34 R35 R5 R9~12 R15~17 R20 R21 R22 R23 R24 R25
101 102 104 105 106 107 108 109 110
R6 R7 R32 E R33 R36 R37
111 112 113 114 116
R1~4 R6 R7 R8 R13, R14 R18 R19 R28, R31 R29, R30
202 203 204 205 206 207 208 209
R6 R45 R42 R51 R44 R39
319 323 324 358 359 360 361

・パターン・グループ設定スイッチ付

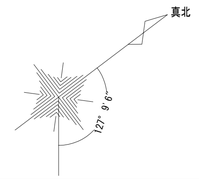
3LM-1

FE 3-1 MMC 1φ100V
FE 3-2 だれでもWC 1φ100V
FE 3-3 多機能WC 1φ100V
FE 3-4 WWC 1φ100V
FE 3-5 ベビーケアルーム 1φ100V



図書コーナー1		
No.3	x	51
No.4	x	12
No.5	x	27
No.7	x	23
No.8	x	2
No.10	x	21000mm
No.11	x	1
No.12	x	1
No.13	x	41
ライティングダクト3m	x	18

図書コーナー2		
No.3	x	37
No.4	x	20
No.5	x	60
No.8	x	14
No.9	x	12
No.13	x	7
ライティングダクト3m	x	14



明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	E	電気設備工事	最終版　2025. 02. 28
	27	電灯設備 3階平面図 A1　1:100 A3　1:200	見積版　2024. 12. 16
〈設備設計者〉 一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

20230220

凡例

記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考
	電灯分電盤		(S)	熱線センサー付自動スイッチ（親機）（広角検知）		AT	年間プログラムタイマ制御回路	
	電灯動力盤		(S)	熱線センサー付自動スイッチ（子機）		Rn	リモコン制御回路	
			(S)F	熱線センサー付自動スイッチ（子機）換気扇連動用				
	照明器具　天井付		(S)A	熱線センサー付自動スイッチ（LED・換気扇連動・遅れOFF機能付用）			防火区画貫通処理	
	照明器具　天井付	発電機回路	(S)R	熱線センサー付自動スイッチ（親機）	リモコン制御用	○	露出ボックス	丸型
	照明器具　壁面取付		(S)R	熱線センサー付自動スイッチ（子機）	リモコン制御用	⊠	プルボックス	
○	ダウンライト　天井付		●	スイッチ　片切　1P15A	WP:防水	⊠WP	プルボックス 防水型(SUS製)	指定色焼付塗装
⊘	ダウンライト　天井付	発電機回路	●3	スイッチ　3路　3P15A			天井隠ぺい配線	
◁	スポットライト　天井付		●L	換気扇電源スイッチ（確認スイッチ付）			天井転がし配線	
	間接照明		●R	リモコンスイッチ			床隠ぺい配線	
	ライティングダクトレール		●RS	リモコンスイッチ	センサー入切用		露出配管	
			●Th	換気扇温度スイッチ			レースウェイ	40×45
⊠	換気扇	空調工事		調光器			配管配線　立上り　立下げ	
				セレクタースイッチ				
			●EE	EEスイッチ（自動点滅器）				

注記

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。

(A) 分電盤以降第1負荷迄

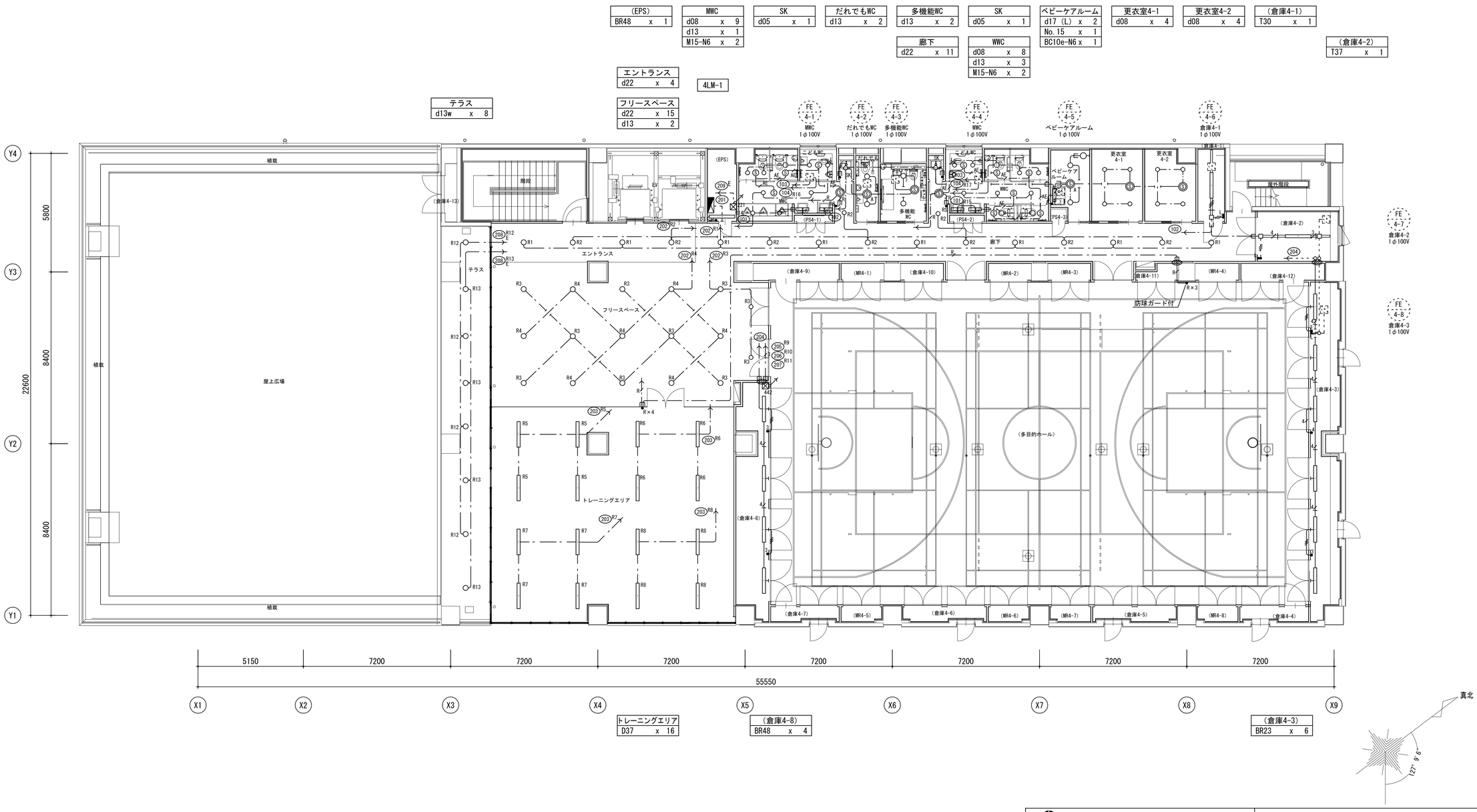
———	EM-EEF2.0-3C（内1Cアース）	(PF22)	
- - - - - -	EM-EEF2.0-3C（内1Cアース）	(E25)	露出配管
—・—	EM-EEF2.0-3C（内1Cアース）	(PF22)	
—・—{3}	EM-EEF2.0-3C（内1Cアース）｝×3	(天井内転がし)	

(B) 第1負荷以降

———	EM-EEF1.6-2C	(PF22)	
———	EM-EEF1.6-3C	(PF22)	
- - -・- - -	EM-EEF1.6-2C	(E25)	露出配管
- - -・- - -	EM-EEF1.6-3C	(E25)	露出配管
———	EM-EEF1.6-3C（内1Cアース）	(PF22)	
—・—	EM-EEF1.6-3C（内1Cアース）	(天井内転がし)	
- - - - - -	EM-EEF1.6-3C（内1Cアース）	(E25)	露出配管
- - -{2}	EM-EEF1.6-2C×2（内1Cアース）	(E25)	露出配管
- - -G- - -	EM-EEF1.6-3C（内1Cアース）	(G22)	屋外露出配管
- - -{2}G	EM-EEF1.6-2C×2（内1Cアース）	(G22)	屋外露出配管
—・—{3}	EM-EEF2.0-3C（内1Cアース）	(天井内転がし)	
—・—{3}	EM-EEF2.0-3C（内1Cアース）｝×3	(天井内転がし)	
—R—	EM-FCPEE0.9-3P	(PF22)	
—AE—	EM-AE0.9-2C（PF16）	(PF16)	
—L—	EM-EEF1.6-2C	(PF22)	
	EM-FCPEE0.9-3P	(PF22)	
—・—L	EM-EEF1.6-3C（内1Cアース）	(天井内転がし)	
	EM-FCPEE0.9-3P	(天井内転がし)	
═══	EM-EEF1.6-3C（内1Cアース）	(レースウェイ)	
═══{2}	EM-EEF1.6-2C×2（内1Cアース）	(レースウェイ)	
═══{3}	EM-EEF1.6-2C+3C（内1Cアース）	(レースウェイ)	

ニ重天井内はケーブル転がし配線とする。但し、壁立下げ等は配管にてケーブル保護とする。

2. 部屋名に（　　）がある場合は直天井を示す。
3. スイッチプレートはパナソニックコスモワイドシリーズ ワイド21同等品とする。
   但し、4階多目的ホールについては金属プレートとする。
4. ゾーニング区分図に応じた仕様とすること。（E07図）
5. 2階フロアにおいて、防音壁を貫通する箇所については、防音性能に配慮した貫通処理を施すこと。
6. プルボックスサイズは下記とする。
   ⊠221　：SS200×200×100
   ⊠441　：SS400×400×100
   ⊠442　：SS400×400×200
   ⊠221WP：SS200×200×100WP-SUS
   ⊠441WP：SS400×400×100WP-SUS



明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto 建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	E	電気設備工事	最終版　2025.02.28
〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	28	電灯設備 4階平面図　A1 1:100　A3 1:200	見積版　2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

20230220

凡例

記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考
	電灯分電盤		Ⓢ	熱線センサー付自動スイッチ（親機）（広角検知）		AT	年間プログラムタイマ制御回路	
	電灯動力盤		Ⓢ	熱線センサー付自動スイッチ（子機）		Rn	リモコン制御回路	
			Ⓢ F	熱線センサー付自動スイッチ（子機）換気扇連動用				
	照明器具　天井付		Ⓢ A	熱線センサー付自動スイッチ（LED・換気扇連動・遅れOFF機能付用）			防火区画貫通処理	
	照明器具　天井付	発電機回路	Ⓢ R	熱線センサー付自動スイッチ（親機）	リモコン制御用	○	露出ボックス	丸型
	照明器具　壁面取付		Ⓢ R	熱線センサー付自動スイッチ（子機）	リモコン制御用	⊠	プルボックス	
○	ダウンライト　天井付		●	スイッチ　片切　1P15A	WP:防水	⊠WP	プルボックス 防水型(SUS製)	指定色焼付塗装
⊘	ダウンライト　天井付	発電機回路	● 3	スイッチ　3路　3P15A			天井隠ぺい配線	
◁	スポットライト　天井付		● L	換気扇電源スイッチ（確認スイッチ付）			天井転がし配線	
	間接照明		● R	リモコンスイッチ			床隠ぺい配線	
	ライティングダクトレール		● RS	リモコンスイッチ	センサー入切用		露出配管	
			● Th	換気扇温度スイッチ			レースウェイ	40×45
⊠	換気扇	空調工事		調光器			配管配線　立上り　立下げ	
				セレクタースイッチ				
			● EE	EEスイッチ（自動点滅器）				

注記

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。

（A）分電盤以降第1負荷迄

———	EM-EEF2.0-3C（内1Cアース）（PF22）
- - - - -	EM-EEF2.0-3C（内1Cアース）（E25） 露出配管
—·—	EM-EEF2.0-3C（内1Cアース）（天井内転がし）
—·3—	{EM-EEF2.0-3C（内1Cアース）}×3（天井内転がし）

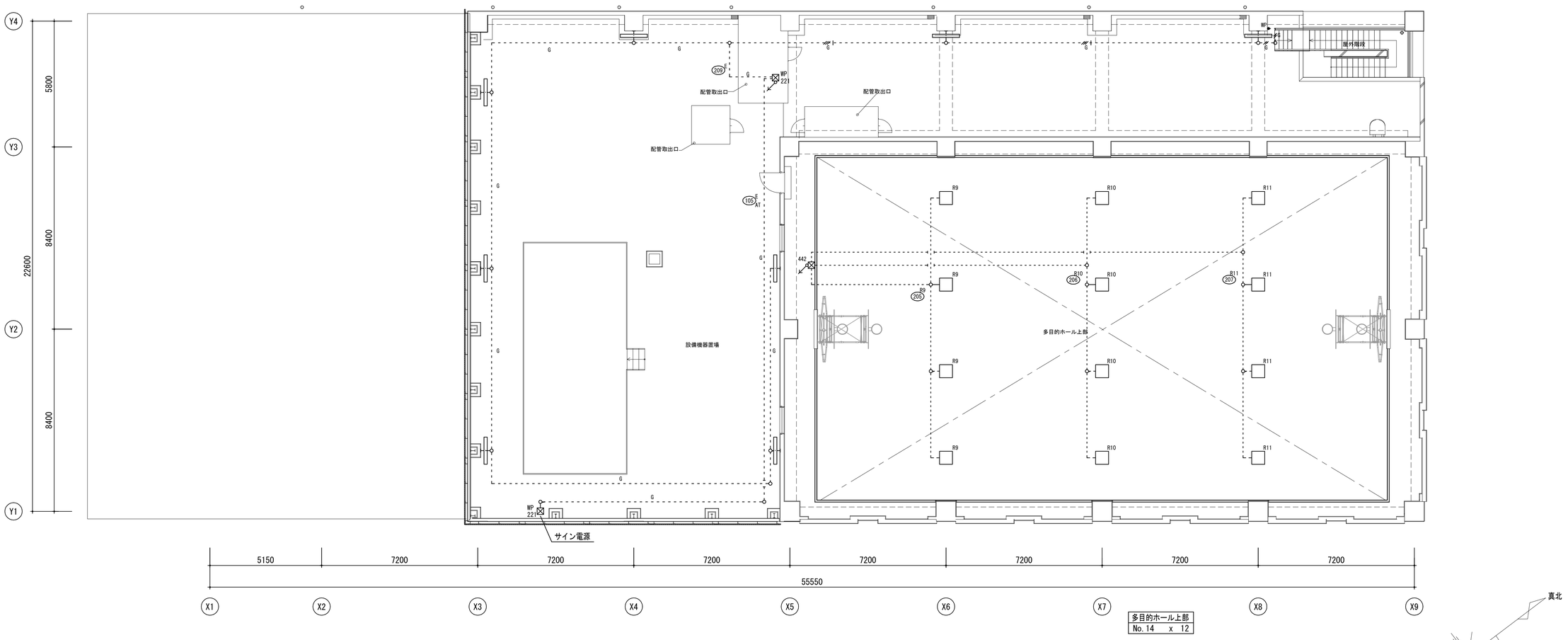
（B）第1負荷以降

———	EM-EEF1.6-2C	（PF22）
———	EM-EEF1.6-3C	（PF22）
- - -	EM-EEF1.6-2C	（E25） 露出配管
- - -	EM-EEF1.6-3C	（E25） 露出配管
———	EM-EEF1.6-3C（内1Cアース）	（PF22）
—·—	EM-EEF1.6-3C（内1Cアース）	（天井内転がし）
- - - - -	EM-EEF1.6-3C（内1Cアース）	（E25） 露出配管
- - -3- - -	EM-EEF1.6-2C×2（内1Cアース）	（E25） 露出配管
- - -G- - -	EM-EEF1.6-3C（内1Cアース）	（G22） 屋外露出配管
- - -3- - -	EM-EEF1.6-2C×2（内1Cアース）	（G22） 屋外露出配管
—R—	EM-FCPEE0.9-3P	（PF22）
—AE—	EM-AE0.9-2C（PF16）	（PF16）
—T—	EM-EEF1.6-2C	（PF22）
	EM-FCPEE0.9-3P	（PF22）
—·T—	EM-EEF1.6-3C（内1Cアース）	（天井内転がし）
	EM-FCPEE0.9-3P	（天井内転がし）
	EM-EEF1.6-3C（内1Cアース）	（レースウェイ）
3	EM-EEF1.6-2C×2（内1Cアース）	（レースウェイ）
3	EM-EEF1.6-2C+3C（内1Cアース）	（レースウェイ）

ニ重天井内はケーブル転がし配線とする。但し、壁立下げ等は配管にてケーブル保護とする。

2. 部屋名に（　　）がある場合は直天井を示す。
3. スイッチプレートはパナソニックコスモワイドシリーズ ワイド21同等品とする。
   但し、4階多目的ホールについては金属プレートとする。
4. ゾーニング区分図に応じた仕様とすること。（E07図）
5. 2階フロアにおいて、防音壁を貫通する箇所については、防音性能に配慮した貫通処理を施すこと。
6. プルボックスサイズは下記とする。
   - ⊠221 ：SS200×200×100
   - ⊠441 ：SS400×400×100
   - ⊠442 ：SS400×400×200
   - ⊠221WP：SS200×200×100WP-SUS
   - ⊠441WP：SS400×400×100WP-SUS

設備機器置場
BA30　x　8



明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	E	電気設備工事 電灯設備	最終版　2025. 02. 28
〈設備設計者〉 一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	29	R階平面図　A1 1:100　A3 1:200	見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

20230220

凡例

記号	名称	備考	記号	名称	備考
	電灯動力盤		S2	壁直付型　避難口誘導灯　B級H型　片面	電源内蔵型
	電灯分電盤		S2FV1	壁直付型　避難口誘導灯　B級H型　片面	電源内蔵型
YU	誘導灯信号装置		S2FV	壁直付型　避難口誘導灯　B級H型　両面	電源内蔵型
EAMP	非常業務兼用放送アンプ		S2G	壁直付型　避難口誘導灯　B級H型　ガード付	電源内蔵型
	自火報受信機		S6	天井埋込型　通路誘導灯　B級H型　両面	電源内蔵型
●	LED非常照明器具　天井埋込型　LED-1.0W	電源内蔵型		防火区画貫通処理	
●YSc	LED非常照明器具　天井埋込型　LED-1.3W	電源内蔵型	○	露出ボックス	丸型
●YSh1	LED非常照明器具　天井直付型　LED-1.3W	電源内蔵型	⊠	プルボックス	
●YSh1	LED非常照明器具　天井埋込型　LED-1.3W	電源内蔵型	⊠WP	プルボックス　防水型(SUS製)	指定色焼付塗装
●YSh2	LED非常照明器具　天井埋込型　LED-1.3W	電源内蔵型	———	天井隠ぺい配線	
			― ・―	天井転がし配線	
	階段通路誘導灯		― ― ―	床隠ぺい配線	
S	音声付点滅型誘導灯停止用煙感知器		-------	露出配管	
				配管配線　立上り　立下げ	

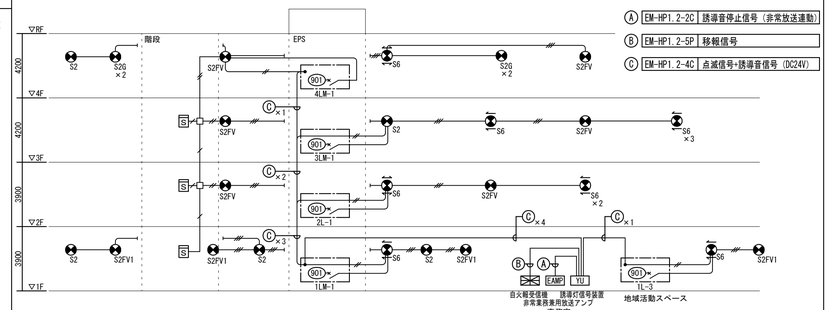
注記
1. 図中、特記なき配管配線は下記による。
（1）非常用照明回路
— ・— EM-EEF2.0-2C　(PF22)
------ EM-EEF2.0-2C　(E25) 露出配管
——┼— EM-EEF2.0-3C（内1CE）(PF22)
— ・┼— EM-EEF2.0-3C（内1CE）(PF22)
（2）誘導灯回路
— ・— EM-EEF2.0-2C　(PF22)
——┼— EM-EEF2.0-3C（内1CE）(PF22)
——/— EM-HP1.2-2C　(PF16)（停止信号発報用）
— ・-/— EM-HP1.2-4C　(PF22)
— ・-/— EM-EEF2.0-2C+EM-HP1.2-3P　(PF22)
二重天井内はケーブル転がし配線とする。
但し、壁立下げ等は配管にてケーブル保護とする。
2. 二重天井内はケーブル工事とし、立上げ引下げ部分は電線管にて保護すること。
3. 直天井は電灯設備図参照
4. 各誘導灯の矢印は避難方向を示す。
5. ゾーニング区分図施工要領に応じた仕様とすること。（E07図）
6. 2階フロアにおいて、防音壁を貫通する箇所については、防音性能に配慮した貫通処理を施すこと。

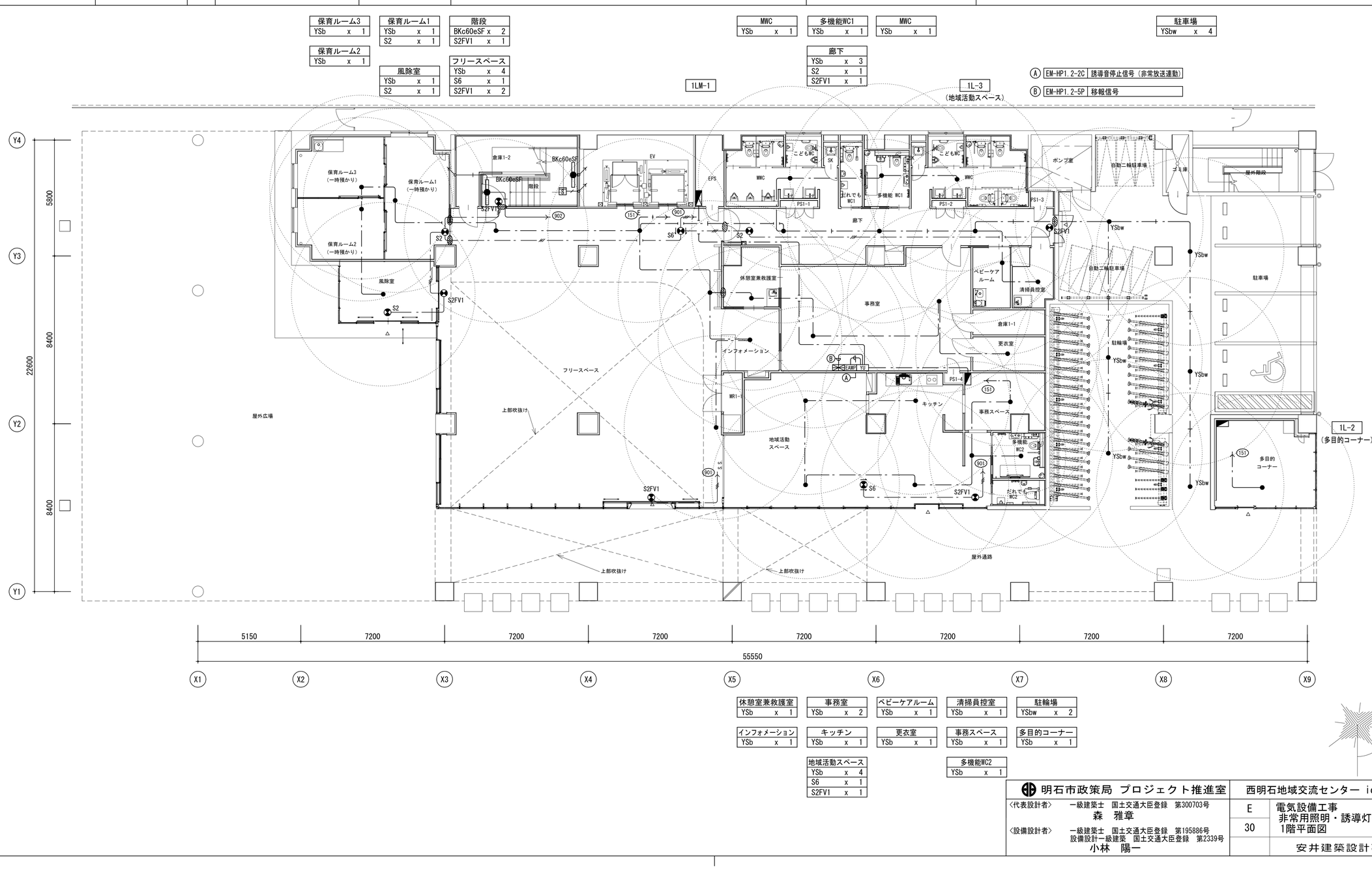
系統図

YU　誘導灯信号装置（誘導音・点滅用）

※1階事務室総合盤内設置
点滅用信号装置（25回路用）
信号出力ＤＣ２４Ｖ
充電モニター付

注記）
1. 特記なき配管配線は註記による。
2. 動作説明
（1）火災発生時、信号装置にて自火報受信機の警戒区域別作動信号を受け、当該誘導灯に於ける音声・点滅を出火階、直上階で動作とする。
（2）階段出入口部分設置誘導灯は、当該直下階の階段室内設置、専用感知器作動により、当該誘導灯の音声・点滅動作を停止とする。
（3）非常放送との連動により音声を停止とする。





明石市政策局　プロジェクト推進室		西明石地域交流センター　icotto　建設工事	
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	E	電気設備工事 非常用照明・誘導灯設備 1階平面図　A1 1:100　A3 1:200	最終版　2025. 02. 28
〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	30		見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

20230220

凡例

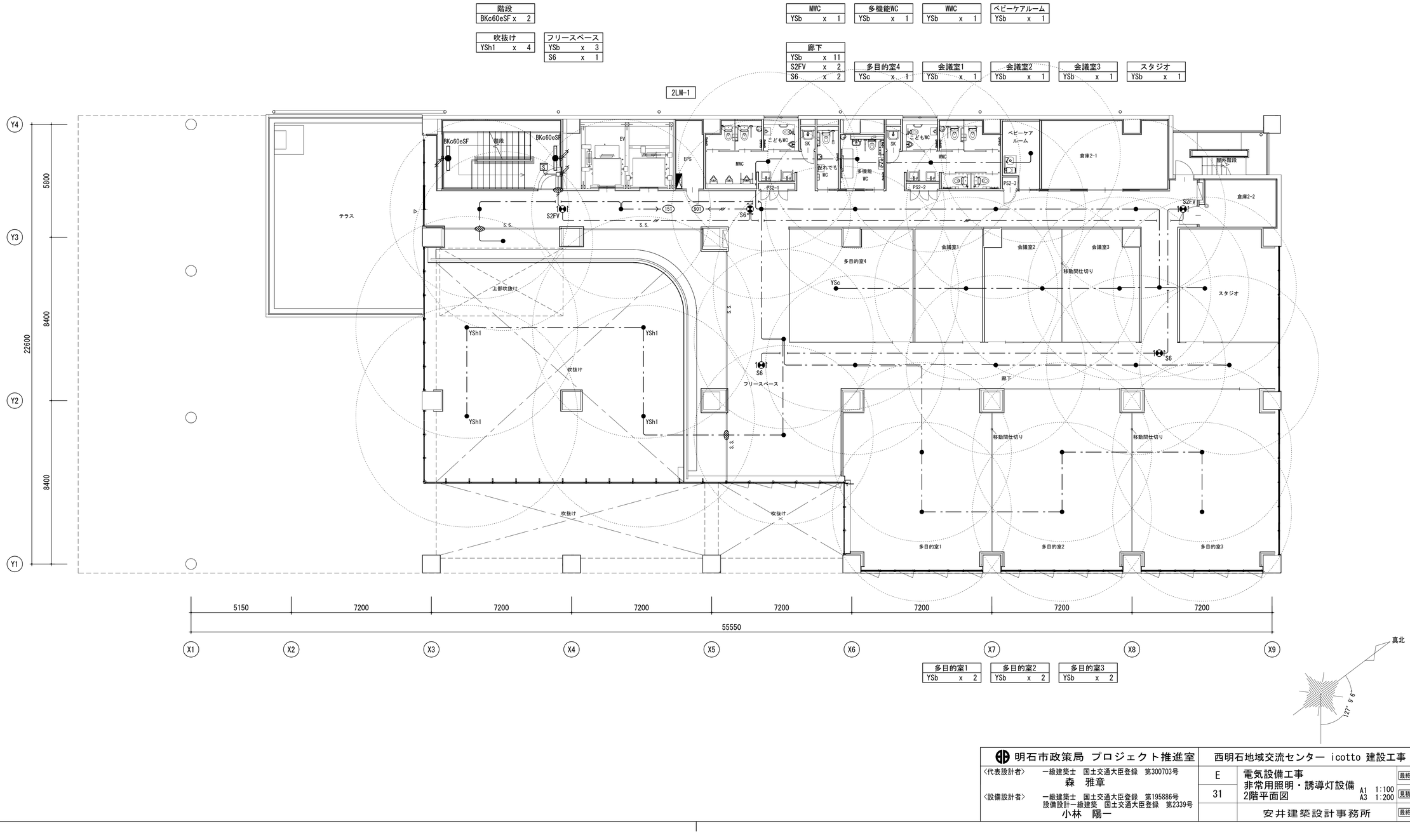
記号	名称	備考	記号	名称	備考
	電灯動力盤		S2	壁直付型　避難口誘導灯　B級H型　片面	電源内蔵型
	電灯分電盤		S2FV	壁直付型　避難口誘導灯　B級H型　片面	電源内蔵型
YU	誘導灯信号装置		S2FV	壁直付型　避難口誘導灯　B級H型　両面	電源内蔵型
EAMP	非常業務兼用放送アンプ		S2G	壁直付型　避難口誘導灯　B級H型　ガード付	電源内蔵型
	自火報受信機		S6	天井埋込型　通路誘導灯　B級H型　両面	電源内蔵型
●	LED非常照明器具　天井埋込型　LED-1.0W	電源内蔵型		防火区画貫通処理	
●YSc	LED非常照明器具　天井埋込型　LED-1.3W	電源内蔵型	○	露出ボックス	丸型
●YSh1	LED非常照明器具　天井直付型　LED-1.3W	電源内蔵型	⊠	プルボックス	
●YSh1	LED非常照明器具　天井埋込型　LED-1.3W	電源内蔵型	⊠WP	プルボックス　防水型(SUS製)	指定色焼付塗装
●YSh2	LED非常照明器具　天井埋込型　LED-1.3W	電源内蔵型	———	天井隠ぺい配線	
			― ・―	天井転がし配線	
	階段通路誘導灯		― ― ―	床隠ぺい配線	
S	音声付点滅型誘導灯停止用煙感知器		------	露出配管	
				配管配線　立上り　立下げ	

注記

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。
   （1）非常用照明回路
   - ― ・― EM-EEF2.0-2C　(PF22)
   - ------ EM-EEF2.0-2C　(E25) 露出配管
   - ――+― EM-EEF2.0-3C（内ICE）(PF22)
   - ― ・+― EM-EEF2.0-3C（内ICE）(PF22)

   （2）誘導灯回路
   - ― ・― EM-EEF2.0-2C　(PF22)
   - ――+― EM-EEF2.0-3C（内ICE）(PF22)
   - ――〜― EM-HP1.2-2C　(PF16)（停止信号発報用）
   - ― ・〜― EM-HP1.2-4C　(PF22)
   - ― 〜〜― EM-EEF2.0-2C+EM-HP1.2-3P　(PF22)

   二重天井内はケーブル転がし配線とする。
   但し、壁立下げ等は配管にてケーブル保護とする。
2. 二重天井内はケーブル工事とし、立上げ引下げ部分は電線管にて保護すること。
3. 直天井は電灯設備図参照
4. 各誘導灯の矢印は避難方向を示す。
5. ゾーニング区分図施工要領に応じた仕様とすること。（E07図）
6. 2階フロアにおいて、防音壁を貫通する箇所については、防音性能に配慮した貫通処理を施すこと。



明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章 〈設備設計者〉 一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	E	電気設備工事 非常用照明・誘導灯設備	最終版 2025.02.28
	31	2階平面図　A1 1:100　A3 1:200	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

20230220

凡例

記号	名称	備考	記号	名称	備考
	電灯動力盤		S2	壁直付型　避難口誘導灯　B級H型　片面	電源内蔵型
	電灯分電盤		S2FV	壁直付型　避難口誘導灯　B級H型　片面	電源内蔵型
YU	誘導灯信号装置		S2FV	壁直付型　避難口誘導灯　B級H型　両面	電源内蔵型
EAMP	非常業務兼用放送アンプ		S2G	壁直付型　避難口誘導灯　B級H型　ガード付	電源内蔵型
	自火報受信機		S6	天井埋込型　通路誘導灯　B級H型　両面	電源内蔵型
●	LED非常照明器具　天井埋込型　LED-1.0W	電源内蔵型		防火区画貫通処理	
$●_{YSc}$	LED非常照明器具　天井埋込型　LED-1.3W	電源内蔵型	○	露出ボックス	丸型
$●_{YSh1}$	LED非常照明器具　天井直付型　LED-1.3W	電源内蔵型	⊠	プルボックス	
$●_{YSt1}$	LED非常照明器具　天井埋込型　LED-1.3W	電源内蔵型	$⊠_{WP}$	プルボックス　防水型(SUS製)	指定色焼付塗装
$●_{YSh2}$	LED非常照明器具　天井埋込型　LED-1.3W	電源内蔵型	——	天井隠ぺい配線	
			―・―	天井転がし配線	
	階段通路誘導灯		― ― ―	床隠ぺい配線	
S	音声付点滅型誘導灯停止用煙感知器		------	露出配管	
				配管配線　立上り　立下げ	

注記

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。
   （1）非常用照明回路
   - ―・― EM-EEF2.0-2C　(PF22)
   - ------ EM-EEF2.0-2C　(E25) 露出配管
   - ――+― EM-EEF2.0-3C（内1CE）(PF22)
   - ―・+― EM-EEF2.0-3C（内1CE）(PF22)

   （2）誘導灯回路
   - ―・― EM-EEF2.0-2C　(PF22)
   - ――+― EM-EEF2.0-3C（内1CE）(PF22)
   - ――〜― EM-HP1.2-2C　(PF16)（停止信号発報用）
   - ―・〜― EM-HP1.2-4C　(PF22)
   - ―〜〜― EM-EEF2.0-2C+EM-HP1.2-3P　(PF22)

   二重天井内はケーブル転がし配線とする。
   但し、壁立下げ等は配管にてケーブル保護とする。
2. 二重天井内はケーブル工事とし、立上げ引下げ部分は電線管にて保護すること。
3. 直天井は電灯設備図参照
4. 各誘導灯の矢印は避難方向を示す。
5. ゾーニング区分図施工要領に応じた仕様とすること。（E07図）
6. 2階フロアにおいて、防音壁を貫通する箇所については、防音性能に配慮した貫通処理を施すこと。

おはなしの部屋	
YSb	x 1

階段	
BKc60eSF	x 3

図書コーナー前室	
YSb	x 3
S2FV	x 1

MWC	
YSb	x 1

多機能WC	
YSb	x 1

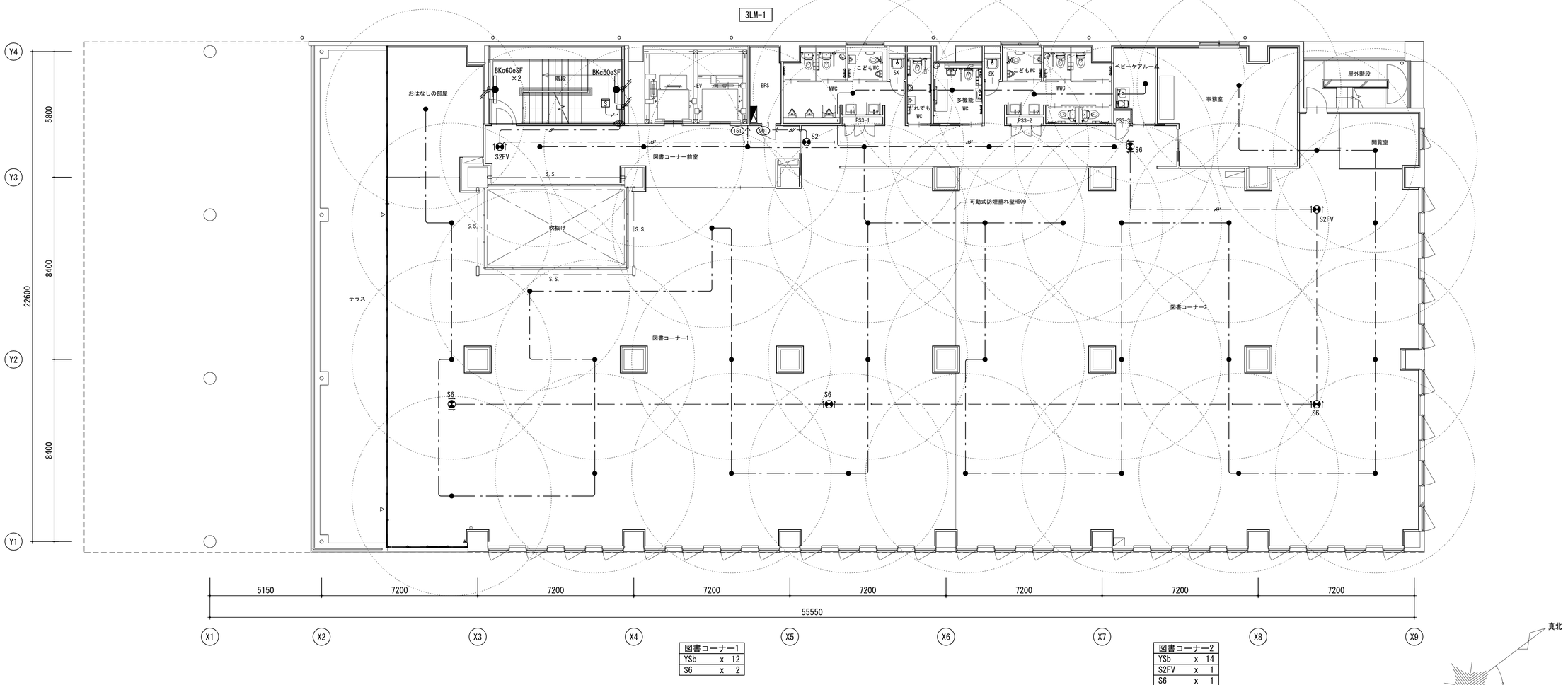
WWC	
YSb	x 1

ベビーケアルーム	
YSb	x 1

事務室	
YSb	x 1

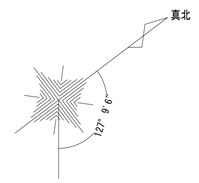
閲覧室	
YSb	x 1

通路	
YSb	x 3
S2	x 1
S6	x 1



図書コーナー1	
YSb	x 12
S6	x 2

図書コーナー2	
YSb	x 14
S2FV	x 1
S6	x 1



明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章 〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	E	電気設備工事 非常用照明・誘導灯設備	最終版　2025. 02. 28
	32	3階平面図　A1 1:100　A3 1:200	見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

20230220

凡例

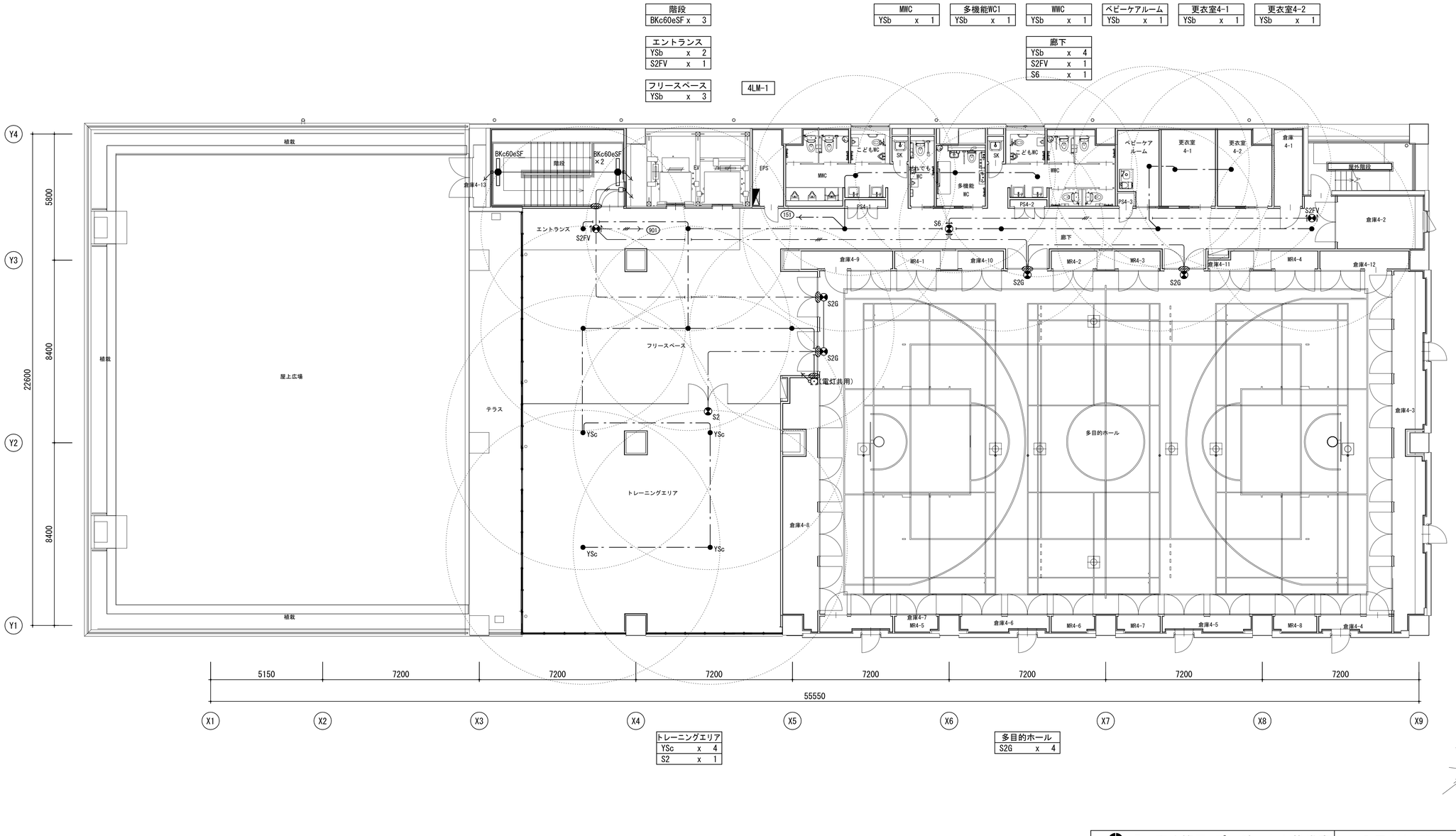
記号	名称	備考	記号	名称	備考
	電灯動力盤		S2	壁直付型　避難口誘導灯　B級H型　片面	電源内蔵型
	電灯分電盤		S2FV	壁直付型　避難口誘導灯　B級H型　片面	電源内蔵型
YU	誘導灯信号装置		S2FV	壁直付型　避難口誘導灯　B級H型　両面	電源内蔵型
EAMP	非常業務兼用放送アンプ		S2G	壁直付型　避難口誘導灯　B級H型　ガード付	電源内蔵型
	自火報受信機		S6	天井埋込型　通路誘導灯　B級H型　両面	電源内蔵型
●	LED非常照明器具　天井埋込型　LED-1.0W	電源内蔵型		防火区画貫通処理	
●YSc	LED非常照明器具　天井埋込型　LED-1.3W	電源内蔵型	○	露出ボックス	丸型
●YSh1	LED非常照明器具　天井直付型　LED-1.3W	電源内蔵型	⊠	プルボックス	
●YSh1	LED非常照明器具　天井埋込型　LED-1.3W	電源内蔵型	⊠WP	プルボックス　防水型(SUS製)	指定色焼付塗装
●YSh2	LED非常照明器具　天井埋込型　LED-1.3W	電源内蔵型	———	天井隠ぺい配線	
			ー・ー	天井転がし配線	
	階段通路誘導灯		ー ー ー	床隠ぺい配線	
S	音声付点滅型誘導灯停止用煙感知器		------	露出配管	
				配管配線　立上り　立下げ	

注記

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。
   （1）非常用照明回路
   - ー・ー EM-EEF2.0-2C　(PF22)
   - ------ EM-EEF2.0-2C　(E25) 露出配管
   - ——+— EM-EEF2.0-3C（内ICE）(PF22)
   - ー・+— EM-EEF2.0-3C（内ICE）(PF22)

   （2）誘導灯回路
   - ー・ー EM-EEF2.0-2C　(PF22)
   - ——+— EM-EEF2.0-3C（内ICE）(PF22)
   - ——〜— EM-HP1.2-2C　(PF16)（停止信号発報用）
   - ー・〜— EM-HP1.2-4C　(PF22)
   - ー 〜〜 EM-EEF2.0-2C+EM-HP1.2-3P　(PF22)

   二重天井内はケーブル転がし配線とする。
   但し、壁立下げ等は配管にてケーブル保護とする。
2. 二重天井内はケーブル工事とし、立上げ引下げ部分は電線管にて保護すること。
3. 直天井は電灯設備図参照
4. 各誘導灯の矢印は避難方向を示す。
5. ゾーニング区分図施工要領に応じた仕様とすること。（E07図）
6. 2階フロアにおいて、防音壁を貫通する箇所については、防音性能に配慮した貫通処理を施すこと。



明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto　建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	E	電気設備工事 非常用照明・誘導灯設備 4階平面図　A1 1:100　A3 1:200	最終版　2025.02.28
〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	33		見積版　2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

20230220

凡例

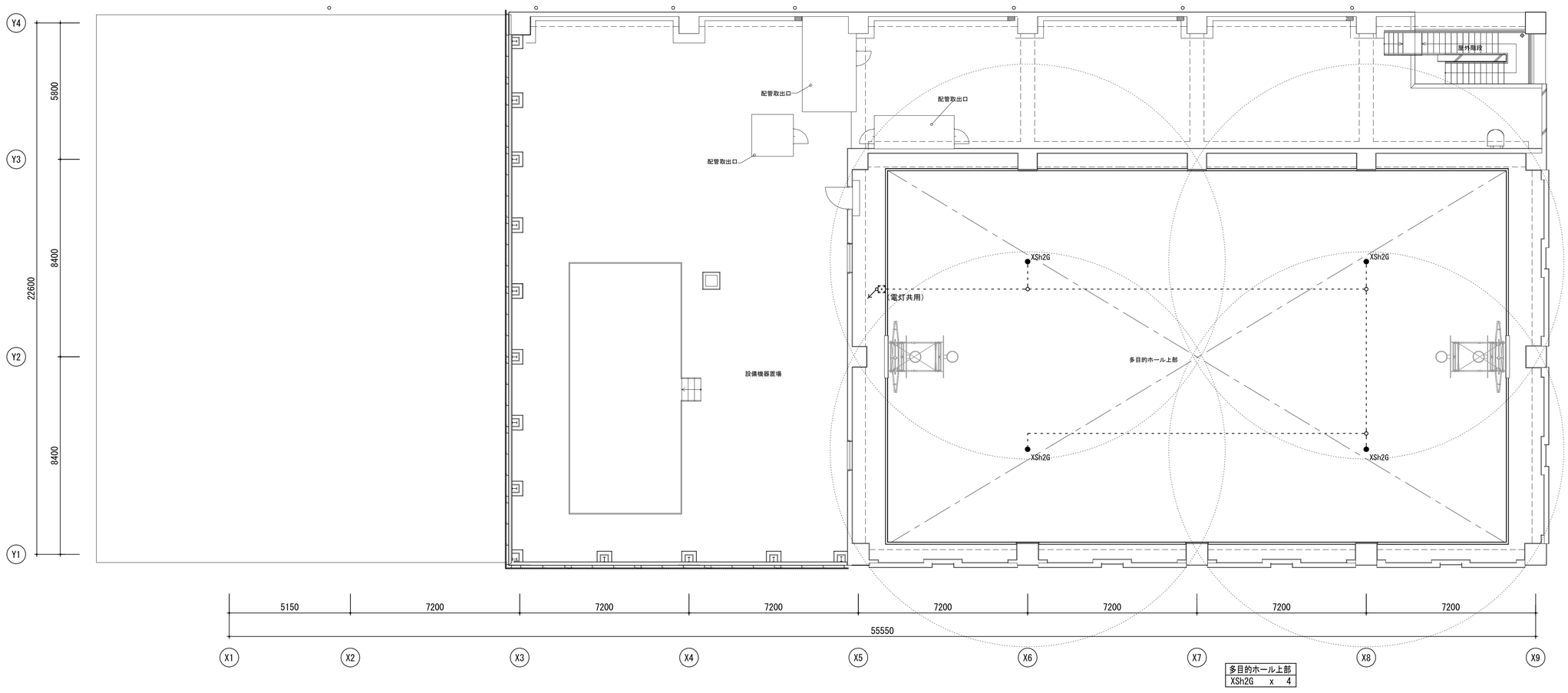
記号	名称	備考	記号	名称	備考
	電灯動力盤		S_{2}	壁直付型　避難口誘導灯　B級H型　片面	電源内蔵型
	電灯分電盤		S_{2FV}	壁直付型　避難口誘導灯　B級H型　片面	電源内蔵型
YU	誘導灯信号装置		S_{2FV}	壁直付型　避難口誘導灯　B級H型　両面	電源内蔵型
EAMP	非常業務兼用放送アンプ		S_{2G}	壁直付型　避難口誘導灯　B級H型　ガード付	電源内蔵型
	自火報受信機		S_{6}	天井埋込型　通路誘導灯　B級H型　両面	電源内蔵型
●	LED非常照明器具　天井埋込型　LED-1.0W	電源内蔵型		防火区画貫通処理	
$●_{YSc}$	LED非常照明器具　天井埋込型　LED-1.3W	電源内蔵型	○	露出ボックス	丸型
$●_{YSh1}$	LED非常照明器具　天井直付型　LED-1.3W	電源内蔵型	⊠	プルボックス	
$●_{YSh1}$	LED非常照明器具　天井埋込型　LED-1.3W	電源内蔵型	$⊠_{WP}$	プルボックス　防水型(SUS製)	指定色焼付塗装
$●_{XSh2}$	LED非常照明器具　天井埋込型　LED-1.3W	電源内蔵型	———	天井隠ぺい配線	
			― ・―	天井転がし配線	
	階段通路誘導灯		― ― ―	床隠ぺい配線	
S	音声付点滅型誘導灯停止用煙感知器		------	露出配管	
				配管配線　立上り　立下げ	

注記

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。
   （1）非常用照明回路
   - ― ・― EM-EEF2.0-2C　(PF22)
   - ------ EM-EEF2.0-2C　(E25) 露出配管
   - ――+― EM-EEF2.0-3C（内1CE）(PF22)
   - ― ・+― EM-EEF2.0-3C（内1CE）(PF22)

   （2）誘導灯回路
   - ― ・― EM-EEF2.0-2C　(PF22)
   - ――+― EM-EEF2.0-3C（内1CE）(PF22)
   - ――〜― EM-HP1.2-2C　(PF16)（停止信号発報用）
   - ― ・〜― EM-HP1.2-4C　(PF22)
   - ― 〜〜― EM-EEF2.0-2C+EM-HP1.2-3P　(PF22)

   二重天井内はケーブル転がし配線とする。
   但し、壁立下げ等は配管にてケーブル保護とする。
2. 二重天井内はケーブル工事とし、立上げ引下げ部分は電線管にて保護すること。
3. 直天井は電灯設備図参照
4. 各誘導灯の矢印は避難方向を示す。
5. ゾーニング区分図施工要領に応じた仕様とすること。（E07図）
6. 2階フロアにおいて、防音壁を貫通する箇所については、防音性能に配慮した貫通処理を施すこと。



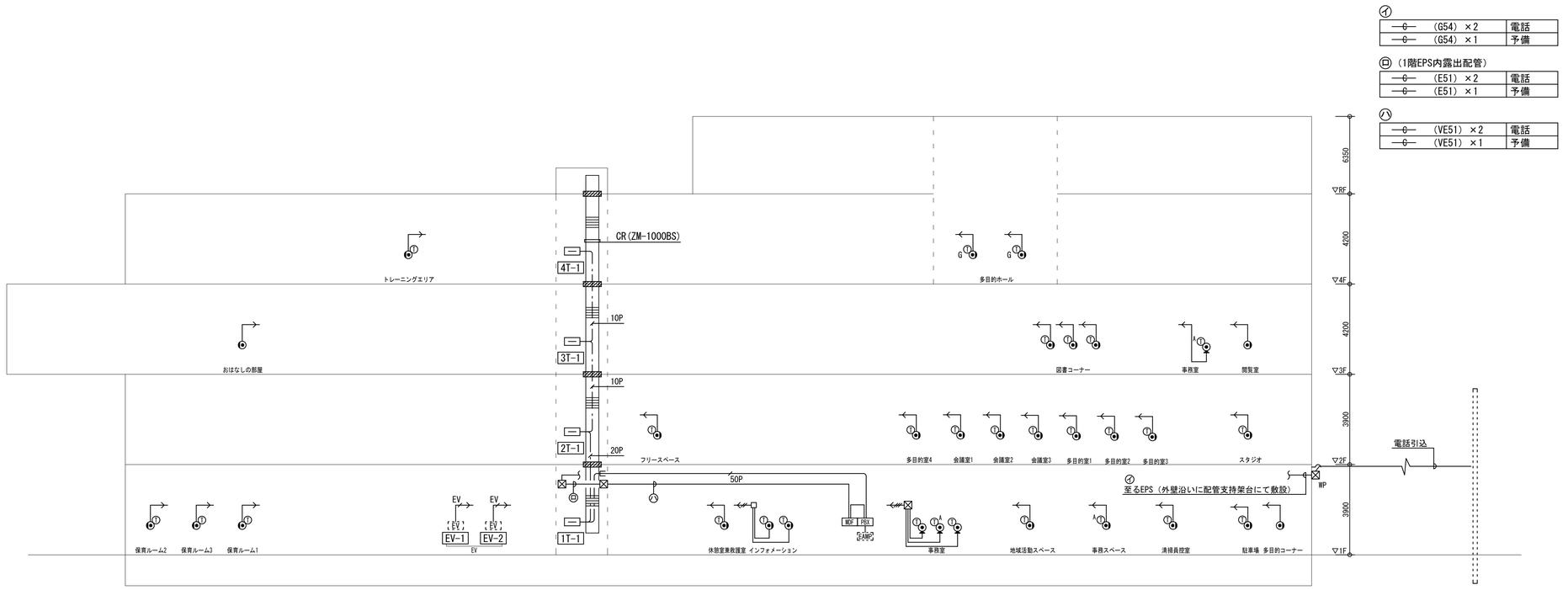
多目的ホール上部		
XSh2G	x	4

明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto　建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	E	電気設備工事	最終版　2025.02.28
〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	34	非常用照明・誘導灯設備 R階平面図　A1 1:100　A3 1:200	見積版　2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

20230220

1　構内交換設備系統図



凡例

記号	名　　称	備　　考
⊟	端子盤	
EV	エレベータ制御盤	エレベータ工事
MDF	本配線盤	
PBX	デジタル電話交換機	
EAMP	非常業務兼用放送アンプ	
◉	電話用受口 壁面取付	6極4芯モジュラジャック
◉	電話用受口 床面取付(受口収納型)	6極4芯モジュラジャック
Ⓣ	一般電話機	
$Ⓣ_G$	一般電話機	防球ガード付
$Ⓣ_A$	多機能電話機	
═══	ケーブルラック	弱電共用
▨	防火区画貫通処理	国土交通大臣認定

注記

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。
   - EM-ICTO.65-2P　(PF16)
   - EM-ICTO.65-2P×2　(PF22)
   - EM-ICTO.65-2P×3　(PF22)
   - EV　PVC0.9-2C　(PF22)
   - 10P　EM-TKEE0.5-10P　(PF22)
   - 20P　EM-TKEE0.5-20P　(PF28)
   - 50P　EM-TKEE0.5-50P　(E39)

   ※　二重天井およびケーブルラック内は、ころがし配線とする。
   ※　立上がり部分は、適切な保護管にて保護すること。
2. 図中 ▨ は防火区画貫通処理（国土交通大臣認定）を示す。
3. 各端子盤にはE（E5.5°各端子盤間渡り配線）接地を施すこと。
4. プルボックスのサイズは平面図を参照のこと。

2　テレビ共同受信設備、時刻表示設備系統図

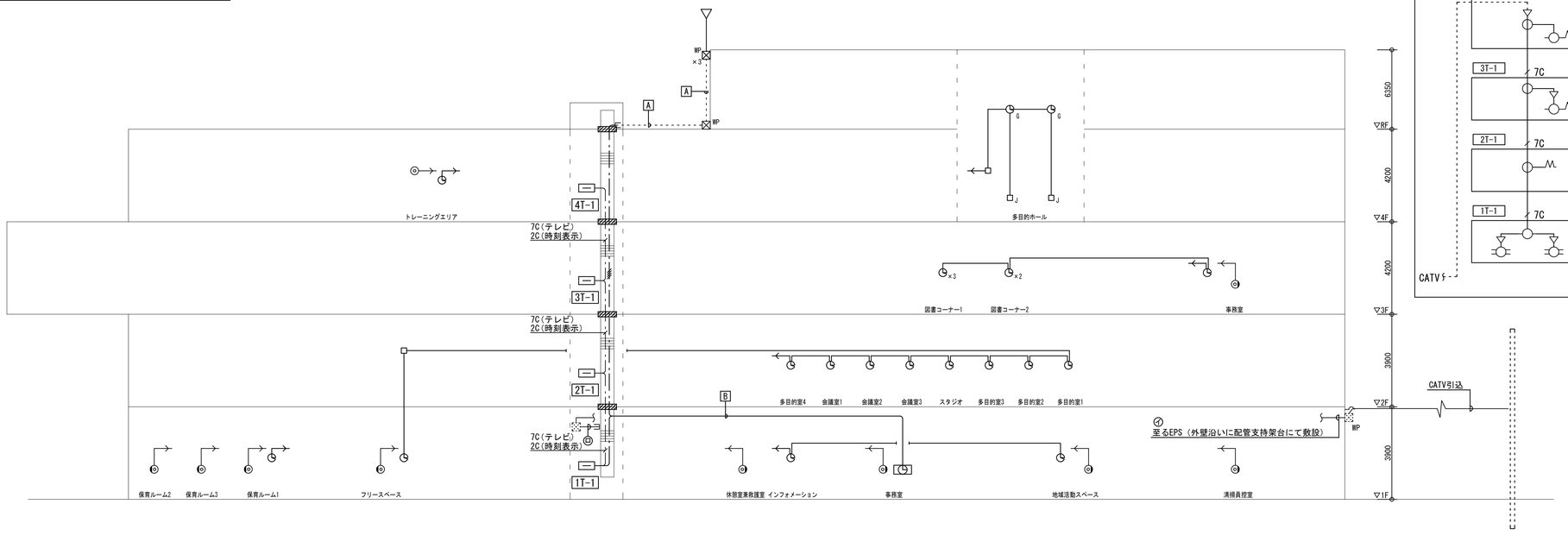
A	EM-S-MEES 0.3×4C (22)	時刻表示

B	EM-S-MEES 0.3×4C EM-AE1.2-2C	時刻表示

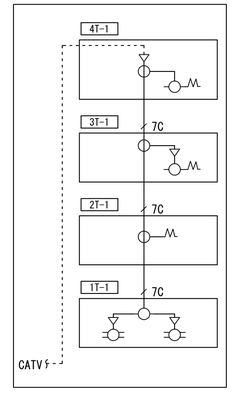
(G54) ×1　CATV

(1階EPS内露出配管)

(E51) ×1　CATV



テレビ共聴設備 結線図



凡例

記号	名　　称	備　　考
⊟	端子盤	
EV	エレベータ制御盤	エレベータ工事
(テレビ共同受信設備)		
◎	端末ユニット1端子	SH-7FS　相当品
◎	端末ユニット1端子（天井付）	SH-7FS　相当品
▽	増幅器	SH・UF-1相当品
⊸	2分配器	SH-D2　相当品
⊸	4分配器	SH-D4　相当品
⊸	1分岐器	SH-C1　相当品
⋀⋀	ダミー抵抗	
(時刻表示設備)		
◷	1回線パネル型水晶式親時計	
▽	ＧＰＳアンテナ	
◷	φ310壁掛子時計	
$◷_G$	φ700壁掛型子時計	
$□_J$	ジャックプレート	
═══	ケーブルラック	弱電共用
▨	防火区画貫通処理	国土交通大臣認定

注記

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。
   (1) テレビ共同受信設備
   - EM-S-5C-FB　(PF16)
   - 7C　EM-S-7C-FB　(PF22)

   (2) 時刻表示設備
   - EM-AE1.2-2C　(PF16)
   - 2C　EM-AE1.2-2C　(CR内転がし)
   - EM-S-MEES 0.3×4C(PF22)

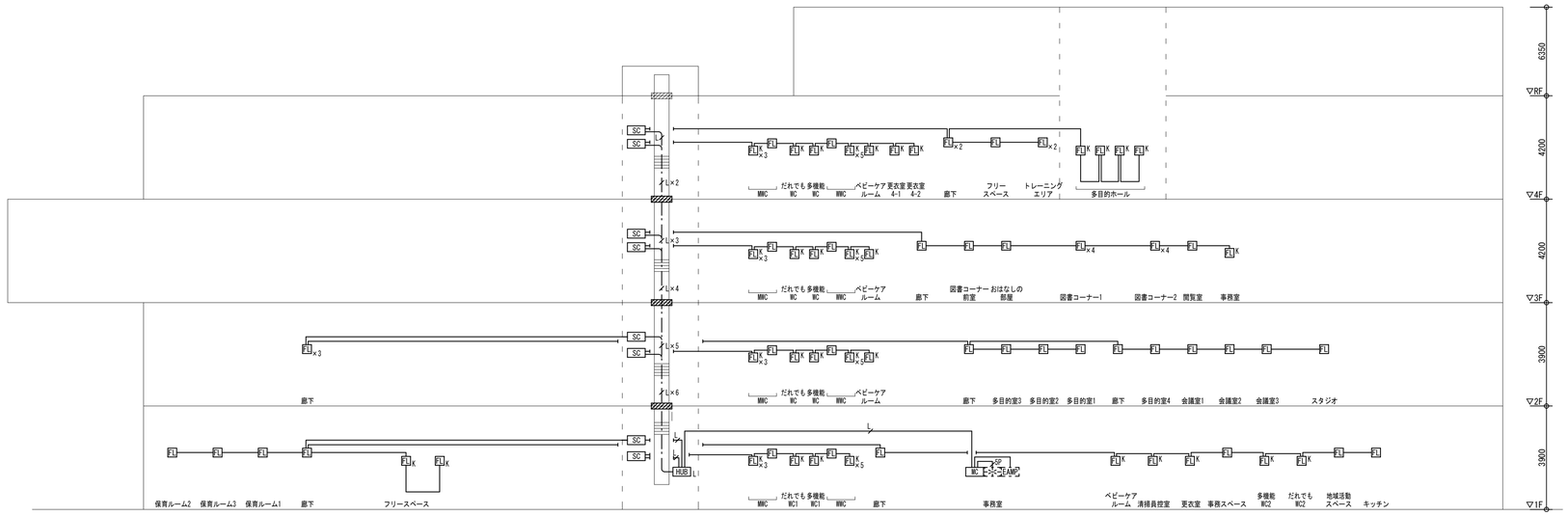
   ※　二重天井およびケーブルラック内は、ころがし配線とする。
   ※　立上がり部分は、適切な保護管にて保護すること。

明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章 〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築士　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	E	電気設備工事 弱電設備（構内交換、テレビ共同受信） 系統図　N.S	最終版　2025.02.28
	35		見積版　2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

20230220

3　光警報設備系統図

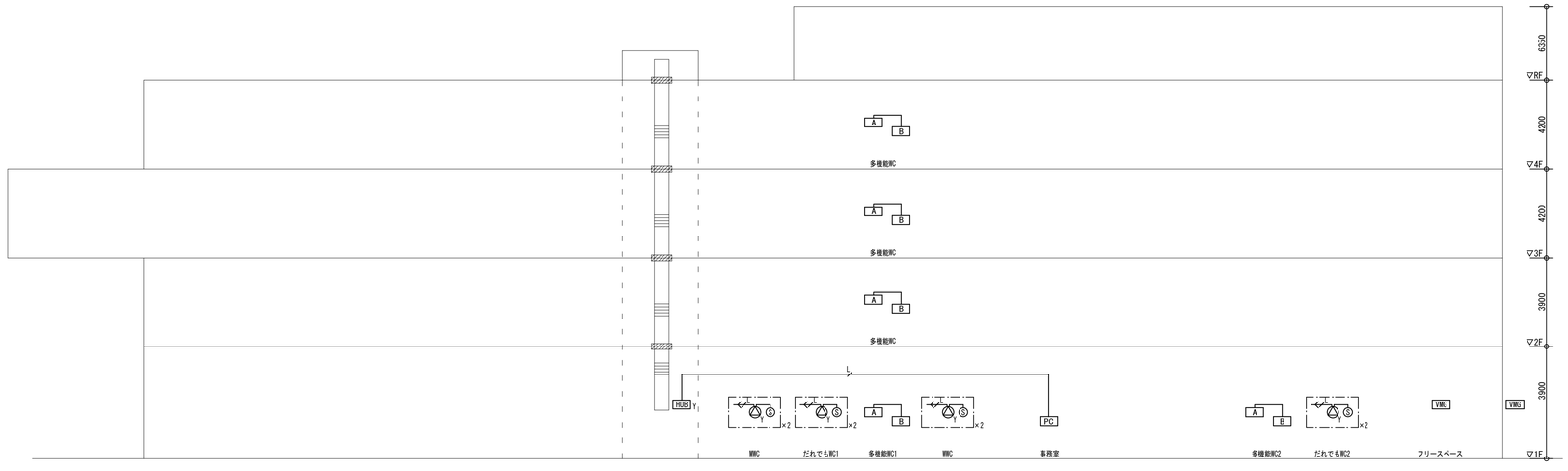


凡例

記号	名　　称	備　　考
F1	フラッシュ（天井付）	
F1K	フラッシュ（壁付）	
MC	メインコントローラー	
SC	サブコントローラー	
HUB L	スイッチングHUB(16ポート)	
非常用	非常業務兼用放送アンプ	
	自火報受信機	
	ケーブルラック	弱電共用
	防火区画貫通処理	国土交通大臣認定

注記
1. 図中、特記なき配管配線は下記による。
　EM-HP1.2-2C（PF16）
　5P　EM-HP1.2-5P　（PF22）
　EM-UTP0.5-4P（Cat6e）　（PF22）
　×n　EM-UTP0.5-4P（Cat6e）×n（CR内転がし）
※　二重天井およびケーブルラック内は、ころがし配線とする。
※　立上がり部分は、適切な保護管にて保護すること。

4　誘導支援設備　（トイレ音声案内設備・トイレ音声誘導設備・音声案内設備）系統図



凡例

記号	名　　称	備　　考
（トイレ音声案内設備）		
A	トイレ音声案内装置　ユニットA	天井埋込型
B	トイレ音声案内装置　ユニットB	壁埋込型
（トイレ音声誘導設備）		
PC	制御用PC	
HUB Y	ＰｏＥ＋Ｇスイッチ２０ポート	
S	パッシブセンサー	
Y	ＩＰ天井埋込型スピーカー	
（音声案内設備）		
VMG	音声案内装置	
	ケーブルラック	弱電共用
	防火区画貫通処理	国土交通大臣認定

注記
1. 図中、特記なき配管配線は下記による。
(1) トイレ音声案内設備
　EM-FCPEE0.9-3P（PF22）
(2) トイレ音声誘導設備
　EM-AE 1.2-2C　（PF16）
　EM-UTP0.5-4P（Cat6e）　（PF22）
※　二重天井およびケーブルラック内は、ころがし配線とする。
※　立上がり部分は、適切な保護管にて保護すること。

3　端子盤リスト

盤名称	構内交換	構内情報	テレビ	光警報	トイレ音声誘導	時刻表示	非常呼出	ｲﾝﾀｰﾎﾝ	非常放送	監視カメラ	入退室管理	自火報	予備	備考
1T-1	50P	－	結線図参照	HUB×1 SC×2	HUB×1	5P	30P	40P	35P	－	30P	－	10P	
2T-1	20P	－	結線図参照	SC×2	－	5P	15P	－	25P	HUB×1	5P	60P	10P	
3T-1	10P	－	結線図参照	SC×2	－	5P	10P	20P	20P	HUB×1	10P	55P	10P	
4T-1	10P	－	結線図参照	SC×2	－	5P	10P	－	10P	HUB×1	30P	15P	10P	
MDF	20P													

注記
1. ブースターを2個以上収納する端子盤には換気口を設けること。
2. セパ付とする。
3. 用途表示プレートを取付のこと。
4. 各端子盤に抜止コンセント×2を設けること。

明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto　建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	E	電気設備工事 弱電設備（光警報、誘導支援） 系統図　N.S	最終版　2025.02.28
〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	36		見積版　2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

20230220

1 構内交換設備

(1) 機器仕様

1. 機器構成
   1) デジタル電話交換　　一式
   2) デジタル多機能電話機　　一式
   3) 一般電話機　　一式
   4) 保守コンソール　　一式

2. 機器仕様

2-1. デジタル電話交換機

(1) 交換方式

項　目	方　式
制御方式	蓄積プログラム方式
通話路方式	時分割PCM方式（T1段）
線路条件	標準電話機　　600Ω以下（電話機抵抗含む） デジタル多機能　100Ωかつ500m以下
応答方式	ダイレクトライン（アナログ/BRI）、ダイレクトインライン、 フローティングライン、ダイヤルイン、付加番号ダイヤルイン、発番号ダイヤルイン
装置構成	32ビット
冷却方式	自然冷却
入力電源	AC100V

(2) 収容回線数

回線種別		実装	容量	備考
外線	アナログ	4回線	8回線	
内線	多機能電話機	8回線	12回線	
	一般電話	28回線	40回線	
専用線	FAX	1回線	1回線	
その他	ページングトランク	1回線	1回線	

(3) サービス機能

・固定短縮ダイヤル	・可変不在転送	・ダイヤルイン	・可変短縮ダイヤル
・コールホールド	・ダイレクトインライン	・MFT漢字表示	・グループ保留
・内線代表	・ピックアップ	・ラインロックアウト	・特定地域市外制御
・コールバックトランスファー	・局線特番規制	・サービスクラス内線毎設定	・プリセレクション
・3分予報音	・ページング(全館一斉)		

(4) 電源装置

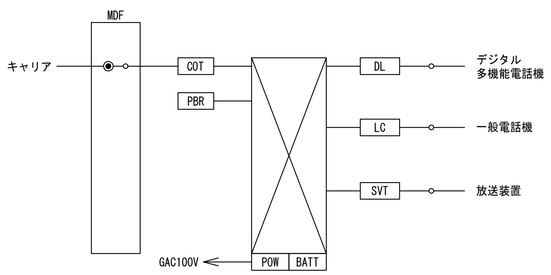
電圧　　GAC100V
停電補償時間　　3時間以上

2-2. 電話機

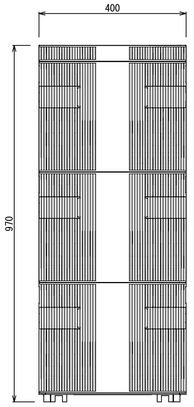
・デジタル多機能電話機
固定機能ボタン　　：8個
フリーアサインボタン　：36個
表示文字　　：漢字
電子電話帳　　：1000件

・一般電話
機能　　：DP/PB切替
スピーカボタン、再呼ボタン、転送ボタン、保留ボタン、機能ボタン（4個）

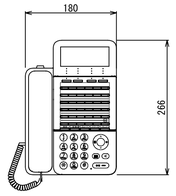
4. 中継方式図



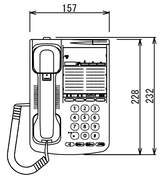
PBX デジタル電話交換機　1台



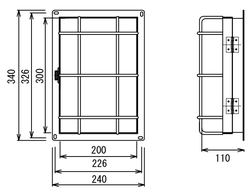
ⓉA デジタル多機能電話機　3台



Ⓣ 一般電話機　26台



電話機用防球ガード



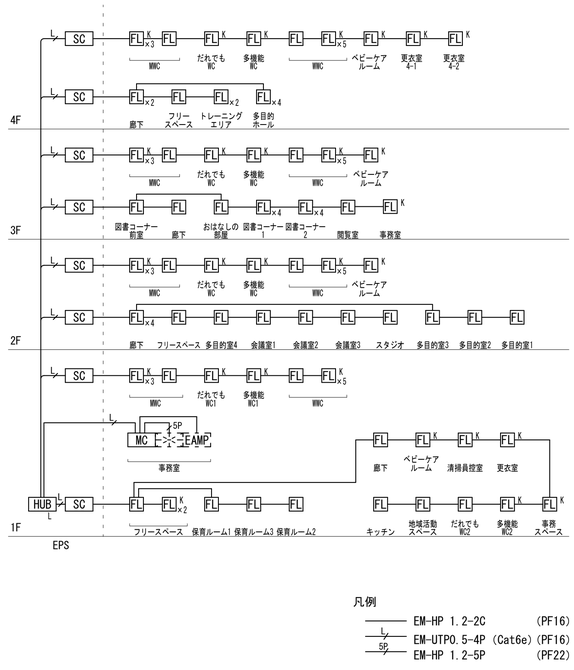
2 光警報設備

(1) システム概要

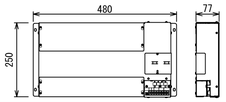
このシステムは、自火報設備・緊急地震速報等の防災設備より発信する警報情報を利用し、
【光】による「緊急情報」を表示する。
有事には、施設内の非常放送設備と同時に、サイレン音の代わりにフラッシュ（白色）または信号灯（白色）が【光】の点滅発光で情報を表示して聴覚に障がいをもった方でも容易に確認ができるものとする。

■入力信号の種類（無電圧Ａ接点）
①火災感知器の発報信号（フロア毎）
②確定（断定）信号
③非火災信号
④災害情報信号（Ｊアラート等）

(2) システム系統図

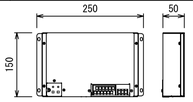


MC メインコントローラ



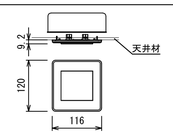
電源	ＧＡＣ１００Ｖ
制御内容	火報信号（発報・確定）等の入力を受信し、
	サブコントローラに制御信号の送出を行う
接点入力	３２点
外部Ｉ／Ｆ	ＥｔｈｅｒＮｅｔ（１００／１０００Ｍｂｐｓ）１ポート
最大接続数	サブコントローラ３２台まで（※要スイッチングＨＵＢ）
内蔵ＵＰＳ	停電時２分間動作後に自動シャットダウン
取付方法	壁面取付、収納盤取付

SC サブコントローラ



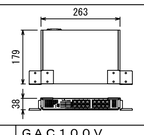
電源	ＧＡＣ１００Ｖ
制御内容	メインコントローラより信号を受信し、
	フラッシュ、信号灯に制御信号の送出を行う
外部Ｉ／Ｆ	ＥｔｈｅｒＮｅｔ（１０／１００Ｍｂｐｓ）１ポート
接点出力	４点（フラッシュ×１，回転灯×３）
最大接続数	フラッシュ×１６台、または信号灯×１６台
取付方法	壁面取付、収納盤取付
本体材質	黒色電気亜鉛めっき鋼板製

FL フラッシュ



電源	ＤＣ２４Ｖ
フラッシュ色	白色
フラッシュ輝度	５０ｃｄ以上
フラッシュ回数	約６０回／分
接点入力／出力	各１点
取付方法	天井面、壁面取付

HUB L スイッチングＨＵＢ（１６ポート）

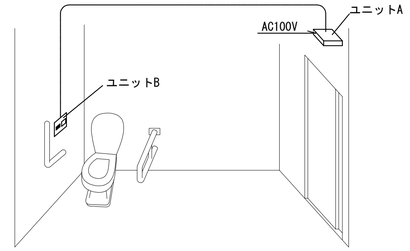


電源	ＧＡＣ１００Ｖ
準拠規格	ＩＥＥＥ８０２．３（１０ＢＡＳＥ－Ｔ）
	ＩＥＥＥ８０２．３ｕ（１００ＢＡＳＥ－Ｔ）
	ＩＥＥＥ８０２．３ａｂ（１０００ＢＡＳＥ－Ｔ）
通信速度	１０Ｍｂｐｓ／１００Ｍｂｐｓ／１０００Ｍｂｐｓ
ポート	１６ポート（ＲＪ－４５コネクタ）
取付方法	端子盤内組込

3 トイレ音声案内設備

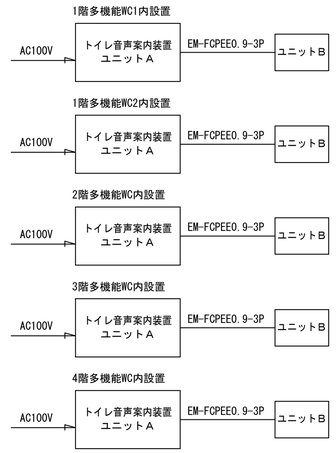
(1) システム概要

このシステムは、トイレ内の便座等の位置及び水洗方法やペーパーホルダーの位置、その他設備等の位置をセンサにより音声案内を行うものとする。
入口を入った上部にユニットＡを設置し、便座の横壁にユニットＢを設置する。
システムの利用方法は、入口を入るとユニットＡより鍵の閉め方、便座位置の音声案内を行う。
その後にユニットＢから注意喚起音が鳴動し位置案内を行う。
利用者が着座後に便座横のユニットＢに手をかざすとトイレ内の詳しい音声案内を行う。
音声案内終了後、ユニットＡから出口の位置案内、鍵の開け方の音声案内を行う。
また、音量をリモコンで調整可能なものとする。
※音声メッセージの内容は任意の内容で個々に登録を可能とする。

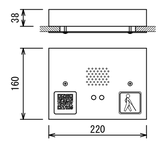


(2) システム系統図

※音量調整用リモコン１台付属

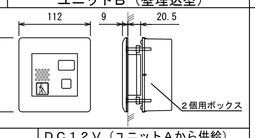


A トイレ音声案内装置　ユニットＡ（天井埋込型）



電源	ＡＣ１００Ｖ
消費電力	５Ｗ以下
案内方式	センサ式音声
センサ検知距離（範囲）	最大有効検知距離５ｍ（水平検知範囲３８°垂直検知範囲２２°）
音声再生形式	ＭＰ３
音声出力	３Ｗ（８Ω）
案内秒数	最大８分（４音声の合計）
音量コントロール	音量調整用リモコン対応（赤外線式）
パネル・取付金物材質	パネル：アルミ製　本体：ステンレス製
設置位置	多機能トイレ入口直上付近

B トイレ音声案内装置　ユニットＢ（壁埋込型）



電源	ＤＣ１２Ｖ（ユニットＡから供給）
案内方式	光電式音声
センサ検知距離	５ｃｍ以内
音声出力	３Ｗ（８Ω）
本体・パネル材質	ユニットパネル：アルミ　本体部：メッキ鋼板
設置方法	２個用スイッチボックス適用
設置位置	便器の端壁、床から800~1,000mm程度（JIS S 0026準拠）

注記）1. 機械耐震固定（モニター類含む）を行うこと。
2. 姿図及び寸法は参考とする。
3. 主装置は防雷対策を施すこと。
4. 電話器には、受話器落下防止ワイヤーを見込むこと。

明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	E 電気設備工事
〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築 国土交通大臣登録 第2339号 小林 陽一	37 弱電設備（1） N.S
	機器姿図（1）
	安井建築設計事務所

最終版	2025.02.28
見積版	2024.12.16
最終契約版	

（2023年版）

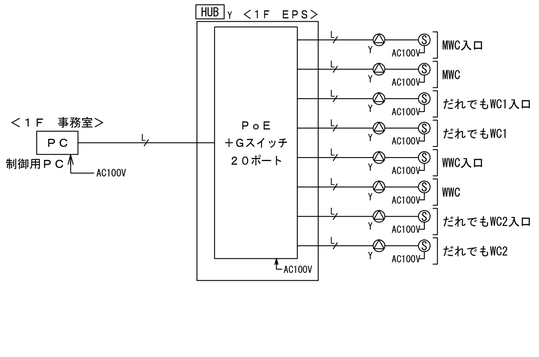
20230220

4 トイレ音声誘導設備

(1) システム概要

視覚障がい者等への施設案内及び誘導を目的とし、音声案内設備を設置する。
音声案内設備はIP仕様とし、１階事務室制御PCより利用に合わせたON/OFF制御を可能とする。
※音声メッセージの内容は任意の内容で個々に登録を可能とする。

(2) システム系統図

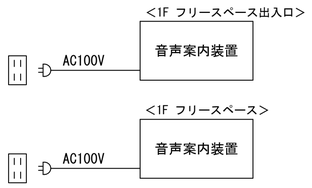


5 音声案内設備

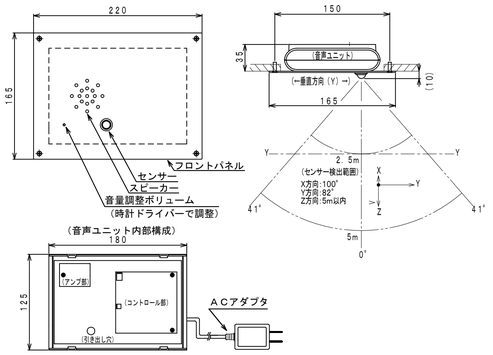
(1) システム概要

このシステムは、主に視覚障がい者のための目標物確認システムであり、
利用者がセンサの検知エリアに入ると目標物の位置や必要情報を音声で案内できるシステムとする。
内蔵されている２４時間タイマにより作動時間の設定を可能とする。
このシステムの特長は、特定の端末を持たない方でも利用でき、具体的な音声案内で目標物の確認を可能とする。

(2) システム系統図



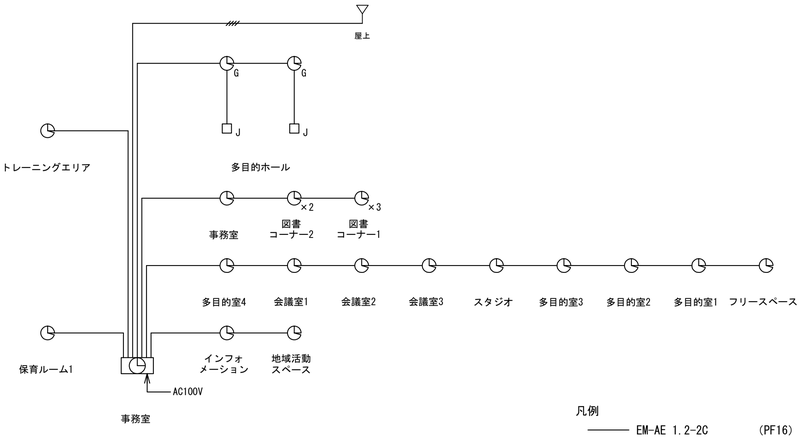
VMG 音声案内装置



電源電圧	AC100V	スピーカー出力	1.5W(スピーカー内蔵)				
音声録音再生方式	ADPCM方式	外部引き出し線	ACアダプタコード 1.2m				
出力内容	音声メッセージ(標準30秒以内 オプション60秒以内)	仕上げ	音声ユニット:ABS樹脂製 ライトグレー				
センサー機能	焦電型赤外線センサー		フロントパネル:ステンレス製 ヘアーライン仕上				
	検出距離:5m以内						
	検出範囲:水平100° 垂直82°						
再生方法	人物を検知すると、音声メッセージを発音						

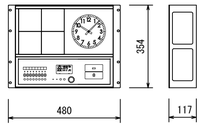
6 時刻表示設備

(1) システム系統図



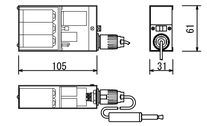
1回線パネル型水晶式親時計

総合盤に組込



親時計		プログラムタイマー装置	
精度	週差±0.7秒以内	設定方式	キー及びジョグダイヤルにより設定
	長波／GPSアンテナ接続時は積算誤差0秒		パソコン及びUSBメモリーによる設定も可能
精度保証温度範囲	0℃～+40℃	設定単位	1週間または1年間を1分単位
子時計回線出力信号	DC24V 30秒有極信号	出力回路	8回路 900プログラム
子時計出力回線数	1回線	タイムサーバー	(長波／GPSアンテナ接続時に動作)
子時計駆動数	1回線当り最大30個 (1個12mA)	ネットワークプロトコル	NTPv3/v4 SNTPv3/v4
サマータイム機能	キー及びジョグダイヤルにより設定	電波修正装置	
	ただしサマータイムの修正は自動	GPSアンテナを接続することで時刻修正が可能	
うるう秒調整	キー及びジョグダイヤルにより設定		
	ただしうるう秒調整は自動		
入力電源	AC100V～240V 25W (最大)		
停電時電源	密閉型ニッケル水素蓄電池 (DC24V) 内装		
停電時動作時間	子時計 約30時間 時刻カウント 約5年		
	タイマーメモリ部 約10年		
ケース	ABS樹脂及び鋼板製		

単独修正器



電源電圧	006P（乾電池）×3個直列27V
	（最低18V）
連続使用可能時間	約3時間（但し2000Ω負荷にて）
出力パルス巾	1.5秒（但し20℃にて）
	パルス数24（2.5″）～46（1.3″）
塗装	黒色縮み仕上

PC 制御用ＰＣ



ディスプレイ	解像度１９２０×１０８０以上
ＯＳ	Ｗｉｎｄｏｗｓ １０ Ｐｒｏ（６４ｂｉｔ版）
	Ｗｉｎｄｏｗｓ １０ Ｈｏｍｅ（６４ｂｉｔ版）
	Ｗｉｎｄｏｗｓ １１ Ｐｒｏ
	Ｗｉｎｄｏｗｓ １１ Ｈｏｍｅ
対応Ｗｅｂブラウザー	Ｇｏｏｇｌｅ Ｃｈｒｏｍｅ
	Ｍｉｃｒｏｓｏｆｔ Ｅｄｇｅ
その他	Ｏｆｆｉｃｅインストール

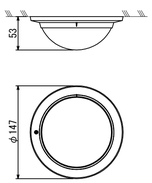
HUB γ ＰｏＥ＋Ｇスイッチ２０ポート

※端子盤内組込



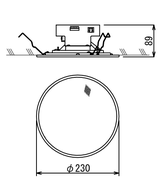
電源	ＡＣ１００Ｖ		
ＵＴＰポート数	１０／１００／１０００ＢＡＳＥ－Ｔ：２０ポート		
拡張モジュールスロット	ＳＦＰ：４（ポート１７～２０と選択）		
給電機能（ＰｏＥ）	１５．４／３０Ｗ（ポート１～１６）最大給電２５０Ｗ		
機能	雷サージ耐性、ＶＬＡＮ、ＱｏＳ、		
	リンクアグリゲーション、ＭＳＴＰ／ＲＳＴＰ／ＳＴＰ		
ﾊﾞｯﾌｧｰ/ｽｲｯﾁﾝｸﾞ容量	２ ＭＢ／４０ Ｇｂｐｓ		

Ⓢ パッシブセンサー



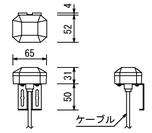
電源	ＤＣ９～１８Ｖ
検出方式	パッシブインフラレッド方式
警戒エリア	面警戒（スポット）、最長部5ｍ ２０本（１０対）
警報出力	接点方式：無電圧リレー接点
	接点動作：ワンショット（２秒）
	接点容量：ＡＣ／ＤＣ３０Ｖ・０．２５Ａ
アラームメモリー機能	発報後3分間点滅、4７分間点灯するオートリセット動作
	（モードセレクターでＯＮ／ＯＦＦ可能）
アラーム表示灯	赤色ＬＥＤ
	ウォームアップ時：点滅、警報時：点灯
	（モードセレクターでＯＮ／ＯＦＦ可能）
メモリー表示灯	黄色ＬＥＤ
	メモリー起動時：点滅、メモリー表示時：点灯
機器異常警報機能	センサー内部の回路・配線の損傷発生を監視
	（異常発生時：アラーム表示灯の点灯＋遠隔警報出力）
その他	ＡＣアダプター付

△γ ＩＰ天井埋込型スピーカー



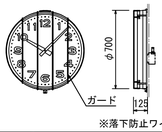
電源	PoE（IEEE802.3af Class3準拠）
定格出力	８ Ｗ
出力音圧レベル	９４ ｄＢ（１Ｗ、１ｍ）
	（５００ Ｈｚ～５ ｋＨｚ、ピンクノイズ時）
周波数特性	６０ Ｈｚ～２０ ｋＨｚ（ピーク －２０ ｄＢ時）
音声符号化方式	ＰＣＭＵ（Ｇ．７１１ｕ）、
	ＰＣＭＡ（Ｇ．７１１ａ）、Ｇ．７２２
放送モード	ＳＩＰ、マルチキャスト、ＶＭＳ、内蔵音源
内蔵音源放送	最大２０メッセージ（最大録音容量：８０ＭＢ）
ネットワークＩ／Ｆ	１００ＢＡＳＥ－ＴＸ、
	ＡｕｔｏＭＤＩ／ＭＤＩ－Ｘ、ＲＪ４５
ﾈｯﾄﾜｰｸﾌﾟﾛﾄｺﾙ	ＴＣＰ／ＩＰ、ＵＤＰ、ＨＴＴＰ、ＲＴＰ、
	ＲＴＳＰ、ＲＴＣＰ、ＡＲＰ、ＩＣＭＰ、
	ＩＧＭＰｖ３、ＮＴＰ、ＳＩＰ（ＲＦＣ３２６１）
制御入出力	入力：２系統、出力：１系統
時刻調整	手動時刻設定、ＮＴＰサーバーによる調時
停電補償時間	２４時間（ＲＴＣ時刻保持、４０ ℃）
仕上	ホワイト

GPSアンテナ



アンテナ部		ケース	鋼板
ケース	ポリカーボネート樹脂製	文字板/文 字	アルミニウム 白色/黒色
受信周波数	1575.42MHz	指 針	アルミニウム 黒色
受信感度	-145dBm（コールドスタート時）	風 防	ポリカーボネート 透明 t５
取付金具	ステンレス	機 体	DC24V 有極30秒運針
		ガード	鋼棒

φ700壁掛子時計



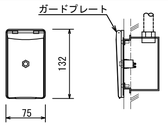
※落下防止ワイヤーを見込む事

φ310壁掛子時計



※落下防止ワイヤーを見込む事

ジャックプレート



ケース	鋼板	プレート	ガードプレート
文字板	アルミニウム 白色	ジャック	1P
文 字	黒色		
指 針	アルミニウム 黒色		
風 防	ガラス 透明 t2		
機 体	DC24V 有極30秒運針		

注記）1. 機械耐震固定（モニター類含む）を行うこと。
2. 姿図及び寸法は参考とする。
3. 主装置は防雷対策を施すこと。

明石市政策局 プロジェクト推進室
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号
森 雅章
〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号
設備設計一級建築 国土交通大臣登録 第2339号
小林 陽一

西明石地域交流センター icotto 建設工事

E	電気設備工事	最終版	2025.02.28
	弱電設備（1） N.S		
38	機器姿図（2）	見積版	2024.12.16
	安井建築設計事務所	最終契約版	

（2023年版）

20230220

凡例

記号	名称	備考
⊖	端子盤	
EV	エレベータ制御盤	エレベータ工事
(構内交換設備)		
MDF	本配線盤	
PBX	デジタル電話交換機	
●	電話用受口 壁面取付	6極4芯モジュラジャック
●	電話用受口 床面取付(受口収納型)	6極4芯モジュラジャック
T	一般電話機	
T_G	一般電話機	防球ガード付
T_A	多機能電話機	
(光警報設備)		
FL	フラッシュ(天井付)	
FL_K	フラッシュ(壁付)	
MC	メインコントローラー	
SC	サブコントローラー	
HUB_L	スイッチングHUB(16ポート)	

記号	名称	備考
(トイレ音声案内設備)		
A	トイレ音声案内装置 ユニットA	天井埋込型
B	トイレ音声案内装置 ユニットB	壁埋込型
(トイレ音声誘導設備)		
PC	制御用PC	
HUB_Y	ＰｏＥ＋Ｇスイッチ２０ポート	
S	パッシブセンサー	
SP_Y	ＩＰ天井埋込型スピーカー	
(音声案内設備)		
VMG	音声案内装置	

記号	名称	備考
(テレビ共同受信設備)		
	端末ユニット1端子	SH-7FS 相当品
	端末ユニット1端子 (天井付)	SH-7FS 相当品
	増幅器	SH・UF-1相当品
	2分配器	SH-D2 相当品
	4分配器	SH-D4 相当品
	1分岐器	SH-C1 相当品
	ダミー抵抗	
(時刻表示設備)		
	1回線パネル型水晶式親時計	
	ＧＰＳアンテナ	
	φ310壁掛子時計	
G_G	φ700壁掛型子時計	
J_J	ジャックプレート	

記号	名称	備考
	防火区画貫通処理	
	ケーブルラック(垂直)	
	露出ボックス	丸型
	プルボックス	
WP	プルボックス 防水型(SUS製、指定色焼付塗装)	
	天井ころがし配線	
	床隠ぺい配線	
	露出配管	
	空配管	
	配管配線 立上り 立下げ	

注記

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。
   (1) 構内交換設備
   - EM-ICTO.65-2P(PF16)
   - EM-ICTO.65-2P(PF16)
   - EM-ICTO.65-2P(E19)露出配管
   - EM-ICTO.65-2P×2(PF22)
   - EM-ICTO.65-2P×3(PF22)
   - PVC0.9-2C(PF22)

   (2) 光警報設備
   - EM-HP1.2-2C (PF16)
   - EM-HP1.2-2C (E19)
   - EM-HP1.2-2C (PF16)

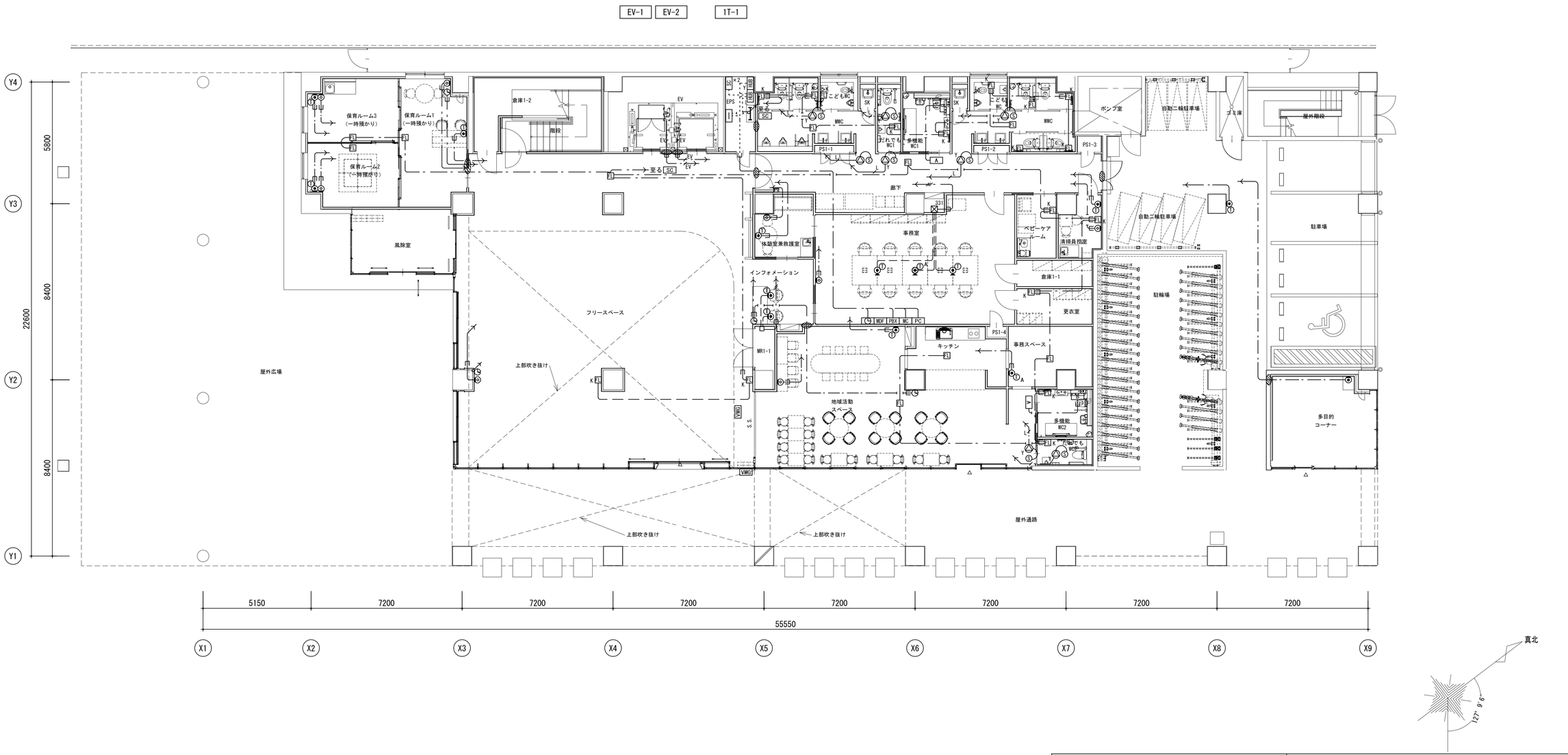
   (3) トイレ音声案内設備
   - EM-FCPEEO.9-3P (PF22)

   (4) トイレ音声誘導設備
   - EM-AE 1.2-2C (PF16)
   - EM-UTP0.5-4P (Cat6e) (PF22)

   (5) テレビ共聴設備
   - EM-S-5C-FB(PF16)
   - EM-S-5C-FB(PF22)
   - EM-S-5C-FB(E19)露出配管

   (6) 時刻表示設備
   - EM-AE0.9-2C (PF16)

   二重天井内はケーブル転がし配線とする。
   但し、壁立下げ等は配管にてケーブル保護とする。
2. ゾーニング区分図に応じた仕様とすること。(E07図)
3. 直天井は電灯設備図参照とする。
4. ケーブルラックは弱電共用とする。
5. 幹線ケーブルについては各設備系統図参照とする。
6. 2階フロアにおいて、防音壁を貫通する箇所については、防音性能に配慮した貫通処理を施すこと。
7. プルボックスサイズは下記とする。
   - 331 : SS300×300×100
   - 331WP : SS200×300×100WP-SUS
   - 441WP : SS400×400×100WP-SUS



明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事			
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	E	電気設備工事 弱電設備 (1)	最終版	2025. 02. 28
〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築 国土交通大臣登録 第2339号 小林 陽一	39	1階平面図 A1 1:100 A3 1:200	見積版	2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版	

20230220

凡例

記号	名称	備考
	端子盤	
EV	エレベータ制御盤	エレベータ工事
(構内交換設備)		
MDF	本配線盤	
PBX	デジタル電話交換機	
	電話用受口 壁面取付	6極4芯モジュラジャック
	電話用受口 床面取付(受口収納型)	6極4芯モジュラジャック
T	一般電話機	
T_G	一般電話機	防球ガード付
T_A	多機能電話機	
(光警報設備)		
FL	フラッシュ(天井付)	
FL_K	フラッシュ(壁付)	
MC	メインコントローラー	
SC	サブコントローラー	
HUB_L	スイッチングHUB(16ポート)	

記号	名称	備考
(トイレ音声案内設備)		
A	トイレ音声案内装置 ユニットA	天井埋込型
B	トイレ音声案内装置 ユニットB	壁埋込型
(トイレ音声誘導設備)		
PC	制御用PC	
HUB_Y	ＰｏＥ＋Ｇスイッチ２０ポート	
S	パッシブセンサー	
SP_Y	ＩＰ天井埋込型スピーカー	
(音声案内設備)		
VMG	音声案内装置	

記号	名称	備考
(テレビ共同受信設備)		
	端末ユニット1端子	SH-7FS 相当品
	端末ユニット1端子 (天井付)	SH-7FS 相当品
	増幅器	SH・UF-1相当品
	2分配器	SH-D2 相当品
	4分配器	SH-D4 相当品
	1分岐器	SH-C1 相当品
	ダミー抵抗	
(時刻表示設備)		
	1回線パネル型水晶式親時計	
	ＧＰＳアンテナ	
	φ310壁掛子時計	
G_G	φ700壁掛型子時計	
J_J	ジャックプレート	

記号	名称	備考
	防火区画貫通処理	
	ケーブルラック(垂直)	
	露出ボックス	丸型
	プルボックス	
WP	プルボックス 防水型(SUS製、指定色焼付塗装)	
	天井ころがし配線	
	床隠ぺい配線	
	露出配管	
	空配管	
	配管配線 立上り 立下げ	

注記

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。
   (1) 構内交換設備
   - EM-ICTO.65-2P(PF16)
   - EM-ICTO.65-2P(PF16)
   - EM-ICTO.65-2P(E19)露出配管
   - EM-ICTO.65-2P×2(PF22)
   - EM-ICTO.65-2P×3(PF22)
   - PVC0.9-2C(PF22)

   (2) 光警報設備
   - EM-HP1.2-2C (PF16)
   - EM-HP1.2-2C (E19)
   - EM-HP1.2-2C (PF16)

   (3) トイレ音声案内設備
   - EM-FCPEEO.9-3P (PF22)

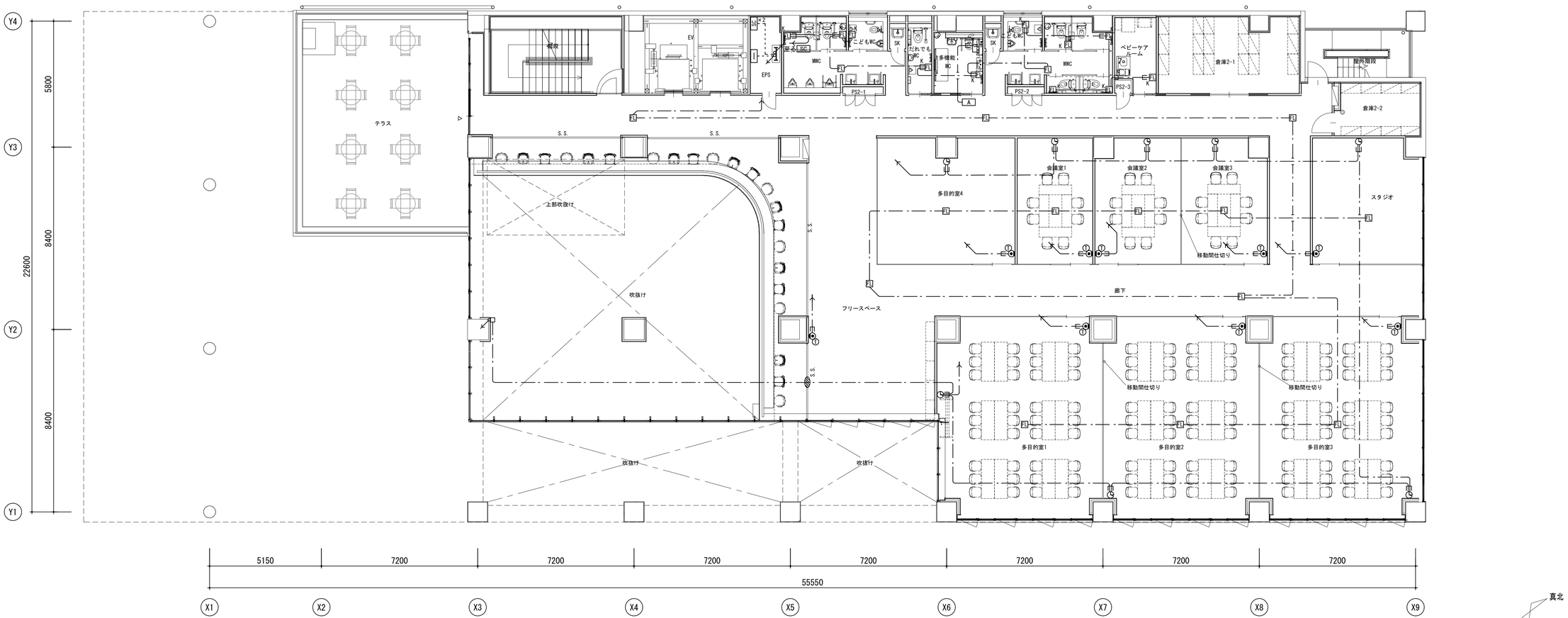
   (4) トイレ音声誘導設備
   - EM-AE 1.2-2C (PF16)
   - EM-UTP0.5-4P (Cat6e) (PF22)

   (5) テレビ共聴設備
   - EM-S-5C-FB(PF16)
   - EM-S-5C-FB(PF22)
   - EM-S-5C-FB(E19)露出配管

   (6) 時刻表示設備
   - EM-AE0.9-2C (PF16)

   二重天井内はケーブル転がし配線とする。
   但し、壁立下げ等は配管にてケーブル保護とする。
2. ゾーニング区分図に応じた仕様とすること。(E07図)
3. 直天井は電灯設備図参照とする。
4. ケーブルラックは弱電共用とする。
5. 幹線ケーブルについては各設備系統図参照とする。
6. 2階フロアにおいて、防音壁を貫通する箇所については、防音性能に配慮した貫通処理を施すこと。
7. プルボックスサイズは下記とする。
   - 331 : SS300×300×100
   - 231WP : SS200×300×100WP-SUS
   - 441WP : SS400×400×100WP-SUS

2T-1


Y4
Y3
Y2
Y1
5800
8400
8400
22600
X1
X2
X3
X4
X5
X6
X7
X8
X9
5150
7200
7200
7200
7200
7200
7200
7200
7200
55550
テラス
S.S.
上部吹抜け
吹抜け
吹抜け
吹抜け
吹抜け
S.S.
S.S.
S.S.

凡例

記号	名称	備考
—	端子盤	
[EV]	エレベータ制御盤	エレベータ工事
(構内交換設備)		
MDF	本配線盤	
PBX	デジタル電話交換機	
●	電話用受口 壁面取付	6極4芯モジュラジャック
●	電話用受口 床面取付(受口収納型)	6極4芯モジュラジャック
T	一般電話機	
T_G	一般電話機	防球ガード付
T_A	多機能電話機	
(光警報設備)		
FL	フラッシュ(天井付)	
FL_K	フラッシュ(壁付)	
MC	メインコントローラー	
SC	サブコントローラー	
HUB_L	スイッチングHUB(16ポート)	

記号	名称	備考
(トイレ音声案内設備)		
A	トイレ音声案内装置 ユニットA	天井埋込型
B	トイレ音声案内装置 ユニットB	壁埋込型
(トイレ音声誘導設備)		
PC	制御用PC	
HUB_Y	ＰｏＥ＋Ｇスイッチ２０ポート	
S	パッシブセンサー	
SP_Y	ＩＰ天井埋込型スピーカー	
(音声案内設備)		
VMG	音声案内装置	

記号	名称	備考
(テレビ共同受信設備)		
◎	端末ユニット1端子	SH-7FS 相当品
◎	端末ユニット1端子 (天井付)	SH-7FS 相当品
▽	増幅器	SH・UF-1相当品
☼	2分配器	SH-D2 相当品
☼	4分配器	SH-D4 相当品
⊕	1分岐器	SH-C1 相当品
⋀⋀	ダミー抵抗	
(時刻表示設備)		
1回線	1回線パネル型水晶式親時計	
▽	ＧＰＳアンテナ	
◔	φ310壁掛子時計	
$◔_G$	φ700壁掛型子時計	
$ロ_J$	ジャックプレート	

記号	名称	備考
⊘	防火区画貫通処理	
⟼	ケーブルラック(垂直)	
○	露出ボックス	丸型
☒	プルボックス	
☒WP	プルボックス 防水型(SUS製、指定色焼付塗装)	
— · —	天井ころがし配線	
— —	床隠ぺい配線	
------	露出配管	
—e—	空配管	
	配管配線 立上り 立下げ	

注記

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。
   (1) 構内交換設備
   - ———— EM-ICTO.65-2P(PF16)
   - — — — EM-ICTO.65-2P(PF16)
   - - - - - - EM-ICTO.65-2P(E19)露出配管
   - — - — EM-ICTO.65-2P×2(PF22)
   - — - — EM-ICTO.65-2P×3(PF22)
   - ——EV—— PVC0.9-2C(PF22)

   (2) 光警報設備
   - ———— EM-HP1.2-2C (PF16)
   - - - - - - EM-HP1.2-2C (E19)
   - — — — EM-HP1.2-2C (PF16)

   (3) トイレ音声案内設備
   - ———— EM-FCPEEO.9-3P (PF22)

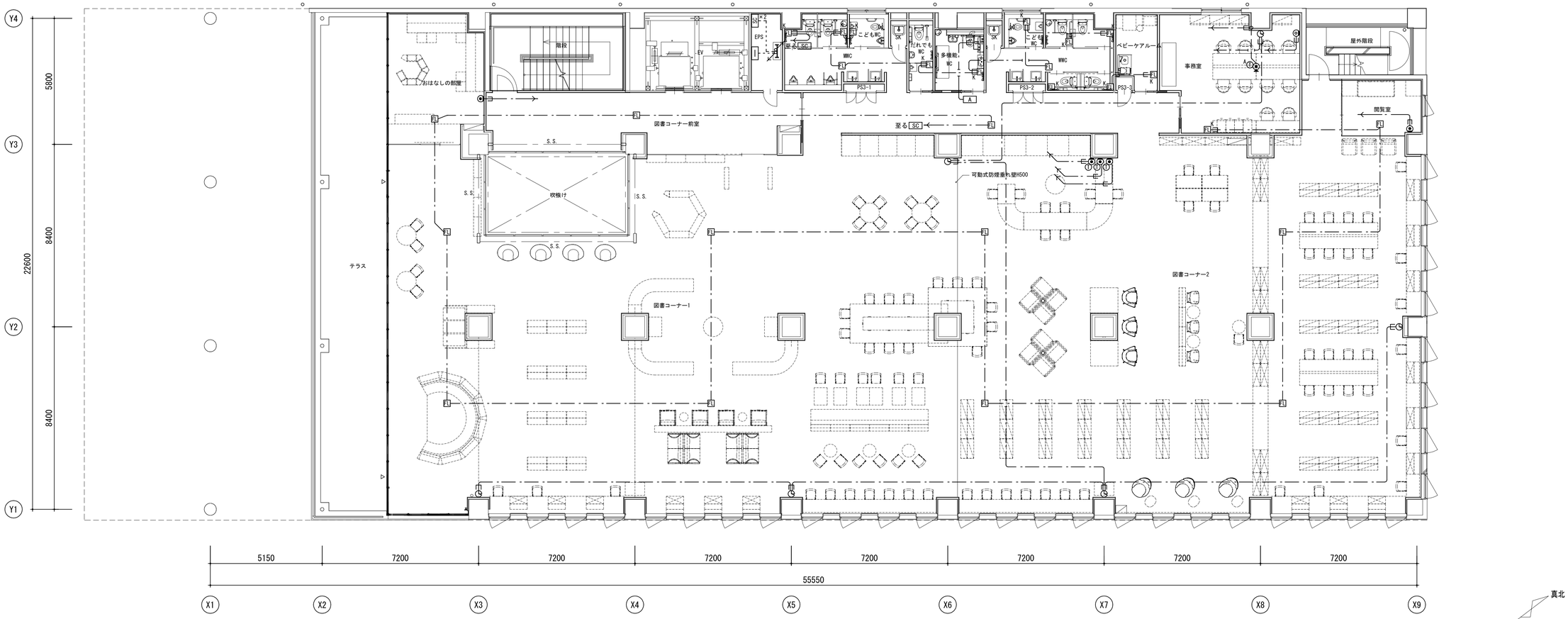
   (4) トイレ音声誘導設備
   - ———— EM-AE 1.2-2C (PF16)
   - ——L—— EM-UTP0.5-4P (Cat6e) (PF22)

   (5) テレビ共聴設備
   - ———— EM-S-5C-FB(PF16)
   - — — — EM-S-5C-FB(PF22)
   - - - - - - EM-S-5C-FB(E19)露出配管

   (6) 時刻表示設備
   - ———— EM-AE0.9-2C (PF16)

   二重天井内はケーブル転がし配線とする。
   但し、壁立下げ等は配管にてケーブル保護とする。
2. ゾーニング区分図に応じた仕様とすること。(E07図)
3. 直天井は電灯設備図参照とする。
4. ケーブルラックは弱電共用とする。
5. 幹線ケーブルについては各設備系統図参照とする。
6. 2階フロアにおいて、防音壁を貫通する箇所については、防音性能に配慮した貫通処理を施すこと。
7. プルボックスサイズは下記とする。
   - ☒331 : SS300×300×100
   - ☒231WP : SS200×300×100WP-SUS
   - ☒441WP : SS400×400×100WP-SUS

3T-1



明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	E	電気設備工事 弱電設備 (1)	最終版	2025. 02. 28
〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築 国土交通大臣登録 第2339号 小林 陽一	41	3階平面図 A1 1:100 A3 1:200	見積版	2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版	

20230220

凡例

記号	名称	備考
—	端子盤	
[EV]	エレベータ制御盤	エレベータ工事
(構内交換設備)		
MDF	本配線盤	
PBX	デジタル電話交換機	
●	電話用受口 壁面取付	6極4芯モジュラジャック
●	電話用受口 床面取付(受口収納型)	6極4芯モジュラジャック
T	一般電話機	
T_G	一般電話機	防球ガード付
T_A	多機能電話機	
(光警報設備)		
FL	フラッシュ(天井付)	
FL_K	フラッシュ(壁付)	
MC	メインコントローラー	
SC	サブコントローラー	
HUB_L	スイッチングHUB(16ポート)	

記号	名称	備考
(トイレ音声案内設備)		
A	トイレ音声案内装置 ユニットA	天井埋込型
B	トイレ音声案内装置 ユニットB	壁埋込型
(トイレ音声誘導設備)		
PC	制御用PC	
HUB_Y	ＰｏＥ＋Ｇスイッチ２０ポート	
S	パッシブセンサー	
SP_Y	ＩＰ天井埋込型スピーカー	
(音声案内設備)		
VMG	音声案内装置	

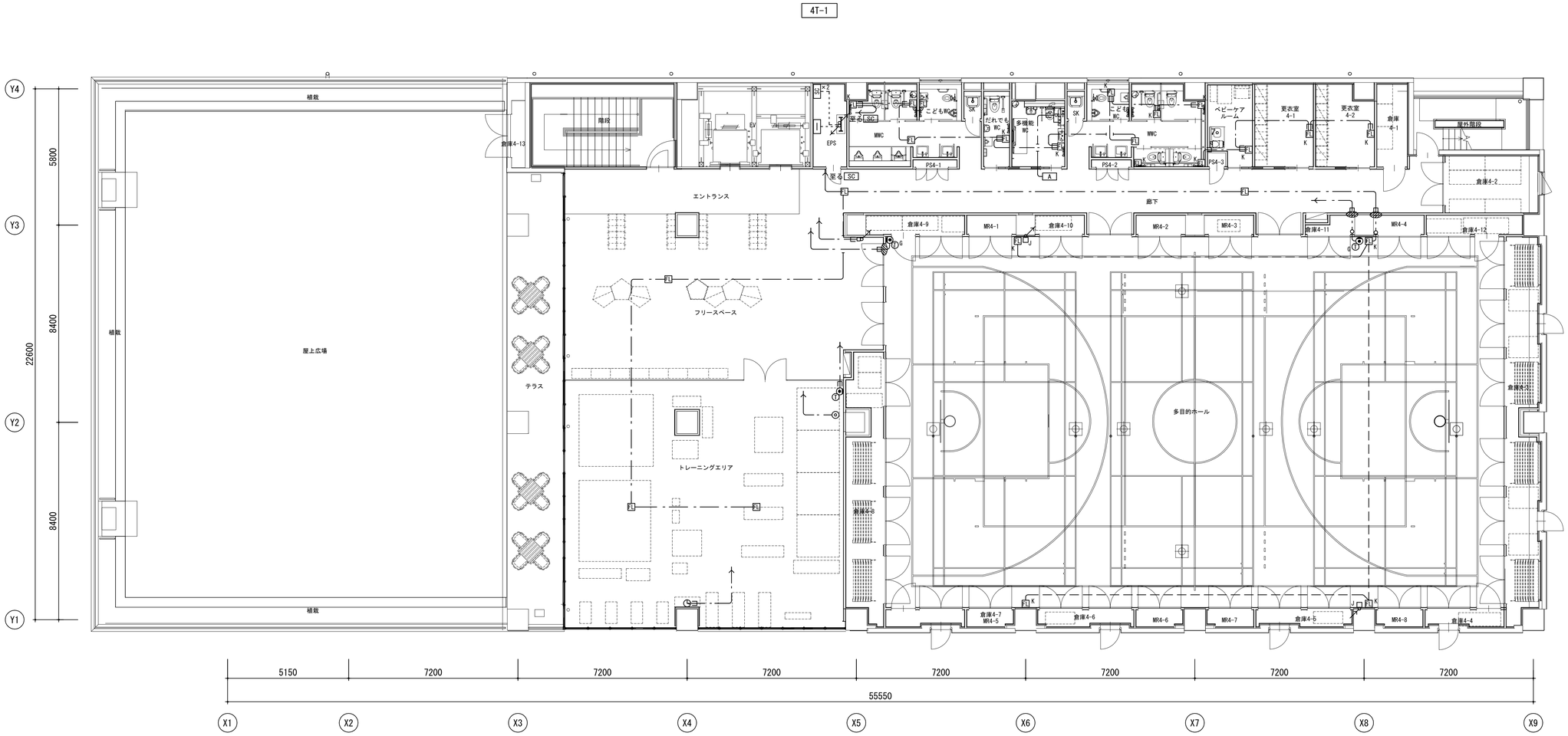
記号	名称	備考
(テレビ共同受信設備)		
◎	端末ユニット1端子	SH-7FS 相当品
◎	端末ユニット1端子 (天井付)	SH-7FS 相当品
▽	増幅器	SH・UF-1相当品
⊙	2分配器	SH-D2 相当品
⊙	4分配器	SH-D4 相当品
⊕	1分岐器	SH-C1 相当品
⋀⋀	ダミー抵抗	
(時刻表示設備)		
1回線	1回線パネル型水晶式親時計	
▽	ＧＰＳアンテナ	
◔	φ310壁掛子時計	
$◔_G$	φ700壁掛型子時計	
$ロ_J$	ジャックプレート	

記号	名称	備考
	防火区画貫通処理	
	ケーブルラック(垂直)	
○	露出ボックス	丸型
☒	プルボックス	
☒WP	プルボックス 防水型(SUS製、指定色焼付塗装)	
— · —	天井ころがし配線	
— —	床隠ぺい配線	
-------	露出配管	
—e—	空配管	
	配管配線 立上り 立下げ	

注記

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。
   - (1) 構内交換設備
     - ——— EM-ICTO.65-2P(PF16)
     - — — — EM-ICTO.65-2P(PF16)
     - - - - - - EM-ICTO.65-2P(E19)露出配管
     - — - — EM-ICTO.65-2P×2(PF22)
     - — - — EM-ICTO.65-2P×3(PF22)
     - ——EV— PVC0.9-2C(PF22)
   - (2) 光警報設備
     - ——— EM-HP1.2-2C (PF16)
     - - - - - - EM-HP1.2-2C (E19)
     - — — — EM-HP1.2-2C (PF16)
   - (3) トイレ音声案内設備
     - ——— EM-FCPEEO.9-3P (PF22)
   - (4) トイレ音声誘導設備
     - ——— EM-AE 1.2-2C (PF16)
     - ——L— EM-UTP0.5-4P (Cat6e) (PF22)
   - (5) テレビ共聴設備
     - ——— EM-S-5C-FB(PF16)
     - — — — EM-S-5C-FB(PF22)
     - - - - - - EM-S-5C-FB(E19)露出配管
   - (6) 時刻表示設備
     - ——— EM-AE0.9-2C (PF16)

   二重天井内はケーブル転がし配線とする。
   但し、壁立下げ等は配管にてケーブル保護とする。
2. ゾーニング区分図に応じた仕様とすること。(E07図)
3. 直天井は電灯設備図参照とする。
4. ケーブルラックは弱電共用とする。
5. 幹線ケーブルについては各設備系統図参照とする。
6. 2階フロアにおいて、防音壁を貫通する箇所については、防音性能に配慮した貫通処理を施すこと。
7. プルボックスサイズは下記とする。
   - ☒331 : SS300×300×100
   - ☒231WP : SS200×300×100WP-SUS
   - ☒441WP : SS400×400×100WP-SUS



明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	E	電気設備工事 弱電設備 (1)	最終版 2025.02.28
〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築 国土交通大臣登録 第2339号 小林 陽一	42	4階平面図 A1 1:100 A3 1:200	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

(2023年版)

20230220

凡例

記号	名称	備考
	端子盤	
EV	エレベータ制御盤	エレベータ工事
(構内交換設備)		
MDF	本配線盤	
PBX	デジタル電話交換機	
	電話用受口 壁面取付	6極4芯モジュラジャック
	電話用受口 床面取付(受口収納型)	6極4芯モジュラジャック
T	一般電話機	
T_G	一般電話機	防球ガード付
T_A	多機能電話機	
(光警報設備)		
FL	フラッシュ(天井付)	
FL_K	フラッシュ(壁付)	
MC	メインコントローラー	
SC	サブコントローラー	
HUB_L	スイッチングHUB(16ポート)	

記号	名称	備考
(トイレ音声案内設備)		
A	トイレ音声案内装置 ユニットA	天井埋込型
B	トイレ音声案内装置 ユニットB	壁埋込型
(トイレ音声誘導設備)		
PC	制御用PC	
HUB_Y	PoE+Gスイッチ20ポート	
S	パッシブセンサー	
SP_Y	IP天井埋込型スピーカー	
(音声案内設備)		
VMG	音声案内装置	

記号	名称	備考
(テレビ共同受信設備)		
	端末ユニット1端子	SH-7FS 相当品
	端末ユニット1端子 (天井付)	SH-7FS 相当品
	増幅器	SH・UF-1相当品
	2分配器	SH-D2 相当品
	4分配器	SH-D4 相当品
	1分岐器	SH-C1 相当品
	ダミー抵抗	
(時刻表示設備)		
	1回線パネル型水晶式親時計	
	GPSアンテナ	
	φ310壁掛子時計	
G_G	φ700壁掛型子時計	
J_J	ジャックプレート	

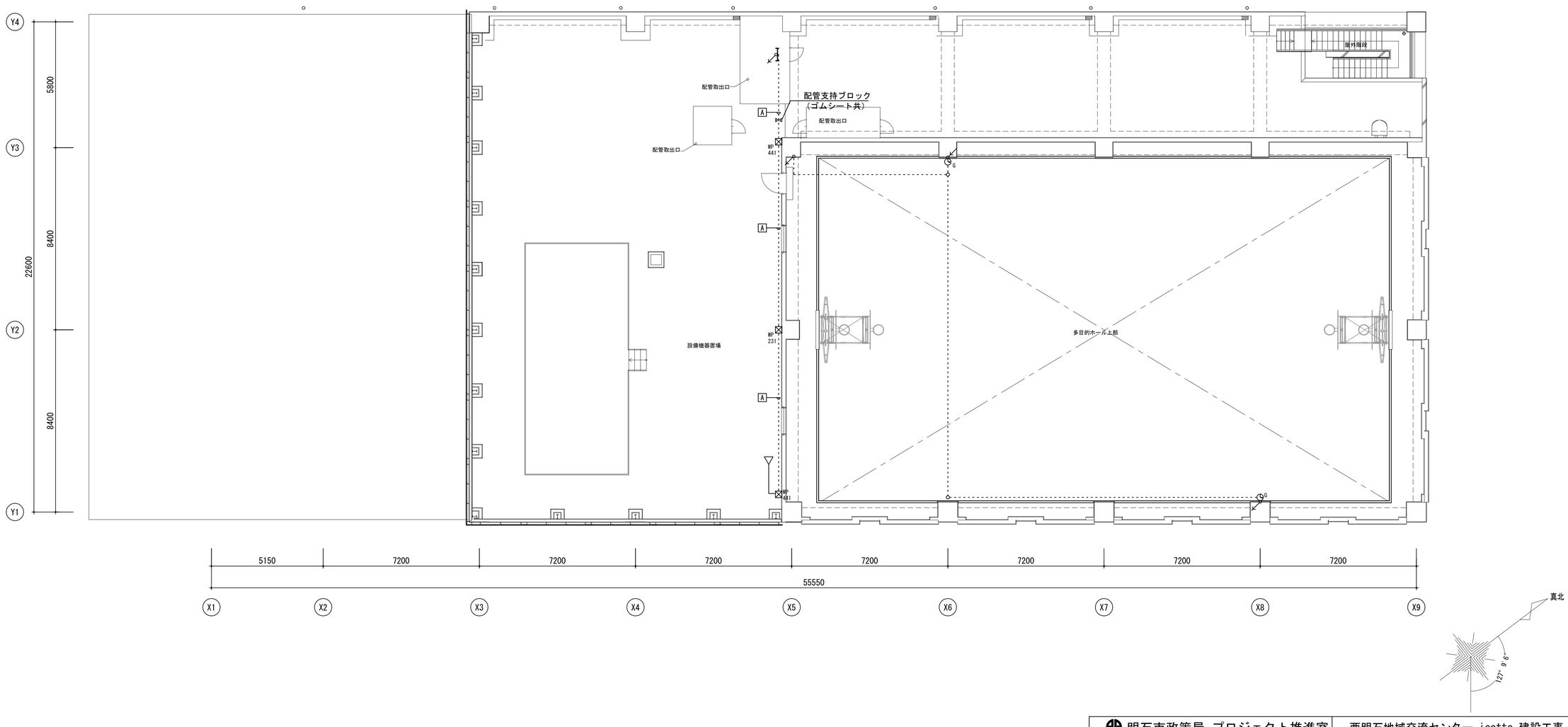
記号	名称	備考
	防火区画貫通処理	
	ケーブルラック(垂直)	
	露出ボックス	丸型
	プルボックス	
WP	プルボックス 防水型(SUS製、指定色焼付塗装)	
	天井ころがし配線	
	床隠ぺい配線	
	露出配管	
	空配管	
	配管配線 立上り 立下げ	

注記

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。
   - (1)構内交換設備
     - EM-ICTO.65-2P(PF16)
     - EM-ICTO.65-2P(PF16)
     - EM-ICTO.65-2P(E19)露出配管
     - EM-ICTO.65-2P×2(PF22)
     - EM-ICTO.65-2P×3(PF22)
     - PVC0.9-2C(PF22)
   - (2)光警報設備
     - EM-HP1.2-2C (PF16)
     - EM-HP1.2-2C (E19)
     - EM-HP1.2-2C (PF16)
   - (3)トイレ音声案内設備
     - EM-FCPEEO.9-3P (PF22)
   - (4)トイレ音声誘導設備
     - EM-AE 1.2-2C (PF16)
     - EM-UTP0.5-4P (Cat6e) (PF22)
   - (5)テレビ共聴設備
     - EM-S-5C-FB(PF16)
     - EM-S-5C-FB(PF22)
     - EM-S-5C-FB(E19)露出配管
   - (6)時刻表示設備
     - EM-AE0.9-2C (PF16)

   二重天井内はケーブル転がし配線とする。
   但し、壁立下げ等は配管にてケーブル保護とする。
2. ゾーニング区分図に応じた仕様とすること。(E07図)
3. 直天井は電灯設備図参照とする。
4. ケーブルラックは弱電共用とする。
5. 幹線ケーブルについては各設備系統図参照とする。
6. 2階フロアにおいて、防音壁を貫通する箇所については、防音性能に配慮した貫通処理を施すこと。
7. プルボックスサイズは下記とする。
   - ☒331 : SS300×300×100
   - ☒231WP : SS200×300×100WP-SUS
   - ☒441WP : SS400×400×100WP-SUS

A EM-S-MEES 0.3×4C (22) 時刻表示



明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事			
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	E	電気設備工事 弱電設備 (1)	最終版	2025. 02. 28
〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築 国土交通大臣登録 第2339号 小林 陽一	43	R階平面図 A1 1:100 A3 1:200	見積版	2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版	

(2023年版)

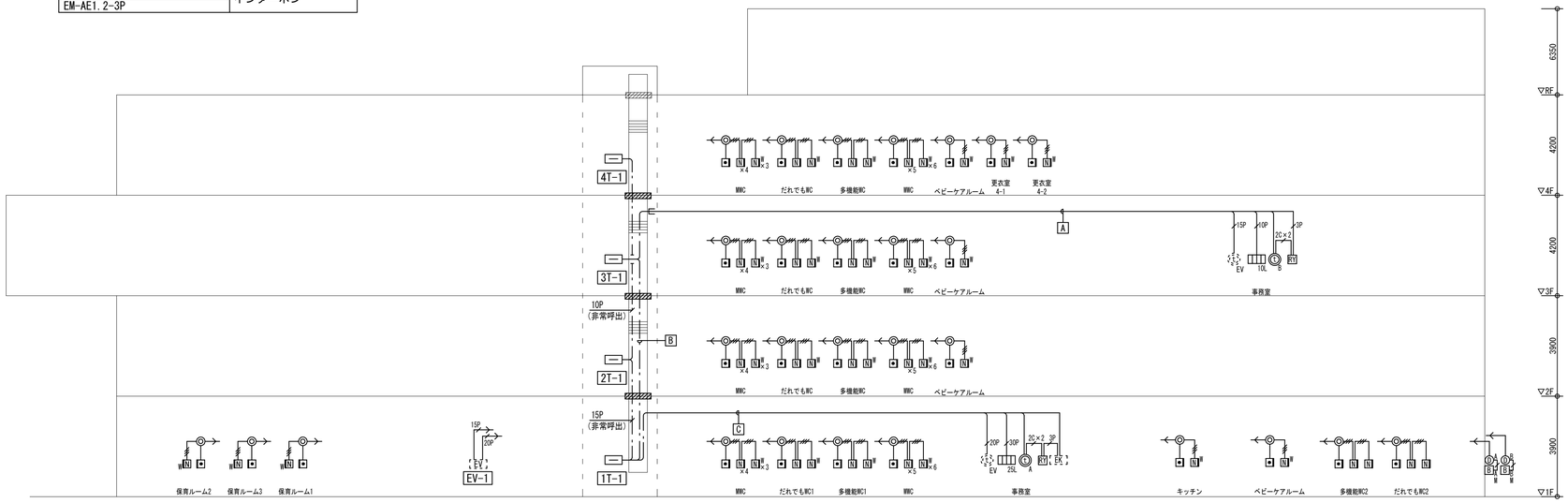
20230220

1　誘導支援設備（インターホン、非常呼出）系統図

A		
EM-FCPEE0.9-15P	EVインターホン
EM-AE1.2-10P	非常呼出
EM-AE1.2-2C	インターホン
EM-AE1.2-3P	

C		
EM-FCPEE0.9-20P	EVインターホン
EM-AE1.2-30P	非常呼出
EM-AE1.2-2C	インターホン
EM-AE1.2-3P	

B	
EM-FCPEE0.9-15P	EVインターホン
EM-AE1.2-2C	インターホン
EM-AE1.2-3P	

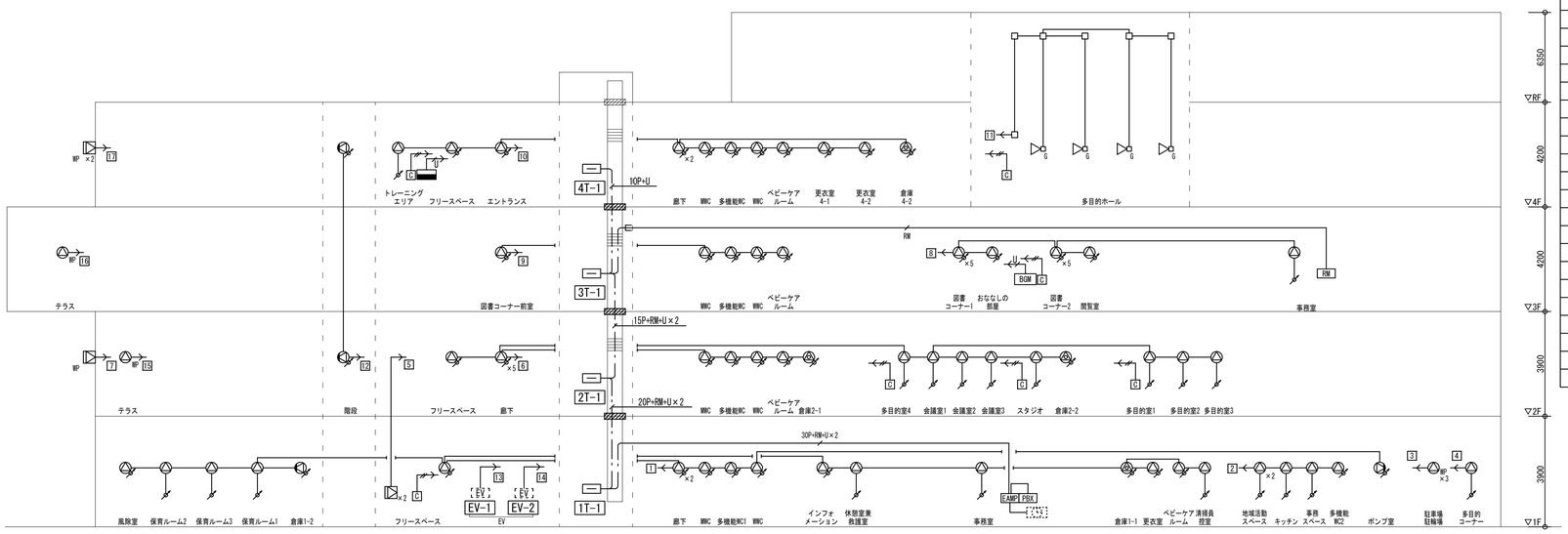


凡例

記号	名　　称	備　　考
	端子盤	
EV	エレベータ制御盤	エレベータ工事
(インターホン設備)		
	モニタ付インターホン端末	傍記は系統を示す
M	外部受付用カメラ付ドアホン	
B	増設呼出ボタン	
EY	電気錠3か所接続アダプター	
EV	エレベータインターホン	エレベータ工事
(非常呼出設備)		
W	非常呼出押ボタン	
N	非常呼出押ボタン（ひも付）	
	廊下表示灯	
	復旧ボタン	
n	非常呼出表示窓	nは窓数を示す
	ケーブルラック	弱電共用
	防火区画貫通処理	国土交通大臣認定

注記
1. 図中、特記なき配管配線は下記による。
(1)インターホン設備
EM-AE1.2-2C (PF16)
EM-AE1.2-3C (PF16)
2C×2 EM-AE 1.2-2C×2 (PF16)
3P EM-AE 1.2-3P (PF22)
15P EM-FCPEE0.9-15P (E39)
20P EM-FCPEE0.9-20P (E39)
(2)非常呼出設備
EM-AE1.2-2C (PF16)
EM-AE1.2-3C (PF16)
※　二重天井およびケーブルラック内は、ころがし配線とする。
※　立上がり部分は、適切な保護管にて保護すること。
※　空配管には全て呼線としてビニル被覆鉄線を挿入のこと。

2　非常・業務放送設備系統図



系統番号	系統名称	スピーカー台数 ※(nW)は1台当たりの容量 (1W)	(3W)	(5W)	(20W)	スピーカー容量(W)
1	1F 共用部、居室	19	−	−	−	19
2	1F 地域活動スペース	5	−	−	−	5
3	1F 駐車場、駐輪場	3	−	−	−	3
4	1F 多目的コーナー	1	−	−	−	1
5	2F 吹抜け	−	2	−	−	6
6	2F 共用部、居室	20	−	−	−	20
7	2F 屋外広場	−	−	−	1	20
8	3F 図書エリア	13	−	−	−	13
9	3F 共用部	5	−	−	−	5
10	4F 共用部、トレーニングエリア	12	−	−	−	12
11	4F 多目的ホール	−	−	4	−	20
12	階段	2	−	−	−	2
13	EV-1	1	−	−	−	1
14	EV-2	1	−	−	−	1
15	2F テラス	1	−	−	−	1
16	3F テラス	2	−	−	−	2
17	4F 屋上広場	−	−	−	2	40
18	予備	−	−	−	−	−
19	予備	−	−	−	−	−
20	予備	−	−	−	−	−
合計		85	2	4	3	171

凡例

記号	名　　称	備　　考
	端子盤	
EV	エレベータ制御盤	エレベータ工事
PBX	デジタル電話交換機	
	親時計	
EAMP	非常業務兼用放送アンプ	
RM	業務リモートマイク	
	天井埋込型スピーカー	SW1Hi-1V0
	天井埋込型スピーカー（ATT付）	SW1Hi-1V3
	天井露出型スピーカー（ATT付）	
WP	防滴型天井スピーカー	耐塩塗装
	壁掛型スピーカー（ATT付）	
	コンパクトスピーカー	
WP	壁付スピーカー　（防滴型）	耐塩塗装
G	ホーンスピーカー（ガード付）	
	アッテネータ	
C	カットリレー	
	ワゴン接続プレート	
BGM	BGM機器	
	ケーブルラック	弱電共用
	防火区画貫通処理	国土交通大臣認定

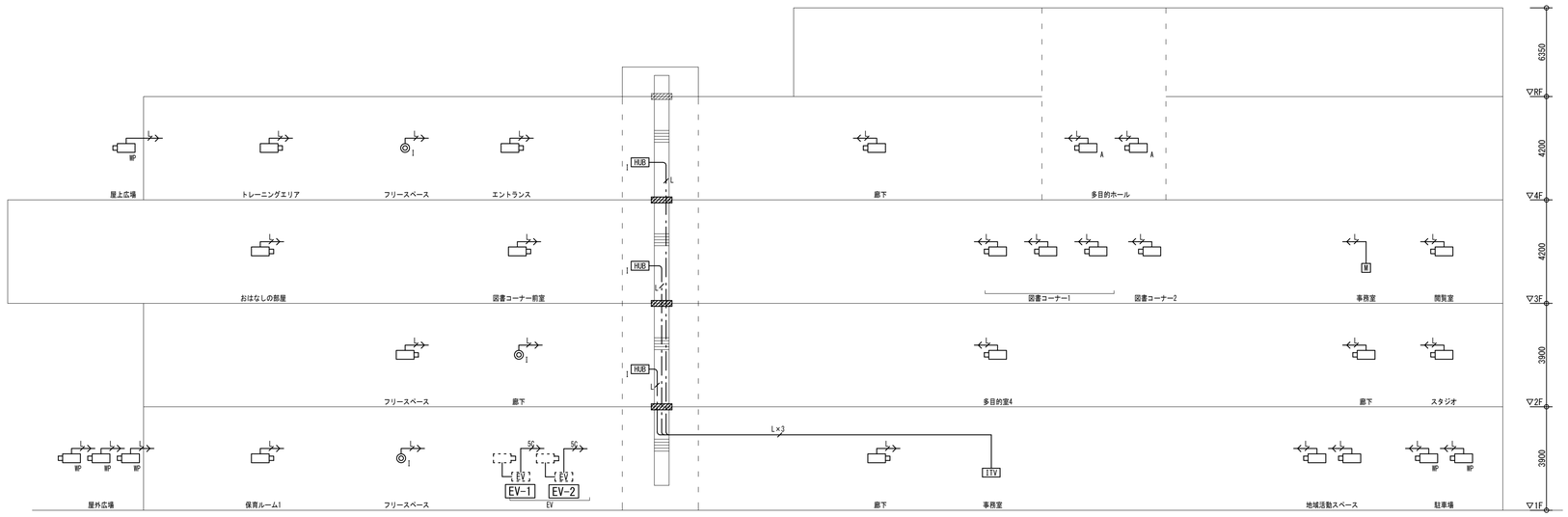
注記
1. 図中、特記なき配管配線は下記による。
RM EM-HP1.2-3C (PF16)
RM EM-HP1.2-5P (PF22)
U EM-UTP0.5-4P(CAT6)(PF22)
10P EM-HP1.2-10P (PF28)
15P EM-HP1.2-15P (E39)
20P EM-HP1.2-20P (E51)
30P EM-HP1.2-20P (E51)
※　二重天井およびケーブルラック内は、ころがし配線とする。
※　立上がり部分は、適切な保護管にて保護すること。

明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	E	電気設備工事 弱電設備（誘導支援、非常・業務放送）系統図	最終版 2025.02.28
〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築 国土交通大臣登録 第2339号 小林 陽一	44	N.S	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

(2023年版)

20230220

3　監視カメラ設備系統図



凡例

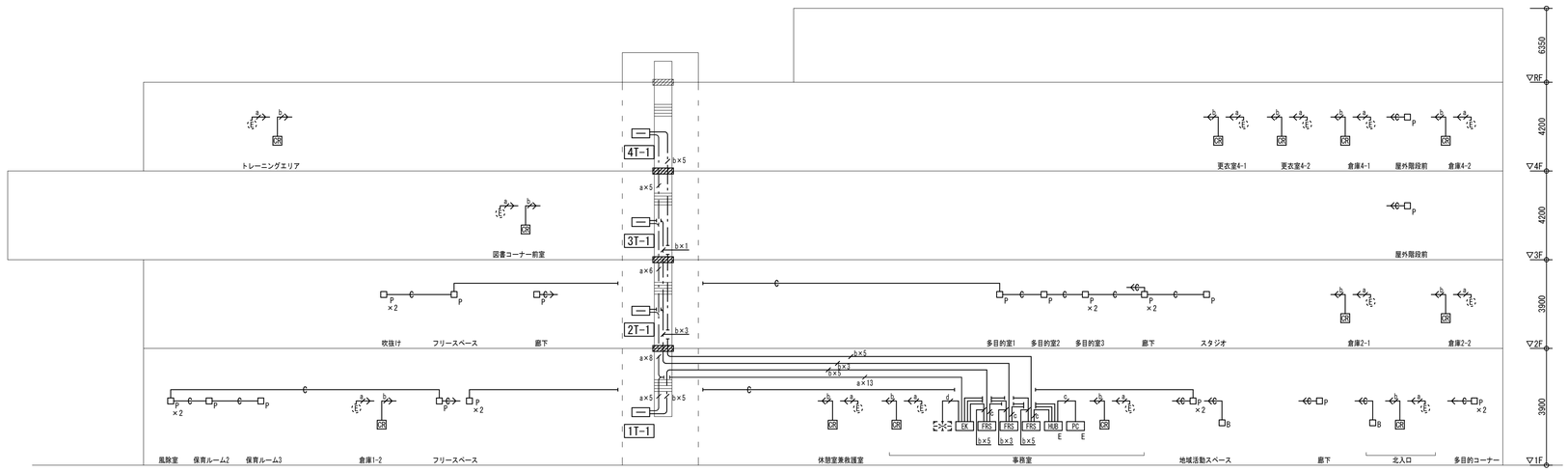
記号	名　　称	備　　考
ITV	ITV架	
HUB I	ＨＵＢ	
	ドーム型ネットワークカメラ	
BP	屋外ネットワークカメラ	耐塩塗装
A	耐衝撃型ドーム型ネットワークカメラ	
	監視カメラ（エレベーターかご内）	エレベーター工事
I	全方位ネットワークカメラ	
M	監視カメラリモートビューア機器	机上設置
	ケーブルラック	弱電共用
	防火区画貫通処理	国土交通大臣認定

注記

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。
   - EM-UTP0.5-4P（Cat6e）　(PF22)
   - 5C　EM-5C-FB　(PF16)
   - L×3　EM-UTP0.5-4P（Cat6e）×3（PF28）

※　二重天井およびケーブルラック内は、ころがし配線とする。
※　立上がり部分は、適切な保護管にて保護すること。

4　入退室管理設備、機械警備設備系統図



凡例

記号	名　　称	備　　考
（入退室管理設備）		
EX	電気錠制御盤	
FRS	カードリーダーコントローラー	
HUB E	スイッチングハブ	
PC E	管理用PC	
CR	非接触カードリーダー	
	電気錠	
（機械警備設備）		
P	パッシブセンサー	別途工事
B	開錠ボタン	別途工事
	ケーブルラック	弱電共用
	防火区画貫通処理	国土交通大臣認定

注記

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。
   (1) 入退室管理設備
   - a　EM-FCPEE 0.9-3P　(PF22)
   - b　EM-FCPEES 0.9-2P　(PF22)
   - c　EM-UTP0.5-4P（Cat6）(PF22)
   - d　EM-HP0.9-2C　(PF16)

   (2) 機械警備設備
   - C　(PF22)

※　二重天井およびケーブルラック内は、ころがし配線とする。
※　立上がり部分は、適切な保護管にて保護すること。
※　空配管には全て呼線としてビニル被覆鉄線を挿入のこと。

明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto　建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	E	電気設備工事 弱電設備（監視カメラ、入退室管理、機械警備） 系統図　N.S	最終版　2025. 02. 28
〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	45		見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

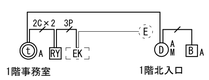
（2023年版）

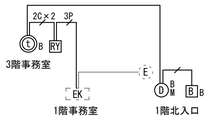
20230220

1 インターホン設備

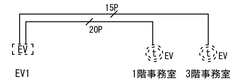
(1) システム系統図

(1)ドアホン系統インターホン





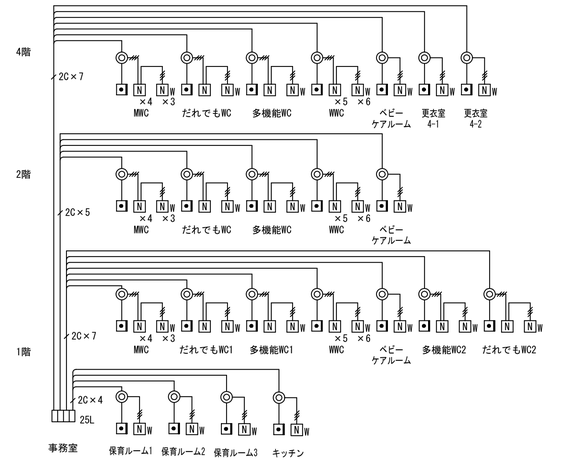
(2)エレベータ連絡系統インターホン



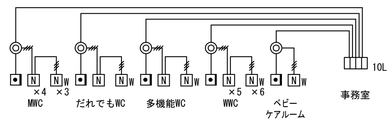
凡例

Ⓔ	電気錠	
EK	電気錠制御盤	
	EM-AE 1.2-2C	(PF16)
	EM-AE 1.2-3C	(PF16)
2C×2	EM-AE 1.2-2C×2	(PF16)
3P	EM-AE 1.2-3P	(PF22)
15P	EM-FCPEE0.9-15P	(E39)
20P	EM-FCPEE0.9-20P	(E39)

1階事務室系統



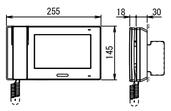
3階事務室系統

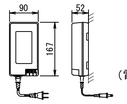


凡例

	EM-AE 1.2-2C (PF16)
	EM-AE 1.2-3C (PF16)

Ⓣ モニター付インターホン端末 （電源アダプター含む）

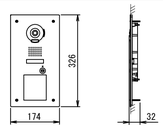




（電源アダプター）

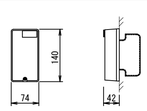
電源電圧	ＤＣ２４Ｖ（電源アダプターより供給）	電源電圧	ＡＣ１００Ｖ
モニター	７型ＴＦＴカラー液晶	出力電圧	ＤＣ２４Ｖ
通話方式	拡声自動交互通話（受話器使用時：電話型同時通話）	出力電流	２Ａ
形　状	据置・壁取付両用型	形　状	据置・壁取付（専用金具）両用
材　質	本体:自己消火性樹脂	材　質	難燃性樹脂
	アクリルパネル部:難燃性樹脂		

Ⓓ$_M$ 外部受付用カメラ付ドアホン



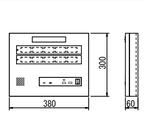
形　状	壁埋込型
材　質	ステンレス
カメラ	１/４カラーＣＭＯＳ
備　考	増設呼出ボタン接続可
	防塵・防まつ形（ＪＩＳ Ｃ ０９２０ ＩＰ５４ 相当）

RY 電気錠3か所接続アダプター



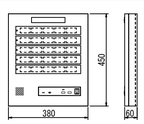
電源電圧	DC24V（電源アダプターより供給）
接点定格	無電圧メークまたはブレーク接点
	AC50V・DC30V・1A
形　状	壁取付型
材　質	自己消火性樹脂

$\square\square\square_{10L}$ 非常呼出表示窓(10窓)



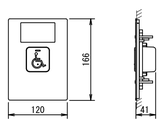
電源電圧	ＡＣ１００Ｖ
形　状	壁取付形
窓　数	１０窓
表示方式	呼出音と表示窓点灯

$\square\square\square_{25L}$ 非常呼出表示窓(25窓)



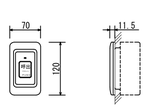
電源電圧	ＡＣ１００Ｖ
形　状	壁取付形
窓　数	２５窓
表示方式	呼出音と表示窓点灯

B 増設呼出ボタン



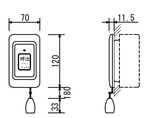
形　状	埋込型
材　質	ステンレス

N$_M$ 非常呼出押ボタン



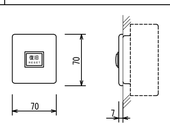
形　状	壁埋込形
プレート	樹脂製
確認灯	ＬＥＤ（赤）
押ボタン	ノンロック式

N 非常呼出押ボタン（引きひも付）



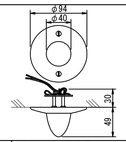
形　状	壁埋込形
プレート	樹脂製
確認灯	ＬＥＤ（赤）
押ボタン	ノンロック式

● 復旧ボタン



形　状	壁埋込形
プレート	樹脂製
復旧ボタン	ノンロック式

◎ 廊下表示灯



形　状	天井、壁埋込型
材　質	プレート：樹脂製
	表示灯カバー:プラスチック
備　考	ＬＥＤ方式（赤色）

注記）1. 機械耐震固定を行うこと。
2. 姿図及び寸法は参考とする。
3. 主装置は防雷対策を施すこと。
4. インターホン受話器には、落下防止ワイヤーを見込むこと。

2 非常呼出設備

(1) システム系統図

明石市政策局 プロジェクト推進室
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号
森 雅章
〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号
設備設計一級建築 国土交通大臣登録 第2339号
小林 陽一

西明石地域交流センター icotto 建設工事

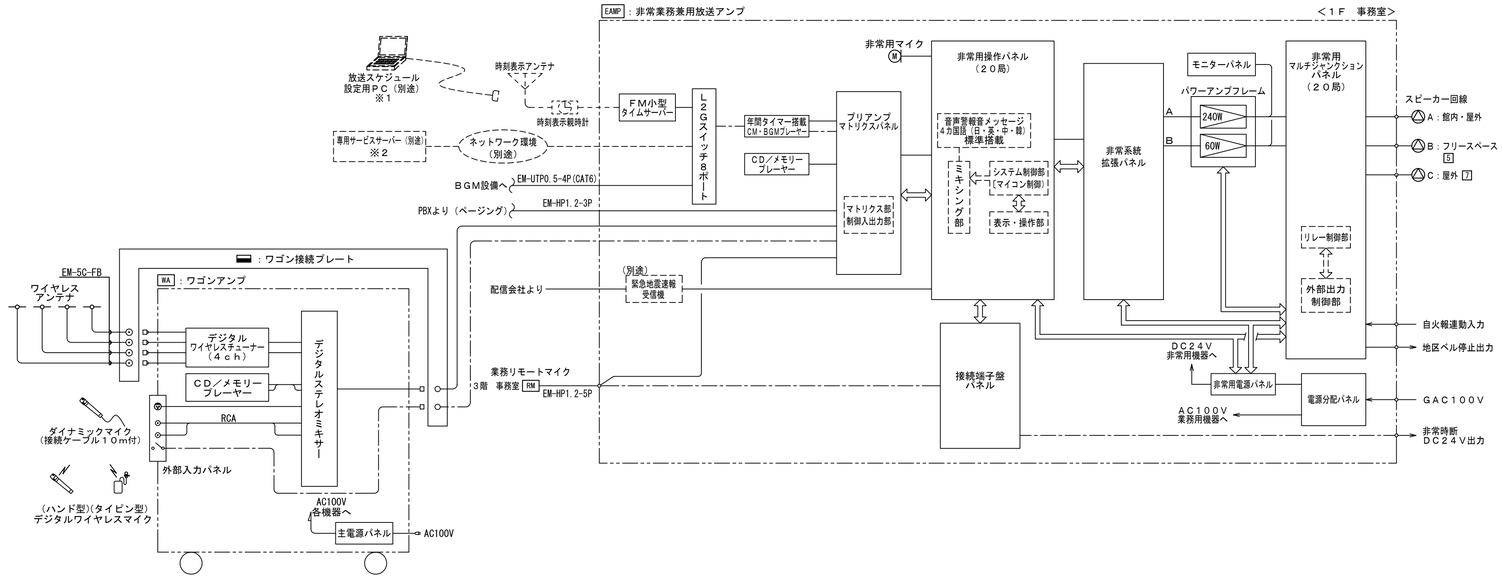
E
46
電気設備工事
弱電設備（2）
機器姿図
N.S

最終版	2025.02.28
見積版	2024.12.16
最終契約版	

安井建築設計事務所

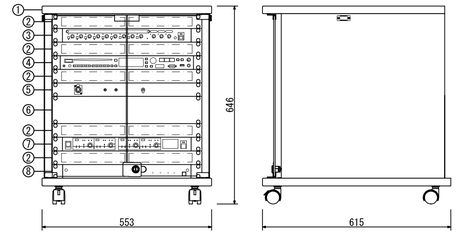
3 非常・業務放送設備

(1) システムブロック図



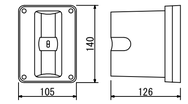
WA ワゴンアンプ

No.	名　称
1	木製ラック
2	通気パネル
3	デジタルステレオミキサー
4	ＣＤ／メモリープレーヤー
5	外部入力パネル
6	ブランクパネル
7	デジタルワイヤレスチューナー
8	主電源パネル



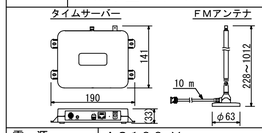
電　源	ＡＣ１００Ｖ	■外部入力パネル	
■デジタルステレオミキサー		コネクター	ＸＬＲ－３－３１Ｆ７７　×１
入　力	最大１２チャンネル		ＲＣＡピン　×２
	モノラル（平衡型）×６		トグルスイッチ　×１
	（ＬＩＮＥ、ＭＩＣ、ＰＨＡＮＴＯＭ個別選択可）	■デジタルワイヤレスチューナー	
	ステレオ×３	入　力	アンテナ×４、ミキシング×１
出　力	最大６チャンネル	出　力	単独×４、ミキシング×１
	モノラル（平衡型）×２、	受信周波数	８００ＭＨｚ帯
	ステレオ（平衡型）×１、ステレオ録音×１	機　能	デジタルトゥルーダイバシティ受信、
バ　ス	モノラル×２、ステレオ×１		接点出力×４、ソフトによるシステム状態監視
機　能	自動音場補正（ＡＲＣ）×３（各系統独立設定）	チューナーユニット	４波実装済
	ハウリング抑制（ＦＢＳ）×６（各系統独立設定）	■その他	
	自動クリップ防止（ＡＣＧ）×６（各系統独立動作）		主電源パネル組込
	オートミュート（Ｄｕｃｋｅｒ）×１		
その他	前面ステレオミニジャック付		
■ＣＤ／メモリープレーヤー			
使用メディア	ＣＤ、ＣＤ－Ｒ、ＣＤ－ＲＷ		
	ＳＤ／ＳＤＨＣカード、ＵＳＢメモリー		
再生ファイル形式	ＣＤ－ＤＡ、ＭＰ３、ＷＭＡ、ＷＡＶ、ＡＡＣ		
出　力	アナログ×２、チューナー		
その他	外部制御、ＦＭ／ＡＭチューナー機能、		
	Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈレシーバー搭載		

—o— 壁取付用ワイヤレスアンテナ



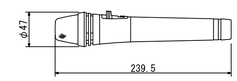
電　源	ＤＣ７～１２Ｖ（本体より供給）
消費電流	１５ｍＡ（９Ｖ時）
受信周波数	８００ＭＨｚ帯
ダイポール比相対利得	約＋８ｄＢ
アッテネーター	０、－１０、－２０ｄＢ
その他	防水性能：ＩＰＸ２
	壁取付用

ＦＭ小型タイムサーバー



電　源	ＡＣ１００Ｖ
	（ＡＣアダプター（付属）使用）またはＰｏＥ
接点出力	１系統　無電圧メイク接点出力
ネットワーク１／Ｆ	１系統
ＮＴＰクライアント数	最大１００クライアント
受信方式／同期方式	スーパーヘテロダイン方式／ＦＬＬ方式
受信周波数	ＦＭラジオ（７６．０～９０．０ＭＨｚ）

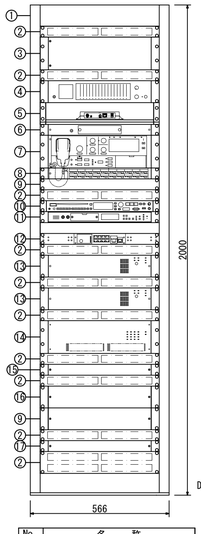
デジタルワイヤレスマイク　ハンド型



２本

電波型式	Ｆ１Ｅ／Ｆ１Ｄ
送信周波数	８００ＭＨｚ帯（３０波のうち１波スイッチ切換）
発振方式	ＰＬＬシンセサイザー方式
使用マイクロホン	単一指向性エレクトレットコンデンサー型
機　能	デジタル伝送方式、コード設定（１０パターン）、
	セキュリティ設定、送信出力／マイク感度切換
仕　上	ボディー：樹脂　ダークグレー

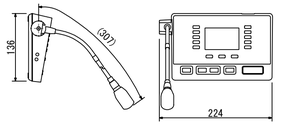
EAMP 非常業務兼用放送アンプ



No.	名　称
1	キャビネットラック
2	通気パネル
3	非常系統拡張パネル
4	モニターパネル
5	ＦＭ小型タイムサーバー
6	プリアンプパネルマトリクスパネル
7	非常用操作パネル
8	非常用増設操作パネル　２０局
9	ブランクパネル
10	ＣＤ／メモリープレーヤー
11	年間タイマー搭載ＣＭ・ＢＧＭプレーヤー
12	Ｌ２ＧスイッチＳポート
13	非常用電源パネル
14	パワーアンプフレーム
	デジタルパワーアンプモジュール２４０Ｗ
	デジタルパワーアンプモジュール６０Ｗ
15	接続端子盤パネル
16	非常用マルチファンクションパネル　２０局
17	電源分配パネル

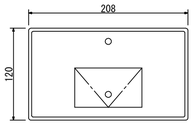
常用電源	ＧＡＣ１００Ｖ	■ＣＤ／メモリープレーヤー	
非常電源	ＤＣ２４Ｖ（ニカド蓄電池）	使用メディア	ＣＤ、ＣＤ－Ｒ、ＣＤ－ＲＷ
定格出力	Ａ：館内・屋外：２４０Ｗ		ＳＤ／ＳＤＨＣカード、ＵＳＢメモリー
	Ｂ：地域交流プラザ：６０Ｗ	再生ファイル形式	ＣＤ－ＤＡ、ＭＰ３、ＷＭＡ、ＷＡＶ、ＡＡＣ
音声入力	８入力＋外部放送入力	出　力	アナログ×２、チューナー
出力制御	非常・業務とも２０局＋一斉	その他	外部制御、ＦＭ／ＡＭチューナー機能、
	（一斉は緊急・通常の２モード選定式）		Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈレシーバー搭載
スピーカー回線	２０局	■年間タイマー搭載ＣＭ・ＢＧＭプレーヤー	
非常警報音	音声合成音（第１シグナル、第２シグナル、	入出力	外部入力（Ｌ、Ｒ）、ライン出力（Ｌ、Ｒ）
	感知器発報放送、火災放送、非火災報放送）	制御入力	フェーダー、　機器ミュート、調時（接点、有極）
	音声合成音、日本語／ご内国語（日本語・英語）および		制御１～４
	三カ国語／四カ国語（中国語、韓国語を付加）の切換式	制御出力	外部起動１～３、ビジー、異常、制御１～４
	※出荷時に搭載されたメッセージ以外を放送する	モデム接続１／Ｆ	ＲＳ－２３２，　Ｄ－Ｓｕｂ９ピン
	場合は所轄消防の許可を得る必要があります。	時刻調整	ＮＴＰサーバー、手動、接点・有極信号入力
出火階情報	８１種類標準搭載	時計精度	月差±３０秒以内（２０℃）
	別途、設定支援ソフトで２０００種類以上の	内蔵音源	サンプル音源１０種（付属メモリーカードに付属）
	出火階情報に標準対応可能		・アナウンス１３０メッセージ
	※上記以外の階情報メッセージは特注対応可能		・チャイム３３音源
フロントマイク	単一指向性ダイナミック型		・ＢＧＭ　３ジャンル×各１時間
	非常業務兼用、音量調節可能（業務放送時のみ）	機　能	スタンドアロン運用時：専用ソフトウェア（無償）による
機　能	自火報連動機能、液晶表示（放送手順、動作設定表示、		音源・放送スケジュール登録（日間・週間・月間・年間対応）
	異常表示、動作履歴、タイマー移行残時間表示等）		サービス契約時（＊１）：ネットワーク経由による
リモコン	非常用（業務兼用）　最大１６台接続可（システム拡張時）		遠隔からの音源・放送スケジュール登録（日間・週間・
	業務用　最大８台接続可（システム拡張時）		月間・年間対応）、自動時刻調整、システム状態確認、
	接点式　最大１２台接続可（システム拡張時）		スケジュール設定バックアップ
非常時断電源	２系統 ＤＣ２４Ｖ 各２５０ｍＡ（非常時に電源供給断）		（＊１）サービス利用には契約およびネットワーク
制御入力	緊急地震放送：１系統、外部放送：１系統		環境の手配が別途必要
	（緊急地震放送系統は停電時もニカド電池により動作可能）		サービス契約により、契約会社保有音源も
	制御入力：２０系統（任意の機能を設定可）		利用可能
制御出力	非常接点出力：１系統、外部モニター：１系統	その他	ＬＣＤ表示、ＡＣアダプター付、
	（上記系統は停電時もニカド電池により動作可能）		メモリーカード（３２ＧＢ）１枚実装済
	制御出力：１４系統（任意の放送状態、	■Ｌ２Ｇスイッチ８ポート	
	階選択スイッチ操作を設定可能）	ＵＴＰポート数	１０ＢＡＳＥ－Ｔ／１００ＢＡＳＥ－ＴＸ／
	（うち４系統は停電時もニカド電池により動作可能）		１０００ＢＡＳＥ－Ｔ：８
点検機能	点検モード時、非常断２４Ｖ遮断なし、音声出力なし	拡張モジュールスロット	ＳＦＰ：１（ポート８と選択）
	で動作チェックが可能	機　能	全ポートＡｕｔｏＭＤＩ－Ｘ機能（ＳＦＰは除く）
	点検用音源内蔵、点検用音声入力搭載（音量調整可）、	バッファー	５１２ＫＢ
	自己診断機能搭載、総合点検残時間表示機能、	スイッチング容量	１８Ｇｂｐｓ
	自火報からのメイク状態確認機能	■その他	
■モニターパネル			ＦＭ小型タイムサーバー組込
入　力	１６系統		
出　力	スピーカー出力、ヘッドホン出力		
メーター	１２点ＬＥＤメーター×１６		
その他	ＡＣアダプター共		

RM 業務リモートマイク



電　源	ＤＣ２４Ｖ（本体システムから供給またはＡＣアダプター）	スピーカーユニット	9 cm防滴型
マイク	単一指向性エレクトレットコンデンサーマイク	定格入力	3 W/1 W
入出力	ＡＵＸ入力、制御入出力、音声出力　×各１	出力音圧レベル	92 dB/W（1 m）
チャイム	本体システム内蔵音源を使用	周波数特性	150 Hz～20 kHz
	（本体システム設定により変更可能）	本体仕上	黒色モールド成型
その他	音声明瞭化機能	防水保護等級	IPX4準拠（JIS C 0920）
		その他	耐塩塗装

▬ ワゴン接続プレート



コネクター	ワイヤレスアンテナ用：ＢＣＪ－ＲＵ　×４	定格入力	３Ｗ（３．３ｋΩ）、１Ｗ（１０ｋΩ）
	音声用：ＸＬＲ－３－３１Ｆ７７　×１	出力音圧レベル	９５ｄＢ（１Ｗ、１ｍ）
	起動用：ＸＬＲ－２－３１Ｆ７７　×１	周波数特性	９０Ｈｚ～１５ｋＨｚ
プレート	４連新金属プレート	スピーカー	１６ｃｍコーン型
その他	壁面取付、配線取出口付	音量調節	――― ５段切換
		仕　上	枠：アルミ　オフホワイト、ネット：アルミパンチング　オフホワイト
		その他	防塵カバー一体型

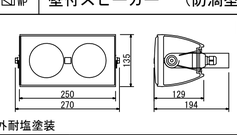
露出型スピーカー

露出型スピーカー　ＡＴＴ付



	ＡＴＴ無	ＡＴＴ付
定格入力	３Ｗ（３．３ｋΩ）、１Ｗ（１０ｋΩ）	
出力音圧レベル	９５ｄＢ（１Ｗ、１ｍ）	
周波数特性	９０Ｈｚ～１５ｋＨｚ	
スピーカー	１６ｃｍコーン型	
音量調節	―――	５段切換
仕　上	パンチングネット：ステンレス	
その他	防塵・防水性能：ＩＰ６５	

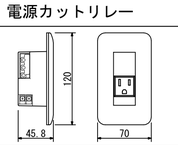
WP 壁付スピーカー　（防滴型）



屋外耐塩塗装

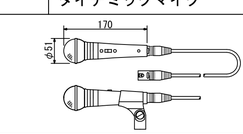
定格入力	２０Ｗ（５００Ω）、１０Ｗ（１ｋΩ）、５Ｗ（２ｋΩ）
出力音圧レベル	９０ｄＢ（１Ｗ、１ｍ）
周波数特性	１２０Ｈｚ～１４ｋＨｚ
スピーカー	１０ｃｍ樹脂製防滴コーン型×２
仕　上	本体：樹脂　黒、ネット：アルミ　黒
	パンチングネット：ステンレス
その他	防塵・防水性能：ＩＰ６５

C 電源カットリレー



定格入力	６０Ｗ（１７０Ω）、３０Ｗ（３３０Ω）、
	１５Ｗ（６７０Ω）、３Ｗ（３．３ｋΩ）
出力音圧レベル	半自由音場：９２ｄＢ（１Ｗ、１ｍ）
周波数特性	半自由音場：６５Ｈｚ～２０ｋＨｚ（－１０ｄＢ）
指向角	水平：８０°、垂直：８０°（ホーンアダプター装着時）
スピーカー	２０ｃｍコーン型、２５ｍｍドームツイーター
その他	エンクロージャ：白、取付金具付属

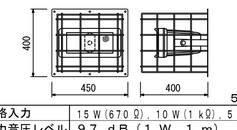
ダイナミックマイク



２本

定格インピーダンス	６００Ω（平衡型）
指向性パターン	単一指向性
周波数特性	７０Ｈｚ～１５ｋＨｚ
定格感度レベル	－５４ｄＢ
仕　上	メタリックグレー
その他	トークスイッチ付、マイク延長コード１０ｍ
	（２芯シールド　キャノン対キャノン）付

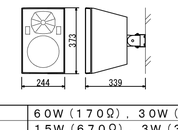
G ホーンスピーカー（ガード付）



５Ｗ結線

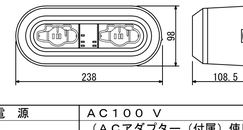
定格入力	１５Ｗ（６７０Ω）、１０Ｗ（１ｋΩ）、５Ｗ（２ｋΩ）
出力音圧レベル	９７ｄＢ（１Ｗ、１ｍ）
周波数特性	１５０Ｈｚ～１５ｋＨｚ
スピーカー	１２ｃｍ防滴コーン型
水平指向性	９０°
仕　上	ホーン・カバー：樹脂　オフホワイト
その他	防塵・防水性能：ＩＰ６５、防球ガード付

コンパクトスピーカー



定格入力	６０Ｗ（１７０Ω）、３０Ｗ（３３０Ω）、
出力音圧レベル	半自由音場：９２ｄＢ（１Ｗ、１ｍ）
周波数特性	半自由音場：６５Ｈｚ～２０ｋＨｚ（－１０ｄＢ）
指向角	水平：８０°、垂直：８０°（ホーンアダプター装着時）
スピーカー	２０ｃｍコーン型、２５ｍｍドームツイーター
その他	エンクロージャ：白、取付金具付属

デジタルワイヤレスマイク用充電器



２台

電　源	ＡＣ１００Ｖ
	（ＡＣアダプター（付属）使用）
充電時間	最大３時間
台充電数	２台
仕　上	ケース：樹脂　黒

木製壁掛型スピーカー　ＡＴＴ付

定格入力	３Ｗ（３．３ｋΩ）、１Ｗ（１０ｋΩ）
出力音圧レベル	９５ｄＢ（１Ｗ、１ｍ）
周波数特性	１６０Ｈｚ～１７ｋＨｚ
スピーカー	１６ｃｍコーン型
仕　上	本体：木製　ライトグレー
	ネット：ジャージ　ライトグレー
その他	差込型コネクターによるワンタッチ結線、音量調節器付

アッテネーター

入力容量	０．５～６Ｗ
音量切換	５段階切換

デジタルワイヤレスマイク　タイピン型

２台

電波型式	Ｆ１Ｅ／Ｆ１Ｄ
送信周波数	８００ＭＨｚ帯（３０波のうち１波スイッチ切換）
発振方式	ＰＬＬシンセサイザー方式
使用マイクロホン	単一指向性バックエレクトレットコンデンサー型
機　能	デジタル伝送方式、コード設定（１０パターン）、
	セキュリティ設定、送信出力／マイク感度切換

注記）1. 機械耐震固定を行うこと。
2. 姿図及び寸法は参考とする。
3. 主装置は防雷対策を施すこと。

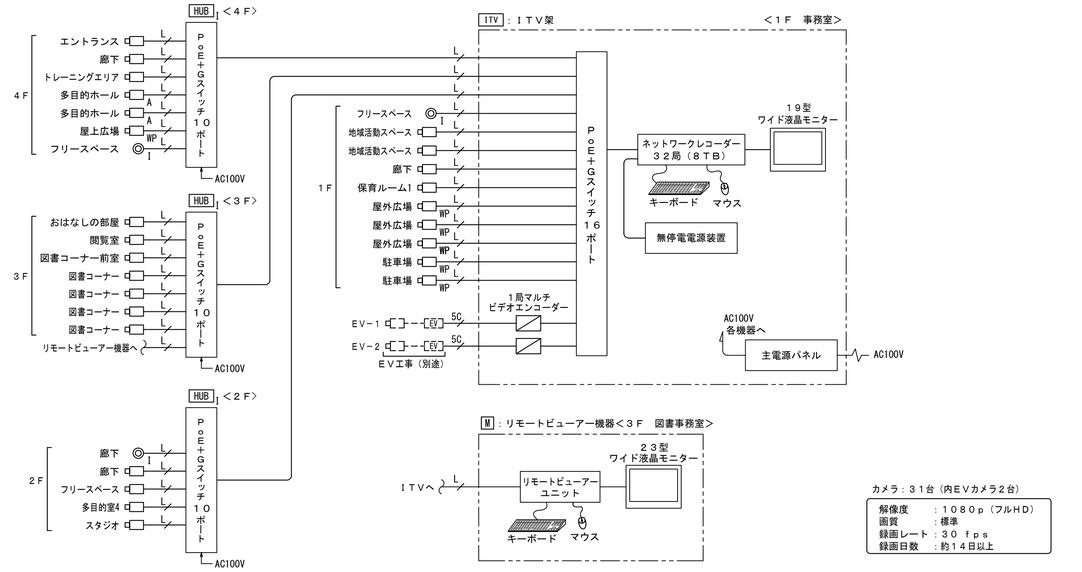
明石市政策局　プロジェクト推進室		西明石地域交流センター　icotto 建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	E	電気設備工事 非常・業務放送設備 機器姿図 N.S	最終版 2025. 02. 28
〈設備設計者〉 一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	47		見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

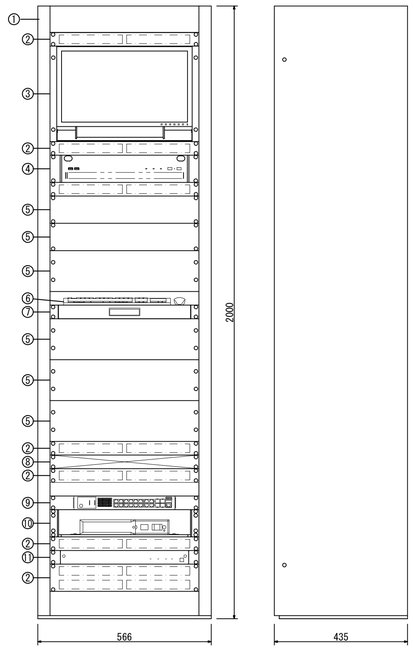
20230220

4 監視カメラ設備

(1) システムブロック図



ITV　ＩＴＶ架

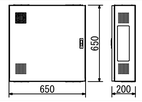


No.	名　称
1	キャビネットラック
2	通気パネル
3	１９型ワイド液晶モニター
4	ネットワークレコーダー
5	ブランクパネル
6	マウス・キーボード
7	スライド棚
8	１局マルチビデオエンコーダー
9	ＰｏＥ＋Ｇスイッチ１６ポート
10	無停電電源装置
11	主電源パネル

電　源	ＡＣ１００Ｖ
■ネットワークレコーダー	
記録メディア	ＳＡＴＡ　ハードディスク　８ＴＢ（４ＴＢ×２）
カメラ録画録音台数	最大３２台
モニター出力	ＨＤＭＩ・ＤｉｓｐｌａｙＰｏｒｔ・アナログＲＧＢ　各１
音声入出力	ライン入力・マイク入力・ライン出力　各１
接点入出力	無電圧メイク接点入力・オープンコレクター出力　各４
ライブ画面表示	１画面、３/４/６/８/９/１５/１６/２４/３６分割 シーケンス
再生画面表示	１画面、４分割、最大１６分割、全方位カメラ画像補正
録画画像サイズ	Ｈ．２６５，Ｈ．２６４：７２０ｐ，１０８０ｐ，２１６０ｐ他
総フレームレート	Ｈ．２６５，Ｈ．２６４：９６０ｆｐｓ（３０ｆｐｓ/台）
リモートビューアー接続台数	最大１６台
デュアルモニター機能	クローンモード、サブモニター（ライブ/マップ表示）
エクスポート機能	動画/静止画、定期バックアップ、ＵＳＢメモリー/外付ＨＤＤ
音声送信	カメラまたはＩＰスピーカーへの個別放送、
	ＩＰスピーカーへのグループ放送
	（最大登録：カメラ・ＩＰスピーカー　各３２台）
センシング連動	別売オプション追加により、対応カメラとの組
	合せでアナログ計器センシング、白杖認識
	滞在・通過人数カウント、顔認証を利用可能
その他	ブリ・ポストアラーム録画、ＮＴＰサーバー/クライアント
	ＰＣレスマップ機能、カメラ制御（ポイントビュー、
	ズームビュー他）ライブ/再生フルスクリーン表示・デジ
	タルズームプログラムイベント機能、ライブ再配信機能
	センシングデータ保存/グラフ表示/ＩＰスピーカー制御
スマートフォンアプリ連携	アプリへのライブ配信/再生配信/プッシュ通知、
（ＴＲＩＦＯＲＡＭｏｂｉｌｅ）	アプリからのリモコン操作/音声操作

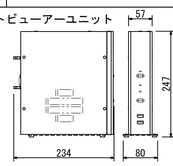
■１９型ワイド液晶モニター	
液晶パネル	１８．５型ワイド　ＴＮ（アンチグレア）
視野角	水平：１７０°、垂直１６０°
入　力	映像×４、音声×３
出　力	音声×１
モニター可動範囲	チルト：上３０°
その他	スピーカー内蔵、スタンド部取り外し可能
■１局マルチビデオエンコーダー	
入　力	カメラ、ＨＤＭＩ、音声、接点
出　力	映像×１、接点×２
マルチエンコード	Ｈ．２６５/Ｈ．２６４：合計３
	ＪＰＥＧ：１
ネットワークＩ/Ｆ	１０ＢＡＳＥ－Ｔ/１００ＢＡＳＥ－ＴＸ
画像圧縮方式	ストリーム１，２，４：Ｈ．２６５，Ｈ．２６４
	ストリーム３：ＪＰＥＧ
画像サイズ	最大１９２０×１０８０
フレームレート	Ｈ．２６５，Ｈ．２６４：最大３０ｆｐｓ
同時アクセス数	１４（ＨＴＴＰＳ機能使用時：８）
機　能	ＳＤカード録画（パスワードロック対応）
	プライバシーマスク、モーションディテクト
	ＡＨＤコンビネーションカメラ制御
	ＡＨＤカメラ制御
拡張機能	通過人数カウント、滞在人数カウント
	プライバシー保護画像生成
■ＰｏＥ＋Ｇスイッチ１６ポート	
ＵＴＰポート数	１０/１００/１０００ＢＡＳＥ－Ｔ：１６ポート
拡張モジュールスロット	ＳＦＰ：４（ポート１３～１６と選択）
給電機能（ＰｏＥ）	１５．４/３０Ｗ（ポート１~１２）最大給電１８５Ｗ
機　能	雷サージ耐性、ＶＬＡＮ，ＱｏＳ、
	リンクアグリゲーション、ＭＳＴＰ/ＲＳＴＰ/ＳＴＰ
バッファー/スイッチング容量	２ＭＢ/３２Ｇｂｐｓ
■無停電電源装置	
出力定格容量	５００ＶＡ（３００Ｗ）
バッテリー	鉛バッテリー
	容量：７．２Ａｈ/６Ｖ×２個
	期待寿命：４~５年（周囲温度２０℃）
停電/復電切換時間	８ｍｓ以内
■その他	
	マウス・キーボード、スライド棚、
	主電源パネル組込

HUB I　ＨＵＢ



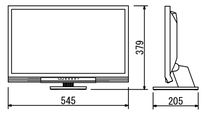
電　源	ＡＣ１００Ｖ
ＵＴＰポート数	１０/１００/１０００ＢＡＳＥ－Ｔ：１０ポート
拡張モジュールスロット	ＳＦＰ：２（ポート９，１０と選択）
給電機能（ＰｏＥ）	１５．４/３０Ｗ（ポート１~８）最大給電６２Ｗ
機　能	雷サージ耐性、ＶＬＡＮ，ＱｏＳ、
	リンクアグリゲーション、ＭＳＴＰ/ＲＳＴＰ/ＳＴＰ
バッファー/スイッチング容量	２ＭＢ/２０Ｇｂｐｓ
その他	端子盤内組込

M　リモートビューアー機器



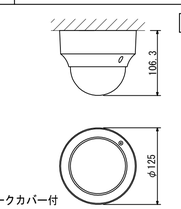
電　源	ＡＣ１００Ｖ（ＡＣアダプター（付属）使用）
モニター出力	ＨＤＭＩ・ＤｉｓｐｌａｙＰｏｒｔ・アナログＲＧＢ　各１
音声入出力	ライン入力・マイク入力・ライン出力　各１
レコーダー登録台数	最大３２台（カメラ最大４０９６台）
ライブ画面表示	１画面、３/４/６/８/９/１５/１６/２４/３６/
	６４分割、シーケンス、最大１２８台同時モニター可
ライブ表示画像サイズ	Ｈ．２６５，Ｈ．２６４：ＨＶＧＡＷ（最大ｃｈ３０ｆｐｓ）
	（高解像度表示機能使用時は録画設定に準じる）
	ＭＰＥＧ－４：Ｄ１（最大ｃｈ３０ｆｐｓ）
再生表示	１画面、４分割、最大１６分割、全方位カメラ画像補正
再生画像	画像サイズ・画質・フレームレートは録画設定に準じる
再生レコーダー台数	最大４台
デュアルモニター機能	クローンモード、サブモニター（ライブ/マップ表示）
エクスポート機能	動画/静止画、ＵＳＢメモリー/外付ＨＤＤ
音声送信	カメラまたはＩＰスピーカーへの同時送信１台
	（最大登録：カメラ４０９６台、ＩＰスピーカー２０４８台）
その他	ＵＰＳ連動、マップ機能、ＮＴＰサーバー/クライアント
	カメラ制御（ポイントビュー、ズームビュー他）
	ライブ/再生フルスクリーン表示・デジタルズーム・
	センシングデータ検索/グラフ表示/ＩＰスピーカー制御
	マウス・キーボード共

２３型ワイド液晶モニター



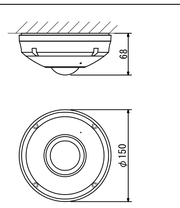
電　源	ＡＣ１００Ｖ
液晶パネル	２３型ワイド　ＩＰＳ（アンチグレア）
視野角	水平：１７８°、垂直１７８°
入　力	映像×４、音声×３
出　力	音声×２
モニター可動範囲	チルト角：－５°~＋３０°（スタンド使用時）
その他	スピーカー内蔵、スタンド部取り外し可能

ドーム型ネットワークカメラ



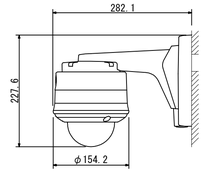
電　源	ＰｏＥ対応
撮像素子	１/２．８型ＣＭＯＳ　２１３万画素
走査方式	プログレッシブ
最低被写体照度	０．０００２ｌｘ（５０％、白黒、Ｆ１．３
ダイナミックレンジ	１２０ｄＢ以上（ワイドダイナミックＨＩＧＨ時）
ネットワークＩ/Ｆ	１０ＢＡＳＥ－Ｔ/１００ＢＡＳＥ－ＴＸ
同時アクセス数	１４（ＨＴＴＰＳ機能使用時：８）
画像圧縮方式	ストリーム１，２，４：Ｈ．２６５，Ｈ．２６４
	ストリーム３：ＪＰＥＧ
画像サイズ	最大１９２０×１０８０
フレームレート	Ｈ．２６５，Ｈ．２６４：最大３０ｆｐｓ
画　角	水平：最大１００°~３４°、垂直：５３°~１９°
機　能	ＩＰ６６、ワイドダイナミック、デイナイト
	モーションディテクト、プライバシーマスク
	切り出しズーム、デジタルノイズリダクション
拡張機能	通過・滞在人数カウント、アナログ計器センシング
	白杖認識、プライバシー保護画像生成、Ｓａｆｉｅクラウド録画
その他	ＲＢＳＳ　２０１８年基準　高度機能５．２．６　性能２対応

全方位ネットワークカメラ



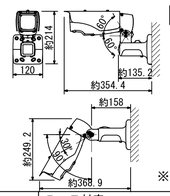
電　源	ＰｏＥ
画　角	水平・垂直・対角：各１８０°（魚眼レンズ）
イメージセンサー	１/２．７型５Ｍプログレッシブ ＣＭＯＳセンサー
ダイナミックレンジ	１２０ｄＢ
デイナイト機能	赤外カットフィルター着脱式
最低被写体照度	０ｌｘ（赤外投光オン時）
赤外投光機能	ＩＲ　ＬＥＤ搭載（１０ｍ先まで有効）
圧縮方式	Ｈ．２６５，Ｈ．２６４，ＭＪＰＥＧ
最大フレームレート	３０ｆｐｓ
最大ストリーム数	４種類同時
ネットワークＩ/Ｆ	１０ＢＡＳＥ－Ｔ/１００ＢＡＳＥ－ＴＸ
同時アクセス数	最大１０
防塵・防水性能	ＩＰ６６
耐衝撃	ＩＫ１０
機　能	３Ｄノイズリダクション、ＯＮＶＩＦ、逆光補正
	ＬＥＤ表示、プライバシーマスク（最大５か所）
	霧補正、寒冷地対応（－３０℃~＋６０℃）

A　耐衝撃型ドーム型ネットワークカメラ



電　源	ＰｏＥ対応
撮像素子	１/２．８型ＣＭＯＳ　２１３万画素
走査方式	プログレッシブ
最低被写体照度	０．０００２ｌｘ（５０％、白黒、Ｆ１．３
	スローシャッター１５/３０秒時、換算値）
ダイナミックレンジ	１２０ｄＢ以上（ワイドダイナミックＨＩＧＨ時）
ネットワークＩ/Ｆ	１０ＢＡＳＥ－Ｔ/１００ＢＡＳＥ－ＴＸ
同時アクセス数	１４（ＨＴＴＰＳ機能使用時：８）
画像圧縮方式	ストリーム１，２，４：Ｈ．２６５，Ｈ．２６４：最大３０ｆｐｓ、ストリーム３：ＪＰＥＧ
画像サイズ	最大１９２０×１０８０
フレームレート	Ｈ．２６５，Ｈ．２６４：最大３０ｆｐｓ
画　角	水平：最大１００°~３４°、垂直：５３°~１９°
機　能	ＩＰ６６、耐衝撃（５０Ｊ）、デイナイト
	モーションディテクト、デジタルノイズリダクション
	切り出しズーム、プライバシーマスク、ワイドダイナミック
拡張機能	通過・滞在人数カウント、アナログ計器センシング
	白杖認識、プライバシー保護画像生成、Ｓａｆｉｅクラウド録画
その他	ＲＢＳＳ　２０１８年基準　高度機能５．２．６　性能２対応、塩害付金具付

WP　屋外ネットワークカメラ



電　源	ＰｏＥ対応
撮像素子	１/２．８型ＣＭＯＳ　２１３万画素
走査方式	プログレッシブ
最低被写体照度	０．０００２ｌｘ（５０％、白黒、Ｆ１．３
	スローシャッター１５/３０秒時、換算値）
ダイナミックレンジ	１２０ｄＢ以上（ワイドダイナミックＨＩＧＨ時）
ネットワークＩ/Ｆ	１０ＢＡＳＥ－Ｔ/１００ＢＡＳＥ－ＴＸ
同時アクセス数	１４（ＨＴＴＰＳ機能使用時：８）
画像圧縮方式	ストリーム１，２，４：Ｈ．２６５，Ｈ．２６４
	ストリーム３：ＪＰＥＧ
画像サイズ	最大１９２０×１０８０
フレームレート	Ｈ．２６５，Ｈ．２６４：最大３０ｆｐｓ
画　角	水平：最大１００°~３４°、垂直：５３°~１９°
機　能	ＩＰ６６、ワイドダイナミック、デイナイト
	モーションディテクト、プライバシーマスク
	切り出しズーム、デジタルノイズリダクション
拡張機能	通過・滞在人数カウント、アナログ計器センシング
	白杖認識、プライバシー保護画像生成、Ｓａｆｉｅクラウド録画
その他	ＲＢＳＳ　２０１８年基準　高度機能５．２．６　性能２対応

注記）1. 機械耐震固定（モニター類含む）を行うこと。
2. 姿図及び寸法は参考とする。
3. 主装置は防雷対策を施すこと。

明石市政策局　プロジェクト推進室		西明石地域交流センター　icotto　建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	E	電気設備工事 監視カメラ設備	最終版　2025.02.28
〈設備設計者〉 一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	48	機器姿図　N.S	見積版　2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

20230220

5 入退室管理設備

(1) システム概要

本システムは、入館・入室制限を行う電気錠扉脇に非接触カードリーダーを設置し、登録された非接触ICカードをかざすことで電気錠を解錠する。

(1)カードリーダーコントローラーを3台設置する。
　カードリーダーコントローラーは、
　1)非接触カードリーダーを最大6系統制御する。
　2)最大登録可能ID数は100種類以上とする。
　3)入室操作、施解錠操作、各種エラー、警報等の操作履歴が蓄積され、履歴保存数は10,000件とする。
　4)停電しても基板のメモリー内に保存されるので、データが消えることはない。

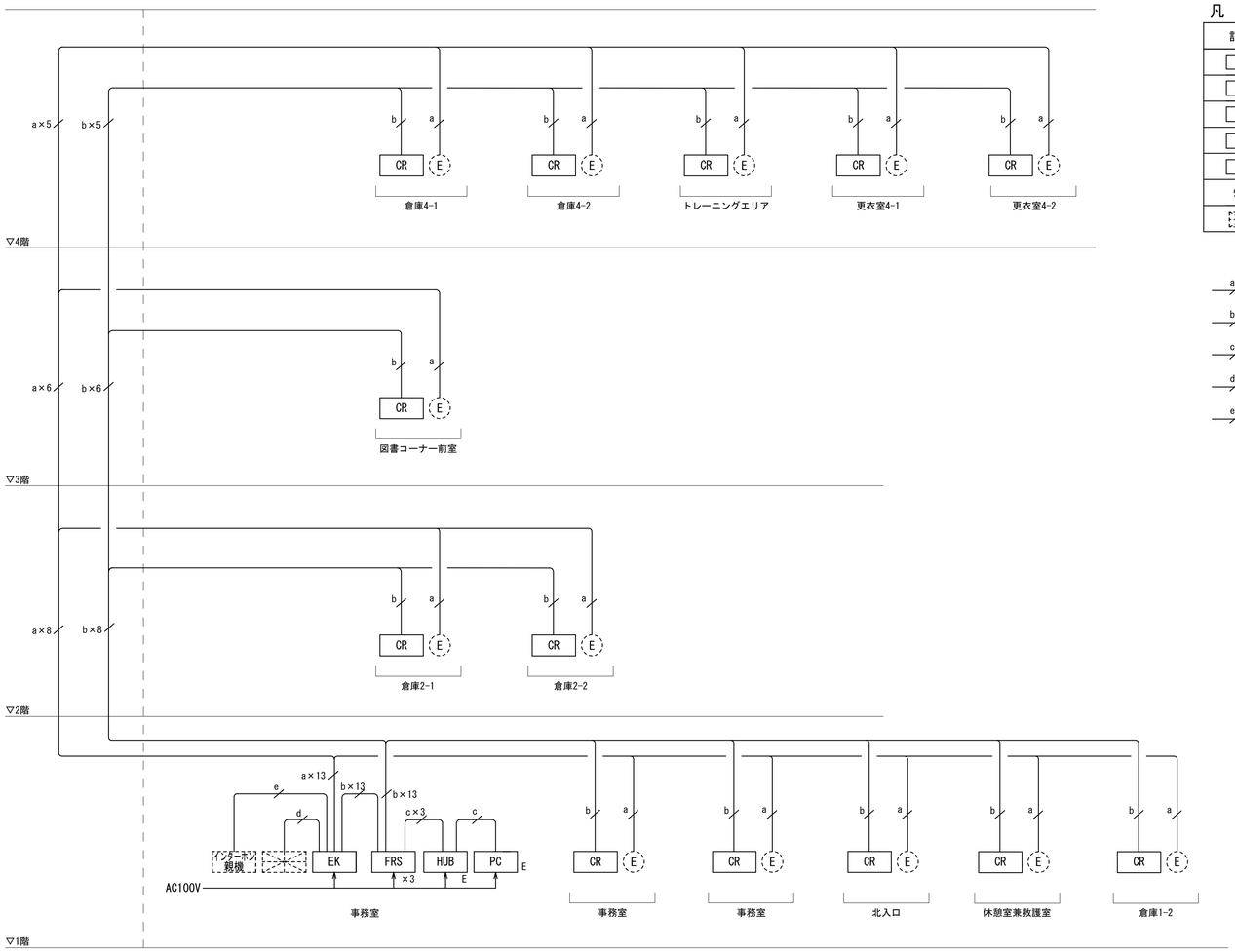
(2)照合を行うゲートには非接触カードリーダーを設置する。
　非接触カードリーダーは、
　1)非接触ICカードを近づける(～3cm)事でカードリーダーコントローラー(FRS-N200T)へデータを出力する。
　2)非接触ICカードの操作結果(照合OK/NG)・異常発生をリーダーの所定のLED及びブザー鳴動にて表示する。

(3)電気錠制御盤を1台設置する。
　電気錠制御盤は、
　1)電気錠を最大13台接続可能。
　2)カードリーダーコントローラーと接続し、非接触ICカードの照合にて電気錠の解錠が可能。
　3)盤面の表示にて扉の開扉・電気錠の施解錠・解錠保持状態の監視が可能。
　4)盤面の操作にて電気錠の施解錠及び解錠保持が可能。
　5)施解錠エラー/扉過開放エラー/こじ開け警報など、警報発生時に制御盤内部ブザーが鳴動する。
　6)盤面の操作にて各種エラーのブザー停止及び警報リセットが可能。
　7)火報信号により制御下の電気錠の一斉解錠が可能。

(4)管理用PCを1台設置する。
　管理用PCは
　1)個人IDの登録・抹消・グループ設定・有効ゲート設定等を行うことが出来る。
　2)ゲートの運用をスケジュールにて行う事が出来る。
　3)IDをCSV形式で書き出し/読み込みが出来る。
　4)操作履歴の保存、CSV形式での書き出しが可能。

(5)その他
　非接触ICカード50枚（写真付）及び登録は本工事とする。

(2) システムブロック図



凡　例

記号	名称	備考
FRS	カードリーダーコントローラー	
CR	非接触カードリーダー	
EK	電気錠制御盤	
HUB E	スイッチングハブ	
PC E	管理用PC	
E	電気錠	建築工事
インターホン親機	火報受信盤	

a — EM-FCPEE 0.9-3P

b — EM-FCPEES 0.9-2P
配線距離1000m以内

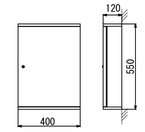
c — EM-UTP0.5-4P(CAT6)
配線距離100m以内

d — EM-HP 0.9-2C

e — EM-AE1.2-3P

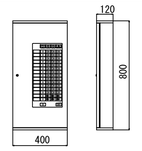
(3) 機器姿図

FRS　カードリーダーコントローラー



電　源	AC100V
材　質	SECC

EK　電気錠制御盤



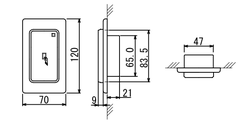
電　源	AC100V
材　質	SECC

PC E　管理用ＰＣ



電　源	AC100V
仕　様	Windows10/オフィスソフト/登録器含む

CR　非接触カードリーダー



電　源	カードリーダーコントローラーより供給
仕　様	1ヶ用スイッチボックス適合
	屋内・屋外兼用

注記）1. 機械耐震固定を行うこと。
　　2. 姿図及び寸法は参考とする。
　　3. 主装置は防雷対策を施すこと。

明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	E	電気設備工事 入退室管理設備 N.S	最終版 2025.02.28
〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築 国土交通大臣登録 第2339号 小林 陽一	49	システム概要、系統図、機器姿図	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

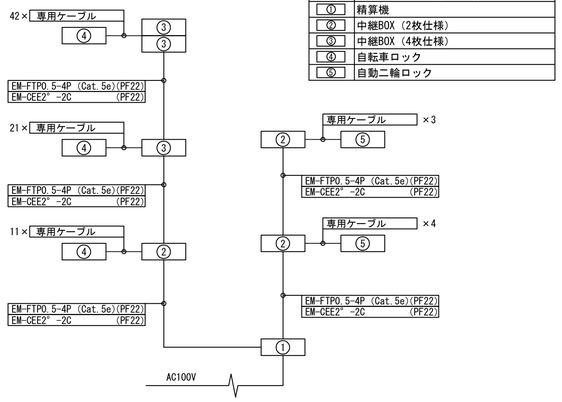
20230220

6 駐輪場管制設備

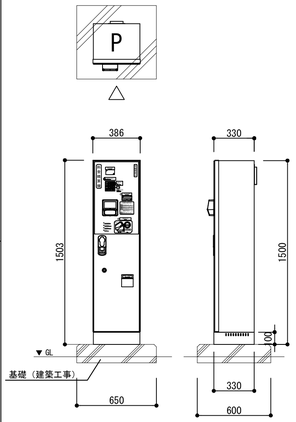
(1) システム系統図

凡例

記号	名称
①	精算機
②	中継BOX（2枚仕様）
③	中継BOX（4枚仕様）
④	自転車ロック
⑤	自動二輪ロック

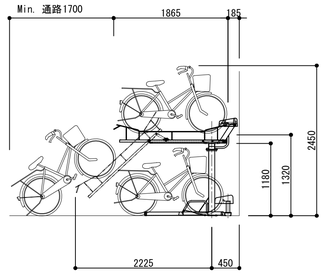


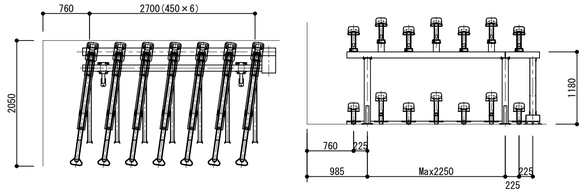
精算機



電源電圧	AC100V
主材	ステンレス、スチール
構成	ディスプレイ（LCD）
	操作キーボード（キー確認音付き）
	ジャーナルプリンター（領収書、管理データ発行）
	コインメック（硬貨識別、つり銭払い出し機能）
	スピーカー（音声案内等）
	防犯機能（扉開閉警報ブザー、扉こじ開け
	防止構造、暗証番号）
	各種電子マネー
	UPS（停電時ロック解錠機能有り）
	ビルバリ（紙幣識別装置）
通信方式	イーサネット（TCP/IP）
管理台数	（精算機）最大設置台数：9台
	（駐輪機）504台/精算機1台
	※最大駐輪機接続台数は1,500台
使用可能金種	10、50、100、500円硬貨
	1000円札 ※新紙幣対応
料金設定	ブロック毎、時間毎、一定時刻毎、車種毎
	段階別等、複数パターンの組み合わせ可能
	初期入庫から無料時間の設定が可能
設置規定	D種接地工事（接地抵抗100Ω以下）
異物侵入保護及び防水	等級IP23準拠

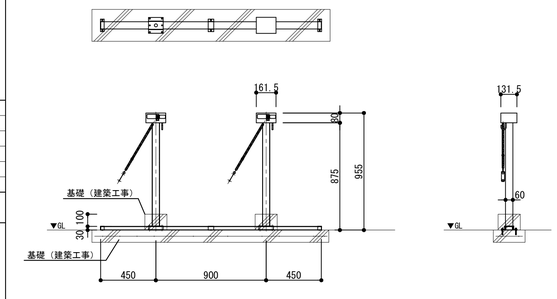
電磁2段式ロック





	部材品	呼び方（寸法）	材料	表面処理	標準色
①	ポスト	１００×１００×ｔ３．２	ＳＴＫＲ４００	粉体塗装	アイボリー　日塗工　Ｙ２５－７５Ｂ
	サポート	Ｌ５０×５０×４	ＳＳ４００	粉体塗装	アイボリー　日塗工　Ｙ２５－７５Ｂ
	ブラケット	ｔ４．５	ＳＰＨＣ	粉体塗装	アイボリー　日塗工　Ｙ２５－７５Ｂ
	フィッティング	ｔ９	ＳＳ４００	粉体塗装	アイボリー　日塗工　Ｙ２５－７５Ｂ
②	ビーム	１００×１００×ｔ３．２	ＳＴＫＲ４００	粉体塗装	アイボリー　日塗工　Ｙ２５－７５Ｂ
	ブラケット	ｔ４．５	ＳＰＨＣ	粉体塗装	アイボリー　日塗工　Ｙ２５－７５Ｂ
③	ワク	ｔ４	ＳＰＨＣ	カチオン粉体塗装	アイボリー　日塗工　Ｙ２５－７５Ｂ
	ローラ受	ｔ６．０	ＳＳ４００	ダクロメッキ	亜鉛メッキ色
	ガススプリング	⌀２７．４	フリーピストン型		
	ストッパーゴム	⌀３０	ネオプレン		黒　色
	上段ローラー（ワク）	⌀３０	ジュラコン		黒　色
④	上段レールポート	ｔ２．３	ＳＧＨＣ	粉体塗装	アイボリー　日塗工　Ｙ２５－７５Ｂ
	ハンドル	⌀１０	ＳＳ４００	メッキ粉体塗装	アイボリー　日塗工　Ｙ２５－７５Ｂ
	ラウンドバー	⌀８	ＳＳ４００	メッキ粉体塗装	アイボリー　日塗工　Ｙ２５－７５Ｂ
	上段ローラー（レール）	⌀４０	ジュラコン		黒　色
⑤	下段レールポート	ｔ２．３	ＺＡＭ		亜鉛メッキ色
	タイヤガイド	ｔ４．５	ＳＳ４００	メッキ粉体塗装	アイボリー　日塗工　Ｙ２５－７５Ｂ
	タイヤストッパ	⌀１８	ＡＢＳ樹脂		オレンジ
	止めビス	Ｍ６×７５Ｌ	ＳＳ４００	ダクロメッキ	亜鉛メッキ色
⑥	ベース	ｔ２．３	ＺＡＭ		亜鉛メッキ色
	ブラケット	６０×６０×ｔ２．３	ＳＴＫＲ４００	粉体塗装	アイボリー　日塗工　Ｙ２５－７５Ｂ
	上段取付Ｂ／Ｎ／Ｗ	Ｍ１０×２５	ＳＳ４００	溶融亜鉛メッキ	亜鉛メッキ色
	ビーム取付Ｂ／Ｎ／Ｗ	Ｍ１０×２５	ＳＳ４００	溶融亜鉛メッキ	亜鉛メッキ色
	下段取付Ｂ／Ｎ／Ｗ	Ｍ８×２５	ＳＳ４００	溶融亜鉛メッキ	亜鉛メッキ色
	ホールインアンカー	Ｍ１２×７０	ＳＳ４００	溶融亜鉛メッキ	亜鉛メッキ色
	ホールインアンカー	Ｍ１０×６０	ＳＳ４００	溶融亜鉛メッキ	亜鉛メッキ色

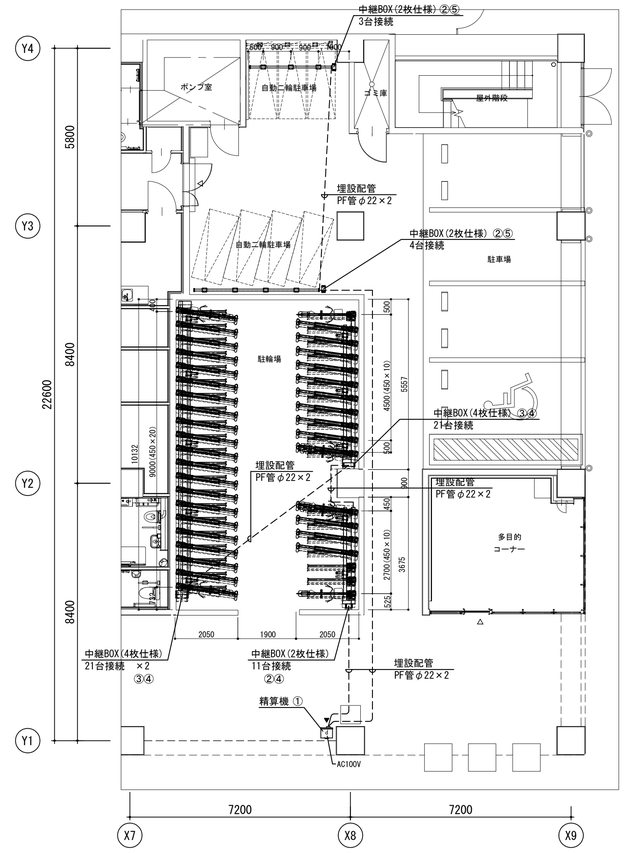
電磁ロック



電磁ロック ヘッド部	ボトムプレート	スチール 2.0t 溶融亜鉛めっき	付属部品	チェーン	ステンレス
	各種内部部品	スチール・ステンレス 溶融亜鉛めっき		チェーンカバー	ビニール
	ヘッドカバー	ステンレス(HL) t1.2		ロックバー	ステンレス t4.0
スタンド部	支柱	ステンレス(HL) □60 t1.5		ベースレール	ステンレス t1.5(上)
	支柱プレート	ステンレス t3.0			ステンレス t1.0(下)
	フック	ステンレス丸棒 φ8		ベース抑え	ステンレス t1.5
				ネジ・ボルト各種	ステンレス
				アンカーボルト	M8×50

(2) 平面図

A1:1/100
A3:1/200



自転車	ピッチ	台数
電磁2段式(上下段)	@450	70台(35set)
電磁2段式(下段のみ)	@450	4台
合計		74台

バイク	ピッチ	台数
電磁ロック	@900	7台

その他機器	数量
精算機	1

凡例

①-②-③：FTP0.5-4P（Cat.5e），EM-CEE2°-2C （埋設配管φ22）

②-④ / ②-⑤ / ③-④ ：専用ケーブル（中継基板～各ラック）

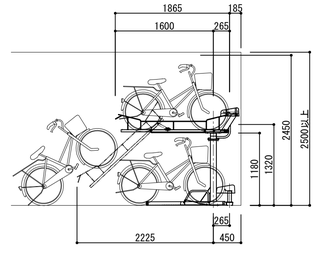
①-1階事務室内 IPカメラドアホン親機：LANケーブル（E51図参照）

(3) 断面図

電磁ロック



電磁2段式



注記）1. 機械耐震固定を行うこと。
2. 姿図及び寸法は参考とする。
3. 主装置は防雷対策を施すこと。

明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	E	電気設備工事 駐輪場管制設備 姿図、平面図	最終版 2025.02.28
〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築 国土交通大臣登録 第2339号 小林 陽一	50	N.S	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

20230220

凡例

記号	名称	備考
	端子盤	
EV	エレベータ制御盤	エレベータ工事
(インターホン設備)		
	モニタ付インターホン端末	傍記は系統を示す
M	外部受付用カメラ付ドアホン	
	増設呼出ボタン	
	電気錠3か所接続アダプター	
EV	エレベータインターホン	エレベータ工事
(非常呼出設備)		
W	非常呼出押ボタン	
	非常呼出押ボタン（ひも付）	
	廊下表示灯	
	復旧ボタン	
n	非常呼出表示窓	nは窓数を示す

記号	名称	備考
(非常・業務放送設備)		
EAMP	非常業務兼用放送アンプ	
RM	業務リモートマイク	
PBX	電話交換器	
YU	誘導灯信号装置	
	天井埋込型スピーカー	SW1Hi-1V0
	天井埋込型スピーカー（ATT付）	SW1Hi-1V3
	天井露出型スピーカー（ATT付）	
WP	防滴型天井スピーカー	耐塩塗装
	壁掛型スピーカー（ATT付）	
	コンパクトスピーカー	
WP	壁付スピーカー （防滴型）	耐塩塗装
G	ホーンスピーカー（ガード付）	
	アッテネータ	
C	カットリレー	
	ワゴン接続プレート	
BGM	BGM機器	

記号	名称	備考
(監視カメラ設備)		
ITV	ITV架	
HUB	ＨＵＢ	
	ドーム型ネットワークカメラ	
WP	屋外ネットワークカメラ	耐塩塗装
A	耐衝撃型ドーム型ネットワークカメラ	
	監視カメラ（エレベーターかご内）	エレベーター工事
I	全方位ネットワークカメラ	
M	監視カメラリモートビューア機器	机上設置
(入退室管理設備)		
EK	電気錠制御盤	
FRS	カードリーダーコントローラー	
HUB E	スイッチングハブ	
PC E	管理用PC	
CR	非接触カードリーダー	
	電気錠	
(機械警備設備)		
P	パッシブセンサー	別途工事
B	開錠ボタン	別途工事

記号	名称	備考
	防火区画貫通処理	
	ケーブルラック（垂直）	
	露出ボックス	丸型
	中継用位置ボックス	カバープレート付
	プルボックス	SS200x200x100C
WP	プルボックス 防水型(SUS製、指定色焼付塗装)	SS200x200x100WP-SUS
	天井隠ぺい配線	
	床隠ぺい配線	
	露出配管	
	天井ころがし配線	
	レースウェイ	電灯設備共用
	配管配線 立上り 立下げ	

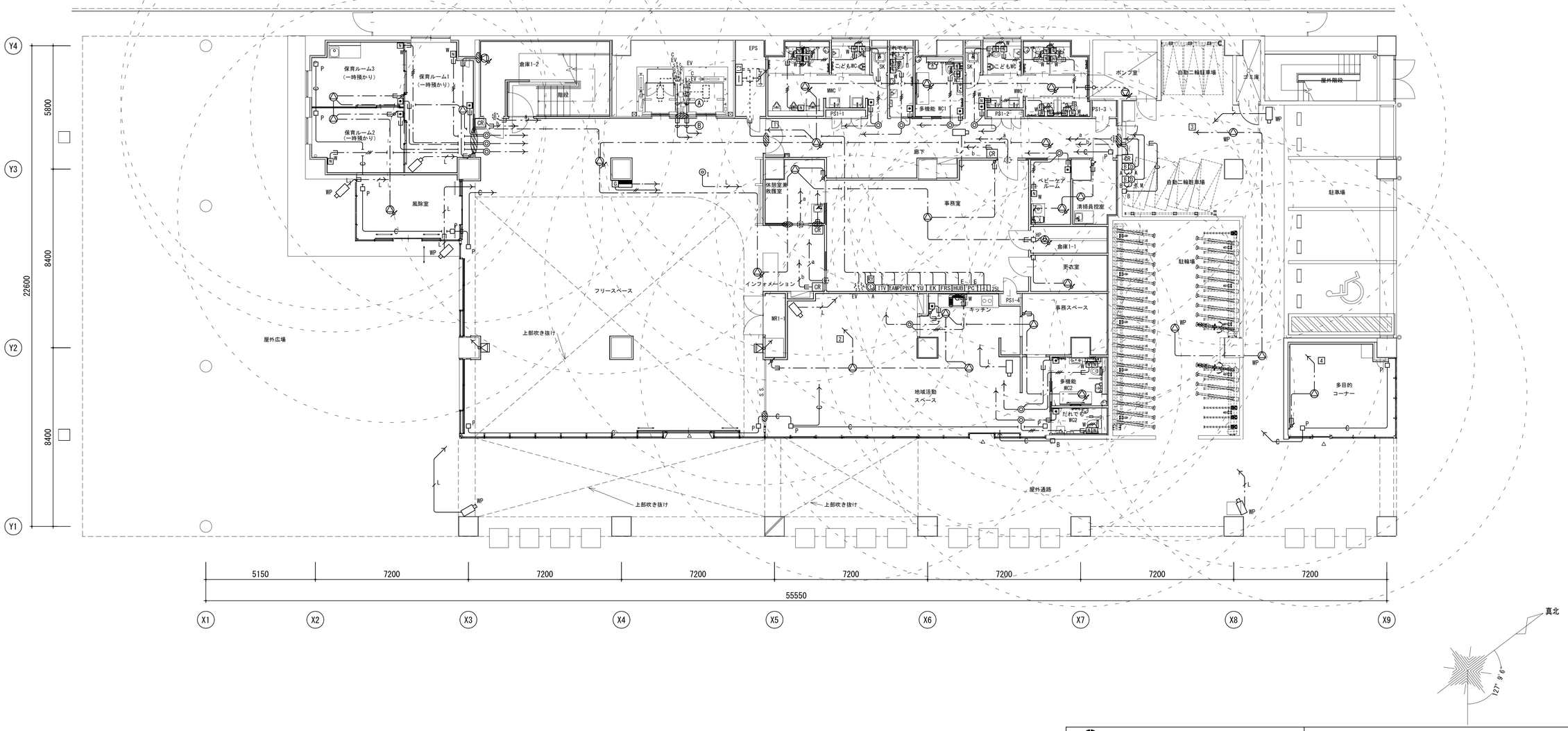
注記

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。
   (1)インターホン設備
   ——— EM-AE1.2-2C (PF16)
   ——— EM-AE1.2-3C (PF16)
   (2)非常呼出設備
   ——— EM-AE1.2-2C (PF16)
   ——— EM-AE1.2-3C (PF16)
   (3)非常・業務放送設備
   —·— EM-HP1.2-3C (PF16)
   - - - - EM-HP1.2-3C (E19) 露出配管
   ——— EM-HP1.2-2C (PF16)
   - - - - EM-HP1.2-2C (E19) 露出配管
   HP ═══ EM-HP1.2-3C (レースウェイ)
   RM ——— EM-HP1.2-5P (PF22)
   —·U·— EM-UTP0.5-4P(CAT6) (PF22)
   (4)監視カメラ設備
   —L— EM-UTP0.5-4P(CAT6)(PF22)
   - L - EM-UTP0.5-4P(CAT6)(E25)露出配管
   —L— EM-UTP0.5-4P(CAT6)(PF22)
   (5)入退室管理設備
   —5— EM-FCPEE 0.9-3P(PF22)
   —b— EM-FCPEES 0.9-2P(PF22)
   (6)機械警備設備
   —c— —C— (PF22)

   二重天井内はケーブル転がし配線とする。但し、壁立下げ等は配管にてケーブル保護とする。
   空配管には全て呼線としてビニル被覆鉄線を挿入のこと。
2. ゾーニング区分図に応じた仕様とすること。 (E07図)
3. 直天井は電灯設備図参照とする。
4. ケーブルラックは弱電共用とする。
5. 2階フロアにおいて、防音壁を貫通する箇所については、防音性能に配慮した貫通処理を施すこと。

Ⓐ		
EM-5C-FB	(PF16)	監視カメラ
EM-HP1.2-3C	(PF16)	放送 EV1 13 EV2 14
EM-FCPEE0.9-20P (E39)		EVインターホン
EM-UTP0.5-4P (Cat5e)	(PF22)	EV連絡用インターホン

Ⓑ		
EM-5C-FB	(天井内転がし)	監視カメラ
EM-HP1.2-3C	(天井内転がし)	放送 EV1 13 EV2 14
EM-FCPEE0.9-20P	(天井内転がし)	EVインターホン
EM-UTP0.5-4P (Cat5e)	(天井内転がし)	EV連絡用インターホン



明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	E	電気設備工事 弱電設備 (2)	最終版 2025. 02. 28
〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築 国土交通大臣登録 第2339号 小林 陽一	51	1階平面図 A1 1:100 A3 1:200	見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

(2023年版)

20230220

凡例

記号	名称	備考
	端子盤	
EV	エレベータ制御盤	エレベータ工事
(インターホン設備)		
	モニタ付インターホン端末	傍記は系統を示す
W	外部受付用カメラ付ドアホン	
	増設呼出ボタン	
	電気錠3か所接続アダプター	
EV	エレベータインターホン	エレベータ工事
(非常呼出設備)		
W	非常呼出押ボタン	
	非常呼出押ボタン（ひも付）	
	廊下表示灯	
	復旧ボタン	
n	非常呼出表示窓	nは窓数を示す

記号	名称	備考
(非常・業務放送設備)		
EAMP	非常業務兼用放送アンプ	
RM	業務リモートマイク	
PBX	電話交換器	
YU	誘導灯信号装置	
	天井埋込型スピーカー	SW1Hi-1V0
	天井埋込型スピーカー（ATT付）	SW1Hi-1V3
	天井露出型スピーカー（ATT付）	
WP	防滴型天井スピーカー	耐塩塗装
	壁掛型スピーカー（ATT付）	
	コンパクトスピーカー	
WP	壁付スピーカー （防滴型）	耐塩塗装
G	ホーンスピーカー（ガード付）	
	アッテネータ	
C	カットリレー	
	ワゴン接続プレート	
BGM	BGM機器	

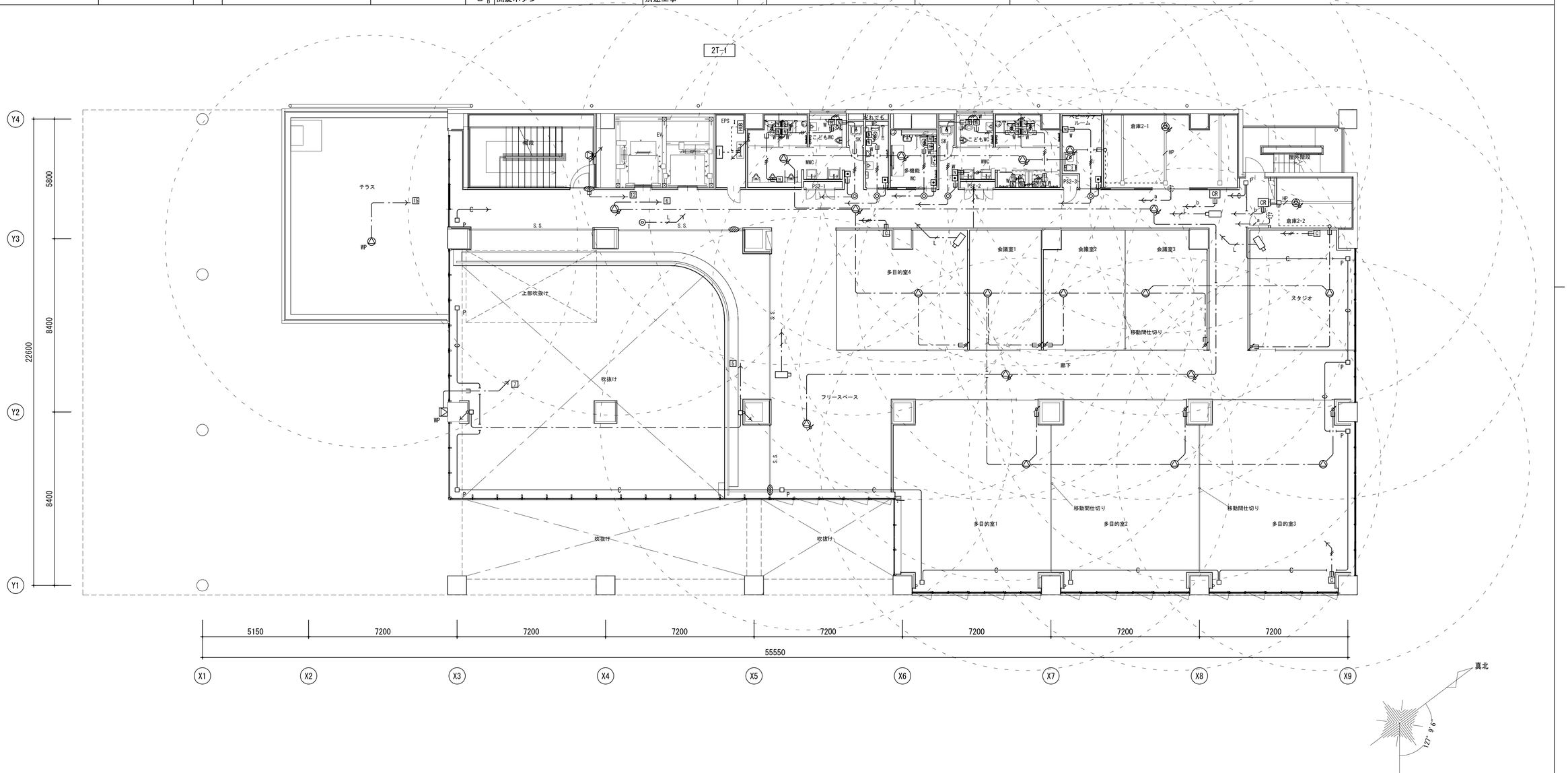
記号	名称	備考
(監視カメラ設備)		
ITV	ITV架	
HUB	ＨＵＢ	
	ドーム型ネットワークカメラ	
WP	屋外ネットワークカメラ	耐塩塗装
A	耐衝撃型ドーム型ネットワークカメラ	
	監視カメラ（エレベーターかご内）	エレベーター工事
I	全方位ネットワークカメラ	
M	監視カメラリモートビューア機器	机上設置
(入退室管理設備)		
EK	電気錠制御盤	
FSC	カードリーダーコントローラー	
HUB E	スイッチングハブ	
PC E	管理用PC	
CR	非接触カードリーダー	
	電気錠	
(機械警備設備)		
P	パッシブセンサー	別途工事
B	開錠ボタン	別途工事

記号	名称	備考
	防火区画貫通処理	
	ケーブルラック（垂直）	
	露出ボックス	丸型
	中継用位置ボックス	カバープレート付
	プルボックス	SS200x200x100C
WP	プルボックス 防水型(SUS製、指定色焼付塗装)	SS200x200x100WP-SUS
	天井隠ぺい配線	
	床隠ぺい配線	
	露出配管	
	天井ころがし配線	
	レースウェイ	電灯設備共用
	配管配線 立上り 立下げ	

注記

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。
   - (1)インターホン設備
     - EM-AE1.2-2C (PF16)
     - EM-AE1.2-3C (PF16)
   - (2)非常呼出設備
     - EM-AE1.2-2C (PF16)
     - EM-AE1.2-3C (PF16)
   - (3)非常・業務放送設備
     - EM-HP1.2-3C (PF16)
     - EM-HP1.2-3C (E19) 露出配管
     - EM-HP1.2-2C (PF16)
     - EM-HP1.2-2C (E19) 露出配管
     - EM-HP1.2-3C (レースウェイ)
     - EM-HP1.2-5P (PF22)
     - EM-UTP0.5-4P(CAT6) (PF22)
   - (4)監視カメラ設備
     - EM-UTP0.5-4P(CAT6) (PF22)
     - EM-UTP0.5-4P(CAT6) (E25)露出配管
     - EM-UTP0.5-4P(CAT6) (PF22)
   - (5)入退室管理設備
     - EM-FCPEE 0.9-3P(PF22)
     - EM-FCPEES 0.9-2P(PF22)
   - (6)機械警備設備
     - C (PF22)

   二重天井内はケーブル転がし配線とする。但し、壁立下げ等は配管にてケーブル保護とする。
   空配管には全て呼線としてビニル被覆鉄線を挿入のこと。
2. ゾーニング区分図に応じた仕様とすること。 (E07図)
3. 直天井は電灯設備図参照とする。
4. ケーブルラックは弱電共用とする。
5. 2階フロアにおいて、防音壁を貫通する箇所については、防音性能に配慮した貫通処理を施すこと。



明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	E	電気設備工事 弱電設備 (2)	最終版 2025.02.28
〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築 国土交通大臣登録 第2339号 小林 陽一	52	2階平面図 A1 1:100 A3 1:200	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

(2023年版)

20230220

凡例

記号	名称	備考
	端子盤	
EV	エレベータ制御盤	エレベータ工事
(インターホン設備)		
	モニタ付インターホン端末	傍記は系統を示す
WM	外部受付用カメラ付ドアホン	
B	増設呼出ボタン	
KY	電気錠3か所接続アダプター	
EV	エレベータインターホン	エレベータ工事
(非常呼出設備)		
WW	非常呼出押ボタン	
N	非常呼出押ボタン（ひも付）	
	廊下表示灯	
	復旧ボタン	
n	非常呼出表示窓	nは窓数を示す

記号	名称	備考
(非常・業務放送設備)		
EAMP	非常業務兼用放送アンプ	
RM	業務リモートマイク	
PBX	電話交換器	
YU	誘導灯信号装置	
WP	天井埋込型スピーカー	SW1Hi-1V0
ATT	天井埋込型スピーカー（ATT付）	SW1Hi-1V3
ATT	天井露出型スピーカー（ATT付）	
WP	防滴型天井スピーカー	耐塩塗装
ATT	壁掛型スピーカー（ATT付）	
	コンパクトスピーカー	
WP	壁付スピーカー（防滴型）	耐塩塗装
G	ホーンスピーカー（ガード付）	
	アッテネータ	
C	カットリレー	
	ワゴン接続プレート	
BGM	BGM機器	

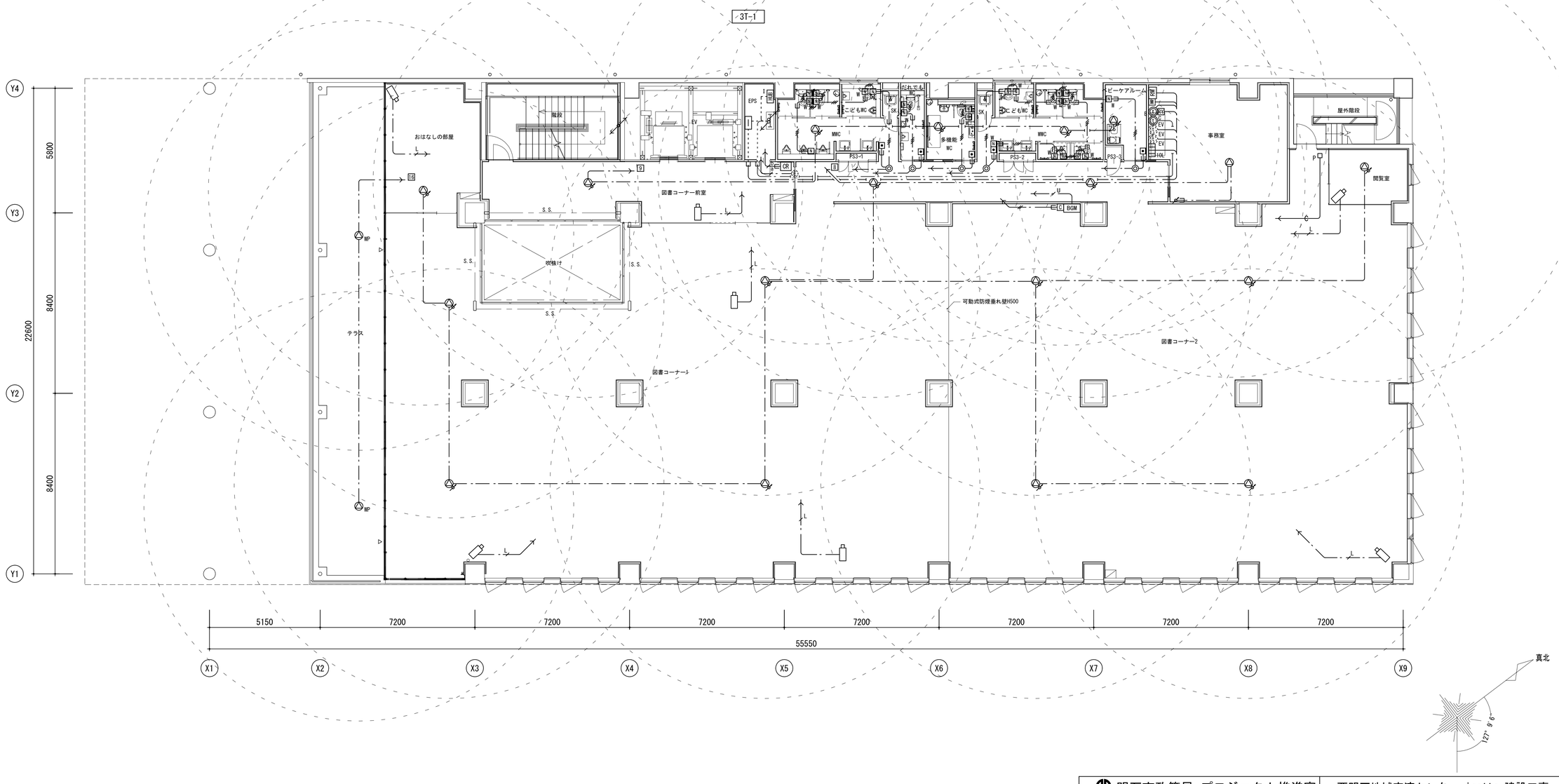
記号	名称	備考
(監視カメラ設備)		
ITV	ITV架	
HUB	ＨＵＢ	
	ドーム型ネットワークカメラ	
WP	屋外ネットワークカメラ	耐塩塗装
A	耐衝撃型ドーム型ネットワークカメラ	
	監視カメラ（エレベーターかご内）	エレベーター工事
I	全方位ネットワークカメラ	
M	監視カメラリモートビューア機器	机上設置
(入退室管理設備)		
EK	電気錠制御盤	
FSC	カードリーダーコントローラー	
HUB E	スイッチングハブ	
PC E	管理用PC	
CR	非接触カードリーダー	
	電気錠	
(機械警備設備)		
P	パッシブセンサー	別途工事
B	開錠ボタン	別途工事

記号	名称	備考
	防火区画貫通処理	
	ケーブルラック（垂直）	
	露出ボックス	丸型
	中継用位置ボックス	カバープレート付
	プルボックス	SS200x200x100C
WP	プルボックス 防水型(SUS製、指定色焼付塗装)	SS200x200x100WP-SUS
	天井隠ぺい配線	
	床隠ぺい配線	
	露出配管	
	天井ころがし配線	
	レースウェイ	電灯設備共用
	配管配線　立上り　立下げ	

注記

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。
   (1)インターホン設備
   ——— EM-AE1.2-2C (PF16)
   ——— EM-AE1.2-3C (PF16)
   (2)非常呼出設備
   ——— EM-AE1.2-2C (PF16)
   ——— EM-AE1.2-3C (PF16)
   (3)非常・業務放送設備
   —— EM-HP1.2-3C (PF16)
   - - - - - - EM-HP1.2-3C (E19) 露出配管
   ——— EM-HP1.2-2C (PF16)
   - - - - - EM-HP1.2-2C (E19) 露出配管
   ═══ EM-HP1.2-3C (レースウェイ)
   ——— EM-HP1.2-5P (PF22)
   —— EM-UTP0.5-4P(CAT6) (PF22)
   (4)監視カメラ設備
   ——— EM-UTP0.5-4P(CAT6) (PF22)
   - - - - - - EM-UTP0.5-4P(CAT6) (E25)露出配管
   ——— EM-UTP0.5-4P(CAT6) (PF22)
   (5)入退室管理設備
   ——— EM-FCPEE 0.9-3P(PF22)
   ——— EM-FCPEES 0.9-2P(PF22)
   (6)機械警備設備
   ——— C ——— C ——— (PF22)

   二重天井内はケーブル転がし配線とする。但し、壁立下げ等は配管にてケーブル保護とする。
   空配管には全て呼線としてビニル被覆鉄線を挿入のこと。
2. ゾーニング区分図に応じた仕様とすること。 (E07図)
3. 直天井は電灯設備図参照とする。
4. ケーブルラックは弱電共用とする。
5. 2階フロアにおいて、防音壁を貫通する箇所については、防音性能に配慮した貫通処理を施すこと。



明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	E	電気設備工事 弱電設備 (2)		最終版 2025. 02. 28
〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築 国土交通大臣登録 第2339号 小林 陽一	53	3階平面図	A1 1:100 A3 1:200	見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所		最終契約版

(2023年版)

20230220

凡例

記号	名称	備考
	端子盤	
EV	エレベータ制御盤	エレベータ工事
(インターホン設備)		
	モニタ付インターホン端末	傍記は系統を示す
M	外部受付用カメラ付ドアホン	
	増設呼出ボタン	
	電気錠3か所接続アダプター	
EV	エレベータインターホン	エレベータ工事
(非常呼出設備)		
W	非常呼出押ボタン	
N	非常呼出押ボタン（ひも付）	
	廊下表示灯	
	復旧ボタン	
n	非常呼出表示窓	nは窓数を示す

記号	名称	備考
(非常・業務放送設備)		
EAMP	非常業務兼用放送アンプ	
RM	業務リモートマイク	
PBX	電話交換器	
YU	誘導灯信号装置	
	天井埋込型スピーカー	SW1Hi-1V0
	天井埋込型スピーカー（ATT付）	SW1Hi-1V3
	天井露出型スピーカー（ATT付）	
WP	防滴型天井スピーカー	耐塩塗装
	壁掛型スピーカー（ATT付）	
	コンパクトスピーカー	
WP	壁付スピーカー （防滴型）	耐塩塗装
G	ホーンスピーカー（ガード付）	
	アッテネータ	
C	カットリレー	
	ワゴン接続プレート	
BGM	BGM機器	

記号	名称	備考
(監視カメラ設備)		
ITV	ITV架	
HUB	ＨＵＢ	
	ドーム型ネットワークカメラ	
WP	屋外ネットワークカメラ	耐塩塗装
A	耐衝撃型ドーム型ネットワークカメラ	
	監視カメラ（エレベーターかご内）	エレベーター工事
I	全方位ネットワークカメラ	
M	監視カメラリモートビューア機器	机上設置
(入退室管理設備)		
EK	電気錠制御盤	
FSC	カードリーダーコントローラー	
HUB E	スイッチングハブ	
PC E	管理用PC	
CR	非接触カードリーダー	
	電気錠	
(機械警備設備)		
P	パッシブセンサー	別途工事
B	開錠ボタン	別途工事

記号	名称	備考
	防火区画貫通処理	
	ケーブルラック（垂直）	
	露出ボックス	丸型
	中継用位置ボックス	カバープレート付
	プルボックス	SS200x200x100C
WP	プルボックス 防水型(SUS製、指定色焼付塗装)	SS200x200x100WP-SUS
	天井隠ぺい配線	
	床隠ぺい配線	
	露出配管	
	天井ころがし配線	
	レースウェイ	電灯設備共用
	配管配線 立上り 立下げ	

注記

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。
   (1)インターホン設備
   - EM-AE1.2-2C (PF16)
   - EM-AE1.2-3C (PF16)

   (2)非常呼出設備
   - EM-AE1.2-2C (PF16)
   - EM-AE1.2-3C (PF16)

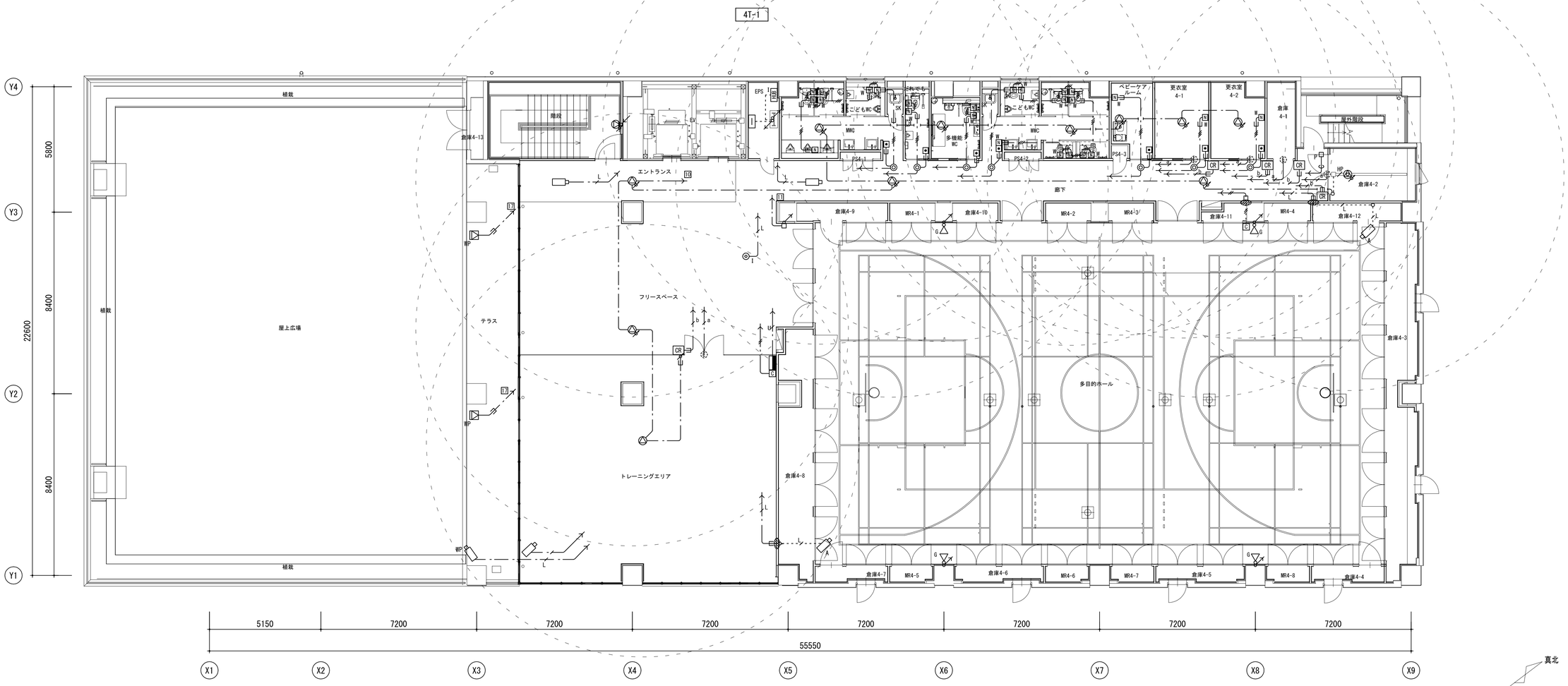
   (3)非常・業務放送設備
   - EM-HP1.2-3C (PF16)
   - EM-HP1.2-3C (E19) 露出配管
   - EM-HP1.2-2C (PF16)
   - EM-HP1.2-2C (E19) 露出配管
   - EM-HP1.2-3C (レースウェイ)
   - EM-HP1.2-5P (PF22)
   - EM-UTP0.5-4P(CAT6) (PF22)

   (4)監視カメラ設備
   - EM-UTP0.5-4P(CAT6) (PF22)
   - EM-UTP0.5-4P(CAT6) (E25)露出配管
   - EM-UTP0.5-4P(CAT6) (PF22)

   (5)入退室管理設備
   - EM-FCPEE 0.9-3P(PF22)
   - EM-FCPEES 0.9-2P(PF22)

   (6)機械警備設備
   - EM-C (PF22)

   二重天井内はケーブル転がし配線とする。但し、壁立下げ等は配管にてケーブル保護とする。
   空配管には全て呼線としてビニル被覆鉄線を挿入のこと。
2. ゾーニング区分図に応じた仕様とすること。（E07図）
3. 直天井は電灯設備図参照とする。
4. ケーブルラックは弱電共用とする。
5. 2階フロアにおいて、防音壁を貫通する箇所については、防音性能に配慮した貫通処理を施すこと。



明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	E	電気設備工事 弱電設備（2）	最終版 2025. 02. 28
〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築 国土交通大臣登録 第2339号 小林 陽一	54	4階平面図 A1 1:100 A3 1:200	見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

20230220

凡例

記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考
	端子盤		(非常・業務放送設備)			(監視カメラ設備)				防火区画貫通処理	
EV	エレベータ制御盤	エレベータ工事	EAMP	非常業務兼用放送アンプ		ITV	ITV架			ケーブルラック(垂直)	
			RM	業務リモートマイク		HUB I	ＨＵＢ			露出ボックス	丸型
(インターホン設備)			PBX	電話交換器			ドーム型ネットワークカメラ			中継用位置ボックス	カバープレート付
	モニタ付インターホン端末	傍記は系統を示す	YU	誘導灯信号装置		WP	屋外ネットワークカメラ	耐塩塗装		プルボックス	SS200x200x100C
M	外部受付用カメラ付ドアホン			天井埋込型スピーカー	SW1Hi-1V0	A	耐衝撃型ドーム型ネットワークカメラ		WP	プルボックス 防水型(SUS製、指定色焼付塗装)	SS200x200x100WP-SUS
B	増設呼出ボタン			天井埋込型スピーカー（ATT付）	SW1Hi-1V3		監視カメラ（エレベーターかご内）	エレベーター工事		天井隠ぺい配線	
BD	電気錠3か所接続アダプター			天井露出型スピーカー（ATT付）		I	全方位ネットワークカメラ			床隠ぺい配線	
EV	エレベータインターホン	エレベータ工事	WP	防滴型天井スピーカー	耐塩塗装	M	監視カメラリモートビューア機器	机上設置		露出配管	
				壁掛型スピーカー（ATT付）						天井ころがし配線	
(非常呼出設備)				コンパクトスピーカー		(入退室管理設備)				レースウェイ	電灯設備共用
W	非常呼出押ボタン		WP	壁付スピーカー　（防滴型）	耐塩塗装	EK	電気錠制御盤			配管配線　立上り　立下げ	
N	非常呼出押ボタン（ひも付）		G	ホーンスピーカー（ガード付）		FSC	カードリーダーコントローラー				
	廊下表示灯			アッテネータ		HUB E	スイッチングハブ				
	復旧ボタン		C	カットリレー		PC E	管理用PC				
n	非常呼出表示窓	nは窓数を示す		ワゴン接続プレート		CR	非接触カードリーダー				
			BGM	BGM機器			電気錠				
(機械警備設備)											
P	パッシブセンサー	別途工事									
B	開錠ボタン	別途工事									

注記

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。
   (1)インターホン設備
   - EM-AE1.2-2C (PF16)
   - EM-AE1.2-3C (PF16)

   (2)非常呼出設備
   - EM-AE1.2-2C (PF16)
   - EM-AE1.2-3C (PF16)

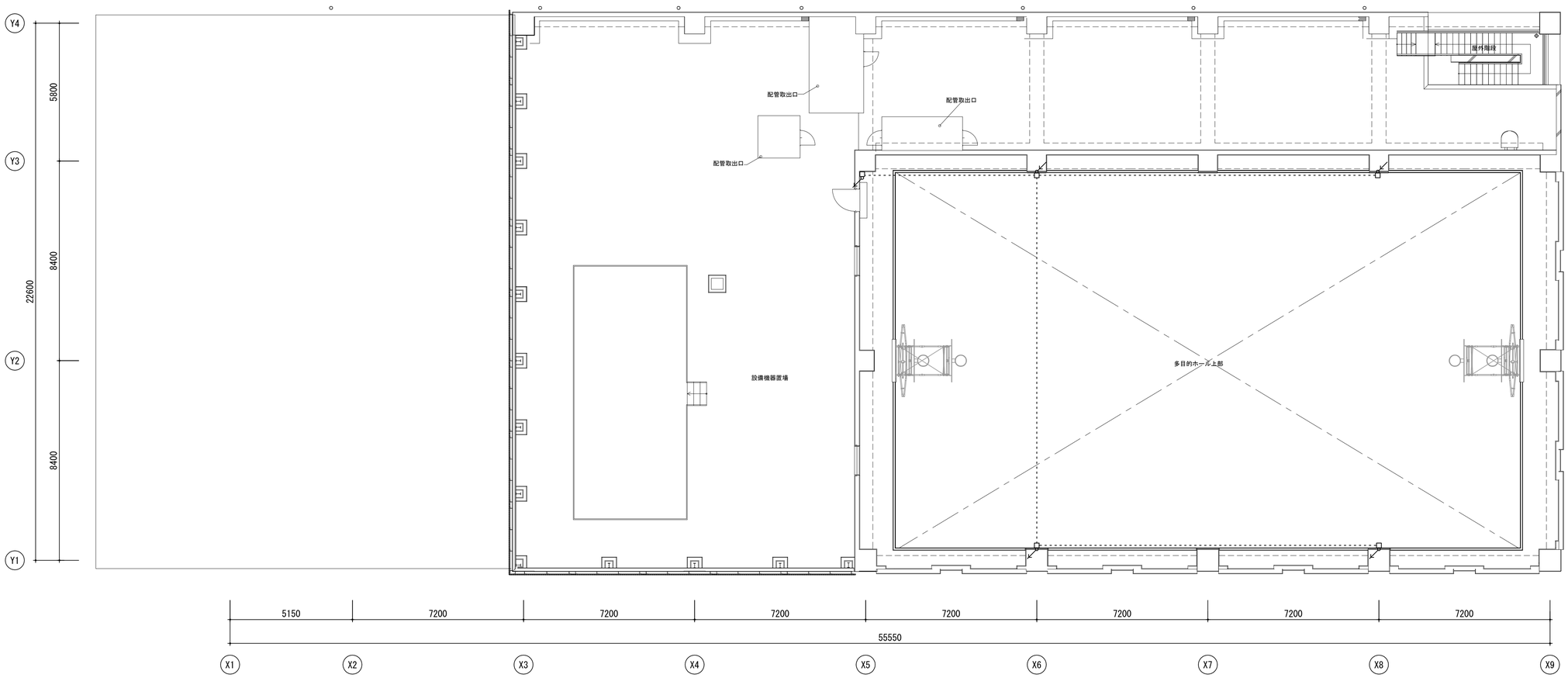
   (3)非常・業務放送設備
   - EM-HP1.2-3C (PF16)
   - EM-HP1.2-3C (E19) 露出配管
   - EM-HP1.2-2C (PF16)
   - EM-HP1.2-2C (E19) 露出配管
   - EM-HP1.2-3C (レースウェイ)
   - EM-HP1.2-5P (PF22)
   - EM-UTP0.5-4P(CAT6) (PF22)

   (4)監視カメラ設備
   - EM-UTP0.5-4P(CAT6) (PF22)
   - EM-UTP0.5-4P(CAT6) (E25)露出配管
   - EM-UTP0.5-4P(CAT6) (PF22)

   (5)入退室管理設備
   - EM-FCPEE 0.9-3P(PF22)
   - EM-FCPEES 0.9-2P(PF22)

   (6)機械警備設備
   - C (PF22)

   二重天井内はケーブル転がし配線とする。但し、壁立下げ等は配管にてケーブル保護とする。
   空配管には全て呼線としてビニル被覆鉄線を挿入のこと。
2. ゾーニング区分図に応じた仕様とすること。 (E07図)
3. 直天井は電灯設備図参照とする。
4. ケーブルラックは弱電共用とする。
5. 2階フロアにおいて、防音壁を貫通する箇所については、防音性能に配慮した貫通処理を施すこと。

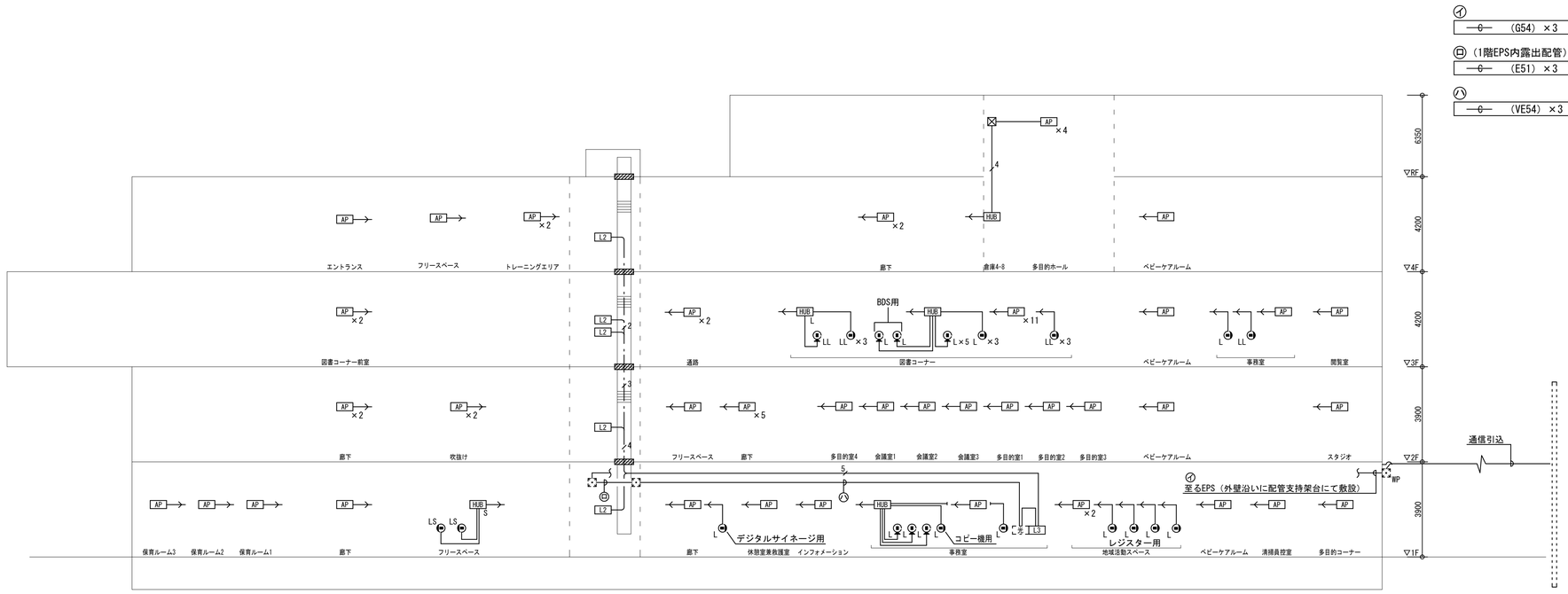


明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	E	電気設備工事 弱電設備 (2)	最終版 2025.02.28
〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築 国土交通大臣登録 第2339号 小林 陽一	55	R階平面図 A1 1:100 A3 1:200	見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

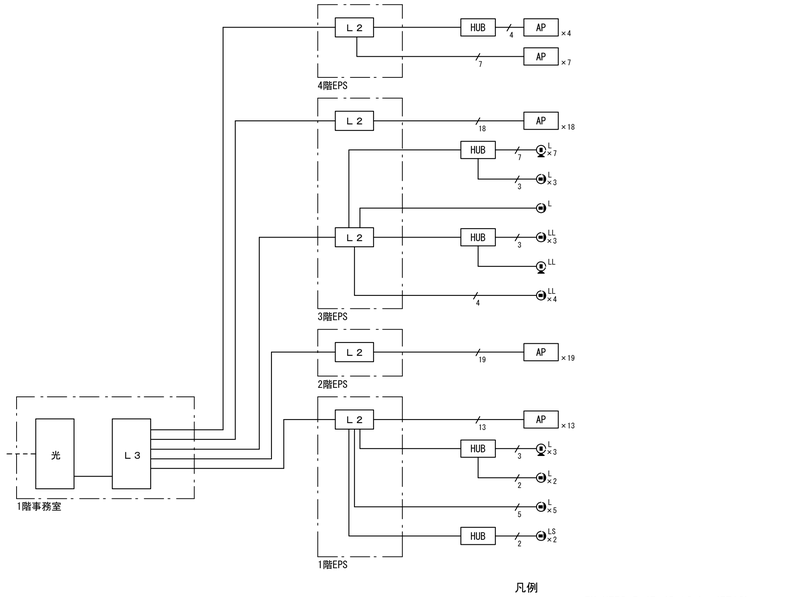
20230220

1 構内情報通信設備

(1) 系統図



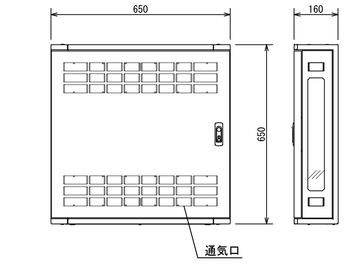
(2) システム系統図

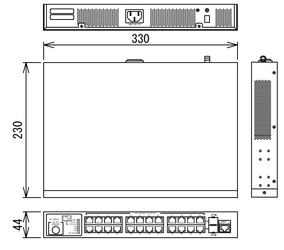


(3) 機器姿図

L2 L2スイッチ収納箱

L2スイッチングHUB（24ポート）収容

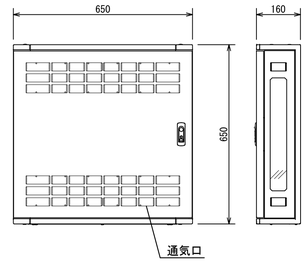


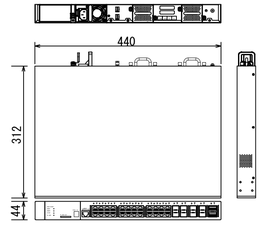


L2スイッチングHUB（24ポート）

L3 L3スイッチ収納箱

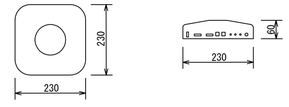
L3スイッチングHUB（24ポート）収容





L3スイッチングHUB（24ポート）

AP 無線アクセスポイント（別途工事）（参考）



HUB HUB（16ポート）

※一般回線、図書館回線、選挙回線共

伝送速度　：10Gbps
インターフェース：10GBASE-T
仕様　：カテゴリー6A以上

凡例

記号	名称	備考
光	光成端箱	別途工事
L3	L3スイッチングHUB（24ポート）	
L2	L2スイッチングHUB（24ポート）	
HUB	HUB（16ポート）	
HUB L	HUB（16ポート）	図書館回線
HUB S	HUB（16ポート）	選挙回線
L	情報用受口　壁面取付(CAT5E UTP)	一般回線 8極8芯モジュラジャック
L	情報用受口 床面取付(CAT5E UTP)(受口収納型)	一般回線 8極8芯モジュラジャック
LL	情報用受口　壁面取付(CAT5E UTP)	図書館回線 8極8芯モジュラジャック
LL	情報用受口 床面取付(CAT5E UTP)(受口収納型)	図書館回線 8極8芯モジュラジャック
LS	情報用受口　壁面取付(CAT5E UTP)	選挙回線 8極8芯モジュラジャック
AP	無線アクセスポイント	別途工事
	ケーブルラック	弱電共用
	防火区画貫通処理	国土交通大臣認定

注記
1. 図中、特記なき配管配線は下記による。
   - ——— EM-UTP0.5-4P(Cat6a)(PF16)
   - — — — EM-UTP0.5-4P(Cat6a)(PF16)
   - ———4 EM-UTP0.5-4P(Cat6a)×4（PF22）
   - ---------- EM-UTP0.5-4P(Cat6a)(E19)露出配管
   - —— - EM-UTP0.5-4P(Cat6a)　（ケーブルラック内ころがし）
   - ——-2 EM-UTP0.5-4P(Cat6a)×2（ケーブルラック内ころがし）
   - ——-3 EM-UTP0.5-4P(Cat6a)×3（ケーブルラック内ころがし）
   - ——-4 EM-UTP0.5-4P(Cat6a)×4（ケーブルラック内ころがし）
   - ———5 EM-UTP0.5-4P(Cat6a)×6（E31）

   二重天井内はケーブル転がし配線とする。
   但し、壁立下げ等は配管にてケーブル保護とする。

2. 直天井は電灯設備参照とする。
3. プルボックスの仕様・サイズは平面図参照とする。
4. 図中 ▨ は防火区画貫通処理（国土交通大臣認定）を示す。

注記）1. 機械耐震固定を行うこと。
2. 姿図及び寸法は参考とする。
3. 主装置は防雷対策を施すこと。

明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	E	電気設備工事 弱電設備（構内情報通信） 系統図、姿図 N.S
〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築 国土交通大臣登録 第2339号 小林 陽一	56	安井建築設計事務所

最終版 2025.02.28
見積版 2024.12.16
最終契約版

（2023年版）

20230220

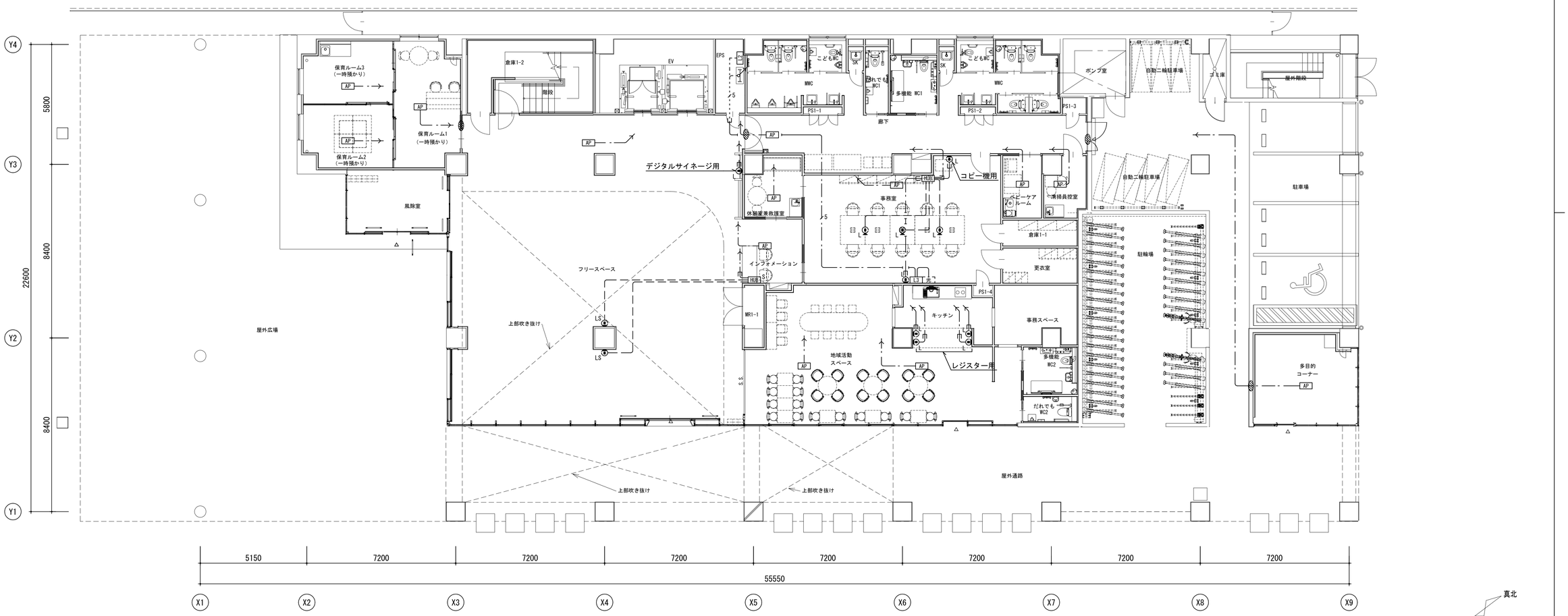
凡例

記号	名　　称	備　　考	記号	名　　称	備　　考
⛶	光成端箱	別途工事	▨	防火区画貫通処理	
L3	L3スイッチングHUB（24ポート）		⊢⊣	ケーブルラック(垂直)	
L2	L2スイッチングHUB（24ポート）		○	露出ボックス	丸型
HUB	HUB（16ポート）		☒	プルボックス	
HUB L	HUB（16ポート）	図書館回線	☒ WP	プルボックス 防水型(SUS製、指定色焼付塗装)	
HUB S	HUB（16ポート）	選挙回線	ー・ー	天井ころがし配線	
L	情報用受口　壁面取付(CAT5E UTP)	一般回線 8極8芯モジュラジャック	ー ー ー	床隠ぺい配線	
L	情報用受口 床面取付(CAT5E UTP)(受口収納型)	一般回線 8極8芯モジュラジャック	------	露出配管	
LL	情報用受口　壁面取付(CAT5E UTP)	図書館回線 8極8芯モジュラジャック	——o——	空配管	
LL	情報用受口 床面取付(CAT5E UTP)(受口収納型)	図書館回線 8極8芯モジュラジャック		配管配線　立上り　立下げ	
LS	情報用受口　壁面取付(CAT5E UTP)	選挙回線 8極8芯モジュラジャック			
AP	無線アクセスポイント	別途工事			
AP G	無線アクセスポイント（ガード付）	別途工事			

注記

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。
   - ———— EM-UTP0.5-4P(Cat6a)(PF16)
   - — — — EM-UTP0.5-4P(Cat6a)(PF16)
   - ---------- EM-UTP0.5-4P(Cat6a)(E19)露出配管
   - —— ⁵ EM-UTP0.5-4P(Cat6a)×5
   - ------ ⁵ EM-UTP0.5-4P(Cat6a)×5(E31)露出配管

   二重天井内はケーブル転がし配線とする。
   但し、壁立下げ等は配管にてケーブル保護とする。
2. ゾーニング区分図に応じた仕様とすること。（E07図）
3. 直天井は電灯設備図参照とする。
4. ケーブルラックは弱電共用とする。
5. 幹線ケーブルについては系統図参照とする。
6. プルボックスの仕様・サイズは下記による。
   ☒331：SS300×300×100
7. 2階フロアにおいて、防音壁を貫通する箇所については、防音性能に配慮した貫通処理を施すこと。



明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto 建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	E	電気設備工事 構内情報通信網設備	最終版　2025. 02. 28
〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	57	1階平面図　A1　1:100　A3　1:200	見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

20230220

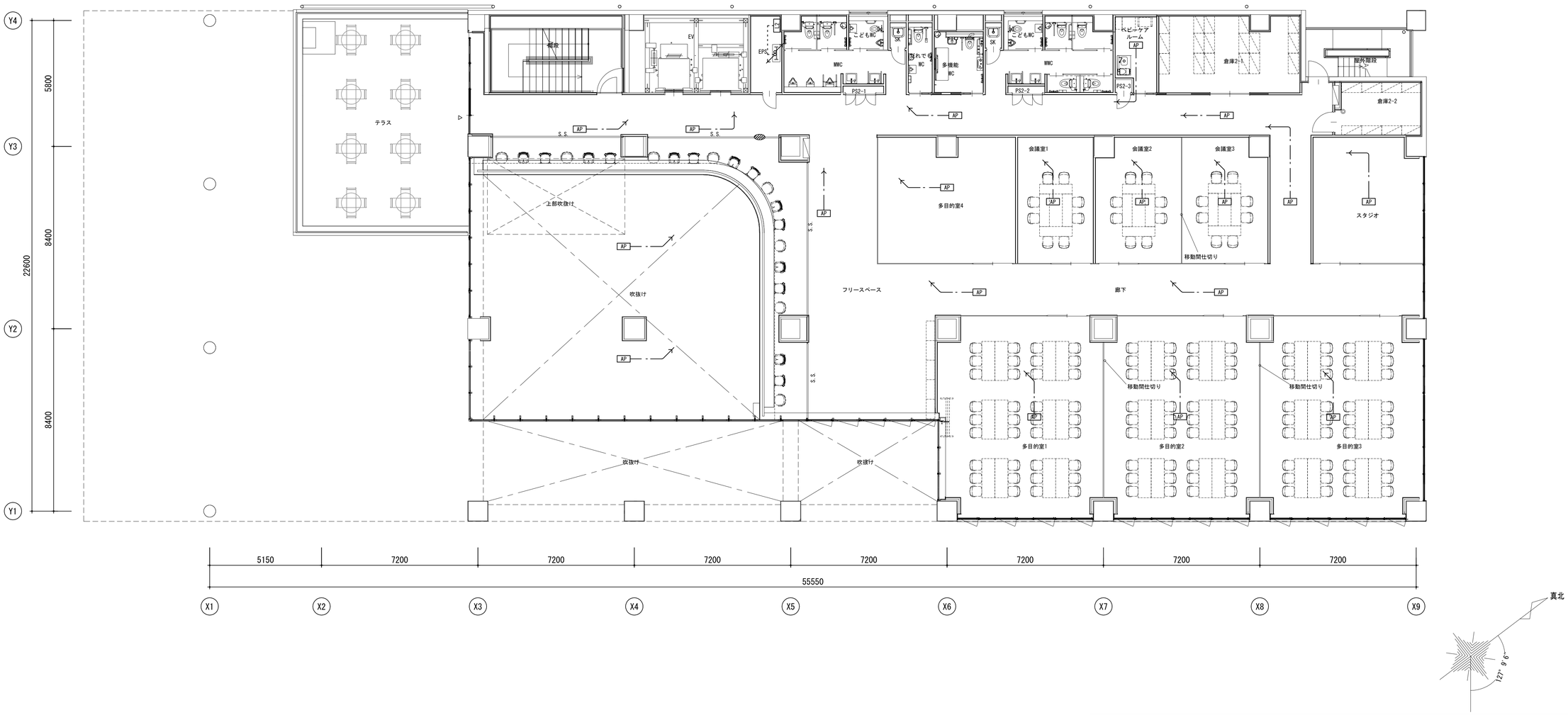
凡例

記号	名　　称	備　　考	記号	名　　称	備　　考
	光成端箱	別途工事		防火区画貫通処理	
L3	L3スイッチングHUB（24ポート）			ケーブルラック（垂直）	
L2	L2スイッチングHUB（24ポート）		○	露出ボックス	丸型
HUB	HUB（16ポート）		⊠	プルボックス	
HUB L	HUB（16ポート）	図書館回線	⊠ WP	プルボックス 防水型(SUS製、指定色焼付塗装)	
HUB S	HUB（16ポート）	選挙回線		天井ころがし配線	
L	情報用受口　壁面取付(CAT5E UTP)	一般回線 8極8芯モジュラジャック		床隠ぺい配線	
L	情報用受口 床面取付(CAT5E UTP)(受口収納型)	一般回線 8極8芯モジュラジャック		露出配管	
LL	情報用受口　壁面取付(CAT5E UTP)	図書館回線 8極8芯モジュラジャック		空配管	
LL	情報用受口 床面取付(CAT5E UTP)(受口収納型)	図書館回線 8極8芯モジュラジャック		配管配線　立上り　立下げ	
LS	情報用受口　壁面取付(CAT5E UTP)	選挙回線 8極8芯モジュラジャック			
AP	無線アクセスポイント	別途工事			
AP G	無線アクセスポイント（ガード付）	別途工事			

注記

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。
   - ———— EM-UTP0.5-4P(Cat6a)(PF16)
   - — — — EM-UTP0.5-4P(Cat6a)(PF16)
   - ---------- EM-UTP0.5-4P(Cat6a)(E19)露出配管
   - —-5- EM-UTP0.5-4P(Cat6a)×5
   - ------5- EM-UTP0.5-4P(Cat6a)×5(E31)露出配管

   二重天井内はケーブル転がし配線とする。
   但し、壁立下げ等は配管にてケーブル保護とする。
2. ゾーニング区分図に応じた仕様とすること。（E07図）
3. 直天井は電灯設備図参照とする。
4. ケーブルラックは弱電共用とする。
5. 幹線ケーブルについては系統図参照とする。
6. プルボックスの仕様・サイズは下記による。
   ⊠331：SS300×300×100
7. 2階フロアにおいて、防音壁を貫通する箇所については、防音性能に配慮した貫通処理を施すこと。



明石市政策局　プロジェクト推進室		西明石地域交流センター　icotto　建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	E	電気設備工事 構内情報通信網設備 2階平面図　A1 1:100　A3 1:200	最終版　2025. 02. 28
〈設備設計者〉 一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	58		見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

20230220

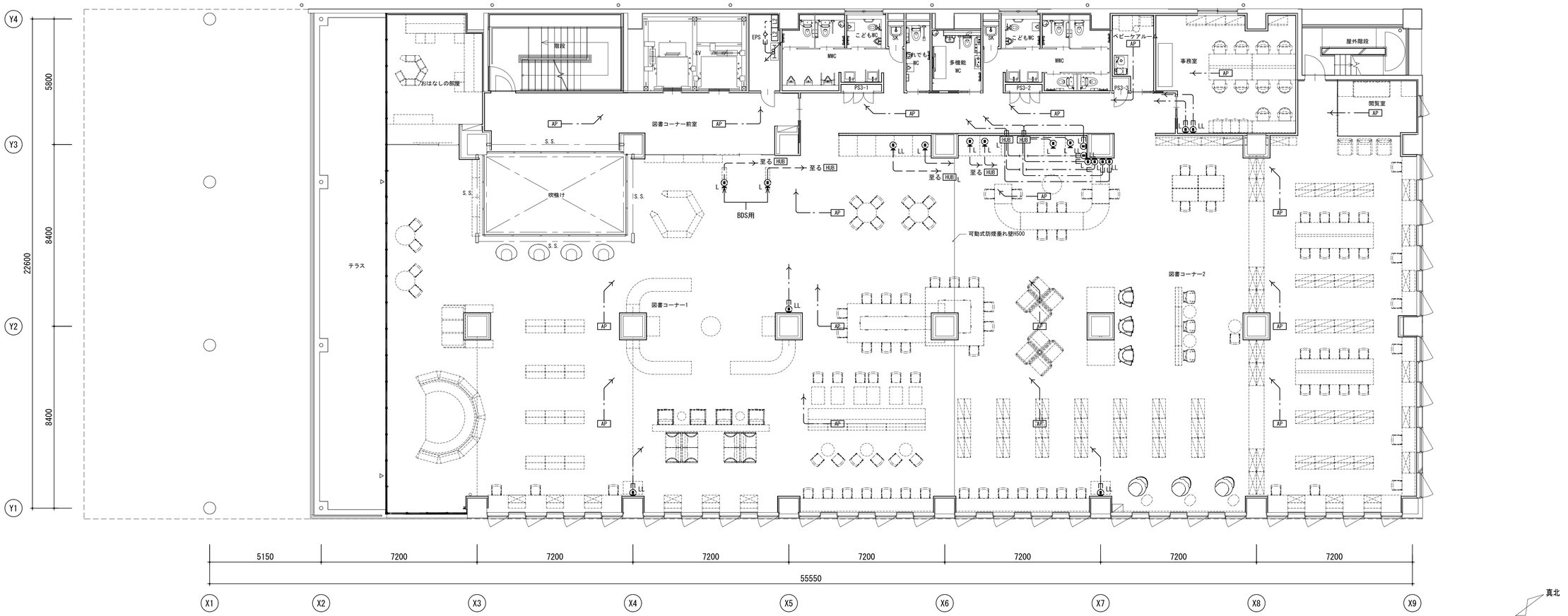
凡例

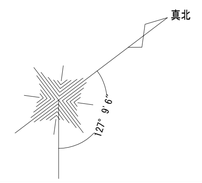
記号	名　　称	備　　考	記号	名　　称	備　　考
⛶	光成端箱	別途工事	⊘	防火区画貫通処理	
L3	L3スイッチングHUB（24ポート）		⊢⊣	ケーブルラック(垂直)	
L2	L2スイッチングHUB（24ポート）		○	露出ボックス	丸型
HUB	HUB（16ポート）		☒	プルボックス	
HUB L	HUB（16ポート）	図書館回線	☒ WP	プルボックス 防水型(SUS製、指定色焼付塗装)	
HUB S	HUB（16ポート）	選挙回線	― ・ ―	天井ころがし配線	
L	情報用受口　壁面取付(CAT5E UTP)	一般回線 8極8芯モジュラジャック	― ― ―	床隠ぺい配線	
L	情報用受口 床面取付(CAT5E UTP)(受口収納型)	一般回線 8極8芯モジュラジャック	------	露出配管	
LL	情報用受口　壁面取付(CAT5E UTP)	図書館回線 8極8芯モジュラジャック	―o―	空配管	
LL	情報用受口 床面取付(CAT5E UTP)(受口収納型)	図書館回線 8極8芯モジュラジャック		配管配線　立上り　立下げ	
LS	情報用受口　壁面取付(CAT5E UTP)	選挙回線 8極8芯モジュラジャック			
AP	無線アクセスポイント	別途工事			
AP G	無線アクセスポイント（ガード付）	別途工事			

注記

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。
   - ――――　EM-UTP0.5-4P(Cat6a)(PF16)
   - ― ― ―　EM-UTP0.5-4P(Cat6a)(PF16)
   - ・・・・・・・・・　EM-UTP0.5-4P(Cat6a)(E19)露出配管
   - ― ・ ―（5）　EM-UTP0.5-4P(Cat6a)×5
   - ・・・・・・・（5）　EM-UTP0.5-4P(Cat6a)×5(E31)露出配管

   二重天井内はケーブル転がし配線とする。
   但し、壁立下げ等は配管にてケーブル保護とする。
2. ゾーニング区分図に応じた仕様とすること。（E07図）
3. 直天井は電灯設備図参照とする。
4. ケーブルラックは弱電共用とする。
5. 幹線ケーブルについては系統図参照とする。
6. プルボックスの仕様・サイズは下記による。
   ☒331：SS300×300×100
7. 2階フロアにおいて、防音壁を貫通する箇所については、防音性能に配慮した貫通処理を施すこと。





明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章 〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	E	電気設備工事 構内情報通信網設備 3階平面図　A1 1:100　A3 1:200	最終版　2025. 02. 28 見積版　2024. 12. 16
	59		
		安井建築設計事務所	最終契約版

20230220

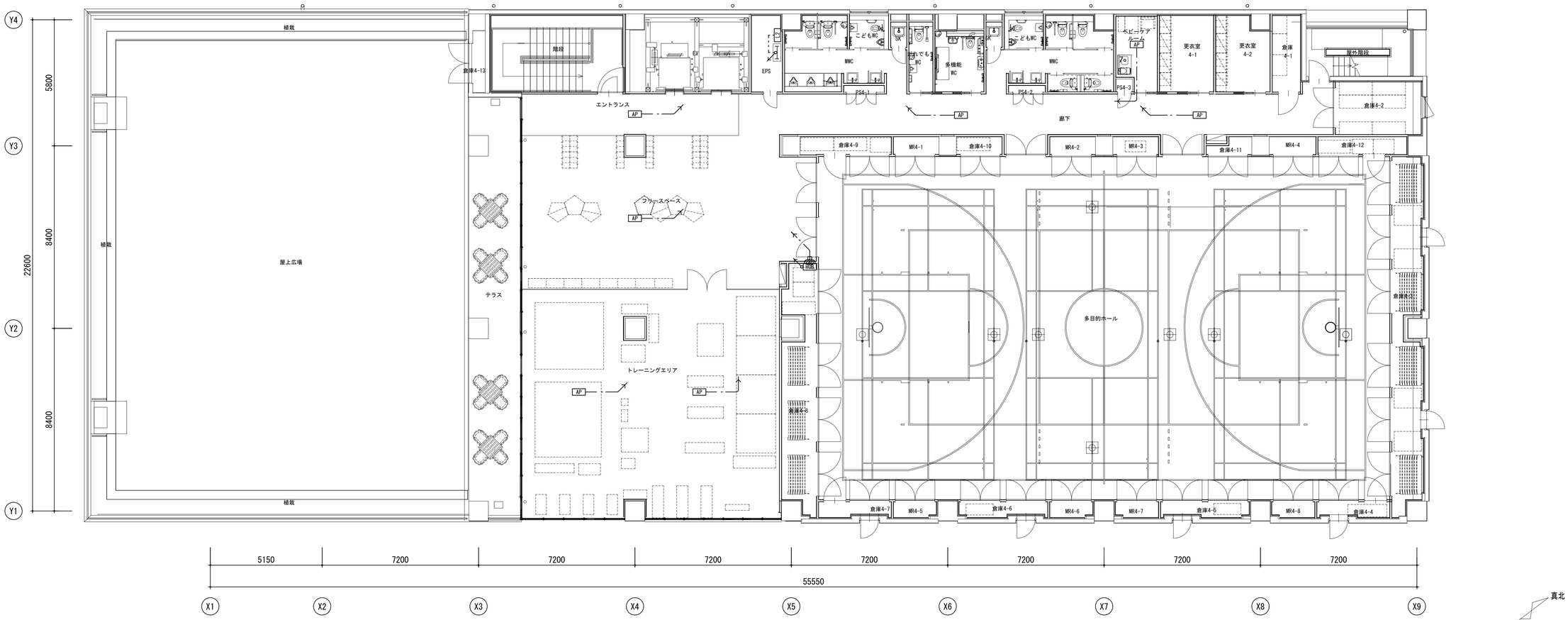
凡例

記号	名　　称	備　　考	記号	名　　称	備　　考
	光成端箱	別途工事		防火区画貫通処理	
L3	L3スイッチングHUB（24ポート）			ケーブルラック（垂直）	
L2	L2スイッチングHUB（24ポート）			露出ボックス	丸型
HUB	HUB（16ポート）			プルボックス	
HUB L	HUB（16ポート）	図書館回線	WP	プルボックス 防水型（SUS製、指定色焼付塗装）	
HUB S	HUB（16ポート）	選挙回線		天井ころがし配線	
L	情報用受口　壁面取付(CAT5E UTP)	一般回線 8極8芯モジュラジャック		床隠ぺい配線	
L	情報用受口 床面取付(CAT5E UTP)(受口収納型)	一般回線 8極8芯モジュラジャック		露出配管	
LL	情報用受口　壁面取付(CAT5E UTP)	図書館回線 8極8芯モジュラジャック		空配管	
LL	情報用受口 床面取付(CAT5E UTP)(受口収納型)	図書館回線 8極8芯モジュラジャック		配管配線　立上り　立下げ	
LS	情報用受口　壁面取付(CAT5E UTP)	選挙回線 8極8芯モジュラジャック			
AP	無線アクセスポイント	別途工事			
AP G	無線アクセスポイント（ガード付）	別途工事			

注記

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。
   - ———— EM-UTP0.5-4P(Cat6a)(PF16)
   - — — — EM-UTP0.5-4P(Cat6a)(PF16)
   - ---------- EM-UTP0.5-4P(Cat6a)(E19)露出配管
   - —— 5 EM-UTP0.5-4P(Cat6a)×5
   - ------ 5 EM-UTP0.5-4P(Cat6a)×5(E31)露出配管

   二重天井内はケーブル転がし配線とする。
   但し、壁立下げ等は配管にてケーブル保護とする。
2. ゾーニング区分図に応じた仕様とすること。（E07図）
3. 直天井は電灯設備図参照とする。
4. ケーブルラックは弱電共用とする。
5. 幹線ケーブルについては系統図参照とする。
6. プルボックスの仕様・サイズは下記による。
   ☒331：SS300×300×100
7. 2階フロアにおいて、防音壁を貫通する箇所については、防音性能に配慮した貫通処理を施すこと。



明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto　建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	E	電気設備工事 構内情報通信網設備 4階平面図　A1　1:100　A3　1:200	最終版　2025.02.28
〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	60		見積版　2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

20230220

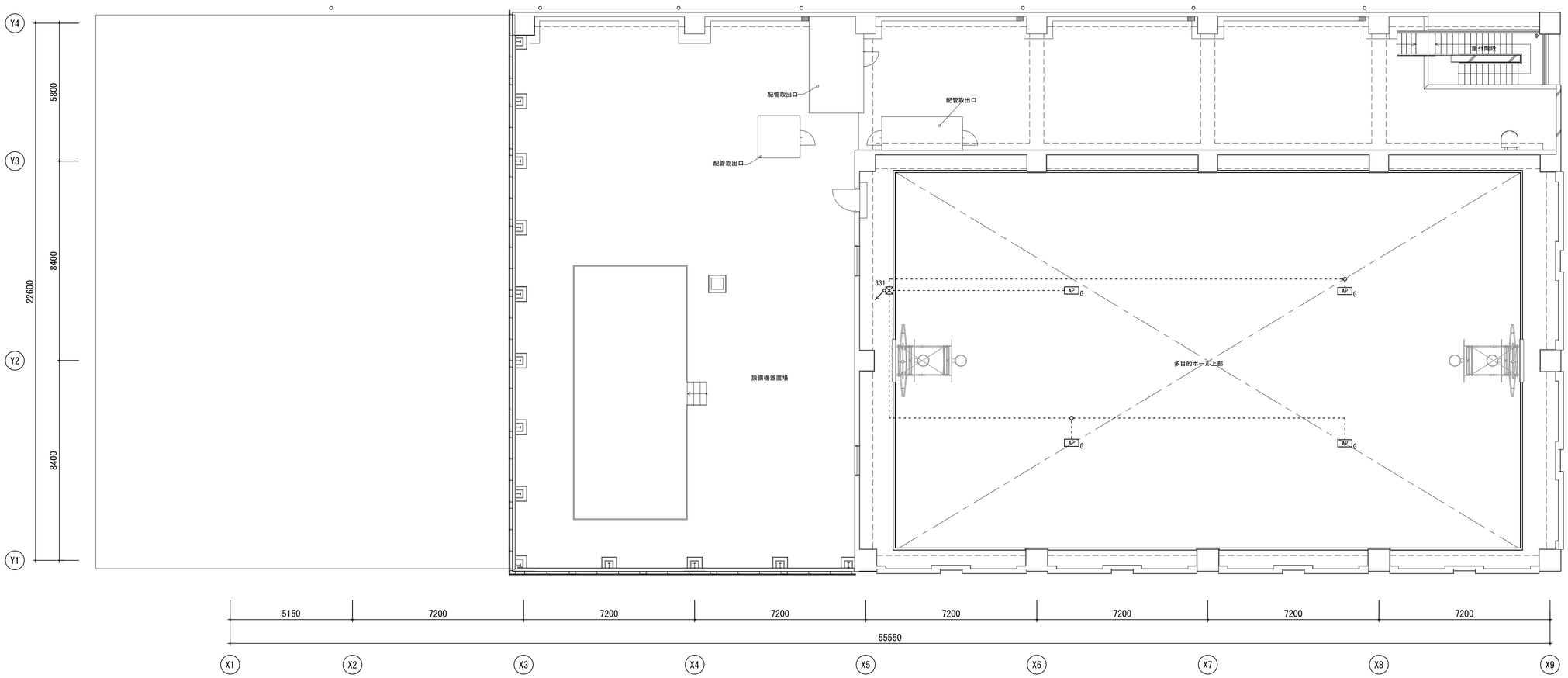
凡例

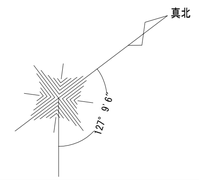
記号	名　　称	備　　考	記号	名　　称	備　　考
⛶	光成端箱	別途工事	⫻	防火区画貫通処理	
L3	L3スイッチングHUB（24ポート）		⊢⊣	ケーブルラック(垂直)	
L2	L2スイッチングHUB（24ポート）		○	露出ボックス	丸型
HUB	HUB（16ポート）		☒	プルボックス	
HUB L	HUB（16ポート）	図書館回線	☒ WP	プルボックス 防水型(SUS製、指定色焼付塗装)	
HUB S	HUB（16ポート）	選挙回線	― ・ ―	天井ころがし配線	
L	情報用受口　壁面取付(CAT5E UTP)	一般回線 8極8芯モジュラジャック	― ― ―	床隠ぺい配線	
L	情報用受口 床面取付(CAT5E UTP)(受口収納型)	一般回線 8極8芯モジュラジャック	- - - - -	露出配管	
LL	情報用受口　壁面取付(CAT5E UTP)	図書館回線 8極8芯モジュラジャック	―o―	空配管	
LL	情報用受口 床面取付(CAT5E UTP)(受口収納型)	図書館回線 8極8芯モジュラジャック		配管配線　立上り　立下げ	
LS	情報用受口　壁面取付(CAT5E UTP)	選挙回線 8極8芯モジュラジャック			
AP	無線アクセスポイント	別途工事			
AP G	無線アクセスポイント（ガード付）	別途工事			

注記

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。
   - ――――　EM-UTP0.5-4P(Cat6a)(PF16)
   - ― ― ―　EM-UTP0.5-4P(Cat6a)(PF16)
   - ----------　EM-UTP0.5-4P(Cat6a)(E19)露出配管
   - ― ・ ⁵⁄ ―　EM-UTP0.5-4P(Cat6a)×5
   - ------ ⁵⁄ ---　EM-UTP0.5-4P(Cat6a)×5(E31)露出配管

   二重天井内はケーブル転がし配線とする。
   但し、壁立下げ等は配管にてケーブル保護とする。
2. ゾーニング区分図に応じた仕様とすること。（E07図）
3. 直天井は電灯設備図参照とする。
4. ケーブルラックは弱電共用とする。
5. 幹線ケーブルについては系統図参照とする。
6. プルボックスの仕様・サイズは下記による。
   ☒331：SS300×300×100
7. 2階フロアにおいて、防音壁を貫通する箇所については、防音性能に配慮した貫通処理を施すこと。





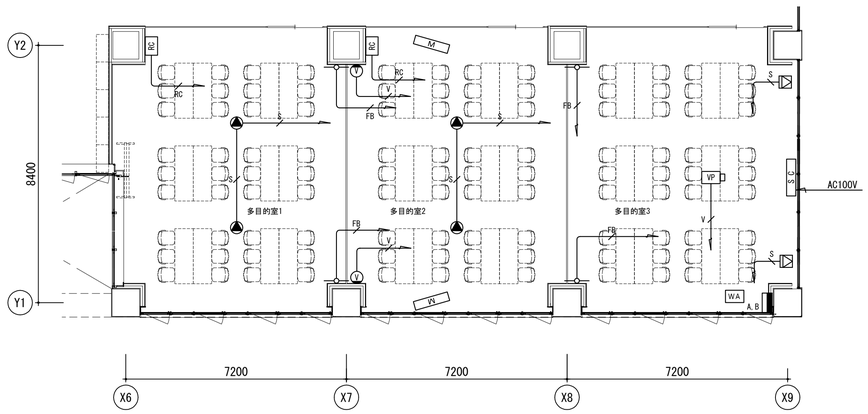
明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto 建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	E	電気設備工事 構内情報通信網設備 R階平面図　A1 1:100　A3 1:200	最終版　2025.02.28
〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	61		見積版　2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

20230220

1	映像音響設備
(A)	２階多目的室１・多目的室２・多目的室３　ＡＶ設備

(1) 平面図

A1:1/100
A3:1/200

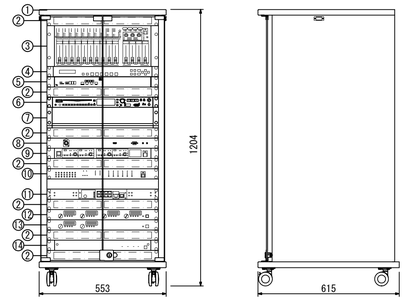


注記

特記なき配線・配管は下記とする。

- S ― EM-4S8 (PF16)
- FB ― EM-5C-FB (PF16)
- V ― EM-UTP0.5-4P(CAT6) (PF22)
- RC ― EM-STP0.5-4P(CAT6) (PF22)

WA ワゴンアンプ



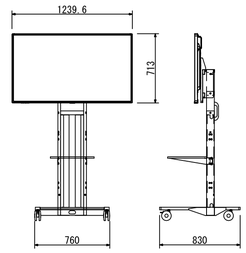
No.	名　称
1	木製ラック
2	通気パネル
3	デジタルステレオミキサー
4	デジタルマルチスイッチャー
5	ＨＤＢａｓｅＴ送信器
6	ＣＤ／メモリープレーヤー
7	ブランクパネル
8	外部入力パネル
9	デジタルワイヤレスチューナー　４ｃｈ
10	デジタルスピーカープロセッサー
11	Ｌ２Ｇスイッチ８ポート
12	デジタルパワーアンプ　１５０Ｗ×４ｃｈ
13	デジタルパワーアンプ　２５０Ｗ×２ｃｈ
14	主電源パネル

電　源	ＡＣ１００Ｖ
定格出力	２５０Ｗ×２（４Ω）
	１５０Ｗ×４（４Ω）
■デジタルステレオミキサー	
入　力	モノラル×５以上、ステレオ×２以上
出　力	モノラル×２以上
信号処理	自動音場補正（ＡＲＣ）×１以上（各系統独立設定）
	ハウリング抑制（ＦＢＳ）×５以上（各系統独立設定）
	オートミュート（ＤＵＣＫＥＲ）×１（独立制御）
	トーンコントローラー×７以上（各系統独立設定）
	パラメトリックイコライザー×４
機　能	フロントパネルロック機能、ファンタム電源内蔵
	機能設定用ロータリーエンコーダー×３
制　御	プリセットメモリー×４以上（前面プリセットスイッチ×４）
	リモートコントロールパネル接続可
ネットワークＩ／Ｆ	１０ＢＡＳＥ－Ｔ／１００ＢＡＳＥ
そ の 他	前面ステレオミニジャック付
■デジタルマルチスイッチャー	
映像入力	３ｃｈ以上
音声入力	デジタル３ｃｈ以上、アナログ１ｃｈ以上
映像・音声出力	ＨＤＭＩ/ＤＶＩ、ＨＤＢａｓｅＴ（分配出力）、アナログ音声１ｃｈ
機　能	スキャンコンバーター、リップシンク、
	外部制御、プリセットメモリー

■ＨＤＢａｓｅＴ送信器		
入力信号	ＨＤＭＩ×１、ＨＤＢａｓｅＴ×１	
出力信号	ＨＤＭＩ×１、ＨＤＢａｓｅＴ×４	
ドットクロック	２５ＭＨｚ～６００ＭＨｚ	
対応解像度	ＶＧＡ～４Ｋ、４８０ｉ～４Ｋ@６０	
補償範囲	ＨＤＭＩ／ＤＶＩ：最大３０ｍ	
	ＨＤＢａｓｅＴ：１５０ｍ（ロングリーチモード使用）	
■ＣＤ／メモリープレーヤー		
使用メディア	ＣＤ、ＣＤ－Ｒ、ＣＤ－ＲＷ	
	ＳＤ／ＳＤＨＣカード、ＵＳＢメモリー	
再生ファイル形式	ＣＤ－ＤＡ、ＭＰ３、ＷＭＡ、ＷＡＶ、ＡＡＣ	
出　力	アナログ×２、チューナー	
そ の 他	外部制御、ＦＭ／ＡＭチューナー機能、	
	Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈレシーバー搭載	
■外部入力パネル		
コネクター	ＸＬＲ－３－３１Ｆ７７　×１	
	ＨＤＭＩ　×１	
	Ｄ－ｓｕｂ１５ピン　×１	
	ステレオミニジャック　×１	
■デジタルワイヤレスチューナー		
入　力	アンテナ×４、ミキシング×１	
出　力	単独×４、ミキシング×１	
受信周波数	８００ ＭＨｚ帯	
機　能	デジタルトゥルーダイバシティ受信、	
	接点出力×４、ソフトによるシステム状態監視	
チューナーユニット	４波実装済	

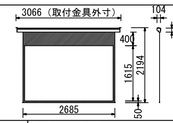
■デジタルスピーカープロセッサー	
入 出 力	入力×２、出力×６
信号処理	クロスオーバー（２，３，４ｗａｙ）、
	パラメトリックイコライザー、
	コンプレッサー、ディレイ、マトリクス（２×６）
機　能	スピーカーＥＱ特性ライブラリー内蔵、
	出力ＭＵＴＥＸ６、接点入力×４、ＬＡＮ接続
■Ｌ２Ｇスイッチ８ポート	
ＵＴＰポート数	１０ＢＡＳＥ－Ｔ/１００ＢＡＳＥ－ＴＸ/
	１０００ＢＡＳＥ－Ｔ：８
拡張モジュールスロット	ＳＦＰ：１（ポート８と選択）
機　能	全ポートＡｕｔｏＭＤＩ－Ｘ機能（ＳＦＰは除く）
スイッチング容量	１８ Ｇｂｐｓ
■その他	
	ＢＤ／ＤＶＤプレーヤー、主電源パネル組込

M ５５型液晶モニター



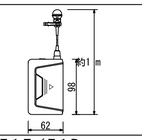
電　源	ＡＣ１００Ｖ
液晶パネル	５５型
最大解像度	３８４０×２１６０
視野角	左右１７８°／上下１７８°
入　力	ＨＤＭＩ×２、ＤｉｓｐｌａｙＰｏｒｔ×１
音声入力	ＤｉｓｐｌａｙＰｏｒｔ×１、ＨＤＭＩ×１
音声出力	ＨＤＭＩ×１、φ３．５ｍｍステレオミニジャック×１
その他	スピーカー内蔵、ＬＡＮ、ＵＳＢ、
	リモコン、移動型スタンド、
	ＨＤＭＩツイストペアケーブル延長用受信器共

S.C １２０型電動スクリーン



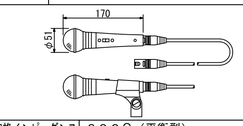
電　源	ＡＣ１００Ｖ
画　面	１２０インチ（データワイド１６：１０）
有効画面サイズ	２５８５×１６１５
生　地	ファイバーグラス生地（防炎材質）
ケースカラー	ホワイト
その他	ワイヤレススイッチ・操作スイッチ
	取付金具（天井・壁面用）

デジタルワイヤレスマイク　タイピン型



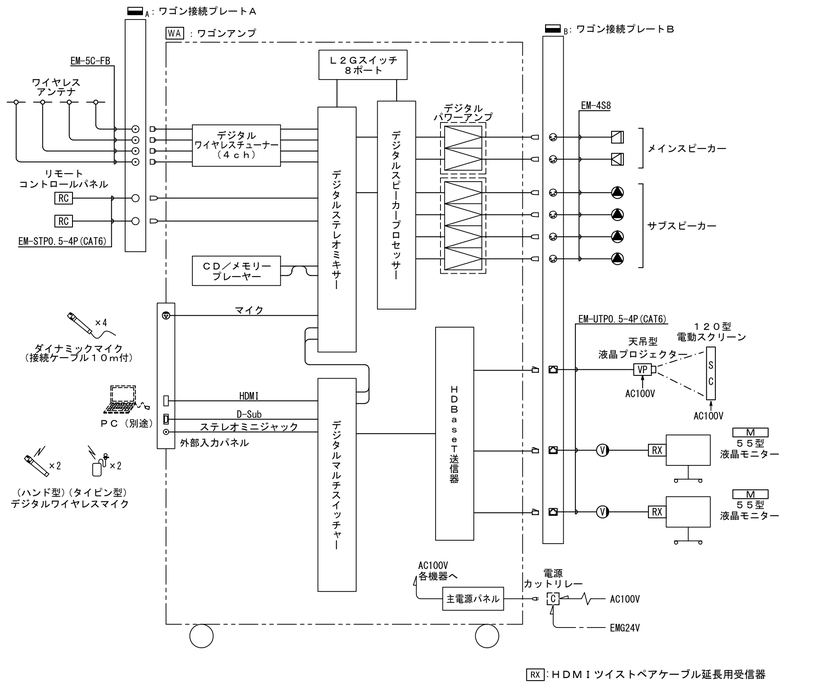
電波型式	Ｆ１Ｅ／Ｆ１Ｄ
送信周波数	８００ ＭＨｚ帯（３０波のうち１波スイッチ切換）
発振方式	ＰＬＬシンセサイザー方式
使用マイクロホン	単一指向性バックエレクトレットコンデンサー型
機　能	デジタル伝送方式、コード設定（１０パターン）、
	セキュリティ設定、送信出力／マイク感度切換

ダイナミックマイク



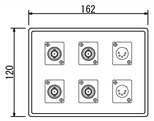
定格インピーダンス	６００Ω（平衡型）
指向性パターン	単一指向性
周波数特性	７０Ｈｚ～１５ｋＨｚ
定格感度レベル	－５４ｄＢ
仕　上	メタリックグレー
その他	トークスイッチ付、マイク延長コード１０ｍ
	（２芯シールド　キャノン対キャノン）付

(2) システムブロック図



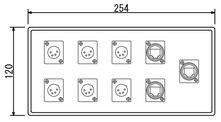
RX：ＨＤＭＩツイストペアケーブル延長用受信器

A ワゴン接続プレートＡ



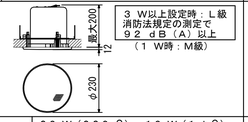
コネクター	ワイヤレスアンテナ用：ＢＣＪ－ＲＵ×４
	リモートコントロールパネル用：ＸＬＲ－５－３２Ｆ７７×２
プレート	３連新金属プレート
その他	壁面取付
	（非常時断ＤＣ２４Ｖ）

B ワゴン接続プレートＢ



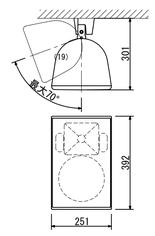
コネクター	スピーカー用：ＸＬＲ－４－３２Ｆ７７×６
	映像用：ＲＪ－４５×３
プレート	５連新金属プレート
その他	壁面取付

サブスピーカー



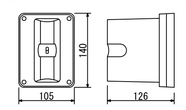
定格入力	３０Ｗ（３３０Ω），１０Ｗ（１ｋΩ）
	３Ｗ（３．３ｋΩ），１Ｗ（１０ｋΩ）
連続プログラム入力	１２０Ｗ（８Ω）
出力音圧レベル	９０ｄＢ（１Ｗ，１ｍ）
周波数特性	５０Ｈｚ～２０ｋＨｚ
スピーカー	１２ｃｍコーン型
その他	広指向性音響構造

メインスピーカー



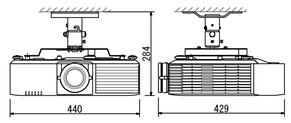
連続プログラム入力	１８０Ｗ／８Ω
出力音圧レベル	９１ｄＢ（１Ｗ，１ｍ）
周波数特性	５０Ｈｚ～２０ｋＨｚ（－１０ｄＢ）
指向角	水平：１００°、垂直：１００°
スピーカー	２０ｃｍＰＰコーン型
	２５ｍｍドームツイーター
その他	エンクロージャ：黒、取付金具付属
	垂直方向：下向き２０°～９０°
	（１０°ごとに角度調整可）
	水平方向：ベース金具の「基準点」から左右
	２０°まで角度調節可

壁取付用ワイヤレスアンテナ



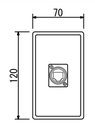
電　源	ＤＣ７～１２Ｖ（本体より供給）
消費電流	１５ｍＡ（９Ｖ時）
受信周波数	８００ ＭＨｚ帯
ダイポール比相対利得	約＋８ ｄＢ
アッテネーター	０，－１０，－２０ ｄＢ
その他	防水性能：ＩＰＸ２
	壁取付用

VP 液晶プロジェクター



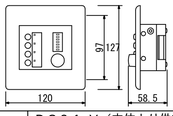
電　源	ＡＣ１００Ｖ
有効光束（明るさ）	６０００　ｌｍ
表示方式	３ＬＣＤ方式（三原色液晶シャッタ式投映方式）
光　源	レーザーダイオード
液晶パネル画素数	水平１９２０ × 垂直１２００（ＷＵＸＧＡ）
スピーカー	１０Ｗ
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰ入力端子	ミニＤｓｕｂ１５ピン ×２
デジタル入力端子	ＨＤＭＩ（ＨＤＣＰ対応）×２
	ＨＤＢａｓｅＴ：ＲＪ４５ ×１
モニター出力端子	ミニＤｓｕｂ１５ピン ×１
	ＨＤＭＩ（ＨＤＣＰ対応） ×１
音声入力端子	ステレオミニ ×２
音声出力端子	ステレオミニ ×１
制御端子	ミニＤｓｕｂ９ピン×１
ＬＡＮ端子	ＲＪ４５ ×１
ワイヤレス端子	無線ＬＡＮ機能内蔵
投写レンズ	デジタルズーム（１．３５倍）、手動フォーカス
本体色	ホワイト

W 映像コンセント



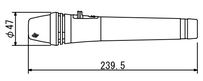
コネクター	モニター用：ＲＪ－４５×１
その他	壁面取付

RC リモートコントロールパネル



電　源	ＤＣ２４Ｖ（本体より供給）
接続線	シールド付ＣＰＥＶ線（データ１対、電源１対）
	シールド付ＬＡＮ用カテゴリー５ツイストペアケーブル
操作部	機能ボタン×４，音量調節つまみ×１
表示部	作動表示灯（緑色ＬＥＤ）×４
	音量設定位置表示灯（緑色ＬＥＤ）
仕　上	鋼板　白

デジタルワイヤレスマイク　ハンド型



電波型式	Ｆ１Ｅ／Ｆ１Ｄ
送信周波数	８００ ＭＨｚ帯（３０波のうち１波スイッチ切換）
発振方式	ＰＬＬシンセサイザー方式
使用マイクロホン	単一指向性エレクトレットコンデンサー型
機　能	デジタル伝送方式、コード設定（１０パターン）、
	セキュリティ設定、送信出力／マイク感度切換
仕　上	ボディー：樹脂 ダークグレー

注記）1. 機械耐震固定（モニター類含む）を行うこと。
2. 姿図及び寸法は参考とする。
3. 主装置は防雷対策を施すこと。

明石市政策局 プロジェクト推進室		西明石地域交流センター icotto 建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森　雅章	E	電気設備工事 映像音響設備 平面図、姿図（1） N.S	最終版 2025.02.28
〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築 国土交通大臣登録 第2339号 小林　陽一	62		見積版 2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

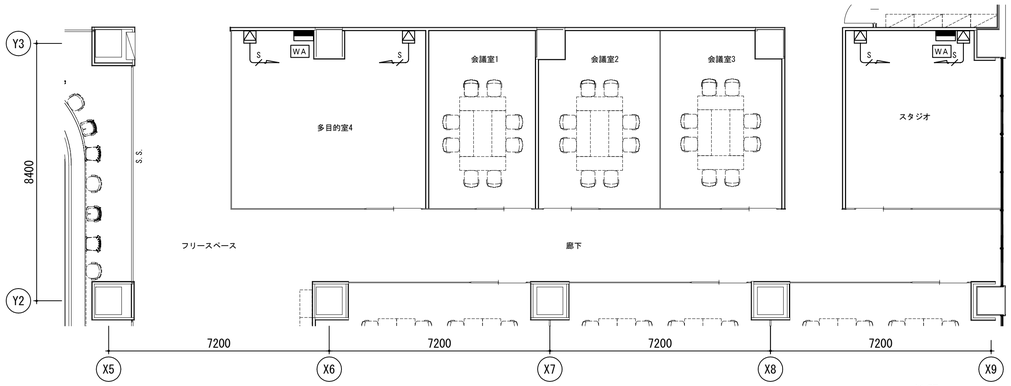
（2023年版）

20230220

1 映像音響設備

(B) ２階多目的室４・スタジオ　音響設備

(1) 平面図　A1:1/100 A3:1/200

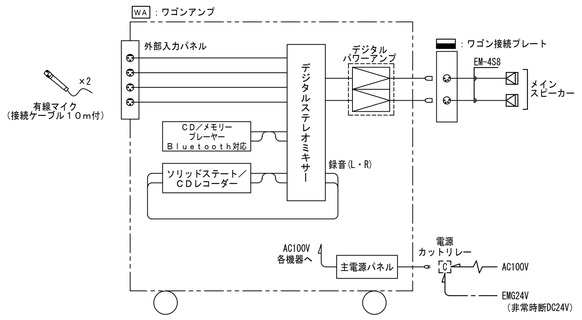


注記

特記なき配線・配管は下記とする。

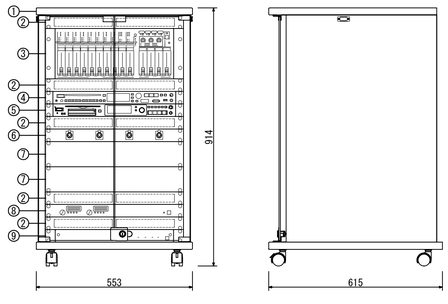
S EM-4S8 (PF16)

(2) システムブロック図　２式



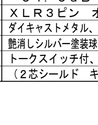
WA ワゴンアンプ　２式

No.	名　称
1	木製ラック
2	通気パネル
3	デジタルステレオミキサー
4	ＣＤ／メモリープレーヤー
5	ソリッドステート／ＣＤレコーダー
6	外部入力パネル
7	ブランクパネル
8	デジタルパワーアンプ
9	主電源パネル



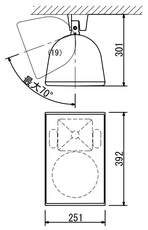
電　源	ＡＣ１００Ｖ
定格出力	２５０Ｗ×２（４Ω），１７０Ｗ×２（８Ω）
■デジタルステレオミキサー	
入　力	モノラル×４以上、ステレオ×２以上
出　力	モノラル×２以上、録音（Ｌ・Ｒ）
信号処理	自動音場補正（ＡＲＣ）×１以上（各系統独立設定）
	ハウリング抑制（ＦＢＳ）×４以上（各系統独立設定）
	オートミュート（ＤＵＣＫＥＲ）×１（独立制御）
	トーンコントローラー×６以上（各系統独立設定）
	パラメトリックイコライザー×４
機　能	フロントパネルロック機能、ファンタム電源内蔵
	機能設定用ロータリーエンコーダー×３
制　御	プリセットメモリー×１以上（前面プリセットスイッチ）
ネットワーク１／Ｆ	１０ＢＡＳＥ－Ｔ／１００ＢＡＳＥ
そ の 他	前面ステレオミニジャック付
■ＣＤ／メモリープレーヤー	
使用メディア	ＣＤ、ＣＤ－Ｒ、ＣＤ－ＲＷ
	ＳＤ／ＳＤＨＣカード、ＵＳＢメモリー
再生ファイル形式	ＣＤ－ＤＡ、ＭＰ３、ＷＭＡ、ＷＡＶ、ＡＡＣ
出　力	アナログ×２、チューナー
その他	外部制御、ＦＭ／ＡＭチューナー機能、
	Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈレシーバー搭載
■ソリッドステート／ＣＤレコーダー	
使用メディア	ＣＤ－Ｒ、ＣＤ－ＲＷ、
	ＳＤ／ＳＤＨＣ／ＳＤＸＣカード、ＵＳＢ
再録ファイル形式	ＣＤ－ＤＡ、ＷＡＶ、ＭＰ３
入　力	アナログ×２、デジタル×２
出　力	アナログ×２、デジタル×２、ヘッドホン
その他	ＦＴＰクライアント／サーバー機能、ＬＡＮ、外部制御端子付
■外部入力パネル	
コネクター	ＸＬＲ－３－３１Ｆ７７　×４
■その他	
	主電源パネル組込

ワゴン接続プレート



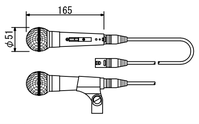
コネクター	スピーカー用：ＸＬＲ－４－３２Ｆ７７　×２
プレート	新金属プレート
その他	壁面取付

メインスピーカー



連続プログラム入力	１８０Ｗ／８Ω
出力音圧レベル	９１ｄＢ（１Ｗ，１ｍ）
周波数特性	５０Ｈｚ～２０ｋＨｚ（－１０ｄＢ）
指向角	水平：１００°、垂直：１００°
スピーカー	２０ｃｍＰＰコーン型
	２５ｍｍドームツイーター
その他	エンクロージャ：黒、取付金具付属
	垂直方向：下向き２０°～９０°
	（１０°ごとに角度調整可）
	水平方向：ベース金具の「基準点」から左右
	２０°まで角度調節可

有線マイク

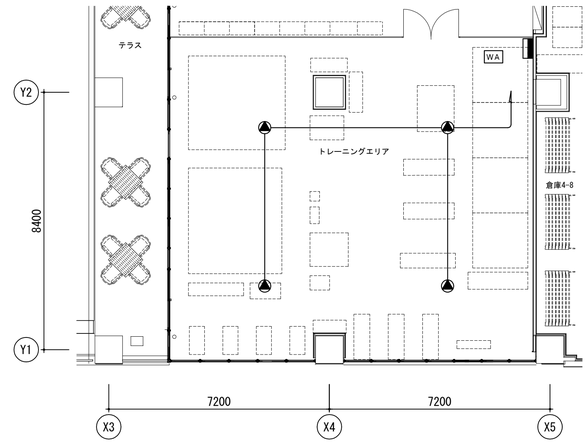


定格インピーダンス	１５０Ω（３００Ω　実効）
指向性パターン	単一指向性（カーディオイド）
周波数特性	５０Ｈｚ～１５ｋＨｚ
出力レベル	－５４．５ｄＢ
出力コネクター	ＸＬＲ３ピン　オス
仕　上	ダイキャストメタル、ダークグレイエナメル塗装、
	艶消しシルバー塗装球状スチールメッシュグリル
その他	トークスイッチ付、マイク延長コード１０ｍ
	（２芯シールド　キャノン対キャノン）付

注記）1. 機械耐震固定（モニター類含む）を行うこと。
2. 姿図及び寸法は参考とする。
3. 主装置は防雷対策を施すこと。

(C) 4階トレーニングエリア　音響設備　平面図

(1) 平面図　A1:1/100 A3:1/200

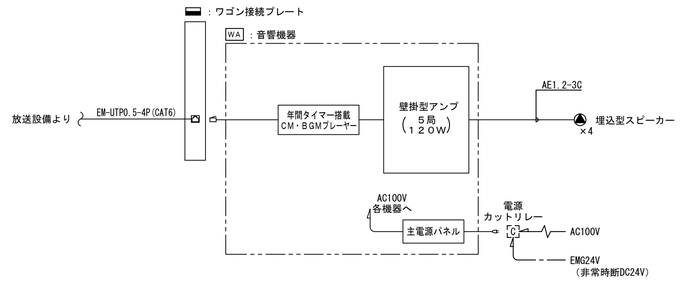


注記

特記なき配線・配管は下記とする。

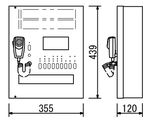
EM-AE1.2-3C (PF16)

(2) システムブロック図



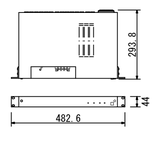
WA 音響機器

壁掛型アンプ



電　源	ＡＣ１００Ｖ
定格出力	１２０Ｗ
入　力	入力１（マイク／ライン切換）、入力２（マイク）
	予備×３、電話ページング、リモートマイク
出力制御	５局＋一斉（通常、緊急）
機　能	優先度設定、呼出チャイム内蔵、非常カット

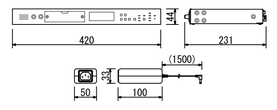
主電源パネル



※収納棚（建築工事）に設置

電　源	ＡＣ１００Ｖ
ＡＣコンセント	連動：Ａ系統×６、Ｂ系統×６
	非連動：２
最大定格電流	１系統あたり：１５Ａ
リモート	入力、出力
仕　上	パネル：アルミ　黒

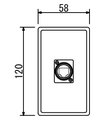
年間タイマー搭載ＣＭ・ＢＧＭプレーヤー



※収納棚（建築工事）に設置

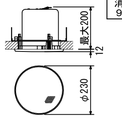
電　源	ＡＣ１００Ｖ
入出力	外部入力（Ｌ，Ｒ）、ライン出力（Ｌ，Ｒ）
制御入力	フェーダー、機器ミュート、調時（接点、有極）
	制御１～４
制御出力	外部起動１～３、ビジー、異常、制御１～４
モデム接続１／Ｆ	ＲＳ－２３２，Ｄ－Ｓｕｂ９ピン
時刻調整	ＮＴＰサーバー、手動、接点・有極信号入力
時計精度	月差±３０秒以内（２０℃）
内蔵音源	サンプル音源１０種（付属メモリーカードに付属）
	・アナウンス１３０メッセージ
	・チャイム３３音源
	・ＢＧＭ　３ジャンル×各１時間
機　能	スタンドアロン運用時：専用ソフトウェア（無償）による
	音源・放送スケジュール登録（日間・週間・月間・年間対応）
	サービス契約時（＊１）：ネットワーク経由による
	遠隔からの音源・放送スケジュール登録（日間・週間・
	月間・年間対応）、自動時刻調整、システム状態確認、
	スケジュール設定バックアップ
	（＊１）サービス利用には契約およびネットワーク
	環境の手配が別途必要です。
	サービス契約により、契約会社保有音源も
	利用可能となります。
その他	ＬＣＤ表示、ＡＣアダプター付、
	メモリーカード（３２ＧＢ）１枚実装済

ワゴン接続プレート



コネクター	ワイヤレスアンテナ用：ＢＣＪ－ＲＵ　×１
プレート	１連新金属プレート
その他	壁面取付

埋込型スピーカー



３Ｗ以上設定時：Ｌ級
消防法規定の測定で
９２ｄＢ（Ａ）以上
（１Ｗ時：Ｍ級）

定格入力	３０Ｗ（３３０Ω），１０Ｗ（１ｋΩ）
	３Ｗ（３．３ｋΩ），１Ｗ（１０ｋΩ）
連続プログラム入力	１２０Ｗ（８Ω）
出力音圧レベル	９０ｄＢ（１Ｗ，１ｍ）
周波数特性	５０Ｈｚ～２０ｋＨｚ
スピーカー	１２ｃｍコーン型
その他	広指向性音響構造

〈代表設計者〉 一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号
森　雅章
〈設備設計者〉 一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号
設備設計一級建築士　国土交通大臣登録　第2339号
小林　陽一

明石市政策局 プロジェクト推進室

西明石地域交流センター icotto 建設工事

E 電気設備工事
63 映像音響設備
平面図、姿図（2）　N.S

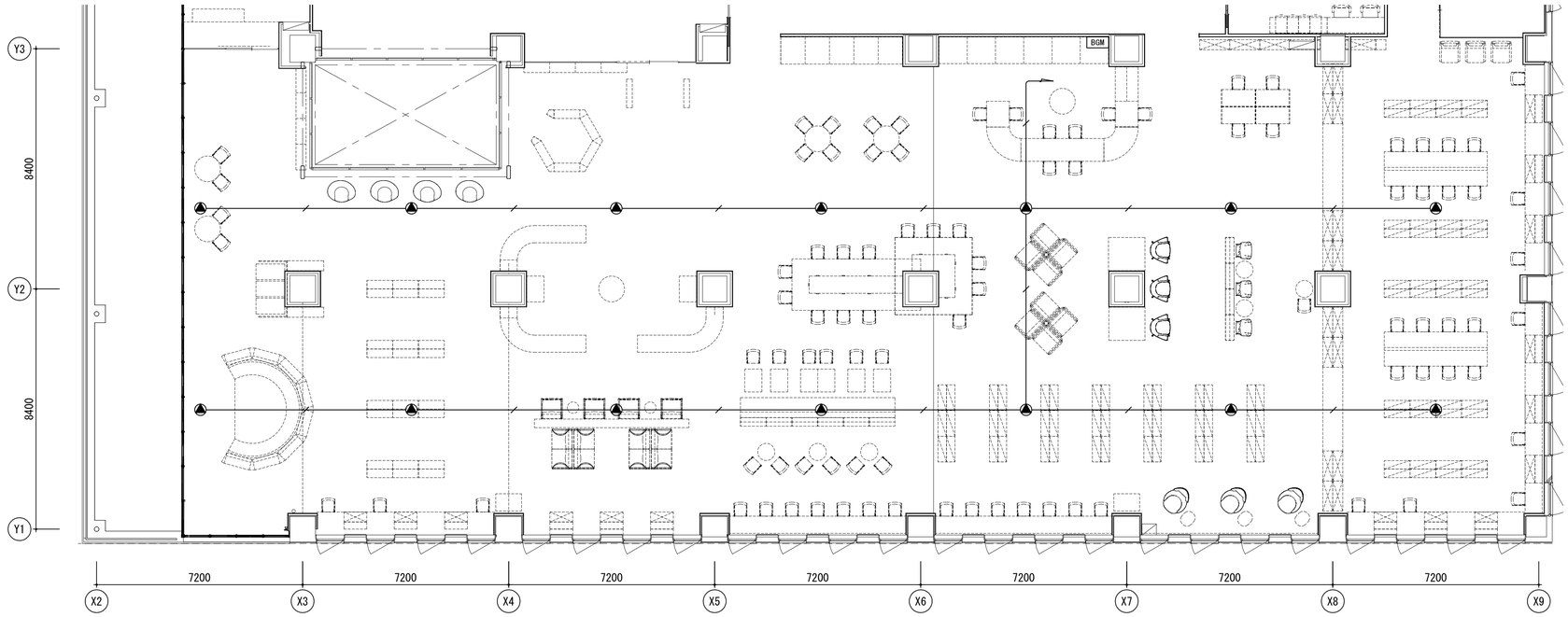
最終版 2025.02.28
見積版 2024.12.16
最終契約版

安井建築設計事務所

20230220

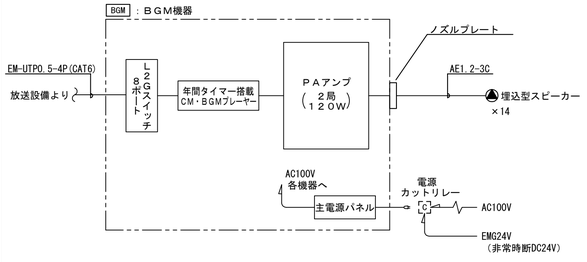
1	映像音響設備
(D)	３階図書館　音響設備
(1)	平面図

A1:1/100
A3:1/200



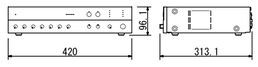
注記
特記なき配線・配管は下記とする。
EM-AE1.2-3C（PF16）

(2)　システムブロック図



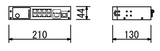
BGM　ＢＧＭ機器

ＰＡアンプ



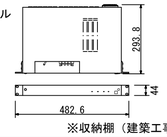
電　源	ＡＣ１００Ｖ
定格出力	１２０Ｗ
音声入力	ライン×１
音声出力	スピーカー
周波数特性	５０Ｈｚ～２０ｋＨｚ

Ｌ２Ｇスイッチ８ポート



電　源	ＡＣ１００Ｖ
ＵＴＰポート数	１０ＢＡＳＥ－Ｔ／１００ＢＡＳＥ－ＴＸ／
	１０００ＢＡＳＥ－Ｔ：８
拡張モジュールスロット	ＳＦＰ：１（ポート８と選択）
機　能	全ポートＡｕｔｏ ＭＤＩ－Ｘ機能（ＳＦＰは除く）
バッファー	５１２ ＫＢ
スイッチング容量	１８ Ｇｂｐｓ

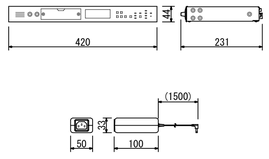
主電源パネル



※収納棚（建築工事）に設置

電　源	ＡＣ１００Ｖ
ＡＣコンセント	連動：Ａ系統×６、Ｂ系統×６
	非連動：２
最大定格電流	１系統あたり：１５ Ａ
リモート	入力、出力
仕　上	パネル：アルミ　黒

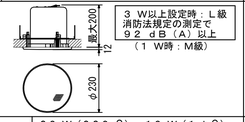
年間タイマー搭載ＣＭ・ＢＧＭプレーヤー



※収納棚（建築工事）に設置

電　源	ＡＣ１００Ｖ
入出力	外部入力（Ｌ，Ｒ）、ライン出力（Ｌ，Ｒ）
制御入力	フェーダー、機器ミュート、調時（接点、有極）
	制御１～４
制御出力	外部起動１～３、ビジー、異常、制御１～４
モデム接続Ｉ／Ｆ	ＲＳ－２３２，Ｄ－Ｓｕｂ９ピン
時刻調整	ＮＴＰサーバー、手動、接点・有極信号入力
時計精度	月差±３０秒以内（２０ ℃）
内蔵音源	サンプル音源１０種（付属メモリーカードに付属）
	・ＢＧＭ　３ジャンル×各１時間
機　能	スタンドアロン運用時：専用ソフトウェア（無償）による
	音源・放送スケジュール登録（日間・週間・月間・年間対応）
	サービス契約時（＊１）：ネットワーク経由による
	遠隔からの音源・放送スケジュール登録（日間・週間・
	月間・年間対応）、自動時刻調整、システム状態確認、
	スケジュール設定バックアップ
	（＊１）サービス利用には契約およびネットワーク
	環境の手配が別途必要
	サービス契約により、契約会社保有音源も
	利用可能
その他	ＬＣＤ表示、ＡＣアダプター付、
	メモリーカード（３２ ＧＢ）１枚実装済

埋込型スピーカー



３Ｗ以上設定時：Ｌ級
消防法規定の測定で
９２ｄＢ（Ａ）以上
（１Ｗ時：Ｍ級）

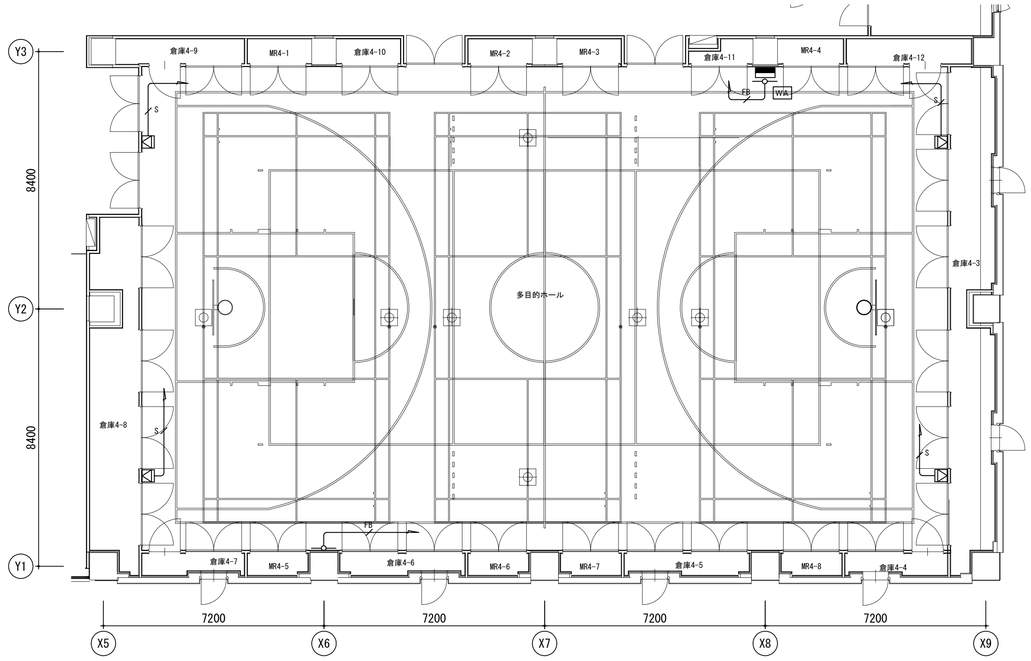
定格入力	３０Ｗ（３３０Ω），１０Ｗ（１ｋΩ）
	３Ｗ（３．３ｋΩ），１Ｗ（１０ｋΩ）
連続プログラム入力	１２０Ｗ（８Ω）
出力音圧レベル	９０ｄＢ（１Ｗ，１ｍ）
周波数特性	５０Ｈｚ～２０ｋＨｚ
スピーカー	１２ ｃｍコーン型
その他	広指向性音響構造

注記）1.　機械耐震固定（モニター類含む）を行うこと。
2.　姿図及び寸法は参考とする。
3.　主装置は防雷対策を施すこと。

明石市政策局　プロジェクト推進室		西明石地域交流センター　icotto　建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	E	電気設備工事 映像音響設備	最終版　2025.02.28
〈設備設計者〉 一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	64	平面図、姿図（3）　N.S	見積版　2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

1	映像音響設備
(E)	４階多目的ホール　音響設備
(1)	平面図

A1:1/100
A3:1/200

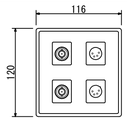


注記

特記なき配線・配管は下記とする。

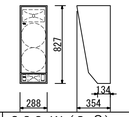
S	EM-4S8	(19)
FB	EM-5C-FB	(19)

ワゴン接続プレート



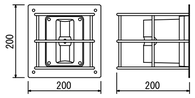
コネクター	ワイヤレスアンテナ用：ＢＣＪ－ＲＵ　×２
	スピーカー用：ＸＬＲ－４－３２Ｆ７７×２
プレート	２連新金属プレート
その他	壁面取付

メインスピーカー（防球仕様）



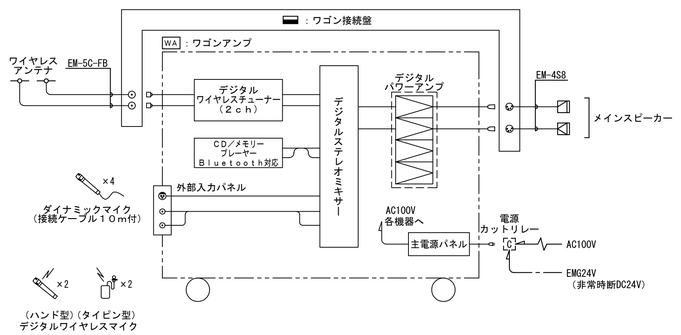
連続プログラム入力	３６０Ｗ（８Ω）
出力音圧レベル	１００ｄＢ（１Ｗ，１ｍ）
周波数特性	８０Ｈｚ～２０ｋＨｚ
スピーカー	２５ｃｍコーン型×２
	遠距離用：ＣＤホーン＋ドライバー
	近距離用：ＣＤホーン＋ドライバー
仕　上	本体：木製　黒、パンチングネット：鋼板　黒

壁取付用ワイヤレスアンテナ



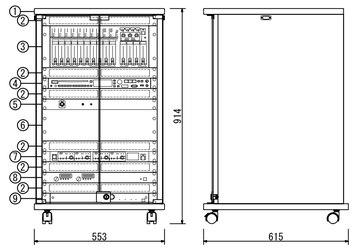
電　源	ＤＣ７～１２Ｖ（本体より供給）
消費電流	１５ｍＡ（９Ｖ時）
受信周波数	８００ＭＨｚ帯
ダイポール比相対利得	約＋８ｄＢ
アッテネーター	０，－１０，－２０ｄＢ
その他	防水性能：ＩＰＸ２
	壁取付用、防球ガード付

(2)	システムブロック図



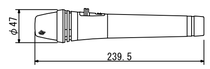
WA	ワゴンアンプ

No.	名　称
1	木製ラック
2	通気パネル
3	デジタルステレオミキサー
4	ＣＤ／メモリープレーヤー
5	外部入力パネル
6	ブランクパネル
7	デジタルワイヤレスチューナー
8	デジタルパワーアンプ
9	主電源パネル



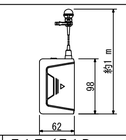
電　源	ＡＣ１００Ｖ	■ＣＤ／メモリープレーヤー	
定格出力	２５０Ｗ×４（４Ω）、１７０Ｗ×４（８Ω）	使用メディア	ＣＤ、ＣＤ－Ｒ、ＣＤ－ＲＷ
■デジタルステレオミキサー			ＳＤ／ＳＤＨＣカード、ＵＳＢメモリー
入　力	モノラル×２以上、ステレオ×１以上	再生ファイル形式	ＣＤ－ＤＡ、ＭＰ３、ＷＭＡ、ＷＡＶ、ＡＡＣ
出　力	モノラル×２以上	出　力	アナログ×２、チューナー
信号処理	自動音場補正（ＡＲＣ）×１以上（各系統独立設定）	その他	外部制御、ＦＭ／ＡＭチューナー機能、
	ハウリング抑制（ＦＢＳ）×３以上（各系統独立設定）		Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈレシーバー搭載
	オートミュート（ＤＵＣＫＥＲ）×１（独立制御）	■外部入力パネル	
	トーンコントローラー×６以上（各系統独立設定）	コネクター	ＸＬＲ－３－３１Ｆ７７　×１
	パラメトリックイコライザー×４		ＲＣＡピン　×２
機　能	フロントパネルロック機能	■デジタルワイヤレスチューナー	
	機能設定用ロータリーエンコーダー×３	入　力	アンテナ×４、ミキシング×１
	ファンタム電源内蔵	出　力	単独×４、ミキシング×１
制　御	プリセットメモリー×１以上（前面プリセットスイッチ）	受信周波数	８００ＭＨｚ帯
ネットワークＩ／Ｆ	１０ＢＡＳＥ－Ｔ／１００ＢＡＳＥ	機　能	デジタルトゥルーダイバシティ受信、
その他	前面ステレオミニジャック付		接点出力×４、ソフトによるシステム状態監視
		チューナーユニット	４波実装済
		■その他	
			主電源パネル組込

デジタルワイヤレスマイク　ハンド型



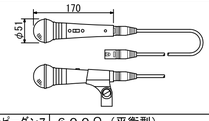
電波型式	Ｆ１Ｅ／Ｆ１Ｄ
送信周波数	８００ＭＨｚ帯（３０波のうち１波スイッチ切換）
発振方式	ＰＬＬシンセサイザー方式
使用マイクロホン	単一指向性エレクトレットコンデンサー型
機　能	デジタル伝送方式、コード設定（１０パターン）、
	セキュリティ設定、送信出力／マイク感度切換
仕　上	ボディー：樹脂　ダークグレー

デジタルワイヤレスマイク　タイピン型



電波型式	Ｆ１Ｅ／Ｆ１Ｄ
送信周波数	８００ＭＨｚ帯（３０波のうち１波スイッチ切換）
発振方式	ＰＬＬシンセサイザー方式
使用マイクロホン	単一指向性バックエレクトレットコンデンサー型
機　能	デジタル伝送方式、コード設定（１０パターン）、
	セキュリティ設定、送信出力／マイク感度切換

ダイナミックマイク



定格インピーダンス	６００Ω（平衡型）
指向性パターン	単一指向性
周波数特性	７０Ｈｚ～１５ｋＨｚ
定格感度レベル	－５４ｄＢ
仕　上	メタリックグレー
その他	トークスイッチ付、マイク延長コード１０ｍ
	（２芯シールド　キャノン対キャノン）付

注記）1.　機械耐震固定（モニター類含む）を行うこと。
2.　姿図及び寸法は参考とする。
3.　主装置は防雷対策を施すこと。

明石市政策局　プロジェクト推進室		西明石地域交流センター　icotto　建設工事	
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	E	電気設備工事 映像音響設備 平面図、姿図（4）　N.S	最終版　2025. 02. 28
〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	65		見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

20230220

1　自動火災報知設備

(1)　仕様

1　複合盤
- 1）種別　　Ｐ型１級複合受信機　蓄積式　壁掛型
- 2）表示方式
  - ａ）地区表示部　火災・防排煙表示　６０回線　窓式
  - ｂ）ＬＥＤ表示部
    - ・火災代表灯、システム状態灯　他
    - ・７セグメントＬＥＤ×３桁（回線、エラーコード　他）
  - ｃ）付属諸警報表示部（６窓）
    - ・予備　　６Ｌ
- 3）主音響方式　音声警報、火災時スイープ音響
- 4）操作方式　　押釦スイッチ
- 5）通話方式　　ジャック式
- 6）機能
  - ａ）定期試験機能
  - ｂ）音声ガイダンス機能
  - ｃ）誤操作防止機能
  - ｄ）履歴機能
  - ｅ）電源シャットダウン機能
  - ｆ）汎用移信停止スイッチ（２個）
  - ｇ）増設移信ユニット
- 7）外部移信出力（無電圧ａ接点）

エレベーター制御盤	火災代表	２点
オートドア制御盤	火災代表	３点
電気錠制御盤	火災代表	１点
全熱交換器制御（RM-2）	火災代表	１点
誘導灯信号装置	火災代表	１点
ＰＡＣ集中コントローラーＡ系統	火災代表	１点
ＰＡＣ集中コントローラーＢ系統	火災代表	１点
全熱交換集中コントローラーＡ系統	火災代表	１点
全熱交換集中コントローラーＢ系統	火災代表	１点
キュービクル	火災代表	１点
光警報装置メインコントローラー階別	火災代表	４点

- 8）回線内訳

・火災表示	１３Ｌ
・防火戸	５Ｌ
・防火シャッター	６Ｌ
・垂れ壁	１Ｌ
・屋内消火栓設備	
ポンプ運転・故障・呼水槽減水	３Ｌ
・諸警報	３０Ｌ
※警報内容はE-11図を参照	
・予備	２Ｌ
・合計	６０Ｌ

２　地区音響装置は非常放送設備によるものとする。

３　複合盤は、非常放送設備連動用として、下記の信号を移信する。
- ・階別火災代表信号　　７回線（縦穴区画を含む）
- ・火災確定信号　　１回線

４　防火戸・防火シャッターは直近の専用感知器と連動する。

５　危害防止用連動中継器の取付は建築（シャッター）工事とし、当該中継器への常用電源ＡＣ１００Ｖ供給は別途電気工事とする。

６　副受信機は壁掛型（Ｐ型１級用　３０回線）窓式とし、複合盤の火災表示と同一表示する。

７　エレベーター用煙感知器の点検ボックスの設置において、以下の工事区分はエレベーター工事とする。
- ・エレベーター連動停止用スイッチ（スイッチ・取り付け・結線・試験）
- ・注意喚起シール（シール・貼り付け）

８　平面図中、幹線の立上げ・引下げ及び特記なき配管配線は、系統図参照とする。

９　特記なき配管配線は下記とする。

——//——	EM-AE0.9-2C(PF16)	—--//——	EM-AE0.9-2C
————	EM-AE0.9-4C(PF16)	—-————	EM-AE0.9-4C
——//H——	EM-HP1.2-2C(PF16)	—-//H——	EM-HP1.2-2C
——//H——	EM-HP1.2-3C(PF16)	—-//H——	EM-HP1.2-3C
——//H3P——	EM-HP1.2-3P(PF22)	—-//H3P——	EM-HP1.2-3P
——//H10P——	EM-HP1.2-10P(PF28)	—-//H10P——	EM-HP1.2-10P
----//----	EM-AE0.9-2C(E19)		
----------	EM-AE0.9-4C(E19)		
----//H---	EM-HP1.2-2C(E19)		
----//H---	EM-HP1.2-3C(E19)		
----//3P--	EM-HP1.2-3P(E25)		
----//10P-	EM-HP1.2-10P(E31)		

１０　２重天井内はケーブルころがしとし、立ち上がり、引き下げ及び梁、壁貫通部分は配管保護とする。

１１　受信機には防雷対策を施すこと。

１２　機器に、Ｇを付記したものは、プロテクタ付とする。

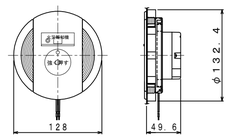
１３　ゾーニング区分図に応じた仕様とすること。（Ｅ０７図）

１４　２階フロアにおいて、防音壁を貫通する箇所については、防音性能に対する貫通処理を施すこと。

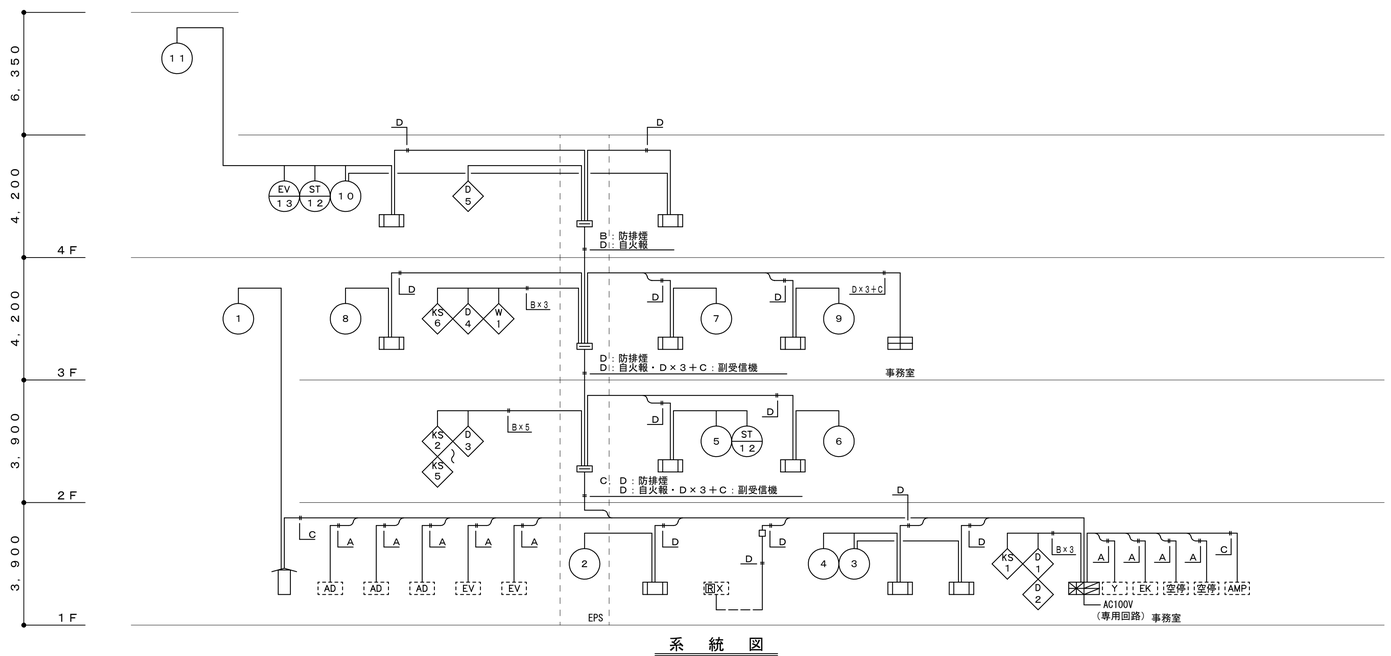
(3)　姿図

※寸法は参考とする。

Ⓟ　フラット発信機（Ｐ型１級　専用表示灯付）



(2)　系統図



系　統　図

系統図中の配線・配管記号は下記とする。

記号	配線名称	配管使用時	
		隠蔽	露出
A	EM-HP1.2-2C	(PF16)	(E19)
B	EM-HP1.2-3P	(PF22)	(E25)
C	EM-HP1.2-5P	(PF22)	(E25)
D	EM-HP1.2-10P	(PF28)	(E31)

注）二重天井内はコロガシ配線とする。

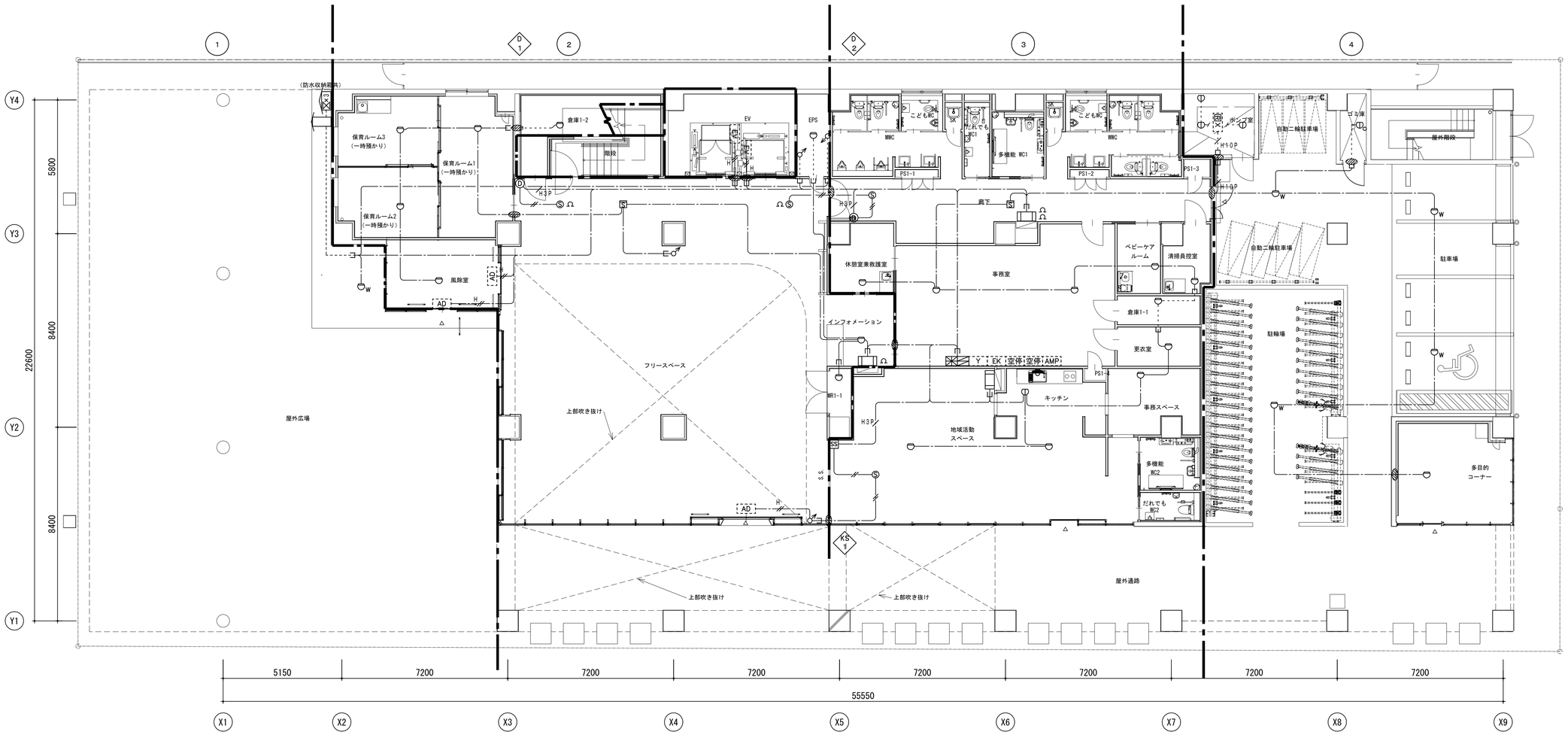
明石市政策局　プロジェクト推進室		西明石地域交流センター　icotto　建設工事	
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	E	電気設備工事 自動火災報知設備 仕様・系統図　A1　N:S	最終版　2025.02.28
〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	66		見積版　2024.12.16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

20230220

凡例

記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考
	複合盤	注記参照	S	光電式スポット型感知器	2種　露出型 自動感度補正機能		天井隠ぺい配線				
	副受信機	注記参照	S	光電式スポット型感知器	2種　壁付用点検ボックス付		露出配管				
AMP	非常業務兼用放送アンプ		W	差動式スポット型感知器	2種　防水型		床隠ぺい配線				
EK	電気錠制御盤			差動式スポット型感知器	2種		天井ころがし配線				
YU	誘導灯信号装置			定温式スポット型感知器	1種　防水型　70℃		配管配線　立上り　立下げ				
EV	エレベータ制御盤	エレベータ工事	×3	差動式分布型感知器用検出部	2種　露出型　ボックス付　3個用		ジョイントボックス				
AD	オートドア制御盤	建築工事	×4	差動式分布型感知器用検出部	2種　露出型　ボックス付　4個用		配管突出し				
				空気管	自己支持型　2．0mm		防火区画貫通処理				
	機器収容箱（耐塩塗装）	露出防滴型　縦型 P 収容									
	機器収容箱	広範囲2号消火栓組込型 P 収容	S	光電式スポット型感知器	3種　露出型 自動感度補正機能　防排煙連動用		屋内消火栓制御盤	移報器　ポンプ始動用　表示灯用電源2A			
P	フラット発信機	P型1級　専用表示灯（24V　LED）付	D	自動閉鎖装置	防火戸用　ラッチ式						
			SS	危害防止用中継器	危害防止用防火シャッター用（建築工事）		警戒区域境界線				
			W	自動閉鎖装置	垂れ壁用		警戒区域番号	自火報用			
						D	制御番号	防火戸用			
						KS	制御番号	危害防止用連動中継器用（防火シャッター用）			
						W	制御番号	垂れ壁用			



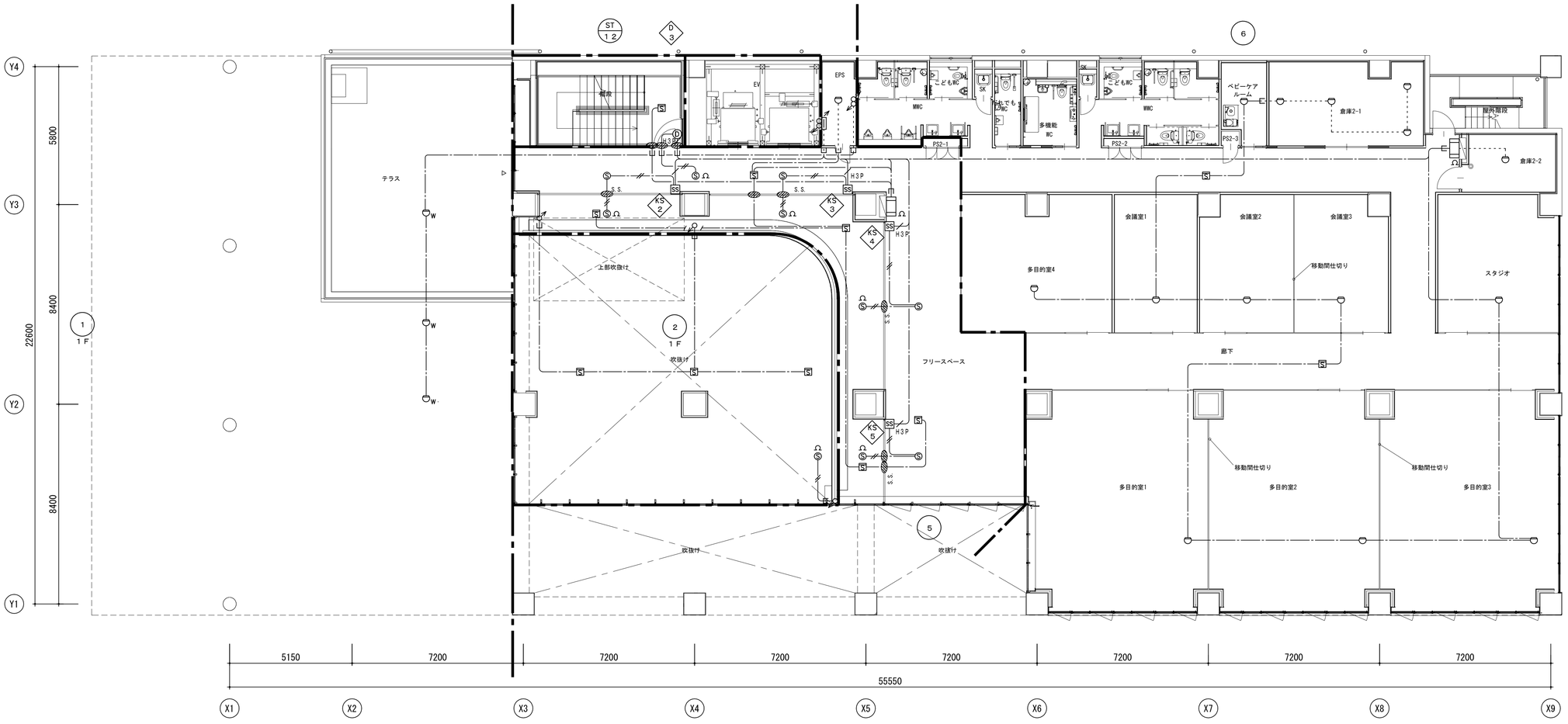
明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto　建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章 〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	E	電気設備工事 自動火災報知設備	最終版　2025. 02. 28
	67	1階平面図　A1　1:100　A3　1:200	見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

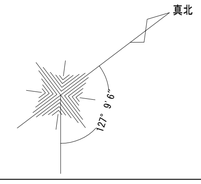
（2023年版）

20230220

凡例

記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考
	複合盤	注記参照	S	光電式スポット型感知器	2種　露出型 自動感度補正機能		天井隠ぺい配線				
	副受信機	注記参照	S	光電式スポット型感知器	2種　壁付用点検ボックス付		露出配管				
AMP	非常業務兼用放送アンプ		Sw	差動式スポット型感知器	2種　防水型		床隠ぺい配線				
EK	電気錠制御盤		◯	差動式スポット型感知器	2種		天井ころがし配線				
YU	誘導灯信号装置		◯D	定温式スポット型感知器	1種　防水型　70℃		配管配線　立上り　立下げ				
EV	エレベータ制御盤	エレベータ工事	⊠×3	差動式分布型感知器用検出部	2種　露出型　ボックス付　3個用	□	ジョイントボックス				
AD	オートドア制御盤	建築工事	⊠×4	差動式分布型感知器用検出部	2種　露出型　ボックス付　4個用		配管突出し				
				空気管	自己支持型　2．0mm		防火区画貫通処理				
	機器収容箱（耐塩塗装）	露出防滴型　縦型 Ⓟ 収容									
	機器収容箱	広範囲2号消火栓組込型 Ⓟ 収容	Ⓢ	光電式スポット型感知器	3種　露出型 自動感度補正機能　防排煙連動用		屋内消火栓制御盤	移報器　ポンプ始動用　表示灯用電源2A			
Ⓟ	フラット発信機	P型1級　専用表示灯（24V　LED）付	Ⓓ	自動閉鎖装置	防火戸用　ラッチ式						
			SS	危害防止用中継器	危害防止用防火シャッター用（建築工事）		警戒区域境界線				
			Ⓦ	自動閉鎖装置	垂れ壁用	◯	警戒区域番号	自火報用			
						◇D	制御番号	防火戸用			
						◇KS	制御番号	危害防止用連動中継器用（防火シャッター用）			
						◇W	制御番号	垂れ壁用			



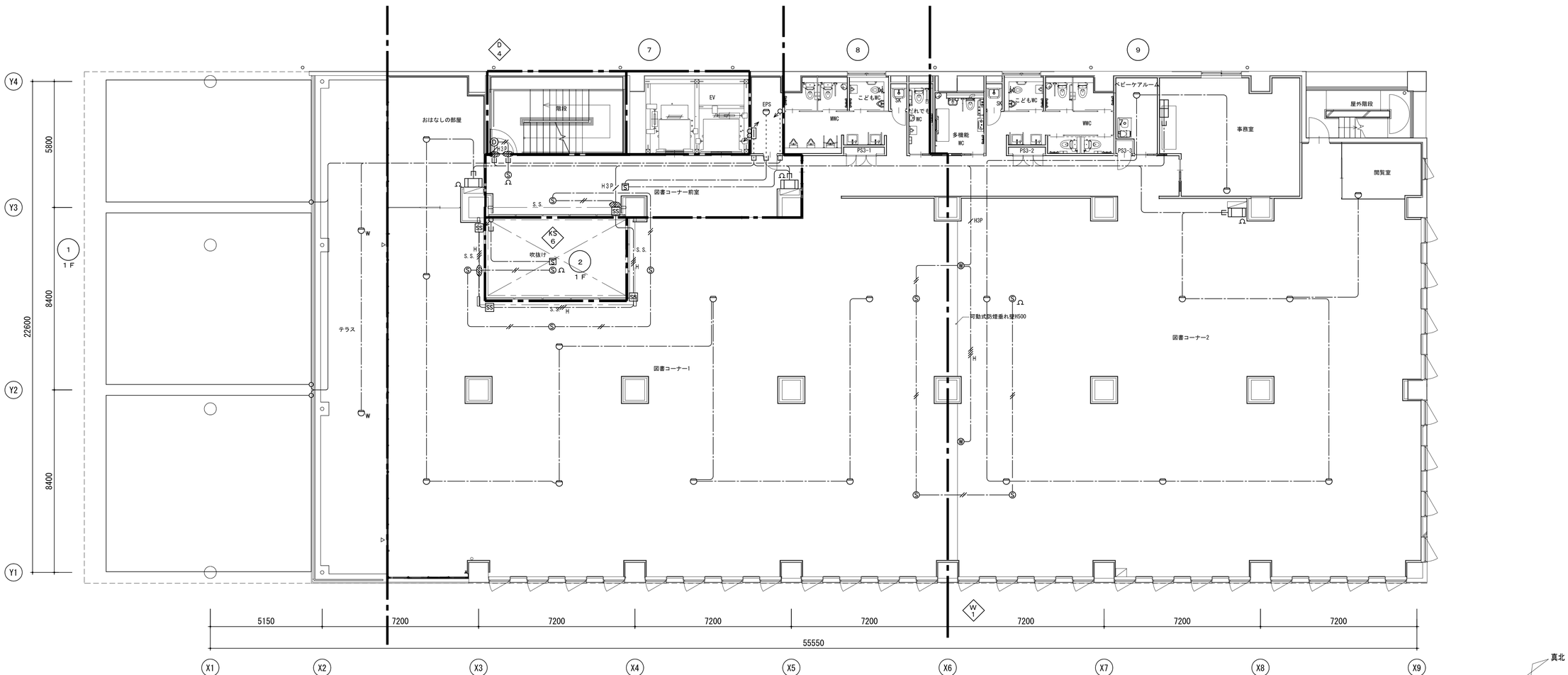


明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto　建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章 〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	E	電気設備工事 自動火災報知設備 2階平面図　A1 1:100　A3 1:200	最終版　2025. 02. 28 見積版　2024. 12. 16
	68		
		安井建築設計事務所	最終契約版

20230220

凡例

記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考
	複合盤	注記参照	S	光電式スポット型感知器	2種　露出型 自動感度補正機能		天井隠ぺい配線				
	副受信機	注記参照	S	光電式スポット型感知器	2種　壁付用点検ボックス付		露出配管				
AMP	非常業務兼用放送アンプ		D_W	差動式スポット型感知器	2種　防水型		床隠ぺい配線				
EK	電気錠制御盤		D	差動式スポット型感知器	2種		天井ころがし配線				
YU	誘導灯信号装置		Ⓓ	定温式スポット型感知器	1種　防水型　70℃		配管配線　立上り　立下げ				
EV	エレベータ制御盤	エレベータ工事	×3	差動式分布型感知器用検出部	2種　露出型　ボックス付　3個用		ジョイントボックス				
AD	オートドア制御盤	建築工事	×4	差動式分布型感知器用検出部	2種　露出型　ボックス付　4個用		配管突出し				
				空気管	自己支持型　2．0mm		防火区画貫通処理				
	機器収容箱（耐塩塗装）	露出防滴型　縦型 Ⓟ 収容									
	機器収容箱	広範囲2号消火栓組込型 Ⓟ 収容	S	光電式スポット型感知器	3種　露出型 自動感度補正機能　防排煙連動用		屋内消火栓制御盤	移報器　ポンプ始動用　表示灯用電源2A			
Ⓟ	フラット発信機	P型1級　専用表示灯（24V　LED）付	D	自動閉鎖装置	防火戸用　ラッチ式						
			SS	危害防止用中継器	危害防止用防火シャッター用（建築工事）		警戒区域境界線				
			W	自動閉鎖装置	垂れ壁用		警戒区域番号	自火報用			
						D	制御番号	防火戸用			
						KS	制御番号	危害防止用連動中継器用（防火シャッター用）			
						W	制御番号	垂れ壁用			



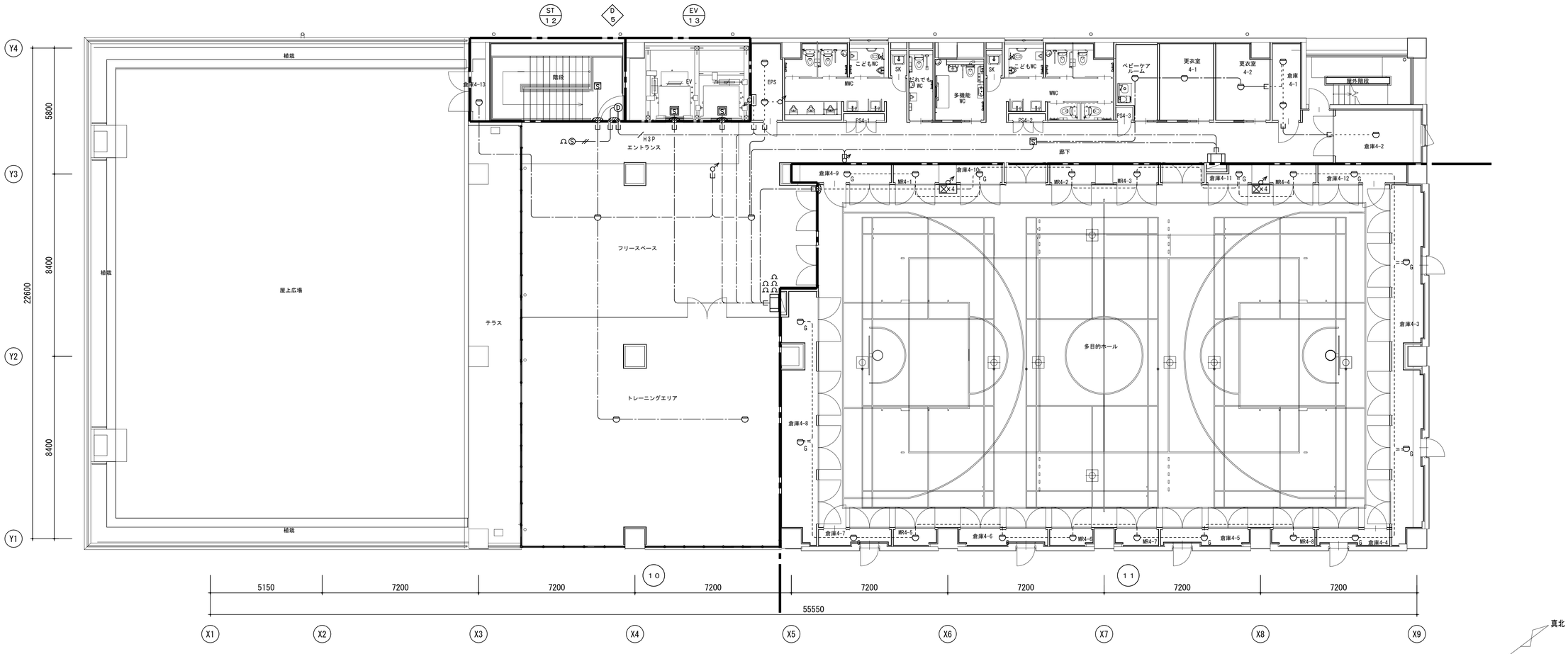
明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto　建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章 〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	E	電気設備工事 自動火災報知設備 3階平面図　A1 1:100　A3 1:200	最終版　2025. 02. 28
	69		見積版　2024. 12. 16
	安井建築設計事務所		最終契約版

（2023年版）

20230220

凡例

記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考
	複合盤	注記参照	S	光電式スポット型感知器	2種　露出型 自動感度補正機能		天井隠ぺい配線				
	副受信機	注記参照	S	光電式スポット型感知器	2種　壁付用点検ボックス付		露出配管				
AMP	非常業務兼用放送アンプ		W	差動式スポット型感知器	2種　防水型		床隠ぺい配線				
EK	電気錠制御盤			差動式スポット型感知器	2種		天井ころがし配線				
YU	誘導灯信号装置			定温式スポット型感知器	1種　防水型　70℃		配管配線　立上り　立下げ				
EV	エレベータ制御盤	エレベータ工事	×3	差動式分布型感知器用検出部	2種　露出型　ボックス付　3個用		ジョイントボックス				
AD	オートドア制御盤	建築工事	×4	差動式分布型感知器用検出部	2種　露出型　ボックス付　4個用		配管突出し				
				空気管	自己支持型　2．0mm		防火区画貫通処理				
	機器収容箱（耐塩塗装）	露出防滴型　縦型 P 収容									
	機器収容箱	広範囲2号消火栓組込型 P 収容	S	光電式スポット型感知器	3種　露出型 自動感度補正機能　防排煙連動用		屋内消火栓制御盤	移報器　ポンプ始動用　表示灯用電源2A			
P	フラット発信機	P型1級　専用表示灯（24V　LED）付	D	自動閉鎖装置	防火戸用　ラッチ式						
			SS	危害防止用中継器	危害防止用防火シャッター用（建築工事）		警戒区域境界線				
			W	自動閉鎖装置	垂れ壁用		警戒区域番号	自火報用			
						D	制御番号	防火戸用			
						SS	制御番号	危害防止用連動中継器用（防火シャッター用）			
						W	制御番号	垂れ壁用			



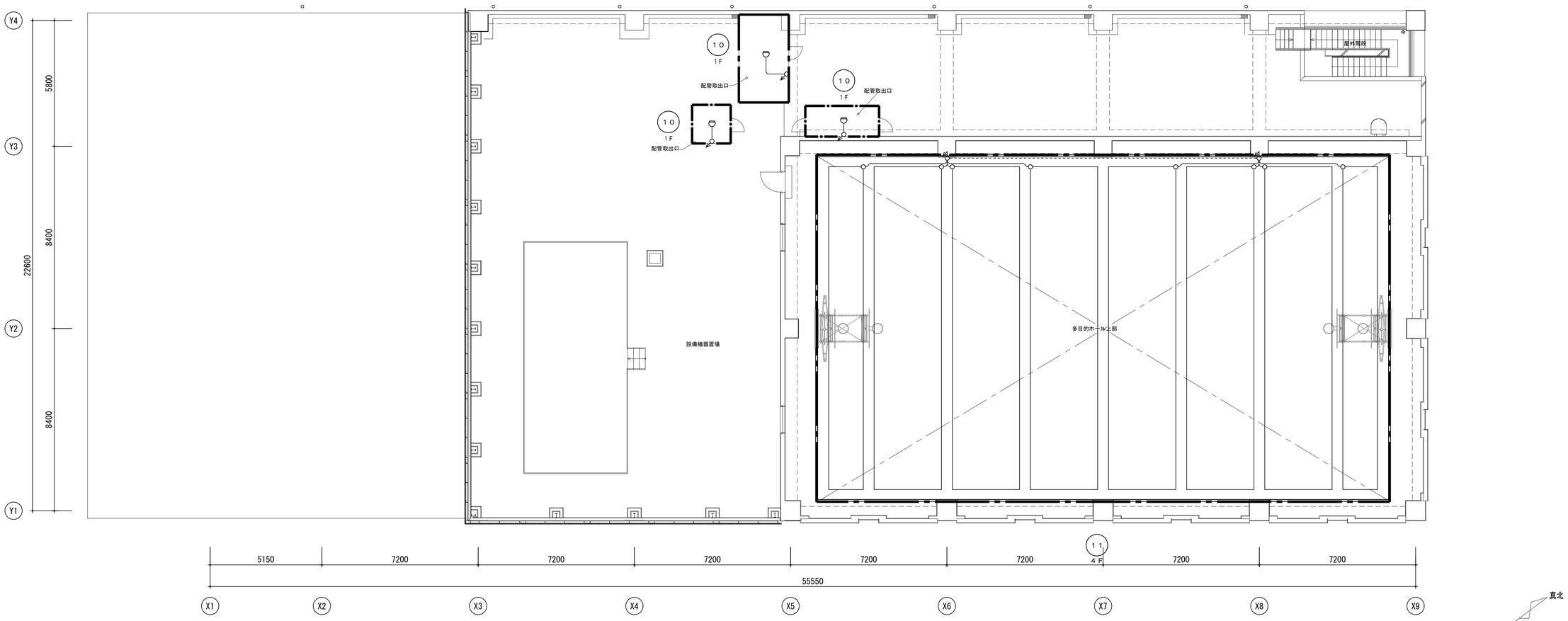
明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto　建設工事	
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章 〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	E 70	電気設備工事 自動火災報知設備 4階平面図　A1 1:100　A3 1:200
		安井建築設計事務所

最終版　2025. 02. 28
見積版　2024. 12. 16
最終契約版

20230220

凡例

記号	名　　称	備　　考	記号	名　　称	備　　考	記号	名　　称	備　　考	記号	名　　称	備　　考
	複合盤	注記参照	S	光電式スポット型感知器	2種　露出型 自動感度補正機能		天井隠ぺい配線				
	副受信機	注記参照	S	光電式スポット型感知器	2種　壁付用点検ボックス付		露出配管				
AMP	非常業務兼用放送アンプ		W	差動式スポット型感知器	2種　防水型		床隠ぺい配線				
EK	電気錠制御盤			差動式スポット型感知器	2種		天井ころがし配線				
YU	誘導灯信号装置			定温式スポット型感知器	1種　防水型　70℃		配管配線　立上り　立下げ				
EV	エレベータ制御盤	エレベータ工事	×3	差動式分布型感知器用検出部	2種　露出型　ボックス付　3個用		ジョイントボックス				
AD	オートドア制御盤	建築工事	×4	差動式分布型感知器用検出部	2種　露出型　ボックス付　4個用		配管突出し				
				空気管	自己支持型　2．0mm		防火区画貫通処理				
	機器収容箱（耐塩塗装）	露出防滴型　縦型 Ⓟ 収容									
	機器収容箱	広範囲2号消火栓組込型 Ⓟ 収容	S	光電式スポット型感知器	3種　露出型 自動感度補正機能　防排煙連動用		屋内消火栓制御盤	移報器　ポンプ始動用　表示灯用電源2A			
Ⓟ	フラット発信機	P型1級　専用表示灯（24V　LED）付	D	自動閉鎖装置	防火戸用　ラッチ式						
			SS	危害防止用中継器	危害防止用防火シャッター用（建築工事）		警戒区域境界線				
			W	自動閉鎖装置	垂れ壁用	○	警戒区域番号	自火報用			
						D	制御番号	防火戸用			
						SS	制御番号	危害防止用連動中継器用（防火シャッター用）			
						W	制御番号	垂れ壁用			



明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto　建設工事		
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	E	電気設備工事 自動火災報知設備	最終版　2025. 02. 28
〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	71	R階平面図　A1　1:100　A3　1:200	見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

20230220

雷保護設備凡例

番号	記号	名　　称
1	―+―+―	アルミ線　２．０　×　２５ アルミ線取付金物　　水平@＝６００　　垂直@＝１０００ Ａ－接着用　　Ｂ－馳折版用　　Ｃ－馳折版用ＰＬ付　　Ｄ－外壁用
2	― ― ―	タラップ　　受雷部利用 ※　材料・厚さ・断面積は、ＪＩＳ規格に基づく。
3	▽	タラップ用接続端子
4	●	Ｔ型接続端子
5	◇	水切端子
6	――――	銅線　　２．０　×　１３　　埋込配線
7	―┤――	鉄骨用接続端子（プレートは材料支給の上、溶接は建築工事とする。）
8	―┼――	鉄筋接続クランプ　　（主筋２条に接続）
9	―▲――	銅線接続クランプ

※　ＪＩＳ　Ａ　４２０１：２００３の規定に基づく。

※　構造体利用接地極とする。

※　ＪＩＳ　Ｚ　９２９０－３：２０１９にも対応。

保護レベルに応じた受雷部の配置

保護レベル	回転球体法 Ｒ（m）	保護角法ｈ（m） ２０ α（°）	３０ α（°）	４５ α（°）	６０ α（°）	６０超過	メッシュ法幅（m）
Ⅳ	６０	５５	４５	３５	２５	＊	２０

＊　回転球体法及びメッシュ法だけを適用する。

※　備考１．Ｒは、回転球体法の球体半径。
※　備考２．ｈは地表面から受雷部の上端までの高さとする。ただし、陸屋根の部分においては、ｈを陸屋根から受雷部の上端までの高さとすることができる。

保護レベルに応じた引下げ導線の平均間隔

保護レベル	平均間隔（m）
Ⅳ	２５

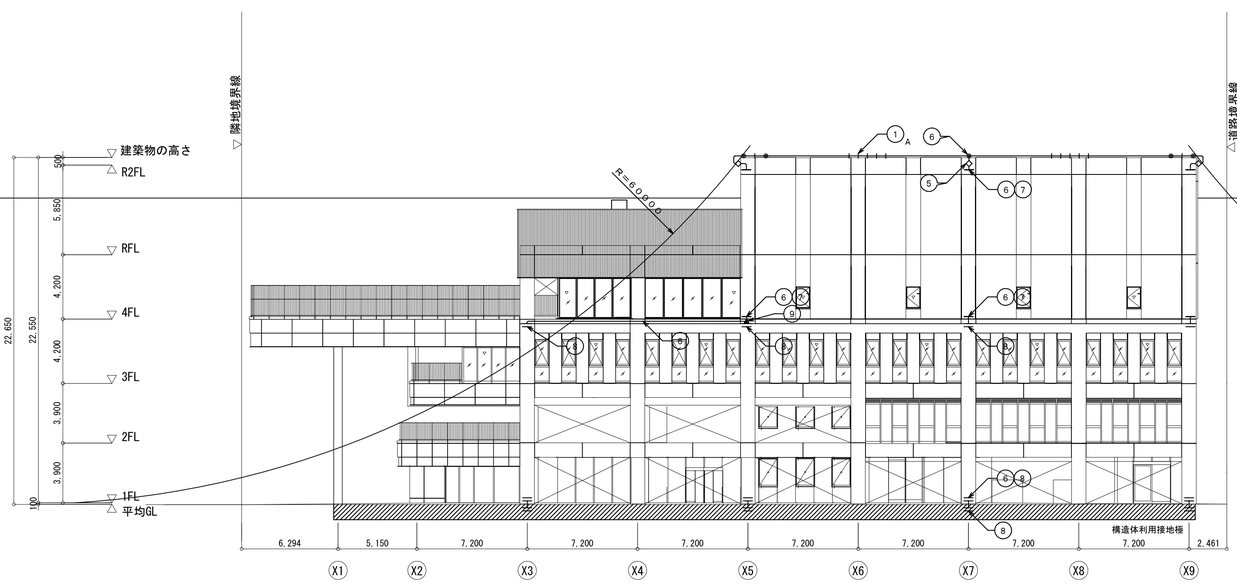
構造体受雷部利用の材料及び使用条件

材料	厚さｔ（mm）	厚さｔ´（mm）	断面積（mm²）
鉄，ステンレス	4	０．５	５０
銅	5	０．５	３５
アルミニウム	7	1	７０

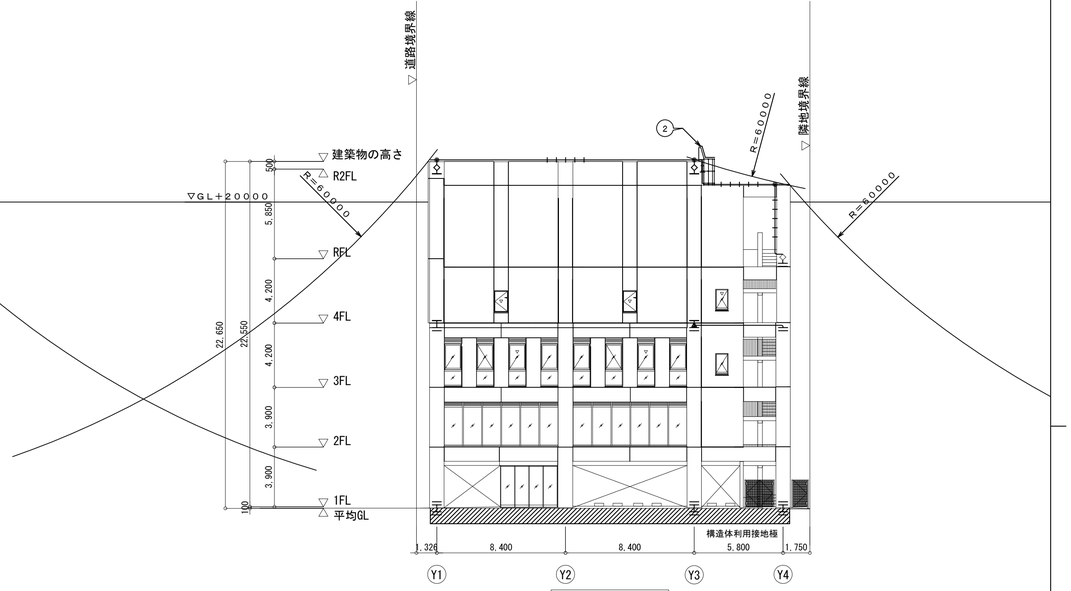
注）　電気的接続は、黄銅ろう付け、溶接、圧着、ねじ締め、ボルト締めなどの方法によって確実に行う。

※　備考１．金属板が、雷電流によって穴があいてはならない構造のもの又は高温にさらされてはならないものである場合、厚みはｔの値以上である。
※　備考２．金属板が、雷電流によって穴があいても差し支えない構造のもの又は金属板の下部に発火する可燃物がない場合、その厚みはｔ´の値以上である。

ＪＩＳ　Ａ　４２０１：２００３　２．３．５より、
鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造の地中構造体、その他金属製地下構造物を接地極として利用できる。
鉄筋又は鉄骨コンクリート造の基礎を接地極として利用する場合は、基礎の鉄筋又は鉄骨と上部構造体の鉄筋又は鉄骨とは一般に電気的接続が行われていないので、建築物等の建設時に相互の電気的接続を行う。



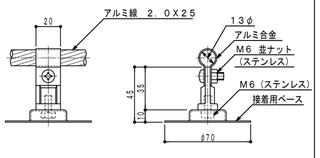
東側立面図



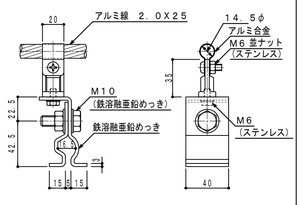
北側立面図

機器詳細図　　N.S

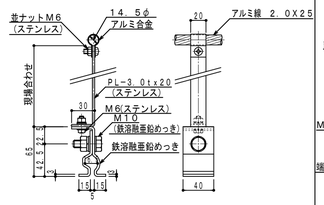
アルミ線取付金物　　接着用



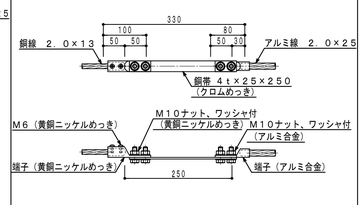
アルミ線取付金物　　丸馳折版用



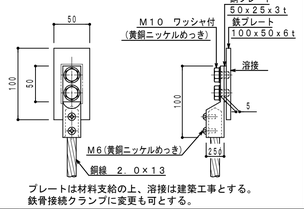
アルミ線取付金物　　丸馳折版用ＰＬ付



水切端子

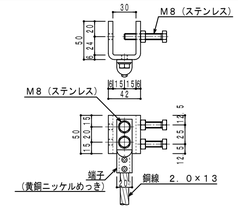


鉄骨用接続端子

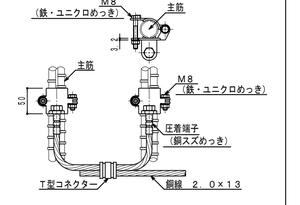


プレートは材料支給の上、溶接は建築工事とする。
鉄骨接続クランプに変更も可とする。

鉄骨接続クランプ



鉄筋接続クランプ　　主筋２条に接続



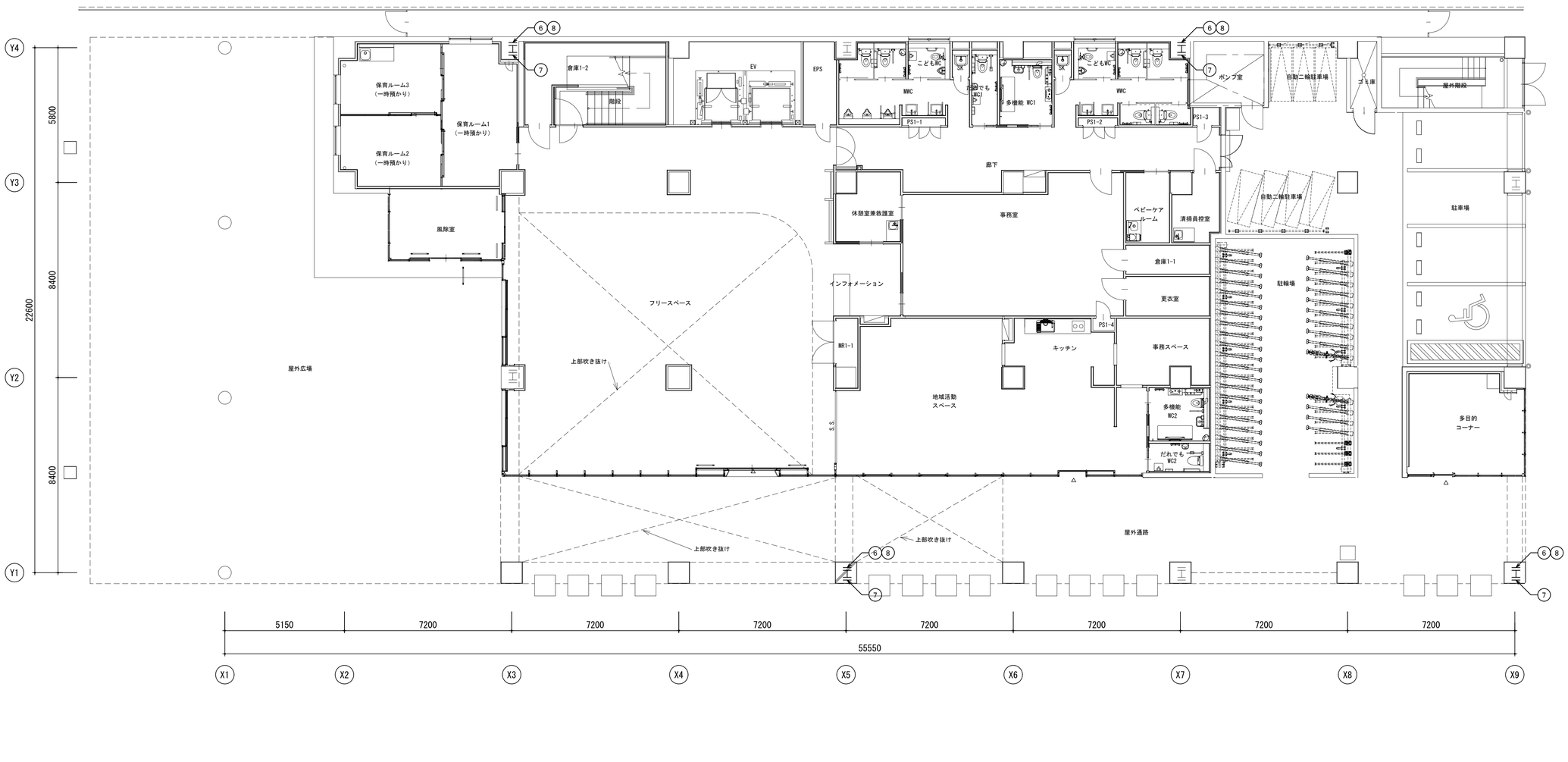
明石市政策局　プロジェクト推進室	西明石地域交流センター　icotto　建設工事
〈代表設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	E　電気設備工事　最終版　2025. 02. 28
〈設備設計者〉　一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	72　雷保護設備 立面図、機器詳細図　A1 1:200 A3 1:400　見積版　2024. 12. 16
	安井建築設計事務所　最終契約版

（2023年版）

20230220

ＪＩＳ　Ａ　４２０１：２００３　２．３．５より、
鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造の地中構造体、
その他金属製地下構造物を接地極として利用できる。
鉄筋又は鉄骨コンクリート造の基礎を接地極として利用する場合は、
基礎の鉄筋又は鉄骨と上部構造体の鉄筋又は鉄骨とは
一般に電気的接続が行われていないので、
建築物等の建設時に相互の電気的接続を行う。

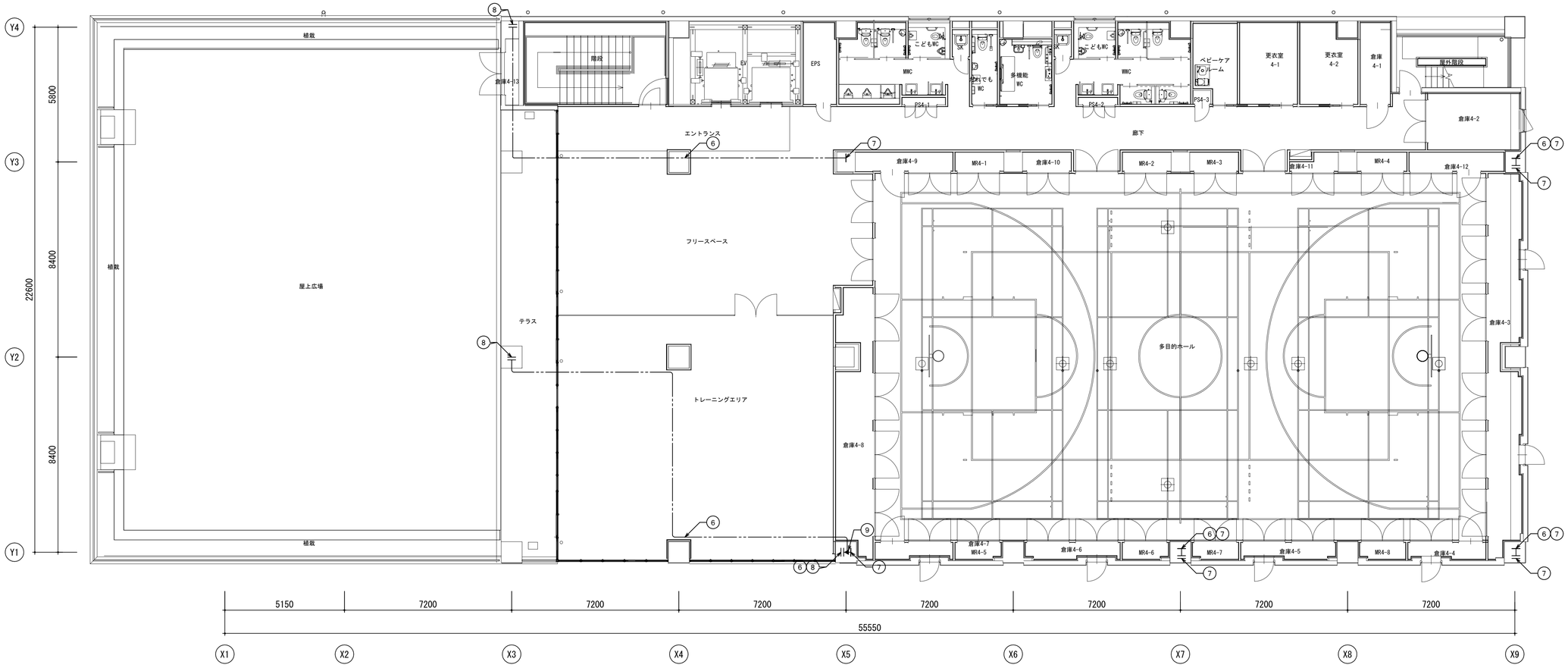
※　構造体利用接地極とする。



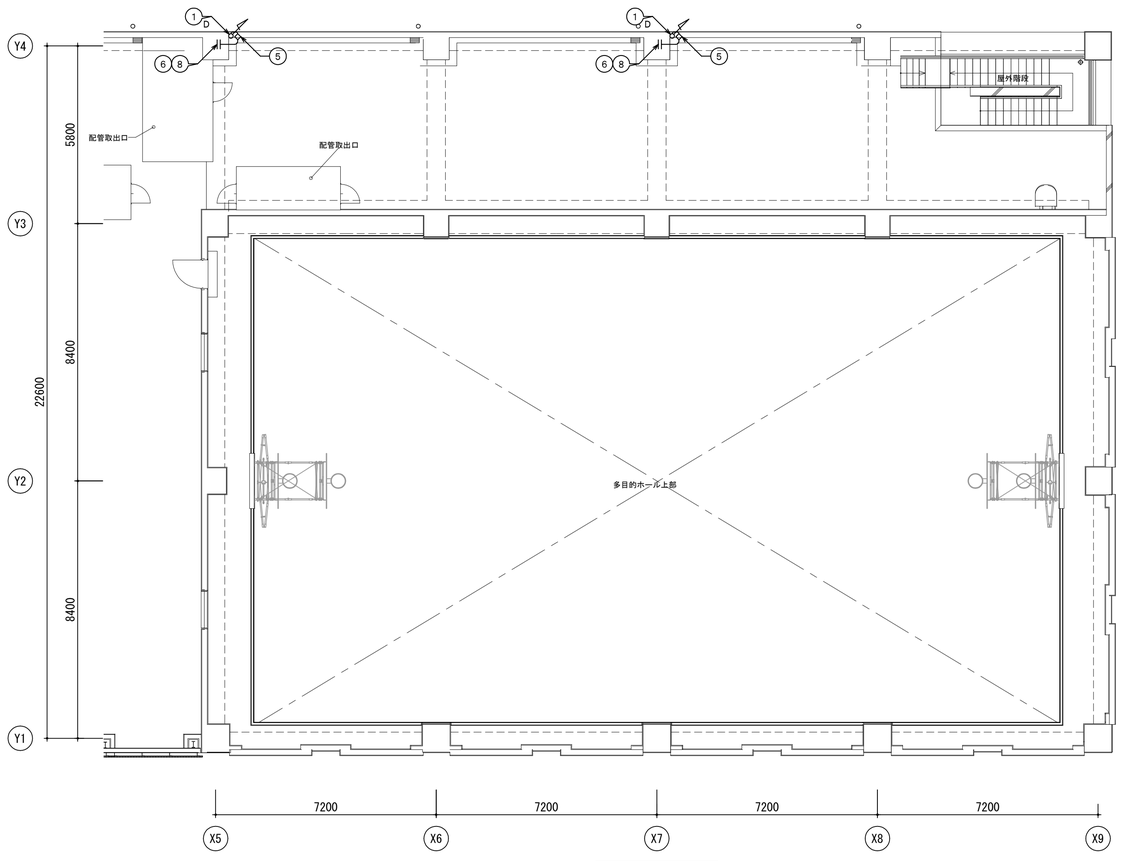
明石市政策局　プロジェクト推進室		西明石地域交流センター　icotto　建設工事	
〈代表設計者〉 一級建築士　国土交通大臣登録　第300703号 森　雅章	E	電気設備工事 雷保護設備	最終版　2025. 02. 28
〈設備設計者〉 一級建築士　国土交通大臣登録　第195886号 設備設計一級建築　国土交通大臣登録　第2339号 小林　陽一	73	1階平面図　A1 1:100　A3 1:200	見積版　2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

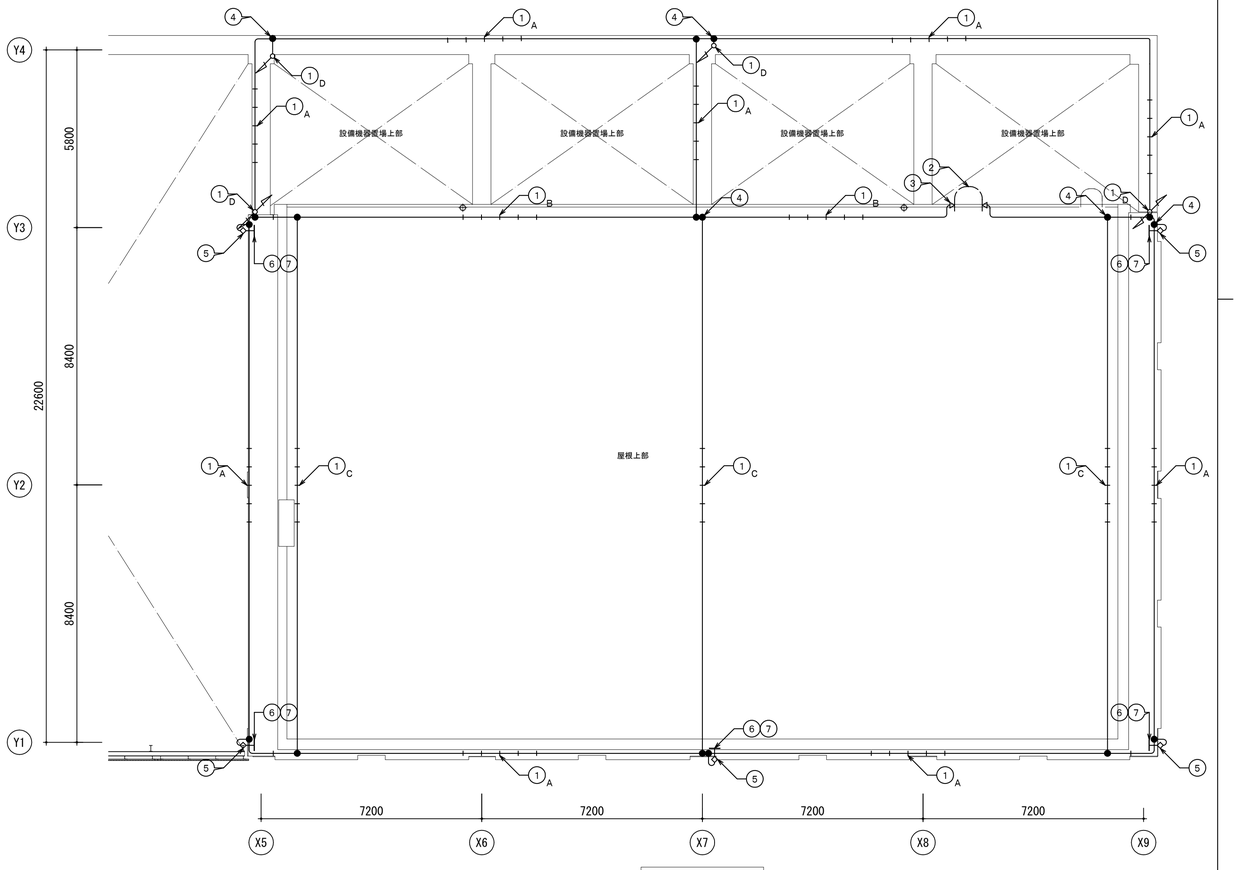
20230220



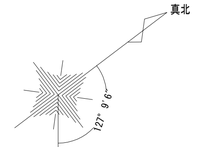
明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章 〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築 国土交通大臣登録 第2339号 小林 陽一	E	電気設備工事 雷保護設備	最終版 2025. 02. 28
	74	4階平面図 A1 1:100 A3 1:200	見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版



R階平面図



屋根伏図



明石市政策局 プロジェクト推進室	西明石地域交流センター icotto 建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第300703号 森 雅章	E	電気設備工事	最終版 2025. 02. 28
		雷保護設備	
〈設備設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築 国土交通大臣登録 第2339号 小林 陽一	75	R階平面図・屋根伏図 A1 1:100 A3 1:200	見積版 2024. 12. 16
		安井建築設計事務所	最終契約版

（2023年版）

20230220